CBETA電子佛典集成

CBETA Chinese Electronic Tripitaka Collection

eBook

P181-183nP1615

大明三藏法數

明 一如等編集

財團法人 佛教電子佛典基金會

目次

- 編輯說明
- 章節目次
  - 總目上
  - 總目下
  - 二
  - 三
  - 三
  - 四
  - 五
  - 六
  - 七
  - 八
  - 九
  - 十
  - 十一
  - 十二
  - 十三
  - 十四
  - 十五
  - 十六
  - 十七
  - 十八
  - 二十
  - 二十五
  - 二十八
  - 三十一
  - 三十二
  - 三十四
  - 三十六
  - 三十七
  - 四十二
  - 四十八
  - 五十三
  - 六十二

- 六十四
- 七十五
- 八十
- 八十一
- 八十八
- 九十八
- 一百
- 一百八
- 千二百五十
- 八萬四千

- 卷目次
  - 1
  - 2
  - 3
  - 4
  - 5
  - 6
  - 7
  - 8
  - 9
  - 10
  - 11
  - 12
  - 13
  - 14
  - 15
  - 16
  - 17
  - 18
  - 19
  - 20
  - 21
  - 22
  - 23
  - 24
  - 25
  - 26
  - 27

    - 28
    - 29
    - 30
    - 31
    - 32
    - 33
    - 34
    - 35
    - 36
    - 37
    - 38
- 贊助資訊

編輯說明

- 本電子書以「CBETA 電子佛典集成 Version 2025.R3」為資料來源。
- 漢字呈現以 Unicode 3.0 為基礎，不在此範圍的字則採用組字式表達。
- 梵文悉曇字及蘭札字均採用羅馬轉寫字，如無轉寫字則提供字型圖檔。
- CBETA 對底本所做的修訂用字以紅色字元表示（黑白色系版本則無顏色差別）。
- 若有發現任何問題，歡迎來函 service@cbeta.org 回報。
- 版權所有，歡迎自由流通，但禁止營利使用。

大明三藏法數總目卷上　　昆

第一卷

一心(出華嚴經第十三卷平字函)
一心約教有異(出華嚴一乘教義分齊章中卷跡字函)
一善心(出涅槃經第十九卷歸字函)
一人(出仁王護國經上卷翔字函)
一身(出華嚴經第十三卷平字函)
一虛(出普賢行願品疏未入藏)
一月喻三身(出寶王論未入藏)
一月三舟喻(出華嚴經疏第十七卷軍字函)
一法(出華嚴經第十三卷平字函)
一理(出法華玄義第一卷下多字函)
一乘(出法華經第一卷草字函)
一雨(出法華經第三卷草字函)
一門(出法華經第二卷草字函)
一味(出法華經第三卷草字函并法華玄義士字函)
一大事因緣(出法華經一卷草字)
一覺(出起信論情字函)
一道(出華嚴經第十三卷平字函)
第一義(出大集經第十六卷讓字函)
一實諦(出涅槃經第十三卷歸字函)
一實相印(出法華玄義章八卷上多字演)
一實境界(出占察善惡當邦經下卷景字重)
一地(出法華經第三卷草字函)
一法印(出宗鏡錄第一卷第字函)
一法界(出起信論情字函)
一真法界(出華嚴經隨疏演義鈔第一卷沙字函)
一藏(出華嚴經疏第十六卷軍字函)
一會(出法華要義下卷未入藏)
一極(出普賢行願品疏未入藏)
一致(出華嚴經隨疏演義鈔第四卷沙字函)
一源(出華嚴經隨疏演義鈔第一卷沙字函)
一體(出法界觀跡字函)
一偈(出翻譯名義第四卷十二分教篇)
一句(出華嚴經第六十二卷首字函)
一言(出圓覺經畧疏未入藏)

一語(出華嚴經疏第四卷用字函)
一名(出涅槃經第三十三卷王字函)
一字(出大方廣師子吼經良字函)
一義(出華嚴經第六十二卷首字函)
一音(出維摩經上卷方字函)
一音教(出華嚴經疏第一卷用字函)
一宗(出華嚴經疏第三卷用字函)
一相(出起信論情字函)
一合相(出金剛經羽字函)
一性(出涅槃經第十卷賓字函)
一性(出華嚴經第五十二卷黎字函)
一因(出涅槃經第三十二卷王字函)
一如(出首楞嚴三昧經中卷靡字函)
一行(出涅槃經第十一卷歸字函)
佛二種十身(出華嚴經疏第一卷用字函)
二覺(出翻譯名義第一卷十種通號篇)
二覺(出起信論上卷情字函)
二種佛境(出華嚴經疏第五卷用字函)
二種身土(出佛地經論第一卷離字函)
身土二不相離(出宗鏡錄第二十一卷茂字函)
二種神力(出大智度論第九卷傅字函)
二宿因力(出華嚴經疏第一卷用字函)
二足(出金剛經纂要疏未入藏)
悉達太子二相(出佛本行集經第九卷父字函)
二種舍利(出翻譯名義第五卷名句文法篇)
二法(出華嚴經疏第一卷用字函)
二法(出楞伽經第三卷惟字函)
二種法性(出地持經第二卷安字函)
契經二義(出阿毘達磨大毘婆沙論第一百二十六卷堅字函)
二般若(出大智度論第一百卷叔字函)
二般若(出華嚴經疏第一卷用字函)
般若二種相(出地藏十輪經第十卷陶字函)
二種般若莊嚴(出大般若經并大智度論第八卷傅字函)
金剛二義(出金剛經助顯錄未入藏)
法華二妙(出法華玄義第二卷上密字函)

第二卷

迹本二門(出法華玄義釋籤第七卷下士字函并法華文句第一卷寔字函)
二種一乘(出華嚴經疏第二卷用字函)

二種莊嚴(出涅槃經第二十七卷王字函)
二種莊嚴(出金剛經纂要疏未入藏)
二如來藏(出大乘止觀法門第一卷途字函)
二經體(出華嚴經疏第二卷用字函)
二涅槃(出金光明經玄義上卷三涅槃下會字函)
二涅槃(出大智度論第三十一卷奉字函)
二法相違(出瑜伽師地論第九十二卷氣字函)
二智(出華嚴經隨疏演義鈔第一卷沙字函)
二智(出攝大乘論第三卷下隱字函)
二智(出大集經第二十三卷國字函)
二智(出觀音玄義下卷三智下遵字函)
二智(出華嚴經隨疏演義鈔第九卷沙字函)
二真如(出華嚴經隨疏演義鈔第六卷沙字函)
二真如(出起信論疏未入藏)
二真如(出起信論疏未入藏)
二種如如(出佛性論第二卷匪字函)
二心(出蓮宗寶鑑未入藏)
二心(出成唯識論第三卷義字函)
二種心相(出占察善惡經下卷景字函)
二種性(出楞伽經第二卷鞠字函)
二種性(出大智度論第三十一卷奉字函)
二種性(出地持經第一卷安字函)
二種性(出地持經第二卷安字函)
二相(出起信論上卷情字函)
二相(出起信論上卷情字函)
二相(出大智度論第三十一卷奉字函)
二相(出宗鏡錄第七十八卷銘字函)
二相別(出析玄記未入藏)
二根(出楞嚴經義海第十四卷頗字函)
二種根本(出楞嚴經第一卷羔字函)
二種識(出顯識論沛字函)
識二分(出攝大乘論釋第四卷連字函)
阿賴耶二義(出宗鏡錄第六卷策字函)
二德(出觀音玄義上卷三德下遵字函)
二行(出華嚴經疏第一卷用字函)
二行(出華嚴經疏第三卷用字函)
二觀行(亦名唯識觀出宗鏡錄第三十五卷寶字函)
二道(出婆沙論并淨土十疑論刑字函)

二道(出止觀輔行記第三卷魏字函)
二道(出析玄記未入藏)
二道(出文殊師利菩薩問菩提經論下卷弗字函)
二諦(出翻譯名義第四卷明四諦法篇)
二門(出華嚴經疏第一卷用字函)
二門(出大智度論第十五卷訓字函)
起信二門(出起信論上卷情字函)
二種神力(出楞伽經第二卷惟字函)
二力(出華嚴經疏第八卷用字函)
二種師子奮迅三昧(出法界次第中卷刑字函)
二種超越三昧(出法界次第中卷刑字函)
精進二種相(出地藏十輪經第九卷陶字函)
二忍(出大智度論第六卷傅字函)
二忍(出地持經第五卷安字函)
忍有二種相(出地藏十輪經第九卷啕字函)
二方便(出無著造金剛般若經論中卷受字函)
方便二種相(出地藏十輪經第十卷陶字函)
二無我(出楞伽經第一卷惟字函)
二種我見(出起信論下卷情字函)
二空(出法藏般若心經畧疏百字函)
二空(出土觀第三卷上霸字函)
空有各具二義(出華嚴經疏第四卷用字函)
二執(出金光明經文句記第四卷盟字函)
二法執(出宗鏡錄第六十五卷剌字函)
二我執(出宗鏡錄第七十四卷銘字函)
空有二執(出宗鏡錄第十六卷功字函)
二種常(出大智度論第四十三卷母字函)
二無常(出大智度論第四十三卷母字函)
二無常(出析玄記未入藏)
二假(出宗鏡錄第六十七卷剌字函)
二因(出涅槃經第二十八卷王字函)
二因(出宗鏡錄第七十一卷銘字函)
二因(出天台四教儀集註中卷未入藏并法華文句第七卷上寧字函)
二因(出大智度論第九十六卷叔字函)
二因(出大涅槃經第二十八卷王字函)
二因(出瑜伽師地論第三十一卷兒字函)
二果(出宗鏡錄第七十一卷銘字函)
二果(出阿毘曇論第一卷皷字函)

二種無漏因果(出大涅槃經第十二卷歸字函)
二加(出華嚴經疏第一卷用字函)
二種顯示(出華嚴經疏第一卷用字函)
二種廣利(出華嚴經疏第一卷用字函)
二種說法(出寶性論第四卷性字函)
二種通相(出楞伽經第三卷惟字函)

第三卷

論有二種(出阿毘達磨大毘婆沙論第一百一十卷意字函)
二種語(出涅槃經第十四卷歸字函)
二種愛語(出大智度論第六十六卷諸字函)
二句(出翻譯名義第五卷名句文法篇)
二義(出圓覺經疏未入藏)
二決定義(出楞嚴經第二卷羔字函)
二請(出華嚴經疏第一卷用字函)
二荅(出華嚴經疏第九卷用字函)
二食(出法華文句第八卷上寧字函)
二種觀(出禪要呵欲經聚字函)
二種觀法(出占察善惡經下卷景字函)
二見(出涅槃經第二十五卷王字函)
二見(出涅槃經第十七卷歸字函)
無明二義(出起信論疏未入藏)
二種熏(出涅槃名義第六卷心意識法篇)
二種生死(出成唯識論第八卷義字函)
二女(出涅槃經第十二卷歸字函)
二種破著(出去智度論第四十五卷毋字函)
二解脫(出寶性論第五卷性字函)
二解脫(出華嚴經疏第一卷用字函)
二解脫(出成實論第十七卷舍字函)
二斷(出地持經第二卷安字函)
二種護持事(出地藏十輪經第六卷陶字函)
二教(出華嚴孔目未入藏)
華嚴為諸教本有二(出華嚴經疏第一卷用字函)
印師二教(出華嚴經疏第一卷用字函)
曇讖二教(出華嚴經疏第一卷用字函)
遠師二教(出華嚴經疏第一卷用字函)
劉虬二教(出華嚴經疏第一卷用字函)
二種無心約教(出宗鏡錄第四十五卷勒字函)
二宗釋題(出天台四教儀集註上卷未入藏并華嚴經疏第三卷用字函)

二種立題(出法華文句第一卷上寔字函)
二攝(出淨名經疏未入藏)
二種入(出金剛三昧經上卷難字函)
二詮(出宗鏡錄第六卷策字函)
二羯磨(出四分律下卷懺六聚法篇外字函)
二羯磨(出毘尼母論第二卷唱字函)
二種却魔法(出修習止觀坐禪法要下卷途字函)
二等(出宗鏡錄第十四卷功字函)
二殊勝(出楞嚴經第六卷羔字函)
二種清淨(出華嚴經隨疏演義鈔第六卷沙字函)
二種自在(出華嚴經疏第六卷用字函)
二種畢竟(出大涅槃經第二十七卷王字函)
二種際(出華嚴經隨疏演義鈔第一卷沙字函)
二轉依(出楞嚴經義海第二十一卷牧字函)
二種無量(出大智度論第二十卷訓字函)
二種無礙(出華嚴經疏第六卷用字函)
二花(出華嚴經疏第三卷用字函)
二種菩薩(出大智度論第九十二卷叔字函)
菩薩二心(出大智度論第二十七卷入字函)
二種勝(出地持經第一卷安字函)
二木(出法華經文句第七卷上寧字函)
二種獨覺(出析玄記未入藏)
二藏(出莊嚴經論第四卷慈字函)
二乘(出華嚴經疏第二卷用字函)
二乘(出天台四教儀集註上卷未入藏)
二果二義(出析玄記未入藏)
初果二義(出析玄記未入藏)
利鈍二根(出析玄記未入藏)
二種醫(出大智度論第二十四卷入字函)
二宗(出翻譯名義第一卷宗釋論主篇)
二種比丘(出出曜經第五卷廣字函)
理事二和(出翻譯名義第一卷釋氏眾名篇)
二天隨人(出華嚴經第六十卷黎字函)
二難化(出大智度論第九十一卷叔字函)
二種眾生(出大智度論第三十一卷奉字函)
聞經二種非器(出華嚴經疏第三卷用字函)
二種(出法華安樂行義土字函)
二種受具戒法(出大寶積經第一百四卷文字函)

二種健見(出涅槃經第十九卷歸字函并水懺下卷)
二種人呪術不能加(出摩登伽經上卷慶字函)
二種破戒人(出大智度論第九十一卷叔字函)
二人出佛身血(出大智度論第六十三卷諸字函)
二種退(出地持經第一卷安字函)
二親(出法苑珠林第五十卷驅字函四重恩篇)

第四卷

二護(出涅槃經第三十三卷鳴字函)
二種有(出阿毘曇毘婆沙論第六卷都字函)
二種病(出涅槃經第十二卷歸字函)
二種病(出大智度論第八卷傅字函)
二種死(出大涅槃經第十二卷歸字函)
二種布施(出大智度論第三十三卷奉字函)
二種法施(出般若經第四百六十九卷崑字函)
二種身行施(出大智度論第十二卷訓字函)
二種施(出法界次第下卷刑字函)
二戒(出華嚴孔目未入藏)
二戒(出毘婆沙論第十三卷動字函)
二戒(出華嚴經疏第名卷用字函)
二戒(出涅槃經第十一卷師字函)
二戒(出涅槃經第三十五卷鳴字函)
出家二戒(出天台四教儀集註未入藏)
在家二戒(出毘婆沙論第一百二十三卷堅字函)
邪正二戒(出天台四教儀集註未入藏)
二持(出華嚴經疏第五卷用字函)
二種精進(出法界次第下卷刑字函)
二種精進心(出法華懺儀輔字函)
二種忍辱(出大智度論第十四卷訓字函)
二種分別真偽禪相(出修習止觀坐禪法要下卷途字函)
二種寂靜(出釋氏要覽躁靜篇未入藏)
二種願(出大智度論第三十卷入字函)
二種修行(出涅槃經第二十五卷王字函)
二因緣發起正見(出大智度論第三十四卷奉字函)
二種心(出地持經第一卷安字函)
意業有二種心(出大乘理趣六波羅蜜經第七卷馨字函)
二種懺悔(出補助儀并天台四教儀會字函)
二種白法(出華嚴經隨疏演義鈔第四卷沙字函)
二種勸請(出大智度論第七卷傅字函)

二種資粮(出寶積經第五十二卷官字函)
二種供養(出普賢行願品即貞元華嚴經第四十卷遐字函)
二善(出大智度論第四十八卷母字函)
二種福田(出大智度論第二十三卷入字函)
二種福田(出大方便佛報恩經第五卷墨字函)
二利(出金剛般若經破取著不壞假名論下卷弗字函)
二種闡提(出楞伽經第一卷鞠字函)
二種見(出大智度論第七卷傳字函)
鬼二生(出俱舍釋論第六卷禽字函)
二罪(出圓覺經畧疏未入藏)
二吉羅(出翻譯名義第七卷篇聚名報篇)
二惡(出大智度論第四十八卷母字函)
二種惡事(出大智度論第二十三卷入字函)
二煩惱(出瑜伽師地論第五十五卷懷字函)
二煩惱(出大智度論第七卷傳字函)
二煩惱(出華嚴經疏第八卷用字函)
二惑(出法華釋籤第六卷上多字函)
二惑(出華嚴經隨疏演義鈔第一卷沙字函)
見思二惑(出天台四教儀集註未入藏)
客塵二義(出楞嚴經第一卷羔字函)
二障(出圓覺畧疏未入藏)
二障(出楞嚴經義海第十四卷頗字函并宗鏡錄第四十一卷勒字函)
二障(出天親造金剛般若波羅蜜經論受字函)
二業(出阿毘達磨俱舍論第七卷觀字函)
輕重二業(出涅槃經第三十一卷鳴字函)
二礙(出宗鏡錄第二卷策字函并演義鈔第二十卷漠字函)
眾蘆二義(出宗鏡錄第四十七卷勒字函)
二慳(出地持經第三卷安字函)
二愛(出大智度論第七十二卷姑字函)
二種邪見(出中論第四卷箴字函)
二種妄見(出楞嚴經第二卷羔字函)
二種無知(出天台四教儀集註未入藏)
二種顛倒(出楞嚴經第七卷羔字函)
二貧(出大智度論第九十八卷叔字函)
二緣(出楞伽經第二卷惟字函)
二種有漏因果(出大涅槃經第十二卷歸字函)
二殺(出梵網經下卷安字函)
二殺(出梵網經下卷安字函)

二報(出華嚴經疏第一卷用字函)
二種殺生報(出法苑珠林第七十卷振字函)
二種偷盜報(出法苑珠林第七十卷振字函)
二種[婬-壬+(工/山)]報(出法苑珠林第七十卷振字函)
二種妄語報(出法苑珠林第七十卷振字函)
二種兩舌報(出法苑珠林第七十卷振字函)
二種惡罵報(出法苑珠林第七十卷振字函)
二種邪見報(出法苑珠林第七十卷振字函)
二種無義語報(出法苑珠林第七十卷振字函)
二種貪報(出法苑珠林第七十卷振字函)
二種瞋報(出法苑珠林第七十卷振字函)
世界二義(出楞嚴經第四卷羔字函)
二世間(出翻譯名義第三卷世界篇)
二種世間清淨(出無量壽經優波提舍顛字函)
二土(出宗鏡錄第八十九卷五土下磻字函)
二土(出華嚴經隨疏演義鈔第四卷沙字函)
二種流(出涅槃經第三十六卷鳴字函)
二身(出成唯識論第八卷義字函)
二種色(出宗鏡錄第七十五卷銘字函)
二種色(出大智度論第二十一卷入字函)
二種色(出宗鏡錄第五十八卷碑字函)
二食(出天台四教儀集註未入藏)
二種存濟(出阿毘達磨論第二卷笙字函)
二求(出成實論第六卷丙字函)
二種數(出華嚴經疏第五卷用字函)
二種滅(出顯揚聖教論第八卷分字函)
二邊(出攝大乘論釋第一卷連字函)
二邊(出中論第四卷箴字函)
二時(出大智度論第一卷博字函)

第五卷

三佛身(出宗鏡錄第八十九卷磻字函)
三身(出金光明經玄義上卷會字函)
三身遍相(出華嚴經隨疏演義鈔第八卷沙字函)
三身華梵(亦名三如來出翻譯名義十種通號篇并通別三身篇)
三身壽量(出法華經文句第九卷下寔字函)
佛化身三(出觀佛三昧海經第四卷量字函)
三覺(出翻譯名義第一卷十種通號篇)
三種常(出佛地經論第七卷節字函)

三種神變(出大寶積經第八十六卷始字函)
三佛土(出華嚴經疏第一卷用字函)
佛行離地三意(出華嚴經隨疏演義鈔并佛說處處經敬字函)
如來乞食三意(出法集經第一卷難字函)
佛三事入城(出金剛經疏乞食十利下會字函)
佛三不能(出景德傳燈錄第四卷合字函)
三種奇特事(出過去現在因果經第四卷尺字函)
佛三語(出華嚴經隨疏演義鈔第六卷沙字函)
三處不轉法輪
三輪(出金光明經文句第二卷明字函)
佛三密(出大智度論第十卷傅字函)
住持三寶(出華嚴經隨疏演義鈔第二卷沙字函并華嚴三寶章上卷跡字函)
同體三寶(出華嚴經隨疏演義鈔第二卷沙字函并華嚴三寶章上卷跡字函)
別相三寶(出釋氏要覽中卷三寶篇未入藏)
別相三寶(出華嚴經隨疏演義鈔第二卷沙字函并華嚴三寶章上卷跡字函)
大乘三寶(出華嚴經隨疏演義鈔第二卷沙字函并華嚴三寶章上卷跡字函)
小乘三寶(出華嚴三寶章上卷跡字函)
華嚴三聖(出翻譯名義第一卷通別三身篇菩薩別名篇)
三種大師(出本事經第七卷孝字函)
三藏(出翻譯名義第四卷總名三藏篇)
大乘三藏(出華嚴經隨疏演義鈔第五卷沙字函)
小乘三藏(出天台四教儀集註上卷未入藏)
三如來藏(出圓覺經畧疏上卷未入藏)
三藏詮三學(出四教義第五卷弊字函)
三經通別(出法華玄義第一卷下密字函)
法華三周(出法華玄義第七卷下勿字函)
蓮華三喻(出法華玄義第一卷上密字函)
三分科經(出法華文句第一卷上寔字函)
親光三分科經(出佛地經論第一卷節字函)
三善(出法華文句第三卷上寔字函)
三軌弘經(出法華經第四卷草字函并法華文句第八卷上更字函)
三涅槃(出金光明經玄義上卷會字函)
三般若(出金光明經玄義上卷會字函)
三大乘(出金光明經玄義上卷會字函)
三菩提(出金光明經玄義上卷會字函)
三菩提(出出生菩提心經羊字函)
三轉法輪(出法華文句第七卷下寧字函)
三法印(出法華玄義第八卷上勿字函)

三陀羅尼(出大智度論第二十八卷入字函)
三無礙(出大寶積經第十四卷師字函)
三德(出華嚴經疏第八卷用字函)
三德(出金光明經玄義上卷會字函)
翻三染成三德(出華嚴經隨疏演義鈔第四卷沙字函)
三解脫門(出法界次第中卷刑字函)
三無為(出俱舍論第一卷禽字函)
律有三名(出大藏一覽未入藏并華嚴經疏第一卷用字函)
三論(百論出造字函中論出箴字函十二門論出造字函)
三學(出翻譯名義第四卷示三學法篇)
三歸依(出法界次第中卷刑字函)
三三昧(出法界次第中卷刑字函)
三三昧(出成實論第十四卷舍字函)
三止(出止觀第五卷覇字函)
為三事故修奢摩他(出涅槃經第三十一卷鳴字函)
覺觀三種發相(出釋禪波羅蜜次第法門第四卷煩字函)

第六卷

貪欲三種發相(出釋禪波羅蜜次第法門第四卷煩字函)
瞋恚三種發相(出釋禪波羅蜜次第法門第四卷煩字函)
愚癡三種發相(出釋禪波羅蜜次第法門第四卷煩字函)
三種病相(出釋禪波羅蜜次第法門第四卷煩字函)
修定三障(出釋禪波羅蜜次第法門第四卷煩字函)
三慧(出成實論第二十卷舍字函)
三智(出觀音玄義下卷遵字函)
三智(出楞伽經第三卷惟字函)
三覺(出圓覺經畧疏上卷未入藏并起信論情字函)
三性(出楞嚴經第三卷羔字函)
三佛性(出華嚴孔目未入藏)
三因佛性(出金光明經玄義上卷會字函)
三自性(出顯揚聖教論第四卷分字函)
三無性(出成唯識論第九卷義字函)
三心(出宗鏡錄第八十九卷磻字函)
轉三心得三身(出宗鏡錄第八十九卷磻字函)
三種緣慈(出佛地經論第五卷即字函)
三種意生身(出楞伽經第三卷惟字函)
如意通有三種(出大智度論第五卷傳字函)
三通力(出華嚴經疏第三卷用字函)
三明(出雜阿含經第三十一卷虛字函)

三識(出楞伽經第一卷惟字函)
三識(出翻譯名義第六卷心意識法篇)
三識緣境廣狹(出宗鏡錄第三十六卷實字函并瑜伽師地論第五十一卷懷字函)
三種熏習(出華嚴孔目未入藏)
三種相(出成實論第十卷義字函)
三細相(出起信論情字函)
三大(出起信論疏未入藏)
三種身(出大乘五蘊論投字函)
三不可盡(出寶積經第十四卷師字函)
天台三觀(出金光明經玄義下卷會字函)
三種三觀(出宗鏡錄第三十五卷寶字函)
法界三觀(出華嚴法界觀跡字函)
圓覺三觀(出圓覺經畧疏下卷未入藏)
南山三觀(出止觀輔行第四卷魏字函)
三種觀法(出止觀義例下卷途字函)
毘婆舍那三行(出深密解脫經第三卷効字函)
為三事故修毘婆舍那(出涅槃經第三十一卷王字函)
三諦(出法華玄義第二卷下密字函)
三諦(出仁王護國般若經疏第三卷韓字函)
三假(出摩訶止觀第五卷下覇字函并輔行第五卷魏字函)
三空(出金剛經刊定記第一卷未入藏)
三懺(出天台四教儀集註未入藏)
三悔法(出天台四教儀集註未入藏)
三方便(出淨明經疏未入藏)
勝三修(出涅槃經第二卷寘字函)
劣三修(出涅槃經第二卷寘字函)
三漸次(出楞嚴經第八卷羔字函)
三科(出毘婆沙論第七卷都字函并阿毘達磨品類足論第二卷對字函)
三種至教(出顯揚聖教論第十一卷切字函)
三宗(出宗鏡錄第五卷策字函)
南中三教(出華嚴經疏第一卷用字函)
岌法師三教(出華嚴經疏第一卷用字函)
三等流(出宗鏡錄第七十一卷銘字函)
三忍(出華嚴經疏第八卷用字函)
三受(出雜阿含經第八卷谷字函)
三種無常(出順中論下卷情字函)
三支比量(出阿毘達磨雜集論第十六卷箴字函)

第七卷

三種圓滿安樂(出瑜伽師地論第四十一卷孔字函)
三義懽喜(出觀無量壽佛經妙宗鈔第六卷約字函)
三因(出佛性論第二卷匪字函)
三斷(出宗鏡錄第七十六卷銘字函)
三斷(出阿毘達磨品類足論第三卷對字函)
龍華一會(出法住記漆字函)
菩薩三修學(出菩薩瓔珞本業經上卷篤字函)
菩薩生兜率天三事勝(出涅槃經第三十二卷鳴字函)
三賢(出仁王護國般若經疏第五卷韓字函)
三種發心(出起信論情字函)
三不退(出觀無量壽佛經妙宗鈔第六卷約字函)
三處入法界(出華嚴經疏第七卷用字函)
文殊三名(出翻譯名義第一卷菩薩別名篇)
三人觀十二因緣(出涅槃經第二十七卷王字函)
阿羅漢三義(出翻譯名義第一卷三乘通號篇)
三迦葉(出法華文句第一卷下寔字函)
阿難三名(出翻譯名義第卷十大弟子篇)
聲聞三道(出天台四教儀集註未入藏)
結集三人(出付法藏因緣經第一卷集字函)
初果三結(出天台四教儀集註未入藏)
三餘(出華嚴經隨疏演義鈔第三卷沙字函)
三佛子(出華嚴經疏第七卷用字函)
三車(出法華經第二卷譬喻品草字函)
三乘(出法華經第二卷譬喻品草字函)
三乘觀門(出天台四教儀集註未入藏)
三田喻三種人(出涅槃經第三十三卷鳴字函)
三草(出法華文句第七卷寧字函)
三獸渡河(出天台四教儀會字函并法華玄義第八卷下勿字函)
比丘三義(出大智度論第三卷傅字函)
三種僧(出涅槃經第三卷賓字函)
律師三法(出善見毘婆沙徉第六卷禮字函)
三圓滿(出瑜伽師地論第八十五卷同字函)
沙彌三名(出翻譯名義第一卷七眾弟子篇)
三種天(出涅槃經第二十二卷王字函)
三界(出華嚴孔目未入藏)
三事人勝諸天(出大毘婆沙論第一百七十二卷爵字函)
閻浮提人三事勝餘三洲(出長阿含經第二十卷德字函)

三種人難報(出大毘婆沙論第六十六卷志字函)
太子三妃(出瑞應經并翻譯名義第三卷皇后篇未入藏)
三善知識(出摩訶止觀第四卷下覇字函)
三想(出大智度論第七十二卷姑字函)
三思(出華嚴經隨疏演義鈔第七十卷九字函)
三惡覺(出涅槃經第二十三卷王字函并宗鏡錄第八十一卷磻字函)
三報(出慈悲水懺中卷輔字函)
三業(出析玄記未入藏)
三福田(出優婆塞戒經第二卷定字函)
三福業(出增一阿含經第十二卷端字函)
三供養(出普賢行願疏未入藏)
三應供養(出增一阿含經第十二卷端字函)
三種示導(出大般若經第四百六十九卷崑字函)
三善道(出天台四教儀集註未入藏)
三種禮佛(出華嚴孔目未入藏)
三發心(出翻譯名義第五卷法寶眾名篇)
三發心(出釋氏要覽戒法篇)
三種發心(出觀無量壽佛經妙宗鈔第六卷約字函)
三種發菩提心(出起信論第三卷情字函)
三行(亦名三裡業出大智度論第八十八卷伯字函并正法念處經第五十五卷競字函)
三種清淨(出大智度論第七十三卷姑字函)
清淨三業(出瓔珞經第五卷詩字函)
三業供養(出法華文句第二卷下寔字函)
三種淨業(出觀無量壽佛經貞字函)
三施(出大智度論第十四卷訓字函)
三施(出華嚴經隨疏演義鈔第二卷沙字函)
三輪體空(出能斷金剛經論上卷虧字函并金剛經論上卷受字函)
三種不堅易三堅法(出本事經第七卷孝字函)
三聚戒(出菩薩戒義疏上卷何字函并法苑珠林第八十九卷世字函)
三事戒(出大寶積經第一百十七卷字字函)
滅有三義(出華嚴經隨疏演義鈔第五卷沙字函)
三種忍行(出諸經要集中卷英字函)
三種精進(出菩薩善戒經第五卷辭字函)
三種勝勇猛(出大乘莊嚴經論第一卷次字函)
三種定業輪(出地藏十輪經第二卷陶字函)
三勝學(出瑜伽師地論第二十八卷比字函)
三事無盡(出眾德三昧經第三卷化字函)

第八卷

三種證相不同(出法華懺儀輔字函)
三善根(出阿毘達磨集異門足論第三卷甲字函)
三樂(出大寶積經第一百一卷文字函)
三因三果(出瑜伽師地論第三十六卷兒字函)
龍有三患(出諸經要集第十二卷俠字函)
三種鬼神魔(出釋禪波羅蜜次第法門第四卷煩字函)
餓鬼三障(出瑜伽師地論第四卷猶字函)
三惡道(出天台四教儀集註未入藏)
三途對三毒(出慈悲水懺上卷輔字函)
三種惡(出成實論第十二卷舍字函)
三無明(出佛說决定義經簿字函)
三隨煩惱(出華嚴經隨疏演義鈔第四卷沙字函)
三顛倒(出宗鏡錄第四十二卷勒字函)
三毒(出法界次第上卷刑字函)
三縛(出華嚴孔目未入藏)
三病用三藥(出涅槃經第三十九卷鳴字函)
三病難治(出涅槃經第十一卷歸字函)
三惑(出天台四教儀集註未入藏)
三障(出涅槃經第十一卷歸字函)
三障(出華嚴孔目未入藏)
三種重障(出大乘瑜伽大教王經第五卷容字函)
三雜染(出顯揚聖教論第一卷分字函)
三時無悔(出天台四教儀集註未入藏)
欲界三欲(出翻譯名義第三卷世界篇)
三苦(出析玄記未入藏)
三漏(出法華文句記第一卷下晉字函)
三疑(出釋禪波羅蜜次第法門第二卷煩字函)
三退屈(出華嚴經隨疏演義鈔第二十九卷馳字函)
三道(出金光明經玄義二卷會字函)
湯泉三緣(出稽古畧第三卷未入藏)
三苦對三界(出天台四教儀集註未入藏)
三千世界(出長阿含經第十八卷聽字函)
三世(亦名三際出阿毘達磨集異門足論第三卷甲字函)
三世業(出大智度論第二十四卷入字函)
三種世間(出大智度論第四十七卷毋字函)
三種世間(出華嚴經疏第三卷用字函)
器世間說法有三義(出華嚴經疏第八卷用字函)

三才配三世間(出華嚴經隨疏演義鈔第一卷沙字函)
三相續(出楞嚴經第四卷羔字函)
三阿僧祇劫(出天台四教儀會字函)
三時(出南嶽祖師發願文起字函)
三際時(出華嚴經疏第一卷用字函并演義鈔第二十八卷馳字函)
三有(出菩薩善戒經第一卷辭字函并大智度論第三卷傅字函)
三種有(出大智度論第十二卷訓字函)
三境(出宗鏡錄第六十八卷剌字函)
三類境(出翻譯名義第六卷心意識法篇)
三量(出宗鏡錄第五十五卷碑字函)
由旬三量(出翻譯名義第三卷數量篇)
三種相(出大智度論第八十九卷伯字函)
三種相(出華嚴經隨疏演義鈔第六卷沙字函)
三種色(出五蘊論投字函)
三種色(出阿毘曇論第一卷弁字函)
三聚(出顯宗論第十五卷服字函)
三生(出華嚴經隨疏演義鈔第二卷沙字函)
三分別(出阿毘達磨雜集論第二卷磨字函)
三無差別(出華嚴經疏第三卷用字函)
妙行三因緣(出阿毘達磨大毘婆沙論第一百二十一卷堅字函)
三輩事佛(出分別經敬字函)
三種光明(出瑜伽師地論第十一卷子字函)
食三德(出涅槃經第一卷賓字函)
食三匙(出法苑珠林第四十二卷驅字函)
三淨肉(出十誦律第三十七卷終字函)
三不淨肉(出十誦律第三十七卷終字函)
三長物(出摩訶僧祇律第十卷職字函)
三衣名義(出翻譯名義第七卷沙門服相篇)
大三災(出法苑珠林第一卷高字函)
小三災(出法苑珠林第一卷高字函)

第九卷

四身(出成唯識論第十卷義字函)
化應身四句(出華嚴經隨疏演義鈔第四卷沙字函)
佛四德(出涅槃經第三十卷王字函)
身土四依(出華嚴經疏第十卷用字函)
佛四種希有(出金剛經纂要刊定記第三卷未入藏)
四無所畏(出大智度論第二十五卷入字函)
四等(出楞伽經第三卷惟字函)

世醫四法喻如來(出雜阿含經第五卷谷字函)
四方行七步(出佛本行集經第八卷父字函)
四門游觀(出佛本行集經第十四卷至第十五卷事字函)
出家四願(出普曜經第四卷大字函)
四滿成佛(出占察善惡業報經下卷景字函)
天上四塔(出佛成道記并佛本行集經第十三卷第十九卷事字函)
四處立塔(出法苑珠林第三十七卷輦字函)
四法(出大乘本生心地觀經第二卷興字函)
法四依(出法界次第下卷刑字函)
四法界(出華嚴法界觀門跡字函)
四藏(出大智度論第十一卷訓字函)
經含四義(出翻譯名義第四卷總明三藏篇)
講經四益(出金光明經第一卷化字函)
論藏華梵四名(出華嚴經疏第一卷用字函)
四一(出法華文句第四卷上寔字函)
四陀羅尼(出瑜伽師地論第四十五卷孔字函)
四種秘密(出阿毘曇雜集論第十二卷箴字函)
乘戒緩急四句(出華嚴經隨疏演義鈔第六卷沙字函)
四種瓔珞莊嚴(出大方等大集經第一卷位字函)
四種三昧(出摩訶止觀第二卷上覇字函)
四智(出成唯識論第十卷義字函)
四無礙智(出法界次第下卷刑字函)
智境四相(出圓覺經畧疏下卷未入藏)
四鏡(出起信論情字函)
四安樂行(出法華文句第八卷下寧字函)
四安樂行(出華嚴經疏第八卷用字函)
藏教生滅四諦(出天台四教儀集註未入藏)
通教無生四諦(出天台四教儀集註未入藏)
別教無量四諦(出天台四教儀集註未入藏)
圓教無作四諦(出天台四教儀集註未入藏)
四勝義諦(出成唯識論第九卷義字函)
四世俗諦(出瑜伽師地論第六十四卷兄字函)
四念處(出法界次第中卷刑字函)
四正勤(出法界次第中卷刑字函)
四正斷(出雜阿含經第三十一卷虛字函)
四如意足(出法界次第中卷刑字函)
四種方便(出起信論情字函)

第十卷

四悉檀(出法華文句第一卷上寔字函并法華玄義第一卷下密字函)
四攝利益(出大方等大集經第九卷位字函)
涅槃四種大樂(出大涅槃經第二十一卷樹字函)
四種涅槃(出成唯識論第十卷義字函)
華嚴四分(出法寶標目第四卷岱字函)
四種教授(出瑜伽師地論第二十七卷比字函)
四種授記(出菩提資粮論第三卷仁字函)
四種真實義(出菩薩善戒經第二卷辭字函)
四種對治(出阿毘達磨俱舍論第二十一卷飛字函)
同教說聽四句(出華嚴經疏第三卷用字函)
別教說聽四句(出華嚴經疏第三卷用字函)
起信四覺(出起信論情字函)
四德處(出成實論第二卷丙字函)
四法施(出寶積經第十三卷師字函)
四無記(出宗鏡錄第四十九卷勒字函)
賴耶四分(出翻譯名義第六卷心意識法篇)
四種意識(出宗鏡錄第三十六卷實字函)
識境四相(出金剛經論上卷虧字函)
四緣(出大智度論第三十二卷奉字函)
四相約位(出圓覺經畧疏下卷未入藏)
四種頌(出華嚴經疏第六卷用字函)
四聖言(出阿毘達磨集異門足論第十卷甲字函)
四種尋思(出阿毘達磨集論第六卷退字函)
真空觀四句(出華嚴經隨疏演義鈔第四十九卷舟字函)
共不共四變(出宗鏡錄第四十九卷勒字函)
四榮(出涅槃經第二卷賓字函并宗鏡錄第三十九卷實字函)
四枯(出涅槃經第二卷賓字函并宗鏡錄第三十九卷實字函)
四種性行(出佛本行集經第一卷父字函)
四不可說(出金光明經玄義拾遺記第二卷會字函)
翻譯四例(出翻譯名義第六卷唐梵字體篇)
阿難四問(出涅槃經後分上卷白字函)
化儀四教(出天台四教儀會字函)
化法四教(出天台四教儀會字函)
龍樹四教(出華嚴經隨疏演義鈔第六卷沙字函)
苑公四教(出華嚴經疏第二卷用字函)
曉公四教(出華嚴經疏第三卷用字函)
四不生(出中論第一卷箴字函)
四種問荅(出十生毘婆沙論第十卷境字函)

四病(出圓覺經畧疏下卷未入藏)
大四相(出大乘起信論疏未入藏)
小四相(出大乘起信論疏未入藏)
光宅四乘(出華嚴經疏第一卷用字函)
生公四輪(出華嚴經隨疏演義鈔第六卷沙字函)
文義四用(出法華文句記第二卷下寔字函)

第十一卷

四眾(出法華文句第二卷下寔字函)
四衍眾(出翻譯名義第一卷三乘通號篇并十種通號篇)
人四依(出法華玄義第五卷上密字函)
菩薩四事入於法門(出寶積經第十三卷師字函)
菩薩四淨(出菩薩善減經第九卷辭字函)
四種自在(出大乘莊嚴經論第五卷次字函)
四無所畏(出大智度論第五卷傳字函)
四事勝(出地持經第一卷安字函)
菩薩行有四難(出華嚴經疏第六卷用字函)
大乘四果(出大乘莊嚴經論第十二卷弗字函)
四種聲聞(出法華文句第四卷上寔字函)
聲聞四果(出金剛經疏會字函)
四向(出成實論第一卷丙字函并法華玄義第四卷上密字函)
羅漢四智(出涅槃經第三十六卷鳴字函)
四種變易(出成唯識論第八卷義字函)
四加行(出析玄記未入藏并楞嚴經第八卷羔字函)
滅盡定與無想定四義不同(出宗鏡錄第五十五卷碑字函)
四種沙門(出瑜伽師地論第二十九卷比字函)
四種僧(出地藏十輪經第五卷陶字函)
四種天(出大智度論第二十二卷入字函并涅槃經第二十一卷王字函)
四禪變化(出大智度論第六卷傳字函)
四天華梵(出法華文句第二卷寔字函)
帝釋四苑(出阿毘達磨大毘婆沙論第一百三十三卷持字函)
四輪王(出長阿含經第六卷習字函并阿毘達磨俱舍論第十二卷觀字函)
輪王四德(出樓炭經第一卷福字函)
四主(出法苑珠林第二卷高字函)
西域四姓(出翻譯名義第一卷釋等姓字篇并摩登伽經上卷慶字函)
四王生八子(出釋迦譜第六卷書字函)
四輩(出翻譯名義第一卷七眾弟子篇)
人四生(出法苑珠林第七十二卷纓字函)
四種人(出成實論第二卷丙字函)

四法不得菩提(出地持經第一卷安字函)
四人果報(出法苑珠林第六十九卷振字函)
四種業報(出法苑珠林第六十九卷振字函)
四報定不定(出法苑珠林第六十九卷振字函)
四有(出宗鏡錄第七十四卷銘字函)
四胎相(出阿毘達磨俱舍論第九卷樓字函)
五根有四事增上(出五事毘婆沙論上卷席字函)
四增盛(出阿毘達磨大毘婆沙論第一百一十三卷移字函)
四力(出地持經第一卷安字函)
四恩(出本生心地觀經第二卷興字函)
四恩(出釋氏要覽中卷恩孝篇未入藏)
四難(出法華文句第五卷上寔字函)
四事不可久保(出出曜經第二卷廣字函)
四不可得(出諸經要集第十三卷俠字函)
四山(出別譯雜阿含經第四卷衲字函)
四種死(出阿毘曇毘婆沙論第十五卷邑字函)

大明三藏法數總目卷上。

大明三藏法數總目卷下　　昆二

第十二卷

四僊避死(出出曜經第二卷廣字函)
四種死生(出別譯雜阿含經第四卷禍字函)
菩薩四心(出金剛經論弗字函)
四無量心(出法界次第上卷刑字函)
四種信心(出起信論情字函)
四緣發菩提心(出地持經第一卷安字函)
菩薩四法(出瑜伽師地論第四十七卷孔字函)
四種法為菩薩實德(出大寶積正法經忠字函)
四攝法(出法界次第下卷刑字函)
四法集善根(出大寶積正法經忠字函)
四善法(出涅槃經第十八卷歸字函)
菩薩四法門(出如來不思議祕密大乘經暎字函)
在家人四種具足法(出雜阿含經第四卷谷字函)
四弘誓(出止觀大意起字函)
四弘誓願(出法界次第下卷刑字函)
菩薩四弘誓(出陀羅尼雜集第三卷卿字函)

四梵福(出增壹阿含經第二十一卷表字函)
四法生福(出大寶積正法經忠字函)
入道四行(出正宗記并稽古畧未入藏)
四種觀行(出慈悲水懺中卷輔字函)
四事行(出阿難陀目佉尼訶離陀經莫字函)
四事供養(出增壹阿含經第十三卷端字函)
施有四事(出諸經要集第十卷路字函)
四施(出菩薩善戒經第一卷辭字函)
四種施處(出瑜伽師地論第二十五卷比字函)
四種施俱得淨報(出大涅槃經第二十二卷樹字函)
四戒(出華嚴孔目未入藏)
四種持戒(出雜阿毘曇心論第八卷皷字函)
四忍(出華嚴經隨疏演義鈔第五十卷[舟-(白-日)]字函)
四種定學(出成唯識論第九卷義字函)
四空處定(出法界次第上卷刑字函)
四種資粮(出瑜伽師地論第二十九卷比字函)
四種意趣(出阿毘達磨雜集論第十二卷箴字函)
四種作意(出瑜伽師地論第三十一卷兒字函)
四種念佛(出普賢行願記未入藏)
四種白法(出勝思惟梵天所問經論上卷弗字函)
四種法為善友(出大寶積正法經忠字函)
四法離魔道(出大寶積正法經忠字函)
四事先苦後樂(出增壹阿含經第二十一卷表字函)
四魔(出瑜伽師地論第二十九卷比字函)
外道四論(出瑜伽師地論第八十七卷同字函)
外道四見(出華嚴經疏第三卷用字函)
四韋陁(出摩登伽經上卷慶字函)
有無四句(出華嚴經疏第十六卷軍字函)
常等四句(出華嚴經疏第十六卷軍字函)
二異四句(出成唯識論第一卷義字函)
鳥四生(出起世因本經第五卷惡字函)
龍四生(出起世因本經第五卷惡字函)
阿脩羅四生(出楞嚴經第九卷羔字函)

第十三卷

四種法離菩薩行(出大寶積正法經忠字函)
四人有障(出究竟一乘寶性論第三卷性字函)
說法四謗(出華嚴經隨疏演義鈔第五十卷[舟-(白-日)]字函)
四識住(出寶積經第三十七卷帝字函)

有漏四種過失(出瑜伽師地論第五十六卷懷字函)
四無明(出宗鏡錄第七十四卷銘字函)
四種貪(出瑜伽師地論第二十六卷比字函)
四欲(出法苑珠林第二卷高字函)
四縛(出鞞婆沙論第二卷肆字函)
四流(出成實論第十二卷舍字函)
四取(出佛性論第三卷匪字函)
四障(出海意菩薩所問淨印法門經似字函)
四刼(出佛祖統紀未入藏)
四土(出觀無量壽佛經妙宗鈔第一卷約字函)
四土(出華嚴經疏第八卷用字函)
世界四持(出華嚴經疏第八卷用字函)
四輪持世界(出佛祖統紀未入藏)
四風輪(出華嚴經第五十卷育字函)
四大部洲(出長阿含經第十八卷聽字函)
日照四洲(出法苑珠林第四卷高字函)
世間四義(出析玄記未入藏)
依正四句(出華嚴經隨疏演義鈔第二卷沙字函)
舍衛四德(出翻譯名義第三卷諸國篇)
淨穢四句(出華嚴經疏第一卷用字函)
海底四寶(出華嚴經第五十一卷黎字函)
四河(出長阿含經第十八卷聽字函)
一境四心(出攝大乘論釋第四卷投字函)
通局四句(出華嚴經疏第一卷用字函)
四光喻智(出法華文句第五卷晉字函)
四事不可思議(出增壹阿含經第二十一卷表字函)
四種心(出翻譯名義第六卷心意識法篇)
四威儀(出菩薩善戒經第五卷辭字函)
息有四種相(出修習止觀坐禪法要上卷途字函)
四夢
四夢(出善見毘婆沙律第十二卷別字函)
四食(出華嚴經隨疏演義鈔第三十三卷馳字函)
四利湏食(出釋氏要覽上卷中食篇未入藏)
乞食四分(出寶雲經第六卷身字函)
四邪命食(出大智度論第三卷傅字函)
四食時(出法苑珠林第四十二卷驅字函)
行四依(出四分律藏第四十八卷甚字函)
四機(出法華文句第十卷下晉字函)

四種我(出圓覺經畧疏上卷未入藏)
四大(出圓覺經難字函)
四微(出金光明經文句記第四卷上盟字函)
四求(出法集經第一卷難字函)
四求不得(出大乘莊嚴經論第二卷次字函)
四不寄附(出優婆塞戒經第六卷定字函)
四不見(出圓覺經鈔未入藏)
四不成(出因明入正理論沛字函)
四種無(出涅槃經第三十九卷王字函)

第十四卷

四知(出佛說罵意經敬字函)
一名四實(出涅槃經第十卷賓字函)
四念珠(出金剛頂瑜伽念珠經澄字函)
懷胎死四(出出曜經第十卷廣字函)
四葬(出法苑珠林第九十七卷祿字函)
虹蜺四緣(出法集經第二卷難字函)
四兵(出長阿含經第六卷習字函)
四華(出翻譯名義第三卷百華篇)
四華(出法華文句第二卷下晉字函)
五種法身(出華嚴經隨疏演義鈔第三卷沙字函)
五教佛身(出華嚴一乘教義分齊章中卷跡字函)
五部教主(出大樂金剛不空三昧耶經澄字函并宗鏡錄第二十四卷茂字函)
佛觀五事降生(出過去現在因果經第一卷尺字函)
佛五姓(出釋氏要覽上卷姓氏篇未入藏)
佛有五事(出增壹阿含經第二十七卷表字函)
五不赴請(出根本說一切有部毘柰耶第二十一卷優字函)
如來五種說法(出思益梵天所問經第二卷傷字函)
五種甚深(出法華經論上卷虧字函)
五所依土(出圓覺經畧疏鈔未入藏)
五法(出楞伽經第一卷惟字函)
百法五位(出顯揚聖教論第一卷分字函)
五類說法(出華嚴經疏第一卷用字函)
經五義(出華嚴經疏第一卷用字函)
五人說經(出大智度論第二卷傅字函)
五種不翻(出翻譯名義第一卷序文)
華嚴五周因果(出華嚴經疏第二卷用字函)
華嚴五為(出華嚴經疏第二卷用字函)
五種般若(出金剛經纂要疏刊定記第二卷未入藏)

法華五重玄義(出法華玄義第一卷上密字函)
脩大涅槃得五事(出大涅槃經第二十二卷樹字函)
天台五時(出天台四教儀會字函)
五味(出大涅槃經第八卷賓字函)
五部律(出翻譯名義第四卷律分五部篇)

第十五卷

五攝論(出法寶標目第六卷岱字函)
五藏(出六波羅蜜多經第一卷馨字函)
五種藏(出華嚴經隨疏演義鈔第十三卷漠字函)
五覺(出起信論情字函)
五行(出涅槃經第十一卷歸字函)
五種菩提(出大智度論第五十三卷儀字函)
五種性(出天台四教儀會字函)
五性成佛(出華嚴經疏第一卷用字函)
寄位五相(出華嚴經隨疏演義鈔第二卷沙字函)
五品(出法華文句第十卷寔字函)
五停心(出天台四教儀會字函)
五忍(出仁王護國經上卷翔字函)
觀身五種不淨(出析玄記未入藏)
五蘊(亦名五陰出大乘廣五蘊論投字函)
五蘊實相(出大般若經第四百六十八卷崑字函)
五蘊喻(出方廣大莊嚴經第十二卷大字函)
轉五蘊成五分法身(出請觀音經疏法字函)
轉五蘊成三德(出攝大乘論隱字函)
色蘊有五種相(出顯揚聖教論第五卷分字函)
五受(出析玄記未入藏)
五根(出法界次第中卷刑字函)
五力(出法界次第中卷刑字函)
五識(出法界次第上卷刑字函)
五識(出起信論疏未入藏)
五通(出大智度論第五卷傅字函)
五種通(出宗鏡錄第十五卷功字函)
五神通(出菩薩處胎經第三卷悲字函)
五後得智(出攝大乘論釋連字函)
五輪三昧(出釋禪波羅蜜次第法門第三卷煩字函)
五因(出涅槃經第二十一卷王字函)
五種果(出顯揚聖教論第十八卷切字函)
現在五果(出華嚴經隨疏演義鈔第四十三卷[舟-(白-日)]字函)

解脫有五義(出華嚴經隨疏演義鈔第三十四卷譽字函)
賢首五教(出華嚴經疏第二卷用字函)
慧觀五教(出華嚴經疏第一卷用字函)
波頗五教(出華嚴經疏第一卷用字函)
劉虬五教(出華嚴經疏第一卷用字函)
不分教五意(出華嚴經疏第一卷用字函)

第十六卷

大乘五位(出華嚴經隨疏演義鈔第二十九卷馳字函)
菩薩有五種生(出菩薩地持經第八卷安字函)
菩薩有五種相(出大乘莊嚴經論第十三卷弗字函)
菩薩有五種自在(出大寶積經第六十八卷人字函)
五怖畏(出阿毘達磨大毘婆沙論第七十五卷滿字函)
小乘五位(出天台四教儀會字函)
初度五人(出翻譯名義第一卷度五比丘篇)
五種聲聞(出法華文句記第四卷上晉字函)
五性(出華嚴經隨疏演義鈔第五十三卷青字函)
五種阿那含(出涅槃經第三十六卷鳴字函)
五果回心(出大涅槃經第十一卷歸字函)
五分法身(出法華玄義釋籤多字函)
五論師(出翻譯名義第一卷宗釋論主篇)
五種法師(出法華文句第八卷寔字函)
五種阿闍黎(出四分律藏第三十四卷籍字函)
五種大師功德(出瑜伽師地論第七十卷兄字函)
五種僧(出顯宗論第二十卷殿字函)
僧五淨德(出諸德福田經彼字函)
芯蒻草五德(出翻譯名義第一卷七眾弟子篇)
比丘入眾五法(出四分僧羯磨下卷卑字函)
五眾(出翻譯名義第一卷七眾弟子篇)
乞食遮五處(出顯揚聖教論第七卷分字函)
沙門受食五觀(出大藏一覽集未入藏)
五種邪命(出大智度論第十九卷訓字函)
五法不得授人戒(出四分律藏第二十四卷籍字函)
五不退(出起信論疏未入藏)
五法退菩提(出涅槃經第二十八卷王字函)
五乘(出華嚴一乘教義分齊章上卷跡字函)
五乘(出華嚴一乘教義分齊章上卷跡字函)
五乘(出盂蘭盆經疏百字函)
五事生天上(出辯意長者子所問經當字函)

始生天有五種相(出正法念處經第三十九卷陰字函)
五淨居天(出楞嚴經第九卷羔字函)
初禪天定五支功德(出法界次第上卷刑字函)
三禪天定五支功德(出法界次第上卷刑字函)
欲天五[婬-壬+(工/山)](出天台四教儀集註未入藏)
五種梵音(出長阿含經第五卷習字函)
天大五衰相(出法苑珠林第五卷高字函)
天小五衰相(出法苑珠林第五卷高字函)
國王五種可愛樂法(出佛為優填王說王法政論經之字函)
生淨土五不退(出淨土十疑論刑字函)
五事生人中(出辯意長者子所問經當字函)
人有五苦(出法苑珠林第六十六卷振字函)
眾生五事恃怙(出出曜經第一卷廣字函)
第十七卷
五人非器(出華嚴經疏第二卷用字函)
五種不男(出法華文句記第七卷晉字函)
女有五障(出法華經第四卷草字函)
結胎五位(出析玄記未入藏)
五行(出圓覺經畧疏未入藏)
脩行五門(出起信論疏未入藏)
布施離五種法(出優婆塞戒經第五卷定字函)
施食獲五種報(出施食獲五福報經善字函)
施果感五不死(出付法藏因緣經第三卷集字函)
五戒(出增壹阿含經第十二卷端字函)
五戒配五常五行(出仁王經疏第二卷韓字函)
忍辱五種功德力(出法集經第三卷難字函)
脩忍五相(出菩薩善戒經第五卷辭字函)
說法五福德(出賢者五福德經當字函)
菩薩聽法五種想(出瑜伽師地論第四十四卷孔字函)
聽法五處不作異意(出瑜伽師地論第四十四卷孔字函)
五心(出宗鏡錄第四卷策字函)
治五種染(出華嚴經疏第二十六卷最字函)
脩淨土五念門(出觀無量壽經疏遵字函)
五種懺悔(出往生淨土决疑行願二法門輔字函)
懺悔五法(出圓覺經畧疏鈔未入藏)
五悔(出天台四教0儀會字函)
禮拜五功德(出增壹阿含經第二十四卷表字函)
內五法(出難提釋經慶字函)

五種善根發相(出修習止觀坐禪法要下卷途字函)
慈有五利(出檀持羅麻油述經行字函)
孝順五善根(出辯意長者子所問經當字函)
瞻病五德(出四分律藏第四十一卷甚字函)
五道(出正法念處經第四十八卷是字函)
方色喻五道(出圓覺經畧疏鈔未入藏)
五無間獄(出地藏菩薩本願經上卷斯字函)
龍五不能隱形(出因緣僧護經報字函)
破戒五過(出四分律藏第五十九卷無字函)
犯戒五衰(出釋氏要覽戒法篇未入藏)
五逆(出華嚴孔目未入藏)
五篇配五刑(出翻譯名義第七卷篇聚名報篇)
五見(出涅槃經第二十五卷王字函)
五結(出阿毘達磨集論第四卷退字函)
五上分結(出天台四教儀集註未入藏)
五下分結(出天台四教儀集註未入藏)
五住地惑(出華嚴經隨疏演義鈔第三十一卷譽字函)
五利使(出天台四教儀集註未入藏)
五鈍使(出天台四教儀集註未入藏)

第十八卷

五欲(出天台四教儀會字函)
五欲(出華嚴經隨疏演義鈔第二十七卷馳字函)
五蓋(出法界次第上卷刑字函)
五慳(出成實論第十二卷舍字函)
五苦(出析玄記未入藏)
五心裁(出成實論第十二卷合字函)
五妄想(出楞嚴經第十卷羔字函)
五散亂(出華嚴孔目未入藏)
土有五種(出華嚴經第七卷用字)
土體五重(出華嚴經隨疏演義鈔第十七卷漠字函)
大刼五喻(出大藏一覽未入藏)
末世五法令正法不滅(出十誦律第四十八卷宜字函)
末法五亂(出法苑珠林第九十八卷祿字函)
五五百年(出華嚴經隨疏演義鈔第十一卷漠字函)
依次五百年(出毘尼母律論第三卷唱字函)
五濁(出法苑珠林第九十八卷祿字函)
日行五風(出起世因本經第十卷惡字函)
世間五種難得寶(出四分律藏第四十卷籍字函)

五種眷屬(出法華玄義第六卷密字函)
五精舍(出翻譯名義第七卷寺塔壇幢篇)
五種結界相(出善見毘婆沙律第十七卷別字函)
掃地五種勝利(亦名掃地五德出根本說一切有部毘奈耶雜事第十四卷甘字函)
五體(出華嚴經隨疏演義鈔第三十二卷譽字函)
出世五食(出華嚴經疏第十九卷軍字函)
五種淨食(出根本說一切有部毘奈耶雜事第三十六卷去字函)
五種淨肉(出楞嚴會解未入藏)
五種不應施(出法苑珠林第八十一卷世字函)
五果(出翻譯名義第三卷五果篇)
五辛(出梵網經下卷安字函)
五明(出華嚴經隨疏演義鈔第五十八卷青字函)
五眼(出大智度論第三十三卷奉字函)
五夢法(出華嚴經隨疏演義鈔第五十一卷青字函)
五奇特夢(出過去現在因果經第一卷尺字函)
五種樂(出華嚴經隨疏演義鈔第十三卷漠字函)
五位無心(出成唯識論第七卷義字函)
洗浴五利(出十誦律第三十七卷終字函)
五不應荅(出法苑珠林第二十四卷陪字函)
五力不可到(出諸經要集第十九卷俠字函)
五力難判(出宗鏡錄第四十八卷勒字函)
五種比量(出顯揚聖教論第十一卷切字函)
五種色法(出華嚴經隨疏演義鈔第四十六卷[舟-(白-日)]字函)
五塵(出法界次第上卷刑字函)
隣虛五塵(出決定藏論下卷性字函)

第十九卷

婆伽梵六義(出佛地經論第一卷節字函)
如來勝德六義(出阿毘達磨雜集論第一卷磨字函)
如來功德六種相(出瑜伽師地論第七十四卷弟字函)
六即佛(出觀無量壽佛經疏妙宗鈔第一卷約字函)
六念法(出別譯雜阿含經第九卷禍字函)
六慧法(出菩薩瓔珞本業經上卷篤字函)
六堅法(出菩薩瓔珞本業經上卷篤字函)
六忍法(出菩薩瓔珞本業經上卷篤字函)
六受法(出大集法門經下卷薄字函)
六觀法(出菩薩瓔珞本業經上卷篤字函)
六行觀(出釋禪波羅蜜次第法門第二卷煩字函)

法華六瑞(出妙法蓮華經文句第二卷寔字函)
妄盡還源觀六門(出華嚴奧旨妄盡還源觀跡字函)
六事明經意(出五苦章句經當字函)
六離合釋(出華嚴經隨疏演義鈔第二十五卷馳字函)
六種本迹(出宗鏡錄第七十卷刻字函)
六成就(出華嚴經疏第三卷用字函)
六事成就(出莊嚴經論第十二卷弗字函)
六度(亦名六波羅蜜出六度集經第一卷萬字函)
六妙門(出法界次第上卷刑字函)
六神通(出法界次第中卷刑字函)
六聚戒名義(出翻譯名義第七卷篇聚名報篇)
六種性(出菩薩瓔珞本業經上卷篤字函)
六相(出華嚴一乘教義分齊章下卷跡字函)
六因(出大智度論第三十二卷奉字函)
六種因(出大乘入楞伽經第二卷養字函)
六種調伏(出菩薩善戒經第三卷辭字函)
種子識六義(出成唯識論第二卷義字函)

第二十卷

六輪對位(出菩薩瓔珞本業經上卷篤字函)
六種住(出菩薩地持經第二卷安字函)
六種决定(出大乘莊嚴經論第十二卷弗字函)
六種攝(出菩薩地持經第八卷安字函)
六種阿羅漢(出法華玄義第四卷密字函)
六法師(出大智度論第五十六卷儀字函)
六和敬(出法界次第下卷刑字函)
六羣比丘(出十住毘婆沙論第四卷規字函)
三寶有六義(出諸經要集第一卷路字函)
六欲天(出楞嚴經第八卷羔字函)
六界聚(出中阿含經第二十一卷德字函)
六難(出涅槃經第二十三卷王字函)
父六親(出善見毘婆沙律第十四卷別字函)
母六親(出善見毘婆沙律第十四卷別字函)
人死六驗(出諸經要集第十九卷俠字函)
廣六度行(亦名六德之行出成具光明定意經彼字函)
六種戒(出瑜伽師地論第四十二卷孔字函)
六齋日(出四天王經孝字函)
六種巧方便(出菩薩地持經第六卷安字函)
思脩六意(出攝大乘論隱字函)

六種意樂(出攝大乘論隱字函)
起塔有六意(出華嚴經疏第十九卷軍字函)
六法令他懽喜(出根本說一切有部毘奈耶雜事第三十五卷去字函)
外道六師(出陀羅尼集經忘字函)
六苦行外道(出大涅槃經第十六卷歸字函)
六道(出法華文句第四卷下寔字函)
六蔽心(出大智度論第三十三卷奉字函)
六染心(出起信論情字函)
六著心(出華嚴經隨疏演義鈔第三十卷馳字函)
六相應想(亦名六想出大集法門經下卷薄字函)
六種散亂(出阿毘達磨雜集論第一卷磨字函)
六麤相(出起信論上卷情字函)
六種俱生惑(出大乘百法明門論沛字函)
六欲(出釋禪波羅蜜次第法門第九卷煩字函)
六煩惱(出瑜伽師地論第五十五卷懷字函)

第二十一卷

六觸生愛(出阿毘達磨發智論第三卷傍字函)
六垢法(出顯宗論第二十七卷盤字函)
六漏(出大乘阿毘達磨雜集論第三卷磨字函)
依正無礙六句(出華嚴經疏第一卷用字函)
六種震動(出華嚴經疏第六卷用字函)
六種動相(出大智度論第八卷傅字函)
六根(出楞嚴經第四卷羔字函)
六根功德(出楞嚴經第四卷羔字函)
六根互用(出楞嚴經第四卷羔字函)
龜藏六(出法句譬諭經第二卷亦字函)
六識(出法界次第初門上卷刑字函)
六種味(出阿毘達磨俱舍論第一卷樓字函)
六入(出法界次第初門上卷刑字函)
六塵(出涅槃經第二十三卷三字函)
六種力(出增壹阿含經第三十一卷正字函)
六種夢(出華嚴經隨疏演義鈔第五十卷[舟-(白-日)]字函)
六種身風(出顯宗論第二十九卷盤字函)
捨由六緣(亦名捨心由六出俱舍論第十五卷觀字函)
六種論(出瑜伽師地論第十五卷子字函)
僧用六物(出摩訶僧祇律攝字函)
七佛(出翻譯名義第一卷諸佛別名篇)
婆伽婆七義(出涅槃經第十八卷歸字函)

如來七勝事(出優婆塞戒經第三卷定字函)
七種無上(出菩薩地持經第三卷安字函)
如來有七種語(出涅槃經第三十五卷鳴字函)
周行七步(出涅槃經第四卷賓字函)
華嚴七處說(出華嚴隨疏演義鈔第十卷沙字函)
華嚴經題七字義(出華嚴經疏第三卷用字函)
觀心釋華嚴經題七字(出華嚴經疏第三卷用字函)
七種立題(出天台四教儀集註上卷未入藏)
法華七喻(出法華文句)
火宅喻(出第五卷下寔字函)
窮子喻(出第六卷下寔字函)
藥草喻(出第七卷上寔字函)
化城喻(出第七卷下寔字函)
衣珠喻(出第八卷上寔字函)
髻珠喻(出第九卷上寔字函)
醫子喻(出第九卷下寔字函)

第二十二卷

七處徵心(出楞嚴經第一卷羔字函)
大乘七種大義(出大乘莊嚴經論第十二卷弗字函)
大乘七善(出法華文句第三卷寔字函)
七種性自性(出入楞伽經第一卷鞠字函)
七空(出入楞伽經第一卷鞠字函)
七種第一義境界(出入楞伽經第一卷鞠字函)
七真如(出瑜伽師地論第七十七卷弟字函)
七常住果(出楞嚴經第四卷羔字函)
七辯(出華嚴經疏第十二卷軍字函)
七種定名(出翻譯名義第四卷止觀三義篇)
七方便(亦名七賢出天台四教儀集註中卷)
七覺分(出法界次第初門中卷刑字函)
七知(亦名大乘七丈夫出涅槃經第十四卷歸字函)
七淨花(出翻譯名義第五卷增數譬喻篇)
七財(出十誦律第四十九卷宜字函)
藏教七階(出天台四教儀集註中卷)
菩薩七相憐愍(出瑜伽師地論第四十七卷孔字函)
菩薩有七種大(出菩薩地持經第六卷安字函)
善友七事(出華嚴經疏第十七卷軍字函)
小乘七種聖(又名七士夫亦名七丈夫出天台四教儀集註上卷)
七流(出華嚴孔目未入藏)

華嚴宗七祖(出佛祖統紀第三十卷未入藏)
七識住(出阿毘曇論第四卷驚字函)
七眾(出仁王護國般若波羅蜜經下卷翔字函)
七種人(出涅槃經第三十二卷鳴字函)
世間七丈夫(出華嚴經疏第十九卷軍字函)
七法不可避(出法苑珠林第六十九卷振字函)
七種不淨(出天台四教儀集註上卷)

第二十三卷

七種禮佛(出法苑珠林第二十卷冠字函)
七種懺悔心(出慈悲水懺上卷輔字函)
七周行慈(出天台四教儀集註上卷)
外道七種無常(出入楞伽經第四卷鞠字函)
七見(出華嚴孔目未入藏)
七有(出長阿含十報法經上卷因字函)
七遮罪(亦名七逆罪出梵網經下卷安字函)
七聚(出翻譯名義第七卷篇聚名報篇)
七支(出法界次第初門上卷刑字函)
七垢(出瑜伽師地論第七十四卷弟字函)
七種慢(出楞嚴經第九卷羔字函)
慳法七報(出成實論第十二卷舍字函)
七隨眠(亦名七使出阿毘達磨大毘婆沙論第五十卷守字函)
輪王七寶(出修行本起經上卷尺字函)
七寶(出翻譯名義第三卷七寶篇)
七寶(出翻譯名義第三卷七寶篇)
七金山(出翻譯名義第三卷眾山篇)
七海(出法集名數經則字函)
七大(出楞嚴經第三卷羔字函)
地動七因(出華嚴經疏第六卷用字函)
七難(出觀音玄義上卷遵字函)
七灾難(出仁王護國般若波羅蜜經下卷翔字函)
七種受胎(出善見毘婆沙律第六卷禮字函)
七種生死(出翻譯名義第六卷除入界法篇)
七日輪出(出法苑珠林第一卷高字函)
法沒時七穢行(出出曜經第七卷廣字函)

第二十四卷

如來八相(出釋迦譜第一卷書字函)
八大自在我(出涅槃經第二十三卷王字函)
八音(出法界次第初門下卷刑字函)

八支語(出顯揚聖教論第十二卷切字函)
八分分如來舍利(出涅槃經後分下卷白字函)
八大靈塔(出八大靈塔名號經臨字函)
八藏(出華嚴經隨疏演義鈔第四卷沙字函)
八藏(出處胎經第五卷悲字函)
八部般若(出般若經)
大品般若(天字函至柰字函)
小品般若(鱗字函)
放光般若(菜字函至芥字函)
光讚般若(河字函)
道行般若(淡字函)
金剛般若(羽字函下)
勝天王般若(羽字函上)
文殊般若(翔字函)
八還辨見(出萬行首楞嚴經第二卷羔字函)
涅槃八味(出方等般泥洹經第二卷白字函)
大海八不思議喻涅槃(出涅槃經第三十二卷鳴字函)
八背捨(亦名八解脫出釋禪波羅蜜次第法門第十卷煩字函)
八勝處(出釋禪波羅蜜次第法門第十卷煩字函)
八正道(出法界次第初門中卷刑字函)
八智(出四教儀集註)
八念(出大智度論第二十一卷入字函)
大人八念(出中阿含經第十八卷聖字函)
八覺(出華嚴經疏第十三卷軍字函)
八忍(出四教儀集註)
八大人覺(出佛遺教經論疏節要跡字函)
八識(出宗鏡錄第四十七卷勒字函)
八識緣境廣狹(出宗鏡錄第三十六卷實字函)
八義證有本識(出瑜伽師地論第五十一卷懷字函)
八犍度(出八犍度論第二卷彩字函)
立頌八意(出華嚴經疏第五卷用字函)

第二十五卷

八成立因(出阿毘達磨雜集論第十六卷箴字函)
八法(出首楞嚴經義海第十四卷頗字函)
八種喻(出涅槃經第二十九卷王字函)
八種異熟因果(出華嚴經第二十六卷章字函)
菩薩八種因果(出地持經第一卷安字函)
八種變化(出法界次第初門下卷刑字函)

八種言(出瑜伽師地論第八十一卷同字函)
阿難八不思議(出涅槃經第四十卷鳴字函)
阿難具八法(出涅槃經第四十卷鳴字函)
尼八敬戒(出翻譯名義引會正記第一卷七眾弟子篇)
尼八棄戒(出楞嚴義海第二十一卷牧字函)
八定(出釋禪波羅蜜次第法門第五卷煩字函)
凡小八倒(出涅槃經第二卷賓字函)
八位胎臟(出法苑珠林第六十九卷振字函)
聞經八種功德(出大莊嚴經第十二卷四字函)
八關齋戒(出大毘婆沙論第七卷心字函)
春秋八王日(出法苑珠林引提謂經第八十八卷世字函)
八種人起塔(出翻譯名義第七卷寺塔壇幢篇)
八福田(出梵網經下卷安字函)
八福田(出教乘法數未入藏)
八福生處(出瑜伽師地論第十五卷子字函)
八部鬼眾(出翻譯名義第二卷八部篇)
八熱地獄(出顯宗論第十二卷殿字函)
八寒地獄(出翻譯名義第二卷地獄篇)
八憍配八鳥(出法華文句第六卷上寔字函)
八難(出維摩詰所說經上卷方字函)
八苦(出涅槃經第十二卷歸字函)
八不正見(出大集經第二十六卷國字函)
八妄想(出宗鏡錄第七十六卷銘字函)
八部(出翻譯名義第二卷八部篇)
地動八緣(出增壹阿含經第三十七卷正字函)
珠寶八功德(出正法念處經第二卷非字函)

第二十六卷

八功德水(出稱讚淨土佛攝受經貞字函)
八風(亦名八法出佛地經論第五卷節字函)
八種粥(出十誦律第二十六卷慎字函)
八不淨物(出華嚴經隨疏演義鈔第三十九卷譽字函)
八依(出瑜伽師地論第五十卷孔字函)
佛具九惱(出大智度論第九卷傅字函)
大乘九部(出大智度論第三十三卷奉字函)
華嚴九會說(出華嚴經隨疏演義鈔第十卷沙字函)
九種大禪(出地持經第五卷安字函)
九次第定(出法界次第初門中卷刑字函)
九識(出宗鏡錄第四卷策字函)

九緣生識(出成唯識論第二卷至第五卷義字函)
如來藏九喻(出究竟一乘寶性論第一卷性字函)
金剛九喻(出能斷金剛經論釋下卷虧字函)
小乘九部(出大智度論第三十三卷奉字函)
菩薩修行九種差別(出大莊嚴經論第六卷慈字函)
九病(出長阿含經第六卷習字函)
九種橫死(出藥師經惟字函)
九住心(出大莊嚴經論第七卷慈字函)
第二十七卷
九齋日(出四天王經孝字函)
外道計九物生世間(出華嚴經隨疏演義鈔第九卷沙字函)
九種轉變(出入楞伽經第三卷鞠字函)
鬼分九類(出阿毘達磨順正理論第三十一卷洛字函)
九心成輪(出宗鏡錄第四卷策字函)
九結(出阿毘達磨集論第七卷退字函)
三界九地(出釋氏要覽中卷界趣篇)
九想(出釋禪波羅蜜次第法門第九卷煩字函)
九種食(出增壹阿含經第四十一卷空字函)
九淨肉(出涅槃經第四卷賓字函)
如來十身(出華嚴教門指掌未入藏)
十號(出佛說十號經盡字函)
如來十力(出大智度論第二十四卷入字函)
佛十無礙(出華嚴經隨疏演義鈔第三卷沙字函)
佛十種化不失時(出華嚴經第四十六卷育字函)
說徧十處(出華嚴經隨疏演義鈔第三卷沙字函)
如來十恩(出華嚴經隨疏演義鈔第二十三卷馳字函)
佛十宿緣(出興起行經上下二卷當字函)
十種見佛(出華嚴經疏第三十五卷精字函)
融三世間十身(出華嚴經疏第一卷用字函)
第二十八卷
十種佛(出華嚴經第五十三卷黎字函)
華嚴十類經(出華嚴經疏第三卷用字函)
十種教體(出華嚴經疏第二卷用字函)
教起十因(出華嚴經疏第一卷用字函)
教起十緣(出華嚴經疏第一卷用字函)
教被十機(出華嚴經疏第二卷用字函)
十宗[(冰-水+丨)*攵]教(出華嚴經疏第三卷用字函)
玄門無礙十因(出華嚴經疏第二卷用字函)

十玄門(出華嚴經隨疏演義鈔第一卷沙字函)
緣起十義(出華嚴經疏第二卷用字函)
十妙(出法華經玄義)
境妙(出第二卷上)
智妙(出第三卷下)
行妙(出第三卷下)
位妙(出第四卷下)
法妙(出第五卷下已上並密字函)
感應妙(出第六卷上)
神通妙(出第六卷上)
說法妙(出第六卷上)
眷屬妙(出第六卷下)
利益妙(出第六卷下已上並勿字函)
十不二門(出法華玄義釋籤第七卷下多字函)
十乘(出摩訶止觀)
觀不思議境(出第五卷上)
發真正菩提心(出第五卷上)
善巧安心(出第五卷中已上並覇字函)
破法徧(出第六卷上)
識通塞(出第七卷下)
道品調適(出第七卷下)
對治助開(出第七卷下)
知位次(出第八卷上)
安忍(出第八卷上)
離法愛(出第八卷上已上並趙字函)
十境(出摩訶止觀)
陰境(出第五卷上覇字函)
煩惱境(出第八卷上)
病患境(出第八卷上)
業相境(出第八卷下)
魔事境(出第八卷下)
禪定境(出第九卷上)
諸見境(出第十卷已上並趙字函)
慢境(出第五卷上)
二乘境(出第五卷上)
菩薩境(出第五卷上已上並覇字函)
十如是(出法華玄義第二卷上密字函)
第二十九卷

十普門(出觀音玄義下卷遵字函)
十雙貼釋觀音普門(出觀音玄義上卷遵字函)
順流十心(出摩訶止觀第四卷上覇字函)
逆流十心(出摩訶止觀第四卷上覇字函)
理事無礙十門(出華嚴經疏第二卷用字函)
十門釋經(出華嚴經疏第一卷用字函)
十波羅蜜(出華嚴經第三十七卷愛字函)
十種智(出華嚴經第十六卷平字函)
十種智明(出華嚴經第五十四卷黎字函)
十種通(出華嚴經疏第三十一卷精字函)
十徧處定(出法界次第初門下卷刑字函)
十種修三昧法(出大集賢護經第五卷罪字函)
十種行觀一切法(出華嚴經第十六卷平字函)
十種忍(出華嚴經指掌未入藏)
十種不思議法(出菩薩藏正法經第七卷如字函)
十無盡句(出華嚴經疏第二十三卷最字函)
十種因(出瑜伽師地論第五卷猶字函)
十想(出大智度論第二十三卷入字函)

第三十卷

十門敘蜜呪功德深廣(出顯密圓通成佛心要集下卷封字函)
十無盡藏(出華嚴經第二十一卷章字函)
大乘十喻(出法界次第初門下卷刑字函)
性虛空十義(出宗鏡錄第六卷策字函)
永喻真心有十義(出宗鏡錄第七卷策字函)
海印三昧有十義(出宗鏡錄第十八卷功字函)
十法界(出佛祖統紀第五十一卷)
菩薩修十法見涅槃(出涅槃經第三十一卷鳴字函)
修十種善法如師子王(出寶雨經第五卷此字函)
菩薩修十種得地三昧(出寶雨經第三卷此字函)
菩薩修十種念處(出除盖障菩薩所問經第十三卷溫字函)
十受生藏(出華嚴經第七十四卷臣字函)
十金剛心(出華嚴經第五十五卷黎字函)
十種自在(出華嚴經第三十八卷愛字函)
日喻菩薩十種善法(出寶雨經第五卷此字函)
月喻菩薩十種善法(出除盖障菩薩所問經第七卷溫字函)
海導師喻菩薩十種善法(出除盖障菩薩所問經第八卷溫字函)
水喻菩薩十種善法(出除盖障菩薩所問經第五卷溫字函)

第三十一卷

蓮花喻菩薩十種善法(出除盖障菩薩所問經第八卷溫字函)
火喻菩薩十種善法(出除盖障菩薩所問經第五卷溫字函)
十信(出楞嚴經第八卷羔字函)
十住(出楞嚴經第八卷羔字函)
妙高十義喻十住菩薩行(出華嚴經疏第十二卷軍字函)
十行(出楞嚴經第八卷羔字函)
十廻向(出楞嚴經第八卷羔字函)
十地(出楞嚴經第八卷羔字函)
十地斷障證真(出華嚴經疏第二十三卷至二十九卷最字函)
十地寄乘(出華嚴經疏第二十四二十五卷最字函)
十地寄報(出華嚴經第三十四卷愛字函)
十山王(出華嚴經疏第四十四卷宣字函)
大海十相(出華嚴經疏第四十四卷宣字函)
通教十地(出天台四教儀會字函)
十大弟子(出翻譯名義第一卷十大弟子篇)
法師十德(出華嚴經疏第四十三卷宣字函)
十科(出續高僧傳佐時阿三函)
翻譯(出第一卷至第三卷)
解義(出第四卷至第七卷)
習禪(出第八卷至第十三卷)
明律(出第十四卷至十六卷)
感通(出第十八卷至第二十二卷)
遺身(出第二十三卷)
讀誦(出第二十四卷至第二十五卷)
護法(出第十七卷)
興福(出第二十六卷至第二十八卷)
雜科(出第二十九卷至第三十卷)
十種補特伽羅(出地藏十輪經第五卷陶字函)
第三十二卷
長者十德(出翻譯名義第二卷長者篇)
菩薩十施(出華嚴經第二十一卷章字函)
布施十種利益(出月燈三昧經第七卷女字函)
菩薩十戒(出華嚴經第二十一卷章字函)
菩薩十戒(出梵網經下卷安字函)
大論十種戒(出大智度論第二十二卷入字函)
沙彌十戒(出沙彌十戒法婦字函)
持戒十種利益(出月燈三昧經第七卷女字函)
十善(出法界次第初門上卷刑字函)

每月十齋日(出法苑珠林第八十八卷世字函)
十忍(出仁王護國般若經疏第三卷韓字函)
慈忍十種利益(出月燈三昧經第七卷女字函)
精進十種利益(出月燈三昧經第七卷女字函)
禪定十種利益(出月燈三昧經第七卷女字函)
坐禪人十種行(出解脫道論第四卷階字函)
般若十種利益(出月燈三昧經第七卷女字函)
聞經十益(出華嚴經疏第一卷用字函)
多聞十種利益(出月燈三昧經第七卷女字函)
十法行(出辯中邊論下卷靜字函)
十種行願(出華嚴普賢菩薩行願品第四十卷遐字函)
十度各三行(出成唯識論第九卷義字函)
十種有依行輪(出地藏十輪經第六卷陶字函)
十種發心(出華嚴經隨疏演義鈔第二十四卷馳字函)
十念(出諸經要集第三卷路字函)

第三十三卷

念佛十種心(出大寶積經第九十二卷制字函)
十種方便(出晉譯華嚴經第四十一卷道字函)
十行偃(出楞嚴經第八卷羔字函)
十魔(出華嚴經隨疏演義鈔第二十九卷馳字函)
十種鬼(出楞嚴經第八卷羔字函)_
十纏(出翻譯名義第六卷煩惱惑業篇)
十使(出法界次第初門上卷刑字函)
十惡(出法界次第初門上卷刑字函)
十習因(出楞嚴經第八卷羔字函)
十種見(出瑜伽師地論第八卷猶字函)
十惡果報(出華嚴經第三十五卷愛字函)
十不增長業(出瑜伽師地論第九卷猶字函)
十種說三世(出華嚴經第五十三卷黎字函)
粥有十利(出摩訶僧祇律第二十九卷從字函)
飲酒十過(出四分律藏第六十卷無字函)
食肉十過(出法苑珠林第九十三卷祿字函)
十大數(出華嚴經第四十五卷育字函)
佛十一持(出華嚴經第五十三卷黎字函)
月有十一事喻如來(出大涅槃經第三十卷王字函)
師子吼為十一事(出涅槃經第二十七卷王字函)
十一智(出大般若經第三卷天字函)
十一善(出成唯識論第六卷義字函)

合九十五種外道為十一宗(出華嚴經隨疏演義鈔第九卷沙字函)
十一色(出大乘廣五蘊論投字函)
十一聲(出華嚴經隨疏演義鈔第八卷沙字函)
藥師如來十二大願(出藥師如來本願功德經惟字函)
第三十四卷
十二分經(亦名十二部經出大智度論第三十三卷奉字函)
十二因緣(出天台四教儀會字函)
十二入(出法界次第初門上卷刑字函)
十二頭陀行(出十二頭陀經羊字函)
十二惡律儀(出雜阿毘曇心論第三卷皴字函)
十二妄想(出楞伽阿跋多羅寶經第二卷惟字函)
十二隨眠(出眾事分阿毘曇論第三卷陞字函)
十二類生(出楞嚴經第七卷羔字函)
十三事法(出教乘法數未入藏)
日冷十三緣(出長阿含經第二十二卷禍字函)
十四無畏(出楞嚴經第六卷羔字函)
念誦忌十五地(出一字佛頂輪王經第二卷克字函)
十五種無明(出鞞婆沙論第二卷肆字函)
十六觀門(出觀無量壽佛經貞字函)
十六特勝(出法界次第初門上卷刑字函)
十六大力(出三昧弘道廣顯定意經第二卷綉字函)
第三十五卷
十六知見(出大智度論第三十五卷奉字函)
十六大阿羅漢(出難提蜜多羅所說法住記第四卷漆字函)
十六遊增地獄(出諸經要集第十八卷俠字函)
大乘修多羅有十七名(出妙法蓮華經優婆提舍論上卷虧字函)
十八不共法(出法界次第初門下卷刑字函)
十八空(出大智度論第三十一卷奉字函)
十八界(出法界次第初門上卷刑字函)
十八學人(出天台四教儀集註)
十八支(出法界次第初門上卷刑字函)
二十重華藏莊嚴世界海(出華嚴經第九卷拱字函)
二十諸天(出諸天傳未入藏)
二十空(出大般若經第四十七卷宇字函)
二十種小乘外道涅槃(出提婆菩薩釋楞嚴經中外道小乘涅槃論逸字函)
二十種煩惱隨眠(出瑜伽師地論第五十九卷懷字函)
二十種煩惱現行(出瑜伽師地論第五十九卷懷字函)
二十種隨煩惱(出華嚴經隨疏演義鈔第二十三卷馳字函)

二十難(出四十二章經璧字函)

第三十六卷

二十五圓通(出楞嚴經第六卷羔字函)

二十五護戒神(出法苑珠林第八十八卷世字函)

二十五有(出天台四教儀會字函)

二十五三昧破二十五有(出法華玄義第四卷密字函)

二十五種外道冥諦(出華嚴經隨疏演義鈔第九卷沙字函)

二十八天(出天台四教儀會字函)

二十八宿(出法苑珠林第四卷高字函)

三十一色(出翻譯名義第三卷顯色篇)

如來三十二相(出法界次第初門下卷刑字函)

三十二應(出楞嚴經第六卷羔字函)

三十四心斷結(出天台四教儀集註)

三十六物(出華嚴經隨疏演義鈔第三十卷馳字函)

第三十七卷

三十七道品(出法界次第初門中卷刑字函)

四十二字門(出華嚴經第七十六卷臣字函)

四十八願(出大彌陀經上卷貞字函)

善財五十三叅(出華嚴經第六十二卷至八十卷首臣二函)

六十二見(出涅槃經第二十五卷王字函)

佛六十四種梵音(出不思議祕密大乘經第七卷英字函)

第三十八卷

小乘七十五法(出圓覺經疏畧鈔)

八十隨形好(出華嚴經隨疏演義鈔第三十三卷譽字函)

八十一品思惑(出天台四教儀集註)

八十八使(出天台四教儀集註)

九十八使(出天台四教儀集註)

大乘百法(出大乘百法明門論沛字函)

百八三昧(出大智度論第四十七卷毋字函)

一百八法明門(出佛本行集經第六卷父字函)

百八煩惱(出天台四教儀集註)

千二百五十人(出過去現在因果經第四卷尺字函)

八萬四千塵勞(出華嚴孔目)

八萬四千法門(出賢劫經第二卷恃字函)

大明三藏法數提綱

大明三藏法數卷第一　　昆三

一心(出華嚴經)
一心者一念之心也心性周徧虛徹靈通散之則應萬事斂之而成一念是故若善若惡若聖若凡無不皆由此心以心本具萬法而能成立眾事經云三界無別法惟是一心作是也(三界者欲界色界無色界也)。
一心約教有異(出華嚴一乘教義分齊章)
謂賢首祖師一宗判教有五盖小教假四諦而說心得悟解始教約第八識心了一切緣生之法皆空各無自性而受異熟之果終教言恒沙一切性妙功德具於如來藏心頓教即於一念不生之心無染無淨頓顯理性圓教主伴圓融法法無礙一即一切一切即一卷舒自在總該萬有然教雖有五而不出一心是名一心約教有異(第八識即藏識也異熟果者如以前世善惡之業為因而成今世善惡之果以其異生而熟故名異熟也)。
一善心(出涅槃經)
心即以根對塵所起一念之心也若起一念惡即消滅眾善若起一念善即破除眾惡故經云脩一善心破百種惡是也。
一人(出仁王護國經)
一人者佛也佛本於人中得道故亦稱人世間出世間最尊最勝故名一人經云三賢十聖住果報惟佛一人居淨土是也(三賢即十住十行十回向諸位菩薩也十聖即十地菩薩也果報即實報土也淨土即常寂光淨土也)。
一身(出華嚴經)
身即法身也盖十方諸佛無明之惑淨盡法性之體全彰無有自他色相之異故名一身經云一切諸佛身惟是一法身是也。
一虛(出普賢行願品疏)
謂如來真身無形無相猶若虛空雖同一虛萬像森然雖含萬像一相不立疏云寂寥於萬化之域動用於一虛之中是也。
一月喻三身(出寶王論)
一月喻三身者以月體喻法身月光喻報身月影喻應身也盖由法身即是常住之理理體惟一不遷不變而能出生諸法統攝萬事猶如月體一輪在天影含眾水報身即是寂照之智智無自體依理而發明了一切無有差謬猶如月光照臨萬像無有隱形應身即是變化之用用無自性從體而起有感則通無感不應猶如月影有水則現無水不顯然此三身本是一體從用立名故有多種論云法身如月之體報身如月之光應身如月之影是也。
一月三舟喻(出華嚴經疏)
謂澄江一月三舟共觀一舟停住二舟向南北行向南者見月隨南向北者見月隨北停舟者見月不移盖譬如來智無不周體無不在無依無住無去無來皆由眾生緣有生熟故見如來有去住相法身之體本無去住也一月喻佛三舟喻世間眾生見佛不同是名一月三舟喻也。

一法(出華嚴經)
法即軌則之義謂諸佛菩薩莫不軌則真如之法脩之而成正覺故經云惟以一法而得出離成阿耨多羅三藐三菩提是也(梵語阿耨多羅三藐三菩提華言無上正等正覺)。
一理(出法華經玄義)
一理者諸法之本體也理性容攝其大無外諸法雖殊理元是一理雖是一而能統貫諸法諸法雖殊莫不本乎一理事理融通法法無礙是則世間出世間法皆不外乎此也。
一乘(出法華經)
一乘者佛乘也乘即運載之義佛說一乘之法為令眾生依此脩行出離生死苦海運至涅槃彼岸故喻以七寶大車而導之以大白牛也佛之出世意欲直說法華盖由眾生機器不等於是先說三乘之法而調熟之故經云於一乘道分別說三後至法華會三乘之小行歸廣大之一乘又云十方佛土中惟有一乘法是也(梵語涅槃華言滅度七寶者金銀琉璃玻瓈硨磲碼碯赤真珠也三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
一雨(出法華經)
一雨者喻佛所說一乘之法也盖佛說法華惟談圓教一實相理純一無雜即是如來一音宣暢一乘法雨咸令眾生開佛知見經云一雨所潤是也。
一門(出法華經)
門者即能通之義一謂一理即是所通門謂正教即是能通盖譬佛所說一乘之教則能通於實相之理經云惟有一門是也。
一味(出法華經并法華玄義)
一味者喻法華一乘之教也如來說法必稱機宜以其機有大小故歷四時三教漸次調停令其入大然後高會靈山純談一妙開前四時三教之法即是圓妙一乘一乘之外更無別法故經云決了聲聞法是諸經之王是以無垢藏王菩薩於涅槃會上白佛言佛說十二部經譬如從牛出乳盖喻初時說華嚴經也次云從乳出酪喻華嚴經後第二時說阿含經也次云從酪出生酥喻阿含經後第三時說淨名寶積等經也次云從生酥出熟酥喻淨名等經後第四時說般若經也次云從熟酥出醍醐喻般若經後第五時說法華涅槃經也如此展轉相從說者據如來施化次第而言耳若據法華開前諸教諸乘即是圓妙一乘則顯乳酪二酥皆成一醍醐味經云一相一味是也(四時者華嚴時鹿苑時方等時般若時也三教者藏教通教別教也十二部經者一契經二重頌三授記四孤起五無問自說六因緣七譬喻八本事九本生十方廣十一未曾有十二論義也)。
一大事因緣(出法華經)
一即一實相也其性廣博故名為大如來出世度生之儀式故名為事眾生具此實相而能成機感佛故名為因如來證此實相而能起應度生故名為緣一切如來出現於世皆為開示一切眾生本有實相令其咸得悟入佛之

知見捨此則非如來出世本懷經云如來惟以一大事因緣故出現於世是也。

一覺(出起信論)

一覺者十界眾生本性之覺也謂六道眾生業惑所覆不能覺了名為不覺三乘之人斷惑證理未能究竟名隨分覺惟佛一人諸惑淨盡徹見本性名究竟覺迷悟雖殊覺體本一論云本來平等同一覺故是也(十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界阿脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也佛亦名眾生者佛為無上眾生也六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也三乘者菩薩乘緣覺乘聲聞乘也)。

一道(出華嚴經)

一道者一實之道即佛所說最上乘之法也若依此道而脩則能頓斷諸惑頓出生死非如二乘等次第超出經云一切無礙人一道出生死是也(二乘者緣覺乘聲聞乘也)。

第一義(出大集經)

第一義者即無上甚深之妙理也其體湛寂其性虛融無名無相絕議絕思經云甚深之理不可說第一義諦無聲字是也(無聲字者謂離語言文字之相也)。

一實諦(出涅槃經)

謂一實相中道之理也無有虛妄無有顛倒若聖若凡性本不二故名一實諦也。

一實相印(出法華玄義)

一實相者謂真實之理無二無別離諸虛妄之相也印者信也如世之公文得印可信蓋如來所說諸大乘經皆以實相之理印定其說外道不能雜天魔不能破若有實相印即是佛說若無實相印即是魔說經云世尊說實道波旬無此事是也(梵語波旬華言惡釋迦如來出世時魔王名也)。

一實境界(出占察善惡業報經)

一實境界者即一實相之理也不變不異無滅無生自性清淨離虛妄相猶如虛空平等普徧諸佛眾生無二無別也。

一地(出法華經)

一地者一實相地也地有能生之義一切草木種子皆依於地而得生長以譬人天聲聞緣覺菩薩一切習因種子皆依五陰之身增長成熟至於法華會上聞佛說一乘法皆成菩薩法性五陰則是一實相地故經云一地所生是也(習因者所作之因習續不斷也五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

一法印(出宗鏡錄)

一法印者謂一念心含攝一切世間出世間法無不悉備然此諸法於一心中炳然顯現如即印泥文無前後故云森羅及萬像一法之所印是也。

一法界(出起信論)

一法界即一真如之理體性虛融平等不二也。

一真法界(出華嚴經隨疏演義鈔)
無二曰一不妄曰真交徹融攝故曰法界即是諸佛平等法身從本以來不生不滅非空非有離名離相無內無外惟一真實不可思議是名一真法界。
一藏(出華嚴經疏)
藏即含藏之義謂法界之理竪窮三際橫徧十方無德不備無法不攝一一詠羅重重無盡若世間法若出世間法無不含藏故名一藏(三際者過去現在未來也)。
一會(出法華要義)
一會者謂如來於靈山會上與諸大眾說法華經之時也隋天台智者大師於光州大蘇山脩法華三昧誦法華經至藥王菩薩品中是真精進是名真法供養如來之句身心豁然寂而入定徹見靈山一會儼然未散是也(梵語三昧華言正定)。
一極(出普賢行願品疏)
一極者謂華嚴經廣談法界之旨妙極無二也盖如來出世首為諸大菩薩說佛菩薩真實境界不說二乘方便之法是故聲聞緣覺雖在聽次有如聾聵寂無所聞故疏云一極唱高二乘絕聽是也(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
一致(出華嚴經隨疏演義鈔)
一致者謂佛乘宗極之趣惟一也如來設化始隨機宜不同故有三乘之說終歸顯實但名佛乘一致之理鈔云混萬化即真會精麤一致是也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
一源(出華嚴經隨疏演義鈔)
一源者甚深法界之體也此體不變不遷非真非妄因隨緣故有真有妄若隨法性淨緣則能出生諸佛之法若隨無明染緣則能出生眾生之法染淨之緣雖別法界之體無殊譬如流水流雖清濁有異所出之源是一也。
一體(出法界觀)
一體者常住真心之體也自性清淨一體無二妄想忽生境界頓現於是有情眾生無情國土從一真心妄分為二當知有情無情皆是眾生自心所變實非外物故頌云情與非情共一體是也。
一偈(出翻譯名義)
一偈者西域記云舊曰偈或曰偈他梵音訛也今從正音宜云伽陀華言頌諸經雖五字七字為句不同皆以四句為一偈也。
一句(出華嚴經)
一句者謂經中所說普眼法門一句功德不可思議也經云假使有人以大海量墨須彌聚筆書寫此普眼法門一品中一門一門中一法一法中一義一義中一句不得少分何況能盡是也(普眼者眼外無法名為普眼)。
一言(出圓覺經畧疏)

一言者謂圭峯密禪師讀圓覺經未終其卷於一言下豁然開悟乃知自心即是佛心定當作佛故疏序云一言之下心地開通是也。

一語(出華嚴經疏)

一語者如來之語也經云如來於二語言中演說無邊契經海盖言於一語中演說妙法無量無邊譬如泉之初發細若一線流之不已為江為海無有窮盡也。

一名(出涅槃經)

名即名字謂理雖是一假言施設種種不同如經中只一涅槃之名如來隨機演說亦名無生亦名無作亦名無為亦名解脫亦名彼岸亦名無退亦名安處亦名寂靜亦名無相亦名無二亦名一行亦名清凉亦名無諍亦名吉祥雖立多種之別只是涅槃一名是為一名。

一字(出大方廣師子吼經)

一字者一理之名字也理本無名無字超心意識離性離相無作無示非諸眾生所能思說惟佛如來究盡明了經云法惟一字所謂無字是也。

一義(出華嚴經)

義即義理即一法中或一句中之一義也。

一音(出維摩經)

一音者佛之音聲也盖眾生緣有淺深根有利鈍故於一音之中同聽異聞若是人天根器則聞佛說五戒十善之法若是聲聞根器則聞佛說四諦之法若是緣覺根器則聞佛說十二因緣之法若是菩薩根器則聞佛說六度等法各得解了經云佛以一音演說法眾生隨類各得解是也(五戒者不殺不盜不邪淫不妄語不飲酒也十善者不殺不盜不邪淫不妄言不綺語不兩舌不惡口不貪不嗔不癡也聲聞者聞佛聲教悟真空理故名聲聞也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也緣覺者因觀十二因緣覺真空理故名緣覺也十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也菩薩者梵語具云菩提薩埵華言覺有情六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。

一音教(出華嚴經疏)

一音教者謂如來一代之教雖有頓漸諸說不同而皆不出一音也故羅什法師云佛一圓音平等無二無思普應機聞自殊是也(梵語羅什華言童壽)。

一宗(出華嚴經疏)

宗者要也謂諸大乘經所說雖異莫不同乎一理如華嚴之談法界般若之談佛母法華之談實相等皆以一理為其宗要鈔云一宗容具多經是也。

一相(出起信論)

謂一真法界之相從本以來離虛妄相離言說相離名字相離一切諸法之相故名一相。

一合相(出金剛經)

一合相者盖言眾塵和合而為一世界也世界本空微塵不有但眾生不了妄執為實若是實有即應世界不可分為微塵若是實無不應微塵合為世

界是知執有執無皆不當理經云如來說一合相即非一合相是名一合相是也。

一性(出涅槃經)

一性者即正因佛性也謂一切眾生皆具此性但背覺合塵常為煩惱之所覆障若順性而脩則能超脫生死悟入涅槃與佛所證無二無別也(梵語涅槃華言滅度煩惱者昏煩之法惱亂心神也)。

一性(出華嚴經)

性以不變為義上極諸佛下至蠕飛蠢動雖品類萬差莫不本乎一性迷之則成生死悟之而為涅槃迷悟雖殊其性本一是為一性也(蠕而宣切蟲行貌蠢尺尹切蠢動也梵語涅槃華言滅度)。

一因(出涅槃經)

一因者謂聖凡平等之理體也盖此理體諸佛眾生皆性本具初無增減然諸佛悟之而成妙果眾生迷之而流轉諸趣若全此一因而脩圓頓之行則能超出三乘所脩之因而證一乘之果也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。

一如(出首楞嚴三昧經)

不二不異名曰一如即真如之理也所謂真如界內絕生佛之假名平等性中無自他之形相故經云魔界如佛界如一如無二如是也(魔梵語具云魔羅華言殺者謂能奪人功德之財殺人智慧之命也佛梵語具云佛陀華言覺者謂能自覺覺他覺行圓滿也魔佛皆言如者魔為修惡之極佛為修善之極善惡雖分其性本一故云一如無二如也)。

一行(出涅槃經)

一行者如來所行之行也行以進趣為義能行此行則能趣向佛果雖名一行而具足五行故經明五行之後乃云復有一行是如來行謂能於一心中行於五行具足而無缺也(五行者聖行梵行天行病行嬰兒行也)。

一行三昧(出文殊師利所說摩訶般若波羅蜜經)

梵語三昧華言調直定又云正定一行三昧者惟專一行脩習正定也謂脩行之人應處空閑捨諸亂意繫心實理想念一佛專稱名字隨佛方所端身正向能於一佛念念相續而不懈怠於一念中即能得見十方諸佛獲大辯才也。

一解脫(出涅槃經)

解脫者無拘無礙自在之謂也一切眾生同有佛性本來解脫良由心生執著妄自迷倒受諸纏縛若能一念反妄歸真了縛無縛則與諸佛如來同一解脫無有差別經云同一解脫是也。

一空(出寂調音所問經)

一空者謂一切諸法皆無自性若色若心若依若正乃至聖凡因果之法雖種種不同求其體性畢竟皆空經云如瓦器中空寶器中空俱同一空無二無別是也(依者依報即國土也正者正報即眾生身也)。

一生(出法華經)

一生者謂等覺菩薩無明之惑未盡尚有一番變易生死過此一生即登妙覺果佛之位所以等覺菩薩稱為一生補處經云一生當得阿耨多羅三藐三菩提是也(等覺者望後妙覺猶有一等超前諸位得稱為覺無明者無所明了即障理之惑也變易者即實報土生死也因移果易故名變易生死妙覺者自覺覺他覺行圓滿不可思議也)。

一生(出華嚴經隨疏演義鈔)

謂善財童子一生之內圓成佛果故慈氏菩薩讚善財言餘諸菩薩於無量劫乃能滿足菩薩行願此長者子於一生內能淨佛土能化眾生是名一生(慈氏菩薩即彌勒菩薩也)。

一來(出四教儀)

一來者謂二果斯陀含於欲界九品思惑中前六品雖盡後三品猶在故更來欲界一番受生是名一來(梵語斯陀含華言一來九品者上中下三品每品中又分三品也)。

一師(出四分戒品)

師者受道之師也凡諸比丘同一師學當湏和合歡喜無諍猶如水乳於佛法中庶得增益是名一師(梵語比丘華言乞士)。

一子(出涅槃經)

謂菩薩脩慈悲行視諸眾生猶如一子若見眾生脩習善業勝進聖道心則歡喜若見眾生造作惡業流轉生死心則愁惱譬如父母見子安隱心則歡喜見子遇患心則苦惱經云視諸眾生同於一子是也。

一脩一切脩(出華嚴經隨疏演義鈔)

一脩一切脩者謂上根大智之人全性起脩了脩即性脩性不二事理互融燒香散花無非中道習禪誦經盡是真如是故一行脩則一切行無不脩焉。

一斷一切斷(出華嚴經隨疏演義鈔)

一斷一切斷者謂上根之人斷惑無漸次也中下根人不知妄惑即是真智所以斷惑有其漸次上根之人了惑即智達妄即真惑外無智妄外無真所以一斷則一切斷也。

一證一切證(出華嚴經隨疏演義鈔)

一證一切證者謂上根之人以圓妙之智照了性境圓融無始無終非淺非深不有不空無法不備無處不通是故一處證入則一切處皆證入矣。

一成一切成(出華嚴經疏)

一成一切成者謂一佛成道法界無非此佛之依正也依即所依之土正即能依之身以其迷時則眾生國土皆迷悟時則眾生國土皆悟盖約一人惟心即具而說故楞嚴經云一人發真歸源此十方空皆悉消殞是也。

一位一切位(出華嚴經疏)

一位一切位者謂上根之人證一地位則具足一切地位之功德也盖所證之位全是法性法性徧周恒沙功德無不含攝是故證一地位則一切地位

功德皆悉具足也。

一行一切行(出華嚴經疏)

一行一切行者謂上根之人依於一乘圓融之教建立圓頓之行圓頓行立契合一乘故能於一行中具足一切諸行也。

一障一切障(出華嚴經隨疏演義鈔)

一障一切障者謂造惡眾生一念瞋心起百萬障門開一切善根皆悉消滅一切業障同時增長所以一障則一切障也。

一念(出華嚴經)

念即心念此之一念有真有妄若凡夫以根對塵所起之念念念生滅此妄念也若離根塵真淨明妙虛徹靈通之念即是如來正智之念也此正智之念非生非滅不常不斷促一剎那而非短延無量劫而非長經云一念普觀無量劫是也(根者眼耳鼻舌身意六根也塵者色聲香味觸法六塵也梵語剎那華言一念刼梵語具云刼波華言分別時節)。

一剎那(出仁王護國經)

梵語剎那華言一念經云一念中有九十剎那一剎那中有九百生滅俱舍論云時之極少者名剎那是也(念有大小一念者大念也一剎那者小念也)。

一根(出楞嚴經)

一根即耳根也盖由此方之人耳根最利聞法易入故文殊選揀圓通之門取耳根為第一也然以耳根為圓通門者特假其通入而已必期脫去聲塵反聞自性然後為復本歸源之至一根既然諸根亦寂經云一根既返源六根成解脫是也(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也)。

一機(出楞嚴經)

機謂機關即發起之處也一機以喻耳之一根一根返源諸根解脫經云雖見諸根動要在一機抽是也。

一色(出仁王經疏)

色者眼根所對之色也色即法界具足三諦以一切法體性融通互攝無礙若一切色即一色此是真諦忘泯一切法也若一色即一切色此是俗諦建立一切法也若非一非一切亦一亦一切此是中諦雙遮雙照即中道也盡理言之非但色之一塵具足三諦聲香味觸法五塵莫不皆然舉色則一切法皆在於色色外無法舉香則一切法皆在於香香外無法疏云一色一香無非中道是也(法界者法法皆以三諦而為界分即是理也雙遮雙照者遮謂遮情照謂照性即雙遮真俗雙照真俗也)。

一指(出楞嚴經)

一指手之一指經云若我滅後其有比丘發心決定脩三摩提能於如來形像之前身然一燈燒一指節及於身上爇一香炷我說是人無始宿債一時酬畢長揖世間永脫諸漏也(梵語三摩提華言等持離昏沈掉舉曰等令心住一境性曰持諸漏即三界生死也)。

一髮(出摩訶僧祇律)

一髮者謂日晡過午一髮許也盖言脩行之人持齋之法日正當午乃受飲食若日過午一髮許則不當食也。

一毫(出普賢行願品疏)

疏云一字法門海墨書而不[書-曰+皿]一毫之善空界盡而無窮此言華嚴大經功德浩博不可測量不可稱說而虛空界有[書-曰+皿]一毫之善無窮也。

一毛(出楞嚴經)

經云於一毛端現寶王剎此是正報中現依報也由佛具足不思議神通之力故能依中現正正中現依依正融通事理無礙大小相含一多平等故於一毛之端能現寶王剎也。

一氣(出圓覺經畧鈔)

一氣者道之所宗陰陽天地之根本也以喻自性清淨之心未起染淨已前諸佛眾生平等不二一切諸法莫不皆由此心而生故以一氣喻一心也。

一瞬(出摩訶僧祇律)

瞬者目動也律云二十瞬名一彈指謂脩行人持齋之法日正當午乃受飲食若日過午一瞬則不當食。

一默(出維摩經)

默者無言也默必對說諸佛菩薩或說或默皆能顯於妙理故經中三十二菩薩各談不二法門竟文殊師利問維摩詰言仁者當說何等是菩薩入不二法門時維摩詰默然無言文殊歎曰善哉善哉乃至無有文字語言是真入不二法門此即默而說即說而默也(梵語文殊師利華言妙德梵語維摩詰華言淨名)。

一時(出各經之首)

一時者佛與弟子說聽和合之時也是故諸經之首皆言一時法華文句云聞持和合非異時是也(聞持者弟子從佛聞法而受持也)。

一時一切時(出華嚴經疏)

一時一切時者謂一時之間即為無量刼也盖如來智境圓融延促無礙故能促多刼為一時延一時為多刼經云一念普觀無量刼是也。

一食(出維摩詰所說經)

一食者世間分段之食也若能於此一食了達三諦即成法食然後運平等心上供諸佛中奉賢聖下及六道等施無別經云以一食施一切是也(三諦者真諦俗諦中諦也六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。

一餐(出法華經)

一餐者一餐之食也盖言聲聞之人於般若會上蒙佛加被為諸菩薩說大乘法聲聞自謂小乘而於大法不生喜樂譬若見食而不能餐經云而無希取一餐之意是也。

一切(出翻譯名義)

一是普及之言切是盡際之語又云究竟非二名一其性廣博名切故名一切。

一處(出遺教經)

一處者謂心專注一境而無他適也脩行之人若能攝心斂念不涉餘緣則所脩行業決可成辦經云制之一處無事不辦是也。

一剎(出翻譯名義)

剎梵語具云剎摩華言土田即國土也謂一佛所化之境以大千世界而為一剎也(大千世界者一日一月繞一須彌山照四天下為一世界一千世界為小千世界一千小千世界為中千世界一千中千世界為大千世界也)。

一路(出首楞嚴經)

路猶道也即能通之義謂諸佛如來離於生死入大涅槃無不皆以首楞嚴大定而為正路捨此則無由而入經云十方薄伽梵一路涅槃門是也(梵語涅槃華言滅度梵語首楞嚴華言健相又云一切事竟堅固梵語薄伽梵佛之總號其義有六自在熾盛端嚴名稱吉祥尊貴為含多義故不翻也)。

一塵(出華嚴經)

一塵者一微塵也經云譬如有大經卷量等大千世界而全住在一微塵中一微塵既然一切微塵皆亦如是時有一人(謂佛也)智慧明達有淨天眼見此經卷在微塵內即以方便破此微塵出此經卷令諸眾生普得饒益以譬一切眾生身中具有如來無礙智慧但由眾生妄想顛倒而不自覺惟有諸佛乃能知之即以方便令諸眾生修於聖道破除虛妄煩惱顯出如來真實智慧故云一塵之內有大千經卷是也。

一漚(出楞嚴經)

漚者水泡也海本澄湛因風飄鼓發起水泡以譬大覺之性真淨明妙因心妄動生起虛空世界虛空世界在大覺性中如大海中之一漚耳經云空生大覺中如海一漚發是也。

一盖(出維摩詰所說經)

經云毗耶離城有長者子名曰寶積與五百長者子俱持七寶盖來供養佛佛之威神令諸寶盖合成一盖徧覆大千世界而此世界廣長之相悉於中現五百盖者表五陰也合成一盖者表一心也以顯五陰之法全是一心也(梵語毘耶離華言廣博嚴淨五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

一針(出梵網經)

經云一針一草不得故盜謂持戒之人雖是微細之物不得故意盜取也。

一花(出梵網經)

經云我今盧舍那方坐蓮華臺(我者釋迦佛自謂也梵語盧舍那華言淨滿諸惑究盡謂之淨眾德悉圓謂之滿也方坐者方正也謂安住正法也蓮華者華藏世界也以其形似蓮華故以名之臺者華藏世界之中央也華嚴經云風輪持香海香海出蓮花蓮花持世界是也)周帀千花上復現千釋迦(蓮花有千葉故云千花一花葉上現一釋迦佛故云復現千釋迦此千釋迦乃從盧舍那佛出現也)一花百億國一國一釋迦(於一花葉復現百億

國土每一國土又現一釋迦佛則有千百億國土千百億釋迦佛此千百億釋迦乃從千葉上千釋迦現出也通而言之盧舍那佛現出千釋迦千釋迦佛現出千百億釋迦今此四天下乃是千百億國土中之一土釋迦牟尼佛乃是千百億釋迦中之一佛也)。

一燈(出華嚴經)

謂燈能破暗以喻菩提之心能破煩惱之暗也故經云譬如一燈入於暗室百千年暗悉能破盡菩提心燈亦復如是入於眾生心室之內百千萬億不可說刼諸業煩惱種種暗障悉能除盡故名一燈(梵語菩提華言道)。

二法身(出華嚴經疏)

【一理法身】理即性德也謂性淨明體本來離念等虛空界無所不徧諸佛眾生皆同一相是名理法身。

【二智法身】智即修德也謂究竟始覺之智契合清淨本覺之理理智互融色心不二智所現故是名智法身。

二法身(出無著論)

【一智相法身】謂具足智慧方能演說諸法是則說法為智慧之相由此智相得至法身住處故名智相法身。

【二福相法身】謂以大千世界七寶布施不如受持一四句偈故金剛經云於此經中受持乃至四句偈等為人演說其福勝彼由此福相得至法身住處故名福相法身(七寶者金銀琉璃玻琍硨磲碼碯赤真珠也)。

二法身(出起信論疏)

【一言說法身】謂法身無相本離言說雖離言說非言莫顯故名言說法身。

【二證得法身】謂法身體遍物物皆具但以迷故不能究顯若不造修何由證得故以始覺之心契於本覺之理始本不二即究竟覺是名證得法身。

二佛身(出涅槃經)

【一法性身】法性即法身也謂此法性之身徧滿十方無量無邊色像端正相好莊嚴以無量光明無量音聲能度十方法身菩薩是名法性身。

【二生死身】謂佛以方便力現生現滅示初出家乃至成佛得道一切惡法盡斷一切善法悉皆成就次第說法度諸眾生是名生死身。

二佛身(出涅槃經)

【一生身】生身者謂從父母所生即佛應化之身也。

【二法身】法身者謂本有法性之身若佛出世及不出世常住不動無有變易也。

二佛身(出涅槃經)

【一常身】如來常住解脫之身眾德悉備萬行俱圓先百千萬億刼而不見其生後百千萬億刼而不見其滅是名常身也。

【二無常身】如來方便為欲度脫一切眾生示現生死之身出家修道成佛說法入於涅槃是名無常身也(梵語涅槃華言滅度)。

二身(出華嚴經疏)
【一真身】真身者真智與法身合故名真身起信論云自體有大智慧光明遍照法界是也。
【二應身】應身者應周萬物化洽眾生隨其心量現種種身譬如一月現於眾水而無去來之相金光明經云應物現形如水中月是也。
二種色身(出佛地經論)
【一實色身】實即實有謂諸如來因中於無數刼所修相好等業至于果成感得無量相好莊嚴其身周遍法界是名實色身。
【二化色身】化即變化謂諸如來由大悲願力為大菩薩眾現種種身種種相好種種言音隨時隨處隨眾所宜所現身形其量不定是名化色身。
大小二化身(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一大化身】謂佛被大乘菩薩之機或現八萬四千相好之身或現微塵數相好之身滿虛空中是名大化身。
【二小化身】謂佛被小乘及人天等機或現三十二相一丈六尺之身是名小化身(三十二相者足安平相千輻輪相手指纖長相手足柔軟相手足縵網相足跟滿足相足趺高好相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如獅子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相四牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色如金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也)。
佛二種十身(出華嚴經疏)
【一融三世間為十身】融即融會之義隔別名世間差名間即眾生國土智正覺之三世間也言融三世間為十身者眾生身業報身即眾生世間國土身即國土世間聲聞身緣覺身菩薩身如來身智身法身虛空身即智正覺世間也。
【二佛自具十身】佛自具十身者一菩提身二願身三化身四力持身五相好莊嚴身六威勢身七意生身八福德身九法身十智身也(梵語菩提華言道)。
二覺(出翻譯名義)
【一自覺】謂覺知過去未來現在三世一切諸法常無常等悟性真空了惑虛妄功成妙智能自開覺故名自覺。
【二覺他】謂自既覺已運無緣慈廣說諸法開悟眾生皆令離生死苦得涅槃樂故名覺他。
二覺(出起信論)
【一本覺】謂眾生心體靈明虛廓本來離念等虛空界無處不徧即是如來平等法身是名本覺。
【二始覺】謂眾生本覺心源由無明熏動覺成不覺多刼在迷今始覺悟是名始覺始覺究竟即成佛也。
二種佛境(出華嚴經疏)

【一證境】謂真如法性之理是諸佛所證之境界離念絕想皆悉真如是名證境。
【二化境】謂十方國土皆是如來所化境界是名化境。
二種身土(出佛地經論)
身即能依之色身土即所依之國土既有能依之身必有所依之土故名二種身土。
【一自受用身土】自受用身土者謂自己修因之所感稱性受用種種法樂自在無礙故身名自受用身亦名圓滿報身土名自受用土亦名實報莊嚴土盖諸佛如來歷無數刼修習無量善根所感周遍法界身土為自受用諸大菩薩但可得聞而不能見也。
【二他受用身土】他受用身土者謂他機之所感見也盖諸佛如來為令諸菩薩眾受大法樂進修勝行隨宜而現或勝或劣或大或小轉變不定令他受用也。
身土二不相離(出宗鏡錄)
二不相離者謂身土二法皆不離法性也。
【一法性屬佛為法性身】謂佛了悟真如法性復以法性為身故名法性屬佛為法性身。
【二法性屬法為法性土】謂真如法性之理譬如虛空遍一切處乃是法身所證之體即為所依之土故名法性屬法為法性土。
二種神力(出大智度論)
【一令遠處見聞】令遠處見聞者謂佛在一處說法以神通力令他方異土眾生皆獲見聞也。
【二令各各見佛】令各各見佛者謂佛在一處說法能令一一眾生各自見佛在前說法譬如日出影現眾水也。
二宿因力(出華嚴經疏)
宿因力者謂遮那世尊宿世願因為化眾生發願修行而成佛果為酬宿願故今出世悲智雙運行願齊周乃以無障解脫之智頓闡華嚴一乘圓教法門普令法界眾生深悟如來智慧然佛宿因雖多略開二種焉。
【一大願力】謂佛於因中發大誓願度諸眾生今已成佛乘大願力示現十方世界說法度生現相品云毘盧遮那佛願力周法界一切國土中恒轉無上輪是也(梵語毘盧遮那華言遍一切處亦云光明遍照)。
【二昔行力】謂佛昔於無量刼依願起行行成得果方能演說諸法廣化眾生故主山神偈云往修勝行無有邊今獲神通亦無量法門廣闢如塵數悉使眾生深悟喜是也。
二足(出金剛經纂要疏)
【一福足】謂佛於因中修行布施持戒忍辱精進禪定五度之福今於果上成就應身相好圓滿萬德莊嚴是為福足。

【二慧足】謂佛於因中由修般若妙慧成就法身圓極真常滿菩提果眾智莊嚴是為慧足(梵語菩提華言道)。

悉達太子二相(出佛本行集經)

梵語悉達華言頓吉即佛幼時之名也二相者謂佛初生時淨飯王令相師占之相師云太子相好具有輪王及成佛之相也。

【一輪王相】輪王相者謂轉輪聖王亦具三十二相也相師言太子具足是相若其在家當作轉輪聖王王四天下也(三十二相者足安平相千輻輪相手指纖長相手足柔軟相手足縵網相足跟滿足相足趺高妙相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如師子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相四牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色如金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也四天下即四洲東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼北欝單越也)。

【二成佛相】成佛相者佛具三十二相相師言太子具足是相若捨王位出家求道必得成佛名遍十方化導一切也。

二種舍利(出翻譯名義)

【一生身舍利】梵語舍利又云設利羅華言骨身謂如來應身滅度既闍維後所有舍利其色有三骨舍利色白髮舍利色黑肉舍利色赤體性堅固椎擊不碎若菩薩羅漢者其色則同而堅固不及光明經云此舍利者是戒定慧之所熏修甚難可得最上福田故人能起塔供養則得無量福報也(梵語闍維華言焚燒)。

【二法身舍利】大論云經卷是法身舍利謂如來所說中道實相之理不迁不變無滅無生亘古今而恒存彌天地而普覆人能至心如法受持即是得見如來法身其所獲福無量無邊故法華經云若經卷所住之處皆應起塔供養不須復安舍利此中已有如來全身是也。

二法(出華嚴經疏)

【一勝義法】勝義法即涅槃也謂涅槃之法其義最勝故名勝義法(梵語涅槃華言滅度)。

【二法相法】法相法即四諦法也謂四諦之法各有相狀是名法相法(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。

二法(出楞伽經)

【一自得法】謂佛自行證得之法與十方佛無增無減是名自得法。

【二本住法】謂法界之法本來常住有佛無佛性相常然是名本住法。

二種法性(出地持經)

法即軌則之義性即不改之義謂一切法性無改易皆可軌則而修故名法性。

【一實法性】謂一實之理離虛妄相本性平等無有變易一切諸佛莫不軌此法性修之而成正覺是名實法性。

【二事法性】謂世間種種諸法皆依於理施設建立所謂地水火風五陰等法隨俗所知所見雖屬於事實不外乎法性之理是名事法性(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

契經二義(出阿毘達磨大毘婆沙論)

契者上契諸佛之理下契眾生之機經者法也常也如來所說契經有此結集刊定之二義也。

【一結集義】謂如來契經攝持眾義冠有情心令無忘失猶結華鬘冠眾生首久無遺散也。

【二刊定義】謂如來契經裁斷眾義了別是非去惡留善猶匠繩墨治彼眾材斲邪歸正去曲留直也。

二般若(出大智度論)

梵語般若華言智慧謂佛於般若會上說通別圓三教之法故有共不共般若之名也。

【一共般若】共般若者即通教也通即通共之義謂聲聞緣覺菩薩三乘之人共依此教而修證也。

【二不共般若】不共般若者即別圓二教也謂此別圓二教唯談菩薩修行之法不與聲聞緣覺之所共也。

二般若(出華嚴經疏)

【一實相般若】實相般若者謂本覺之理非寂非照離虛妄相名為實相即一切種智也(非寂非照者寂謂寂靜照謂照明寂照皆言非者用遮二邊以顯中道實相之德也)。

【二觀照般若】觀照般若者謂觀照之德非照而照了法無相名為觀照即一切智也(非照而照者謂理本非照因觀而照以顯觀照之德也)。

般若二種相(出地藏十輪經)

【一世間般若】謂諸菩薩唯依讀誦書寫為他演說三乘道教勸正修行滅除煩惱惑業不行寂靜真實般若常行有見有相般若如是般若有取有著是名世間般若(有見有相般若即世間之智如劬賓大臣分閻浮提七分而能息諍智滿祖師云正取世間之智為般若也)。

【二出世間般若】謂諸菩薩精勤修習菩提道時隨力聽聞為他演說三乘正法而於其中心如虛空平等寂滅離諸名相如是般若無取無著是名出世間般若(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。

二種般若莊嚴(出般若經并大智度論)

梵語般若華言智慧謂智慧能嚴飾法身故名般若莊嚴。

【一已莊嚴】謂人能修習智慧如著美妙瓔珞莊嚴其身是名已莊嚴。

【二未莊嚴】謂人未能修習智慧如無瓔珞嚴飾其身是名未莊嚴。

金剛二義(出金剛經助顯錄)

金剛者金中最剛故云金剛而小品般若以金剛立題者具有堅利二義焉(梵語般若華言智慧)。

【一堅義】堅義者謂金剛之堅萬物不能碎壞以喻般若之體真常清淨不變不遷煩惱不能亂邪魔不能動此即實相般若也。
【二利義】利義者謂金剛之利能碎壞萬物以喻般若之用能斷惑著照五蘊空度諸苦厄此即觀照般若也(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
法華二妙(出法華玄義)
妙名不可思議非諸菩薩心思口議故也此之二妙正論法華開權顯實之意妙名一唱待絕俱時故相待論判則顯法華出前四時三教之上絕待論開復能開前令皆圓妙也(開權顯實者開者發也拓也聲聞緣覺菩薩三乘之法是權佛乘是實佛說法華正為開三乘之權顯一乘之實故經云十方佛土中唯有一乘法又云决了聲聞法是諸經之王四時者華嚴時鹿苑時方等時般若時也三教者藏教通教別教也)。
【一相待妙】彼此互形曰相以彼望此曰待彼此互形者形即形比之義謂以前四時三教所說之法為麤形後法華所說之法為妙以彼望此曰待者待即待對謂對前之麤顯後之妙也。
【二絕待妙】絕前諸麤無復形待謂法華開三乘之權即是佛乘之實實外無權權外無實實即是權權即是實故云絕待妙也。
大明三藏法數卷第一

大明三藏法數卷第二　　昆四

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

迹本二門(出法華玄義釋籤)
門即能通之義謂由此門皆能通至實相也然此二門惟法華一經明之蓋非本無以垂迹非迹無以顯本本迹雖殊皆不思議故稱為妙諸經但論釋迦近得成佛之迹而不言久遠已成之本則顯法華已今當說寔為第一故得為經中王也(實相者離虛妄相名為實相即中道真實之妙理也已今當說者般若之前皆為已說無量義經為今說涅槃經為當說)。
【一迹門】法華經中前十四品名為迹門迹猶足迹譬如人之所居則有行往之迹也蓋論釋迦寔初成道已來及中間施化節節唱生唱滅以至于今成佛度生皆是從本垂迹故名迹門也。
【二本門】法華經中後十四品名為本門本為根本如樹木之有根也蓋論釋迦塵點刦前已得成佛故經云一切世間天人阿脩羅皆謂今釋迦牟尼佛出釋氏宮去伽耶城不遠坐於道場得成正覺然我實成佛以來無量無邊百千萬億那由他刦從是以來我常在此娑婆世界說法教化此是開迹顯本故名本門也(梵語伽耶華言山城梵語那由他華言萬億梵語娑婆華言能忍)。
二種一乘(出華嚴經疏)
一乘者謂華嚴一乘圓教也於此一乘有同有別故云二種一乘也。
【一同教一乘】同者即同於終頓二教也然終教但詮一性一相理事無礙頓教但詮無二無三言思斯絕今此同教具詮一性一相理事無礙無二無三言思斯絕同彼二教俱顯一乘故名同教一乘也(無二者無聲聞緣覺也無三者兼無菩薩也)。
【二別教一乘】別者即別異小始終頓之四教也然此別教唯辨圓融具德事事無礙隨舉一法即攝一切無盡法門一一法門迥異餘教故名別教一乘也。
二種莊嚴(出涅槃經)
莊即端莊嚴即嚴飾謂智慧福德二種皆能莊嚴法身也。
【一智慧莊嚴】謂諸菩薩從初發心乃至究竟無明淨盡佛性現前所有智慧能顯法身是名智慧莊嚴。
【二福德莊嚴】謂諸菩薩修行六度萬行具足所有福德能顯法身是名福德莊嚴(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
二種莊嚴(出金剛經纂要疏)
金剛經云莊嚴佛土者即非莊嚴是名莊嚴非莊嚴者即形相莊嚴也是名莊嚴者即第一義莊嚴也。

【一形相莊嚴】謂人若分別佛土是有為形相而言我能成就者彼且住著色聲等境非真莊嚴是名形相莊嚴。
【二第一義莊嚴】謂以無所住著清淨之心依真實智慧通達自性之土唯心顯現此是正智成就佛土是名第一義莊嚴。
二如來藏(出大乘止觀法門)
如來者即理性如來也藏以含攝為義謂一切眾生煩惱心中具足無量無邊不可思議無漏清淨之業如石中有金木中有火故云垢藏之中佛性滿足是名如來藏也。
【一空如來藏】謂此心性雖隨染淨之緣建立生死涅槃等法然心體平等離性離相非唯所起染淨等法皆空而能起之心亦不可得是名空如來藏。
【二不空如來藏】謂此心性具足無漏清淨功德及諸有漏業惑染法包藏含攝無德不備無法不現故名不空如來藏。
二經體(出華嚴經疏)
【一文是所依體】文是所依體者文即文字為一切義理所依復為能詮契經之體也。
【二義是能依體】義是能依體者謂一切義理皆依文字而顯故義是能依而與文字同為能詮契經之體也。
二涅槃(出金光明經玄義)
梵語涅槃華言滅度。
【一性淨涅槃】謂諸法實相之理不可染不可淨不染即不生不淨即不滅不生不滅名性淨涅槃(諸法實相者十界因果之法本來離虛妄相相相皆實故名實相不可染不可淨者謂實相之理惑不能染智不能淨不染即不生者既無惑染豈有法生不淨即不滅者既非智淨豈有法滅是故名為不生不滅)。
【二方便淨涅槃】方便猶善巧也智既契理即照羣機照必垂應機感即生此生非生機緣既盡應身即滅此滅非滅不生不滅名方便淨涅槃(此生非生者謂機感即生心常寂滅也此滅非滅者謂緣盡即滅應用常興也)。
二涅槃(出大智度論)
【一有餘涅槃】謂見思煩惱已斷尚餘現受色身未滅是名有餘涅槃(見思煩惱即見思二惑意識起諸分別曰見惑於塵境起諸貪愛曰思惑)。
【二無餘涅槃】謂見思二惑與所受五眾之身俱得滅盡無有遺餘是名無餘涅槃(五眾即五陰謂色受想行識也)。
二法相違(出瑜伽師地論)
【一煩惱】昏煩之法惱亂心神即無明貪愛之惑也謂諸眾生隨順煩惱流轉生死故違涅槃之道也。
【二涅槃】梵語涅槃華言滅度謂諸眾生厭生死苦脩習梵行斷諸煩惱證大涅槃故違煩惱之惑也。
二智(出華嚴經隨疏演義鈔)

【一如理智】謂諸佛菩薩以如實之智徹見實際之理妙極寂靜無增無減是名如理智。
【二如量智】謂諸佛菩薩究竟通達一切境界若見眾生乖於理智則成生死若見眾生稱於理智則得涅槃是名如量智。
二智(出攝大乘論)
【一根本智】根本智亦名無分別智謂此智不依於心不緣外境了一切法皆即真如境智無異如人閉目外無分別由此無分別智能生種種分別是名根本智。
【二後得智】謂依止於心緣於外境種種分別境智有異如人開目眾色顯現以其於根本智後而得此智是名後得智。
二智(出大集經)
【一盡智】謂阿羅漢斷三界見思惑竟即知我生已盡梵行清淨是名盡智(梵語阿羅漢華言無生亦云無學)。
【二無生智】謂阿羅漢斷三界見思煩惱已盡知諸縛解更不三界受生是名無生智(三界者欲界色界無色界也)。
二智(出觀音玄義)
【一一切智】謂於一切內法內名能知能解一切外法外名亦能知能解是名一切智即聲聞緣覺之智也(內法內名者謂理內所詮法相及能詮名字盖佛教依理而說故名理內也外法外名者即理外所詮法相及能詮名字盖外道等違理橫計故名理外也)。
【二道種智】道種智者謂能用諸佛一切道法發起眾生一切善種是名道種智即菩薩之智也。
二智(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一觀察智】謂以智慧照了人法二空所顯真如之理了知能證所證二俱不可得是名觀察智(能證者謂能證之智所證者謂所證之理)。
【二取相智】謂善取法界之相若事若理以智慧照了悉使法法圓融事理無礙是名取相智也。
二真如(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一安立真如】體非偽妄曰真性無改異曰如即一實相之體也謂真如之體能生世間出世間一切諸法而得安住故名安立真如。
【二非安立真如】謂真如之法從本已來性自清淨離一切相寂滅無為故名非安立真如。
二真如(出起信論疏)
【一離言真如】謂真如之體離名字相離心緣相離言說相故名離言真如。
【二依言真如】謂真如之體性本虛融不礙言說以依言說能顯真如故名依言真如。
二真如(出起信論疏)

【一不變真如】謂真如之體從本已來畢竟平等無有變易不可破壞體恒寂靜無一異相故名不變真如。
【二隨緣真如】謂真如之性本無生滅然因無明熏動起一切相如水因風妄波忽動若風止息動相元無故名隨緣真如。
二種如如(出佛性論)
【一如如智】謂真如妙智本來清淨無明不能覆煩惱不能染照了諸法平等不二以其智如如境故名如如智。
【二如如境】謂真如妙境常住一相量等虛空不遷不變無滅無生以其境如如智故名如如境。
二心(出蓮宗寶鑑)
【一真心】謂自性清淨之心真淨明妙虛徹靈通離虛妄想故曰真心。
【二妄心】謂全真成妄隨境生滅念念不實故曰妄心(隨境者隨順色聲香味觸法六塵之境也)。
二心(出唯識論)
【一相應心】應即當也謂一念妄心虛妄分別而與煩惱諸惑相應是名相應心。
【二不相應心】謂常住真心古今一相自性清淨而與煩惱諸惑永不相應是名不相應心。
二種心相(出占察經)
【一心內相】謂心體本相如如不異清淨圓滿無障無礙微密難見遍一切處是名心內相。
【二心外相】謂心隨有所念種種境界皆悉現前是名心外相。
二種性(出楞伽經)
種即能生之種性即數習之性非理性之性也。
【一聖種性】謂聲聞觀五陰苦空厭惡生死忻求涅槃則成聲聞種性緣覺觀五陰緣起脩遠離行則成圓覺種性佛即覺了五陰等法本來空寂無生無滅三惑俱遣眾德悉備則成佛種性經中不言菩薩種性者菩薩所脩之行即成佛之種性故不言也(三惑者見思惑塵沙惑無明惑也五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【二愚夫種性】謂愚癡凡夫於五陰諸法及世間事種種妄想分別非有為有無常計常隨事執著則成愚夫種性也。
二種性(出大智度論)
【一總性】謂一切諸法性本空寂無生無滅無來無去無入無出故名總性。
【二別性】謂人喜作惡則以惡為性好集善事則以善為性如火以熱為性水以濕為性故名別性。
二種性(出地持經)

種即種子有發生之義性即性分乃自分不改之義以由菩薩根性不定故有二種之分也。
【一性種性】性種性者即本性為性也謂菩薩六入殊勝分別一切諸法悉皆明了也(六入者謂眼入色耳入聲鼻入香舌入味身入觸意入法也殊勝者菩薩根有勝力故所見色等一一殊勝也)。
【二習種性】習種性者即數習為性也謂菩薩從初發心脩習眾善所得之性也。
二種性(出地持經)
【一有性】謂四大五陰六根六塵乃至涅槃等皆是世間假名施設有自性法是名有性(四大者地大水大火大風大也五陰者色陰受陰想陰行識陰也六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也梵語涅槃華言滅度)。
【二無性】謂四大乃至涅槃等假名畢竟空中一切悉無是名無性。
二相(出起信論)
【一智淨相】謂依真如內熏之力及教法外熏之力如實脩行滿足方便破識心生滅之相成純淨圓常之智是名智淨相。
【二不思議業相】謂依智淨相能作一切勝妙境界無量功德之相常無斷絕隨眾生根種種示現令得利益是名不思議業相。
二相(出起信論)
【一同相】謂染淨二法皆同真如性相譬如種種瓦器皆同微塵性相故名同相。
【二異相】謂真如平等之理隨染淨緣顯現一切差別之相故名異相。
二相(出大智度論)
【一總相】謂說世間一切有為之法皆是無常故名總相。
【二別相】謂諸法雖皆無常而各有別相如地有堅相水有濕相火有熱相風有動相各各不同故名別相。
二相(舊名二識出宗鏡錄)
【一所緣境相】謂心所緣色聲香味觸法六塵之境其相顯現于外是名所緣境相。
【二能緣識相】謂眼識乃至意識能緣六塵之境其相顯現于內是名能緣識相(眼識乃至意識者謂眼識耳識鼻識舌識身識意識也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
二相別(出析玄記)
【一自相別】相即相狀謂如身是身自相於此身中有能造所造根塵各別故如受是受自相於此受中有苦受樂受不苦不樂受等各別故如心是心自相於此心中有眼等六識各別故如法是法自相於此法中有五陰十二入十八界不同故又如觀身以不淨為自相觀受以苦為自相觀心以無常為自相觀法以無我為自相故名自相別(身受心法即四念處身謂己身受謂

領納諸事心謂第六識法謂善惡等法六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也十二入者眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入法入也十八界者眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也)。

【二共相別】謂但約苦空無常無我四種行相於身受心法上共有名為共相而言別者如觀身為苦時不能觀空無常無我乃至觀身為無我時不能觀苦空無常觀身既尒觀受心法行相亦然故名共相別。

二根(出楞嚴經義海)

【一浮塵根】浮塵根者根即眼耳鼻舌身意也以其虛假不實故名浮無見聞覺知之用故名塵經云眼如蒲萄朵耳如新卷葉鼻如雙垂[瓜-丶]舌如初偃月身如腰鼓賴意如幽室見是也。

【二勝義根】勝義根者謂眼等六根有增上勝力能照境發識以成根用故名勝義如眼能見色耳能聞聲鼻能嗅香舌能嘗味身能覺觸意能知法是也。

二種根本(出楞嚴經)

【一無始生死根本】謂眾生經無窮刼流轉生死求其初始實不可得但迷失本性即隨生死故名無始生死根本者即是攀緣之心經云用攀緣心為自性者是也。

【二無始菩提涅槃元清淨體】梵語菩提華言道梵語涅槃華言滅度謂性淨理體虛融寂滅不遷不變無始無終故名無始菩提涅槃不染煩惱不涉生死故號元清淨體即菩提涅槃清淨之根本也。

二種識(出顯識論)

【一顯識】顯識即第八識謂此識含藏一切善惡種子而能顯現一切境界故名顯識(第八識即藏識也)。

【二分別識】分別識即第六意識謂於顯識中分別五塵好惡等相故名分別識(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

識二分(出攝大乘論釋)

論云於六識中一分成相一分成見故名識二分。

【一相分】謂於眼等六識各各變異成色等種種諸相是名相分(六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也)。

【二見分】謂眼等六識各能了別諸塵境界是名見分。

阿賴耶二義(出宗鏡錄)

梵語阿賴耶華言藏謂第八識能含藏諸法種故。

【一能攝一切法】攝謂攝持即含藏之義盖此識攝持一切善惡之法猶如庫藏含藏寶貝而不遺失也。

【二能生一切法】生即發生也謂此識既含藏善惡種子則一切善惡諸法從此出生猶如大地能發生草木萬物也。

二德(出觀音玄義)

二德者在眾生因心所具則名緣了二因在諸佛果上所顯則成智斷二德蓋了因顯則成智德緣因顯則成斷德故也。
【一智德】智即智慧謂照了一切諸法通達無礙隨眾生機器大小各各為其演說無有差謬是名智德。
【二斷德】斷即斷除謂斷惑業淨盡隨所調伏眾生之處惡不能染縱任自在無有累縛是名斷德。
二行(出華嚴經疏)
【一頓成諸行】頓成諸行者即依圓融法門而脩行也謂諸菩薩若斷一惑則一切惑俱斷若行一行則一切行具足故普賢行品云一斷一切斷等是也。
【二徧成諸行】遍成諸行者即依行布法門而脩行也謂諸菩薩始自發菩提心終至等覺位中次第歷諸法門遍脩諸行是名遍成諸行(行布法門者謂諸法門行列排布也)。
二行(出華嚴經疏)
【一差別行】謂遍依諸位各別而修是名差別行(諸位者謂十住十住十行回向十地等諸位也)。
【普賢行】謂依圓融法門隨修一行即具一切諸行是名普賢行(一行者即於四十二位之中隨修一行即攝一切餘行也)。
二觀行(亦名唯識觀出宗鏡錄)
【一尋伺】謂推尋伺察根塵相對所起一念之心即以三觀觀之是名尋伺(麤心在緣曰尋細心分別曰伺三觀者空觀假觀中觀也)。
【二真如】真名不偽如名不異謂常以妙觀觀於心性本具真如之理速令顯發是名真如。
二道(出婆娑論并淨土十疑論)
【一難行道】論云於五濁惡世無量佛所求阿鞞跋致甚難可得蓋言娑婆世界塵境麤強五欲障蔽難入於道故名難行道(五濁者刼濁見濁煩惱濁眾生濁命濁也梵語阿鞞跋致華言不退轉梵語娑婆華言能忍謂於此世界能忍受諸惡也五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【二易行道】謂憑信佛語修行念佛三昧求生淨土復乘阿彌陀佛願力攝持決定往生故名易行道(梵語阿彌陀華言無量壽)。
二道(出止觀輔行記)
【一教道】教道有二一謂別教菩薩於十住十行十回向位中依憑佛教方便修行是名約行教道二謂如來與住行向諸位菩薩說登十地之法是名約說教道(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解

脫回向法界無量回向也十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。

【二證道】證道亦有二一謂別教菩薩於初地位中破無明微細之惑證中道真實之理是名約行證道二謂如來自說此十地法我已親證是名約說證道。

二道(出析玄記)

【一無間道】謂聲聞初果之人依於八忍能斷八諦下迷理之惑此八忍不被見惑之所間隔是名無間道(八忍者苦法忍苦類忍集法忍集類忍滅法忍滅類忍道法忍道類忍也八諦者欲界四諦色界無色界四諦也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。

【二解脫道】謂聲聞初果之人依於八智能證八諦下無為之理此八智已離惑縛是名解脫道(八智者苦法智苦類智集法智集類智滅法智滅類智道法智道類智也)。

二道(出文殊師利菩薩問菩提經論)

【一有漏道】謂布施持戒忍辱精進禪定五波羅蜜能成就世間有漏生死之果是名有漏道(梵語波羅蜜華言到彼岸)。

【二無漏道】謂般若波羅蜜能成就出世間無漏涅槃之果是名無漏道(梵語般若華言智慧梵語涅槃華言滅度)。

二諦(出翻譯名義)

【一真諦】真諦者彰一性本實之理也所謂實際理地不受一塵是非雙泯能所俱亡指萬象為真如會三乘歸實際也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。

【二俗諦】俗諦者顯一性緣起之事也所謂佛事門中不捨一法勸臣以忠勸子以孝勸國以治勸家以和弘善示天堂之樂懲惡顯地獄之苦也。

二門(出華嚴經疏)

二門者蓋言華嚴一經而具顯行布圓融二門皆能通入法界也。

【一行布門】謂經中廣明十住十行十回向十地等覺妙覺四十二位法門行列分布令諸菩薩脩行證入從淺至深次第不同故名行布門也(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行著歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【二圓融門】謂經中廣顯法界之理圓融無礙令諸菩薩於前四十二位之中了知隨舉一位即攝諸位功德無障無礙故名圓融門也。

二門(出大智度論)

【一福德門】福德門者謂布施持戒忍辱等是為福德門入福德門則一切罪業皆除所願皆得也。
【二智慧門】智慧門者謂了知一切諸法即是實相是為智慧門入智慧門則不厭生死不樂涅槃也(梵語涅槃華言滅度)。
起信二門(出起信論)
論云依一心法有二種門皆各總攝一切諸法盖真如門是染淨通相通相之外無別染淨故得總攝一切諸法生滅門是染淨別相別相之中無所不該故亦總攝一切諸法此二門所以分也。
【一心真如門】謂心性不生不滅非染非淨畢竟平等無有變異惟是一心故名心真如門。
【二心生滅門】謂不生不滅真如之性因無明熏動故有生滅之心此即覺成不覺也覺與不覺復更互相熏以不覺熏本覺故則生諸染法流轉生死以本覺熏不覺故則生諸淨法反流出纏成於本覺故名心生滅門(熏即熏發擊動之義反流出纏者謂旋反無明之流而出離惑業之纏縛也)。
二種神力(出楞伽經)
楞伽經云如來以二種神力建立菩薩聽受問義(建立猶加被也)。
【一現身面言說神力】經云初菩薩地住佛神力入於大乘照明三昧入是三昧已十方世界一切諸佛以神通力為現一切身面言說是也(初菩薩地者即十地中初懽喜地菩薩也住佛神力等者由佛神力加被故能入住大乘照明三昧即光明定也梵語三昧華言正定由此定故得見十方諸佛現身說法也)。
【二以手灌頂神力】經云初菩薩地得三昧神力於百千刼積集善根之所成就次第入於諸地乃至第十法雲地住大蓮華微妙宮殿坐大蓮華寶師子座眾寶瓔珞莊嚴其身如黃金蒼蔔日月光明諸最勝子從十方來就大蓮華宮殿座上而灌其頂是也(梵語蒼蔔華言黃花)。
二力(出華嚴經疏)
【一思擇力】思即思惟擇即決擇謂能思惟決擇一切正行對治諸障不令再起故名思擇力。
【二脩習力】脩即修治習即數習謂因修習之力能令一切善行堅固決定成就故名修習力。
二種師子奮迅三昧(出法界次第)
師子奮迅者借譬以顯法如世師子奮迅為二事故一為奮除塵土二能前走却走捷疾異於諸獸此三昧亦如是一則奮除障定之惑二能出入諸禪捷疾無間異於餘之三昧而具出入二義焉。
【一入禪奮迅】入禪奮迅者謂離欲界不善法有覺有觀而入初禪如是次第入於二禪三禪四禪空處識處無所有處非有想非無想處滅受想定是為奮迅入也(有覺有觀者初心在禪曰覺細心分別禪味曰觀初禪二禪三禪四禪皆色界天也空處識處無所有處非有想非無想處即無色界天也滅受想定者滅除受想之心而得定也)。

【二出禪奮迅】出禪奮迅者從滅受想定起還入非有想非無想定從非有想非無想定起還入無所有處定如是識處空處四禪三禪二禪初禪乃至出散心中是為奮迅出也。

二種超越三昧(出法界次第)

超越者謂能超過諸地自在入出而具二義焉。

【一超入三昧】超入三昧者謂離欲界不善法有覺有觀入色界初禪從初禪起超入無色界非有非無想處非有想非無想處起入滅受想定滅受想定起還入初禪從初禪起入滅受想定滅受想定起入二禪二禪起入滅受想定滅受想定起入三禪三禪起入滅受想定滅受想定起入四禪四禪起入滅受想定滅受想定起入空處空處起入滅受想定滅受想定起入識處識處起入滅受想定滅受想定起入不用處不用處起入滅受想定滅受想定起入非有想非無想非有想非無想處起入滅受想定是為諸佛菩薩超入三昧之相若聲聞之人但能超入一定而不能超入二定況能如上所明自在超入也(不用處即無所有處也)。

【二超出三昧】超出三昧者謂從滅受想定起入散心中散心中起入滅受想定滅受想定起還入散心中散心中起入非有想非無想處非有想非無想處起住散心中散心中起入無所有處無所有處起住散心中散心中起入識處識處起住散心中散心中起入空處空處起住散心中散心中起入四禪四禪起住散心中散心中起入三禪三禪起住散心中散心中起入二禪二禪起住散心中散心中起入初禪初禪起住散心中是為諸佛菩薩超出三昧之相若聲聞之人但能超出一定而不能超出二定何況如上所明自在超出也。

精進二種相(出地藏十輪經)

【一世間精進】謂諸菩薩精進勇猛勤修布施持戒等諸福業如是精進依諸果報依諸福業有漏有取是名世間精進。

【二出世間精進】謂諸菩薩勇猛精進於諸眾生其心平等除滅一切煩惱業苦如是精進無漏無取無所依止是名出世間精進。

二忍(出大智度論)

【一眾生忍】忍即忍耐亦安忍也謂菩薩於一切眾生不瞋不惱如慈母愛子又若一切眾生以種種惡而加於我心不瞋恚以種種恭敬供養於我心亦不喜是名眾生忍。

【二無生法忍】理本不生不滅今但言不生故名無生謂菩薩於無生之法忍可忍樂不動不退是名無生法忍。

二忍(出地持經)

【一安受苦忍】謂疾病水火刀杖等眾苦所逼即能安心忍受恬然不動是名安受苦忍。

【二觀察法忍】謂觀察諸法體性虛幻本無生滅信解真實心無妄動安然忍可是名觀察法忍。

忍有二種相(出地藏十輪經)
謂菩薩能安忍世間有情無情種種苦惱之事然心有廣狹根有勝劣行有淺深故分世間出世間二種之別也(有情惱謂蚤蝨蚤虱等無情惱謂風寒雨濕等)。
【一世間忍】謂菩薩以有漏心依諸福業安忍世間種種苦惱違逆等事是為世間忍也。
【二出世間忍】謂菩薩但為利益一切有情起平等大悲之心安忍種種苦樂逆順之境而不見諸法生滅之相是為出世間忍。
二方便(出無着論)
【一細作方便】方便猶善巧也謂欲破眾生執着色身之相故佛假喻微細分析善巧而說如金剛經云三千大千世界所有微塵寧為多不等意謂由微塵而成世界世界本來不實因四大而成色身色身本來是假是名細作方便(三千大千世界者一須彌山一日月一四天下一帝釋名為一世界一千箇世界名小千世界一千箇小千世界名中千世界一千箇中千世界名大千世界三千大千世界即釋迦佛所化之境也四大者地大水大火大風大也)。
【二不念方便】謂欲破眾生執着色身之相已為假喻微細分析而說又令眾生於諸微塵不生念想故經云是諸微塵如來說非微塵等是名不念方便。
方便二種相(出地藏十輪經)
【一世間方便】謂諸菩薩或為自利或為利他示現種種善巧方便此之方便依有所得有所執着是名世間方便。
【二出世間方便】謂諸菩薩但為利他不為自利示現種種善巧方便此之方便依無所得無所執著是名出世間方便。
二無我(出楞伽經)
無即空也人法之中本無有我但凡夫不了於無我中計我極盛所謂我身我名我衣物我田宅我行我住坐臥語言不離於我乃至我能布施持戒等因此顛倒備起一切煩惱生死行業聲聞之人脩四真諦即了人法本空我亦無有故名二無我(四真諦者即苦集滅道也)。
【一人無我】謂由攬五陰實法而成假名之人凡夫不了復於假名之中妄執為我若了五陰之法本空假名之人豈得定有假名既不定有則所執之我亦不可得故金光明經云何處有人及以眾生是名人無我(攬者撮持也五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也五陰之身實有故名實法名字本來虛假故名假名)。
【二法無我】謂由攬父母之遺體四大假合而成五陰之身若一一分別推求皆悉空無所有凡夫不了妄執此身為我餘身非我若了四大本空五陰非有則所執之我亦不可得故金光明經云五陰舍宅觀悉空寂是名法無我(四大者地大水大火大風大也)。
二種我見(出起信論)

【一人我見】謂凡夫之人於五陰身強立主宰計我為人作此妄見故名人我見(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【二法我見】謂二乘之人計一切法各有體性雖得人無我智猶自怖畏生死妄取涅槃之法於法起見故名法我見(二乘者聲聞乘緣覺乘也梵語涅槃華言滅度)。
二空(出法藏般若心經略疏)
【一人空】人空即我空也亦曰生空謂凡夫妄計五蘊是我強立主宰引生煩惱造種種業佛為破此計故說五蘊無我二乘悟之入無我理是名人空(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【二法空】謂二乘之人未達法空之理猶計五蘊之法實有佛為破此執故說般若深慧徹見五蘊自性皆空菩薩悟之入法空理是名法空。
二空(出止觀)
【一但空】謂二乘之人觀一切法皆悉虛幻但見於空不見不空故名但空。
【二不但空】謂諸菩薩非但見空兼見不空不空即中道故名不但空。
空有各具二義(出華嚴經疏)
【一真空二義】一謂真空能滅幻有若幻有不滅即非真空二謂真空能成幻有幻有若礙亦非真空是名真空二義(幻有者以迷真空之理而成幻有之事虛假不實故名幻有)。
【二幻有二義】一謂幻有必覆真空幻有若現真空則隱二謂幻有不礙真空真空若顯幻有自滅是名幻有二義。
二執(出金光明經文句記)
【一人執】謂眾生於五陰等法中強立主宰計我為人妄生執著是名人執(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【二法執】謂眾生不了五陰等法從因緣生如幻如化計為我身妄生執著是名法執。
二法執(出宗鏡錄)
【一俱生法執】謂無始時來虛妄熏習於一切法妄生執著恒與身俱故名俱生法執。
【二分別法執】謂於邪教及邪師所說之法分別計度執為實法故名分別法執。
二我執(出宗鏡錄)
【一俱生我執】謂於五陰等法中強立主宰妄執為我與身俱生是名俱生我執(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【二分別我執】謂於計我法中分別我能行善行惡等事而起執著是名分別我執。
空有二執(出宗鏡錄)

【一情有理無】情有理無者即空觀對遣有執也謂觀遍計所執於情則有於理則無唯虛妄起都無體用正應除遣也。
【二理有情無】理有情無者即有觀對遣空執也謂觀依他圓成之法於理則有於情則無理本是實有體有用正應存留也。
二種常(出大智度論)
【一百歲至刼滅名常】百歲至刼滅名常者謂諸菩薩若住百歲千萬億歲若一刼乃至八萬刼後方始入滅是名為常此乃久遠住世為常非不遷不變之常也。
【二常住不壞名常】常住不壞名常者謂諸菩薩煩惱之惑已滅則真常之理方顯真常之理不生不滅不壞不變是名為常也。
二無常(出大智度論)
【一念念無常】謂一切有為之法念念生滅而不停住故名念念無常。
【二相續無常】謂相續法壞名為無常如人欲死漸漸命盡如火燒草木漸漸燒盡故名相續無常。
二無常(出析玄記)
【一剎那無常】梵語剎那華言一念而言無常者謂此一念之心生住異滅四相遷流不停是名剎那無常。
【二一期無常】謂眾生受身雖壽命長短不等皆名一期而言無常者謂諸眾生一期受報之身亦為生住異滅四相遷流終歸滅盡是名一期無常。
二假(出宗鏡錄)
宗鏡錄問云不了唯識之徒妄執我法聖教之內云何復言有我法等荅云對機設假非同情執假有二種故名二假。
【一無體隨情假】謂執我之法本自無體但因隨順機情虛假施設亦名我法故名無體隨情假。
【二有體施設假】謂聖教所說雖有法體而非我法體本無名隨緣施設假名我法故名有體施設假。
二因(出涅槃經)
【一生因】生即發生謂本具法性之理則能發生一切善法如穀麥等種能生芽孽是名生因。
【二了因】了即照了謂以智慧照了法性之理如燈照物了了可見是名了因。
二因(出宗鏡錄)
【一能生因】謂第八識能生起眼等諸識又為一切善惡種子之因譬如穀麥等種為發生芽孽之因是名能生因(第八識者即藏識也)。
【二方便因】謂眼等諸識能為方便引發第八識善惡之種譬如水土以為發生穀麥等芽孽之方便是名方便因。
二因(出天台四教儀集註)

【一習因】習即數習之義謂如習貪欲則貪欲增長是名習因。
【二報因】報即果報謂行善惡之因即得善惡之報是名報因。
二因(出大智度論)
論問曰諸煩惱是惡法云何能生善業荅曰有二種因。
【一近因】謂人為求後世富樂故修布施等善是為近因。
【二遠因】謂人欲離欲界衰惱不淨之身故修禪定之善是為遠因。
二因(出大涅槃經)
【一正因】正謂中正中必雙照三諦具足故名正因(中正者離於邊邪也雙照者照空照假也空謂蕩一切相即是真諦假謂立一切法即是俗諦非空非假即是中諦故云三諦具足)。
【二緣因】緣即緣助謂一切功德善根資助了因開發正因之性故名緣因(了因者了即照了謂以智慧照了正因也)。
二因(出瑜伽師地論)
【一牽引因】謂由無明之惑於先世時造作善惡一切業行由此業行為因則能招引現生果報如是展轉牽連不斷故名牽引因。
【二生起因】謂由無明之惑於現世時造作善惡一切業行由此業行為因則能感得後世果報如是展轉相生不絕故名生起因。
二果(出宗鏡錄)
【一增上果】謂眼耳鼻舌身五根皆為識所依根即增勝名增上果又第六意識能引生眼等五識亦名增上果又第七識前念為後念所依亦名增上果又第八識為第七識之所依故亦名增上果(第七識者即分別識也第八識者即藏識也)。
【二異熟果】異熟果者謂果報異時成熟即第八識也以此識能含藏一切諸法種子而成熟諸根識之果也如眼等諸根由昔作善惡之因今報得苦樂之果若今作善惡之因亦感當來苦樂之果是名異熟果(諸根者即眼耳鼻舌身意六根也)。
二果(出阿毘曇論)
【一習氣果】(亦名所依果)謂數習宿世善惡氣分感於果報也如往世修善勝故則今世為善心重修惡勝故則為惡心重是名習氣果。
【二報果】謂由宿世善惡為因感報今世之果也如往世作諸善業之因則感今世富樂之果作諸惡業之因則感貧苦之果是名報果。
二種無漏因果(出大涅槃經)
【一無漏因】謂二乘之人由修戒定慧之因能斷三界生死之苦果則戒定慧名無漏因即道諦也(二乘者聲聞乘緣覺乘也三界者欲界色界無色界也)。
【二無漏果】謂二乘之人既斷三界生死逼迫之苦證真空涅槃寂滅之樂是真空涅槃名無漏果即滅諦也(梵語涅槃華言滅度)。
二加(出華嚴經疏)

加即加被佛於華嚴會上以三業神力或冥或顯加被法慧等諸菩薩各各說法故有此二加也(三業者身業口業意業也)。
【一顯加】顯加者謂佛以平等大慈常鑑眾生若有宿世善根成熟者即以神力加被菩薩為其說法如身業摩頂以增其威口業勸說以益其辯顯然可見故曰顯加(身業摩頂者本以手摩手屬於身故也)。
【二冥加】冥加者謂佛以意業神力加被菩薩增其智慧於大眾中為人演說令無所畏隱密難見故曰冥加。
二種顯示(出華嚴經疏)
顯即顯露示即曉示謂一切眾生本性具有因果理事等法但相變體殊情生智隔不能顯發故談華嚴大經令其知心合體智顯情亡故有二種顯示也。
【一言顯示】謂佛以言說顯示令諸眾生悉皆知有如來智慧德相經云破一微塵出大經卷等是名言顯示。
【二使修行顯示】謂眾生既知性具如來之法令其修行悟入顯現如法華經云為令眾生開示悟入佛之知見等是名使修行顯示。
二種廣利(出華嚴經疏)
【一利今】謂佛在世當機之眾聞法悟道獲大利益是名利今。
【二利後】謂佛滅後一切眾生亦得聞經受法修行悟道獲大利益是名利後。
二種說法(出寶性論)
【一細】謂如來為諸菩薩演說甚深微妙之法以依第一義諦而說故名為細(第一義諦者如來所證出世間之妙理也)。
【二麤】謂如來或時為諸眾生演說諸法名字章句種種差別以依世諦而說故名為麤(世諦者謂世間一切諸法也)。
二種通相(出楞伽經)
【一宗通相】宗即心宗亦要也通即融通無礙相即自心所得勝進之相謂依教思修得意忘言趣入自覺之地覺智圓明融通無礙是名宗通相。
【二說通相】說即說法通即辯說無礙相即起用化他之相謂以方便隨順眾生根器淺深為其演說無有障礙是名說通相。
大明三藏法數卷第二

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

論有二種(出阿毘達磨大毘婆沙論)
論即辯明之義謂造論者或發明佛說大小二乘諸經之奧義或發明自宗之道辯證他宗之非故曰論也。
【一立自宗】立自宗者立自家之本宗也謂如善說法者立善說法宗惡說法者立惡說法宗應理論者立應理論宗分別論者立分別論宗也。
【二遮他宗】遮他宗者遮止他家所立之宗也謂如善說法者遮惡說法宗惡說法者遮善說法宗應理論者遮分別論宗分別論者遮應理論宗也。
二種語(出涅槃經)
【一世語】謂如來為諸聲聞緣覺說於世間有為之法名為世語。
【二出世語】謂如來為諸菩薩說出世間無為之法名為出世語。
二種愛語(出大智度論)
【一隨意愛語】謂菩薩為憐憫眾生故隨順其意而為說法是名隨意愛語。
【二隨所愛法為說】謂菩薩隨順眾生所愛樂法而為宣說論云菩薩若已得道隨所應度而為說法如高心富人為讚布施是人愛著名聲福德故心則喜樂是名隨所愛法為說。
二句(出翻譯名義)
句即句逗也又眾語和合成句謂如來所說之經必由文以載其義由義以成其文文義相成是為句也。
【一文句】文即字也依類象形為字形聲相稱曰文謂一切契經皆以文為身文成語為句詮顯其義必藉於文是為文句。
【二義句】義即義理謂一切契經皆詮義理然義必依文而得顯文因義而能成裁斷其文必由乎義是為義句。
二義(出圓覺經畧疏)
【一了義】謂諸大乘經宣說勝義如煩惱即菩提生死即涅槃之類皆究竟顯了名為了義。
【二不了義】謂諸經中宣說世俗等事或說厭離生死欣求涅槃等種種文句差別不為究竟顯了名不了義。
二決定義(出楞嚴經)
決定者斷然不易之謂如來令阿難甄別真妄一以審因心果覺之異同一以審煩惱根本之生起故有二種決定義也。
【一審因心果覺】佛語阿難若欲捐捨小乘入佛知見應當審觀因地發心與果地覺為同為異者蓋為阿難不知眾生本具之因心即如來所證之

果覺如來所證之果覺即眾生本具之因心故令其諦審觀察決定知因心果覺本來不異也若能即此不異之心而為立行進修之本則無上菩提決定成就矣(梵語菩提華言道)。

【二審煩惱根本】佛令阿難審詳煩惱根本發業潤生誰作誰受者蓋為阿難不知煩惱根本隨所作業妄受生死無解脫時是故令其審觀詳察決定知煩惱體性及所作之業所受之報本來虛幻不實也若能窮此顛倒之源則正行成立而無上涅槃決定可證也(梵語涅槃華言滅度)。

二請(出華嚴經疏)

【一言請】言請者謂以言說而請問也即華嚴第一會三昧品中普賢菩薩以言重請下之三品是也(三品者世界成就品華藏世界品毘盧遮那品也)。

【二念請】念請者謂不興言說唯以念想而請問也即第二會如來名號品中世尊知諸菩薩心之所念為現神通等是名念請。

二荅(出華嚴經疏)

【一言荅】謂華嚴經第一會至第八會各有請問皆以言說而荅是名言荅。

【二示相荅】謂華嚴經第九會入法界品初起六十句問如來自入師子頻申 三昧現相而荅蓋佛心自在不待興言佛力殊勝現相能荅是名示相荅(頻申 奮迅貌)。

二食(出法華文句)

【一法喜食】謂聞法懽喜即得增長善根資益慧命猶世間之食能養諸根支持其命是名法喜食。

【二禪悅食】謂以禪法資其心神而得禪定之樂即得增長善根資益慧命猶世間之食能養諸根支持其命是名禪悅食。

二種觀(出禪要呵欲經)

觀即定心運想之謂也修行之人未得正定於不淨法猶生染心故作此二觀遣其著心也。

【一死屍臭爛不淨觀】謂修行之人於閑靜處運心觀想死屍臭爛不淨之相心生厭惡我身不淨亦復如是云何著是色欲貪求無厭況命如電逝須臾難保一息不來與彼何異由觀臭爛不淨而貪着之心自息是為死屍臭爛不淨觀。

【二聞法憶想分別觀】謂修行之人雖聞法要未有空慧貪愛因緣熾然未息故須憶想自身以骨為柱以肉為泥毛髮爪齒皮膜筋血聚以為身飢寒失調百骸俱苦分別身分無一堅固由此憶想分別觀而貪著之心自息是為聞法憶想分別觀。

二種觀法(出占察經)

【一唯識觀】謂於一切時一切處隨身口意所有作業知惟自心於念念間悉以三觀觀察所起之心是名唯識觀(三觀者空觀假觀中觀也)。

【二實相觀】實相即理也謂思惟心性無生無滅不住見聞覺知於念念間悉以三觀觀於本心所具實相之理是名實相觀。

二見(出涅槃經)

【一住地分見】謂十住等菩薩破一品無明之惑顯一分三德從淺至深故名住地分見(三德者法身德般若德解脫德也)。

【二究竟無見】謂等覺菩薩斷最後品微細無明之惑淨盡無餘即登妙覺果佛之位本有性德一時究竟顯現更無所見故名究竟無見。

二見(出涅槃經)

【一相貌見】謂因彼形相狀貌而見如人遠見烟起便言見火雖不見火亦非虛妄是名相貌見。

【二了了見】謂人眼根清淨不壞自觀掌中阿摩勒果了了分明菩薩見於菩提涅槃之果亦復如是是名了了見(梵語阿摩勒翻譯名義不翻言其樹葉似棗花白而小果如胡桃味酸甜可入藥梵語菩提華言道梵語涅槃華言滅度)。

無明二義(出起信論疏)

【一無體即空義】謂無明之惑皆依眾生妄心違於真如而起妄境元空體本不有故云無體即空義。

【二有用成事義】謂無明雖無自體而能成辦世間出世間一切事業故云有用成事義。

二種熏(出翻譯名義)

熏資熏擊發之義也蓋言第八識雖含藏一切善惡種子若無染淨二緣熏發則不能成染淨等事如穀麥等種雖有生芽之能若不得水土資熏芽亦不生故名熏也(第八識即藏識也)。

【一熏習】熏即熏發習即數習謂數習染淨之緣熏發心體而成染淨等事故名熏習。

【二資熏】資猶助也謂現對塵境所起之心及諸惑相資熏發而成染淨等事故名資熏。

二種生死(出唯識論)

【一分段生死】分即分限段即形段謂六道眾生隨其業力所感果報身則有長有短命則有壽有夭而皆流轉生死故名分段生死(六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。

【二變易生死】因移果易名為變易謂聲聞緣覺菩薩雖離三界內分段生死而有方便等土變易生死如初位為因後位為果又後位為因後後位為果以其因移果易故名變易生死(方便土者脩戒定慧方便之道得生其中名方便土)。

二女(出涅槃經)

如來為諸眾生但欣生惡死而不知出離之方故以二女喻之蓋二女行止共俱不相棄捨亦猶生必有死死必有生未嘗暫離也。

【一功德天】經云如有女人入於他舍主即問言汝字何等荅言我身即是功德大天又問為何所作荅言我所至處能與種種金銀等寶聞已懽喜敬愛禮拜供養此喻凡夫貪生亦猶舍主貪愛財寶而愛是女也。
【二黑闇女】經云復見一女其貌醜陋多諸垢膩主即問言汝字何等荅言我字黑闇又問為何所作荅言我所行處能令其家所有財寶一切衰耗聞已持刀作如是言汝若不去當斷汝命荅言汝甚愚癡無有智慧汝之家中所供養者即是我姊我常與姊進止共俱汝若驅我亦當驅彼主人還入問功德天實為是否天言實是我妹行住共俱未曾相離我常利益彼常衰耗若愛我者亦應愛彼若厭彼者亦應厭我此喻凡夫但知惡死而不知生亦當惡若惡其死須惡其生生死俱惡方為有智所謂有智主人二俱不受也。
二種破著(出大智度論)
【一破欲著】謂人於好色多起貪欲若觀色是無常不淨等則不生貪著之心而得解脫之樂是名破欲著。
【二破見著】謂人雖觀色無常不淨猶尚著法生見若能了達色相本空則不起於分別之見是名破見著。
二解脫(出寶性論)
謂諸眾生常為業繩所縛不能脫離若解其縛即得自在故名解脫。
【一性淨解脫】謂眾生性本清淨而無繫縛染汙之相是名性淨解脫也。
【二障盡解脫】謂眾生由煩惱之惑障蔽聖道不得出離若離此障即得自在是名障盡解脫也。
二解脫(出華嚴經疏)
【一有為解脫】謂有作之戒依師作法而受如法而持則能防非止惡離諸惑業之縛故名有為解脫。
【二無為解脫】謂無作之戒性自清淨體本無為雖持戒法無持犯相心體既空罪性亦泯故名無為解脫。
二解脫(出成實論)
【一慧解脫】謂以智慧斷除無明惑業之縛而得解脫故名慧解脫。
【二心解脫】謂因此心離於貪愛之縛而得解脫故名心解脫。
二斷(出地持經)
【一緣縛斷】謂但斷心中之惑則於外塵境不起貪嗔於境雖緣不生染著故名緣縛斷。
【二不生斷】謂得法空之時能令三途惡道苦果永更不生故名不生斷(三途者刀途血途火途也)。
二種護持事(出地藏十輪經)
【一護持佛種】佛種者佛之種性也謂諸佛菩薩以大悲心紹隆佛種令諸眾生捨俗出家剃髮染衣脩行聖道使無斷絕也。

【二護持正法】正法者即四諦等真正之法也謂諸佛菩薩以大悲心護持如來正法使一切邪魔外道無能惱亂令諸眾生正信樂聞弘通流布利益無窮也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。

二教(出華嚴孔目)

【一化教通內外眾】謂如來一代施化之教通被內眾受道弟子及外眾在俗之人皆令依之脩行出離生死之苦故名化教通內外眾。

【二制教唯內眾】謂如來說諸律儀專為禁制內眾受道弟子令其如法受持成就聖果故名制教唯內眾。

華嚴為諸教本有二(出華嚴經疏)

華嚴即大方廣佛華嚴經也如來出現於世初說此經而後演說漸頓諸法者盖大小漸次諸教皆從此華嚴性海流出故此經能統攝該括以為諸教之本也。

【一為開漸之本】開謂開設漸即漸次即三乘之教也佛初說華嚴根本一乘圓教諸大菩薩信解證入如來智慧時有三乘權淺之機雖預法會如聾若盲不信不解不順不入故盧舍那佛脫珞御服著弊垢衣乃開三乘漸次隨宜之教令彼聲聞緣覺及權教菩薩開解成熟故華嚴為開漸之本也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也梵語盧舍那華言淨滿)。

【二為攝末之本】攝謂[(冰-水+丨)*夕]攝末即支末即前三乘教也佛既為諸小乘之機說三乘法既成熟已最後令其悟入佛慧故大乘同性經云所有聲聞法辟支佛法菩薩法諸佛法如是一切諸法皆悉流入毘盧遮那智藏大海故華嚴為攝末之本也(梵語毘盧遮那華言光明徧照亦云徧一切處)。

印師二教(出華嚴經疏)

印師二教者唐初印法師立此二教也。

【一屈曲教】謂釋迦如來所說之經逐其機性隨計破著方便委曲令物生解如涅槃經雖說圓通一極之理或對權顯實或會異歸同之類是名屈曲教(對權顯實者對藏通別三教之權以顯圓教一乘之實也會異歸同者會三教之異歸圓教之同也)。

【二平道教】謂盧舍那所說之經隨其法性平等而說如華嚴經雖有隨諸眾生各別調伏皆是稱性善巧一時頓演是名平道教(梵語盧舍那華言淨滿即報身佛也)。

曇讖二教(出華嚴經疏)

曇讖二教者西秦曇牟讖三藏立此二教也。

【一半字教】半字教者謂聲聞藏談理未徧若字之有半也。

【二滿字教】滿字教者謂菩薩藏談理滿足若字之圓滿也。

遠師二教(出華嚴經疏)

遠師二教者隋朝遠法師立此二教也。

【一漸教】漸教者謂約漸悟之機大由小起所設具有三乘之教也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
【二頓教】頓教者謂約頓機直入於大不由於小頓令得悟也。
劉虯二教(出華嚴經疏)
劉虯二教者齊朝隱士劉虯諳達釋書亦立二教也。
【一漸教】謂始自鹿苑終於雙樹所說之經從小至大故名漸教。
【二頓教】謂佛最初說華嚴經如日初出先照高山故名頓教。
二種無心約教(出宗鏡錄)
約即要約亦依約之義謂如來之教本離心緣言說之相眾生依教而脩捨離妄著之心安住真實之理則於聖道自然成就故云千經萬論莫不說離身心破於執著是也。
【一澄湛令無】謂諸眾生若能攝念安禪澄神靜慮能令定體湛然不為妄塵所撓是名澄湛令無。
【二當體是無】謂諸眾生直了心源本寂法亦無生以一念起處了不可得是名當體是無。
二宗釋題(出天台四教儀集註并華嚴經疏)
二宗釋題者謂天台賢首二宗解釋諸經題目有通別能所之不同也。
【一天台通別釋題】陳隋間天台智者大師凡解一經題目必以通別二義而判釋之如妙法蓮華經上之四字是別別在此經故經之一字是通通於一切諸經故餘經亦然是為天台通別釋題。
【二賢首能所釋題】唐朝賢首國師凡解一經題目必以能詮之文所詮之義而判釋之如大方廣佛華嚴經上之六字是所詮經之一字是能詮餘經亦然是為賢首能所釋題。
二種立題(出法華文句)
二種立題者謂凡諸經題目有佛自立者有結集經家之所立者。
【一佛自立】佛自立者謂諸經題目有佛自立如金剛經云是經名為金剛般若波羅蜜以是名字汝當奉持是也。
【二經家立】經家立者謂佛入滅後諸經題目有阿難等結集之人所立如妙法蓮華等經是也(梵語阿難華言慶喜)。
二攝(出淨名經疏)
【一折伏攝】折即折挫伏即摧伏謂六道眾生於三界中貪著五欲流轉生死卒難度脫故如來說諸善惡果報及以地獄等種種苦切之言折伏其心而攝受之是名折伏攝(六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也三界者欲界色界無色界也五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【二調伏攝】調即調治謂調伏見思煩惱及根本無明之惑皆順正理心心寂滅不令再起是名調伏攝。
二種入(出金剛三昧經)

【一理入】謂眾生深信本有真性不一不異不有不無無已無他凡聖不二寂靜無為無有分別因此深信能入於理是名理入。
【二行入】行即依理起脩之行謂行此行時心不傾倚無念無求安住不動猶如大地因行入理是名行入。
二詮(出宗鏡錄)
【一遮詮】遮即止其所非詮即能詮名字謂如諸經所說真如妙性每云不生不滅不垢不淨無因無果無相無為非凡非聖非性非相等皆是遣非蕩跡絕相祛情是名遮詮(祛音驅逐也除也)。
【二表詮】表即顯其所是謂如諸經所說知見覺照靈鑒光明朗朗昭昭堂堂寂寂等是名表詮。
二羯磨(出四分律)
梵語羯磨華言作法謂比丘有罪各共面對秉法自首其罪也。
【一治罪羯磨】謂比丘有犯戒者大眾作法治定其罪是名治罪羯磨也。
【二成善羯磨】謂比丘有犯戒罪許容對眾首露其罪得滅成就善根是名成善羯磨也。
二羯磨(出毘尼母論)
【一永擯羯磨】梵語羯磨華言作法謂佛在世時若比丘犯罪不自見過其性剛強永無改悔即作法白眾隨即擯黜盡此一身不復再同僧事是名永擯羯磨。
【二調伏羯磨】謂比丘犯法未曾懺悔凡飲食坐起語言一切僧事皆不得與眾共而使其心調停折伏自能知過改悔求僧懺罪不復更作是名調伏羯磨。
二種却魔法(出脩習止觀坐禪法要)
謂坐禪之人正定未發多有魔事心生驚怖破壞善根若能端心正念則邪不干正魔自滅謝故有二種却魔之法也。
【一脩止却魔】謂坐禪之人脩定之時或見父母兄弟諸佛形像一切可愛之境令人樂著或見師子虎狼羅剎一切可畏之形令人怖懼即當了達此是諸魔惑亂之相悉皆虛誑不喜不怖而唯息心寂靜則彼當自滅是為脩止却魔(梵語羅剎華言速疾鬼)。
【二脩觀却魔】謂坐禪之人修定之時於諸魔境脩止却之不去即當反觀能見之心無有處所彼何所惱如是觀時尋當謝滅若遲遲不去但當正心勿喜勿懼則正定現前彼當自滅是為脩觀却魔。
二等(出宗鏡錄)
【一斷等】謂佛極解脫道初發起時一切眾生所有無明之惑一時究竟頓斷此舉如來望眾生界無有一法而非清淨故名斷等。
【二得等】謂佛初成道得滿始覺之時一切眾生始覺之智皆得滿足此舉眾生望佛世尊所有無明等惑皆悉清淨無所障礙故名得等。

二殊勝(出楞嚴經)
此言觀音菩薩極證圓通十方普應上同諸佛下合羣生妙用超越故云殊勝。
【一上合諸佛本覺妙心】本覺妙心即諸佛本然覺了妙明真心也謂菩薩極證寂滅十方圓明體同諸佛故能起同體大慈與眾生樂顯應十方現身說法聖凡等度有願必從是為殊勝。
【二下合眾生同一悲仰】謂菩薩所證圓通之理與眾生本有之心迷悟雖殊體元不二故能起同體大悲拔眾生苦冥應十方等施無畏設有所求隨願滿足是為殊勝。
二種清淨(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一自性清淨】謂眾生真如心體性本清淨無所染礙故名自性清淨。
【二離垢清淨】謂眾生自性清淨心體遠離一切煩惱垢染故名離垢清淨。
二種自在(出華嚴經疏)
【一觀境自在】謂菩薩以正智慧照了真如之境及能通達一切諸法圓融自在是名觀境自在。
【二作用自在】謂菩薩既以正智照了真如之境即能從體起用現身說法化諸眾生而得自在是名作用自在。
二種畢竟(出大涅槃經)
【一莊嚴畢竟】畢竟猶决定之義謂一切眾生皆有一乘正性應須脩於六度莊嚴設若不脩不得正性是則六度决定能為莊嚴之具故疏云以六度為莊嚴也(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【二究竟畢竟】究竟猶至極之義即一切眾生所得一乘之性也苟得此一乘之性則能决定至於至極之地故疏云一乘為究竟也。
二種際(出華嚴經疏并演義鈔)
際即際畔謂生死涅槃體性是一本無際畔不異而異遂有生死涅槃二際之分也(梵語涅槃華言滅度)。
【一涅槃際】涅槃際者若以生死染緣就涅槃實理而言生死即涅槃了無虛妄之可分別無際之際是名涅槃際中論云涅槃之實際及與生死際無毫釐差別是也。
【二生死際】生死際者若以涅槃實理從生死染緣而言涅槃即生死非真寂靜之可證入無際之際是名生死際故晉譯華嚴經云生死非雜亂涅槃非寂靜是也。
二轉依(出楞嚴經義海)
【一轉煩惱依菩提】煩惱者昏煩之法惱亂心神即一切眾生無明妄惑也梵語菩提華言道即一切諸佛所悟所證之道也然菩提煩惱其性是一但由迷悟不分而分眾生迷故即轉菩提而為煩惱諸佛悟故即轉煩惱而為菩提若能了達煩惱即是菩提念念脩習是名轉煩惱依菩提也。

【二轉生死依涅槃】生死者一切眾生虛妄生滅也梵語涅槃華言滅度即一切諸佛所悟所證之果也然生死涅槃性元是一但由迷悟不分而分眾生迷故即轉涅槃而為生死諸佛悟故即轉生死而為涅槃若能了達生死即是涅槃念念證入是名轉生死依涅槃也。

二種無量(出大智度論)

【一實無量】謂涅槃佛性之理譬如虛空實無限量一切菩薩不能量度故名實無量。

【二不知為無量】謂如須彌山大海之水唯諸佛菩薩能知斤兩滴數多少諸天世人智力淺劣所不能知故名不知為無量(梵語須彌華言妙高)。

二種無礙(出華嚴經疏)

【一智慧於境無礙】境即法界之理也謂菩薩以平等智證於法界之理理事融通無有障礙故名智慧於境無礙。

【二神通作用無礙】謂菩薩由內心證於法界之理故能以種種神通應現十方世界隨機化度皆無障礙故名神通作用無礙。

二花(出華嚴經疏)

【一草木花】謂凡草木之花皆有開敷結實之義以喻萬行之因則有成就佛果之能故名草木花。

【二嚴身花】謂世間金玉等花皆能嚴飾其身以喻神通相好則能莊嚴法身故名嚴身花。

二種菩薩(出大智度論)

論云菩薩常好中道捨離二邊故不生邊國又於中國不生邪見家又問曰是菩薩大福德智慧力應生邊地邪見家而教化之何以畏而不生荅曰菩薩有二種(二邊者有無二邊也)。

【一成就大力菩薩】論云此菩薩為眾生故隨所應度隨處受用不避邊地及邪見家是名成就大力菩薩。

【二新發意菩薩】論云此菩薩初發心故若生邊地及邪見家既不能度人又自敗壞善根譬如真金在泥終不變壞若是銅鐵在泥則壞是故新發意菩薩不生邊地及邪見家(真金喻大力菩薩銅鐵喻新發意菩薩)。

菩薩二心(出大智度論)

【一大慈心】慈名愛念即與樂之心也謂菩薩愛念一切眾生常求樂事隨彼所求而饒益之是名大慈心。

【二大悲心】悲名愍傷即拔苦之心也謂菩薩愍念一切眾生受種種苦常懷悲心拯救濟拔令其得脫是名大悲心。

二種勝(出地持經)

【一因勝】謂菩薩所脩出世善法皆以菩提為因勝於聲聞緣覺是名因勝。

【二果勝】謂菩薩脩行既以菩提為因終證菩提之果勝彼二乘是名果勝(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。

二木(出法華經文句)
【一大樹】大樹喻別教菩薩也謂此教菩薩於法華會上聞說一乘之法受記作佛普度一切眾生如彼大樹蒙一雨所潤而得增長敷榮欝茂則能普覆一切是名大樹。
【二小樹】小樹喻通教菩薩也謂此教菩薩亦於法華會上聞說一乘之法受記作佛而不及別教菩薩根器之大化用之廣是名小樹。
二種獨覺(出析玄記)
大論云獨覺出無佛世觀外因緣無師自悟故名獨覺(觀外因緣者謂觀外物之凋零覺內心之生滅也)。
【一部行】部即部類謂此獨覺稍有為人之心如鹿行走而能回顧後羣故名部行。
【二麟喻】謂此獨覺但欲自度略無為人之心譬如麒麟唯有一角故名麟喻。
二藏(出莊嚴論)
藏即含藏之義謂佛說大小乘諸經各各含藏一切文理故名藏也。
【一聲聞藏】聞佛聲教故曰聲聞謂佛說阿含等經含藏小乘聲聞等脩因證果之法是名聲聞藏(梵語阿含華言無比法)。
【二菩薩藏】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂佛說華嚴法華等經含藏大乘菩薩脩因證果之法是名菩薩藏。
二乘(出華嚴經疏)
【一臨門三車】臨門三車喻小乘權教也謂法華經譬喻品中三乘之人於火宅門外索羊鹿牛三車求出火宅以喻三乘之人依四諦十二因緣六度等法脩行得出生死是名臨門三車(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【二露地牛車】露地牛車喻大乘實教也謂法華經譬喻品中諸子既出火宅到於四衢道中露地而坐等賜大白牛車同歸秘蜜理藏是名露地牛車。
二乘(出天台四教儀集註)
乘即運載之義謂二乘之人乘四諦十二因緣之法運出三界生死至於涅槃故名為乘(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也梵語涅槃華言滅度)。
【一聲聞乘】聞佛聲教故曰聲聞謂此人以四諦為乘知苦斷集慕滅脩道由觀四諦出離生死至于涅槃故名聲聞乘。
【二緣覺乘】因觀十二因緣覺悟真空之理名曰緣覺謂此人以十二因緣為乘由觀因緣生滅即悟非生非滅出離生死至於涅槃故名緣覺乘。
二果二義(出析玄記)
二果即斯陁含華言一往來而有二義焉。

【一一往天上】謂第二果人猶有欲界下三品惑共潤一往來身若於人中得第二果則一往天上一來人間便證第三果是名一往天上。
【二一往人間】謂第一果人若在天中得第二果則一往人間一來天上便證第三果是名一往人間。
初果二義(出析玄記)
初果即須陁洹華言預流又云逆流故有二義焉。
【一預流】預入也流即流類謂此聖人得證初果是入聖之流類故名預流。
【二逆流】謂初果聖人背逆生死之流類故名逆流。
利鈍二根(出析玄記)
析玄云見道行人根有二種謂須陁洹初果之人破惑見理名為見道(梵語須陁洹華言入流謂預入聖人之流也)。
【一鈍根名隨信行】婆沙論云由彼依信隨信起行謂此一類行人從來性多鈍故自不披閱教文但信他人言說而得悟道故名隨信行。
【二利根名隨法行】婆沙論云由彼依法隨法起行謂此一類行人從來性多利故不信他言但自披閱教典而得悟道故名隨法行。
二種醫(出大智度論)
【一小醫】謂但知病知病因知差病藥而不知一切病不知一切病因不知一切差病藥以譬聲聞不能徧知藥病是名小醫。
【二大醫】謂一切病一切病因一切差病之藥皆能徧知乃至徧知眾生病因差病藥等以譬菩薩無病不知無藥不識是名大醫。
二宗(出翻譯名義)
【一龍樹提婆宗】龍樹即南天竺國大名德比丘也作大莊嚴大智度等論號法性宗明一切眾生皆有佛性一闡提等皆當作佛梵語提婆華言天即龍樹弟子稟承其道傳流于世是為龍樹提婆宗(梵語一闡提華言信不具)。
【二無著天親宗】翻譯名義引三藏傳云無著夜昇覩史天宮於慈氏菩薩所受瑜伽師地等論專弘一切法相號法相宗天親乃無著之弟相繼其道傳流于世是為無著天親宗(梵語覩史又云兜率華言知足梵語瑜伽華言相應)。
二種比丘(出出曜經)
昔二比丘在山中學其一多聞其一寡淺寡淺者持戒誦經唯通一句日誦不輟更無他學天神贊善願樂欲聞多聞比丘見其神應盡己所聞高聲諷誦欲求贊美而神默然怒其神曰何厚於彼而薄於我神曰汝不自責而反責我彼雖少聞言行相顧汝雖能誦三藏行與經違故不稱善也(梵語比丘華言乞士三藏者一經藏二律藏三論藏)。
【一多聞比丘】樂誦經典旁搜廣記謂之多聞比丘多聞固為可稱然學雖有餘其心不誠而行不逮亦不足貴此天神之所以不贊護也。

【二寡淺比丘】學道日淺經教少通謂之寡淺比丘寡淺固未足稱然學雖未至其心則專而行無雜亦為可貴此天神之所以贊護也。
僧伽理事二和(出翻譯名義)
梵語僧伽華言和合眾謂與理和事和也。
【一理和】謂二乘之人同斷見思之惑同證無為之理是名理和(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【二事和】事和有六義謂內凡外凡之僧戒和同脩見和同解身和同住利和同均口和無諍意和同悅是名事和(內凡者謂四善根位即煖頂忍世第一也此位近於初果須陁洹聖位故名內凡外凡者謂五停心一多貪者脩不淨觀二多瞋者脩慈悲觀三多散者脩數息觀四愚癡者脩因緣觀五多障者脩念佛觀此位進脩之始去聖位遠故名外凡)。
二天隨人(出華嚴經)
經云如人生已則有二天恒相隨逐一曰同生二曰同名。
【一同生天】同生天者謂此天與人同時而生也。
【二同名天】同名天者謂此天與人同其名字也。
二難化(出大智度論)
菩薩為化眾生而於世間常作轉輪聖王多生欲界以天上著樂故難化也。
【一欲天難化】謂欲界諸天著於上妙五欲難以教化是名欲天難化(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【二色天難化】謂色界諸天多味著世間禪定之樂無厭惡心不求出離難以教化是名色天難化。
二種眾生(出大智度論)
【一習愛眾生】習即數習愛即貪愛亦愛樂也謂諸眾生於世間一切聲色香等五欲境界多生貪愛不能捨離是名習愛眾生(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【二習見眾生】見即分別有無等見也謂諸眾生於一切法計有計無及計斷常等見是名習見眾生(斷見者執世間之法皆悉斷滅無常也常見者謂執此身死已復生相續不絕也)。
聞經二種非器(出華嚴經疏)
【一二乘非器】謂佛說華嚴經時一切二乘根器狹劣不能聽聞故出現品云一切二乘不聞此經何況受持故雖在座如聾如瞽是名二乘非器(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【二眾生非器】謂一切邪見眾生無信心故非其根器雖聞此經聞即生謗而墮惡道是名眾生非器。
二種(出法華安樂行義)
【一凡種】謂凡夫之人不能覺了因眼見色生貪愛心為愛造業隨業受報輪迴生死相續不斷是名凡種。

【二聖種】謂人因善知識得聞法義善能覺了一切諸法皆從妄念而生觀此妄心猶如虛空如是而脩不著諸法能為聖果之種是名聖種。

二種受具戒法(出大寶積經)

戒者萬善之根本也謂能受正戒者一切善法從此增長受之不正者著於邪見墮於外道故戒有二種不同也。

【一受正平等戒】謂脩行人能受持如來正戒一切平等不生分別差別之見頓絕妄想邪思之心戒體圓明而得解脫究竟至於無上菩提無有退轉也(梵語菩提華言道)。

【二受邪不等戒】謂邪見之人隨逐惡知識以分別心受持邪戒而墮於人我斷常憍慢貪欲瞋恚愚癡種種差別邪見不知出要解脫之道也。

二種健兒(出涅槃經并水懺)

謂自不作惡既作而能懺悔更不復作乃是有力量人故名健兒。

【一自不作罪】謂此健兒身口意業常自清淨永無過惡故名自不作罪。

【二作已能悔】謂此健兒雖先作惡後能改悔更不敢作猶如濁水置之明珠以珠力故水即為清故名作已能悔。

二種人呪術不能加(出摩登伽經)

經云阿難乞食道逢摩登伽女取水阿難渴乏從之求飲女心染著歸白其母請以呪術致之母云世有二種人雖呪術不能加也(梵語阿難華言慶喜梵語摩登伽華言性)。

【一斷欲人】謂人能斷欲必自持戒持戒之人正念堅定立行端方神所呵護妖邪莫撓雖有呪術不能加也。

【二死人】謂人既死識依業轉隨處受形呪壽夭有限死不復生雖有呪術不能加也。

二種破戒人(出大智度論)

【一因緣不具足破戒】謂貧窮之人衣食之緣不能具足是以心生偷盜即破於戒是名因緣不具足破戒。

【二因緣具足破戒】謂人衣食之緣雖皆具足以心習惡故好行惡事於諸禁戒多所毀犯是名因緣具足破戒。

二人出佛身血(出大智度論)

【一調達推山得罪】梵語調達華言天熱謂其生重惡心推山壓佛金剛力士為護佛故以金剛杵反却擲之碎石迸來傷佛足指出血而得罪報。

【二祇域行針得福】梵語祇域華言故活謂佛有疾使祇域治之因行針出血疾得頓愈雖出佛血由治疾故而得福報。

二種退(出地持經)

【一究竟退】究竟猶決定也謂脩行之人信根淺薄始則勤脩後因他緣障礙道心即退終不起菩提之願是名究竟退。

【二不究竟退】謂脩行之人始則精進中復懈墮道心即退心既退已或遇善知識提獎勸誘復能發起菩提之願是名不究竟退。

二親(出法苑珠林)

二親者父母也末羅王經云人受父母遺體乳哺養育之恩或從地積珎寶上至二十八天悉以施人不如供養父母也(二十八天四天王天忉利天夜摩天兜率天化樂天他化自在天梵眾天梵輔天大梵天少光天無量光天光音天少淨天無量淨天徧淨天無雲天福生天廣果天無想天無煩天無熱天善見天善現天色究竟天空處天識處天無所有處天非想非非想處天也)。

【一父親】父親者謂資形之始有生成之德自孩提以至長成教誡撫字其恩罔極也。

【二母親】母親者謂資生之始自懷擔以至乳哺鞠育護持劬勞甚至其恩罔極也。

大明三藏法數卷第三

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

二護(出涅槃經)
【一內護】內即自己身心也謂佛所制大小乘戒人若受持則能防護身口意業之非成就種智菩提之果此禁戒所以為內護也。
【二外護】外即族親眷屬也謂人之脩行須屏絕緣務凡有所需衣服飲食湯藥之類必藉族親眷屬左右供給庶得身心安隱成辦道業此族親眷屬所以為外護也。
二種有(出毘婆沙論)
【一實物有】謂五蘊等法成身即是實有之物故名實物有(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【二施設有】謂世間之人各各隨業受報因假父母遺體便即施設而有男女之名故名施設有。
二種病(出涅槃經)
【一身病】謂身因四大毒蛇互不調適以致諸病所生故名身病(四大者地大水大火大風大也以此四者遍滿世界故名為大人攬外之四大而成內四大之身堅濕煖動之性在內交攻不相和順毒害如蛇故曰四大毒蛇)。
【二心病】謂心體靈明虛圓湛寂其或歡喜不勝而致踊躍怯懦無勇而生恐怖及憂愁苦惱愚癡昏昧由此四者撓動于中以致諸病所生故名心病。
二種病(出大智度論)
【一先世行業病】謂因先世好行鞭杖拷掠閉繫種種惡法惱害眾生故感今世多病是名先世行業病。
【二現世失調病】謂因冷熱風雨不知將養其身及飲食不節臥起無常以是事故得種種病是名現世失調病。
二種死(出涅槃經)
【一命盡死】謂天命當盡捨所受身故名命盡死然或有命盡非是福盡或有福盡非是命盡或有福命俱盡皆為命盡死也(福謂財物等)。
【二外緣死】謂不順天命以喪其身故名外緣死如非分自害或橫遭他人所害或二人怒氣相加自他俱死皆為外緣死也。
二種布施(出大智度論)
【一淨施】謂布施時不求世間名譽福利等報但為出世善根及資助涅槃之因以清淨心而行布施故名淨施(梵語涅槃華言滅度)。
【二不淨施】謂以妄心求於福報而行布施如般若經云或畏失財故施與或恐訶罵故施與或為求勢故施與如是種種因緣與淨相違是名不淨施。

二種法施(出般若經)
【一世間法施】謂菩薩雖為諸有情宣說開示五神通等一切諸法然未能出離世間故名世間法施(五神通者一足不履地二知人心命三回眼千里四呼名即至五石壁無碍也)。
【二出世間法施】謂菩薩為諸有情宣說開示三解脫門等一切聖法依此而脩即得出離世間故名出世間法施(三解脫門者一空解脫門二無相解脫門三無作解脫門也)。
二種身行施(出大智度論)
【一生身行施】謂菩薩以父母所生之身能以一切寶物及以身命布施心不悋惜是名生身行施。
【二法身行施】謂菩薩捨生身已得法身時能於十方世界以種種珍寶衣服飲食給施一切眾生又能一時之頃隨眾生音聲普為說法是名法身行施。
二種施(出法界次第)
【一財施】財施者謂以飲食衣服田宅珍寶等一切自己所有資身之具悉能施與它人也金光明最勝王經云財施之福不出三界唯伏貪愛但濟一世之貧而不能令其得道譬如燈光止明一室是也(三界者欲界色界無色界也)。
【二法施】法施者謂從諸佛及善知識或從經卷聞說世間出世間善法以清淨心為人演說也金光明最勝王經云法施兼利自他能令眾生出於三界斷諸煩惱成就慧身譬如日光徧照大千世界是也(世間法者即五戒十善及治世之法也出世間法者即三乘所脩四諦六度等法也)。
二戒(出華嚴孔目)
【一性戒】謂殺盜邪淫妄語此四性自是戒不待佛制人若持之即得福犯之即得罪是名性戒。
【二遮戒】遮即遮止謂飲酒多有過失能犯諸戒是故佛特遮止令不毀犯乃能守護餘之律儀是名遮戒。
二戒(出毘婆沙論)
【一道共戒】謂於見道脩道位中不作意持自然不犯戒與道俱發是名道共戒此戒既是初果二果三果所得即是無漏戒也(見道即初果脩道即二果三果也無漏者不漏落三界生死也)。
【二定共戒】謂發得初禪二禪三禪四禪天定之時不作意持自然不犯戒與定俱發是名定共戒此戒斷惑未盡未出生死即是有漏戒也。
二戒(出華嚴經疏)
【一隨相戒】隨即隨順相即形相謂依如來教染衣出家乞食自活不犯威儀是名隨相戒。
【二離相戒】離即遠離謂持戒之人心無所著則一切戒猶如虛空了無持犯之相是名離相戒。

二戒(出涅槃經)
【一性重戒】謂殺盜[婬-壬+(工/山)]妄皆性業也不待佛制持而不犯性自是善犯而不持性自是罪若犯之者其罪極重是名性重戒。
【二息世譏嫌戒】謂佛所制出家之人凡世間治生產業及一切非道所宜之事皆不應為以止世人之所譏誚嫌疑是名息世譏嫌戒。
二戒(出涅槃經)
【一威儀戒】威儀戒者謂受戒已惟務脩飾容止誑惑於世盖由好求名利欲人恭敬者也。
【二從戒戒】從戒戒者謂頓從佛制清淨三業盖其內外相稱不為世事但求真實利益不要虛譽者也(三業者身業口業意業也)。
出家二戒(出天台四教儀集註)
【一十戒】謂一不殺二不盜三不[婬-壬+(工/山)]四不妄語五不飲酒六不坐高廣大牀七不著花鬘衣八不觀聽歌舞九手不捉金銀財寶十不過中食此十戒是初出家沙彌所持是為出家十戒(梵語沙彌華言息慈息世染之情慈濟羣生也)。
【二具足戒】具足戒者即二百五十戒也謂波羅夷法凡四條(梵語波羅夷華言極惡)僧伽婆尸沙法凡一十三條(梵語僧伽婆尸沙華言僧殘謂犯此戒如人被他斫殘命雖未盡形已殘廢故也)不定法凡二條(謂比丘犯非法語或以波羅夷法治之或以僧伽婆尸法治之或以波逸提法治之故名不定也)尼薩耆波逸提法凡三十條(梵語尼薩耆華言捨謂因財物等犯貪慢心令捨入僧眾故梵語波逸提華言墮謂不捨當墮地獄也)波逸提法凡九十條波羅提提舍尼法凡四條(梵語波羅提提舍尼華言向彼悔僧祇律云此罪應對眾發露故名向彼悔)眾學戒法凡一百條(此等戒法令比丘眾皆學故名眾學也)滅諍法凡七條(謂有諍事起即應除滅故名滅諍法)此二百五十戒是出家比丘所持是名出家具足戒(梵語比丘華言乞士)。
在家二戒(出毘婆沙論)
【一五戒】謂不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒此五戒是在家之人所持故名在家五戒。
【二八戒】謂五戒之後更加不坐高廣大床不著花鬘瓔珞不習歌舞戲樂此八戒亦是在家之人所持故名在家八戒。
邪正二戒(出天台四教儀集註)
【一邪戒】謂外道之人執邪為道非因計因自計前世因從鷄中來便即獨立行於苦行或計因從狗中來便即噉食糞穢行於苦行是名邪戒。
【二正戒】謂佛未出世時輪王亦教人行於不殺不盜等十善即此十善戒法是名正戒(十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不瞋恚不邪見也)。
二持(出華嚴經疏)
【一止持】止即制止謂止身口令不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語等是名止持。

【二作持】作猶行也謂既不殺生又能放生既不偷盜又能布施既不邪[婬-壬+(工/山)]又能恭敬既不妄語又能實語是名作持。

二種精進(出法界次第)

【一身精進】謂身勤脩善法晝夜行道禮誦講說勸助開化是名身精進(勸助者獎勸贊助也開化者說法開導化度於人也)。

【二心精進】謂心勤行善道心心相續無有間歇是名心精進。

二種精進心(出法華懺儀)

謂行人熏脩懺法即當剋取限期破諸惑障如脩法華三昧以三七日為期於中禮佛懺悔行道誦經有事有理俱當精進故有二種心也(梵語三昧華言正定三七日二十一日也)。

【一事中脩忍精進】謂行人於道場三七日中行儀純備當禮佛時一心虔懇觀想金容端嚴殊妙儼然在目心不異緣乃至懺悔行道誦經坐禪悉皆一心令與行法相應無有懈怠是名事中脩一心精進。

【二理中脩一心精進】謂行人初入道場乃至三七日滿於其中間所作行儀常當照了一心寂靜如禮佛時即知能禮所禮本性空寂雖曰空寂而自然感應道交不可思議盖由理體平等生佛不二雖無能禮之人而有我身禮諸佛前雖無所禮之佛而有諸佛隨心顯現如是念念無有懈怠是名理中脩一心精進(生佛者眾生諸佛也)。

二種忍辱(出大智度論)

【一非眾生數忍辱】謂菩薩若遇風寒冷熱水雨等無情之物惱害之時安然忍受初不瞋恚是名非眾生數忍辱。

【二眾生數忍辱】謂菩薩若遇有情眾生加惡於我亦能忍受略不瞋恨是名眾生數忍辱。

二種分別真偽禪相(出脩習止觀坐禪法要)

【一辨邪偽禪發相】謂脩禪之人於禪定中或覺自身如縛如壓或時身輕欲飛或歡喜躁動憂愁悲思如是種種邪偽之相與禪俱發心若愛著即與鬼法相應多失心顛狂是故脩禪定者於此諸相即當一心寂靜辨其邪偽知彼虛誑不愛不著則自然滅謝是為辨邪偽禪發相。

【二辨真正禪發相】謂脩禪之人於禪定中端心正念離諸昏散但覺身心安隱泯然虛豁空明清淨寂靜無為而與正定相應如前所說一切邪偽之相了無所見是為辨真正禪發相。

二種寂靜(出釋氏要覽)

【一身寂靜】謂捨家恩愛及眾緣務閑居靜處遠離憒鬧身諸惡行一切不作是名身寂靜。

【二心寂靜】謂於貪瞋癡等悉皆遠離脩習禪定無有散亂意諸惡行一切不作是名心寂靜。

二種願(出大智度論)

【一可得願】謂脩福可得人天中生脩戒定慧可得阿羅漢乃至佛果是名可得願(梵語阿羅漢華言無學)。
【二不可得願】謂人以己智力而欲籌量虛空盡其邊際終不可得是名不可得願。
二種脩行(出涅槃經)
【一真實脩行】謂依佛所說能知涅槃佛性等相而脩諸行是名真實脩行(梵語涅槃華言滅度)。
【二不實脩行】謂不知涅槃佛性等相而脩諸行是名不實脩行。
二因緣發起正見(出大智度論)
【一外聞正法】謂眾生雖具正念必從智人聞說正法然後正見始得開發譬如穀麥內具種子外滋雨澤然後其芽始得生起是故若欲正見開明必須外聞正法。
【二內有正念】謂眾生雖聞正法發起正見實由內心正念本具譬如洪鍾雖待人扣聲非外有是故若欲正見開發必須內有正念。
二種心(出地持經)
【一安隱心】謂菩薩為諸眾生造諸惑業而受生死逼迫之苦沉溺惡道即為種種開示除不善法置之善處令彼之心各獲安隱也。
【二快樂心】謂菩薩為諸眾生貧乏困苦無所依怙即起大慈之心利濟攝受平等饒益令彼之心各得快樂也。
意業有二種心(出大乘理趣六波羅蜜經)
意業者意根所起之業也謂脩行之人於布施持戒忍辱禪定智慧等五度非精進力不能成就身口意三善業亦由精進力方得發生然三業之中意業最勝故有二種心也。
【一精進心】謂發菩提心脩習善業晝夜禪誦不令放捨遠離一切懈怠心也。
【二退轉心】謂於諸善法不能進脩或暫時發心脩行輒生退屈則不能到於涅槃彼岸也。
二種懺悔(出補助儀并天台四教儀)
梵語懺摩華言悔過華梵兼舉故名懺悔又懺名脩來悔名改往謂脩未來之善果改已往之惡因也。
【一事懺悔】事即事儀謂身則禮拜瞻敬口則稱唱讚誦意則存想聖容三業殷勤求哀懺悔過去見在所作罪業一依事儀是名事懺悔。
【二理懺悔】理即理性謂過現所作一切罪業皆從心起若了自心本性空寂則一切罪相亦皆空寂是名理懺悔。
二種白法(出華嚴經隨疏演義鈔)
白法者白淨之法也地獄等法名為黑法人天等法名為白法光明文句云白法須尚黑法須捨是也。
【一慚白法】謂內自羞慙不敢作惡脩習善法止息惡行是名慚白法。

【二愧白法】謂內自惶愧發露罪瑕更不敢作脩習善法止息惡行是名愧白法。

二種勸請(出大智度論)

【一佛初成道勸請轉法輪】謂佛初成道時菩薩勸請言我某甲請佛世尊為眾生轉法輪度脫一切是名勸請轉法輪(某甲者稱自己名也)。

【二佛欲入滅勸請住世】謂佛欲捨壽命入涅槃時菩薩勸請言我某甲請佛世尊久住世間無央數刼度脫一切眾生是名勸請住世(刼梵語具云刼波華言分別時節)。

二種資糧(出寶積經)

資即資助糧即糧食如人欲涉遠道必假糧食以為資助盖譬菩薩脩行欲證佛果必藉福智二法以為資助故名資粮也。

【一福德資粮】謂布施持戒等所作善因乃至具足脩習一切佛法是名福德資糧。

【二智德資粮】謂脩習正觀心無雜亂勤求妙智無暫休息乃至具足脩習一切佛法是名智德資粮。

二種供養(出普賢行願品)

【一財供養】經云所有十方一切佛剎極微塵數中一一各有一切世界極微塵數佛一一佛所各有菩薩海會圍繞我以普賢行願力故悉以上妙諸供養具而為供養所謂華鬘音樂傘盖衣服及燒種種香然種種燈一一如須彌山以如是等諸供養具常為供養是名財供養(梵語須彌華言妙高)。

【二法供養】經云諸供養中法供養最所謂如說脩行供養利益眾生供養攝受眾生供養代眾生苦供養勤脩善根供養不捨菩薩業供養不離菩提心供養以前財供養無量功德比今供養一念功德百分不及一是名法供養(利益眾生攝受眾生名法供養者必因說法方能利益攝受即是以法供養如來也代眾生苦名法供養者因發大悲之心方能代眾生苦亦是以法供養如來也勤脩善根即是勤修善法也菩薩業者即菩薩所脩之法也)。

二善(出大智度論)

【一未生善】謂戒定慧等諸善之法未曾脩習是名未生善善若未生當勤脩習令其得生也。

【二已生善】謂戒定慧等諸善之法已曾脩習名已生善善若已生當勤脩習令其增長也。

二種福田(出大智度論)

論云施主有二種一者貧二者富皆能於三寶中種福故名二種福田(三寶者佛寶法寶僧寶也)。

【一貧福田】謂貧窮之人雖無財物供養若能禮事恭敬亦得福報是名貧福田。

【二富福田】謂富貴之人既能禮事恭敬又以財物供養而得福報是名富福田。

二種福田(出大方便佛報恩經)
田以生長為義謂人於應供養者而供養之則能獲諸福報如農服力田畝而有秋成之利故名福田。
【一有作福田】謂於諸佛菩薩父母師長之所生恭敬心脩諸供養不惟得福亦可成道若有冀望福報之心乃是有為而作故名有作福田。
【二無作福田】謂於諸佛菩薩父母師長之所生恭敬心脩諸供養不惟得福亦可成道若無冀望福報之心乃是無為而作故名無作福田。
二利(出金剛般若經取著不壞假名論)
【一自利】謂於如來所說經典自能受持讀誦聽聞思惟如理脩習成就勝果是名自利。
【二利他】謂能以已所受之法展轉為人演說令其脩習斷惑證果是名利他。
二種闡提(出楞伽經)
闡提梵語具云一闡提華言信不具亦云極惡。
【一捨一切善根一闡提】捨善根者楞伽經云謂謗菩薩藏及作惡言不肯隨順經律之法是名捨一切善根一闡提(菩薩藏者藏即含藏也謂諸大乘經典含藏一切文理是菩薩所脩所證之法故名菩薩藏)。
【二於無始眾生發願一闡提】謂世間眾生窮刦有之無有初始故名無始眾生菩薩發願度諸眾生以本願力現為闡提故楞伽經云菩薩以本願方便不般涅槃是名於無始眾生發願一闡提。
二種見(出大智度論)
此二種見即十使中之邊見也外道之人於身見上計我斷常執常非斷執斷非常隨執一邊故名邊見(十使者一身見二邊見三邪見四見取五戒取六貪七瞋八癡九慢十疑也)。
【一常見】論云見五眾常即外道自謂色受想行識今世雖滅未來復生相續不斷是名常見(五眾者即色受想行識五陰也)。
【二斷見】論云見五眾滅即外道自謂色受想行識今世滅已更不再生是名斷見。
鬼二生(出俱舍釋論)
【一鬼胎生】論云女餓鬼白目連云我夜生五子晝時亦生五子生已皆食盡如此我無飽此鬼即是胎生也。
【二鬼化生】謂不從胎卵等生但無而忽有變現不測此鬼即為化生也。
二罪(出圓覺經畧疏鈔)
【一性罪】性罪者即殺盜[婬-壬+(工/山)]妄四種重戒不待佛制性是惡故犯之則有罪報也。
【二遮罪】遮罪者即酒戒也謂佛制此酒戒意為遮止無犯守護餘戒使不故犯如有犯者則獲遮制之罪也。

二吉羅(出翻譯名義)
梵語具云突吉羅華言惡作惡說。
【一身惡作】謂身行殺盜邪[婬-壬+(工/山)]等惡是名身惡作。
【二口惡說】謂口出妄言綺語兩舌惡口等是名口惡說。
二惡(出大智度論)
【一已生惡】謂貪瞋癡及殺盜[婬-壬+(工/山)]等諸惡之法已起於心已見於事者是名已生惡惡若已生速令除滅也。
【二未生惡】謂貪瞋癡及殺盜[婬-壬+(工/山)]等諸惡之法於心未起於事未見是名未生惡惡若未起防令不生也。
二種惡事(出大智度論)
【一眾生惡事】謂諸眾生貪欲瞋恚愚癡不依父母師長教誨造種種惡是名眾生惡事。
【二土地惡事】謂土地之中或有饑荒疾疫毒氣流行無處不有是名土地惡事。
二煩惱(出瑜伽師地論)
【一根本煩惱】根本煩惱者即無明惑也謂此根本無明之惑能出生一切煩惱也。
【二隨煩惱】隨煩惱者即見思二惑也謂此見思二惑隨於一切違順境上起貪瞋癡等煩惱隨逐不捨也。
二煩惱(出大智度論)
【一內著煩惱】謂身見邊見等諸煩惱於內心不了而起執著故名內著煩惱(身見者謂眾生妄執色受想行識之五陰為自身也邊見者妄於身見中或執為斷或執為常各執一邊名邊見也)。
【二外著煩惱】謂貪瞋癡等煩惱於外境不了而起貪著故名外著煩惱。
二煩惱(出華嚴經疏)
【一隨眠煩惱】依附不捨曰隨五情暗冥曰眠謂無明煩惱種子潛伏第八藏識之中能生一切妄惑是名隨眠煩惱也(五情者即眼耳鼻舌身五根也)。
【二現行煩惱】謂六根對六塵境現起貪瞋癡等煩惱是名現行煩惱也(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
二惑(出釋籤)
【一理惑】謂根本無明之惑能障覆中道之理不能顯發是名理惑。
【二事惑】謂塵沙惑能障化導則覆俗諦之法見思惑能阻空寂則覆真諦之法是名事惑。
二惑(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一現行惑】謂六根對六塵現起貪瞋癡等煩惱令心昏迷障諸善法是名現行惑(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵

也)。
【二種子惑】種子者即根本無明也謂因此無明則能生一切煩惱障諸善法是名種子惑。
見思二惑(出天台四教儀集註)
惑迷惑也謂諸眾生於一切法不了自性本空妄生執著惑於正道流轉生死故名惑也又名二縛由此惑業纏縛住著三界不能脫離也又名二結結即縛之義也(三界者欲界色界無色界也)。
【一見惑】分別曰見謂意根對法塵非理籌度起諸邪見如外道計斷計常乃至有無等見是名見惑。
【二思惑】貪愛曰思謂眼耳鼻舌身五根對於色聲香味觸五塵貪愛染著迷而不覺是名思惑。
客塵二義(出楞嚴經)
【一客義】謂見思等惑皆由眾生不了外塵之境種種妄想而生若以智慧觀察惑體本空則法性理顯惑亦何有經云不住名客是名客義。
【二塵義】謂微細之惑而能染汙清淨真性譬如牖隙光流諸塵相現亦能亂於虛空之性若智慧發明了惑本無則空理現前塵亦何有經云澄寂名空搖動名塵是名塵義。
二障(出圓覺畧疏)
【一理障】謂本覺心源湛然清淨由無明妄染礙正知見不達真如之理是名理障。
【二事障】謂眾生由無明障覆生死相續無由脫離是名事障。
二障(出楞嚴經義海并宗鏡錄)
【一煩惱障】謂昏煩之法惱亂心神不能顯發妙明真性是名煩惱障。
【二所知障】所知障亦名智障謂執所證之法障蔽智慧之性是名所知障。
二障(出天親論)
障即障礙如金剛經中湏菩提得無諍三昧盖由離此二障故也(梵語湏菩提華言空生)。
【一煩惱障】煩惱即見思惑也謂湏菩提證得第四阿羅漢果時見思二惑俱已斷盡心空寂靜諍從何起是故得於無諍實由離此煩惱障也(梵語阿羅漢華言無學)。
【二三昧障】梵語三昧華言正定即無諍三昧也謂湏菩提證得第四果時既得無諍三昧若於此三昧心有取著即為有諍是故得於無諍實由離此三昧障也。
二業(出俱舍論)
【一引業】謂若宿世善業引發生於人中則得珍寶豐足多受快樂若由宿世惡業引發生於人中則感貧窮困乏受諸苦惱是名引業。

【二滿業】謂由宿世脩一善業感一生中大富多財乘此更脩眾善展轉生官貴家乃至圓滿究竟善果是名滿業若由宿世造一惡業感一生貧窮苦惱乘此更造眾惡展轉生貧窮家乃至圓滿極惡之果是名滿業。

輕重二業(出涅槃經)

經云或有重業可得作輕或有輕業可得作重以人有智有愚故也。

【一重業輕受】重業輕受者謂有智之人以智慧力脩習梵行能令地獄重業現世輕受也。

【二輕業重受】輕業重受者謂愚癡之人以愚癡故增其業力能令現世輕業地獄重受也。

二礙(亦名二障出宗鏡錄并演義鈔)

【一煩惱礙】謂見思二惑起種種昏煩之法惱亂心神以致障礙無漏法性是名煩惱礙。

【二智礙】(即所知障)謂由根本無明之惑覆蔽法性而於中道種智則成障礙故名智礙。

束蘆二義(出宗鏡錄)

【一互相依】謂如束蘆互相依倚以譬六根六塵更相由藉而成染惑也以由根依塵故而發妄知塵依根故而有幻相是名互相依(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。

【二取中空】謂取蘆葦中本空虛自性不實以譬根塵中間各無自性一切皆空是名取中空。

二慳(出地持經)

【一財慳】謂恪惜財物無憐愍心見諸貧窮困乏不能惠施是名財慳。

【二法慳】謂慳惜佛法懷妬嫉心恐他勝己不肯教導餘人是名法慳。

二愛(出大智度論)

【一欲愛】謂眾生愛念妻子及貪染五欲等是名欲愛(五欲者以色聲香味觸五塵能起人貪欲之心也)。

【二法愛】謂菩薩以平等心而生法喜欲令一切眾生皆至佛道是名法愛。

二種邪見(出中論)

【一破世間樂邪見】謂人若言無罪福報亦無如來等賢聖因起此邪見捨善為惡當墮苦趣失人天樂是名破世間樂邪見。

【二破涅槃道邪見】梵語涅槃華言滅度謂人貪著於我分別有無起善滅惡因起善故得世間之樂因分別有無故不得涅槃道是名破涅槃道邪見。

二種妄見(出楞嚴經)

【一別業妄見】謂諸眾生迷失真性自起妄見見有一切虛妄境界或苦或樂若人不失本真即不見有虛妄境界譬如一人病目夜見燈光別有圓影五色重疊不病目者即不見燈別有圓影是名別業妄見。

【二同分妄見】謂諸眾生迷失真性同見一切虛妄境界同受苦樂同業所感譬如一國之人同見瘴惡不祥之事是名同分妄見。

二種無知(出天台四教儀集註)

【一染汙無知】染汙無知者即見思惑也以無明為體謂見思惑能染汙真性無所明了也。

【二不染汙無知】不染汙無知者即塵沙惑也以劣慧為體謂此惑是他人分上見思之惑種數多故如塵若沙名為塵沙既是他人之惑不能染汙我之真性菩薩智慧廣大能令他人斷見思惑於菩薩分上即是斷塵沙惑二乘之人智慧狹劣不能令他斷見思惑是名不染汙無知(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。

二種顛倒(出楞嚴經)

【一眾生顛倒】謂眾生不明自性逐妄迷真隨順妄惑而造妄業由此妄業展轉相生輪轉三界不能返妄歸真故名眾生顛倒。

【二世界顛倒】世謂過去現在未來遷流為世界謂東西南北四方分位為界以世涉方故名世界顛倒者眾生迷失真性念念遷流住妄境界起諸倒見故名世界顛倒。

二貧(出大智度論)

【一財貧】謂其先世不能布施不作眾善之福是故現世乏於資生種種財物是名財貧。

【二法貧】謂眾生起諸邪見不信正法不脩善行則無功德之財資於智慧之命是名法貧。

二緣(出楞伽經)

【一外緣】謂眾生所依世界皆由妄想因緣而生譬如因泥團柱輪繩水等諸方便緣而有瓶生是名外緣(泥團柱輪繩水者謂世之陶匠作瓶以泥團為坯以木為輪柱以繩轉輪以水旋之方能成瓶也)。

【二內緣】謂眾生之身因無明愛業等緣出生陰界入法是名內緣(無明者無所明了也愛者於五陰之境而起貪愛以為惑也業者由心不了遂動身口而作以為業也陰即五陰謂色陰受陰想陰行陰識陰也界即十八界謂眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也入即十二入謂眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入法入也)。

二種有漏因果(出大涅槃經)

【一有漏因】漏即漏落生死也因者對果而言謂眾生由煩惱結業為因而招三界生死苦果是則煩惱結業名有漏因即集諦也(三界者欲界色界無色界也)。

【二有漏果】果即果報之義謂眾生由有漏惑業為因而感生死之果名有漏果即苦諦也。

二殺(出梵網經)

【一故殺】故殺者謂作意故傷物命也。

【二悞殺】悞殺者謂不作意悞傷物命也。
二殺(出梵網經)
【一自殺】謂無慈悲之心於諸物命輒自殺害是名自殺。
【二教他殺】謂無慈悲之心既自殺生亦教他人殺生是名教他殺。
二報(出華嚴經疏)
【一依報】依報亦名依果即世界國土也謂諸眾生各各隨其果報之身依之而住故名依報。
【二正報】正報亦名正果即五陰之身也謂諸眾生隨其所作善惡之業各各感得此身正受其報故名正報(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
二種殺生報(出法苑珠林)
【一短命】短命者謂因前世傷害物命令其不得以盡天年故感今生自身亦短命也。
【二多病】多病者謂因前世惱害眾生令其不得自在故感今生自身亦多疾病也。
二種偷盜報(出法苑珠林)
【一貧窮】貧窮者謂因前世盜他財物令彼空乏故感今生自亦貧窮也。
【二不得自在】不得自在者謂因前世劫奪他財而令他人不得自在故感今生雖有財物而屬五家不得自在受用也(五家者水火盜賊惡子宮家也)。
二種[婬-壬+(工/山)]報(出法苑珠林)
【一婦不貞潔】婦不貞潔者謂因前世犯他妻妾邪行穢汙故感今生婦不貞良端潔也。
【二得不順意眷屬】得不順意眷屬者謂因前世邪[婬-壬+(工/山)]奪人所寵令不如意故感今生眷屬常不順意也。
二種妄語報(出法苑珠林)
【一多被誹謗】多被誹謗者謂因前世不務誠實妄語無信故感今生多被他人誹謗也。
【二為人所誑】為人所誑者謂因前世專以妄語欺誑於人故感今生為人之所誑惑也。
二種兩舌報(出法苑珠林)
謂向彼說此向此說彼鬪構是非離間和合致令乖分故名兩舌。
【一得弊惡眷屬】得弊惡眷屬者謂因前世兩舌使人朋儔分離乖間皆生怨惡故感今生得弊惡眷屬也。
【二得不和眷屬】得不和眷屬者謂因前世兩舌離間人之親愛使不和合故感今生得不和眷屬也。
二種惡罵報(出法苑珠林)

【一常聞惡音】常聞惡音者謂因前世口無禁忌發言麤惡令不忍聞故感今生常聞穢惡之音也。
【二恒有諍訟】恒有諍訟者謂因前世恃力怙勢好諍健訟惡逆無德故感今生常致諍訟而不和也。
二種邪見報(出法苑珠林)
【一生邪見家】生邪見家者謂因前世邪僻覆心起諸妄見故感今世不具正信之心而生邪見之家也。
【二其心諂曲】其心諂曲者謂因前世邪見心不正直故感今生心常諂曲也。
二種無義語報(出法苑珠林)
【一人不信受】人不信受者謂因前世語言無義即是虛妄故感今生雖有言說人亦不信受也。
【二不能明了】不能明了者謂因前世語言無義皆因暗昧故感今生有所言說而亦不明了也。
二種貪報(出法苑珠林)
【一多欲】多欲者謂因前世縱恣貪欲心無止息故感今生業習不忘倍復增勝而生貪著也。
【二無厭】無厭者謂因前世貪求不已展轉馳逐故感今生業習不忘欲心轉盛用之無度求之無厭也。
二種瞋報(出法苑珠林)
【一常為他人求其長短】常為他人求其長短者謂因前世不能容物稍不如意即興嗔恨故感今生被人伺求長短動輒得咎也。
【二常為眾人之所惱害】常為眾人之所惱害者謂因前世瞋惱眾人令不安隱故感今生常被多人之所惱害也。
世界二義(出楞嚴經)
【一世遷流義】世遷流者謂過去現在未來三世遷流也只如昨日是過去今日是現在明日是未來如此遷移流動無有間歇也。
【二界方位義】界方位者謂東西南北東南西南東北西北上下十方各有定位不相混亂也。
二世間(出翻譯名義)
世即隔別之義間即間差之義故名世間。
【一眾生世間】謂一切有情眾生皆假五陰和合眾共而生名為眾生又復各各差別不同故名眾生世間(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【二器世間】謂一切無情世界皆假山河大地而成有側有仰名之為器又復各各差別不同故名器世間。
二種世間清淨(出無量壽經論)
論云若人一心專念阿彌陀佛畢竟得生安樂國土成就種種功德莊嚴獲此二種世間清淨(梵語阿彌陀華言無量壽)。

【一器世間清淨】謂世界如器隔別名世間差名間故名器世間謂彼安養國土廣大無邊如太虛空清淨光明如日月輪具足珎寶莊嚴是名器世間清淨。
【二眾生世間清淨】謂所化眾生隔別間差故名眾生世間謂彼阿彌陀佛於一佛土身不動搖於一切時放大光明悉能遍至十方世界教化眾生令其如實脩行離諸染著皆願往生我國是名眾生世間清淨。
二土(出宗鏡錄)
【一性土】謂法性之理非穢非淨非廣非狹猶如虛空遍一切處是名性土。
【二相土】謂隨諸眾生心量所現或淨或穢或廣或狹是以菩薩所見無諸坑坎眾寶莊嚴眾生所見荊棘瓦礫穢惡充滿是名相土。
二土(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一淨土】謂其地純以金剛所成眾寶間錯種種莊嚴皆悉殊勝即華藏世界西方安養等世界也以其無有四趣五濁等穢惡是名淨土(四趣者脩羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也五濁者刼濁見濁煩惱濁眾生濁命濁也)。
【二穢土】謂其地坑坎堆阜穢惡充滿即娑婆世界也以其有四趣五濁等穢惡是名穢土(梵語娑婆華言能忍謂其土之人堪能忍受眾苦也)。
二種流(出涅槃經)
【一順流】流即生死流也盖六道眾生順從生死之流唯務趣下而不知返所謂順生死流逆涅槃道也(六道者天道人道阿脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。
【二逆流】謂初果須陀洹依戒定慧精勤脩習則能斷三界見惑出離四趣生死而證真空涅槃所謂逆生死流順涅槃道也(梵語須陀洹華言逆流亦曰入流三界者欲界色界無色界也四趣者脩羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。
二身(出唯識論)
【一分段身】分即分限段即形段謂三界內六道眾生所受之身支形分段長短臣細各各不同是名分段身(三界者欲界色界無色界也六道者天道人道阿脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。
【二變易身】變即轉變易即改易謂二乘等雖出三界尚受方便等土法性之身因移果易是名變易身(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
二種色(出宗鏡錄)
【一內色】內色者謂眼識乃至意識是名內色又眼耳鼻舌身意名內色以其屬內身故。
【二外色】外色者謂眼根乃至身根是名外色又色聲香味觸五塵名外色以其屬外境故。
二種色(出大智度論)
【一淨色】謂清淨美妙之色能生貪欲損壞道業故脩道之人宜當遠離也。

【二不淨色】謂不淨醜惡之色能生憎惡障蔽道業故脩道之人亦宜遠離也。
二種色(出宗鏡錄)
【一顯色】謂青黃赤白光影明暗雲煙塵霧等顯然可見是名顯色。
【二形色】謂長短方圓麤細高下正不正等形相可見是名形色。
二食(出天台四教儀集註)
【一正命食】謂出家之人常乞食自資色身清淨活命是名正命食。
【二邪命食】謂出家之人不依正命而食則有五種一為利養故現奇特相二為利養故自說功德三卜 相吉凶為人說法四高聲現威令人畏敬五說所得供養以動人心是名邪命食。
二種存濟(出阿毘達磨論)
存即存活濟即救濟謂以飲食存濟其生也。
【一有罪存濟】謂有一等之人矯妄詭詐而求飲食如是得飲食已歡喜受用貪愛不捨不見生死過患不知出離之法是名有罪存濟。
【二無罪存濟】謂非如前人矯妄詭詐而求飲食但以正道而乞飲食得飲食已如法受用不貪不愛不著能見生死過患善知出離之法是名無罪存濟。
二求(出成實論)
【一得求】謂諸眾生欲得諸樂隨意求取雖經險難不以為苦如海吞流心無厭足是名得求。
【二命求】謂諸眾生取樂生愛不能如實觀察樂是苦因反求長命受此諸樂是名命求。
二種數(出華嚴經疏)
【一數量數】數量數者即一多之數量也謂由一多之數而能安立一切諸法也。
【二色心有為數】色即色身心即所起之心皆有生滅名曰有為此色心二法別而言之則有五陰十二入十八界等數目不同故名色心有為數(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也十二入者眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入法入也十八界者眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也)。
二種滅(出顯揚聖教論)
【一暫時滅】謂如來出世逗機設教化導眾生大小乘人皆得解脫機緣既盡更無可化如來即便入滅然如來法身之體如如不動實未嘗滅是名暫時滅。
【二究竟滅】謂如來妙覺圓明一切煩惱悉已斷滅淨盡無餘更不復生是名究竟滅。
二邊(出攝大乘論釋)

【一增益邊】謂因緣所生之法若分別推求本無自性眾生不了執之為有是名增益邊(因緣所生法者謂六根為因六塵為緣根塵相對中間一念心起即是所生法也)。
【二損減邊】謂因緣所生之法若分別定無即是損減實有成就之性是名損減邊。
二邊(出中論)
【一有邊】邊即邊際謂世間一切事物必假眾緣具足和合而生皆無自性雖無自性不得言無故名有邊。
【二無邊】謂世間一切事物既假眾緣具足和合而生本無自性若無自性則一切法皆空不得言有故名無邊。
二時(出大智度論)
【一迦羅時】梵語迦羅華言實時謂佛於律中誡諸弟子聽時食遮非時食實有其時故名實時論云毗尼結戒是世界中實非第一義中實是也(梵語毘尼華言善治)。
【二三摩耶時】梵語三摩耶華言假時亦名短時長時論中廣約三世無相時法無實故名假時亦名短時長時者謂不同外道定執盖是假設長短而無其實故若短若長悉名三摩耶(三世者過去未來現在也)。
大明三藏法數卷第四

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

三佛身(出宗鏡錄)
【一自性身】謂諸如來具無邊際真常功德是一切法平等實性即此自性亦名法身是名自性身。
【二受用身】受用身有二種一者自受用身謂諸如來脩習無量福慧所起無邊真實功德恒自受用廣大法樂也二者他受用身謂諸如來由平等智示現微妙淨功德身居純淨土為住十地諸菩薩眾現大神通轉正法輪令彼受用大乘法樂也(十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。
【三變化身】謂諸如來以不思議神力變現無量隨類化身居淨穢土為未登地諸菩薩眾及二乘等稱其機宜現通說法令其各得諸利樂事是名變化身(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
三身(出金光明經玄義)
身即聚集之義謂聚集諸法而成身也所謂理法聚名法身智法聚名報身功德法聚名應身(理法聚名法身者謂聚集法性之法而成此身也智法聚名報身者智即能契法性之智智與法性相合而成此身也功德法聚名應身者由智契理聚集一切功德之法起用化他隨機應現而成此身也)。
【一法身】謂始從初住顯出法性之理乃至妙覺極果理聚方圓是名法身(初住者即十住位中初之一住也妙覺者自覺覺他覺行圓滿不可思議故名妙覺理聚方圓者妙覺所證法性之理方始圓滿也)。
【二報身】謂始從初住終至妙覺極果智聚方圓由智契理報得此身故云報身。
【三應身】謂始從初住終至妙覺極果功德法聚方圓故能隨機應現說種種法度諸眾生故名應身。
三身徧相(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一法身如虛空徧】謂法性之身本體周徧如太虛空無有障礙諸佛眾生平等具足故名法身如虛空徧。
【二智身如日光徧】智身即自報之身也謂究竟始覺之智能徧破無明之暗顯發本有真身譬如日光無幽不燭故名智身如日光徧。
【三色身如日影徧】色身即應身也謂究竟始覺之智契於本覺法身之理則能從體起用徧應眾機譬如日光之影不擇高下隨處映現故名色身如日影徧。
三身華梵(亦名三如來出法華文句)
【一法身毘盧遮那如來】法名可軌諸佛軌之而得成佛以法為身故名法身梵語毘盧遮那華言徧一切處以真如平等性相常然身土無礙故也

如來者金剛經云無所從來亦無所去故名如來是也。
【二報身盧舍那如來】脩因感報名之為報然有自報他報之別自報即理智如如他報即相好無盡是名報身梵語盧舍那華言淨滿謂諸惑淨盡眾德悉圓又云光明徧照謂內以智光照真法界(即自報身也)外以身光照應大機(即他報身也)如來者轉法輪論云第一義諦名如正覺名來是也(第一義諦者謂中道之理無二無別也)。
【三應身釋迦牟尼如來】智與體冥能起大用隨機普現說法利生故名應身梵語釋迦牟尼華言能仁寂默寂默故不住生死能仁故不住涅槃如來者成實論云乘如實道來成正覺是也(智與體冥者謂自報之智與法身之體冥合也梵語涅槃華言滅度)。
三身壽量(出法華經文句)
【一法身壽量】法身者師軌法性還以法性為身此身非色質亦非心智強指法性為法身耳言壽量者此非報得命根亦非連持之壽強指不遷不變名之為壽此壽非長量亦非短量經云亦無在世及滅度者非實非虛非如非異等是也。
【二報身壽量】報身者以如如智契如如境以境發智以智照境境智冥合即是報身言壽量者境既無量無邊常住不滅智亦如是即此智慧名為壽命經云我智力如是久脩業所得慧光照無量壽命無數劫是也(如如者境如即如智智如即如境盖言境智不二也)。
【三應身壽量】應身者應同萬物為身也言壽量者應同連持為壽應同長短為量也智與體冥能起大用經云隨所應度處處自說名字不同年紀大小等是也。
佛化身三(出觀佛三昧海經)
【一大化身千丈】大化身千丈者謂如來為應十地已前等諸菩薩演說妙法令其進脩向於佛果故化現千丈之身也(十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。
【二小化身丈六】小化身丈六者謂如來為應二乘凡夫之人說於四諦等法令其捨妄歸真而得開悟故化現丈六之身也(二乘者聲聞乘緣覺乘也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【三隨類不定】隨類不定者謂如來誓願弘深慈悲普覆隨諸種類有感即應或現大身滿虛空中或現小身丈六八尺等也。
三覺(出翻譯名義)
覺有三義謂自覺覺他覺行圓滿也唯妙覺果佛具足三覺故華嚴經云奇哉大導師自覺能覺他是也。
【一自覺】謂覺知過去未來現在三世一切諸法常無常等悟性真空了惑虛妄功成妙智道證圓覺故名自覺。
【二覺他】謂運無緣慈度諸眾生皆令離生死苦得涅槃樂故名覺他(梵語涅槃華言滅度)。

【三覺行圓滿】謂三惑淨盡眾德悉備位登妙覺行滿果圓故名覺行圓滿(三惑者見思惑塵沙惑無明惑也)。

三種常(出佛地論)

【一本性常】本性常者即法身也謂法身本性常住無生無滅也。

【二不斷常】不斷常者即報身也謂報身常依法身無間斷也。

【三相續常】相續常者即應身也亦名變化身謂應身於十方世界沒已復現化無窮盡也。

三種神變(出大寶積經)

神即神通變即變化也。

【一說法神變】謂如來無礙大智知諸眾生善惡業因及善惡果報或以聲聞緣覺之法及以大乘之法而得解脫如是知已則現一切神變而為說法是名說法神變。

【二教誡神變】教即教誨誡即警誡謂如來教諸弟子是應作是不應作是應信是不應信是應親近是不應親近是法雜染是法清淨行如是道得聲聞乘行如是道得緣覺乘行如是道成就大乘現諸神變而為教誡是名教誡神變。

【三神通神變】謂如來為調伏憍慢眾生故或現一身而作多身或現多身而作一身山崖石壁出入無礙身上出火身下出水身下出火身上出水入地如水履水如地等現諸神變調伏眾生是名神通神變。

三佛土(出華嚴經疏)

【一法性土】法性土者即法身如來所依之土乃理土也謂以本識如來藏身為所依持恒頓變現外諸器界則法性土通為諸土之體也(器界者世界如器故也)。

【二受用土】受用土者即報身如來受用之土也受用有二一者若以相應淨識所脩自利行滿從初成佛盡未來際相續變為純淨佛土周圓無際眾寶莊嚴是名自受用土二者若以大慈悲力所脩化他行滿隨十地菩薩所宜變成淨土或大或小或勝或劣等是也(十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。

【三變化土】變化土者即應身如來變化之土也謂佛以不思議神力隨諸眾生善惡之業變現淨穢之土方便設化是也。

佛行離地三意(出華嚴經隨疏演義鈔并佛說處處經)

【一地有虫】謂一切地上皆有諸虫或伏或走佛以護生之心恐傷其命故行時足不至地鈔云世尊履地去地四指是也。

【二地有生草】謂一切地上有草依之生長佛欲全其生意故行時足不至地也。

【三現神通力】謂佛現神通之力飛行自在履空如地故行時足不至地也。

如來乞食三意(出法集經)

【一不貪珎味美惡均等】謂如來乞食入諸聚落隨施所得不貪珎味若美若惡而無分別是名不貪珎味美惡均等。
【二為破我慢貴賤同遊】謂如來乞食為破我慢自高於富貴貧賤等家皆無揀擇是名破我慢貴賤同遊。
【三慈悲平等大作利益】謂如來無有飢渴羸損瘦乏等苦為眾生故以平等慈悲現行乞食廣作利益是名慈悲平等大作利益。
佛三事入城(出金剛經疏)
【一為女人入城】謂一切女人女子皆為父母及夫主所拘不得輒自出入思仰如來無由得見是故如來入城令彼女人皆得瞻敬觀佛三昧海經云若能暫見如來相好光明除六十刼生死之罪獲無量福未來生處必見彌勒(梵語彌勒華言慈氏)。
【二為病人入城】謂如來於病人所常興救濟之心令其離苦得樂是故入城乞食之時凡有病苦者因得瞻視令其病差發菩提心。
【三欲令人見相好入城】謂如來福慧莊嚴具足三十二相八十種好微妙難思人得瞻仰則罪滅福生是故入城令人普見(三十二相者足安平相千輻輪相手指纖長相手足柔軟相手足綩網相足跟滿足相足趺高好相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如師子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相四牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色如金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也八十種好一指爪狹長二手足指圓三手足各等無差四手足圓滿五筋脉盤結六兩踝深隱七行步正直八行步威容齊整九行步安平十行步有儀十一回身[(厂@((既-无)-日+口))*頁]視十二支節殊勝十三骨節交結十四膝輪圓滿十五隱處妙好十六身支潤滑十七身容敦肅十八身支堅固十九身支安定二十身相端嚴二十一身有圓光二十二腹形方正二十三臍深右旋二十四臍厚妙相二十五肌膚勻淨二十六手掌充滿二十七手文深長二十八唇色紅潤二十九面門圓滿三十舌相長廣三十一發聲威震三十二音韻美妙三十三鼻高修直三十四諸齒方整三十五諸牙明潔三十六目廣清淨三十七眼相脩廣三十八眼睫齊整三十九雙眉脩長四十雙眉綺靡四十一雙眉高朗四十二耳厚脩長四十三兩耳相好四十四容儀端麗四十五額廣圓滿四十六身分殊勝四十七首髮脩長四十八首髮香潔四十九首髮齊整五十首髮堅固五十一首髮光滑五十二身分堅實五十三身體莊嚴五十四諸竅清淨五十五身力充羙五十六身相嚴好五十七面輪脩廣五十八顏貌舒泰五十九面顏光澤六十身支嚴淨六十一毛孔出香六十二面門出香六十三首相妙好六十四身毛纖柔六十五法音圓辯六十六頂相高妙六十七指網分明六十八行不履地六十九神力自持七十威德遠震七十一音聲和雅七十二觀機說法七十三一音演說七十四次第說法七十五等觀有情七十六先觀後作七十七相好具足七十八頂骨堅實七十九顏容奇妙八十胷臆妙好)。
佛三不能(出景德傳燈錄)
【一不能免定業】不能免定業者謂佛能空一切相斷一切眾生之惡而不能自免定業也(定業者决定之業即木槍馬麥等報是也)。

【二不能度無緣】不能度無緣者謂佛能化導一切眾生而不能度無緣之人也。
【三不能盡生界】不能盡生界者謂佛能度世間一切眾生而不能令眾生界盡也。
三種奇特事(出過去現在因果經)
【一神通奇特】謂佛世尊妙應群機現大神變不可思議使一切眾生及諸邪魔外道咸歸正化是為神通奇特。
【二慧心奇特】謂佛之智慧心光湛寂照了一切諸法成就一切種智是為慧心奇特。
【三攝受奇特】謂佛善知眾生諸根利鈍隨機攝受開導教化令彼咸聞法要進脩妙行出離生死是為攝受奇特。
佛三語(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一隨自意語】謂佛隨順自意說自所證一實等法故名隨自意語。
【二隨他意語】謂佛一向隨順他機之意說於方便之法導引眾生故名隨他意語。
【三隨自他意語】謂佛為眾生說法半隨自證之意半隨他機之意名隨自他意語。
三處不轉法輪
【一我慢高山】謂外道之人多起邪見我慢貢高如山峻聳雖聞正法非惟不信復有謗法之過招其惡報是故不為轉法輪也。
【二五欲淤泥】謂諸凡夫貪著色聲香味觸五欲之境沉溺污穢如在淤泥自非身心清淨則不能受法是故不為轉法輪也。
【三邪見稠林】謂外道凡夫執種種見有如稠林茂密而於正法不能信受是故不為轉法輪也。
三輪(出金光明經文句)
輪即車輪有摧碾之用以譬如來身業現通口業說法意業鑑機而能摧碾眾生煩惱惑業是故名為三輪也。
【一身輪】身輪亦名神通輪謂佛說法必先現神通警動眾生機情令生正信也。
【二口輪】口輪亦名正教輪謂佛所說之法無不為令眾生翻邪歸正依教脩行也。
【三意輪】意輪亦名記心輪謂佛說法先以意輪鑑知眾生根器利鈍隨宜演說無有差謬也。
佛三密(出大智度論)
密即祕密謂如來身口意三業或現通或說法或思惟皆非諸菩薩等之所思議故名三密。
【一身密】謂如來處大會中眾見佛身或黃金色或白銀色或雜寶色或長丈六或長一里十里乃至現大神變皆不可思議故名身密。

【二語密】語密即口密也謂佛說法之時或一里外聞佛音聲或十里或百千萬里外聞佛音聲又一會中或聞說布施或聞說持戒等各各隨心所聞皆不可思議故名語密。
【三意密】謂佛常處寂定凡所思惟觀察皆不可思議故名意密。
住持三寶(出華嚴經隨疏演義鈔并三寶章)
【一泥龕塑像為佛寶】泥龕塑像者佛滅度後以泥木雕塑為像住世不絕是為佛寶也。
【二黃卷赤軸為法寶】黃卷赤軸者即今大藏經卷是也以其住世不滅是為法寶也。
【三剃髮染衣為僧寶】剃髮染衣者謂剃除鬚髮著染色衣即世間之僧以能流通佛法是為僧寶也。
同體三寶(出華嚴經隨疏演義鈔并三寶章)
謂佛法僧名雖有三體性是一故名同體三寶。
【一佛寶】佛梵語具云佛陀華言覺謂性體靈覺照了諸法非空非有是名佛寶。
【二法寶】法即軌持之義謂法性寂滅而恒沙性德皆可軌持是名法寶。
【三僧寶】僧梵語具云僧伽華言和合眾謂恒沙妙德性相不二理事和合是名僧寶。
別相三寶(亦名別體三寶出釋氏要覽)
謂佛法僧各各相別不同故名別相三寶。
【一佛寶】謂佛初於菩提樹下成道但示丈六之身及說華嚴經時現為盧舍那尊特之身是為佛寶(梵語菩提華言道梵語盧舍那華言淨滿)。
【二法寶】謂五時所說大乘小乘經律論藏是為法寶(五時者華嚴時鹿苑時方等時般若時法華涅槃時也)。
【三僧寶】謂稟佛教法脩因得果即聲聞緣覺菩薩是為僧寶(聲聞因聞佛聲教而得悟道緣覺因觀十二因緣而得覺悟菩薩梵語菩提薩埵華言覺有情)。
別相三寶(出華嚴隨疏演義鈔并三寶章)
別相者謂三寶中名相各各不同故云別相三寶也。
【一佛寶】謂佛具十身名相差別不同故名佛別相也(十身者菩提身願身化身力持身相好莊嚴身威勢身意生身福德身法身智身也)。
【二法寶】謂佛說一大藏典具教法理法行法果法名相不同故名法別相也(教即經教理即性理行即行業果即果位也)。
【三僧寶】謂文殊普賢諸大菩薩乃至三賢十聖各各脩證地位不同故名僧別相也(三賢者十住十行十回向諸位菩薩也十聖者十地菩薩也)。
大乘三寶(出華嚴經疏鈔并三寶章)
三寶者謂佛法僧可尊可貴名之為寶。

【一大乘佛寶】佛梵語具云佛陀華言覺謂自覺覺他覺行圓滿具足三身十身能現無邊相好是名大乘佛寶(三身者法身報身應身也十身者菩提身願身化身力持身相好莊嚴身威勢身意生身福德身法身智身也)。
【二大乘法寶】法即軌則之義謂如來所說中道實相及人法二空之理乃至無量勝妙法門能令眾生軌則此法而成正覺是名大乘法寶。
【三大乘僧寶】梵語僧伽華言和合眾謂十住十行十回向十地等菩薩不著有無二邊而與中道之理和合是名大乘僧寶(十住者發心住治地住脩行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。
小乘三寶(出華嚴三寶章)
【一小乘佛寶】謂如來隱其無量功德莊嚴之身示現丈六紫金之相以應聲聞緣覺人天等機是名小乘佛寶。
【二小乘法寶】謂阿含等經為聲聞說四諦教為緣覺說十二因緣教令其依之而脩超凡入聖是名小乘法寶(梵語阿含華言無比法四諦者苦諦集諦滅諦道諦也十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。
【三小乘僧寶】謂依四諦十二因緣而脩斷見思惑證真空理而成聲聞四果四向及緣覺之僧是名小乘僧寶(見思惑者意根對法塵而起分別曰見惑眼耳鼻舌身貪愛色聲香味觸曰思惑四果者一須陁洹華言入流二斯陀含華言一來三阿那含華言不來四阿羅漢華言無生四向者一須陀洹向二斯陀含向三阿那含向四阿羅漢向向者謂未入此果而將向入也)。
華嚴三聖(出翻譯名義)
【一毘盧遮那佛】梵語毘盧遮那華言遍一切處謂煩惱體淨眾德悉備身土相稱遍一切處能為色相所作依止具無邊際真實功德是一切法平等實性即此自性亦名法身佛梵語具云佛陀華言覺謂理性之體本來覺了也。
【二普賢菩薩】普賢者謂其居伏道之頂體性周遍曰普斷道之後隣於極聖曰賢菩薩者梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂覺悟一切有情眾生也(伏道者伏即潛伏之義謂普賢能伏初起微細無明居等覺位在眾菩薩之首故云伏道之頂斷道者謂斷初起微細無明惑也隣者近也極聖者佛也)。
【三文殊師利】梵語文殊師利華言妙德謂明見佛性具足法身般若解脫三德不可思議故名妙德也。
三種大師(出本事經)
【一如來】謂諸如來出現世間闡揚大法化諸眾生出離生死令得無量義利安樂是為眾生之師範也。

【二阿羅漢】梵語阿羅漢華言無學謂阿羅漢諸漏已盡梵行具足出現世間開示四諦令諸眾生脫離生死皆得無量義利安樂是為眾生之師範也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【三有學弟子】有學者煩惱未盡有法可學也謂初果須陁洹二果斯陁含三果阿那含精脩梵行具足多聞於諸經典善知法義出現世間開示四諦令諸眾生出離生死皆得無量義利安樂是為眾生之師範也(梵語須陁洹華言入流梵語斯陁含華言一來梵語阿那含華言不來)。
三藏(出翻譯名義)
三藏者謂經律論各各含藏一切文理故皆名藏。
【一脩多羅藏】梵語脩多羅華言契經契合也謂上契諸佛之理下契眾生之機故名契經也。
【二毘柰耶藏】梵語毘柰耶華言律又云善治謂能治眾生之惡如世法律則能斷決重輕之罪故名律也。
【三阿毘達磨藏】梵語阿毘達磨亦名阿毘曇華言論論者論議也瑜伽論云問荅決擇諸法性相故名論也(梵語瑜伽華言相應)。
大乘三藏(出華嚴經疏演義鈔)
藏即含藏之義也謂經律論三各含文理故名三藏。
【一大乘經藏】經法也常也謂華嚴等諸大乘經唯談法界中道之理詮示大乘菩薩脩行證果之法是名大乘經藏。
【二大乘律藏】律即法也謂梵網等經唯制大乘菩薩所持之戒是名大乘律藏。
【三大乘論藏】論即論議謂起信等論唯决擇詮辯大乘菩薩脩證之法是名大乘論藏。
小乘三藏(出天台四教儀集註)
【一小乘經藏】謂阿含等經唯談真空寂滅之理詮示聲聞緣覺脩行證果之法是名小乘經藏(梵語阿含華言無比法)。
【二小乘律藏】謂四分等律唯制小乘之人即聲聞緣覺所持之戒是名小乘律藏(四分者一比丘法二比丘尼法三受戒法四滅諍法也)。
【三小乘論藏】謂俱舍等論唯决擇詮辯小乘聲聞緣覺脩證之法是名小乘論藏(梵語俱舍華言藏謂有包含攝持之義也)。
三如來藏(出圓覺經畧疏)
如來者即理性如來也因中說果故名如來藏者含藏之義謂含藏一切善惡法也的指其體即第八識名如來藏也(第八識者藏識也)。
【一隱覆藏】謂諸眾生本有真如法身之理在第八識中為無明煩惱之所隱覆而不能見故名隱覆藏。
【二含攝藏】謂第八識為染淨之所依止以能含藏一切善惡種子故名含攝藏。

【三出生藏】謂第八識為染淨之本遇緣熏習則能出生世間出世間有情無情等法故名出生藏。

三藏詮三學(出四教義)

三藏經律論也三學戒定慧也三藏詮三學者詮具也謂三藏具說三學之事理也。

【一經詮定學】謂阿含等經所明皆是安心之法依此攝心即不散亂又佛凡說經必先入定故云經詮定學(梵語阿含華言無比法)。

【二律詮戒學】謂毘尼律藏因事制戒專用防止身口惡法又戒是所詮之行律是能詮之教故云律詮戒學(梵語毘尼華言善治又言滅)。

【三論詮慧學】謂阿毘曇等論决擇辯論一切法義皆以智慧分別故云論詮慧學(梵語阿毘曇華言無比法)。

三經通別(出法華玄義)

如來一代所說諸經之內無不具此教行理三無不以別而契於通以通而應於別通則通於諸經別則別有所以故教有通別依教明行行有通別從行顯理理有通別也。

【一教經通別】教即聖人對機所說一切言教也夫教本應機機宜不同部部別異故名教別諸部雖異通是佛說故名教通所謂從緣故教別從說故教通也(部部者經教部類也)。

【二行經通別】行即依教修行亦進趣之義也泥洹真法寶眾生以種種門入教既為門不同行則所入亦異所入之門雖異所契之理則同所謂從能契故行別從所契故行通也(梵語泥洹亦云涅槃華言滅度)。

【三理經通別】理即一切言教所詮之義理也理則不二名字非一故智論云般若是一法佛說種種名如或言實相或言法界等名異故別理一故通所謂理從名故別名從理故通也。

法華三周(出法華經玄義)

法華三周者謂佛說法華經因聲聞之人根有利鈍悟有前後故有三周不同焉周者周足之義也。

【一法說周】法說周者佛為上根之人作三乘一乘說開三乘之權顯一乘之實即方便品中所談是也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。

【二譬喻周】譬喻周者佛為中根之人於上法說周中不悟更作三車一車說初許三車是施權後等賜大車是顯實即譬喻品中所談是也(三車者羊車鹿車牛車也)。

【三宿世因緣周】宿世因緣周者佛為下根之人於上法譬二周之中不能解了遂說宿世曾於大通智勝佛時同下一乘之種令其得悟即化城喻品中所談是也。

蓮華三喻(出法華玄義)

蓮華三喻者良以妙法難解假喻易彰蓮華則華果同時妙法則權實一體故取蓮華以喻權實之法也。

【一為蓮故花】為蓮故花有二喻一喻為實施權謂蓮以喻實花以喻權蓋譬如來為一乘之實而施三乘之權故經云雖示種種道其實為佛乘是也二喻從本垂迹謂蓮以喻本花以喻迹蓋譬如來從久成佛之本而施今日設化之迹故經云我實成佛以來久遠若斯但教化眾生作如是說我少出家得三菩提是也(三乘者菩薩乘緣覺乘聲聞乘也梵語三菩提華言正道)。
【二花開蓮現】花開蓮現亦有二喻一喻開權顯實謂華開喻開權蓮現喻顯實蓋譬如來開三乘之權而顯一乘之實故經云開方便門示真實相是也二喻開迹顯本謂花開喻開迹蓮現喻顯本蓋譬如來開今日近成之迹而顯久遠成佛之本故經云一切世間皆謂我今始得道我實成佛以來無量無邊那由他刦是也(梵語那由他華言萬億)。
【三花落蓮成】花落蓮成亦有二喻一喻廢權立實謂華落喻廢權蓮成喻立實蓋譬如來廢棄三乘之權而建立一乘之實故經云正直捨方便但說無上道是也二喻廢迹立本謂華落喻廢迹蓮成喻立本蓋譬如來廢今日近成之迹而立久遠成佛之本故經云諸佛如來法皆如是為度眾生皆實不虛是也。
三分科經(出法華經文句)
三分者分即分限謂諸經中皆有序分正宗分流通分也始自晉道安法師判節諸經皆具三分尒後親光論自西天傳至此土果有三分之說是故諸經皆以三分而科節也(親光論者謂親光菩薩所造之論也)。
【一序分】序即序述亦次序也有通序別序通序者謂如是我聞一時佛在某處與某大眾俱此是通序以一切經初同有此序故名通也別序者蓋佛說經必有由致如楞嚴經由阿難遭摩登伽幻術之緣佛因提獎阿難及摩登伽歸來佛所故說是經是名別序而言別者以諸經所說各有緣起不同故名別也雖分通別総名序分。
【二正宗分】宗即主也亦要也蓋佛說經必以正說為主又正明一經要義故也如楞嚴經第一卷從阿難見佛頂禮悲泣下徵心辨見分別真妄會萬法歸如來藏乃至說呪立壇遠離魔事令阿難大眾除惑證道至第十卷重研五陰知有涅槃不戀三界等此是一經正說故名正宗分(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也三界者欲界色界無色界也)。
【三流通分】流則不滯通則不壅謂正說既陳務傳後世利益眾生用使正法之源流通而不壅也如楞嚴經自阿難若復有人徧滿十方所有虛空盈滿七寶持以奉上微塵諸佛至作禮而去此乃較量持經福勝勸讚讀誦流傳無盡故名流通分(七寶者金銀瑠璃玻璃硨磲瑪瑙赤真珠也)。
親光三分科經(出佛地論)
謂親光菩薩造論釋佛地經科分三分也。
【一教起因緣分】謂如來說教必有發起因緣此佛地經佛告妙生菩薩有五種法攝大覺地而說是經即教起因緣分(五種法者一清淨法界智二大圓鏡智三平等性智四妙觀察智五成所作智也)。

【二聖教所說分】謂因緣分後正顯聖教所說法門此佛地經從妙生當知下至令入聖教成熟解脫即聖教所說分。
【三依教奉行分】謂聞聖教所說時眾信受奉行此佛地經從薄伽梵說是經已至經盡文即依教奉行分。
三善(出法華文句)
法華經云初中後善蓋言圓頓教中序正流通三分理致圓備故皆稱善(三分者一序分謂序述一經之由二正宗分謂正說一經之旨三流通分謂流傳此經使後世通行也)。
【一初善】初善者序分居初故名初善如經序品為序分是也。
【二中善】中善者正說分居中故名中善如經方便品至分別功德品十九行偈為正說分是也。
【三後善】後善者流通分居後故名後善如經分別功德品十九行偈後至經盡為流通分是也。
三軌弘經(出法華經并法華文句)
三軌弘經者弘傳經教必須具此三軌軌即軌範亦軌則也蓋言弘經者當以慈悲忍辱法空三法為之範則故法華文句云利物以慈悲為首涉有以忍辱為基說法以亡我為本能行三法庶可自利而利他也。
【一慈悲室】謂弘經之人當須具大慈悲覆護一切眾生以大慈故則能與眾生之樂以大悲故則能拔眾生之苦慈悲覆物喻之如室故經云大慈悲為室也。
【二忍辱衣】謂弘經之人當行忍辱之行遮蔽一切眾生惡障及煩惱等醜喻之如衣故經云柔和忍辱衣也。
【三法空座】謂弘經之人當了一切法空亦無我為能說若安心於空方能安他安他安已喻之如座故經云諸法空為座也。
三涅槃(出金光明經玄義)
梵語涅槃華言滅度又云不生不滅。
【一性淨涅槃】謂諸法實相之理不可染不可淨不染即不生不淨即不滅不生不滅名性淨涅槃(諸法實相者十界因果之法本來離虛妄相相相皆實故名實相不可染不可淨者謂實相之理惑不能染智不能淨不染即不生者既無惑染豈有法生不淨即不滅者既非智淨豈有法滅是故名為不生不滅)。
【二圓淨涅槃】智極故名圓惑盡故名淨據性而言雖無染淨約脩而說惑智宛然智若契理惑畢竟不生智畢竟不滅不生不滅名圓淨涅槃(惑智宛然者惑即所斷之煩惱智即能斷煩惱之智慧也)。
【三方便淨涅槃】方便猶善巧也謂智能契理即照羣機照必垂應機感即生此生非生機緣既盡應身即滅此滅非滅不生不滅名方便淨涅槃(此生非生者謂機感即生心常寂滅也此滅非滅者謂緣盡即滅應用常興也)。
三般若(出金光明經玄義)

梵語般若華言智慧此三般若體是圓常大覺也即此一覺有三種德故名三般若。

【一實相般若】謂本覺之體非寂非照離虛妄相名為實相即一切種智也(非寂非照者寂謂寂靜照謂照明寂照皆言非者用遮二邊以顯中道實相之德也一切種智者謂知一切諸佛之道知一切眾生之因種也)。

【二觀照般若】謂觀照之德非照而照了法無相名為觀照即一切智也(非照而照者照謂照明謂理本非照因觀而照以顯觀照之德也一切智者謂能知一切內法內名一切外法外名也)。

【三方便般若】方便猶善巧也謂方便之德非寂而寂善巧分別諸法名為方便即道種智也(非寂而寂者寂謂寂靜以寂靜故了一切法皆從因緣而生性本空寂以顯方便之德也道種智者謂能用諸佛一切道法發起一切眾生善種故也)。

三大乘(出金光明經玄義)

【一理乘】謂理性虛通自然荷運諸法故名理乘(荷負也運動也無法不具故名荷能至極果故名運)。

【二隨乘】謂智隨理境如盖隨函隨理荷運故名隨乘。

【三得乘】得者得果得機也謂得果故自解脫得機故令他解脫故名得乘(得果者得妙覺極果得機者得所化之機眾也)。

二菩提(出金光明經玄義)

梵語菩提華言道。

【一真性菩提】真名不偽性名不改不偽不改名為真性以此真性為道故名真性菩提。

【二實智菩提】謂能照真性之智稱理不虛名為實智以此實智為道故名實智菩提。

【三方便菩提】謂善巧隨機化用自在名為方便以此方便為道故名方便菩提。

三菩提(出出生菩提經)

梵語菩提華言道經云婆羅門白佛言若已發菩提心有退失否佛言發菩提心已則無退失當知有三種菩提(梵語婆羅門華言淨行)。

【一聲聞菩提】謂聲聞之人發菩提心也經云若人在於聲聞行中雖已自發菩提之心而不勸化眾生發菩提心亦不習學大乘經義以是行故獨得解脫是名聲聞菩提。

【二緣覺菩提】謂緣覺之人發菩提心也經云若人在於緣覺行中雖已自發菩提之心而不勸化眾生發菩提心亦不習學大乘經義以是行故獨得解脫是名緣覺菩提。

【三諸佛菩提】謂諸佛於因中發菩提心也經云若人自發菩提心已復能勸諸眾生發菩提心習學大乘法義自既解脫亦令眾生解脫是名諸佛菩提。

三轉法輪(出法華文句)

三轉法輪者以苦集滅道四諦之法三番而說名為三轉世間車輪則有摧碾之用佛之說法則能摧碾眾生一切惑業故名轉法輪也。
【一示轉】示即指示如云此是苦此是集此是滅此是道是名示轉(苦者生死逼迫之苦也集者積集煩惱惑業也道者戒定慧之道也滅者涅槃寂滅之樂也)。
【二勸轉】勸即勸勉也如云此是苦汝應知此是集汝應斷此是滅汝應證此是道汝應修是名勸轉。
【三證轉】證驗也謂引己所證以驗之也如云此是苦我已知不復更知此是集我已斷不復更斷此是滅我已證不復更證此是道我已修不復更修是名證轉。
三法印(出法華玄義)
釋論云諸小乘經若有無常無我涅槃三印印定其說即是佛說若無此三法印印之即是魔說如世公文得印可信故名三法印(梵語涅槃華言滅度)。
【一無常印】謂世間生死及一切法皆是無常眾生不了於無常法中執為常想是故佛說無常破其執常之倒是名無常印。
【二無我印】謂世間生死及一切法皆是因緣和合而有虛假不實本無有我眾生不了於一切法強立主宰執之為我是故佛說無我破其著我之倒是名無我印。
【三涅槃印】梵語涅槃華言滅度謂一切眾生不知生死是苦而更起惑造業流轉三界是故佛說涅槃之法令其出離生死之苦而得寂滅之樂是名涅槃印(三界者欲界色界無色界也)。
三陀羅尼(出大智度論)
梵語陀羅尼華言能持謂於一切善法能持令不散不失也又翻總持謂持善不失持惡不生也。
【一聞持陀羅尼】謂得此陀羅尼者於一切語言諸法耳之所聞皆不忘失是名聞持陀羅尼。
【二分別陀羅尼】謂得此陀羅尼者於一切眾生一切諸法分別不錯是名分別陀羅尼。
【三入音聲陀羅尼】謂得此陀羅尼者聞一切眾生惡言罵詈心不憎恨聞一切眾生善言讚歎心不搖動是名入音聲陀羅尼。
三無礙(出大寶積經)
【一總持無礙】謂菩薩獲大總持於種種善法持令不失種種惡法持令不生故一切言語諸法分別悉知皆不忘失無所罣礙是為總持無礙。
【二辯才無礙】謂菩薩獲大辯才於大小乘種種諸法隨眾生機縱辯宣揚悉使通達皆無疑礙是為辯才無礙。
【三道法無礙】謂菩薩獲大智慧於大小乘一切道法及世間種種語言文字悉能通達照了無礙是為道法無礙。
三德(出華嚴經疏)
【一恩德】謂如來乘大願力救護眾生猶如赤子是為恩德。

【二斷德】斷德亦名解脫謂如來斷除一切煩惱惑業淨盡無餘是為斷德。
【三智德】智即智慧謂如來以平等智慧照了一切諸法圓融無礙是為智德。
三德(出金光明經玄義)
法身般若解脫是為三常樂我淨是為德(常即不遷不變樂即安隱寂滅我即自在無礙淨即離垢無染佛以此四者為德也)。
【一法身德】法即軌法謂諸佛由軌法而得成佛故名法身此之法身在諸佛不增在眾生不減眾生迷之而成顛倒諸佛悟之而得自在迷悟雖殊體性恒一具足常樂我淨是名法身德。
【二般若德】梵語般若華言智慧謂佛究竟始覺之智而能覺了諸法不生不滅清淨無相平等無二不增不減具足常樂我淨是名般若德。
【三解脫德】不繫名解自在名脫謂佛永離一切業累之縛得大自在具足常樂我淨是名解脫德。
翻三染成三德(出華嚴經隨疏演義鈔)
翻即翻轉之義三染者謂苦惑業也以其皆能染汙本性不得清淨故也三德者謂法身般若解脫皆具常樂我淨之德名為三德(梵語般若華言智慧常樂我淨者不遷不變常也離生死苦樂也自在謂之我也惑盡謂之淨也)。
【一翻苦身成法身德】謂於生滅無常之身若能觀察五蘊本空不生不滅即成法身故名翻苦身成法身德(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【二翻煩惱成般若德】梵語般若華言智慧謂於意根所起諸惑若能觀察惑體本空自性不實於一切法無不了達即成智慧故名翻煩惱成般若德。
【三翻結業成解脫德】解脫即自在之義謂於身口所作諸業若能觀察其性本空則無繫縛之相於一切法無不自在即成解脫故名翻結業成解脫德。
三解脫門(出法界次第)
解脫即自在之義也門即能通之義謂由此三解脫門則能通至涅槃故名三解脫門(梵語涅槃華言滅度)。
【一空解脫門】謂觀一切法皆從因緣和合而生自性本空無我我所若能如是通達則於諸法而得自在故名空解脫門(我者眾生於五陰身中強立主宰名之為我我所者眾生妄執五陰之身及男女資生等物皆名我所五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【二無相解脫門】謂既知一切法空故觀男女一異等相實不可得若能如是通達諸法無相即得自在故名無相解脫門。
【三無作解脫門】無作又云無願謂若知一切法無相則於三界無所願求若無願求則不造作生死之業若無生死之業即無果報之苦而得自在故名無作解脫門(三界者欲界色界無色界也)。

三無為(出俱舍論)
無為者謂真空寂滅之理本無造作故名無為。
【一虛空無為】虛空即無礙之義謂真空之理不為惑染之所障礙故名虛空無為。
【二擇滅無為】擇即揀擇滅即寂滅謂聲聞之人用智揀擇遠離見思繫縛即證寂滅真空之理是名擇滅無為。
【三非擇滅無為】謂聲聞之人證果之後諸惑不復續起自然契悟寂滅真空之理不假揀擇故名非擇滅無為。
律有三名(出大藏一覽并華嚴經疏)
【一毗尼】梵語毗尼華言善治謂能治貪瞋癡等惡也又言調伏謂能調練三業制伏過非也(三業者身業口業意業也)。
【二尸羅】梵語尸羅華言止得謂能止惡得善也又名戒戒以防止為義以能防止身口意諸不善業故也。
【三波羅提木义】梵語波羅提木义華言解脫謂能遠離惑業繫縛而得自在也。
三論(各出本論)
【一百論】僧肇法師云佛入滅後八百餘年外道紛然異端競起邪辯逼真殆亂正道有提婆菩薩乃作斯論所以防正閑邪大明於宗極者矣論有百偈故名百論(梵語提婆華言天龍樹弟子也)。
【二中論】中論即觀論也僧叡法師云論有五百偈龍樹菩薩之所造也以中為名者照其實也以論為稱者盡其言也實非名不悟故寄中以宣之言非釋不盡故假論以明之也盖因修行之人內心滯惑或生於倒見或執於偏悟故作此論折之以中道之理令二邊之相即真俗之不二故名中論(二邊者即空有二邊也真俗者即真諦俗諦也)。
【三十二門論】十二門論亦龍樹菩薩所造也而言十二者總眾枝之大數也門者開通無滯之稱也論者欲以窮其源盡其理也故始自觀因緣門終至觀門總有十二其中所明則有無兼暢事無不盡理無不備故名十二門論(十二門因緣門有無果門緣門相門有無相門異門有無門性門因果門作門三時門生門也)。
三學(出翻譯名義)
如來立教其法有三一曰戒律二曰禪定三曰智慧然非戒無以生定非定無以生慧三法相資一不可缺而皆稱為學者學猶飾也器不飾則無以成美觀人不學則無以成聖德故依此而修者必證聖果也。
【一戒學】戒者禁戒也謂能防止身口意所作之惡業故名戒學。
【二定學】定者禪定也謂能攝散澄神見性悟道故名定學。
【三慧學】慧者智慧也謂能斷除煩惱顯發本性故名慧學。
三歸依(出法界次第)

謂如來初成正覺因為提謂長者開受三歸之戒翻邪歸正以為入道根本是故三乘行者修因證果皆以此為道也華嚴經疏云三寶吉祥最勝良緣有歸依者能辦大事生諸善根離生死苦得涅槃樂是名三歸依(三乘者菩薩乘緣覺乘聲聞乘也)。

【一歸依佛】梵語佛陀華言覺自覺覺他故名佛也歸者反還之義謂反邪師還事正師也依者憑也憑佛大覺得出三途及三界生死故經云歸依於佛終不更歸依其餘外道天神也(三途者刀途血途火途也三界者欲界色界無色界也)。

【二歸依法】法即軌則之義謂佛所說若教若理可為眾生修行軌則故言法也歸者反邪法還修正法也依者憑佛所說教法得出三塗及三界生死故經云歸依於法者永離於殺害也。

【三歸依僧】梵語僧伽華言和合眾謂出家三乘之人其心與佛所說事理之法和合故名僧也歸者反外道邪行之侶歸心出家三乘正行之伴也依者憑信出家正行之伴得出三塗及三界生死故經云歸依於僧者永不復更歸依其餘外道也。

三三昧(出法界次第)

梵語三昧華言正定亦云正心行處謂眾生之心從無始已來常不正直得是三昧心行正直故名三昧。

【一有覺有觀三昧】謂初心在禪曰覺細心分別禪味曰觀以空無相無作相應心入於初禪則一切覺觀皆悉正直故名有覺有觀三昧(空無相無作即三解脫門也)。

【二無覺有觀三昧】謂以空無相無作相應心將入二禪之時覺知之心已亡分別禪味之念猶在一切定觀皆悉正直故名無覺有觀三昧。

【三無覺無觀三昧】謂以空無相無作相應心入於二禪乃至滅受想定時覺知之心分別禪味之念俱亡故名無覺無觀三昧。

三三昧(出成實論)

【一分修三昧】謂定慧二分隨修一分也或修定不修慧或修慧不修定是名分修三昧(梵語三昧華言調直定亦名正定正受)。

【二共修三昧】謂修定亦兼修慧修慧亦兼修定是名共修三昧。

【三聖正三昧】自初果須陀洹已去聖位所修名為聖正謂以定修心因慧能破煩惱以慧修心因定能破煩惱定慧一時具足故名聖正三昧(梵語須陀洹華言預流)。

三止(出止觀)

【一體真止】謂體達無明顛倒之妄即是實相之真是名體真止。

【二方便隨緣止】方便猶善巧也謂隨緣歷境安心不動是名方便隨緣止。

【三離二邊分別止】謂不分別生死涅槃有無等二邊之相是名離二邊分別止(梵語涅槃華言滅度)。

為三事故修奢摩他(出涅槃經)
梵語奢摩他華言止即禪定也。
【一不放逸】謂修禪定而能止諸散亂調伏諸根惡不善法故心不放逸也。
【二莊嚴大智】謂修禪定既得離諸散亂則本性寂靜之慧自然照朗內外洞澈於諸佛法無不通達此之智慧非定不發是為莊嚴大智也。
【三得自在】謂修禪定能滅一切煩惱散亂即得身心寂靜安隱快樂而無罣礙是為得自在也。
覺觀三種發相(出釋禪波羅蜜次第法門)
初心在緣曰覺細心分別曰觀。
【一明利心中覺觀發相】謂修禪之人宿無善根現修定時善法不起但覺觀攀緣念念不住三毒之中或緣貪或緣瞋或緣癡如是經年累月而不得定此為明利心中覺觀發相。
【二半明半昏覺觀發相】謂修禪之人於攝念時雖了覺觀煩惱念念不住但隨所緣或明或昏明則覺觀攀緣起諸思想昏則無記瞪瞢無所覺知是為半明半昏覺觀發相。
【三一向沉昏覺觀發相】謂修禪之人於修禪定時心雖一向昏闇猶如睡眠然於昏昏之中切切攀緣覺觀不住是名沉昏覺觀發相。
大明三藏法數卷第五

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

貪欲三種發相(出釋禪波羅蜜次第法門)
【一外貪欲相】謂行人當修定時於男於女取其容貌貪欲心生念念不住障諸禪定是名外貪欲相。
【二內外貪欲相】謂行人當修定時欲心忽生或緣他身相或自緣己身念念染著而起貪愛障諸禪定是名內外貪欲相。
【三徧一切處貪欲相】謂行人貪著如前內外之境復於一切五塵境界資生物等皆起貪愛之心障諸禪定是名徧一切處貪欲相(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
瞋恚三種發相(出釋禪波羅蜜次第法門)
【一非理瞋相】謂行人修禪定時瞋覺欻然而起無問是理非理他犯不犯無故而發瞋恚障諸禪定是為非理瞋相。
【二順理瞋相】謂行人修禪定時外人實來惱我以此為緣生於瞋覺相續不息亦如持戒之人見非法者而生瞋恚瞋雖順理亦障禪定是為順理瞋相。
【三諍論瞋相】謂行人修禪定時著己所解之法為是謂他所行所說悉以為非外人所說不順己情即惱覺心生而起瞋恨障諸禪定是為諍論瞋相。
愚癡三種發相(出釋禪波羅蜜次第法門)
【一計斷常癡相】謂行人於修定時忽然發邪思惟分別我及諸法為過去滅而有現在我耶為過去不滅而有現在我耶因是思惟見心即發推尋三世若謂是滅即墮斷見若謂不滅即墮常見如是癡覺念念不住以此智辯諍競戲論作諸惡行障於正定出世之法是為計斷常癡相也。
【二計有無癡相】謂行人修定時忽爾思惟分別謂今我及陰等諸法為定有耶為定無耶如是推尋見心即發隨見生執障於正定是為計有無癡相也(陰者五陰也)。
【三計世性癡相】謂行人於修定時忽作是念因有五陰便有四大與夫假名眾生及諸世界如是思惟念念不住即發智辯能問能說是非諍競離真實道但執計世間之性而不能發諸禪定是名計世性癡相也(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也四大者地大水大火大風大也)。
三種病相(出釋禪波羅蜜次第法門)
修禪定者須善識病源設或不知則難於治療疾苦相仍行道有妨能明四大五臟五根病發之相善加調治則身心安隱不廢修業矣。
【一四大增動病相】四大地水火風也一大不調諸患並起地大增故腫結沉重身體枯瘠等諸患生水大增故痰癊脹滿飲食不消等諸患生火大

增故煎寒壯熱支節皆疼等諸患生風大增故虛懸戰掉嘔吐氣急等諸患生是為四大增動病相。
【二五臟生患之相】五臟心肺肝脾腎也若患從心生者身必寒熱口中常燥心主口故患從肺生者身體脹滿四支煩疼兼之鼻塞肺主鼻故患從肝生者愁憂瞋恚頭痛眼疼肝主眼故患從脾生者通身遊風瘭瘭痒悶飲食失味脾主舌故患從腎生者咽喉噎塞腹脹耳滿腎主耳故是為五臟生患之相(瘭私習切)。
【三五根中患相】五根眼耳鼻舌身也身患者四體卒痛百節酸疼舌患者或瘡或硬飲食失味鼻患者鼻常鼈塞及流濃涕耳患者或痛或聾或嘈嘈然作聲眼患者或赤或疼昏花翳闇是為五根中患相(鼈鳥貢切)。
修定三障(出釋禪波羅蜜次第法門)
【一沉昏闇蔽障】謂行人修定之時沉昏瞪瞽無所別知由是障諸禪定不得開發名為沉昏闇蔽障。
【二惡念思惟障】謂行人修定之時雖不沉昏而惡念忽起欲毀禁戒作諸不善等事因是障諸禪定不得開發是為惡念思惟障。
【三境界逼迫障】謂行人修定之時雖無如上沉昏惡念等事而身或卒痛魔惱競起或自見身陷入於地火來燒身高崖墜落猛虎奔逐乃至羅剎諸惡相現逼惱行人令生驚怖障諸禪定是名境界逼迫障。
三慧(出成實論)
【一聞慧】聞慧者由於聽聞而生智慧也謂從經論中聞或從善知識處聞以因聞故能生無漏聖慧也。
【二思慧】思慧者由於思惟而生智慧也謂若能思惟經論中及善知識處所聞法義皆能生於無漏聖慧也。
【三修慧】修慧者由於修習而生智慧也謂既已聞法思惟義趣即當隨順修習因此修習能生無漏聖慧也。
三智(出觀音玄義)
【一一切智】謂於一切內法內名能知能解一切外法外名亦能知能解是名一切智即聲聞緣覺之智也(內法內名者謂理內所詮法相及能詮名字蓋佛教依理而說故名理內也外法外名者即理外所詮法相及能詮名字蓋外道等違理橫計故名理外也)。
【二道種智】謂能用諸佛一切道法發起眾生一切善種是名道種智即菩薩之智也。
【三一切種智】謂能以一種智知一切道知一切種是名一切種智即佛之智也(一切道者一切諸佛之道法也一切種者一切眾生之因種也)。
三智(出楞伽經)
【一世間智】謂凡夫外道之智也凡夫外道等於一切法種種分別執著有無而不能出離世間是名世間智。

【二出世間智】謂聲聞緣覺之智也聲聞緣覺以一切智修四諦行而能出離世間是名出世間智(一切智者謂一切諸法皆能了達也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【三出世間上上智】謂佛菩薩之智也由佛菩薩觀察一切諸法寂靜之相不生不滅得如來地超出聲聞緣覺之智是名出世間上上智。
三覺(出圓覺經疏并起信論)
【一本覺】謂一切眾生自性清淨心體本來覺了離諸妄念故名本覺。
【二始覺】謂本覺之體忽起妄念而成不覺今始覺了一切諸法即是真如平等不二故名始覺。
【三究竟覺】究竟即決定終窮之義也謂能覺了染心之源究竟終窮同於本覺故名究竟覺。
三性(出楞嚴經)
【一善性】謂第六識所起一切善法之性也善有世間出世間不同世間善者即五常十戒等是也出世間善者即四弘六度等是也此眾善法皆由意根所緣生成法則故名善性(五常者仁義禮智信也十戒即十善謂不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不瞋恚不邪見也四弘者即四弘誓願也謂眾生無邊誓願度煩惱無數誓願斷法門無量誓願學佛道無上誓願成六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【二惡性】謂第六識所起一切惡法之性也五逆十惡等法皆由意根所緣生成法則故名惡性(五逆者弒父弒母弒阿羅漢破和合僧出佛身血也十惡者殺生偷盜邪[婬-壬+(工/山)]妄語兩舌惡口綺語貪欲瞋恚邪見也)。
【三無記性】謂第六識所具一切不善不惡之性也亦不屬善亦不屬惡初無記憶皆由意根所緣生成法則故名無記性。
三佛性(出華嚴孔目)
謂真性平等猶如虛空於諸凡聖無所限礙故名佛性。
【一自住佛性】謂真如之理自性常住無有變改即是一切眾生本有佛性是名自性住佛性。
【二引出佛性】謂一切眾生佛性雖具必假修習智慧禪定之力方能引發本有之性是名引出佛性。
【三至得果佛性】謂修因滿足則本有佛性於證得果位之時了了顯發是名至得果佛性。
三因佛性(出金光明經玄義)
梵語佛陀華言覺覺即三智圓明徧一切處無不照了名大圓覺性即不改之義以大覺性不增不減非變非遷一切眾生無不具此三因佛性此因若顯即成三德妙果也(三智者一切智道種智一切種智也三德者法身德般若德解脫德也)。
【一正因佛性】正謂中正謂中必雙照三諦具足名正因佛性(中正者離於邊邪也雙照者照空照假也空謂蕩一切相即是真諦假謂立一切法即是俗諦非空非假

即是中諦故云三諦具足)。
【二了因佛性】了謂照了謂由前正因發此照了之智智與理相應故名了因佛性。
【三緣因佛性】緣即緣助謂一切功德善根資助了因開發正因之性故名緣因佛性。
三自性(出顯揚聖教論)
【一徧計自性】謂眾生迷惑不了諸法本空妄於我身及一切法周徧計度一一執為實有故名徧計自性。
【二依他自性】謂所有諸法皆依眾緣相應而起都無自性唯是虛妄故名依他自性。
【三圓成自性】謂真如自性不遷不變圓滿成就故名圓成自性。
三無性(出成唯識論)
【一相無性】謂一切眾生於世間之相處處計著執為實有佛為除此妄執說一切法皆無自性故名相無性。
【二生無性】謂一切諸法皆託因緣和合而生本無自性故名生無性。
【三勝義無性】謂前相無性生無性因破眾生妄執之情假說無性非性全無是故佛說勝義無性者謂真如勝義之性遠離徧計妄執之性故名勝義無性。
三心(出宗鏡錄)
【一根本心】謂第八識心王能含藏善惡種子出生染淨諸法故名根本心(第八識即藏識也)。
【二依本心】謂第七識依根本而生能與第八識傳送染淨等事故名依本心(第七識即末那識也)。
【三起事心】謂眼耳鼻舌身意之六識對六塵之境能起分別染淨等事故名起事心(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
轉三心得三身(出宗鏡錄)
【一轉根本心得法身】根本心者即第八識謂善惡諸法依此出生故名根本心此識轉時一切煩惱斷滅已盡即得法身。
【二轉依本心得報身】依本心者即第七識謂依於根本而生故名依本心此識轉時一切智慧無不具足即得報身。
【三轉起事心得化身】起事心者即第六識謂對六塵之境能起分別等事故名起事心此識轉時則能憐愍一切眾生隨類設化即得化身(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
三種緣慈(出佛地論)
緣即緣繫慈即愛念盖言菩薩常以大慈之心緣念一切眾生令其皆得安隱快樂故名緣慈也。
【一有情緣慈】有情緣慈亦名眾生緣慈謂菩薩以平等智觀一切眾生猶如赤子運大慈心而弘濟之令其皆得安樂是名有情緣慈。

【二法緣慈】謂菩薩以平等智觀一切法皆從因緣和合而生了無自性雖無自性而能運大慈心以弘濟之令其皆得安樂是名法緣慈。
【三無緣慈】謂菩薩以平等智無心攀緣一切眾生而於一切眾生自然獲益故輔行云運此慈悲徧覆法界故能任運拔苦自然與樂是名無緣慈。

三種意生身(出楞伽經)

謂通教登地菩薩得如幻三昧能見無量自在神通普入一切佛剎隨意無礙意欲至彼身亦隨至故名意生身。
【一三昧樂正受意生身】梵語三昧華言調直定又云正受蓋三昧以定性為樂異乎苦樂等受故名正受而言三昧樂正受者華梵雙舉耳通教第三第四第五地菩薩修三昧時得真空寂滅之樂普入一切佛剎隨意無礙故名三昧樂正受意生身。
【二覺法自性性意生身】謂通教第八地菩薩覺了一切諸法自性之性如幻如化悉無所有以無量神力普入一切佛剎迅疾如意自在無礙是名覺法自性性意生身。
【三種類俱生無行作意生身】謂通教第九第十地菩薩覺知一切法皆是佛法得一身無量身一時普現如鏡中像隨諸種類而得俱生雖現眾像而無作為是名種類俱生無行作意生身。

如意通有三種(出大智度論)

謂菩薩智慧具足神變莫測凡所作為舉念即成無有障礙故名如意通。
【一能到如意】謂具此通者雖長江大海重關複嶺千萬里之遠俱無間隔意欲到處身即隨到故名能到如意。
【二轉變如意】謂具此通者能令世間所有諸物大者作小小者作大一變為多多變為一故名轉變如意。
【三聖如意】謂具此通者化現無方應變不測雖無生滅而有機則生無機則滅雖無去來有感則現無感則寂如意自在不可思議故名聖如意。

三通力(出華嚴經疏)

【一報得通力】謂三界諸天皆有五種神通乃至鬼神亦有小通雖則勝劣不同俱能變現無礙此之神通乃由果報自然感得是名報得通力(三界者欲界色界無色界也五通者天眼通天耳通他心通宿命通如意通也)。
【二修得通力】謂聲聞緣覺菩薩等由修戒定慧功行成就之時發得六種神通變現自在隱顯莫測此之神通由修而得是名修得通力(六通者於前五通加漏盡一通也)。
【三變化通力】謂佛菩薩以神通力則能種種變現乃至現諸身相或勝或劣現諸國土或淨或穢等是名變化通力。

三明(出雜阿含經)

【一宿命明】謂但知過去宿世受生之事名宿命通復知宿世從一生至百千萬生如是姓如是名如是受苦受樂等事皆悉能知是名宿命明。

【二天眼明】謂但見死此生彼名天眼通復見我及眾生死時生時及身口意所作善惡之行或生善道惡道皆悉能見是名天眼明。
【三漏盡明】謂眾生因三界見思之惑墮落生死故名為漏惟羅漢斷三界見思惑盡而得神通名漏盡通復知漏盡已後更不受於生死是名漏盡明(三界者欲界色界無色界也)。
三識(出楞伽經)
識即心識也以心有真有妄故有三識之不同焉。
【一真識】真識者謂自性清淨心也蓋第八阿賴耶識通真通妄妄即是染真即是淨今言淨分故名真識也(梵語阿賴耶華言藏識謂能含藏一切善惡種子故也)。
【二現識】現謂變現即能生諸法之本也此言第八識含藏一切善惡種子變現根身世界故名現識也(根身者眼等諸根也)。
【三分別識】分別識者謂於六塵等種種諸境而起分別也此言由第七末那識傳送第六意識能起分別故名分別識也(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也梵語末那華言意謂能分別思量也)。
三識(出翻譯名義)
【一末那識】梵語末那華言染汙意染汙者謂我癡我見我慢我愛四惑常俱意者謂常思慮第八識度量為我即第七識也。
【二阿賴耶識】梵語阿賴耶華言藏識謂此識能含藏善惡諸法種子即第八識也。
【三菴摩羅識】梵語菴摩羅華言清淨識翻譯名義云第八阿賴耶若至我見永不起位即捨賴耶之名別受清淨之稱即第九識也(我見永不起者謂諸惑淨盡也)。
三識緣境廣狹(出宗鏡錄并瑜伽師地論)
【一第八識緣境最廣】謂此根本識染淨同依能變能現種子根身及器世間三種境故是名緣境最廣(種子者一切善惡種子也根身者眼等諸根也器世間者謂世界如器也)。
【二第七識緣境最狹】謂此識無別體相但依第八識為因而起復緣第八識見分而為相分是名緣境最狹(見分者謂能見之識也相分者謂分別相狀也)。
【三第六識緣境廣】謂此識能緣一切善不善無記三性之境及能分別色心等一切法塵是名緣境廣也(無記者謂不善不惡無所記錄也)。
三種熏習(出華嚴孔目)
熏即熏發也習即數習慣習之義也蓋言第八識為無明染緣之所熏習即從真而起妄也。
【一名言熏習】名即名字言即言說此分別名字言說之識即是第六意識由第七識傳送熏習第八種子之識而能成就染分之相故云名言熏習。

【二色識熏習】色即眼根所對諸色因此諸色引生眼識名為色識於此分別即是第六意識亦由第七識傳送熏習第八種子之識而能成就染分之相故云色識熏習。
【三煩惱熏習】煩惱即貪瞋邪見等煩惱也此之煩惱乃是第六意識所起亦由第七識傳送熏習第八種子之識而能成就染分之相故云煩惱熏習。
三種相(出成實論)
【一發相】發即策發謂心昏沉時應用精進之行而策起之故名發相。
【二制相】制即禁制謂心掉動時應用寂靜之法而禁制之故名制相(掉者舉也)。
【三捨相】捨即捨置謂心不沉不散調適之時即捨前發制二相故名捨相。
三細相(出起信論)
三細者即根本無明之惑也因對六麤故名三細(六麤者智相相續相執取相計名字相起業相業繫苦相也)。
【一業相】業相者即從真起妄初動之相也然本覺心源離念寂靜因無明故覺成不覺遂成業相故起信論云以依不覺故心動說名為業是也。
【二見相】見相者見初動之相也亦名轉相謂依初動業識轉成能見之相也。
【三境界相】境界相者即轉相分別初動之境界也亦名現相由前轉相則境界妄現也。
三大(出起信論疏)
【一體大】謂真如之理體性平等無不容攝故名體大(體性平等者謂凡聖染淨之法皆依真如之體其性無有高下也)。
【二相大】相即德相謂真如體上具足無量恒沙勝妙功德一一功德稱體顯露故名相大。
【三用大】謂真如之體能生一切世間出世間善因善果故名用大(世間人天也出世間聲聞緣覺菩薩佛也)。
三種身(出大乘五蘊論)
身即聚集之義瑜伽師地論云佛菩薩是能說者語是能說相名句文身是所說相聲名句文和合即為此方能詮之教體也。
【一名身】名即名字楞伽經云名身者謂依事立名蓋一名非身眾名連合方名為身又唯識論云名詮自性是為名身(名詮自性者謂諸法自性由名而詮顯也)。
【二句身】句即句逗逗止也住也大智度論云天竺語法眾語和合成句如菩為一字提為一字是二不合則不成語若二和合名為菩提又唯識論云句詮差別是為句身(句詮差別者謂諸法差別之相由句而詮顯也)。

【三文身】文即文字為名句二法所依故唯識論云文即是字為二所依又楞伽經名為字身謂聲相有長短音韻有高下是為文身。

三不可盡(出寶積經)

【一經法不可盡】謂如來所說經法隨其眾生機樂不同或廣或畧雖一音宣演而十方普被故云經法不可盡。

【三文字之義不可盡】謂如來所說經教妙義橫亘十方竪徹三際大無不周細無所遺是以小根淺智之人不能窺其奧妙故云文字之義不可盡(三際者過去現在未來也)。

【三所宣訓誨不可盡】謂如來所宣言教訓誨眾生或說大乘或說小乘隨類現形種種設化利益無量故云所宣訓誨不可盡。

天台三觀(出金光明經玄義)

謂天台智者大師所立也觀即照了之義觀達一念之心即具三諦之法也若觀心空則一切法皆空即是真諦若觀心假則一切法皆假即是俗諦若觀心中則一切法皆中即是中諦此之三觀全由性發實匪修成故於一心宛有三用所謂一心三觀也。

【一空觀】空者離性離相之謂也謂觀一念之心不在內不在外不在中間名之為空由觀一念空故一空一切空無假無中而不空以三觀皆能蕩相故也蓋空蕩見思之相假蕩塵沙之相中蕩無明之相三相皆蕩即畢竟空是名空觀(見思塵沙無明即三惑也)。

【二假觀】假者無法不備之謂也謂觀一念之心具足一切諸法名之為假由觀一念假故一假一切假無空無中而不假以三觀皆能立法故也蓋空立真諦之法假立俗諦之法中立中諦之法三法皆立即為妙假是名假觀。

【三中觀】中即中正絕二邊待對之謂也謂觀一念之心非空非假即空即假名之為中由觀一念中故一中一切中無空無假而不中以三觀當處皆能絕待故也蓋言空則空外無法言假則假外無法言中則中外無法三皆絕待即為圓中是名中觀。

三種三觀(出宗鏡錄)

三種三觀者謂以觀觀心不出次第圓融之義故有三種不同也。

【一別相三觀】別相三觀者即歷別觀於三諦也謂若從假入空但得觀真尚不得觀俗豈得觀中道若從空入假但得觀俗未得觀中道若入中道正觀方得雙照二諦是名別相三觀(從假入空者謂觀生死之假入涅槃真空也觀真觀俗觀中道者真即真空之理真諦也俗即諸法宛然俗諦也中道即中諦也)。

【二通相三觀】通相三觀者即於一觀中圓解三諦也謂若從假入空非但知俗假是空真諦中道亦通是空若從空入假非但知俗假是假真諦中道亦通是假若入中道正觀非但知中道是中俗假真空亦通是中但以一觀當名解心皆通是名通相三觀。

【三一心三觀】一心三觀者即於一念心而能圓觀三諦也謂觀一念心為從何處來去至何所畢竟無有淨若虛空名空觀能觀之觀所觀之境歷歷分明名假觀雖歷歷分明而性常自空空不定空假不定假名中觀即三而一即一而三是名一心三觀。

法界三觀(出華嚴法界觀)

法界三觀者乃帝心尊者依華嚴經而立也法界即所觀之境三觀即能觀之觀此三種觀雖自下升上漸次深廣然修之者但一道竪窮展轉圓妙非初觀外別有二三良以舉一即三全三是一故也。

【一真空觀】謂非虛妄念慮曰真非形礙色相曰空故簡情妄以顯真性使見色非實色舉體全是真空令見空非斷空舉體全是真性如是則能廓情塵而空色無礙泯智解而心境俱融故名真空觀。

【二理事無礙觀】謂性淨明體曰理形相分限曰事故觀廣大之理咸歸一塵即了一塵之色通遍法界是則融萬象之虛相全一真之明性理事交徹無礙圓融故名理事無礙觀。

【三周遍含容觀】謂無所不在曰周遍無法不攝曰含容故觀全事之理隨事而一一可見全理之事隨理而一一可融是則一多無礙大小相含互攝互容重重無盡隱顯自在神用不測真可謂入華嚴無盡法界之境故名周遍含融觀。

圓覺三觀(出圓覺經畧疏)

【一奢摩他】梵語奢摩他華言止止即止寂之義謂欲求圓覺者以淨覺心取靜為行而於染淨等境心不妄緣即是體真止義當空觀故經云由寂靜故十方世界諸如來心於中顯現如鏡中像此方便者名奢摩他(體真止者謂體達無明顛倒之妄即是實相之真也)。

【二三摩鉢提】梵語三摩鉢提華言等持昏沉掉舉皆離曰等令心專注一境曰持謂欲求圓覺者以淨覺心知覺心性及與根塵皆因幻化而有遂起幻修以除諸幻即是方便隨緣止義當假觀故經云所圓妙行如土長苗此方便者名三摩鉢提(方便隨緣止者謂隨緣歷境安心不動也)。

【三禪那】梵語禪那華言靜慮靜即定慮即慧也謂欲求圓覺者以淨覺心不取幻化及諸靜相便能隨順寂滅境界即是息二邊止義當中觀故經云自他身心所不能及眾生壽命皆為浮想此方便者名為禪那(息二邊止者謂不分別生死涅槃止息有無等二邊之相也)。

南山三觀(出止觀輔行)

南山三觀者即終南山宣律師之所立也。

【一性空觀】性即性分也謂聲聞緣覺小乘之人觀因緣所生一切諸法其性本空皆無有我常以此理照察自心故名性空觀(因緣者六根為因六塵為緣也所生一切諸法者即根塵相對所起諸心法也)。

【二相空觀】相即相狀也謂藏通二教菩薩觀因緣一切所生諸法其相本空但眾生情執妄見種種差別之相常以此理照察自心故名相空觀。

【三唯識觀】識即心識也謂別圓二教大乘菩薩皆了世間一切外塵諸法自性清淨本來無實此理深妙唯意緣知故名唯識觀。

三種觀法(出止觀義例)

三種觀法者謂修行用觀之法也前托事附法二種乃是天台智者大師講法華經時為座下聽眾有修觀行者隨歷一事皆以觀法表對令其修習名托事觀或遇一切法相處亦附彼法相立其觀法令其修習名附法觀後之一種專約行門復說摩訶止觀兼明諸經所有行法名約行觀故有三種之不同也。

【一托事觀法】謂托王舍耆闍崛山等事而為觀也名從事立借事為觀以導執情故名托事觀(王舍等事表對觀法者王表心王舍表五陰舍即是令觀五陰也梵語耆闍崛華言靈鷲若表對者靈表心王鷲表受想行山表色陰亦是令觀五陰也)。

【二附法觀法】謂附四諦等法入一念心以為觀法故名附法觀(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。

【三約行觀法】謂專約行門而修觀也故止觀義例云唯於萬境觀一心萬境雖殊妙觀理一故名約行觀。

毘婆舍那三行(出深密解脫經)

梵語毘婆舍那華言觀謂以寂靜之慧觀察根塵內外諸法令三昧成就進趣菩提故行有三焉(根者即眼耳鼻舌身意之六根也塵者即色聲香味觸法之六塵也梵語三昧華言正定梵語菩提華言道)。

【一相】相即觀境也謂修觀之時於此心觀之中分別了知三昧境界之相如淨明鏡照徹一切影像了了分明也。

【二修行】修行者謂既了知觀法之相則善能修習一切妙行無有過失也。

【三觀】觀者觀察也謂修觀之時於一一觀法中善能觀察一一法相而不證彼小乘寂滅解脫直趣無上菩提也(梵語菩提華言道)。

為三事故修毘婆舍那(出涅槃經)

梵語毘婆舍那華言觀即智慧也。

【一觀生死惡果報】謂修禪觀即能破諸昏暗觀察分別因緣生滅之相故於善惡果報悉皆明了不起惑業也。

【二增長善根】謂修禪觀能滅貪瞋癡等惡業暗障本性之智自然明發故一切善根悉皆增長也。

【三破諸煩惱】謂修禪觀了知生死過患不為根塵所染故一切煩惱悉能破滅也(根者即眼耳鼻舌身意之六根也塵者即色聲香味觸法之六塵也)。

三諦(出法華玄義)

諦者諦審也謂諦審一切法即空即假即中即空是真諦即假是俗諦即中是中諦此三隔歷即是次第三諦三一無礙即是圓融三諦(隔歷者三諦不互融也次第者前真次俗後中即別教三諦也圓融者舉一即三全三是一即圓教三諦也)。

【一真諦】真即真空泯一切法之謂也盖諸法本空眾生不了執之為實而生妄見若以空觀蕩之則謂實之情自忘情忘即能離於諸相諸相若離則真空之理自然諦了故名真諦。
【二俗諦】俗即世俗立一切法之謂也諸法雖即本空皆不可得若以假觀照之則能諦了性具諸法歷歷宛然故名俗諦。
【三中諦】中即中正統一切法之謂也諸法本來不離二邊不即二邊若以中觀觀之則能諦了諸法非真非俗即真即俗清淨洞徹圓融無礙即一而三即三而一不可思議故名中諦。
二諦(出仁王護國般若經疏)
諦即審實之義謂觀世間出世間一切諸法不出空與色心經云我以三諦攝一切法是也。
【一空諦】空即虛幻之義謂諦審一切眾生及與世界等法性相本空虛假不實是名空諦。
【二色諦】色即質礙之義謂諦審世間眾生色身及山河大地種種形相乃至意識所緣一切境界皆是色法是名色諦。
【三心諦】心諦即第八識心王也謂眾生根身虛空世界乃至善惡一切諸法皆由此心出生是名心諦。
三假(出止觀輔行)
【一因成假】謂一切諸法必有所因和合方成如諸眾生因於父母生成此身是名因成了達此身虛幻不實是名為假一切諸法亦復如是故名因成假。
【二相續假】謂眾生心識念念相續前念既滅後念復生是名相續了此相續本無實體是名為假一切諸法相續不斷亦復如是故名相續假。
【三相待假】待即對也謂一切諸法各有待對如對長說短對短說長對無說有對有說無是名相待了此一切對待之法本無實體皆是假名是名為假又如眾生身中以生對死以少對老亦復如是故名相待假。
三空(出金剛經刊定記)
【一我空】謂於五蘊之法強立主宰名為我執若推求色受想行識之五法皆無自性不見我體是名我空(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【二法空】謂於五蘊之法計為實有名為法執若推求五蘊之法如幻如化皆從緣生無有自性是名法空。
【三俱空】謂我法二執既遣能空之空亦除空執兩亡方契本性是名俱空。
三懺(出天台四教儀集註)
懺梵語具云懺摩華言悔過謂改悔往昔之過非也作法取相二懺屬事無生一懺屬理理懺為正事懺為助若能正助合行事理兼運則無罪不滅無福不生也。

【一作法懺】謂身禮拜口稱唱意思惟三業所作一依法度披陳過罪求哀懺悔是名作法懺。
【二取相懺】謂定心運想取其現相為期於道場中或見佛來摩頂或見光現或見華飛或夢中見諸瑞相或聞空中聲於此諸相隨獲一種罪即消滅是名取相懺。
【三無生懺】謂一切罪業皆從一念不了心生若了心性本空罪福無相則一切法皆悉空寂罪從何生是名無生懺。
三悔法(出天台四教儀集註)
【一懺悔】梵語懺摩華言悔過華梵兼舉故稱懺悔懺名修來悔名改往謂修將來之善果改已往之惡因是名懺悔。
【二勸請】勸請有二一謂十方世界有佛將入涅槃者勸請住世利濟眾生二謂十方世界有佛初成正覺者勸請轉於法輪度諸眾生雖不面見諸佛而虔心勸請以達歸敬之誠是名勸請。
【三回向】謂三業所脩一切諸善乃至懺悔勸請種種功德回施法界一切眾生同證菩提是名回向(三業者身業口業意業也梵語菩提華言道)。
三方便(出淨名經疏)
疏云方是智所詣之偏法便是善權巧用之能巧用諸法隨機利物故云方便(偏法者即小乘偏權之法也)。
【一自行方便】謂佛及四十一位心內所證不思議二諦之理是名自行方便(四十一位者十住十行十回向十地菩薩及等覺菩薩也等覺者望後妙覺猶有一等故也二諦者一真諦泯一切法也二俗諦立一切法也)。
【二化他方便】謂藏通別三教及圓教有門所明諸菩薩等不斷煩惱照界內界外種種法門等是名化他方便(藏通別圓四教者藏即三藏教也通謂通前藏教通後別圓故名通教別謂別前藏通二教別後圓教故名別教圓謂圓妙圓滿故名圓教界內界外者謂三界之內外也)。
【三自他方便】謂前自行化他二種方便相對合論是名自他方便。
勝三修(出涅槃經)
謂菩薩依佛勝教而修破於聲聞劣修故名勝三修。
【一常修】常即不遷不變之謂也蓋菩薩了知法身之體本來常住無滅無生以破聲聞之人不應於諸法中執為無常是名常修。
【二樂修】樂即安隱寂滅之謂也蓋菩薩了知諸法之中而有涅槃寂滅之樂以破聲聞之人不應於諸法中執之為苦是名樂修(梵語涅槃華言滅度)。
【三我修】我即自在無礙之謂也蓋菩薩了知無我法中而有真我得大自在無有障礙以破聲聞之人不應於諸法中執為無我無我所是名我脩(我所者謂五陰之身及資生等物也)。
劣三修(出涅槃經)
謂聲聞所修比於菩薩所修則劣故名劣三修。

【一無常修】謂聲聞之人不知法身常住之理而觀三界一切有為之法皆悉生滅無常是名無常修(三界者欲界色界無色界也)。
【二非樂修】非樂即苦也謂聲聞之人不知諸法之中本有涅槃寂滅之樂而觀一切諸法悉皆是苦是名非樂修。
【三無我修】謂聲聞之人不知自在無礙之真我而觀五陰等法皆空無我無我所是名無我修(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
三漸次(出首楞嚴經)
三漸次者乃楞嚴經中佛欲說修行地位而先說此三等漸次以為根本以由一切地位雖有淺深不同而皆以此三種而為進行之本故經云如是漸修隨所發行安立聖位是也。
【一除助因】除助因者謂除眾生助惡之因也助惡之因即五種辛也五辛者即葱薤韮蒜興渠也謂此五辛食則能發[婬-壬+(工/山)]恚邪魅所著天人遠離是故修行之人欲得菩提必先斷除此五種辛菜也故經云是諸眾生求三摩地當斷世間五種辛菜是也(興渠葉如蔓菁根如蘿蔔出土辛臭梵語菩提華言道梵語三摩地華言等持)。
【二刳正性】刳剖也破也正性即眾生[婬-壬+(工/山)]殺之性也以一切盜妄等惡皆由[婬-壬+(工/山)]殺而起故指此為正性也若欲修菩提者當用剖破[婬-壬+(工/山)]殺之性勿令毀犯故經云是修行人若不斷[婬-壬+(工/山)]及與殺生出三界者無有是處是也(三界者欲界色界無色界也)。
【三違現業】違者背也遠也現業即現行六塵境界所起之業也謂修菩提之人既能斷除五辛不犯[婬-壬+(工/山)]殺則於現前六塵之境違遠而不相涉故經云如是清淨持禁戒人心無貪[婬-壬+(工/山)]於外六塵不多流逸是也(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
三科(出婆沙論并阿毘達磨品類足論)
論云若迷心不迷色則合色開心數為五蘊若迷色不迷心則合心開色數為十二入若心色俱迷則心色各開數為十八界如此開合說者為令眾生於所迷處委細而觀故有三科不同焉。
【一五蘊】(亦名五陰)蘊積聚也謂積聚色受想行識五法以成身也如來為迷心偏重者合眼耳鼻舌身五根但名為色開意之一根為受想行識令其細觀於心是為合色開心故說五蘊也。
【二十二入】入涉入也謂六根六塵互相涉入也如來為迷色偏重者開色為眼耳鼻舌身及以色聲香味觸合受想行識四種心法但名為意意之所對唯一法塵令其細觀於色是為開色合心故說為十二入也(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【三十八界】界即界限亦隔別之義謂此十八界各有別體義無混濫也如來為色心俱迷者開為六根六塵六識令其一一細觀是為心色俱開故說為十八界也(六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也)。

三種至教(出顯揚聖教論)
【一聖言所攝】謂修行之人於如來及諸弟子所說正法當依憑正義信解修習遵崇聖制不敢違越是名聖言所攝。
【二對治雜染】謂修行之人修善去惡必有對治之法如心散亂則以禪定之法治之如心貪染則以不淨觀法治之乃能息妄歸真得入正道是名對治雜染。
【三不違法相】謂修行之人於如來所說正教當遵其法相如理思修精進一心不敢違背是名不違法相。
三宗(出宗鏡錄)
宗猶[泳-永+(瓜-丶)]也圭峯密禪師云大乘經教統唯三宗。
【一法相宗】謂此宗說一切有漏妄法及無漏淨法無始時來各有種子在阿賴耶識中遇緣熏習即各從自性而起都不關涉真如故於色心諸法而建立種種名相是名法相宗(梵語阿賴耶華言藏識即第八識也)。
【二破相宗】謂此宗一向說凡聖染淨之法一切皆空本無所有設見一法過涅槃者亦如夢如幻彼且本不立真何況於妄真妄名相一切俱無故名破相宗(梵語涅槃華言滅度)。
【三法性宗】謂此宗說依真起妄盖真如不變不礙隨緣如云法身流轉五道如來藏受苦樂等若悟妄即真如云知妄本自真見佛即清淨等是名法性宗(五道者天道人道餓鬼道畜生道地獄道也)。
南中三教(出華嚴經疏)
南中三教者謂自齊朝已後江南諸師立此三教判如來一代所說之法也。
【一漸教】謂佛說法始自鹿苑終至雙樹從小至大是名漸教。
【二頓教】謂佛最初為諸菩薩說華嚴經如日初出先照高山是名頓教。
【三不定教】謂別有經雖非頓漸所攝而明佛性常住即勝鬘經及金光明經等是名不定教。
岌法師三教(出華嚴經疏)
岌武丘人也謂其以此三教判如來一代所說之法也。
【一有相教】謂佛設教於十二年說阿含經已前見有得道是名有相教(見有得道者謂二乘見一切法是有不離色心因而得道也)。
【二無相教】謂佛設教於十二年說阿含經已後齊至法華見空得道是名無相教(齊即齊限見空得道者謂菩薩見一切法皆空因而得道也)。
【三常住教】謂佛設教最後有無雙照說一切眾生皆有佛性一切闡提皆得作佛是名常住教(梵語闡提華言信不具)。
三等流(出宗鏡錄)
等流者等即平等流即流類也。

【一真等流】謂善性惡性無記性為因所引善惡無記同類之果果與因性真實是同故名真等流。
【二假等流】謂前世殺生令他命短故感今世自亦短命有相似義假名等流故名假等流。
【三分位等流】謂眼等諸識各隨自類轉變如眼識乃至身識皆從第八種子識而生對於色等諸塵名等流果若第六識從種子識而生起諸分別亦名等流果而識與塵分位各同故名分位等流(種子識即藏識也等流果者謂眼識與色塵乃至身識與觸塵各為等流而識與塵皆名果也第六識即意識也)。
三忍(出華嚴經疏)
忍耐也又忍可也謂於一切逆順善惡之境而能忍受安心不動故名為忍。
【一耐怨害忍】謂人以怨憎毒害而加於我即能安心忍耐而無返報之心是名耐怨害忍。
【二安受苦忍】謂疾病水火刀杖等眾苦所逼即能安心忍受恬然不動是名安受苦忍。
【三諦察法忍】謂審察諸法體性虛幻本無生滅信解真實心無妄動安然忍可是名諦察法忍。
三受(出雜阿含經)
受者領納也謂六根之識領受六塵之境也(六根之識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【一苦受】謂於六塵違情之境而有逼迫之苦是名苦受。
【二樂受】謂於六塵順情之境而有適悅之樂是名樂受。
【三不苦不樂受】謂於六塵不違不順之境所受非苦非樂是名不苦不樂受。
三種無常(出順中論)
【一念念壞滅無常】謂根塵相對所起心念前念既滅後念復生生已還滅念念不住皆悉無常是名念念壞滅無常(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【二和合離散無常】謂一切法皆由因緣和合而成本無實體若因緣別離即便散壞且如眾生由四大和合而成其身若四大別離即便散滅是名和合離散無常(四大者地大水大火大風大也)。
【三畢竟無常】畢竟猶決定也謂決定了知一切諸法皆假因緣和合而生虛幻不實終歸壞滅是名畢竟無常。
三支比量(出阿毘達磨雜集論)
比量者謂以有為法與無為法比類而量度也。
【一立宗】宗猶主也要也謂如五蘊等法皆假因緣而生實無自性於中求我決不可得故對執我論者先說諸法無我也(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。

【二立因】立因者謂破執有我者而立因也若於五蘊等法施設實有我者此之五蘊既從眾緣而生皆是生滅之法蘊既生滅我不成就若離五蘊而於餘處施設有我者我無所因我亦無用是則皆無有我也。
【三立喻】立喻者謂以別法喻所立法也如於現在世施設實有過去相者此現在相已生未滅不應於已生未滅法中施設過去已滅之相若離現在而於餘處施設過去相者然過去世相既滅壞不應施設有相此過去相不可得以喻諸法皆不可得也。
大明三藏法數卷第六

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

三種圓滿安樂(出瑜伽師地論)
【一成就加行圓滿】謂脩菩薩行者於淨戒中不敢毀犯於身語意清淨無染若有過失即能懺悔令其戒體圓滿無虧是名成就加行圓滿。
【二成就意樂圓滿】謂脩菩薩行者為法出家不為活命但為求無上菩提及求大涅槃樂勇猛精進不生懈怠之心不雜眾惡之法不受當來生老病死之苦是名成就意樂圓滿(梵語菩提華言道梵語涅槃華言滅度)。
【三成就宿因圓滿】謂脩菩薩行者於宿世中曾修福善故於今生種種資身之具悉無匱乏復能為他廣行惠施心不慳恪是名成就宿因圓滿。
三義歡喜(出觀經妙宗鈔)
觀無量壽佛經疏因釋阿難及天龍等聞法歡喜作禮而去故以三義釋之(梵語阿難華言慶喜)。
【一遇人歡喜】人即佛也謂佛具足四無礙智說觀彼佛之法離於錯謬今遇此人寧不歡喜是名遇人歡喜(四無礙智者法無礙智義無礙智詞無礙智樂說無礙智也彼佛即梵語阿彌陀華言無量壽)。
【二聞法歡喜】謂所說觀佛之法一十六門曲盡其妙能令凡心入深三昧聞如是法豈不歡喜是名聞法歡喜(一十六觀門者日觀水觀地觀寶樹觀八功德水觀總觀華座觀像觀佛真身觀觀世音觀大勢至觀普想觀雜想觀上輩生觀中輩生觀下輩生觀)。
【三得果歡喜】果即修觀剋獲之果也謂韋提希等聞說觀佛之法依此修之得分真果侍女諸天得相以果得如是果豈不歡喜是名得果歡喜(梵語韋提布華言思惟分真者即證一分中道也相似者近於分真也)。
三因(出佛性論)
【一應得因】謂依真如空理而修因行應得菩提之果故名應得因(梵語菩提華言道)。
【二加行因】謂依菩提心加功用行以此為因即能證得法身之果故名加行因。
【三圓滿因】謂由加行故因行圓滿故名圓滿因。
三斷(出宗鏡錄)
【一自性斷】謂智慧起時煩惱暗障自性應斷故名自性斷。
【二不生斷】謂得法空之時能令三塗惡道苦果永更不生故名不生斷(三塗者火塗刀塗血塗也)。
【三緣縛斷】謂但斷心中之惑則於外塵境不起貪瞋於境雖緣不生染著故名緣縛斷。
三斷(出阿毘達磨品類足論)

【一見所斷】謂聲聞初果之人斷惑見理名為見道因斷三界八十八使見惑故名見所斷(三界者欲界色界無色界也八十八使者一身見二邊見三見取四戒取五邪見六貪七瞋八癡九慢十疑此十使歷三界四諦下增減不同成八十八謂欲界苦諦十使具足集滅二諦各七使除身見邊見戒取道諦下八使除身見邊見四諦合為三十二上色界無色界每四諦下咨除瞋使餘皆如欲界故上二界合為五十六并前欲界三十二共成八十八使也)。

【二修所斷】謂聲聞第二果第三果修真斷惑名為修道因斷三界十隨眠惑故名修所斷(十隨眠者即是思惑謂長時隨逐潛伏覆蔽真性故名隨眠欲界有四謂貪瞋癡慢色界無色界各三謂貪癡慢共為十也)。

【三非所斷】謂聲聞第四果三界煩惱皆已斷竟得無漏果無惑可斷故名非所斷。

龍華三會(出法住記)

彌勒下生經云彌勒菩薩即於出家之日便得成佛坐於龍華樹下花林園中三會說法故云龍華三會(梵語彌勒華言慈氏)。

【第一會度九十六俱胝聲聞眾】梵語俱胝華言百億記云若諸國王大臣長者居士男女一切施主於今釋迦牟尼佛正法中能作佛事自種善根或教他種以七寶金銀鍮石銅鐵木石泥土或以繒縷或以綵畫作佛形像及窣堵波若大若小乃至最小如指節大或以香花諸妙供具而為供養由如是善根力故至彌勒如來成正覺時善得人身於第一會中剃髮出家乘宿願力便得涅槃(梵語窣堵波華言高顯即塔也梵語涅槃華言滅度)。

【第二會度九十四俱胝聲聞眾】記云若國王等及以臣庶於今釋迦牟尼佛正法中能為法事謂於諸大乘經典或律或論若讀若誦或恭敬供養或於經卷以諸雜綵而嚴飾之由是善根力故至彌勒如來成正覺時善得人身於第二會中剃髮出家乘宿願力便得涅槃。

【第三會度九十二俱胝聲聞眾】記云若諸國王及臣庶等於今釋迦牟尼佛正法中能為僧事自種善根或教他種於每月初一日或初八日十五日設齋供養比丘比丘尼或供養脩禪定者或供養諸說法者或施坐臥等具供養僧眾由是善根力故至彌勒如來成正覺時於第三會中剃髮出家乘宿願力便得涅槃。

菩薩三脩學(出菩薩瓔珞本業經)

【一百劫頂寂定中脩諸三昧】劫梵語具云劫波華言分別時節梵語三昧華言正定頂寂定者在眾定之上故名頂也謂等覺菩薩住頂寂定以大願力住壽百劫修一切三昧已入金剛三昧與一切法性相應相冥而得一合相也(等覺者去佛之位一等也金剛三昧著金剛喻堅至利謂入此三昧則一切諸惑無不斷也)。

【二千劫金剛定中學諸威儀】謂等覺菩薩復住壽千劫學佛一切威儀象主觀視師子遊步修佛無量不可思議神通化導之法皆現在前入佛行處坐佛道場也。

【三萬刼大寂定中學佛化行】謂等覺菩薩復住壽萬刼學佛教化之行現諸色相教化眾生復現同諸佛常行中道大樂無為也。
菩薩生兜率天三事勝(出涅槃經)
菩薩當補佛處故生兜率梵語兜率華言知足謂於五欲境界知止足故(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【一命勝】菩薩已離三界生死雖不修命業而於彼天託生天繫壽命四千歲天壽畢已降生中國以補佛處是名命勝也(三界者欲界色界無色界也)。
【二色勝】菩薩雖不修色業既生兜率而妙色身光明照耀自然莊嚴異諸天眾是名色勝也。
【三名勝】佛本行集經云菩薩既生兜率其諸天眾即喚菩薩名為護明展轉稱喚其聲上徹淨居乃至色界天頂是名名勝也(護明釋迦佛也從迦葉佛時護持禁戒梵行清淨命終生天不失本心不忘宿行故曰護明)。
三賢(出仁王護國經疏)
十住十行十回向諸位菩薩皆稱賢者此就別教而論盖諸位菩薩但斷見思惑盡尚有無明惑在未入聖位故名賢也。
【一十住】會理之心安住不動名之為住一發心住二治地住三修行住四生貴住五具足方便住六正心住七不退住八童真住九法王子住十灌頂住。
【二十行】行即進趣之義謂行此行則能進向於果名之為行一歡喜行二饒益行三無違逆行四無屈撓行五無癡亂行六善現行七無著行八難得行九善法行十真實行。
【三十回向】回因向果名為回向一救諸眾生離眾生相回向二不壞回向三等一切諸佛回向四至一切處回向五無盡功德藏回向六入一切平等善根回向七等隨順一切眾生回向八真如相回向九無縛無著解脫回向十入法界無量回向。
三種發心(出起信論)
【一信成就發心】謂十信行滿信心成就入十住位中初發心住故名信成就發心(十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心回向心戒心願心也十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也)。
【二解行發心】解即解了行即修行謂十行位中能解法性本空順修六度之行發回向心入十回向故名解行發心(十行者歡喜行饒益行無瞋恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無礙解脫回向法界無量回向也)。
【三證發心】證即證入謂入初地乃至第十地而此證者無有境界惟真如智名為法身法身顯發故名證發心。

三不退(出觀經妙字鈔)
【一位不退】謂別教菩薩從初住位中斷見惑二住至七住位中斷思惑則永不退失超凡之位故名位不退(初住即十住發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也)。
【二行不退】謂別教菩薩從八住已去至十行位中伏斷塵沙之惑則永不退失菩薩之行故名行不退(十行者歡喜行饒益行無瞋恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也)。
【三念不退】謂別教菩薩從初地已去破無明惑則永不退失中道正念故名念不退。
三處入法界(出華嚴經疏)
法界即一切眾生本有之心諸佛所證平等之理也而云三處入者由菩薩根有利鈍行有淺深故所證入先後不定遂分三處也。
【一十住初心入法界】謂利根菩薩即於初住位中破無明惑證入法界平等之理得不退轉是名十住初心入法界也(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也)。
【二回向終心入法界】謂菩薩於十回向後心眾行純熟證入法界是名回向終心入法界也(十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無礙解脫回向法界無量回向也)。
【三初地入法界】謂菩薩於前行向中功德具足至於初地即得證入法界乃了三德圓融三身自在是名初地入法界也(三德者法身德般若德解脫德也三身者法身報身應身也)。
文殊三名(出翻譯名義)
【一文殊師利】梵語文殊師利華言妙德謂具不可思議種種微妙功德故名妙德。
【二滿殊尸利】梵語滿殊尸利華言妙首謂具不可思議微妙功德在諸菩薩之上故名妙首。
【三曼殊室利】梵語曼殊室利華言妙吉祥謂具不可思議微妙功德最勝吉祥故名妙吉祥。
三人觀十二因緣(出涅槃經)
三人者謂通教聲聞緣覺菩薩雖同觀十二因緣然隨智淺深法成高下故有三種之異也。
【一下智觀故得聲聞菩提】梵語菩提華言道謂聲聞之人用體空之智初觀十二因緣生次觀十二因緣滅觀此生滅即悟非生非滅破見思之惑證真空之理是名下智觀故得聲聞菩提(體空者體達諸法性本空也十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也因緣生者即無明緣行行緣識等是也因緣滅者即無明滅乃至老死滅是也)。

【二中智觀故得緣覺菩提】謂緣覺之人亦用體空之智初觀十二因緣生次觀十二因緣滅觀此生滅即悟非生非滅破見思之惑更能侵除習氣以由能觀之智比於聲聞稍勝故所證真空之理亦深是名中智觀故得緣覺菩提(侵除者猶漸除也習氣者見思餘習之氣分也)。
【三上智觀故得菩薩菩提】謂菩薩之人雖亦用體空之智觀十二因緣生滅了悟非生非滅而能頓斷見思習氣以由能觀之智比於緣覺復勝故所證真空之理最深是名上智觀故得菩薩菩提(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
阿羅漢三義(出翻譯名義)
梵語阿羅漢華言無生亦云無學謂三界生死已盡是為無生無法可學是為無學或言不翻者名含三義故也(三界者欲界色界無色界也)。
【一殺賊】賊即見思惑也以其刼人功德之財奪人智慧之命故名為賊阿羅漢能斷三界見思之惑故名殺賊。
【二不生】不生即無生也謂阿羅漢既斷見思惑盡更不受三界生故名不生。
【三應供】謂阿羅漢智斷功德既已具足應受人天供養故名應供(智謂得漏盡智斷謂斷三界見思惑盡也)。
三迦葉(出法華經文句)
梵語迦葉華言光波謂身光炎涌暎餘光故也毘婆尸佛時三人共立剎柱以是因緣感報遂為兄弟(梵語毘婆尸華言勝觀)。
【一優樓頻螺迦葉】梵語優樓頻螺華言木[瓜-丶]林謂其居處近於此林故以名之將護四眾供給四事令無所乏最為第一(四眾者一比丘二比丘尼三優婆塞四優婆夷也四事者一飲食二衣服三臥具四醫藥也)。
【二伽耶迦葉】梵語伽耶華言城謂其居家在王舍城南七由旬故以名之觀了諸法都無所著教化眾生最為第一(梵語由旬華言限量一由旬四十里也)。
【三那提迦葉】梵語那提華言河謂其居止近於此河故以名之心意寂然降伏結業精進修行最為第一。
阿難三名(出翻譯名義)
阿難是斛飯王之子佛成道日生以其能持法藏有三種不同隨德受稱故有三名也。
【一名阿難】梵語阿難華言慶喜生時合國欣慶歡喜故也以其親承佛旨傳以化人即傳持聲聞藏也。
【二名阿難跋陀】梵語阿難跋陀華言喜賢以其住於有學之地得空無相無願三解脫門即傳持緣覺藏也(空者謂了達自性本空無我我所也無相者謂一切法空無男女相也無願者謂了達諸法無相無所願求也以能空此三者即得自在無礙故云解脫門也)。

【三名阿難迦羅】梵語阿難迦羅華言喜海以其解了如來說法無說而說說即無說所謂佛法大海水流入阿難心即傳持菩薩藏也。

聲聞三道(出天台四教儀集註)

【一見道】謂聲聞因斷三界見惑見真諦理故名見道即初果須陀洹也(三界者欲界色界無色界也見惑者意根對法塵起諸分別曰見惑梵語須陀洹華言預流謂預入聖道法流也)。

【二脩道】謂聲聞得初果已復緣真諦之理斷欲界九品思惑名為脩道即二果斯陀含三果阿那含也(思惑者五根對五塵起貪染心曰思九品者於上中下三品每一品中又分三品名為九品梵語斯陀含華言一來謂來欲界一番受生也梵語阿那含華言不來謂不來欲界受生也)。

【三無學道】謂聲聞斷三界見思惑盡真諦之理究竟無法可學故名無學即第四果阿羅漢也(梵語阿羅漢華言無學)。

結集三人(出付法藏因緣經)

【一阿難】梵語阿難華言慶喜斛飯王之子佛成道日生生時舉國欣慶故云慶喜隨佛出家得阿羅漢果多聞第一能持法藏如來滅後與文殊師利集諸大眾於鐵圍山等處結集脩多羅藏(梵語修多羅華言契經)。

【二優波離】梵語優波離華言化生或翻上首以其持律第一為眾紀綱故也如來滅後與五百聖人於畢鉢羅窟內結集毘奈耶藏(畢鉢羅西域記云即菩提樹也梵語毘奈耶華言善治即律也)。

【三迦葉】梵語迦葉波華言飲光謂其身光炎涌能映餘物故也如來滅後集諸大眾於畢鉢羅窟等處結集阿毘曇藏(梵語阿毘曇華言無比法即論也)。

初果三結(出四教儀集註)

結即見惑眾生由此見惑結縛不能出離生死聲聞之人斷此惑盡即證初須陀洹果故名初果三結(梵語須陀洹華言預流謂預入聖道法流也)。

【一身見結】謂眾生於五陰等法中妄計為身強立主宰恒起我見是名身見結(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

【二戒取結】謂外道之人於非戒中謬以為戒取以進行如鷄狗戒等是名戒取結(鷄狗戒者謂外道計自身前世從鷄中來即便獨立等或計從狗中來即便噉糞穢等是也)。

【三疑結】謂迷心背理而於正法猶豫不決不能深信是名疑結。

三餘(出華嚴經隨疏演義鈔)

【一煩惱餘】煩惱餘亦名障餘謂二乘之人雖斷三界內見思惑盡尚有界外無明惑在故名煩惱餘(二乘者聲聞乘緣覺乘也三界者欲界色界無色界也)。

【二業餘】業餘亦名道餘謂二乘之人雖斷三界內業縛尚餘界外變易生死之業故名業餘。

【三苦餘】苦餘亦名果餘謂二乘之人已出三界分段生死尚有變易生死之苦故名苦餘。

三佛子(出華嚴經疏)

【一外子】謂諸凡夫未曾入道未能紹繼佛種是名外子。

【二庶子】謂聲聞緣覺但稟小乘之教生於法身不從如來大法生故是名庶子。

【三真子】謂大乘菩薩稟受如來大法生於法身是名真子。

三車(出法華經)

三車者車即運載之義喻三乘之人各以所乘之法運出三界而至涅槃也(三乘者菩薩乘緣覺乘聲聞乘也三界者欲界色界無色界也梵語涅槃華言滅度)。

【一羊車】羊車者以羊挽車故名羊車喻聲聞之人脩四諦行求出三界但欲自度不顧他人如羊之奔逸竟不回顧後群故以羊車喻之經云如彼諸子為求羊車出於火宅是也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。

【二鹿車】鹿車者以鹿挽車故名鹿車喻緣覺之人脩十二因緣行求出三界而畧有為他之心如鹿之馳走即能回顧後群故以鹿車喻之經云如彼諸子為求鹿車出於火宅是也(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。

【三牛車】牛車者以牛挽車故名牛車喻三藏教菩薩之人脩六度行但欲度人出於三界而不求自出如牛之荷負安耐一切普運故以牛車喻之經云如彼諸子為求牛車出於火宅是也(三藏者經藏律藏論藏也六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。

三乘(出法華經)

乘即運載之義謂聲聞緣覺菩薩各以其法為乘運出三界生死同到真空涅槃故名三乘(三界者欲界色界無色界也梵語涅槃華言滅度)。

【一聲聞乘】聞佛聲教而得悟道故曰聲聞謂其知苦斷集慕滅脩道故以此四諦為乘也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。

【二緣覺乘】因觀十二因緣覺真諦理故名緣覺謂始觀無明緣乃至老死此是觀十二因緣生次觀無明滅乃至老死滅此是觀十二因緣滅觀此因緣生滅即悟非生非滅故以此十二因緣為乘也(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。

【三菩薩乘】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂覺悟一切有情眾生也菩薩行六度行廣化眾生出離生死故以此六度為乘也(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。

三乘觀門(出天台四教儀集註)

【一聲聞觀苦諦為初門】苦即三界生死之苦也諦即審實之義謂聲聞之人知果苦而斷集因慕寂滅而脩道品諦觀五陰生死之身即是眾苦之本故觀苦諦為初門也(三界者欲界色界無色界也五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

【二緣覺觀集諦為初門】集即招集之義謂煩惱之因則能招集生死之苦果也緣覺之人於十二因緣中初從無明觀起無明即屬集諦了知苦果實由集因而生故觀集諦為初門也(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。
【三菩薩觀道諦為初門】道即六度也謂菩薩為利他故廣行六度化諸眾生故觀道諦為初門也(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
三田喻三種人(出涅槃經)
【第一田】此田渠流便利無諸沙滷瓦石棘刺種一得百以喻菩薩根性猛利智慧明了利益眾生無有窮盡是為第一田也(滷音魯)。
【第二田】此田雖無沙滷瓦石棘刺渠流險難[(冰-水+丨)*攵]實減半以喻聲聞根性稍鈍雖得無漏但能自利不能度生是為第二田也(無漏者謂聲聞惑業已斷無復漏落三界生死也)。
【第三田】此田渠流險難多諸沙滷瓦石棘刺種一得一為藁草故以喻闡提之人而於佛法無有信心今為說法以種後世善種是為第三田也(闡提梵語一闡提華言信不具外道名)。
三草(出法華經文句)
草即藥草也藥草既蒙雲雨之潤即得生長而能徧治眾病變體成僊以譬五乘之人既聞法華之教無漏智慧即得增長能破無明之惑開佛知見故以三草喻之(五乘者菩薩乘緣覺乘聲聞乘天乘人乘也)。
【一小草】小草喻人天也謂法雨既沾無不蒙潤而人天之機根力微弱未獲大益故名小草。
【二中草】中草喻聲聞緣覺也謂此二乘之人蒙佛法雨而於大乘根漸增長故名中草。
【三上草】上草喻三藏教菩薩也謂此菩薩蒙佛法雨敷榮欝茂自他饒益故名上草(三藏者經藏律藏論藏也)。
三獸渡河(出天台四教儀并法華玄義)
三獸喻三乘河喻空理也謂通教聲聞緣覺菩薩同出三界取證空理而根器有大小行位有淺深如象馬兔同共渡河而有淺深之異故以此為喻也(三界者欲界色界無色界也)。
【一象渡河】象渡河者喻菩薩之人也謂菩薩修六度萬行利益眾生斷見思惑及斷習氣盡而證菩提如象之渡河得其底也(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也見思惑者意根對法塵而起分別曰見惑眼耳鼻舌身貪愛色聲香味觸五塵曰思惑習氣者即見思餘習之氣分也)。
【二馬渡河】馬渡河者喻緣覺之人也謂緣覺修十二因緣斷見思惑雖兼斷習氣未能淨盡而證真空之理如馬之渡河雖不至底而漸深也(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。

【三兔渡河】兔渡河者喻聲聞之人也謂聲聞修四諦法斷見思惑未能除斷習氣而但證真空之理如兔之渡河但浮水而過不能深也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。

比丘三義(出大智度論)

梵語比丘華言除饉謂眾生薄福在因無法自資得報多所饉乏出家之人戒行是良福田能除因果之饉乏故名除饉或言不翻者名含三義故也。

【一破惡】謂比丘脩戒定慧之道能破見思之惡故名破惡。

【二怖魔】魔梵語具云魔羅華言殺者謂能殺人智慧之命也比丘既能脩道魔即念言此人非但出我界域亦能轉化於他空我眷屬魔即驚怖故名怖魔。

【三乞士】乞是乞求之名士是清雅之稱謂比丘常當乞食清淨自活上乞法以資慧命下乞食以資色身故名乞士。

三種僧(出涅槃經)

【一犯戒雜僧】謂其雖持禁戒為利養故與破戒者常共親附同其事業雜處熏習因而破戒是名犯戒雜僧也。

【二愚癡僧】謂其雖在阿蘭若處諸根不利闇鈍愚魯經律論藏不能解了於諸弟子或犯禁戒亦不能教令清淨懺悔是名愚癡僧也(梵語阿蘭若華言閑靜處)。

【三清淨僧】謂其本性清淨嚴持戒律通達經論不為諸魔之所沮壞又能調伏利益一切眾生為說諸戒輕重之相堪稱護法無上大師是名清淨僧也。

律師三法(出善見毘婆沙律)

【一本毘尼藏】梵語毘尼華言律謂為律師者必本於毘尼諷誦通利句義辯習文字不忘然後可以教授於人所以稱之為律師也。

【二堅持不雜】謂為律師者當懷慚愧堅持法律於毘尼藏所有文句義疏悉皆通達若有問者次第而答不相雜亂所以稱之為律師也。

【三受持不忘】謂為律師者於毘尼藏所傳之師須知次第授受之由若佛授優波離如是次第師師相承乃至于今於其名字或能盡知或知一二而不忘失所以稱之為律師也。

三圓滿(出瑜伽師地論)

【一行圓滿】謂聽聞正法依法脩行復能為他如法演說自利利他之行既周是名行圓滿。

【二果圓滿】謂由脩行即能證涅槃之果圓成滿足是名果圓滿(梵語涅槃華言滅度)。

【三師圓滿】師即受道之師謂能以佛所說之法教誡於我復能引發一切梵行令得滿足是名師圓滿。

沙彌三名(出翻譯名義)

梵語沙彌華言息慈謂息惡行慈也。

【一驅烏沙彌】謂能驅遣烏鳥即七歲至十二三歲者皆名驅烏沙彌也。
【二應法沙彌】謂能與出家之法相應即十四歲至十九歲者皆名應法沙彌也。
【三名字沙彌】謂能止息諸惡勤行眾慈可以沙彌名字稱之即二十歲已上皆號名字沙彌也。
三種天(出涅槃經)
天者天然自然樂勝身勝故名天也。
【一世間天】謂十方世界一切剎土中諸大國王雖處人中享受天福是名世間天。
【二生天】即一切眾生脩行十善之因受其果報或生欲界天或生色界天或生無色界天是名生天(十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不瞋恚不邪見也)。
【三淨天】謂聲聞緣覺斷諸煩惱獲大神通變化自在清淨無染是名淨天。
三界(出華嚴孔目)
界限也別也謂三界分限各別不同故名界也。
【一欲界】欲有四種一者情欲二者色欲三者食欲四者[婬-壬+(工/山)]欲下極阿鼻地獄上至第六他化天男女相叅多諸染欲故名欲界(梵語阿鼻華言無間第六他化天者李他所化而自娛樂也)。
【二色界】色即色質謂雖離欲界穢惡之色而有清淨之色始從初禪梵天終至阿迦膩吒天九有一十八天並無女形亦無欲染皆是化生尚有色質故名色界(梵語阿迦膩吒華言質礙究竟一十八天者梵眾天梵輔天大梵天少光天無量光天光音天少淨天無量淨天遍淨天無雲天福生天廣果天無想天無煩天無熱天善見天善現天色究竟天也)。
【三無色界】謂但有心識而無色質也始從空處終至非非想處九有四天但有受想行識四心而無形質故名無色界(四天者空無邊處天識無邊處天無所有處天非非想處天也)。
三事人勝諸天(出大毘婆沙論)
【一能勇猛】諸天耽嗜欲樂不復進脩是人雖不見當來之果而能脩諸苦行精進不怠是能勇猛勝諸天也。
【二能憶念】諸天耽嗜欲樂慧性常惛是人能憶記曩久所作所說之事了了分明悉無忘失是能憶念勝諸天也。
【三能梵行】梵者淨也諸天耽嗜欲樂不復增脩善業是人初發心時能種殊勝善根愛持戒律行業清淨是能梵行勝諸天也。
閻浮提人三事勝餘三洲(出長阿含經)
梵語閻浮提華言勝金洲即南洲也三洲者東弗于逮西瞿耶尼北欝單越也。

【一勇猛強記】謂南洲之人於諸教法勇猛讀誦記聞廣博心不忘失其餘三洲則不能然所以勝之也。
【二勤脩梵行】謂南洲之人於諸清淨梵行則能精勤脩習期證道果其餘三洲則不能然所以勝之也。
【三佛出其土】謂南洲乃是中華文物之國一切聖賢皆出其中其人易化所以佛之降生必在斯土其餘三洲則不示現所以勝之也。
三種人難報(出大毘婆沙論)
佛告比丘我見有三種人於諸有情多獲利益其恩難報假使盡其形壽以諸上妙衣服飲食臥具醫藥及餘資緣而供養之亦不能報也。
【一令出家者】謂若有人為其說法勸令出家剃髮染衣以正信心受持淨戒乃至成就菩提其恩難報也(梵語菩提華言道)。
【二令知集法者】集積集也謂眾生積集煩惱惑業而能招集生死之苦若有人為其說法令知煩惱過患而滅除之其恩難報也。
【三令得漏盡者】漏盡者謂眾生生死惑俱盡不漏落三界也若有人為其說法令如法而脩破除煩惱出離生死之苦而證真空涅槃之樂其恩難報也(三界者欲界色界無色界也梵語涅槃華言滅度)。
太子三妃(出瑞應經并翻譯名義)
經云太子十七歲納妃三人以示同人法也。
【一瞿夷】梵語瞿夷華言明女其父名水光長者女生之時日將沒餘光照其室內皆明因名瞿夷是太子第一妃也。
【二耶輸】梵語耶輸陀羅華言華色是太子第二妃即羅睺羅之母也其父名移施長者。
【三鹿野】鹿野是太子第三妃也其父名釋長者。
三善知識(出止觀)
知識者聞名欽德曰知覩形敬奉曰識謂脩行之人欲得道果必由教授知識以訓誨同行知識以策勵外護知識以資養三者俱備方能成就其功故名善知識也。
【一教授善知識】宣傳聖言曰教訓誨於我曰授即教授之師也謂其人內外方便通塞障礙皆能决了是名教授善知識。
【二同行善知識】謂脩觀行之人互相策發切磋琢磨併心齊志如乘一船故名同行善知識。
【三外護善知識】護猶助也謂管理所須以助脩行之人或有外侮而能扞禦故名外護善知識。
三想(出大智度論)
般若經云菩薩欲成無上道者應起平等心於一切眾生無有偏黨皆生親愛之想莫生怨心莫生中人心故名三想。
【一怨想】怨想者謂有人加害於我及害我父母兄弟者亦生親愛之想也。

【二親想】親想者謂於父母兄弟及親戚朋友等皆生親愛之想也。
【三中人想】中人想者謂於非怨非親之人亦生親愛之想也。
三思(出華嚴經疏鈔)
【一審慮思】謂在意地籌量之時未有所作故名審慮思。
【二決定思】謂意既決定乃有所作是名決定思。
【三動發思】唯識論云動身之思名為身業發語之思名為語業是名動發思。
三惡覺(出涅槃經并宗鏡錄)
覺即知覺宗鏡錄云若唯脩事定但習世禪雖曰脩行猶生惡覺以不制意地未斷其原故也經云一切凡夫雖善護身心猶故生於三種惡覺是也。
【一欲覺】欲即貪欲謂一切凡夫之人不了五塵過患而於順情之境種種貪求而生惡覺故名惡覺(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【二恚覺】恚即瞋恚謂一切凡夫之人不了五塵過患而於違情之境種種忿怒而生惡覺故名恚覺。
【三害覺】謂一切凡夫之人常為覺觀怨賊之所侵害故名害覺(覺觀者初心在緣曰覺細心分別曰觀)。
三報(出慈悲水懺)
【一現報】謂現世作惡現身即受惡報現世作善現身即受善報是名現報。
【二生報】謂此生作善作惡來生方受善惡之報是名生報。
【三後報】謂或過去無量生中作善作惡於此生中受善惡報或在未來無量生中受善惡報是名後報。
三業(出析玄記)
【一身業】身業即身所作之業也有善有惡若殺生偷盜邪[婬-壬+(工/山)]即身惡業也若不殺不盜不[婬-壬+(工/山)]即身善業也。
【二語業】語業即口所說之業也有善有惡若妄言綺語惡口兩舌即口惡業也若不妄言不綺語不惡口不兩舌即口善業也。
【三意業】意業即意所起之業也有善有惡若貪欲瞋恚邪見即意惡業也若不貪欲不瞋恚不邪見即意善業也。
三福田(出優婆塞戒經)
【一報恩福田】謂父母有養育之恩師長有教誨之恩若能供養恭敬非惟報荅其恩抑且自然獲福是名報恩福田。
【二功德福田】謂若能恭敬供養佛法僧三寶非但成就無量功德亦能獲其福報是名功德福田(佛梵語具云佛陀華言覺僧梵語具云僧伽華言和合眾)。
【三貧窮福田】謂若見貧窮困苦之人當起慈愍之心以己所有資生等物而給施之唯不求報則亦自然獲福是名貧窮福田。
三福業(出增一阿含經)

【一施福業】謂脩行之人若遇貧窮之人來乞之時須食與食須衣與衣乃至臥具醫藥隨其所欲皆悉施與因施獲福是名施福業也。
【二平等福業】謂脩行之人能持戒律不興惡想梵行端嚴語言和雅以平等慈悲愛護之心普覆一切有情令得安隱以平等心而能致福是為平等福業也。
【三思惟福業】謂脩行之人以智慧觀察了知出要之法遠離世間塵緣雜想以此思惟為出世善福之業是為思惟福業也。
三供養(出普賢行願疏)
【一財供養】謂以世間財寶及以種種上妙諸供養具供養諸佛菩薩是名財供養(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二法供養】謂依佛所說教法脩於眾行乃至不捨菩薩業不離菩提心即是以法供養諸佛菩薩是名法供養(梵語菩提華言道)。
【三觀行供養】謂依中道妙觀觀於一念之心具足三諦之法無有缺減眾生諸佛平等不二煩惱生死即是菩提涅槃念念觀之即是供養諸佛菩薩是名觀行供養(三諦者真諦俗諦中諦也梵語涅槃華言滅度)。
三應供養(出增一阿含經)
【一如來所應供養】謂如來出現世間咸欲利樂一切眾生於天人中最尊最上不降伏者而降伏之無救護者而救護之未度脫者而度脫之以是因緣一切天人所應供養。
【二阿羅漢所應供養】梵語阿羅漢華言無學謂阿羅漢生死已盡梵行已立而能利益有情為世福田以是因緣一切天人所應供養。
【三轉輪聖王所應供養】謂轉輪聖王恒以正法治化天下使其人民不殺不盜無諸過惡咸被恩澤各得其所以是因緣一切人民所應供養。
三種示導(出般若經)
示開示導引導謂菩薩見諸有情在地獄中受極苦報即起拯濟之心故有三種示導也。
【一神變示導】謂菩薩憫彼地獄之苦故現神通之力滅除湯火刀劒種種苦具令諸眾生藉此神變從地獄出生天人中受諸快樂是為神變示導。
【二記說示導】謂菩薩憫彼地獄之苦而於眾生念念記憶不忘而為說法令諸眾生藉此法力從地獄出生天人中受諸快樂是為記說示導。
【三教誡示導】謂菩薩憫彼地獄之苦即發慈悲喜捨之心說法教誡令諸眾生藉此教誡從地獄出生天人中受諸快樂是為教誡示導。
三善道(出四教儀集註)
三善道者謂天人阿脩羅同脩十善雖有上中下品不同皆名善道(十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不瞋恚不邪見也)。

【一天道】天即欲界色界無色界諸天也謂因脩上品十善復脩世間禪定得生其中是名天道。
【二人道】人即四天下之人也謂因行五常五戒復行中品十善得生其中是名人道(四天下即四洲東弗于逮西瞿耶尼南閻浮提北欝單越也五常者仁義禮智信也五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也)。
【三脩羅道】梵語阿脩羅華言無酒謂雖行五常欲勝他故行下品十善得生其中是名脩羅道亦名仙道者以脩羅一道攝屬不定故也(無酒者脩羅於四天下採花醞於大海魚龍業力其味不變逐瞋妬誓斷酒故名無酒)。
三種禮佛(出華嚴孔目)
【一成過禮】謂禮佛時身儀不正而與輕慢相應如碓上下佛制有過是名成過禮。
【二相似禮】謂禮佛時身儀雖似端正而與雜覺相應是名相似禮(雜覺者謂覺知之念紛雜也)。
【三順實禮】謂禮佛時身儀端正而與正智相應隨順實理是名順實禮。
三發心(出翻譯名義)
【一發大智心】謂欲以智慧廣求一切佛法普令眾生皆得法喜之樂是名發大智心。
【二發大悲心】謂慈愍一切眾生輪廻生死受種種苦誓願救拔是名發大悲心。
【三發大願心】謂依四弘誓願發無上菩提之心上求佛道下化眾生是名發大願心(四弘誓願者眾生無邊誓願度煩惱無數誓願斷法門無量誓願學佛道無上誓願成也)。
三發心(出釋氏要覽)
【一厭離有為發心】謂人厭惡世間皆是有為之法能招三界生死之苦欲求出離此苦即發心修行是名厭離有為發心(三界者欲界色界無色界也)。
【二所求菩提發心】梵語菩提華言道謂人宿有善本具正知見欲求出世妙道即發心修行是名所求菩提發心。
【三饒益有情發心】有情即眾生也謂人起慈悲心愍念世間一切眾生受生死苦即發心修行願拔其苦而與其樂是名饒益有情發心。
三種發心(出觀經妙宗鈔)
觀無量壽佛經云若有眾生願生彼國者發三種心當得往生(彼國者西方安養淨土也)。
【一至誠心】至專也誠實也謂此土眾生欲生彼國當發專至誠實之心正念真如求願往生故名至誠心。
【二深心】謂求無上佛果必須心契深理欲契深理必須厚種善根涅槃經云深根難拔故名深心。

【三發願心】謂以真如實心趣果善心二心功德善巧回向發願求生淨土速證法忍廣拔一切眾生苦惱故名發願心(法忍者謂於無生之法忍可忍證也)。
三種發菩提心(出起信論)
【一直心】直心者謂心常質直離諸諂曲能行正法即是菩提之心也。
【二深心】深心者謂於正法心生深信而復樂修一切善行即是菩提之心也。
【三大悲心】大悲心者悲即悲愍謂悲愍一切受苦眾生常思救護令其安樂即是菩提之心也。
三行(亦名三種業出大智度論并王法念處經)
【一福行】謂因修十善等福報生欲界天上人間及阿脩羅享福受樂故名福行(十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不瞋恚不邪見也梵語阿脩羅華言無酒)。
【二罪行】謂因作五逆十惡等罪報生畜生餓鬼地獄責罪受苦故名罪行(五逆者一殺父母二破和合僧三出佛身血四殺阿羅漢五破羯磨僧也十惡者殺生偷盜邪[婬-壬+(工/山)]妄語兩舌惡口綺語貪欲瞋恚邪見也)。
【三無動行】(亦名不動行)謂修世間禪定報生色界無色界天心定不動故名無動行。
三種清淨(出大智度論)
【一心清淨】謂修學般若菩薩不生染心不生瞋心不生憍慢心不生慳貪心不生邪見心是名心清淨(梵語般若華言智慧)。
【二身清淨】謂修學般若菩薩心既清淨再後受身常得化生是名身清淨。
【三相清淨】謂修學般若菩薩身心既皆清淨則能具足相好莊嚴其身故名相清淨。
清淨三業(出瓔珞經)
經云須菩提問佛色身佛即以三業荅之(梵語須菩提華言空生又云善現)。
【一身行清淨】謂身之所行能防塞一切諸不善法是名身業清淨。
【二口言真誠】謂凡所言說真實誠信永離邪妄之語是名口業清淨。
【三意專向道】謂[(冰-水+丨)*攵]攝身心常居寂定無他異念是名意業清淨。
三業供養(出法華文句)
【一身業供養】謂身至誠敬禮諸佛菩薩是名身業供養。
【二口業供養】謂口發言稱美諸佛菩薩功德是名口業供養。
【三意業供養】謂端心正意想念諸佛菩薩相好是名意業供養。
三種淨業(出觀無量壽佛經)
經云韋提希白佛言世尊我今樂生極樂世界阿彌陀佛所唯願世尊教我思惟教我正受於是世尊以三種淨業荅思惟十六妙觀酬正受故知三種

淨業乃徃生淨土之因也(梵語韋提希華言思惟梵語阿彌陀華言無量壽十六妙觀者日觀水觀地觀寶樹觀八功德水觀總觀華座觀像觀佛真身觀觀世音觀大勢至觀普想觀雜想觀上輩生觀中輩生觀下輩生觀也)。

【一孝養父母等業】謂若能孝養父母奉事師長則必慈心不殺修行十善是為淨業(十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不瞋恚不邪見也)。

【二受持三歸等業】謂歸依佛法僧寶具足眾戒不犯威儀是為淨業。

【三發菩提心等業】梵語菩提華言道謂發無上道心深信因果誦大乘經勸進行者是為淨業。

三施(出大智度論)

【一財施】謂自能持戒不侵他人財物又能以己之財施與他人是名財施。

【二法施】謂既能財施又能為人說法令其開悟是名法施。

【三無畏施】謂一切眾生皆畏於死持戒之人無殺害心令其無畏是名無畏施。

三施(出華嚴經疏鈔)

【一飲食施】飲食施者謂見饑餓之人即以飲食濟其困餒是名下品施。

【二珍寶施】珍寶施者謂見貧窮之人即以財物珍寶周其窘乏是名中品施。

【三身命施】身命施者謂但割身肉濟於饑餓眾生名身施若全身施與命亦隨盡名命施此施極難極重是名上品施。

三輪體空(出能斷金剛經論)

謂布施時體達施者受者及所施物皆悉本空則能摧碾執著之相是名三輪體空。

【一施空】謂能施之人體達我身本空豈有我為能施既知無我則無希望福報之心是名施空。

【二受空】謂既體達本無我為能施之人亦無他人為受施之者是名受空。

【三施物空】物即資財珍寶等物謂能體達一切皆空豈有此物而為所施是名施物空。

三種不堅易三堅法(出本事經)

【一不堅財貿易堅財】謂一切世間財物體非堅固聚散無常不可久保若能持用布施清淨梵行之人遠求無上安樂涅槃或求當來天人樂果即為堅固之財永久不壞矣是為不堅之財貿易堅財也(梵語涅槃華言滅度)。

【二不堅身貿易堅身】謂父母所生之身乃四大假合而成危脆不實體非堅固生滅無常不可久存若能持守五戒清淨無染修習菩提無上之道

以證金剛不壞之身是為以不堅身貿易堅身也(四大者地大水大火大風大也五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也)。
【三不堅命貿易堅命】謂人所受之命雖壽夭不齊皆同夢幻體非堅固倏忽無常不可久保若能了知四諦修習正法超越生死以續常住不朽慧命是為以不堅命貿易堅命也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
三聚戒(出菩薩戒義疏并法苑珠林)
聚集也戒禁戒也此三種戒能攝一切大乘諸戒故名三聚戒法苑珠林云大聖度人功唯在戒莊嚴論云初律儀戒以禁防為體後攝善攝生二戒以勤勇為體。
【一攝律儀戒】攝律儀戒者謂一切律儀無不聚攝也律即法律是禁止之義儀即儀式是軌範之義法苑珠林云攝律儀者要唯有四一者不得為利養故自讚毀他二者不得故慳不施前人(即外人也)三者不得瞋心打罵眾生四者不得謗大乘經典持此四法無惡不離故名攝律儀戒。
【二攝善法戒】攝善法戒者所行之行能攝一切善法也謂身口意所作善法及聞思修三慧布施等六度之法無不聚攝故名攝善法戒(三慧者一聞慧謂聞法而生智慧也二思慧謂思惟而生智慧也三修慧謂修習而生智慧也六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【三攝眾生戒】攝眾生戒者謂能攝受一切眾生也能攝之行即是慈悲喜捨慈名愛念能與眾生樂故悲名憐愍能拔眾生苦故喜名喜慶慶一切眾生離苦得樂故捨名無憎無愛常念眾生同得無憎無愛故以此等法攝諸眾生也。
三事戒(出大寶積經)
【一身淨戒】謂身受諸戒無有闕漏無有毀犯是名身淨戒。
【二言淨戒】謂一切所說語言無有諛諂虛誑不實是名言淨戒。
【三意淨戒】謂蠲除惡覺離諸貪欲是名意淨戒。
滅有三義(出華嚴經隨疏演義鈔)
華嚴疏云梵語毘尼或翻為滅滅有三義。
【一滅業非】謂戒能滅殺盜等罪業之過非故名滅業非。
【二滅煩惱】謂戒能滅貪瞋癡等煩惱故名滅煩惱。
【三得滅果】謂因戒故既滅業與煩惱即得無為寂滅之果故名得滅果。
三種忍行(出諸經要集)
【一身忍行】謂菩薩修行時捨身命財無有悋惜雖被割截身體而能忍受是名身忍行。
【二口忍行】謂菩薩修行時雖被人輕嫌打罵聞已能忍不起鬪諍是名口忍行。
【三意忍行】謂菩薩修行時雖被人毀訾罵辱瞋恚呵責聞已能忍不起忿恨之心是名意忍行。

三種精進(出菩薩善戒經)
【一莊嚴精進】莊即端莊嚴即嚴飾謂菩薩發心時精勤修習一切梵行莊嚴道果復為化諸眾生於三界中示現受生乃至為慈悲故入地獄中代其受苦心不休息是名莊嚴精進(三界者欲界色界無色界也)。
【二攝善法精進】謂菩薩既修六度梵行不為煩惱惡業邪見之所傾動攝持世間出世間一切善法心不放逸是名攝善法精進(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【三利益眾生精進】謂菩薩於一切時修習聖道利益一切眾生以種種法而化導之咸使斷滅惡因成就善果雖歷塵刼心不疲倦是名利益眾生精進。
三種勝勇猛(出大乘莊嚴經論)
【一願勝勇猛】願即誓願謂初修行之時須發四弘誓願發大勇猛成佛菩提廣化有情知勝功德是名願勝勇猛(四弘誓者眾生無邊誓願度煩惱無數誓願斷法門無量誓願學佛道無上誓願成也梵語菩提華言道)。
【二行勝勇猛】行即所修之行謂至心學道能行妙行發大勇猛決趣菩提是名行勝勇猛。
【三果勝勇猛】果即修因所感之果謂一心精進修諸妙行發大勇猛決求成佛於彼之時與一切佛平等無二是名果勝勇猛。
三種定業輪(出地藏十輪經)
定即禪定業即行業輪有運轉摧輾之義謂如來以禪定誦習之法輪摧輾一切煩惱惑業而成無上菩提亦令眾生如說修行而證道果故說此三種定業輪也(梵語菩提華言道)。
【一建立修定業輪】謂令眾生修行正觀觀察無明煩惱起滅之相及觀察世間如幻如化以安那般那數息之法修習靜慮則能摧破一切惑業心住正定是為建立修定業輪(梵語安那般那華言出息入息即數息觀也)。
【二建立習誦業輪】謂令眾生習誦大乘經教初中後夜精勤無怠心不散亂則能摧破一切惑業是為建立習誦業輪。
【三建立營福業輪】謂令眾生修行布施持戒造像建塔供佛法僧又營種種福報之事則能摧破一切惑業是為建立營福業輪。
三勝學(出瑜伽師地論)
【一增上戒學】謂具足受持大小乘戒制伏過非成就威儀於諸戒法而能增勝是名增上戒學。
【二增上心學】謂能捨欲界諸不善法得入初禪乃至入第四禪於諸定心而能增勝是名增上心學(初禪四禪即色界天也)。
【三增上慧學】謂於四聖諦等法如實能知是名增上慧學(四聖諦者苦聖諦集聖諦滅聖諦道聖諦也)。
三事無盡(出眾德三昧經)

【一布施無盡】謂菩薩好喜布施不恪財物乃至軀命悉能施與心不疲厭是名布施無盡。
【二持戒無盡】謂菩薩護持禁戒未曾違捨見犯戒者憐愍悲哀見奉戒者尊重愛敬復以戒法傳化他人心不疲厭是名持戒無盡。
【三博聞無盡】謂菩薩聞如是法即當奉行思欲化他必須博學一切經典與夫世間藝術無不諳練求聞稟聽心不疲厭是名博聞無盡。
大明三藏法數卷第七

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

三種證相不同(出法華懺儀)
謂修習法華三昧於三七日中一心精進有三種證相之不同者盖由所修之人根性之有異也(梵語三昧華言正定)。
【一下根證相】謂行人於三七日中獲得戒根清淨就中所證之相亦有三品不同若於三七日中或得靈異好夢或覺諸根明淨四大輕利道心勇發是下品戒根漸淨之相若於三七日內行道坐禪之中忽見光華淨色聞妙香氣及微妙音聲稱讚身心慶悅得法喜樂即是中品戒根淨相若於三七日中身心寂淨或自見其身著淨法服威儀齊整身相端嚴信心開發得法喜樂無所怖畏即是上品戒根淨相如是三品總為下根行者所證之相。
【二中根證相】謂行人於禪定中所得定根清淨就中所證之相亦有三品不同若於坐禪之時忽覺身心澄靜發諸禪定覺觀分明喜樂一心即是下品定根淨相若於坐禪之時身心安定覺出入息長短細微徧身毛孔出入無閡或見自身諸不淨相因發禪定身心快樂寂然正受即是中品定根淨相若於坐禪之時身心安靜緣自五陰之身即覺無常苦空夢幻不實乃至一切諸法不生不滅猶如虛空寂靜無為厭離世間憫念一切即是上品定根淨相此之三品總為中根行者所證之相(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【三上根證相】謂行人於禪定中所得慧根清淨就中所證之相亦有三品不同若於行坐念誦之中忽覺身心如雲如影夢幻不實因此覺心則發智慧了達諸法無有障礙於諸經論隨義解釋難問無滯即是下品慧根法相若於行坐誦念之中身心寂然猶如虛空於正慧中面見普賢菩薩與無量菩薩而自圍繞悉現其前於是得大智慧於諸佛所說之法通達妙義說無窮盡即是中品慧根證相若於行坐念誦之中身心豁然清淨入深禪定覺慧分明得無礙總持獲六根清淨開佛知見入菩薩位即是上品慧根證相此之三品總為上根行者所證之相(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也)。
三善根(出阿毘達磨集異門足論)
【一無貪善根】謂於五欲之境不貪不著不愛不樂此無貪法是善種性能為無量善法根本故名無貪善根(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【二無瞋善根】謂於一切眾生不生憤恚不欲損惱此無瞋法是善種性能為無量善法根本故名無瞋善根。
【三無癡善根】謂於一切諸法皆悉明了通達知是善法知是不善法知有罪法知無罪法知應修法知不應修法此無癡法是善種性能為無量善

法根本故名無癡善根。
三樂(出大寶積經)
【一天樂】天然自然樂勝身勝故名為天修十善者生於天上而受種種殊勝妙樂故名天樂(十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不瞋恚不邪見也)。
【二禪樂】謂修行之人入諸禪定一心清淨萬慮俱寂自然得其禪悅之趣故名禪樂。
【三涅槃樂】梵語涅槃華言滅度謂修行之人既離生死之苦得證涅槃之樂經云生滅滅已寂滅為樂故名涅槃樂。
三因三果(出瑜伽師地論)
【一異熟因異熟果】異世成熟名為異熟謂今世所作善惡之因即感未來世善惡之果是名異熟因異熟果。
【二福因福果】謂布施持戒忍辱為因即感現在及未來世所作種種事業皆得自在之果是名福因福果。
【三智因智果】謂修習一切智慧為因能證三乘及以佛果是名智因智果(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
龍有三患(出諸經要集)
龍鱗蟲之長能幽能明能大能小然有此三患也。
【一熱風熱沙患】謂一切龍若遇熱風熱沙著身之時燒皮燒肉及以骨髓即受痛苦故名為患。
【二惡風暴起患】謂一切龍若遇惡風卒暴起時其飾身寶衣自然而失龍身乃現即受苦惱故名為患。
【三畏金翅鳥患】謂一切龍正娛樂時被金翅鳥入于龍宮搏取始生龍子食之即生怖畏故名為患。
三種鬼神魔(出釋禪波羅蜜次第法門)
魔能現諸形相惱亂行人障蔽禪定若不預善分別以祛除之則使魔得其便身心恐怖有妨精進而道業難成矣。
【一精媚鬼】謂精神變化厭媚於人也以十二時中子鼠丑牛等獸為種種相或作少男少女老宿之形及可畏等相惱亂行人各當其時而來善須別識若多卯時來者必是狐兔之類說其名字精媚即散餘時之來者類此可知呼其名字即皆消滅也。
【二[怡-台+阜]惕鬼】([怡-台+阜]音堆惕音剔)[怡-台+阜]惕即惡夜叉摩訶止觀云拘那含佛末法之時有一比丘好惱亂眾僧為眾擯出遂發惡誓常惱坐禪之人此鬼亦作種種形貌或如蟲類緣人頭面鑽刺之狀或抱持於人或復言說音聲喧鬧及作諸獸之形來惱行人應即覺知一心閉目陰而罵之作是言我今識汝汝是閻浮提中食火嗅香等輩喜破戒種我今持戒終不畏汝兼誦戒律以除却之彼鬼即便退去無能惱亂也(梵語夜叉

華言勇健梵語摩訶華言大拘那含梵語具云拘那含牟尼華言金寂梵語比丘華言乞士梵語闍浮提華言勝金洲)。

【三魔羅鬼】梵語魔羅華言能奪命以能奪行人智慧之命故也此鬼多作三種形相惱亂行人一違情之事即醜色惡聲等可畏五塵及虎狼師子羅剎等類二順情之事即美色嬌聲可愛五塵及父母等形相之類三非違非順之事即尋常所見五塵等類以上三事或令怖畏或令愛著皆能動亂行人之心而使禪定不得發也(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

餓鬼三障(出瑜伽師地論)

【一外障】謂此餓鬼常受饑渴皮肉血脉皆悉枯槁頭髮鬈亂其面黯黑唇口乾焦常以其舌自舐口面憧惶馳走處處求食所到泉池便見其水變成膿血自不欲飲如是等鬼由外障礙飲食是名外障。

【二內障】謂此餓鬼咽或如針口或如炬其腹寬大由此因緣縱得飲食不能噉飲如是等鬼由內障礙飲食是名內障。

【三無障】謂有餓鬼名猛焰鬘雖於飲食無有障礙然隨所飲噉之物皆被燒然變成火炭由此因緣饑渴大苦是名無障。

三惡道(出天台四教儀集註)

道即能通之義謂一切眾生造作惡業而生其處故名惡道也。

【一地獄道】謂此處在地之下鐵圍山間有八寒八熱等獄即造作極重惡業眾生墮於此道故名地獄道(八寒者頞浮陀獄泥賴浮陀獄阿吒吒獄阿波波獄咽喉獄鬱波羅獄波頭摩獄芬陀利獄也八熱者想獄黑繩獄堆壓獄叫喚獄大叫喚獄燒炙獄火燒炙獄無間獄也)。

【二餓鬼道】餓鬼道有三種一謂罪業極重者積刼不聞漿水之名其次者但伺求人間蕩滌膿血糞穢又其次者時或一飽即造作惡業眾生由慳貪故生於此道故名餓鬼道。

【三畜生道】謂披毛戴角鱗甲羽毛四足多足有足無足水陸空行等即造作惡業眾生由愚癡故生於此道故名畜生道。

三途對三毒(出慈悲水懺)

【一火途對瞋忿】火途即地獄道也謂其處受苦眾生常為鑊湯爐炭等熱苦所逼故四解脫經稱為火途盖由眾生無慈悲心常懷瞋忿致感斯報故云火途對瞋忿。

【二刀途對慳貪】刀途即餓鬼道也謂其處受苦眾生常受刀杖驅逼等苦故四解脫經稱為刀途盖由眾生無惠施心常懷慳貪致感斯報故云刀途對慳貪。

【三血途對愚癡】血途即畜生道也謂其處受苦眾生強者伏弱互相吞噉飲血食肉故四解脫經稱為血途盖因眾生無智慧心愚癡不了致感斯報故云血途對愚癡。

三種惡(出成實論)

【一惡】惡即背理之謂若殺盜等皆違理造作是名為惡。

【二大惡】謂自殺亦教人殺自慳亦教人慳等是名大惡。
【三惡中惡】謂自悋法亦教人悋法由一人悋法則令多人墮於惡道亦是斷滅佛法是名惡中惡。
三無明(出佛說决定義經)
【一癡無明】謂人愚癡暗鈍無所明了而於正法不能生信唯逐邪師邪教妄執倒見是名癡無明。
【二迷無明】謂人昏迷不了惑於五塵等境不能觀察其患及起貪染之心是名迷無明(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【三顛無明】謂人無所明了而於正法起邪倒見如常計無常樂計非樂等是名顛無明。
三隨煩惱(出華嚴經隨疏演義鈔)
謂昏煩惱亂之法長時隨逐不捨故名隨煩惱。
【一小隨煩惱】謂忿恨覆惱嫉慳誑諂憍害十種各別而起行位局故是名小隨煩惱。
【二中隨煩惱】謂無慚無愧二種俱生非各別起行通前之忿恨覆惱等唯遍在不善法中是名中隨煩惱。
【三大隨煩惱】謂掉舉昏沉不信懈怠放逸散亂不正失念八種得俱生故不可名小染皆遍故不得名中二義既殊故名大隨煩惱。
三顛倒(出宗鏡錄)
【一心顛倒】心即根塵相對所起一念之心謂心為群妄之原起惑之始因迷自性清淨之心種種分別起諸顛倒是名心顛倒(根者眼耳鼻舌身意六根也塵者色聲香味觸法六塵也)。
【二見顛倒】謂眼是諸見之本由不了外塵之境皆悉虛幻是以妄生執取起諸顛倒是名見顛倒。
【三想顛倒】謂想取六塵之想也由不了六塵過患傷失善根是以妄生緣想起諸顛倒是名想顛倒(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
三毒(出法界次第)
毒者毒害也謂貪瞋癡皆能破壞出世善心故名毒也。
【一貪毒】引取之心名之為貪若以迷心對一切順情之境引取無厭是名貪毒。
【二瞋毒】忿怒之心名之為瞋若以迷心對一切違情之境便起忿怒是名瞋毒。
【三癡毒】迷惑之心名之為癡若於一切事理之法無所明了顛倒妄取起諸邪行是名癡毒。
三縛(出華嚴孔目)
【一貪縛】引取之心名為貪謂眾生於五塵可意之境貪染生著起諸惑業因被纏繫不得解脫故名貪縛(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

【二瞋縛】忿怒之心名為瞋謂眾生於五塵違意之境忿怒生瞋起諸惑業因被纏縛不得解脫故名瞋縛。
【三癡縛】迷惑之心名為癡謂眾生於一切事理之法無所明了妄生邪見起諸邪行纏綿不息故名癡縛。
三病用三藥(出涅槃經)
【一貪病】謂貪愛之心對一切順情之境著欲無厭是為貪病其病當以不淨之觀為藥而對治之令其觀於自他之身一一不淨何所可貪此觀若成比病即去而心寂靜矣。
【二瞋病】謂瞋恚之心對一切違情之境熱惱於懷是為瞋病其病當以慈心之觀為藥而對治之令其觀於一切眾生皆吾眷屬應與其樂何所可瞋此觀若成此病即去而心清凉矣。
【三癡病】謂迷惑之心於一切事理無所明了顛倒妄想是為癡病其病當以因緣之觀為藥而對治之令其知生死輪轉因果相續循環無際何得而離此觀若成此病即去而心明了矣(因緣觀即觀十二因緣也十二因緣者一無明二行三識四名色五六十六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。
三病難治(出涅槃經)
【一謗大乘】大乘即佛菩薩所乘之法也謂人宿無善種不能信受如來之法而於大乘經典妄生謗毀既無修種之因當受地獄之報如世重病實難治也。
【二五逆罪】逆者違悖天理也謂人於父母當竭力孝養以報其恩而反害之僧之和合得成道業利益於人反離間而破散之諸佛如來出現世間度脫一切眾生所當恭敬供養反傷支體以出其血羅漢出離三界為世福田利益有情所當禮敬反加殺害僧之羯磨為人受戒不一心奉事稟受戒法反以惡言破毀其行如是等人永墮地獄無有出期如世極重之病尤難治也(羅漢梵語具云阿羅漢華言無學三界者欲界色界無色界也梵語羯磨華言作法)。
【三一闡提】梵語一闡提華言信不具謂此人撥無因果顛倒邪見不信現在未來業報不親善友知識不聽諸佛所說教誡當墮地獄無有出期如世重病終難治也。
三惑(出天台四教儀集註)
惑者昏迷不了之義也。
【一見思惑】見即分別也謂意根對法塵起諸邪見故名見惑思即思惟又貪染也謂眼耳鼻舌身五根貪愛色聲香味觸五塵而起想著故名思惑此見思惑亦名通惑者通聲聞緣覺菩薩三乘共斷故也。
【二塵沙惑】塵沙惑者謂眾生見思數多如塵若沙乃他人分上之惑菩薩之行專為化他若令眾生能斷見思之惑於菩薩即是斷塵沙惑而亦名別惑者別在菩薩所斷故也。

【三無明惑】無明惑者謂於一切法無所明了故曰無明此惑乃業識之種子煩惱之根本聲聞緣覺不知其名別在大乘菩薩定慧雙修萬行具足方斷此惑故亦名別惑也。

三障(出涅槃經)

障蔽也謂諸眾生被惑業障蔽不見正道善心不能生起故名障也。

【一煩惱障】昏煩之法惱亂心神故名煩惱謂貪欲瞋恚愚癡等惑障蔽正道是名煩惱障。

【二業障】業即業行謂由貪瞋癡起身口意造作五無間重惡之業障蔽正道是名業障(五無間業者一殺父二殺母三殺阿羅漢四出佛身血五破和合僧也)。

【三報障】報即果報謂由煩惱惑業生在地獄畜生餓鬼諸趣因此障蔽正道是名報障。

三障(出華嚴孔目)

【一皮煩惱障】即三界中思惑也謂貪瞋癡等煩惱對外六塵而起如皮在身外故名皮煩惱障(三界者欲界色界無色界也思惑者於一切法起貪愛心也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。

【二肉煩惱障】即三界中見惑也謂斷常有無等見皆屬內心分別如肉在皮內故名肉煩惱障。

【三心煩惱障】即根本無明惑也謂此無明之惑由迷真心逐妄而起故名心煩惱障。

三種重障(出瑜伽大教王經)

【一我慢重障】謂我慢貢高邪見執蔽不能下心敬事諸佛菩薩師僧父母及不能學如來正法是名我慢重障。

【二嫉妒重障】謂妒賢嫉能自是他非見人修善反生嫉妒而不能學如來正法是名嫉妒重障。

【三貪欲重障】謂多貪多欲懶惰睡眠掉舉破戒下不能學如來正法是名貪欲重障(掉者動也)。

三雜染(出顯揚聖教論)

【一煩惱雜染】煩惱雜染者亦名惑雜染謂身見邊見及貪瞋癡等一切煩惱皆能染汙心識令不清淨故也。

【二業雜染】業雜染者謂或因煩惱所生或因煩惱緣助動身口意造作惡業皆能染汙真性令不清淨故也。

【三生雜染】生雜染者亦名苦雜染謂因煩惱及業故生因生故苦即生老病死等苦皆能染汙真性令不清淨故也。

三時無悔(出四教儀集註)

三時無悔者謂人造作五逆等罪若於欲作正作作已三時之中心無改悔者是名上品極惡之業即感地獄之報也(五逆者一殺父二殺母三殺阿羅漢四出佛身血五破和合僧也)。

【一加行心時】加行猶方便也謂人欲作惡業之時必先起心方便加行是名加行心時。
【二根本心時】謂人正作惡業時之心也其心決定不可扳動由此生於加行是名根本心時。
【三後起心時】謂人作惡業已後復起心緣念往所作事是名後起心時。
欲界三欲(出翻譯名義)
【一飲食欲】謂凡夫之人於種種美味飲食多生貪愛是名飲食欲。
【二睡眠欲】謂凡夫之人心多暗塞不能勤修道業唯躭睡眠是名睡眠欲。
【三[婬-壬+(工/山)]欲】謂一切男女互相貪染起諸欲事是名[婬-壬+(工/山)]欲。
三苦(出析玄記)
【一苦苦】謂有漏五陰之身性常逼迫名苦又與苦受相應即苦上加苦故名苦苦(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【二壞苦】謂樂相壞時苦相即至名為壞苦即樂極悲生是也。
【三行苦】行苦者即有漏之法四相遷流常不安隱故也(四相者生相住相異相滅相也)。
三漏(出法華文句記)
漏失也落也謂諸眾生由起惑造業漏落三界生死不能出離也然有因果之分惑業為諸漏之因生死為諸漏之果也。
【一欲漏】謂眾生因欲界見思二惑造作諸業而於欲界不能出離故名欲漏(意根對於法塵而起分別曰見惑眼等五根對色等五塵而起貪愛曰思惑)。
【二有漏】因果不亡曰有即色界無色界見思煩惱也謂眾生因此煩惱不能出離色無色界故名有漏。
【三無明漏】無所明了故曰無明即三界癡惑也謂眾生因此無明漏落三界故名無明漏。
三疑(出禪波羅蜜門)
禪波羅蜜云以疑覆故於諸法中不得定心定心無故於佛法中空無所獲疑雖甚多未必障定今且明障定之疑有三種焉。
【一疑自】疑自者謂疑自身諸根暗鈍罪垢深重非是受道之器作此自疑禪定不能發生也。
【二疑師】疑師者謂疑受道之師威儀相貌皆不具足自既無道何能教我作此疑慢禪定不能發生也。
【三疑法】疑法者謂疑所受之法非正真之道故不敬信受行既不信受禪定亦不能發生也。
三退屈(出華嚴經隨疏演義鈔)

【一菩提廣大屈】梵語菩提華言道謂聞無上菩提廣大深遠心便退屈是名菩提廣大屈。
【二萬行難修屈】謂聞布施等波羅蜜多修之甚難心便退屈是名萬行難修屈(梵語波羅蜜多華言到彼岸)。
【三轉依難證屈】謂聞轉煩惱依菩提轉生死依涅槃極難可證心便退屈是名轉依難證屈(梵語涅槃華言滅度)。
三道(出金光明經玄義)
道即能通之義謂三道更互相通從煩惱通至業從業通至苦從苦復通至煩惱展轉相通生死不絕故名三道。
【一苦道】苦即生死之苦也謂三界六道眾生生而復死死已還生故名苦道(三界者欲界色界無色界也六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。
【二煩惱道】昏煩之法惱亂心神即見思等惑也謂由此煩惱為因致感生死之果故名煩惱道。
【三業道】業即身口所作善惡業行也謂由此諸業為因致感生死之果故名業道。
湯泉三緣(出稽古畧)
中天竺國王名迦勝問婆舍斯多尊者曰此苑有泉熱不可探未知何緣所致願為决之尊者曰此為湯泉有三緣所致。
【一神業】謂神不守其道妄作禍福以取饗祀惡業貫盈使其煎灼此泉以償濫祭。
【二鬼業】謂鬼方出罪所遊於人間以餘業力煎灼此泉以償宿債。
【三熱石】謂熱石其色如金其性常炎故其出泉如湯。
三苦對三界(出天台四教儀集註)
【一苦苦對欲界】謂三界受生無非是苦欲界諸境逼迫苦中復苦故云苦苦對欲界。
【二壞苦對色界】謂樂壞時苦名為壞苦如色界天受禪味之樂報盡還於五道受生死苦故云壞苦對色界(五道者人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。
【三行苦對無色界】謂雖無苦樂之境任運心有生滅名為行苦如無色界中雖無質礙之色而有漏心識自然是苦故名行苦對無色界。
三千世界(出長阿含經)
【一小千世界】謂一日一月繞一須彌山照四天下山腰是四天王天所居山頂是三十三天所居此天之上有夜摩天兜率天樂變化天他化自在天梵世天此名一世界如此一千世界一千日月一千須彌山一千四天下一千四天王天一千三十三天一千夜摩天一千兜率天一千樂變化天一千他化自在天一千梵世天總為第二禪天所覆是名小千世界(梵語須彌華言妙高四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王三十三天即忉利天也梵語夜摩華言善時梵語兜率華言知足)。

【二中千世界】謂以一千箇小千世界則成中千世界此中千世界中共有百萬日月百萬須彌山百萬四天下百萬四天王天百萬三十三天百萬夜摩天百萬兜率天百萬樂變化天百萬他化自在天百萬梵世天一千二禪天總為第三禪天所覆是名中千世界。
【三大千世界】謂以一千箇中千世界則成大千世界此大千世界中共有百億日月百億須彌山百億四天下百億四天王天百億三十三天百億夜摩天百億兜率天百億樂變化天百億他化自在天百億梵世天百萬二禪天一千三禪天總為第四禪天所覆是名大千世界(億有四等一以十萬為億二以百萬為億三以千萬為億四以萬萬為億今言百億者則以千萬為億也)。
三世(亦名三際出阿毘達磨集異門足論)
世即遷流之義亦隔別之義也。
【一過去世】謂善惡諸行已起已生已轉已聚集已出現落謝變滅過去所攝是名過去世。
【二未來世】謂善惡諸行未起未生未聚集未出現未來所攝是名未來世。
【三現在世】謂善惡諸行現起現生現聚集現出現未轉未謝未滅現在所攝是名現在世。
三世業(出大智度論)
【一過去世業】謂過去世若意起貪瞋癡等即動身口作諸惡業若意不貪不瞋不癡等即動身口作諸善業善惡之業雖殊皆受現在未來之報是名過去世業。
【二現在世業】謂現在世若意起貪瞋癡等即動身口作諸惡業若意不貪不瞋不癡等即動身口作諸善業善惡之業雖殊皆受未來之報是名現在世業。
【三未來世業】謂未來世必由身口意造作善惡諸業雖不現作望於未來畢竟不無是名未來世業。
三種世間(出大智度論)
隔別名世間差名間謂十界假名五陰國土三種一一差別不同故名三種世間(十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界阿脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也五陰即眾生身以此身是色受想行識五陰所成故也)。
【一假名世間】(亦名眾生世間)假名者於十界五陰實法上假立名字各各不同是為假名世間(實法者謂十界五陰皆實有也假立名字者謂十界名字非實有也既有十界五陰實法即有十界眾生假名且如人界中各各有身即各各有名字也餘界亦然)。
【二五陰世間】(亦名五眾世間)五陰者色受想行識也十界五陰各各差別故名五陰世間(色即質礙之色受即領納諸塵想即思想行即造作識即分別善惡以此五者陰覆真性皆名為陰)。

【三國土世間】國土者即眾生所依之境界也既有能依之身即有所依之土十界所依各各差別故名國土世間。

三種世間(出華嚴經疏)

【一器世間】世界如器名器世間乃是釋迦如來所化之境即三千世界也(梵語釋迦華言能仁三千即小千中千大千也)。

【二眾生世間】謂五陰和合眾共而生間隔不同故名眾生世間即釋迦如來所化之機眾也(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

【三智正覺世間】謂如來具大智慧永離偏邪深能覺了世間出世間法故名智正覺世間即釋迦如來能化之智身也。

器世間說法有三義(出華嚴經疏)

【一約通力說】約猶依也謂佛以神通力令諸世間無情之物皆能說法故名約通力說。

【二約融通說】謂依報之土正報之身性本融通身既說法土亦能說即一說一切說故名約融通說。

【三約顯理說】謂菩薩觸對諸境皆能了知如對色即顯質礙緣生無常等義觸類成教故名約顯理說。

三才配三世間(出華嚴經隨疏演義鈔)

世間者隔別名世間差名間謂諸法間隔不同也。

【一天配正覺世間】正覺即佛也謂天道廣大包萬象以無餘佛智弘深極十方而普照故以天配正覺世間也。

【二地配器世間】世界如器名器世間謂地有含藏之能亦有負載之義而為世界所依十方世界無邊剎土亦為一切有情眾生所依故以地配器世間也。

【三人配眾生世間】人即六道之一道也謂世間一切有情之類皆名眾生以人與眾生皆有覺知之性故以人配眾生世間也(六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。

三相續(出楞嚴經)

【一世界相續】經云世為遷流界為方位東西南北四維上下為界過去未來現在為世故名世界由眾生於清淨心體一念不覺而起妄明妄明既立空昧相形形則搖動故有風輪執持世界明覺立堅故有金輪保持國土風金相摩故有大光為變化性寶明生潤火光上蒸故有水輪含十方界此之世界同諸眾生業力依空安立而有成壞之刼壞而復成成而復壞終始相續無有斷絕故名世界相續(空昧相形者空即明也昧即暗也明暗互相形影動搖不定故有風輪生也執持世界者金水土三輪皆為所載持也明覺立堅者一念妄明堅執不移故有金輪生也保持國土者謂金體貴重故云保持火光為變化性者謂火能變生為熟變腐為堅等寶明生潤者謂金能生水也火光上蒸者火性炎上水性流下如火蒸物氣汗流下故有水輪含十方界如上所明乃是三輪相生次第若論諸輪持於世界竪下空輪持於風輪風輪持於水輪水輪持於金輪而不言土者土與金同是堅性故不言也)。

【二眾生相續】謂五陰諸法眾共和合而生名為眾生經云同業相纏合離成化流愛為種納想為胎交遘發生吸引同業胎[卯-卩+(卩@丶)]濕化更相變易所有受業逐其飛沉生死死生無有斷絕故名眾生相續(同業相纏合離成化者眾生皆由六根對於六塵同造生死之業故名同業業相纏縛故因緣和合而生因緣別離而死化猶變化謂生死也流愛為種納想為胎者流注也謂識之流愛則為種神之納想則為胎也交遘發生吸引同業者遘遇也謂男女交相遇會情所發生吸嗳導引同業之類而入胎也更相變易者四生受報循業不定也所有受業逐其飛沉者隨其所受業報或升或沉無定趣也)。

【三業果相續】謂眾生有殺盜[婬-壬+(工/山)]三種之業而受其果報故名業果經云汝負我命我還汝債經百千刼常在生死汝愛我心我怜汝色經百千刼常在纏縛惟殺盜[婬-壬+(工/山)]三為根本隨業隨報無有窮盡故名業果相續(汝負我命我還汝債二句文義互見如云汝負我命汝還我命我負汝債我還汝債此殺盜二種業果也汝愛我心我怜汝色二句亦應互見如云我愛汝心汝怜我色此[婬-壬+(工/山)]欲業果也)。

三阿僧祇刼(出天台四教儀)

梵語阿僧祇刼華言無數時此三僧祇且約釋迦如來脩菩薩道時以論分限也俱舍論問云既云無數何復言三荅曰言無數者顯不可數非無數也(梵語釋迦華言能仁)。

【初阿僧祇】謂如來始從古釋迦佛至尸棄佛值七萬五千佛名初阿僧祇(大論云釋迦文佛先世作瓦師名大光明尔時有佛名釋迦文到瓦師舍寄宿瓦師以草座燈明石蜜漿三事奉佛發願云我於當來作佛如今佛名無異故今作佛亦號釋迦文也梵語尸棄又云式棄華言火)。

【二阿僧祇】謂如來次從尸棄佛至然燈佛值七萬六千佛名第二阿僧祇(然燈佛者大論云佛初生時身光如燈後至成佛遂名然燈彼時釋迦佛號曰儒童以五莖蓮花獻佛及禮佛足見地汙濕即解鹿皮衣覆之掩泥不足乃解髮覆地令佛蹈而過之佛因記曰汝自此後九十一刼刼號為賢汝當作佛號釋迦文)。

【三阿僧祇】謂如來次從然燈佛至毘婆尸佛值七萬七千佛名第三阿僧祇(梵語毘婆尸亦名維衛華言勝觀)。

三時(出南嶽祖師發願文)

謂釋迦如來入滅之後其教法住世有此三時不同也。

【一正法時】正猶證也謂如來滅後教法住世人有稟教者即能修行有修行者即能證果是名正法據法住記云佛告阿難我滅度後正法一千年由女人出家減五百年又據善見論云後為比丘尼說八敬法還得一千年又據法苑珠林云天人荅宣律師曰佛錫杖在龍窟中四十年住為如來滅後有飛行羅剎能說十二部經詐為善比丘食諸持戒者為斷此惡故鎮龍窟中復令正法增住四百年是則正法住世總一千四百年(梵語阿難華言慶喜梵語比丘華言乞士八敬法者一尼百歲禮初夏比丘足二不得罵謗比丘三不得舉比丘過四從僧受具戒五有過從僧懺六半月從僧教誡七依僧三月安居八夏訖從僧自恣法也

梵語羅剎華言速疾鬼十二部經者一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議十自說十一方廣十二授記也)。

【二像法時】像者似也有教有行似正法時故也謂如來滅後教法住世人有稟教即能修行多不能證果是名像法據法住記云佛告阿難我滅度後像法一千年又據法苑珠林云由佛錫杖在龍窟中因緣復令像法增住一千五百年是則像法住世總二千五百年。

【三末法時】謂如來滅後教法垂世人雖有稟教而不能修行證果是名末法據法住記云佛告阿難我滅度後末法一萬年又據法苑珠林云由佛錫杖在龍窟中因緣復令末法增住二萬年是則末法總三萬年。

三際時(出華嚴經疏并演義鈔)

三際時者西域一歲分為三際即熱時雨時寒時也。

【一熱際時】西域記云從正月十六日至五月十五日為熱時也。

【二雨際時】謂從五月十六日至九月十五日為雨時也。

【三寒際時】謂從九月十六日至正月十五日為寒時也。

三有(出菩薩善戒經并大智度論)

三有者謂欲界色界無色界六道眾生各隨所作善惡之業即感善惡之報因果不亡故名為有(六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。

【一欲有】謂欲界天人脩羅畜生餓鬼地獄各各隨其業因而受果報故名欲有。

【二色有】謂色界四禪諸天由昔修習有漏禪定報生此天雖離欲界麤染之身而有清淨之色故名色有(四禪諸天者初禪天二禪天三禪天四禪天也)。

【三無色有】謂無色界四空諸天由昔修習有漏禪定報生此天雖無色質為礙而亦隨其所作之因受其果報故名無色有(四空諸天者空處天識處天無所有處天非非想處天也)。

三種有(出大智度論)

【一相待有】待即對待之義謂如長短彼此等實無長短亦無彼此以相待故乃有長短等名是則長因短有短因長有彼亦因此此亦因彼東西南北皆亦如是故名相待有。

【二假名有】假即虛假不實也謂如氈因毛縷而成若無毛縷氈則何有是知毛縷因緣和合假名為氈一切眾生四大和合假名為身亦復如是故曰假名有(四大者地大水大火大風大也)。

【三法有】謂一切諸法皆從因緣而生緣合則成緣散則滅本無自性雖無自性非如兔角龜毛有名無實故名法有。

三境(出宗鏡錄)

【一性境】性即實之義也謂眼識乃至身識及第八識等所緣色等實境相分不起名言無籌度心是名性境。

【二獨影境】影即影像是相分異名謂如第六識緣空華兔角及過去未來等所變相分無種為伴但獨自有是名獨影境。

【三帶質境】帶即兼帶質即體質謂以心緣心也如第七識緣第八識見分境時其相分無別種生一半與本質同種生一半與能緣見分同種生是名帶質境。

三類境(出翻譯名義)

三類境者謂第八阿賴耶識緣三種境種子根身即內境也器世間即外境也(梵語阿賴耶華言藏識)。

【一種子境】謂第八識能遍任持世間出世間諸法種子故名種子境。

【二根身境】謂第八識覺明能了之心發起內外塵勞之相於一圓湛析出根塵聚內四大而為身分故名根身境(四大者地大水大火大風大也)。

【三器世間境】世界如器名器世間謂從第八識轉相而成現相即有山河大地等境界故名器世間境。

三量(出宗鏡錄)

【一現量】現即顯現量即量度是楷定之義也謂眼識乃至身識對於顯現五塵之境而能度量楷定法之自相不錯謬故是名現量(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

【二比量】比即比類謂以比類量度而知有故如遠見煙知彼有火是名比量。

【三聖教量】謂於聖人所說現量比量之言教皆不相違定可信受是名聖教量。

由旬三量(出翻譯名義)

梵語由旬亦云踰繕那華言限量業疏云乃是輪王巡狩一停之舍猶如此方館驛也大智度論明由旬有三種故名由旬三量。

【一上者八十里】謂其中邊山川平易故量為八十里也。

【二中者六十里】謂其中邊山川稍險故量為六十里也。

【三下者四十里】謂其中邊山川險阻故量為四十里也。

三種相(出大智度論)

【一假名相】謂世間一切事物及以眾生雖因眾緣和合而有種種名字皆無自性虛假不實眾生迷故於此假名起執取相故名假名相。

【二法相】謂五蘊十二入十八界等諸法以肉眼觀故則見是有以慧眼觀故則見是無眾生迷故於此等法起執取相故名法相(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也十二入者眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入法入也十八界者眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也)。

【三無相相】謂離上二相但有無相眾生迷故又於無相之中起執取相故名無相相。

三種相(出華嚴經隨疏演義鈔)

【一標相】標即表也謂如見煙即知是火等是名標相。

【二形相】形即形狀謂長短方圓等是名形相。

【三體相】體即體質謂如火以熱為質相等是名體相。
三種色(出五蘊論)
【一顯色】顯即明顯色即質礙之色謂青黃赤白光影明暗煙雲塵霧虛空等色明顯可見故名顯色。
【二形色】形即形相謂長短方圓麤細高下若正不正皆有形相故名形色。
【三表色】表顯也對也謂行住坐臥取捨屈伸雖是所行之事而有表對顯然可見故名表色。
三種色(出阿毘曇論)
【一可見有對色】可見有對色者即一切色塵也謂世間之色眼則可見有對於眼故也。
【二不可見有對色】不可見有對色者即五根四塵也謂眼識不可見而能對色耳識不可見而能對聲鼻識不可見而能對香舌識不可見而能對味身識不可見而能對觸皆言勝義根也四塵即聲香味觸也此四亦不可見而有對於耳鼻舌身故也。
【三不可見無對色】不可見無對色者即無表色也謂意識緣於過去所見之境名為落謝五塵雖於意識分別明了皆不可見亦無表對故也(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
三聚(出顯宗論)
【一正性定聚】謂斷貪瞋癡等煩惱皆盡心無邪偽此性決定聚集不散是名正性定聚。
【二邪性定聚】謂四惡趣及一切邊邪等見不信正法皆名邪性此性決定聚集不散是名邪性定聚(四惡趣者修羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。
【三不定性聚】謂此性或可為邪或可為正定非一向是名不定性聚。
三生(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一見聞生】見聞生者謂八難眾生宿世見聞華嚴大經正法不能信受反生毀謗故感八難之報墮地獄中受諸極苦今蒙如來放足下輪相清淨功德光明所照由其宿有見聞華嚴大經善種即得脫地獄苦生兜率天而得成道於一生內超登十地也(八難者地獄難畜生難餓鬼難長壽天難北鬱單越難盲聾瘖瘂難世智辨聰難生在佛前佛後難也梵語兜率華言知足十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。
【二解行生】解行生者謂善財童子於福城東初見文殊得蒙開發而啟信解遂令叅問諸善知識皆獲開示脩行法門乃至最後叅見普賢令其入於毛孔剎中修行菩薩廣大願因圓滿諸佛無上道果如此解行即於一生而得圓滿也。
【三證入生】證入生者謂舍利弗於逝多林中令海覺等六千比丘觀察文殊師利無量功德具足莊嚴彼諸比丘聞是說已心意清淨信解堅固頂禮文殊作如是言仁者所有色身相好願我悉得於是文殊為諸比丘開示

演說大乘之法令諸比丘成就深信獲大智慧於一生內證入法界也(梵語舍利弗華言身子梵語逝多華言勝林即給孤獨園也梵語比丘華言乞士梵語文殊師利華言妙德)。

三分別(出阿毘達磨雜集論)

論云唯一意識有三種分別也。

【一自性分別】謂意識對於現在六塵之境自性而起分別故名自性分別(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。

【二隨念分別】謂意識昔曾對於六塵之境追念不忘而起分別故名隨念分別。

【三計度分別】謂意識於不現見事計較量度而起分別故名計度分別。

三無差別(出華嚴經疏)

謂心佛眾生雖在因在果迷悟不同然其理性所具本來平等初無有異故經云心佛及眾生是三無差別。

【一心無差別】謂一念心體凡聖不二具足十界十如是等法而與諸佛眾生性元平等初無有異故經云遊心法界如虛空則知諸佛之境界是名心無差別(十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界阿脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也十如是者如是相如是性如是體如是力如是作如是因如是緣如是果如是報如是本末究竟等也)。

【二佛無差別】謂十方諸佛了悟十界十如是等法而成正覺即是悟本心之所具亦是悟眾生之所迷迷悟雖殊其體不二故法華經云唯佛與佛乃能究盡諸法實相是名佛無差別。

【三眾生無差別】謂九界眾生各具十界十如是等法而與佛之所悟本心所具之法其體不二故涅槃經云一切眾生即是佛是名眾生無差別(九界者十界中但除佛界也)。

妙行三因緣(出阿毘達磨大毘婆沙論)

【一時因緣】時即時分因緣者能生為因助成為緣謂五濁不增時諸有情類具大威德好修諸善蓋於彼時無諸濁惡其人雖不樂為妙行而亦自然能行也(五濁者劫濁見濁煩惱濁眾生濁命濁也)。

【二處因緣】處即處所謂中國也人生中國其性聰敏志意調柔能修善業不生邪見其人雖不樂為妙行而亦自然能行也。

【三補特伽羅因緣】梵語補特伽羅華言有情謂一類有情得修妙行之眾同分而居其性和雅能修善業如住律儀蓋親近妙行之眾其人雖不樂為眾善而亦自然能行也。

三輩事佛(出分別經)

【一為魔弟子事佛】經云何謂魔弟子事佛佛言雖受佛戒心樂邪業不信正道不知有罪惡之報假名事佛常與邪俱是名魔弟子事佛。

【二為天人事佛】經云何謂天人事佛佛言受持五戒行於十善至死不犯信有罪福常念正法是名天人事佛(五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不瞋恚不邪見也)。
【三為佛弟子事佛】經云何謂佛弟子事佛佛言奉持五戒廣學經法修習智慧知三界苦心不樂著欲得解脫行於六度知死有生知生有死不貪身命不為邪業是名佛弟子事佛(三界者欲界色界無色界也六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
三種光明(出瑜伽師地論)
【一外光明】謂日月星光及火珠燈炬等光皆能破除昏暗是名外光明。
【二法光明】謂隨其所聞之法觀察修習皆依法則因此明心見性破除愚癡之暗顯發本覺妙明是名法光明。
【三身光明】謂諸佛菩薩二乘及諸天等身皆有光亦能破暗是名身光明(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
食三德(出涅槃經)
經云諸優婆塞為佛及僧辦諸食具種種備足皆是栴檀沉水香薪八功德水之所成熟其食甘美有三德焉(梵語優婆塞華言近事男梵語栴檀華言與藥能除病故八功德者一澄淨二清冷三甘美四輕軟五潤澤六安和七飲時除飢渴等八長養諸根也)。
【一清淨】謂奉佛供僧之食當使精潔無有葷穢是名清淨。
【二柔軟】謂奉佛供僧之食當須柔軟甘和而不麤澁是名柔軟。
【三如法】謂奉佛供僧之食當隨時措辦制造得宜是名如法。
食三匙(出法苑珠林)
大智度論云食為行道不為益身修道之人正受食時須作三願。
【初下匙時】謂初下匙時心須想念願我此生所有身口意一切惡業悉令斷盡。
【次下匙時】謂次下匙時心須想念願我此生所修一切善法悉令滿足。
【後下題時】謂又次下匙時心須想念願我此生所修善根迴施眾生普共成佛。
三淨肉(出十誦律)
【一眼不見殺】謂自眼不見是生物是人不為我故殺是名不見殺。
【二耳不聞殺】謂於可信之人不聞是生物不為我故殺是名不聞殺。
【三不疑殺】謂知此處有屠家有自死者亦知此人不為我故殺是名不疑殺如上三種名為淨肉有病許食。
三不淨肉(出十誦律)
【一見殺】謂見是生物為我故殺如是見者名為見殺。

【二聞殺】謂於可信之人聞此生物為我故殺如是聞者名為聞殺。
【三疑殺】謂此處無有屠家亦無自死之物是人必為我故殺如是疑者名為疑殺如上三種名不淨肉皆不許食。

三長物(出摩訶僧祇律)

【一衣長物】衣長物者謂出家之人若依佛制但許畜三衣三衣之外若更再有即名餘長物也。
【二鉢長物】鉢長物者謂出家之人若依佛制但許畜一鉢一鉢之外若更再有即名餘長物也。
【三藥長物】藥長物者謂出家之人若依佛制有諸疾病則許服藥調治若病已瘥更再畜者即名餘長物也。

三衣名義(名議出翻譯)

【一僧伽梨】梵語僧伽梨華言合又云重謂割之而合成也義淨法師云梵語僧伽[月*氏]華言重複衣宣律師云此三衣名皆無正翻今以義譯之大衣名雜碎衣以條數多故也若從用為名則曰入王宮衣又曰入聚落衣謂於王宮說法時著及聚落乞食時著也薩婆多論云大衣分三品九條十一條十三條名下品十五條十七條十九條名中品二十一條二十三條一十五條名上品。
【二欝多羅僧】梵語欝多羅僧華言上著衣即七條也宣律師云七條名中等衣若從用為名則曰入眾時衣禮誦齋講時著也。
【三安陀會】梵語安陀會華言中宿衣謂宿睡時常近身衣也宣律師云五條名下衣若從用為名則曰院內行道雜作衣也。

大三災(出法苑珠林)

【一火災】謂於壞劫時有七日出現大地須彌山漸漸崩壞四大海水展轉消盡大千世界及初禪天皆悉洞然無有遺餘是名火災(梵語須彌華言妙高四大海者即東西南北四海也)。
【二水災】謂初禪天已下七番火災壞於世間之後世界復成又於壞劫之時漸降大雨滴如車軸更兼地下水輪湧沸上騰大千世界乃至二禪天水皆彌滿一切壞滅如水消塩是名水災。
【三風災】謂二禪天已下七番水災已後又經七番火災壞於世間至世界復成又於壞劫之時從下風輪有猛風起兼以眾生業力盡故處處生風大千世界乃至三禪天悉皆飄擊蕩盡無餘是名風災。

小三災(出法苑珠林)

【一饑饉災】謂人壽八萬四千歲時歷過百年人若生時壽減一歲如是人壽減至三十歲時天不降雨由大旱故草菜不生思欲見水尚不可得何況飲食以是因緣世間人民饑饉死者其數無量是名饑饉災。
【二疾疫災】謂人壽減至二十歲時有大疾疫種種諸病一切皆起以是因緣世間人民疾疫死者其數無量是名疾疫災。

【三刀兵灾】謂人壽減至一十歲時諸人各起鬪諍手執草木即成刀仗由此器仗互相殘害以是因緣世間人民刀兵死者其數無量是名刀兵灾。
大明三藏法數卷第八

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

四身(出成唯識論)
【一自性身】自性身者即法身也謂諸如來真淨法界湛然常寂具足無邊真實功德是一切法平等實性也。
【二自受用身】自受用身者即自報身也謂諸如來內智湛然照真法界盡未來際常自受用廣大法樂也。
【三他受用身】他受用身者為他機所感而現此身即他報身也謂諸如來由平等智為十地菩薩現大神通轉正法輪令他受用大乘法樂也(十地者懽喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。
【四變化身】變化身者謂無而忽有名為變化即應身也謂諸如來隨順機宜變現此身也。
化應身四句(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一化身非應】謂佛隨類變現龍鬼等形不為佛身是名化身非應。
【二應身非化】謂地前菩薩所見佛身即是隨機應現非五趣攝是名應身非化(地前菩薩者即十住十行十回向諸菩薩也五趣者天趣人趣鬼趣畜生趣地獄趣也)。
【三亦應亦化】謂諸聲聞所見佛身見諸相好皆因修成名之為應無而忽有名之為化是名亦應亦化。
【四非應非化】謂佛法報二身非屬應化是名非應非化。
佛四德(出涅槃經)
四德者如來所證常樂我淨之德也謂如來心體本空應用無染離凡夫二乘菩薩偏邪之顛倒故稱為德(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【一常德】常者不遷不變之謂也性體虛融湛然常住歷三世而不遷混萬法而不變故名常德(三世者過去現在未來也)。
【二樂德】樂者安隱寂滅之謂也離生死逼迫之苦證涅槃寂滅之樂故名樂德(梵語涅槃華言滅度)。
【三我德】我者自在無礙之謂也然有妄我真我若外道凡夫於五陰身強立主宰執之為我乃是妄我若佛所具八自在稱為我者即是真我故名我德(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也八自在我者一能示一身以為多身二示一塵身滿大千界三大身輕舉遠到四現無量類常居一土五諸根互用六得一切法如無法想七說一偈義經無量劫八身徧諸處猶如虛空也)。
【四淨德】淨者離垢無染之謂也無諸惑染湛然清淨如大圓鏡了無纖翳故名淨德。
身土四依(出華嚴經疏)

【一色身依色相土】謂如來隨類應化示現丈六等相好之身即依娑婆等同居之土以其有山河大地等色相是為色身依色相土(梵語娑婆華言能忍同居者凡聖同居也)。
【二色身依法性土】謂如來丈六等相好之身當體即是法性之身所依之土亦即常寂光土是為色身依法性土(常寂光土者即佛所居之淨土也)。
【三法身依法性土】謂如來法性之身非心非色猶如虛空遍一切處所依之土即是常寂光土是為法身依法性土。
【四法身依色相土】謂如來法性之身遍於剎塵之土雖身土相攝事理交互色即非色相即非相而不離剎塵之土是為法身依色相土。
佛四種希有(出金剛經算要刊定記)
【一時希有】時希有者謂佛出世之時不常有也一切眾生從曠劫來無明覆蔽流轉生死無有窮盡今值佛出世聞說正法依教修行得免生死之苦實為希有也。
【二處希有】處希有者謂佛生於迦毘羅城乃在三千世界之中佛不於餘處出現而於此處降生實為希有也(梵語迦毘羅華言能仁住處三千者小千中千大千也)。
【三德希有】德希有者謂佛具無量福慧最勝第一非諸菩薩等所可思議實為希有也。
【四事希有】事希有者謂佛降兜率乃至人涅槃等事天上人間最為奇特外道天魔無不歸仰用大慈悲極巧方便現多種身相演無量法門隨眾生根普皆利益實為希有也(梵語兜率華言知足梵語涅槃華言滅度)。
四無所畏(出大智度論)
此四通言無畏者由佛十力之智內充明了決定故於大眾中凡有所說則無恐懼之相故名無所畏(十力者知是處非處智力知過去現在未來業報智力知諸禪解脫三昧智力知諸根勝劣智力知種種解智力知種種界智力知一切至處道智力知天眼無礙智力知宿命無漏智力知永斷習氣智力也)。
【一一切智無所畏】一切智者於世間出世間一切諸法盡知盡見也無所畏者如佛言我是一切正智人故得安隱得無所畏在大眾中作師子吼能轉法輪諸沙門婆羅門若天魔梵若復餘眾實不能轉是一切智無所畏(梵語沙門華言勤息謂勤行眾善止息諸惡也梵語婆羅門華言淨行天魔梵者天魔即他化自在天梵即梵天也)。
【二漏盡無所畏】漏盡者惑業生死俱盡也無所畏者如佛言我一切漏盡故得安隱得無所畏在大眾中作師子吼能轉法輪諸沙門婆羅門若天魔梵若復餘眾實不能轉是為漏盡無所畏。
【三說障道無所畏】說障道者說彼魔外障蔽聖道之法也無所畏者如佛言我說障法故得安隱得無所畏在大眾中作師子吼能轉法輪諸沙門婆羅門若天魔梵若復餘眾實不能轉是為說障道無所畏。

【四說盡苦道無所畏】說盡苦道者說能盡諸苦之道法也無所畏者如佛言我所說聖道能出世間能盡諸苦故得安隱得無所畏在大眾中作師子吼能轉法輪諸沙門婆羅門若天魔梵若復餘眾實不能轉是為說盡苦道無所畏。

四等(出楞伽經)

四等者謂諸佛如來名字言語現身說法平等不二以顯佛佛道同也。

【一字等】字即名字也經云若字稱我為佛彼字亦稱一切諸佛以我與彼字無差別是名字等(我者釋迦如來自謂也彼者指一切諸佛也謂諸佛皆稱理立名理性平等故同名佛也)。

【二語等】語即言語也經云謂我六十四種梵音言語相生無增無減無有差別與諸佛同一音故是名語等(六十四種梵音者一流澤二柔軟三悅意四可樂五清淨六離垢七明亮八甘美九樂聞十無劣十一圓具十二調順十三無澁十四無惡十五善柔十六悅耳十七適身十八心生勇銳十九心喜二十悅樂二十一無熱惱二十二如教令二十三善了知二十四分明二十五善愛二十六令生歡喜二十七使他如教令二十八令他善了知二十九如理三十利益三十一離重復過失三十二如師子音三十三如龍音三十四如雲雷吼三十五如龍王三十六如緊那羅妙歌三十七如迦陵頻伽三十八如梵王三十九如共命鳥四十如帝釋美妙四十一如根鼓四十二不高四十三不下四十四隨入一切音四十五無缺減四十六無破壞四十七無染污四十八無希取四十九具足五十莊嚴五十一顯示五十二圓滿一切音五十三諸根適悅五十四無譏毀五十五無輕轉五十六無動搖五十七隨入一切眾會五十八諸相具足五十九令眾生意懽喜六十說眾生心行六十一入眾生心意六十二隨眾生信解六十三聞者無其分量六十四一切眾生不能思惟稱量也)。

【三身等】經云我與諸佛法身及色身相好無有差別是名身等(法身者即法性為身也色身者如來丈六之應身也)。

【四法等】經云我及彼佛同得三十七品菩提分法無二無別是名法等(三十七品者觀身不淨觀受是苦觀心無常觀法無我是四念處已生惡令永斷未生惡令不生已生善令增長未生善令得生是四正勤欲如意足念如意足精進如意足思惟如意足是四如意足信根進根念根定根慧根是五根信力進力念力定力慧力是五力擇法覺分精進覺分喜覺分除覺分捨覺分定覺分念覺分是七覺分正見正思惟正語正業正命正精進正念正定是八正道已上諸法總為三十七品也梵語菩提華言道)。

世醫四法喻如來(出雜阿含經)

【一善知病】謂世之良醫善能知人種種疾病以喻如來善知一切眾生業惑等病也。

【二善知病源】謂世之良醫善知疾病所起之由或由風濕或由冷熱乃至飲食色欲之類發於眾病以喻如來善知眾生皆由無明煩惱為其根源而有生死輪迴之病也。

【三善知病對治】謂世之良醫善知對治之方如患冷病者則以熱藥對治患熱病者則以冷藥對治患不冷不熱病者則以溫和之藥對治藥若對

病病無不愈以喻如來說法若眾生多貪欲者則說不淨之觀治之多嗔恚者則說慈悲之觀治之是也。
【四善知治已更不動發】謂世之良醫善能應病與藥人若服已其病即愈病既愈已身心安隱不復更發以喻如來為諸眾生善說法藥對治一切眾生業惑之病人能依而修之則得出離生死之苦成就涅槃之樂一切業惑不復發起矣(梵語涅槃華言滅度)。
四方行七步(出佛本行集經)
謂如來初降生時於四方面各行七步步步舉足出大蓮華行七步已先觀東方口自出言世間之中我為最勝我從今日生分已盡此是菩薩希奇之事未曾有法餘方悉然。
【一東行七步】東行七步者涅槃經云示為眾生而作導首也。
【二南行七步】南行七步者經云示現欲為無量眾生作最上福田也。
【三西行七步】西行七步者經云示現無盡永斷生死是最後身也。
【四北行七步】北行七步者經云示現已度諸有生死也。
四門游觀(出佛本行集經)
經云爾時虛空有一天子名曰作瓶見悉達太子在於宮內恐其著五欲樂乃言我當為彼作於厭離之想即以威神感動令其宮內所作音樂皆為不順五欲之事唯傳涅槃微妙之聲欲令厭離世間心生覺悟太子聞是聲已遂發出遊之心即向迦毘羅城四門游觀也(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也梵語迦毘羅華言能仁住處)。
【東門見老人】時太子欲向園林游觀淨飯王聞之於是勑令街巷灑掃嚴淨其有老病死亡之人悉令驅逐勿使太子見之心有所厭及太子出東門作瓶天子以神通力化作老人傴僂低頭倚杖呻吟曲脊傍行太子見已為馭者言我今此身亦當老耶若有如是老弊之相何暇向彼園林游戲宜速還宮我當思惟作何方便得免斯苦。
【南門見病人】時太子又欲向彼園林游觀淨飯王聞之於是勑令街巷灑掃嚴淨或有老病死亡之人悉令駈逐勿使太子見之復生厭離之心及太子出南門作瓶天子以神通力化作一病患人身體羸瘦喘氣微弱命在須臾不能起舉太子見已為馭者言若我此身病亦不免何暇向彼園林游戲宜速還宮我當思惟作何方便得免斯苦。
【西門見死人】時太子出西門又欲向彼園林游觀淨飯王聞之於是勑令嚴淨街道復振鐸言莫令更有老病死亡之人使太子見之生於厭離及太子出西門作瓶天子以神通力化作一死屍臥在床上眾人舉行有諸親屬圍繞哭泣太子見已心懷慘惻為馭者言若我此身同有死法何暇向彼園林游戲宜速還宮我當思惟作何方便得免斯苦。
【北門見沙門】時太子又欲向彼園林游觀淨飯王聞之於是勑令嚴淨街道復振鐸言莫使更有老病死亡之人令太子見生厭離心及太子出北門作瓶天子以神通力化作沙門著僧伽黎執錫擎鉢威儀整肅行步安詳

太子見已心生愛樂問言尊者汝是何人沙門荅言我名出家之人世間諸行盡是無常我今捨家求無上道故名出家太子為言此業大善於是還宮白淨飯王曰世間一切眾生皆有別離我今志願出家樂求涅槃(梵語沙門華言勤息梵語僧伽黎華言重複衣梵語涅槃華言滅度)。

出家四願(出普耀經)

出家四願者謂釋迦如來初欲出家發此四誓願度脫眾生也(梵語釋迦華言能仁)。

【一願濟眾生困厄】謂我設成正覺得一切智時眾生困厄被諸惱患吾當濟脫令斷恩愛也。

【二願除眾生惑障】謂眾生沒在生死苦海無明暗蔽悉無所知我當為其顯示如清淨眼內外無障令其出離也。

【三願斷眾生邪見】謂眾生在世我慢自大尊已賤彼心存邪見不慕聖道我當開化令入正真也。

【四願度眾生苦輪】謂眾生處於生死之苦輪轉無際滅智慧根不能自濟我當為其說法令得度脫也。

四滿成佛(出占察善惡業報經)

【一信滿成佛】謂依種性地决定信於諸法不生不滅清淨平等無可願求是為信滿成佛(種性者種即種子性即性分是也)。

【二解滿成佛】謂依解行地深解法性無造無作不起生死想不起涅槃想心無所怖亦無所欣是為解滿成佛(解行者解即解了行即所脩之行也梵語涅槃華言滅度)。

【三行滿成佛】謂依究竟菩薩地能除一切無明諸障菩提願行悉皆具足是為行滿成佛(究竟菩薩即等覺菩薩也梵語菩提華言道)。

【四證滿成佛】謂依淨心地得無分別寂靜法智及不思議勝妙功德是為證滿成佛(淨心地者即妙覺佛位也)。

天上四塔(出佛成道記并本行集經)

【一箭塔】經云太子年方十五與諸釋種角藝太子一箭穿七金鼓又一箭徹過七鐵猪復入于土水泉迸出遂名箭井時帝釋遂取其箭於忉利天建塔供養(梵語忉利華言三十三乃帝釋所居之天也)。

【二髮塔】經云太子初出家時自持寶刀而發願云我今截落此髮誓與眾生斷除煩惱習障尋以髮擲空中時帝釋接向天上建塔供養。

【三盆塔】經云菩薩將詣道樹成等正覺時有天人告善生村主二女難陀婆羅曰汝可最初施食於是二女以乳烹麋用盆盛獻菩薩食已以盆擲尼連河中時帝釋収歸天上建塔供養(梵語難陀華言喜梵語婆羅華言力二女名也尼連無翻)。

【四佛牙塔】經云佛闍維時天帝釋持七寶瓶來請佛牙其火即滅寶棺自開帝釋乃取佛口右頷一牙於天上建塔供養(梵語闍維華言焚燒)。

四處立塔(出法苑珠林)

【一生處立塔】謂諸佛降生之處即應起塔如今釋迦牟尼佛在毘藍園內無憂樹下降生即於其處立塔也(梵語釋迦牟尼華言能仁寂默梵語毘藍華言解脫處梵語塔婆華言高顯)。
【二得道處立塔】謂如來得道在摩竭提國菩提樹下即於其處立塔也(梵語摩竭提華言善勝梵語菩提華言道)。
【三轉法輪處立塔】謂如來轉法輪其處不定或在寂場或在鹿苑或在天上等即於其處立塔也。
【四涅槃處立塔】梵語涅槃華言滅度謂如來在俱尸那城娑羅雙樹間入滅即於其處立塔也(梵語俱尸那華言角城梵語娑羅華言堅固)。
四法(出大乘本生心地觀經)
經云於法寶中有其四種引導眾生出生死海到於彼岸三世諸佛依此脩行斷一切障得成菩提。
【一教法】謂一切無漏善法教化眾生能破無明煩惱業障也(無漏者不漏落生死也)。
【二理法】謂一切教法所詮之義理也。
【三行法】謂戒定慧等諸行之法也。
【四果法】謂至果所證無為涅槃等法也(梵語涅槃華言滅度)。
法四依(出法界次第)
法四依者謂依憑正法則能成就萬行之因滿足菩提之果也(梵語菩提華言道)。
【一依法不依人】依法者謂依實相等法脩諸波羅蜜行則能具足清淨功德能至菩提也不依人者如涅槃經云魔王尚能假化作佛況能不作其餘之身是故雖是凡夫若所說所行與實相等法相應則可依信雖現佛身相好若所說所行違於實相法者則不應依也(梵語波羅蜜華言到彼岸)。
【二依了義經不依不了義經】依了義經者謂諸大乘經皆明中道佛性若依此而脩則萬行成就能見佛性也不依不了義經者謂小乘等經不明中道佛性若依此而脩則萬行難成不見佛性也。
【三依義不依語】依義者義即中道之理若依此理而脩則能成就萬行破諸顛倒而顯中道之理也不依語者語是世間言語文字非出世法若依此而脩則萬行不成顛倒不破中道不顯也。
【四依智不依識】依智者照了之心名之為智若依正觀之智於諸波羅蜜觀察而脩則能破生死煩惱之業必證大乘涅槃之果也不依識者妄想之心名之為識若依妄識而脩則搆集生死煩惱之業流轉無窮眾苦不息也。
四法界(出華嚴法界觀)
法界者一切眾生身心之本體也法軌則也界有性分二義若約事說界即是分義謂隨事分別故也若約理說界即是性義謂諸法性不能變易故也

以此性分互相交絡則成理事無礙法界以理融事一一融通則成事事無礙法界也。
【一事法界】謂諸眾生色心等法一一差別各有分齊故名事法界(分齊者限量也)。
【二理法界】謂諸眾生色心等法雖有差別而同一體性故名理法界。
【三理事無礙法界】謂理由事顯事攬理成理事互融故名理事無礙法界。
【四事事無礙法界】謂一切分齊事法稱性融通一多相即大小互容重重無盡故名事事無礙法界。
四藏(出大智度論)
四藏者即經律論呪也以其各各含藏一切文理故名藏也。
【一經藏】經藏者即如來所說一大藏大小乘諸經也經法也常也人介同尊謂之法三世不易謂之常又云契經謂上契諸佛之理下契眾生之機也(十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也三世者過去現在未來也)。
【二律藏】律藏者即如來所制大小乘戒律也律法也謂能治眾生貪嗔癡種種之惡如治世法律則能斷決重輕之罪也。
【三論藏】論藏者即如來所說阿毘曇等論及佛弟子所造諸論也(梵語阿毘曇華言無比法)。
【四呪藏】呪藏者即如來所說一切秘密四呪也如諸陀羅尼及凡經中所有神呪是也(梵語陀羅尼華言呪)。
經含四義(出翻譯名義)
【一法義】法即可軌可則之義謂如來所說之經十界同遵無不軌則故也(遵依也十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也)。
【二常義】常即不遷不變之義謂如來所說之經三世而不改易故也(三世者過去現在未來也)。
【三貫義】謂如來所說之經貫穿一切深妙義理故也。
【四攝義】謂如來所說之經攝持所化一切眾生故也。
講經四益(出金光明經)
經云虛空藏菩薩梵釋天等白佛言若諸國土有能講說此金光明微妙經典於興國土獲四利益。
【一國土吉祥益】謂若有國土講說此經者國土軍眾勢力強盛無諸怨散疾疫消除壽命脩長吉祥安樂正法興隆也。
【二輔臣和樂益】謂若有國上講說此經則輔相大臣和悅無諍王所敬愛安隱豐樂隨心所願皆得滿足也。
【三國人富壽益】謂若有國土講說此經則沙門弟子及國邑人民脩行正法多所利益壽命延長富逸安樂於諸福田悉得脩立也(梵語沙門華言勤

息)。
【四法師自利利他益】謂若有國土講說此經其說經之人一切時中身心調適諸人民眾增加守護慈悲平等心無傷害亦今一切眾生誠心皈仰皆悉脩習菩提之行也(梵語菩提華言道)。
論藏華梵四名(出華嚴經疏)
【一摩怛理迦】梵語摩怛理迦華言本母謂及覆論議則能出生一切義理故也。
【二奢薩怛囉】梵語奢薩怛囉華言議論謂評議辯論空有假實等法故也。
【三烏波你舍】梵語烏波你舍華言近說謂從近從畧說經中要義故也。
【四阿毘達磨】梵語阿毘達磨華言對法謂能對所問之法故也。
四一(出法華經文句)
【一理一】理即中道一實相之理也此實相之理諸佛眾生體性平等無有增減但眾生體雖水具全體在迷唯諸佛覺知如實之相棄此實道出應於世要令眾生得此實相故經云是法非思量分別之所能解唯有諸佛乃能知之又云諸佛唯以一大事因緣故出現於世為令眾生開示悟入佛之知見佛之知見即理一也(一大事因緣者即一實相也其性廣博名大諸出世之儀式故名事眾生有此機感故名因佛乘機而應故名緣)。
【二行一】行即所脩一乘之妙行也謂實相之理自非一乘妙行莫能證得故經云正直捨方便但說無上道又云諸有所作常為一事事即是行故名行一也。
【三人一】人即所化之眾生也佛出世之意但為教化菩薩成就佛道盖由機器不純不得已而權施三乘之教漸令入大故至法華即開三乘之權而顯一乘之實三乘之人同是菩薩之人故名人一也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
【四教一】教謂圓頓妙教即一佛乘也如來於前四時隨順機緣不得已而權說諸乘至于法華開顯權即是實故經云十方佛土中唯有一乘法無二亦無三故名教一也(四時者華嚴時鹿苑時方等時般若時也無二者謂無藏教通教之二也無三者謂無藏教通教別教之三也)。
四陀羅尼(出瑜伽師地論)
梵語陀羅尼華言總持謂持善不失持惡不生也又翻遮持謂遮空有二邊之惡持中道之善也。
【一法陀羅尼】謂諸菩薩得念慧力持所聞法經無量時永不忘失是名法陀羅尼。
【二義陀羅尼】謂諸菩薩持所聞無量義趣經無量時永不忘失是名義陀羅尼。

【三呪陀羅尼】呪願也謂諸菩薩獲得如是摠持令其呪願悉皆神驗能除一切眾生種種災患是名呪陀羅尼。
【四忍陀羅尼】忍即安忍謂諸菩薩成就堅固之行於所聞法得精進忍是名忍陀羅尼。
四種秘密(出阿毘曇雜集論)
【一令入秘密】聲聞之人執著空法謂一切法皆空如來為說大乘之法破其執空之見令生勝解得入聖教是名令入秘密。
【二相秘密】如來說一切法皆無自性無生無滅為破諸外道凡夫邪執著有之相是名相秘密。
【三對治秘密】謂如來宣說隱密之教皆是對彼眾生過失而調治之如人有病則應病與藥而治療之即獲安適是名對治秘密。
【四轉變秘密】轉變者轉彼不善而變為善也謂如來說一切隱密名言皆為眾生起散亂心者令生寂靜起顛倒見者令生正見起煩惱者令生清淨是名轉變秘密。
乘戒緩急四句(出華嚴經隨疏演義鈔)
乘戒者乘即佛所說大小乘法也戒即佛所制輕重諸戒也緩者寬緩也急者急切也。
【一乘急戒緩】謂因戒緩故墮於脩羅餓鬼畜生地獄四趣之中由乘急故還得聞法如八部中龍鬼等皆得預會聞法是名乘急戒緩(八部者天龍夜叉乾闥婆阿脩羅迦樓羅緊那羅摩睺羅伽也)。
【二戒急乘緩】謂因戒急故得生人天中雖生人天中由乘緩故不樂聞法是名戒急乘緩。
【三乘戒俱急】謂因戒急故得生人天由乘急故亦得聞法悟道是名乘戒俱急。
【四乘戒俱緩】謂因戒緩故永墮四趣失天人身以乘緩故不得聞法是名乘戒俱緩。
四種瓔珞莊嚴(出大方等大集經)
瓔珞莊嚴者謂菩薩以戒等四法莊嚴法身如世瓔珞莊嚴於身也。
【一戒瓔珞莊嚴】謂菩薩嚴持禁戒於諸眾生無有惡害之心若無惡害之心一切眾生常所樂見身口意業悉令清淨是名戒瓔珞莊嚴。
【二三昧瓔珞莊嚴】謂菩薩於諸眾生運大慈心質直柔軟乃至遠離貪嗔癡行脩習一切三昧是名三昧瓔珞莊嚴(梵語三昧華言正定)。
【三智慧瓔珞莊嚴】謂菩薩心無疑網遠離顛倒知苦斷集證滅脩道戒定慧聚清淨無著觀於世間猶如夢幻觀於法界無有去來是名智慧瓔珞莊嚴。
【四陀羅尼瓔珞莊嚴】梵語陀羅尼華言能持謂菩薩能持諸善法令不散不失又云摠持謂能持善不失持惡不生是名陀羅尼瓔珞莊嚴。
四種三昧(出摩訶止觀)

欲登妙位非行不階行法眾多略言其四梵語三昧華言正定又云調直定眾生心行常不調不直不定入此三昧能調能直能定故名三昧。

【一常坐三昧】常坐三昧者亦名一行三昧文殊般若經以九十日為期獨居靜室跏趺正坐蠲除惡覺捨諸亂想不雜思惟繫緣法界一念法界(繫緣是止一念是觀法法融攝故曰法界)信一切法皆是佛法若坐疲極或疾病所困或睡蓋所覆或宿障發動不能遣却當專稱一佛名號以求加護除經行飲食便利之外時刻相續無須臾廢此之三昧於一期中若能精勤不懈念念無間則能破除障業顯發實相之理矣。

【二常行三昧】常行三昧者亦名般舟三昧梵語般舟華言佛立佛立有三義一佛威力二三昧力三行者本功德力能於定中見十方佛在其前立故名佛立以九十日為期終竟三月身常旋行不得休息口常唱阿彌陀佛心常想阿彌陀佛或先想後唱或先唱後想想唱相繼無令休息此之三昧極能斷除宿障於諸功德最為第一(梵語阿彌陀華言無量壽)。

【三半行半坐三昧】半行半坐三昧者若依方等經七日為期唯誦祖持呪旋百二十币一旋一呪不遲不疾旋竟却坐思惟實相之理若依法華經三七日為期但誦本經故經云其人若行若立讀誦是經若坐思惟是經我乘六牙白象現其人前此等三昧俱是半行半坐也(梵語祖持華言秘要)。

【四非行非坐三昧】非行非坐三昧者前之三種俱用行坐今言非行非坐者雖非行坐實通行坐亦名隨自意三昧謂但於一切時中一切事上隨意用觀不拘限期心存止觀念起即覺是也。

四智(出成唯識論)

【一大圓鏡智】謂如來真智本性清淨離諸塵染洞徹內外無幽不燭如大圓鏡洞照萬物無不明了是名大圓鏡智。

【二平等性智】謂如來觀一切法與諸眾生皆悉平等以大慈悲心隨其根機示現開導令其證入是名平等性智。

【三妙觀察智】謂如來善能觀察諸法圓融次第復知眾生根性樂欲以無礙辯才說諸妙法令其開悟獲大安樂是名妙觀察智。

【四成所作智】謂如來為欲利樂諸眾生故普於十方世界示現種種神通變化引諸眾生令入聖道成本願力所應作事是名成所作智。

四無礙智(亦名四無礙辯出法界次第)

謂菩薩於此四法智慧明了通達無滯故名四無礙智以其辯說融通亦名四無礙辯。

【一義無礙智】謂菩薩了知一切諸法義理通達無滯故名義無礙智。

【二法無礙智】謂菩薩通達一切諸法名字分別無滯故名法無礙智。

【三辭無礙智】謂菩薩於諸法名字義理隨順一切眾生殊方異語為其演說能令各各得解辯說無滯故名辭無礙智。

【四樂說無礙智】謂菩薩隨順一切眾生根性所樂聞法而為說之圓融無滯故名樂說無礙智。

智境四相(出圓覺經略疏)
謂於有所證取之心迤邐淺深有此四相之異故後之三相皆因我相根本而立與金剛般若四相所言不同盖彼於迷妄之心執為四相故也。
【一我相】我相者謂眾生於涅槃之理心有所證而其有所證取之心執著不忘認之為我名為我相經云是故證取方現我體是也(梵語涅槃華言滅度)。
【二人相】人相者比前我相已進一步雖不復認證為我而猶存悟我之心名為人相經云悟已超過一切證者名為人相是也。
【三眾生相】眾生相者比前人相已進一步謂雖已超過我人之相猶存了證了悟之心名眾生相經云但諸眾生了證了悟皆為我人而我人相所不及者存有所了名眾生相是也。
【四壽命相】壽命相者比前眾生相已進一步謂心照清淨於前眾生相中所存了悟之心雖已覺知超過然猶存能覺之知如彼命根潛續於內名壽命相經云覺所了者不離塵故是也(不離塵者謂此覺了之心不離妄塵故也)。
四鏡(出起信論)
鏡以明淨鑑照為義謂真如本覺之性有空有不空有體有用故以四鏡喻焉。
【一如實空鏡】謂真如實相體本空寂離一切妄心境界之相如明鏡無染故名如實空鏡。
【二因熏習鏡】謂真如覺體能作現法之因復能熏習內心而一切境界悉於中現故名因熏習鏡(已上二種明真如在纏故有空不空之義也纏者煩惱業縛也)。
【三法出離鏡】謂真如覺體之法出離煩惱之塵純一明淨故名法出離鏡。
【四緣熏習鏡】緣即所化機緣謂真如覺體出纏之時隨照物機與彼眾生作外緣熏力令其脩習善根故名緣熏習鏡(已上二種明真如出纏從體而起用也)。
四安樂行(出法華文句)
謂身無危險故安心無憂惱故樂身安心樂乃能進行故名安樂行。
【一身安樂行】謂身應當遠離十種之事一遠離豪勢二遠離邪人邪法三遠離凶險嬉戲四遠離旃陀羅五遠離二乘眾妨脩大乘之行故六遠離欲想七遠離不男之人八遠離危害之處九遠離譏嫌之事十遠離畜養既遠離已常好坐禪脩攝其心是名身安樂行(梵語旃陀羅華言屠者二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【二口安樂行】謂口應遠離四種語一不樂說人及經典過二不輕慢謂不倚大乘而輕蔑小乘也三不讚他亦不毀他四不生怨嫌之心善脩如是安樂心故是名口安樂行。

【三意安樂行】謂意應棄四種惡一不嫉諂二不輕罵謂不應以大行而訶罵小行之人也三不惱亂四不爭競為一切眾生平等說法是名意安樂行。
【四誓願安樂行】謂由眾生不聞不知不覺於是起慈悲心誓願為說故經云我得阿耨多羅三藐三菩提時隨在何地以神通力智慧力引之令得住是法中是名誓願安樂行(梵語阿耨多羅三藐三菩提華言無上正等正覺)。
四安樂行(出華嚴經疏)
此四安樂行者乃清凉澄觀國師依法華經安樂行品而立謂涅槃之果名為安樂脩此行者能趣涅槃故名安樂行又住此四行則身靜神定外苦不干故名安樂行(梵語涅槃華言滅度)。
【一畢竟空行】畢竟空行者心境兩忘空有雙會也法華經云行處近處謂以觀照理如理而行名為行處復觀一切法空即近於理名為近處以行處近處終歸於空也。
【二身口無過行】身口無過行者謂身能遠離殺盜等過惡口能遠離妄言綺語等過惡法華經云若讀經時不樂說人長短及經典過是也。
【三心無嫉妒行】心無嫉妒行者謂見人脩善即能隨喜勸脩證入菩提之道遠離嫉害妒忌等行法華經云於後末世法欲滅時受持讀誦斯經典者無懷嫉妒諂誑之心是也(梵語菩提華言道)。
【四大慈悲行】大慈悲行者謂起慈悲心發大誓願願拔眾生之苦與眾生之樂法華經云於在家出家人中生大慈心於非菩薩人中生大悲心是也。
藏教生滅四諦(出天台四教儀集註)
藏教者經律論三藏之教也生滅者此教詮因緣生法有生有滅也四諦者諦即審實之義謂聲聞之人用析空觀諦審苦集滅道之法一一不虛是名藏教生滅四諦(因緣生法者六根為因六塵為緣根塵相對所起之心名為生法析空者析即分析謂分析五陰等法皆空也)。
【一苦諦】苦即逼迫之義有三苦八苦總而言之不入三界生死聲聞之人諦審生死實苦故名苦諦(三界者欲界色界無色界也三苦者苦苦壞苦行苦也八苦者生苦老苦病苦死苦愛別離苦怨憎會苦求不得苦五盛陰苦也)。
【二集諦】集即招集之義謂聲聞之人諦審煩惱惑業實能招集生死之苦故名集諦。
【三滅諦】滅即寂滅謂聲聞之人既厭生死之苦諦審涅槃實為寂滅之樂故名滅諦。
【四道諦】道即能通之義謂聲聞之人諦審戒定慧之道實能通至涅槃故名道諦(梵語涅槃華言滅度)。
通教無生四諦(出天台四教儀集註)
通教者謂通前藏教通後別圓也無生四諦者謂此教三乘之人根利用體空觀體達五陰諸法當體即空如幻如化故云苦無逼迫相集無和合相滅

無生相道不二相也是名通教無生四諦(通前藏教者謂此教鈍根菩薩但證真空之理與前藏教是同也通後別圓者謂此教利根菩薩即於真空之理能知不空證入中道之理與後別圓二教是同也三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

【一苦諦】謂此教三乘用觀巧故審實五陰生死等苦當體即空而無逼迫之相故名苦諦。

【二集諦】謂此教三乘用觀巧故審實惑業之因當體即空了無惑業和合之相故名集諦。

【三滅諦】謂此教三乘用觀巧故審實五陰生死等苦昔本無生今亦無滅故名滅諦。

【四道諦】道即戒定慧之道謂此教三乘用觀巧故審實所破之集能破之道同一真空無有二相故名道諦。

別教無量四諦(出天台四教儀集註)

別教者別前藏通別後圓教也無量四諦者謂此教獨菩薩法菩薩所化眾生既無量其所用法門亦無有量故云苦有無量相十法界果報不同故集有無量相五住煩惱不同故道有無量相恒沙法門不同故滅有無量相諸波羅蜜不同故是名別教無量四諦(別前藏通者此教純是菩薩所脩之法不同藏通二教是三乘共脩也別後圓教者此教所明法門行相隔歷次第不同圓教一切圓融也十法界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界阿脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也五住煩惱者一切見住地惑欲愛住地惑色愛住地惑有愛住地惑無明住地惑也梵語波羅蜜華言到彼岸生死為此岸涅槃為彼岸也)。

【一苦諦】謂此教菩薩諦審十界眾生生死諸苦一一不虛故名苦諦(十界眾生佛亦在列者大論云眾生無上者即佛是也)。

【二集諦】謂此教菩薩諦審十界眾生惑業實能招集生死之苦故名集諦。

【三道諦】謂此教菩薩諦審無量道法實能自利利他故名道諦。

【四滅諦】謂此教菩薩諦審六度之行實能證於涅槃寂滅之理故名滅諦(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。

圓教無作四諦(出天台四教儀集註)

圓教者謂事理無礙法法融攝也無作四諦者大乘菩薩圓觀諸法事事即理無有造作故云陰入皆如無苦可捨塵勞本清淨無集可除邊邪皆中正無道可脩生死即涅槃無滅可證是名圓教無作四諦(陰入皆如者陰即色受想行識五陰也入即六根六塵互相涉入通為十二入也此陰入之法皆言如者如即理也邊邪皆中正者謂空有二邊邪倒之見皆即中正也)。

【一苦諦】謂此教菩薩諦審五陰十二入之法皆即真如實無苦相可捨故名苦諦。

【二集諦】謂此教菩薩諦審一切煩惱塵勞性本清淨實無招集生死之相故名集諦。

【三道諦】謂此教菩薩諦審一切諸法皆即中道離邊邪見實無煩惱之惑可斷亦無菩提之道可脩故名道諦。
【四滅諦】謂此教菩薩諦審生死涅槃體元不二實無生死逼迫之苦可斷亦無涅槃之寂滅〇樂可證故名滅諦。
四勝義諦(出成唯識論)
【一世間勝義】謂於世間五蘊虛妄之法而說真如勝妙之義也(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【二道理勝義】謂聲聞觀苦集滅道四諦之理即是勝妙之義也。
【三證得勝義】謂聲聞證得二空真如之理即是勝妙之義也(二空者人空法空也)。
【四勝義勝義】謂一真法界之理唯有諸佛盡知盡證乃勝義中之最勝義也。
四世俗諦(出瑜伽師地論)
【一世間世俗】俗即習俗謂世間眾生安立舍宅及治生等種種之事皆悉虛假不實也。
【二道理世俗】謂五蘊等法皆是假名安立若依道理一一推窮皆無自體也(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【三證得世俗】謂觀世俗假立之法皆空證得預流等果也(預流者預入聖道之流即初果也)。
【四勝義世俗】謂於世俗假立之法了達勝妙之義也。
四念處(出法界次第)
念即能觀之觀處即所觀之境也謂諸眾生於色受想行識五陰起四顛倒於色多起淨倒於受多起樂倒於想行多起我倒於心多起常倒為令眾生脩此四觀以除四倒故名四念處也。
【一觀身不淨】身有內外己身名內身他人之身名外身此內外身皆攬父母遺體而成從頭至足一一觀之純是穢物眾生顛倒執之為淨而生貪著故令觀身不淨也。
【二觀受是苦】領納名受有內受外受意根受名內受五根受名外受一一根有順受違受不違不順受於順情之境則生樂受於違情之境則生苦受於不違不順生境則生不苦不樂受樂受是壞苦苦受是苦苦不苦不樂受是行苦眾生顛倒以苦為樂故令觀受是苦也(五根者眼根耳根鼻根舌根身根也樂受是壞苦者樂壞則苦生即樂極悲生也苦苦者於苦身上更加苦受故名苦苦行苦者雖是不苦不樂念念心有生滅是故名行苦也)。
【三觀心無常】心即第六識也謂此識心體性流動若麤若細若內若外念念生滅皆悉無常眾生顛倒計以為常故令觀心無常也。
【四觀法無我】法有善法惡法人皆約法計我謂我能行善行惡也善惡法中本無有我若善法是我惡法應無我若惡法是我善法應無我眾生顛倒妄計有我故令觀法無我也。

四正勤(亦名四斷出法界次第)
正則不邪勤則不怠毗婆沙論云斷已生惡法猶如除毒蛇斷未生惡法如預防流水增長已生善如溉(居代切灌也)甘果栽(栽苗也)未生善令生如鑽(祖官切穿也)木出火故名四正勤(梵語毗婆沙華言廣解)。
【一已生惡令永斷】謂五盖等煩惱覆心離五種善根故一心勤精進方便斷除不令更生也(五盖者貪欲盖瞋恚盖睡眠蓋悔盖疑盖也五善根者信根精進根念根定根慧根也)。
【二未生惡令不生】謂五盖等煩惱惡法今雖未生後若生時能遮五種善根故一心勤精進方便遮止不令生也。
【三已生善令增長】謂五種善根已生為令增長故一心勤精進方便脩習令不退失也。
【四未生善令得生】謂五種善根雖未生為令生故一心勤精進方便脩習令得生也。
四正斷(出雜阿含經)
【一斷斷】謂所起惡不善法斷已復生更須精進攝受令不生起斷而又斷是名斷斷。
【二律儀斷】謂堅持戒律慎守威儀斷一切惡是名律儀斷。
【三隨護斷】謂於無漏真實三昧相中隨順守護不令退沒是名隨護斷(無漏者不漏落生死也梵語三昧華言正定)。
【四脩斷】謂已起善法增益脩習令其生長諸不善法自然斷除是名脩斷。
四如意足(出法界次第)
【一欲如意足】欲者希向慕樂莊嚴彼法故名為欲謂凡所脩習一切諸法若無樂欲之心事必不遂若能樂欲所願皆得是為欲如意足(莊嚴彼法者謂脩希向心今四念處身受心法之觀成就也)。
【二念如意足】念者專注彼境一心正住故名念謂若非一心觀法斷絕若能一心所願皆得是為念如意足。
【三精進如意足】精進者無雜曰精無間曰進謂惟專觀理使無間雜故曰精進凡所脩習一切諸法若無精進事必不成若能精進所願皆得是為精進如意足。
【四思惟如意足】思惟者思惟彼理心不馳散也謂凡所脩習若能思惟所願皆得是為思惟如如意足。
四種方便(出起信論)
論問云既說法界一相佛體無二何故不唯念真如復假求學諸善之行荅曰譬如大摩尼寶體性明淨而有鑛(古猛切)穢之垢若不以方便磨治終不得淨故說四種方便(梵語摩尼華言如意)。
【一行根本方便】謂觀一切法自性無生離於妄見不住生死及觀一切法因緣和合業果不失起大悲心攝化眾生不住涅槃以此為行則能出生

一切善法故名行根本方便(因緣者眼耳鼻舌身意六根為因色聲香味觸法六塵為緣緣即緣助謂助於六根能生六識也梵語涅槃華言滅度)。
【二能止方便】止即遮止謂慚愧悔過能止一切惡法不令增長故名能止方便。
【三發起善根方便】謂勤供養禮敬三寶讚歎隨喜勸請諸佛以愛敬三寶淳厚心故信得增長乃能志求無上之道又因三寶護持力故能令業障消除善根增長故名發起善根方便(三寶者佛寶法寶僧寶也)。
【四大願平等方便】謂發廣大誓願盡未來際化度一切眾生皆令究竟入於涅槃故名大願平等方便。
大明三藏法數卷第九

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

四悉檀(出法華文句)
悉徧也檀梵語具云檀那華言施華梵兼稱故名悉檀佛以此四說法徧施一切眾生故名四悉檀也。
【一世界悉檀】世即隔別之義界即界分也蓋由眾生根器淺薄故佛隨其所欲樂聞為之次第分別而說令生歡喜是名世界悉檀。
【二為人悉檀】謂佛欲說法必先觀眾生機器之大小宿種之淺深然後稱其機宜而為說之令生正信增長善根故名為人悉檀。
【三對治悉檀】謂如眾生貪欲多者教觀不淨瞋恚多者教脩慈心愚癡多者教觀因緣為對此等諸病說此法藥徧施眾生故名對治悉檀。
【四第一義悉檀】第一義即理也謂佛知眾生善根已熟即為說法令其得悟聖道是名第一義悉檀。
四攝利益(出大集經)
【一佛攝利益】謂佛攝持眾生令其常得親近諸佛諸魔不得其便故名佛攝利益。
【二天攝利益】謂諸天攝持眾生於說法之處常樂聽受不為他緣所害故名天攝利益。
【三福攝利益】謂福德莊嚴於身有諸相好莊嚴於口凡所演說眾生樂聞莊嚴種姓令生尊貴故名福攝利益。
【四智攝利益】謂以智慧知眾生根性隨宜說法知眾生病苦隨病施藥得大神通遊諸佛土了了通達法界之理是名智攝利益。
涅槃四種大樂(出大涅槃經)
【一無苦樂】○無苦樂者謂無世間之苦樂也世間之樂即是苦因故經云不斷樂者則名為苦以斷樂故則無有苦無苦無樂乃名大樂此即涅槃之大樂也(梵語涅槃華言滅度)。
【二大寂靜樂】謂涅槃之性是大寂靜以其遠離一切憒鬧法故以大寂靜名為大樂此即涅槃之大樂也。
【三大知樂】謂諸佛如來有大智慧於一切法悉知悉見名為大樂此即涅槃之大樂也。
【四不壞樂】謂如來之身非煩惱無常之身猶如金剛不能毀壞身不壞故名為大樂此即涅槃之大樂也。
四種涅槃(出成唯識論)
【一本來自性清淨涅槃】謂真如理隨緣變造一切諸法雖有煩惱垢染而本性清淨具足無量微妙功德無生無滅湛若虛空一切眾生平等共有

與一切法不一不異離一切相無有分別故名本來自性清淨涅槃(梵語涅槃華言滅度)。
【二有餘依涅槃】謂煩惱之障雖滅尚餘欲界五陰之身而為所依故名有餘依涅槃(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【三無餘依涅槃】謂煩惱既盡所餘五陰之身亦滅故名無餘依涅槃。
【四無住處涅槃】謂不住生死不住涅槃窮未來際利樂有情故名無住處涅槃。
華嚴四分(出法寶標目)
【一信分】謂第一會菩提場中說世主妙嚴品至毘盧遮那品名舉果勸樂生信分蓋舉揚如來依正二報難思之果勸勵當機聞而樂欲生其淨信故名信分(梵語菩提華言道梵語毘盧遮那華言徧一切處依正二報者身為正報國土是依報也)。
【二解分】謂第二會普光明殿說十信法第三會忉利天宮說十住法第四會夜摩天宮說十行法第五會兜率陀天宮說十回向法第六會他化自在天宮說十地法第七重會普光明殿說十定等法名脩因契果生解分蓋進脩六位之圓因契證十身之妙果令生勝解故名解分(十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心回向心戒心願心也十住者發心住治地住脩行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也十地者懽喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也十定者普光大三昧妙光大三昧次第遍徃諸佛國土大三昧清淨深入行大三昧知過去莊嚴藏大三昧智光明藏大三昧了知一切世界佛莊嚴大三昧眾生差別身大三昧法界自在大三昧無礙輪大三昧也六位者十住十行十回向十地等覺妙覺也十身者菩提身願身化身力持身相好莊嚴身威勢身意生身福德身法身智身也)。
【三行分】謂第八會普光明殿普賢說離世間一品具二千行法名託法進脩成行分蓋於差別因果之法既生解已今乃寄託前法攝解成行隨舉一行六位頓脩故名行分(二千行法者即普慧菩薩二百問普賢菩薩二千答是也)。
【四證分】謂第九會逝多林說入法界品名依人證入成德分蓋由前大行既具隨事顯理而善財童子歷事善知識隨所見聞無不證入故名證分(梵語逝多華言勝林)。
四種教授(出瑜伽師地論)
【一無倒教授】謂不顛倒宣說法義令其受持讀誦脩學是名無倒教授。
【二漸次教授】謂稱其根機宣說法義先教習小後令入大是名漸次教授。

【三教教授】謂或從如來或從佛弟子所聞正教即如其教不增不減教授他人是名教教授。
【四證教授】謂自己所證之法為欲令他得證方便教授是名證教授。
四種授記(出菩提資糧論)
聖言說與曰授果與心期曰記。
【一未發菩提心授記】謂諸佛世尊觀諸眾生根機利鈍其有具增上信者佛則令其發菩提心而為授記當得作佛是名未發菩提心授記(梵語菩提華言道增上猶增勝也)。
【二共發菩提心授記】謂諸菩薩善根成熟得增上行但欲度脫一切眾生同諸眾生共發菩提心誓願同成正覺蒙佛授記是名共發菩提心授記。
【三隱覆授記】謂此人脩行精進固當授記恐其自聞授記則志滿足不復更發精進之心如不授記復恐眾人生疑而謂此人脩行精進不蒙授記故佛以威神之力密為授記當得作佛使他人聞不使其自聞是為隱覆授記。
【四現前授記】謂諸菩薩成熟出世善根得不動地即時蒙佛授記是為現前授記。
四種真實義(出菩薩善戒經)
【一世流布真實義】謂世間之法悉同其名眾生見地即言是地見火即言見火終不言是水是風至於見苦終不言樂見樂終不言苦雖假名立相而稱認皆同是為世流布真實義。
【二方便流布真實義】謂世間有智之人先以心意籌量隨宜方便造作經書論議開導於人是為方便流布真實義。
【三淨煩惱障真實義】謂聲聞緣覺以無漏道破諸煩惱結業得無礙智是為淨煩惱障真實義。
【四淨智慧障真實義】謂佛菩薩於聲聞緣覺所得無礙之智以能障中道之理不能顯發故名智慧障今佛菩薩斷此之障則中道之理自然顯現是為淨智慧障真實義。
四種對治(亦名四道出阿毘達磨俱舍論)
對即敵對治即攻治譬如人有此病即用此藥治之故名對治。
【一厭患對治】謂眾生見欲界生死之苦煩惱惑業之集深生厭惡起大加行脩於聖道對治苦集故名厭患對治。
【二斷對治】謂眾生知一切煩惱惑業能招生死之苦於是脩無間道斷除惑業故名斷對治(無間道者觀道相續無有間斷也)。
【三持對治】謂從無間道後起解脫道則能攝持所斷煩惱不令更起故名持對治(解脫道者不繫名解自在名脫謂解脫一切惑業之縛也)。
【四遠分對治】謂從解脫道後起勝進道能令所斷之惑永永遠離故名遠分對治(勝進道者猶增進之意也)。

同教說聽四句(出華嚴經疏)
同教者謂會三乘歸一乘也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
【一唯說無聽】謂佛真心外無別眾生以眾生真心即佛真心故故所說教唯佛所現是名唯說無聽。
【二唯聽無說】謂眾生心外更無別佛以佛真心即眾生真心故故所說教即眾生自現是名惟聽無說。
【三說聽雙全】謂佛真心現時不礙眾生真心現故是名說聽雙全。
【四說聽雙寂】謂佛即眾生故非佛眾生即佛故非眾生互奪雙亡則說聽雙寂故淨名經云其說法者無說無示其聽法者無聞無得是也。
別教說聽四句(出華嚴經疏)
別教者圓融具德異前諸教。
【一唯說無聽】謂眾生全在諸佛心中故則果門攝法無遺故所說教唯佛所現是名惟說無聽。
【二惟聽無說】謂佛全在眾生心中故則因門攝法無遺故所說教即眾生心容自現是名唯聽無說。
【三說聽雙存】謂生佛互在則因果交徹故眾生心中之佛為佛心中之眾生說法佛心中之眾生聽眾生心中之佛說法是名說聽雙存。
【四說聽雙寂】謂眾生全在佛則同佛非生佛全在眾生則同生非佛兩相形奪二位齊融則佛心中之眾生無聽眾生心中之佛無說是名說聽雙寂。
起信四覺(出起信論)
【一本覺】謂一切眾生自性清淨心源離於妄念即寂而照等虛空界無所不徧法界一相即是如來平等法身故名本覺。
【二相似覺】謂圓教十信位中由始覺之功見思麤惑既已斷竟尚餘無明細惑未破所覺之理非真本覺唯得名為相似故名相似覺(十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心回向心戒心願心也)。
【三隨分覺】謂圓教十住十行十回向十地等覺位中分破無明之惑故得分分是真本覺故名隨分覺(十住者發心住治地住脩行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。
【四究竟覺】謂圓教極果妙覺位中無明之惑既盡本覺之體全彰得心見性心即常住是名究竟覺。
四德處(出成實論)
論云若近善人則聞正法聞正法已則具四德處。
【一慧德處】謂由聞正法生大智慧故名慧德處。

【二實德處】謂以是智慧見真諦空故名實德處。
【三捨德處】謂見真空即得離諸煩惱故名捨德處。
【四寂滅德處】謂煩惱盡故心得寂滅故名寂滅德處。
四法施(出寶積經)
法施者謂如來以此四法施諸眾生令依此法脩證不起邪見也。
【一一切萬物皆歸無常】謂眾生愚惑不知世間有情無情等物悉皆有生有滅有成有壞畢竟無常而反計有常如來說法為斷此計故曰一切萬物皆歸無常。
【二一切所有悉為苦毒】謂眾生愚惑不知五陰等法是眾苦之本計想有樂如來說法為斷此計故曰一切所有悉為苦毒(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【三一切諸法皆無有我】謂眾生愚惑不了一切法空計著有我如來說法為斷此計故曰一切諸法皆無有我。
【四一切有形悉至於空】謂眾生愚惑不知一切有形相者終歸於空反計為有如來說法為斷此計故曰一切有形悉至於空。
四無記(出宗鏡錄)
謂不能記別當來之果又於善惡法中無所記別故名無記。
【一能變無記】謂第八識心王是無記性與心所五法相俱則能變現色等一切境界而無所分別故名能變無記(五法者一作意二觸三受四想五思是名徧行五法即第八識心所法也)。
【二所變無記】謂根身種子器世間三類之境皆由本識之所變現以此三境無分別性故名所變無記。
【三分位無記】謂於不相應行中假無記法立諸分位由此諸法不屬善惡不與心相應不與色相應無所記別故名分位無記。
【四勝義無記】謂虛空無為非擇滅無為有勝義故而無所作為故名勝義無記(虛空無為者謂真空之理不為惑染之所障礙也非擇滅無為者聲聞之人證果之後諸惑不復續起自然契悟真空之理不假揀擇也)。
賴耶四分(出翻譯名義)
梵語阿賴耶華言藏識謂第八識能含藏一切善惡種子而有此四分之義焉。
【一相分】相即形相有三種一境相名相謂此識能與根心而為境界故二相狀名相謂世間有為之法皆有相狀惟是此識之所變現故三義相名相即能詮教下所詮義理之相亦是此識之所變現故此之三相通名相分(根心者謂眼識耳識鼻識舌識身識意識也)。
【二見分】見即照了之義有五種一證見名見即根本智見分是也二照燭名見此通根心俱有照燭義故三能緣名見即通內三分俱能緣故四念解名見以念解所詮義理故五推度名見即比量心推度一切境故此五種見通名見分(根本智者即第八識也內三分者即見分自證分證自證分也)。

【三自證分】自證者自證所具之法也謂此識能持見分相分以能親證自見分故緣於相分不謬是名自證分。
【四證自證分】證即能證之體自證即所具之法謂能持前自證分見分相分即是此識之本體以能親證自證分故緣見分不謬是名證自證分。
四種意識(出宗鏡錄)
四種意識不出三境一性境二帶質境三獨影境性境者謂意識與眼耳鼻舌身五識同緣五塵初心取境未有分別是名性境意識於五塵境上分別方圓長短好惡以有塵相可分別故是名帶質境意識不與五識同緣而獨緣法塵謂緣過去未來變現之相或緣空華水月等相以無境可對是名獨影境也(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【一定中獨頭意識】謂意識獨緣定境不與五識同緣而無一切塵境作對是名定中獨頭意識。
【二散位獨頭意識】謂意識不緣五塵之境但散亂徧計諸法或緣空華水月等諸色相或緣過去現在未來一切諸法此非定中又非夢境是名散位獨頭意識。
【三夢中獨頭意識】謂不對諸塵而於夢中見種種境界此亦心王性境變現而有諸相是名夢中獨頭意識。
【四明了意識】謂意識依五根與五識同緣五塵明了取境好惡長短悉皆現前是名明了意識。
識境四相(出金剛經論)
謂眾生於此四法不了虛假而於心識之境妄生邪見執著取相故名識境四相。
【一我相】謂眾生於五陰法中若即若離計我我所之實是名我相(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也若即若離者謂計即陰是我離陰是我也我我所者我即假名我所即五陰也)。
【二人相】謂眾生於五陰法中妄計我是人我生人道異於餘道是名人相。
【三眾生相】謂眾生於五陰法中妄計色受想行識眾共而生此身是名眾生相。
【四壽者相】謂眾生於五陰法中妄計我受一期壽命或長或短是名壽者相(一期者謂從生至死也)。
四緣(出大智度論)
【一因緣】謂六根為因六塵為緣也如眼根對於色塵時識即隨生餘根亦然是名因緣(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【二次第緣】謂心心所法次第無間相續而起名次第緣(心心所法者心即心王心所即受想行也此心王心所對於諸塵念念不停是名次第相續也)。

【三緣緣】謂心心所法由託緣而生還是自心之所緣慮名為緣緣(託緣者謂依託色聲香味觸法之緣也)。
【四增上緣】謂六根能照境發識有增上力用諸法生時不生障礙名增上緣(諸法生者謂根塵相對則有一念心起名諸法生不生障礙者根塵相對之時隨對隨起悉無所障也)。
四相約位(出圓覺經畧疏)
四相即生住異滅也此之四相乃是本覺心源無明初起一念之相而有四種之別以其細微難見故約信住行向地等覺妙覺從淺至深次第覺了麤細分齊之相以明之此之四法起則從生至滅覺則從滅至生故以滅異住生而為次第也。
【一十信覺滅相】十信覺滅相者謂菩薩脩行證此信位則能覺了心中念念滅相分齊也(十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心回向心戒心願心也)。
【二三賢覺異相】三賢覺異相者三賢即十住十行十回向也謂菩薩脩行證此三賢位則能覺了心中念念異相分齊也(異者變異也十住者發心住治地住脩行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也)。
【三十聖覺住相】十聖覺住相者十聖即十地也謂菩薩脩行證此十聖位則能覺了心中念念住相分齊也(住者現起未滅之心也十地者懽喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。
【四位滿覺生相】位滿覺生相者位滿即佛位果滿也謂大菩薩脩行滿足證佛果位則能覺了心中一念初生之相分齊也。
四種頌(出華嚴經疏)
【一阿耨窣覩婆】梵語阿耨窣(蘇骨切)覩婆華言頌謂此頌不用長行與偈但字數滿三十二字即為一頌也(長行者即經中散文也)。
【二伽陀】梵語伽陀華言諷頌或名不頌頌謂不頌長行也或名直頌謂直以偈說法也。
【三祇夜】梵語祇夜華言應頌謂應前長行而頌也。
【四縕馱南】梵語縕(音蘊)馱南華言集施謂以少言攝集多義施令他人誦習受持也。
四聖言(出阿毘達磨集異門足論)
四聖言者聖正也即正直之言也。
【一不見言不見】謂眼識所受眼識所了則可言見若實眼識未受未了則不可言見是名不見言不見。
【二不聞言不聞】謂耳識所受耳識所了則可言聞若實耳識未受未了則不可言聞是名不聞言不聞。

【三不覺言不覺】謂鼻覺香舌覺味身覺觸也若鼻識舌識身識所受所了則可言覺若實三識未受未了則不可言覺是名不覺言不覺。
【四不知言不知】謂意識所受意識所了則可言知若實意識未受未了則不可言知是名不知言不知。

四種尋思(出阿毘達磨集論)

【一名尋思】謂於諸法之中推求一切名字皆悉不實是為名尋思。
【二事尋思】謂於諸法之中推求五陰等事生滅無常皆悉不實是為事尋思(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【三自體假立尋思】謂於諸法能詮名字及所詮義理中推求自體惟是假立名言皆悉不實是為自體假立尋思。
【四差別假立尋思】謂於諸法能詮之中推求差別惟是假立名言皆悉不實是為差別假立尋思。

真空觀四句(出華嚴經隨疏演義鈔)

真空者法界之理也依理而觀故名真空觀。
【一會色歸空】會即融會色即根身世界也謂根身世界本是真如一心與生滅和合而有今觀此色都無實體歸於真心之空故云會色歸空(根者謂眼等諸根身即色身也)。
【二明空即色】明即明了謂了真空之理不異於色色無自性不異於空故云明空即色。
【三色空無礙】謂色之體全是真空真空之體不異於色若色是實色即礙於空空是斷空即礙於色今既色是幻色故不礙空空是真空故不礙色故云色空無礙。
【四泯絕無寄】泯即亡泯絕即寂絕寄猶依也謂所觀真空之理不可言即色是空亦不可言離色是空空不空皆不可得非言思所及亦無所依故云泯絕無寄。

共不共四變(出宗鏡錄)

問云本識變現根身器世間等為是自變為是共變答有四種不同也(本識即藏識也)。
【一不共中不共變】謂如眼等五根唯自己第八識中最初一念託父母遺體時變現名不共出胎之後唯自己受用復名不共如眼識惟依眼根而發乃至身識唯依身根而發不相混雜是為不共中不共變。
【二不共中共變】謂內浮塵根初唯自己第八識變現名不共變生已後他人亦有受用之義復名為共是為不共中共變(浮塵根者謂眼耳等諸根皆由色香味觸四塵所成故名浮塵楞嚴經云眼如蒲萄朵等是也他人受用者謂自己浮塵根能見之境他根亦能見而亦得同受用也)。
【三共中共變】謂如山河大地由多人之識同所變現名之為共變已亦與一切同用復名為共是名共中共變。

【四共中不共變】謂如己田宅不與人共又如一水人見是水餓鬼見是猛火膿血等物是名共中不共變。

四榮(亦名凡夫四倒出涅槃經并宗鏡錄)

四榮者佛於拘尸那城娑羅雙樹間入滅東西南北各有雙樹每面雙樹一榮一枯故名四榮四枯以表凡夫二乘常無常等八倒也此四榮正表凡夫四倒而言榮者以凡夫由此四倒增長惑業有榮茂之義故名四榮也(梵語拘尸那華言角城梵語娑羅華言堅固樹間入滅者謂雙樹中間用表非常非無常即中道也二乘者聲聞乘緣覺乘也)。

【一非常計常】謂凡世間一切有為等事皆悉無常虛幻不實豈能長久凡夫妄計是常即成常顛倒。

【二非樂計樂】謂世間五欲之樂皆是受苦之因凡夫不了妄計為樂即成樂顛倒(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。

【三非我計我】謂此身皆因四大假合本無有我若一大是我三大應非我若四大俱是我應有多我畢竟是誰為我故知我不可得凡夫不了於自身中強作主宰妄計為我即成我顛倒(四大者地大水大火大風大也)。

【四不淨計淨】謂己身他身具有五種不淨凡夫不了妄生貪著執以為淨即成淨顛倒(五種不淨者種子不淨住處不淨自體不淨外相不淨究竟不淨也)。

四枯(亦名二乘四倒出涅槃經并宗鏡錄)

四枯者表二乘四倒也所言枯者以二乘觀無常苦空無我等則煩惱有朽滅不生之義故名為四枯也(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。

【一常計無常】常者即法身常住之義無常者即變異也謂聲聞緣覺為無明之惑所覆於如來常住法身中妄計有變異相是為無常顛倒。

【二樂計非樂】樂者即涅槃清淨之樂非樂者即苦義謂聲聞緣覺為無明之惑所覆於如來涅槃清淨樂中妄計是苦是為非樂顛倒。

【三我計無我】我者即佛性真實之我也無我者謂佛性中無有我也謂二乘為無明之惑所覆不了無我法中而有真我故於佛性真我之中妄計無我是為無我顛倒。

【四淨計不淨】淨者即是如來常住之身非雜食身非煩惱身非血肉身非是筋骨纏縛之身不淨者二乘為無明之惑所覆但觀世間一切諸色皆為不淨不了如來常住之淨是為不淨顛倒。

四種性行(出佛本行集經)

【一自性行】經云若諸菩薩本性已來賢良質直順父母教信敬沙門及婆羅門善知家內尊卑親踈恭敬承事無失具足十善復更廣行其餘善業是名菩薩自性行(梵語沙門華言勤息梵語婆羅門華言淨行十善者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不嗔恚不邪見也)。

【二願性行】經云若諸菩薩發如是願我於何時當得作佛十號具足是名菩薩願性行(十號者一如來二應供三正徧知四明行足五善逝六世間解無上士七調御丈夫八天人師九佛十世尊也)。

【三順性行】經云若諸菩薩隨順脩行六波羅蜜是名菩薩順性行(梵語波羅蜜華言到彼岸謂脩布施持戒忍辱精進靜慮智慧六度之行到涅槃彼岸是為六波羅蜜也)。
【四轉性行】經云如我供養然燈世尊依彼因緣讀誦經典轉凡成聖是名菩薩轉性行(如我者釋迦如來自謂也)。
四不可說(出金光明經玄義拾遺記)
涅槃經中明四教之理但可智證不可言說以其理本無說故也(四教者藏教通教別教圓教也)。
【一生生不可說】生生者能生所生也謂根塵相對是為能生由此根塵相對之時一念心起分別好惡是為所生即心法也能所兼言故名生生此是藏教所詮實有生滅之法法雖生滅理本無言故云不可說也。
【二生不生不可說】生者即前根塵相對所生之法也不生者了此所生之法當體即空也既達所生之法本空故云生不生也此是通教所詮之理理本無言故云不可說也。
【三不生生不可說】不生者即真空之理也生者從空出假而起度生之用也此言別教之人於十住位中脩習空觀了法無生故云不生而又不住於空復於十行中而脩假觀起十界度生之用故復云生也此是別教所詮之理理本無言故云不可說也(十住者發心住治地住脩行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界阿脩羅界鬼界畜生界地獄界也)。
【四不生不生不可說】謂理本不生事即理故事亦不生是名不生不生又惑體本空故不生智用亦泯故不生是名不生不生又無因可脩故不生無果可證故不生是名不生不生此是圓教所詮之理理本無言故云不可說也。
翻譯四例(出翻譯名義)
【一翻字不翻音】翻字不翻音者謂如諸呪字是此方之字音是彼土之音是也。
【二翻音不翻字】翻音不翻字者謂如卍字以此方萬字之音翻之而卍字之體猶存梵書是也。
【三音字俱翻】音字俱翻者謂諸經文音與字二者皆就此方言音字體翻之是也。
【四音字俱不翻】音字俱不翻者謂西來梵夾音與字二者未經此方翻譯是也。
阿難四問(出涅槃經後分)
佛將入滅語阿難大眾言我滅度後汝當精勤教誡我諸眷屬早求出離此生空過後悔無追時阿難聞佛語已悲哽嗚咽舉體迷悶時阿泥樓豆安慰阿難曰如來滅度時至今日則有明旦則無汝依我語諮啟四問阿難問已

佛言汝致四問為最後問大能利益一切世間汝等諦聽吾當為說(梵語阿難華言慶喜梵語阿泥樓豆又名阿㝹樓馱即阿那律華言如意謂於過去九十一劫天人之中受如意樂故名如意)。
【一佛滅度後惡性車匿云何共住】佛答言車匿比丘其性鄙惡我滅度後汝當依我教法調伏其心捨本惡性不久自當得證道果(車匿無翻西域記云正音闡釋迦亦釋種太子出家令車匿牽捷陟捷陟馬名譯云納)。
【二佛滅度後我等以何為師】佛答言汝問以何為師者當知尸波羅戒是汝大師依之脩行能得出世甚深定慧(梵語尸波羅華言戒)。
【三佛滅度後我等依何法住】佛答言汝問依何法住者當知依四念處嚴心而住一觀身性相同於虛空名身念處二觀受不在內外不住中間名受念處三觀心但有名字名字性離名心念處四觀法不得善法不得不善法名法念處一切比丘應當依此四念處住(觀受者受即領納之義謂眼耳鼻舌身意六根領納色聲香味觸法六塵之境也不在內外者心不在六根名內不在六塵名外根塵之中名為中間)。
【四一切經初當安何語】佛答言汝問一切經初當安何語者當知如來滅後結集法藏一切經初當安如是我聞一時佛住某方某處與某等大眾而說是經。
化儀四教(出天台四教儀)
化儀者如來出世一代化物之儀式也。
【一頓教】謂不談小乘直說大法故名頓教即華嚴經也。
【二漸教】漸即漸次有漸初漸中漸末之不同謂如來初於鹿苑破斥邪法建立正教專為二乘此名漸初即阿含經也次於方等會上彈斥二乘小機令其歸向大法此名漸中即淨名等經也後於般若會上廣談空慧之法淘汰二乘執小之情會一切法皆歸大乘此名漸末即般若經也如是自淺至深次第而進故名漸教(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【三秘密教】謂如來不思議智慧神通之力能令大眾同會聽法所聞各異彼不知此此不知彼隱密赴機故名秘密教。
【四不定教】不定者謂如來不思議智慧神通之力能令聽法之眾或聞小法而證大果或聞大法而證小果彼此相知得益不定故名不定教。
化法四教(出天台四教儀)
化法者佛化眾生之方法也。
【一藏教】藏即含藏之義謂經律論各含一切文理故名藏教。
【二通教】謂通前藏教通後別圓故名通教(通前藏教者謂此教鈍根菩薩雖觀無生四諦但證真空之理與前藏教是同也通後別圓者謂此教利根菩薩證真空之理時能於真空了達不空即入後之別教若知空不空具一切法即入後之圓教也)。
【三別教】別即隔別不同之義謂別前藏通別後圓教故名別教(別前藏通者謂此教獨被菩薩不涉二乘所脩也別後圓教者謂此教所談法門行相隔歷次第而不圓融也)。

【四圓教】圓即不偏之義謂此教所詮中道之理性相圓融事理無礙法法具足故名圓教。

龍樹四教(出華嚴經隨疏演義鈔)

龍樹論師乃西天第十三祖嘗立四教判釋經論故云龍樹四教也。

【一有門】謂阿含小乘等經說一切因果之法悉皆實有是為有門(梵語阿舍華言無比法)。

【二空門】謂大品般若等經說真空實相之理蕩除眾生情執是為空門(梵語般若華言智慧)。

【三亦有亦空門】謂深密等諸大乘經說有談空互相無礙是為亦有亦空門。

【四非有非空門】謂中論等說一切法皆即空之有是非有即有之空是非空互泯互融即第一義是為非有非空門。

苑公四教(出華嚴經疏)

苑公唐賢首藏法師弟子也因寶性論有四種眾生不識如來藏遂立四教焉(四種眾生者一凡夫二聲聞三辟支四初心菩薩也)。

【一迷真異執教】謂諸外道凡夫迷於真性廣起異計故云迷真異執教。

【二真一分半教】謂聲聞辟支二人於真如隨緣不變二分義中但得隨緣不得不變故名一分於隨緣分中唯說生空所顯之理不說法空故名為半合而言之故云真一分半教(隨緣不變者即真如之理隨染淨緣變造諸法而其本體則不變易也生空即人空也)。

【三真一分滿教】謂初心菩薩但得不變不得隨緣故名一分於不變分中雙辯二空之理故名為滿合而言之故云真一分滿教(二空者人空法空也)。

【四真具分滿教】謂菩薩由具隨緣不變二分之義顯真實理識如來藏故云真具分滿教。

曉公四教(出華嚴經疏)

唐元曉法師海東新羅人來此弘宗亦立四教判釋諸經故稱曉公四教焉。

【一三乘別教】謂如四諦緣起經等聲聞緣覺菩薩三乘之所共學於中二乘未明法空即是別相故云三乘別教。

【二三乘通教】謂如般若深密經等聲聞緣覺菩薩三乘之所共學於中說諸法空即是通相故云三乘通教。

【三一乘分教】謂如梵網經等菩薩不與二乘共學名為一乘於中永顯法之周普名為隨分故云一乘分教。

【四一乘滿教】謂如華嚴經等其中具明法界之理圓融周普故云一乘滿教。

四不生(出中論)

龍樹菩薩造中觀論云因諸外道計一切法或從自生或從他生或從自他共生或從無因生故說偈破云諸法不自生亦不從他生不共不無因是故知無生。

【一不自生】自即六根謂根塵相對則有一念心起若無所對六塵則一念之心畢竟不生故名不自生(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。

【二不他生】他即六塵謂雖有六塵若無六根相對則一念之心亦畢竟不生故名不他生。

【三不共生】謂六根六塵和合名之為共前云不自生則是根不能生又云不他生則是塵不能生根塵各各既不能生根塵相共又焉得生故名不共生。

【四不無因生】謂不因根塵而生也既離根塵則一念心無有生處故名不無因生。

四種問答(出十住毘婆沙論)

【一定答】謂決定以實答也如一比丘問佛云色受想行識常不變異否佛答言無有色受想行識常不變異蓋言五陰之法本空實非常不變異是名定答(梵語比丘華言乞士五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

【二分別答】謂分別果報而答也如梵志問佛云人作身口意業受何果報佛答言若作苦業即受苦報若作樂業即受樂報若作不苦不樂業即受不苦不樂報是名分別答(梵語梵志華言淨裔)。

【三反問答】謂反問於他而使其答也如先梵志問佛已佛言我還問汝隨汝意答色是如來否受想行識是如來否梵志答曰非也佛又問云離色受想行識是如來否梵志又答言非也蓋如來之法不即五陰不離五陰梵志不達故皆答言非也是名反問答。

【四置答】謂棄置而不答也如外道或計世間常世間無常世間亦常亦無常世間非常非無常世間有邊世間無邊世間亦有邊亦無邊世間非有邊非無邊又計如來滅後有如來滅後無如來滅後亦有亦無如來滅後非有非無然如來實無此理凡若此問佛皆置而不答是名置答。

四病(出圓覺經疏)

【一作病】作者即生心造作之謂也謂若有人言我於本心作種種行欲求圓覺彼圓覺性非作得故說名為病。

【二任病】任者即隨緣任性之謂也謂若有人言我等今者不斷生死不求涅槃任彼一切欲求圓覺彼圓覺性非任有故說名為病。

【三止病】止者即止妄即真之謂也謂若有人言我今永息諸念寂然平等欲求圓覺彼圓覺性非止得故說名為病。

【四滅病】滅者即寂滅之謂也謂若有人言我今永滅一切煩惱身心根塵虛妄境界一切永寂欲求圓覺彼圓覺性非滅相故說名為病。

大四相(出大乘起信論疏)

大四相者此就始終一期受報而言也(一期者謂從生至死也)。
【一生相】謂一念托胎十月滿足此身即生是為生相。
【二住相】謂既出胎已住於世間是為住相。
【三異相】謂少則顏紅體潤老則髮白面皺是為異相(皺側救切)。
【四滅相】謂業盡命終身亦壞滅是為滅相。
小四相(出大乘起信論疏)
小四相者此就一念而論也。
【一生相】謂以根對塵一念心生是為生相(根即眼耳鼻舌身意六根也塵即色聲香味觸法六塵也)。
【二住相】謂一念之心蹔爾相續是為住相。
【三異相】謂一念之心初後不同是為異相。
【四滅相】謂塵境既忘心念亦滅是為滅相。
光宅四乘(出華嚴經疏)
光宅者梁光宅寺雲法師也立四乘教謂臨門三車為三乘即權教也四衢所授大白牛車為第四乘即實教也。
【一羊車】謂聲聞之人以枳空觀觀於生滅四諦破見思煩惱證真諦理得離三界生死如乘羊車出於火宅故法華經云為求羊車出於火宅是也(枳空觀者謂於五陰等法觀察分枳離其著心也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也三界者欲界色界無色界也)。
【二鹿車】謂緣覺之人以枳空觀觀十二因緣生滅破見思煩惱覺了真諦之理得離三界生死如乘鹿車出於火宅故法華經云為求鹿車出於火宅是也(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。
【三牛車】謂三藏教菩薩發四弘誓脩六度行化導眾生同出三界生死究竟至於真空涅槃如乘牛車出於火宅故法華經云為求牛車出於火宅是也(三藏者經藏律藏論藏也四弘誓者眾生無邊誓願度煩惱無數誓願斷法門無量誓願知佛道無上誓願成六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也梵語涅槃華言滅度)。
【四大白牛車】謂大乘菩薩以圓融三觀觀於諸法實相之理頓破無明煩惱而成一切種智如乘大白牛車至於寶所故經云有大白牛肥壯多力行步平正其疾如風是也(三觀者空觀假觀中觀也一切種智者佛智也寶所者喻實相之理也)。
生公四輪(出華嚴經隨疏演義鈔)
生公者即羅什法師之弟子也立此四輪者輪有摧滅之義能摧滅眾生惑業而超出三界也(三界者欲界色界無色界也)。
【一善淨法輪】謂脩五戒十善之法摧滅四惡趣業而得天人果報是為善淨法輪(五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也十善者不殺不盜

不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不嗔恚不邪見也四惡趣者脩羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。

【二方便法輪】謂脩四諦十二因緣方便之道而證二乘之果是為方便法輪(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。

【三真實法輪】謂脩中道實相之觀摧滅無明煩惱之業而證一乘佛果是為真實法輪。

【四無為法輪】謂脩三德妙觀摧滅五住煩惱而證涅槃無為之果是為無為法輪(三德者法身德般若德解脫德也五住煩惱者見惑為一住思惑分三住塵沙無明惑合為一住因此五者住著三界故名住也)。

文義四用(出法華文句記)

【一有文有義常人用之】謂凡立言立論有文字可證據有義理可依憑此尋常之人皆能用故云常人用之。

【二無文有義智人用之】謂凡立言立論雖無文字可證據而有義理可依憑此唯智者能用故云智人用之。

【三有又無義暗者用之】謂凡立言立論雖有文字可證據而無義理可依憑此暗昧之人不明義理而強自用故云暗者用之。

【四無大無義迷者用之】謂凡立言立論既無文字可證據又無義理可依憑此愚迷之人不了文義而強自用故云迷者用之。

大明三藏法數卷第十

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

四眾(出法華文句)
【一發起眾】發起眾者開端發起之眾也謂激揚發動使如來有所說使大眾有所聞乃至發起問荅等是也。
【二當機眾】當機眾者當座之機眾也謂宿植德本緣合時熟不起于座聞即得道也(植者種也德本者眾善之根本也)。
【三影響眾】影響眾者謂古徃諸佛菩薩隱其圓極之果示同機眾匡輔法王如影之隨形響之應聲又如眾星遶月雖無作為而有大益也(佛梵語具云佛陀華言覺菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情匡者正也輔者助也言古佛菩薩隱大現小而來匡輔釋迦法王也)。
【四結緣眾】結緣眾者謂結聞法因緣之眾也蓋由過去根淺三慧不生現世雖見佛聞法而未能獲益但作未來得度因緣也(三慧者聞慧思慧脩慧也)。
四衍眾(衍者乘也出翻譯名義)
【一聲聞】謂聞佛聲教依四諦法脩道證真是名聲聞(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【二緣覺】謂稟佛教法觀十二因緣覺真諦理是名緣覺(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。
【三菩薩】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂自行成就則能覺悟一切有情眾生是名菩薩。
【四佛】佛梵語具云佛陀華言覺覺具三義一者自覺謂悟性真常了惑虛妄二者覺他謂運無緣慈度有情眾三者覺行圓滿謂歷劫脩因行滿果圓是名為佛(無緣慈者謂無心攀緣一切眾生而能自然現益也)。
人四依(出法華玄義)
依即依止也謂從五品位至等覺菩薩堪為世間眾生之所依止能令眾生聞法開解脩行證果故名人四依(五品位者隨喜品讀誦品說法品兼行六度品正行六度品也)。
【五品十信為初依】五品十信皆圓教位次也謂此位之人觀慧明了達如來秘密之藏能令眾生聞法開解脩行證果而可依止故為初依也(十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心回向心戒心願心也)。
【十住為二依】十住亦圓教位次也謂此位之人惑破理顯功用轉深能令眾生聞法開解脩行證果而可依止故為二依也(十住者發心住治地住脩行住生貴住具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也)。
【十行十回向為三依】十行十回向亦圓教位次也謂此位之人無明漸盡利祐轉深能令眾生聞法開解脩行證果而可依止故為三依也(十行者

懽喜行饒益行無瞋恨行無盡行離癡亂行現前行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也）。

【十地等覺為四依】十地亦圓教位次也等覺者去後妙覺位猶有一等故名為等勝前諸位故稱為覺即最後心菩薩也謂此菩薩漸盡無明之源將滿圓極之果勝用具足能令眾生聞法開解脩行證果而可依止故為四依也（十地者懽喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也）。

菩薩四事入於法門（出大寶積經）

【一入禪思門】謂菩薩說法開導眾生必先入定思惟觀其根器或大或小大者即說大法小者即說小法方便隨宜稱機合道是為入禪思門（菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情）。

【二入智慧門】謂菩薩說法以智慧照了於諸章句義理通達無礙悉令一切眾生悟解明了破諸癡暗生法喜心是為入智慧門。

【三入總持門】謂菩薩入諸善法持令不忘遮諸惡法持令不生於諸眾生運大慈與樂之心即持善也起大悲拔苦之心即遮苦也是為入總持門。

【四入辯才門】謂菩薩於諸佛法之義分明決了辯說無礙開發一切眾生之心令得皆入正道是為入辯才門。

菩薩四淨（出菩薩善戒經）

【一身淨】謂菩薩斷除惑業身器清淨成無上道生滅自在是名身淨（菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情）。

【二緣淨】謂菩薩為攝化眾生故現種種神通出沒自在諸緣無礙是名緣淨。

【三心淨】謂菩薩脩習梵行離諸煩惱於一切法不生取著之心是名心淨。

【四智淨】謂菩薩善知世間出世間之法得清淨智無有罣礙是名智淨。

四種自在（出大乘莊嚴經論）

【一得無分別自在】謂菩薩住第八不動地即捨一切功用之行得無功用法於一切法遠離一切分別之想而得自在故名得無分別自在（不動地者以無生智慧捨於三界性無動移故也）。

【二得剎土自在】謂菩薩住不動地深心清淨於諸剎土亦得清淨出生自在故名得剎土自在（剎梵語具云剎摩華言土田即國土也）。

【三得智自在】謂菩薩住第九善慧地得無礙智慧演說諸法稱理自在故名得智自在（善慧者謂已得真如之體顯發真如妙慧也）。

【四得業自在】謂菩薩住第十法雲地於諸煩惱業縛悉能通達更無障礙故名得業自在(法雲地者謂菩薩以大慈悲普覆一切眾生如雲之普覆萬物也)。

四無所畏(出大智度論)

無所畏有二種一佛無所畏二菩薩無所畏今此四無所畏皆言菩薩也蓋菩薩具諸智慧明了決定而於眾中說法則無恐畏之相故名無所畏(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【一能持無所畏】能持者謂菩薩聞一切法常能受持憶念不忘故於眾中說法得無所畏也。

【二知根無所畏】知根者謂菩薩知一切眾生諸根利鈍隨其所應而為說法故於眾中說法得無所畏也。

【三決疑無所畏】決疑者決剖一切眾生之疑難也謂凡有一切來難問者菩薩悉能如法剖決而答故於眾中說法得無所畏也。

【四答報無所畏】答報者以言辭應答酬報其所問也謂凡一切眾生聽受問難菩薩悉能隨意如法而答故於眾中說法得無所畏也。

四事勝(出地持經)

【一根勝】謂菩薩根性聰利勝於一切聲聞緣覺是名根勝(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【二道勝】謂菩薩以慈悲心脩行六度既自度已復能度脫一切眾生勝於聲聞緣覺但能自度不能度他是名道勝(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。

【三巧便勝】謂菩薩善巧方便悉能了知一切諸法勝於聲聞緣覺但能了知五陰等法是名巧便勝(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

【四果勝】謂菩薩脩因滿足即證佛果菩提勝於聲聞緣覺所證之果是名果勝(梵語菩提華言道)。

菩薩行有四難(出華嚴經疏)

【一背己利世難】謂脩菩薩行者其心專為利益一切眾生而無一毫為己之念非如世人但求自利而不能利他是為背己利世難(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【二行相唯苦難】謂脩菩薩行者不樂世間種種欲樂愛護身命唯為利益眾生以滿本願脩行苦行是為行相唯苦難。

【三處經諸有難】謂脩菩薩行者其心但為利益眾生諸有苦處無不經歷示現出生代受其苦是為處經諸有難。

【四時劫無量難】劫梵語具云劫波華言分別時節華梵雙稱故名時劫謂脩菩薩行者唯求無上佛果兼脩利他之行所經時劫不可限量是名時劫無量難。

大乘四果(出大乘莊嚴經論)

大乘者謂通教中菩薩於當教中對聲聞緣覺小乘故得稱為大乘也四果者本是聲聞所證果位今菩薩歷於十地脩行證果亦有淺深始終不同故

借小乘四果之位以區別之是名大乘四果(十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。

【一初地生如來家是須陀洹果】梵語須陀洹華言入流又云預流謂菩薩入初乾慧地時斷惑證理即是證佛所證故云生如來家因借聲聞初果以區別之故云是須陀洹果。

【二八地得授記是斯陀含果】梵語斯陀含華言一來謂菩薩於第八辟支佛地中蒙佛授記而得作佛因借聲聞第二果以區別之故云是斯陀含果(辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺)。

【三十地得受職是阿那含果】梵語阿那含華言不來謂菩薩於第十佛地中而得受如來職猶如別圓二教等覺之位因借聲聞第三果以區別之故云是阿那含果。

【四佛地是阿羅漢果】梵語阿羅漢華言無學又云無生佛地即通教中果佛也菩薩已斷見思習氣俱盡而得成佛因借聲聞第四果以區別之故云是阿羅漢果。

四種聲聞(出法華文句)

【一決定聲聞】謂其久習小乘之法故今聞小乘教而得證果既證小果之後再不進求大乘之法是名決定聲聞。

【二退菩提聲聞】梵語菩提華言道謂此聲聞本是菩薩曾發菩提之心積劫脩道忽因疲厭生死退失大心而證小果是名退菩提聲聞(劫梵語具云劫波華言分別時節)。

【三應化聲聞】應謂應現化即變化謂此聲聞本是諸佛菩薩內秘真實之行外現聲聞之身而能引接前之二種聲聞歸於大乘及廣化眾生令入佛道是名應化聲聞。

【四增上慢聲聞】謂自得增上之法而輕慢於他此種聲聞厭惡生死欣樂涅槃因脩戒定慧之道少有所得便謂證果此即未得謂得未證謂證是名增上慢聲聞(梵語涅槃華言滅度)。

聲聞四果(出金剛經疏)

【一須陀洹果】梵語須陀洹華言入流又名預流即初果也謂此人斷三界見惑盡預入聖道法流故名入流(三界者欲界色界無色界也)。

【二斯陀含果】梵語斯陀含華言一來即第二果也謂此人於欲界九品思惑中斷前六品盡後三品猶在須更來欲界一番受生故名一來(思惑者謂眼等五根對色等五塵心起貪愛迷惑不了也九品者於上中下三品中又各分三品也)。

【三阿那含果】梵語阿那含華言不來即第三果也謂此人斷欲界後三品思惑盡更不來欲界受生故名不來。

【四阿羅漢果】梵語阿羅漢華言無學即第四果也謂此人斷色界無色界思惑盡四智已圓已出三界已證涅槃無法可學故名無學(四智者我生已盡梵行已立所作已辦不受後有也梵語涅槃華言滅度)。

四向(出成實論并法華玄義)
【一須陀洹向】梵語須陀洹華言入流謂此人將入須陀洹道未至本位不稱為果但稱為向言其從此向初果也。
【二斯陀含向】梵語斯陀含華言一來謂此人將入斯陀含道未至本位不稱為果但稱為向言其從此向第二果也。
【三阿那含向】梵語阿那含華言不來謂此人將入阿那含道未至本位不稱為果但稱為向言其從此向第三果也。
【四阿羅漢向】梵語阿羅漢華言無學謂此人將入阿羅漢道未至本位不稱為果但稱為向言其從此向第四果也。
羅漢四智(出涅槃經)
【一我生已盡】謂阿羅漢斷見思惑盡更不受三界生死故云我生已盡(梵語阿羅漢華言無學見思惑者謂意根對法塵起諸分別名見惑眼等五根對色等五塵起諸貪愛名思惑也三界者欲界色界無色界也)。
【二梵行已立】梵行即淨行也謂阿羅漢由戒定慧之行成就得證此果故云梵行已立。
【三所作已辦】謂阿羅漢本求出離三界脩諸梵行生死既盡梵行既立故云所作已辦。
【四不受後有】謂阿羅漢生死惑業既盡更不受後世之身故云不受後有。
四種變易(出成唯識論)
變易者因移果易故名變易謂脩一分之因即感一分之果此從變易生死一種中開出後之三種也。
【一變易生死】謂菩薩以無漏智力斷其麤惑所感殊勝細異熟果以因移果易而為生死故名變易生死(漏即漏落生死今言無漏者謂菩薩依大智慧而脩不漏落生死故名無漏智麤惑即塵沙等惑也)。
【二不思議身】謂菩薩以無漏定力及以願力身所示現妙用難測故名不思議身。
【三意成身】謂聲聞緣覺菩薩以無漏定力於十方世界隨其意願成身故名意成身。
【四變化身】謂聲聞緣覺菩薩以無漏定力於十方世界變現其身故名變化身。
四加行(亦名四善根出析玄記)
此四通言加行者謂此行人欲求見道革凡成聖遂起煖等四心脩四諦觀以定資慧加功用行故名四加行見道即初果須陀洹也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【一煖加行】煖者從喻得名謂如人以木鑽火火雖未出先得煖相譬此加行位中以智慧火燒煩惱薪雖未得無漏之智已得智火之前相故名煖加行(無漏者謂不漏落三界生死也)。

【二頂加行】頂者謂觀行轉明在煖之上如登山頂觀矚四方悉皆明了故名頂加行(觀矚四方者謂觀四諦也)。
【三忍加行】忍有二義一者印可義謂於此位中即能印可四諦之理謂苦諦實是苦乃至道諦實是道也二者決定義謂此善根決定無退故名忍加行。
【四世第一加行】謂此位中觀四諦理雖未能證而於世間最勝故名世第一加行。
滅盡定與無想定四義不同(出宗鏡錄)
滅盡定者謂受想心滅出入息盡身證此定能斷見思煩惱而證聖果無想定者謂能於定中心想不起如冰魚蟄虫不能斷惑證入聖果故此二定有四種勝劣之義也(見思即見思二惑也謂意根對法塵起諸分別名見惑眼等五根對色等五塵起諸貪愛名思惑也)。
【一約得人異】謂羅漢聖人由受想心滅而證滅盡之定外道凡夫由妄計無想以為至道而證無想之定此之二定有世間出世間之不同故云約得人異也(受想者受謂領受想謂想像即五陰中之二也)。
【二祈願異】謂入滅盡定者則息諸想念斷除貪愛之心唯求出世功德入無想定者則妄計心無想慮以為解脫唯求世間樂果故云祈願異也。
【三感果不感果異】謂無想定是有漏業能感無想天果報滅盡定是無漏業不感三界生死果報故云感果不感果異也(三界者欲界色界無色界也)。
【四滅識多少】謂滅盡定既滅第六識已兼能滅第七識染分無想定但滅第六識分別之見而諸邪見則未能盡斷故云滅識多少也(第六識即意識第七識即傳送識又云執我識染分者我痴我見我慢我愛之四惑也)。
四種沙門(出瑜伽師地論)
梵語沙門華言勤息謂勤行眾善止息諸惡也。
【一勝道沙門】謂稟佛出家能滅貪瞋癡等煩惱得證勝道是名勝道沙門。
【二說道沙門】謂已調伏貪瞋癡等煩惱而能宣說正法為令眾生入於佛道是名說道沙門。
【三壞道沙門】謂破諸禁戒行諸惡法非是梵行自稱梵行是名壞道沙門。
【四活道沙門】謂能調伏貪瞋癡等勤脩正行所有善法堪能生長智慧命根是名活道沙門。
四種僧(出十輪經)
【一勝義僧】謂諸佛世尊及諸菩薩緣覺聲聞等眾其德尊高於一切法通達無礙而得自在是名勝義僧。
【二世俗僧】謂剃除鬚髮被服袈裟成就出家威儀能持佛之禁戒是名世俗僧。

【三痤羊僧】謂愚癡魯鈍不能了知根本等罪犯與不犯及於微小之罪不能發露懺悔是名痤羊僧(根本等罪即殺盜[婬-壬+(工/山)]妄也)。
【四無慙愧僧】謂若有人投佛出家得出家已於所受持佛之禁戒一切毀犯無慙無愧不畏後世苦果是名無慙愧僧。
四種天(出大智度論)
【一世間天】謂世間國王雖居人世受享天福是名世間天。
【二生天】謂三界諸天因脩戒善等福兼習禪定得生此天是名生天(三界者欲界色界無色界也戒善者即五戒十善也)。
【三淨天】謂二乘之人因脩空觀斷見思惑淨盡是名淨天(二乘者聲聞乘緣覺乘也見思惑者謂意根對法塵起諸分別名見惑眼等五根對色等五塵起諸貪愛名思惑也)。
【四義天】謂十住菩薩善解諸法之義是名義天(十住者發心住治地住脩行住生貴住具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也)。
四禪變化(出大智度論)
變即轉變化即幻化謂此四禪諸天於五欲勝妙之境悉能次第種種變化也(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【一初禪天二變化】初禪天二變化者一者能於初禪天中變化二者能於欲界變化也。
【二第二禪天三變化】第二禪天三變化者一者能於二禪天中變化二者能於初禪天中變化三者能於欲界變化也。
【三第三禪天四變化】第三禪天四變化者一者能於三禪天中變化二者能於二禪天中變化三者能於初禪天中變化四者能於欲界變化也。
【四第四禪天五變化】第四禪天五變化者一者能於四禪天中變化二者能於三禪天中變化三者能於二禪天中變化四者能於初禪天中變化五者能於欲界變化也。
四天華梵(出法華文句)
四天即四天王皆帝釋之外臣也又稱護世者以能護持世間故也(梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵兼舉也)。
【一提頭賴吒天王】梵語提頭賴吒又云提多羅咤華言持國謂能護持國土也亦云安民謂令人民悉得安隱也居須彌山東黃金山(梵語須彌華言妙高)。
【二毗留勒叉天王】梵語毗留勒叉又云毗流離華言增長謂能令自他善根增長也居須彌山南瑠璃山(梵語瑠璃華言青色寶)。
【三毗留博叉天王】梵語毗留博叉又云毗流波叉華言廣目謂以其目廣大過於人眼故也居須彌山西白銀山。
【四毘沙門天王】梵語毗沙門華言多聞謂福德之名聞於四方故也居須彌山北水精山。
帝釋四苑(出阿毘達磨大毘婆沙論)

梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者梵華兼舉也須彌山頂是諸天所住之處有城名曰善現乃帝釋所都城有千門嚴飾壯麗中有殊勝殿種種妙寶具足莊嚴其城四隅有四臺觀金銀等寶所成甚可愛樂城外四面面各一苑形皆正方中央各有一如意池八功德水盈滿其中是彼諸天遊戲之處也(八功德水者一澄清二清冷三甘美四輕軟五潤澤六安和七飲時除飢渴等八飲已長養諸根也)。

【一眾車苑】謂帝釋諸天若欲遊玩隨天福德之力種種寶車於此苑中自然出現。

【二麤惡苑】謂帝釋諸天若欲鬪戰之時隨其所須甲仗等器於此苑中自然出現。

【三雜林苑】謂帝釋諸天若遊此苑於諸眾妙之境所玩皆同俱生勝喜。

【四喜林苑】謂帝釋諸天若遊此苑極妙欲塵種種皆集歷觀遍覽喜樂無窮而不生厭。

四輪王(出長阿含經)

此四輪王長阿含經唯言金輪王有金輪寶現若據俱舍論則四王各有輪現也。

【一鐵輪王】大智度論以人壽一增一減為一小劫謂人壽八萬四千歲時歷過百年壽減一歲如是減至十歲則止復過百年又增一歲如是增至二萬歲時有鐵輪王出獨領南閻浮提一洲諸國有不順化者王則現威列陣令其降伏然後於彼勸化人民脩十善道是名鐵輪王(劫梵語具云劫波華言分別時節梵語閻浮提華言勝金洲十善者不殺不盜不邪淫不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不嗔恚不邪見也)。

【二銅輪王】謂人壽增至四萬歲時有銅輪王出領東弗于逮及南閻浮提二洲諸國有不順化者王至彼國宣威布德令其歸順於是勸化人民脩十善道是名銅輪王(梵語弗于逮華言勝身)。

【三銀輪王】謂人壽增至六萬歲時有銀輪王出領東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼三洲諸國有不順化者王至彼國威嚴所加即便臣伏於是勸化人民脩十善道是名銀輪王(梵語瞿耶尼華言生貨)。

【四金輪王】謂人壽增至八萬四千歲時有金輪王出統領北欝單越等四洲以十五日沐浴昇殿有金輪寶忽現於前輪有千輻光色具足若王欲徃東方輪則東轉王乃將諸兵眾隨其後行金輪寶前又有四神引導輪所住處王即止駕南西北方隨輪所至亦復如是於四天下普勸人民脩十善道是名金輪王(梵語欝單越華言勝處)。

輪王四德(出樓炭經)

【一大富】謂轉輪王有珎寶田宅奴婢珠玉象馬眾多天下之人無有能及是為第一德。

【二端正姝好】謂轉輪王端正姝好顏色無比天下之人無有能及是為第二德。
【三無疾病】謂轉輪王常安隱無病天下之人無有能及是為第三德。
【四長壽】謂轉輪王常安隱長壽天下之人無有能及是為第四德。
四主(出法苑珠林)
四主者謂世間無輪王應運之時贍部洲地有四主焉(梵語贍部又云閻浮華言勝金)。
【一東人主】人主之國風俗機變仁義昭明其地和暢多人故名人主。
【二南象主】象主之國人則躁烈多習異術亦能清心釋累出離生死其地暑濕宜象故名象主。
【三西寶主】寶主之國人無禮義惟重財賄其地臨海多產寶貝故名寶主。
【四北馬主】馬主之國人則獷暴情忍殺戮其地寒勁宜馬故名馬主。
西域四姓(亦名梵生四姓出翻譯名義)
謂四種人妄計我從梵天而生故稱梵生婆羅門自計從梵天口生剎帝利自計從梵天臍生毗舍自計從梵天脇生首陀自計從梵天脚生以此貢高自謂第一實非第一也。
【一婆羅門】梵語婆羅門華言淨行或在家或出家世世相承以道學為業自稱是梵天苗裔守道居貞潔白其操故謂之淨行。
【二剎帝利】梵語剎帝利華言田主為世間大地之主即王種也。
【三昆舍】梵語毘舍亦云吠奢即商賈種也。
【四首陀】梵語首陀亦云戍陀羅即農人種也。
四王生八子(出釋迦譜)
四王同出師子頰王各坐二子故通有八子也。
【一淨飯王生二子】第一子梵語名悉達多華言頓吉以其生時諸吉祥瑞頓出現故即釋迦牟尼佛也第二子梵語名難陀華言善歡喜從初慕道為名歡喜中勝故云善歡喜。
【二白飯王生二子】第一子梵語名調達華言天熱以其生時人天等眾心皆驚熱故也第二子梵語名阿難華言歡喜又云慶喜以其生時舉國欣慶故也從佛出家持三藏教(三藏者經藏律藏論藏也)。
【三斛飯王生二子】第一子梵語名摩訶男(無翻)從佛出家即於鹿苑中最初得度第二子梵語名阿那律華言無滅又云無貧從佛出家所謂天眼第一者是也。
【四甘露飯王生二子】第一子梵語名婆娑(無翻)第二子梵語名跋提華言小賢從佛出家即於鹿苑中最初得度是也。
四輩(出翻譯名義)
【一比丘】梵語比丘華言乞士乞是乞求之名士是清雅之稱謂出家之人上乞法以資慧命下乞食以資色身故名乞士。

【二比丘尼】梵語尼華言女佛初不度女人出家成道之後因姨母摩訶波闍波提懇求出家佛乃度之故名比丘尼(梵語摩訶波闍波提華言大愛道)。
【三優婆塞】梵語優婆塞華言清淨士謂雖在家能持五戒清淨自守又云近事男謂能持戒可親近承事諸佛法故名優婆塞(五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也)。
【四優婆夷】梵語優婆夷華言清淨女謂雖在家亦能堅持五戒清淨自守故名優婆夷。

人四生(亦名四種生出法苑珠林)

人四生者謂世間之人亦具卵胎濕化四種之生也。
【一卵生】卵生者謂依殼而出也婆沙論云昔有商人入海得一雌鶴遂生二卵卵漸濕熟生二童子端正聰明年長出家得阿羅漢大名世羅小名鄔波世羅是也(梵語阿羅漢華言無學)。
【二胎生】胎生者謂含藏而生也謂世間之人含藏於母胎之中滿足十月而生是也。
【三濕生】濕生者謂假濕而生也賢愚經云於過去世有大國王名曰善住其頂上欻生一皰(皮教切)後轉轉大便生童子顏貌端正即頂生王是也又經律異相云昔維耶離國有梵志家種一柰樹生一榴節節生一枝去地七丈杪生諸枝形如偃蓋即作棧(仕限切)閣登而視之見偃蓋中乃有池水有一女兒在池水中是也(梵語維耶離華言廣嚴梵語梵志華言淨裔)。
【四化生】化生者謂無而忽有也涅槃經云佛與四眾遊行有比丘尼名阿羅婆忽於地中化生又劫初人皆是化生是也(四眾者比丘比丘尼優婆塞優婆夷也)。

四種人(出成實論)

【一常沒】謂人不能脩習涅槃之法則不得出離生死大河故名常沒(梵語涅槃華言滅度)。
【二暫出還沒】謂人或生世間於信等五種善根不能堅固還復退失流轉生死故名暫出還沒(五種善根者信根精進根念根定根慧根也)。
【三出觀】謂人沒於生死之河而能隨順涅槃之法欲求出離如人既沒思欲得濟故先觀看方向故名出觀。
【四得度】謂人具足脩習涅槃之法則能截生死流到涅槃岸故名得度。

四法不得菩提(出地持經)

【一無善友】謂修行之人雖有精進之心而無善友知識為其說法開導終不能得佛果菩提也(梵語菩提華言道)。
【二謬受學】謂脩行之人雖值善友知識種種說法而稟性愚鈍於所受法錯謬領解亦不能得佛果菩提也。
【三不精進】謂脩行之人雖於受學之際不謬領解但自己懈怠不能勇猛精進則亦不得佛果菩提也。

【四不調伏】謂修行之人雖聞正法精進勤修然善根未熟久遠已來不能調伏其心則亦不得佛果菩提也。

四人果報(出法苑珠林)

【一先苦後樂】謂或有人先生卑賤家衣食不充受諸困苦然心無邪見自念我於宿世不行布施不脩福德恒值貧賤即便懺悔改徃所作修於善行後生人中多饒財寶無所缺乏是名先苦後樂。

【二先樂後苦】謂或有人先生富貴之家衣食充足受諸快樂然心懷邪見不能布施脩福多造惡業後生地獄受種種苦若生人中貧窮醜陋無有衣食是名先樂後苦。

【三先苦後苦】謂或有人先生貧賤家衣食不充受諸逼迫復懷邪見習諸惡法後墮地獄受種種苦若生人中又極貧賤衣食不充是名先苦後苦。

【四先樂後樂】謂或有人先生富貴家多諸財寶受諸快樂復能敬重三寶布施脩福後生人天中恒受富貴多饒財寶稱意自在是名先樂後樂(三寶者佛寶法寶僧寶也)。

四種業報(出法苑珠林)

【一現報】現報者謂今生作極善極惡之業即於今生現受善惡之果報也。

【二生報】生報者謂今生作善惡業來世身中受善惡果報也。

【三後報】後報者謂今身造業來世未受多生之後乃受果報也。

【四無報】無報者謂由無記業而受不善不惡之果報也(無記業者即不善不惡之業無所記憶故名無記)。

四報定不定(出法苑珠林)

四報定不定者又於前無報中開出四種也。

【一時定報不定】時即時節報即果報謂於三時決定不改由業有可轉故受報不定是名時定報不定(三時者謂現報生報後報也)。

【二報定時不定】謂業力定故報不可改然時有可轉故時節不定是名報定時不定。

【三時報俱定】謂由業報定故時節亦定是名時報俱定。

【四時報俱不定】謂由業不決定故時報亦不定也蓋因眾生之業有輕有重故受報之時有遠有近隨其因緣先後不定是名時報俱不定。

四有(出宗鏡錄)

因果不亡曰有謂眾生作業感果果必由因因果相酬則有生死既有生死必有色身既有色身必經中陰輪轉不息則成四有(中陰者謂人初死之後未曾托生故名中陰)。

【一生有】謂從中陰來托母胎一念識心相續五蘊由此生起是名生有(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。

【二本有】謂已生之後未死之前於其中間所有五蘊色身是業報之本是名本有。
【三死有】謂本有之後中有之前五蘊業果色身一時壞滅是名死有。
【四中有】即中陰也謂已死之後未生之前於其中間識未托胎是名中有。
四胎相(出阿毘達磨俱舍論)
【一正知入不正知住出】謂轉輪王宿世曾脩廣大之福其業最勝但知入胎不能正知住胎出胎也(正知猶明知也)。
【二正知入住不正知出】謂獨覺之人久習多聞其智最勝但正知入胎住胎不能正知出胎也。
【三俱正知入住出】謂菩薩曠劫脩行福德智慧俱勝故能正知入胎住胎出胎也。
【四俱不正知】謂六道眾生有情之類若福微薄者入母胎時或見大風大雨或眾聲威逼遂見己身入於密草稠林住在此中復從此出若福厚大者入母胎時自見己身或處妙好園林或居勝臺殿住在此中復從此出於入住出胎皆不能知也(六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。
五根有四事增上(出五事毘婆沙論)
五根者眼耳鼻舌身也增上猶增勝也。
【一莊嚴身】莊嚴端莊嚴飾也謂眼耳鼻舌莊嚴於身然後完美於此諸根若闕一者便成殘陋若不缺者全美增勝是為莊嚴身也。
【二導養身】導養者導引資養也謂眼能見安危之色耳能聞美惡之聲鼻能嗅香臭之氣舌能嘗甜苦之味如是等諸識於色聲氣味若好若惡皆能分別導引於身就好避惡令身增勝是為導養身也。
【三生識】識即分別之義謂眼對色耳對聲鼻對香舌對味身對觸而能生於分別之識及相應法俱得增勝是為生識也。
【四不共事】謂眼惟見色耳惟聞聲鼻惟嗅香舌惟嘗味身惟覺觸如是諸根各有所用不相雜亂於本根相應之法自能增勝是為不共事也。
四增盛(出阿毘達磨毘婆沙論)
【一壽量增盛】謂劫末時此贍部洲人壽減至十歲後復漸增展轉增至八萬歲是名壽量增盛(劫梵語具云劫波華言分別時節梵語贍部又云閻浮華言勝金)。
【二有情增盛】有情即眾生也謂劫末時此贍部洲惟餘萬人後復漸增展轉無數於劫增時其地廣博嚴淨人民淳善福德以其人民加眾是名有情增盛。
【三資具增盛】資具者資生之具也謂劫末時此贍部洲人民飢饉以稊稗等為上妙食至劫增時安隱豐樂種種地味自然出生乃至穀果等類漸漸充足是名資具增盛。

【四善品增盛】善品者善人所脩諸道品也謂劫末時世間有情廣造十惡之業不脩善道至劫增時人民廣修十善及諸道品是名善品增盛(十惡者一殺生二偷盜三邪[婬-壬+(工/山)]四妄語五兩舌六惡口七綺語八貪欲九嗔恚十邪見也十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不嗔恚不邪見也)。

四力(出地持經)

【一自力】謂世間之人宿有善種不假他人教誡而自能以精進勇猛之力發菩提心是名自力(梵語菩提華言道)。

【二他力】謂世間之人或因他人教誡或因他事感動遂發菩提之心則是藉他之力是名他力。

【三因力】謂世間之人先世脩習大乘之法今因見佛及諸菩薩嘆說無上佛道遂發菩提之心是名因力。

【四方便力】謂世間之人於現世中親近善友知識聞其善巧方便說法遂發菩提之心是名方便力。

四恩(出本生心地觀經)

【一父母恩】經云父有慈恩母有悲恩蓋父母長養之恩廣大無比若有男女背恩不順死即墮於地獄餓鬼畜生若有男女孝養父母承順無違常為諸天護念福樂無盡縱能一日三時割自身肉以養父母尚未能報一日之恩也。

【二眾生恩】經云即無始來一切眾生輪轉五道於多生中互為父母以互為父母故一切男子即是慈父一切女人即是悲母以是因緣諸眾生類亦有大恩猶如現在父母等無差別也(五道者天道人道鬼道畜生道地獄道也)。

【三國王恩】經云國王福德最勝雖生人間得自在故於其國界山河大地盡屬國王一人福德勝過一切眾生之福又以正法治世能使眾生悉皆安樂若王國內一人脩善其所作福七分之中脩善之人自得五分國王常獲二分以依於王而得修善故也王若以善法化世諸天善神常來守護若有惡人而生逆心於須臾頃福自消滅命終當墮地獄備受諸苦所以者何是諸眾生由不知國王恩故起諸惡逆得如是報若有人民能行善心敬輔仁王尊重如佛是人現世安隱豐樂所以者何一切國王於過去時曾受如來清淨禁戒常為人王安隱快樂以是因緣違順果報其速如影隨形如響應聲也。

【四三寶恩】三寶即佛法僧可尊可貴名之為寶經云三寶利樂眾生無有休息功德寶山巍巍無比福德甚深猶如大海智慧無礙等於虛空一切眾生由煩惱業障沉淪苦海生死無窮三寶出世作大船師能截愛流超昇彼岸故恩難報也。

四恩(出釋氏要覽)

【一國王恩】謂出家之人國王聽許方得出家又蒙治化之力無強弱陵逼之憂而得安居山林進脩道業兼復飲食水土皆屬國王是為國王恩。
【二父母恩】謂稟父母遺體而得成人其生成養育之恩如天罔極復令出家進脩道業是為父母恩。
【三師友恩】謂出家之人蒙師剃度教誨授以經業及得善友講明妙道開發慧性是為師友恩。
【四檀越恩】梵語檀華言施謂出家之人凡所資身飲食衣服等物皆由施者供給遂得安身辦道是為檀越恩。
四難(出法華經文句)
【一值佛難】謂眾生因無始惑業輪迴六道之中四趣不得見佛聞法固不在言設得人身若生在東西北三洲者佛不出現於彼皆不見佛得生南洲而或居邊地或著邪見佛雖出世如是等人亦不得見佛而況佛不常出值遇良難故經云諸佛興出世懸遠值遇難此舉人之值佛難也(六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道四趣但除人天也)。
【二說法難】謂如來出世本欲便說大乘之法蓋緣機器不純不得已而權說三乘之法委曲調停方堪入實所以歷四十餘年更三百餘會最後至於法華會上方顯真實故經云正使出於世說是法復難此舉大法之難說也。
【三聞法難】謂一乘圓頓之法微妙甚深難解難入非利根上智之士聞則惑耳驚心生疑起謗如法華會上五千人等雖梵音盈耳猶乃退席而去故經云無量無數劫聞是法亦難此舉聞法難也。
【四信受難】謂一乘圓頓之法唯談中道實相之理乃是果佛所證非彼三乘所知然如來出世直欲人人信受此法以致四十餘年漸次調停後至法華會上佛初為上根之人作法說唯身子得悟次為中根之人作譬喻說唯四大弟子得悟又次為下根之人作宿世因緣說千二百聲聞方始得悟故經云能聽是法者斯人亦復難此舉信受難也(法說者作三乘一乘而說譬喻說者作三車一車而說故文句云上根已悟中下未了故須作喻還譬上法也宿世因緣者如為陳如明繫珠緣而領解阿難引空王緣而授記之類四大弟子即須菩提迦旃延迦葉目犍連也)。
四事不可久保(出出曜經)
經云有一孤母而喪其子憂惱失意來白於佛佛即以此四事告之。
【一常必無常】世間之相一一無常假令萬劫之久鐵石之堅須彌之高大海之廣終為無常之所壞滅是故常不可久保也(梵語須彌華言妙高)。
【二富貴必貧賤】世間之事盛必有衰盈必有虧此理之必然也蓋富貴雖命於天而理有不可常者故今之富貴安知異時而不貧賤故富之與貴亦不可久保也。
【三會合必別離】人之生世離必有會合必有離此理之自然而非人意之所能必故今之會合安知異時而不別離故會合亦不可久保也。

【四強健必死】人之處世生必有死此理之常是故年雖強健終歸壞滅豈山石空海之所可避耶是故強健亦不可久保也(山石空海者經云非空非海中非入山石間無有地方所脫之不受死是也)。

四不可得(出諸經要集)

佛告諸比丘世有四事不可得免古今已來天地成立無免此苦以斯四苦佛興于世令諸眾生咸得脫離(梵語比丘華言乞士)。

【一常少不可得】謂年幼之時髮黑齒白形貌光澤眾人瞻戴莫不愛敬一旦老耄頭白齒落短氣呻吟欲使常少不至老者終不可得。

【二無病不可得】謂身體強健行步輕便一旦疾病伏著床枕不能動轉欲使常安無病終不可得。

【三長壽不可得】謂欲求長壽五欲自恣放心逸意將期永久無常卒至忽然命終欲求長壽終不可得(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。

【四不死不可得】謂父母兄弟妻妾子息歡娛笑樂意可常得無常卒至冤神獨逝欲求不死終不可得。

四山(出別譯雜阿含經)

佛在給孤獨園語波斯匿王云有大石山上連於天下連於地從東方來所歷之處卉木叢林有生之類悉皆摧碎南西北方亦復如是以此四山喻眾生老病死衰之四相也(梵語波斯匿華言勝軍)。

【一老山】謂人之老邁形色枯悴精神昏昧髮白面皺逮將不久則彼少年端美之相悉皆變壞如彼大山來時摧損於物不可免者故經言老山能壞一切壯年盛色也。

【二病山】謂人之四大不調或寒或熱生種種病能使身力疲敗精神減損如彼大山來時損一切物莫可避者故經言病山能壞一切強健也。

【三死山】謂人身殞命終四大諸根悉歸磨滅如彼大山來時萬物一時摧碎莫可禦者故經言死山能壞一切壽命也(四大者地大水大火大風大也)。

【四衰耗山】謂人之生迫於衰耗勢力既去貲財亦空名稱不聞志意消沮如彼大山來時損壞於物莫可逃者故經言衰耗之山能壞一切榮華富貴也。

四種死(出阿毘曇毘婆沙論)

【一壽盡財不盡死】謂如有人由宿業故報壽既短於現生中復不積善作福但經營生理多求財物其壽已盡積蓄尚多是名壽盡財不盡死。

【二財盡壽不盡死】謂如有人不能經營生理少有財物壽雖未盡積蓄素無或因飢餓或由凍苦遂致於死是名財盡壽不盡死。

【三壽盡財盡死】謂如有人作短壽業又不能經營財物一旦壽盡其財亦盡是名壽盡財盡死。

【四壽不盡財不盡死】謂如有人廣作壽業廣作財業其財未盡其壽未盡以餘因緣忽遭橫死是名壽不盡財不盡死。

大明三藏法數卷第十一

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

四仙避死(出出曜經)
昔有梵志兄弟四人各得五通自知命促却後七日皆當命終共相議言我等既得五通以已神力何所不辦豈不能避此難也四人雖各徃避死終不免佛以道眼觀見其死終不可避而說偈曰非空非海中非入山石間無有地方所脫之不受死(梵語梵志華言淨裔五通者一足不履地二知人心命三回眼千里四呼名即至五石壁無礙也)。
【一入海】入海者言吾入大海上不至表下不至底正處中間無常殺鬼焉知我處七日期滿命亦終盡。
【二入山】入山者言吾入須彌山擘山兩開入中還合無常殺鬼焉知我處七日期滿命亦終盡(梵語須彌華言妙高)。
【三隱空】隱空者言吾踊身虛空中隱形無迹無常殺鬼焉知我處七日期滿自空墮地而死猶如果熟自然脫落。
【四居廛】居廛者言吾當隱居大市之中眾人猥鬧各不相識無常殺鬼隨得一人何必取吾七日期滿於眾人中亦自命終。
四種死生(出雜阿含經)
波斯匿王白佛言云何為婆羅門死還生婆羅門家及剎帝利毘舍首陀家耶佛言當知死生有四種不同(梵語波斯匿華言勝軍梵語婆羅門華言淨行梵語剎帝利華言王種梵語毘舍華言商賈梵語首陀華言農人)。
【一從冥入冥】冥即暗也謂世人生卑賤家或旃陀羅家及餘種種下賤之家貧窮活命形體顦顇而復作卑賤之業名之為冥處此冥中復行身口意惡業死墮惡趣是為從冥入冥(梵語旃陀羅華言屠者惡趣即餓鬼畜生地獄也)。
【二從冥入明】謂世人生卑賤家乃至作諸鄙惡之業名之為冥於此冥中能行身口意善業身壞命終生於人天是為從冥入明。
【三從明入冥】謂世人生富貴家若剎帝利婆羅門長者家受身端正多財多智名之為明於此明中行身口意惡業身壞命終當生惡趣受無量苦是為從明入冥。
【四從明入明】謂世人生富貴家乃至形相端嚴名之為明於此明中行身口意善業勤脩福德身壞命終天上受生是為從明入明。
菩薩四心(出金剛經論)
菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂菩薩發此四種心度諸眾生故天親頌曰廣大第一常其心不顛倒是也。
【一廣大心】謂菩薩發心度生欲令三界四生之類普皆濟度無一眾生而不度者所度眾生無量無邊是名廣大心(三界者欲界色界無色界也四生者

卵生胎生濕生化生也)。
【二第一心】謂菩薩度脫三界四生之類不欲令證聲聞小果要皆令入無餘涅槃是名第一心(梵語涅槃華言滅度無餘涅槃者惑業與身俱滅名曰無餘)。
【三常心】謂菩薩度無量無數無邊眾生了知眾生本來空寂實無眾生得滅度者雖無眾生可度而度生之心常無懈倦是名常心。
【四不顛倒心】謂菩薩度生若有我人等相即非菩薩菩薩了知我人等相本來皆空無能度者是名不顛倒心(我人者於色受想行識五陰上強立主宰名我復計為人名人也)。
四無量心(出法界次第)
四無量心者慈悲喜捨也通名無量者謂菩薩利他之心廣大也所緣眾生既無量而能緣之心亦無量也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【一慈無量心】慈名愛念即與樂之心也謂菩薩愛念一切眾生常求樂事隨彼所求而饒益之故名慈無量心。
【二悲無量心】悲名愍傷即拔苦之心也謂菩薩愍念一切眾生受種種苦常懷悲心拯救濟拔令其得脫故名悲無量心。
【三喜無量心】謂菩薩慶他眾生離苦得樂其心悅豫欣慶無量故名喜無量心。
【四捨無量心】謂菩薩於所緣眾生無憎愛心名之為捨復念一切眾生同得無憎無愛無瞋無恨無怨無惱故名捨無量心。
四種信心(出起信論)
【一信根本】謂真如之法諸佛所師眾行之源能愛樂者即是信於根本故云信根本。
【二信佛】謂信佛有無量功德常念親近供養恭敬發起善根求一切智故云信佛。
【三信法】謂信受諸佛所說之法有大利益常念修行故云信法。
【四信僧】謂信僧能正修行自利利他常樂親近求學其道故云信僧。
四緣發菩提心(出地持經)
【一見聞為增上緣】增上即增進之義謂世間之人或見或聞諸佛菩薩有不可思議神通變化之事既見聞已即發是念是佛菩薩功行具足能為如是諸變化事以此見聞為增上緣故樂佛大智發菩提心(梵語菩提華言道)。
【二聞法為增上緣】謂世間之人雖不見聞諸佛菩薩神通變化但聞說法讚嘆菩提及大乘法彼人聞已則懽喜信樂以此聞法為增上緣故樂佛大智發菩提心。
【三護法為增上緣】謂世間之人雖不聞法或見法欲滅之相遂作是念無量眾生造諸惡業當遭大苦我今修菩薩道護持正法為諸眾生滅無量苦以此護法為增上緣故樂佛大智發菩提心。

【四發心為增上緣】謂世間之人雖不見法滅之相但見惡世眾生為煩惱所障不能出離生死遂作是念於此惡世尚不能發二乘之願況能志求無上菩提我當發心亦令他發以此發心為增上緣故樂佛大智發菩提心(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。

菩薩四法(出瑜伽師地論)

【一善修事業】謂修菩薩行者於種種財法惠施眾生無所吝惜諸佛戒律堅守護持遇諸苦難忍受無悔諸正法行精進無怠安住禪定心不散亂以正智慧照了諸法乃至種種行業皆悉修習是為善修事業(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【二方便善巧】謂修菩薩行者於諸有情或於聖教有未入者令其趣入已趣入者令其成熟已成熟者令其解脫乃至諸戒律儀受持毀犯種種方便令諸有情皆得利益是為方便善巧。

【三饒益於他】謂脩菩薩行者於諸有情或以布施或以愛語或作利他之行或與隨類同事令其皆得安樂是為饒益於他。

【四無倒廻向】謂脩菩薩行者於己所脩一切善業及方便善巧饒益之行以淨信心廻向於他而求無上正等菩提終不以此所集善根倒求世間果報是為無倒廻向。

四種法為菩薩實德(出大寶積正法經)

【一入空解脫門】謂菩薩觀一切法皆從因緣和合而生無作無受如是通達名空解脫是為菩薩實德(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【二入無我無願門】謂菩薩觀一切法皆無有我而於三界之中無所願求雖得涅槃恒起大悲樂度眾生是為菩薩實德(三界者欲界色界無色界也梵語涅槃華言滅度)。

【三巧施方便】謂菩薩廣運慈悲之心於三界中巧施方便不住涅槃仍復出入生死化度眾生是為菩薩實德。

【四施不求報】謂菩薩廣運慈悲之心愍諸有情廣行給施平等無厭了達性空而不求於果報是為菩薩實德。

四攝法(出法界次第)

此四通言攝者攝即攝受也謂菩薩欲化導眾生必須以此四法攝受使其依附然後導以大乘正道故維摩經云先以欲鉤牽後令入佛智是也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【一布施攝】謂菩薩以財法二種布施攝眾生也若眾生樂財即以財施攝之若眾生樂法即以法施攝之眾生既蒙二施利益因是生親愛心依附受道得住真理故名布施攝。

【二愛語攝】謂菩薩隨順眾生根性善言慰喻則一切眾生樂聞善言因是生親愛心依附受道得住真理故名愛語攝。

【三利行攝】謂菩薩起身口意善行利益一切眾生因是生親愛心依附受道得住真理故名利行攝。

【四同事攝】謂菩薩以法眼明見眾生根性隨其所樂即分形示現同其所作使其各霑利益因是生親愛心依附受道得住真理故名同事攝。

四法集善根(出大寶積正法經)

【一樂住林間】謂修菩薩行者當離憒鬧住於山林空閑之處寂靜宴默思惟正道而廣集一切善根也。

【二四事攝物】四事者布施愛語利行同事也謂修菩薩行者自行既充必須外引眾生同己所行之道是以常行布施周其貧乏復以愛語安慰開諭起諸利行同其事業而廣集一切善根也。

【三捨身求法】謂修菩薩行者樂求大乘之法其心勇猛雖棄捨身命亦復無所顧惜而廣集一切善根也。

【四勤行精進】謂修菩薩行者誓欲求就佛果是以勤加精進無少懈怠而廣集一切善根也。

四善法(出涅槃經)

【一近善知識】謂善知識常談善法若人親近則得滅除一切惡法增長一切善根也。

【二能聽受法】謂既親近善知識又能聽受正法生長善根也。

【三能思惟義】謂既聞正法即當思惟微妙之義而契會於心也。

【四如說修行】謂既能思惟正法之義當如所說而修其行則能脫煩惱生死之苦證真空寂滅之道也。

菩薩四法門(出如來不思議秘密大乘經)

【一智門】謂菩薩以大智慧善知一切眾生根性隨順調伏令其解脫是為菩薩智門(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【二慧門】謂菩薩以大妙慧為諸眾生分別宣說深法句義亦欲令其開發慧性照了萬法本來空寂是為菩薩慧門。

【三陀羅尼門】梵語陀羅尼華言摠持以其持善不散持惡不生也蓋菩薩以摠持之法隨順一切眾生言音開導正信令其滅諸惡心而行一切善法是為菩薩陀羅尼門。

【四無礙解門】謂菩薩以無礙智解為諸眾生宣說無盡甚深法義亦欲令其獲無礙解是為菩薩無礙解門。

在家人四種具足法(出雜阿含經)

【一信具足】謂在家之人於如來所起敬信心聞勝妙法心開意解不生疑謗信根堅固是名信具足。

【二戒具足】謂在家之人起淨信心受佛禁戒不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒持此五戒一無毀犯是名戒具足。

【三施具足】謂在家之人受前戒法能於一切所有之財不慳不惜施濟貧乏修此捨行是名施具足。

【四慧具足】謂在家之人既受戒行施當以智慧觀察此身虛假不實由貪瞋癡起諸煩惱招集無量生死之苦能修善道證涅槃樂是名慧具足(梵

語涅槃華言滅度)。
四弘誓(出止觀大意)
弘廣也誓制也謂菩薩廣發誓願要制其心志求滿足也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【一眾生無邊誓願度】此依苦諦境而發誓也謂菩薩徧觀六道眾生等類無量無邊皆被生死諸苦所逼一一不虛故發誓願欲度脫之令出三界故云眾生無邊誓願度(六道者天道人道修羅道餓鬼道畜生道地獄道也三界者欲界色界無色界也)。
【二煩惱無數誓願斷】此依集諦境而發誓也謂菩薩諦審煩惱惑業無量無邊能招集生死苦果流轉三界無有窮盡故發誓願欲斷除之而使六道眾生悉亦斷除令出三界故云煩惱無數誓願斷。
【三法門無盡誓願知】此依道諦境而發誓也謂菩薩諦審一切道法無窮無盡能通至涅槃自既知已亦令一切眾生證知故云法門無盡誓願知(梵語涅槃華言滅度)。
【四佛道無上誓願成】此依滅諦境而發誓也謂菩薩諦審菩提之果最勝無有過上自成就已普願一切眾生咸皆成就故云佛道無上誓願成(梵語菩提華言道)。
四弘誓願(出法界次第)
【一未度者令度】度即超度也謂眾生未度生死苦者令其得度也。
【二未解者令解】解即解脫也謂眾生未解煩惱業縛者令其得解也。
【三未安者令安】安即安住也謂眾生未能安住於戒定慧而脩行者令其得安住也。
【四未涅槃者令得涅槃】梵語涅槃華言滅度謂眾生未滅生死之苦者令其滅之而得證於涅槃也(滅度者謂大患永滅超度三界也)。
菩薩四弘誓(出陀羅尼雜集)
【一心如大地】謂願我心如大地長養眾生道芽善種皆成聖果。
【二心如橋舡】謂願我心如橋舡運度眾生不滯中流達於彼岸。
【三心如大海】謂願我心如大海涵育眾生同得真源霑於法味。
【四身如虛空】謂願我身如虛空包含萬物與諸眾生平等無二同證法性。
四梵福(出增一阿含經)
【一未起塔處起塔】塔梵語具云塔婆華言高顯謂人能起塔者當來之世受初禪天福經云若有善信男子女人求梵天福者未曾起塔婆處於中能起是為初受梵天之福也。
【二補治故寺】謂修補破壞故寺當來之世受二禪天福經云補治故寺是為第二受梵天之福也。
【三和合聖眾】謂修習聖道之眾常令和合不使離散當來之世受三禪天福經云和合聖眾是為第三受梵天之福也。

【四勸轉法輪】謂聞佛成道即當勸請轉於法輪利益眾生當來之世受四禪天福經云菩薩初轉法輪若人能勸轉者是為第四受梵天之福也。

四法生福(出大寶積正法經)

(一恒行法施)謂修菩薩行者當以如來所說正法廣為一切眾生而作利益於己之心無復恪惜是以無量福德由此而生也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)(二起大悲心)謂修菩薩行者常運大悲心利益一切於諸破戒眾生方便遮止不令為惡是以無量福德由此而生也。

【三化諸有情】謂修菩薩行者常以利他為心廣化一切有情令發菩提之心修習妙行成就佛果是以無量福德由此而生也(梵語菩提華言道)。

【四忍辱救護】謂修菩薩行者常應廣運大悲之心於諸下劣不善之人設以橫逆而加於我不惟忍受其辱抑且方便救護使其改惡遷善是以無量福德由此而生也。

入道四行(出正宗記并稽古畧)

達磨大師謂二祖可大師曰夫入道多塗要而言之不出理行而已謂理入者則藉教悟宗深信含生同一真性但為客塵妄想所覆不能顯了若捨妄歸真則聖凡一等無有分別若以行入者乃有四焉。

【一報冤行】凡修道之人若受苦時當念我從徃昔刼中棄本逐末流浪諸有多起冤憎違害無限今雖無犯是我宿殃惡業果熟所以甘心忍受都無怨恨作是觀時與理相應體冤進道故名報冤行(刼梵語具云刼簸華言分別時節)。

【二隨緣行】謂眾生無我皆由業轉苦樂齊受皆從緣生若得勝報榮譽等事皆是過去宿因所感緣盡還無何喜之有得失從緣心無增減喜風不動冥順於道故名隨緣行。

【三無所求行】謂愚人長迷處處貪著智者悟真安心無為萬有皆空無所希冀三界久居猶如火宅有身皆苦誰得所安若了達者息念無求經云有求皆苦無求乃樂是則無求真為道行故名無所求行(三界者欲界色界無色界也)。

【四稱法行】謂性淨之理因之為法此理眾相皆空無染無著無此無彼故經云法無有我離我垢故智者信解此理應當稱法而行法體無慳於身命財行檀捨施心無慳惜達解三空自利利他莊嚴菩提之道為除妄想修行六度而無所行故名稱法行(三空者施者受者及所施之物三相皆空也六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。

四種觀行(出慈悲水懺)

謂修行懺悔者自念煩惱深厚覆蓋慧眼令無所見斷除眾善不能出離苦果今既發露眾惡投誠懺悔須作四種觀行為滅罪之方便也。

【一觀因緣】謂修行懺悔者當觀我之此罪由無明所覆無正觀力不識其過遠離善友隨逐魔行如蛾赴火自燒自爛以是因緣不能自出是為觀因緣。

【二觀果報】謂修行懺悔者當觀所有諸惡不善之業三世輪轉苦果無窮淪溺生死大海冥然無涯如抱石沉淵求出應難是為觀果報(三世者過去現在未來也)。
【三觀自身】謂修行懺悔者當觀自身雖有正因靈覺之性而為煩惱黑闇之所覆蔽無了因力不能得顯是為觀自身(正因者即本有正性也了因者即解了諸法也)。
【四觀如來身】謂修行懺悔者當觀如來之身眾德具足湛然常住雖復方便入於滅度而慈悲扳救眾生之心未曾暫舍常如是觀乃滅罪之良津除障之要行是為觀如來身(滅度者謂大患永滅超度三界也)。
四事行(出阿難陀目佉尼阿離陀經)
【一身常恭謹】謂修菩薩行者當謹守身業毋令放逸所謂殺盜淫等一切惡法斷而不行及諸不善律儀亦皆無犯是為身常恭謹(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二言常至誠】謂修菩薩行者欲修無上正真之道當守護口業誠實不虛所謂妄言綺語惡口兩舌之過悉皆遠離是為言常至誠。
【三意常柔順】謂修菩薩行者欲成菩提當防護意業調和柔順離諸邪念所謂貪欲嗔恚愚癡皆悉斷除是為意常柔順(梵語菩提華言道)。
【四善權方便】謂修菩薩行者當善權方便救護一切眾生所謂或生天上乃至或入地獄不捨生死隨類現形但為利樂有情不為自求度脫是為善權方便。
四事供養(出增一阿含經)
佛在舍衛國祇樹給孤獨園為波斯匿王說法王即請佛及比丘僧三月供養遂於宮門之外作大講堂懸繒旛蓋及辦一切供給所須衣被飲食臥具醫藥故云四事供養(梵語舍衛華言豐德祇樹給孤獨園者謂祇陀太子捨樹給孤長者買園建立精舍請佛而住也梵語波斯匿華言勝軍)。
【一衣被】衣即袈裟而有三品上品二十五條及九條中品七條下品五條被即覆身之物此皆可以蔽形骸禦寒暑嚴肅威儀以成道業是以供養佛僧也(梵語袈裟華言不正色)。
【三飲食】飲即種種漿水如果漿蜜漿醍醐甘蔗蒲萄等漿食即米麵酥酡餚饌等味比皆可以資色身進道業而證菩提是以供養佛僧也。
【三臥具】臥具即床褥枕席之類此可以調攝身心將養勞苦以進道行是以供養佛僧也。
【四醫藥】醫藥即冷熱甘苦辛酸草木諸劑及金石丹砂之類此皆可以治溫寒濕燥之病藉以固身延命成就道業是以供養佛僧也。
施有四事(出諸經要集)
【一施多得福少】謂飲酒歌舞等事費用極多而無福報是名施多得福少。

【二施少得福多】謂能以慈心供奉道德之人彼人受已精進學道施物雖少其福彌大是名施少得福多。
【三施少得福少】謂以慳貪惡意施邪見外道施物既少得福亦少是名施少得福少。
【四施多得福多】謂能覺世無常發心捨財起立塔寺供養三寶所獲福報如眾河入于大海流注不斷施物既多其福亦多是名施多得福多(三寶者佛寶法寶僧寶也)。
四施(出菩薩善戒經)
【一筆施】謂見人發心書寫經典當以筆施之堅固其心助成善緣也。
【二墨施】謂見人書寫經典當以墨施之堅固其心助成善緣也。
【三經施】謂刊造經板或印施與人勸其讀誦令發菩提之心也(梵語菩提華言道)。
【四說法施】謂若有人樂聞正法即當隨其根機方便演說使之聞法領解修因證果也。
四種施處(出瑜伽師地論)
【一有苦者】謂貧窮乞匄盲聾殘疾無依倚者如是等類名為有苦故宜施之。
【二有恩者】謂凡於我有恩德者故宜施之此施非是菩薩之行菩薩行施豈分有恩無恩也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【三親愛者】謂凡於我有親情眷愛者故宜施之此施亦非菩薩之行菩薩行施怨親平等豈分親與不親也。
【四尊勝者】謂世間之人推為賢善者及能離貪欲瞋恚愚癡而修行者如是等類名為尊勝故宜施之此施亦非菩薩之行菩薩行施見卑劣者愈當施與豈分勝與不勝也。
四種施俱得淨報(出大涅槃經)
謂菩薩達性相空觀一切眾生無非福田不見持戒毀戒及施受果報之異名為淨善所以施受雖俱不淨亦俱得淨報也。
【一施淨受不淨】謂能施之人持戒多聞知有慧施及施果報受者破戒邪見言無慧施及施果報是名施淨受不淨也。
【二施不淨受淨】謂能施之人著於邪見言無慧施及施果報受者持戒多聞知有慧施及施果報是名施不淨受淨也。
【三施受俱淨】謂施者受者俱能持戒多聞智慧知有所施及施果報是名施受俱淨也。
【四施受俱不淨】謂施者受者俱破戒無聞著於邪見言無有施及施果報是名施受俱不淨。
四戒(出華嚴孔目)
【一解脫戒】謂身不殺盜[婬-壬+(工/山)]口不妄言綺語惡口兩舌則自然遠離惑業之縛而得自在是名解脫戒。

【二定共戒】謂因修習禪定發得初禪二禪三禪四禪天定之時不作意持自然不犯而戒與定俱發是名定共戒(初禪二禪三禪四禪皆色界天也)。
【三道共戒】謂聲聞之人於見道修道位中不作意持自然不犯而戒與道俱發是名道共戒(見道即初果須陀洹修道即二果斯陀含三果阿那含也)。
【四斷戒】謂斷貪瞋癡等煩惱得成道果是名斷戒。
四種持戒(出雜阿毘曇心論)
【一悕望戒】悕即悕求望即期望謂求生天及餘善處堅持禁戒是名悕望戒。
【二恐怖戒】謂畏隨惡趣畏惡名稱堅持禁戒是名恐怖戒。
【三順覺支戒】謂隨順七覺支莊嚴其心堅持禁戒是名順覺支戒(七覺支即七覺分謂擇法覺分精進覺分喜覺分除覺分捨覺分定覺分念覺分也)。
【四清淨戒】謂無漏戒能離煩惱染垢是名清淨戒(無漏戒者即聲聞緣覺無漏道品所發之戒也)。
四忍(出華嚴經隨疏演義鈔)
忍即忍可亦安忍也思益經云梵天菩薩有四忍法善出毀犯禁戒之罪。
【一得無生忍】謂一切諸法自性空寂本來不生菩薩證知此法則能超出毀犯禁戒之罪是為得無生忍。
【二得無滅忍】謂一切諸法昔本不生今亦無滅菩薩證知此法則能超出毀犯禁戒之罪是為得無滅忍。
【三得因緣忍】謂六根為因六塵為緣菩薩了知一切諸法皆從因緣和合而生本無自性則能超出毀犯禁戒之罪是為得因緣忍(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【四得無住忍】住即停住菩薩心不住著而無異念相續則能超出毀犯禁戒之罪是為得無住忍。
四種定學(出成唯識論)
【一大乘光明定】謂此定所發智慧即能照了大乘理教行果故名大乘光明定(理教行果者理即所詮之理教即能詮之教行即所修之行果即所證之果也)。
【二集福王定】謂此定自在即能聚集無邊福德如王勢力無有等比故名集福王定。
【三賢守定】謂此定即能守持世間出世間賢善之法故名賢守定。
【四健行定】謂佛菩薩以精進大健之力修行勝行而得此定故名健行定。
四空處定(出法界次第)
此四通言空處定者以其定體無形色故名之為空各依所證之境名之為處境法持心心無分散故名定也。
【一空處定】謂行者厭患色質有如牢獄心欲出離即修觀智滅三種色故不念種種相入無邊虛空處心與虛空之法相應是名空處定(三種色者可見有對色不可見有對色不可見無對色也)。

【二識處定】謂行者復厭虛空無邊緣多則散能破於定即捨虛空轉心緣識心與識法相應是名識處定。
【三無所有處定】謂行者復厭心識無邊緣多則散能壞於定唯有無心識處心無依倚乃名安隱如是知已即捨識處繫心無所有處心與無所有法相應是名無所有處定。
【四非有想非無想定】前識處是有想無所有處是無想至此捨前有想名非有想捨前無想名非無想謂行者復厭無所有處定如癡如醉如眠如暗無可愛樂於是一心加功忽然真實定發不見有無相貌泯然寂絕清淨無為是名非有想非無想定。
四種資糧(出瑜伽師地論)
【一福德資糧】謂由宿世修諸福德而於今生豐饒財寶遇善知識離諸障礙能勤修行是名福德資糧。
【二智慧資糧】謂由宿世修習智慧而於今生聰慧明敏解了法義是名智慧資糧。
【三先世資糧】謂由宿世積集善根而於今生諸根完具家財富足是名先世資糧。
【四現法資糧】謂於今世有善法故善根成熟具戒律儀是名現法資糧。
四種意趣(出阿毘達磨雜集論)
【一平等意趣】意即心意趣即趣向謂菩薩於徃昔因中修平等行而成正覺今於現世化諸眾生與昔無異是名平等意趣(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二別時意趣】謂眾生現世修習淨業求生極樂世界者命終皆即徃生得不退轉蓋現種是因則在他時成熟是名別時意趣。
【三別義意趣】謂一切法無有自性不可執文取義當離文字相別求義趣是名別義意趣。
【四眾生意樂意趣】菩薩見眾生修得一善者讚嘆其善增彼勇猛見多貪者讚嘆佛土清淨殊勝除彼貪欲見懈怠者讚嘆諸佛精勤不息除彼懈怠皆令心生信樂發其趣向是名眾生意樂意趣。
四種作意(出瑜伽師地論)
【一調練心作意】調練者調停練習也謂於可厭患之法調停練習令心厭離是名調練心作意。
【二滋潤心作意】滋潤者滋長沃潤也謂於可欣尚之法滋長沃潤令心忻樂是名滋潤心作意。
【三生輕安作意】輕安者即身輕心安也謂於可厭法令心厭離於可欣法令心欣樂安住寂靜對治身心麤重生起身心輕安是名生輕安作意。
【四淨智見作意】淨智者即清淨智慧也謂以此智慧照了諸法皆空即得內心寂靜由寂靜故見真實理是名淨智見作意。

四種念佛(出普賢行願記)
【一稱名念佛】謂稱念阿彌陀佛名號於晝夜間一心專注或一萬聲乃至十萬聲如是歲月既久則念念不斷純一無雜臨命終時定見彼佛現身迎接決得往生極樂世界矣(梵語阿彌陀華言無量壽)。
【二觀像念佛】謂觀阿彌陀佛形像相好口稱佛名則心不散亂心不散亂則本性佛從而顯現如是則念念不斷純一無雜臨命終時定見彼佛現身迎接決得往生極樂世界矣。
【三觀想念佛】謂端坐正念面向西方心作妙觀或想阿彌陀佛眉間白玉毫相光乃至足下千輻輪相如是從上至下從下至上展轉觀之觀想純熟三昧現前臨命終時決得往生極樂世界矣(梵語三昧華言正定)。
【四實相念佛】謂念阿彌陀佛法性之身即得實相之理無形無相猶如虛空心及眾生本來平等如是之念即是真念念念相續三昧現前決得往生極樂世界矣。
四種白法(出勝思惟梵天所問經論)
謂修菩薩行者當習一切白淨善法遠離四趣諸惡之黑法也(四趣者修羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。
【一欲白法】謂修菩薩行者聞佛正教理趣深遠心生樂欲而不暫捨故名欲白法。
【二行白法】謂修菩薩行者勤行六度之行唯在利益世間一切眾生而不求於自身果報故名行白法(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【三滿足功德白法】謂修菩薩行者精進勇猛徧修眾行令諸功德圓滿具足故名滿足功德白法。
【四證白法】謂修菩薩行者淨行已成功德已圓得證佛果故名證白法。
四種法為善友(出大寶積正法經)
【一求菩提者】謂諸眾生若有發心樂求菩提之道者是為菩薩之善友也(梵語菩提華言道梵語菩薩華言覺有情)。
【二作大法師】謂人深達妙義作大法師為眾演說以其正行令彼進修是為菩薩之善友也。
【三聞思修慧】謂人以聞思修之三慧倍策精進出生一切善根者是為菩薩之善友也。
【四求佛法者】謂人修習梵行志求佛法則能離諸煩惱超出世間是為菩薩之善友也。
四法離魔道(出大寶積正法經)
【一不離菩提心】謂菩薩修習眾善之行常欲度脫一切眾生而不離於菩提之心是以邪魔之道悉遠離也。

【二無惱害心】謂菩薩修習慈善之行於一切眾生常懷悲愍不起惱害之心是以邪魔之道悉遠離也。
【三明了諸法】謂菩薩以智慧照察於一切法明了通達正直無礙是以邪魔之道悉遠離也。
【四不生輕慢】謂菩薩了達諸法平等於諸有情常行不輕之行而無憍慢之心是以邪魔之道悉遠離也。
四事先苦後樂(出增一阿含經)
【一修習梵行先苦後樂】梵即淨也謂人不辭勞苦修習淨行淨行既立則能證於道果而得涅槃之樂故名修習梵行先苦後樂(梵語涅槃華言滅度)。
【二誦習經文先苦後樂】謂人不辭勞苦口誦經文心習其義其義習熟則能如說修行證於道果而得涅槃之樂故名誦習經文先苦後樂。
【三坐禪念定先苦後樂】謂人不辭勞苦坐禪念定由禪定力則能次第入諸三昧證於道果而得涅槃之樂故名坐禪念定先苦後樂(梵語三昧華言正定)。
【四數出入息先苦後樂】謂人不辭勞苦數出入息自然攝諸散亂心得寂靜安住正理與定相應由此證於道果而得涅槃之樂故名數出入息先苦後樂。
四魔(出瑜伽師地論)
魔梵語具云魔羅華言能奪命又云殺者謂能奪智慧之命而殺害出世善根故也。
【一蘊魔】蘊猶積聚也謂色受想行識等積聚而成生死苦果此生死法能奪智慧之命故云蘊魔。
【二煩惱魔】謂三界中一切煩惱妄惑也修行之人為此妄惑惱亂心神不能成就菩提是名煩惱魔(三界者欲界色界無色界也)。
【三死魔】死者謂四大分散夭喪殞沒也修行之人為此夭喪不能續延慧命是名死魔(四大者地大水大火大風大也)。
【四天魔】此魔即欲界第六天也若人勤修勝善欲超越三界生死而此天魔為作障礙發起種種擾亂之事令修行人不得成就出世善根是名天魔(第六天即他化自在天也)。
外道四論(出瑜伽師地論)
【一常論】謂外道計我及世間之法皆是常住又見諸識流轉相續從此世間至彼世間無斷絕故發起常見是名常論。
【二邊無邊論】謂外道若憶念壞刼壞諸世間即於世間起有邊想若憶念成刼成諸世間即於世間起無邊想是名邊無邊論(刼梵語具云刼波華言分別時節壞刼成刼者中刼之名也)。
【三不死矯亂論】謂諸外道若有人問世間善不善法或問世間苦集滅道四諦等法便自稱言我依不死淨天不亂詰問即於彼所問假託餘事以

言矯亂是名不死矯亂論(淨天即梵天外道計梵天不死故云不死淨天不亂詰問者謂梵天常居靜定故不雜亂而辯問也)。
【四無因見論】謂外道計我及世間之法皆無因而起或見大風卒起於一時間寂然止息或見暴河瀰漫於一時間宛然空竭或見果木敷榮於一時間颰然衰落由如是故起無因見立無因論是名無因見論。
外道四見(出華嚴經疏)
疏云外道所計不出四見謂數論計一勝論計異勤娑婆計亦一亦異尼犍陀若提子計非一非異(梵語勒娑婆華言苦行梵語尼犍陀華言離繫若提母名母子兼稱故名若提子)。
【一計一】謂數論師計因中有果因果不異故名計一。
【二計異】謂勝論師計因中無果因果不同故名計異。
【三計亦一亦異】謂勒娑婆論師計因中有果名一因中無果名異有無雙計故名亦一亦異。
【四計非一非異】謂尼犍陀若提子計因果亦非是一亦非是異不同計一計異故名非一非異。
四韋陀(出摩登伽經并翻譯名義)
梵語韋陀華言智論即婆羅門所作邪論也以世間之智造養生等書而有四種不同故名四韋陀典其書不曾傳至東土(梵語婆羅門華言淨行)。
【一阿由】梵語阿由華言方命亦曰壽謂養生繕性之書也(繕者治也)。
【二殊夜】梵語殊夜(無翻)謂祭祀祈禱之書也。
【三婆磨】梵語婆磨(無翻)謂禮儀占卜 兵法軍陣之書也。
【四阿達婆】梵語阿達婆(無翻)謂異能技數禁呪醫方之書也。
有無四句(出華嚴經疏)
【一有句】謂外道或計我與五蘊之身皆有是名有句即著常見(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【二無句】謂外道或計我與五蘊之身皆無是名無句即著斷見。
【三亦有亦無句】謂外道欲離上二過故計我與五蘊亦有亦無即墮有無相違之見。
【四非有非無句】謂外道欲避上有無相違立俱非句故計我與五蘊非有非無則又成戲論之見。
常等四句(出華嚴經疏)
【一常句】謂外道計過去世之我即是今世之我相續不斷執之為常即墮常見是名常句。
【二無常句】謂外道計我今世始生不從過去之因執為無常即墮斷見是名無常句。
【三亦常亦無常句】謂外道見上二執皆有過失便計我是常身是無常若爾離身則無有我此亦成過是名亦常亦無常句。

【四非常非無常句】謂外道計身有異故非常我不異故非無常若爾離身亦無有我此亦成過是名非常非無常句。

異四句(出成唯識論)

外道所計不出斷常二見或執為有即是常見或執為無即是斷見於有見中及計一異遂有四句。

【一執有法與有等性其體定一】執有法者謂外道於五陰等法執為實有也有等性者謂執五陰等法皆有自性也其體定一者謂法之與性其體各無差別故云定一(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

【二執有法與有等性其體定異】謂外道執法與性其體各自不同故云定異。

【三執有法與有等性亦一亦異】謂外道執法與性其體亦同亦不同故云亦一亦異。

【四執有法與有等性非一非異】謂外道執法與性其體非同非不同故云非一非異。

鳥四生(出起世因本經)

金翅鳥王與龍之類皆具卵胎濕化四種而生經云大海之北有一大樹名曰居吒奢摩離其樹高一百由旬枝葉遍覆五十由旬此鳥王與龍等皆依此樹四面而住其四面各有宮殿縱廣六百由旬七重垣墻七寶莊嚴(梵語居吒奢摩離華言鹿聚梵語由旬華言限量)。

【一卵生】卵生金翅鳥王居樹東面欲啖龍時飛徃東枝之上觀大海水乃即飛下以兩翅扇大海水令水自開二百由旬取龍食之此鳥王惟能取卵生龍不能取胎濕化三生龍也。

【二胎生】胎生金翅鳥王居樹南面欲取龍時飛徃樹上乃即飛下令水開四百由旬取龍食之此鳥王惟能取卵胎二生龍不能取濕化二生龍也。

【三濕生】濕生金翅鳥王居樹西面欲取龍時即向樹西海取之水開八百由旬此鳥王惟能取卵胎濕生之龍不能取化生龍也。

【四化生】化生金翅鳥王居樹北面欲取龍時向樹北海取之水開一千六百由旬彼諸龍等皆為此鳥王之所食啖樓炭經云四生金翅鳥還食四生龍是也。

龍四生(出起世因本經)

【一卵生】卵生龍居吒奢摩離樹東面所居宮殿皆七寶莊嚴(梵語居吒奢摩離華言鹿聚七寶者金銀瑠璃玻瓈硨磲碼磁赤真珠也)。

【二胎生】胎生龍居樹南面所居宮殿皆七寶莊嚴。

【三濕生】濕生龍居樹西面所居宮殿皆七寶莊嚴。

【四化生】化生龍居樹北面所居宮殿皆七寶莊嚴。

阿脩羅四生(出楞嚴經)

梵語阿脩羅華言非天以其果報最勝隣次諸天而非天也。

【一卵生】謂若於鬼道以護法力乘通入空此阿脩羅從卵而生鬼趣所攝。
【二胎生】謂若於天中降德貶墜生於彼道其所卜居鄰於日月此阿脩羅從胎而出人趣所攝。
【三濕生】謂別有一分下劣脩羅生大海心沉水穴口旦遊虛空暮歸水宿此阿脩羅因濕氣而有畜生趣所攝。
【四化生】謂有阿脩羅執持世界勢力無畏能與梵王及天帝釋四天王爭權此阿脩羅因變化而有天趣所攝(四天王東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王)。
大明三藏法數卷第十二

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

四種法離菩薩行(出大寶積正法經)
【一疑惑佛法】謂人宿無善種於佛法中心生疑惑而不愛樂是以離於菩薩行也(梵語菩薩華言覺有情)。
【二我見貢高】謂人妄執我見心懷貢高嗔恚一切眾生是以離於菩薩行也。
【三嫉他利養】謂人見他所得利養妄起貪愛而復憎嫉是以離於菩薩行也。
【四不敬信】謂人心著邪見於佛菩薩不生敬信亦不稱讚而復毀謗是以離於菩薩行也。
四人有障(出究竟一乘寶性論)
障者覆障也謂一闡提等四人各有所障不能生正信入理沉滯空寂故言四人有障(梵語一闡提華言信不具)。
【一一闡提不信障】謂此人不信有因有果毀謗大乘是名一闡提不信障。
【二外道執我障】謂其所執神我之見多在理外名為外道我者即於五陰身中強立主宰名之為我此外道謂罪福苦樂自有定因要當必受執著我見不信佛法是名外道執我障(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【三聲聞畏苦障】聞佛聲教故曰聲聞謂聲聞之人怖畏世間生死之苦樂著真空是名聲聞畏苦障。
【四獨覺捨悲障】謂其出無佛世獨宿孤峯觀物變易自覺真空故名獨覺此獨覺之人但能自度而不能起大悲心利益一切眾生是名獨覺捨悲障。
說法四謗(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一定有是增益謗】定有者謂不知真如之理離相寂滅性本不有而言真如決定是有者則成增益謗也。
【二定無是損減謗】定無者謂不知真如之理不可變壞性本不空而言真如決定是無者則成損減謗也。
【三亦有亦無是相違謗】亦有亦無者謂不知真如之理是即有之空即空之有而言真如亦有是不知即空又言真如亦無是不知即有二邊共執則成有無相違謗也。
【四非有非無是戲論謗】非有非無者謂不知真如之理具有無之德而言真如非有又言真如非無二邊不定則成戲論謗也。
四識住(出寶積經)

【一色識住】色即眼根所對之色謂內意識緣於外色之時識於色中生喜住著故名色識住。
【二受識住】受即領納之義謂意識領納六塵之時識於受中生喜住著故名受識住(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵以其能染故名塵也)。
【三想識住】想即思想謂意識想起六塵相貌之時識於想中生喜住著故名想識住。
【四行識住】造作之心名為行謂意識起諸行時識於行中生喜住若故名行識住。
有漏四種過失(出瑜伽師地論)
有漏者謂漏落三界生死也(三界者欲界色界無色界也)。
【一不寂靜過失】謂諸眾生隨逐根塵起諸妄想顛倒散亂而無禪定之功不能斷惑證果是為不寂靜過失。
【二內外變異過失】謂諸眾生由內心亂想外境遷流心境相應更互變異所謂心隨境起境逐心生煩惱纏綿不能解脫是為內外變異過失。
【三發起惡行過失】謂諸眾生由煩惱妄惑造諸殺盜[婬-壬+(工/山)]妄種種惡業輪轉生死無有出期是為發起惡行過失。
【四攝受因過失】謂諸眾生由造種種惡業之因攝取未來苦果展轉輪廻不能解脫是為攝受因過失。
四無明(出宗鏡錄)
無明者於第一義無所明了故曰無明即惑是也。
【一纏無明】纏即纏縛謂由此無明之惑纏縛不能出離生死故曰纏無明。
【二隨眠無明】謂無明煩惱長時隨逐眠伏第八藏識之中故曰隨眠無明。
【三相應無明】謂意識緣於六塵之境識與境相應而起無明煩惱故曰相應無明(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【四獨頭無明亦名不共無明】謂未有六塵之境相對而意識獨緣想諸塵之境識與境不相應故曰獨頭無明。
四種貪(出瑜伽師地論)
【一顯色貪】謂於他人身分及青黃赤白等顯現之色而起貪著也修行之人觀色作青瘀胖脹等想而生厭離令心清淨。
【二形色貪】謂於長短嬌媚等形相之色而起貪著也修行之人觀此形相作爛壞想而生厭離令心清淨。
【三妙觸貪】觸即觸著謂於自他身分細輭光滑等觸而起貪著也修行之人觀此身分作蟲蛆想而生厭離令心清淨。
【四承事貪】謂於他人趁承服事折旋俯仰等而起貪著也修行之人觀彼趁承服事自作死想猶如枯木而生厭離令心清淨。
四欲(出法苑珠林)

【一情欲】謂欲界眾生多於男女情愛之境而起貪欲故名情欲。
【二色欲】謂欲界眾生多於男女嬌媚等色而起貪欲故名色欲。
【三食欲】謂欲界眾生多於美味飲食而起貪欲故名食欲。
【四[婬-壬+(工/山)]欲】謂欲界眾生多於男女互相染著行於欲事故名[婬-壬+(工/山)]欲。

四縛(亦名四結出鞞婆沙論)

縛者束縛也又連續也謂眾生由欲愛等業束縛流轉生死連續不斷故名四縛。
【一欲愛身縛】謂欲界眾生於五欲順情等境心生貪愛起諸惑業束縛於身不得解脫故名欲愛身縛(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【二瞋恚身縛】謂欲界眾生於五欲違情等境心生瞋恚起諸惑業束縛於身不得解脫故名瞋恚身縛。
【三戒盜身縛】戒盜亦名戒取本非是戒強以為戒名為戒盜又取以進行復名戒取如外道諸戒是也由此邪戒增長惑業束縛於身不得解脫故名戒盜身縛。
【四我見身縛】我見即見取也謂於非涅槃法中妄自分別以為涅槃生心取著名為見取由此我見增長惑業束縛於身不得解脫故名我見身縛(梵語涅槃華言滅度)。

四流(出成實論)

流而不返謂之流謂眾生由三惑之所流轉漂泊三界而不能返於涅槃彼岸也又名四暴河者以其惑業暴湧成河漂沒眾生也亦名四軛者謂眾生為惑業所纏若牛之縛軛以駕車而不能脫離也(梵語涅槃華言滅度)。
【一見流】見即三界見惑也謂意根對於法塵起分別見因此見惑流轉三界不能出離故名見流(三界者欲界色界無色界也)。
【二欲流】欲者即欲界思惑也謂五根貪愛五塵故名為思惑即貪瞋慢也因此思惑流轉欲界不能出離故名欲流(五根者眼根耳根鼻根舌根身根也五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【三有流】有即因果不亡為有謂色界無色界思惑即貪慢也因此思惑流轉色無色界不能出離故名有流。
【四無明流】無所明了故曰無明即三界思惑中癡惑也由此無明流轉生死不能出離故名無明流。

四取(出佛性論)

【一欲取】欲即貪欲取即取著謂於彼欲界色聲香味觸五塵之境貪欲取著故名欲取。
【二見取】邪心分別名之為見所謂身見邊見等因見取著故名見取(身見者於五陰等法妄計為身也邊見者於斷常二見中隨執一邊也)。
【三戒取】謂於非戒中謬以為戒取著成行故名戒取如外道雞狗等戒是也(雞狗戒者外道妄計我身前世從雞中來故今學寒雞獨立為行若妄計從狗中來即

噉糞穢等是也)。
【四我語取】華嚴鈔云我見我慢名為我語云何此二獨名我語由此二種說有我故又云隨假言說起於我執隨執取著故名我語取(我見者於五陰等法中不了虛假妄計有我也我慢者謂以我為勝而輕傲於他也)。
四障(出海意菩薩所問淨印法門經)
【一惑障】謂諸眾生由貪欲瞋恚愚癡等惑根性昏鈍障蔽正道是名惑障。
【二業障】謂諸眾生由貪瞋癡等惑於諸善法不能勤行而隨身口意造作惡業障蔽正道是名業障。
【三報障】報即果報謂諸眾生由煩惱惑業為因而感地獄畜生餓鬼諸趣之報不聞正道是名報障。
【四見障】謂諸眾生由不聞正法起諸邪見隨逐魔事失菩提心是名見障(梵語菩提華言道)。
四刼(出佛祖統紀)
刼梵語具云刼波華言分別時節謂人壽八萬四千歲時歷過百年則壽減一歲如是減至人壽十歲則止復過百年則增一歲如是增至八萬四千歲此一增一減名為一小刼如是二十增減名為一中刼摠成住壞空四中刼名為一大刼。
【一成刼】成刼者謂世界初成立也有二十小刼第一小刼因過去刼壞空之後第二禪光音天空中布金色雲注大洪雨積風輪上結為水輪有大風起吹水生沫而成須彌等山時一切有情皆集光音天中天眾既多居處迫窄其福減者下生世間最初有一天子從光音天沒來生大梵天中是為梵王其壽六十小刼第二小刼光音諸天來生初禪梵世天中為梵輔天其壽四十小刼第三小刼光音諸天復有來生梵世天中為梵眾天其壽二十小刼如是漸漸下生欲界天中時光音諸天有福盡者化生為人飛行自在無有男女之相地涌甘泉味如酥蜜因試嘗之遂生味著失其神通及以身光世間大暗黑風吹海漂出日月置須彌山腹照四天下乃有晝夜彼時眾生由躭地味顏色粗悴復食自然粳稻殘穢在身為欲蠲除便生二道成男女根宿習力故便生淫欲夫妻共住光音諸天後來生者入母胎中遂有胎生時自然粳稻朝刈暮熟刈復隨生米長四寸後因人多貪取漸生糠[禾*會]刈已不生第四小刼乃至第二十小刼皆悉一增一減名為成刼(梵語須彌華言妙高)。
【二住刼】住刼者謂世界安住也有二十小刼第九小刼人壽減至五萬歲時第一拘留孫佛出世減至四萬歲時第二拘那含牟尼佛出世減至二萬歲時第三迦葉佛出世減至一百歲時第四釋迦牟尼佛出世第十小刼人壽減至八萬歲時第五彌勒佛出世第十五小刼於減刼中第六師子佛乃至欲樂佛凡九百九十四佛相繼出興說法度人第二十小刼於增刼中樓至佛出世滿足一千也已上二十小刼皆悉一增一減名為住刼(梵語拘

留孫華言所應斷梵語拘那含牟尼華言金色仙梵語迦葉華言飲光梵語釋迦牟尼華言能仁寂默梵語彌勒華言慈氏梵語樓至華言愛樂)。

【三壞刦】壞刦者謂世界壞滅也有二十小刦如火灾起時壞至初禪天始從地獄終至梵天有情眾生經十九增減刦次第壞盡唯器世間空曠而住乃至一切有情都盡最後一增減刦方壞器世間有七日從海底出大海盡竭須彌崩壞風吹猛燄燒上梵天悉成灰燼乃至三千世界一時燒盡名為壞刦(器世間者世界如器故也梵天即初禪天也三千世界者小千中千大千也)。

【四空刦】空刦者謂世界空虛也有二十小刦壞刦之後自初禪梵世已下世界空虛猶如墨冗無晝夜日月唯大黑暗名為空刦。

四土(出觀無量壽佛經妙宗鈔)

【一同居土】同居土者有穢有淨謂如此土娑婆世界沙礫充滿即同居穢土也西方安養世界金寶莊嚴無四惡趣即同居淨土也雖淨穢有異皆是凡聖共住故名同居也(梵語娑婆華言能忍四惡趣者脩羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。

【二有餘土】有餘土者謂二乘等已斷三界見思惑盡出生彼土尚餘無明之惑未盡故名有餘也(二乘者聲聞乘緣覺乘也三界者欲界色界無色界也)。

【三果報土】果報土者亦名實報土即別教十地圓教十住十行十回向乃至等覺諸菩薩所居之土也觀無量壽佛經疏云行真實法感得勝報是也(十地者歡喜地離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也)。

【四常寂光土】常寂光土者即理性土也常即法身寂即解脫光即般若此以不迁不變名常離有離無名寂照俗照真名光即妙覺究竟果佛所居之土也淨名疏云修於圓教願行之因因極果滿道成妙覺居常寂光是也。

又四土(出華嚴經疏)

【一自性身依法性土】自性身者以真如自性為身即法身也法性土者即理土也謂此身土體無差別俱非色相所攝譬如虛空遍一切處是名自性身依法性土。

【二自受用身依自受用土】自受用身者謂自受用法喜之樂名自受用身即自報身也自受用土者即實報土也謂佛以相應淨識所修成就從初成佛盡未來際相續變為純淨佛土周圓無際眾寶莊嚴自受用身常依而住是名自受用身依自受用土(法喜之樂者聞法歡喜而快樂也)。

【三他受用身依他受用土】他受用身者謂因他機感扣而現此身即勝應身也他受用土者亦即實報土也謂佛以大慈悲力隨十地菩薩所宜變

為淨土或小或大或劣或勝他受用身依之而住是名他受用身依他受用土(十地者歡喜地離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。
【四變化身依變化土】變化身者改轉不定名之為變無而忽有名之為化即劣應身也變化土者謂佛以大慈悲力隨諸有緣眾生所宜化為佛土或大或小或淨或穢佛變化身依之而住是名變化身依變化土。
世界四持(出華嚴經疏)
經云彼須彌山微塵數風輪最在上者名殊勝威光能持普光摩尼莊嚴香水海有大蓮華名種種光明蘂香幢莊嚴世界海住在其中(梵語須彌華言妙高)。
【一能持風輪】謂此風輪能持香水海而使安住故曰能持風輪。
【二所持香海】謂此香水海因為風輪所持而得安住故曰所持香海。
【三海出蓮華】謂此香水海中出生大蓮華為世界種十方剎土皆為大蓮華之所含攝故曰海出蓮華。
【四華持剎海】謂此大蓮華能持世界剎海安住其中四方均平清淨堅固故曰華持剎海(剎梵語具云剎摩華言土田)。
四輪持世界(出佛祖統紀)
輪取持載之義華嚴經云三千大千世界依於水輪風輪空輪不言金輪者文略也(三千者小千中千大千也今言三千大千者總別兼稱也)。
【一金輪】大地之下有金輪起世因本經云水上有風吹轉此水於上成金如熟酥生膏是名金輪。
【二水輪】金輪之下有水輪菩薩藏經云最上風輪為水輪之所依止其水量高六十八百千由旬(梵語由旬華言限量)。
【三風輪】水輪之下有風輪菩薩藏經云風輪量高六萬八千俱胝(梵語俱胝華言百億)。
【四空輪】風輪之下有空輪華嚴經云空無所依雖無所依然由眾生業感世界次第安住。
四風輪(出華嚴經)
經云此四風輪能持水輪水輪能持大地令不散壞以譬如來出現依無礙慧光明而起四種大智風輪能持一切眾生義根也。
【一安住】謂三千大千世界依此風輪而得安住以譬如來大智風輪普攝眾生皆令懽喜安住也(三千者小千中千大千也言三千大千者總別兼稱也)。
【二常住】謂三一大千世界依此風輪而得常住以譬如來大智風輪建立正法常住世間令諸眾生皆生愛樂也。
【三究竟】謂三千大千世界依此風輪而為究竟極際以譬如來大智風輪具一切方便通達無漏究竟之道也(無漏者不漏落生死也)。
【四堅固】謂三千大千世界依此風輪而得堅固以譬如來大智風輪守護一切眾生善根令不斷壞也。

四大部洲(亦名四洲形量出長阿含經)

【一東弗于逮】梵語弗于逮亦云弗婆提華言勝身以其身勝南洲故也又翻為初謂日初從此出也在須彌山東其土東狹西廣形如半月縱廣九千由旬人面亦如半月之形人身長八肘人壽二百五十歲(梵語須彌華言妙高梵語由旬亦云踰繕那華言限量大論云由旬有三大者八十里中者六十里下者四十里肘以一尺八寸為一肘)。

【二南閻浮提】梵語閻浮提華言勝金洲閻浮是樹提是洲名因樹立稱故名閻浮提在須彌山南其土南狹北廣形如車箱縱廣七千由旬人面亦像地形人身多長三肘半於中有長四肘者人壽百歲中夭者多。

【三西瞿耶尼】梵語瞿耶尼華言牛貨為彼多牛以牛為貨故名牛貨在須彌山西其土形如滿月縱廣八千由旬人面亦如滿月人身長十六肘人壽五百歲。

【四北欝單越】梵語欝單越華言勝處以其土勝三洲故也在須彌山北其土正方猶如池沼縱廣一萬由旬人面亦像地形人身長三十二肘人壽一千歲命無中夭。

日照四洲(出法苑珠林)

起世經云刼初世間黑暗爾時忽然出生日月及諸星宿便有晝夜年歲時節日從東方出繞須彌山半腹而行照于四洲遂有晝夜不同(梵語須彌華言妙高)。

【一南閻浮提日正中時】謂南閻浮提日正中時東弗婆提日則始沒西瞿耶尼日則初出北欝單越正當半夜(梵語閻浮提華言勝金洲梵語弗婆提華言勝身梵語瞿耶尼華言牛貨梵語欝單越華言勝處)。

【二西瞿耶尼日正中時】謂西瞿耶尼日正中時南閻浮提日則始沒北欝單越日則始出東弗婆提正當半夜。

【三東弗婆提日正中時】謂東弗婆提日正中時北欝單越日則始沒南閻浮提日則初出西瞿耶尼正當半夜。

【四北欝單越日正中時】謂北欝單越日正中時西瞿耶尼日則始沒東弗婆提日則初出南閻浮提正當半夜。

世間四義(出枳玄記)

世間者即三藏教四加行中最後世第一位也以其是有漏法故名世間於中最勝故名第一有四義焉(四加行者謂一煖二頂三忍四世第一也以其加功進行故也)。

【一可破壞】謂世間有漏煩惱等法體本虛妄自性不實皆是無常故名可破壞也。

【二有生滅】謂世間一切諸法皆從因緣和合而生皆從因緣別離而滅故名有生滅也。

【三隱真理】謂世間有漏煩惱等法障覆真空之理不能顯發故名隱真理也。

【四性有漏】謂世間煩惱等法其性實能招集有漏生死之果故名性有漏也。
依正四句(出華嚴經隨疏演義鈔)
依正者依即所依國土正即能依之身也。
【一依內現依】依內現依者謂於國土中又現一切國土也如成就品云一一塵中難思剎隨眾生心普現前一切剎海靡不周如是方便無差別是也。
【二正內現正】正內現正者謂於一身中復現一切身也如現相品云如來一一毛孔中一切剎塵諸佛坐菩薩眾會共圍繞演說普賢之勝行是也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【三正內現依】正內現依者謂於身中現一切國土也如現相品云如來安坐菩提座一毛示現多剎海一一毛現悉亦然於是普周於法界是也。
【四依內現正】依內現正者謂於國土現一切身也如現相品云一切剎土微塵數常現身雲悉充滿普為眾生放大光各雨法雨稱其心是也。
舍衛四德(出翻譯名義)
梵語舍衛華言聞物亦云豐德以其具四德故也。
【一具財寶德】謂舍衛國中多出一切珎寶勝於餘國是名具財寶德。
【二妙五欲德】謂舍衛國中五欲勝妙非餘國所及是名妙五欲德(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【三饒多聞德】饒益也謂舍衛國中財寶具足五欲勝妙聞於四方是名饒多聞德。
【四豐解脫德】豐盛也謂舍衛國中之人多修道行而得解脫是名豐解脫德。
淨穢四句(出華嚴經疏)
淨穢者謂佛說華嚴經或在清淨之土或在穢惡之土也。
【一唯染】染即穢染謂佛於娑婆世界摩竭提國等處而說是經隱覆淨相故名唯染(梵語娑婆華言能忍梵語摩竭提華言善勝)。
【二唯淨】淨即清淨謂佛於華藏世界而說是經其地金剛無有染相故名唯淨。
【三染淨俱】謂佛隨於一處而說是經隨其機器大小所見有異或見是染或見是淨故名染淨俱。
【四非染淨】謂佛隨於一處而說是經大乘之機不見染淨之相同一法界故名非染淨。
海底四寶(出華嚴經)
經云譬如大海有四熾然光明大寶布在其底性極猛熱常能飲縮百川所注無量大水是故大海無有增減以譬如來大智慧海亦有四種大智慧寶具足無量威德光明能令眾生竭愛欲流破愚癡暗故以此四寶喻之。

【一日藏光明大寶】日藏光明大寶者譬如來有滅一切散善波浪大智慧寶由此光明觸彼菩薩令捨一切散善波浪持心一境住於三昧也(梵語三昧華言正定)。
【二離潤光明大寶】離潤光明大寶者譬如來有除一切法愛大智慧寶由此光明觸彼菩薩令捨離三昧味著起廣大神通也。
【三火焰光光明大寶】火燄光光明大寶者譬如來有慧光普照大智慧寶由此光明觸彼菩薩令捨所起廣大神通住大明功用行也。
【四盡無餘光明大寶】盡無餘光明大寶者譬如來有平等無邊功用大智慧寶由此光明觸彼菩薩令捨大功用行及息一切功用令無有餘也。
四河(出長阿含經)
【一殑伽河】梵語殑伽華言天堂來以見其從高處而來也又名恒河此河從阿耨達池東面銀牛口流出繞池一帀入東南海(梵語阿耨達華言無熱惱在香山之南大雪山之北周圍八百里金銀琉璃玻琍銅鐵等以飾其岸也)。
【二信度河】梵語信度華言驗河此河從阿耨達池南面金象口流出繞池一帀入西南海又名辛頭河。
【三縛芻河】梵語縛芻華言青河此河從阿耨達池西面瑠璃馬口流出繞池一帀入西北海(梵語瑠璃華言青色寶)。
【四徙多河】梵語徙多華言冷河此河從阿耨達池北面頗胝迦師子口流出繞池一帀入東北海或曰潛流地下出積石山為中國之河源也(梵語頗胝迦華言水精即玻瓈也)。
一境四心(出攝大乘論釋)
譬如一水本無有異盖因天人餓鬼畜生果報不同故於一水而見有四相分別之異也。
【一天見是寶嚴地】謂諸天福德勝故其所見水悉成瑠璃眾寶莊嚴之地也(梵語瑠璃華言青色寶)。
【二人見是水】謂世間之人所見之水清濁雖異皆是水也。
【三餓鬼見是膿血】謂由宿世慳貪罪障深重墮餓鬼中長刼不聞漿水之名既因飢渴所逼望見河水意欲飲之速趁岸傍皆是膿血也。
【四魚見是住處】住處即窟宅也謂魚以水而為住處潛躍游泳不見水相也。
通局四句(出華嚴經疏)
【一或局】謂佛說華嚴經或局在娑婆世界內摩竭提國故也(梵語娑婆華言能忍梵語摩竭提華言善勝)。
【二或通】謂佛說華嚴經或通十方世界故也。
【三或俱】謂佛說華嚴經或在摩竭提國及十方世界故也。
【四或泯】謂佛說華嚴經處染淨二相皆盡同一法界故也。
四光喻智(出法華文句并華嚴經隨疏演義鈔)

【一日光喻佛智】謂日光照世無幽不燭以喻佛之智慧無事不了無理不照故云日光喻佛智。
【二月光喻菩薩智】謂月之光明有虧有盈以喻菩薩雖具智慧而惑業尚未盡斷則其智慧或虧或明故云月光喻菩薩智。
【三星光喻緣覺智】謂星雖有光其照不遠以喻緣覺之人雖觀十二因緣悟真空理而於中道深遠之義不能明了故云星光喻緣覺智(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。
【四螢光喻聲聞智】謂螢火之光只能自照不能照物以喻聲聞之人雖觀四諦悟真空理只能自度不能度人故云螢光喻聲聞智(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
四事不可思議(出增一阿含經)
【一眾生不可思議】謂世間眾生為從何來復從何起從此命終當從何生皆不可思議故云眾生不可思議。
【二世界不可思議】謂一切世界皆由眾生業力而成成而復壞壞而復成始終相續無有斷絕故云世界不可思議。
【三龍境界不可思議】謂龍降雨非從口出亦不從眼耳鼻出但龍有大神力意之所念若善若惡皆能作雨故云龍境界不可思議。
【四佛境界不可思議】謂如來之身清淨無染不可模則不可言長不可言短與夫梵音深遠智慧辯才現通說法一切人天二乘等眾皆莫能測故云佛境界不可思議(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
四種心(出翻譯名義)
【一肉團心】肉團心者即父母所生血肉之團狀似蓮華開合乃意識所依之處也。
【二緣慮心】緣慮心者即緣持思慮之心此通第八識而言謂眼緣色乃至第八緣根身種子器世間故也(通第八識者此緣慮心以第八藏識為體故也根身者根即眼等諸根身即色身也種子者即善惡種子也器世間者以世界如器故也)。
【三積聚精要心】積聚精要心者謂諸經中積集一切要義名為文心如般若心經為大品六百卷中之精要是也(梵語般若華言智慧)。
【四堅實心】堅實心者謂堅固真實乃眾生本有之性諸佛所證之理即第一義心也。
四威儀(出菩薩善戒經)
謂修道之人心不放逸若行若坐常在調攝其心成就道業雖久於行坐亦當忍其勞苦非時不住非時不臥設或住臥之時常存佛法正念如理而住於此四法動合規矩不失律儀是為四威儀也。
【一行】謂修道之人舉止動步心不外馳無有輕躁常在正念以成三昧如法而行也(梵語三昧華言正定)。
【二住】謂修道之人非時不住若或住時隨所住處常念供養三寶讚嘆經法廣為人說思惟經義如法而住也(三寶者佛寶法寶僧寶也)。

【三坐】謂修道之人加趺宴坐諦觀實相永絕緣慮澄湛虛寂端肅威儀如法而坐也。
【四臥】謂修道之人非時不臥為調攝身心或時暫臥則右脇宴安不忘正念心無昏亂如法而臥也。
息有四種相(出修習止觀坐禪法要)
息即鼻中出入之氣也謂坐禪之人若欲攝心入定必先行數息之法息有四種不同故須揀其麤而守其細也。
【一風】謂鼻中之氣出入有聲為風坐禪之人若依之而數則心散難調故須揀而不用也。
【二喘】謂鼻中之氣雖無聲相而結滯不通者為喘坐禪之人若依之而數則心結難定故須揀而不用也。
【三氣】謂鼻中之氣雖無風喘之相而出入不細者為氣坐禪之人若依之而數則心勞難定故須揀而不用也。
【四息】謂鼻中之氣無前三種麤相而出入綿綿若存若亡者為息坐禪之人依之而數則資神安隱情抱悅豫其心易定故須守而不捨也。
四夢
【一無明習氣夢】謂由無明煩惱積習氣分覆蔽真如之性無所明了以致心神顛倒形於夢想也。
【二善惡先徵夢】謂人凡有善惡吉凶之事必先形於夢寐以為徵驗也。
【三四大偏增夢】謂人由地水火風四大而成於身若地大增身則沉重水大增身則浮腫火大增身則狀熱風大增身則急脹四大不調則身心不安心不安則形於夢寐也。
【四巡遊舊識夢】謂人平昔遊歷之處或有所見所聞若美若惡繫念不捨而形於夢也。
四夢(出善見毘婆沙律)
【一四大不和夢】謂或夢山崩或夢自身飛騰虛空或夢見虎狼及賊追逐此因地水火風四大不調心神散逸故有此夢是名四大不和夢。
【二先見夢】謂日間先見男女苦樂等境夜則隨夢猶如日間所見是名先見夢。
【三天人夢】謂若人修善乃感天人為現善夢令其善根增長若人作惡亦感天人為現惡夢令其怖惡生善是名天人夢。
【四想夢】謂若人前世或有福德或有罪障有福德者多思想善事則現善夢有罪障者多思想惡事則現惡夢是名想夢。
四食(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一段食】段即分段食有資益之義謂以香味觸三塵為體入腹變壞資益諸根故言段食古譯經律皆為摶食以手團曰摶後譯復言漿飲等不可摶遂譯為段食。

【二觸食】觸即對也謂六識所對色等諸塵柔輭細滑冷煖等觸而生喜樂俱能資益諸根故名觸食(六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也按翻譯名義註釋云見色愛著名食豈非觸食義耶設非觸食何以觀戲劇等終日不食而不飢也)。
【三思食】思即意思謂第六識思於可愛之境生希望意而能潤益諸根如人飢渴至飲食處望得飲食而身不死故名思食(第六識即意識也)。
【四識食】識以執持為義即第八識也由前三食勢分所資能令此識增勝執持諸根故名識食(第八識即藏識也按翻譯名義註釋云識食地獄眾生及無色界中無邊識處天等皆用識持以為其食)。
四利須食(出釋氏要覽)
【一資身為道】謂修行之人若無飲食則身疲力倦命且不支豈能進道若得飲食資益於身則心安體健乃可進道故須食也。
【二養身中蟲】謂人身中多有諸蟲若缺飲食則蟲鑽刺身亦不安必當及時進食而調養之故須食也。
【三生施者福】謂修行之人持戒清淨專心修道則能福利人天若有檀越施以飲食使其成就道業能令施者亦獲福報故須食也(梵語檀華言施稱檀越者謂人行施能越貧窮苦也)。
【四破餓外道】謂外道自以吞饑忍餓為解脫法即自饑餓而不知徒受困苦安能解脫故修行之人日中受食資其進道兼破外道不應饑餓故須食也。
乞食四分(出寶雲經)
乞食之法一日止以七家為限為無多貪故也出家之人常行乞食復分作四分故名乞食四分。
【一分奉同梵行者】同梵行者謂同修淨行之人也凡乞食時必有同修之人看守房舍或有老病不便行履者得食歸時則以一分奉之令其飽滿亦得安心修道也。
【一分與窮乞人】與窮乞人者謂乞得食時遇有窮苦求乞之人當起憐憫心作自饑想亦以一分施之令其飽滿勸他修善也。
【一分與諸鬼神】與諸鬼神者謂乞得食時即以淨器盛貯一分待日晡時則然香諷呪加持普施一切鬼神令其飽滿出離苦趣悉得解脫也。
【一分自食】自食者謂乞得食時除前三分之外唯留一分或多或少則自食之食已安心行道庶不虛受信施也。
四邪命食(出大智度論)
謂諸比丘當以乞食清淨自活不應以下口仰口方口維口四種邪命之食以自活命也。
【一下口食】謂種植田園合和湯藥以求衣食而自活命是名下口食也。
【二仰口食】謂仰觀星宿日月風雨雷電霹靂術數之學以求衣食而自活命是名仰口食也。

【三方口食】謂曲媚豪勢通使四方巧言多求以自活命是名方口食也。
【四維口食】維即四維也謂學種種呪術卜筭吉凶以求衣食而自活命是名維口食也。
四食時(出法苑珠林)
【一天食時】天食時者謂清旦時即諸天所食之時也。
【二法食時】法食時者謂三世諸佛皆以千時為法食時過此即非時也(三世者過去未來現在也)。
【三畜生食時】畜生食時者謂日暮時即是畜生所食之時也。
【四鬼神食時】鬼神食時者謂昏夜時即是鬼神所食之時也。
行四依(出四分律藏)
謂出家之人依此四法而修則能成就聖道也。
【一著糞掃衣】著糞掃衣者謂視同糞土掃除不用即世人所棄弊垢之衣也修道之人當收拾淨洗補湊穿著如此則心無所戀能成道業矣。
【二常行乞食】乞食者謂出家之人常以乞食自活其命也。
【三樹下坐】樹下坐者謂出家之人不宜營治舍宅當於樹下或石窟中隨便而居修習禪定也。
【四用陳腐藥】用陳腐藥者謂出家之人若患病時當用陳年朽腐之藥而調治之病瘥即止不得貪樂新好藥物而預積蓄也。
四機(出法華文句)
四機者機即機嗣又機緣也有可發之義故名為機。
【一人天機】謂諸惡莫作諸善奉行是名人天機。
【二二乘機】謂厭畏生死忻尚涅槃是名二乘機(梵語涅槃華言滅度二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【三菩薩機】謂先人後己慈悲仁讓是名菩薩機(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【四佛機】謂一切諸法中悉以等觀入一切無礙人一道出生死是名佛機(等觀者即非空非假平等中道觀也一道出生死者以中道觀頓斷諸惑頓出生死也)。
四種我(出圓覺經署疏)
【一凡夫妄計我】謂世間凡夫之人不了五陰等法皆空於中妄計我身強立主宰造作諸業流轉生死無有休息是為凡夫妄計我(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【二外道神我】謂外道之人於五陰中妄計識神如麻荳等或計遍身起於我見墜墮邊邪輪廻生死是為外道神我。
【三三乘假我】謂三乘之人了知一切五陰等法虛假不實悉無有我是為三乘假我(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
【四法身真我】謂如來法身量等虛空無所不遍故於無我法中明八自在我是為法身真我(八自在我者一能示一身以為多身二示一塵身滿大千界三大身

輕舉遠到四現無量類常居一土五諸根互用六得下切法如無法想七說一偈義經無量刼八身遍諸處猶如虛空也)。

四大(出圓覺經)

四大者謂人之身攬外地水火風四大而成內身四大因對色香味觸四微故稱為四大也。

【一地大】地以堅礙為性謂眼耳鼻舌身等名為地大若不假水則不和合經云髮毛爪齒皮肉筋骨等皆歸於地是也。

【二水大】水以潤濕為性謂唾涕津液等名為水大若不假地即便流散經云唾涕膿血津液涎沫痰淚精氣大小便利皆歸於水是也。

【三火大】火以燥熱為性謂身中煖氣名為火大若不假風則不增長經云煖氣歸火是也。

【四風大】風以動轉為性謂出入息及身動轉名為風大此身動作皆由風轉經云動轉歸風是也(動轉歸風者凡身動轉皆屬風也)。

四微(出金光明經文句記)

四微者謂色香味觸也因對四大稱為四微又復四大皆由四微所成故大智度論云地有色香味觸重故自無所作水少香故動作勝地火少香味故勢勝於水風少色香味故動作勝火。

【一色微】色者謂眼所見種種諸色也以其微細故名色微。

【二香微】香者謂鼻所嗅種種諸香也以其微細故名香微。

【三味微】味者謂舌所嘗種種諸味也以其微細故名味微。

【四觸微】觸者謂身分所覺種種諸觸也以其微細故名觸微。

四求(出法集經)

【一欲愛】謂於欲界五塵而起貪愛也因貪愛故推求不已是名欲愛(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

【二色愛】謂於色界禪定而起貪愛也因貪愛故推求不已是名色愛。

【三無色愛】謂於無色界禪定而起貪愛也因貪愛故推求不已是名無色愛。

【四無有愛】無有即空也謂於涅槃真空之法而起貪愛也因貪愛故推求不已是名無有愛(梵語涅槃華言滅度)。

四求不得(出大乘莊嚴經論)

求者推求也論云菩薩以四種求諸法皆不可得不可得即是空也故名求不得。

【一名求不得】名即假名謂若有是物則有是名以此推之物則為主名則為客名既為客則是假名推求實義了不可得故論云推名於物是客故云名求不得。

【二物求不得】物即事物謂雖有其物若無其名物不自顯以此推之名亦是主物亦是客物既是客亦成虛假故論云推物於名是客故云物求不得。

【三自性求不得】謂名之與物各有自體之性若推名之自性及物之自性但有虛假之名皆無真實之義故論云推名自性及物自性知俱是假故云自性求不得。
【四差別求不得】謂於名於物各有差別之相一一分別推求悉歸於空皆不可得故論云推名差別及物差別知俱空故悉不可得故云差別求不得。
四不寄附(出優婆塞戒經)
經云佛言善男子受優婆塞戒者先學世事既學通達如法求財若得財物應供父母妻子眷屬其餘藏積俟用不應寄附四處也(梵語優婆塞華言清淨士)。
【一老人】謂年老之人死日漸近故所有財物不應寄附於彼也。
【二遠處】謂道路隔遠之處緩急要用取討難及故所有財物不應寄附於彼也。
【三惡人】謂不善之人稟性凶惡若見財物恐生貪奪之心故不應寄附於彼也。
【四大力】謂豪強之人倚恃勢力若見財物恐生貪奪之心故不應寄附於彼也。
四不見(出圓覺經鈔)
【一魚不見水】謂魚以水為窟宅游泳水中悉無所障故云魚不見水。
【二人不見風】謂風發於萬竅但有聲響可聞而無形相可見故云人不見風。
【三迷不見惟】謂靈明覺知之性人人本具但為煩惱無明覆障迷而不了故云迷不見性。
【四悟不見空】謂修行之人既能覺了靈知之性本來空寂而此空性亦不可得故云悟不見空。
四不成(出因明入正理論)
【一兩俱不成】謂聲是無常非眼所見若言聲是眼見而聲與眼俱不能成是名兩俱不成。
【二隨一不成】謂聲是所作性故以聲顯論聲是實法若不將名句文等共相為用則不成其論矣是名隨一不成。
【三猶豫不成】謂如見雲霧等即起疑惑以為是火非火疑心不決是名猶豫不成。
【四所依不成】謂虛空實有為萬物所依若言虛空定無則萬物無所依是名所依不成。
四種無(出涅槃經)
【一未有名無】謂梵志妄計涅槃之法在眾生煩惱心中不可說有譬如瓶未出泥名為無瓶盖外道不知眾生煩惱心中實具涅槃之德故佛答言如是涅槃非是先無同泥無瓶(梵語梵志華言淨裔梵語涅槃華言滅度)。

【二滅已名無】謂梵志妄計滅煩惱已名為涅槃涅槃即無譬如瓶既壞已名為無瓶蓋外道不知煩惱既滅涅槃即顯故佛答言亦非滅無同瓶壞已。
【三異相名無】謂梵志妄計煩惱涅槃其相即異謂煩惱中無涅槃涅槃中無煩惱譬如牛中無馬馬中無牛蓋外道不知轉煩惱即是涅槃轉涅槃即是煩惱故佛答言雖牛中無馬不可說言牛亦是無雖馬中無牛不可說言馬亦是無如此則不可言煩惱中無涅槃涅槃中無煩惱也。
【四畢竟名無】謂梵志妄計涅槃之法畢竟無有名之為無譬如龜毛兔角實不可得蓋外道不知涅槃之德其性常住不可毀壞故佛答言亦非畢竟無如龜毛兔角。
大明三藏法數卷第十三

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

四知(出佛說罵意經)
【一天知】謂人一念心起若善若惡雖未形現天神已自知之照臨於上矣。
【二地知】謂人一念心起若善若惡雖未形現地神已自知之鑒察於下矣。
【三傍人知】謂人作善作惡於隱僻之處自謂無人知而不知傍人已知之矣。
【四自知】謂心欲作善作惡人雖未知自意已先知之矣。
一名四實(出涅槃經)
一名謂先陀婆四實謂水鹽器馬如是四法皆同此一名此是大王密語經云譬如大王告諸羣臣先陀婆來有智之臣善知此名若王心欲水時口索先陀婆者智臣善知王意即以水奉之索後三物亦稱先陀婆智臣即以三物隨意奉之以譬如來密語甚深難解諸大乘經亦復如是若說四無常大乘菩薩應當善知此是如來為諸眾生說無常苦空無我之相令得證於涅槃解脫之道(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語涅槃華言滅度)。
【一水】經云若王欲洗時索先陀婆智臣即便奉水謂水無定性在方器則方在圓器則圓以譬如來為諸眾生說入涅槃大乘菩薩即知此是如來為計常者說無常相欲令眾生脩無常想也。
【二鹽】經云若王欲食時索先陀婆智臣即便奉鹽謂鹽味苦以譬如來或說正法當滅大乘菩薩即知此是如來為計樂者說於苦相欲令眾生多修苦想也。
【三器】經云若王食已將欲飲漿索先陀婆智臣即便奉器謂器中本空以譬如來或說空者是正解脫大乘菩薩即知此是如來說正解脫欲令眾生修學空想也。
【四馬】經云若王欲遊索先陀婆智臣即便奉馬謂馬由人策不得自在以譬如來或說我今病苦大乘菩薩即知此是如來為計我者說無我相欲令眾生修無我想也。
四念珠(出金剛頂瑜伽念珠經)
念珠者佛令眾生欲滅煩惱當持數珠常隨其身專心繫念諸佛名號故說數珠之多少功德之勝劣而有四種之不同也金剛薩埵菩薩偈云念珠功德有四種上品最勝及中下一千八十以為上一百八珠為最勝五十四珠以為中二十七珠為下類手持念珠當心上靜慮離念心專注設安頂髻或掛身或安頸上及安臂由安頂髻淨無間由帶頸上淨四重手持臂上除眾

罪能令行人悉清淨(淨無間者無間地獄之業得清淨也淨四重者殺生偷盜[婬-壬+(工/山)]慾妄語之業得清淨也)。
【一一千八十珠為上品】此珠為上品者以其數多若持此珠念佛名號則功德利益極為上品準校量數珠功德經云此珠若以木槵為者或掐一過得福千倍蓮子為者得福萬倍水晶為者得福千億倍菩提子為者得福無量也。
【二一百八珠為最勝】此珠為最勝者以其數次於上品若持以念佛名號則功德利益為最勝也若以木槵蓮子水晶菩提子為者其持掐所得之福亦如前也。
【三五十四珠為中品】此珠為中品者以其數又次於前若持以念佛名號則功德利益為中品也若以木槵蓮子水晶菩提子為者其持掐所得之福亦如前也。
【四二十七珠為下品】此珠為下品者以其數又次於前若持以念佛名號則功德利益為下品也若以木槵蓮子水晶菩提子為者其持掐所得之福亦如前也然此皆以珠數多寡而分四品之別若能專心持念則功德平等而無異也。
懷胎死四(出出曜經)
謂調達比丘染著世利於阿難所求學神通能於虛空作十八變涌沒自由時阿闍世王太子見其神變日給五百釜食隨時供養於是世尊告諸比丘汝等勿學調達貪著供養自陷於罪亦陷他人遂說偈喻云芭蕉以實死竹蘆實亦然駏驉坐妊死士以貪自喪(梵語調達華言天熱梵語阿難華言慶喜梵語阿闍世華言未生怨駏驉即騾也妊即孕也)。
【一芭蕉生實】謂芭蕉本是危脆之物若更開華生實不久即枯死以喻人身無常亦不堅實若更要求名譽貪著利養則自陷於罪亦陷他人也(此下三喻義同)。
【二蘆開華】謂蘆葦亦是危脆之物若更開華不久即枯死也。
【三竹生米】謂一切竹若根力衰敗枝則生米不久即枯死也。
【四駏驉妊】謂駏驉若懷妊即母子俱喪也。
四葬(出法苑珠林)
此四葬法皆西域殯葬之法也。
【一水葬】水葬者謂棄置江河以飼魚鱉也。
【二火葬】火葬者謂積薪而焚滅諸有相也。
【三土葬】土葬者謂埋藏岸傍以取速朽也。
【四林葬】林葬者謂露置寒林飼諸禽獸也(寒林即西域棄尸處僧祇律云謂多死尸凡入者可畏毛寒故名寒林)。
虹蜺四緣(出法集經)
經中因明菩薩善根業行因緣而有勝妙果報不同故立多種譬喻此虹蜺為一也謂諸菩薩因於善根業行而有香華種種技樂音聲於虛空中自然

而作以為供養然彼業行因緣雖不至於技樂音聲之中而亦因彼善業而有種種勝妙供養果報也譬如虛空雜色虹起而因地水火風四大因緣而生然四大雖不至於虹蜺之中亦因四大而有種種色相顯現故說虹蜺四緣也。

【一地大生黃】謂虹蜺體具眾色其中黃色乃假地大而能映現蓋土之色性本黃虹必依地而起故云地大生黃也。

【二水大生青】謂虹蜺體具眾色其中青色乃假水大照映而起蓋水之色性本青虹必因雨而有故云水大生青也。

【三火大生赤】謂虹蜺體具眾色其中赤色乃因火大而能顯發蓋火之色性本赤虹必因日照而現故云火大生赤也。

【四風大生輪】謂虹蜺隨處現起初無實體因假風大之力所持而體如輪暈之相蓋風之體性本能運動故云風大生輪也。

四兵(出長阿含經)

謂轉輪王出遊之時即集此四兵隨從而衛護也。

【一象兵】謂轉輪王出遊之時其軍士皆乘象也。

【二馬兵】謂轉輪王出遊之時其軍士皆乘馬也。

【三車兵】謂轉輪王出遊之時其軍士皆乘車也。

【四步兵】謂轉輪王出遊之時其軍士皆帶甲冑隨從步行也。

四華(出翻譯名義)

【一分陀利】梵語分陀利華言白蓮華。

【二優鉢羅】梵語優鉢羅華言青蓮華。

【三鉢特摩】梵語鉢特摩華言紅蓮華。

【四拘勿投】梵語拘勿投亦云拘某陀華言黃蓮華。

又四華(出法華文句)

【一曼陀羅華】梵語曼陀羅華言適意又云白華。

【二摩訶曼陀羅華】梵語摩訶華言大即大適意亦云大白華。

【三曼殊沙華】梵語曼殊沙華言柔輭又云赤華。

【四摩訶曼殊沙華】梵語摩訶曼殊沙華言大柔輭亦云大赤華。

五種法身(出華嚴經隨疏演義鈔)

【一法性生身】謂此法性體本圓常該通萬有如來之身由此出生故名法性生身。

【二功德法身】謂如來以萬行功德為因而成法身之果故名功德法身。

【三變化法身】謂如來法身無感不形無機不應如千江月隨水現影影雖有殊月本是一故名變化法身。

【四虛空法身】謂如來法身融通三際包括大千一性圓明諸塵不染故名虛空法身(三際者即過去現在未來三世也)。

【五實相法身】謂如來法身離諸虛妄會極真如不生不滅故名實相法身。

五教佛身(出華嚴一乘教義分齊章)

五教者即小始終頓圓也佛身即如來之身也如來之身徧一切處本無大小形量但為眾生根器利鈍不同故曲垂方便演說種種法門示現種種身相即有五教佛身之異也。

【一小教丈六金身】謂如來示現降生出家成道於鹿野苑說四諦生滅之法專化二乘而二乘但見丈六金身故名小教丈六金身也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也二乘者聲聞乘緣覺乘也)。

【二始教千百億化身】謂如來次說大乘之法廣談法相於千百億世界中示現種種色身正化菩薩兼化二乘以眾生所見各各不同故名始教千百億化身也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【三終教丈六即真身】謂如來次說大乘終極之理會一切法咸歸實性二乘闡提悉得成佛機緣既熟所見如來丈六之身即是真常之體故名終教丈六即真身也(闡提梵語具云一闡提華言信不具)。

【四頓教丈六即法身】謂如來不從漸次唯談圓頓之理空有兩亡色心無礙大乘菩薩了一切法無非法身故名頓教丈六即法身也。

【五圓教具足十身】謂如來稱性宣揚圓融法界之理法法互融塵塵無礙統諸教差別之身全法界平等之體菩提願智等身無不具足故名圓教具足十身也(梵語菩提華言道十身者菩提身願身化身力持身相好莊嚴身威勢身意生身福德身法身智身也)。

五部教主(出大樂金剛不空真實三昧耶經理趣釋)

部謂部類教謂言教主即主宰此之五部乃是如來金剛不空真實三昧法門也而依五方立五部以五佛為主者各有所表也中方毘盧遮那即釋迦如來也四方四佛乃釋迦化現以表諸佛同一法身也以如來入種種三摩地說種種陀羅尼門雖各分部類各有壇法而皆與般若理趣相應也然此法門為令眾生三業清淨得金剛智三摩地而行慧施不為煩惱染汙成就無上菩提而證清淨法身也(梵語三昧華言正定梵語毘盧遮那華言徧一切處梵語釋迦華言能仁梵語三摩地華言等持梵語陀羅尼華言總持梵語般若華言智慧三業者身業口業意業也金剛智者如來智慧無法不知無惑不斷如金剛至堅至利故云金剛智也)。

【一中方灌頂部】灌頂喻也如輪王太子受儲君位輪王乃取四大海水灌太子頂加以寶冠以喻毘盧遮那已得一切如來灌頂受佛職位而為三界法王以清淨法界智演說般若相應陀羅尼加持眾生身口意業悉得清淨亦受灌頂之位而證清淨法身是為灌頂部故中央以毘盧遮那為教主也(三界者欲界色界無色界也)。

【二東方金剛部】金剛部者謂如來證得佛地觀眾生藏識中煩惱習氣堅固難捨以大空金剛智三摩地而摧破之不離大圓鏡智而演說般若相

應陀羅尼令諸眾生得清淨三業而悟本有不壞金剛佛性是為金剛部故東方以阿閦佛為教主也(煩惱習氣者煩惱餘習氣分也大空者即畢竟空也梵語阿閦華言不動)。
【三南方寶生部】寶生部者謂如來得三界法王位入金剛寶三摩地愍念眾生而行慧施心無恪惜三輪清淨以平等性智說諸陀羅尼令諸眾生所求一切伏藏皆得現前而證得河沙功德是為寶生部故南方以寶生如來為教主也(三輪清淨者謂能施之人所施之物及受施之人皆無取著也)。
【四西方蓮華部】蓮華部者謂如來得自性清淨法身而住雜染濁惡世界不被一切煩惱染汙猶如蓮華入清淨三摩地以妙觀察智說諸陀羅尼令諸眾生證悟清淨法界如蓮華不染諸垢具足一切無漏善法是為蓮華部亦名法部謂以此法門加持極樂世界水鳥樹林皆演法音故西方以阿彌陀佛為教主也(無漏者不漏落三界生死也梵語阿彌陀華言無量壽)。
【五北方羯磨部】梵語羯磨華言作法又云辦事謂佛持一切如來智印入大悲三摩地以成所作智說諸陀羅尼加持一切眾生得無礙身語意業令藏識中殺害雜深種子悉盡無餘一切事業皆悉成就是為羯磨部故北方以不空成就如來為教主也(藏識即第八識也)。
佛觀五事降生(出因果經)
佛於兜率天宮將欲降生先觀五事而後託胎也(梵語兜率華言知足)。
【一觀諸眾生熟與未熟】謂如來將欲降生先觀眾生根機熟與未熟以此土眾生根機成熟可度故現降生也。
【二觀時至未至】謂如來將欲降生先觀眾生可度之時至與未至以度生時至故現降生也。
【三觀諸國土何國處中】謂如來將欲降生先觀世界何國居中以迦毘羅國居大千世界之中故於此國現降生也(梵語迦毘羅華言黃色)。
【四觀諸種族何族最盛】謂如來將欲降生先觀種族貴盛以剎帝利種族極貴最盛故於此族現降生也(梵語剎帝利華言田主)。
【五觀過去因緣誰最真正應為父母】謂如來將欲降生先觀過去因緣誰可為其父母以淨飯王摩耶夫人真正無邪宿有因緣可為父母故於此王宮現降生也(摩耶梵語具云摩訶摩耶華言大術)。
佛五姓(出釋氏要覽)
西域記云姓所以繫統百世使不別也佛祖統紀云世人皆知如來為剎帝利之主種而不知瞿曇釋迦前後立姓之由瞿曇之義有四或云純淑或云地最勝此從本德而稱也或云甘蔗或云日種此就本緣而言也釋迦之義有三據德立號則曰能仁依處稱名則曰舍夷直林然釋迦立姓之由雖因甘蔗王之四子而實出自瞿曇也瞿曇釋迦稱雖有異姓即是一或加日種甘蔗舍夷列為五姓則本末相分源流一致是知舍夷釋迦二姓出自甘蔗甘蔗出自瞿曇其實皆剎帝利王之一姓也(梵語剎帝利華言田主)。

【一瞿曇】梵語瞿曇華言純淑又云地最勝謂於人類中此族最勝故也十二游經云刼初有王名大茆草王禪位於臣往師瞿曇仙人修道遂受其姓名小瞿曇後裔相承為姓故云瞿曇也。
【二甘蔗】本行經云大茆草王(即小瞿曇)得成王仙壽命極長老不能行時諸弟子出外乞食恐師有虎狼之患遂以草籠盛之懸於樹上獵人遙見謂彼是鳥乃射之滴血於地生二甘蔗日炙開剖一出童男一出童女大臣聞之迎歸王宮養育長成男名善生以王種故遂立為王號甘蔗後裔相承為姓故云甘蔗也。
【三日種】謂甘蔗王由日炙甘蔗而生遂以日為種故云日種。
【四舍夷】謂甘蔗王第四子名別成為父擯出至雪山直樹林住其後建國名舍夷遂以其處為姓故云舍夷。
【五釋迦】梵語釋迦華言能仁本行經云甘蔗王第一妃善賢生子名長壽第二妃生四子一名炬面二名金色三名象眾四名別成時善賢妃欲立長壽白王擯遣四子出國至雪山北住直樹林中其第四子別成為王自立城居以德化人即為強國父王追悔遣使徃召辭過不還父王歎曰我子釋迦遂以德為姓故云釋迦也。
佛有五事(出增一阿含經)
【一當轉法輪】當轉法輪者謂如來出世既成道已當轉法輪度脫有情饒益一切如轉四諦法輪先度五比丘等是也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也五比丘者一阿鞞二跋提三拘利四陳如五迦葉也)。
【二與父說法】與父說法者謂如來既成道已惟念父恩最重當與說法令其享壽無窮正法治化及得遠離塵垢得法眼淨是故還於本國與父說法普曜經云佛出家時與父母誓若得佛道還度父母今得佛道必當還國說法度脫不違本誓也(法眼者謂見色心麤細因緣假名俗諦諸法也)。
【三與母說法】與母說法者謂如來成道已惟念母恩育養情深況有誓願還度父母是故為其說法令得解脫如昇忉利天宮為母說法是也(梵語忉利華言三十三)。
【四當與凡夫立菩薩行】當與凡夫立菩薩行者謂如來出世既成道已當度一切有情故說六度萬行之法與諸凡夫成立菩薩大乘之行轉度一切同成正覺也(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧)。
【五當授菩薩莂】當授菩薩莂者莂即記莂佛授菩薩記分別當來成佛刼國名號也謂如來既成道已觀諸大乘機器若行菩薩道已成熟者而為說法即授其記令彼當來皆得作佛也。
五不赴請(出根本說一切有部毘柰耶)
根本毘柰耶云有一長者請佛及僧就家設供比丘皆去惟世尊獨留在寺令人取食不赴其請故說此五種因緣也(梵語比丘華言乞士)。
【一為宴默而居】為宴默而居者謂如來深入禪定寂然宴默故不赴請。

【二為諸天說法】為諸天說法者謂如來為諸天眾宣說法要故不赴請。
【三為觀察病】為觀察病者謂時有病僧如來為瞻察調理故不赴請。
【四為看諸臥具】為看諸臥具者時有商人施僧妙氈比丘得氈制新臥具棄舊臥具狼籍於地佛欲待比丘去徃彼瞻看故不赴請。
【五為制其學處】制謂制立學處即當學戒也以比丘不應制新臥具棄擲舊者佛欲制其學戒故不赴請。
如來五種說法(出思益梵天所問經)
【一言說】言說者以言音而說法也謂如來或說過去未來現在之法或說世間出世間法悉為化導眾生乃至恒河沙刼說無窮盡雖如是說而不壞法性亦不著法性也。
【二隨宜】隨宜者隨順眾生之所宜也謂如來所說種種諸法或偏或圓或頓或漸皆是隨順眾生之機稱其根器悉令開解也。
【三方便】方即方法便即便宜猶善巧也謂如來說布施得大富說持戒得生天說忍辱得離諸瞋恚說精進得具諸功德說禪定得息諸散亂說智慧得捨諸煩惱如是種種方便開化眾生莫不為令超脫苦輪得諸法樂也。
【四法門】法者如來所說之法也門以出入為義謂如來說諸妙法開解脫門普令一切有情皆得出離生死苦趣而入解脫清淨之域也。
【五大悲】悲愍傷也謂如來愍眾生故興大悲心為之說法而拔其苦也若眾生著貪愛者為說不淨著瞋恚者為說慈悲乃至染著法者說一切離染之法樂著眾苦不淨而居家者為說出離之法如來作如是種種說者莫不為令一切眾生脫離眾苦也。
五種甚深(出法華論)
甚深者即如來所證真如理智境界也以此五法深妙難解非聲聞緣覺之所能知故也。
【一義甚深】義甚深者謂如來所證種智性義微妙不可思議也。
【二實體甚深】實體甚深者謂如來所證實相理體不空不有非如非異不可思議也。
【三內證甚深】內證甚深者謂如來所證所得一切智慧甚深無量其智慧門難解難入不可思議也。
【四依止甚深】依止甚深者謂如來所證真如法體徧一切處無染無淨不變不遷於一切法不即不離不可思議也。
【五無上甚深】無上甚深者謂如來所證阿耨多羅三藐三菩提而一切聲聞辟支佛等所不能思議也(梵語阿耨多羅三藐三菩提華言無上正等正覺辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺)。
五所依土(出圓覺經略疏鈔)

【一法性土】謂如來清淨法身所依之土以真如為體然此身土體無差別不變不遷離相寂滅是名法性土。
【二實報土】謂如來圓滿報身所依之土以無漏五蘊為體此由徃昔修習十力四無所畏等功德成就無礙莊嚴境智融泯稱實感報之所招感是名實報土(無漏者不漏落生死也五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也十力者知是處非處智力知過現未來業報智力知諸禪解脫三昧智力知諸根勝劣智力知種種解智力知種種界智力知一切至處道智力知天眼無礙智力知宿命無漏智力知永斷習氣智力也四無所畏者一切智無所畏漏盡無所畏說障道無所畏說盡苦道無所畏也)。
【三色相土】謂如來微塵相海身所依之土以自行後得智為體此由萬德成就眾寶莊嚴周圓無際是名色相土(自行後得智者謂如來自行滿足覺體圓明後起妙用之智也)。
【四他受用土】他受用者他機感見而受用也謂如來他受用身所依之土以利他後得智為體此由修德成就隨住十地菩薩所宜變現以大慈悲力而現大小勝劣種種淨土是名他受用土(十地者歡喜地離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【五變化土】改易不常為變無而忽有為化謂如來變化身所依之土以利他成事智為體此由徃昔修習利他之行故能隨眾生心變現淨穢種種國土是名變化土。
五法(出楞伽經)
【一名】名即假名也謂一切聖凡情與無情若根若塵各有自相逐體稱呼是為名也(根者眼耳鼻舌身意六根也塵者色聲香味觸法六塵也)。
【二相】相即色相也謂三界一切品類洪纖妍醜情與無情及根塵諸法各有形狀是為相也(三界者欲界色界無色界也)。
【三妄想】妄想者分別虛妄之念也謂由前名相二法起分別心認假名為自己執幻相為本身則有心心數法種種攀緣是為妄想也(心即心王心數法即受想行等法也)。
【四正智】正智者如來明了正見之智也謂了前諸法如幻如化非斷非常超過一切凡夫小乘偏邪異見是為正智也。
【五如如】如如者不變不異真如之理也謂由前正智觀察名相皆悉如幻非有非無名相本空即真如理理因智明智因理發以智如理以理如智是為如如也。
百法五位(出顯揚聖教論)
百法五位者謂色法十一心法有八心所法五十一不相應行法二十四無為法六總成百法各有所屬列為五位也。
【一色位】色以質礙為義色有十一種即眼耳鼻舌身色聲香味觸及法處所攝一分色以此十一種皆有質礙是名色位(法處是意所取之境具有四分一心所法二不相應行三無為四無表色今言法處所攝一分色正是無表色也無表色者謂

意識緣於過去所見之境雖分別明了而無表對故云無表雖無所表於所緣境執著不忘故云色也)。

【二心法位】心法有八種謂阿賴耶識眼耳鼻舌身意識及第七識雖有八種之名而皆出於心王故名心法位也(梵語阿賴耶華言識識即第八含藏識也)。

【三心所有法位】心所有法五十一種謂徧行五法一作意(能警覺為性心未起能警令起心已起能引趣於境也)二觸(對境也)三受(領納前境也)四想(於境取像也)五思(起心造作諸業也)由此五法起則同起故徧行也別境五法一欲(希望樂境也)二勝解(於理明了無礙也)三念(明記不忘也)四等持(離昏沉掉舉曰等令心專注不散名持)五慧(揀擇名慧能揀擇善惡法也)由此五法起時各起故名別境也善有十一法一信(於善法深樂不疑也)二慚(耻己無德也)三愧(羞為惡行也)四無貪(於五欲境心生厭離也)五無瞋(於違情境不起怒心也)六無癡(於事於理明解決了也)七精進(於諸善法精勤修習也)八輕安(遠離昏亂也)九不放逸(於不善法心不染著也)十捨(遠離掉舉也)十一不害(於有情之所不加損惱也)煩惱有六法一貪(引取無厭也)二瞋(忿怒不息也)三慢(自恃陵他也)四無明(於事於理無所明了也)五見(即邪見也)六疑(猶豫不決也)由此六者皆昏煩之法惱亂心神故名煩惱也隨煩惱有二十法一忿(暴怒也)二恨(怨恨也)三覆(令人不知己過也)四惱(外境違情不自安隱也)五嫉(心懷妬忌也)六慳(於一切財不能慧施也)七誑(詭詐不實也)八諂(媚悅人意也)九害(損惱有情也)十憍(矜己傲他也)十一無慚(不知羞耻也)十二無愧(陰為不善也)十三掉舉(內心動搖也)十四昏沉(心神迷惑也)十五不信(邪見多疑也)十六懈怠(身心不勤也)十七放逸(縱恣欲竟也)十八失念(遺失正念也)十九散亂(心常放逸也)二十不正知(以妄為真也)由此煩惱隨逐前煩惱六法而起故名隨煩惱也不定法有四一惡作(或作惡事心生追悔或不作善事心生追悔故屬不定法)二睡眠(識神昏昧也夢中見境或善或惡或不善不惡故屬不定法)三尋(尋即尋思心中所起之念也所起之念或善或惡或不善不惡故屬不定法)四伺(伺即伺察心中所起之念也尋思之心麤而浮伺察之心沉而細此心亦有善惡不善不惡故屬不定法)如是諸法從阿賴耶識種子所生依心而起與心俱轉相應是名心所有法位也。

【四不相應行位】不相應行有二十四種一得(於一切法造作成就也)二命根(第八識種子并出入息煖氣三者連持不斷人命得存也)三眾同分(如人之類其形相似也)四異生性(眾生妄性不同也)五無想定(外道所修之定心想俱滅故也)六滅盡定(得此定者受想心滅盡諸識不起也)七無想報(外道修無想定命終果報生無想天壽命五百刼想心不行如冰夾魚也)八名身(依事立名眾名聯合故曰名身也)九句身(積言成句眾句聯合故曰句身也)十文身(文即是字眾字聯合故曰文身也)十一生(諸法始起也)十二住(諸法未遷也)十三老(諸法漸衰也)十四無常(今有後無也)十五流轉(因果不斷相續轉故也)十六定異(善惡因果決定不同也)十七相應(因果和合不相違背也)十八勢速(諸法遷流不暫停住也)十九次第(編列有敘也)二十時(即時節也)二十一方(即方所也)二十二數(即數目也)二十三和合

(不相乖違也)二十四不和合(相乖違故也)由此二十四法是假施設性不與心相應不與色相應故名不相應行位也(假施設性者以其有名無體故不屬於心法亦不屬於色法也)。

【五無為位】無為位有六法一虛空無為(真空之理離諸障礙猶如虛空無所作為也)二擇滅無為(擇揀擇滅斷滅以智斷惑所顯真理無有作為也)三非擇滅無為(不假智力斷滅諸惑性本清淨無所作為也)四不動無為(不動地即第四禪天從地立名此天所修禪定之理無所作為)五想受滅無為(想受心滅所顯真理無所作為也)六真如無為(不妄曰真不異曰如真如之理無所作為也)由此六法體本虛融無有作為故名無為位也。

五類說法(出華嚴經疏)

【一佛說】佛說者謂一切經法皆是佛說也然華嚴一經亦通菩薩聲聞等共說此言佛說者如阿僧祇品隨好品乃是如來親口宣說也(梵語阿僧祇華言無數)。

【二菩薩說】菩薩說者謂諸大菩薩互相宣說以顯主伴互融也如華嚴經中十住十行十廻向等品皆是菩薩所說也(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也)。

【三聲聞說】聲聞說者謂聲聞之人佛力加被亦能說法也如華嚴經中法界品初即是聲聞所說也。

【四眾生說】謂眾生亦能說法者由眾生諸佛體本不二佛所說法即眾生說眾生說法即諸佛說是名眾生說也。

【五器界說】器界者世界如器即國土也謂器界亦能說法者即如來不思議神力而變現也如華嚴經菩提樹等能作佛事又如極樂國土水鳥樹林雲臺寶網皆演妙音是也(梵語菩提華言道菩提樹等能作佛事者謂菩提樹及光明寶網皆能演說法音也)。

經五義(亦云經五名出華嚴經疏)

【一湧泉義】湧泉義者謂如來正教義無窮盡猶如湧泉注而無竭也。

【二出生義】出生義者謂如來正教義理深長展轉出生而無盡也。

【三顯示義】顯示義者謂如來正教顯示事理無有隱覆而能開悟羣迷也。

【四繩墨義】繩墨義者謂如來正教如彼繩墨楷定正邪令諸眾生歸於正道也。

【五結鬘義】謂結鬘因線線能貫華結以成鬘者取貫攝之義以喻如來正教貫穿諸法攝化眾生也。

五人說經(出大智度論)

【一佛說】謂如來出現於世為度眾生廣說種種諸經但自金口所宣者是名佛說。
【二弟子說】弟子即聲聞緣覺菩薩等諸大弟子也謂佛在世時承佛加被各運神通隨機演教化度眾生是名弟子說。
【三仙說】仙即佛會之中諸大仙人也謂其從佛入道誓弘佛化宣揚正法饒益有情是名仙說。
【四諸天說】天即梵釋等諸天也謂如帝釋每於善法堂上常為忉利諸天演說般若大經等是名諸天說(梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵雙舉梵語忉利華言三十三梵語般若華言智慧)。
【五化人說】化人即三乘聖人隨機現化者也謂如羅睺羅化作金輪王而度城東老母先讚福果因緣後說大乘妙法是名化人說(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也梵語羅睺羅華言覆障)。
五種不翻(出翻譯名義)
翻即翻譯謂譯彼梵音而成此華言也不翻者以此五種不可翻故也。
【一秘密不翻】微妙深隱曰秘互不相知曰密謂諸陀羅尼是佛秘密之語經中悉存梵語是為秘密故不翻也(梵語陀羅尼華言摠持亦云呪也)。
【二多含不翻】謂如梵語薄伽梵具含自在熾盛端嚴名稱吉祥尊貴等六義經中但存梵語是為多含義故不翻也。
【三此方無不翻】謂如梵語閻浮提華言勝金洲西域有樹名閻浮樹下有河河有金沙故名勝金今不言勝金者以此方無此樹故諸經中但存梵語是為此方無故不翻也。
【四順古不翻】謂如梵語阿耨多羅三藐三菩提華言無上正等正覺雖有此翻然自漢摩騰法師已來經中但存梵語是為順古故不翻也。
【五尊重不翻】謂如梵語般若華言智慧大智度論云般若實相甚深尊重智慧輕薄是故但云般若而不言智慧是為尊重故不翻也。
華嚴五周因果(出華嚴經疏)
【一所信因果】謂華嚴第一會菩提場說如來依正果報法門自第一卷至第十一卷共六品前五品顯舍那依正果德後一品明佛本因令人信樂故名所信因果也(梵語菩提華言道謂如來成道說法之處故云菩提場六品者世主妙嚴品如來現相品普賢三昧品世界成就品華藏世界品遮那品也)。
【二差別因果】謂第二會普光明殿至第七會重會普光明殿說十信十住十行十回向十地等覺差別因果之法門自十二卷至四十八卷共二十九品前二十六品辯因後三品明果亦名生解因果故名差別因果也(普光明殿者其殿眾寶所成光明照曜也十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心回向心戒心願心也十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行無癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫

回向法界無量回向也十地者歡喜地離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也等覺者去後妙覺位猶有一等勝前諸位得稱覺也二十九品者如來名號品四聖諦品光明覺品菩薩問明品淨行品賢首品昇須彌山頂品須彌山頂偈讚品十住品梵行品初發心功德品明法品昇夜摩天宮品夜摩宮中偈讚品十行品十無盡藏品昇兜率天宮品兜率天宮偈讚品十回向品十地品十定品十通品十忍品阿僧祇品如來壽量品諸菩薩住處品佛不思議法品如來十身相海品如來隨好光明功德品也)。

【三平等因果】謂第七重會普光明殿說平等因果自第四十九卷至第五十二卷共二品前普賢行品辯因該果海後如來出現品明果徹因源因果不二故名平等因果也。

【四成行因果】謂第八會重會普光明殿說成行因果離世間法自第五十三卷至第五十九卷共一品初明五位因後明八相果故名成行因果也(五位者十住十行十回向十地等覺也八相者降兜率托胎降生出家降魔成道說法入涅槃也)。

【五證入因果】謂第九會逝多林說證入法界妙門自第六十卷至第八十卷共一品初明佛果大用後顯菩薩起用修因謂因果二門俱時證入故名證入因果也(梵語逝多華言勝林菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

華嚴五為(出華嚴經疏)

【一正為】華嚴出現品云此經不為餘眾生說唯為不思議乘菩薩說又云非餘境界之所能知普賢行人方能得入是名正為(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【二兼為】謂此經兼為未悟入眾生聞者而能信向成種經云如人食少金剛終竟不消故地獄眾生十地頓超而大海刼火不能為障是名兼為(十地者歡喜地離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。

【三引為】謂權教菩薩不受圓融之法於十地中寄位顯勝借其三乘行布之名引導熏習方能信入圓融是名引為(寄位顯勝者謂以三乘之名安寄十地之位令權教菩薩修之漸顯圓融之法勝也三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。

【四權為】謂二乘之人既不能聞況於受持故諸菩薩權示聲聞或在法會如聾如盲彰其絕分或示在道而能啟悟知可回心是名權為(絕分猶言無分也在道則聞法而不為聾盲之狀也)。

【五遠為】謂諸凡夫外道闡提悉有佛性今雖不信尚知有法可謗因其知有法故後必當入是名遠為(闡提梵語具云一闡提華言信不具)。

五種般若(出金剛經纂要疏刊定記)

【一實相般若】實相即般若體也謂明了一切諸法皆空離一切虛妄之相故名實相般若(梵語般若華言智慧)。

【二觀照般若】觀照即般若之智用也謂因觀照明了法無相悉皆空寂以顯即體之用故名觀照般若。

【三文字般若】文字是能詮之文般若是所詮之法能所合成以語言文字性本空寂故名文字般若。

【四境界般若】境界即諸法之境界也謂境無自相由智顯發以根本後得二智照了一切諸法境界悉本空寂從境得名故名境界般若(根本智者即菩薩親證本有之智也後得智者謂證根本智後所起化他之智也)。

【五眷屬般若】眷屬者即煖頂忍世第一及戒定慧解脫解脫知見也謂此諸法皆是觀照慧性之屬故名眷屬般若(煖者如木鑽火未見火出先得煖相以喻加行位人未得智火燒煩惱薪已見煖相頂者觀行轉明如登山頂皆悉明了忍者即忍可之義於苦集滅道之法忍可而樂修也世第一者於理雖未能證而於世間最勝也戒即戒律定即禪定慧即智慧解脫解縛得脫自在之謂也解脫知見者知謂智也見謂眼也智眼照了諸法皆空無有障礙得其自在也)。

法華五重玄義(出法華玄義)

天台智者大師凡釋諸經皆立五重玄義所謂一釋名二辯體三明宗四論用五判教相故此法華一經亦有五重玄妙之義也。

【一法喻為名】法即妙法喻即蓮華妙法者妙名不可思議法即十界十如權實之法良以妙法難解假喻易彰妙法則權實一體蓮華則華果同時故以法喻為名也(十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界阿脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也十如者如是相如是因如是體如是力如是作如是因如是緣如是果如是報如是本末究竟等也權即三乘法實即一乘法也)。

【二實相為體】謂中道實相為此經所詮妙體故名實相為體也。

【三一乘因果為宗】一乘即一實相也宗即要也謂修此實相之行為因證此實相之理為果故名一乘因果為宗也。

【四斷疑生信為用】用即力用謂以大乘妙法開示圓機在迹門令斷權疑而生實信在本門令斷近疑而生遠信故名斷疑生信為用也(迹門者此經二十八品前十四品所談是也迹猶足迹如人住處則有行徃之迹謂如來從久遠之本以垂近成之迹也本門者後十四品所談是也本猶根本謂如來開近成之迹以顯久遠之本也)。

【五無上醍醐為教相】聖人垂訓之謂教分別同異之謂相此經純圓極妙異乎偏小諸教喻如醍醐上味不同乳酪生熟二酥故名無上醍醐為教相也。

修大涅槃得五事(出大涅槃經)

涅槃梵語具云摩訶般涅槃那華言大滅度大即法身滅即解脫度即般若此即大乘涅槃也。

【一不聞得聞】謂大涅槃甚深微密之義一切眾生心中無不具足以由曠大刼來無明覆故而不得聞今者修習大涅槃法達於如來性常之理昔所不聞而能得聞是為不聞得聞也(刼梵語具云刼波華言分別時節)。

【二聞已利益】謂聞是大涅槃微妙經已思惟其義復能書寫讀誦為他廣說令彼開解自利利他則為一切天人之所敬仰不久得證佛果菩提是名聞已利益也(梵語菩提華言道)。

【三能斷疑惑】謂聞是大涅槃甚深之法悉能斷除疑惑之心疑有二種一疑名二疑義言聽是經者疑名之心即斷能思惟者疑義之心即斷是名能斷疑惑也。
【四慧心正直】正則不邪直則不曲謂聞是大涅槃甚深之法則智慧增明造理真實心無邪曲是為慧心正直也。
【五能知如來密藏】謂聞是大涅槃微妙之法則知一切眾生皆有佛性乃至造極惡業謗法闡提悉得成於佛道如是等義秘密甚深今悉能了是為能知如來密藏也(闡提梵語具云一闡提華言信不具)。
天台五時(出天台四教儀)
天台五時者乃天台智者大師以如來所說一代聖教判為五時也謂如來成道最初為大菩薩說華嚴經次於鹿苑為接引二乘說四阿含等經次於方等說楞伽等諸大乘經令諸二乘恥小乘而慕大法次說般若經遣除二乘執情後說法華涅槃二經開示眾生咸得作佛故為五時也(天台山名智者大師乃隋煬帝所賜之號諱智顗以棲身入寂於天台山遂以此處命其名也二乘者聲聞乘緣覺乘也四阿含者增一阿含中阿含長阿含雜阿含也)。
【一華嚴時】華嚴經名也時者謂初說此經如日照高山之時也盖如來初為大乘根熟者首談此經唯是無[書-曰+皿]法界性海圓融空有齊彰色心俱入湛森羅於海印現剎土於毫端但化大乘菩薩是名華嚴時也(海印者即三昧之名喻佛智也謂如來之智鑑照諸法如海能現萬像也剎梵語具云剎摩華言土田此云剎土者華梵兼舉也)。
【二鹿苑時】鹿苑即鹿野苑是如來說阿含經之處也時者謂次說此經如日照幽谷之時也盖如來為小乘於前大法不見不聞猶如聾瞽於是寢大化而施小化故於鹿苑之中說四諦法演四阿含等經是名鹿苑時也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【三方等時】眾機普被曰方四教並談曰等時者謂次說方等諸經如日照平地之時也盖由前鹿苑中說小乘法二乘之人得少為足便謂究竟故假維摩居士以呵斥之使其恥小慕大故說維摩楞伽等經是名方等時也(四教者藏教通教別教圓教也)。
【四般若時】梵語般若華言智慧經名也時者謂次說此經如日照禺中之時也盖由小乘既被彈呵回心向大然其執情未能頓泯由是廣談般若空慧之法而淘汰之是名般若時也(禺中時巳時也)。
【五法華涅槃時】法華涅槃二經名也時者謂正說此經如日輪當午之時也盖如來於前四時調機純熟故於靈山會上稱性而談令其會權歸實了妄即真演長遠之壽量顯至道之幽微上中下根咸蒙授記此法華一經所以說也猶有餘機未盡故說涅槃一經而捃拾之是名法華涅槃時也(捃拾者即收拾遺餘之意也)。
五味(出涅槃經)

如來因無垢藏王菩薩稱嘆涅槃法勝乃說此五味而以醍醐比法華涅槃也隋朝天台智者大師因此約如來所說一代聖教次第立為五時以對教之相生機之利鈍譬猶五味之有濃淡焉(梵語涅槃華言滅度)。

【一乳味】乳味從牛而出以喻十二部經從佛而宣說也謂如來最初時說華嚴圓頓之教唯被大機不攝二乘盖由此經最初開演麤妙混融故譬之以乳味也(十二部經者一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議十自說十一方廣十二授記也二乘者聲聞乘緣覺乘也)。

【二酪味】酪味從乳而生以喻九部經從十二部經中而出也謂如來第二時於鹿苑說阿含等經接引二乘斷見思惑證真空理乃從頓施漸故譬之以酪味也(九部經者一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議也見思惑者意根對法塵起諸分別曰見五根對五塵起諸貪愛曰思頓漸者頓教漸教也)。

【三生酥味】生酥從酪而出以喻九部後而說大乘方等法也謂如來第三時於方等會上說楞伽楞嚴諸大乘經讚嘆大法呵責小教令諸小乘耻小慕大故譬之以生酥味也(梵語楞伽華言不可徃唯神通人方能到也楞嚴梵語具云首楞嚴華言健相分別)。

【四熟酥味】熟酥從生酥而出以喻方等之後而說般若也謂如來第四時說諸般若空慧法門蕩除二乘疑執付之以大乘法財令其心漸通泰故譬之以熟酥味也。

【五醍醐味】醍醐從熟酥而出以喻般若之後而說法華涅槃也謂如來第五時於靈山會上說法華經開前四味三乘之權歸於一乘圓妙之實令諸眾生咸得作佛復說涅槃扶戒律而談常住之理故譬之以醍醐味也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也一乘者佛乘也)。

五部律(出翻譯名義)

五部律者即如來所說律藏也而分為五者世尊成道三十八年赴王舍城國王齋食訖令羅睺羅洗鉢因失手破為五片是日有多比丘皆白佛言鉢破五片佛言表我滅後初五百年諸惡比丘分毘尼藏為五部也後優波毱多果有五弟子各執一見遂分如來一大律藏為五部焉(梵語羅睺羅華言覆障梵語比丘華言乞士梵語毘尼華言善治即律藏也梵語優波毱多華言大護又云近護)。

【一曇無德部】(亦名曇摩毱多)梵語曇無德華言法密密即隱覆之義又云法藏即四分律也大集經云我涅槃後有諸弟子受持如來十二部經書寫讀誦顛倒宣說以倒說故隱覆法藏是為曇無德部(四分律者一比丘法二比丘尼法三受戒法四滅諍法也梵語涅槃華言滅度十二部經者一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議十自說十一方廣十二授記也)。

【二薩婆多部】梵語薩婆多華言一切有即十誦律也謂此部計三世有實之法大集經云我涅槃後我諸弟子受持如來十二部經而復讀誦外典

善能論議凡所問難悉能答對是為薩婆多部(十誦者優波離十番誦出此律故名十誦梵語優波離華言近執以佛為太子時能親近執侍故也)。
【三迦葉遺部】梵語迦葉遺華言重空觀即解脫律也大集經云我涅槃後我諸弟子受持如來十二部經說無有我及以受者轉諸煩惱猶如死屍是為迦葉遺部(轉諸煩惱猶如死屍者謂轉棄妄惑如死屍也)。
【四彌沙塞部】梵語彌沙塞華言不著有無觀即五分律也大集經云我涅槃後我諸弟子受持如來十二部經不作地水火風相虛空識相是為彌沙塞部(五分者一比丘戒二比丘尼戒三受戒法四滅諍法五僧法)。
【五婆蹉富羅部】梵語婆蹉富羅華言犢子謂因上古有仙染犢生子自後種姓皆名犢子其部中計我非即五蘊亦不離五蘊而有實我律本不來此土大集經云我涅槃後我諸弟子受持如來十二部經皆說有我不說空相是為婆蹉富羅部(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
大明三藏法數卷第十四

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

五攝論(出法寶標目)
攝論者即攝大乘論也謂收攝一切大乘聖教法門要義集而辨之也此論乃無著菩薩所造天親無性二菩薩各作論釋申 通其義梁真諦唐玄奘二法師翻譯不同故通名五攝論也。
【一無著攝論】謂無著菩薩造大乘攝論三卷成文是為無著攝論。
【二天親攝論】謂天親菩薩因無著菩薩造大乘攝論復造論釋申 明論議名大乘攝論釋一十五卷成文是為天親攝論。
【三無性攝論】謂無性菩薩因無著攝論亦造論釋申 通其義為攝大乘論釋十卷成文是為無性攝論。
【四梁攝論】謂梁朝真諦三藏法師譯天親所造之論釋流傳此土是為梁攝論。
【五唐攝論】謂唐朝玄奘法師譯無著菩薩論及無性菩薩所造論釋是為唐攝論。
五藏(出六波羅密經)
藏即含藏之義謂經律論等皆能含藏無量法義故也。
【一素咀纜藏】梵語素咀纜即修多羅華言契經謂上契諸佛之理下契眾生之機也經者法也常也十界同遵之謂法三世不易之謂常經云若彼有情樂處山林常居閑寂修靜慮者而為彼說素咀纜藏是也(十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也三世者過去現在未來也)。
【二毘柰耶藏】梵語毘柰耶華言律律者法也謂能斷決重輕之罪也經云若彼有情樂習威儀護持正法一味和合令得久住而為彼說毘柰耶藏是也。
【三阿毘達磨藏】梵語阿毘達磨華言無比法即論藏也謂聖人智慧分別法義最勝無比經云若彼有情樂說正法分別性相循環研覈究竟甚深而為彼說阿毘達磨藏是也。
【四般若波羅密多藏】梵語般若華言智慧梵語波羅密華言到彼岸即慧藏也謂諸眾生由迷般若居生死名此岸菩薩由修般若到涅槃名彼岸經云若彼有情樂習大乘真實智慧離於我法執著分別而為彼說般若波羅密多藏是也(梵語涅槃華言滅度)。
【五陀羅尼藏】梵語陀羅尼華言能持亦云呪即秘藏也謂集種種善法持令不失經云若彼有情不能受持契經調伏對治或復有情造諸惡業種種重罪使得消滅速疾解脫頓悟涅槃而為彼說諸陀羅尼藏是也。
五種藏(出華嚴經隨疏演義鈔)

【一如來藏】藏即含藏也謂真如法性之體不離一切眾生色心具足圓滿染淨諸法是名如來藏。
【二自性清淨藏】謂一切眾生自性清淨心從無始已來三智四德具足無缺煩惱垢纏不能染污是名自性清淨藏(三智者一切智道種智一切種智也四德者常德樂德我德淨德也)。
【三法身藏】謂聖人自性清淨法身為無上菩提河沙功德之所依止是名法身藏(梵語菩提華言道)。
【四出世間十法藏】謂聖人已得無量勝妙功德圓滿無上菩提顯示一切總持法門而能超過二乘及諸菩薩是名出世間上上藏(總持者謂持善不失持惡不生也二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【五法界藏】謂法界之理通因徹果外持一切染淨有為內含一切恒沙性德是名法界藏。
五覺(出起信論)
【一本覺】本即直性覺即智慧論云所言覺義者謂心體離念離念相者等虛空界無所不徧即是如來平等法身依此法身說名本覺(心體離念者謂本覺心源之體離於妄念也等虛空界無不徧者虛空無邊以譬本覺之性體量充廓也平等法身者諸佛悟之不為高眾生迷之不為下生佛不二也)。
【二始覺】始覺者謂本覺心源之體從真起妄而成不覺若能返妄歸真本覺體顯說名始覺。
【三相似覺】謂十信位人以捨麤分別執著相故無明之惑將破本覺之體將顯雖未真證而似於真是名相似覺(十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心回向心戒心願心也捨麤分別執著相者謂於色聲香味觸法六塵之境不分別好惡不起貪嗔等執著之相也)。
【四隨分覺】謂初住菩薩乃至等覺位中各破一品無明之惑隨覺一分法性之理覺道未圓是名隨分覺。
【五究竟覺】謂妙覺佛菩薩地盡滿足方便覺心初起心無初相以遠離微細念故得見心性心性即常住是名究竟覺(覺心初起者謂覺知第八識心初起無明之妄惑也心無初相者至此究竟位中達法性之底窮無明之源離念寂靜則心無初動之相也得見心性者妄既窮源則見本覺真心之性矣心即常住者心源既極了無起滅湛然常住也)。
五行(出涅槃經)
【一聖行】聖即正也謂菩薩依戒定慧所修之行故名聖行(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二梵行】梵即淨也謂菩薩無空有二邊愛著之染名之為淨以此淨心運於慈悲與眾生樂拔眾生苦故名梵行。
【三天行】天即是第一義天謂菩薩由天然之理而成妙行故名天行。
【四嬰兒行】嬰兒以喻人天小乘也謂菩薩以慈悲之心示同人天聲聞緣覺小善之行故名嬰兒行。

【五病行】謂菩薩以平等心運無緣大悲示同眾生同有煩惱同有病苦故名病行。

五種菩提(出大智度論)

【一發心菩提】梵語菩提華言道謂十信菩薩於無量生死中為阿耨多羅三藐三菩提故而發大心名為發心菩提(十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心廻向心戒心願心也菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語阿耨多羅三藐三菩提華言無上正等正覺)。

【二伏心菩提】謂十住十行十回向位菩薩折諸煩惱降伏其心行諸波羅蜜利益眾生是名伏心菩提(十住者發心住治地生修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救護眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也梵語波羅蜜華言到彼岸)。

【三明心菩提】謂登地菩薩觀三世諸法本末總相別相分別籌量得諸法實相清淨明了與般若波羅蜜相應是名明心菩提(登地菩薩者即登初歡喜地菩薩也三世者過去現在未來也梵語般若華言智慧)。

【四出到菩提】謂第八不動地第九善慧地第十法雲地三位菩薩於般若波羅蜜中得方便力故亦不著般若波羅蜜滅一切煩惱見一切十方諸佛得無生法忍出離三界到薩婆若是名出到菩提(無生法忍者謂忍可一切諸法性相本空畢竟無生也三界者欲界色界無色界也梵語薩婆若華言一切智)。

【五無上菩提】謂等覺妙覺坐於道場斷諸煩惱成阿耨多羅三藐三菩提是名無上菩提(等覺者去後妙覺佛位猶有一等勝前諸位得稱為覺妙覺者自覺覺他覺行圓滿也)。

五種性(出四教儀)

種者能生之義性者不改之義性有三種不同有理性之性有性分之性有數習之性此之五種乃數習性分之性也以由菩薩修觀斷惑證理歷位從十住至於等覺次第淺深不同故有五種之性也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也)。

【一習種性】謂十住菩薩研習空觀破見思惑是名習種性(見思惑者謂意根對法塵起諸分別曰見眼耳鼻舌身五根對色聲香味觸五塵起諸貪愛曰思以其迷惑不了故皆稱惑也)。

【二性種性】謂十行菩薩不住於空而能教化眾生分別一切法性故名性種性(十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也)。

【三道種性】謂十回向菩薩因修中道妙觀通達一切佛法是名道種性(十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏

回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也）。

【四聖種性】謂前之十住十行十回向皆名為賢此是十地菩薩由修中道妙觀破無明惑證入聖位故名聖種性（十地者歡喜地離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也）。

【五等覺性】謂此位菩薩望後妙覺猶有一等勝前諸位得稱為覺是名等覺性。

五性成佛（出華嚴經疏）

【一不定性半成佛】不定性者根性不定也謂若近聲聞則習聲聞法若近緣覺則習緣覺法若近菩薩則習菩薩道習聲聞緣覺之法者沉滯小果不樂度生不求佛道故不成佛習菩薩利生之行者取證菩提而得成佛故名不定性半成佛。

【二無種性不成佛】謂無有正信善根撥無因果不受化度甘溺生死不求解脫故名無種性不成佛。

【三聲聞性不成佛】聲聞者聞佛聲教而悟道之人也謂聲聞根性惟習生滅四諦之法而證真空涅槃之果樂著空寂怖畏生死不能起行度生進求佛道故名聲聞性不成佛（四諦者苦諦集諦滅諦道諦也梵語涅槃華言滅度）。

【四緣覺性不成佛】緣覺者由觀因緣覺悟真理也謂緣覺根性唯觀十二因緣之法而證真空涅槃之果固執偏空不求佛道故名緣覺性不成佛（十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也）。

【五菩薩性全成佛】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂菩薩能自覺己復能覺諸眾生也菩薩悲智雙運冤親等觀廣集眾因證菩提果故名菩薩性全成佛。

寄位五相（出華嚴經隨疏演義鈔）

【一寄位修行相】謂善財初見文殊寄十信之位智明生信發菩提心依此而起淨行叅諸善友修遠離法見諸法空頓圓自性發足南行順智光明是名寄位修行相（文殊梵語具云文殊師利華言妙德十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心廻向心戒心願心也）。

【二會緣入實相】緣即一切事法也實即一真之理也謂善財見摩耶至彌勒善知識寄等覺之位現大願身等於虛空一切眾生三世諸佛而各住自法安住不動不餘本量會眾事緣歸於實理是名會緣入實相（摩耶梵語具云摩訶摩耶華言大術梵語彌勒華言慈氏三世者過去現在未來也不餘本量者本體之量廣大無外一切含攝而無所遺餘也）。

【三攝德成因相】德即果德因即修因謂善財見德雲至瞿波寄三賢十聖之位顯不可思議攝三世聖賢事行之德成一念悉具之因是名攝德成因相（梵語瞿波華言女三賢者即十住十行十回向諸位菩薩也十聖者即十地菩薩也）。

【四智照無二相】智即實智照即照了謂善財初見文殊後歷百一十城叅諸善知識信自己心一切善法悉得成就復見文殊不異初心智與理冥始終不二是名智照無二相。
【五顯因廣大相】謂善財見普賢菩薩在如來前於一一毛孔中現無邊光明雲即摩頂言我法海中微塵諸法一文一句未有不是捨轉輪王位而求得者善財住自位已與諸佛所證同等是名顯因廣大相。
五品(出法華文句)
品者次序之義謂於圓教外凡位中而有淺深次序之別故分五品也(外凡者因未登聖位心居理外也)。
【一隨喜品】隨喜者隨他修善喜他得成也謂佛轉法輪眾生得益我助彼喜是名隨喜品經云若聞是經而不毀訾起隨喜心是也。
【二讀誦品】看文曰讀背文曰誦謂內修圓觀更加讀誦如膏助火心觀益明是名讀誦品經云何況讀誦受持之者是也。
【三說法品】(亦名解說品)說法者宣傳聖言也謂由讀誦故內解轉勝而復外資講說導利於人化功歸己心倍勝前是名說法品經云若有受持讀誦為他人說是也(化功歸己者謂以說法廣濟於他其功則歸於己矣)。
【四兼行六度品】六度者布施持戒忍辱精進禪定智慧也謂前觀心雖熟未遑涉事今正觀稍明旁兼利物福德力故倍增觀心是名兼行六度經云況復有人能持是經兼行布施等是也。
【五正行六度品】正行六度者謂圓觀稍熟事理將融涉事不妨於理在理不隔於事自行化他事理具足觀心無礙轉勝於前是名正行六度品經云若人讀誦為他人說復能清淨持戒等是也。
五停心(出天台四教儀)
停者止也謂修此五法以止其五種過失之心也。
【一多貪眾生不淨觀】謂多貪欲之人於男女身分互相染著須假作九想不淨之觀治之令其貪著之心不起故云多貪眾生不淨觀(九想者脹想青瘀想壞想血塗漫想膿爛想虫噉想散想骨想燒想也)。
【二多嗔眾生慈悲觀】謂多嗔恚之人於諸違情之境輒生忿怒當用慈悲觀治之愛念愍傷一切眾生不於彼而起嗔心故云多嗔眾生慈悲觀。
【三多散眾生數息觀】謂心多散亂之人當用數息觀治之數息者以鼻中出入之息或數出息或數入息端心正念從一至十不多不少周而復始令心不散亂故云多散眾生數息觀。
【四愚癡眾生因緣觀】謂愚癡不了之人當以因緣觀治之因緣觀者即觀十二因緣也以其迷倒撥無因果執著斷常二見故令觀此十二因緣三世相續不斷不常以破愚癡之心故云愚癡眾生因緣觀(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也三世者過去未來現在也)。

【五多障眾生念佛觀】謂障重之人當用念佛觀治之障有三種一昏沉暗塞障當想念應身佛三十二相相相分明以治於昏沉也二惡念思惟障當想念報身佛十力四無所畏治之三境界逼迫障當想念法身佛空寂無為治之故云多障眾生念佛觀(三十二相者足安平相千輻輪相手指纖長相手足柔輭相手足縵網相足跟滿足相足趺高好相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如師子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色如金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也十力者知是處非處智力知過現未來業報智力知諸禪解脫三昧智力知諸根勝劣智力知種種解智力知種種界智力知一切至處道智力知天眼無礙智力知宿命無漏智力知永斷習氣智力也四無所畏者一切智無所畏漏盡無所畏說障道無所畏說盡苦道無所畏也境界逼迫者謂火焚水溺之類也)。

五忍(出仁王護國經)

【一伏忍】伏即隱伏忍即忍可又安忍也謂地前三賢之人未得無漏未能證果但有智故能伏煩惱而不能斷故名伏忍(三賢者十住十行十回向諸菩薩也無漏者不漏落生死也)。

【二信忍】信者隨順不疑也謂初地二地三地菩薩得無漏信故名信忍(初地即十地中初歡喜地二地即離垢地三地即發光地)。

【三順忍】順即隨順亦從也謂四地五地六地菩薩順菩提道趣向無生之果故名順忍(四地即燄慧地五地即難勝地六地即現行地)。

【四無生忍】謂七地八地九地菩薩妄惑已盡了知諸法悉皆不生故名無生忍(七地即遠行地八地即不動地九地即善慧地)。

【五寂滅忍】謂第十法雲地等覺菩薩妙覺果佛諸惑斷盡清淨無為湛然寂滅故名寂滅忍(等覺者以去後佛位猶有一等勝前諸位得稱為覺也妙覺者智照圓明不可思議也若論四十二位則開十住十行十回向十地等覺妙覺各為一位今但論四十位則以等覺妙覺攝於法雲地也)。

觀身五種不淨(出析玄記)

【一種子不淨】種子不淨有二一者內種謂觀此身從昔煩惱業生二者外種謂攬父母遺體而成此身以是觀之此身內外因種實為不淨大智度論云是身種不淨非餘妙寶物不從白淨生但從穢中出是也。

【二住處不淨】住處不淨者謂觀此身十月在於母胎生藏之下熟藏之上臭穢中住實為不淨大智度論云是身如臭穢不從華間生不因瞻蔔有又不出寶山是也(梵語瞻蔔華言黃華)。

【三自體不淨】自體不淨者謂觀此身以四大不淨所成猶如世間飲食不可久停終成不淨設以四大海水傾洗此身終無香潔大智度論云地水火風質能變成不淨傾海洗此身不能令香潔是也(四大者地大水大火大風大也)。

【四外相不淨】外相不淨者謂觀此身現見外相皆是不淨九孔常流種種穢惡如眼出眵淚耳出結聹鼻出膿涕口出涎唾大小便道不淨常流如破皮囊滿盛不淨大智度論云種種不淨物充滿於身中常流出不止如漏囊盛物是也。
【五究竟不淨】究竟不淨者謂觀此身非唯現在不淨審實思惟至於死後捐棄[塚-豕+豕]間爛壞臭穢尤極不淨大智度論云審諦觀此身必歸於死處是也。
五蘊(出大乘廣五蘊論)
蘊者積聚之義謂眾生由此五法積聚成身復因此身積聚有為煩惱等法能受無量生死也亦名五陰者陰即蓋覆之義謂能蓋覆真性也翻譯名義云積集有為蓋覆真性是也。
【一色蘊】色即質礙之義謂眼耳鼻舌身諸根和合積聚故名色蘊。
【二受蘊】受即領納之義謂六識與六塵相應而有六受和合積聚故名受蘊(六識六塵六受者眼識受色塵耳識受聲塵鼻識受香塵舌識受味塵身識受觸塵意識受法塵也)。
【三想蘊】想即思想之義謂意識與六塵相應而成六想和合積聚故名想蘊(六想者謂意識著色想色著聲想聲著香想香著味想味著觸想觸著法想法也)。
【四行蘊】行即遷流造作之義謂因意識思想諸塵造作善惡諸行和合積聚故名行蘊。
【五識蘊】識即了別之義謂以眼耳鼻舌身意六種之識於諸塵境上照了分別和合積聚故名識蘊。
五蘊實相(出大般若經)
五蘊即色受想行識也蘊者積聚之義謂由積聚色等五法以成色身也實相者真如無妄之理也即此五蘊而是實相之理故名五蘊實相也。
【一色蘊實相】色即質礙之義謂色是質礙幻色實是般若真空即幻色而明真空是名色蘊實相(梵語般若華言智慧)。
【二受蘊實相】受即領納之義謂受是六根幻受實是般若真空即幻受而明真空是名受蘊實相(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也)。
【三想蘊實相】想即思想之義謂想是緣思幻想實是般若真空即幻想而明真空是名想蘊實相。
【四行蘊實相】行即造作之義謂行是造作幻行實是般若真空即幻行而明真空是名行蘊實相。
【五識蘊實相】識即分別之義謂識是分別幻識實是般若真空即幻識而明真空是名識蘊實相。
五蘊喻(出大莊嚴經)
五蘊色受想行識也蘊以積聚為義謂一切眾生皆由此五法積聚而成身也故佛為瓶沙王說世間諸法皆非堅實而以此五種為喻焉(梵語瓶沙亦名頻婆娑羅華言模實謂身模充實也)。

【一色如聚沫喻】色即眾生色身沫即水沫謂沫因風吹水成聚虛有相狀體本不實以譬眾生色身亦如聚沫虛假不實也。
【二受如水泡喻】受即領受之義水泡即浮漚也謂水因風動或因物繫忽爾成泡須臾即沒以譬眾生所受苦樂之事亦如水泡起滅無常也。
【三想如陽燄喻】想即想念之義陽燄即日光也謂遠望曠野日光發燄如水溶漾而實非水渴者想為水故以譬眾生妄想亦如陽燄本無實體因念成想皆是虛妄也。
【四行如芭蕉喻】行即造作之義謂芭蕉體是危脆之物無有堅實以譬眾生造作諸行亦如芭蕉之虛脆而無堅實也。
【五識如幻事喻】識即分別之義幻事即幻術之事也謂如幻巾為馬幻草木為人皆幻力所成本無實體以譬眾生識心分別諸法皆隨境生滅亦無有實也。
轉五蘊成五分法身(出請觀音經疏)
蘊即積聚之義五蘊即色受想行識也五分法身身赤聚集之義即戒定慧解脫解脫知見也謂眾生若能持戒修習定慧行諸淨業則能轉此五蘊色身而為五分法身也涅槃經云因滅是色獲得常色乃至受想行識亦復如是是也。
【一轉色蘊成戒身】色蘊者即眼耳鼻舌身諸根積聚之名戒防止身三口四之法謂眾生若能持戒堅固得身清淨則戒體成就無持無犯此即轉色蘊而成戒身也(身三者殺盜[婬-壬+(工/山)]也口四者妄言綺語惡口兩舌也)。
【二轉受蘊成定身】受蘊者即六識領納六塵積聚之名定即正定也謂眾生若能修習無漏禪定則根塵泯淨離諸散亂此即轉受蘊而成定身也(六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也無漏者謂不漏落三界生死也)。
【三轉想蘊成慧身】想蘊者即意識思想六塵積聚之名慧即智慧也謂眾生若能悟諸妄想皆是虛妄生滅則意地明淨照了無礙此即轉想蘊而成慧身也。
【四轉行蘊成解脫身】行蘊者即造作種種諸業積聚之名因此業行而有累縛也解脫即自在之義謂眾生若能不作諸業則脫其累縛而得自在此即轉行蘊而成解脫身也。
【五轉識蘊成解脫知見身】識蘊者即和合積聚之名解脫知見者知屬智知見屬眼見即無生智眼自在照了也謂眾生若能照了識心皆是虛妄分別則無生之智眼自在明了此即轉識蘊而成解脫知見身也。
轉五蘊成三德(出攝大乘論)
五蘊者色受想行識也三德者法身般若解脫也法身即真如之理般若即會真之智解脫即自在之用此之三德皆由轉五蘊而成也(五蘊者蘊乃積聚之義謂眾生積聚色等五法而成身也梵語般若華言智慧解脫即自在之義謂解脫業惑之縛也)。

【一轉色蘊成法身】色即質礙之義謂佛身相好無邊音聲無見頂相悉由轉色蘊而成故云轉色蘊成法身也。
【二轉受蘊成解脫】受即領受之義謂佛無量廣大自在法樂悉由轉受蘊而成故云轉受蘊成解脫也。
【三轉想蘊成解脫】想即想念之義謂如來以無礙智辯說一切諸法之相無不自在悉由轉想蘊而成故云轉想蘊成解脫也。
【四轉行蘊成解脫】行以遷流生滅為義謂如來神通變現以清淨法攝化大眾生令得自在悉由轉行蘊而成故云轉行蘊成解脫也。
【五轉識蘊成般若】識即了別之義梵語般若華言智慧謂如來大圓鏡智平等性智妙觀察智成所作智無不自在以由轉識蘊而成故云轉識蘊成般若也(大圓鏡智者如來真智猶大圓鏡也平等性智者如來性智觀法平等也妙觀察智者如來妙智善觀諸法也成所作智者如來真智成所作事也)。
色蘊有五種相(出顯揚聖教論)
【一自相】自相者即色身諸法自相謂堅是地相濕是水相煖是火相動是風相各別不同故也。
【二共相】共相者即色身諸法和合之相也謂此色身皆從地水火風和合為相也。
【三所依能依相】所依能依相者謂色身四大種子是所依相四大造色是能依相也(四大者地大水大火大風大也造色者即眼耳鼻舌身諸根也)。
【四受用相】受用相者謂眼等諸根有增上力故而外諸色塵境界得生即有苦樂逆順受用之相也。
【五業相】業相者即業行之相謂色身能作種種業行之相故一切業行皆依色身攝受增長也。
五受(出析玄記)
受者領納也謂六根之識領受六塵之境也(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【一憂受】謂心於違情之境而受煎逼之憂是名憂受。
【二喜受】謂心於順情之境而受忻悅之喜是名喜受。
【三苦受】謂身於違情之境而受逼迫之苦是名苦受。
【四樂受】謂身於順情之境而受安逸之樂是名樂受。
【五捨受】謂心於不違不順之境而受無苦無樂無憎無愛之捨是名捨受。
五根(出法界次第)
謂修行之人修四念處觀雖善萌微發根猶未生根未生故善萌易壞今修五法使善根生故以根為名也(四念處者一觀處不淨二觀受是苦三觀心無常四觀法無我也)。
【一信根】謂信於正道及助道法則能出生一切無漏禪定解脫是名信根(正道者即四念處觀也助道者即五停心之觀也無漏者因修禪定不落生死也)。

【二精進根】謂既信四念處正觀及諸助道善法倍策精進勤求不息是名精進根。
【三念根】謂但念正道及諸助道一心觀想不令邪妄得入是名念根。
【四定根】謂攝心正道及諸助道一心寂定相應不散是名定根。
【五慧根】謂四念處之慧為定法所攝內性自照不從他知是名慧根。
五力(出法界次第)
止觀輔行問云名同於根何須更立答善根雖生惡猶未破更須修習令根增長根成惡破復名為力。
【一信力】謂信正道及助道法若信根增長則能遮諸煩惱不為偏小諸疑所動故名信力。
【二精進力】謂行此正道及助道法時若精進根增長則能除身心懈怠成辦出世之法是為精進力。
【三念力】謂念正道及助道法若念根增長則能破諸邪想則能成就一切出世功德是為念力。
【四定力】謂攝心正道及助道法若定根增長則能破諸亂想發諸事理禪定是為定力(事理禪定者事即色界無色界禪定也理即聲聞等依理修習所發禪定是也)。
【五慧力】謂四念處之慧照了一切諸法若慧根增長則能除一切邪妄之執破一切偏小之慧故名慧力。
五識(出法界次第)
【一眼識】謂眼根由對色塵即生其識此識生時但能見色是名眼識。
【二耳識】謂耳根由對聲塵即生其識此識生時但能聞聲是名耳識。
【三鼻識】謂鼻根田對香塵即生其識此識生時但能嗅香是名鼻識。
【四舌識】謂舌根由對味塵即生其識此識生時但能嘗味是名舌識。
【五身識】謂身根由對觸塵即生識此識生時但能覺觸是名身識。
又五識(出起信論疏)
【一業識】業識者即根本無明之惑也謂本覺心源初無動相以不覺故動為業識論云以依不覺故心動說名為業是也。
【二轉識】轉識者亦名見相謂依前業識初動之相轉成能見即此能見初動之相是名轉識論云以依動故能見不動則無見是也。
【三現識】謂有能見則一切境界妄現此之境界如鏡之明能現色像是名現識論云以依能見故境界妄現是也。
【四智識】謂於前現識之相不了自心所現故起分別染淨之智是名智識論云依於境界心起分別是也。
【五相續識】謂依前分別境界起念相續無有間斷是名相續識論云依於智故生其苦樂覺心起念相應不斷是也。
五通(出大智度論)

【一天耳通】天耳通者謂於世間一切眾生苦樂憂喜種種音聲悉能聞也。
【二天眼通】天眼通者謂於世間一切種種形色及諸眾生死此生彼苦樂之相悉能見也。
【三宿命通】宿命通者謂於自身他身多生所行之事悉能知也。
【四他心通】他心通者謂於他人心中思惟種種善惡之事悉能了知也。
【五神足通】(亦名如意通)神足通者謂隨意變現飛行自在一切所為無有障礙也。
五種通(出宗鏡錄)
【一道通】道即道理謂證中道之理而能起用無心應物緣化萬有猶如影像水月空華無有定體是名道通。
【二神通】神即心神謂靜心照物宿命記持種種分明皆隨定力無有障礙是名神通。
【三依通】依即依憑謂依憑術法任意無礙如乘符徃來藥餌靈變之類是名依通(乘符徃來藥餌靈變皆神仙之術也)。
【四報通】謂鬼神先知諸天變化中陰了生神龍隱變是名報通(中陰了生者謂人死之後未曾託生於中陰中即能了知託生之處也)。
【五妖通】謂狐狸老變木石精化附傍人神聰慧奇異是名妖通。
五神通(出菩薩處胎經)
神名天心通名慧性天然之心徹照無礙故名神通經云妙勝菩薩白佛言世尊菩薩修習何法得神通道佛遂為說欲界中之五通焉。
【一足不履地】謂身能飛行履空如地是為足不履地。
【二知人心命】謂能知他人之心行善行惡生善處惡處是為知人心命。
【三回眼千里】謂於天下眾生之類若好若醜城郭屋舍山岩樹木回眼之時無有遠近皆悉能見是為回眼千里。
【四呼名即至】謂於天下男女及象馬巨細等聲無不能聞若有呼其名者或遠或近隨即而至是為呼名即至。
【五石壁無礙】謂於天下周旋徃來山河石壁無所障礙是為石壁無礙。
五後得智(出攝大乘論釋)
後得智者菩薩行滿化他之智也謂菩薩起行度生分別顯示而能覺了通達諸法憶持不失建立正教令他修行觀一切法隨緣和合隨意所欲無不滿足故有五種之別也。
【一通達】通達者謂菩薩由此後得智而能於觀心中所知所見境界一切諸法皆悉無礙也。

【二隨念】隨念者亦名憶持謂菩薩由後得智於前觀心中通達諸法境界之相出觀之後皆能隨念憶持不失也。
【三安立】安立亦名成立謂菩薩由後得智於所通達諸法境界能立正教令他修行也。
【四和合】和合亦名相雜謂菩薩由後得智於先所緣一切諸法和合相雜境界而能觀察照了由此觀察即得轉一切煩惱而依菩提也。
【五如意】如意者謂菩薩由後得智既得轉煩惱依菩提故於一切所欲皆悉隨意如轉大地作黃金等是也(轉猶變也)。
五輪三昧(出釋禪波羅蜜次第法門)
輪有運轉摧碾之義梵語三昧華言正定謂行者修習禪定三昧亦必勇猛精進摧破或業從淺至深從凡入聖亦猶輪之義也。
【一地輪三昧】地有二義一住持不動二出生萬物謂行者修習禪定三昧若證未到地定頓覺身心相空泯然入定定法持心如地不動由未到地出生初禪種種功德亦猶地之能生物也是名地輪三昧(未到地定者謂於欲界中修禪身雖未到初禪而已得初禪定也)。
【二水輪三昧】水有二義一潤漬生長二體性柔輭謂行者修習禪定三昧於地輪中若證水輪三昧即發諸禪種種功德定水潤心善根增長即潤漬之義由得定故身心濡輭折伏高慢隨順善法即柔輭之義是名水輪三昧。
【三風輪三昧】風有三義一遊空無礙二鼓動萬物三能破壞謂行者修習禪定三昧發相似智慧無礙方便如風遊空一切無礙既得智慧無礙方便即能擊發種種出世善根功德生長如風之鼓動萬物由此之智慧無礙方便即能摧破一切諸見煩惱亦由風之破壞於物是名風輪三昧(相似智慧者謂於初果已上所得智慧由未真證故名相似)。
【四金沙輪三昧】金則譬真沙喻無著謂行者修習禪定三昧若破見思惑明發真慧無染無著則得道果若是菩薩即能破一切塵沙煩惱是名金沙輪三昧(果即初果二果三果也)。
【五金剛輪三昧】金剛體堅用利能摧碎諸物謂行者修習禪定三昧不為妄惑所侵能斷一切結使成阿羅漢若在菩薩即能破無明惑證一切種智是名金剛輪三昧(結使即三界見思惑也梵語阿羅漢華言無學一切種智即佛智也)。
五因(出涅槃經)
【一生因】生因者即業惑也謂諸眾生因業惑而生此身如諸草木種子依地而生也。
【二和合因】和合因者如善法與善心和合不善法與不善心和合無記法與無記心和合也(無記法即不善不惡之法也)。
【三住因】住因者謂如屋有柱則不傾墮山河樹木因大地故而得住立蓋謂一切眾生皆依四大煩惱而住也(四大者地大水大火大風大也)。

【四增長因】增長因者謂眾生因衣服飲食等能令身根增長如外草木種子火所不燒鳥所不食則得增長又如因父母故子得增長也。
【五遠因】遠因者謂如人因呪力鬼不能傷毒不能中依憑國王無有盜賊如水鑽人為酥遠因如名色等為識遠因父母精血為眾生遠因也(水鑽人者謂取酥時以水和乳而人用鑽攪之三事備具然後成酥也)。
五種果(出顯揚聖教論)
【一異熟果】謂諸眾生現世作不善業則招來世惡趣之果若作有漏善業則招來世善趣之果以其異世成熟是名異熟果(不善法者殺盜[婬-壬+(工/山)]妄也惡趣者修羅餓鬼畜生地獄也有漏善法者漏即三界之惑雖修人天之善未能斷惑故也善趣者人天二道也)。
【二等流果】等即同等流即流類謂諸眾生由修不善故樂住不善則不善之業轉多若修善法故樂住善法則善法增長果隨業轉業與果同業果相似是名等流果。
【三離繫果】離繫者遠離繫縛也謂諸眾生因修八正道而遠離煩惱不受果報是名離繫果(八正道者正見正思惟正語正業正命正精進正念正定也)。
【四士用果】士用者士夫所用也謂於世間諸法隨依一種起士夫用如營農商賈書筭計數等事由依此故農者因稼而成熟商者因貨而獲利是名士用果。
【五增上果】增上者謂根身有增上勝力也如眼根雖有見性若無眼識緣境則無照用之力是故根識和合而成一切事果耳鼻舌身意諸根識亦由和合照境而成諸事是故諸根各有增上勝力是名增上果。
現在五果(出華嚴經疏并演義鈔)
謂以十二因緣分為三世因果無明與行二者是過去之因愛取有三者是現在之因生老死二者是未來之果識與名色六入觸受五者是現在五陰之身故名現在五果也(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【一識】識者謂初入胎阿賴耶現行之識種也以由過去無明業行為因而此識與父母三緣和合乃有色身增長是為胎中現在果也(梵語阿賴耶華言藏識)。
【二名色】名即識心色即羯邏藍也此之名色是胎中初七日之形位諸根未成之稱即五蘊肉團之體是為胎中現在果也(梵語羯邏藍華言凝滑五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【三六入】六入者即六根也謂四七日後六根漸漸增長滿足此之六根能入諸塵故名為入是為胎中現在果也(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也)。
【四觸】謂六根成就十月滿足而出於胎身根觸風而知寒熱故名為觸是為出胎現在果也。
【五受】謂出胎之後諸根領納前境好惡等事故名為受是為出胎現在果也。

解脫有五義(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一生死不能縛】生死即五陰起滅輪轉之相也眾生為生死所縛菩薩不為生死所縛故云生死不能縛。
【二境相不能縛】境相即一切境界之相也菩薩離凡雖見一切境界而不生著故云境相不能縛。
【三現惑不能縛】現惑即現前分別之見也菩薩於所見之境不著而能見之心亦無故云現惑不能縛。
【四有不能縛】有即一切有為之法皆所見之相也菩薩離凡所見皆空而無所著故云有不能縛。
【五惑不能縛】惑即無明煩惱也菩薩了妄即真無明即是菩提無著無不著故云惑不能縛(梵語菩提華言道)。
賢首五教(出華嚴經疏)
賢首國師唐則天時於王宮講華嚴經感五雲凝空四華垂地因賜以賢首之號師以如來所說之法而有淺深不同乃約義立此五種之教以華嚴一經是佛稱性宣揚圓融法界之性判為一乘圓教餘經律論判屬小始終頓四教故名賢首五教(五雲者五色之雲也四華者四色之華也)。
【一小教】此教以隨機故但說人空不明法空縱少說法空亦不明顯但依六識三毒建立染淨根本未盡法源唯論小乘名為小教(六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也三毒者貪毒瞋毒癡毒也)。
【二始教】(亦名分教)此教未盡大乘法理名之為始不言定性聲聞無性闡提作佛故亦名分於中廣說法相少說法性決擇分明是大乘之初名為始教(定性聲聞者其性決定不樂大乘也闡提梵語具云一闡提華言信不具)。
【三終教】(亦名實教)此教言定性聲聞無性闡提悉當成佛方盡大乘至極之說名之為終以稱實理亦名為實於中少說法相多說法性雖說法相亦會歸性是大乘之終極名為終教。
【四頓教】此教明一念不生即名為佛不依地位漸次而說名之為頓於中不說法相唯明真性一切所有唯是妄想一切法界唯是絕言名為頓教。
【五圓教】此教所說唯是無盡法界性海圓融緣起無礙相即相入如帝網珠重重無盡於中明一位即一切位一切位即一位故十信滿心即成正覺名為圓教(帝網珠者謂帝釋殿前千珠寶網光相交映互攝無礙也十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心廻向心戒心願心也)。
慧觀五教(出華嚴經疏并演義鈔)
上元道場寺僧慧觀以如來所說一代聖教約施化次第而立此五種之教是為慧觀五教也。
【一有相教】謂如來於十二年前廣制眾戒皆是因果實有之法小乘於此得道是名有相教(十二年前者即說阿含等經之時也)。

【二無相教】謂如來說四阿含經後即說般若空慧法門空諸有相小乘解空得道是名無相教(梵語般若華言智慧)。
【三抑揚教】謂如來說淨名思益等經抑挫小果聲聞褒揚大乘菩薩是名抑揚教。
【四同歸教】謂如來說般若之後涅槃之前說法華經以會三歸一萬善悉向菩提是名同歸教(會三歸一者會合聲聞緣覺菩薩三乘而歸於一佛乘也梵語菩提華言道)。
【五常住教】謂如來說涅槃經明一切眾生皆有佛性一闡提輩皆得作佛廣談佛性賸演圓常是名常住教(闡提梵語具云一闡提華言信不具)。
波頗五教(出華嚴經疏)
波頗梵語具云波頗蜜多華言明支中天竺三藏沙門也唐貞觀年間於大興善寺譯星陀羅尼經等以如來所說諸經聖教約其義趣淺深不同令眾生修行有序而立五教故名波頗五教(中天竺即西土之國名也三藏者經藏律藏論藏也梵語沙門華言勤息)。
【一四諦教】謂佛於阿含經說苦集滅道四諦之法為令聲聞之人修此而悟真空涅槃之理是名四諦教(梵語涅槃華言滅度)。
【二無相教】謂佛於般若經中說諸空慧法門空諸有相為令二乘悟大乘法空是名無相教(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【三觀行教】謂佛於華嚴經中說諸觀行法門行列排布種種修因證果之理為令眾生觀察修行是名觀行教。
【四安樂教】謂佛於涅槃經中說常樂我淨四德常住寂滅之理為令眾生得大安樂是名安樂教。
【五守護教】謂佛於大集經中說守護正法為令眾生保持不失是名守護教。
劉虬五教(出華嚴經疏)
齊朝隱士劉虬以如來所說一代聖教始自成道終至涅槃亦約其漸頓淺深次第立為五教故名劉虬五教(梵語涅槃華言滅度)。
【一人天教】謂如來始初成道先為提謂長者說人天戒善乃是因緣果報實有之法是名人天教。
【二有相教】謂如來說阿含經時廣制眾戒皆是因果實有之法小乘之人持之而得道果是名有相教。
【三無相教】謂如來說四阿含經後談般若空慧法門空諸有相為令小乘之人解空得道是名無相教(四阿含者長阿含中阿含增壹阿含雜阿含也)。
【四同歸教】謂如來於般若之後涅槃之前說法華經以會三歸一萬善悉向菩提是名同歸教(會三歸一者會聲聞乘緣覺乘菩薩乘同歸佛乘也梵語菩提華言道)。
【五常住教】謂如來說涅槃經明一切眾生皆有佛性一闡提輩皆得作佛廣談佛性賸演圓常是名常住教(梵語一闡提華言信不具)。

不分教五意(出華嚴經疏)
不分教五意者唐清涼國師推原佛教有此五種意也。
【一理本一味殊途同歸】謂佛所說諸法理本無二隨機異解故有殊途機見雖殊終歸一實故不分也。
【二一音普應一雨普滋】謂佛一音說法平等普應大小機器皆得利益如大地草木一雨普滋故不分也。
【三原佛本意為一事故】謂佛本為大事因緣出現於世開示眾生咸得作佛法華經云我此九部法隨順眾生說入大乘為本佛意如斯故不分也(九部者一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議也)。
【四隨一一文眾解不同】謂如佛說無常法或以生滅為無常或以不生不滅為無常法本是一機解不同故不分也。
【五多種說法成枝流故】謂法欲滅時有多種異說恐混純源之一味成差別之枝流故不分也。
大明三藏法數卷第十五

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

大乘五位(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一資糧位】謂十住十行十回向諸位菩薩以福德智慧為助道資糧故名資糧位(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也)。
【二加行位】謂四加行位菩薩由得福智資糧加功用行而入見道住真如性是名加行位(四加行者煖頂忍世第一也見道即歡喜地菩薩位也)。
【三通達位】(亦名見道位)謂初地菩薩體會真如智照於理得見中道故名通達位(初地即歡喜地也)。
【四修習位】謂第二地至第十地菩薩得見道已為斷除障而復修習根本之智故名修習位(第二地至第十地者離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也根本智者即菩薩親證本有之智也)。
【五究竟位】謂妙覺佛證此果位最極清淨更無有上故名究竟位(妙覺者自覺覺他覺行圓滿不可思議也)。
菩薩有五種生(出地持經)
【一息苦生】謂菩薩以願力自在力於飢饉世受大魚等身以肉救濟一切眾生於疾病世為大醫王救治眾生於刀兵世為大力主以善方便誠信之言等心救濟息於戰諍於繫縛鞭打逼迫之處為息惱故生於王家以正法化邪見眾生於外道奉事天神造諸惡行之家亦生彼處斷彼邪見及諸惡行如是無量生處悉皆往生是名息苦生。
【二隨類生】謂菩薩以願力自在力於種種眾生天龍鬼神阿脩羅等及諸外道邪見惡行等類菩薩悉生其中為其導首引令入正及以善法廣為宣說是名隨類生。
【三勝生】謂菩薩示現受生於壽命色力果報勝過一切天人是名勝生。
【四增上生】謂菩薩從淨心住乃至最上菩薩住在所受生而獨殊勝於閻浮提自在受生乃至大自在究竟地一切受生處於中最為奇特是名增上生(淨心住者即十地中第七地也此地菩薩離諸惑業故名淨心最上菩薩住即第十法雲地也居九地之上故名最上梵語閻浮提華言勝金洲大自在究竟地者即色界天主所住處也)。
【五最後生】謂最上菩薩住受生時求證菩提萬行滿足生剎利婆羅門家得阿耨多羅三藐三菩提作一切佛事是名最後生(梵語菩提華言道梵語

剎利華言四王即王種也梵語婆羅門華言淨行梵語阿耨多羅三藐三菩提華言無上正等正覺）。

菩薩五種相（出莊嚴經論）

【一憐愍相】謂菩薩以慈悲菩提之心愍念一切眾生廣行方便饒益攝受是為憐愍相。

【二愛語相】謂菩薩能於一切佛法巧妙宣說柔言輭語令諸眾生而得正信是為愛語相。

【三勇健相】謂菩薩為眾生故於諸難行苦行而悉行之不生退屈是為勇健相。

【四開手相】開手者開手以物與人也謂菩薩悲願深重能行布施濟貧拔苦而以財慧普攝一切是為開手相。

【五釋義相】謂菩薩為眾生故施無礙辯解經釋義以最上法而攝受之是名釋義相。

菩薩五種自在（出大寶積經）

菩薩悲智並運萬行滿足其於壽命受生等事故得自在無礙也。

【一壽命自在】謂菩薩成就法身慧命了無生死壽夭延萬刼不為長促一念不為短但為度脫有情以諸方便而隨機示現長短壽命之相其心無所罣礙是為壽命自在。

【二生自在】謂菩薩為度脫有情以大悲心隨類受生饒益一切處天宮不為樂入地獄不為苦去住無礙是名生自在。

【三業自在】謂菩薩萬行具足悲智雙運或現神通或說妙法或入禪定或修苦行所作行業但為利他縱任無礙是為業自在。

【四覺觀自在】初心曰覺細心曰觀謂菩薩或修禪觀之行或起利生之心雖有思惟離諸散亂隨願度生平等無礙是為覺觀自在。

【五眾具果報自在】謂菩薩因行深廣果報殊勝於一切所須之具不假營為自然周足心無染礙是為眾具果報自在。

五怖畏（出百法論鈔并毘婆沙論）

【一不活畏】謂初學菩薩雖行布施之行而不能盡己所有又恐自己不能過活是名不活畏。

【二惡名畏】謂初學菩薩雖欲與眾生同事而攝化之入諸酒肆等恒懼譏謗不得似大菩薩安行自若是名惡名畏（同事者同其所作即酒肆等事也若大菩薩證果之後以同事攝諸眾生逆行順化屠坊酒肆無往不可所以安行自若也）。

【三死畏】謂初學菩薩雖欲運廣大心內外俱施然有時施以財物而於身命顧惜不能自捨是名死畏（內外施者內則身命等外則財物等也）。

【四惡道畏】謂初學菩薩懼生惡道於不善法分別對治令其不生是名惡道畏。

【五大眾威德畏】謂初學菩薩或於王庭執理之處或於善解法義人前申宗敵論唯恐有失是名大眾威德畏。

小乘五位(出天台四教儀)
【一資糧位】資糧位者如人遠行必賫糧以為路資也其位有三一五停心二別相念三總相念若欲出於三界必以此三種觀法而為資糧也(五停心者一多貪眾生不淨觀二多嗔眾生慈悲觀三多散眾生數息觀四愚癡眾生因緣觀五多障眾生念佛觀別相念總相念者謂四念處一觀身不淨二觀受是若三觀心無常四觀法無我苦各觀察則名別相念若總觀察則名總相念三界者欲界色界無色界也)。
【二加位行】加行位者其位有四一煖位(如木鑽火未見火出先得煖相以喻加行位人未見智火已得煖相)二頂位(觀行轉明如登山頂悉皆明了)三忍位(忍即忍可之義謂於苦集滅道四諦之法忍可而樂修也)四世第一位(於理雖未能證而於世間最勝)謂此四位加功用行取證道果也。
【三見道位】見道位者即聲聞初果也謂斷三界見惑而見真空之理故名見道也(初果即須陀洹也)。
【四修道位】修道位者謂修四諦道法斷欲界思惑而證第二第三果故名修道也(第二果即斯陀含第三果即阿那含也)。
【五無學位】無學位者即聲聞第四果阿羅漢也此位斷三界見思惑盡真理究竟無法可學故名無學也(梵語阿羅漢華言無學又云無生)。
初度五人(出翻譯名義)
謂佛初出家入山修道父王思念乃命陳如等五人尋訪隨侍及佛成道因念五人當先度脫故在鹿苑先調其根性為說苦集滅道四諦之法而得解脫是為初度五人也。
【一阿若憍陳如】梵語阿若華言已知此其名也梵語憍陳如華言火器此其姓也以其是婆羅門種由先世事火故云火器乃佛之舅氏也(梵語婆羅門華言淨行事火者法華文句云火有二義照也燒也照則暗不生燒則物不生所以事之因為姓也)。
【二頞鞞】梵語頞鞞華言馬勝亦云馬師乃佛之家族也。
【三跋提】梵語跋提華言小賢乃佛之家族也。
【四十力迦葉】梵語迦葉又云婆敷(無翻)亦佛之舅氏非大迦葉亦非三迦葉也(大迦葉即摩訶迦葉三迦葉即優樓頻羅迦葉那提迦葉伽耶迦葉也)。
【五拘利太子】拘利太子乃斛飯王之長子即佛之從兄弟也。
五種聲聞(出法華文句)
【一決定聲聞】謂久習小乘積劫功圓而證得小果是名決定聲聞。
【二退道聲聞】謂此聲聞本習大乘積劫修道中間為厭生死退大道心取證小果是名退道聲聞。
【三應化聲聞】謂諸佛菩薩為前二種聲聞故內祕佛菩薩之行外見聲聞之形引誘小乘令入大乘是名應化聲聞。
【四增上慢聲聞】謂厭居生死欣樂涅槃修習小乘以少為足未得謂得未證謂證是名增上慢聲聞。

【五大乘聲聞】謂以佛道聲令一切聞不住化城終歸寶所是名大乘聲聞(化城者無而倏有名化防非禦敵名城以喻小乘涅槃能防見思之非而禦生死之敵也寶所即大乘實相之理也)。

五性(出華嚴經隨疏演義鈔)

【一定性聲聞】因果不易名曰定性聞佛聲教而得覺悟名曰聲聞謂惟習聲聞之因而證聲聞之果更不進求佛道是名定性聲聞也。

【二定性緣覺】謂觀因緣生滅之法覺悟真空之理故曰緣覺謂唯習緣覺之因而證緣覺之果更不進求佛道是名定性緣覺也。

【三菩薩性】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂菩薩悲智雙運冤親等觀廣利眾生證菩提果是名菩薩性也。

【四不定性】謂遇緣熏習修行不定若近聲聞而習聲聞法若近緣覺而習緣覺法若近菩薩而習菩薩法各隨所習而成其性是名不定性也。

【五無種性】無種者無善種也謂人撥無因果不受化度甘溺生死不求解脫是名無種性也(撥者絕也)。

五種阿那含(出涅槃經)

梵語阿那含華言不來又云不還謂不還來欲界受生即第三果也以其根有利鈍行有勤怠於證阿羅漢果有先後之不同故分為五也(梵語阿羅漢華言無學又云無生)。

【一中般涅槃】中即中陰亦名中有以人死之後未得托生之識身也梵語般涅槃華言滅度謂此阿那含從欲界沒生色界時於色界中有身便斷上地餘惑證阿羅漢得般涅槃也(上地即無色界也)。

【二生般涅槃】生者於色界受生也謂此阿那含於欲界得第三果已從欲界沒生於色界便斷上地餘惑得阿羅漢入般涅槃也。

【三有行般涅槃】有行即加功用行也謂此阿那含於欲界得第三果已從欲界沒生於色界不能速疾趣涅槃果更經多時勤修加行方斷上地餘惑得阿羅漢入般涅槃也。

【四無行般涅槃】無行即不加功行也謂此阿那含於欲界得第三果已從欲界沒生於色界更經多時不能加功用行懈怠慢縱任運經久方斷上地餘惑得阿羅漢入般涅槃也。

【五上流般涅槃】上即無色界流即流行謂此阿那含從欲界沒生於色界不能便證涅槃要須流行色界餘天之中次第生已方斷上地餘惑得阿羅漢入般涅槃也(餘天即色界初禪後二禪三禪四禪天也)。

五果回心(出涅槃經)

五果須陀洹斯陀含阿那含阿羅漢辟支佛所證之果也謂此五人經刼不等斷盡煩惱回心向大證取菩提故名五果回心(刼梵語具云刼波華言分別時節梵語菩提華言道)。

【初果八萬刼回心】初果即須陀洹也謂斷三結之惑而得此果超四惡趣於人天中七返受生方斷諸苦入於涅槃過八萬刼當得無上正等菩提

是名初果回心(梵語須陀洹華言預流謂出凡流而預聖流也三結者身見戒取疑即三界見惑也四惡趣者脩羅趣畜生趣地獄趣也七返者天上人間共七番也梵語涅槃華言滅度)。

【二果六萬刼回心】二果即斯陀含也謂斷欲界六品思惑而得此果於天人中一番受生方斷諸苦入於涅槃過六萬刼當得無上正等菩提是名二果回心(梵語斯陀含華言一徃來謂一生天上一生人間得證涅槃也六品思惑者眼耳鼻舌身五根對色聲香味觸五塵而起貪愛之心曰思此惑有九品今云六品者謂斷九品中前之六品也)。

【三果四萬刼回心】三果即阿那含也謂斷五下分結而得此果更不受生過四萬刼當得無上正等菩提是名三果回心(梵語阿那含華言不來謂不來欲界受生也五下分結者即欲界貪嗔身見戒取疑也)。

【四果二萬刼回心】四果即阿羅漢也謂永斷三界貪欲嗔恚愚癡之惑而得此果過二萬刼當得無上正等菩提是名四果回心(梵語阿羅漢華言無生謂斷見思惑盡更不受三界生也)。

【五果十千刼回心】五果即辟支佛也謂永斷三界貪欲瞋恚愚癡之惑而得此果過十千刼當得無上正等菩提是名五果回心(辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺)。

五分法身(出法華玄義釋籤)

五分法身者分即分齊法者戒定慧諸法也身者聚也聚集諸法以成其身也(聚集諸法者謂聚集色受想行識之法也)。

【一戒身】謂二乘因持無作之戒戒法成就證得此身故名戒身(二乘者聲聞乘緣覺乘也無作戒者不作意持任運無犯名無作戒也)。

【二定身】謂二乘因修無漏淨禪證此身故名定身(無漏者不漏落生死也淨禪者謂因修禪定能斷諸漏漏即三界煩惱既無煩惱心則清淨故名無漏淨禪也)。

【三慧身】謂二乘因修無漏智慧得證此身故名慧身(無漏智慧者即是觀十二因緣及觀四諦之智慧也修此智慧者即能斷三界煩惱出離有漏生死也)。

【四解脫身】解縛得脫故名解脫有二種一者有為解脫謂以無漏智慧斷有漏煩惱二者無為解脫謂一切煩惱滅盡無餘煩惱既盡理本無為由二種解脫得證此身故名解脫身。

【五解脫知見身】知以智知見以眼見謂二乘因此智眼於一切法知覺照了當體即空悉皆如幻得證此身故名解脫知見身。

五論師(出翻譯名義)

【一阿濕縛窶沙論師】梵語阿濕縛窶沙華言馬鳴摩訶衍論云過去世中有一大王名曰輪陀有千白鳥皆悉好聲若鳥出聲大王增德若不出聲大王損德如是諸鳥若見白馬則出其聲若不見時常不出聲爾時大王徧求白馬終日不得作如是言若外道眾能令此鳥鳴者都破佛教若佛弟子能令此鳥鳴者都破外道爾時菩薩用神通力現千白馬令千鳥皆鳴紹隆

正法令不斷絕是故世尊字此菩薩名曰馬鳴又本傳云此師說法時能感羣馬悲鳴故號馬鳴以其造起信論大乘莊嚴等論故稱論師。
【二那伽曷樹那論師】梵語那伽曷樹那華言龍猛舊翻龍樹其母於樹下生之因龍成其道故號曰龍樹輔行云龍樹之學廣通天下無敵欲謗佛經龍接入宮一夏但誦七佛經目知佛法深妙遂出家降伏外道明第一義以其作中觀大智度等論故稱論師也。
【三提婆論師】梵語提婆華言天乃龍樹弟子也以其造百論大丈夫等論故稱論師。
【四鳩摩羅邏多論師】梵語鳩摩羅邏多華言童受以其闡揚論義故稱論師。
【五室利邏多論師】梵語室利邏多華言勝受謂此論王如日照世能破諸暗故稱論師。
五種法師(出法華文句)
法者軌則也師者匠也法雖可軌體不自弘弘之在人是故五種弘經之人皆得稱為法師也。
【一受持】信力故受念力故持謂於如來言教以堅固深信受之於己憶持不忘是為受持法師。
【二讀經】對文曰讀謂正心端坐目覩經文口宣句讀是為讀經法師。
【三誦經】背文曰誦謂習讀既熟不須對文自然成誦是為誦經法師。
【四解說】謂聖教之義難解若能公明解釋訓授於人是為解說法師。
【五書寫】謂於諸佛經典若能書寫廣傳流通大法是為書寫法師。
五種阿闍黎(出四分律)
梵語阿闍黎華言軌範謂其能為人軌範故云阿闍黎也。
【一出家阿闍黎】出家阿闍黎者即比丘剃度之師也謂出家者必須依師而得剃度律云所依得出家者是也(梵語比丘華言乞士)。
【二受戒阿闍黎】受戒阿闍黎者即比丘受戒之師也謂既得出家必須依師求受戒法律云於受戒時得作羯磨者是也(梵語羯磨華言作法)。
【三教授阿闍黎】教授阿闍黎者即比丘教授之師也謂既得戒法必須得師教授威儀律云從教授得威儀者是也。
【四受經阿闍黎】受經阿闍黎者即比丘受經之師也謂出家者必須依師受習經文解說義理律云從所受經得讀修妒路若說義乃至一四句偈等是也(梵語修妒路又云修多羅華言契經)。
【五依止阿闍黎】依止阿闍黎者即比丘依止之師也謂比丘度夏當依師住或依止作宿律云乃至依住一宿者是也。
五種大師功德(出瑜伽師地論)
【一戒行無失】謂比丘於如來所制戒律常能堅守執持無有毀犯過失具是功德方宜為人戒法之師也(梵語比丘華言乞士)。

【二善建立法】謂比丘於諸戒律善能建立一切法則令人修學無所違越具是功德方宜為人戒法之師也。
【三善制立所學】謂比丘於律儀中當學之法善能裁制安立令無差謬具是功德方宜為人戒法之師也。
【四善斷疑惑】謂比丘於所建立法則及所當學或眾有所疑善能廣為開說斷除其惑令得如式修持具是功德方宜為人戒法之師也。
【五教授出離】謂比丘以如來所制戒法教授於人令其如法受持成就聖道出離生死具是功德方宜為人戒法之師也。
五種僧(亦名五僧差別出顯宗論)
【一無耻僧】謂毀犯禁戒不守真風形預僧流行過俗務是名無耻僧。
【二痤羊僧】謂於三藏教無所了達譬如痤羊無辯說用是名痤羊僧(三藏教者經藏律藏論藏也)。
【三朋黨僧】謂好於遊散惟務鬪諍善生機巧結構朋黨是名朋黨僧。
【四世俗僧】謂昏昏度日兀兀延生心想閑緣身營世務是名世俗僧。
【五勝義僧】謂解慧有餘辯才無礙隨機演教接物利生是名勝義僧。
僧五淨德(出諸德福田經)
【一發心離俗】謂出家之人發勇猛心脫離凡俗習佛菩提而能懷佩道妙為世福田是為初淨德也(梵語菩提華言道)。
【二毀其形好】謂出家之人剃除鬚髮毀壞相好去世俗之塵衣著如來之法服具佛威儀為世福田是為第二淨德也。
【三永割親愛】謂投佛出家割絕父母親愛之情一心精勤修道以報父母生成之德兼能為世福田是為第三淨德也。
【四委棄軀命】謂出家之人能委棄身命無所顧惜惟務一心求證佛道兼能為世福田是為第四淨德也。
【五志求大乘】謂出家之人常懷濟物之心專志勤求大乘之法度脫一切有情為世福田是為第五淨德也。
芯芻草五德(出翻譯名義)
芯芻雪山香草謂其有五鍾德以喻比丘亦具此德故稱為芯芻也(梵語比丘華言乞士)。
【一體性柔輭】體性柔輭者以喻比丘能折伏身語意業之麤獷也。
【二引蔓旁布】引蔓旁布者以喻比丘傳法度人延綿不絕也。
【三馨香遠聞】馨香遠聞者以喻比丘戒德芬馥為眾所聞也。
【四能療疼痛】能療疼痛者以喻比丘能斷煩惱毒害之痛苦也。
【五不背日光】不背日光者以喻比丘正見思惟常向佛日而不背也。
比丘入眾五法(舊名入眾五心出四分僧羯磨)
【一修慈愍物】謂比丘入大眾中應修慈心憐愍於物嚴淨律儀整束身心精勤學道是為修慈愍物(梵語比丘華言乞士)。

【二謙下自卑】謂比丘入大眾中常用謙和永絕憍慢應自卑下如拭塵巾是為謙下自卑。
【三善知坐處】謂比丘入大眾中動止有時若見上座不應安坐若見下座不應起立是為善知坐處(上座者謂戒臘在前道德聞達之比丘也)。
【四說於法語】謂比丘入於大眾中不宜雜說論世俗事若自說法若請人說法是為說於法語。
【五見過默然】謂比丘入大眾中若見僧中有不如理之事若便言說恐致別異故當安忍默而不言是為見過默然。
五眾(出翻譯名義)
【一比丘】梵語比丘華言乞士乞是乞求之名士是清雅之稱謂上乞法以資慧命下乞食以資色身淨命自活福利眾生破憍慢心謙下自卑以成清雅之德也(淨命者以清淨之食自活其命也)。
【二比丘尼】梵語尼華言女大智度論云尼得無量律儀故應次於比丘佛以儀法嫌於混雜令在沙門後故名比丘尼(女人出家始於佛姨母大愛道也梵語沙門華言勤息)。
【三式乂摩那】梵語式乂摩那華言學法女行事鈔云式乂尼具學三法一根本謂不作四重(即殺盜[婬-壬+(工/山)]妄也)二學六法(一不染心相觸二不盜四錢三不斷畜生命四不小妄語五不非時飲食六不飲酒)三學行法(即大尼所行一切行法)為學此三法故名式乂摩那。
【四沙彌】梵語沙彌華言息慈謂息世染之情以慈濟羣生也蓋出家之人初入佛法多存俗情故須息惡行慈是名沙彌。
【五沙彌尼】玄奘法師云梵語室利摩拏理迦華言勤策女謂勤行善法策進功德故名沙彌尼。
乞食遮五處(出顯揚聖教論)
謂比丘乞食此之五處當避嫌疑不可徃也(梵語比丘華言乞士)。
【一唱令家】唱令家者謂歌唱曲令但取歡娛能亂禪定比丘若行乞食此處不可徃也。
【二[婬-壬+(工/山)]女家】[婬-壬+(工/山)]女家者行止不潔聲名不正色欲因緣障道根本比丘若行乞食此處不可徃也。
【三酤酒家】酤酒家者謂酒是起罪因緣能生過失比丘若行乞食此處不可徃也。
【四王宮】王宮者貴戚之處嚴禁之所非可干冒比丘若行乞食此處不可徃也。
【五旃陀羅】(又作旃荼羅)梵語旃陀羅華言屠者謂屠者之家殺心盛大惱害眾生見者傷慈壞善根本比丘若行乞食此處不可徃也(旃荼羅者華言嚴幟謂此屠者惡業自嚴行時搖鈴持竹為幖幟以使人知具為惡者也)。
沙門受食五觀(出大藏一覽)

梵語沙門華言勤息謂勤行善法息滅惡事凡受食時先作五觀然後方食故名沙門受食五觀也。
【一計功多少量彼來處】計功多少者智度論云此食墾植收穫舂磨淘汰欶煑及成工用甚多量彼來處者僧祇律云施主減其妻子之分求福故施凡受食時當作此觀。
【二忖己德行全缺應供】忖己德行全應供者毘尼母律云若不坐禪誦經營三寶事及不持戒受人信施為施所墮則不宜受食德行若全則可應供受食凡受食時當作此觀(三寶者佛寶法寶僧寶也)。
【三防心離過貪等為宗】防心離過貪等為宗者明了論疏云出家先須防心三過謂於上味食起貪下味食起嗔中味食起癡以此不知慚愧墮三惡道凡受食時當作此觀(三惡道者餓鬼道畜生道地獄道也)。
【四正事良藥為療形枯】正事良藥為療形枯者謂飢渴為主病四百四病為客病故須以食而為醫藥用資其身凡受食時當作此觀(四百四病者人身假地水火風四大所成一大不調則生百一種病四大共成四百四病也)。
【五為成道業應受此食】為成道業應受此食者謂不食則飢渴病生道業何成增壹阿含經云多食致苦患少食氣力衰處中而食者如秤無高下凡受食時當作此觀。
五種邪命(出大智度論)
謂以此五種邪法用求利養而自活命為比丘者當深成之(梵語比丘華言乞士)。
【一詐現異相】謂諸比丘違佛正教於世俗人前詐現奇特之相令其心生敬仰而求利養是為邪命。
【二自說功能】謂諸比丘以辯口利詞抑人揚己自逞功能令所見者心生信敬而求利養是為邪命。
【三占相吉凶】謂諸比丘攻學異術卜 命相形講談吉凶而求利養是為邪命。
【四高聲現威】謂諸比丘大語高聲詐現威儀令人畏敬而求利養是為邪命。
【五說所得利以動人心】謂諸比丘於彼得利於此稱說於此得利於彼稱說令人動心而求利養是為邪命。
五法不得授人戒(出四分律)
謂比丘當深信因果常生慚愧戒行精進法義無忘方堪授人戒法若不能如是者則不可也(梵語比丘華言乞士)。
【一無信】信為萬善之本眾德之基比丘若不具足正信則於戒法自必不能持守何況為師而授人戒也。
【二無慚】慚謂慚恥比丘之心若無慚恥自必肆情縱慾戒行有虧故不可為師而授人戒也。

【三無愧】愧謂羞愧比丘之心若無羞愧自必毀犯戒法不能悔過故不可為師而授人戒也。
【四懶墮】謂比丘懶墮恣縱則自於戒律必不能堅守何況為師而授人戒也。
【五多忘】謂比丘於諸法義不能強記心多忘天則自於戒檢必有所遺故不可為師而授人戒也。
五不退(出起信論疏)
【一信不退】謂十信位菩薩發大信心篤信中道圓妙之理常住平等不遷不變信行滿足而無退轉也(十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心回向心戒心願心也)。
【二位不退】謂菩薩十信滿足入十住位乃至十行十回向位即得分見法身住正定位而不退轉也(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無著行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也)。
【三證不退】謂菩薩三賢位滿即入初地乃至七地證遍滿法身生無邊佛土而不退轉也(三賢者即十住十行十回向諸位菩薩也初地至七地者歡喜地離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地也遍滿法身者謂法身之體遍滿一切處也)。
【四行不退】謂菩薩七地功德滿足入於第八無功用地一切功行永無退失也(第八無功用地即不動地也)。
【五煩惱不退】謂菩薩十地滿足入等覺位了煩惱即是菩提豈更有煩惱之可退轉也(十地者即前七地更加不動地善慧地法雲地是為十地也等覺位者去後妙覺佛猶有一等勝前諸位得稱為覺)。
五法退菩提(出涅槃經)
【一樂在外道出家】謂人之出家當從正法修習善業成菩提果若從外道則增諸邪見作不善業而菩提之心未有不退失者矣(梵語菩提華言道)。
【二不修大慈之心】謂修菩薩行者當以平等大慈之心愛念一切眾生與其清淨法樂然後得成菩提之果若非此行而菩提之心未有不退失者矣。
【三好求法師過罪】謂修菩薩行者奉承師長如事父母聽受其教則菩提之果可成若窺伺以求其過則不惟無聽受之誠且虧事師之道而菩提之心未有不退失者矣。
【四常樂處在生死】謂修菩薩行者當勤精進以求出離則菩提之果可成若躭著五欲造諸惡業於諸生死心無厭離而菩提之心未有不退失者矣(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。

【五不喜讀誦經典】謂修菩薩行者當信受如來所說經典誠心讀誦求其妙義依解進修成菩提果若不喜樂受持讀誦則所修之行無所依據而菩提之心未有不退失者矣。

五乘(出華嚴一乘教義分齊章)

【一佛乘】佛梵語具云佛陀華言覺乘即運載之義謂如來以一乘實相之法運諸眾生同到涅槃彼岸故名佛乘(梵語涅槃華言滅度)。

【二菩薩乘】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂菩薩之人以六度萬行為乘運諸眾生同出三界故名菩薩乘(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也三界者欲界色界無色界也)。

【三緣覺乘】謂緣覺之人因觀十二因緣除於我執而悟真空涅槃之理以此之法運出三界故名緣覺乘(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。

【四聲聞乘】謂聲聞之人聞佛聲教修苦集滅道四諦之法而悟真空涅槃之理以此之法運出三界故名聲聞乘。

【五小乘】小乘者即人天乘也謂人天以五戒十善為乘運出四趣故名小乘(五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也十善者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不嗔恚不邪見也四趣者修羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。

又五乘(出華嚴一乘教義分齊章)

【一佛乘】佛梵語具云佛陀華言覺乘即運載之義謂如來以一乘實相之法運謂眾生同到涅槃彼岸是為佛乘(梵語涅槃華言滅度)。

【二緣覺乘】謂緣覺之人由觀十二因緣生滅除於我執等惑覺悟真空之理以此因緣之法運出三界是為緣覺乘(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也三界者欲界色界無色界也)。

【三聲聞乘】謂聲聞之人聞佛聲教修生滅四諦之法而悟真空涅槃之理以此四諦之法運出三界是為聲聞乘(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。

【四天乘】天即色界天也謂彼諸天修根本有漏禪觀欲惑不染以此根本禪定運出欲界是名天乘(有漏者謂漏落生死也根本禪即色界禪謂能出生一切禪定故也)。

【五梵乘】梵即淨也謂諸菩薩以慈悲喜捨四無量心運諸眾生出生死海是名梵乘(慈悲喜捨者慈能與樂悲能拔苦喜則離苦得樂捨則冤親平等此四無量心以由眾生無量故菩薩之心亦無量也)。

又五乘(出盂蘭盆經疏)

乘即運載之義謂人天等各以所修之法為乘運載至其所至之處故有五乘也。

【一人乘】人者忍也於世間違順情境悉能安忍故也謂人以三歸五戒為乘運出四趣生於人道故名人乘(三歸依歸依佛歸依法歸依僧也五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也四趣者修羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。

【二天乘】天者謂天然自然樂勝身勝也天以十善為乘運出五道得生欲天於修十善時更能修習禪定即生色界無色界天故名天乘(十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不嗔恚不邪見也五道者人道修羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。
【三聲聞乘】聲聞者聞如來聲教而得悟道也謂聲聞以四諦為乘運出三界到於涅槃故名聲聞乘(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也三界者欲界色界無色界也梵語涅槃華言滅度)。
【四緣覺乘】緣覺者謂觀十二因緣覺悟真空之理也以十二因緣為乘運出三界到於涅槃故名緣覺乘(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。
【五菩薩乘】菩薩梵語具云菩提薩埵今稱菩薩者從畧也華言覺有情謂覺悟一切有情眾生也以六度為乘運諸眾生同出三界而到涅槃彼岸故名菩薩乘(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
五事生天上(出辯意經)
謂諸眾生能行此五事則得生於天上也。
【一慈心】謂人不殺眾生愛惜物命令眾得安是名慈心。
【二賢良】謂人不盜他人財物布施無慳濟諸窮乏是名賢良。
【三貞潔】謂人不犯外色護戒奉齋是名貞潔。
【四誠信】謂人不欺於人護口四過永無諂佞是名誠信(口四過者妄言綺語兩舌惡口也)。
【五不醉酒】謂人尊崇善法堅修梵行不酗於酒而發狂亂是名不醉酒。
始生天有五種相(出正法念處經)
【一光明覆身相】謂人初生天時光明覆身身無衣服心作是念勿令他天見我裸露即於念時他見有衣而實無衣是為第一相。
【二欲見園林相】謂人初生天時已見天上所有之物生希有心而於園林等則未曾見故欲見之而遍觀看是為第二相。
【三見天女生慚相】謂人初生天時見天中女顏色羞慚未敢正看是為第三相。
【四見天生疑相】謂人初生天時若見餘天雖欲前近心生疑慮意志不定是為第四相。
【五升空生怖相】謂人初生天時欲升虛空心生怖畏設飛不高去則不遠或傍城壁或依附地是為第五相。
五淨居天(出楞嚴經)
五淨居天者謂聲聞之人斷欲界九品思惑盡證第三阿那含果而居其中亦名五不還天若據俱舍圖言此五天次第而上若據楞嚴經言此五天皆橫在第四禪天中彼四禪天但能聞此五天之名而不能知見如世間聖地

道場多有羅漢所居而人不能見也(九品者欲界思惑三品中每品又各分上中下三品故言九品也梵語阿那含華言不來不來即不還謂不還來欲界受生也)。
【一無煩天】謂此天苦樂兩滅心境不交則無煩惱故名無煩天也(苦樂兩滅者離欲界苦及色界樂也心境不交者心與境不交接也)。
【二無熱天】熱即熱惱謂此天機括獨行研交無地故名無熱天也(機括獨行者機謂弩牙括與筈同受絃之處皆取可發之義以喻於)此天於(苦樂之境雖滅猶存能滅之念故獨行至此天中研究此心與境交)一切沉(無依無處則無熱惱故云研交無地也)。
【三善見天】謂(謂一心於慧心)十方世界妙見圓澄更無塵像及一切沉垢故名善見天也(十方世界等者謂一心在定定能發慧於慧心中見十方界圓徧澄凝更無世界內外塵像及無心地昏沉之垢也)。
【四善現天】謂此天精見現前陶鑄無礙故名善現天也(精見現前陶鑄無礙者範土曰陶鎔金曰鑄以妙精明見陶鑄一切像空無障礙故也)。
【五色究竟天】謂此天究竟羣幾窮色性性入無邊際故名色究竟天也(究竟羣幾者幾謂幾微言究盡諸色幾微之處也窮色性性入無邊際者色性所依之性故云悻性性本無邊若研窮之則入於無邊際矣)。
初禪天定五支功德(出法界次第)
支即支分如樹之根幹是一枝條有異禪支之義亦爾從一定心出生五支故也又支持之義謂定心淺薄易於搖動若得覺觀等法支持則定心安隱牢固故名支也。
【一覺支】初心在緣為覺謂行者於定中發初禪清淨免法觸其身根心大驚悟爾時初覺此觸故名覺支。
【二觀支】細心分別為觀謂行者既證初禪即以細心分別禪中諸妙功德境界分明故名觀支。
【三喜支】欣慶之心為喜謂行者獲得初禪天定利益甚多如是思惟懽喜無量故名喜支。
【四樂支】怡悅之心為樂謂行者喜心既息則恬然靜慮受禪之樂故名樂支。
【五一心支】心與定法相應為一謂行者初證禪時心依覺觀喜樂之法故有細微散亂若喜樂心息自然心與定一故名一心支。
三禪天定五支功德(出法界次第)
【一捨支】離喜不悔之心為捨謂行者欲離二禪時以種種因緣訶責於喜喜既滅謝三禪即發若證三禪之樂則捨二禪之喜不生悔心故名捨支。
【二念支】念即愛念謂行者既發三禪之樂樂從內起應須愛念樂則增長故名念支。
【三慧支】解知之心為慧謂行者既發三禪之樂此樂微妙若非善巧解慧則不能方便長養故名慧支。

【四樂支】怡悅之心為樂謂行者發三禪樂已若能善用捨念慧三支將獲此樂樂則徧身若離三禪餘地更無徧身之樂故名樂支。
【五一心支】心與定法相應為一謂行者受樂心息則心與定一澄淨不動故名一心支。
欲天五[婬-壬+(工/山)](出天台四教儀集註)
【一地居二天形交成[婬-壬+(工/山)]】謂四天王天居須彌山腹忉利天居須彌山頂故名地居此之二天男女和合與世無異也(四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也梵語須彌華言妙高梵語忉利華言三十三)。
【二夜摩天勾抱成[婬-壬+(工/山)]】梵語夜摩華言善時分此天於諸欲境知時分故不以形交但勾抱也。
【三兜率天執手成[婬-壬+(工/山)]】梵語兜率華言知足此天於諸欲境知止足故而不勾抱但執手也。
【四化樂天對笑成[婬-壬+(工/山)]】謂此天欲心微薄亦不執手但對笑也。
【五他化天相視成[婬-壬+(工/山)]】謂此天欲念漸盡亦不對笑但相視也。
五種梵音(出長阿含經)
梵音者即大梵天王所出之聲而有五種清淨之音也。
【一正直音】謂諸梵天禪定持身無諸欲行而其音聲端正質直而不邪曲是名正直音。
【二和雅音】謂諸梵天心離欲染愛樂律儀而其音聲柔和典雅離諸麤獷是名和雅音。
【三清徹音】不濁曰清透明曰徹謂諸梵天戒行清淨心地圓明而其音聲清淨明徹是名清徹音。
【四深滿音】謂諸梵天淨行圓滿心光湛寂而其音聲幽深充滿而不淺陋是名深滿音。
【五周遍遠聞音】足備曰周普通曰遍謂諸梵天心光瑩淨普映十方而其音聲周遍遠聞而不迫窄是名周遍遠聞音。
天大五衰相(出法苑珠林)
【一衣服垢穢】謂諸天眾銖衣妙服光潔常鮮福盡壽終之時自生垢穢是為大衰相也(銖衣者十黍重曰銖諸天之衣重六銖故名銖衣)。
【二頭上華萎】謂諸天眾寶冠珠翠彩色鮮明福盡壽終之時頭上冠華自然萎悴是為大衰相也。
【三腋下汗流】謂諸天眾勝體微妙輕清潔淨福盡壽終之時兩腋自然流汗是為大衰相也。
【四身體臭穢】謂諸天眾妙身殊異香潔自然福盡壽終之時忽生臭穢是為大衰相也。

【五不樂本座】謂諸天眾最勝最樂非世所有福盡壽終之時自然厭居本座是為大衰相也。

天小五衰相(出法苑珠林)

【一樂聲不起】謂諸天音樂不皷自鳴衰相現時其聲自然不起是為小衰相也。

【二身光忽滅】謂諸天眾身光赫奕晝夜昭然衰相現時其光不現是為小衰相也。

【三浴水著身】謂諸天眾肌膚香膩妙若蓮華不染於水衰相現時浴水霑身停住不乾是為小衰相也。

【四著境不捨】謂諸天眾欲境殊勝自然無有躭戀衰相現時取著不捨是為小衰相也。

【五眼目數瞬】謂諸天眾天眼無礙普觀大千衰相現時其目數瞬是為小衰相也。

國王五種可愛樂法(出佛為優填王說王法政論經)

【一恩養蒼生可愛樂法】謂國王能布德施仁利濟羣生使各遂其性咸歸治化是以普天之下咸被恩澤無不愛樂也。

【二英勇具足可愛樂法】謂國王英武神授智勇天錫德覆萬邦威加四海未降伏者能降伏之已降伏者能攝護之是以普天之下畏威懷德無不愛樂也。

【三善權方便可愛樂法】謂國王智謀機變神用莫測於柔順服從者方便而保愛之強戾梗化者則方便而制伏之是以普天之下畏威懷德無不愛樂也(梗化者謂強梗弗順化也)。

【四正受境界可愛樂法】謂國王善能籌量府庫儲蓄多寡以仁愛心錫與親族人民凡疾病者令醫治之貧乏者悉賑濟之是以普天之下咸被恩澤無不愛樂也。

【五勤修善法可愛樂法】謂國王具足淨信能信過去未來善不善業人天果報修習正因以證聖果是以普天之下尊仰效慕無不愛樂也。

生淨土五不退(出淨土十疑論)

【大悲攝持不退】謂眾生得生淨土者以阿彌陀佛大悲願力攝持不捨故得不退轉也。

【佛光照燭不退】謂眾生得生淨土者常被佛光照燭故菩提之心日得增長而不退轉也。

【常聞法音不退】謂眾生得生淨土者聞諸水鳥樹林風聲樂響皆說苦空無我之法是以常起念佛念法念僧之心而不退轉也。

【善友同居不退】謂眾生得生淨土者以由彼國純諸菩薩以為勝友內無煩惱惑業之累外無邪魔惡緣之境故一生之後即不退轉也。

【壽命無量不退】謂諸眾生得生淨土者即得壽命無量與佛菩薩平等無二故一生之後即不退轉也。

五事生人中(出辯意經)
謂諸眾生能行此五事則得於人中受生也。
【一布施】謂人常行仁慈不悋財寶賑濟貧窮是名布施。
【二持戒】謂人心常念戒憶持無忘不作諸惡是名持戒。
【三忍辱】謂人若遇非理相干能以情恕安忍不動是名忍辱。
【四精進】謂人直心向道勤行眾善無有懈怠是名精進。
【五忠孝】謂人秉心端正事君能致其身事親能竭其力是名忠孝。
人有五苦(出法苑珠林并五苦章句經)
【一母人懷妊從死得生】謂人托胎居母腹中生臟之下熟臟之上迫迮倒懸苦痛無量及至出胎熱風觸身如履刀劒失聲大叫頓昧前因是為生苦。
【二老人顏色敗壞】謂人老年髮白齒落目昏耳聵四大不調百節疼痛頭低腰屈起坐呻吟是為老苦(四大者地大水大火大風大也)。
【三病人困劣】謂人以四大為體一大不調百一病生四大不調四百四病同時俱作形骸苦痛如被杖楚手足不任氣力虛竭起坐須人是為病苦。
【四人死風刀斷脉】謂人臨命終時四大分散痛毒辛酸慈親孝子莫能相救風刀解身苦不可忍是為死苦。
【五犯罪人束縛送獄】謂人違國正法冐犯罪愆枷鎖縈身繫閉牢獄受諸刑罰苦不可言是為獄苦。
眾生五事恃怙(出出曜經)
恃怙猶倚賴也佛為愚癡眾生恃怙所有不念世相無常恣意放逸不求出世無為之道故說此五事以警發之。
【一恃怙年少】謂人倚賴年少血氣剛強隨情任意恣作非為而不顧衰老之逼身也。
【二恃怙端正】謂人倚賴形貌端正嬌媚於人取相生欲不自羞愧而不顧老醜之逼身也。
【三恃怙力勢】謂倚賴勢力強盛任作威福陵蔑於他無所畏忌不顧衰患之逼身也。
【四恃怙才器】謂倚賴才調器量超越卓異妄自尊大輕藐於人而不顧禍患之逼身也。
【五恃怙貴族】謂人倚賴種族尊貴閥閱高顯憍傲縱恣侮慢於人而不顧衰敗之相尋也。
大明三藏法數卷第十六

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

五人非器(出華嚴經疏)
謂此五人皆非受道之器也。
【一無信非器】謂有眾生溺於邪見聞於大經而生疑謗墮諸惡道是為無信非器。
【二違真非器】謂有眾生心自違真逐妄依傍經法以求名利不淨說法集諸邪行是為違真非器。
【三乖實非器】謂有眾生乖於實道多無正見但依言取文隨聲取義超情至理不入於心是為乖實非器(超情至理者謂超越情量至極之理也)。
【四陋劣非器】華嚴出現品云一切二乘不聞此經何況受持故雖在座如聾如瞽是為陋劣非器(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【五守權非器】謂三乘共教諸菩薩等隨宗所修行布行位權小之法不信圓融具德之道是為守權非器(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也共教者三乘共學般若之教也隨宗者隨三乘所宗之法也行布行位者謂行列排布行位之次第也)。
五種不男(出法華文句記)
法華經云菩薩不應親近五種不男之人以為親厚正謂此五種也。
【一生不男】謂人從生來男根不滿是名生不男。
【二犍不男】犍謂人以刀去其男根是為犍不男。
【三妬不男】謂男根似無見他行[婬-壬+(工/山)]因生妬心遂或有根是名妬不男。
【四變不男】謂根能變現也遇男則變為女遇女則變為男是名變不男。
【五半不男】謂半月能男半月不能男是名半不男。
女有五障(出法華經)
法華經中謂舍利弗不知龍女是大乘根器宿習圓因而得成佛以為例同報障女流故說女人有五種障也然說此五障者欲令女人知有此障即當發菩提心行大乘行早求解脫也。
【一不得作梵天王】謂梵天因中修持戒善得獲勝報而為天王若女人身器欲染則不得作梵天王。
【二不得作帝釋】謂帝釋勇猛少欲修持戒善報為天主若女人雜惡多欲則不得作帝釋也(帝釋梵語釋提恒因華言能天主即忉利天主也)。
【三不得作魔王】謂魔王因中十善具足尊敬三寶孝奉二親報生欲界他化自在天而作魔王若女人輕慢嫉妬不順正行則不得作魔王也(魔王即他化自在天王也十善者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄言不兩舌不惡口不綺語不貪欲不嗔恚不邪見也三寶者佛寶法寶僧寶也)。

【四不得作轉輪聖王】謂轉輪聖王因中行十善道慈愍羣生報作輪王若女人無有慈愍淨行則不得作轉輪聖王也。
【五不得作佛】謂如來行菩薩道愍念一切心無染著乃得成佛若女人身口意業情欲纏縛則不得作佛也。
結胎五位(出析玄記)
【一揭邏藍】梵語揭邏藍華言雜穢謂人於胎位中初七日內受質之相狀如疑酥是名揭邏藍。
【二頞部曇】梵語頞部曇華言疱謂人於胎位中二七日內形成之相狀如瘡疱是名頞部曇。
【三閉尸】梵語閉尸華言凝結謂人於胎位中三七日內形成之相狀如厚肉是名閉尸。
【四健南】梵語健南華言凝厚謂人於胎位中四七日內形成之相狀漸堅硬是名健南。
【五鉢羅賒佉】梵語鉢羅賒佉華言形位謂人於胎位中五七日之後四支諸根形分具足是名鉢羅賒佉(四支者二手二足也諸根者眼耳鼻舌身意也)。
五行(出圓覺鈔)
五行者於六度中合定慧二度為止觀一門故名五行也。
【一布施】布施者謂內外資財以清淨心悉能施之而無吝惜也(內資財即身命法也外資財即世間財物也)。
【二持戒】持戒者即防非止惡之義謂奉持如來戒律則能防止身口所作之惡也。
【三忍辱】忍辱者謂於違逆之境遇諸毀罵惱害之事皆能安忍心無恚恨也。
【四精進】精進者謂修諸善道精勤無怠心心相續不自放逸也。
【五止觀】止觀者止是禪定之勝因觀是智慧之由藉謂若能成就二法自然定慧圓明也。
修行五門(出起信論疏)
【一修行施門】施有三義謂若見一切來求索者所有財物隨力施與捨自慳貪令彼歡喜即資生施也若見厄難恐怖危逼隨己堪任方便救濟令彼無畏即無畏施也若有眾生來求法者隨己所解方便為說不為貪求名利恭敬唯念自利利他回向菩提即法施也是名修行施門。
【二修行戒門】謂不作眾惡遠離憒鬧修頭陀行乃至小罪心生怖畏慚愧改悔不輕如來所制禁戒常護譏嫌防止過失故名修行戒門(梵語頭陀華言抖擻謂抖擻塵勞也)。
【三修行忍門】謂能忍受他人損惱心不懷報亦當忍於利衰毀譽稱譏苦樂等八法故名修行忍門。
【四修行進門】謂於諸善事心不懈退立志堅強勤修一切功德自利利他速離眾苦是名修行進門。

【五修行止觀門】止謂遮止一切境界散亂之相隨順奢摩他故觀謂分別因緣生滅之相隨順毘鉢舍那故以此二義漸漸修習不相舍離令得成就是名修行止觀門(梵語奢摩他華言止梵語毘鉢舍那華言觀)。

布施離五種法(出優婆塞戒經)

【一不選有德無德】謂菩薩行慧施時平等普濟不擇冤親於有德人生愛敬心於無德人起憐愍心是名不選有德無德。

【二不說善惡】謂菩薩行慧施時以平等慈於善不善各隨所願普皆饒益是名不說善惡。

【三不擇種姓】謂菩薩行慧施時無分種姓貴賤凡有所需普皆施與是名不擇種姓。

【四不輕求】謂菩薩行慧施時見來乞者起慇重心而給所須以濟其乏是名不輕求。

【五不惡口罵】謂菩薩行慧施時凡有求索者不出醜惡之語而毀辱之是名不惡口罵。

施食獲五福報(出施食獲五福報經)

【一施命】謂人七日不得食則死若能以食施之即為施命其施命者得世世長壽財富無量報。

【二施色】謂人不得食顏色顦悴若能以食施之即為施色其施色者得世世端正人見懽喜報。

【三施力】謂人不得食身羸力弱若能以食施之即為施力其施力者得世世多力終無耗減報。

【四施安】謂人不得食心愁身危不能自安若人以食施之即為施安其施安者得世世安隱不遇災患報。

【五施辯】謂人不得食困不能言若能以食施之即為施辯其施辯者得辯慧通達聞者喜悅報。

施果感五不死(出付法藏經)

經云毘婆尸佛時有一比丘患頭痛薄拘羅尊者持一訶梨勒果施彼食之其病即愈因施果故九十一劫天上人間享福快樂未嘗有病最後生婆羅門家其母早亡父娉後妻苦厭拘羅五度加害皆無所損及年既長出家學道得阿羅漢果(梵語毘婆尸華言勝觀梵語薄拘羅華言善容梵語訶梨勒華言天主特來切梵語具云劫波華言分別時節梵語婆羅門華言淨行梵語阿羅漢華言無學)。

【一置鑿不死】謂薄拘羅年幼後母作餅從而索之後毋憎嫉擲置鑿上鑿雖燋熱不能燒害也。

【二釜煑不死】謂薄拘羅後毋煑肉從而索之毋益瞋恚尋擲釜中釜雖極熱亦不能害也。

【三水溺不死】謂薄拘羅後毋向河從而逐去毋即嫌惡尋擲水中水雖深而不能溺也。

【四魚吞不死】謂薄拘羅由擲水中雖大魚吞之而不能害也。

【五刀割不死】謂薄拘羅被魚吞之其魚亦遭捕入市遇父買歸將剖魚腹拘羅尚活告父安庠無致傷兒父既見子喜抱而出即無損傷也。
五戒(出增壹阿含經)
【一不殺戒】謂人若於彼眾生妄加殺害而奪其命死墮惡道或生人中亦壽命短促若不作是事名不殺戒。
【二不偷盜戒】謂人若於有主物不與而竊取之死墮惡道或生人中亦受貧乏報若不作是事名不偷盜戒。
【三不邪[婬-壬+(工/山)]戒】謂人若[婬-壬+(工/山)]泆無度好犯他人妻妾死墮惡道或生人中妻妾亦不貞良若不作是事名不邪[婬-壬+(工/山)]戒。
【四不妄語戒】謂人若妄造虛言隱覆實事誑惑眾聽死墮惡道或生人中亦口氣臭惡為人所憎若不作是事名不妄語戒。
【五不飲酒戒】謂人若飲酒則縱逸狂悖昏亂愚癡無有智慧若不飲者是名不飲酒戒。
五戒配五常五行(出仁王經疏)
【一不殺配仁】慈愛好生曰仁五行之木亦主於仁仁則不殺故以不殺配仁也。
【二不盜配智】邪正明了曰智五行之水亦主於智智則不盜故以不盜配智也。
【三不邪[婬-壬+(工/山)]配義】制事合宜曰義五行之金亦主於義義則不邪[婬-壬+(工/山)]故以不邪[婬-壬+(工/山)]配義也。
【四不妄語配信】真實不欺曰信五行之土亦主於信信則不妄語故以不妄語配信也。
【五不飲酒配禮】處事有則曰禮五行之火亦主於禮禮則防於過失故以不飲酒配禮也。
忍辱五種功德力(出法集經)
【一能忍所打】謂菩薩以得如響平等智力雖被人捶打而能忍受不加報也(如響者謂如空谷之答眾[鄉/言]也)。
【二能忍所惱】謂菩薩以得鏡像平等智力雖被人惱害而能忍受不加報也(鏡像者謂如明鏡之現眾像也)。
【三能忍所瞋】謂菩薩以得如幻平等智力雖被人瞋呵而能忍受不加報也(如幻者謂如變幻而不實也)。
【四八法不動】八法者利衰毀譽稱譏苦樂也謂菩薩以得清淨平等智力故世間八法皆不能動也。
【五煩惱不染】謂菩薩以得世法清淨平等智力故一切煩惱皆不能染也。
修忍五相(出菩薩善戒經)

忍即安忍菩薩為化度一切眾生而諸眾生雖以種種諸惡加我悉無瞋恨故有五種相也。
【一眾生相】菩薩若被他人打罵即觀宿世流轉生死之時一切眾生皆我父母師長當生恭敬由此觀故滅怨憎相生親友相如是修於慈忍成就眾生是為眾生相。
【二法相】菩薩修慈忍時諦觀世間一切諸法皆即法界真實之理無取無捨無瞋無喜平等一相由是觀故滅眾生相成就法相是為法相。
【三無常相】菩薩修慈忍時思惟一切眾生及諸萬物皆悉無常誰是罵者誰是受者言語性空剎那不住由是觀故破於常相成就忍心是為無常相(梵語剎那華言一念)。
【四苦相】菩薩修慈忍時觀察眾生皆有生死之苦若遭其辱不應瞋恚當救彼苦我若瞋恚其苦轉增由能修忍斷諸苦惱成無上道是為苦相。
【五無我我所相】我主宰之義即眾生所執之假名也我所即五陰之身菩薩以智慧觀察四大本空五陰非有則我及我所俱不可得是為無我我所相(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也四大者地大水大火大風大也)。
說法五福德(出賢者五福德經)
【一長壽】謂前世說法時上中下語一一皆善若好殺者以聞法故而能止殺是故今世得長壽福德(上中下語即經之序分正宗分流通分也)。
【二多財】謂前世說法時上中下語教人布施若盜竊者聞法不盜便能行施是故今世得多財福德。
【三端正無比】謂前世說法時上中下語隨順正法令聞法者和氣安心顏色悅懌自生光澤是故今世得端正無比福德。
【四名譽遠聞】謂前世說法時上中下語以善及人令聞法者歸敬三寶相從者眾是故今世得名譽遠聞福德(三寶者佛寶法寶僧寶也)。
【五聰明大智】謂前世說法時上中下語樂說無吝令聞法者妙慧開解是故今世得聰明大智福德。
菩薩聽法五種想(出瑜伽師地論)
【一作寶想】謂菩薩聽法當念正法尊貴希有難得是名作寶想。
【二作眼想】謂菩薩聽法當念此法如眼開我昏暗令生智慧是名作眼想。
【三作明想】謂菩薩聽法當念正法如日光明一切等照是名作明想。
【四作大果勝功德想】謂菩薩聽法當念此法令我能得涅槃及大菩提勝功德果是名作大果勝功德想(梵語涅槃華言滅度梵語菩提華言道)。
【五作無罪大適悅想】謂菩薩聽法當念於現法中雖未證得涅槃及大菩提即當於法如實修行止觀離諸罪垢得大悅樂是名作無罪大適悅想(止觀者止即止息散亂觀即觀照昏暗也)。
聽法五種不作異意(出瑜伽師地論)

論云謂諸菩薩欲從善友聽聞法時於說法師有五種處不應作異意當以純淨心屬耳而聽也。
【一於壞戒不作異意】謂若聽法時須一心信受不可起念此說法師破戒不住律儀我今不應從彼聽法是名於壞戒不作異意。
【二於壞族不作異意】謂若聽法時須一心信受不可起念此說法師種姓微賤我今不應從彼聽法是名於壞族不作異意。
【三於壞色不作異意】謂若聽法時須一心信受不可起念此說法師容貌醜陋我今不應從彼聽法是名於壞色不作異意。
【四於壞文不作異意】謂若聽法時須一心信受不可起念此說法師言辭不文我今不應從彼聽法是名於壞文不作異意。
【五於壞美不作異意】謂若聽法時須一心信受不可起念此說法師多懷忿恚不以美言宣說諸法我今不應從彼聽法是名於壞美不作異意。
五心(出宗鏡錄)
【一率爾心】率爾猶卒然也謂人一念之心初對於境卒然任運而起未分別善惡是名率爾心。
【二尋求心】謂人一念之心既對於境明了即推尋求覓而生分別是名尋求心。
【三決定心】謂人一念之心於所緣境法既能分別則審知善惡決定不謬是名決定心。
【四染淨心】謂人一念之心於法既審知是善是惡則染淨自然而分是名染淨心。
【五等流心】等謂平等流即流類謂人一念之心於善惡法染淨既分則各隨類相續於善法則繼淨想於惡法則繼染想念念相續前後無異是名等流心。
治五種染(出華嚴經疏)
【一持戒治破戒染】謂修菩薩行者能持諸戒律以淨身心制伏過非則離一切破戒之汙染也。
【二入禪治貪欲染】謂修菩薩行者修習禪定安心理境寂靜無為則離一切貪欲之汙染也。
【三神通治邪歸依染】妙用不測謂之神自在無礙謂之通若諸眾生歸依邪師邪行者菩薩能以神通攝化令其捨邪歸正則無邪妄歸依染也。
【四四無量治妄行功德染】四無量即慈悲喜捨之心也妄行謂所行非正也功德謂所求邪福也若諸眾生淫祀求福妄修功德者菩薩能以此四心攝化令其依於正法修諸善業則無妄行功德染也。
【五四無色定治妄修解脫染】四無色定者即無色界中空處定識處定無所有處定非非想處定也若諸外道以有漏心妄修邪定以求解脫者菩薩能以此四無色定攝化令其依於正法修證解脫則無妄修解脫之染也。

修淨土五念門(出無量壽經論)
【一禮拜門】謂修淨土之人清淨身業面對阿彌陀如來一心翹勤恭敬禮拜願生彼國是名禮拜門(梵語阿彌陀華言無量壽)。
【二讚嘆門】謂修淨土之人清淨口業稱嘆如來名號功德光明智相如實修行求生彼國是名讚嘆門。
【三作願門】謂修淨土之人清淨意業發大誓願如實修行奢摩他求生彼國是名作願門(梵語奢摩他華言止謂止息散亂之心也)。
【四觀察門】謂修淨土之人用觀觀察則有三種一觀察彼佛國土功德莊嚴二觀察阿彌陀佛功德莊嚴三觀察彼諸菩薩功德莊嚴如實修行毘婆舍那求生彼國是名觀察門(梵語毘婆舍那華言觀謂觀破昏暗之心也)。
【五回向門】謂修淨土之人觀察一切世間苦惱眾生願同生彼國土所有自己功德善根悉以回向一切眾生共證無上覺是名回向門。
五種懺悔(出小彌陀懺)
普賢觀經云若國王大臣欲懺悔者當修行五事即是名懺悔也。
【一不必禮拜應常憶念第一義空】謂不必拘於禮誦之功但當存心憶念正理不謗三寶不於修梵行人作惡留難是即懺悔也。
【二孝養父母恭敬師長】梵網經云孝名為戒亦名制止既能孝養父母恭敬學法受戒之師則無悖逆之罪是即懺悔也。
【三正法治國不邪枉人民】謂以正順之道治安邦國亦常教化人民敬信三寶修持戒善勿以邪法枉屈於人是即懺悔也。
【四於六齋日勑諸境內令行不殺】六齋日即每月初八十四十五二十三二十九三十日以此六日四天王差遣使者巡察世間若遇修善人民注祿增壽不善人民即降災殃若能勑諸境內令行不殺則合國常臻福善永享安榮是即懺悔也(四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王)。
【五深信因果知佛不滅】所作為因感報為果謂若信因果不虛則無造惡之過若知法身常住則無斷滅之見是即懺悔也。
懺悔五法(出圓覺略疏鈔)
懺梵語具云懺摩華言悔過今云懺悔者華梵兼稱也謂比丘有罪須請大比丘為證具此五法而行懺悔也(梵語比丘華言乞士大比丘即上座也)。
【一袒右肩】謂行懺悔時須著袈裟當袒右肩以便執侍作務使令也。
【二右膝著地】謂行懺悔時當右膝著地以顯翹勤懇切之誠也。
【三合掌】謂行懺悔時須合掌當胸以表誠心之不亂也。
【四禮足】謂行懺悔時當頂禮大比丘足以見卑下至敬之禮也。
【五說罪名】謂行懺悔時當說自身所犯罪名或得僧殘罪或波逸提罪之類對眾發露不得覆藏也(僧殘罪者如人被斫猶有咽喉故名為殘若犯此罪僧作法除故也梵語波逸提華言墮謂死墮地獄也)。
五悔(出天台四教儀)

五種皆稱悔者以其皆能滅罪故也懺悔則滅身口意所作之業勸請則滅波旬請佛入滅之罪隨喜則滅嫉他修善之愆回向則滅求生三界之心發願則滅修行退志之過也(梵語波旬華言惡三界者欲界色界無色界也)。

【一懺悔】懺梵語具云懺摩華言悔過華梵兼舉故稱懺悔懺名修來悔名改徃謂修將來之善果改已徃之惡因是為懺悔。

【二勸請】勸請有二一者謂十方世界有佛將入涅槃者勸請徃世利濟眾生二者謂十方世界有佛初成正覺者勸請轉法輪度諸眾生雖不面見諸佛而虔心勸請以達歸敬之誠是為勸請(梵語涅槃華言滅度)。

【三隨喜】謂隨他修習善因喜他得成善果是為隨喜。

【四回向】謂三業所修一切諸善乃至懺悔勸請隨喜種種功德回施法界一切眾生同證菩提是為回向(三業者身業口業意業也梵語菩提華言道)。

【五發願】謂發誓願要制其心凡所修行期證道果若不要心或恐退失所謂若不發心萬事不成是故諸佛菩薩莫不發諸誓願而成正覺是為發願。

禮拜五功德(出增一阿含經)

【一端正】謂因見佛相好發懽喜心而生渴仰以此因緣來世即得相貌端正也。

【二好聲】謂因見如來相好已三稱佛號南無如來以此因緣來世得好音聲也(梵語南無華言歸命)。

【三多財饒寶】謂於如來所而作大施散華然燈而供養之以此因緣來世獲大財寶也。

【四生長者家】謂若見如來相好心無染著長跪义手至心禮佛以此因緣來世得生長者家也。

【五身壞命終生善處天上】謂由恭敬禮拜如來所獲功德來世得生善處及於天上也。

內五法(出難提釋經)

經云佛於俱舍犁國坐夏將竟難提以久不見佛特徃瞻禮佛告難提云汝若見我若不見我常當行內五法然此五法亦名內五事皆稱內者以此五法皆從心發故也。

【一捨不信意】謂佛弟子當於如來之法常存正信之意則無量法門皆可從此而入所謂信者道之源功德之母也設有不信之意悉當除去是為捨不信意。

【二捨不淨行】謂佛弟子當受持如來戒法常令三業清淨則一切煩惱不能染污設有不淨之行悉當除去是為捨不淨行(三業者身業口業意業也)。

【三捨慳貪心】謂佛弟子當以財法廣施於人蓋財以資人之生法以資人慧命於此二者時常樂行則能饒益一切設有慳貪之心悉當除去是為捨慳貪心。

【四捨愚癡心】謂佛弟子當以智慧之心照了諸法通達無礙不為惑業之所覆蔽設有愚癡之心悉當除去是為捨愚癡心。
【五莫樂不聞】謂佛弟子常當親近善友於諸法要廣學多聞究明其義設若遠離知識則獨學寡聞無所開悟而於諸行不能進修是為莫樂不聞。
五種善根發相(出修習止觀坐禪法要)
【一息道善根發相】謂修禪之人由先數息而修止觀故得身心調適妄念皆止因是自覺漸漸入定泯然空寂或經一日二日乃至一月二月不退不失即於定中忽覺身心運動而發痛痒冷煖等觸觸相發時身心安定悅豫清淨不可為喻是為息道善根發相。
【二不淨觀善根發相】謂修禪之人於其定中身心虛寂忽然見他男女身死死已壞爛白骨狼藉其心悲喜厭患所愛是為不淨觀善根發相。
【三慈心善根發相】謂修禪之人於其定中忽然發心慈念眾生或緣親人或緣怨人乃至五道眾生得樂之相即發深定悅樂清淨不可為喻是為慈心善根發相(五道者天道人道餓鬼道畜生道地獄道也)。
【四因緣觀善根發相】謂修禪之人於其定中忽然覺悟心生推尋三世無明行等諸因緣中不見人我之相即離斷常破諸邪見得定安隱解慧開發心生法喜是為因緣觀善根發相(三世者過去現在未來也無明行者即十二因緣中之二名也斷常者即斷常二見也)。
【五念佛善根發相】謂修禪之人於其定中忽然憶念諸佛功德相好及神通變化無礙說法悉皆不可思議作是念時敬愛心生三昧開發身心快樂清淨安隱無諸惡相是為念佛善根發相。
慈有五利(出檀持羅經)
慈即愛念一切眾生之心也。
【一刀不傷】謂由慈心愍諸物故無害他念即刀不能傷也。
【二毒不害】謂由慈心起饒益念奉行眾善利濟羣生即一切惡毒不能害也。
【三火不燒】謂由慈心內無熱惱外得清涼即火不能燒也。
【四水不沒】謂由慈心內無貪愛遠離欲流即水不能沒也。
【五嗔惡見喜】謂由慈心常行利樂普濟眾生無冤親想故嗔惡之人見則生喜也。
孝順五善根(不孝反此)
【一少病】少病者謂諸眾生若能孝養敬順父母則感病苦不侵身得安樂也。
【二端正】端正者謂諸眾生若能孝養敬順父母則感顏貌端正無諸陋劣也。
【三有大威勢】有大威勢者謂諸眾生若能孝養敬順父母則感勢力增勝威德盛大也。

【四生上種族】生上種族者謂諸眾生若能孝養敬順父母則感生於大姓種族不生貧賤之家也。
【五多有資生】多有資生者謂諸眾生若能孝養敬順父母則感財寶具足資生豐盛無諸乏少也。
瞻病五德(出四分律)
僧祇律云有比丘久病佛因見之躬與阿難為其洗身及衣又為說法問云汝曾看病否答不曾佛言汝既不看誰當看汝佛乃制戒自今以後令諸弟子應看病比丘若欲供養我應供養病人故說瞻病有五德也(梵語阿難華言慶喜)。
【一知病人可食不可食】謂供給病人飲食所須當看其可食者則與之不可食者則不與也。
【二不惡賤病人大小便利唾吐】謂若看病人所有大小便利唾吐臭穢但盡心親近為其洗滌無起惡賤之心也。
【三有慈愍心不為衣食】謂或有病比丘死佛令常視病者受其衣物時有略曾瞻病者亦取衣物佛言不應如是故看病人但當以慈愍為心不可為衣食也。
【四能經理湯藥物等】謂病人若喜服藥及別所須當如實語之應服與服不應服則不與也。
【五能為病人說法】謂看病之人當為說法能令病者懽喜亦令自己善法有所增益也。
五道(出正法念處經)
五道者天人地獄餓鬼畜生也若言六道則加阿修羅此不言者以阿修羅一道攝於天人畜生餓鬼諸趣之中故也(梵語阿修羅華言無端正)。
【一天道】天者最高最上極大極尊受用出於自然快樂莫非如意由昔廣修淨行故感此報是名天道。
【二人道】人者忍也謂能安忍世間苦樂之境也又仁也如梵摩喻經云清信善人守仁不殺知足不盜貞潔不[婬-壬+(工/山)]執信之人言不欺誑忠孝之人不嗜醉酒盖天地所生惟人為貴由習善行報感此身是為人道。
【三地獄道】地獄謂在地之下也婆沙論云贍部洲下過五百踰繕那乃有地獄然此地獄其量大小不同其壽延促各異皆由眾生造極惡業報盡命終至此受苦也(梵語贍部洲即閻浮提華言勝金洲梵語踰繕那又云由旬華言限量)。
【四餓鬼道】謂此鬼類羸瘦醜惡見者畏懼窮年卒歲不遇飲食或居海底或近山林樂少苦多壽長刼遠由昔慳貪所報獲此身也。
【五畜生道】畜生亦名旁生婆沙論云畜謂畜養謂其橫生覆身而行稟性愚痴不能自立為他畜養故名畜生又名旁生者謂其形旁而行不正徧在諸處由昔惡業報生此道也。

方色喻五道(出圓覺經略疏鈔)
經云譬如清淨摩尼寶珠映於五色隨方各現以其體性瑩淨絕無瑕類以喻圓覺淨性在於五道隨類各應故以方色喻五道也(梵語摩尼華言如意)。
【一白色喻天】謂天因純善白業所感乃得為天故以西方白色而喻之也。
【二黃色喻人】謂人由持五戒功德所感乃得為人以人不在四趣之苦不在諸天之樂處得其中故取中方黃色以喻之也(五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也四趣者脩羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。
【三黑色喻地獄】謂地獄由上品十惡黑業所感乃獲斯報故取北方黑色以喻之也(十惡者一殺生二偷盜三邪[婬-壬+(工/山)]四妄言五綺語六兩舌七惡口八貪欲九瞋恚十邪見也十惡分上中下三品者謂欲作正作作已此三時心無悔者名上品作已能悔者名中品正作能悔者名下品也)。
【四青色喻餓鬼】謂餓鬼由中品十惡之業所感身常飢瘦面多青色故取東方青色以喻之也。
【五赤色喻畜生】謂畜生由下品十惡之業所感常為刀杖之所傷害受報血塗故取南方赤色以喻之也。
五無間獄(出地藏經)
五無間獄者謂法界有情眾生隨所造業受此苦報無間斷也。
【一趣果無間】趣即向也謂諸有情不問男子女人老幼貴賤及天龍神鬼罪業所感悉同受之故名趣果無間。
【二受苦無間】謂諸有情於劒樹刀山鑊湯爐炭洋銅鐵汁備受諸苦無有休歇故名受苦無間。
【三時無間】謂諸有情墮此地獄歷劫受罪無時間歇故名時無間。
【四命無間】謂諸有情墮此地獄從初入時至百千萬劫一日一夜萬死萬生受苦無間故名命無間。
【五形無間】謂此地獄縱廣八萬由旬一切有情於中受苦一人亦滿多人亦滿故名形無間(梵語由旬華言限量)。
龍五不能隱形(出僧護經)
經云佛與眾僧在給孤獨園有海龍王變為人形來求出家諸比丘不知是龍即度出家時龍比丘攝心坐禪龍性多睡即便睡眠不能隱形身滿房中同住比丘後來入房見龍大驚喚眾比丘龍聞喚聲即便覺悟還為比丘跏趺坐禪大眾雲集但見比丘不見龍形眾大驚疑即徃白佛佛言此非人也乃是龍王遂喚龍比丘來為其說法令還龍宮後不許比丘度龍出家故佛說此五種因緣也。
【一生不能隱形】生不能隱形者謂龍初生之時但是本形不能化為異類之身也。
【二死不能隱形】死不能隱形者謂龍報終之時必是本形不能化為異類之身也。

【三[婬-壬+(工/山)]不能隱形】[婬-壬+(工/山)]不能隱形者謂龍交遘之時必是本形不能化為異類之身也。
【四瞋不能隱形】瞋不能隱形者謂龍瞋怒之時必是本形不能化為異類之身也。
【五睡不能隱形】睡不能隱形者謂龍睡眠之時必是本形不能化為異類之身也。
破戒五過(出四分律)
【一自害】謂毀戒之人身口意業悉皆不淨常受貧窮福不歸身善神遠離是名自害。
【二為智所訶】謂毀戒之人諸善比丘皆悉訶責而常畏避如惡死屍是名為智所訶(梵語比丘華言乞士)。
【三惡名流布】謂毀戒之人三業不淨與不善人共住善人亦不喜見不善之名聞於遠近是名惡名流布(三業者身業口業意業也)。
【四臨終生悔】謂毀戒之人老死臨期惡境現前追悔無及是名臨終生悔。
【五死墮惡道】謂毀戒之人既絕梵行全無善因福盡苦至即墮惡趣是名死墮惡道(梵行即淨行也)。
犯戒五衰(出釋氏要覽)
【一求財不遂】求財不遂者謂犯戒之人既違佛制梵行全虧所求貲財皆不遂意也。
【二設得耗】設得衰耗者謂犯戒之人既缺淨行縱使苦求所得貲財福薄難消悉皆衰耗也。
【三眾不愛敬】眾不愛敬者謂犯戒之人威儀既缺細行全無眾所憎嫌而不愛敬也。
【四惡名流布】謂犯戒之人惡友常從善人皆離既無戒德惡聲日著遠近流布也。
【五死入地獄】謂犯戒之人既無戒行萬善俱虧臨命終時墮無間獄也。
五逆(出華嚴孔目)
【一殺父母】謂父母養育恩同天地為子者當竭力孝養奉事以報其恩況行殺逆若行此事是為逆罪即墮地獄四分律云若殺父母者不許出家受具足戒也(具足戒者即二百五十戒也)。
【二破和合僧】謂比丘集眾行布薩時和合作法若後來者當隨順寂默或當出避若以嗔惡之心破其法事令不和合是為逆罪律云破和合僧者不許出家受具足戒也(梵語比丘華言乞士梵語布薩華言淨住)。
【三出佛身血】謂佛是一切眾生慈父能令眾生悟明自心出離苦趣眾生歷刦供養不能報其恩德萬一而況出其身血若行此事是為[這-言

+羊]罪興起行經云提婆達多推山擲佛山神接之迸一小石傷佛足指即有血出以此因緣後墮地獄(梵語提婆達多華言天熱)。
【四殺阿羅漢】梵語阿羅漢華言無學謂無法可學又名應供應受人天供養故也眾生即當供養恭敬以為種福之田況行殺逆若行此事是為逆罪律云殺阿羅漢者不許出家受具足戒也。
【五破羯磨僧】梵語羯磨華言作法辦事謂比丘受具足戒或行懺悔法時當依和尚阿闍黎行羯磨法作法成就方為得戒若有人見者當隨順寂默或當出避若以惡心破其作法令不得戒是為逆罪律云破羯磨者不許出家受具足戒也(和尚梵語鄔波遮迦于闐國翻和尚華言力生梵語阿闍黎華言軌範)。
五篇配五刑(出翻譯名義)
【一波羅夷配死】梵語波羅夷華言極惡此即根本極惡之戒也謂修行之人若犯此戒道果無分死墮地獄四分律云譬如斷人頭不可復生若犯此法不復成比丘以由此罪極重故以死配之。
【二僧殘配流】毘尼母云僧殘者如人為他所斫殘有咽喉故名為殘蓋言人若犯此罪僧作法除庶幾戒德可復猶如所殘咽喉未斷早救尚可以由此罪稍輕于前故以流罪配之。
【三波逸提配徒】梵語波逸提華言墮十誦律云墮在燒煑覆障地獄八熱通為燒煑八寒黑暗通為覆障以由此罪輕於僧殘故以徒罪配之(八熱者想獄黑繩獄堆壓獄叫喚獄大叫喚獄燒炙獄大燒炙獄無間獄也八寒者頞浮陁獄泥賴浮陀獄阿吒吒獄阿波波獄嘔喉獄鬱波羅獄波頭摩獄芬陀利獄也)。
【四提舍尼配杖】梵語提舍尼華言向彼悔從對治境以立名僧祇律云此罪應發露也蓋言此罪輕於前之三罪乃容對眾發露悔過故以杖罪配之。
【五突吉羅配笞】善見律中梵語突吉羅華言惡作四分律本中梵語式叉迦羅尼華言應當學謂餘戒罪重易持此戒難持易犯常須念學故不列罪名但言應當學此又輕於前故以笞罪配之。
五見(出涅槃經)
【一身見】謂於五陰中妄計有身強立主宰恒起我見執我我所是名身見(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也執我我所者計執一陰為我餘四陰為我所也)。
【二邊見】謂計我身或斷或常執斷非常執常非斷但執一邊是名邊見。
【三邪見】謂邪心取理顛倒妄見不信因果斷諸善根作闡提行是名邪見(闡提梵語具云一闡提華言信不具外道名也)。
【四戒取見】謂於非戒之中謬以為戒強執勝妙希取進行是名戒取見。
【五見取】謂於非真妙法中謬計涅槃心生取着妄計所得為勝是名見取(梵語涅槃華言滅度)。

五結(出阿毘達磨集論)
結即繫縛之義謂眾生因煩惱妄惑造諸惡業而為眾苦繫縛流轉三界不能出離故云結也(三界者欲界色界無色界也)。
【一貪結】謂眾生貪著三界生死之法廣行不善由此能招未來苦果不得解脫是名貪結。
【二恚結】謂眾生心有惱害廣行不善由此能招未來苦果不得解脫是名恚結。
【三慢結】自恃凌他曰慢謂眾生常起我慢邪慢等廣行不善由此能招未來苦果不得解脫是名慢結(我慢者恃己之能凌侮於他也邪慢者不禮塔廟不敬三寶不誦經典也)。
【四嫉結】謂眾生躭著利養心無厭足若見他榮即起妬心廣行不善由此能招未來苦果不得解脫是名嫉結。
【五慳結】謂眾生躭著利養而於資生等物其心慳惜不能惠施貧乏廣行不善由此能招未來苦果不得解脫是名慳結。
五上分結(出天台四教儀集註)
上分結者即色界無色界之結惑也。
【一色愛結】色愛者即色界思惑也謂色界眾生雖無欲界麤染貪愛而於上妙五欲取著無厭由此愛惑繫縛不能出離故名結也(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【二無色愛結】無色愛者即無色界思惑也謂無色界眾生雖無色質而於受想等法未能捨離取着四空禪定欲樂境界由此愛惑繫縛不能出離故名結也(四空者即無色界天中空虔識處無所有處非想非非想處也)。
【三掉結】掉者動也謂上二界眾生心念散動退失禪定由此掉心繫縛不能出離故名結也(上二界者色界無色界也)。
【四慢結】慢者自恃輕他也謂上二界眾生愛染未斷慢心不息由此慢心繫縛不能出離故名結也。
【五無明結】無明者無所明了也謂上二界眾生躭著禪定而於真性無所明了由此無明繫縛不能出離故名結也。
五下分結(出天台四教儀集註)
下分結者即欲界之結惑也。
【一貪結】貪者貪著無厭也謂欲界眾生於順情境上起於貪心無有厭足由此貪惑繫縛三界無有出期故名結也(三界者欲界色界無色界也)。
【二嗔結】嗔者忿怒之心也謂欲界眾生於違情境上起於瞋心而不自已由此嗔惑繫縛三界無有出期故名結也。
【三身見結】身見者謂欲界眾生於名色五陰十二入十八界妄計為身由此見惑繫縛三界無有出期故名結也(名色者名即心也色即色身也五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也十二入者眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入

法入也十八界者眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也)。
【四戒取結】戒取者謂諸外道於非戒中取以為戒即邪戒也由此邪執繫縛三界無有出期故名結也。
【五疑結】疑者迷心乖理狐疑不决也謂欲界眾生由此疑惑迷真逐妄背覺合塵由此疑惑繫縛三界無有出期故名結也。
五住地惑(出華嚴經隨疏演義鈔)
五住者謂三界見惑為一住三界思惑分為三住根本無明為一住共成五住也由此五惑能令眾生住著生死故名住地也(三界者欲界色界無色界也根本無明者能生見思二惑故名根本也)。
【一一切見住地惑】一切見者即三界分別見惑也謂諸眾生由意根對法塵分別起諸邪見住著三界故名一切見住地惑。
【二欲愛住地惑】欲愛者即欲界思惑也謂諸眾生由五根對五塵境起貪愛心而於欲界住著生死故名欲愛住地惑(五根者眼根耳根鼻根舌根身根也五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【三色愛住地惑】色愛者即色界思惑也謂諸眾生不了此惑住著色界禪定不能出離故名色愛住地惑。
【四有愛住地惑】有愛者即無色界思惑也謂諸眾生不了此惑住於禪定不能出離故名有愛住地惑。
【五無明住地惑】無明者即根本無明惑也謂聲聞緣覺未了此惑沉滯真空即住方便土大乘菩薩方能除斷由餘惑未盡住實報土故名無明住地惑(方便土者謂修方便道斷見思惑即聲聞緣覺所居之土也實報土者稱實感報故也謂菩薩斷惑相有未盡者居此土也)。
五利使(出天台四教儀集註)
利即快利之義謂此五種妄惑動念即生造次恒有也使即驅役之義謂諸眾生為此五種妄惑驅役心神流轉三界無有出期故名使也(三界者欲界色界無色界也)。
【一身見使】身見者謂諸眾生於名色五陰十二入十八界中妄計為身也由此身見驅役心神流轉不息故名為使(名色者名即心也色即色身也五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也十二入者眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入法入也十八界者眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也)。
【二邊見使】邊見者謂諸眾生於前之身見或執為斷或執為常各執一邊也由此邊見驅役心神流轉不息故名為使。
【三邪見使】邪見者謂諸眾生邪心取理撥無因果斷滅一切善根也由此邪見驅役心神流轉不息故名為使(撥者絕也)。
【四見取使】見取者謂諸眾生於非真勝法中謬計涅槃生心取着於邪見中執為正見也由此見取驅役心神流轉不息故名為使(梵語涅槃華言滅

度)。
【五戒取使】戒取者謂諸外道於非戒中謬以為戒如鷄狗等邪戒以為真戒取以進行也由此戒取驅役心神流轉不息故名為使(鷄狗戒者謂外道自計前世從鷄狗中来今即學鷄一足獨立如狗噉糞穢也)。
五鈍使(出天台四教儀集註)
五鈍者鈍即遲鈍也謂此五種妄惑由推前身見等五種利使而生對利說鈍故名鈍使。
【一貪欲使】貪即引取無厭也謂諸眾生貪著世間色欲財寶恣縱心情而無厭足由此貪惑之所驅役流轉三界故名為使(三界者欲界色界無色界也)。
【二瞋恚使】瞋即忿怒謂諸眾生於違情境上起諸嗔恚惱亂自他由此嗔惑之所驅役流轉三界故名為使。
【三無明使】無明即迷惑不了乃癡惑也謂諸眾生以迷心緣境於一切法不能明了由此癡惑之所驅役流轉三界故名為使。
【四慢使】慢即自恃輕他也謂諸眾生自恃種姓富貴有德有才輕蔑於他由此慢心之所驅役流轉三界故名為使。
【五疑使】疑即猶豫不决也謂諸眾生迷心乖理不能通達法相由此疑惑之所驅役流轉三界故名為使。
大明三藏法數卷第十七

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

五欲(出天台四教儀)
止觀云五塵非欲而其中有味能起行人須欲之心故言五欲常能牽人入諸魔境故也(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【一色欲】謂男女形貌端莊及世間寶物玄黃朱紫種種妙色能令眾生樂著無厭故名色欲。
【二聲欲】謂絲竹環珮之聲及男女歌詠等聲能令眾生樂著無厭故名聲欲。
【三香欲】謂男女身香及世間一切諸香能令眾生樂著無厭故名香欲。
【四味欲】謂種種飲食肴饍等美味能令眾生樂著無厭故名味欲。
【五觸欲】謂男女身分柔輭細滑寒時體溫熱時體涼及衣服等種種好觸能令眾生樂著無厭是名觸欲。
又五欲(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一財欲】財即世間一切貨財也謂人以財物為養己之資故至貪求戀著不捨是為財欲。
【二色欲】色即世間青黃赤白及男女等色也謂人以色悅情適意故至貪求戀著不能出離三界是為色欲(三界者欲界色界無色界也)。
【三飲食欲】飲食即世間肴饍眾味也謂人必假飲食資身活命故至貪求樂著無厭是為飲食欲。
【四名欲】名即世間之聲名也謂人因聲名能顯親榮己故至貪求樂著而不知止是為名欲。
【五睡眠欲】睡眠即情識昏昧而睡眠也謂人之睡眠亦有時節若怠墮放縱樂著無厭是為睡眠欲。
五蓋(出法界次第)
蓋即蓋覆之義謂諸眾生由此貪等五惑蓋覆心識而於正道不能明了沉滯三界不能出離也(三界者欲界色界無色界也)。
【一貪欲蓋】貪欲者引取無厭曰貪希須樂慕為欲謂諸眾生貪愛世間男女色聲香味觸法及財寶等物無有厭足以此貪欲蓋覆心識禪定善法不能發生沉滯三界不得出離故名蓋也。
【二瞋恚蓋】瞋恚者即忿怒之心也謂諸眾生或於違情境上或追憶他人惱我及惱我親而生忿怒以此瞋恚蓋覆心識禪定善法不能發生沉滯三界不得出離故名蓋也。
【三睡眠蓋】睡眠者意識惛熟曰睡五情闇冥曰眠謂諸眾生以此睡眠蓋覆心識禪定善法不能發生沉滯三界無有出期故名蓋也(五情者即眼耳

鼻舌身五根也）。
【四掉悔蓋】掉悔者掉動也身無故遊行為掉掉已思惟心中憂惱為悔謂諸眾生以此掉悔蓋覆心識禪定善法不能發生沉滯三界無有出期故名蓋也。
【五疑蓋】疑者猶豫不決之義即癡惑也謂諸眾生無明暗鈍不別真偽猶豫之心常無決斷以此疑惑蓋覆心識禪定善法不能發生沉滯三界無有出期故名蓋也。
五慳（出成實論）
【一住處慳】謂有眾生心作是念於此之處唯獨我住不容餘人是名住處慳。
【二家慳】謂有眾生心作是念獨我出入此家不容餘人設有餘人我當於中為勝是名家慳。
【三施慳】謂有眾生心作是念我於此中獨得布施勿與餘人設有餘人勿令過我是名施慳（過我者謂所施過多於我也）。
【四稱讚慳】謂有眾生心作是念獨稱讚我勿讚餘人設讚餘人勿令勝我是名稱讚慳。
【五法慳】謂有眾生心作是念獨我能知諸經深義秘惜隱藏不為人說是名法慳。
五苦（出析玄記）
【一生老病死苦】謂眾生初受生時在母腹中窄隘不淨及出胎時冷風觸身如被物刺至於衰老氣力羸劣動止不寧復有疾痛寒熱所惱至於命終四大分離神識飄散此等因緣悉皆是苦是為生老病死苦（四大者地大水大火大風大也）。
【二愛別離苦】謂常所親愛之人乖違離散不得共處是為愛別離苦。
【三怨憎會苦】謂常所憎惡之人欲其遠離而反共聚是為怨憎會苦。
【四求不得苦】謂於世間色聲之境及一切利養種種可愛樂者心欲而不能得是為求不得苦。
【五五陰盛苦】五陰者色受想行識也陰即蓋覆之義謂能蓋覆真性不令顯發也盛即盛大之義謂前諸苦皆是五陰之所聚集是為五陰盛苦。
五心裁（出成實論）
【一疑佛】疑佛者謂眾生心作如是念佛為大耶富蘭那等為大耶由此疑念不信佛是智人惡口讒謗裁斷自心善根故名心裁（梵語富蘭那無翻即空見外道謂一切法無所有如虛空不生滅也）。
【二疑法】疑法者謂眾生心作如是念佛法為勝耶韋陀等法為勝耶由此疑念不信正法惡口讒謗裁斷自心善根故名心裁（梵語韋陀華言智論即外道邪智之論也）。
【三疑僧】疑僧者謂眾生心作如是念佛之弟子為勝耶富蘭那弟子為勝耶由此疑念不信三寶惡口讒謗裁斷自心善根故名心裁（三寶者佛寶法

寶僧寶也)。
【四疑戒】疑戒者謂眾生心作如是念佛所說戒為勝耶鷄狗等戒為勝耶由此疑念不信正戒毀破律儀惡口讒謗裁斷自心善根故名心裁(鷄狗戒者即外道所持之戒謂如鷄獨足而立如狗噉糞穢依此而行苦行以為持戒也)。
【五疑教化】疑教化者謂眾生心作如是念為佛所教化為正耶富蘭那等教化為正耶由此疑念不信正教惡口讒謗裁斷自心善根故名心裁。
五妄想(出楞嚴經)
【一堅固妄想】堅固妄想者即色陰也謂諸眾生體因想生心因想起命因想傳諸想交固以成色身經云汝現色身名為堅固第一妄想。
【二虛明妄想】虛明妄想者即受陰也謂諸眾生欲想登高足先酸澁違順二相損益現馳是則受陰無體虛有所明經云汝今現前順益違損二現驅馳名為虛明第二妄想。
【三融通妄想】融通妄想者即想陰也謂眾生念慮是虛情色身是實質雖虛實不倫而能相使者由想融之也心生虛想形取實物其心形異用而能相應者由想通之也至於窮寐心境相隨而無間斷者皆妄想也經云則汝想念搖動妄情名為融通第三妄想。
【四幽隱妄想】幽隱妄想者即行陰也謂眾生一期色身生化之理自幼至衰無暫停息運運密移體遷無覺經云則汝諸行念念不停名為幽隱第四妄想(一期者從生至死也)。
【五顛倒妄想】(亦名微細精想)顛倒妄想者即識陰也謂眾生識精之湛非真湛然如急流水望似恬靜其實流急細不可見經云則湛了內罔象虛無名為第五顛倒微細精想。
五散亂(出華嚴孔目)
【一自性亂】自性散亂者謂五識不守自性隨逐外境念念變易也(五識者眼識耳識鼻識舌識身識也)。
【二外散亂】外散亂者謂意根馳動隨逐外塵起種種分別也。
【三內散亂】內散亂者謂心生高下念念遷流不定也。
【四麤重散亂】麤重散亂者謂計我我所等麤重之法不得解脫也(計我者謂於色身之中妄計為我也我所者色身及財宅眷屬也)。
【五思惟散亂】思惟散亂者謂棄捨大乘憶念小乘不得寂靜也。
土有五種(出華嚴經疏)
【一唯性土】唯性者即如來所證法性之體也謂如來之體身外無土土外無身身土不殊唯一法性是名唯性土。
【二雙泯土】謂如來身土一如融通無礙猶若虛空性相俱寂是名雙泯土。
【三俱性相土】謂如來以如實智變化無邊相海眾寶莊嚴隨眾生心示現國土境界種種性相是名俱性相土。

【四融三世間土】隔別名世間差名間三世間者有情世間器世間智正覺世間也謂如來法界之身徧一切處以一切眾生國土即是如來清淨法身如來之身能為眾生身及國土虛空身交徹混融無障無礙是名融三世間土(有情世間即眾生世間器世間即國土世間智正覺世間即佛世間)。
【五總攝土】謂如來所證十身西智一一圓融稱性周徧言一土則融一切土舉一身則攝一切身法法互融塵塵無礙是名總攝土(十身者菩提身願身化身力持身相如莊嚴身威勢身意生身福德身法身智身也四智者大圓鏡智妙觀察智平等性智成所作智也)。
土體五重(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一真如】真如者乃真實無妄之理即法性土之體也此清淨法身所依之土以由法身無相土亦如是身土雖分體原不二故真如為體也。
【二真智】真智者乃根本無分別智即實報土之體也此是如來圓滿報身所依之土以由實智功圓萬德成就體無分別境智一如故以真智為體也(根本無分別智者如來惑業淨盡親證本有圓明之智此智照了萬法不待分別也)。
【三本識】本識者乃根本清淨識心即色相土之體也此是如來微塵相海身所依之土以由福慧無邊相好具足莊嚴悉備性相如如故以本識為體也。
【四四塵】四塵者色香未觸也此之四塵乃後得智所現之色相即他受用土之體也此是如來他受用身所依之土以由利他行滿隨諸菩薩所宜變化而現種種上妙色相諸塵境界故以四塵為體也(後得智者即根本智後所得之智也他受用者因他機感見而受用也)。
【五諸事】諸事者乃成事智即變化土之體也此是如來化身所依之土以由往昔修習利他因緣故能隨諸有情心之所宜而現種種淨穢國土令其成辦眾事故以諸事為體也。
大刹五喻(出大藏一覽)
【一草木喻】謂大千世界草木皆寸斬為籌人間百年但取一籌取盡此籌乃為一刹是名草木喻(刹梵語具云刹波華言分別時節)。
【二沙細喻】謂殑伽河廣四十里滿中沙細如麪人間百年但取一粒取盡此沙乃為一刼是名沙細喻(梵語殑伽華言天堂來謂其從高處流來也)。
【三芥子喻】謂有城四方而各百里其中滿堆芥子人間百年但取一粒取盡此芥乃為一刹是名芥子喻。
【四碎塵喻】謂以大千世界碎為微塵人間百年但取一塵取盡此塵乃為一刹是名碎塵喻。
【五拂石喻】謂一石廣二由旬厚半由旬兜率天一百年以六銖衣拂一遍拂盡此石乃為一刹是名拂石喻(梵語由旬華言限量梵語兜率華言知足六銖衣者謂衣重六銖也)。
末世五法令正法不滅(出十誦律)

【一尊重正教】謂諸比丘唯依正教進修遠離小乘及諸外道偏邪之說是故能令正法不滅(梵語比丘華言乞士)。
【二止息嗔惡】謂諸比丘常行忍辱不生瞋恚德譽遠聞令人歸仰是故能令正法不滅。
【三敬事上座】謂諸比丘於大德之人居上座者恭敬順事勤求法要是故能令正法不滅。
【四愛樂正法】謂諸比丘於上座所聞說妙法深生愛樂歡喜奉行是故能令正法不滅。
【五善誨初智】謂諸比丘於大乘法方便演說令初心習學之人有所依憑進修於道是故能令正法不滅。
末法五亂(出法苑珠林)
【一當來比丘從白衣說法】梵語比丘華言乞士謂末法之時白衣詐稱師範無識比丘反從彼而受學也。
【二白衣居上座比丘處下】謂末法之時白衣詐言我解大乘坐當居上比丘行微坐宜處下也。
【三比丘說法不行聽受】謂末法之時比丘說法不行承受而聽白衣所說之法受而不捨也。
【四魔說為真正法為偽】謂末法之時魔之所說以為真道而以佛之正法反為不真也。
【五當來比丘畜養妻子】謂末法之時比丘不持戒律畜養妻子與俗無異也。
五五百年(出華嚴經隨疏演義鈔)
五五百年者乃如來出世正像末法之年數也謂正法一千年像法一千年末法一萬年今以二千五百年分為五者其初二五百年為正法之時有修證解脫禪定之人次二五百年為像法之時人雖有修行而無證果唯有多聞布施之者後五百年乃末法一萬年之初五百年也此時之人無修無證但以鬪諍而為正修以法有盛衰不同故分此五五百年也。
【第一五百年解脫堅固】解脫即自在之義謂諸比丘於正法五百年中不攻異學唯務大乘利益眾生解脫自在堅固不變也(梵語比丘華言乞士)。
【第二五百年禪定堅固】謂諸比丘於正法五百年中厭居生死求證涅槃頓息攀緣深修禪定堅固不變也(梵語涅槃華言滅度)。
【第三五百年多聞堅固】謂諸比丘於像法五百年中少持戒律怠習禪定唯尚多聞依語生解堅固不變也。
【第四五百年塔寺堅固】謂諸比丘於像法五百年中少習禪定喜種福田廣結善緣多修塔寺堅固不變也。
【第五五百年鬪諍堅固】謂諸比丘於末法五百年中不修戒律唯尚鬪諍增長邪見堅固不變也。
依次五百年(出毘尼母律)

五百年者像法後末法初之五百年也此五百年中比丘雖云無修無證亦有解脫禪定持戒多聞布施者佛知其法漸衰故說其次第也(梵語比丘華言乞士)。
【第一一百年得堅固解脫】謂此一百年中比丘唯務智理說法利生悟明大乘解脫自在堅固不變也(智理者以智慧照了於理也)。
【第二一百年得堅固定】謂此一百年中比丘樂修禪定頓息外緣悟明自心得證道果堅固不變也。
【第三一百年得堅固持戒】謂此一百年中比丘少習禪定惟樂持戒不犯律儀無諸放逸堅固不變也。
【第四一百年得堅固多聞】謂此一百年中比丘於禪定戒律不勤修習唯樂博覽羣典多聞解義堅固不變也。
【第五一百年得堅固布施】謂此一百年中比丘不修戒定雖有修持少證道果但習善緣多行布施堅固不變也。
五濁(出法苑珠林)
【一眾生濁】謂眾生多諸弊惡不孝敬父母尊長不畏惡業果報不作功德不修齋法是名眾生濁。
【二見濁】謂正法已滅像法漸起邪法轉生邪見增盛不修善道是名見濁。
【三煩惱濁】謂眾生多諸愛欲慳貪鬪諍諂曲虛誑攝受邪法惱亂心神是名煩惱濁。
【四命濁】謂徃古世時人壽八萬四千歲今時人壽轉減百歲者稀以惡業增故壽數短促是名命濁。
【五刼濁】刼梵語具云刼波華言分別時節謂減刼中人壽減至三十歲時饑饉災起減至二十歲時疾疫災起減至一十歲時刀兵災起世界眾生無不被害是名刼濁。
日行五風(出起世因本經)
經云佛告諸比丘日天宮殿縱廣五十一由旬上下四方悉皆正等墻壁欄楯皆以金銀瑠璃所成宮殿之形四方遠看似圓宮殿之中有五種風吹轉而行故名日行五風也(月宮亦有五風眾寶嚴飾種種墻壁欄楯與日宮無異但縱廣止有四十九由旬也梵語由旬華言限量)。
【一持】持者任持也謂日宮殿因風任持行於空中而不墜落也。
【二住】住者安住也謂日宮殿因風任持之力而於空中得安住也。
【三隨順轉】謂日宮殿因風所吹而於空中任運隨轉也。
【四波羅訶迦】梵語波羅訶迦月宮殿中亦有五風餘風名義皆同唯第四一種名攝疑此日宮波羅訶迦亦是攝之義也攝者攝持也謂日宮殿因風攝持而行也。
【五將行】謂日宮殿因風將助能於空中速疾而行也。
世間五種難得寶(出四分律)

世之珎寶雖世間希有求之易得若值佛出世及聞正法又能聞法信解如法而行展轉教化人能信樂此之五種尤為世間希有故皆名難得寶也。
【一佛出世間】謂諸佛世尊雖法身常住不滅眾生盲冥難可得見今佛出現世間為令一切眾生成就大事因緣甚為希有是為世間難得之寶。
【二聞佛說法為他人說】謂諸眾生既得見佛聞法復為他人隨力演說令其出離生死成無上道甚為希有是為世間難得之寶。
【三聞法信解】謂諸眾生既聞法已又能起正信心思惟其義依教修行甚為希有是為世間難得之寶。
【四如法而行】謂諸眾生既信受正法思惟其義復能如法精進修行當得無上菩提之道甚為希有是為世間難得之寶。
【五得信樂者】謂諸眾生為人演說正法而得其人信樂不疑則其教法流通展轉獲益甚為希有是為世間難得之寶。
五種眷屬(出法華玄義)
五種眷屬者謂如來說法必假彼緣緣即受道之人也人受道已因法為親即成眷屬譬如父母遺體攬以成身得為天性天性親愛更相敬順故名眷屬也。
【一理性眷屬】謂諸佛眾生理性平等自然相關法華經云我於眾聖中尊世間之父一切眾生皆是吾子是則未曾受道者亦得稱為眷屬故名理性眷屬也。
【二業生眷屬】謂由徃昔聞法之善業復生佛世受道得度故名業生眷屬。
【三願生眷屬】謂昔由聞法結緣未得證果曾發誓願務在得道今乘宿願見佛聞法故名願生眷屬。
【四神通眷屬】謂先世值佛破惑見理或生他方因佛出世以神通力來生此界輔佛行化故名神通眷屬。
【五應生眷屬】謂菩薩既破無明之惑已得法身之本即能起用化他應入生死導引眾生令向佛道如淨飯王摩耶夫人是千佛之父母羅睺羅是千佛之子諸聲聞內秘菩薩行是皆應生於此故名應生眷屬(摩耶梵語具云摩訶摩耶華言大術梵語羅睺羅華言覆障)。
五精舍(出翻譯名義)
釋迦譜云息心所栖故曰精舍行者精練之所也。
【一給孤獨園】給孤獨長者之名以其仁而聰敏積而能散賑乏濟貧哀孤恤獨時美其德號給孤獨嘗側金布地以買祇陀太子園遂名給孤獨園因建精舍奉佛佛於其中說法也(梵語祇陀華言戰勝)。
【二鷲嶺】鷲嶺山名也以其山形似於鷲鳥故以名焉中為精舍佛居此而說法也。
【三獼猴江】獼猴江者以獼猴嘗於此江沐浴故以名焉大智度論云毘耶離有一精舍名獼猴池佛曾於此說法翻譯名義云那蘭陀池旁建伽藍

即其處也(梵語毘耶離華言廣嚴梵語那蘭陀華言施無厭佛昔行菩薩道時為大國王建都此地憐愍眾生好樂周給時美其德號施無厭伽藍梵語具云僧伽藍華言眾園)。

【四菴羅樹園】梵語菴羅華言柰果名也此樹開華華生一女國人歎異以園封之園既屬女女人守護故言菴羅樹園此女以宿善冥熏見佛懽喜以園奉佛佛即受之於中建立精舍而說法也。

【五竹林精舍】大智度論云竹林精舍在耆闍崛山中其地平坦嚴淨勝於餘處佛曾於中說法故有精舍或云迦蘭陀竹園是也(梵語耆闍崛華言靈鷲迦蘭陀無翻)。

五種結界相(出善見毘婆沙律)

五種結界相者乃是如來制比丘結界之法也謂比丘若作法事若行布薩若建塔寺或於空地或在山林或於水邊隨其形量廣狹大小必須結界以立界相故說此五種之名相也(梵語比丘華言乞士梵語布薩華言淨住謂比丘當每月二番聚眾宣說戒法以淨身口意三業故云淨住也)。

【一方相】方相者謂結界之地其形方正也以其四方或一方有長流之水則以水為界相若是無源不常流者則不可為界相或有樹則以樹為界相若是枯朽之樹及不相連者亦不可也或有路則以路為界相若是斷絕之路亦不可也或有石則以石為界相若是散漫之石亦不可也此處若無水樹等則當立石或種樹於四邊以為界相也。

【二圓相】圓相者謂結界之處其形團圓也以此處或水樹等其勢周圍圓繞或立石種樹以為界相也。

【三皷形相】皷形相者謂結界之處如皷之形也以此處或水或路等生勢狀如皷形或立石種樹以為界相也。

【四半月形相】半月形相者謂結界之處如半月之形也以此處或水或路等生勢狀如半月或立石種樹以為界相也。

【五三角相】三角相者謂結界之處其形三角也以此處水路等三角圍繞或立石種樹以為界相也。

掃地五種勝利(亦名掃地五德出根本一切有部毘柰耶集)

根本部云給孤長者每於晨朝往逝多林禮世尊足禮已掃寺內地後於一時長者他緣不遑入寺世尊經行見地不淨即自執篲(徐醉切)竹掃帚也掃於林中時舍利子等悉皆執篲共掃園林時佛世尊及聖弟子遍掃除已入食堂中就座而坐佛告諸苾芻凡掃地者有五勝利故說此五種功德也(梵語逝多華言勝林給孤長者謂其能賑濟孤貧也苾芻者乃西天香草名謂其體性柔輭以喻出家人能折伏身語麤獷也)。

【一自心清淨】(亦名自除心垢)謂若人掃於寺地因地淨故心得清淨是名自心清淨。

【二令他心淨】(亦名除他垢)謂若人掃於寺地因地淨故他人見無塵垢心得清淨是名令他心淨。

【三諸天歡喜】(亦名去憍慢)謂若人掃於寺地即是去其憍慢塵垢諸天觀見地淨無塵生懽喜心是名諸天歡喜。
【四植端正業】(亦名調伏心)謂若人淨掃寺地即是調伏自心植立端正福業他世必獲相貌端正是名植端正業。
【五命終之後當生天上】(亦名長功德)謂若人淨掃寺地因淨地故功德增長而於命終當生天上。
五體(出華嚴經隨疏演義鈔)
凡禮敬三寶必須五體投地所以折伏憍慢用表虔誠故也(三寶者佛寶法寶僧寶也)。
【一右膝】疏云願我右膝著地之時令諸眾生得正覺道也。
【二左膝】疏云願我左膝著地之時令諸眾生於外道法不起邪見悉得安立正覺道中也。
【三右手】疏云願我右手著地之時猶如世尊坐金剛座地震現瑞證大菩提也(梵語菩提華言道)。
【四左手】疏云願我左手著地之時令諸眾生遠離外道難調伏者以四攝法而攝取之令入正道也(四攝法者布施攝愛語攝利行攝同事攝也)。
【五首頂】疏云願我首頂著地之時令諸眾生離憍慢心悉得成就無見頂相也。
出世五食(出華嚴經疏)
謂世間之食但能資益生死之身修行之人於世美未心不貪嗜常持正念以禪悅法喜等為食則能長養善根出離生死成就菩提故有出世間五種食也(梵語菩提華言道)。
【一念食】謂修聖道之人常持正念長養一切善根如世之食資益身根是為念食。
【二法喜食】謂修出世行人愛樂大法資長道種心生懽喜是為法喜食。
【三禪悅食】謂修出世行人由得定力自資長養慧命道品圓明心常喜樂是為禪悅食。
【四願食】謂修聖道之人以願持身不捨萬行長養一切善根如世之食資益身根是為願食。
【五解脫食】解脫即自在之義也謂修聖道之人離諸業縛於法自在即得長養一切菩提善根如世之食資益身根是為解脫食。
五種淨食(出根本有部毘柰耶集)
佛制諸禁戒令諸比丘勿啖生氣若有草菜[瓜-丶]果當以火刀爪等先淨之方可得食故有此五種淨食也(梵語比丘華言乞士生氣即生物也)。
【一大淨】謂一切[瓜-丶]果等物先當以火燒煮令熟後方食之是名火淨律云以火觸著是也。

【二刀淨】謂一切[瓜-丶]果等物先當以刀去其皮核然後食之是名刀淨律云以刀損壞是也。
【三爪淨】謂一切[瓜-丶]果等物先當以爪甲去其皮殼然後食之是名爪淨律云以爪甲傷損是也。
【四薧乾淨】薧乾者物不鮮也謂一切[瓜-丶]果等物自薧自乾不堪為種比丘當食是名薧乾淨律云自薧乾不堪為種是也。
【五鳥啄淨】謂一切[瓜-丶]果等物若因鳥啄殘損比丘可食是名鳥啄淨律云鳥嘴啄損是也。

五種淨肉(出楞嚴經會解)

【一不見殺】謂眼不曾見殺者是為淨肉。
【二不聞殺】謂耳不曾聞殺聲者是為淨肉。
【三不疑為我殺】謂知彼為祠天等故殺而不專為我殺是為淨肉。
【四自死】謂諸鳥獸命盡自死者是為淨肉。
【五鳥殘】謂鷹鷂等所食鳥獸餘殘者是為淨肉。

五種不應施(出法苑珠林)

【一非理求財】謂不順理所得財物是不淨物故不應施與人也。
【二酒及毒藥】謂酒及毒藥能令眾生狂亂失命故不應施與人也。
【三罝羅機網】罝菟網也羅鳥網也機機弩也網即網罟也皆設以掩取禽獸者心謂是惱害眾生之器故不應施與人也。
【四刀杖弓箭】謂刀杖弓箭是殺害眾生之器故不應施與人也。
【五音樂女色】謂音樂女色而能惑亂眾生正性故不應施與人也。

五果(出翻譯名義)

律戒比丘不噉生物謂如棗杏等果必以火熟之方食膚殼之果須以刀去其皮然後食故說此五果之名也(梵語比丘華言乞士)。
【一核果】核果者謂棗杏等是也。
【二膚果】膚果者謂梨柰等是也。
【三殼果】殼果者謂椰子胡桃石榴等是也。
【四[禾*會]果】[禾*會]果者謂松栢等子是也。
【五角果】角果者謂大小諸莖等是也。

五辛(出梵網經)

首楞嚴經云是五辛熟食發[婬-壬+(工/山)]生啖增恚十方天仙嫌其臭穢咸皆遠離諸餓鬼等舐其唇吻常與鬼住福德日銷大力魔王現作佛身來為說法非毀禁戒讚[婬-壬+(工/山)]怒癡命終為魔眷屬永墮無間地獄是故求菩提者當斷世間五種辛菜也(梵語首楞嚴華言健相分別梵語菩提華言道)。
【一大蒜】大蒜者至葷至辛之物也。
【二茖葱】茖葱者薤也其形似韭類山葱也。
【三慈葱】慈葱者乃葱之正名也。

【四蘭葱】蘭葱者即小蒜也雜阿含經云非小蒜木葱是也木葱即韭也。
【五興渠】興渠者葉如蔓菁根如蘿蔔生熟皆臭如蒜出于闐國華夏不產故不翻也。
五明(出華嚴經疏鈔)
【一聲明】聲即聲教明即明了謂世間文章筭數建立之法皆悉明了通達故曰聲明。
【二因明】因即萬法生起之因謂世間種種言論及圖書即璽地水火風萬法之因皆悉明了通達故曰因明。
【三醫方明】醫方即醫治之方法也謂世間種種病患或癲癎蠱毒四大不調鬼神呪詛寒熱諸病皆悉曉了其因通達對治故曰醫方明(四大者地大水大火大風大也)。
【四工巧明】工即工業巧即巧妙謂世間文詞讚詠乃至營造城邑農田商賈種種音樂卜筭天文地理一切工業巧妙皆悉明了通達故曰工巧明。
【五內明】內即佛法內教也謂以持戒治破戒以禪定治散亂以智慧治愚癡乃至種種染淨邪正生死涅槃對治之法皆悉明了通達故曰內明(梵語涅槃華言滅度)。
五眼(出大智度論)
眼即照燭之義瑜伽師地論云能觀眾色故名為眼眼是總名從用分別則有五種。
【一肉眼】肉眼者假父母氣血所成也即人中能見之眼見近不見遠見前不見後見內不見外見晝不見夜見上不見下因有色質障礙故也。
【二天眼】天眼者謂諸天因修禪定而得也此眼遠近前後內外晝夜上下皆悉能見以無色質障礙故也。
【三慧眼】慧眼者謂二乘之人以所得慧眼觀一切法皆空不見有眾生相及滅一切異相捨離諸著不受一切法也(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【四法眼】法眼者菩薩為度眾生以清淨法眼徧觀一切諸法能知能行謂因行是法得證是道亦知一切眾生種種方便門令修令證也。
【五佛眼】佛眼者謂具前四眼之用無不見知如人見極遠處佛見則為至近人見幽暗處佛見則為顯明乃至無事不見無事不知無事不聞聞見互用無所思惟一切皆見也。
五夢法(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一熱氣多見火】謂如人鑽火得火復理火事以煖相分多煖想即生故夢於火是則熱氣多而見火也。
【二冷氣多見水】謂如人鑿井得水復理水事以冷相分多冷想即生故夢於水是則冷氣多而見水也。

【三風氣多見飛墜】謂如人乘風登高運轉初息以動相分多動想即生故夢飛墜是則風氣多而見飛墜也。
【四聞見多熟境】謂如人坐禪誦經調練身心以慣習分多所習之想即生故夢熟境是則聞見多而見熟境也。
【五天神與心靈所感】謂如人平昔向善喜奉神天以敬奉故念想不忘故夢天神是則天神與心靈所感也。
五奇特夢(出過去現在因果經)
世尊往昔因中在山修道號善慧比丘得五種奇特夢走白普光如來請為解說所夢之相(梵語比丘華言乞士)。
【一夢臥大海】普光云夢臥大海者汝身現居生死海中未到彼岸未證涅槃也(梵語涅槃華言滅度)。
【二夢枕須彌】普光云夢枕須彌者以表出生死海登於彼岸將證涅槃也。
【三夢海中一切眾生入我身內】普光云夢大海中一切眾生入身內者以示當於塵勞海中為諸眾生作歸依處濟度有情超於彼岸也。
【四夢手執日】普光云夢執日者以表智慧光明普照法界開導昏迷歸正覺路也。
【五夢手執月】普光云夢執月者以表方便之智入於生死塵勞界內用清涼法化導眾生令離熱惱也。
五種樂(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一出家樂】出家樂者謂世間之人多諸業惑煩惱出家達道永斷是苦也。
【二遠離樂】遠離樂者即初禪天之樂也謂初禪能遠離欲界愛染煩惱得覺觀禪定而生喜樂也(覺觀者初心在緣曰覺細心分別禪味曰觀也)。
【三寂靜樂】寂靜樂者即二禪天之樂也謂二禪離初禪覺觀散動澄心寂靜乃發勝定之樂也。
【四菩提樂】梵語菩提華言道謂菩薩無漏果成自受菩提之樂以慈心故復以此樂轉施眾生也(無漏者不漏洛生死也)。
【五涅槃樂】梵語涅槃華言滅度謂菩薩息化歸真入無餘涅槃獲最寂靜是名涅槃樂也(無餘者色身與惑滅盡而無所遺餘也)。
五位無心(出成唯識論)無心謂無分別識心也非全無人但分別識心不行故言五位無心
【一睡眠】謂眾生睡眠之時六識昏昧不能見聞覺知是名睡眠無心(六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也)。
【二悶絕】謂諸眾生驚倒悶絕六識昏昧見聞覺知一時頓息是名悶絕無心。
【三無想定】無想定者即色界無想天所修之定也謂修無想定時身心俱滅念慮灰凝諸想不起是名無想定無心。

【四無想報】謂因中厭生滅心習無想定故感報生無想天經五百刼心想不行是名無想報無心(刼梵語具云刼波華言分別時節)。
【五滅盡定】謂入此定時一切受領思想之心一時滅盡都無見聞覺知出入之息亦盡是名滅盡定無心。
洗浴五利(出十誦律)
十誦律云佛在舍衛國時有比丘癩病求治於藥師耆域耆域告病比丘言汝可洗浴病即得瘥比丘言佛未聽入浴室諸比丘以是事白佛佛遂聽入洗浴故說此五種利也(梵語舍衛華言豐德梵語比丘華言乞士梵語耆域華言能活)。
【一除垢】除垢者謂澡浴身體則諸垢穢悉皆除去也。
【二身清淨】身清淨者謂澡浴身體垢穢既除則身體清淨也。
【三除寒冷】除寒冷者謂澡浴身體則清淨和暢一切寒冷自除也。
【四除身中風】除身中風者謂澡浴身體得無寒冷則風邪等病自除也。
【五得安隱】得安隱者謂澡浴身體既無風邪則四支自得安隱也。
五不應答(出法苑珠林)
【一試問不答】謂此人心懷輕慢或先自曉了而作念言我且設問試彼為解不解若作此試問者不應為答也。
【二無疑問不答】謂凡所演說為令眾生開其昏迷解釋疑網彼既不疑假設為問者不應為答也。
【三不為悔所犯故問不答】謂此人既知所犯不生悔過之心設為他故而問者不應為答也。
【四不受語故問不答】謂此人先曾為說彼不聽受今又故意設為問辭者不應為答也。
【五語難故問不答】謂此人作意而言此語難曉他必不解我且設問為能答否如是而故問者不應為答也。
五力不可到(出諸經要集)
俱舍論云若人捨命應至無量世界外受生此中陰識神遊空而去俄頃即到所生之處皆由業力所持雖禪定神通等力而不能遮其不往亦不能令其住於餘道故名力不可到也(中陰者謂諸眾生身死之後未曾托生是名中陰也)。
【一定力】定力者即諸佛大定之力也謂諸眾生中陰識神往於他界受生之時以由業力所持速疾而去即生彼處雖諸佛大定之力亦不能遮其不生故云不可到。
【二通力】通力者即諸佛神通之力也謂諸眾生中陰識神往於他界受生之時以由業力所持速疾而去即生彼處雖諸佛神通之力亦不能遮其不生故云不可到。

【三大願力】大願力者即諸佛大誓願之力也謂諸眾生中陰識神徃於他界受生之時以由業力所持速疾而去即生彼處雖諸佛大願之力亦不能遮其不生故云不可到。
【四法威德力】法威德力者即佛法威德之力也謂諸眾生中陰識神徃於他界受生之時以由業力所持速疾而去即生彼處雖諸佛威德之力亦不能遮其不生故云不可到。
【五借識力】借識力者即二禪已上無有尋伺語言若欲說法應用則假初禪之識而為己用也謂諸眾生中陰識神徃於他界受生之時以由業力所持速疾而去即生彼處雖借識之力亦不能遮其不生故云不可到(二禪已上者即三禪四禪天也)。
五力難判(出宗鏡錄)
五難判者謂定等五種之力唯識論中不能判攝也然三界唯心萬法唯識而不能判此五力者由斯五種乃聖人不思議境界不與心識相應此所以為難判宗鏡錄云有五力唯識不判是也(三界者欲界色界無色界也)。
【一定力】定力者即如來大寂定力也謂此定力無染無淨非空非有生死不能拘結業不能縛不起此定而能普應十方不與識法相應是故唯識難判也。
【二通力】通力者即如來神通之力也謂此通力變化無窮隨感而應不謀而知徹照萬法非思議之可及豈識法之相應是故唯識難判也。
【三借識力】借識力者謂如二禪以上無有尋伺語言若欲說法應用則借初禪眼耳身三識以成己用由此假他之用非因本起不屬唯識是故唯識難判也(借初禪三識者由初禪不著香味二塵已無鼻舌二識惟有眼耳身三識二禪已上不著五塵故五識俱無若欲應用則借初禪三識也)。
【四願力】願力者即如來大願之力也而此願力非因愛見不假思惟乃是聖人曠刼度生功用而成非思議之可及豈識法之相應是故唯識難判也(刼梵語具云刼波華言分別時節)。
【五法威德力】法威德力者即如來應化威德之力也謂此威德之力乃是聖人不思議境界如演一音則普應羣機施一法則眾魔皆伏利生無盡功德難量不與識法相應是故唯識難判也。
五種比量(出顯揚聖教論)
比量者謂思惟決擇推度境界定其理也。
【一相比量】謂隨其所有相貌相屬或由現在及先所見推度境界如以見幢故比知有車以見烟故比知有火如是以王比國以夫比妻以角犎(音封即橐駝也)比牛以形輭(軟同)髮黑輕舉色美比知是少以面皺髮白等比知是老以具如來微妙相好智慧寂靜勝行辯才比知如來應正等覺具一切智諸如是等名相比量。
【二體比量】謂由現見彼自體性故比類彼物不現見體或現見一分自體比類餘分如以現在比類去來或以過去比未來事或以現近事比現遠

事又以一分成熟比餘熟分如是等類名體比量。
【三業比量】謂以作用比業所依如見遠物無有動搖鳥集其上如是等類比知是杌若有動搖等事比知是人若見跡步寬長比知是象身曳地行比知是蛇見比於眼聞比於耳等又若見瞑目執杖蹎(音顛)蹶失路等比知是盲高聲側聽比知是聾以所作業比知正信聰睿如是等類名業比量。
【四法比量】謂於一切相屬著法以一比餘如屬無常比知有苦以屬苦故比空無我以屬生故比有老法以屬老故比有死法以屬有色有見有礙比有處所及有形質屬有漏故比知有苦屬無漏故比知無苦屬有為故比知是生住異滅之法屬無為故比知非生住異滅之法如是等類名法比量。
【五因果比量】謂因果相比如見物行比有所至見有所至比先有行若見有人如法事王比知當獲廣大祿位見大祿位比知先已如法事王若見備善作業比知必當獲大財富見大財富比知先已備善作業若見修道比知當獲聖果見獲聖果比知先已修道如是等類名因果比量。
五種色法(出華嚴經隨疏演義鈔)
色即質礙之義凡依正色法不出此五也(依正色法者依是眾生依報即山河大地屋宇之類也正是正報即眾生五陰之身也此二種皆有形量分段故云色法也)。
【一極畧色】謂於色上分析長短形相麤細以至極微故名極畧色。
【二極迥色】(亦名自礙色)謂上見虛空青黃等色乃是顯色若下望之則此顯色至遠而為難見是名極迥色。
【三受所引色】受即領受引即引取如受諸戒品戒是色法所受之戒即是受所引色又如意識領納聲香味觸等法乃至憶念過去曾見境界皆名受所引色。
【四徧計所起色】謂諸眾生於諸識所變影像及第六識所緣三世境界空華水月等悉生計著是名徧計所起色(第六識者即意識也三世者過去現在未來也)。
【五定自在所生色】定即禪定自在所生色者謂解脫靜慮所緣境色也如菩薩入定所現光明及現一切色像境界如入火定則有火光發現是名定自在所生色(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
五塵(出法界次第)
塵即垢染之義謂此五塵能染污真性故也。
【一色塵】謂眼所見青黃赤白及男女形貌等色是名色塵。
【二聲塵】謂耳所聞絲竹環珮之聲及男女歌詠等聲是名聲塵。
【三香塵】謂鼻所嗅栴檀沉水飲食及男女身分所有香等是名香塵。
【四味塵】謂舌所嘗種種飲食肴饍美味等是名味塵。
【五觸塵】謂身所觸男女身分柔輭細滑及上妙衣服等是名觸塵。
隣虛五塵(出決定藏論)

塵即色塵謂眼耳鼻舌身五種勝義根及色聲香味觸等法乃至禪定中所發之色識心緣想過去未來之境皆是塵也以此色塵微細難見不可分析隣於虛空故名隣虛然於此極微之中又有五種不同非人天之眼能見乃慧眼等所見之色也(勝義根者即五根所具能照境發識清淨之色也慧眼者智慧之眼即二乘所證之眼也)。

【一極微細】謂此色塵分析至於至微至細之極人天之眼所不能見是為極微細也。

【二色邊際】謂此色塵分析至於微細色相之際人天之眼所不能見是為色邊際也。

【三極畧色】謂此細色畧之至極無可與比人天之眼所不能見是為極畧色也。

【四無方分】謂極微之色無有影像不礙方分是為無方分也。

【五隣虛】謂諸識色及定中色無障無礙似於虛空而實非虛空故名隣虛也。

大明三藏法數卷第十八

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

薄伽梵六義(出華嚴經隨疏演義鈔)
梵語薄伽梵亦云婆伽婆名具六義佛地論云自在熾盛與端嚴名稱吉祥及尊貴如是六德義圓滿是故彰名薄伽梵唐玄奘法師明五種不翻中第二多含不翻即薄伽梵是也(五種不翻者秘密不翻多含不翻此方無不翻順古不翻尊重不翻也)。
【一自在義】謂如來永不屬諸煩惱之所繫縛故曰自在。
【二熾盛義】謂如來猛燄智火洞達無際故曰熾盛。
【三端嚴義】謂如來三十二相莊嚴妙好故曰端嚴(三十二相者足安平相千輻輪相手指纖長相手足柔軟相手足縵網相足眼滿足相足趺高好相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如師子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相四牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也)。
【四名稱義】謂如來圓滿一切殊勝功德十方世界無不聞知故曰名稱。
【五吉祥義】謂如來既具勝妙之德故一切世間讚歎供養者亦獲吉祥故曰吉祥。
【六尊貴義】謂如來始從兜率天中降生王宮及出家已而登極果之位方便利益一切眾生故曰尊貴(梵語兜率華言知足)。
如來勝德六義(出阿毘達磨雜集論)
【一自性義】謂諸佛法身皆依真如理體而為自性是名自性義。
【二因義】謂諸佛於無量無數劫中修習勝果之因是名因義(劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【三果義】謂諸佛永斷一切煩惱等障證得無上菩提之果是名果義(梵語菩提華言道)。
【四業義】謂諸佛以清淨身業現大神通清淨口業演大法義清淨意業種種調伏方便導引可化眾生令其出離生死證大菩提是名業義。
【五相應義】應當也謂諸佛因中能行種種難行苦行所生十力四無所畏等功德而與法性之理相應故名相應義(十力者知是處非處智力知過現未來業報智力知諸禪解脫三昧智力知諸根勝劣智力知種種解智力知種種界智力知一切至處道智力知天眼無礙智力知宿命無漏智力知永斷習氣智力也四無所畏者一切智無所畏漏盡無所畏說障道無所畏說盡苦道無所畏也)。
【六差別義】謂諸佛說法度諸眾生則現法報應三身差別之相故名差別義。

如來功德六種相(出瑜伽師地論)
功德者如來萬行之因法身之果德也為令眾生如佛修行皆得成就無上道果故說六種相也。
【一圓滿】謂諸如來萬行具足種智圓明於世間出世間一切功德皆悉成就超過聲聞緣覺菩薩之上故曰圓滿(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二無垢】謂諸如來由證常樂我淨之德而無一切煩惱汙染故曰無垢。
【三不動】謂諸如來由證大寂滅定所有功德一切外道魔軍盜賊親屬乃至火水風等皆不能撓亂變壞故曰不動。
【四無等】謂諸如來所有種種功德廣大尊勝威力自在一切有情乃至菩薩無與比者故曰無等。
【五能作有情利益】謂諸如來成就無上功德方便示現利他之行度脫有情令成聖道故曰能作有情利益。
【六功能】謂諸如來於所作利益有情之事無所作願無所取捨而自然圓就故曰功能。
六即佛(出觀無量壽佛經疏妙宗鈔)
六即佛者約事故明六約理故明即即者其體不二名之為即然明此六即者或顯法門高深或明修行次第若論六者位次高下有序則修行之人不生上慢若論即者理體初後皆是則修行之人不生退屈以理言之即處常六六處常即蓋由事理不二故也。
【一理即佛】謂眾生本具佛性之理與諸如來無二無別故涅槃經云一切眾生即是佛是為理即佛。
【二名字即佛】謂或從知識處聞或從經卷中見知此理性即佛之名於名字中通達解了一切諸法皆是佛法是為名字即佛。
【三觀行即佛】謂既知一切法皆是佛法必須心觀明了理慧相應所行如所言所言如所行是為觀行即佛此五品位也(理慧相應者理即所觀之理境慧即能觀之智慧應者當也謂境智相當則言行一致也五品者隨喜品讀誦品說法品兼行六度品正行六度品也)。
【四相似即佛】謂於觀行即中愈觀愈明愈止愈寂雖未能真證其理而於理彷彿有如真證是為相似即佛此十信位也(愈觀愈止者觀即觀照以觀觀昏也止即止息以止止散也十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心回向心戒心順心也)。
【五分證即佛】謂無明之惑有四十一品至此破一品無明證一分中道是為分證即佛此十住十行十回向十地等覺位也(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向

隨順等觀一切眾生回向真如相回向無礙解脫回向法界無量回向也十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也等覺者去後妙覺佛位猶有一等勝前諸位得稱覺也)。

【六究竟即佛】謂道窮妙覺種智俱圓是為究竟即佛此極果妙覺佛也(種智者即一切種智也妙覺者覺體圓明不可思議也)。

六念法(出別譯集雜阿含經)

【一念佛】謂念佛具足十號大慈大悲智慧光明神通無量能拔眾苦我以清淨質直之心得親近佛心生歡喜以歡喜故身得快樂以快樂故其心得定以得定故其心平等修念佛觀必趣涅槃是名念佛(十號者一如來二應供三正徧知四明行足五善逝六世間解無上士七調御丈夫八天人師九佛十世尊也梵語涅槃華言滅度)。

【二念法】謂法是如來所有功德即十力四無所畏等我以清淨質直之心得親近法心生歡喜以歡喜故身得快樂得快樂故其心得定以得定故其心平等修念法觀必趣涅槃是名念法(十力者知是處非處智力知過現未來業報智力知諸禪解脫三昧智力知諸根勝劣智力知種種解智力知種種界智力知一切至處道智力知天眼無礙智力知宿命無漏智力知永斷習氣智力也四無所畏者一切智無所畏漏盡無所畏說障道無所畏說盡苦道無所畏也)。

【三念僧】謂僧是如來弟子得無漏法具戒定慧能為世間眾生作良福田應當恭敬我以清淨質直之心得親近僧心生歡喜以歡喜故身得快樂得快樂故其心得定以得定故其心平等修念僧觀必趣涅槃是名念僧(無漏法者謂修戒定慧之法則不漏落生死也)。

【四念戒】謂念諸禁戒能遮諸惡煩惱我以清淨質直之心得親近戒心生歡喜以歡喜故身得快樂以快樂故其心得定以得定故其心平等修念戒想必趣涅槃是名念戒。

【五念施】謂念己所施獲得善利一切世間為慳嫉所覆我於今者得離如是慳貪之垢住捨心中於一切物心無悋惜持用布施既布施已我心應喜以喜心故身得快樂以快樂故其心得定以得定故其心平等修念施想必趣涅槃是名念施。

【六念天】謂念欲界天等悉因往昔戒施善根得生彼處受天快樂我亦見有如是戒施功德捨命之時必生彼天以念天故離於惡法心生歡喜心歡喜故身得快樂得快樂故其心得定以得定故其心平等修念天想必趣天道是名念天。

六慧法(出菩薩瓔珞本業經)

【一聞慧】謂別教菩薩於十住位中因聞中道之理知一切法離二邊相故名聞慧(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也二邊相者空有二邊之相也)。

【二思慧】謂別教菩薩於十行位中思惟中道之理發生一切智慧故名思慧(十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真

實行也）。
【三修慧】謂別教菩薩於十回向位中修習中道之理發生一切智慧故名修慧（十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也）。
【四無相慧】謂別教菩薩於十地位中證知中道之理空無性相發生一切智慧故名無相慧（十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也）。
【五照寂慧】照即中道之用寂即中道之體謂別教等覺菩薩以中道之觀慧照中道之理體故名照寂慧（等覺者謂去後妙覺佛位猶有一等勝前諸位得稱為覺也）。
【六寂照慧】謂別教妙覺果佛之智慧能於中道之理即寂而照即照而寂寂照不二定慧平等故名寂照慧（妙覺者謂佛自覺覺他覺行圓滿不可思議也）。
六堅法（出菩薩瓔珞本業經）
【一信堅】謂別教菩薩於十住位中修習空觀信一切法皆即真諦無能毀壞故名信堅（十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也空觀者謂觀一切法性相皆空也）。
【二法堅】謂別教菩薩於十行位中修習假觀知一切法皆即俗諦無能毀壞故名法堅（十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真實行也假觀者謂觀一切法無不具足也）。
【三修堅】謂別教菩薩於十回向位中修習中觀了一切法皆即中諦無能毀壞故名修堅（十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也中觀者謂觀一切法非空非假即中道也）。
【四德堅】謂別教菩薩於十地位中因修中觀破一分無明顯一分三德無能毀壞故名德堅（十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也三德者法身德般若德解脫德也）。
【五頂堅】謂別教等覺菩薩居十地頂惑破德顯無能毀壞故名頂堅（等覺者去後妙覺佛位猶有一等勝前諸位得稱為覺也）。
【六覺堅】謂別教妙覺果佛覺了一切法皆即中道無能毀壞故名覺堅（妙覺佛者謂自覺覺他覺行圓滿不可思議也）。
六忍法（出菩薩瓔珞本業經）
【一信忍】謂別教菩薩於十住位中修習空觀信一切法皆悉空寂能於空法忍可忍證故名信忍（十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也空觀者謂觀一切法性相皆空也）。
【二法忍】謂別教菩薩於十行位中修習假觀雖知一切法空無所有而能假立一切法化諸眾生於假法中忍可忍證故名法忍（十行者歡喜行饒益

行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真實行也假觀者謂觀一切法無不具足也)。

【三修忍】謂別教菩薩於十回向位中修習中觀知一切法事理和融於中道中忍可忍證故名修忍(十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也中觀者謂觀一切法非空非假即中道也)。

【四正忍】謂別教菩薩於十地位中正破無明之惑而於中道之理忍可忍證故名正忍(十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。

【五無垢忍】謂別教菩薩於等覺位中斷除無明惑染而於自性清淨心體忍可忍證故名無垢忍(等覺者去後妙覺佛位猶有一等勝前諸位得稱為覺也)。

【六一切智忍】智者知也謂別教妙覺果佛斷一十二品無明惑盡徧知一切中道之法而於此法忍可忍證故名一切智忍(妙覺者謂自覺覺他覺行圓滿不可思議也十二品者十地等覺妙覺所斷之惑各一品也)。

六受法(出大集法門經)

【一眼觸受】觸即觸着亦對也受領納也謂眼與好惡之色相觸對時即生苦樂之受是名眼觸受。

【二耳觸受】謂耳與好惡之聲相觸對時即生苦樂之受是名耳觸受。

【三鼻觸受】謂鼻與香臭之物相觸對時即生苦樂之受是名鼻觸受。

【四舌觸受】謂舌與美惡之味相觸對時即生苦樂之受是名舌觸受。

【五身觸受】謂身與美妙麤惡之境相觸對時即生苦樂之受是名身觸受。

【六意觸受】謂意分別五塵好惡妍醜之境即生苦樂之受是名意觸受(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

六觀法(出菩薩瓔珞本業經)

【一住觀】心會於理為住謂別教菩薩於十住位中修習空觀故名住觀(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也空觀者謂觀一切法性相皆空也)。

【二行觀】行即進趣之義謂別教菩薩於十行位中修習假觀故名行觀(十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真實行也假觀者謂觀一切法無不具足也)。

【三向觀】向即回因向果之義謂別教菩薩於十回向位中修習中觀故名向觀(十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也中觀者謂觀一切法非空非假即中道也)。

【四地觀】地即能生佛智住持不動之義謂別教菩薩於十地位中修習中觀能生佛智故名地觀(十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行

地不動地善慧地法雲地也)。
【五無相觀】謂別教菩薩於等覺位中修習中觀了知惑染性相本空故名無相觀(等覺者謂去後妙覺佛位猶有一等勝前諸位得稱為覺也)。
【六一切種智觀】種即能生之義謂別教妙覺果佛中道觀成能知一切道種差別故名一切種智觀(妙覺佛者謂自覺覺他覺行圓滿不可思議也)。
六行觀(出禪波羅蜜次第法門)
謂厭下苦麤障欣上勝妙利各有因果依此六法修行是名六行觀。
【一厭苦觀】謂思惟身中所起心數緣於貪欲不能出離是為因苦復思欲界報身饑渴寒熱病痛刀杖等種種所逼是為果苦苦因苦果皆須厭惡也(心數者受想行也)。
【二厭麤觀】謂思惟欲界五塵能起眾惡是為因麤復思此身為三十六物屎尿臭穢之所成就是為果麤麤因麤果皆須厭惡也(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也三十六物者外相十二謂髮毛爪齒睒淚涎唾屎尿垢汗也身器十二謂皮膚血肉筋脉骨髓肪膏腦膜也內含十二謂肛膽腸胃脾腎心肺生藏熟藏赤痰白痰也)。
【三厭障觀】謂思惟煩惱障覆真性不能顯發是為因障復思此身質礙不得自在是為果障因障果障皆須厭惡也。
【四忻勝觀】謂既厭欲界下劣貪欲之苦即忻初禪上勝禪定之樂是為因勝復厭欲界饑渴等苦即忻初禪禪味之樂是為果勝得樂勝苦皆須忻喜也。
【五忻妙觀】謂既厭欲界貪欲五塵之樂心亂馳動為麤即忻初禪禪定之樂心定不動是為因妙復厭欲界臭穢之身為麤即忻受得初禪之身如鏡中像雖有形色無有質礙是為果妙得妙勝麤皆須忻喜也。
【六忻出觀】謂既厭欲界煩惱蓋障即忻初禪心得出離是為因出復厭欲界之身質礙不得自在即忻初禪獲得五通之身自在無礙是為果出得出勝障皆須忻喜也(五通者天眼通天耳通他心通宿命通神足通也)。
法華六瑞(出法華經文句)
謂法華一經妙理玄微人難信受故先以瑞相警變常情常情既變而生渴仰則聞法染心妙道易階密有所表故具明六瑞焉。
【一說法瑞】謂佛將說法華先說無量義經而為法華作序從一法說無量義會無量義歸於一法故無量義經為法華會多歸一之序經云說大乘經名無量義是也且說法乃佛之常儀何得為瑞蓋佛說無量義經雖竟時眾不散待於後聞此事奇特與常說異故名說法瑞。
【二入定瑞】謂佛將說法華而欲會多歸一故先入此無量義處定經云入於無量義處三昧是也且入定亦佛之常儀何得為瑞盖佛雖入開定意在合定與常入定有異故名入定瑞(梵語三昧華言正定開定者即無量義處定也合定者即法華會多歸一之定也)。
【三雨華瑞】謂佛將說法華故天雨四華以表十住十行十回向十地諸菩薩當獲成佛之因故名雨華瑞經云天雨曼陀羅等四華是也(十住者發

心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也梵語曼陁羅華言適意又云白華四華者曼陀羅華摩訶曼陀羅華曼殊沙華摩訶曼殊沙華也)。

【四地動瑞】謂佛將說法華故地六種震動以表圓教十住十行十十向十地等覺妙覺六番破無明惑也為無明盤礴未曾侵毀方將破壞故先動地以表之故名地動瑞經云普佛世界六種震動也(六種震動者一動二起三涌四震五吼六擊也等覺者去後妙覺佛位猶有一等勝前諸位得稱為覺也妙覺者謂自覺覺他覺行圓滿不可思議也)。

【五眾喜瑞】謂大眾既見雨華動地知佛世尊必說大法欣躍內充以表大機當發經云大眾得未曾有歡喜合掌一心觀佛是也且喜怒人之常情何得為瑞蓋天華悅眼地動震心是外瑞心喜是內瑞非常之喜昔雖曾有而不為喜所動今為喜動而能一心觀佛故名眾喜瑞。

【六放光瑞】謂佛將說法華先放毫光照於此土以至他土與常放光有異故名放光瑞經云佛放眉間白毫相光徧照東方萬八千世界是也。

妄盡還源觀六門(出華嚴還源觀)

此觀門者乃唐賢首國師以華嚴大經之義富博宏深覽之者詎究其源尋之者罕窮其際由是統[(冰-水+丨)*攵]玄奧囊括大宗述此六門令諸後學修習觀法斷除諸妄復歸真源也。

【一體一顯】一體即自性清淨圓明之體也蓋此體性從本以來圓明湛寂在塵勞而不垢處涅槃而非淨在聖不增居凡不減煩惱覆之則隱智慧了之則顯故云顯一體也。

【二起二用】二用者謂依前淨體起於二用也一者海印森羅常住用謂入海印三昧照真如性妄盡心澄眾德並現猶如大海風息水澄萬象齊鑒森然交羅常住不動也二者法界圓明自在用謂入華嚴三昧照法界體眾德具足萬行莊嚴光明照徹圓融無礙也(梵語三昧華言正定)。

【三示三徧】三徧者即依前二用一一普周法界也一者一塵普周法界徧謂塵無自性攬真理而成立真既無邊塵亦隨爾故一一塵中皆見法界二者一塵出生無盡徧謂塵無自體起必依真真如既具恒沙眾德依真起用萬法繁興無有窮盡三者一塵含容空有徧謂塵無自性即空也幻相宛然即有也真空不空妙有不有事理該羅容納無礙也。

【四行四德】四德者即依前一塵能徧之境而修行四德也一者隨緣妙用無方德謂隨順機緣起諸妙用萬別千差神變不測也二者威儀住持有則德謂行住坐臥整肅威儀闡揚教法拯物導迷堪忍住持可軌可範也三者柔和質直攝生德謂慈悲平等調柔和順言行相符質直無偽唯以正法

攝化眾生也四者普代眾生受苦德謂諸眾生受苦無量常懷悲憫拯拔救濟亦復出生入死為其說法咸令得樂也。
【五入五止】五止者即依前能行四德之心而修五止也一者照法清淨離緣止謂觀照真俗二諦之法空有不二清淨虛廓能緣之智既寂而所緣之境亦亡也二者觀人寂泊絕欲止謂觀五蘊之身諸法本空寂然淡泊諸欲皆盡無願無求也三者性起繁興法爾止謂依體起用名為性起應用萬差故曰繁興任運常然名法爾也四者定光顯現無念止謂入此止三昧中光明炳現內外洞徹無思無慮也五者理事玄通非相止謂真性之理幻相之事隱顯俱融性相雙泯也(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【六起六觀】六觀者即依前五止而修即止之六觀也一者攝境歸心真空觀謂觀世間一切諸法唯一心造心外更無一法可得境本空寂無有實體也二者從心現境妙有觀謂依體起用具修萬行莊嚴佛土成就報身也三者心境秘密圓融觀所言心者謂無礙心諸佛證之以成法身也境者謂無礙境諸佛證之以成淨土也然如來報身及所依淨土圓融無礙或身中現土土中現身心境雙融了無迫隘也四者智身影現眾緣觀謂智體唯一能鑑眾緣猶如日輪照現迥處虛空有目之流無不親見也五者多身入一鏡像觀謂以大止妙觀法力加持故得一身作多身多身入一身如鏡現像無有障礙也六者主伴互現帝網觀謂毘盧遮那自身為主十方諸佛菩薩為伴或以一身為主多身為伴主伴互現重重無盡如帝網珠光光交映無有窮盡也(帝網者帝釋殿前千珠寶網也梵語毘盧遮那華言遍一切處)。
六事明經意(出五苦章句經)
經云佛有三達之智來今徃古靡不通焉佛經眾多以虛空為量佛智弘深以無造為原經中所演不可思議或有反覆難了難明粗以六事可知其意(三達即三明宿命明天眼明漏盡明也)。
【一正道】謂佛所說之經旨意深奧無作無為無行無得自然合道是為正道。
【二善權】謂佛說經善權變化無有方所或出或處皆順機宜隨類開演令人悟解悉得證入是為善權。
【三至教】謂如來說經為諸眾生指示罪福令知作如是因得如是果未有作善得罪作惡得福其事明白至為易曉是為至教。
【四誘導】謂如來說經蓋為蒙昧愚癡之人難便開化故以現世可獲福報因緣等勸誘引導令其歡喜順從而生正信是為誘導。
【五福德】謂佛說經為令眾生修習布施持戒忍辱精進禪定智慧等行調伏諸根無所放逸則得天人果報長樂無窮是為福德。
【六禁戒】謂佛說經制諸禁戒令一切眾生攝持身口意業清淨不犯即能超脫三惡趣苦是為禁戒(三惡趣者餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。
六離合釋(出華嚴經隨疏演義鈔)

謂一名之中有能所等互相混濫故須明此六種之釋復以依主等皆有離合之意故云六離合釋(離合意者如依主釋中以眼與識分說為離眼識通說為合持業中藏與識有財中金剛與人相違中眼與耳帶數中五與蘊隣近中念與慧其意皆與此同)。

【一依主釋】謂所依為主如言眼識眼是所依為勝識是能依為劣將劣依勝故名眼之識如臣依主能所相彰是為依主釋(眼之識若云眼即識即屬持業釋也)。

【二持業釋】持謂任持業謂業用如說第八藏識識是本體藏是業用攝用歸體體能持用藏即是識故名藏識體持業用是為持業釋。

【三有財釋】謂從他所有以得其名如言金剛金剛本是護法之神因執金剛寶杵得金剛名又如梵語俱舍華言藏藏有含藏之義以其含藏文義猶如世之庫藏能積聚財物故名藏將他名以顯己是為有財釋。

【四相違釋】謂如說眼及耳等體性各別皆自為主猶如水火不相隨順兩別雙舉故名相違釋。

【五帶數釋】謂法上度量以數顯義也如說五蘊因數有五帶起本數即名五蘊乃至二諦等法無不皆然體帶數量故名帶數釋(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也二諦者真諦俗諦也)。

【六隣近釋】謂從隣近為名如說四念住本是以慧觀察身受心法今云念者慧即揀擇照了念即明記不忘以念與慧其義隣近故隱慧之名而言四念所謂隱已從他也又如意與識之類皆然故名隣近釋(四念住即四念處一觀身不淨二觀受是苦三觀心無常四觀法無我也)。

六種本迹(出宗鏡錄)

本謂根本如樹之有根也迹猶足跡如人依處則有行迹故名本迹。

【一理事本迹】謂從實相真諦之理為本出生一切諸法俗諦之事為迹此迹雖名為事乃理中所具之事亦屬於理故名理事本迹(真諦者謂泯絕一切法也俗諦者謂建立一切法也)。

【二理教本迹】謂如上理之與事俱不可說皆名為本本即理也說理說事皆名為迹迹謂教也故名理教本迹。

【三教行本迹】謂如上理事之教皆名為本稟教修行名之為迹故名教行本迹。

【四體用本迹】謂如上稟教修行契理證於法身之體為本即法身之體起應身之用為迹故名體用本迹。

【五權實本迹】謂最初實得法應二身皆名為本中間化度眾生數數唱生唱滅種種權施法應二身皆名為迹故名權實本迹(最初者得法應二身謂佛於過去無數劫前最初破無明惑證法性身而起應用也中間者謂過去世初成佛時乃至于今菩提樹下示成正覺之中間也)。

【六今已本迹】今即是本謂法華經從地涌出品已後所說久遠理事乃至權實皆名為本已即是迹謂法華經從安樂行品已前及華嚴鹿苑方等

般若已說事理權實等法皆名為迹故名今已本迹。
六成就(出華嚴經疏)
六成就者即如是我聞等六事乃諸經之通序也佛將入滅阿難問云世尊滅後諸經之首當安何語佛荅言當安如是我聞一時佛在某處為某眾等盖言佛所說法以此六事和合方能成就故名六成就(梵語阿難華言慶喜)。
【一信成就】信即如是也言如是者乃諸經之法體也大智度論云佛法大海唯信能入信者言是事如是不信者言是事不如是謂如是之法是佛所說信受不疑故名信成就。
【二聞成就】聞即我聞也言我聞者謂如是之法阿難自言我曾親從佛聞故名聞成就。
【三時成就】時即一時也言一時者法王啟運嘉會之時也謂眾生有緣能感佛即現身垂應感應道交不失其時故名時成就。
【四主成就】主即佛也佛梵語具云佛陀華言覺即自覺覺他覺行圓滿也謂佛為世間出世間說法化導之主故名主成就。
【五處成就】處即佛說法之處也謂或在天上或在人間或摩竭提國或舍衛國等即是其處故名處成就(梵語摩竭提華言不害以其國法無刑戮故梵語舍衛華言聞物以其名聞勝於諸國又寶物多出此故)。
【六眾成就】眾即菩薩二乘天仙等諸大眾也謂佛說法必有菩薩等大眾雲集同聽故名眾成就(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
又六事成就(出莊嚴論)
論云菩薩為成就六度故決定應行六事也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【一供養】供養者謂因成就檀度故興供養若不長時供養三寶則檀度不得圓滿也(梵語檀華言施三寶者佛寶法寶僧寶也)。
【二學戒】學戒者謂因成就戒度故學習持戒若不長時學戒則戒度不得圓滿也。
【三修悲】修悲者謂因成就忍度故修習大悲心饒益眾生若不長時忍受及不饒益眾生則忍度不得圓滿也。
【四勤善】勤善者謂因成就進度故勤修眾善若心放逸不修諸善則進度不得圓滿也。
【五離諠】離諠者謂因成就禪定故離諠鬧若在聚落鬪諍雜亂則禪定不得圓滿也。
【六樂法】樂法者謂因成就智度故愛樂佛法若不遍歷十方承事諸佛[聽-王]法無厭如海納流無時盈溢則智度不得圓滿也。
六度(出六度集經)
【一檀那】梵語檀那華言布施施有二種一者財施謂以飲食衣服田宅珎寶及一切資身之具悉能施之二者法施謂從諸佛及善知識聞說世間

出世間善法以清淨心轉為他說也。
【二尸羅】梵語尸羅華言性善謂好行善道不自放逸此據義而譯也正翻止得謂止惡得善也又翻為戒謂戒能防止身口所作之惡也。
【三羼提】梵語羼提華言忍辱忍辱有二種一者生忍謂於恭敬供養中不生憍逸於嗔罵打害中不生怨恨也二者法忍謂於寒熱風雨飢渴等法惱害之時能安能忍不生嗔恚憂愁也。
【四毘梨耶】梵語毘梨耶華言精進精進有二種一者身精進謂若勤修善法行道禮誦與夫講說不自放逸也二者心精進謂若勤行善道心心相續不自放逸也。
【五禪那】梵語禪那華言靜慮專心斂念守一不散之謂也禪有二種一者世間禪謂色界無色界凡夫所修禪也二者出世間禪謂聲聞緣覺菩薩所修禪也。
【六般若】梵語般若華言智慧謂照了一切諸法皆不可得而能通達一切無礙為諸眾生種種演說也。
六妙門(出法界次第)
妙名涅槃門名能通修此六法則能通至涅槃故名六妙門前三是定後三是慧定愛慧策能發真明出離生死(梵語涅槃華言滅度定愛慧策者愛謂愛樂於禪策謂策進真行也真明者真性之明也)。
【一數息門】數息者修行之人調和氣息不澁不滑安詳徐數從一至十攝心在數不令馳散盖欲界眾生心多馳動麤散難攝故須數息制其散亂是為入定之要故以數息為初門也。
【二隨息門】隨息者細心依隨息之出入住而不散也謂修行之人雖因前數息心暫得住而禪定未發若猶存數則有起念之失故須捨數修隨心隨於息入時知入出時知出心安明淨禪定自發故以隨為門也。
【三止門】止者攝心靜慮也謂修行之人雖因前隨息心安明靜而定猶未發若心依隨則微有起想之亂苟欲澄渟安隱莫若於止故次捨隨修止凝心寂慮禪定自發故以止為門也。
【四觀門】觀者分別觀察之心也謂修行之人雖因前止證諸禪定而解慧未發若心住定則有味着之失是故不着於止起觀分別則無漏方便因此開發故以觀為門也(無漏方便者漏謂因見思惑漏落生死也將斷此惑而證無生故名無漏方便)。
【五還門】還者轉心反照也謂修行之人雖修前觀分別觀察而真明未發即當捨觀修還反照能觀之心念念皆不可得不加功力任運返本還源故以還為門也。
【六淨門】淨者心無所依不起妄想分別之垢也謂修行之人雖修前還而真明猶未能發即當捨還修淨淨心成就即發三乘聖道故以淨為門也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
六神通(出法界次第)

瓔珞經云神名天心通名慧性天然之慧徹照無礙故名神通。
【一天眼通】謂能見六道眾生死此生彼苦樂之相及見一切世間種種形色無有障礙是名天眼通(六道者天道人道阿修羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。
【二天耳通】謂能聞六道眾生苦樂憂喜語言及世間種種音聲是名天耳通。
【三知他心通】謂能知六道眾生心中所念之事是名知他心通。
【四宿命通】謂能知自身一世二世三世乃至百千萬世宿命及所作之事亦能知六道眾生各各宿命及所作之事是名宿命通。
【五身如意通】謂身能飛行山海無礙於此界沒從彼界出於彼界沒從此界出大能作小小能作大隨意變現是名身如意通。
【六漏盡通】漏盡通者漏即三界見思惑也謂羅漢斷見思惑盡不受三界生死而得神通是名漏盡通(三界者欲界色界無色界也見思惑者謂意根對法塵起諸分別曰見惑眼耳鼻舌身五根對色聲香味觸五塵起諸貪愛曰思惑梵語阿羅漢華言無學)。
六聚戒名義(出翻譯名義)
聚者集也由眾生罪有重輕故佛制諸戒結罪不一因隨其重輕集分六類故云六聚也。
【一波羅夷】梵語波羅夷華言棄謂犯此罪者永棄於佛法之外也又云極惡釋義有三一者由犯此戒道果無分二者不與僧中共住三者捨此身已當墮地獄故名極惡。
【二僧伽婆尸沙】梵語僧伽婆尸沙華言僧殘謂犯此罪者如人被他斫殘命雖未盡形已殘癈小有可救之理僧為作法除此之罪故名僧殘。
【三偷蘭遮】梵語偷蘭善見律云偷蘭名大遮是華言謂遮障善道此華梵兼舉也謂犯此罪者大障善道墮於惡趣也(善道者人天也惡趣者餓鬼畜生地獄也)。
【四波逸提】梵語波逸提華言墮謂犯此罪者當墮八寒八熱地獄也(八寒者頞浮陀獄泥賴浮陀獄阿吒吒獄阿波波獄嘔喉獄臀波羅獄波頭摩獄芬陀利獄八熱者想獄黑繩獄堆壓獄叫喚獄大叫喚獄燒炙獄大燒炙獄無間獄也)。
【五波羅提提舍尼】梵語波羅提提舍尼華言向彼悔僧祇律云此罪應對眾發露懺悔是也。
【六突吉羅】善見律云梵語名突吉羅華言惡作謂身口所作之惡也四分律本云梵語名式义迦羅尼華言應當學謂此戒難持易犯常須念學故不列罪名但云應當學。
六種性(出瓔珞本業經)
種性者種別性分也種即種子有發生之義性即性分乃自分不改之義瓔珞經對別教十住十行十回向十地等覺妙覺而論故有六種性然性通六

位種局在因故前之四位名種等覺雖在因然勝前得稱為覺故不言種也(局在因者謂十住十行十回向十地皆屬於因位故也)。

【一習種性】謂十住菩薩研習空觀破見思惑故名習種性(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也)。

【二性種性】謂十行菩薩雖證本性真空之理不住於空而能分別一切諸法化諸眾生故名性種性(十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真實行也)。

【三道種性】謂十回向菩薩因修中道妙觀通達一切佛法故名道種性(十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也)。

【四聖種性】謂前諸位皆名賢位十地菩薩由修中道妙觀破無明惑證入聖地故名聖種性(十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。

【五等覺性】謂望後妙覺猶有一等勝前諸位得稱為覺是名等覺性。

【六妙覺性】謂自覺覺他覺行圓滿不可思議故名妙覺性(自覺覺他者謂既能覺悟自己而又覺悟他人也)。

六相(出華嚴一乘教義分齊章)

六相者謂一真法界之體而有六種名義之相也然法界體同本無異相由法入於義遂有六名名雖有六不離一體交徹融通一多無礙故也。

【一總相】一即具多為總謂一法界之體能具多種之義也如人之身能具眼耳等諸根而為一體故云總相。

【二別相】多即非一為別謂理體雖一而有種種差別之義也如身體雖一而眼耳鼻舌諸根各各不同故云別相。

【三同相】義不相違名同謂義雖有種種差別而同一法界緣起故也如眼耳等諸根雖各不同而共一身不相違背故曰同相。

【四異相】多義相望為異謂種種差別之義雖同一體而各適其宜不相混濫也如眼耳等諸根各得其用而不雜亂故云異相。

【五成相】一多緣起和合為成謂種種緣起之義共成法界總相之體也如眼耳等諸根共成一身之用故云成相。

【六壞相】諸法各住本位為壞謂諸法之義各各自住本位則總相不成也如眼耳等諸根各住自位一體不成故云壞相。

六因(出大智度論)

【一相應因】應當也謂心王與心所共相應故如親友知識和合成事故名相應因(心王即第八識也心所即受想行也)。

【二俱有因】俱有因亦名共因謂心與心所更相佐助如兄弟同生互相成濟故名俱有因。

【三同類因】同類因亦名自種因謂過去善法與現在善法為因現在善法與未來善法為因故名同類因惡無記法亦復如是(惡無記法者惡即惡法無記即不善不惡之法也)。
【四遍行因】謂苦集二諦下惑也此惑徧於二諦故名遍行因(苦諦下惑十使具足即身見邊見見取戒取邪見貪嗔癡慢疑也集諦下惑但有七使除身見邊見戒取也)。
【五異熟因】謂行善惡因得善惡報異世而熟故名異熟因。
【六能作因】謂眼與色為緣能生眼識乃至意與法為緣能生意識等皆名能作因。
六種因(出楞伽經)
【一當有因】謂現在六根對於六塵所作之法為因此因能招未來當有之果故名當有因(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【二相續因】謂因一念之心攀緣根塵以成善惡之業而招未來之果於未來果復起善惡之業展轉無有斷絕故名相續因。
【三相因】謂以所作善惡業相為因由因感果無有斷絕故名相因。
【四作因】謂作勝因已獲勝報於勝報上更作勝因故名作因。
【五顯示因】謂一念妄想若生必有所作善惡業相如燈照物顯然可見故名顯示因。
【六待因】待即對也謂妄想滅時還作作時還滅若相續念斷則妄想不生以妄對不妄故名待因。
六種調伏(出菩薩善戒經)
【一性調伏】謂菩薩宿有善根種性故能修習善法調伏身心諸煩惱障由是得證菩提是名性調伏(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語菩提華言道)。
【二眾生調伏】謂菩薩善能調伏一切眾生若有聲聞性者令得聲聞道有緣覺性者令得緣覺道乃至有人天性者令其得人天樂是名眾生調伏(聲聞道即四諦也緣覺道即十二因緣也)。
【三行調伏】謂菩薩以萬行調伏諸煩惱故而能具足佛道復為眾生故修習苦行心無悔恨是名行調伏。
【四方便調伏】謂菩薩以種種方便調伏眾生如初發心者教持禁戒脫離生死已發心者教令親近善友受持經法是名方便調伏。
【五熟調伏】謂菩薩為諸眾生無善根者說人天樂令其發菩提心有善根者說出世法令其增長成熟善果是名熟調伏。
【六熟調伏印】印即法印以法自印其心也印有三種一謂菩薩專念菩提其心柔輭未能清淨名下熟調伏印二謂菩薩雖得清淨未能具足最大寂靜名中熟調伏印三謂菩薩修行多劫具足清淨獲大寂靜道品圓滿名上熟調伏印也(劫梵語具云劫波華言分別時節)。

種子識六義(出成唯識論)
種即能生之義也謂於八識之中隨一識起時能生一切善惡之法故名種子識(八識者眼識耳識鼻識舌識身識意識末那識阿賴耶識也)。
【一剎那滅義】梵語剎那華言一念謂眼等諸識種子一念纔生生則隨滅念念不停剎那變異耳鼻舌身意等諸識種子各各亦復如是是為剎那滅義。
【二果俱有義】果即識與根也謂識與根同時俱起以成力用也如眼根照色境時眼識隨即同緣耳根照聲境時耳識隨即同緣於諸實境分明顯了鼻舌身意亦復如是是為果俱有義。
【三恒隨轉義】謂諸識起時種子隨轉如眼根照境時眼識種子隨即相續無有間隔耳鼻舌身意等諸識各各起時亦復如是恒隨相續是為恒隨轉義。
【四性决定義】謂諸識各各所緣善惡無記三性無有間雜也如眼識緣惡境則成惡法不能成善法如緣善境則成善法不能成惡法若緣無記則不能成善惡二法諸識起時亦復如是是為性决定義(無記性不善不惡之性也)。
【五待眾緣義】謂識非一因而生必假眾緣而後成就如眼識種子須得空明根境等緣方得顯發耳鼻舌身意等諸識種子亦待眾緣而得成就是為待眾緣義(空即無壅明即光明)。
【六引自果義】謂諸識各引自體果用非是色心交互而成也如眼根照時眼識即緣所對實境而不混於聲香之別體耳鼻舌身意等諸識亦復如是是為引自果義。
大明三藏法數卷第十九

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

六輪對位(出菩薩瓔珞本業經)
輪有二義一運轉二摧碾謂佛菩薩轉於法輪則能摧碾眾生惑業故以六輪對諸位次也。
【一銅寶輪對十住位】銅似金色不具金用雖無鐵之麤垢而猶有查滓若鍊磨攻治則能成諸器皿濟用於世謂十住菩薩已斷見思之惑如離麤垢於四十一品無明之惑未能盡斷如銅之猶有查滓惑既分斷德亦分顯故能從體起用隨類現形化諸眾生如器成濟世故以銅寶輪對十住位也(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也四十一品者謂十住十行十回向十地等覺各一品也)。
【二銀寶輪對十行位】銀體瑩潔不受塵垢雖經鎔鍊性恒不變謂十行菩薩不加功力任運分斷無明之惑顯發本然清淨之性如銀之瑩潔鎔鍊不變故以銀寶輪對十行位也(十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真實行也)。
【三金寶輪對十回向位】金體貴重濟用極大土埋火煆其色不變謂十回向菩薩功行加深教化亦廣雖混眾塵而不為塵垢所染雖居五欲而不為欲火所燒故以金寶輪對十回向位也(十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【四瑠璃寶輪對十地位】梵語瑠璃華言青色寶出須彌山一切眾寶皆不能壞謂十地菩薩所證真實不為外魔之所動壞故以瑠璃寶輪對十地位也(梵語須彌華言妙高十地者歡喜地離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也)。
【五摩尼寶輪對等覺位】梵語摩尼又云末尼華言離垢此寶光淨不為塵垢所染若以青物裹之投水水色即青紅黃赤白亦復如是謂等覺菩薩無明之惑將盡位居十地之上其隨類現形化用自在故以摩尼寶輪對等覺位也(等覺者望後妙覺猶有一等勝前諸位得稱為覺也)。
【六水精寶輪對妙覺位】水精內外瞭徹無物不現謂妙覺果佛諸惑淨盡萬德圓明常住湛然有感則應故以水精寶輪對妙覺位也(妙覺者自覺覺他覺行圓滿不可思議也)。
六種住(出菩薩地持經)
六種住者約別教位次而論也以此六人所證之位皆不退失故名為住。
【一種性住】種即能生之義性即自分不改之義謂別教菩薩於十住十行位中道種成就無有退失數數增進故名種性住(十住者發心住治地住修行

住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真實行也）。
【二解行住】解即解了行即修行謂別教菩薩於十回向位中修習中觀為入初地之方便故名解行住（十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也）。
【三淨心住】謂別教菩薩於初地斷根本見惑得出世間心離凡夫我相障故名淨心住（初地即歡喜地也根本見惑者即三界外見惑以界內諸惑由之而生也凡夫我相者謂凡夫之人於五陰身執為我也）。
【四行道迹住】迹猶足迹謂別教菩薩從二地至七地修習中觀皆斷根本思惑而有證入之迹故名行道迹住（二地至七地者離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地也）。
【五決定住】謂別教菩薩從八地九地已得真實之行不還不退故名決定住（八地九地者不動地善慧地也）。
【六究竟住】謂此非圓教妙覺果佛之究竟乃是別教第十地菩薩學行滿足究竟不退故名究竟住（第十地者法雲地也）。
六種決定（出大乘莊嚴經論）
論云菩薩由六度增上得六種決定。
【一財成決定】謂菩薩由布施力必定常得大財成就是名財成決定。
【二生勝決定】謂菩薩由持戒力必定常得貴勝之家隨意受生是名生勝決定。
【三不退決定】謂菩薩由忍辱力所修善法必定常不退失是名不退決定。
【四修習決定】謂菩薩由精進力常時修習善法必定無有間息是名修習決定。
【五定業決定】謂菩薩由禪定力成就眾生正定之業必定永不退失是名定業決定。
【六無功用決定】謂菩薩由智慧力不加功行必定自然住理是名無功用決定。
六種攝（出菩薩地持經）
攝即攝取亦攝受也謂菩薩以此六種攝諸眾生過去已攝現在今攝未來當攝乃至歷塵數劫無有疲厭故名六種攝（劫梵語具云劫波華言分別時節）。
【一頓攝】頓遽也謂菩薩從初發心於一切眾生作父母想隨力所能直以一切樂事饒益而攝取之是名頓攝（菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情）。
【二增上攝】增上猶增勝也謂菩薩既已發心若於父母起尊重心種種方便勸修善法隨時供養知恩報恩若於妻子眷屬教修善法令其勝進或菩薩為王即攝受人民如法正化不加非罰以財以法而為饒益隨其力能教諸眾生令修善法是名增上攝。

【三取攝】謂菩薩常以二種攝取眾生一者常以捨心以財饒益一切眾生令其離於貧窮二者常以慈悲心以法饒益一切眾生扳惡邪見教修正法是名取攝。
【四久攝】謂菩薩攝取眾生多歷時數久久教化乃得成熟是名久攝。
【五不久攝】謂菩薩攝取眾生教化不久即得成熟是名不久攝。
【六後攝】謂菩薩於前五攝之後攝取眾生於此生內即能成熟是名後攝。
六種阿羅漢(出法華玄義)
梵語阿羅漢華言無生又云無學謂三界生死已盡故名無生無法可學故名無學(三界者欲界色界無色界也)。
【一退法阿羅漢】謂因遇違緣退失所得道法即第四果退至初果故名退法(違緣者涅槃經明五緣一樂多事二樂說世事三樂睡眠四樂近在家五樂多遊行皆名違緣也第四果即阿羅漢初果即須陀洹也)。
【二思法阿羅漢】謂常自思惟所得之法恐有退失故名思法。
【三護法阿羅漢】謂於所證之法心生愛樂善加守護故名護法。
【四住法阿羅漢】謂住於所證之法不退不進故名住法。
【五進法阿羅漢】謂能加功進行至不動法故名進法。
【六不動法阿羅漢】謂不被煩惱之所動亂故名不動法。
六法師(出大智度論)
法華文句云法者軌則也師者訓匠也謂師於妙法自行成就又能以妙法訓導於他故稱法師。
【一信力故受】信信向也受領納也謂以信向之力[聽-王]聞正法乃至一句一偈領納在心故名信力故受。
【二念力故持】念憶念也持執持也謂所聞之法由憶念之力執持不失故名念力故持。
【三看文為讀】謂目視經卷之文以口習宣演故名看文為讀。
【四不忘為誦】謂習讀既熟不假看文自然成誦無有忘失故名不忘為誦。
【五宣傳為說】宣揚也傳轉也謂自己所得之法展轉為他人說故名宣傳為說。
【六難曉須釋】謂佛所說經教義趣深遠卒難曉了必須解釋方能解悟故名難曉須釋。
六和敬(出法界次第)
和敬者和同愛敬也此六者通名和敬蓋外同他善謂之和內自謙卑謂之敬今稱僧為六和蓋出於此。
【一同戒和敬】謂比丘通達實相正理知罪不可得為欲安立眾生於實相正理以方便善巧同持戒品無有乖諍亦知眾生同此戒善未來必得菩

提大果是以敬之如佛故名同戒和敬也(梵語比丘華言乞士梵語菩提華言道)。

【二同見和敬】謂比丘通達實相正理而能了知諸法本無所得亦無所知見為欲安立眾生於實相正見以方便善巧同一切知見無有乖諍亦知眾生因此知見必得種智圓明是以敬之如佛故名同見和敬也(種智者即一切種智也)。

【三同行和敬】謂比丘通達實相正行而能了知無作無行為欲安立眾生於實相正行以方便善巧同修諸行無有乖諍亦知眾生同此諸行漸積功德當成佛道是以敬之如佛故名同行和敬也。

【四身慈和敬】謂比丘住平等大慈以修其身常與眾生一切樂事無有乖諍亦知眾生悉有佛性未來必得金剛之身是以敬之如佛故名身慈和敬也(金剛者言法性之身不可壞也)。

【五口慈和敬】謂比丘住平等大慈以修其口常與眾生說一切法令其得樂無有乖諍亦知眾生悉有佛性未來必得上上清淨口業是以敬之如佛故名口慈和敬也(上上謂佛也)。

【六意慈和敬】謂比丘住平等大慈以修其意常知眾生諸根性欲與眾生樂無有乖諍亦知眾生悉有佛性未來必得心如佛心是以敬之如佛故名意慈和敬也。

六羣比丘(出十住毘婆沙論)

梵語比丘華言乞士謂此等比丘於佛世時聚集成眾作諸非威儀事羣出隊入故名六羣比丘。

【一闡陀】又云闡那即車匿。

【二迦留陀夷】車匿又云闡釋迦(無翻)是釋種也梵語迦留陀夷華言麤黑以其顏貌麤黑故也是婆羅門種此二人性多貪癡不受人語住迦尸黑山聚落作諸非威儀事時黑山聚落諸優婆塞來白佛言六羣比丘於彼聚落作諸非法佛令阿難同六十比丘往彼作驅出羯磨二人知之便出一由旬外迎請阿難即求懺悔言我所作非善從今已去不敢復作即同阿難還至佛所後迦留陀夷因入婆羅門家說法被賊打殺(梵語婆羅門華言淨行梵語優婆塞華言清淨士梵語阿難華言慶喜梵語羯磨華言作法)。

【三三文陀達多】又云難陀。

【四摩醯沙達多】又云跋難陀梵語三文陀達多摩醯沙達多(無翻)此二人是釋種性多愚癡不受人語住黑山聚落作諸非威儀事聞佛令阿難來作驅出羯磨二人便走到於王道聚落後三文陀達多以猪祠廟生天。

【五馬師】又云馬宿。

【六滿宿】馬師性多愚癡滿宿性多嗔恚此二人本是田夫亦釋種也共議我等作田辛苦可共出家於佛法中衣食自然復更籌量就誰出家即到舍利弗目犍連所求欲出家既出家已住雞咤山聚落不受人語作諸非威

儀事於六羣比丘中最為上首後二人因多愚癡嗔恚墮生龍中(梵語舍利弗華言身子梵語目犍連華言采菽氏皆佛之弟子也)。

三寶有六義(出諸經要集)

三寶者佛法僧也乃四生之導首六趣之舟航為世所貴故名為寶(四生者胎生卵生濕生化生也六趣者天趣人趣阿修羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。

【一希有義】謂如世珍寶貧窮之人所不能得三寶亦爾薄福眾生百千萬世不能值遇故名希有。

【二離垢義】謂如世珍寶內外瑩徹體無瑕穢三寶亦爾諸漏淨盡無有垢染故名離垢(諸漏淨盡者謂一切惑業斷盡無遺不漏落生死也)。

【三勢力義】謂如世珍寶除貧去毒有大勢力三寶亦爾具六神通抜濟眾生出離苦趣故名勢力(六神通者天耳通天眼通宿命通他心通神足通漏盡通也)。

【四莊嚴義】謂如世珍寶嚴飾身首令人姝好三寶亦爾能以正法嚴飾行人令得身心清淨故名莊嚴。

【五最勝義】謂如世珎寶諸物中勝三寶亦爾一切世間最為殊勝故名最勝。

【六不改義】謂如世真金燒打磨鍊不能變改三寶亦爾不為世間八法之所變易故名不改(八法者一利二衰三毀四譽五稱六譏七苦八樂也)。

六欲天(出楞嚴經)

欲即色欲四天王以形交為欲忉利以風為欲夜摩以抱持為欲兜率以執手為欲化樂以視笑為欲他化但以視為欲也謂之天者天然自然樂勝身勝亦名最勝亦名光明以其所欲不同故名六欲天。

【一四天王天】東方持國天王謂能護持國土故居須彌山黃金埵南方增長天王謂能令他善根增長故居須彌山瑠璃埵西方廣目天王謂能以淨天眼常觀擁護此閻浮提故居須彌山白銀埵北方多聞天王謂福德之名聞四方故居須彌山水晶埵(梵語須彌華言妙高梵語閻浮提華言勝金洲)。

【二忉利天】梵語忉利華言三十三大智度論云昔有婆羅門姓憍尸迦與知友三十二人共修福德命終皆生須彌山頂憍尸迦為天主名帝釋天三十二人為輔臣周圍列居而帝釋獨處其中又淨名疏云昔迦葉佛滅後有一女人發心修塔報為天主有三十二人助修報為輔臣君臣合之為三十三也(梵語婆羅門華言淨行梵語憍尸迦又云釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵双舉也三十二人名字經論不載據正法念處經所載三十三天各有住處謂善法堂天山峯天山頂天善見城天鉢私他天俱吒天雜殿天懽喜園天光明天波利耶多天離險岸天谷崖岸天摩尼藏天旋行大金殿天鬘影天柔軟天雜莊嚴天如意天微細行天歌音喜樂天威德輪天月行天閻摩那娑羅天速行天影照天智慧行天眾分天曼陀羅天上行天威德顏天威德燄輪光天清淨天也)。

【三夜摩天】梵語夜摩華言善時亦名時分謂其時時唱快樂故以蓮華開合分其晝夜此天依空而居。

【四兜率天】梵語兜率華言知足謂其於五欲境知止足故此王依空而居(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【五化樂天】化樂天者謂自化五塵之欲而娛樂故此天依空而居(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【六他化自在天】他化自在天者謂假他所化以成己樂故此天依空而居即魔王天也。
六界聚(出中阿含經)
界即界分聚即聚集謂人之身聚集六法各有分齊故名六界聚。
【一地界聚】地以堅礙為性謂人之身有內地界而受於生即髮毛爪齒麤細皮膚骨肉筋腎心肝脾肺之類是名地界聚。
【二水界聚】水以潤濕為性謂人之身有內水界而受於生即腦髓眼淚汗涕唾膿肪血涎痰之類是名水界聚。
【三火界聚】火以燥熱為性謂人之身有內火界而受於生即熱身煖身煩悶身溫壯身及能消飲食之類是名火界聚。
【四風界聚】風以動轉為性謂人之身有內風界而受於生即出息入息及掣縮等風之類是名風界聚(掣縮風者凡身動轉皆屬於風故也)。
【五空界聚】空以無礙為性謂人之身有內空界而受於生即眼空耳空鼻空口空咽喉動搖食消下過之類是名空界聚。
【六識界聚】識以分別為性即心識也所謂樂識苦識喜識憂識是名識界聚。
六難(出涅槃經)
【一佛世難遇】謂諸佛不常出世眾生懸遠難遇而況眾生不修勝因不行眾善雖佛出世亦不得遇故云佛世難遇。
【二正法難聞】謂雖值佛出世或緣有違逆身有障難根有愚鈍不能[聽-王]受又若佛滅後或有說正法處身為他人制伏不能往[聽-王]或生邪見雖[聽-王]不能信受故云正法難聞。
【三善心難生】謂人生世間宿習垢重惡緣易染而況邪惑蔽心生諸貪着若不遇善知識勸教則終不能發心修習善行故云善心難生。
【四中國難生】謂中華之國聖人出生其中仁義昭明佛法流布實為文物之地若非持戒修福不得生此故云中國難生。
【五人身難得】謂因行五常五戒出離四趣方得人身經云得人身者如爪上土失人身者如大地土以其得少失多故云人身難得(五常者仁義禮智信也五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也四趣者阿修羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。
【六諸根難具】謂雖得人身或有盲聾瘖瘂則為殘癈六根完具是亦難得故云諸根難具(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也)。
父六親(出善見毘婆沙律)

謂佛令比丘避於譏嫌不得於非親之女及比丘尼洗浣故衣若父母之親可使洗浣故說父六親及母六親也(梵語比丘華言乞士梵語尼華言女)。
【一伯】伯者即父之伯於己為伯祖也。
【二叔】叔者即父之叔於己為叔祖也。
【三兄】兄者即父之兄於己為伯也。
【四弟】弟者即父之弟於己為叔也。
【五兒】兒者即父之子於己為兄弟也。
【六孫】孫者即父之孫乃兄弟之子於己為姪男也。
母六親(出善見毘婆沙律)
【一舅】舅者即母之舅乃外祖母之兄弟於己為舅公也。
【二姨】姨者即母之姨乃外祖母之姊妹於己為姨婆也。
【三兄】兄者即母之兄於己為舅也。
【四弟】弟者即母之弟於己亦為舅也。
【五兒】兒者即母之女於己為姊妹也。
【六孫】孫者即母之孫乃兄弟之子於己為姪女也。
人死六驗(出諸經要集)
謂人生世間作善作惡罪福昭然纖毫無隱及臨終時將感來生善惡果報先有六驗。
【一驗生人中】謂若作善之人將死之時先從足冷至臍臍上猶溫然後氣盡者即生人中。
【二驗生天上】謂若作善之人將死之時頭頂皆溫然後氣盡者即生天上。
【三驗生餓鬼中】謂若作惡之人從頂冷至腰腰下猶溫然後氣盡者即生餓鬼中。
【四驗生旁生中】旁生即畜生也謂若作惡之人從頂冷至膝膝下猶溫然後氣盡者即生旁生中。
【五驗生地獄中】謂若作極惡之人從頂冷至足足底猶溫然後氣盡者即生地獄中。
【六驗入涅槃】謂若羅漢聖人入於涅槃或心及頂數日皆溫者是也(梵語羅漢華言無生梵語涅槃華言滅度)。
廣六度行(出成具光明定意經亦名六德行)
【一廣施】曠大曰廣捨財曰施謂行施者既懷廣大之心應當知身非常四大不淨會歸敗壞知身既不我有財物亦是虛幻乃至世間萬物皆悉無常由是觀身非身觀物非物縱心恣施了無罣礙復能廣弘法施開化愚蒙故曰廣施(四大者地大水大火大風大也)。
【二廣戒】戒律也戒品雖多不出身口意之三業謂或見眾寶珍琦凡諸可意之物身雖貧乏不妄貪取或見細妙之色內觀朽爛生厭離心乃至不殺不盜不[婬-壬+(工/山)]等皆身戒也或以惡言加己乃以善言和語

至誠而荅乃至不妄言不綺語不兩舌皆口戒也復能思惟生死常懷解脫又能修習道品之要深入無為之理乃至不貪不嗔不癡等皆意戒也修行之人於此三業之戒自既堅持不犯復能展轉化他廣弘戒法故曰廣戒。

【三廣忍】忍者耐也謂菩薩修行之時若人罵詈知其從聲而出於此觀了言語性空意亦如是視諸慙辱空無所有如此則瞋恚不生忍行可進身既能爾復能展轉化他令行忍耐故曰廣忍(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【四廣精進】謂菩薩修行道品當勤精進節其飲食除於睡臥晨夜惺惺莫令怠墮乃至為人廣說法要不以為煩開教愚頑不辭勞倦自既能爾復能展轉化他令其精進故曰廣精進。

【五廣一心】一心者心不雜亂也謂菩薩修行禪定之時一心寂靜離諸散亂於孝事父母尊敬師友斷愛遠俗空閑寂寞皆當專一其心乃至多欲多諍多作多惱或譽或毀或利或失於是等處並當專一其心不撓不動自既能爾復能展轉化他於一切時處皆一其心故曰廣一心。

【六廣智慧】智慧者照了萬法通達無礙也謂菩薩修行之時若墮見聞則有一切塵境所蔽當以智慧一一照了觀其所起察其所滅處愛欲中心在道品之藏寄濁惡界心遊清淨之鄉入險隘路心思方便之道故能絕三界之妄想證涅槃之真空自既能爾復能展轉化他令修智慧故曰廣智慧(三界者欲界色界無色界也梵語涅槃華言滅度)。

六種戒(出瑜伽師地論)

【一廻向戒】廻向戒者謂菩薩利他心大則以持戒善利普皆廻向一切眾生同成佛果也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【二廣博戒】廣博戒者謂菩薩運心廣大普博雖持一戒而能廣攝一切所學諸戒也。

【三無罪歡喜戒】無罪歡喜戒者謂菩薩遠離五欲而於諸戒無所毀犯故得歡喜之樂也(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。

【四恒常戒】恒常戒者謂菩薩於所學諸戒雖盡形壽亦不棄捨也。

【五堅固戒】堅固戒者謂菩薩持戒時一切利養恭敬及諸貪瞋煩惱悉皆不能惑動而毀壞也。

【六尸羅莊嚴具相應戒】梵語尸羅華言清凉以能除破戒熱惱故也謂菩薩持戒則能莊嚴一切所修善法而具足一切諸相應戒也(相應戒者謂與戒法相應也)。

六齋日(出四天王經并增一阿含經)

六齋日者據毘婆沙論所說凡遇持齋之日則過中不食。

【一每月初八日】帝釋勑四天王各治一方至此日四王遣輔臣觀察世間人民善惡(帝釋梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵双舉也四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也)。

【二每月十四日】此日四天王遣太子按行天下伺察人民善惡。

【三每月十五日】此日四天王親自按行天下有慈孝父母恭敬三寶及尊長者并修六度持八戒齋者諸天相慶則降善福注祿增筭如不修善持齋唯造惡業諸天憂慼降以不祥減祿除筭(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也八戒者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒不坐高廣大牀不着華鬘瓔珞不習歌舞戲樂也齋者過午不食也)。
【四每月二十三日】此日四天王遣輔臣觀察與初八日同。
【五每月二十九日】此日四天王遣太子觀察與十四日同。
【六每月三十日】此日四天王躬自按行觀察與十五日同。
六種巧方便(出菩薩地持經)
【一隨順巧方便】謂菩薩欲為眾生說法先以善巧方便隨順教誡令生信樂之心然後以如來甚深法義分別解說令其易解易入獲大利益是名隨順巧方便(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二立要巧方便】要即誓約也謂若有眾生來從菩薩求索田宅飲食錢財種種資生之具菩薩即與立要誓之言汝能供養父母沙門婆羅門及受持禁戒我當施與如其不能則不施與彼諸眾生既聞如是要誓即能如說修行滿所願欲是名立要巧方便(梵語沙門華言勤息梵語婆羅門華言淨行)。
【三異相巧方便】謂菩薩既教眾生供養父母沙門婆羅門及受持禁戒者或有不順其教菩薩則現乖異瞋責之相令彼有所畏懼捨惡從善是名異相巧方便。
【四逼迫巧方便】謂菩薩於自眷屬作是教言若我眷屬有不供養父母乃至犯諸禁戒者我當斷其供給或加謫罰或至擯斥彼諸眷屬畏其謫罰即修眾善斷諸惡法彼雖不樂逼令修習是名逼迫巧方便。
【五報恩巧方便】謂菩薩先有恩德及於眾生或施以財物或脫諸苦難及免諸恐怖救療眾病令得安樂而眾生知恩欲酬報者菩薩則不欲其世間財利但勸其供養父母乃至受持禁戒是名報恩巧方便。
【六清淨巧方便】謂菩薩住究竟地生兜率天從兜率天來生世間或生王宮捨上妙樂出家學道令諸眾生捨離高慢及成無上菩提又令眾生堅固信樂同求佛道所有惑染悉皆清淨是名清淨巧方便(究竟地即佛地梵語兜率華言知足)。
思修六意(出攝大乘論)
【一廣大意】謂菩薩修行發廣大心歷無數劫而得菩提於此時劫常捨身命及以恒河沙數世界滿中七寶供施如來從初至終其心猶不滿足是名菩薩廣大意(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語菩提華言道七寶者金銀琉璃玻瓈硨磲碼碯赤真珠也)。
【二長時意】謂菩薩修行從初發心乃至成佛心不放捨常行布施持戒歷無數劫無有厭足是名菩薩長時意。
【三歡喜意】謂菩薩修行常行六度之行利益一切眾生而於自他皆生無等歡喜是名菩薩歡喜意(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧

也）。
【四有恩德意】謂菩薩修行常行六度之行利益一切眾生雖見彼於我有大恩德而不見自身於彼有恩是名菩薩有恩德意。
【五大志意】謂菩薩修行常行六度之行其所生功德善根以無着心回施一切眾生令彼皆得可愛果報是名菩薩大志意。
【六善好意】謂菩薩修行常行六度之行所生功德善根令一切眾生平等皆得仍復為彼迴向無上菩提是名菩薩善好意。
六種意樂（出攝大乘論）
謂菩薩修習一切法門皆須作意欣樂也（菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情）。
【一廣大意樂】謂菩薩以滿恒河沙等世界七寶奉施如來復能持戒忍辱精進禪定智慧乃至現世得證佛果猶無厭足是名廣大意樂（七寶者金銀琉璃玻瓈硨磲碼磁赤真珠也）。
【二長時意樂】謂菩薩行於六度乃至現世得證佛果心常好樂無有間息是名長時意樂（六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也）。
【三歡喜意樂】謂菩薩能以六度饒益有情由此所作心生歡喜是名歡喜意樂。
【四荷恩意樂】荷負也謂菩薩以此六度饒益有情不見自身於彼有恩是名荷恩意樂。
【五大志意樂】謂菩薩即以如是六度所集善根功德迴施一切眾生令其同得勝果是名大志意樂。
【六純善意樂】謂菩薩復以如是六度所集善根功德共諸眾生迴求佛果心無間雜是名純善意樂。
起塔有六意（出華嚴經疏）
【一為表人勝】謂如來三界至尊最勝無比故建塔以表之令人瞻禮而歸敬也（三界者欲界色界無色界也）。
【二令生淨信】謂建造佛塔蓋令一切眾生瞻仰頂禮而生崇重正信之心也。
【三令標心有在】謂建造佛塔蓋令一切眾生心有所向而敬慕歸依也。
【四令供養生福】謂建造佛塔蓋令一切眾生至心恭敬供養則能生諸福利也。
【五為報恩行畢】謂建造佛塔非惟利益於己身蓋將荅報四恩而畢無邊之行願也（四恩者國王父母師友檀越也）。
【六生福滅罪】謂建造佛塔非惟生自己之福滅自己之罪蓋令一切眾生凡瞻覩頂禮者無不生一切福滅一切罪也。
六法令他歡喜（出根本說一切有部毘奈耶雜事）

【一身業行慈】謂於諸賢聖及同修梵行人處起慈善心以為禮敬燒香散華種種供養若見其病苦隨時供給令他歡喜是名身業行慈(梵行即淨行也)。
【二語業行慈】謂於諸賢聖及同修梵行人處起慈善心以語讚歎彰其實德他不聞者令他得聞復讀誦經典晝夜精勤令他歡喜是名語業行慈。
【三意業行慈】謂於諸賢聖及同修梵行人處起慈善心不生妬害慳嫉之想於諸眾生起悲愍心起利益心令他歡喜是名意業行慈。
【四如法利養】謂凡所有資生之物乃至得少飲食於同修梵行之人情無彼此悉皆共他受用令他歡喜是名如法利養。
【五受持戒法】謂於所受戒法始終堅持不毀不犯而於同修梵行之人不生輕鄙令他歡喜是名受持戒法。
【六能生正見】謂於一切道法發起正見無有疑惑而與同修梵行之人共同此見令他歡喜是名能生正見。
外道六師(出陀羅尼集經并翻譯名義)
邪心見理發於邪智不稟正教故名外道輔行云六師元祖是迦毘羅支流分異遂為六宗(梵語迦毘羅華言黃色)。
【一富蘭那迦葉】梵語富蘭那字也(無翻)迦葉因母之姓而為姓也其人起邪見謂一切法斷滅無君臣父子忠孝之道名為色空外道以色破欲界有以空破色界有謂空為至極故也。
【二末伽黎拘[賒-示+未]黎】梵語末伽黎華言不見道字也梵語拘賒黎(無翻)因母之名而為名也其人起邪見謂眾生苦樂不由自行而得皆是自然而有此計自然者即是無因亦邪見也。
【三刪闍夜毘羅胝】梵語刪闍夜華言正勝字也梵語毘羅胝華言不作因母之名而為名也其人起邪見謂道不須求經生死劫數苦盡自然而得又云八萬劫滿自然得道也(劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【四阿耆多翅舍欽婆羅】梵語阿耆多翅舍字也梵語欽婆羅麤衣名因以為名也(無翻)其人起邪見非因計因着麤弊衣自抜其髮以烟熏鼻及五熱炙身修諸苦行為道自謂今身併受諸苦則後身常得樂也(非因計因者本非得樂之因而妄計此因能得樂也五熱者四面火聚更加頭上有日故云五熱炙身)。
【五迦羅鳩馱迦旃延】梵語迦羅鳩[馬*丈]華言牛領字也梵語迦旃延華言剪髮姓也其人謂諸法亦有相亦無相即邪見也(有相即常見無相即斷見)。
【六尼犍陀若提子】梵語尼犍陀華言離繫此外道出家之總名梵語若提(無翻)因母之名而為名也其人謂罪福苦樂本有定因要當必受非行道所能斷如此計者即邪見也。
六苦行外道(出大涅槃經)

【一自餓外道】謂外道修行不羨飲食長忍飢虛執此苦行以為得果之因是名自餓外道。
【二投淵外道】謂外道修行寒入深淵忍受凍苦執此苦行以為得果之因是名投淵外道。
【三赴火外道】謂外道修行常熱炙身及熏鼻等甘受熱惱執此苦行以為得果之因是名赴火外道。
【四自坐外道】謂外道修行常自躶形不拘寒暑露地而坐執此苦行以為得果之因是名自坐外道。
【五寂默外道】謂外道修行於屍林塚間以為住處寂默不語執此苦行以為得果之因是名寂默外道。
【六牛狗外道】謂外道修行自謂前世從牛狗中來即持牛狗戒齕草噉污唯望生天執此苦行以為得果之因是名牛狗外道。
六道(出法華文句)
道即能通之義謂六道生死展轉相通故名六道。
【一天道】天即天然自然樂勝身勝是名天道。
【二人道】人者忍也於世苦樂之境而能安忍是名人道。
【三阿修羅道】梵語阿修羅華言無酒又言無端正又言無天此道或居海岸海底或居半須彌山巖窟宮殿嚴飾懷猜忌心常好鬪戰是名阿修羅道(無酒者法華疏云修羅於四天下採華醞海為酒魚龍業力其味不變於是嗔妬誓願斷酒故云無酒無端正者修羅種類男醜女端故云無端正無天者淨名疏云此神果報最勝隣次諸天而非天又無天德故云無天)。
【四餓鬼道】謂此道或居海底或在人間山林中或似人形或似獸形不得飲食業重者飢火炎炎不聞漿水之名次者伺求人間蕩滌膿血糞穢輕者時薄一飽是名餓鬼道。
【五畜生道】畜生亦云旁生謂此道偏在諸處披毛戴角鱗甲羽毛其類非一互相吞噉受苦無窮是名畜生道(旁生者婆沙論云形旁行旁形旁者謂身形橫生不正也行旁者謂其宿世所行之行偏邪不正也)。
【六地獄道】謂此獄在地之下而有鑊湯劒樹等苦是名地獄道。
六蔽心(出大智度論)
【一慳心】謂眾生由此慳恪蔽覆於心不能行於布施縱行布施亦不能以好物與人是名慳心。
【二破戒心】謂眾生由貪瞋癡等煩惱蔽覆於心行於惡行不能堅持禁戒是名破戒心。
【三瞋恚心】謂眾生由瞋恨忿恚蔽覆於心歷事對境常懷惱害于他而無忍辱之行是名瞋恚心。
【四懈怠心】謂眾生由懈怠蔽覆於心不能精進勤修聖道之行是名懈怠心。

【五亂心】謂眾生由散亂蔽覆於心妨於禪定如風中燈雖有光明不能照物是名亂心。
【六癡心】謂眾生由愚癡蔽覆於心而無智慧於一切事皆不能知受着邪法不起正見是名癡心。
六染心(出起信論)
六染心者謂心體本淨離諸妄染以依不覺忽起無明由無明熏習力故遂有六種染心之相。
【一執相應染】謂於苦樂等境不了虛無妄起執着與心相應見思煩惱之惑污其淨心故名執相應染即是六麤中第三執取相第四計名字相也(見思者見即分別也謂意根對法塵起諸邪見故名見惑思即思惟也又貪染曰思謂眼耳鼻舌身五根貪愛色聲香味觸五塵而起想著故名思惑六麤者智相相續相執取相計名字相起業相業繫苦相也)。
【二不斷相應染】不斷即相續也謂於苦樂等境與心相應數數起念相續不斷故名不斷相應染即是六麤中第二相續相也。
【三分別智相應染】謂能分別世間出世間諸法染淨故云智也此智分別亦是法執與心相應故名分別智相應染即是六麤中第一智相也。
【四現色不相應染】現色者謂依根本無明熏動淨心令現境界之相雖現境界之相而根本無明最極微細不與心王心所相應故名不相應染即是三細中第三現相也(根本無明者謂其能生見思等惑也心王者即第八識也心所者受想行也三細者業相轉相現相也)。
【五能見心不相應染】能見心者謂根本無明動故能令心有所見雖令心有所見而不與心王心所相應故名不相應染即是三細中第二轉相也。
【六根本業不相應染】根本業者即根本無明也謂以無明力故不覺心動動即成業雖動成業而不與心王心所相應故名不相應染即是三細中第一業相也。
六着心(出華嚴孔目并演義鈔)
【一貪着心】引取之心為貪謂於六塵等順情之境引取無厭戀着不捨故名貪着心(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【二愛着心】貪取之心為愛謂於六塵等順情之境而生愛欲戀着不捨故名愛着心。
【三瞋着心】忿怒之心為瞋謂於一切違情之境即起忿怒不能捨去故名瞋着心。
【四癡着心】迷惑之心為癡謂於一切事理諸法無所明了妄生邪見執着不捨故名癡着心。
【五欲着心】樂取之心為欲謂於可愛之境而起樂欲戀着不捨故名欲着心。

【六慢着心】自恃輕他之心為慢謂自恃種姓高貴有多才能輕蔑於他不能捨去故名慢着心。

六相應想(出大集法門經)

【一眼相應想】謂眼根對色時與識相應而起想念是名眼相應想。

【二耳相應想】謂耳根聞聲時與識相應而起想念是名耳相應想。

【三鼻相應想】謂鼻根聞香時與識相應而起想念是名鼻相應想。

【四舌相應想】謂舌根嘗味時與識相應而起想念是名舌相應想。

【五身相應想】謂身根覺觸時與識相應而起想念是名身相應想。

【六意相應想】謂意根分別諸法之時與識相應而起想念是名意相應想。

六種散亂(出阿毘達磨雜集論)

【一自性散亂】謂五識自性馳逐外緣乖於靜定故名自性散亂(五識者眼識耳識鼻識舌識身識也)。

【二外散亂】謂正修善時於五欲境上其心馳散不能寂靜故名外散亂(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。

【三內散亂】謂修定時發起沉掉及於諸塵而生味着退失靜定故名內散亂(沉掉者沉即昏沉掉即掉舉謂動散也)。

【四相散亂】謂欲令他人信己有德詐見修善之相由此因緣所修善法漸更退失故名相散亂。

【五麤重散亂】謂修善法時起我我所執及我慢等邪見由此邪執麤重力故所修善法永不清淨是名麤重散亂(我者於色受想行識五陰中計有我也我所者即色身及財宅眷屬也)。

【六作意散亂】謂或依餘乘或依餘定作意修習不能證悟發起散亂是名作意散亂(餘乘者謂人天乘也餘定者謂世間禪定也)。

六麤相(出起信論)

六麤謂由業轉現三細而生故名六麤(業轉現即第八藏識中初起之三相以其微細故名三細也)。

【一智相】謂依三細中第三境界相不了自心所現妄起分別染淨之相於淨境則愛於染境則不愛是名智相(境界相即二細中之現相也)。

【二相續相】謂依前智相分別於愛境則生樂於不愛境則生苦覺心起念相應不斷是名相續相。

【三執取相】謂依前相續緣念苦樂等境心起着故是名執取相。

【四計名字相】謂依前妄執分別假名言說之相是名計名字相(假名者虛假之名謂依前執取相上更立假名也已上四相皆論起惑)。

【五起業相】謂依前名字執取生着造種種業是名起業相。

【六業繫苦相】苦即生死之苦也謂業繫縛則有生死逼迫之苦不得自在是名業繫苦相。

六種俱生惑(出大乘百法明門論)

惑即昏迷不了之義謂貪瞋等惑與身俱生故名俱生惑。
【一貪惑】謂於五塵順情境上引取無厭昏迷不了是名貪惑(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【二嗔惑】謂於五塵違情境上忿怒暴起昏迷不了是名嗔惑。
【三癡惑】謂於一切事理之法無所分別顛倒妄執起諸邪見昏迷不了是名癡惑。
【四慢惑】謂我能他不能我解他不解因此起輕慢心凌傲於人昏迷不了是名慢惑。
【五疑惑】謂無正信之心於正法中猶豫無決昏迷不了是名疑惑。
【六覺惑】謂無正知正見而於五塵之境常起惡覺染愛生着昏迷不了是名覺惑。
六欲(出釋禪波羅蜜次第法門)
【一色欲】謂若見青黃赤白及男女等色無智愚人不知其患心生貪着是名色欲。
【二形貌欲】謂若見端容美貌無智愚人不知其患心生貪着是名形貌欲。
【三威儀姿態欲】謂若見行步輕徐舉止詳緩揚眉頓臉含笑嬌盈無智愚人不知其患便生愛染是名威儀姿態欲。
【四言語音聲欲】謂若聞巧言美語稱情適意音聲清雅歌詠讚歎無智愚人不知其患便生愛着是名言語音聲欲。
【五細滑欲】謂男女身分軟細滑澤等無智愚人不知其患躭染沒溺是名細滑欲。
【六人相欲】謂若男若女必得所愛之人互相貪染是名人相欲。
六煩惱(出瑜伽師地論)
謂貪瞋等昏煩之法惱亂心神名為煩惱。
【一貪煩惱】貪即貪愛謂於五欲順情等境求而未獲愛而不捨以不捨故便起煩惱故名貪煩惱(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【二瞋煩惱】謂於五欲違情等境即起瞋恚忿恨纏結記憶在心而生煩惱故名瞋煩惱。
【三慢煩惱】慢即輕慢謂自任其能輕凌於他起不敬心傲慢結縛而生煩惱故名慢煩惱。
【四無明煩惱】謂於一切諸法無所明了故曰無明以不了故起貪瞋癡等煩惱故名無明煩惱。
【五疑煩惱】猶豫不決為疑謂因前無明不了即起疑惑以亂真心或是或非或善或惡展轉纏結而生煩惱故名疑煩惱。
【六不正見煩惱】謂因前疑心不了所見不正以不正故遂起邪見含藏結縛而生煩惱故名不正見煩惱。
大明三藏法數卷第二十

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

六觸生愛(出阿毘達磨發智論)
觸即觸着亦對也。
【一眼觸生愛】謂眼能觸對一切世間所有青黃赤白等種種之色貪愛不捨是名眼觸生愛。
【二耳觸生愛】謂耳能觸對一切世間所有絲竹歌詠等種種之聲貪愛不捨是名耳觸生愛。
【三鼻觸生愛】謂鼻能觸對一切世間所有栴檀沉水等種種之香貪愛不捨是名鼻觸生愛。
【四舌觸生愛】謂舌能觸對一切世間所有珍羞美饌等種種之味貪愛不捨是名舌觸生愛。
【五身觸生愛】謂身能觸對男女身分柔輭細滑及世間所有種種上妙衣服等貪愛不捨是名身觸生愛。
【六意觸生愛】謂意能觸對一切世間所有色聲香味觸等種種之法貪愛不捨是名意觸生愛。
六垢法(出華嚴孔目并顯宗論)
垢穢也謂此六法皆能穢污真心故名為垢。
【一誑】誑虛妄也謂以不實之言欺己欺人也。
【二諂】諂佞也謂以巧言取悅於人使其親厚於己也。
【三憍】憍慢也謂重己輕人而無謙讓之德也。
【四惱】惱侵撓也謂其無利樂之行常懷侵撓之心使人不安其所也。
【五恨】恨怨恨也謂有一言忤意即起瞋忿之心常懷怨恨也。
【六害】害傷害也謂無慈憫之心而行慘毒之行傷害於物也。
六漏(出大乘阿毘達磨雜集論)
漏即失也落也謂因煩惱惑業漏落三界生死也(三界者欲界色界無色界也)。
【一漏自性】謂六根對於六塵而起貪瞋癡等煩惱諸惑由惑造業遂招三界生死是則惑自性業為有漏之因是名漏自性(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【二漏相屬】謂有漏之法屬心心所及眼等諸根相應而有是名漏相屬(心心所者心即第六識心心所即受想行也)。
【三漏所縛】謂有漏善法相續不斷招後世生是名漏所縛(有漏善法即天人所修五戒十善等法也)。
【四漏所隨】謂如在欲界天人生死中亦為餘界諸有漏法之所隨逐是名漏所隨(餘界者即十界中修羅界餓鬼界畜生界地獄界也)。

【五漏隨順】謂雖為有漏煩惱所隨然能順於正道决擇對治建立無漏是名漏隨順(無漏者謂不漏落三界生死也)。
【六漏種類】謂阿羅漢現世惑業雖已斷盡尚餘有漏五蘊之身亦由前世煩惱所起是名漏種類(梵語阿羅漢華言無學五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
依正無礙六句(出華嚴經疏)
依謂依報即世間國土也為身所依故名依報正謂正報即五陰身也正由業力感報此身故名正報既有能依之身即有所依之土故國土亦名報也六道眾生因有漏業而感生死之身即依穢惡國土而住諸佛菩薩因無漏清淨業而感法性之身即依清淨國土而住今云依正無礙者蓋言諸佛居常寂光土而於果後示現下三國土及九界身化諸眾生以不思議神通之力或身中現土土中現身身土圓融變現自在故名依正無礙(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也六道者天道人道修羅道餓鬼道畜生道地獄道也有漏業者謂六道眾生由所作業漏落生死也無漏業者謂二乘菩薩由修戒定慧清淨之業不漏落生死也常寂光土者常即法身寂即解脫光即般若也下三國土者同居土方便上實報土以對上常寂光土故云下也九界者菩薩界緣覺界聲聞界天界人界阿修羅界餓鬼界畜生界地獄界也)。
【一依內現依】依內現依者謂於一國土復現一切國土也如成就品偈云一一塵中難思剎隨眾生心普現前一切剎海靡不周如是方便無差別是也(剎梵語具云剎摩華言土田今略言剎即國土也)。
【二正內現正】正內現正者謂於一身中復現一切身也如僧祇品偈云於一微細毛端處有不可說諸普賢如一毛端一切爾如是乃至徧法界是也。
【三正內現依】正內現依者謂於一身中復現一切國土也如經偈云於一微細毛孔中不可說剎次第入毛孔能受彼諸剎諸剎不能徧毛孔是也。
【四依內現正】依內現正者謂於一切國土復現一切身也如現相品偈云一切剎土微塵數常現身雲悉充滿普為眾生放大光各雨法雨稱其心是也。
【五依內現依正】依內現依正者謂於國土微塵中現無數佛身復現一切佛剎如現相品偈云一一塵中無量身復現種種莊嚴剎是也。
【六正中現正依】正中現正依者謂於自身中即現諸佛之身復現諸佛國土如成就品偈云一切剎土入我身所住諸佛亦復然汝應觀我諸毛孔我今示汝佛境界是也(所住諸佛即現正也示佛境界即現依也)。
六種震動(出華嚴經疏)
六種震動者動起涌三種是形震吼擊三種是聲於形聲中各舉一種故言震動六種中復各有三相遂成十八種震動之相也。

【一動】動者搖颺不安之謂動有三相一方獨動名動四方俱動名徧動八方齊動名普徧動。
【二起】起者自下漸高之謂起有三相一方獨起名起四方俱起名徧起八方齊起名普徧起。
【三涌】涌者忽然騰舉之謂涌有三相一方獨涌名涌四方俱涌名徧涌八方齊涌名普徧涌。
【四震】震者隱隱出聲之謂震有三相一方獨震名震四方俱震名徧震八方齊震名普徧震。
【五吼】吼者雄聲猛烈之謂吼有三相一方獨吼名吼四方俱吼名徧吼八方齊吼名普徧吼。
【六擊】擊者砰磕發響之謂擊有三相一方獨擊名擊四方俱擊名徧擊八方齊擊名普徧擊(砰披萌切磕克合切水激石曰砰石相築曰磕)。

六種動相(出大乘同性經并大智度論)

相即涌沒之相涌謂涌起沒謂隱沒也以東西南北中邊互而言之故有六種焉亦名六種震動。
【一東涌】謂於世界東方而涌也。
【二西沒】謂於世界西方而沒也。
【三南涌】謂於世界南方而涌也。
【四北沒】謂於世界北方而沒也。
【五中涌】謂於世界中間而涌也。
【六邊沒】謂於世界邊際而沒也。

六根(出首楞嚴經)

根即能生之義謂六根能生六識故名六根。
【一眼根】謂眼能於色境盡見諸色瑜伽論云能觀眾色是也。
【二耳根】謂耳能[聽-王]聞眾聲瑜伽論云數由此故聲至能聞是也。
【三鼻根】謂鼻能齅聞香氣瑜伽論云數由此故能齅於香是也。
【四舌根】謂舌能嘗於食味瑜伽論云能嘗眾味數發言論是也。
【五身根】謂身為諸根之所依止瑜伽論云諸根積聚是也。
【六意根】謂意於五塵境界若好若惡悉能分別也(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

六根功德(出首楞嚴經)

六根功德者六根所具之功德也而此功德雖具於六根之內而涉乎世界而成故有一千二百之數量所謂世為遷流界為方位三世四方宛轉十二流變三疊一十百千是也(三世者過去現在未來也四方者東西南北也宛轉十二者以四方涉三世三世涉四方而成十二也流變三疊一十百千者乃以三世遷流變易之數而成三疊也初從三世涉於四方疊成十二之數一疊也又以此十二之數變一為十則疊成一百二十二疊也復以此一百二十之數變十為百則疊成一千二百三疊也故云流變三疊一

十百千也)以此方世一千二百之數而成乎六根功德者蓋由眾生六根織妄相成世界相涉而所緣境量不出三世四方故也然此六根功德以體具言之則各有一千二百以了別功用言之則優劣全缺不同是故眼鼻身三根惟有八百功德耳舌意三根則具有一千二百也(織妄者根塵相織妄有諸相也)。

【一眼根八百功德】謂眾生一身方位具前後左右四方若以一千二百功德定其數量則四方各具三百之數共成一千二百今眼根惟八百者以眼但能見前方三百左右各二百五十共成八百之數也所謂三分言功一分無德故知眼根惟八百功德。

【二耳根千二百功德】謂耳能周[聽-王]隨彼聲之動處雖則有近有遠耳若靜[聽-王]則十方無遺故知耳根圓滿一千二百功德。

【三鼻根八百功德】謂鼻能齅聞通出入息息出則能取香息入則能聞香出入之中無能故曰而闕中交所謂三分言功而缺中交一分之德故知鼻根惟八百功德。

【四舌根千二百功德】謂舌能宣揚世間出世間一切諸法言說雖有限量其理則無窮盡此怛論其言說不論嘗味以其嘗味之功劣言說之德勝故知舌根圓滿一千二百功德。

【五身根八百功德】謂身能覺觸了知逆順苦樂之境以其與物合時則有知覺與物相離則不知覺所謂三分言功一分無德故知身根惟八百功德。

【六意根千二百功德】謂意根靜默一切世間法出世間法無不包容故知意根圓滿一千二百功德(世間法即人天所修之法出世間法即三乘人所脩之法)。

六根互用(出楞嚴經)

六根互用者謂眼等六根更互而有其用也如涅槃經云如來一根則能見色聞聲齅香別味覺觸知法一根既爾餘根亦然此真六根互用也若據法華經法師功德品中所明謂人以持經力故得勝根用雖未入初地亦能一根具五根用此相似六根互用也若此言阿那律陀無目而見等為六根互用者經云不由前塵所起知見明不循根寄根明發由是六根互相為用是也(明不循根者謂真妙覺明不循根境即不逐緣生不因境起了然自覺也寄根明發者謂真妙覺明不依根塵而始顯發特寄於根塵而顯發耳由此寄故互相為用也)。

【一阿那律陀無目而見】梵語阿那律陀華言如意謂其於過去世以一食施辟支佛感九十一劫受如意樂增一阿含經云佛在給孤獨園為眾說法那律於中眠睡佛以偈呵曰咄咄何為睡螺螄蚌蛤類一睡一千年不聞佛名字那律聞已達曉不眠遂失眼根獲天眼通觀三千世界猶如掌果故云無目而見(辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺掌果者掌中之果也)。

【二跋難陀龍無耳而[聽-王]】梵語跋難陀華言善歡喜謂其能護國土雨澤以時瓶沙王年為一會以報之百姓聞皆歡喜故也以其無耳能

[聽-王]故云無耳而[聽-王](梵語瓶沙又云頻婆娑羅華言模實以身模充實也)。
【三殑伽神女非鼻聞香】梵語殑伽華言天堂來河名謂此河源自雪山頂無熱惱池流出故也此女即主河之神遂以為名以其無鼻能聞故云非鼻聞香。
【四憍梵鉢提異舌知味】梵語憍梵鉢提華言牛呵法華文句云昔五百世曾為牛王牛若食後常事虛噍蓋其餘報未除舌嘗味時亦事虛噍故人稱為牛呵以其異舌而能嘗味故云異舌知味。
【五舜若多神無身覺觸】梵語舜若多華言虛空即主空神也纂要云但無麤相之身亦有微妙之色經云如來光中暎令暫現其質如風以其無身而能知觸故云無身覺觸。
【六摩訶迦葉圓明了知不因心念】梵語摩訶迦葉華言大飲光謂其修滅盡定意根已滅雖滅意根而能了知一切諸法故云圓明了知不因心念(滅盡定者受想心滅身證此定也)。
龜藏六(出法句譬喻經)
佛在世時有一道人在河邊樹下學道十二年中想念不除六根貪染曾無寧息不能入道佛知其可度化作沙門至彼寄宿須臾月明有龜從河中出來至樹下復有水狗飢行求食便欲噉龜龜乃縮其頭尾及與四足藏於甲中遂不能噉於是道人問沙門曰此龜有護命之鎧水狗不能加害沙門荅云吾念世人不如此龜不知無常放恣六情外魔得便即說頌曰藏六如龜防意如城慧與魔戰勝則無患(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也梵語沙門華言勤息六情即六根也)。
【一頭喻眼】頭喻眼者謂龜以頭藏於甲中以譬眾生收攝眼根不令觀色則不被一切色塵之所害也。
【二前左足喻耳】前左足喻耳者謂龜以前左足藏於甲中以譬眾生收攝耳根不令聞聲則不被一切聲塵之所害也。
【三前右足喻鼻】前右足喻鼻者謂龜以前右足藏於甲中以譬眾生收攝鼻根不令齅香則不被一切香塵之所害也。
【四後左足喻舌】後左足喻舌者謂龜以後左足藏於甲中以譬眾生[(冰-水+丨)*攵]攝舌根不令嘗味則不被一切味塵之所害也。
【五後右足喻身】後右足喻身者謂龜以後右足藏於甲中以譬眾生[(冰-水+丨)*攵]攝身根不令覺觸則不被一切觸塵之所害也。
【六尾喻意】尾喻意者謂龜以尾藏於甲中以譬眾生[(冰-水+丨)*攵]攝意根不令知法則不被一切法塵之所害也。
六識(出法界次第)
六識者眼耳鼻舌身意各有識也謂依五根能見五塵而為五識於五塵境而起分別為第六識。

【一眼識】謂眼根若對色塵即生眼識眼識生時但能見色而未起分別也。
【二耳識】謂耳根若對聲塵即生耳識耳識生時但能聞聲而未起分別也。
【三鼻識】謂鼻根若對香塵即生鼻識鼻識生時但能齅香而未起分別也。
【四舌識】謂舌根若對味塵即生舌識舌識生時但能嘗味而未起分別也。
【五身識】謂身根若對觸塵即生身識身識生時但能覺觸而未起分別也。
【六意識】謂意根若對法塵即生意識意識生時即能於五塵之境分別善惡好醜也。

六種味(出阿毘達磨俱舍論)

謂凡調和飲食之味各有所宜無出此之六種雖進修道行之人不尚於味然滋益色力亦由於此所謂身安則道隆故有六味之須也。
【一淡味】淡薄味也味之淡者是受諸味之體也。
【二鹹味】鹹鹽味也其性潤能滋於肌膚故味之調者必以鹽為首。
【三辛味】辛辣味也其性熱能煖腑臟之寒故味之辣者為辛。
【四酸味】酸酢味也其性涼能解諸味之毒故味之酢者為酸。
【五甘味】甘甜味也其性和能和脾胃故味之甜者為甘。
【六苦味】苦苦味也其性冷能解腑臟之熱故味之冷者為苦。

六入(出法界次第)

入即趣入之義謂六根為六識所依能入六塵故名六入。
【一眼入】謂眼根為識所依能入於色故名眼入。
【二耳入】謂耳根為識所依能入於聲故名耳入。
【三鼻入】謂鼻根為識所依能入於香故名鼻入。
【四舌入】謂舌根為識所依能入於味故名舌入。
【五身入】謂身根為識所依能入於觸故名身入。
【六意入】謂意根分別五塵能入於法故名意入。

六塵(出涅槃經)

塵即染污之義謂能染污情識而使真性不能顯發涅槃經中稱此六塵名六大賊以能劫奪一切善法故也。
【一色塵】謂青黃赤白之色及男女形貌色等是名色塵。
【二聲塵】謂絲竹環佩之聲及男女歌詠聲等是名聲塵。
【三香塵】謂栴檀沉水飲食之香及男女身分所有香等是名香塵。
【四味塵】謂種種飲食肴饍美味等是名味塵。
【五觸塵】觸即着也謂男女身分柔軟細滑及妙衣上服等是名觸塵。
【六法塵】謂意根對前五塵分別好醜而起善惡諸法是名法塵。

六種力(出增一阿含經)
【一小兒啼為力】謂小兒欲有所求不能言語唯事啼哭故名小兒啼為力。
【二女人瞋為力】謂女人柔弱有所爭說必依瞋恚而起故名女人瞋為力。
【三沙門忍為力】梵語沙門華言勤息謂沙門常以忍辱為心而能禦諸惡境無所瞋恚故名沙門忍為力。
【四國王憍慢為力】謂國土威勢尊重天下歸伏故名國王憍慢為力。
【五羅漢專精為力】羅漢梵語具云阿羅漢華言無學謂羅漢修行精進勇猛心不放逸故名羅漢專精為力。
【六諸佛慈悲為力】佛梵語具云佛陀華言覺謂佛運慈悲之心弘益一切眾生無所障礙故名諸佛慈悲為力。
六種夢(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一正夢】正夢者謂內心無所感動而自形於夢也。
【二噩夢】噩夢者謂因內心有所驚愕而形於夢也(噩韻會作愕)。
【三思夢】思夢者謂因內心有所思惟而形於夢也。
【四寤夢】寤夢者謂因晝有所見夜則形於夢也。
【五喜夢】喜夢者謂因內心有所欣喜而形於夢也。
【六懼夢】懼夢者謂因內心有所怖懼而形於夢也。
六種身風(出顯宗論)
【一入息風】謂諸眾生處胎卵位時先於臍中有業風起穿身成穴如藕根莖復有外風漸從口鼻相續而入名入息風。
【二出息風】謂入息風適至身內有風續出名出息風。
【三發語風】謂風從臍中生流轉衝喉皷動唇舌由此勢力而能發聲名發語風。
【四除棄風】謂有別風蠲內穢物心生苦受欲除棄之以風引出因此風力令身安穩名除棄風。
【五隨轉風】謂有別風徧隨身支諸毛孔轉名隨轉風。
【六動身風】謂身動轉皆屬於風名動身風。
捨由六緣(舊名捨心由六出俱舍論)
【一由受心斷壞故捨】謂心先受一切惡法今或得戒得定作是念言我從今時棄先所受是名由受心斷壞故捨。
【二由勢力斷壞故捨】謂由淨信力故煩惱勢力自然斷壞如弓放箭勢力盡時便止是名由勢力斷壞故捨。
【三由作業斷壞故捨】謂如所受惡法作諸惡業由改悔故後更不作是名由作業斷壞故捨。
【四由事物斷壞故捨】謂所施諸物及所施為等事皆悉斷壞無常是名由事物斷壞故捨。

【五由壽命斷壞故捨】謂所依壽命有斷壞故是名由壽命斷壞故捨。
【六由善根斷壞故捨】謂起加行斷壞欲界一切非色善法是名由善根斷壞故捨(非色善法者謂非色界善法乃欲界之善法根斷即上生色界也)。
六種論(出瑜伽師地論)
謂決擇是非議論得失故名為論。
【一言論】謂以一切言說決擇是非辯論得失故名言論。
【二尚論】尚高也尊也謂世間一切事理隨所尊尚隨所應聞決擇是非辯論得失故名尚論。
【三諍論】諍止也謂以言論互止其失也或因諸欲更相侵奪而起或因身口惡行互相譏毀而起或因有無等見彼此執着而起皆由未離欲界貪瞋癡惑堅執縛着更相發忿而起鬪諍興種種論故名諍論。
【四毀謗論】謂人懷恨發憤或以麤惡語或以不遜語或以不實語等更相毀謗故名毀謗論。
【五順正論】謂人隨順正法為諸眾生研究義理決擇是非令斷疑惑故名順正論。
【六教導論】教即教訓導即導引謂決擇是非辯論得失教導於人令其開悟真實之智心未定者令心得定心已定者令得解脫故名教導論。
僧用六物(出僧祇律并翻譯名義)
【一僧伽黎】梵語僧伽黎華言合又云重謂割之合成而重疊也此衣於說法時着。
【二欝多羅僧】梵語欝多羅僧華言上着衣謂加於安陀會之上也此衣於入眾禮誦時着。
【三安陀會】梵語安陀會華言中宿衣謂於宿睡及作務時着。
【四漉水囊】會正記云西方用白氎東土宜用密絹若是生絹小虫直過可取熟絹為之此護生之具故比丘用之(梵語比丘華言乞士)。
【五鉢多羅】梵語鉢多羅華言應器發軫鈔云應法之器也謂體色量三者皆須與法相應體有二泥及鐵也色者熏作黑赤色或孔雀咽色鴿色量者大受三斗小受一斗半故名應器。
【六尼師壇】梵語尼師壇華言坐具或云坐衣業疏云長四尺廣三尺是也。
七佛(出翻義名義)
七佛者謂過去莊嚴劫中三佛現在賢劫中四佛也(劫梵語具云劫波華言分別時節莊嚴劫者謂此劫中多所莊嚴也賢劫者謂此劫卜多賢人也)。
【一毘婆尸佛】梵語毘婆尸華言有四以其如月圓智滿則云徧見魄盡惑亡則云淨觀既圓且淨則云勝觀勝見是為七佛之首也。
【二尸棄佛】梵語尸棄華言火又云持髻謂無分別智最為尊上處於心頂也過毘婆尸佛三十劫後而成正覺(無分別智者即根本智謂為眾智之本也)。

【三毘舍浮佛】梵語毘舍浮華言徧一切自在謂煩惱斷盡於一切處無不自在而為莊嚴劫中千佛之最後一佛也(煩惱者無明也)。
【四拘留孫佛】梵語拘留孫華言所應斷謂斷一切煩惱永盡無餘於賢劫中第九減劫人壽減至六萬歲時出世成佛為千佛首。
【五俱那含牟尼佛】梵語俱那含牟尼華言金寂謂金則明現寂則無礙也大智度論又名迦那迦牟尼華言金仙人謂身金色故也人壽減至四萬歲時於閻浮提出世成佛(梵語閻浮提華言勝金洲)。
【六迦葉佛】迦葉梵語具云迦葉波華言飲光謂身光顯赫能飲蔽一切光明故也人壽減至二萬歲時出世成佛。
【七釋迦牟尼佛】梵語釋迦牟尼華言能仁寂默能仁是姓寂默是字以寂默故不住生死以能仁故不住涅槃悲智雙運利物無窮故立此號也人壽減至一百歲時出世為賢劫中第四佛。
婆伽婆七義(出涅槃經)
婆伽婆者總萬德至極之名也經云婆伽婆具此七義不翻華言者多含義故即五種不翻之一也(五種不翻者秘密不翻多含義不翻此方無不翻順古不翻生善不翻)。
【一能破煩惱】破者裂斷也煩惱者昏煩之法惱亂心神也謂如來斷諸煩惱乃至無明之惑淨盡無餘故云能破煩惱。
【二能成就諸善法】謂如來於往昔無量劫中恭敬父母和尚諸師上座乃至脩行六度四無量等一切善法故云能成就諸善法(劫梵語具云劫波華言分別時節六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也四無量者慈無量悲無量喜無量捨無量之四心也)。
【三善解諸法義】謂如來於無量劫中脩習信進念定慧善根常為法利不為食利若讀若誦而於諸法義理無不通達曉了故云善解諸法義(信進念定慧名為五根亦名五力謂信則信於正道助道之法進則於正助之道精進勤脩也念則觀想思念正助之道也定則攝心在定慧則內性自照也)。
【四有大功德無能勝】謂如來於無量劫常脩出世間心及出家心無為之心無諍訟心而能成就無上大菩提心故云有大功德無能勝(梵語菩提華言道)。
【五有大名聞遍十方】謂如來能具十力四無所畏常樂我淨之德大千世界無不聞知故云有大名聞遍十方也(十力者是處非處智力過現未來業報智力諸禪解脫三昧智力諸根勝劣智力種種解智力種種界智力一切至處道智力天眼無礙智力宿命無漏智力永斷習氣智力也四無所畏者一切智無所畏漏盡無所畏說障道無所畏說盡苦道無所畏也常樂我淨者不遷不變名常離生死苦名樂自在名我惑盡名淨也)。
【六能種種大惠施】謂如來於無量劫中常為眾生而行布施乃至衣服珍寶頭目髓腦無所悋惜故云能種種大惠施。

【七無量阿僧祇劫吐女根】梵語阿僧祇劫華言無數時吐者不受之義即出離也謂如來於初阿僧祇劫尸棄佛時已離女身永不復受故云吐女根也(梵語尸棄華言火又云持髻)。

如來七勝事(出優婆塞戒經)

【一身勝】謂如來身真金色相好光明而自莊嚴一切無比眾生樂見無有厭足是名身勝。

【二法住勝】謂如來既於諸法自得利益住於真如法位又復憐愍一切眾生皆欲令其安住於此與己無異是名法住勝(真如法位者謂一切諸法皆以真如理性而為位也)。

【三智勝】謂如來所具智慧無量無邊非諸聲聞緣覺所及是名智勝。

【四具足勝】謂如來於行命戒見四者無不具足非諸聲聞緣覺所及是名具足勝(行者六度梵行即布施持戒忍辱精進禪定智慧也命者清淨正命也戒者大小戒品也見者清淨正見也)。

【五行處勝】謂如來所脩百千三昧九種大禪一切勝行具足圓滿非諸聲聞緣覺菩薩所及是名行處勝(梵語三昧華言正定九種大禪者自性禪一切禪難禪一切門禪善人禪一切行禪除煩惱禪此世他世禪清淨淨禪也菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【六不可思議勝】謂如來所有神通道力萬行圓成諸法具足聲聞緣覺菩薩不能測其少分是名不可思議勝。

【七解脫勝】解脫者離諸繫縛自在無礙也謂如來一切煩惱惑業淨盡無餘自在無礙超勝一切故名解脫勝。

七種無上(出菩薩地持經)

【一身無上】謂如來以三十二相八十種好莊嚴其身世出世間無有超過其上是名身無上也(三十二相者足下安平相千輻輪相手指纖長相手足柔軟相手足縵網相足跟滿足相足趺高好相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如師子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相四牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色如金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也八十種好一指爪狹長二手足指圓三手足各等無差四手足圓滿五筋脉盤結六兩踝深隱七行步正直八行步威容齊整九行步安平十行步有儀十一回身[(厂@((既-无)-日+口))*頁]視十二支節殊勝十三骨節交結十四膝輪圓滿十五隱處妙好十六身支潤滑十七身容教肅十八身支堅固十九身支安定二十身相端嚴二十一身有圓光二十二腹形方正二十三臍深右旋二十四臍厚妙相二十五肌膚勻淨二十六手掌充滿二十七手文深長二十八唇色紅潤二十九面門圓滿三十舌相長廣三十一發聲威震三十二音韻美妙三十三鼻高脩直三十四諸齒方整三十五諸牙明潔三十六目廣清淨三十七眼相脩廣三十八眼睫齊整三十九雙眉脩長四十雙眉綺靡四十一雙眉高朗四十二耳厚脩長四十三兩耳相好四十四容儀端麗四十五額廣圓滿四十六身分殊勝四十七首髮脩長四十八首髮香潔四十九首髮齊整五十首髮堅固五十一首髮光滑五十二身分堅實五十三身體莊嚴五十四諸竅清

淨五十五身力充美五十六身相嚴好五十七面輪脩廣五十八顏貌舒泰五十九面顏光澤六十身支嚴淨六十一毛孔出香六十二面門出香六十三首相妙好六十四身毛纖柔六十五法音圓辯六十六頂相高妙六十七指網分明六十八行不履地六十九神力自持七十威德遠震七十一音聲和雅七十二觀機說法七十三一音演說七十四次第說法七十五等觀有情七十六先觀後作七十七相好具足七十八頂骨堅實七十九顏容奇妙八十胸臆妙好)。

【二道無上】謂如來以慈悲之道自利利他度脫無量無邊諸天世人世出世間無有超過其上是名道無上也。

【三見無上】謂如來以正戒正見正威儀正命之法成就其身如此之見世出世間無有超過其上是名見無上也。

【四智無上】謂如來具法無礙智義無礙智辭無礙智樂說無礙智故能遍知一切諸法辯說融通了無凝滯世出世間無有超過其上是名智無上也(法無礙者謂通達諸法分別無滯也義無礙者謂了知諸法義理通達無滯也辭無礙者謂於諸法義理隨順眾生為其演說也樂說無礙者謂隨順眾生所樂聞法而為說也)。

【五神力無上】謂如來神通之力不可思議世出世間所有神力無有超過其上是名神力無上也。

【六斷障無上】謂如來能斷一切煩惱業障永盡無餘世出世間無有超過其上是名斷障無上也。

【七住無上】謂如來本住大寂滅定而復有三種住一者住聖人之位二者多於天中住三者多於淨土中住世出世間無有超過其上是名住無上也。

如來有七種語(出涅槃經)

【一因語】謂如來於現在因中說未來果如云眾生樂殺乃至樂行邪見以此為因是人當受地獄果報若不樂殺生乃至不行邪見以此為因是人當受天人果報是名因語。

【二果語】謂如來於現在果中說過去因如云貧窮眾生顏貌醜陋不得自在此之果報皆由是人前世破戒嗔妬無有慚愧之心而為其因若見眾生多財巨富諸根完具威德自在此之果報皆由是人前世持戒布施精勤慚愧無有嗔妬之意而為其因是名果語。

【三因果語】謂如來說眾生現在六入觸等之果乃由過去之業為因如來亦說六入觸等能起惑業為未來之因而招未來之果是名因果語(六入者眼入色耳入聲鼻入香舌入味身入觸意入法也)。

【四喻語】謂如來說法為眾生根鈍非由譬喻則不能領解如師子王以喻佛身乃至大象王大龍王波利質多羅樹七寶聚大海須彌山舡師導師若是等喻皆名喻語(梵語波利質多羅華言圓生以其枝葉四布也七寶者金銀琉璃玻黎硨磲瑪瑙赤真珠也梵語須彌華言妙高)。

【五不應語】謂如來說法必依真俗二諦之理真則言一切法離性離相皆即中道俗則言世間出世間之法法法宛然不可斷滅如是說者無不於

理相應言不應者如云天地可合河不入海如是等說於理不應故名不應語。

【六世流布語】謂如來隨順眾生凡所演說即同世間流布之語如說男女大小車乘房舍乃至城邑僧坊之類是名世流布語。

【七如意語】謂如來於諸眾生凡所教誡悉如其意方便而說如云我所訶責毀禁之人令彼自責護持禁戒乃至說諸眾生悉有佛性為令不放逸故之類是名如意語。

周行七步(出涅槃經)

周者周帀四方上下四維也經云如來於閻浮提林微尼園示現從毋摩耶而生生已即周行七步唱如是言我於天人阿修羅中最尊最上父母人天見已驚喜生希有心而諸人等謂是嬰兒而我此身無量劫來久離是法如來身者即是法身非是肉血筋脉骨髓之所成立隨順世間眾生法故示為嬰兒也(梵語閻浮提華言勝金洲梵語林微尼或云藍毘尼華言解脫處摩耶梵語具云摩訶摩耶華言大術佛母也梵語阿修羅華言無端正嬰兒者小兒也劫梵語具云劫波華言分別時節)。

【一南行七步】南行七步者示現欲為無量眾生作上福田故也。

【二西行七步】西行七步者示現生盡永斷老死是最後身故也。

【三北行七步】北行七步者示現已度諸有生死故也。

【四東行七步】東行七步者示為眾生而作導首故也。

【五四維行七步】四維者東南東北西南西北也四維行七步者示現斷滅種種煩惱四魔種性成於如來應正遍知故也(四魔者天魔陰魔死魔煩惱魔也正遍知者即如來十號之一也)。

【六上行七步】上行者謂升虛空而行也上行七步者示現不為不淨之物之所染污猶如虛空故也。

【七下行七步】下行者謂從虛空而下也下行七步者示現法雨滅地獄火令彼眾生受安隱樂為毀禁戒者示作霜雹而能淨洗其故也。

華嚴七處說(出華嚴經隨疏演義鈔)

華嚴者因行如華莊嚴果德也七處者佛說華嚴經之處也所謂人間三處即菩提場普光明殿逝多林天上四處即忉利天夜摩天兜率天他化天也。

【第一處菩提場】梵語菩提華言道謂佛在摩竭提國阿蘭若菩提場中始成正覺於此處說如來依正果報法門共六品經一世主妙嚴品二如來現相品三普賢三昧品四世界成就品五華藏世界品六毘盧遮那品也(梵語摩竭提華言善勝又云無惱梵語阿蘭若華言閑靜處菩提場者如來成道之場也)。

【第二處普光明殿】普光明殿者謂其殿眾寶所成光明映照也又佛於中說法普放光明故也此處凡三番聚會共說十八品經初於此處說十信等法門共六品經一如來名號品二四聖諦品三光明覺品四菩薩問明品五淨行品六賢首品次於此處說等覺法門凡十一品經一十定品二十通

品三十忍品四阿僧祇品五壽量品六菩薩住處品七佛不思議品八十身相海品九如來隨好光明品十普賢行品十一如來出現品後於此處說離世間法即經中離世間品也。

【第三處忉利天】梵語忉利華言三十三即須彌山頂帝釋所居之處也此處說十住等法門共六品經一升須彌山品二山頂偈讚品三十住品四梵行品五發心功德品六明法品也(梵語須彌華言妙高帝釋梵語釋提桓因華言能天主今言帝釋者華梵双舉也)。

【第四處夜摩天】梵語夜摩華言善時謂此天時時唱快樂故也此處說十行等法門共四品經一升夜摩天品二夜摩偈讚品三十行品四十無盡藏品也。

【第五處兜率天】梵語兜率華言知足謂於五欲境上知止足故也此處說十回向等法門共三品經一升兜率天品二兜率偈讚品三十回向品也(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。

【第六處他化天】他化者諸欲樂境不勞自化皆由餘天所化而自在受用故也此處說十地法門即經中十地品也。

【第七處逝多林】梵語逝多華言勝林即給孤獨園此處說入法界法門即經中入法界品也(給孤獨園者即給孤長者買祇陀太子之園以奉佛也)。

華嚴經題七字義(出華嚴經大疏第三卷)

【一大】大即當體得名常徧為義謂曠兼無際體不變易竪窮三際橫亘十方也(三際者即過去現在未來三世也)。

【二方】方即就法得名軌持為義謂雙持體相十界常規能令一切眾生師軌而生解也(雙持體相者體即是性謂持性與相也十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界修羅界餓鬼界畜生界地獄界也)。

【三廣】廣即從用得名包博為義謂稱性而周用無有盡包容法界普遍十方也。

【四佛】佛即就人得名覺照為義謂覺斯玄妙開解一切悟大夜之重昏朗萬法之幽邃也。

【五華】華即從喻得名感果嚴身為義謂行敷榮心華開覺萬行圓成眾德備體也。

【六嚴】嚴即功用得名資粧為義謂曠劫脩成眾法悉備資廣大之體用粧真應之佛身也(劫梵語具云劫波華言分別時節)。

【七經】經即能詮得名貫攝為義謂蘊無窮之性相注無竭之湧泉貫玄凝之妙義攝無邊之海會也。

觀心釋華嚴經題七字(出華嚴經疏)

【一大是心體】大即常也徧也体即心體也謂此心體含容法界稱性周遍平等廣博不變不遷無外無際故云大是心體。

【二方是心相】方即方法相即軌持也謂無邊法相恒沙性德皆由此心軌持含攝故云方是心相。

【三廣是心用】廣即包博用即業用也謂此心業用廣博無際而能出生萬法應用無盡故云廣是心用。
【四佛是心果】佛即覺也果即菩提之果也謂能離諸煩惱覺了萬法具一切智而得無上菩提乃是證此心之果非從外得故云佛是心果(梵語菩提華言道)。
【五華是心因】華即喻也因即行也謂以種種萬行之因華皆由此心而能開覺故云華是心因。
【六嚴是心功】嚴即莊嚴功即功用也謂能以萬行因華莊嚴法身果體皆由此心運用之功故云嚴是心功。
【七經是心教】經即能詮之名教即言量也謂於一文一句諸法眾理行布圓融地位法門皆由此心詮量該通故云經是心教。
七種立題(出天台四教儀集註)
陏天台智者大師謂一大藏經題不出人法譬三者而已因以單複具足不同遂立為七種也。
【一單人立題】單人者如佛說阿彌陀等經是也謂釋迦佛為能說之人阿彌陀佛為所說之人此經以兩土果人立名故云單人立題(梵語釋迦華言能仁梵語阿彌陀華言無量壽兩土果人者釋迦佛為娑婆國土之果人彌陀佛為極樂國土之果人也)。
【二單法立題】單法者如大般涅槃等經是也謂大般涅槃以法立名故云單法立題(梵語般涅槃華言滅度謂大患永滅超度生死是究竟之法也)。
【三單譬立題】譬者比喻之義如梵網等經是也謂梵網以譬喻立名故云單譬立題(梵網者謂梵天寶網其目不同以譬戒律之目亦各各不同也)。
【四人法立題】人法者如文殊問般若等經是也謂文殊是人般若是法以二者合言故云人法立題(文殊梵語具云文殊師利華言妙德梵語般若華言智慧)。
【五法譬立題】法譬者如妙法蓮華等經是也謂妙法是法蓮華是譬以二者合言故云法譬立題。
【六人譬立題】人譬者如如來師子吼等經是也謂如來是人師子是譬以二者合言故云人譬立題。
【七具足立題】具足者如大方廣佛華嚴等經是也謂大方廣是法佛是人華嚴是譬也以三者具足故云具足立題。
法華七喻(出法華文句)
【一火宅喻】火譬眾生五濁等苦宅譬三界謂三界眾生為五濁八苦之所煎逼而不得安隱猶大宅被火所燒而不能安居故以火宅為喻也(五濁者劫濁見濁煩惱濁眾生濁命濁也三界者欲界色界無色界也八苦者生苦老苦病苦死苦愛別離苦怨憎會苦求不得苦五陰盛苦也)。
【二窮子喻】謂二乘之人無大乘功德法財之所莊嚴猶貧窮之子缺乏衣食之資以活身命故以窮子為喻也(二乘者聲聞乘緣覺乘也大乘功德法財者

即六度萬行也)。
【三藥草喻】藥草者譬三乘人根性也草有三種謂小草中草大草小草喻天人中草喻聲聞緣覺大草喻藏教菩薩藥草雖有大小不同若蒙雲雨霑潤皆得敷榮鬱茂能治眾病以喻三乘之人根器雖高下不同若蒙如來慈雲法雨潤澤則能成大醫王普救羣品故以藥草為喻也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
【四化城喻】無而忽有名化防非禦敵名城以喻涅槃能防見思之非禦生死之敵也謂如有人欲至寶所而於中途退還有聰慧導師權化作城暫止息然後令其得至寶所以譬二乘之人初聞大教中即忘失流轉生死故世尊權設方便令其先斷見思煩惱而暫證真空涅槃以為穌息然後到於究竟寶所故以化城為喻也(梵語涅槃華言滅度見思者謂意根對法塵起諸分別曰見眼耳鼻舌身五根對色聲香味觸五塵起諸貪愛曰思也寶所者喻實相之理即究竟大涅槃也)。
【五衣珠喻】衣珠者衣中之珠也謂如有人至親友家醉酒而臥親友即以寶珠繫其衣內而不覺知自受貧苦後因親友告言汝身衣內自有無價寶珠何為衣食乃至如是其人於是得珠受用無極以喻二乘之人昔於大通佛所曾下大乘之種因無明所覆不能覺了後因如來方便開示遂乃得證大乘之果利樂無窮故以衣珠為喻也。
【六髻珠喻】髻珠者輪王髻中之珠也輪王喻如來髻喻二乘權教珠喻一乘實理珠在髻中猶實理為權所隱也此謂如來於法華會上開權顯實授記二乘而得作佛猶輪王解髻中之珠以與功臣故以此為喻也。
【七醫子喻】醫喻如來子喻三乘人也謂諸子無知飲他毒藥心即狂亂父設方便令服好藥以瘥其病此譬三乘之人信受權教不得正道如來設諸方便令服大乘法藥速除苦惱無復眾患故以醫子為喻也。
大明三藏法數卷第二十一

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

七處徵心(出楞嚴經)

七處徵心者佛於楞嚴會上徵詰阿難心目所在之處也此由阿難遭摩登伽之幻術佛勅文殊將呪往護提獎阿難歸來佛所佛問其發心出家之始阿難以見佛勝相而答佛遂徵其心目所在阿難答以目在外而心在內及佛徵其心不在內又計之在外如是展轉窮逐徵詰至於無所著處使其妄心無所依止蓋由阿難不知妙淨明心徧一切處無在無不在而妄認緣塵分別影事以為心相佛欲破其妄想緣心顯其妙淨明體故有七處徵心之說也(梵語阿難華言慶喜梵語摩登伽華言本性文殊梵語具云文殊師利華言妙德)。

【一在內】在內者謂阿難因佛徵問心目所在阿難答云心居身內目在於外佛遂問云汝心若在身內則應先見身中心肝脾胃 等物然後能見外境若不先見身中之物汝心豈在身內故云汝言覺了能知之心住在身內無有是處。

【二在外】在外者謂阿難被佛徵心非內則又計之於外故以燈光譬之謂眾生心在身外不見身中如燈光在室外不能照於室內也佛又問云汝心若在身外則身心兩異各不相知若相知者云何在外故云汝言覺了能知之心住在身外無有是處。

【三潛根】潛根者謂阿難被佛徵心非外則又計為潛伏根裏(根謂眼根)故以瑠璃籠眼為喻謂眼合於心如瑠璃籠於眼上若眼見物時心即隨能分別無有障礙如瑠璃合眼不礙於見物也佛乃責其法喻不齊汝若以瑠璃喻眼則眼亦可見眼若可見即同於境矣眼若同境則心境各異豈可云心潛伏根內隨即分別耶故云汝言覺了能知之心潛伏根裏無有是處。

【四在暗內】在暗內者謂阿難被佛徵詰心不在根裏則又計云諸眾生身腑藏在中竅穴居外如我今者開眼見明為見外閉眼見暗為見內佛乃問其汝當閉眼見暗之時此暗境界與眼對否若與眼對暗在眼前云何成內若不對者云何成見故云汝言見暗名見內者無有是處。

【五隨所合處】隨所合處者謂阿難被佛徵詰不在暗內則又計之隨所合處心則隨有佛乃問云汝言隨所合處心隨有者是心無體則無所合心若有體則汝以手自捺其身汝心必能知覺此知覺心為復內出為從外來若於內出則見身中若從外來先合見面既非內外則無出入出入既無體性何有若無有體誰為隨合故云隨所合處心隨有者無有是處。

【六在中間】在中間者謂阿難被佛徵詰心非隨所合處而有則又計心在於根塵中間佛又問云汝心若在根塵之中此之心體為復兼於根塵為不兼於根塵若兼於根塵則根有知而塵無知成敵兩立云何為中若不兼

者不屬根塵即無體性中何有相故云當在中間無有是處(成敵兩立者謂根與塵而成敵對有知與無知而成兩立也)。

【七無著】無著者謂阿難被佛徵詰心不在中間則又計之一切無著名之為心佛又問云汝言不著名為心者如世間虛空水陸飛行一切物像汝心不著此等物像為有為無若言無者則同龜毛兔角云何更有不著之物而言不著若言有者物在則心亦在云何無著故云一切無著名覺知心無有是處。

大乘七種大義(出大乘莊嚴經論)

【一緣大】謂菩薩修行大乘之法由無量修多羅廣大法義而以為緣故名緣大(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語修多羅華言契經)。

【二行大】謂菩薩修行大乘既能自利復能利他自利利他妙行具足故名行大。

【三智大】謂菩薩修行大乘常以智慧觀察了知人法無我於一切境善能分別故名智大。

【四勤大】謂菩薩修行大乘由曠大劫來發廣大心精修無間期登聖果成就菩提故名勤大(劫梵語具云劫波華言分別時節梵語菩提華言道)。

【五巧大】謂菩薩修行大乘由善巧方便化導於他不捨生死垂形諸趣於生死中去住自在故名巧大。

【六畏大】畏即無所畏也謂菩薩修行大乘智力內充明了決定於大眾中廣說一切法義既決定無失則無所恐懼故名畏大。

【七事大】謂菩薩修行大乘為令一切眾生了其大事因緣故數數示現世間演大妙法入大涅槃故名事大(梵語涅槃華言滅度)。

大乘七善(出法華文句)

夫七善之法乃通大小今依法華所明是圓頓大乘之七善也。

【一時節善】謂法華一經具乎序正流通三分即初善中善後善也蓋如來演說圓頓一乘之法雖該序正流通皆是當機得益之時是名時節善。

【二義善】謂法華一經所說之法其義深遠即是頓教了義之理非聲聞緣覺所能測其邊底是名義善。

【三語善】謂法華一經所說之法其語巧妙乃如來金口梵音會理直說菩薩之心無不歡喜即圓頓一乘妙教之文是名語善。

【四獨一善】謂法華一經所說之法純一無雜獨為菩薩不共二乘即圓頓一乘妙教是名獨一善(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。

【五圓滿善】謂法華一經所說之法具明世間出世間滿足之理即圓頓一乘妙教是名圓滿善。

【六調柔善】謂法華一經所說之法清淨潔白唯談中道之理而無空假二邊瑕穢之相即圓頓一乘妙教調和柔順是名調柔善。

【七無緣慈善】謂法華一經所說之法備有梵行之相即無緣慈也言無緣者心不攀緣一切眾生而於一切眾生自然現益是名無緣慈。

七種性自性(出入楞伽經)
性即不遷變之義此不遷變性是如來之自性故云性自性(雖有七種之名不出如來第一義心也)。
【一集性自性】集即聚也其性自性乃是萬善聚集之因也此約聖而論故經云即三世如來性自性第一義心也。
【二性自性】謂由前第一義心所集萬善之因各有自性存於內故是名性自性。
【三相性自性】覽而可別曰相謂由前第一義心所集萬善之因各有自相形於外故是名相性自性。
【四大種性自性】大種即地水火風四大之種子也無處不有故名為大言大種性自性者謂四大種各有自性也大種本通凡聖今約聖報而言即此大種性自性是法性五陰之果是名大種性自性(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也言法性五陰者謂如來轉生死五陰而成法性五陰蓋即色是真常之色乃至即識是真常之識是也)。
【五因性自性】因即能生為因謂前所證大種之果必有所起之因即是第一義因心也是名因性自性。
【六緣性自性】緣即緣助謂證第一義自性果德雖由因心須假眾緣助顯而成是名緣性自性(因心者即因中智慧之心也眾緣者即萬行也)。
【七成性自性】成即成就謂因緣合而成果也蓋成就如來第一義果德之性是名成性自性。
七空(出人楞伽經)
由凡夫執著妄想自性故如來為說空法以破之諸經所說空義不一今言七種者乃赴一時之機如應病與藥也。
【一相空】謂一切諸法之性自他共離之相皆空是為相空(一切性者即自他共離之四性也謂如計一念心從根生即自性從塵生即他性根塵合生即共性離根塵生即離性於此四性之相皆不執著是名皆空)。
【二性自性空】謂於當念觀一切所生之法悉由因緣和合而成本無自生之性是為性自性空。
【三行空】謂五陰之身本無有我亦無我所眾生不了執陰成我從我起行若能順性推求則五陰之法了不可得是為行空(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也我者謂於五陰中強立主宰執之為我也我所者即五陰之身是也)。
【四無行空】謂不離前所作行而能了達諸陰展轉緣起無有自性可得亦無所作之行是為無行空。
【五一切法離言說空】謂一切法皆是妄想而成本無自性離諸言說是為一切法離言說空。
【六第一義聖智大空】謂佛自覺聖智能空一切見過習氣所空既空能空亦空是為第一義聖智大空(自覺聖智者佛所證第一義心也見過者一切見惑之過失也習氣者即見過餘習之氣分也)。

【七彼彼空】謂彼外道所計之空但能空於彼而不能空於此是為彼彼空(空於彼而不能空於此者謂能空於境而不能空於心也)。

七種第一義境界(出入楞伽經)

七種境界者即諸佛菩薩所證所得之境界也而皆云第一義者乃約究竟極處而言然此七種有通別之異前六種通於佛及菩薩後一種乃如來自到境界也。

【一心境界】謂中道之理無二無別即諸佛菩薩心之所造至極之處是名心境界。

【二慧境界】謂至極之理心既能造即發通明慧性以此慧性分明照了是名慧境界。

【三智境界】謂既發慧明則成智用智力現前於一切法無所不知是名智境界。

【四見境界】謂智用既成則發正見正見現前則無諸邪妄是名見境界。

【五超二見境界】謂正見現前則能超過斷常二見是名超二見境界(斷常二見者謂外道妄計此身滅已再不更生是名斷見復計此身滅已後當更生是名常見也)。

【六超子地境界】子地即登地菩薩等視眾生猶如一子謂諸佛菩薩能以第一義心發明智慧正見現前則超於十地而成正覺是名超子地境界(十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地菩薩得證此地能發生佛法故言地也)。

【七如來自到境界】謂諸如來以性自性第一義心成就世間出世間上上之法是名如來自到境界(如來性自性者性即不遷不變之義謂如來以此之性而為自性也成就世間出世間者世間即示同人法而化他也出世間即同聲聞緣覺菩薩之三乘也上上法者唯佛與佛能究竟自到也)。

七真如(出瑜伽師地論)

【一流轉真如】流轉即運動之義真如者真名不偽如名不異也謂諸眾生造作一切行業流轉生死而真如之體本無動搖然亦不妨隨緣轉變論云一切行無先後性是也(無先後性者謂於一切行業不離真如之理性故也)。

【二實相真如】無虛妄相故名實相謂一切法中無人法二執也人執者於諸法中計著假名執以為我法執者於五陰身執為實法計我所有若能了此二執皆空即是實相真如之理也論云一切法補特伽羅無我性及法無我性是也(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也梵語補特伽羅華言人又云數取趣)。

【三唯識真如】識即心也謂一切行業皆由識心而起而此識心全由真如之理變現是名唯識真如論云了別一切行唯是識性是也。

【四安立真如】安立即建立之義謂如來所說一切眾生色身業行有為之法迷真逐妄受生死苦皆依真如之體建立是名安立真如論云我所說諸苦聖諦是也(苦聖諦者聖正也諦即審實不虛之義謂諦了生死實是苦也)。

【五邪行真如】謂如來所說一切煩惱妄惑邪行之法雖是邪妄不離真如之體是名邪行真如論云我所說諸集聖諦是也(集聖諦者集即招集之義謂惑業招集生死之苦也)。
【六清淨真如】清淨者不垢不染之義謂如來所說涅槃清淨寂滅之理本無染污是名清淨真如論云我所說諸滅聖諦是也(梵語涅槃華言滅度滅聖諦者謂滅生死之苦而證涅槃寂滅之樂也)。
【七正行真如】謂如來所說一切道品正行之法皆依真如理體而立是名正行真如論云我所說諸道聖諦是也(道品者即三十七道品總而言之不出戒定慧也道聖諦者道即能通之義謂修道品而能通至涅槃也)。
七常住果(出楞嚴經)
常住者無滅無生不遷不變之謂也果者在修曰因在證曰果謂此七種即諸佛所證法身之果德也以其清淨圓滿體性堅凝皆名常住果也。
【一菩提】梵語菩提華言道即諸佛所得清淨究竟之理也以其無滅無生不變不遷是為常住果。
【二涅槃】梵語涅槃華言滅度即如來所證究竟法身之果以其無滅無生不遷不變是為常住果。
【三真如】離妄曰真不異曰如即諸佛所證真實無妄之德以其無滅無生不遷不變是為常住果。
【四佛性】佛性者覺性也即諸佛所證真覺湛明之性無染無淨離過絕非以其無滅無生不遷不變是為常住果。
【五菴摩羅識】梵語菴摩羅華言清淨又云白淨無垢此識即諸佛清淨本源心體湛若太虛纖塵不立非生死之所拘非涅槃之能寂以其無滅無生不遷不變是為常住果。
【六空如來藏】空如來藏者含攝萬法而無所積聚也即諸佛所證清淨法身之體煩惱湯盡應用無窮以其無滅無生不遷不變是為常住果。
【七大圓鏡智】大圓鏡智者洞照萬法無所不知即諸佛所得本有圓明覺照之智應物無迹體不動搖以其無滅無生不遷不變是為常住果。
七辯(出華嚴經疏)
【一捷辯】謂菩薩智慧通達諸法名字分別無滯捷如影響故名捷辯(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二迅辯】謂菩薩明於事理心無疑暗善赴機緣隨問即答語言迅疾猶若懸河故名迅辯。
【三應辯】謂菩薩以一切文字名義莊嚴種種法語應時應機無有差異隨其所問應答無窮故名應辯。
【四無踈謬辯】謂菩薩隨一切眾生根性所樂聞法而為說之皆契真理無有差失故名無踈謬辯。
【五無斷盡辯】謂菩薩於一字中能說一切字一語中能說一切語一法中能說一切法相續連環不斷故名無斷盡辯。

【六多豐義味辯】謂菩薩能知名數事理其義無礙其味無窮答問辯說皆無有量故名多豐義味辯。
【七最上妙辯】謂菩薩所說諸法分別明了清徹遠聞聲如頻伽眾生樂聽最勝無比故名最上妙辯(頻伽梵語具云迦陵頻伽華言妙聲鳥)。
七種定名(出翻譯名義)
定即禪定也禪有二種一者世間禪二者出世間禪而定名不出此七種也(世間禪者即色界四禪無色界四無色定等也出世間禪者即七背捨八勝處等也)。
【一三摩呬多】梵語三摩呬多華言等引遠離沉掉曰等發生功德曰引謂能修此定則離諸煩惱而引發勝妙功德也(沉即昏沉掉即掉舉謂動也)。
【二三摩地】梵語三摩地華言等持又云正心行處謂眾生心行從無始來常曲不直能修此定心則端直安住一境而不動也。
【三三摩鉢底】梵語三摩鉢底華言等至謂能修此定正受現前大發光明慶快殊勝處染不染無有退轉也。
【四馱那演那】梵語馱那演那華言靜慮謂澄神息慮專思寂想也。
【五質多翳迦阿羯羅多】梵語質多翳迦阿羯羅多華言心一境性謂攝心一境策勵正勤而修習也。
【六奢摩他】梵語奢摩他華言止謂止息諸根惡不善法能滅一切散亂煩惱故也。
【七現法樂住】現法樂住者謂修習禪定離一切妄想身心寂滅現受法喜之樂而安住不動也(法喜者謂因聞法而得歡喜也)。
七方便(亦名七賢出天台四教儀集註)
方謂方法便謂便宜猶善巧也謂一切眾生欲出三界斷除煩惱惑業而證真空涅槃之理必先以此七種法門而為方便也(三界者欲界色界無色界也梵語涅槃華言滅度)。
【一五停心】停止也住也心即慮知心也謂眾生多貪者以不淨觀治之多嗔者以慈悲觀治之多散者以數息觀治之愚癡者以因緣觀治之多障者以念佛觀治之修此五法能止住五種妄心故名五停心(因緣觀者謂觀十二因緣也)。
【二別相念】別謂各別相謂行相念即觀也謂四念處觀身不淨觀受是苦觀心無常觀法無我四種行相各別不同故名別相念。
【三總相念】總相者以身受心法四種一念俱觀如觀身不淨則知受心法皆不淨乃至觀法無我則知身受心亦無我故名總相念。
【四煖位】煖者從喻立名以前別相總相念處觀於四諦之境能發相似之解伏煩惱惑得佛法氣分猶如鑽木求火火雖未現先得煖氣故名煖位(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也相似解者謂於真空之理雖未真證已有相似之解也)。
【五頂位】頂者謂修四諦法所得相似之解轉復增勝定觀分明在於煖位之上如登山頂觀望四方悉皆明了故名頂位。

【六忍位】忍者忍可也謂由前所得相似之解增進善根於四諦境堪忍樂欲故名忍位。
【七世第一位】世即世間也謂修四諦行至此漸見法性將入初果雖未得於聖道而於世間稱為第一故名世第一位(初果即須陀洹果也)。
七覺分(出法界次第)
覺即覺了謂覺了所修之法是真是偽也分即支分謂此七種法各有支[泳-永+(瓜-丶)]分齊不相雜亂故名七覺分亦名七覺支擇進喜三覺分屬慧除捨定三覺分屬定念覺分兼屬定慧故摩訶止觀云修此七覺即得入道是也。
【一擇法覺分】擇即揀擇謂用智慧觀察諸法之時善能簡別真偽而不謬取虛偽之法故名擇法覺分。
【二精進覺分】不雜名精無間名進謂修諸道法之時善能覺了不行無益苦行而於真正法中常能用心專一無有間歇故名精進覺分。
【三喜覺分】喜即懽喜謂心契悟真法得懽喜時善能覺了此喜不從顛倒法生住真法喜故名喜覺分。
【四除覺分】除即斷除謂斷除諸見煩惱之時善能覺了除去虛偽之法增長真正善根故名除覺分。
【五捨覺分】捨即捨離謂捨離所見念著之境善能覺了虛偽不實永不追憶故名捨覺分。
【六定覺分】定即禪定謂發禪定之時善能覺了諸禪不生煩惱妄想是名定覺分。
【七念覺分】念即思念謂修諸道法之時善能覺了常使定慧均平若心昏沉之時當念用擇法精進喜三覺分觀察諸法令不昏沉若心浮動之時當念用除覺分除身口之過非用捨覺分捨於觀智用定覺分入正禪定攝其散心令不浮動是名念覺分。
七知(亦名大乘七丈夫出涅槃經)
七知者謂佛於涅槃會上告諸菩薩住於大乘知七善法名具足梵行是也(梵語涅槃華言滅度菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【一知法】知法者謂知十二部經能詮之法也(十二部經者一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議十自說十一方廣十二授記也)。
【二知義】知義者謂知十二部經中一切文字語言所詮之義理也。
【三知時】知時者謂善知如是時中任修寂靜如是時中任修精進如是時中任修捨定如是時中任供養佛如是時中任供養師如是時中任修布施忍辱乃至般若等也(任者堪也當也)。
【四知足】知足者謂於飲食衣藥行住坐臥睡寤語默之類常知止足也。
【五知自】知自者謂自知我有如是信如是戒如是多聞如是捨如是慧如是正念如是善行皆悉明了也。

【六知眾】知眾者謂知如是等是剎利眾婆羅門眾居士眾沙門眾應知是眾如是行來如是坐起如是說法如是問答皆悉明了也(剎利梵語具云剎帝利華言田主王種也梵語婆羅門華言淨行梵語沙門華言勤息)。
【七知人尊卑】知人尊卑者人有二種一者信二者不信信者為善人知其為尊不信者為惡人知其為卑又如二乘之人但能自度不能度人知其為卑若菩薩之人不願自度但求度他而能以慈悲之心利益安樂一切眾生則知其為尊也(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
七淨華(出翻譯名義)
不染曰淨華乃對果而言即因中所修之行也謂二乘修習無漏之業以七種淨行為華而證道果故言七淨華也維摩經云定水湛然滿布以七淨華是也(二乘者聲聞乘緣覺乘也無漏業者謂修戒定慧之業不漏落三界生死也)。
【一戒淨華】戒淨華者謂攝律儀等戒即正語正業正命也謂二乘持守戒法攝身口意業若戒行清淨則道果自成也(攝律儀者謂一切戒法無不聚攝也正語正業正命者即身口意三業也正即不邪也若三業不邪則戒體清淨矣)。
【二心淨華】心淨華者即精進正念正定也謂二乘修習禪定當精勤正念若內心清淨則道果自成也。
【三見淨華】見淨華者即正見正思惟也謂二乘修無漏行常正思惟則正見現前若所見清淨則道果自成也。
【四斷疑淨華】斷疑淨華者即見道也謂初果須陀洹修無漏行觀斷除疑惑見道分明則內心清淨道果自成也(梵語須陀洹華言預流疑惑即見惑謂意根對法塵起諸分別也)。
【五分別淨華】分別淨華者謂二果斯陀含三果阿那今修無漏行斷除思惑於真空理善能分別則內慧清淨道果自成也(梵語斯陀含華言一來梵語阿那含華言不來思惑者謂眼耳鼻舌身五根對色聲香味觸五塵起諸貪愛也)。
【六行淨華】行淨華者謂二果三果修無漏行斷除思惑則智見分明慧行清淨道果自成也。
【七涅槃淨華】梵語涅槃華言滅度涅槃淨華者即無學道也謂四果阿羅漢既斷見思二惑無法可學知見清淨則涅槃之果自成也。
七財(出十誦律并未曾有因緣經)
財者信等七種出世間之法財也一切眾生行此七法資成道果故謂之財。
【一信財】信即信心謂信能決定受持正法以為成佛之資故名信財。
【二進財】進即精進謂未能見具諦理而一心精進求出離道以為成佛之資故名進財。
【三戒財】戒即戒律謂戒為解脫之本能防身口意之非止身口意之惡以為成佛之資故名戒財。
【四慚愧財】慚者慚天愧者愧人謂既能慚愧則不造諸惡業以為成佛之資故名慚愧財。

【五聞財】聞為三慧之首聞必能思思必能修謂若能聞佛聲教則開發妙解如說而行以為成佛之資故名聞財(三慧者聞慧思慧修慧也)。
【六捨財】捨即捨施謂若能運平等心無憎無愛身命資財隨求給施無所悋惜以為成佛之資故名捨財。
【七定慧財】定慧即止觀也定則攝心不散止諸妄念慧則照了諸法破諸邪見以為成佛之資故名定慧財。
藏教七階(出天台四教儀集註)
藏教者即小乘經律論三藏教也階者階級次第也謂藏教菩薩修行之次第也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【一四弘誓願】弘者大也誓者要制其心也願者志求滿足也謂菩薩從初發心觀四諦境發四弘誓一未度者令度即眾生無邊誓願度此觀苦諦境二未解者令解即煩惱無數誓願斷此觀集諦境三未安者令安即法門無量誓願學此觀道諦境四未得涅槃者令得涅槃即佛道無上誓願成此觀滅諦境也(梵語涅槃華言滅度)。
【二三祇修六度】三祇者三阿僧祇劫也六度者布施持戒忍辱精進禪定智慧也度越也越生死流到涅槃岸也謂菩薩既發心已必須行六度行填滿本願是為三祇修六度(梵語阿僧祇劫華言無數時)。
【三百劫種相好】劫梵語具云劫波華言分別時節百劫種相好者一增一減為一小劫凡歷二十番增減為一中劫八十番增減為一大劫謂菩薩於百劫中種諸相好用百福德成一相好如是至三十二相具足而身清淨也(人壽從十歲增至八萬四千歲名增劫從八萬四千歲減至十歲名減劫如是一增一減名一小劫一十二相者足下安平相千輻輪相手指纖長相手足柔輭相手足縵網相足跟滿足相足趺高好相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如師子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相四牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色如金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也)。
【四六度相滿】六度相滿者謂菩薩修行六度之相圓滿也如尸毘王代鴿即檀度滿也普明王捨國即戒度滿也羼提仙人被歌利王割截身體慈忍不動血變為乳即忍度滿也大施太子抒海即精進度滿也尚闍黎鵲巢頂上即禪度滿也劬嬪大臣分閻浮提為七分城邑山川均等故能息諍即智度滿也如上六人皆釋迦往昔所修之行是為六度相滿(梵語尸毘華言與代鴿者遍割身肉與鷹以代鴿命身肉俱[書-曰+皿]不惱不死自誓真實感身平復也梵語羼提華言忍辱梵語歌利華言惡世無道大施太子求如意珠濟貧得珠墮海抒海取之言欲酌海乾而取之也筋骨斷壞終不懈廢諸天見而問之答曰吾生生不休諸天愍之助其抒海海水減半龍恐海乾令夜叉送珠還之尚闍黎者螺髻仙人名此人得四禪定出入息斷鳥謂為木於髻生卵定起欲行恐鳥母不來即更入定待鳥飛去方始出定梵語閻浮提華言勝金洲梵語釋迦華言能仁)。

【五兜率降生】梵語兜率華言知足降生者謂菩薩將補佛處出世度生即從兜率天降生人間以補其處是為兜率降生(菩薩即釋迦佛也補佛處者前佛既滅而此菩薩即補其處也)。
【六降神出家】謂菩薩既降神出胎厭生老病死之苦而欲脫離故求出家入山修道是為降神出家。
【七菩提樹下成道】梵語菩提華言道謂菩薩自知成道時至於菩提樹下破諸魔眾魔王敗績鬼兵退散菩薩安坐不動即成佛道是為菩提樹下成道(菩提樹者謂佛於此樹下成道故名菩提樹也)。
菩薩七相憐愍(出瑜伽師地論)
【一無畏憐愍】謂菩薩於諸有情以無畏力起憐愍心隨順眾生身語意業利益安樂是名無畏憐愍(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二如理憐愍】理即法也謂菩薩於諸有情如法憐愍利益一切而終不以非法非律非賢善行勸化有情乖違於理是名如理憐愍。
【三無倦憐愍】謂菩薩於諸有情慇懃憐愍隨其所宜發起一切饒益事業曾無厭倦是名無倦憐愍。
【四無求憐愍】謂菩薩於諸有情不待求請自起憐愍為作利益是名無求憐愍。
【五無染憐愍】謂菩薩於諸有情無愛染心而起憐愍廣饒益他不祈恩報亦不希望當來之果是名無染憐愍。
【六廣大憐愍】謂菩薩於諸有情起憐愍心至廣至大雖遭一切不饒益事寧自身受苦終不棄捨令其安樂是名廣大憐愍。
【七平等憐愍】謂菩薩以如上種種憐愍眾生功德相狀普於一切平等饒益無有分限是名平等憐愍。
菩薩有七種大(出菩薩地持經)
【一法大】法即諸佛所說之法也謂菩薩能受持十二部經之法最上最大故名法大(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情十二部經者一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議十自說十一方廣十二授記也)。
【二心大】心即諸佛廣大之心也謂菩薩能發阿耨多羅三藐三菩提心故名心大(梵語阿耨多羅三藐三菩提華言無上正等正覺也)。
【三解大】解謂解了謂菩薩由解十二部經了知諸法義理悉無疑礙故名解大。
【四淨心大】謂菩薩既能解了十二部經依而行之則能離諸惑染超過一切解行心得清淨故名淨心大。
【五眾具大】謂菩薩所修福德智慧皆是成佛之具畢竟證得無上菩提故名眾具大(梵語菩提華言道)。
【六時大】時即時數謂菩薩歷三阿僧祇劫修行六度畢竟當得無上菩提故名時大(三阿僧祇劫者梵語阿僧祇劫華言無數時初阿僧祇劫從古釋迦佛至尸

棄佛二阿僧祇劫從尸棄佛至然燈佛三阿僧祇劫從然燈佛至毘婆尸佛六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【七得大】謂菩薩由前六種功德為因證得無上菩提之果故名得大。
善友七事(出華嚴經疏)
謂菩薩常為利樂一切眾生示現世間而作善友勸導誘掖開示教他也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【一遭苦不捨】謂菩薩運大悲心憐憫六道眾生受諸苦惱故隨類現形種種開示令得出離雖代受其苦心無棄捨是為遭苦不捨(六道者天道人道修羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。
【二貧賤不輕】謂菩薩運平等心見一切眾生雖乏功德法財以自莊嚴而知其本有法身無德不備是以心常愛念不生輕慢是為貧賤不輕。
【三密事相告】謂菩薩見諸眾生本性圓明眾德元具無始以來為一切客塵煩惱之所隱覆不能顯現故委曲相告令其斷除開發本性是為密事相告(客塵者謂無明之惑暫自外至名之為客以能染汙真性名之為塵也)。
【四遮相覆藏】謂菩薩見諸眾生善根未熟未能深信實道故覆實理而以權法示之及其善根既熟堪任實化故覆其權法而以實理示之是為遮相覆藏。
【五難作能作】謂菩薩但為誘掖眾生人所難為者悉能為之故雖著弊垢衣不以為貧執除糞器不以為賤是為難作能作。
【六難與能與】謂菩薩以自己所悟真實之理方便教化亦令一切眾生皆得本有真實之性猶解髻中明珠而以與人心無悋惜是為難與能與。
【七難忍能忍】謂菩薩見諸眾生違佛教化作不善業生諸惡道即起哀憫之心方便度脫雖經多劫心無退轉是為難忍能忍(劫梵語具云劫波華言分別時節)。
小乘七種聖(又名七士夫趣亦名七丈夫出天台四教儀集註十)
聖正也捨凡性入正性故名為聖賢首宗立為七士夫趣亦名七丈夫名異義同也。
【一隨信行】行即進趣之義謂鈍根之人憑他生解依信而行進趣於道故名隨信行。
【二隨法行】謂利根之人自以智力依法而行進趣於道故名隨法行。
【三信解】謂前信行之人轉入修道以鈍根故依憑信力起發真解故名信解(修道者謂二果斯陀含三果阿那含也)。
【四見得】謂前法行之人轉入修道以利根故見法得理故名見得。
【五身證】謂受想心滅現身即證涅槃寂靜之定故名身證(現身即現生之身梵語涅槃華言滅度)。
【六時解脫】謂前信行鈍根之人欲待時節及以緣具方堪入道故名時解脫(緣具有六謂衣食床具處所說法人同學人也)。

【七不時解脫】謂前法行利根之人能於一切時中進修善業不待時節及以緣具而入於道故名不時解脫。

七流(出華嚴孔目)

流者即見思二惑也此惑能漂流眾生入生死海故也謂四果之人因修四諦之法能斷見思之惑而不流轉三界故有七流之義焉(見思惑者謂意根對法塵起諸分別曰見惑眼耳鼻舌身五根對色聲香味觸五塵起諸貪愛曰思惑也四果者須陀洹果斯陀含果阿那含果阿羅漢果也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也三界者欲界色界無色界也)。

【一見諦所滅流】謂初果之人見真諦理能斷欲界見惑因滅此惑不流轉欲界故云見諦所滅流(初果即須陀洹果也)。

【二修道所滅流】謂第二果第三果之人因修四諦之觀能斷欲界思惑因滅此惑不為欲界漂流故云修道所滅流(二果即斯陀含果三果即阿那含果也)。

【三遠離所滅流】謂第四果之人因修四諦之觀而於見思之惑斷盡無餘則能遠離三界不復流轉故云遠離所滅流(四果即阿羅漢果也)。

【四數事所滅流】數事即五蘊十二入十八界等法也謂第四果之人能觀五蘊等法皆悉空寂而見思之惑俱盡不復流轉三界故云數事所滅流(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也十二入者眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入法入也十八界者眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也)。

【五捨所滅流】謂第四果之人已空五蘊等法所空之法既無能空之心亦捨能所兩亡無憎無愛一味平等證於無學不復流轉三界故云捨所滅流(無學者謂阿羅漢見思惑盡無法可學也)。

【六護所滅流】謂第四果之人見思惑盡而證無學於己所證恐有退失善加守護令見思習氣更不再起不復流轉三界故云護所滅流(見思習氣謂見思惑之餘習氣分也)。

【七制伏所滅流】謂第四果之人見思惑縛已斷色身果縛猶在應須制伏令見思習氣永不復起三界流轉即得止息故云制伏所滅流(縛猶束繫也謂由色身所繫不得自在也)。

華嚴宗七祖(出佛祖統紀)

【一馬鳴尊者】馬鳴乃西土十一祖也東天竺國人說法時能感羣馬得解悲鳴故曰馬鳴依百本大乘經造起信論是為初祖。

【二龍樹尊者】龍樹乃西土十三祖也南天竺國梵志之裔始生之日在於樹下因入龍宮而得成道故號龍樹申 明起信論義是為一祖(梵語梵志華言淨裔)。

【三帝心法師】帝心號也姓杜諱法順世間聾啞者遇之必能聞能語唐太宗詔謂之曰朕苦勞熱師之神力何以蠲除師曰聖德御宇微恙何憂但

頒大赦聖躬自安上從之疾遂瘳因錫號曰帝心作法界觀門專弘華嚴是為三祖。

【四雲華法師】雲華寺名也師居是寺因以名之姓趙諱智儼得帝心之親傳以授賢首其教大行是為四祖。

【五賢首法師】賢首謚號也諱法藏其先康居國人唐則天詔於太原寺開華嚴宗旨感白光自口而出須臾成蓋萬眾懽呼召對長生殿指殿隅金獅子以喻法界體用而為說法則天領解遂著其說為金獅子章是為五祖。

【六清凉法師】清凉號也姓夏侯氏諱澄觀會稽人造華嚴大疏唐德宗誕節召對內殿能以妙法清凉帝心遂賜號清凉憲宗問華嚴宗旨豁然有得加號大統清凉國師文宗開成三年示寂凡歷九朝為七帝門師是為六祖(九朝者唐玄宗肅宗代宗德宗順宗憲宗穆宗敬宗文宗也七帝者即代宗以下七帝也)。

【七圭峯法師】圭峯終南山之別名也師居是山因得是名姓何諱宗密果州人清凉嘗謂之曰毘盧華藏能隨我遊者其汝乎遂著圓覺華嚴等疏鈔唐文宗詔問佛法大意賜號大德是為七祖(毘盧梵語具云毘盧遮那華言遍一切處華藏即華藏世界也)。

七識住(出阿毘曇論)

識即心識住者謂此識隨所感報而安住也論中不及四禪天非想非非想天者偈曰善處在欲界及色界三地無色界亦然是說為識住(色界三地者初禪二禪三禪也無色界亦然者謂亦有三地空處識處無所有處也)。

【一欲界人天識住】謂欲界中人若初受生此識即托母胎遂依母息出入及出胎後依身而住又若因修戒善感報而生欲天此識即依化生之身而住是為欲界人天識住(戒善者五戒十善也)。

【二初禪天識住】謂於欲界修習禪定之時忽覺身心凝然運運而動如雲如影感報而生色界初禪天此識即依化生之身而住是為初禪天識住。

【三二禪天識住】謂厭初禪覺觀動散因攝在定澹然澄靜覺觀即滅乃發勝定之喜感報而生色界二禪天此識即依化生之身而住是為二禪天識住(覺觀者初心在緣曰覺細心分別曰觀也)。

【四三禪天識住】謂厭二禪喜心湧動定不堅固因攝心諦觀喜心即謝泯然入定綿綿之樂從內心發感報而生色界三禪天此識即依化生之身而住是為三禪天識住。

【五空處天識住】謂既得三禪天定猶厭身色繫縛乃轉加功力觀察色身猶如羅穀內外通徹一心念空無諸色相感報而生無色界空處天此識即依空處而住是為空處天識住。

【六識處天識住】謂既得空處天定識緣虛空定心復散亂即捨虛空轉心緣識心定不動感報而生無色界識處天此識即依識處而住是為識處

天識住。
【七無所有處天識住】謂既得識處天定此心緣識無量無邊能壞於定惟有無心識處心無依倚乃為安隱感報而生無色界無所有處天此識即依無所有處而住是為無所有處天識住。
七眾(出仁王護國經并翻譯名義)
七眾者謂出家五眾比丘比丘尼沙彌沙彌尼式又摩那在家二眾優婆塞優婆夷也。
【一比丘】梵語比丘華言乞士謂上乞法以資慧命下乞食以資色身也亦名苾芻蓋苾芻雪山香草名草有五義以喻比丘五德(五義五德者一體性柔輭義喻比丘折伏身語麤獷之德二引蔓旁布義喻比丘度人不絕之德三馨香遠聞義喻比丘戒香芬馥之德四能療疼痛義喻比丘能斷煩惱之德五不背日光義喻比丘常向佛日之德也)。
【二比丘尼】(亦名苾芻尼)梵語尼華言女大智度論云尼得無量律儀故應次於比丘又佛以儀法不便故在比丘之後。
【三沙彌】梵語沙彌又云室利摩理洛迦華言息慈謂止息世染之情慈濟羣生也以初入佛法之時多存俗情故須息惡行慈是名沙彌。
【四沙彌尼】梵語沙彌尼又云室利摩理迦華言勤策女謂精勤策進佛法功行故也。
【五式乂摩那】梵語式乂摩那華言學法女行事鈔云式乂尼具學三法一學根本二學六法三學行法是名學法女(根本者謂不殺不盜不[婬-壬+(工/山)]不妄語也六法者不染心相觸不盜人四錢不斷畜生命不小妄語不非時食不飲酒也行法者謂大尼之戒行也)。
【六優婆塞】梵語優婆塞華言清淨士梵語舊云鄔波索迦華言近事男謂其自行清淨親近承事佛法也。
【七優婆夷】梵語優婆夷華言清淨女梵語舊云鄔波斯迦華言近事女謂其自行清淨親近承事佛法也。
七種人(出涅槃經)
師子吼菩薩問佛言若一切眾生既有佛性何須更習八聖道耶佛言性雖本具要須修習聖道方見佛性譬如恒河邊有七種人或為洗浴或畏賊寇或為採花則入河中河喻生死大河浴喻出家受戒清淨賊喻煩惱採花喻七淨花以為其因而求涅槃之果也(八聖道又云八正道即正見正思惟正語正業正命正精進正念正定也恒河之恒梵語又云殑伽華言天堂來謂此河從高流下也入河者既言出家合云出河而言入者要於生死之中而求涅槃故也七淨花者戒淨花心淨花見淨花斷疑淨花分別淨花行淨花涅槃淨花以此七淨花為因中之行也梵語涅槃華言滅度)。
【第一人入水則沒】此一種羸無勢力不習浮故以喻一闡提也闡提之人親近惡友[聽-王]受邪法以惡業重故又無信力沒生死河不能得出

故云入水則沒(梵語一闡提華言信不具由過去無宿善因故譬羸劣無力現在無信心故譬不習浮無善無信則不能出於生死大河矣)。
【第二人雖沒還出出已還沒】此一種以喻人天將進而退者也為斷善根沒生死河故云沒復能親近善友能生信心雖沒而出故云還出既得出已又遇惡友聽受邪法仍沒生死大河故云出已還沒。
【第三人沒已即出出更不沒】此一種以喻內凡之人發意欲度生死大河由昔斷善根沒生死河故云沒今因親近善友能生信心雖沒而出故云沒已即出復能堅持淨戒讀誦書寫解說經典後證道果故云出更不沒(內凡者已入佛法名內未登聖位名凡也)。
【第四人入已便沒沒已還出出已即住徧觀四方】此一種以喻四果之人昔斷善根故云沒親近善友而得信心故云出由信心故受持書寫解說經典修習智慧以利根故心不退轉故云住證得四果故云遍觀四方(四果者須陀洹斯陀含阿那含阿羅漢也)。
【第五人入已即沒沒已還出出已即住住已觀方觀已即去】此一種以喻緣覺之人沒出住等義與前第四人問言即去者以其根利過於四果心求前進得證緣覺無有退轉但能自度不能度人怖畏生死故云即去也。
【第六人入已即去淺處則住】此一種以喻菩薩由利根故堅住信心而斷諸煩惱也言入已即去者謂菩薩為度他故雖入生死而不住於生死淺處則住者謂雖入生死而又不為生死所溺也。
【第七人既至彼岸登上大山離諸冤賊受大快樂】此一種以喻佛也由利根故堅住信心無有退轉即便前進既前進已得度生死大河到於彼岸而登涅槃大山離諸煩惱冤賊得大快樂也。
世間七丈夫(出華嚴經疏)
謂能制心離欲身無過惡心懷道德修諸梵行具此七法名為世間丈夫也(梵行即淨行也)。
【一長壽】長壽者謂壽命延長久住世間能修梵行故名丈夫。
【二妙色】妙色者謂形儀英偉色相端嚴能修梵行故名丈夫。
【三無病】無病者謂宿福深厚無病少惱能修梵行故名丈夫。
【四非半擇迦】梵語半擇迦華言變謂有能變男女之形即五種不男之一也今言非者非是不男非僕非女能修梵行故名丈夫。
【五智慧】智慧者謂有智慧信受正法身心猛利能修梵行故名丈夫。
【六威肅】威肅者謂威容整肅發言人所信服能修梵行故名丈夫。
【七大宗葉】大宗葉者謂其家世貴盛宗支奕葉流芳水久能修梵行故名丈夫。
七法不可避(出法苑珠林)
【一生不可避】謂人受生皆由前世善惡之業若前世作善今生善處前世作惡今生惡處若欲避惡報而求生善處欲辭善處而從惡報者皆不可得故云生不可避。

【二老不可避】謂人年幼顏色鮮澤髮黑齒白氣力堅強一旦老耄頭白齒落氣短呻吟形神昏昧欲使不老終不可得故云老不可避。
【三病不可避】謂人強健之時行步輕捷飲食自恣若四大不調或業緣所感疾病卒至眠伏床枕不能起離欲使常安無病終不可得故云病不可避(四大者地大水大火大風大也)。
【四死不可避】謂人生於世一期果報或夭或壽皆由前定毫髮無差業盡報終豈容逃免故云死不可避(一期者自生至死也)。
【五罪不可避】謂人愚癡邪見不信三寶不忠不孝多造惡業生遭刑法死墮惡道如影隨形欲求脫免了不可得故云罪不可避(三寶者佛寶法寶僧寶也)。
【六福不可避】謂人先世敬重三寶持戒修善常行惠施忠孝君親於後世時生人天中安樂富貴隨意受用如此福報似響應聲毫髮無失故云福不可避。
【七因緣不可避】能生為因助成為緣由前生依如是因則今世遇如是緣所謂父母兄弟妻子田宅產業等或得如意或不如意皆由前生作善惡業因今世則招貧富苦樂業緣之報故云因緣不可避。
七種不淨(出天台四教儀集註)
謂修行之人恐於自他身分而起貪著妨於正道故令假作此不淨之想破其著心故有七種也。
【一種子不淨】種子有二一內種謂人之身從昔煩惱業因而生二外種謂此身受父母遺體而生故名種子不淨。
【二受生不淨】謂人之生父母交遘赤白和合以成其身故名受生不淨。
【三住處不淨】謂女人之體是不淨聚處胎十月居生熟二臟之間故名住處不淨(生熟二臟者謂初受飲食為生飲食變壞為熟也)。
【四食噉不淨】謂處於胎中唯食母血以資其身故名食噉不淨。
【五初生不淨】謂十月滿足頭向產門流血淋漓腥穢狼籍故名初生不淨。
【六舉體不淨】謂此身外皮所覆從頭至足純是穢物故名舉體不淨。
【七究竟不淨】謂業盡報終捐棄[塚-豕+豕]間如朽敗木大小不淨流溢於外胖脹爛壞骨肉縱橫故名究竟不淨(大小者如以身為大四肢為小之類也)。
大明三藏法數卷第二十二

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

七種禮佛(出法苑珠林)

謂天竺勒那三藏覩此方俗不習禮佛之儀遂傳此七種之法雖通云禮佛而有是非淺深不同蓋欲令人知我漫求名二種之非而歸於身心禮等五種之正從淺至深修行獲益故有七種禮佛之名也(勒那梵語具云勒那摩提華言寶意中印度人也)。

【一我慢禮】謂人禮佛身雖設拜無有敬心外覩似恭內懷我慢是名我慢禮。

【二未名禮】(又名唱和禮)謂人禮佛但為要其修行名譽詐現威儀常行禮拜而實無慇重之心是為求名禮又名唱和禮者謂口雖稱唱佛名心實馳求外境是名唱和禮。

【三身心禮】謂人禮佛口唱佛名心存相好身業翹勤恭敬供養無有異念是名身心禮。

【四發智清淨禮】謂人禮佛慧心明利達佛境界內外清淨虛通無礙禮一佛時即是禮一切諸佛禮一切諸佛即是禮一佛以諸佛法身體本融通故禮一拜遍通法界禮佛如是禮法禮僧亦然是為發智清淨禮。

【五遍入法界禮】謂人禮佛想自己身心等法從本以來不離法界諸佛不離我心我心不離諸佛性相平等本無增減今禮一佛即遍通諸佛如一室中懸百千鏡有人觀鏡鏡皆現像鏡無不照影無不現如是正觀則功歸法界德用無邊是名遍入法界。

【禮六正觀修誠禮】謂人禮佛攝心正念雖對佛身即是自禮自身佛也蓋由一切眾生本有覺性與佛平等為隨染緣迷於己性妄認為惡無始以來未曾將一燈一香一禮供養己身佛性若能返照本覺則解脫有期故維摩經云觀身實相觀佛亦然是名正觀修誠禮。

【七實相平等禮】謂人禮佛前正觀中猶存有禮有觀自他兩異今此一禮無自無他凡聖一如體用不二若見佛可尊可敬見凡可卑可慢起此之心即成邪執故金剛經云是法平等無有高下能禮所禮其性空寂是名實相平等禮。

七種懺悔心(出慈悲水懺)

懺梵語具云懺摩華言悔過華梵兼舉故云懺悔懺名修來悔名改往若欲懺悔者先當起七種心也。

【一生大慚愧心】慚即慚天愧即愧人謂自惟我與釋迦如來同為凡夫而今世尊成道以來已經劫數而我等輪轉生死未有出期此實可慚可愧當以此心而行懺悔也(梵語釋迦華言能仁劫梵語具云劫波華言分別時節)。

【二恐怖心】謂我等既是凡夫身口意業常與罪相應以是因緣命終之後應墮地獄畜生餓鬼受無量苦如此實為可驚可恐可怖可懼當以此心而行懺悔也。
【三厭離心】謂我等當觀生死之中虛假不實如水上泡速起速滅往來流轉猶如車輪此身眾苦所集一切皆是不淨甚可厭離當以此心而行懺悔也。
【四發菩提心】梵語菩提華言道謂欲得如來身者當發菩提心救度眾生於身命財無所悋惜當以此心而行懺悔也。
【五冤親平等心】謂於一切眾生無冤無親起慈悲心無彼我相平等救度當以此心普為懺悔也。
【六念報佛恩心】謂如來往昔無量劫中為我等故修諸苦行捨頭目髓腦等如此恩德實難酬報我等欲報如來恩者須於此世勇猛精進不惜身命廣度眾生同入正覺當以此心而行懺悔也。
【七觀罪性空心】謂我罪性本空無有實體但從因緣顛倒而生當知罪性不在內外不在中間本來是空罪亦何有若能運此心觀即是真懺悔也。

七周行慈(出天台四教儀集註)

周者周遍也佛為多嗔眾生令修眾生緣慈之觀而對治之不出七境先親而後冤者從易而至難也若以平等之心觀之何冤何親於此七境境境悉以三樂與之使冤親無間故先假作此觀以破嗔障而於眾生實未得其樂也(多嗔者謂於違情之境多所忿恨也眾生緣慈者謂緣念一切眾生如父母等想慈愍愛念而與其樂也從易至難者謂親與樂則易而冤則難也三樂者謂佛之樂為上樂菩薩之樂為中樂諸天之樂為下樂也)。

【一上品親】上品親謂己之父母師長也。
【二中品親】中品親謂己之兄弟姊妹也。
【三下品親】下品親謂己之朋友知識也。
【四中人】中人謂非己之冤非己之親也。
【五下品冤】下品冤謂曾害己之朋友知識者也。
【六中品冤】中品冤謂曾害己之兄弟姊妹者也。
【七上品冤】上品冤謂曾害己之父母師長者也。

外道七種無常(出入楞伽經)

【一作已而捨無常】作即造也捨者捨前造作之相也謂外道計地水火風四大和合而造後見四大相異如地堅水濕火煖風動各各不同遂執為無常故云作已而捨無常。
【二形處壞無常】形處即形狀也謂外道計四大造色能造所造色體畢竟不壞但觀形狀長短變壞等相以為無常故云形處壞無常。
【三即色無常】謂外道計前形處見其變壞以為無常今謂此形色即是無常故云即色無常。

【四色轉變中間無常】色轉變者謂生住異滅也生即生相住即成相異即變相滅即無相如金作莊嚴之具金性不壞中間相續轉變無常自然異滅故云色轉變中間無常。
【五性無常】謂外道計自心妄想非常非無常性自性不壞而能壞諸法自性故云性無常(性自性者謂本體之自性也)。
【六性無性無常】謂外道計四大之性皆無自性能造及所造之相皆歸變壞故云性無性無常(能造者地水火風四大也所造者色香味觸四微也)。
【七一切法不生無常】謂外道計一切法皆本不生故云一切法不生無常。
七見(出華嚴孔目)
分別曰見謂外道於諸法中執已為是以正為非迷惑不解失於正理故有七種之見也。
【一邪見】謂無正信誹謗正法而於善惡果報及正因緣所生善法一切撥以為無是為邪見(正因緣者謂眼等六根為因色等六塵為緣能生一切諸法非如外道計從梵天生或計從微塵生此則為邪因緣也)。
【二我見】謂不知此身五蘊所成虛假不實妄計為身強立主宰恒執為我是為我見(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊為五也)。
【三常見】謂不知己身及諸外物皆悉無常終歸壞滅而反妄計為常是為常見。
【四斷見】謂不知諸法本性空寂常住不壞而反起斷滅之見妄計此身死已不復更生是為斷見。
【五戒盜見】(亦名見取)謂不知如來正戒而於邪戒中妄自分別取以進行如牛狗等戒執取為實得少功德自以為足私竊邪計不修正因是為戒盜見(牛狗戒者謂外道計前世從牛狗中來即以食草噉穢為戒而修苦行也)。
【六果盜見】謂不知正因正果於不善事生妙善想勤加精進如以寒熱塗灰臥棘等事執為正行小有所得私竊邪計以為極果是為果盜見(寒熱塗灰臥棘者謂外道寒則裸形自凍熱則五熱炙身或以灰塗身或眠臥荊棘自以為苦行而求得果也五熱者謂四方是火上則日也)。
【七疑見】謂於諸法或執有我或執無我或執為常或執非常等心生猶豫不能决了是為疑見。
七有(出長阿含十報法經)
因果不亡曰有謂由身口意所作善惡之因能招六趣生死之果因果相續故名七有(六趣者天趣人趣修羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也)。
【一地獄有】(亦名不可有)地獄者此獄在地之下也謂眾生由過去惡逆之因感現在地獄之果因果不亡故名地獄有。
【二畜生有】畜生者禽獸之類也謂眾生由過去愚癡之因感現在畜生之果因果不亡故名畜生有。

【三餓鬼有】餓鬼者常受饑餓也謂眾生由過去慳恪之因感現在饑餓之果因果不亡故名餓鬼有。
【四天有】天者天然自然樂勝身勝也謂眾生由過去戒定之因感現在快樂之果因果不亡故名天有。
【五人有】人者忍也於世違順之境能安忍故謂眾生由過去戒善之因感現在人倫之果因果不亡故名人有。
【六業有】(亦名行有)業者謂身口意所作善惡之業因能招未來善惡之業果因果不亡故名業有。
【七中有】中有亦名中陰謂諸眾生此身死後識未託胎現在所作善惡業因必取當來善惡諸趣之果因果不亡故名中有。
七遮罪(亦名七逆罪出梵網經)
遮謂遮障聖道逆謂不順於理行此七罪不復成就善根經云法師不得與七逆人現身受戒是也。
【一出佛身血】佛是一切眾生慈父能令眾生悟明自心出離苦趣眾生當歷劫供養以報其恩況復出其身血如興起行經云提婆達兜舉石擲佛迸石小片傷佛足指即破出血後墮地獄是也(劫梵語具云劫波華言分別時節梵語提婆達兜亦云提婆達多華言天熱以其生時人天等眾心皆驚熱故也)。
【二弒父】弒者下殺上也謂父者子之所天即當竭力孝養以報恩德豈宜悖戾妄加殺害地藏經云若有眾生不孝父母或至殺害者當墮無間地獄千萬億劫求出無期是也(無間地獄者即阿鼻地獄也)。
【三弒母】謂母之恩德不異於父即當恭敬供養以期報荅豈宜悖戾妄加殺害所以經云犯者得波羅夷罪(梵語波羅夷華言極惡)。
【四弒和尚】和尚梵語鄔波遮迦于闐國翻為和尚華言力生即親教師也謂出家者因師之力生長法身出功德財養智慧命功莫大焉即當恭敬供養以報其恩豈宜悖戾妄加殺害若以惡心嗔心而殺之者得波羅夷罪。
【五弒阿闍黎】梵語阿闍黎華言軌範言堪為後學之軌範即得戒教授等師也必當親事恭敬供養以報其恩豈宜悖戾妄加殺害若以惡心嗔心而殺之者得波羅夷罪。
【六破羯磨僧】梵語羯磨華言作法謂比丘俱集一處和合作法若以惡心嗔心破之令其不和合者得波羅夷罪(梵語比丘華言乞士)。
【七弒阿羅漢】梵語阿羅漢華言無學謂無法可學也又名應供謂應受人天供養也即當恭敬供養以種其福豈宜悖戾妄加殺害若以惡心嗔心而殺之者墮無間獄求出無期。
七聚(出翻譯名義)
聚即類聚謂聚眾律以成其類隨犯而制之故名七聚也。
【一波羅夷】梵語波羅夷華言極惡有三義一者退沒由犯此罪道果無分沒溺惡道二者不供住謂非但失道而已不得於說戒羯磨僧中共住三

者墮落捨此身已墮在阿鼻地獄也(梵語羯磨華言作法梵語阿鼻華言無間)。
【二僧殘】殘者如人被斫命雖未盡而身已傷殘也謂若犯此罪僧為作法懺除其過故名僧殘。
【三偷蘭遮】梵語偷蘭華言大遮即遮障善道華梵兼稱故云偷蘭遮謂大障一切善根也。
【四波逸提】梵語波逸提華言墮謂犯此罪死墮地獄也。
【五提舍尼】梵語提舍尼華言向彼悔僧祇律云此罪應對眾發露懺悔是也。
【六突吉羅】梵語突吉羅華言惡作惡說謂身惡作口惡說也四分律本又名式义迦羅尼華言應當學謂此罪微細難持令其隨學隨守是名應當學也。
【七惡說】惡說者謂口好惡說多諸論議也即突吉羅中開出惡說以成此七聚也。
七支(出法界次第)
支即支分身三支謂殺盜[婬-壬+(工/山)]口四支謂妄言綺語兩舌惡口總名七支即十惡中之七也。
【一殺生】謂斷一切眾生之命故名殺生。
【二偷盜】謂潛起惡心取他財物故名偷盜。
【三邪[婬-壬+(工/山)]】謂非己妻妾而行欲事故名邪[婬-壬+(工/山)]。
【四妄言】謂以虛誕之言欺誑他人故名妄言。
【五綺語】綺即文飾也謂綺飾言語取悅於人故名綺語。
【六惡口】謂以惡言加彼令他受惱故名惡口。
【七兩舌】謂搆合是非之言向此說彼向彼說此令其爭鬪故名兩舌。
七垢(出瑜伽師地論)
【一欲垢】欲即希求之義垢者塵也污也謂人於諸所有功德不求他知若欲令他知我成就如是功德是名欲垢。
【二見垢】見者執著分別也謂人於諸所有功德無執著分別之見若生執著是名見垢。
【三疑垢】疑者迷惑不了也謂人於諸所有功德若或疑惑為功德耶為過失耶如是疑者是名疑垢。
【四慢垢】慢者恃己凌他也謂人不以己之所有功德與他校量而生輕慢若生輕他之心是名慢垢。
【五憍垢】憍者矜誇自高也謂人不以己之所有功德而生忻喜若生忻喜貢高之心是名憍垢。
【六隨眠垢】依附不捨曰隨五情暗冥曰眠謂人於諸所有功德常加護念不為隨眠煩惱之所蓋覆若煩惱習氣未斷是名隨眠垢(五情者即眼耳鼻舌身之情也煩惱習氣者謂煩惱餘習之氣分也)。

【七慳垢】謂人於諸所有功德回施一切眾生無恪惜心若生慳惜之念是名慳垢。

七種慢(出楞嚴經并毘婆沙論)

謂諸眾生無明妄惑障覆於心而生執取恃己凌他貢高自大於佛法中自謂滿足所計不同故有七種也。

【一慢】慢者謂同類相傲也如於相似法中執己相似又於下劣中執己為勝也。

【二過慢】過慢者謂於同類相似法中執己為勝或復他人勝於己處執為相似言我與他同也。

【三慢過慢】慢過慢者於勝爭勝也謂他本勝於己而執己為勝言我定能勝於他也。

【四我慢】我慢者恃己凌他也謂倚恃己之所能欺凌於他也。

【五增上慢】增上慢者未得謂得也謂未得上聖之法自謂已得未證上聖之理自謂已證也。

【六卑劣慢】卑劣慢者以劣自誇也謂己但有下劣少分之能反自矜誇以彼多分之能不及於我也。

【七邪慢】邪慢者謂實無德妄為有德執著邪見不禮塔廟不敬三寶不誦經典也(三寶者佛寶法寶僧寶也)。

慳法七報(出成實論)

財法不能惠施曰慳此專言慳恪於法而不施與人者得七種報。

【一生盲報】謂從母胎出便不能見日月光明名為生盲由其宿世慳恪法故於現生中而得此報也。

【二愚癡報】謂於諸法中迷惑不了名為愚癡由其宿世慳恪法故於現生中而得此報也。

【三生惡家報】謂不信三寶造作重罪名為惡家又有冤之家亦名惡家由其宿世慳恪法故於現生中而得此報也。

【四胎夭報】胎夭者胎中夭死也由其宿世慳恪法故於現生中而得此報也。

【五物恐報】物恐者謂為一切惡物恐怖也由其宿世慳恪法故於現生中而得此報也。

【六善人遠離報】善人遠離者謂賢善之人悉皆遠離而不親近由其宿世慳恪法故於現生中而得此報也。

【七無惡不作報】無惡不作者謂於一切惡無所不作也由其宿世自既慳法亦教人慳法滅佛法種三世十方諸佛以為冤賊是以於現生中而得此報也(三世者過去現在未來也)。

七隨眠(亦名七使出阿毘達磨毘婆沙論)

煩惱妄惑依附不捨曰隨五情暗冥曰眠以無明種子潛伏藏識而能生起一切煩惱結業故名隨眠又名七使者使猶驅使也由此妄惑驅使心神流

轉三界故也(五情者即眼耳鼻舌身之情也藏識者即第八識能含藏一切善惡種子故也三界者欲界色界無色界也)。
【一貪隨眠】貪者引取無厭也謂此貪欲之惑潛伏藏識隨附不捨而為種子能生一切貪染之欲故名貪隨眠。
【二嗔隨眠】嗔者忿怒不息也謂此嗔恚之惑潛伏藏識隨附不捨而為種子能起一切麤重忿怒故名嗔隨眠。
【三愛隨眠】愛者於順情境上愛著不捨也謂此愛惑種子潛伏藏識隨附不捨能生三界麤重愛欲故名愛隨眠。
【四慢隨眠】慢者恃己凌他也謂慢惑種子潛伏藏識隨附不捨能生種種麤重憍慢故名慢隨眠。
【五無明隨眠】無明者無所明了也謂此無明種子潛伏藏識隨附不捨能生種種麤重煩惱故名無明隨眠。
【六見隨眠】見者分別執取也謂此分別妄惑種子潛伏藏識隨附不捨能生三界種種妄見故名見隨眠。
【七疑隨眠】疑者猶豫不决也謂此疑惑種子潛伏藏識隨附不捨能生三界麤重疑惑故名疑隨眠。
輪王七寶(出修行本起經)
長阿含經云增刼中則有輪王出世以一增一減為一小刼人壽增至八萬四千歲歷過百年壽減一歲如是減至十歲名為減刼此後過百年復增一歲或云子倍父壽(若父十歲子則二十歲)名為增刼如是增至八萬四千歲時則有金輪王出生在王家紹灌頂位於十五日香湯沐浴受持齋戒升高臺殿臣僚輔翼東方忽有金輪寶現舒妙光明來應王所若王欲往東方輪即東轉王則將諸兵眾隨其後行金輪寶前有四神導引輪所住處王即止駕南西北方隨輪所至亦復如是於四天下普勸人民修十善道是名金輪王亦名轉輪聖王而具足七寶焉(刼梵語具云刼波華言分別時節金輪王太子紹位之時取四大海水以灌其頂方紹父位以為金輪王名灌頂位十善道者不殺不盜不邪婬不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不嗔恚不邪見也)。
【一金輪寶】(亦名勝自在)金輪者其輪千輻徑一丈四尺具足轂輞雕文刻鏤眾寶間錯光明洞達天匠所成非世所有也謂轉輪聖王既得此輪隨王心念輪則為轉案行天下須臾周帀是為金輪寶。
【二白象寶】(亦名青山)白象者謂轉輪聖王清旦升殿有白象寶忽然出現其身純白其首雜色口有六牙牙七寶色力能飛行若王乘時一日之中周徧天下朝往暮回不勞不疲若行渡水水不動搖亦不濡足是名白象寶。
【三紺馬寶】(亦名勇疾風)紺馬者青赤色馬也謂轉輪聖王清旦升殿有紺馬寶忽然出現髦鬣貫珠洗刷之時珠則墮落須臾之間更生如故其珠鮮潔色勝於前鳴聲遠聞一由旬內力能飛行王若乘之案行天下朝去暮

回力不疲極馬脚觸塵皆成金沙是名紺馬寶(梵語由旬華言限量有三等不同上八十里中六十里下四十里)。
【四神珠寶】(亦名光藏雲)神珠者謂轉輪聖王清旦升殿有神珠寶忽然出現其色瑩潔無有瑕纇夜懸空中隨國大小明照內外如晝無異是名神珠寶。
【五玉女寶】(亦名淨妙德)玉女者謂顏貌端正色相具足身則冬溫夏凉於諸毛孔出栴檀香口出青蓮華香言語柔輭舉動安詳食自消化非同世間女人有諸不淨是名玉女寶。
【六典財寶】(亦名大財)典財又曰典寶藏臣謂轉輪聖王欲得七珍寶時典藏臣舉身向地地出七寶向水水出七寶向山山出七寶向石石出七寶是為典財寶阿含經又云居士寶其人宿福深厚眼能徹見地中伏藏有主無主皆悉見知其有主者為之衛護其無主者取供王用是也。
【七主兵寶】(亦名離垢眼)主兵又曰典兵臣謂轉輪聖王意欲得四種兵若千若萬乃至無數顧視之間兵即已辦行陣嚴整是為主兵寶阿含經又云其人智謀雄猛韜略獨出即詣王所白言大王有所討伐不足為憂若欲象馬車步四種兵者我自能辦是也。
七寶(出翻譯名義)
七寶諸經所載不同舊出二種其間名同而華梵不一令依翻譯名義亦列二種皆以梵語為名而用華言各釋其下也。
【一蘇伐羅】梵語蘇伐羅華言金大智度論云金出山石沙赤銅中而有四義一者色無變二者體無染三者轉作無礙四者令人富以是等義故名為寶。
【二阿路巴】梵語阿路巴華言銀大智度論云銀出燒石中世名白金亦有四義與前金同故名為寶。
【三琉璃】梵語琉璃華言青色寶觀經疏又云吠瑠璃耶華言不遠謂西域有山去波羅奈城不遠山出此寶故以名之此寶青色一切眾寶皆不能壞色體堅瑩世所希有故名為寶(梵語波羅奈華言鹿苑)。
【四頗黎】梵語頗黎或云塞頗胝迦華言水玉即蒼玉也或云水精體色瑩潤世所希有故名為寶。
【五牟婆洛揭拉婆】梵語牟婆洛揭拉婆華言青白色寶即硨磲也其狀如車之渠車之牙輞也因以名焉以其體堅色明世所希有故名為寶。
【六摩羅伽隸】梵語摩羅伽隸華言碼碯其色赤白如馬之腦因以名焉以其可琢成器世所希有故名為寶。
【七鉢摩羅伽】梵語鉢摩羅伽華言赤真珠佛地論云赤虫所出大智度論云此寶出魚腹蛇腦中其色明瑩最為殊勝故名為寶。
又七寶(出翻譯名義)
【一鉢攞娑】梵語鉢攞娑華言珊瑚大智度論云海中石樹也謂西南漲海中去七八里許有珊瑚洲洲底有磐石此寶生其上人以鐵網取之世所

希有故名為寶。
【二阿濕摩揭婆】梵語阿濕摩揭婆華言琥珀其色紅瑩世所希有故名為寶。
【三摩尼】梵語摩尼又云末尼華言離垢即珠寶也此寶光淨不為垢穢所染故圓覺鈔又云如意謂意中所須財寶衣服飲食種種之物此珠悉能出生令人皆得如意故名為寶。
【四甄叔迦】梵語甄叔迦華言赤色寶西域傳云甄叔迦樹名其花赤色形大如手此寶色如此花故以名焉。
【五釋迦毘棱伽】梵語釋迦毘棱伽華言能勝謂此寶能勝一切世間眾寶世所希有故名為寶。
【六摩羅伽陀】梵語摩羅伽陀大智度論云綠色珠此寶出金翅鳥口邊能辟一切諸毒世所希有故名為寶。
【七跋折羅】梵語跋折羅華言金剛此寶出於金中色如紫英百鍊不銷至堅至利可以切玉世所希有故名為寶。
七金山(出翻譯名義)
七金山者謂山皆有金色光明故也七重環繞須彌山外高廣形量次第減半如須彌山高八萬四千由旬雙持山止高四萬二千由旬之類是也(梵語由旬華言限量有三等不同上八十里中六十里下四十里)。
【一雙持山】雙持山者謂二山相倚也又言持雙者文互用耳此山高廣各四萬二千由旬。
【二持軸山】持軸山者謂山峯上聳形如車軸也高廣各二萬一千由旬。
【三檐木山】檐木樹名以山形似此樹故名檐木高廣各一萬五百由旬。
【四善見山】善見山者謂見者稱善也高廣各五千二百五十由旬。
【五馬耳山】馬耳山者謂狀如馬耳也高廣各二千六百二十五由旬。
【六障礙山】障礙山者謂此山有障礙神故又名象鼻山形如象鼻故也高廣各一千三百一十二由旬半。
【七持地山】持地山者謂與地相持故又名地持者文互用耳又名魚觜山者以海中有魚觜尖其山形如彼魚故也又名持邊山者以此山護持圍繞內六山故也高廣各六百五十六由旬零。
七海(出法集名數經)
【一鹽水海】金剛三昧經云海有金剛輪隨時轉故令大海水同一醎味故名鹽水海。
【二乳海】謂世有一海其味如乳故名乳海。
【三酪海】謂世有一海其味如酪故名酪海。
【四酥海】謂世有一海其味如酥故名酥海。
【五蜜水海】謂世有一海其味如蜜故名蜜水海。

【六吉祥草海】謂世有一海生吉祥草故名吉祥草海。
【七酒海】謂世有一海其味如酒故名酒海。
七大(出楞嚴經)
大即體性圓融周徧無外之義蓋由萬法不離地水火風而成依空建立因見有覺因識有知舉此七種則自他依正色心一切萬法無不攝矣然以眾生迷失本心根塵對起知見妄分聽不出聲見不超色但於日鏡和合處見火起月珠和合處見水生各不相容執相成礙殊不知如來藏中水火性空本周法界隨眾生心循業發現故世尊於楞嚴會上開悟阿難及諸大眾會七大萬法皆歸如來藏故說此七大之相也(依正色心者依即所依國土正謂正受果報即能依之身也色即色身心即心識也)。
【一地大】麤為大地細為微塵析則成空合聚為地眾生昏迷但見其相不知地性融通遍周法界隨眾生心循業發現清淨本然寧有方所故名地大(循業即隨業也)。
【二火大】火性無我寄於諸緣如執鏡艾對日火生眾生昏迷但見其相不知火性融通遍周法界隨眾生心循業發現如一處執鏡一處火生遍法界執滿世間起起徧世間寧有方所故名火大(火性無我者言火性無體也)。
【三水大】水性不定流息無恒如執珠盤對月出水眾生昏迷但見其相不知水性融通遍周法界隨眾生心循業發現如一處執珠一處水出遍法界執滿法界生生滿世間寧有方所故名水大。
【四風大】風性無體動靜不常如人整衣則有微風拂他人面眾生昏迷但知微風不知風性融通遍周法界隨眾生心循業發現如一人整衣有微風出遍法界拂滿國土生周遍世間寧有方所故名風大。
【五空大】空性無形因色顯發如人鑿井出土一尺中間則有一尺虛空眾生昏迷但見此空不知性覺真空遍周法界隨眾生心循業發現如一井空空生一井十方虛空亦復如是圓滿十方寧有方所故名空大。
【六見大】見覺無知因色空有如朝明夕昏一切色相因見分析眾生昏迷但見明暗之相不知性見精明遍周法界隨眾生心循業發現以由色空既遍見亦周遍六根互用聞聽覺知亦復如是圓滿十虛寧有方所故名見大(六根互用者謂如眼見色亦能聞聲齅香知味覺觸之類也十虛即十方虛空也)。
【七識大】識性無源因於六種根塵而出如根塵對起分別妄生眾生昏迷但隨分別不知性識明知遍周法界隨眾生心循業發現以由根境無邊識亦無盡含吐十虛寧有方所故名識大(六種根塵者根即眼耳鼻舌身意六根也塵即色聲香味觸法六塵也十虛者十方虛空也)。
地動七因(出華嚴經疏)
【一令諸魔生怖】魔有多種故曰諸魔令生怖者謂佛成道時必須地動令邪魔恐怖而回正念也。
【二令眾生心不散亂】令眾生心不散亂者謂佛欲說法時必先地動令諸眾生恭敬嚴謹心不散亂而能信受也。

【三令放逸者生覺知】令放逸生覺知者謂佛說法時或有放逸之人不能畢集必須地動令其覺知皆來諦聽也。
【四令眾生知法相】令眾生知法相者謂佛說法微妙難知必先地動普令一切眾生心生警悟覺了諸法之相也。
【五令眾生觀說法處】令眾生觀說法處者謂佛說法時欲令十方世界統為一佛國土必須地動令諸眾生得見說法殊勝之處也。
【六令成熟者得解脫】令成熟得解脫者謂佛說法時若有根緣成熟眾生來聞正法必須地動令其覺悟而得解脫也。
【七令隨順問正義】令隨順問正義者謂佛說法時為諸眾生不解正義必須地動令其警覺隨順請問各得開解也。
七難(出觀音玄義疏)
難即厄難苦惱之處也謂火有焦身絕命之憂故為初難水有沉有浮故為二難羅剎雖暴緩於火水故為三難刀杖非隨得隨戮必須研罪虛實故為四難鬼取非的命衰逢害故為五難枷鎖繫身未為失命故為六難怨賊覓寶與寶即脫故為七難而此七難一一皆有果報惡業煩惱三種今但明人中果報之一種也有以羅剎難中風難足為八難者非也。
【一火難】觀音經云若有持是觀世音菩薩名者設入大火火不能燒蓋持者口為誦持心為秉持言其執持無少懈也設入者不定之辭若人遭此難者一心稱名必得解脫如應驗傳云晉元康中竺長舒居於洛陽時為延火將及草屋在於下風豈有免理一心稱菩薩名即風回火轉狹識淺見者以為偶爾後因風燥之日故擲火燒之三擲三滅其人即叩頭謝罪如此應驗非一而已。
【二水難】經云若為大水所漂稱其名號即得淺處蓋水言大而不言小者小不為難也若遭此難稱菩薩名即得淺處如應驗傳云海鹽郡有溺水者同伴皆沉此人稱觀世音菩薩忽遇得一石困倦如眠夢見兩人乘船喚入即時覺悟開眼果見人船送至岸上則不復見矣。
【三羅剎難】梵語羅剎華言暴惡經云若有眾生為求金銀等寶入於大海假使黑風吹其船舫漂墮羅剎鬼國其中若有一人稱觀世音菩薩名者是諸人等皆得解脫羅剎之難蓋羅剎者食人鬼也一人稱名悉得解脫者憂慼休咎眾所共之口不同稱心亦覓福故獲均濟如應驗傳云外國百餘人從師子國泛海向扶南忽遇惡風漂墮鬼國其羅剎鬼便欲盡食一船眾人皆稱觀音中有一小乘沙門不信觀音不肯稱名鬼即索此沙門沙門學稱菩薩名號亦得免脫(梵語沙門華言勤習)。
【四刀杖難】經云若復有人臨當被害稱觀世音菩薩名者彼所執刀杖尋段段壞而得解脫如應驗傳云晉太元中彭城有一人被枉問為賊臨刑將舊所供養觀音金像帶在髻中後伏法刀下但聞金聲刀即三折頭終不傷解髻看像像有三痕由是得脫。

【五鬼難】經云若三千大千國土滿中夜叉羅剎欲來惱人聞其稱觀世音菩薩名者是諸惡鬼尚不能以惡眼視之況復加害蓋鬼所以畏觀音名者以觀音有威有恩若非懷恩則是畏威聞名尚不能惡眼相視豈復生於傷害之心耶(三千者小千中千大千也今言三千大千者總別兼稱也梵語夜叉華言勇健)。

【六枷鎖難】經云若復有人若有罪若無罪杻械枷鎖檢繫其身稱觀世音菩薩名者皆悉斷壞即得解脫蓋杻械枷鎖刑獄之具也繫即繫縛檢即封檢其人若能稱觀世音菩薩者重關自開鐵木斷壞如應驗傳云蓋護山陽人繫獄應死三日三夜稱菩薩名心無間息即見觀音放光照之鎖脫關開尋光而去行二十里光明方息。

【七冤賊難】經云有一商主將諸商人齎持重寶經過險路遇諸冤賊乃至其中一人作是唱言諸善男子勿得恐怖汝當一心稱觀世音菩薩名號眾商人一稱其名故即得解脫蓋冤本奪命賊本求財今冤為賊必財命兩圖由菩薩力故得解脫如應驗傳云僧慧達於晉隆安二年北隴上掘甘草于時羌餓捕人食之達為羌人所獲閉在棚中擇肥者先食達即一心稱名誦經餘人已盡唯達并一小兒準擬明日命盡達竟夜稱誦不輟向曉羌來取之忽見一虎從草跳出咆吼羌人驚走虎因齧棚作一穴而去達將小兒走竄得免。

七灾難(出仁王護國經)

七灾難者謂佛為十六大國波斯匿王等而說也若國土中有此七種灾難當講讀仁王般若波羅蜜經其難即滅萬姓安樂也(梵語波斯匿華言勝軍)。

【一日月失度難】謂日月失其所纏之度時序不調或赤日出或黑日出或二三四五日出或日蝕無光或日輪一重現乃至四五重現是為日月失度難。

【二星宿失度難】謂二十八宿及金星彗星火星水星風星刀星南斗北斗等星各各失其所躔之度是為星宿失度難(二十八宿者角亢底房心尾箕斗牛女虛危室壁奎婁胃昴畢觜參井鬼神星張翼軫也)。

【三灾火難】謂火灾起時萬姓燒盡或鬼火龍火天火山神火人火樹木火賊火如是種種灾異是為灾火難。

【四雨水變異難】謂陰陽不順大水漂沒冬雨夏雪冬行雷電夏雨霜雹或雨赤黑等水或雨土石沙礫江河逆流如是種種灾異是為雨水變異難。

【五惡風難】謂大風起時山河樹木一時吹壞或黑風赤風青風天風地風火風如是種種灾異是為惡風難。

【六亢陽難】亢極也謂天地亢陽炎火洞然百草枯瘁五穀不登如是種種灾異是為亢陽難(五穀者禾麻黍菽麥也)。

【七惡賊難】謂四方賊來侵擾境界或內外賊起火賊水賊風賊鬼賊百姓驚惶刀兵競起如是種種灾異是為惡賊難。

七種受胎(出善見毘婆沙律)

【一相觸受胎】謂女人月水生時喜樂男子若男子以身觸其身分即生貪著而便懷胎是名相觸受胎。

【二取衣受胎】謂如優陀夷共婦出家分別已久優陀夷徃到婦處兩情欲愛不止各相發問欲精污衣尼得此衣後即懷胎是名取衣受胎(梵語優陀夷華言出現日出時生故)。

【三下精受胎】謂徃昔有一道士小便與精俱下鹿母飲之遂便懷胎生鹿子道士是名下精受胎。

【四手摩受胎】謂如睒菩薩父母俱盲帝釋遙知下至其所為言宜合陰陽當生兒子荅言夫婦既悉出家為道法故不得如此帝釋復言不合陰陽當以手摩臍下即便懷胎果如其言而生睒子是名手摩受胎(睒音閃目暫見)。

【五見色受胎】謂有女人月華水成不得男子交合欲情極盛唯視男子即便懷胎是名見色受胎。

【六聞聲受胎】謂如白鷺鳥悉雌無雄到春來時陽氣始布雷聲初鳴雌鷺一心聞聲即便懷胎雞亦有聞雄雞聲亦得懷胎是名聞聲受胎。

【七麝香受胎】謂如[牛*秦]牛母但麝犢氣而亦懷胎是名麝香受胎([牛*秦]牛名犢牛子也)。

七種生死(出翻譯名義)

【一分段生死】分即分限段即形段謂三界果報壽有長短分限身有大小形段皆不免於生死是為分段生死(三界者欲界色界無色界也)。

【二變易生死】因移果易名為變易謂阿羅漢辟支佛菩薩既離三界生死出生方便等土就其斷惑證果之時因移果易論為生死是名變易生死(因移果易者如初果為因二果為果二果為因三果為果三果為因四果為果是也方便土者二乘之人修方便道斷見思惑而居此土也)。

【三流入生死】謂眾生有識之初迷真逐妄流入生死苦海漂溺不息是為流入生死。

【四反出生死】謂眾生若發心修行背妄歸真則能反出生死至於涅槃是為反出生死(梵語涅槃華言滅度)。

【五因緣生死】謂初歡喜地已後諸位菩薩皆以所觀不思議理為因能觀真無漏智為緣共破無明之惑復為化眾生故示現生死是為因緣生死(真無漏智者即菩薩智慧也由此智慧斷諸惑業而不漏落生死以對二乘之智名為真耳)。

【六有後生死】謂第十法雲地菩薩因有最後一品無明未斷尚有一番變易生死是為有後生死(最後一品者謂無明惑有四十二品今是最後之一品也)。

【七無後生死】謂等覺菩薩破最後一品無明煩惱究竟永盡入妙覺位不受後身是為無後生死。

七日輪出(出法苑珠林)
七日輪出者劫末之相也天地始終謂之一劫劫盡壞時火灾將起一切人民皆作惡業遂使天久不雨所種不生諸水泉源皆悉枯竭久久之後風入海底取日宮殿於須彌山邊置日道中遍照世間草木凋落如是一日乃至七日次第而出消竭海水大地烟起乾坤洞然直至梵天悉皆蕩盡故有七日出現之說也(劫梵語劫波華言分別時節梵語須彌華言妙高直至梵天者謂火灾起時燒至色界初禪天也)。
【一日出】一日出時百草樹木一時凋落。
【二日出】二日出時四大海水從百由旬乃至七百由旬內自然枯涸(梵語由旬華言限量或八十里或六十里或四十里)。
【三日出】三日出時四大海水千由旬乃至七千由旬內展轉消盡。
【四日出】四日出時四大海水深千由旬亦皆乾竭。
【五日出】五日出時四大海水縱廣七千由旬亦皆竭盡長阿含經云五日出已其後海水轉減猶如春雨後牛跡中水遂至涸盡不漬人物也。
【六日出】六日出時此地厚六萬八千由旬皆悉烟出從須彌山乃至三千大千世界及八大地獄無不燒滅烟燼無餘人民命終及六欲諸天皆悉命終宮殿皆空一切無常不得久住(三千者小千中千大千也今言三千大千者總別兼稱也八大地獄者活地獄黑繩地獄合會地獄叫喚地獄大叫喚地獄熱地獄大熱地獄阿鼻地獄也六欲天者四天王天忉利天夜摩天兜率天化樂天他化自在天也)。
【七日出】七日出時大地須彌山漸漸崩壞百千由旬永無遺餘山皆洞然諸寶爆裂烈焰震動至于梵天一切惡道皆悉蕩盡。
法沒時七穢行(出出曜經)
【一百歲持戒為惡所破】謂法將滅時有人持戒滿百歲已一彈指頃遂為惡知識之所破壞是為法沒時之穢行也。
【二久行慈心為嗔所壞】謂法將滅時有人久行平等慈忍未嘗少息一旦逆境現前不能安忍嗔恚倏起壞滅善根是為法沒時之穢行也。
【三薄賤不隨師教】謂法將滅時善行寡少為此道者悉皆輕薄污賤之徒不修威儀進止不順師長教誨耽習下流無所聞見是為法沒時之穢行也。
【四互諍勝負】謂法將滅時正教不行人我妄興是此者則非彼是彼者則非此交相毀諍以求勝負唯務較短量長不思反邪歸正是為法沒時之穢行也。
【五鬪亂彼此】謂法將滅時出家之人或居城郭村落貪求利養我慢貢高悖理亂常爭長競短向彼說此向此說彼互相毀謗爭鬪不已惟知構造其非不解弘持其教是為法沒時之穢行也。
【六貪著利養】謂法將滅時出家之人多貪利養廣殖田園惟思口體之奉不以勤苦為勞遂致身多疾病不能流通佛教是為法沒時之穢行也。

【七凡聖皆被毀辱】謂法將滅時教道不明以偽亂真以邪混正是非不明凡聖無別故自凡夫之僧至阿羅漢一槩被人輕賤毀辱既辱其徒何有其教是為法沒時之穢行也(梵語阿羅漢華言無學)。
大明三藏法數卷第二十三

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

如來八相(出釋迦譜)

如來八相者法華經中明釋迦如來無量劫前已成正覺因大悲願力利益眾生數數於十方國土示生示滅處處不同豈但於此南閻浮提一方出現而已今論出現本末則具有八相皆所以示同人法也(梵語釋迦華言能仁劫梵語具云劫波華言分別時節梵語閻浮提華言勝金洲)。

【一降兜率相】梵語兜率華言知足以此天於五欲境知止足故謂菩薩從兜率天將降神時觀此閻浮提內迦毘羅國最為處中徃古諸佛出興皆生於此爾時菩薩即現五瑞一者放大光明二者大地震動三者諸魔宮殿隱蔽不現四者日月星辰無復光明五者天龍等眾悉皆驚怖現此瑞已於是下生是名降兜率相(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也菩薩即釋迦如來梵語迦毘羅華言黃色)。

【二託胎相】謂菩薩將託胎時觀淨飯王性行仁賢摩耶夫人前五百世曾為菩薩母應往彼託胎大機之人見乘栴檀樓閣小機之人見乘六牙白象與無量諸天作諸伎樂從右脅入身暎於外如處琉璃是名託胎相(梵語摩耶具云摩訶摩耶華言大術)。

【三降生相】謂四月八日日初出時摩耶夫人在毘嵐園手攀無憂樹枝菩薩漸漸從右脅出于時樹下生七莖蓮華大如車輪菩薩處於華上周行七步舉右手而言曰我於一切天人之中最尊最勝爾時難陀龍王跋難陀龍王於空中雨溫凉二水灌太子身身黃金色三十二相放大光明普照三千大千世界是名降生相(毘嵐梵語具云嵐毘尼華言解脫處梵語難陀華言懽喜梵語跋難陀華言善歡喜此二龍王即兄弟也三十二相者足下安平相千輻輪相手指纖長相手足柔輭相手足縵網相足跟滿足相足趺而好相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如師子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相四牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色如金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也三千者小千中千大千也言三千大千者總別兼稱也)。

【四出家相】謂太子年至十九時出遊四門見老病死之相厭世無常心思出家徃白父王願[聽-王]出家父王不許於二月七日身放光明照四天王宮乃至淨居天宮諸天見已到太子所頭面禮足白言無量劫來所修行願今正成熟之時太子遂於後夜乘馬逾城至跋伽仙人苦行林中剃除鬚髮是名出家相(四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王淨居天即色界天也)。

【五降魔相】魔梵語具云魔羅華言能奪命謂菩薩於菩提樹下將成道時大地震動放大光明隱蔽魔宮時魔波旬即令三女亂其淨行菩薩以神

力故變其魔女皆成老母魔王大怒徧勑部從上震天雷雨熱鐵丸刀輪器仗交橫空中挽弓放箭箭停空中變成蓮華不能加害羣魔憂戚悉皆迸散是名降魔相(梵語菩提華言道梵語波旬華言惡即魔王名也)。

【六成道相】謂菩薩降伏魔已放大光明即便入定悉知過去所造善惡死此生彼之事於臘月八日明星出時豁然大悟得無上道成最正覺是名成道相。

【七說法相】謂菩薩既成道已便欲說法度諸眾生即自思惟無能信受者若我住世於事無益不如入於涅槃爾時梵天前白佛言世尊今日法海已滿法幢已立潤濟開導今正是時云何欲捨一切眾生入於涅槃而不說法是時如來受梵王請已即住鹿野苑中先為憍陳如等五人轉四諦法輪及說大小乘種種教法是名說法相(五人者憍陳如馬勝跋提十力迦葉拘利太子也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。

【八涅槃相】梵語涅槃華言滅度謂如來度人已竟將入涅槃二月十五日於拘尸那城娑羅雙樹間臥七寶床其林忽然變白猶如白鶴爾時佛受純陀長者最後供已與文殊師利等言諸善男子但當自修其心慎莫放逸遂於中夜而入涅槃諸天人等以千端氎纏裹其身七寶為棺盛滿香油積諸香木以火焚之[(冰-水+丨)*攵]取舍利以為八分起塔供養是名涅槃相(梵語拘尸那華言角城其城三角故也梵語娑羅華言堅固謂冬夏不改色也梵語文殊師利華言妙德八分者拘尸城一分波肩羅婆國一分師伽那婆國一分阿勒遮國一分毘耨國一分毘離國一分遮羅迦羅國一分摩伽陀國一分也)。

八大自在我(出涅槃經)

我即自在之義謂如來有大神力有大智慧故能隨機示現自在巧妙經中謂如來常樂我淨之我具此八義故稱我德(常者不遷不變也樂者無生死苦也我者即八自在也淨者惑業淨盡也)。

【一能示一身以為多身】一身多身者於一身中現無量身也經云如來身數猶如微塵充滿十方無量世界蓋如來所證法身之體遍一切處全此之體起於應用故能一多自在也。

【二示一塵身滿大千界】一塵身滿大千界者謂如來法身體無不遍故一塵之身與法身之量同一廣大大千世界悉皆充滿自在無礙也。

【三大身輕舉遠到】大身輕舉遠到者謂如來廣大之身飛行輕舉無遠不到自在無礙也經云如來能以滿大千世界之身輕舉飛空過於二十恒河沙等諸佛世界而無障礙是也。

【四現無量類常居一土】現無量類常居一土者謂如來雖為眾生現眾類之身而所居常在一土自在無礙也經云如來之心安住不動而能隨諸眾生現無量形類又云如來之身常住一土而令他土一切悉見是也。

【五諸根互用】諸根互用者謂如來眼等諸根互相為用自在無礙也經云如來一根亦能見色聞聲齅香別味覺觸知法一根既然諸根亦爾是也(一根者即眼耳鼻舌身意六根中之一根也)。

【六得一切法如無法想】得一切法如無法想者謂如來知一切法本性空寂若言有法而可證得則為虛妄故雖有所證而無能證之想於法融通自在無礙也經云若是有者可名為得實無所有云何名得以自在故非得而得是也。
【七說一偈義經無量劫】說一偈義經無量劫者謂如來智慧辯才演說一偈之義雖經多劫無有窮盡稱性宣揚自在無礙也經云如來演一偈之義經無量劫義亦不盡是也(劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【八身徧諸處猶如虛空】身徧諸處猶如虛空者謂如來為諸眾生處處現身說法猶如虛空了無形相可得隨緣應化自在無礙也經云虛空之性不可得見如來亦爾實不可見以自在故令一切見是也。
八音(出法界次第)
八音者謂如來所出音聲言辭清雅令諸眾生聞即解悟而有此八種也。
【一極好音】謂一切諸天二乘菩薩雖各有好音未足為極唯佛音聲聞者無厭得入妙道好中之最故名極好音(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【二柔輭音】謂佛以慈善為心所出音聲巧順物情能令聞者喜悅皆捨剛強之心故名柔輭音。
【三和適音】謂佛常居中道妙解從容所出音聲和雅調適能令聞者心皆融釋因聲會理故名和適音。
【四尊慧音】謂佛德位尊高慧心明徹所出音聲能令聞者尊重慧解開明故名尊慧音。
【五不女音】謂佛住首楞嚴定有大雄之德所出音聲能令一切聞者敬畏天魔外道莫不歸伏故名不女音(梵語首楞嚴華言健相分別謂能降伏一切魔也)。
【六不誤音】謂佛智圓明照了無礙所出音聲諦審真實無有差謬能令聞者各獲正見故名不誤音。
【七深遠音】謂佛智幽深行位高極所出音聲自近而達徹至十方令近聞非大遠聞不小皆悟甚深幽遠之理故名深遠音。
【八不竭音】謂如來願行無盡住於無盡法藏所出音聲聞者尋其所義無盡無窮故名不竭音。
八支語(出顯揚聖教論)
【一上首語】首始也謂佛凡有所說必以趣向涅槃之道而為首先故名上首語(梵語涅槃華言滅度)。
【二美妙語】謂佛所說法言辭柔輭嘉美微妙令人樂聞故名義妙語。
【三顯了語】謂佛說法隨機須暢於諸事理顯白明了故名顯了語。
【四易解語】謂佛說法善巧方便令諸眾生即得解悟故名易解語。
【五樂聞語】謂佛說法稱適機宜語音宣暢事理該明當機之眾無不喜樂[聽-王]聞故名樂聞語。

【六無依語】謂佛說法隨機開導無所依著亦不希望他人信已而後為說故名無依語。
【七不逆語】謂佛說法知諸眾生根量隨順不違使其各得獲益故名不逆語。
【八無邊語】謂佛說法具大智慧具大辯才稱性宣演無有窮極故名無邊語。
八分分如來舍利(出涅槃註後分)
釋迦如來於拘尸城茶毘已竟諸國起兵奪取舍利時有婆羅門為息相奪諍故分作八分八國起塔供養也(梵語釋迦華言能仁拘尸梵語具云拘尸那華言角城謂此城三角故也梵語茶毘華言焚燒梵語舍利華言骨身梵語婆羅門華言淨行)。
【一拘尸城】拘尸城諸力士得一分舍利即於國中起塔供養。
【二波肩羅婆國】波肩羅婆國力士得一分舍利歸國起塔供養。
【三師伽那婆國】師伽那婆國拘樓羅眾得一分舍利歸國起塔供養。
【四阿勒遮國】阿勒遮國諸剎帝利得一分舍利歸國起塔供養(梵語剎帝利華言田主)。
【五毘耨國】毘耨國諸婆羅門得一分舍利歸國起塔供養。
【六毘離國】毘離國諸黎車得一分舍利歸國起塔供養。
【七遮羅迦羅國】遮羅迦羅國諸釋子得一分舍利歸國起塔供養。
【八摩伽陀國】摩伽陀國阿闍世王得一分舍利歸國起塔供養(梵語摩伽陀華言善勝梵語阿闍世華言未生怨)。
八大靈塔(出八大靈塔經)
佛之靈塔有八經云若人發大信心修建塔廟承事供養得大利益獲大果報具大名稱是人命終即得生天然佛之舍利人間天上建塔甚多此經所載乃如來降生等處所建之塔也(梵語舍利華言骨身)。
【一在迦毘羅城龍彌你園】梵語迦毘羅華言黃色梵語龍彌你又云嵐毘尼華言解脫處佛之降生即此園也乃造寶塔以表靈蹟焉。
【二在摩伽陀園泥連河邊】梵語摩伽陀華言善勝梵語泥連未見翻譯佛於此河邊菩提樹下而成正覺故建塔於此以供養焉(梵語菩提華言道)。
【三在波羅奈城】梵語波羅奈華言鹿苑佛於此處為聲聞緣覺說四諦法故建塔以供養焉(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【四在舍衛國祇陀園】梵語舍衛華言豐德梵語祇陀或云祇洹華言戰勝佛於此園說法度生故建塔以供養焉。
【五在曲女城】此城由往昔大樹仙人呪九十九女一時腰曲故名曲女佛從忉利天說法下降於此故建塔以供養焉(梵語忉利華言三十二)。
【六在王舍城】此城往昔由千王共居故名王舍佛於此處說法度生故建塔以供養焉。

【七在廣嚴城】其城廣博嚴淨故名廣嚴佛於此處思念壽量故建塔以供養焉。
【八在拘尸那城】梵語拘尸那華言角城其城三角故也佛於此城娑羅雙樹間入般涅槃故建塔以供養焉(梵語娑羅華言堅固梵語般涅槃華言滅度)。
八藏(出華嚴經隨疏演義鈔)
藏即舍藏之義謂舍藏諸法文理而有經律論呪之不同經者法也常也凡聖之所軌則曰法魔外不能變壞曰常律者法也謂分判輕重持犯之罪如世之法律論議也謂論議種種諸法甚深之義也呪者願也謂祈願種種如意殊勝等事也蓋以聲聞緣覺大小乘之不同故有八藏之名焉(魔外者天魔外道也)。
【一經藏】經藏者即四阿含經是也(梵語阿含華言無比法謂世間之法無可比也四阿含者增一阿含長阿含中阿含雜阿含也)。
【二律藏】律藏者即四分十誦律等是也(四分者一比丘法二比丘尼法三受戒法四滅諍法也十誦者謂佛弟子優波離十番誦出也)。
【三論藏】論藏者即阿毘曇等論是也(梵語阿毘曇華言無比法謂聖人分別法義不可比也)。
【四呪藏】呪藏者即除一切疾病陀羅尼辟除諸惡陀羅尼等是也(梵語陀羅尼華言呪亦云能持謂持善不失持惡不生也已上經律論呪是聲聞四藏也)。
【五經藏】經藏者即妙法蓮華經大方廣佛華嚴等經是也。
【六律藏】律藏者即菩薩善戒經梵網戒等經是也。
【七論藏】論藏者即大智度論十地經等論是也。
【八呪藏】呪藏者即楞嚴呪大悲等呪是也(已上經律論呪是菩薩四藏也)。
八藏(出處胎經)
藏即含藏之義謂佛滅度後阿難結集如來所說經法以此八藏類攝無遺也(梵語阿難華言度喜)。
【一胎化藏】胎化藏者謂佛說胎中化現等事如菩薩處胎等經是也。
【二摩訶衍藏】梵語摩訶衍華言大乘摩訶衍藏者即佛所說法華涅槃華嚴等諸大乘經是也。
【三中陰藏】謂此色身死後未託生前名為中陰中陰藏者如佛所說中陰等經是也。
【四戒律藏】戒律藏者謂佛所制在家出家及大乘小乘諸品戒法如僧祇等律部是也。
【五菩薩藏】菩薩藏者謂佛所說大乘諸經明諸菩薩修因證果之法是也。
【六雜藏】雜藏者謂佛所說大小乘經共明聲聞緣覺菩薩及諸天人修因證果等法是也。

【七金剛藏】金剛藏者謂佛所說等覺菩薩修因證果之法以其破惑之智最為堅利能斷極後微細無明之惑故名等覺菩薩為金剛心是也(等覺者去後妙覺猶有一等勝前諸位得稱為覺也)。

【八佛藏】佛藏者謂佛所說大乘諸經明一切諸佛所說之法及神通變現導利眾生等事是也。

八部般若(出般若經)

梵語般若華言智慧佛於第四時中所說之經既多法亦不一故有八部之名焉。

【一大品般若】謂佛演說五蘊十二入十八界三十七道品等法皆從六波羅蜜生其般若波羅蜜最大最勝最為第一餘之五度若無般若導達則不得名為波羅蜜也以其卷帙多故是名大品般若(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也十二入者眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入法入也十八界者眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也三十七道品者觀身不淨觀受是苦觀心無常觀法無我是四念處已生惡令永斷未生惡令不生已生善令增長未生善令得生是四正勤欲如意足念如意足精進如意足思惟如意足是四如意足信根進根念根定根慧根是五根信力進力念力定力慧力是五力擇法覺分精進覺分喜覺分除覺分捨覺分定覺分念覺分是七覺分正見正思惟正語正業正命正精進正念正定是八正道已上諸法總為三十七道品也梵語波羅蜜華言到彼岸六波羅蜜者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。

【二小品般若】謂與前大品所說之法大要是同因對大品以其卷帙少故是名小品般若。

【三放光般若】謂世尊入于三昧從足千輻輪相放大光明上至肉髻及諸毛孔中皆放光明遍照十方國土為諸菩薩而說此經是名放光般若(梵語三昧華言正定)。

【四光讚般若】光即光明讚即講說謂佛從舌本出無數光明照三千界其光明中自然而現無數金蓮華其蓮華上各有諸佛講說此經是名光讚般若(三千界者小千中千大千也)。

【五道行般若】謂佛說法令諸眾生聞者喜樂展轉相告於中受學成就道行是名道行般若。

【六金剛般若】金剛喻也般若法也以金之剛貞至堅至利能斷難斷能碎萬物譬喻般若空慧能斷諸眾生難斷之惑是名金剛般若。

【七勝天王般若】勝天王問佛云菩薩摩訶薩云何修學一法通達一切法佛即荅云菩薩摩訶薩修學般若波羅蜜經則能通達檀波羅蜜乃至智波羅蜜等此經由勝天王發問而說是名勝天王般若(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語摩訶華言大梵語檀華言施)。

【八文殊問般若】文殊師利白佛言我觀如來不異相不動相不作相無生相無滅相不有相不無相等佛即荅云若能如是見於如來心無所取亦

無不取等甚為希有此經因文殊發問而說是名文殊問般若(梵語文殊師利華言妙德)。

八還辯見(出楞嚴經)

還者復也辯者分別也見即能見之性也八還辯見者以所見八種可還之境而辯能見之性不可還也此由阿難不知塵有生滅見無動搖而妄認緣塵隨塵分別故如來以心境二法辯其真妄言心則曰今當示汝無所還地言境則曰吾今各還本所因處此顯所見之境可還而能見之性不可還也遂以八種變化之相以辯之(梵語阿難華言慶喜)。

【一明還日輪】經云此大講堂洞開東方日輪升天則有明曜而言還者謂此講堂日出則明無日則暗是則明因於日故復還於日也然明是所見之塵境非能見之性也以塵境則有生滅見性元無生滅是故所見之明則可還能見之性不可還也若能見之性亦可還者則不明時無復見其暗矣故曰明還日輪。

【二暗還黑月】經云中夜黑月雲霧晦冥則復昏暗而言還者以由白月則明黑月便暗是則暗因黑月故復還於黑月也當知所見之暗則可還能見之性不可還也若能見之性亦可還者則不暗時無復見其明矣故曰暗還黑月。

【三通還戶牖】經云戶牖之隙則復見通而言還者以有戶牖則見通若無戶牖則不見通是則通屬戶牖故復還於戶牖也當知所見之通則可還能見之性不可還也若能見之性亦可還則不通處無復見其壅矣故曰通還戶牖(隙者戶牖之空處也)。

【四壅還墻宇】經云墻宇之間則復觀壅而言還者以有墻宇則見壅若無墻宇則不見壅是則壅屬墻宇故復還於墻宇也乃知所見之壅則可還能見之性不可還也若能見之性亦可還者則無壅處不復見其通矣故曰壅還墻宇。

【五緣還分別】經云分別之處則復見緣而言還者謂有分別所對之處則有所緣之相若無所對五塵之境則無緣相而可分別是則緣屬分別故復還於分別也當知所緣分別之相可還而能分別之性不可還也若能分別之性亦可還者則不緣境時無復知其無分別矣故曰緣還分別(緣者繫也謂心緣繫色聲香味觸之五塵也所對之處即五塵之境也)。

【六頑虛還空】頑者無知也頑虛者謂無形相頑然無有知覺也經云頑虛之中徧是空性而言還者謂無形相之礙則徧是虛空若有形相則不見其虛矣是則頑虛即空故復還於空也當知所見之虛則可還能見之性不可還也若能見之性亦可還者則不虛時無復見其形相矣故曰頑虛還空。

【七鬱[土*孛]還塵】鬱者滯也[土*孛]者氣盛貌經云鬱[土*孛]之象則紆昏塵而言還者以有塵象則見鬱[土*孛]無塵則不見其昏滯是則鬱[土*孛]屬於塵象故復還於塵象也當知所見鬱[土*孛]之象則可

還能見之性不可還也若能見之性亦可還者則無塵時不復見其清明矣故曰欝[土*孛]還塵(紆者縈也)。
【八清明還霽】經云澄霽斂氛又觀清淨而言還者以澄霽則見清淨昏暗則不能見其明淨矣是則清明屬霽故復還於霽也當知所見清明之象可還而能見之性不可還也若能見之性亦可還者則不明時無復見其昏暗矣故曰清明還霽。
涅槃八味(出方等般泥洹經)
涅槃梵語具云摩訶般涅槃那華言大滅度大即法身滅即解脫度即般若是乃三德秘密理藏也此之理藏在諸佛不增在眾生不減而有八種法味故泥洹經立此八味之名也(法味者并諸法中之義味也)。
【一常住】謂此涅槃之理徹三際以常存亘十方而常在故曰常住(三際者即過去未來現在三世也十方者四方四雄上下也)。
【二寂滅】謂此涅槃之理寂絕無為大患永滅故曰寂滅(大患者生死也)。
【三不老】謂此涅槃之理不遷不變無增無減故曰不老。
【四不死】謂此涅槃之理從本不生今亦不滅故曰不死。
【五清淨】謂此涅槃之理安住清涼諸障悉淨故曰清淨。
【六虛通】謂此涅槃之理虛徹靈通圓融無礙故曰虛通。
【七不動】謂此涅槃之理寂然不動妙絕無為故曰不動。
【八快樂】謂此涅槃之理無生死逼迫之苦有真常寂滅之樂故曰快樂。
大海八不思議喻涅槃(出涅槃經)
【一漸漸轉深】謂如來所說涅槃之法隨順眾生根性利鈍大小無不令其各各獲益次第修證而至于究竟之地如經所說優婆塞戒沙彌戒比丘戒菩薩戒須陀洹果乃至菩薩果佛果之類猶如大海之流從淺而至深也(梵語涅槃華言滅度梵語優婆塞華言清淨士梵語沙彌華言息慈梵語比丘華言乞士梵語具云菩提薩埵華言覺有情優婆塞戒即五戒也沙彌戒即十戒也比丘戒即二百五十戒也菩薩戒即十種戒也梵語須陀洹華言入流)。
【二深難得底】謂如來所說涅槃之法理智圓融妙不決定一切二乘菩薩皆莫測其所至如經云或說我無我或說常無常或說淨不淨或說空不空乃至或說五陰即是佛性之類於如是等法說無窮盡猶如大海之深難得底也(二乘者聲聞乘緣覺乘也五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【三同一鹹味】謂如來所說涅槃之法雖有四教之異莫不為令眾生同得實相之理同躋大覺之地如經所說一切眾生同有佛性同一解脫同一因果乃至一切同得常樂我淨之類猶如大海雖納百川同一鹹味也(四教者藏教通教別教圓教也)。
【四潮不過限】謂如來說涅槃之時扶律談常制諸禁戒令諸弟子如法受持不得踰越如經所說制諸比丘不得受畜八不淨物之類猶如海潮朝

夕往來不過其限也(八不淨物者一置買田宅二種植根栽三貯聚穀粟四畜養奴婢五畜養群畜六藏積金銀財寶七藏積象牙刻鏤等物八藏積銅鐵釜鑊以自煮爨也)。

【五有種種寶藏】謂如來所說涅槃之法為世珍寶可尊可貴凡眾生窘於法財者令其修習悉得免離逼迫之苦而成出世饒益之樂如經所說寶者謂四念處四正勤乃至如來功德智慧之類無所不具猶如大海種種諸寶皆悉含藏也(四念處者觀身不淨觀受是苦觀心無常觀法無我也四正勤者已生惡令永斷未生惡令不生已生善令增長未生善令生也)。

【六大身眾生居住】謂如來所說涅槃之法甚深無量一切佛及菩薩莫不依此而住如經所說佛菩薩有大智慧大神通乃至大慈悲之類無非聖法之所含攝猶如大海一切鯤鯨大身之類咸依之而居也。

【七不宿死屍】謂如來所說涅槃之法專為扶持戒律而談常住不令眾生起斷滅見於末法中生清淨正信之心離一切邪惡之人如經所說闡提誹謗方等非法說法法說非法受畜八種不淨之物佛物僧物隨意而用或於比丘比丘尼所作非法事皆為死屍是經離如是等猶大海之不宿死屍也(闡提梵語具云一闡提華言信不具外道名梵語尼華言女)。

【八萬流大雨不增不減】謂如來所說涅槃之法廣談佛性盛演圓常平等清淨不生不滅眾生諸佛同一覺源曾無有異如經所說無邊際故無始終故常住不生不滅故一切眾生悉平等故一切佛性同一性故猶萬流大雨之歸大海而不增不減也。

八背捨(亦名八解脫出禪波羅蜜)

背謂違背捨即棄捨大智度論云背此淨潔五欲捨此著心故名背捨修此觀故發無漏智慧斷三界見思惑盡證羅漢果即轉名八解脫也(淨潔五欲者若欲界色聲香味觸即名麤弊五欲名為不淨若色界無色界色聲香味觸即名淨潔五欲也無漏智慧者謂二乘等由此智慧斷除惑業不漏落生死也三界者欲界色界無色界也見思惑者謂意根對法塵起諸分別曰見惑眼等五根對色等五塵起諸貪愛曰思惑梵語阿羅漢華言無學)。

【一內有色相外觀色】謂行人先觀自己色身相狀壞爛不淨不丁愛樂一心靜定更想皮肉脫落但見白骨有八色光明故云內有色相又為欲界貪欲難斷雖己自觀內色不淨故須復以不淨觀於他人之色令生厭惡以求斷除故又云外觀色此即初背捨位在初禪天定(八色光明者謂見地色如黃白淨地見水色如澗中澄清之水見火色如烟薪清淨之火見風色如無塵清風見青色如金精山見黃色如薝蔔花見赤色如春朝霞見白色如珂雪也)。

【二內無色相外觀色】謂行人為入二禪已滅內身色相故云內無色相又為欲界貪欲難斷故猶觀外不淨之相令生厭惡以求斷除故又云外觀色此即第二背捨位在二禪天定。

【三淨背捨身作證】淨即緣於淨相也謂行人於第二背捨後除棄外色不淨之相但於定中練習八色光明清淨皎潔猶如妙寶之色故云淨背捨

心既明淨樂漸增長徧滿身中悉皆怡悅故又云身作證此即第三背捨位在三禪天定。

【四虛空處背捨】謂行人於欲界後已除棄自身不淨之色初背捨後又除棄內身白骨之色第二背捨後又除棄外身一切不淨之色尚餘八種淨色皆依心住若心捨色色即謝滅一心緣空與空相應即入無邊虛空處定故云虛空處背捨此即第四背捨位在四禪天定。

【五識處背捨】謂行人若捨虛空處一心緣識入定時即觀此定依五陰等悉皆無常苦空無我虛誑不實心生厭背而不受著故云識處背捨(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也無常者謂五陰之身終歸壞滅也苦者謂身有生死逼迫等苦也空者謂身由四大假合而成本來空也無我者謂四大各離誰是我耶)。

【六無所有處背捨】謂行人若捨識處一心緣無所有處入定時即觀此定依五陰等悉皆無常苦空無我虛誑不實心生厭背而不受著故名無所有處背捨。

【七非有想非無想處背捨】謂行人若捨無所有處一心緣非有想非無想入定時即觀此定依五陰等悉皆無常苦空無我虛誑不實心生厭背而不愛著故名非有想非無想背捨。

【八滅受想背捨】受即領納想即思想即五陰中受想二心也謂行人厭患此心散亂欲入定休息故背滅受想諸心是名滅受想背捨。

八勝處(出禪波羅蜜)

八勝處者謂修八背捨後觀心純熟轉變自在若淨若不淨隨意能破也禪波羅蜜云初二勝處位在初禪第三第四勝處位在二禪第五至第八勝處位在四禪三禪不立勝處者以三禪天樂多心鈍故不立也。

【一內有色相外觀色少若好若醜是名勝知勝見】謂行人先觀自己色身相狀壞爛不淨不可愛樂一心靜定更想皮肉脫落但見白骨有八色光明故云內有色相又以觀道未增若觀多色恐難攝持故觀少色是以自觀己身不淨亦觀所愛之人身亦不淨故云外觀色少若好若醜者謂觀外諸色善業果報故名好惡業果報故名醜或時繫心一處觀欲界中色能生貪欲者是淨色名為好能生瞋恚者是不淨色名為醜勝知勝見者謂觀心純熟於好色中心不貪愛於醜色中心不瞋恚也(八色光明者謂見地色如黃白淨地見水色如淵中澄清之水見火色如無烟薪清淨之火見風色如無塵清風見青色如金精山見黃色如薝蔔華見赤色如春朝霞見白色如珂雪也)。

【二內有色相外觀色多若好若醜是名勝知勝見】謂行人先觀自己色身相狀壞爛不淨不可愛樂一心靜定更想皮肉脫落但見白骨有八色光明故云內有色相觀於內身色相既熟則觀外色雖多亦無妨礙所謂諦觀一死屍至十百千萬等死屍若觀一胖脹時悉見一切胖脹乃至壞爛青瘀剝落亦復如是故云外觀色多若好若醜者謂觀外諸色善業果報故名好惡業果報故名醜或時繫心一處觀欲界中色能生貪欲者是淨色名為好

能生瞋恚者是不淨色名為醜勝知勝見者謂觀心純熟於好色中心不貪愛於醜色中心不瞋恚也。
【三內無色相外觀色少若好若醜是名勝知勝見】謂行人入二禪已滅內心色相故云內無色相又以觀道未增若觀多色恐難攝持故觀少色是以自觀己身不淨亦觀所愛之人身亦不淨故云外觀色少若好若醜者謂觀外諸色善業果報故名好惡業果報故名醜或時繫心一處觀欲界中色能生貪欲者是淨色名為好能生瞋恚者是不淨色名為醜勝知勝見者謂觀心純熟於好色中心不貪愛於醜色中心不瞋恚也。
【四內無色相外觀色多若好若醜是名勝知勝見】謂行人入二禪已滅內身色相故云內無色相觀內身色相既無則外觀色相雖多亦無妨礙所謂諦觀一死屍至千萬死屍若觀一胖脹悉見一切胖脹乃至壞爛剝落亦復如是若好若醜者謂觀外諸色善業果報故名好惡業果報故名醜或時繫心一處觀欲界中色能生貪欲者是淨色名為好能生瞋恚者是不淨色名為醜勝知勝見者謂觀心純熟於好色中心不貪愛於醜色中心不瞋恚也蓋行人為欲界煩惱難破故於第二禪中重修第三第四勝處除滅欲界煩惱令無遺餘亦令觀道增進牢固不失工力轉勝也。
【五青勝處】謂行人觀青色照耀勝於背捨八色光明中所見青相不起法愛故名勝處。
【六黃勝處】謂行人觀黃色照耀勝於背捨八色光明中所見黃相亦不起法愛故名勝處。
【七赤勝處】謂行人觀赤色照耀勝於背捨八色光明中所見赤相亦不起法愛故名勝處。
【八白勝處】謂行人觀白色照耀勝於背捨八色光明中所見白相亦不起法愛故名勝處。
八正道(出法界次第)
謂此八法不依偏邪而行故名為正復能通至涅槃故名為道(梵語涅槃華言滅度)。
【一正見】謂人修無漏道見四諦分明破外道有無等種種邪見是為正見(無漏道者即戒定慧修此道者能斷三界有漏生死也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【二正思惟】謂人見四諦時正念思惟觀察籌量令觀增長是為正思惟。
【三正語】謂人以無漏智慧常攝口業遠離一切虛妄不實之語是為正語。
【四正業】謂人以無漏智慧修攝其心住於清淨正業斷除一切邪妄之行是為正業(清淨正業者謂戒定慧等出世之善業也)。
【五正命】謂出家之人當離五種邪命利養常以乞食自活其命是為正命(五種邪命者一詐現異相二自說功能三占相吉凶四高聲現威五說所得利以動人心也)。

【六正精進】不雜名精無間名進謂人勤修戒定慧之道一心專精無有間歇是名正精進。
【七正念】謂人思念戒定慧正道及五停心助道之法堪能進至涅槃是名正念(五停心者多散眾生數息觀多貪眾生不淨觀多嗔眾生慈悲觀愚癡眾生因緣觀多障眾生念佛觀也)。
【八正定】謂人攝諸散亂身心寂靜正住真空之理决定不移是名正定。
八智(出四教儀集註)
【一苦法智】苦是欲界生死之苦法是所證真如之理智是能證之智謂觀欲界生死之苦真智發而證真如之理是名苦法智。
【二苦類智】謂觀欲界苦諦之後復觀上二界苦諦真智明發是欲界苦法智之流類是名苦類智(上二界者謂色界無色界也)。
【三集法智】謂觀欲界集諦見惑真智明發而證真如之理是名集法智。
【四集類智】謂觀欲界集諦之後復觀上二界集諦真智明發是欲界集法智之流類是名集類智。
【五滅法智】謂觀欲界滅諦滅前苦集真智明發而證真如之理是名滅法智。
【六滅類智】謂觀欲界滅諦之後復觀上二界滅諦真智明發是欲界滅法智之流類是名滅類智。
【七道法智】謂觀欲界道諦修三十七道品真智明發而證真如之理是名道法智(三十七道品者觀身不淨觀受是苦觀心無常觀法無我是四念處已生惡令永斷未生惡令不生已生喜令增長未生善令得生是四正勤欲如意足念如意足精進如意足思惟如意足是四如意足信根進根念根定根慧根是五根信力進力念力定力慧力是五力擇法覺分精進覺分喜覺分除覺分捨覺分定覺分念覺分是七覺分正見正思惟正語正業正命正精進正念正定是八正道已上諸法總為三十七道品也)。
【八道類智】謂觀欲界道諦之後復觀上二界道諦真智明發是欲界道法智之流類是名道類智。
八念(出大智度論)
念者內心存憶也論云佛諸弟子於閑靜處乃至山林曠野善修不淨等觀厭患其身忽生驚怖及為惡魔作種種惡事惱亂其心憂懼轉增是故如來為說八念法若存心於此恐怖即除也。
【一念佛】謂修禪觀之人若遭恐怖障難之時應念諸佛慈悲救濟眾生功德無量如是一心念念不捨怖障即除也。
【二念法】謂修禪觀之人若遭恐怖障難之時應當念法法力廣大通達無礙能滅煩惱如是一心念念不捨怖障即除也。
【三念僧】謂修禪觀之人若遭恐怖障難之時應當念僧僧是佛之弟子能修正道能證聖果為世福田如是一心念念不捨怖障即除也。

【四念戒】謂修禪觀之人若遭恐怖障難之時應當念戒戒是無上菩提之本能遮諸惡得安隱處如是一心念念不捨怖障即除也(梵語菩提華言道)。
【五念捨】謂修禪觀之人若遭恐怖之時應當念捨捨有二種一捨施能生大功德二捨煩惱因此得大智慧如是一心念念不已怖障即除也。
【六念天】謂修禪觀之人若遭恐怖障難之時應當念四天王天乃至他化自在天如是等天果報清淨利安一切如是一心念念不捨怖障即除也(四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也他化自在天即欲界第六天也)。
【七念出入息】息即鼻中出入之氣念出入息者謂修禪觀之人若遭恐怖之時應當念息息是治散亂之良藥入禪定之捷徑如是念念不已則心不馳散怖障即除也。
【八念死】謂修禪觀之人若遭恐怖障難之時應當念死死有二種一者自死謂報盡而死二者他緣死謂遇惡緣而死此二種死從生以來常與身俱無可避處如是一心念念不已怖障即除也。
大人八念(出中阿含經)
阿那律陀在枝提瘦水渚林中宴坐思惟心作是念道從無欲非有欲得乃至道從智慧非愚癡得於是世尊以他心智知彼心中所念而現其前為說大人八念也(梵語阿那律陀華言無滅佛之弟子)。
【一道從無欲非有欲得】謂比丘修道當於一切塵境不生希欲之心雖自得無欲而不令他知此所以能得道也是名道從無欲非有欲得。
【二道從知足非無厭得】謂比丘修道衣但覆形食但支命一切所需悉當知足此所以能得道也是名道從知足非無厭得。
【三道從遠離非聚會得】謂比丘修道於世間諸法及己身心俱當遠離此所以能得道也是名道從遠離非聚會得。
【四道從精勤非懈怠得】謂比丘修道當常行精進斷惡不善修諸善法恒自起意專一堅固不捨方便此所以能得道也是名道從精進非懈怠得。
【五道從正念非邪念得】謂比丘修道當觀察身心內外諸法悉皆空寂無有邪念此所以能得道也是名道從正念非邪念得。
【六道從定意非亂意得】謂比丘修道當遠離諸惡之法凝心禪定無有散亂此所以能得道也是名道從定意非亂意得。
【七道從智慧非愚癡得】謂比丘修道當觀察世間興衰之法而得智慧明達分別曉了悉除惑業盡生死苦此所以能得道也是名道從智慧非愚癡得。
【八道從不戲樂非戲行得】謂比丘修道當常寂靜遠離嬉戲之樂遊觀之行安住無為之理正意而解此所以能得道也是名道從不戲樂非戲行得。

八覺(出華嚴經疏)
覺猶念也因此八種引起一切煩惱即惡覺也。
【一欲覺】欲即貪欲謂貪欲心起常念可意之事故名欲覺。
【二瞋覺】瞋即瞋恨謂瞋恚心起常念忿恨於他故名瞋覺。
【三惱覺】惱即惱害謂憎嫉心起常念惱害於他故名惱覺。
【四親里覺】謂常憶念親戚鄉里故名親里覺。
【五國土覺】謂常念國土安危故名國土覺。
【六不死覺】謂因多財資養常念不死故名不死覺。
【七族姓覺】族即姓族姓即種姓謂矜誕心起常念世族種姓有高有下故名族姓覺(矜誕者誇大之謂也)。
【八輕侮覺】侮即慢也謂恃己才德常念輕慢於人故名輕侮覺。
八忍(出四教儀集註)
【一苦法忍】苦即欲界生死之苦法即真如之理忍即忍可亦印證之義也謂於四善根位中因觀欲界生死之苦至世第一後心真如理顯生無漏法忍是名苦法忍(四善根者即四加行暖位頂位忍位世第一位也無漏者謂不漏落三界生死也)。
【二苦類忍】苦即色界無色界生死之苦類即流類謂觀欲界苦諦之後復觀上二界苦諦亦生無漏法忍是欲界苦法忍之流類是名苦類忍(上二界者即色界無色界也)。
【三集法忍】集即招集之義謂觀欲界集諦見思之惑真如理顯生無漏法忍是名集法忍(見惑者謂意根對法塵起諸分別眼等五根對色等五塵起諸貪愛思惑者謂曰思惑也)。
【四集類忍】謂觀欲界集諦之後復觀上二界集諦生無漏法忍是欲界集法忍之流類是名集類忍。
【五滅法忍】滅即滅無之義謂觀欲界滅諦滅前苦集真如理顯生無漏法忍是名滅法忍。
【六滅類忍】謂觀欲界滅諦之後復觀上二界滅諦生無漏法忍是欲界滅法忍之流類是名滅類忍。
【七道法忍】道即三十七道品謂觀欲界道諦修此道品真如理顯生無漏法忍是名道法忍(三十七道品者觀身不淨觀受是苦觀心無常觀法無我是四念處已生惡令永斷未生惡令不生已生善令增長未生善令得生是四正勤欲如意足念如意足精進如意足思惟如意足是四如意足信根進根念根定根慧根是五根信力進力念力定力慧力是五力擇法覺分精進覺分喜覺分除覺分捨覺分定覺分念覺分是七覺分正見正思惟正語正業正命正精進正念正定是八正道已上諸法總為三十七道品也)。
【八道類忍】謂觀欲界道諦之後復觀上二界道諦生無漏法忍是欲界道法忍之流類是名道類忍。
八大人覺(出佛遺教經論)

覺即覺悟謂此八法乃是菩薩緣覺聲聞大力量人之所覺悟故名八大人覺(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【一少欲覺】謂人寡欲乃得心安是則臥覺一榻之寬覆覺一衾之溫食覺一餐之飽處覺容膝之適心無過想是名少欲覺。
【二知足覺】謂人雖貧乏常知止足是則雖服粗弊而有狐狢之溫雖食藜糗而有膏梁之美雖居蓬藁而有廈屋之安是名知足覺。
【三寂靜覺】謂人離眾憒鬧閒居獨處厭世纏縛思滅貪欲之苦本而能斷除煩惱寂靜其心是名寂靜覺。
【四正念覺】謂人思念正道一心專注無有間雜不起邪想是名正念覺。
【五正定覺】謂人修習禪定攝諸亂想而得身心寂靜三昧現前是名正定覺(梵語三昧華言正定)。
【六精進覺】謂人勇猛精勤修習善法不令間斷則道業日進無有退失是名精進覺。
【七正慧覺】謂人欲入道者必須從聞而思從思而修以此三者而自增益則智慧真正離諸邪見斷惑證果是名正慧覺。
【八無戲論覺】以言嘲謔名為戲論謂人欲得涅槃寂靜之樂必須清淨口業捨諸戲論一循正語是名無戲論覺(梵語涅槃華言滅度)。
八識(出宗鏡錄)
【一眼識】謂眼以色為緣而生眼識眼識依根而生眼根因識能見而能見者是名眼識。
【二耳識】謂耳以聲為緣而生耳識耳識依根而生耳根因識能[聽-王]而能[聽-王]者是名耳識。
【三鼻識】謂鼻以香為緣而生鼻識鼻識依根而生鼻根因識能齅而能齅者是名鼻識。
【四舌識】謂舌以味為緣而生舌識舌識依根而生舌識因識能甞而能嘗者是名舌識。
【五身識】謂身以觸為緣而生身識身識依根而生身根因識能覺而能覺者是名身識。
【六意識】謂意以法為緣而生意識意識依根而生意根因識而能分別以能分別前五根所緣色等五塵境界是名意識(五根者眼根耳根鼻根舌根身根也五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【七末那識】梵語末那華言意亦名相續識又名分別識此識本無定體即第八識之染分依第八識自證分而生緣第八識見分而執為我為第六識之主執轉第六識所緣善惡之境而為染淨皆由此識也前第六識名意識今此識亦名意者謂第六識依根而得名此識當體而立號第六識雖能分別五塵好惡而由此識傳送相續執取也(依根者根即意根也當體者即分別之體也)。

【八阿賴耶識】梵語阿賴耶華言藏識以其無法不含無事不攝故也此識染淨同源生滅和合而具有四分如摩尼珠體本清淨又如明鏡能含萬像若以染分言之無明依之而起結業由之而生具足煩惱塵勞變現根身世界即前七種識境皆是也若以淨體言之即本覺心源離念清淨在聖不增在凡不減也(四分者一相分即形相謂此識能變現根身世界及諸法名義相伏皆由第八識此分而生如鏡中所現之影像也二見分見即照了之義謂此識能照燭一切諸法及解了諸法義理如鏡中之明能照萬像也三自證分自證所具之法謂此識能持見分相分親證無礙如鏡之圓體能持其明能含眾像也四證自證分證即能證之體自證即所具之法能持前自證分見分相分皆不離此分是第八識本體如鏡之背也梵語摩尼華言離垢根身者即眼等諸根也)。

八識緣境廣狹(出宗鏡錄并瑜伽師地論)

【一眼識緣唯實唯量境】謂眼見色時即有識生能緣青黃赤白實有之色名為性境此識對境名為現量以其但能見色未起分別是故所緣之境狹也(性境者謂現前所有實見之境也現量者謂見現前之色而能量度也)。

【二耳識緣唯實唯量境】謂耳聞聲時即有識生能聞言語等實有之聲名為性境此識對境名為現量以其但能聞聲未起分別是故所緣之境狹也。

【三鼻識緣唯實唯量境】謂鼻齅香時即有識生能齅好惡實有之香名為性境此識對境名為現量以其但能齅香未起分別是故所緣之境狹也。

【四舌識緣唯實唯量境】謂舌嘗味時即有識生能嘗鹹酸苦淡實有之味名為性境此識對境名為現量以其但能嘗味未起分別是故所緣之境狹也。

【五身識緣唯實唯量境】謂身覺觸時即有識生能緣細滑麤強實有之觸名為性境此識所緣名為現量以其但能覺觸未起分別是故所緣之境狹也。

【六意識徧緣一切通徹假實三量】謂此識心徧緣現前實有之境於實境上分別長短方圓等相名為假是則此識三境皆緣三量皆具以其徧能分別假實諸境是以所緣之境廣也(三境者一性境說見上二獨影境謂思量過去之境唯有影現於心三本質境謂於現身境上分別質相三量者一現量說見上二比量謂於現前物上比度而知如隔墻見烟知彼有火三非量謂追緣過去未來之事)。

【七第七識見分唯假唯實】謂此識無別體相依第八識為因而起復緣第八見分而為相分分別思量常執第八為我能緣之心是假所緣之境是實以其唯起我執生諸氣習不能徧緣諸境是故所緣之境最狹也(第八識者即藏識也見分者謂能見之識也相分者謂所見之境相也生諸氣習者謂我見等惑氣分熏習而生也)。

【八第八識緣根身器界唯實唯量】根身者即眼等諸根也器界者以世界如器也謂此根本之識染淨同源一切根身器界依之而生而此根界是

八識相分皆為所緣是實有現前之量是故所緣之境最廣也(根本識即第八藏識也)。
八義證有本識(出瑜伽師地論)
謂第八識是出生一切善惡諸法之根本故名本識今論以此八義證第八識之相也。
【一依止執受】謂此識能為染淨諸法之所依止執持不失是名依止執受。
【二最初生起】謂此識最初於母腹託胎之時如礦石吸鐵是名最初生起(礦石喻識鐵喻父精母血)。
【三有明了性】謂此識於一切善惡無記三性諸法皆悉明了分別無有暗昧是名有明了性(無記性者謂不善不惡之性也)。
【四有種子性】謂此識能任持世間出世間諸法種子令不散失是名有種子性。
【五業用差別】謂此識隨染緣而造惡業隨淨緣而造善業差別不同是名業用差別。
【六身受差別】身以積聚為義謂此能含藏一切諸法故名為身由能領受第七末那識染淨之緣所熏而於善惡諸法不相混濫是名身受差別(梵語末那華言意)。
【七處無心定】謂入無想定或滅盡定雖受想心滅出入息斷而此識不滅是名處無心定(無心定者即無想天定也滅盡定者謂受想心滅身證此定即阿羅漢所證之定也)。
【八命終時識】謂命將終時冷觸漸起唯有此識能執持身此識若捨四大分散是名命終時識(四大者也大水大火大風大也)。
八犍度(出八犍度論)
梵語犍度華言法聚謂佛弟子迦旃延以諸法門各從其類分為八聚故名八犍度論(梵語迦旃延華言不定佛十大弟子中之一也)。
【一雜犍度】如經為聲聞說四善根及四聖果有餘無餘涅槃等法不一故名雜犍度(四善根者煖位頂位忍位世第一位即四加行也四聖果者謂初果須陀洹二果斯陀含三果阿那含四果阿羅漢也梵語涅槃華言滅度有餘涅槃者謂四果羅漢雖煩惱惑盡尚餘身智未滅也無餘涅槃者謂惑障既盡身智亦滅無有餘也)。
【二雜使犍度】結即纏縛使即驅役也謂三結五盖上五分下五分等惑總而言之不出百八煩惱也因此煩惱惑業纏縛驅役行人心神流轉三界故名結使犍度(三結者身見結成取結疑結也五盖者貪盖瞋盖睡眠盖掉悔盖疑盖也上五分者色界無色界之惑也一色愛二無色愛三掉四慢五無明也下五分者欲界之惑也一貪二嗔三身見四戒取五疑也百八煩惱者謂眼等六根對色等六塵於六塵中名分好惡平三種則成十八此好惡平三種於六根中各生三受復成十八是則六根六塵共成三十六更約過去現在未來三世各有上之三十六種總成一百八煩惱也)。

【三智犍度】智即智慧謂初果二果三果四果之人因修戒定慧道品斷除惑障所發無漏之智慧也(初果梵語須陀洹華言預流二果梵語斯陀含華言一來三果梵語阿那含華言不來四果梵語阿羅漢華言無學無漏者不漏落三界生死也)。
【四行犍度】行即身口意三業所起善惡諸行也善行者身不殺盜[婬-壬+(工/山)]口不妄語綺語兩舌惡口意不貪嗔癡惡行者身行殺盜[婬-壬+(工/山)]口起妄語綺語兩舌惡口意起貪嗔癡故名行犍度。
【五四大犍度】四大即地水火風也以其無處不有稱之為大約過去未來現在三世論四大所造善色惡色故名四大犍度。
【六根犍度】根即六根五根等法約四果及三世而說故名根犍度(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也五根者信根進根念根定根慧根即聲聞之人所修之法也)。
【七定犍度】定即欲界天定色界天定無色界天定及聲聞緣覺所修之定種種不同故名定犍度。
【八見犍度】見即凡夫外道斷常二見及六十二見等種種不同故名見犍度(斷見者外道妄計此身滅已更不再生也常見者妄計此身雖滅後報復生也六十二見者外道於色受想行識五陰法中每一陰起四種邪見五陰各四則成二十見約三世論之則成六十見此六十見以斷常二見為根本總成六十二也)。
立頌八意(出華嚴經疏)
【一少字攝多義】謂於一字中包攝多義也如圓覺經長行文中佛為普眼菩薩說四大和合各離之相文義甚長至於重頌則以四句收攝多義偈云身相屬四大心性歸六塵四大體各離誰為和合者等是也(長行者經之散文重頌者經之偈文也四大者地大水大火大風大也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【二讚歎多以偈頌】謂諸經中凡菩薩等稱讚歎美佛之功德多以偈頌也。
【三為鈍根重說】謂佛為弟子說長行經竟有根鈍不能解悟更為重說偈頌也。
【四為後來之徒】謂佛為弟子說長行經竟或有新來之眾未聞前說佛則更為重說偈頌也。
【五為隨喜樂】謂佛隨眾機有喜樂偈頌者即為演說偈頌也。
【六為易受持】謂佛因長行文句繁多恐難受持故說偈頌令人記憶如為槃特說偈云守口攝意身莫犯如是行者得度世等是也(槃特梵語具云槃陀伽華言繼道)。
【七增明前說】謂初於長行文中說義未盡後於重頌廣明其義也。
【八長行未說】謂不說長行而直說偈頌如金光明經空品是也。
大明三藏法數卷第二十四

上天竺前住持沙門一如等奉　敕集注

八成立因(出阿毗達磨雜集論)

(一立宗)宗猶主也要也以所立之法為宗要也謂如五蘊等法皆假因緣而生實無自性於中求我決不可得故說諸法無我以破執我立論者是名立宗(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也因緣者謂眼等六根為因色等六塵為緣也執我立論者謂執五蘊之身為我而自立論議也)(二立因)因即因由亦所依之義立因所以破執有我者之論也謂若於五蘊等法施設實有我者此之五蘊既從眾緣而生皆是生滅之法蘊既生滅我不成就若離五蘊而於餘處施設有我者我無所因我亦無用是知皆無有我是名立因。

【三立喻】喻即譬喻以別法喻所立之法也謂如現在相中施設實有過去相者蓋此現在相已生未滅不應於現在未滅法中施設過去已滅之相若離現在而於餘處施設過去相者然過去世之相既已滅壞不應施設有相此言過去之相不可得以喻諸法中求我決不可得是名立喻。

【四合】合即相合之義引餘義合此正說之理也謂如五蘊法中本無有我而人顛倒妄執有我既遮破已即知無我既知無我則知常等亦無是名合。

【五結】謂結前無我究竟之理決定無異是知五蘊皆是無我乃至無常是名結。

【六現量】現即顯現量即量度揩定之義也謂眼識乃至身識對於顯現五塵之境離妄分別無籌度之心而能於境度量揩定諸法自性之相而不錯謬是名現量(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

【七比量】比即比類謂以第六意識比類量度知有諸境如遠見烟知彼有火是名比量。

【八聖教量】謂聖人所說現量比量之言教皆不相違定可信受是名聖教量。

八法(出首楞嚴經義海)

八法者地水火風名為四大以其四種無處不有故也色香味觸名為四微以其四種體性微細故也謂人之身因四大假合而有此之四大亦由四微所成故總稱為八法也。

【一地大】地以堅礙為性謂眼耳鼻舌身等名為地大圓覺經云髮毛爪齒皮肉筋骨等皆歸於地是也。

【二水大】水以潤濕為性謂唾涕津液等名為水大圓覺經云唾涕膿血津液涎沫痰淚精氣大小便利皆歸於水是也。

【三火大】火以燥熱為性謂身中暖氣名為火大圓覺經云暖氣歸火是也。

【四風大】風以動轉為性謂出入息及身動轉名為風大圓覺經云動轉歸風是也。
【五色微】謂眼所見種種諸色以其微細故名色微。
【六香微】謂鼻所齅種種諸香以其微細故名香微。
【七味微】謂舌所嘗種種諸味以其微細故名味微。
【八觸微】謂身分所覺種種諸觸以其微細故名觸微。
八種喻(出涅槃經)
【一順喻】謂佛說法隨順世諦次第從小向大而為喻也如經云天降大雨溝瀆皆滿溝瀆滿故小坑滿小坑滿故大坑滿如是漸次乃至大海滿如來法雨亦復如是眾生戒滿乃至解脫滿解脫滿故涅槃滿是名順喻(梵語涅槃華言滅度)。
【二逆喻】謂佛說法逆於世諦次第從大向小而為喻也如經云大海有本所謂大河大河有本所謂小河小河有本所謂大池如是乃至溝澮有本所謂大雨如來亦復如是涅槃有本所謂解脫乃至持戒有本所謂法雨是名逆喻。
【二現喻】謂如來說法為令眾生易解即以現前之事而為喻也如經云眾生心性猶如獼猴獼猴之性捨一取一眾生之性亦復如是取着色聲香味觸法無暫住時是名現喻。
【四非喻】謂如來說法假設其辭為喻而非實有其事如經中佛告波斯匿王云有親信人從四方至各作是言有大山從四方來欲害人民王若聞者當設何計王言世尊設有此來無逃避處佛復告言四山即是眾生生老病死常來逼人云何大王不修戒施之類是名非喻(梵語波斯匿華言勝軍)。
【五光喻】謂如來開示眾生先設譬喻而後以法合也如經云譬如有人貪着妙花採取之時為水所漂眾生亦爾貪愛五欲為生死水之所漂沒是名先喻(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【六後喻】謂如來開示眾生先說法而後設喻以顯之也如經所說莫輕小罪以為無殃水滴雖微漸盈大器是名後喻。
【七先後喻】謂如來開示眾生先後所說皆是譬喻之意如經云譬如芭蕉生果則死愚人得養亦復如是如騾懷妊命不久全是名先後喻(得養者謂得其利養也)。
【八徧喻】謂如來說法始末皆假喻以顯之也如經云三十三天有波利質多羅樹其根入地深五由延枝葉四布葉熟則黃黃必墮落落必變色變必生皰皰必生觜觜必開剖開剖之時香氣周遍光明普照諸天隨見即生歡喜夏三月時在下受樂皆譬喻佛之弟子也葉黃喻欲出家葉落者喻剃除鬚髮乃至夏三月者喻三三昧三十三天受快樂者喻諸佛住大涅槃得常樂我淨也是名徧喻(三十三即忉利天也梵語波利質多羅華言圓生即天樹王也梵語由延又曰由旬華言限量梵語三昧華言正定三三昧者空三昧無相三昧無願三昧也梵語涅槃華言滅度)。

八種異熟因果(出華嚴經)
謂現生所作之因而於異世成熟其果也蓋業通三世如前世所作之因皆善則現世受其福報所作之因不善則現世受其惡報又如今世所作善惡之因不同後世成熟善惡果報亦異故此異熟因果凡有八種焉。
【一壽量圓滿】謂菩薩修行於諸眾生起大慈憫無殺害心以此為因異生感果即得壽命長遠無諸損減修習善法利己利人是名壽量圓滿(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二色相圓滿】謂菩薩修行於諸如來菩薩形像之前及諸黑闇之處施以燈燭令其光明以此為因異生感果即得色相具足識見高明眾人愛敬而不生輕慢是名色相圓滿。
【三種族圓滿】謂菩薩修行於諸同類忍辱柔和心常謙下以此為因異生感果即得生於豪貴之家為世宗重令諸眾生隨順言教是名種族圓滿。
【四自在圓滿】謂菩薩修行於貧乏之人隨其所欲而行給施以此為因異生感果得大財位及大眷屬所作隨心無不自在是名自在圓滿。
【五信言圓滿】謂菩薩修行常以真實和輭之語教化眾生以此為因異生感果即得出言誠諦凡所決疑人必信受是名信言圓滿。
【六大勢圓滿】謂菩薩修行於佛法僧父母師長之前常生卑下之心敬事孝養以此為因異生感果即得豪貴自在有大勢力令諸眾生咸從正化是名大勢圓滿。
【七丈夫相圓滿】謂菩薩修行於諸佛菩薩心生敬樂於女人身心常厭棄以此為因異生感果即得男子之身諸根完具無有殘缺是丈夫相圓滿。
【八勇力圓滿】謂菩薩修行恒以自己身力供事一切眾生及施以飲食之物令其色力增盛以此為因異生感果即得勇猛道力修集一切善法復能教化一切眾生勇猛精進求無上道是名勇力圓滿。
菩薩八種因果(出地持經)
【一壽因壽果】壽即壽命謂不殺物命無傷害心是名壽因由不殺故長壽住世是名壽果。
【二色因色果】色即色身謂施燈明供佛及以淨物施人是名色因由施燈明及淨物故則得顏容光澤身形端正是名色果。
【三種姓因種姓果】種即種類姓即族姓謂捨離憍慢之心是名種姓因由離憍慢故則得生於上族是名種姓果。
【四自在因自在果】謂能以床敷臥具飲食湯藥及種種所須之物惠施於人令他自在是名自在因由惠施故即得大富大財大眾大眷屬凡所作為無不遂意得大自在是名自在果。
【五信言因信言果】謂口不妄言綺語兩舌惡口是名信言因由離口過凡所出言人皆信聽是名信言果。

【六大力因大力果】力即力用謂作大功德立大誓願恭敬三寶孝養父母是名大力因由恭敬三寶等故即得大名稱大福德大智慧有大勢力為一切人之所敬重是名大力果(三寶者佛寶法寶僧寶也)。
【七丈夫因丈夫果】謂樂丈夫法厭女人法復能說丈夫法饒益他人是名丈夫因由成就丈夫法故來世即得男子之身堪為一切功德法器是名丈夫果。
【八力因力果】謂於他人有如法之事隨其力能悉徃營助是名力因由成就力因故即得少病少惱有力堪任修諸善法是名力果。
八種變化(出法界次第)
【一能作小】謂菩薩以變化力能化自他之身而作小身或化世界內所有小物皆如微塵是名能作小(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二能作大】謂菩薩以變化力能化自他之身而作大身或化世界內所有大物乃至滿虛空中是名能作大。
【三能作輕】謂菩薩以變化力能令自己身輕亦能令人身輕或使世界及所有物悉令輕如鴻毛是名能作輕。
【四能作自在】謂菩薩以變化力能以大為小以小為大以長為短以短為長如是等相種種自在無礙是名能作自在。
【五能有主】主即主宰也謂菩薩以變化力能化為大人而作主宰降伏攝受一切眾生而得自在是名能有主。
【六能遠到】謂菩薩以變化力而能遠到凡有四種一飛行遠到二此沒彼出三移遠令近不徃而到四一念徧到十方是名能遠到。
【七能動地】謂菩薩以變化力能令大地六種震動是名能動地(六種震動者一動二起三涌四震五吼六擊也)。
【八隨意所欲[書-曰+皿]能得】謂菩薩以變化力能令一身作多身多身作一身通岩透石履水蹈空地作水水作地火作風風作火金作石石作金是名隨意所欲盡能得。
八種言(出瑜伽師地論)
言即言音瑜伽師地論云為法師者處眾宣說當具八種言也。
【一可喜樂言】謂法師說法須有經文證據其未解者更為譬喻而說文句清雅言詞顯了人若聽者無不欣喜好樂故名可喜樂言。
【二開發言】謂法師說法開發深隱之義令其顯了復開發麤淺之義令解深妙使大小之機獲益故名開發言。
【三善釋難言】釋即解釋難即疑難謂法師說法人若有疑難諮問須善解釋令義理分明易得開解故名善釋難言。
【四善分析言】謂法師說法辯才無礙能以善巧言詞於一法中分析無量義理故名善分析言。
【五善順入言】謂法師說法須隨順佛經顯了解釋令其聞者咸皆信順入於正道終不引餘外道邪論以惑於人故名善順入言。

【六引錢證言】謂法師說法義或未能通暢當引餘經之言證己所說令人信受故名引餘證言。
【七勝辯才言】謂法師說法以勝妙辯才分別一切義理皆無疑難故名勝辯才言。
【八隨宗趣言】宗即宗要趣即理趣謂法師說法須隨順所宗義趣如理解釋令諸眾生悟明法要故名隨宗趣言。
阿難八不思議(出涅槃經)
梵語阿難華言慶喜經云佛語文殊師利言阿難事我二十餘年具足八種不可思議是故我稱阿難比丘為多聞藏(梵語文殊師利華言妙德梵語比丘華言乞士)。
【一不受別請】謂阿難事佛二十餘年雖多聞第一出諸弟子之上動必隨眾未嘗受別施主之請背眾而食也。
【二不受故衣】謂阿難事佛雖如來陳故衣服亦不敢受也。
【三見不非時】謂阿難為佛侍者見必以時如佛對機說法之時或代眾發問之類則至佛所非此之時則不徃見也。
【四見女人不生欲心】謂阿難事佛遠離貪愛無諸欲想隨侍應供出入見諸女人及天龍女不生染着之心也。
【五法不再問】謂阿難事佛聞所說十二部經一經於耳即能解悟不假再問如瀉各瓶之水置之一瓶皆能受持也(十二部經者一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議十自說十一方廣十二授記也)。
【六知佛所入定】謂阿難事佛雖未獲得知他心智常知如來所入諸定鑒何等機而說何等法要也。
【七知眾會得益】謂阿難事佛凡一切眾生到於佛所聞說法要有現在能得聖果者及有後時得者有得人身天身者隨其獲益所證不同之相悉能知之也。
【八悉知佛所說法】謂阿難事佛聞如來所說之法雖根器有大小不同教法有偏圓之異而秘密之意悉能了知也。
阿難具八法(出涅槃經)
梵語阿難華言慶喜經云佛語文殊師利言阿難具足八法能持十二部經是故阿難為多聞藏(梵語文殊師利華言妙德十二部經一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議十自說十一方便十二授記)。
【一信根堅固】信即信順根即能生之義謂阿難聞如來所說十二部經信受堅固由信心故則能生長一切善法功德華嚴經云信是道源功德母長養一切諸善法是也。
【二其心質直】質即質朴之義謂阿難聞如來所說十二部經其心質直常依正法而住永離虛妄邪曲之見故名其心質直。
【三身無病苦】謂若世間人能以藥物施人者所感果報尚得一生少病何況阿難累劫熏修其利他之行莫可測知豈得現身有於病苦故名身無

病苦(劫梵語且云劫波華言分別時節)。
【四常勤精進】不雜名精無間名進謂阿難聞如來所說十二部經一心受持如法修習無有懈怠故名常勤精進。
【五具足念心】謂阿難聞如來所說十二部經心常憶念思惟不令忘失故名具足念心。
【六心無憍慢】謂阿難聞如來所說十二部經皆能憶持而心不放逸亦不敢憍慢於眾故名心無憍慢。
【七成就定意】謂阿難既聞如來所說十二部經能依此法修攝其心得發禪定故名成就定意。
【八從聞生智】謂阿難聞如來所說十二部經義趣無量則智慧增明無不了達故名從聞生智。
尼八敬戒(出翻譯名義引會正記)
中本起經云佛成道後姨母大愛道求出家學道佛不許阿難白佛願聽出家佛言止止無使女人入我法中為沙門也譬如族姓之家多女少男即知其家衰弱不得強盛阿難再請佛乃說八敬法若能依此聽許出家大愛道頂戴信受遂度為尼(梵語阿難華言慶喜梵語沙門華言勤習梵語尼華言女)。
【一尼百歲禮初夏比丘足】梵語比丘華言乞士謂比丘尼壽雖百歲若見初受戒比丘纔經一夏者即當禮拜於足下也。
【二不得罵謗比丘】謂比丘尼當恭敬比丘不得妄加罵詈謗毀也。
【三不得舉比丘過】謂比丘有過比丘尼不得舉比丘尼若有過聽比丘舉當自省察也。
【四從僧受具戒】謂比丘尼奉持具足禁戒應從大德比丘處求受也。
【五有過從僧懺】謂比丘尼有過失應在比丘眾中懺悔自首以除憍慢之心也。
【六半月從僧教誡】謂比丘尼每月當二次於大德比丘處求教誡法以自策進道業也。
【七依僧三月安居】謂比丘尼結夏三月禁足安居當與比丘同處朝夕[言*恣]問法義增益見聞以自修習也。
【八夏訖從僧自恣】自即自陳己過恣即恣他舉罪謂從四月十五日安居至七月十五日夏竟應從比丘眾中行自恣法有過則對眾懺悔也。
尼八棄戒(出楞嚴義海)
梵語尼華言女棄却也謂尼犯此八罪棄却於佛法之外也。
【一殺】殺即損傷物命也謂一切有情皆惜身命尼若不能憫彼反更傷殘是故為眾所棄也。
【二盜】盜即竊取他物也謂尼於他人所有財物生貪樂心不與而取是故為眾所棄也。
【三[婬-壬+(工/山)]】[婬-壬+(工/山)]即染欲也謂尼不能以禮自防以戒自守貪着色欲汙犯淨行是故為眾所棄也。

【四妄】妄乃虛妄不實也謂尼隱覆實事虛言誑他是故為眾所棄也。
【五觸】觸即觸着謂尼若與男身相觸起染欲心是故為眾所棄也。
【六八】八者八事也謂尼與染心男子兩手相捉或捉其衣或同入屏處或屏處共坐或共語或共行或相倚或與相期犯此八事是故為眾所棄也(屏處者僻靜處也)。
【七覆】覆即遮覆也謂尼與大眾說戒作法之時遮覆他罪不肯對眾陳露是故為眾所棄也。
【八隨】隨即依也謂尼於大僧眾中未與作共住法而隨彼共住是故為眾所棄也。
八定(出禪波羅蜜)
定即攝散歸靜之義色界無色界各有四定故云八定也。
【一初禪天定】謂人於欲界中修習禪定之時忽覺身心凝然運運而動如雲如影又覺徧身毛孔氣息悉皆出入入無積聚出無分散是名初禪天定。
【二二禪天定】謂既得初禪天定已心厭初禪覺觀動散因攝心在定澹然澄靜覺觀即滅乃發勝定之喜如人從暗室中出見日月光明朗然洞徹是名二禪天定(覺觀者初心在緣曰覺細心分別禪味曰觀)。
【三三禪天定】謂既得二禪天定已而又厭二禪喜心湧動定不堅固因攝心諦觀喜心即謝於是泯然入定綿綿之樂從內心發樂法增長徧滿身中於世間樂最為第一是名三禪天定。
【四四禪天定】謂既得三禪天定已又覺三禪樂法擾心令不清淨一心厭離加功不止即得安隱出入息斷空明寂靜如明鏡離垢淨水無波湛然而照萬像皆現絕諸妄想正念堅固是名四禪天定。
【五空處天定】空即虛空也謂既得四禪天定已猶厭身色繫縛不得自在乃轉加功力觀察己身猶如羅穀內外通徹一心念空惟見虛空無諸色相其心明淨無礙自在如鳥出籠飛騰自若是名空處天定。
【六識處天定】識即心也謂既得空處天定已即以識心徧緣虛空而虛空無邊以無邊故定心復散於是即捨虛空轉心緣識與識相應心定不動現在過去未來之識悉現定中與定相應心不分散此定安隱清淨寂靜是名識處天定。
【七無所有處天定】謂離上空處識處故名無所有處得識處天定已以心緣現在過去未來之識無量無邊能壞於定惟有無心識處心無依倚乃為安隱於是即捨識處專繫心於無所有處精勤不懈一心內淨怡然寂靜諸想不起是名無所有處天定。
【八非想非非想處天定】謂前識處是有想無所有處是無想至此則捨前有想名非想捨前無想名非非想盖此天既得無所有處天定已又知此處如癡如醉如眠如暗以無明覆蔽無所覺了無可愛樂於是一心專精即於非有非無常念不捨則無所有處定便自謝滅加功不已忽然真實定發

不見有無相貌泯然寂絕清淨無為三界定相無有過者是名非想非非想處天定(三界者欲界色界無色界也)。
凡小八倒(出涅槃經)
凡即凡夫小即小乘倒即顛倒謂凡夫着有妄於無常法中計常苦中計樂無我計我不淨計淨及小乘之人但着於空常計無常樂計非樂我計無我淨計不淨故有凡小八倒之名焉(小乘即聲聞乘緣覺乘也)。
【一非常計常】非常計常者謂世間一切有為之事皆悉無常虛幻不實豈能長久凡夫妄計是常即成常顛倒。
【二非樂計樂】非樂計樂者謂世間五欲之樂皆是招苦之因凡夫不了妄計為樂即成樂顛倒(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【三非我計我】非我計我者謂此身皆因四大假合而成本無有我若一大是我三大應非我若四大俱是我應有多我畢竟是誰為我故知我即不可得凡夫不了於自身中強生主宰妄計為我成我顛倒(四大者地大水大火大風大也)。
【四不淨計淨】不淨計淨者謂己身他身具有五種不淨凡夫不了妄生貪着執以為淨即成淨顛倒(已上四計是凡夫四倒五種不淨者種子不淨住處不淨自體不淨外相不淨究竟不淨也)。
【五常計無常】常即法身常住之義無常即變異之義謂聲聞緣覺為無明所覆於如來常住法身妄計有生滅變異之相是名無常顛倒(無明者無所明了也)。
【六樂計非樂】樂即涅槃清淨之樂非樂即苦也謂二乘為無明所覆於如來清淨涅槃妄計是苦是名非樂顛倒(梵語涅槃華言滅度二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【七我計無我】我即佛性真實之我無我即佛性中無有我也謂二乘為無明所覆不了無我法中而有真我故於佛性真我之中妄計無我是名無我顛倒。
【八淨計不淨】淨即如來常住之身非雜食身非煩惱身非血肉身非是筋骨纏裹之身二乘為無明所覆但觀世間一切諸色皆為不淨不了如來常住法身之淨是名不淨顛倒(已上四計是小乘四倒)。
八位胎臟(出法苑珠林)
【一羯羅籃】梵語羯羅籃華言凝滑謂初受胎七日父母二氣凝聚狀如凝酥故名羯羅籃。
【二遏部曇】梵語遏部曇華言疱謂受胎二七日狀如瘡疱故名遏部曇。
【三閉尸】梵語閉尸華言凝結謂受胎三七日狀如就血或云聚血或云輭肉故名閉尸。
【四健南】梵語健南華言凝厚謂受胎四七日漸已堅厚雖有身意二根眼耳鼻舌四根未具故名健南。

【五鉢羅奢佉】梵語鉢羅奢佉華言形位謂受胎五七日肉團增長四支身分之相初現故名鉢羅奢佉。
【六毛髮[瓜-丶]齒位】謂受胎六七日毛髮[瓜-丶]齒初具故名毛髮[瓜-丶]齒位。
【七根位】謂受胎七七日眼耳鼻舌諸根圓滿故名根位。
【八形位】謂受胎八七日已後在胎藏中形相具足故名形位。
聞經八種功德(出大莊嚴經)
【一端正好色】端正好色者謂人以正信之心嚴潔其身[聽-王]聞佛經以是功德報得色身端正而無醜惡之相也。
【二力勢強盛】力勢強盛者謂人以精進勇猛之力[聽-王]聞佛經以是功德報得福力威勢降伏一切而不怯弱也。
【三心悟通達】心悟通達者謂人[聽-王]聞佛經解知義趣深遠理與心會無不通達以是功德故能徹悟一切法相了無罣礙也。
【四得妙辯才】得妙辯才者謂人[聽-王]聞佛經深達一切法相以是功德得妙辯才能以一句之義演說無窮也。
【五獲諸禪定】獲諸禪定者謂人聽聞佛經思惟甚深妙義以是功德即能攝心斂念妄想不生寂然入定也。
【六智慧明了】智慧明了者謂人聽聞佛經廣解其義以是功德開發本有智慧照徹無礙也。
【七出家殊勝】出家殊勝者謂人聽聞佛經厭惡塵俗以是功德即出家學道復能以所聞之法傳化於人為世導師也。
【八眷屬強盛】得法之人稱為眷屬謂人聽聞佛經復能依經為人演說以是功德生他法身即成眷屬展轉流布日強日盛也。
八關齋戒(出毘婆沙論并雜阿含經)
關者禁也謂禁閉殺盜[婬-壬+(工/山)]等八罪使之不犯故也論云夫齋者過中不食也以八戒助成齋法共相支持故又名八支齋法每月初八日十四日十五日二十三日二十九日三十日是為六齋日於此六日能修行此八齋戒者諸天相慶即為註福祿增壽筭也。
【一不殺生】不殺生者謂不斷一切眾生之命也自不殺生亦不教人殺生。
【二不偷盜】不偷盜者謂不竊取他人財物也自不偷盜亦不教人偷盜。
【三不邪[婬-壬+(工/山)]】不邪[婬-壬+(工/山)]者謂於非己妻妾不行[婬-壬+(工/山)]欲之事也。
【四不妄語】不妄語者謂自不妄言亦不可以虛妄之言而誑於他也。
【五不飲酒】不飲酒者謂酒是亂性之本起過之門故不可酣飲也。
【六不坐高廣大床】高廣大床者阿含經云床高一尺六寸非高也[澗-日+活]四尺非廣也長八尺非大也但過此量者名高廣大床不宜坐也。

【七不著花鬘瓔珞】不著花鬘瓔珞者謂不以花為鬘珠璣為瓔珞而作身首之飾也。
【八不習歌舞戲樂】不歌舞戲樂者謂自不習歌舞戲樂及不得輒往他處觀聽亦不教人歌舞戲樂也。
春秋八王日(出法苑珠林引提謂經)
春秋八王日者是天地陰陽交代之日也此之八日帝釋輔臣案行天下比校善惡定生注死增減罪福樂善者若能避禁持齋致生善處也。
【一立春】立春則三陽交泰天氣下降地氣上升萬物萌生是日持齋修道即能致福也。
【二春分】春分則天地和煦萬物長茂是日持齋修道即能致福也。
【三立夏】立夏則草木盛長百物懷孕是日持齋修道即能致福也。
【四夏至】夏至則日長之極生物繁盛是日持齋修道即能致福也。
【五立秋】立秋則秋令之始生物捋遂是日持齋修道即能致福也。
【六秋分】秋分則秋律平分萬物成遂是日持齋修道即能致福也。
【七立冬】立冬則天氣始肅萬物斂藏是日持齋修道即能致福也。
【八冬至】冬至則一陽初生履長之始是日持齋修道即能致福也。
八種人起塔(出翻譯名義)
【一如來塔】如來有三義若云無所從來亦無所去此法身義也第一義諦名如正覺名來此報身義也乘如實道來成正覺此應身義也謂如來萬德悉備三覺俱圓天上人間所共尊仰是故滅後應當起塔供養(第一義諦者謂實相中道之理無二無別也萬德者萬行功德圓滿也三覺者自覺覺他覺行圓滿也)。
【二菩薩塔】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺眾生又云覺有情謂菩薩上求佛道下化眾生憫物情重隨類現身度脫無量是故滅後應當起塔供養。
【三緣覺塔】謂觀十二因緣覺真諦理故名緣覺以其三界生死已盡能為人天而作福田應當起塔供養(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也三界者欲界色界無色界也)。
【四阿羅漢塔】梵語阿羅漢華言無生又云無學又云應供謂三界生死已斷故名無生以其煩惱已盡無法可學故名無學以其應受人天供養為世福田故名應供是故滅後應當起塔供養。
【五阿那含塔】梵語阿那含華言不來謂斷欲界惑盡不來欲界受生故名不來以其應受人天供養為世福田是故滅後應當起塔供養。
【六斯陀含塔】梵語斯陀含華言一來謂欲界有九品思惑前之六品已斷後之三品尚在更須欲界一番受生故名一來以其應受人天供養為世福田是故滅後應當起塔供養(思惑者謂眼等五根對色等五塵而起貪愛也)。
【七須陀洹塔】梵語須陀洹華言預流謂斷三界見惑已盡預入聖道法流故名預流以其應受人天供養為世福田是故滅後應當起塔供養(見惑

者謂意根對法塵而起分別也)。
【八轉輪王塔】謂轉輪聖王雖未斷惑未出三界然以福德之力治四天下又以十善化育群生為世之所尊敬是故滅後應當起塔供養(四天下者東弗子逮南閻浮提西瞿耶尼北欝單越也十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪不瞋不邪見也)。
八福田(出梵網經并菩薩戒義疏)
八福田者謂佛聖人僧三種名敬田和尚阿闍黎生我法身者父母生我肉身者此四名恩田救濟病人名病田亦名悲田此八種皆堪種福故名田也若人能盡力從事此八種者亦猶農之力田則獲秋成之利也。
【一佛田】佛梵語具云佛陀華言覺謂覺道俱圓位登極果世出世間最勝無比人能恭敬供養豈但獲一切福亦能滅一切罪故名佛田(世出世間者世謂人天出世間即菩薩緣覺聲聞也)。
【二聖人田】謂菩薩緣覺聲聞出離三界證悟聖道具足無量功德智慧人能恭敬供養即獲勝福故名聖人田(三界者欲界色界無色界也)。
【三僧田】僧梵語具云僧伽華言和合眾謂處眾和同敬順無諍是佛弟子人能恭敬供養即獲福利故名僧田。
【四和尚田】和尚梵語鄔波遮迦于闐國譯云和尚華言力生即教授師也謂出家者因師教誨之力生長法身其恩實重人能供養恭敬即獲福利故名和尚田。
【五闍黎田】闍黎梵語具云阿闍黎華言正行以能糾正弟子之行即教授得戒等師也因依此戒得生禪定智慧其恩實重人能供養恭敬即獲福利故名闍黎田(糾督責也)。
【六父田】父為資形之始有生成之德自孩提以至於長教誡育養其恩罔極為人子者固當竭力奉養豈有求福之念設若心之至孝之純則亦自然獲福故名父田。
【七母田】謂母始自懷孕分娩以至乳哺鞠育護持長養愍念劬勞其恩罔極為人子者固當竭力奉養豈有求福之念設若心之至孝之純則亦自然獲福故名母田。
【八病田】謂見人有病即當念其苦楚用心救療給與湯藥則能獲福故名病田。
又八福田
此八福田蓋言救人之危濟人之乏恭敬三寶孝事父母與夫普度幽靈脫離苦趣亦皆種福之事也。
【一曠路義井】謂於曠遠道路穿鑿義井以濟往來渴乏之人是為福田。
【二建造橋梁】謂於通津斷港之處修造橋梁用濟徃來之人以免病涉之苦是為福田。

【三平治險隘】謂道路巉嶮之處則平坦之窄隘之處則開闢之以免往來顛墜之患是為福田。
【四孝養父母】謂父母為形生之本教養鞠育愛念切至子當竭力奉養順適親意以報劬勞之恩是為福田。
【五恭敬三寶】三寶者佛法僧也可尊可貴稱之為寶以其具大功德普濟群生超登覺岸故當歸依恭敬是為福田。
【六給事病人】謂病患之人眾苦集身實可悲憫當給施湯藥及所須之物使其四大調和身得安樂是為福田(四大者地大水大火大風大也)。
【七救濟貧窮】謂貧窮之人所須缺乏飢餒逼切無所哀告當起慈憫之心隨其所須皆周給之是為福田。
【八設無遮會】無遮即周徧之義謂修設普度大會使一切沉魂滯魄悉仗三寶慈力皆得脫離苦趣而獲超升善道是為福田。
八福生處(出瑜伽師地論)
謂修五戒十善兼行布施福業優劣不等故感報所生之處則亦高下不同故名八福生處(五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也十善者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄言不綺語不兩舌不惡口不貪不瞋不邪見也)。
【一人中富貴】人中富貴者謂天地所生惟人為貴既得為人而又富貴則其所修福業必勝餘人故於今生得此報也。
【二四天王天】四天王天者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王此四天王居須彌山腹由修施戒二種最勝福業是以感報得生其中也(梵語須彌華言妙高)。
【三忉利天】梵語忉利華言三十三昔有三十三人同修勝業同生此天居須彌山頂四角各有八宮中有帝釋殿帝釋即天主此天由修施戒二種福業勝四天王天是以感報得生其中也(三十三人其一即帝釋也餘三十二人之名經論不載帝釋梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵雙舉也)。
【四夜摩天】梵語夜摩華言善時謂時時唱快樂故也此天由修施戒二種福業勝忉利天是以感報得生其中也。
【五兜率天】梵語兜率華言知足謂於上妙五欲知止足故也此天由修施戒二種福業勝夜摩天是以感報得生其中也(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也謂之上妙者以勝欲界麤弊五欲故也)。
【六化樂天】化樂天者謂欲得五欲樂時皆自變化以相娛樂故也此天由修施戒二種福業勝兜率天是以感報得生其中也。
【七他化天】他化天者謂欲得樂境之時他天為其變化假他所成以為己樂故也此天即欲界天主由修施戒二種福業勝化樂天是以感報得生其中也。
【八梵天】梵淨也謂離欲界垢染上升色界故名為淨若大梵天即娑婆世界主由修施戒二種福業勝他化天又兼修禪定是以感報得生其中也(梵語娑婆華言能忍)。

八部鬼眾(出翻譯名義)
【一乾闥婆】梵語乾闥婆華言香陰謂不噉酒肉唯香資陰是帝釋天樂神也(陰即身也帝釋梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵雙舉也)。
【二毘舍闍】梵語毘舍闍華言噉精氣謂其噉人精氣及五穀之精氣也(五穀者禾米黍菽麥也)。
【三鳩槃茶】梵語鳩槃茶華言甕形以其陰似甕故即厭魅鬼也。
【四薜荔多】梵語薜荔多華言餓鬼以其長劫不聞漿水之名故也(刼梵語具云劫波華言分別時節)。
【五諸龍眾】諸龍眾者謂龍有四種一守天宮殿持令不落二興雲致雨利益人間三地龍决江開瀆四伏藏龍守轉輪王大福人寶藏也。
【六富單那】梵語富單那華言臭餓鬼是主熱病鬼也。
【七夜叉】梵語夜叉華言勇健有三種一地夜叉二虛空夜叉三天夜叉也。
【八羅剎】梵語羅剎華言速疾鬼又云可畏以其暴惡可畏故也。
八熱地獄(出顯宗論)
在地之下故名地獄婆沙論云南贍部洲下過五百踰繕那乃有其獄然此地獄有大有小大則八寒八熱小則一一大獄四門各有四小獄共為十六小獄名為遊增獄謂受罪眾生遊彼獄時其苦轉增故也(梵語贍部洲又云閻浮提華言勝金洲梵語踰繕那又云由旬華言限量)。
【一想地獄】此獄俱舍論中亦名等活地獄顯宗論云其中眾生手生鐵[爪-丶]其[爪-丶]長利互相嗔忿懷毒害想以[爪-丶]相攫肉即墮落或被斫刺磨擣想為已死冷風吹之皮肉還生尋復活起故名想地獄。
【二黑繩地獄】謂此獄中獄卒以熱鐵繩絣牽罪人然後斬鋸復有惡風吹熱鐵繩籠絡其身燒皮徹肉焦骨沸髓苦毒萬端故名黑繩地獄。
【三堆壓地獄】此獄亦名眾合地獄獄中有大石山罪人入至其中山自然合堆壓其身骨肉糜碎故名堆壓地獄。
【四叫喚地獄】謂受罪眾生既至此獄獄卒以其罪人擲大鑊中沸湯烹煮受諸痛苦號咷叫喚故名叫喚地獄。
【五大叫喚地獄】謂獄卒既將罪人沸湯烹煮已業風吹活又捉向熱鐵鏊中煎熬痛苦極切發聲大叫故名大叫喚地獄。
【六燒炙地獄】謂此獄以鐵為城烈火猛燄內外燒炙皮肉糜爛痛苦萬端故名燒炙地獄。
【七大燒炙地獄】謂獄卒將彼罪人置鐵城中烈火燒城內外俱赤燒炙罪人又有火坑火燄熾盛其坑兩岸復有火山捉彼罪人貫鐵叉上著於火中皮肉糜爛痛苦萬端故名大燒炙地獄。
【八無間地獄】謂有罪眾生至彼受苦無有間歇故名無間此於八熱中又為最重之獄也成實論明五種無間一者趣果無間謂有極重罪者即向彼獄受其果報無有間歇二者受苦無間謂至彼獄受諸痛苦無有間歇三

者時無間謂至彼獄受苦時節無有間歇四者命無間謂彼地獄壽命一中劫無有間歇五者形無間謂彼地獄受罪眾生生而復死死已還生身形無有間歇也(一中劫者二十小劫為一中劫也)。

八寒地獄(出翻譯名義)

【一頞浮陀地獄】梵語頞浮陀或云頞部陀華言皰謂受罪眾生因寒苦所逼皮肉皰起也。

【二泥賴浮陀地獄】梵語泥賴浮陀或云泥剌部陀華言皰裂謂受罪眾生因寒苦所逼皰即拆裂也。

【三阿吒吒地獄】梵語阿吒吒或云嚩嚩(皆無翻)謂受罪眾生由寒苦增極唇不能動唯於舌中作此聲也。

【四阿波波地獄】梵語阿波波或云唬唬婆(無翻)謂受罪眾生寒苦增極舌不能動唯於唇間作此聲也。

【五嘔喉地獄】嘔喉地獄者謂受罪眾生由寒苦增極唇舌俱不能動但於咽喉內振氣而作此聲也。

【六臀波羅地獄】梵語臀波羅或云嗢鉢羅華言青蓮華謂受罪眾生由寒苦增極皮肉開拆似此華也。

【七波頭摩地獄】梵語波頭摩或云沵持摩華言紅蓮華謂受罪眾生由寒苦增極肉色大拆似此華也。

【八芬陀利地獄】梵語芬陀利華言白蓮華謂受罪眾生由寒苦增極皮肉脫落其骨之色似此華故或云摩訶鉢特摩地獄梵語摩訶鉢特摩華言大紅蓮華皮肉凍拆似此華也。

八憍配八鳥(出法華文句)

憍即矜也謂人矜誇自己有勝於他如鳥有凌高下視之過故文句引文殊問經八憍配八種鳥也。

【一盛壯憍如鴟】謂人恃己強盛壯大凌他劣弱如鴟鷂之鳥恃強凌弱故名盛壯憍如鴟。

【二姓憍如梟】謂人恃己種姓強大凌慢於他如梟不孝之種而食其母故名姓憍如梟。

【三富憍如鵰】謂人恃己富有財物凌慢於他如鵰有勢力執伏眾禽故名富憍如鵰。

【四自在憍如鷲】謂人恃己長大稱意所作而得自在凌慢於他如鷲食宿山林去住自由故名自在憍如鷲(鷲鳥名其鳥黑色多子西域多有此鳥)。

【五壽命憍如烏】謂人恃己壽高凌慢於他如烏是反哺之鳥命長不死故名壽命憍如烏。

【六聰明憍如鵲】謂人恃己聰利明達凌慢於他如鵲性至聰能報人吉凶故名聰明憍如鵲。

【七行善憍如鳩】謂人恃己能行少善便即凌慢有德之人如鳩性雖純不知自拙故名行善憍如鳩。

【八色憍如鴿】謂人恃己顏容美妙凌慢於他如鴿類多種以色取勝況復多[婬-壬+(工/山)]故名色憍如鴿。

八難(出維摩所說經)

八難者八處障難也此之八處雖感報苦樂有異而皆不得見佛不聞正法故總稱為難也。

【一在地獄難】謂南贍部洲之下過五百由旬有八寒八熱等獄皆名地獄眾生因惡業所感墮於彼處長夜冥冥受苦無間障於見佛聞法故名地獄難(梵語贍部洲即閻浮提華言勝金洲八寒獄者頞浮陀獄泥賴浮陀獄阿吒吒獄阿波波獄嘔喉獄欝波羅獄波頭摩獄芬陀利獄也八熱獄者想獄黑繩獄堆壓獄叫喚獄大叫喚獄燒炙獄大燒炙獄無間獄也)。

【二在畜生難】謂畜生種類不一亦各隨因受報或為人畜養或居山海等處常受鞭打殺害又或互相吞噉受苦無窮障於見佛聞法故名畜生難。

【三在餓鬼難】謂餓鬼有三種一其業最重者長劫不聞漿水之名二其業次重者唯在人間伺求蕩滌膿血糞穢三其業輕者時或一飽加以刀杖駈逼填河塞海受苦無量障於見佛聞法故名餓鬼難(劫梵語具云劫波華言分別時節)。

【四在長壽天難】謂此天以五百劫為壽即色界第四禪中無想天也言無想者以其心想不行如氷魚蟄虫外道修行多生其處障於見佛聞法故名長壽天難。

【五在北欝單越難】梵語欝單越華言勝處謂此處感報勝東西南三洲也其人壽一千歲命無中夭為著樂故不受教化是以聖人不出其中不得見佛聞法故名北欝單越難(東西南三洲者東弗于逮西瞿耶尼南閻浮提也)。

【六盲聾瘖瘂難】謂此等人雖生中國而業障深重盲聾瘖瘂諸根不具值佛出世而不能見佛雖說法亦不能聞故名盲聾瘖瘂難。

【七世智辯聰難】謂世間之人邪智聰利者唯務躭習外道經書不信出世正法故名世智辯聰難。

【八生在佛前佛後難】謂佛出現於世為大導師令諸眾生離生死苦得涅槃樂人有緣者乃得值遇其生在佛前佛後者由業重緣薄既不見佛亦不聞法故名生在佛前佛後難(梵語涅槃華言滅度)。

八苦(出涅槃經)

【一生苦】生苦有五種一者受胎謂識託母胎之時在母腹中窄隘不淨二者種子謂識託父母遺體其識種子隨母氣息出入不得自在三者增長謂在母腹中經十月日內熱煎煮身形漸成住在生臟之下熟臟之上間夾如獄四者出胎謂初生下有冷風熱風吹身及衣服等物觸體肌膚柔嫩如被物刺五者種類謂人品有貴富貧賤相貌有殘缺妍醜是名生苦。

【二老苦】老苦有二種一者增長謂從少至壯從壯至衰氣力羸少動止不寧二者滅壞謂盛去衰來精神耗減其命日促漸至朽壞是名老苦。

【三病苦】病苦有二種一者身病謂四大不調眾病交攻若地大不調舉身沉重水大不調舉身胖腫火大不調舉身蒸熱風大不調舉身倔強二者心病謂心懷苦惱憂切悲哀是名病苦。
【四死苦】死苦有二種一者病死謂因疾病壽盡而死二者外緣謂或遇惡緣或遭水火等難而死是名死苦。
【五愛別離苦】謂常所親愛之人乖違離散不得共處是名愛別離苦。
【六怨憎會苦】謂常所怨讎憎惡之人本求遠離而反集聚是名怨憎會苦。
【七求不得苦】謂世間一切事物心所愛樂者求之而不能得是名求不得苦。
【八五陰盛苦】五陰者色受想行識也陰即盖覆之義謂能盖覆真性不令顯發也盛即盛大之義謂前生老病死等眾苦聚集故名五陰盛苦。
八不正見(出大集經)
【一我見】謂眾生於五陰法中妄計有我我所執之為實強立主宰是名我見(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也我我所者我即眾生假名我所即五陰之身也)。
【二眾生見】謂眾生妄計五陰眾共和合而生是名眾生見。
【三壽命見】謂眾生於五陰法中妄計我受一期果報壽命有長有短是名壽命見(一期者謂人從生至死也)。
【四士夫見】謂眾生妄計我有士夫之用而能商賈書筭營農等事是名士夫見。
【五常見】謂眾生於五陰之身妄計今世雖滅後世復生相續不斷是名常見。
【六斷見】謂眾生於五陰之身妄計今世滅已更不再生則成斷滅是名斷見。
【七有見】謂眾生妄計一切諸法實從因緣和合而生執之為有是名有見(因緣者眼等六根為因色等六塵為緣也)。
【八無見】謂眾生於一切諸法妄計皆無自性執之為無是名無見。
八妄想(出宗鏡錄)
【一自性妄想】謂妄執根塵等法各有體性不相混濫是名自性妄想。
【二差別妄想】謂妄計色等有可見可對之色有不可見可對之色有不可見無對之色是名差別妄想(可見可對色者即青黃等色眼可見亦可對也不可見可對色者即聲香味觸四者雖不可見而有對於耳鼻舌身也不可見無對色者即意識緣過去所見之境皆不可見亦無表對也)。
【三攝受積聚妄想】謂妄計色受想行識五蘊之法攝持聚集而成一切眾生是名攝受積聚妄想。
【四我見妄想】謂於色受想行識五蘊法中妄計有我是名我見妄想。

【五我所妄想】謂於色受想行識五蘊法中妄執我身及所受用之物皆為我所是名我所妄想。
【六念妄想】謂妄分別可愛淨境緣念不斷是名念妄想。
【七不念妄想】謂妄分別可憎之境不起緣念是名不念妄想。
【八念不念俱相違妄想】謂於念不念愛憎之境違理分別是名念不念俱相違妄想。
八部(出翻譯名義)
夫佛之垂化也道濟百靈法之傳世也慈育萬有三乘賢聖既肅爾以歸依八部鬼神亦森然而翊衛故諸經中多列八部之眾也(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
【一天】天者天然自然樂勝身勝清淨光明尊勝無比故名為天列位雖多必以大梵帝釋為首蓋大梵是大千世界之主帝釋是三十三天之主故也(大梵即色界天也帝釋梵語釋提桓因華言能天主三十三天主者謂帝釋與三十二人同修戒善生忉利天而帝釋為天主也)。
【二龍】龍者神靈之物孔雀經及大雲等經各列諸龍幷龍王名字不一皆言其能護持佛法也。
【三夜叉】梵語夜叉華言勇健亦名暴惡有三種一者在地二者在虛空三者在天地夜叉不能飛騰虛空與天二夜叉皆能飛行也。
【四乾闥婆】梵語乾闥婆華言香陰陰即身也不噉酒肉惟香資陰故名香陰是帝釋天主樂神在須彌山南金剛窟住天主欲作樂時即上天也(梵語須彌華言妙高)。
【五阿修羅】梵語阿修羅華言無端正以男多醜而女端正故又云非天謂此神果報最勝鄰次諸天而行非天也其所居宮殿城郭器用降于池居天一等亦有婚姻男女法式略如人間(地居天者即三十三天及四天王天也)。
【六迦樓羅】梵語迦樓羅華言金翅即金翅鳥神其翮金色故也兩翅相去三百三十六萬里頸有如意珠以龍為食。
【七緊那羅】梵語緊那羅華言疑神似人而頭有角亦帝釋天主樂神也。
【八摩睺羅伽】梵語摩睺羅伽華言大腹行羅什法師云是地龍而腹行又云是大蟒神而腹行也。
地動八緣(出增一阿含經)
【一因水火風動故地動】經云此閻浮提地南北[澗-日+活]二萬一千由旬東西[澗-日+活]七千由旬厚六萬八千由旬地下有水厚八萬四千由旬水下有火厚八萬四千由旬火下有風厚六萬八千由旬風下有金剛輪過去諸佛舍利咸在其中或有時大風忽動火亦隨動火既動已水復隨動水既動已地即隨動故云因水火風動故地動(梵語閻浮提華言勝金洲梵語由旬華言限量或四十里或六十八十里也)。

【二菩薩處母胎故地動】經云菩薩從兜率天降神來處母胎是時地亦大動(梵語兜率華言知足佛在兜率天時稱為菩薩)。
【三菩薩出母胎故地動】經云菩薩出母胎時是時地亦大動。
【四菩薩成道故地動】經云菩薩出家學道成無上正覺即名為佛是時地亦大動。
【五佛入涅槃故地動】梵語涅槃華言滅度是時地亦大動。
【六比丘欲現神通故地動】梵語比丘華言乞士經云有大神通比丘欲現多種變化或分一身為千百身還復為一飛行虛空山石無礙涌沒自由是時地亦大動。
【七諸天捨本形位得作天主故地動】經云諸天有大神通神德無量從彼命終還生彼處由佛德力捨本天形得作帝釋或作梵主是時地亦大動(帝釋梵語釋提桓因華言能天主梵主即梵天主也)。
【八飢饉刀兵將起故地動】經云若眾生命終福[書-曰+皿]或互相攻伐或值飢饉或遇刀兵是時地亦大動。
珠寶八功德(出正法念處經)
此珠即轉輪聖王七寶中之神珠寶也以其具八種功德故分別之(輪王七寶者金輪寶白象寶紺為寶神珠寶玉女寶典財寶主兵寶也)。
【一能作光明】謂此珠於夜闇中能作光明遍照百由旬如秋月行空遠離雲翳又能晝日熱時放冷光明除諸熱惱而得清凉也。
【二能濟渴乏】謂此珠於曠野無水之處人眾渴乏能令發清淨水解一切渴也。
【三隨順王意】謂此珠若轉輪王憶念水時即能隨順王意流清淨水以濟世之乏少也。
【四體具眾色】謂此珠八楞具足而一一楞放種種色青黃赤白等靡不鮮明也(楞角也)。
【五能離病苦】謂此珠能令百由旬內人皆離病心行正直一切所欲無不隨願也。
【六能降甘雨】謂此珠勢力能令惡龍不降惡雨若其降者必清凉甘雨也。
【七能生諸物】謂此珠於無水處及無草木處能令花木繁茂池水流湧無不隨願也。
【八在處利益】謂此珠所在之處人無夭閼不相殺害離諸瞋恚常自和悅也。
大明三藏法數卷第二十五

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

八功德水(出稱讚淨土經)

八功德水謂阿彌陀佛極樂淨土池中之水有八種功德也。

【一澄淨】謂其水澄亭潔淨是為澄淨功德。

【二清冷】謂其水清瀅涼冷是為清冷功德。

【三甘美】謂其水甘甜嘉美是為甘美功德。

【四輕輭】謂其水輕浮柔輭是為輕輭功德。

【五潤澤】謂其水滋潤澤物是為潤澤功德。

【六安和】謂其水人若飲時身心即得安隱調和是為安和功德。

【七除患】謂其水人若飲時能除飢渴等患是為除患功德。

【八增益】謂其水人若飲時即能長養善根增益四大是為增益功德(四大者即人身中地水火風也)。

八風(亦名八法出佛地經論)

謂此八法世間所愛所憎而能扇動人心名之為風苟心有所主安住正法不為愛憎之所惑亂即八風不能動也。

【一利】利者利益謂凡有益於我者皆名為利要覽云得可意事曰利是也。

【二衰】衰者減也謂凡有減損於我者皆名為衰要覽云失可意事曰衰是也。

【三毀】毀者毀謗也謂因惡其人構合異語潛地而訕謗之要覽云陰為毀訕曰毀是也。

【四譽】譽即讚譽謂因喜其人雖不對面亦必潛以善言而讚譽之要覽云陰為讚美曰譽是也。

【五稱】稱即稱道謂因推重其人凡於眾中必稱道其善以美之要覽云陽為讚美曰稱是也。

【六譏】譏者誹也謂因惡其人本無其事妄為實有對眾明說要覽云陽為誹刺曰譏是也。

【七苦】苦即逼迫之義謂或遇惡緣惡境身心受其逼迫要覽云逼惱身心曰苦是也。

【八樂】樂即歡悅之意謂或遇好緣好境身心皆得歡悅要覽云適悅身心曰樂是也。

八種粥(出十誦律)

佛在迦尸國竹園中與諸比丘一處安居爾時諸居士作種種粥持詣竹園以施佛僧故有八種之名(梵語比丘華言乞士居士者清淨自居也)。

【一酥粥】酥粥者謂以牛馬等酥和於米粟煮為粥也。

【二油粥】油粥者謂以荏酥麻等油和於米粟煮為粥也。
【三胡麻粥】胡麻粥者謂取胡麻子和於米粟煮為粥也。
【四乳粥】乳粥者謂以牛馬等乳和於米粟煮為粥也。
【五小荳粥】小荳粥者謂以綠荳赤荳等和於米粟煮為粥也。
【六摩沙荳粥】摩沙荳疑即大荳也盖梵語摩訶華言大今云摩沙者乃梵音遠近不同也謂以此荳和於米粟煮為粥也。
【七麻子粥】麻子粥者謂以黃麻子和於米粟煮為粥也。
【八薄粥】薄粥者或用米或用粟煮為稀粥也。
八不淨物(出華嚴經隨疏演義鈔)
佛在世時誡諸弟子乞食自活少欲知足不許畜此等物以其能生貪戀計着之心染污梵行故有此八不淨之名也(梵行即淨行也)。
【一置買田宅】謂比丘當依眾居止勤修出世清淨無為之道若私置田宅以圖自足是為不淨(梵語比丘華言乞士)。
【二種植根栽】謂比丘當勤修道業於世間資生之事不生貪著若不為眾私自種植田園內妨行業是為不淨。
【三貯聚穀粟】謂比丘當乞食資身清淨活命若不為眾私自藏貯穀粟米麥是為不淨。
【四畜養奴婢】謂比丘當閑居淨處修攝其心行安樂行若不為眾畜養奴婢驅使作務是為不淨。
【五畜養群畜】謂比丘當持禁戒慈心不殺若畜養牛馬等畜孳生之類以污梵行是為不淨。
【六藏積金銀錢寶】謂比丘當以清雅為高安貧樂道身無長物若貪積世間所重金銀資財等物資生求利計筭出納有乖道行是為不淨。
【七藏積象牙刻鏤等物】謂比丘當奉佛戒志尚儉素於諸玩好心不貪戀布衣草座常懷知足若貪世間稀有雕飾之物是為不淨。
【八藏積銅鐵釜鑊以自煮爨】謂比丘與眾居止當與眾同飡或乞食自活勵精梵行成就道業若藏積釜鑊以自煮爨別眾而食是為不淨。
八依(出瑜伽師地論)
【一施設依】施設猶建立也謂人依五蘊中假用言說施設我及眾生各各不同有如是生類如是種姓如是名字如是飲食如是苦樂壽夭等是名施設依(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【二攝受依】攝受含攝容受也謂人依於父母妻子奴婢僮僕等以為我所攝受故名攝受依。
【三住持依】謂人依段觸思識四種之食則能攝養諸根住立支持故名住持依(段食者段即分段謂以香味觸三塵為體入腹變壞資益諸根也觸食者謂眼識等所對色等諸塵柔輭細滑等觸而生喜樂資益諸根也思食者謂第六意識思於可愛之境生希望意而潤益諸根也識食者識即第八識也謂由前三食勢分所資能令此識增勝執持諸根也)。

【四流轉依】謂人依五蘊中受想行識四心起諸煩惱業因流轉三界生死故名流轉依。
【五障礙依】謂諸天魔外道隨有修善法處即往其前為作障礙故名障礙依。
【六苦惱依】謂人依於欲界領受一切憂苦不生厭離之心故名苦惱依。
【七適悅依】謂人依諸禪定靜息思慮身心湛寂得法喜樂故名適悅依。
【八後邊依】謂阿羅漢三界惑業已盡更不受生其最後身依有餘涅槃而住故名後邊依(梵語阿羅漢華言無生又云無學三界者欲界色界無色界也有餘涅槃者羅漢三界惑業已盡尚餘色身未滅故也梵語涅槃華言滅度)。
佛具九惱(出大智度論并興起行經)
如來已離一切障礙成就無量諸勝功德豈有如是種種業報之實盖亦善巧方便令諸眾生知造善惡業因必有苦樂果報故說此九種惱事也。
【一六年苦行】佛言往昔波羅奈城邊有婆羅門子名火鬘復有瓦師之子名護喜二子少小心相敬念護喜謂火鬘曰共見迦葉如來火鬘荅曰何用見此髡道人如是至三後日護喜復曰可共暫見荅曰何用見此髡頭道人何有佛道於是護喜捉火鬘頭曰為汝共見如來火鬘驚怖心念此非小緣必有好事耳即曰今放我頭我共汝去既至佛所禮迦葉足護喜白佛火鬘不識三寶願佛開化火鬘覩佛相好心生歡喜出家學道時火鬘者即我身是護喜者我為太子逾城出家時作瓶天子導我者是我往昔以惡言道迦葉佛故受諸苦報由此餘殃今欲臨成佛時復受六年苦行也(梵語波羅奈華言江遶城梵語婆羅門華言淨行梵語迦葉華言飲光三寶者佛寶法寶僧寶也作瓶天子即色界淨居天也)。
【二孫陀利謗】佛言往昔波羅奈城有博戲人名淨眼時有[婬-壬+(工/山)]女名鹿相淨眼誘此女人共車出城至樹園中共相娛樂時彼園中有辟支佛修行道法淨眼待辟支佛入城乞食遂殺鹿相埋辟支佛廬中後累辟支佛將至死地淨眼見已即起悲心我所造作自當受之故自說罪因國王即殺淨眼時彼淨眼者則我身是彼鹿相者孫陀利是以是因緣無數千歲受無量苦今雖得佛由此餘殃故獲孫陀利女謗也(辟支佛梵語辟支迦羅華言緣覺)。
【二木槍】佛在羅閱祇竹園精舍入城乞食忽有木槍迸在佛前心自念言此是宿緣我當受之眾見驚愕佛復心念現償宿緣使眾人見不敢造惡便踊身虛空去地一仞木槍逐佛乃至七由延槍亦隨之佛於空中化一青石厚闊十二由延佛立石上槍即穿石出在佛前又化地水火風各厚闊十二由延佛立其上槍亦穿過佛復上四天王宮次第乃至梵天槍亦次第而上至於佛前所過諸天與說宿緣佛復從梵天下至羅閱祇城槍亦尋下國人隨從看此因緣佛恐眾人見償此緣皆悶死是故佛語眾人各自還歸亦

勑諸比丘眾各還房已佛便心念當償宿緣遂疊大衣敷座而坐即展右足木槍便從足趺徹過舍利弗等皆至佛所禮拜慰問為說宿緣往昔有兩部主賈客入海取寶後遇水漲爭船第二部主與第一部主格戰第二部主以鑶矛鑶第一部主脚過即便命終佛告舍利弗爾時第二部主者即我身是第一部主者今提婆達兜是我時鑶彼脚以是因緣受諸苦報今雖得佛由此殘緣故受木槍刺脚也(梵語羅閱祇華言王舍城梵語由延即由旬華言限量四天三者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也梵語比丘華言乞士梵語舍利弗華言鶖子梵語提婆達兜亦云提婆達多又云調達華言天熱)。

【四馬麥】佛言過去世時有比婆葉如來在槃頭摩跋城中與大比丘眾俱有槃頭王與諸臣民請佛供養及比丘僧佛默然許之王還具饌已畢即執香爐啟曰唯願屈尊來受我供佛勑大眾往詣王宮食畢各還時為病比丘取食而歸爾時城中有婆羅門教五百童子佛從婆羅門所過時婆羅門見食香美便起妬意此髡沙門正應食馬麥不應食甘饌亦教童子言此等師主皆食馬麥時婆羅門者即我身是五百童子者五百羅漢是我時言他食馬麥故受諸苦報今雖得佛由此殘緣我及眾等於毘蘭邑食馬麥九十日也(梵語沙門華言息心又云勤息比婆葉槃頭摩跋毘蘭俱無翻)。

【五流離王殺釋種】佛在世時波斯匿王新紹王位使臣求親於迦毘羅國釋種之家時摩訶男婢生一女顏貌端正送與波斯匿王後生一子名曰流離及年八歲與梵志子好苦詣摩訶男家時迦毘羅國新起一講堂欲請如來於中供養爾時流離太子往至講堂即陞師子之座時諸釋種見之罵言此婢生物敢入中坐於是出語梵志子好苦曰此諸釋種捉我毀辱乃至於此我後紹王位時汝當告我此事流離太子後紹王位好苦以前事告之流離集兵往伐釋種佛告比丘往昔之時此羅閱城有捕魚村時世饑儉彼村有池多魚時城中人向於池中捕魚食之池中有二種魚一名麩二名多舌各懷報怨時有一小兒在岸見魚跳而喜以杖打彼魚頭爾時羅閱人者今釋種是麩魚者今流離王是多舌魚者今梵志好苦是小兒者即我身是以是因緣故流離王殺釋種也(梵語波斯匿華言勝軍梵語迦毘羅華言黃色)。

【六乞食空鉢】佛嘗入婆羅門聚落中乞食不得空鉢而還。

【七旃荼女謗】佛言往昔有佛名盡勝如來會中有兩種比丘一名無勝一名常歡時波羅奈城有大愛長者婦名善幻兩種比丘往來其家以為檀越無勝比丘為斷漏故供養無乏常歡比丘結使未除供養微薄常歡比丘興嫉妬心誹謗無勝與善幻通不以道法供養乃恩愛耳時常歡者則我身是善幻婦者今旃荼是(旃荼亦名旃沙)我時謗無勝故受諸苦報今雖得佛由此餘殃我為外道比丘王臣說法之時却被多舌童女繫盂起腹來至我前謗曰沙門何以不說家事乃說他事今汝自樂不知我苦汝先共我通使我有身今當臨月事須酥油以養小兒盡當給我爾時眾會皆低頭默然時釋提桓因化作一鼠入其衣裏嚙盂繫斷忽然落地眾等見已皆大歡喜(旃荼梵語具云旃荼羅華言嚴幟又云屠者謂惡業自嚴行時搖鈴持竹為標幟也梵語檀華言

施言檀越者華梵兼舉耳謂能行施則超越貧窮之海也斷漏者言斷生死之漏也結使者即惑業也梵語釋提桓因華言能天主）。

【八調達推山】佛往昔於羅閱祇城有長者名須檀家富多財子名須摩提其父須檀命終已後摩提異母弟名修耶舍摩提不欲與弟分財一日與弟執手共登耆闍崛山將至高崖便推置崖底以石塞之其弟命絕佛告舍利弗長者須檀者我父王白淨是也須摩提者則我身是修耶舍者今提婆達多是也以是因緣我於耆闍崛山經行為提婆達多舉崖石以擲我頭山神以手接石石邊小片迸中我脚拇指破而血出（梵語耆闍崛華言鷲頭即靈鷲山也須檀須摩提俱無翻）。

【九寒風索衣】佛於阿羅婆伽林中冬至前後八夜寒風破竹嘗索三衣禦寒（阿羅婆伽無翻）。

大乘九部（出大智度論）

謂佛所說大乘諸經無因緣論議譬喻之三部故云九部也以大乘直說大法不假因緣唯談圓理故絕論議獨顯真常不待譬喻是以大乘諸經唯存方廣等九部也別論雖爾若通而言之凡大小乘經無不具有十二部也。

【一修多羅】梵語修多羅華言契經契者上契諸佛之理下契眾生之機也經法也常也乃聖教之總名今言修多羅即經中長行之文也謂直說法相隨其義理長短不以字數為拘是為長行。

【二祇夜】梵語祇夜華言應頌又云重頌或云偈謂應前長行之文重宣其義也或二句四句六句八句乃至多句等皆名為頌。

【三伽陀】梵語伽陀華言諷頌謂不頌長行之文但直說偈句如金光明經中空品等是也亦名孤起如楞嚴經中阿難讚佛偈云妙湛總持不動尊等是也（楞嚴梵語具云首楞嚴華言健相分別梵語阿難華言慶喜）。

【四伊帝目多】梵語伊帝目多華言本事謂如來說諸菩薩等因地所行之事也如法華經中說藥王菩薩曾於日月淨明德佛所得法歡喜然身然臂以為供養行諸苦行求菩提道等是也（菩薩梵語具云華提薩埵華言覺有情）。

【五闍多伽】梵語闍多伽華言本生謂佛說諸菩薩等本地受生之事及自說為菩薩時修諸苦行等事如涅槃經云比丘當知我於過去作鹿作麞作麙作兔作粟散王轉輪聖王龍金翅鳥諸如是等行菩薩道時所受身之類是也。

【六阿浮達磨】梵語阿浮達磨華言未曾有亦云希有如佛生時即行七步足跡之處皆有蓮華放大光明遍照十方世界而發是言我是度一切眾生生老病死者地大震動天雨眾華樹出音聲作天妓樂如是等無量希有之事是名未曾有又四種等凡有聞所未聞見所未見皆名未曾有（四眾者比丘比丘尼優婆塞優婆夷也）。

【七優陀那】梵語優陀那華言自說謂無有人問如來以他心智觀眾生機而自宣說如楞嚴會上說五十種魔事不待阿難請問又如阿彌陀經無

有緣起自告舍利弗等是也(五十種魔事者謂於色受想行識五陰中各有十種也梵語阿彌陀華言無量壽梵語舍利弗華言鶖子)。
【八毘佛畧】梵語毘佛畧華言方廣正理名方包富名廣謂大乘方等經典其義廣大猶如虛空即諸經之理體也。
【九和伽羅】梵語和伽羅華言授記謂如來為諸菩薩緣覺聲聞授作佛記如法華經云汝阿逸多於當來世而成佛道號曰彌勒等是也(梵語阿逸多華言無能勝梵語彌勒華言慈氏)。
華嚴九會說(出華嚴經隨疏演義鈔)
華嚴者謂如來以萬行因華莊嚴法身果德也九會說者如來與菩薩四眾天龍八部於菩提場等處九番聚會而廣說此法也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情四眾者比丘比丘尼優婆塞優婆夷也八部者天龍夜叉乾闥婆阿修羅迦樓羅緊那羅摩睺羅迦也梵語菩提華言道樹名也如來於此樹下成道故其處名菩提場)。
【第一會】此會菩提場普賢菩薩說如來依報因果法門自第一卷至十一卷共六品經(依報者即所依之國土也六品者世主妙嚴品如來現相品普賢三昧品世界成就品華藏世界品毘盧遮那品也)。
【第二會】此會普光明殿文殊師利菩薩等說十信等法門自第十二卷至十五卷共六品經(普光明殿者其殿眾寶所成光明照映又佛於中說法普放光明故也梵語文殊師利華言妙德十信者信心念心精進心慧心定心不退心護法心回向心戒心願心也六品者如來名號品四聖諦品光明覺品菩薩問明品淨行品賢首品也)。
【第三會】此會忉利天宮法慧菩薩說十住等法門自第十六卷至十八卷共六品經(梵語忉利華言三十三即帝釋等三十三天所居之處也十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也六品者昇須彌山頂品須彌山頂偈讚品十住品梵行品初發心功德品明法品也)。
【第四會】此會於夜摩天宮功德林菩薩說十行等法門自第十九卷至二十一卷共四品經(梵語夜摩華言善時分以此天時時唱快樂故也十行者歡喜行饒益行無嗔恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真實行也四品者昇夜摩天宮品夜摩宮中偈讚品十行品十無盡藏品也)。
【第五會】此會兜率天宮金剛幢菩薩說十迴向等法門自第二十二卷至三十三卷共三品經(梵語兜率華言知足以此天於五欲境知止足故也十迴向者救護眾生離眾生相迴向不壞迴向等一切佛迴向至一切處迴向無盡功德藏迴向隨順平等善根迴向隨順等觀一切眾生迴向真如相迴向無縛解脫迴向法界無量迴向也三品者兜率天宮品兜率天宮偈讚品十迴向品也)。
【第六會】此會他化天宮金剛藏菩薩說十地法門自第三十四卷至三十九卷共一品經(他化者謂諸欲樂境不勞日化皆由他化而自在受用即他化自在天也十地者歡喜地離垢地發光地燄慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也品即十地品也)。
【第七會】此會復於普光明殿毘盧遮那如來說阿僧祇數量法門普賢菩薩亦說十大三昧等及等覺法門自第四十卷至五十二卷共十一品經

(梵語毘盧遮那華言遍一切處梵語阿僧祇華言無數梵語三昧華言正定等覺者云復妙覺佛位猶有一等勝前諸位得稱覺也十大三昧者普光大三昧妙光大三昧次第遍徃諸佛國土大三昧清淨深入行大三昧知過去莊嚴藏大三昧智光明藏大三昧了知一切世界佛莊嚴大三昧眾生差別身三昧法界自在大三昧無礙輪大三昧也十一品者十定品十通品十忍品阿僧祇品如來壽量品諸菩薩住處品佛不思議法品如來十身相海品如來隨好光明功德品普賢行品如來出現品也)。

【第八會】此會復於普光明殿普賢菩薩說離世間法門自第五十三卷至五十九卷共一品經(離世間法者謂超越世間大乘之法也一品即離世間品也)。

【第九會】此會逝多林文殊師利菩薩等說入法界法門自第六十卷至八十卷共一品(梵語逝多華言勝林即給孤獨園也法界者交徹融攝故曰法界即諸佛平等法身之理也一品即入法界品也)。

九種大禪(出地持經)

禪梵語具云禪那華言靜慮謂菩薩既憑弘誓利益眾生則當進修深廣大行然深廣之行莫若禪定言禪則一切皆攝所謂若諸菩薩成道轉法輪入涅槃勝妙功德思惟修法利生方便皆在其中是故說此九種禪定之相也(梵語涅槃華言滅度)。

【一自性禪】謂於菩薩藏聞思從前所行世間出世間善一心安住或止分或觀分或俱分無不攝也(菩薩藏者菩薩所修之法藏也聞思從前所行世間出世間善者聞持思念已徃所行世間出世間一切善法也止分者謂攝心不散即定也觀分者謂分別照了即慧也俱分者謂止觀雙修定慧平等也分者位也謂安於止觀相應位分也菩薩於所修法藏聞持思念過去所行一切善法一心安住止觀平等大慧利益眾生也而言自性者謂菩薩所修之禪觀心實相不從外得即本有之定也)。

【二一切禪】謂修此禪定則自行化他一切諸法無不攝也名有三種一者現法樂住禪謂離一切妄想身心止息第一寂滅捨離味著及一切相現得法喜之樂而住於定也二者出生三昧功德禪謂出生種種不可思議無量無數一切三昧功德也三者利益眾生禪謂眾生所作皆與同事復以法義開導饒益莫不令其離苦得樂也(捨離味著及一切相者謂內於禪定之味外及一切諸相心能捨離而不樂著也梵語三昧華言正定同事者謂隨諸眾生同其行事而饒益之也)。

【三難禪】難禪者謂此禪定不易修也名有三種第一難禪謂久習勝妙禪定於諸三昧心得自在哀愍眾生欲令成就捨第一禪樂而生欲界也第二難禪謂依此定出生無量無邊不可思議諸深三昧出過聲聞辟支佛上也第三難禪謂依此定得無上菩提也(第一禪樂者即勝妙禪定之樂也辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺梵語菩提華言道)。

【四一切門禪】門即出入之義謂一切禪定皆由此門而出名有四種一者有覺有觀禪謂初心在緣名覺細心分別禪味曰觀即色界初禪定也二者喜俱禪謂得此禪定喜心共發即第二禪也三者樂俱禪謂得此禪定則

發勝妙之樂即第三禪也四者捨俱禪謂入此禪則心平等而無善惡憎愛之意即第四禪也。

【五善人禪】謂一切善法無所不攝乃大善根眾生之所共修名有五種一者不味著謂於禪定之味不樂著也二者慈心俱謂愛念眾生之心與禪俱發也三者悲心俱謂悲愍眾生之心與禪俱發也四者喜心俱謂歡喜眾生離苦得樂之心與禪俱發也五者捨心俱謂無憎無愛平等之心與禪俱發也。

【六一切行禪】謂大乘一切行法無不含攝名有十三種一者善禪謂此禪定能攝一切善法也二者無記化化禪謂不待作意思惟自然能於定中作種種變化而無窮也三者止分禪謂攝心不散與定相應也四者觀分禪謂分別照了與慧相應也五者自他利禪謂正定現前則能自利利他也六者正念禪謂於定中正念思惟無諸雜想也七者出生神通力功德禪謂得此大定則一切神通功德悉皆由之而出生也八者名緣禪謂於一切諸法名相因緣悉得通達無礙也九者義緣禪謂於一切諸法義理因緣悉能通達曉了也十者止相緣禪謂於寂靜因緣之相圓明洞徹永離一切散亂也十一者舉相緣禪謂能照了諸法起滅因緣悉皆清淨無礙也十二者捨相緣禪謂於一切善惡法相因緣悉皆捨離清淨而無染着也十三者現法樂住第一義禪謂因此定現得法喜之樂而安住於第一義也(第一義者謂實相中道之理無二無別也)。

【七除惱禪】謂修此禪定能除滅眾生種種苦惱名有八種一者呪術所依禪謂因此定能以呪術之力除諸毒害霜雹寒熱鬼病一切苦患也二者除病禪謂因此定能除地水火風四大所起眾病也三者雲雨禪謂因此定能興致甘雨消滅灾旱救諸饑饉也四者等度禪謂因此定能濟諸恐難及一切水陸人非人怖也五者饒益禪謂因此定能以飲食饒益曠野飢渴眾生也六者調伏禪謂因此定能以財物調伏眾生也七者開覺禪謂因此定能覺悟迷惑眾生也八者等作禪謂因此定能令眾生所作悉皆成就也(非人者即龍鬼之類也)。

【八此世他世樂禪】謂修此禪定能令眾生悉得現在未來一切之樂名有九種一者神足變現調伏眾生禪謂因此定而能變現種種神足通力調伏一切眾生也二者隨說調伏眾生禪謂因此定而能隨順說法調伏一切眾生也三者教誡變現調伏眾生禪謂因此定能以正法教誨誡諭調伏一切眾生也四者為惡眾生示惡趣禪謂因此定能為惡業眾生示現修羅餓鬼畜生地獄等趣令其改惡遷善也五者失辯眾生以辯饒益禪謂因此足而於眾生不能辯說正法者即以辯才而饒益之令其心識開悟也六者失念眾生以念饒益禪謂因此定而於眾生失正念者能以正念而饒益之令其邪見不生也七者造不顛倒論微妙讚頌摩得勒伽為令正法久住世禪謂因此定開發妙慧心不顛倒能造微妙讚頌摩得勒伽之論而令正法流通久住於世也八者世間技術義饒益攝取眾生禪謂因此定能以書數筭

計資生方法如是等種種眾具攝取饒益一切眾生也九者暫息惡趣放光明禪謂因此定放大光明暫令修羅等趣息其苦惱也(神定者謂神通滿足也梵語摩得勒伽亦云摩怛理伽華言本母即論名謂能興立教義為本為母故也)。

【九清淨淨禪】謂依此禪定一切煩惱惑業悉皆斷盡即得大菩提清淨之果名為清淨重言淨者以清淨之相亦不可得也名有十種一者世間清淨淨不味不染污禪謂依此定於一切天人所修世間禪定悉不味著亦不見有染污之相名為清淨重言淨者以此淨相亦不可得也二者出世間清淨淨禪謂依此定於一切聲聞緣覺所修出世間禪定悉無染礙名為清淨重言淨者以此淨相亦不可得也三者方便清淨淨禪謂依此定能善巧方便演說無量妙法化度一切眾生悉無染礙名為清淨重言淨者以此淨相了不可得也四者根本清淨淨禪謂依此定於色界四禪根本之定悉無染礙名為清淨重言淨者以此淨相亦不可得也五者根本上勝進清淨淨禪謂依此定於色界四禪根本雖得最上殊勝增進之定悉無染礙名為清淨重言淨者以此淨相亦不可得也六者入住起力清淨淨禪謂依此定或入或住或起力用自在無染無礙名為清淨重言淨者以此淨相亦不可得也七者捨復入力清淨淨禪謂依此定捨而復入力用自在無染無礙名為清淨重言淨者以此淨相亦不可得也八者神通所作力清淨淨禪謂依此定能以種種神通力用變現自在利益一切悉無染礙名為清淨重言淨者以此淨相亦不可得也九者離一切見清淨淨禪謂依此定而於斷常有無一切諸見悉皆遠離而無染礙名為清淨重言淨者以此淨相亦不可得也十者煩惱智障斷清淨淨禪謂依此定於見思等諸煩惱惑及障理之智皆已斷滅悉無染礙名為清淨重言淨者以此淨相亦不可得也(四禪者初禪二禪三禪四禪也根本定者謂四禪之定為諸禪之根本能出生一切禪定也斷常者謂外道妄計此身滅已更不再生名斷見復計此身滅已還生名常見也障理之智者謂聲聞雖得人空之智若大乘菩薩以此智即是障理之惑故也)。

九次第定(出法界次第)

九者自初禪至滅受想定凡九種也次第者謂人若入禪時智慧深利能從一禪又入一禪如是次第而入心心相續不生異念無間無雜定者攝心不亂也。

【初禪次第定】謂人修禪定離欲界惡不善法有覺有觀離生喜樂定觀均齊其心次第而入無有雜念間隔也(有覺有觀者初心在緣曰覺細心分別禪味曰觀即是初禪之定相離生喜樂者慶悅之心名為喜恬淡之心名為樂初禪既離欲界惡不善法故生此喜樂也定觀均齊者觀即是慧所謂定慧平等也)。

【二禪次第定】謂人修禪定從初禪入二禪時一心無覺無觀定生喜樂其心次第而入無有雜念間隔也(無覺無觀者既入二禪即離初禪覺觀動散也定生喜樂者既無覺觀攝心在定則生喜樂此即二禪之定相也)。

【三禪次第定】謂人修禪定從二禪入三禪時離喜行捨而受身樂唯聖人能說而復捨念行樂其心次第而入無有雜念間隔也(離喜行捨者謂厭離

二禪大喜動散攝心不受也受身樂者既離二禪之喜而身受三禪之樂也聖人能說者此樂極勝超過一切喜樂非凡夫所知也捨念行樂者謂能捨二禪之喜念而行三禪之樂也)。
【四禪次第定】謂人修禪定從三禪入四禪時斷喜樂故不喜不樂其心次第而入無有雜念間隔也(斷喜樂者謂斷二禪之喜及三禪之樂也不喜不樂者謂心無善惡寂然平等即是四禪之定相也)。
【五虛空處次第定】謂人修禪定從色界入無色界則滅一切色相不念種種異相入無邊虛空處其心次第而入無有雜念間隔也(滅一切色相者謂滅根境可見可對一切色相也既得四禪定已猶厭色界色質為礙不得自在於是心求出離滅一切色相而修虛空處定心與虛空之法相應則不念種種異相也)。
【六識處次第定】謂人修禪定既得虛空處定已心緣虛空虛空無邊緣多則散能破於定即捨虛空轉心緣識心與識法相應則過一切無邊虛空處入一切無邊識處其心次第而入無有雜念間隔也(過一切無邊虛空處者既入識處則超過虛空處也)。
【七無所有處次第定】無所有處者即不緣一切內外境界也謂人修禪定既得識處定已三世心識無量無邊緣多則散能破於定即捨所緣之識轉心緣無所有處其心次第而入無有雜念間隔也(內外境者內即識處外即虛空處也三世者過去現在未來也)。
【八非想非非想次第定】非想者非識處之有想也非非想者非無所有處之無想也謂人修禪定既得無所有處定已深知無想處如癡有想處如癰如瘡即捨無所有處緣念非有想非無想之法其心次第而入無有雜念間隔也(如癡者譬無心想也如癰如瘡者有痛即覺譬有心想也)。
【九滅受想次第定】滅受想者即受想心滅而不復起也謂人修禪定從非有想非無想入滅受想定時其心明利次第而入無有雜念間隔是為滅受想次第定若得此定不久即證阿羅漢果也(梵語阿羅漢華言無學又云無生)。
九識(出宗鏡錄)
識以了別為義謂能照了分別一切諸法故也。
【一眼識】謂眼與色為緣而生眼識眼識依根而生眼根因識能見是能見者名為眼識。
【二耳識】謂耳與聲為緣而生耳識耳識依根而生耳根因識能聽是能聽者名為耳識。
【三鼻識】謂鼻與香為緣而生鼻識鼻識依根而生鼻根因識能齅是能齅者名為鼻識。
【四舌識】謂舌與味為緣而生舌識舌識依根而生舌根因識能嘗是能嘗者名為舌識。
【五身識】謂身與觸為緣而生身識身識依根而生身根因識能覺是能覺者名為身識。

【六意識】謂意法為緣而生意識意識依根而生意根因識即能分別以能分別前五根所緣色等五塵境界是名意識若斷此識即成聲聞緣覺(五根者即眼根耳根鼻根舌根身根也五塵者即色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

【七末那識】梵語末那華言意亦名相續識又名分別識此識本無定體即第八識之染分依第八識自證分而生緣第八識見分而執為我為第六識之主執轉第六識所緣善惡之境而成染淨皆由此識也前第六識名意識今此識亦名意者謂第六識依根而得名此識當體而立號第六識雖能分別五塵好惡而由此識傳送相續也若斷此識即成菩薩(依根者根即意根也當體者即分別之體也)。

【八阿賴耶識】梵語阿賴耶華言藏識此識染淨同源生滅和合而具有四分如摩尼珠體本清淨又如明鏡能含萬像若以染分言之無明依之而起結業由此而生具足煩惱塵勞變現根身世界即前七種識境皆是也若以淨體言之即本覺心源離念清淨等虛空界即後之菴摩羅識是也無法不含無事不攝是名藏識若轉此識即成佛果(四分者一相分相即形相謂此識能變現根身世界及諸法名義相狀皆由第八識此分而生如鏡中所現之影像也二見分見即照了之義謂此識能照燭一切諸法及解了諸法義理如鏡中之明能照萬像也三自證分自證取具之法謂此識能持見分相分親證無礙如鏡之圓體常持其明能含眾像也四證自證分證即能證之體自證即所具之法能持前自證分見分相分皆不離此分是第八識本體如鏡之背也梵語摩尼華言離垢根身者眼等諸根色身也)。

【九菴摩羅識】梵語菴摩羅華言清淨識亦云白淨無垢識此識乃一切眾生清淨本源心地諸佛如來所證法身果德在聖不增在凡不減非生死之能羈非涅槃之能寂染淨俱泯纖塵不立明同皎月湛若太虛是名清淨識(梵語涅槃華言滅度)。

九緣生識(出成唯識論并宗鏡錄)

緣即助成之義九緣生識者謂明空根境等九種之緣生眼耳鼻舌等八種之識也以眼耳鼻舌身五識依第八識相分建立由第八識種子而生攬明空諸境而為相也第六識緣第八識相分而得生取五塵境界而分別依第七識而能執取也第七識緣第八識見分而得起轉第六識染淨而為依也第八識為眾識之根本含諸法之種子依第七識而能轉托五根識而為相也由是而知識藉緣生緣因識有更互為依遞相倚托而有多少不同故言九緣生識也(相分者相即形相分謂分齊謂世間種種色像境界凡有名相者皆是第八識之相分也五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

【一明緣】明者日月之光能顯諸色相也謂眼因明而見無明則不能發於眼識故明為眼識之緣也。

【二空緣】空者蕩然無礙而能顯諸色相也謂眼以空而能見耳以空而能聞無空則不能發眼耳之識故空為眼識耳識之緣也。

【三根緣】根者眼耳鼻舌身五根也謂眼識依眼根而能見耳識依耳根而能聞鼻識依鼻根而能齅舌識依舌根而能嘗身識依身根而能覺若無

五根則五識無所依故五根為五識之緣也。
【四境緣】境者色聲香味觸五塵之境也謂眼等五根雖具見聞覺嘗覺等五識若無色等五種塵境作對則五識無由能發故境為五識之緣也(五識者眼識耳識鼻識舌識身識也)。
【五作意緣】作意者即心所法有警察之義謂如眼初對色時便能覺察引領趣境使第六識即起分別善惡之念及耳鼻舌身初對境時亦能如是覺察引領是以遍行一切識境皆由作意故作意為眼等六識之緣也(心所者受想行也六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也)。
【六根本依緣】根本即第八阿賴耶識依即倚託也謂第八識是諸識之根本眼等六識依第八識相分而得生第八識相分託眼等六識而得起故根本依為六識及第八識之緣也(梵語阿賴耶華言藏識)。
【七染淨依緣】染淨依者即第七末那識也謂一切染淨諸法皆依此識而轉也謂眼耳等六識於色聲等六塵境上起諸煩惱惑業則轉此煩惱染法歸於第八識而成有漏若六識修諸道品白淨之業則轉此道品淨法歸於第八識而成無漏故名染淨依也然此第七識亦依第八識而能轉第八識依第七識而隨緣更互為依遞相倚託故染淨依為眼等八種識之緣也(梵語末那華言意八種識者眼識耳識鼻識舌識身識意識第七識第八識也)。
【八分別依緣】分別者即第六識也此識能分別善惡有漏無漏色心諸法以眼等五根雖能取境然皆依此識而有分別也是知五根境之好惡由分別而生第七識之染淨由分別而知第八識之相分由分別而顯故分別依為眼等八種識之緣也。
【九種子緣】種子即眼等八種識之種子也謂眼識依眼根種子而能見色耳識依耳根種子而能聞聲鼻識依鼻根種子而能聞香舌識依舌根種子而能嘗味身識依身根種子而能覺觸意識依意根種子而能分別第七識依染淨種子而能相續第八識依含藏種子而能出生一切諸法以諸識各依種子而生故種子為眼根等諸識之緣也。
如來藏九喻(出寶性論)
如來藏即是眾生本源清淨心地諸佛法身之果德也具足諸法包含萬像諸佛證此藏心利益羣生應用無盡眾生迷此藏心常為無明煩惱障覆業惑之所纏縛而不能證得佛令眾生修行一切善法斷除煩惱無明顯出自己如來藏清淨法身之體故說此九種譬喻也(無所明了故曰無明昏煩之法惱亂心神故曰煩惱)。
【一萎華佛身喻】萎枯頹也萎華譬無明煩惱佛身譬如來藏也謂一切眾生煩惱身中本有功德莊嚴如來藏身而為無明貪惑所覆而不能見也論云功德莊嚴佛住在萎華中是也。
【二巖蜂淳蜜喻】巖蜂譬煩惱蜜以譬如來藏謂蜂為人所觸則放毒螫人為境所逆則生嗔害也盖一切眾生如來藏中具有功德法味而為無明

嗔恚之所纏繞不得其用猶彼淳美之蜜而為群蜂之所圍遶而不能得其味也論云上妙美味蜜為群蜂圍遶是也。

【三糠[禾*會]粳米喻】糠穀皮[禾*會]糠之麤者譬煩惱也粳米譬如來藏法身之體也盖如來藏法身之體隱在眾生無明癡惑之中不得受用猶粳米在糠[禾*會]之內而不可充食也論云穀實在[禾*會]中無人能受用是也。

【四糞穢真金喻】糞穢譬煩惱真金譬如來藏性謂法身本淨猶如真金為煩惱糞穢覆污而不明潔盖一切眾生飄流三界而迷失如來藏性於煩惱之中亦猶人遺棄真金於糞穢之內也論云如人行遠路遺金糞穢中是也(三界者欲界色界無色界也)。

【五貧家寶藏喻】貧家譬眾生寶藏譬如來藏性謂一切眾生無明煩惱身中而有如來藏性猶貧人屋內而有珍寶之藏也貧人雖有寶藏為地所覆而不能見眾生雖具法身為無明煩惱所覆而不能顯也論云譬如貧人舍地有珍寶藏是也。

【六菴羅內實喻】菴羅梵語具云菴摩羅華言柰果名也內實者即果內之種子果譬煩惱妄惑內實譬如來藏中菩提種子謂諸眾生煩惱妄惑之中而有如來藏菩提種子安住不動猶菴羅果內而有種子含藏不朽也論云如種種果樹子芽不朽壞是也(梵語菩提華言道)。

【七弊衣金像喻】弊衣即破垢之衣譬煩惱金像即佛身之像譬如來藏謂如來藏清淨法身為無明弊垢之所纏覆墮在生死道中猶弊垢之衣纏裹真金之像棄於道路也論云弊衣纏金像在於道路中是也。

【八貧女貴胎喻】貧女譬無明煩惱貴胎者即貧女胎中所懷貴人譬如來藏謂一切眾生無明煩惱之中而有如來清淨法身之體而不能見如貧女懷貴人之胎而不自知也論云譬如孤獨女身懷轉輪王是也。

【九焦模鑄像喻】焦模者焦土所為之模範譬煩惱鑄像者所鑄金像譬如來藏謂如來藏性在眾生無明暗惑之中猶鎔真金鑄像在於焦模之內而不能顯見也論云如人鎔真金鑄在泥模中是也。

金剛九喻(出金剛經論釋)

金剛九喻者乃是金剛般若經中九種譬喻也此經有三譯一姚秦鳩摩羅什法師譯二魏菩提流支法師譯三陳真諦法師譯此九種譬喻乃是魏時所譯之文所謂一切有為法如星翳燈幻露泡夢電雲應作如是觀是也(梵語般若華言智慧梵語鳩摩羅什華言童壽梵語菩提流支華言覺希)。

【一星喻】謂星宿夜則明朗日光一照眾星皆隱以譬眾生昏迷執著諸見自為明了若以正智之心照之則眾見皆滅也論云譬如星宿為日所映而不現故智日心法亦復如是。

【二翳喻】謂人目有障翳則見空華等相以譬眾生無明覆障則見一切有為虛妄之境界也論云如目有翳則見空華觀有為法亦復如是。

【三燈喻】謂燈因膏油而焰焰無窮以譬眾生妄識依貪愛境界而生生不絕也論云譬如燈光識亦如是依止貪愛諸法住故。
【四幻喻】謂諸幻化之事無而忽有體本不實皆因幻師呪術之力假作種種形相以譬世間山河大地皆是虛妄幻化以因眾生惑業力故而妄有種種境界也論云譬如幻事所依住處亦復如是以器世間無實體故(器世間者謂世界如器即山河大地等物是也)。
【五露喻】謂露霑於草木體不久停為風所吹須臾即落以譬眾生幻身雖於世間暫爾留住為無常風所吹倏忽變滅也論云譬如朝露身以如是暫時住故。
【六泡喻】泡水漚也謂水泡因涕水風三者和合而成以譬眾生根境識三法和合而有苦樂受用之境也論云譬如水泡所受用事亦復如是根境識等三法合故(涕水點也根境識者根即眼根耳根鼻根舌根身根意根也境即色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也識即眼識耳識鼻識舌識身識意識也)。
【七夢喻】謂晝緣諸境夜則感夢本無實體惟因想生以譬眾生緣念過去造作諸事境雖已滅緣想即現蓋言一切有為之法皆因妄想而成亦如夢境也論云又如夢境過去諸法亦復如是。
【八電喻】謂雷電之光剎那不住以譬一切現在諸法猶如電光倏忽則滅也論云譬如電光剎那不住現在諸法亦復如是(梵語剎那華言一念)。
【九雲喻】謂雲能降雨澤又能變現不常以譬眾生阿賴耶識含藏諸法能持未來種種境界變現不定也論云譬如雲影未來諸法亦復如是阿賴耶識與一切法為種子根本故(梵語阿賴耶華言藏識即第八識也)。
小乘九部(出大智度論)
部即部類謂佛所說經有大乘小乘不同故分十二部及九部之別也小乘諸經於十二部中無方廣授記無問自說之三部故云九部法華經云我此九部法隨順眾生說是也別論雖爾若通而言之凡大小乘經無不具有十二部也(無方廣部者方廣乃大乘常住之理以小乘惟說生滅之法故無也無授記者以小乘之人未得作佛故無也無無問自說者以小乘之人說必假緣故無也假緣者假問荅發起之緣也)。
【一修多羅】梵語修多羅華言契經契者上契諸佛之理下契眾生之機也經法也常也乃聖教之總名今言修多羅即經中長行之文也謂直說法相隨其義理長短不以字數為拘是為長行也(法者十界同遵也常者三世不易也)。
【二祇夜】梵語祇夜華言應頌又云重頌或云偈謂應前長行之文重宣其義也或二句四句六句八句乃至多句等皆名為頌。
【三伽陀】梵語伽陀華言諷頌謂不頌長行之文直說偈句如金光明經中空品等是也亦名孤起如楞嚴經中阿難讚佛偈云妙湛總持不動尊等是也(楞嚴梵語具云首楞嚴華言健相分別梵語阿難華言慶喜)。

【四尼陀羅】梵語尼陀羅華言因緣如諸經中有人問故為說是事律中有人犯是事故制是戒凡一切佛語緣起之事皆名因緣如法華經化城喻品說宿世因緣等是也。
【五伊帝目多】梵語伊帝目多華言本事謂如來說諸菩薩等因地所行之事也如法華經中說藥王菩薩曾於日月淨明德佛所得法歡喜然身然臂以為供養行諸苦行求菩提道等是也。
【六闍多伽】梵語闍多伽華言本生謂如來說諸菩薩等本地受生之事及自說為菩薩時修諸苦行等事如涅槃經云比丘當知我於過去作鹿作麞作麙作麞作兔作粟散王轉輪聖王龍金翅鳥諸如是等行菩薩道時所受身等之類是也(梵語比丘華言乞士)。
【七阿浮達磨】梵語阿浮達磨華言未曾有亦云希有如佛生時即行七步足跡之處皆有蓮花放大光明遍照十方世界而發是言我是度一切眾生生老病死者地大震動天雨眾花樹出音聲作天妓樂如是等無量希有之事是名未曾有又四眾等凡有聞所未聞見所未見皆名未曾有(四眾者比丘比丘尼優婆塞優婆夷也)。
【八婆陀】梵語婆陀華言譬喻謂如來說法為鈍根者未能即解故假譬喻以曉示之令其易悟是名譬喻如法華經中火宅藥草等喻是也。
【九優婆提舍】梵語優波提舍華言論議謂諸經中問答辯論諸法之事是為論議如法華經提婆達多品中智積菩薩與文殊師利相見論說妙法等是也(梵語提婆達多又云調達華言天熱梵語文殊師利華言妙德)。
菩薩修行九種差別(出大乘莊嚴經論)
【一善行生死】菩薩成就道業為化導有情雖出沒於生死中不為生死染着譬如病人服苦澁藥但為除病不生嫌棄也。
【二善行眾生】菩薩於諸眾生起大悲心設有病苦常行救濟不生疲怠譬如良醫親近病者心無厭捨也。
【三善行自心】菩薩能調伏自心破除煩惱增長菩提譬如有智之人善能調伏奴僕之類也(梵語菩提華言道)。
【四善行欲塵】菩薩雖處欲塵而不染着精修梵行增長法財譬如商人善於販賣獲大利益也。
【五善行三業】菩薩精修於身口意三者之業思惟策勵悉令清淨譬如善浣衣人能除穢垢也。
【六善行不惱眾生】菩薩於諸眾生常起憐憫之心雖有加惡於我不生瞋惱譬如慈父愛念小兒雖有穢垢不生憎惡也。
【七善行修習】菩薩修習菩提之道勇猛精勤心無間斷譬如以木鑽火未熱不息也。
【八善行三昧】梵語三昧華言正定菩薩修習正定不亂不昏遂使功德資長譬如出財與人得人保息方獲利益也。

【九善行般若】梵語般若華言智慧菩薩以清淨智照了世間一切諸法心無疑惑譬如幻師知諸幻事悉由幻作求其真實皆不可得也。

九病(出長阿含經)

經云人壽增至四萬歲時其人作是念言我等由修善故壽命延長今可更增少善即孝養父母敬事師長延於壽命至八萬歲當此之時人已有此九種之病也。

【一寒病】謂人必寒溫得宜則身體安樂若為寒凍所逼則成一切病也。

【二熱病】謂人必溫凉得宜則身體和暢若為熱毒所中則成一切病也。

【三饑病】謂人必假飲食以資其身則諸根強健若不得食則虛弱而成一切病也。

【四渴病】謂人必假漿水以養其體若不得漿水之飲則腸胃枯焦而成一切病也。

【五大便病】謂人必假飲食資益諸根入腹變壞須便利以時若強忍過當即能生一切病也。

【六小便病】謂人必得湯水資潤色身入腹之後須便利以時若強忍過當即能生一切病也。

【七欲病】謂人貪於[婬-壬+(工/山)]欲則能成癆怯虛弱一切病也。

【八饕餮病】(饕他刀切餮他結切)饕餮即貪食也謂人必須飲食以養其身若貪食過度即能生一切病也。

【九老病】謂人年老則筋力衰弱或起居食息不能中節即成一切病也。

九種橫死(出藥師經)

謂人生於世間當勤修佛法敬依國化不作諸惡奉行眾善斯能盡其天年不然則必遭橫逆而死故有此九種也。

【一得病無醫】謂人得病雖輕然無醫藥及看病者或遇常醫而不投以良藥又有不知正法惟信世間邪魔外道妖孽之師妄說禍福便生恐動卜問吉凶殺諸眾生求神請福欲希延年終不能得以此而喪其生皆為橫死。

【二王法誅戮】謂人妄作非為遭罹國憲被王法之所誅是為橫死。

【三非人奪精氣】謂人或畋獵嬉戲或躭淫嗜酒放逸無度橫為非人鬼魅之類奪其精氣而死是為橫死(奪精氣者如法華經中羅剎女等奪一切眾生精氣者是也)。

【四火焚】謂人或被火焚燒而喪其命是為橫死。

【五水溺】謂人或因墮水沉溺而喪其命是為橫死。

【六惡獸啖】謂人或於山林因被虎狼惡獸之所啖食是為橫死。

【七墮崖】謂人或於山間墜墮巖崖顛仆而喪其命是為橫死。
【八毒藥呪咀】謂人或被毒藥及呪詛厭魅起尸鬼等之所中害而喪其生是為橫死(起尸鬼者謂呪死尸起而厭人也)。
【九饑渴所困】謂人或被饑渴之所困逼不得飲食而喪其生是為橫死。
九住心(出大乘莊嚴經論)
【一安住心】謂修行之人於習禪時或數息或觀心當須繫緣一境念念相續安住其心不令散亂也。
【二攝住心】謂修行之人於習禪時攝心寧靜則禪定可成若覺一念稍動即便攝持令心安住也。
【三解住心】謂修行之人於習禪時既解知覺觀之心攀緣外廣即當[(冰-水+丨)*攵]斂安住也(初心在緣曰覺細心分別禪味曰觀)。
【四轉住心】謂修行之人於習禪時覺心既息不妄搖動得靜定功轉樂安住也。
【五伏住心】謂修行之人於習禪時心住靜定久或生厭隨而折伏益加精進也。
【六息住心】謂修行之人於習禪時忽覺內心動亂而生過失於一念間即令止息也。
【七滅住心】謂修行之人於習禪時或由外緣忽起貪愛等念即當猛省方便滅除無令增長也。
【八性住心】謂修行之人於習禪時既能息諸妄念則知心性本來明靜任運安住也。
【九持住心】謂修行之人於習禪時功行純熟安住正定不由作意任運持善不失持惡不生也。
大明三藏法數卷第二十六

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

九齋日(出釋氏要覽并四天王經)
齋猶戒也過中不食為齋謂外道有以終日不食為戒者世間之人又有飲食無度放逸自恣者皆不得中道佛令比丘日中一食清淨自活端肅身心安禪入道以為修行之常法本無月日之數今言正五九之三月及每月之六日為九齋日者以天帝釋及四天王等於此月日察人善惡人當食素持齋以修善福此亦如來隨機攝化善巧方便也(梵語比丘華言乞士梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵兼舉也四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也)。
【一正月】天帝釋以大寶鏡正月照南贍部洲而察人之善惡也又北方毘沙門天王巡察四洲正月在南洲亦如鏡之所照故南洲人宜於此月食素持齋修善也(梵語贍部即閻浮提華言勝金洲梵語毘沙門華言多聞四洲者東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼北欝單越也)。
【二五月】天帝釋以大寶鏡從正月照南贍部洲二月照西瞿耶尼三月照北欝單越四月照東弗于逮至五月復照此洲而察人之善惡也北方毘沙門天王巡察四洲五月至南洲亦如鏡之所照故此洲之人宜於此月食素持齋修善也(梵語瞿耶尼華言牛貨梵語欝單越華言勝處梵語弗于逮華言勝)。
【三九月】天帝釋以大寶鏡從五月照南贍部洲而六月七月八月次第輪照察餘之三洲至九月復照此洲而察人之善惡也北方毘沙門天王巡察四洲亦如鏡之所照故此洲之人宜於此月食素持齋修善也(已上為年三長齋月)。
【四每月初八日】天帝釋勅四天王各治一方至此日四王遣輔臣觀察世間人民善惡人於此日宜加修善是名齋日。
【五每月十四日】此日四天王遣四太子按行天下伺察人民善惡人於此日宜加修善是名齋日。
【六每月十五日】此日四天王親自按行天下有慈孝父母恭敬三寶及尊事長上并修六度等行者諸天相慶則降善錫福注祿增筭如不修善持齋惟造惡業諸天憂慼降以不祥減祿除筭人於此日宜加修善是名齋日(三寶者佛寶法寶僧寶也六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【七每月二十三日】此日四天王遣輔臣觀察與初八日同。
【八每月二十九日】此日四天王遣太子觀察與十四日同。
【九每月三十日】此日四天王躬自按行觀察與十五日同(已上為六齋日)。
外道計九物生世間(出華嚴經隨疏演義鈔)

謂諸外道不了法本無生法亦無滅因緣和合虛妄有生因緣別離虛妄名滅生滅隨緣本無自性却乃隨情計度妄生執着以為一物而能出生世間萬物故有九種邪見之論也。

【一執時】時即時節謂時散外道執一切物皆從時生如種植等物有時生果有時不生遂以時有作用或舒或卷令彼枝條隨時榮枯時雖微細固不可見以節氣華實之類故知有時是故執時是常是一是萬物因是涅槃因也(梵語涅槃華言滅度)。

【二執方】方即方所謂方論師計東西南北四方皆能生人人生天地滅後還入於方蓋謂盡虛空界無不是方是所一切人物或生或死不離方所故執方是常是一是萬物因是涅槃因也。

【三執微塵】微塵極細之塵也謂路伽耶論師計色心等法皆從極細所生謂四大極細是常能生麁色雖是極微而體實有以世間麁物無常極微之因不壞是故執極微是常是一是萬物因是涅槃因也(梵語路伽耶華言順世四大者地大水大火大風大也)。

【四執空】空即虛空謂口力論師執虛空為萬物因以為從空生風從風生火從火生煖煖生水水生凍凍堅作地地生五穀五穀生命命沒還歸虛空是故執空是常是一是萬物因是涅槃因也(五穀者禾麻黍菽麥也)。

【五執大種】謂順世外道執地水火風四大種子是能生萬物之因以為世間萬物從四大生滅後還歸四大如身根堅相是地濕相是水熱相是火動相是風乃知身與萬物不離四大是故執四大種是常是一是萬物因是涅槃因也。

【六執神我】神我者外道執第八藏識為神我也謂迦毘羅外道論二十五諦之主以為冥初生覺從覺生我心從我心生色聲香味觸五塵從五塵生地水火風空五大從五大生眼耳鼻舌身意手足口大遺小遺十一根并神我共成二十五諦以前二十四諦從神我而生依神我為主謂神我常覺明了安處其中常住不壞攝受諸法是故執神我是常是一是萬物因是涅槃因也(梵語迦毘羅華言黃色謂其頭如金色嘗作僧佉論者是也冥初者又曰冥諦謂外道能觀八萬刼事八萬刼前則冥然不見故也覺者即知覺也我心者即外道我慢之心也)。

【七執勝妙】勝妙者謂那羅延天最勝最妙也盖韋陀論師執那羅延天能生四姓謂口生婆羅門兩臂生剎利兩脞生毘舍兩脚生首陀盖那羅延臍中生大蓮花蓮花之上生梵天梵天能生萬物乃以此天是梵天之主最勝最妙是故執此是常是一是萬物因是涅槃因也(梵語那羅延華言鉤鎖力又云堅固梵語韋陀華言智論梵語婆羅門華言淨行梵語剎帝利華言田主即王種也梵語毘舍華言商賈梵語首陀華言農人)。

【八執自在天】自在天者即色究竟天三千世界之主也此塗灰外道并諸婆羅門共執自在天是萬物之因謂此天有四德一體實二徧三常四能生諸法又計此天有三身一者法身謂體常周徧量同虛空能生萬物二受

用身謂在色天之上三變化身謂隨形六道教化眾生是故執此天是常是一是萬物因是涅槃因也(色究竟天即色界第十八天也塗灰者謂以灰塗身而為苦行因而名也六道者天道人道阿脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。

【九執大梵天】大梵天色界初禪天也即韋陀論師所執那羅延天能生四姓又從臍中生大蓮花蓮花之上有梵天祖翁梵天能生一切有命無命之物是故執此天是常是一是萬物因是涅槃因也(祖翁者謂梵天是萬物之祖也)。

九種轉變(出楞伽經)

轉即運動變即改易此是外道妄計形相等九種各有遷變之不一也蓋外道不了法從緣生本無自性一切境界起滅唯心而妄計有無遂成邪執如來恐諸末世眾生墮斯等見故於楞伽會上對大慧菩薩說此九種邪計之相也(梵語楞伽華言不可往)。

【一形處轉變】形處即四大諸根形質之處也外道見其形質隨時變異衰謝不常遂計為轉變也(四大者地大水大火大風大也)。

【二相轉變】相即諸法生滅之相外道見念念之間生住滅相遷流不停遂計為轉變也。

【三因轉變】因即所作之因也外道見一切所作之因漸漸成熟熟必感果展轉相因遂計為轉變也。

【四成轉變】成即所成之果也外道見果藉因成成必有壞因是相仍遂計為轉變也。

【五見轉變】眼能觀色曰見外道以見能隨物遷改未曾暫停遂計為轉變也。

【六性轉變】性即根性外道計自性隨業流轉生生不息無有窮盡遂計為轉變也。

【七緣分明轉變】緣即一切事緣分明者見處明了也外道見一切因緣之事分明曉了皆從變滅遂計為轉變也。

【八所作分明轉變】所作即一切造作也外道見世間諸所作為分明曉了生滅不定遂計為轉變也。

【九事轉變】事即有為之世事也外道見諸世事遷換無常新新不住遂計為轉變也。

鬼分九類(出阿毘達磨順正理論)

贍部洲南邊直下深過五百踰繕那有琰魔王都縱廣之量亦爾其處有三種鬼一者無財二者少財三者多財無財復有三種一者炬口二者鍼口三者臭口少財亦有三種一者鍼毛二者臭毛三者癭鬼多財亦有三種一者希祠二者希棄三者大勢合之而有九類也(梵語贍部即閻浮提華言勝金洲梵語琰魔華言靜息梵語踰繕那即由旬華言限量)。

【一炬口鬼】謂此鬼口中常吐猛焰熾然不息身如被燎多羅樹形蓋其因中極慳故招如是苦果也(梵語多羅華言岸形如此方棕櫚樹也)。

【二鍼口鬼】謂此鬼腹大量如山谷咽如鍼孔雖見種種上妙飲食不能吞噏饑渴難忍也。
【三臭口鬼】謂此鬼口中恒出極惡腐爛臭氣過於糞穢惡氣自薰恒空嘔逆設遇飲食亦不能受常被飢渴所惱也(已上三類無財鬼也)。
【四鍼毛鬼】謂此鬼身毛堅剛銛利不可附近內鑽自體外射他身如鹿中箭毒脇(香靳切)狂走苦痛難忍時逢不淨少濟飢渴也(毒脇者毒氣脇痛也)。
【五臭毛鬼】謂此鬼身毛臭過糞穢熏爛飢骨蒸坌(蒲悶切)腸腹衝喉變嘔荼毒難忍攫(厥縛切)體拔毛傷裂皮膚轉加劇苦時逢不淨少濟飢渴也。
【六癭鬼】謂此鬼由惡業故於咽上而生大癭猶如癰腫熱脇酸疼更相剋(普碑切)[(冂@(企-止))/齊](子禮切手搦也)臭膿湧出爭共取食少得充飢也(已上三種少財鬼也)。
【七希祀鬼】謂此鬼恒時向祠祀中饗受他祭能歷異方如鳥淩空往還無礙蓋由先世積集貲財心常慳恪不能布施故生此鬼中又由先世預起希望謂我若命終諸子孫等必常祀我資具飲食故為此鬼住本舍邊便穢等處希望子孫追念以時祭祀也。
【八希棄鬼】謂此鬼時常希望他人所棄吐殘等物用充其食由彼宿生慳恪是以於有飲食之處或見穢物或復見空或樂淨物而又見穢此類之鬼隨其宿業厚薄不同所求之食或得豐饒也。
【九大勢鬼】謂諸藥乂及邏剎娑恭畔荼等或依樹林或住靈廟或居山谷或處空宮所受富樂與諸天同其勢大也(已上三類多財鬼也梵語藥叉亦云夜叉華言勇健梵語邏剎娑華言護士梵語恭畔荼即鳩槃荼華言甕形)。

九心成輪(出宗鏡錄)

謂眾生一念之心緣於塵境隨有九種之相如輪旋轉周而復始無有休息故云九心成輪也。
【一有分心】有分即心本有之分謂如眾生初受生時心雖未能分別亦有自然任運緣境之分也。
【二能引發心】謂眾生一念之心既有境對遂於此境能引發分別也。
【三見心】謂此一念之心於所緣之境既能引發分別則內外照矚一一明見也。
【四尋求心】謂此一念之心於境既能明見即起希慕追尋求覓也。
【五貫徹心】謂此一念之心於境既能求覓則貫透通徹知其善惡也。
【六安立心】謂此一念之心於境既已通達善惡遂能安立言語分別是非也。
【七勢用心】謂此一念之心既於善惡有所安立遂起動作之勢用也。
【八返緣心】謂此一念之心動作既興遂休廢道業返緣所作之事也。

【九有分體心】謂此一念之心既返緣已還歸前有分之體任運緣境相續無已也。

九結(出阿毘達磨集論)

結即繫縛之義謂一切眾生因此妄惑造作諸業而為眾苦繫縛流轉三界不能出離故云結也(三界者欲界色界無色界也)。

【一愛結】謂諸眾生為貪愛故廣行不善由此遂招未來生死之苦流轉三界不能出離是名愛結(廣行不善者謂廣作殺盜[婬-壬+(工/山)]妄等惡業也)。

【二恚結】謂諸眾生為瞋恚故廣行不善由此遂招未來生死之苦流轉三界不能出離是名恚結。

【三慢結】謂諸眾生為慢過慢慢過慢我慢增上慢下劣慢邪慢故廣行不善由此遂招未來生死之苦流轉三界不能出離是名慢結(慢者同類相傲也過慢者相似法中執己為勝也慢過慢者他本勝己強謂勝他也我慢者恃己凌他也增上慢者未得之法自謂已得也下劣慢者己本無能反自矜誇也邪慢者執著邪見凌慢他人也)。

【四無明結】謂諸眾生為無明所覆於苦法集法不能解了廣行不善由此遂招未來生死之苦流轉三界不能出離是名無明結(苦法者三界生死眾苦之法也集法者積集三界有為之法即惑業也)。

【五見結】謂諸眾生於身見邊見邪見妄興執著廣行不善由此遂招未來生死之苦流轉三界不能出離是名見結(身見者謂於五陰身中強作主宰計著有我也邊見者謂於身見中計斷計常各執一邊也邪見者謂執有執無及撥無因果也)。

【六取結】取即取著謂諸眾生於見取戒取妄計執著廣行不善由此遂招未來生死之苦流轉三界不能出離是名取結(見取者即身見邊見邪見也外道取著此等邪見以為正見也戒取者謂外道妄計自身前世從牛狗中來即便食草噉穢取以進行以為戒也)。

【七疑結】謂諸眾生於佛法僧寶妄生疑惑不修正行廣行不善由此遂招未來生死之苦流轉三界不能出離是名疑結。

【八嫉結】謂諸眾生躭着利養見他榮富起心嫉妬廣行不善由此遂招未來生死之苦流轉三界不能出離是名嫉結。

【九慳結】謂諸眾生躭著利養於資生具其心慳惜不能捨施廣行不善由此能招未來生死之苦流轉三界不能出離是名慳結。

三界九地(出釋氏要覽)

謂欲界五趣雜居一地色界四禪分為四地無色界四空分為四地共為九也地有持載之義眾生依之而住此之九地從忉利天已下及四趣皆為地居夜摩已上以至非非想天皆為空居從所依處得名故皆言地也。

【一五趣雜居地】五趣者即欲界六天人餓鬼畜生地獄也本該六趣以阿修羅通於諸趣故但言五雜居者五趣雖果報苦樂不同總居於欲界故

也(欲界六天者四天王天忉利天夜摩天兜率天化樂天他化自在天也梵語阿修羅華言無端正)。
【二離生喜樂地】離生喜樂地者即色界初禪天也謂此天已離欲界欲惡之法得覺觀禪定身心凝靜而生喜樂住於此定一切苦惱皆不能逼也(覺觀者初心在緣曰覺細心分別禪味曰觀)。
【三定生喜樂地】定生喜樂地者即色界二禪天也謂此天已離初禪覺觀動散攝心在定淡然凝靜而生勝定喜樂住於此定如人從暗室中出見日月光明朗然洞徹也。
【四離喜妙樂地】離喜妙樂地者即色界三禪天也謂此天已離二禪天喜之踊動因攝心諦觀泯然入定而得勝妙之樂住於此定樂法增長徧滿身中也。
【五捨念清淨地】捨念清淨地者即色界四禪天也謂此天捨二禪之喜及三禪之樂心無憎愛一念平等清淨無雜住於此定空明寂靜萬像皆現也。
【六空無邊處地】空無邊處地者即無色界第一天也謂此天厭色界色質為礙不得自在故加功用行滅一切色相而入虛空處定住於此定其心明淨無礙自在也。
【七識無邊處地】識無邊處地者即無色界第二天也謂此天厭空處無邊轉心緣識與識相應心定不動三世之識悉現定中住於此定清淨寂靜也(三世者過去現在未來也)。
【八無所有處地】無所有處地者即無色界第三天也謂此天厭空處無邊識處三世流轉無際捨此二處而入無所有處定住於此定怡然寂靜諸想不起也。
【九非非想處地】非非想處地者非前識處之有想非無所有處之無想即無色界第四天也謂此天厭無所有處如癡故捨之而入非非想處定住於此定不見有無相貌泯然寂絕清淨無為也。
九想(出禪波羅蜜門)
謂佛為眾生貪着世間五欲以為美好躭戀沉迷輪廻生死無有出期是故令修此九種不淨觀法想念純熟心不分散若得三昧成就自然貪欲除滅惑業消盡得證道果此之九種雖是假想作觀然用之能成大事譬如大海中死屍溺人附之即得度也(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也梵語三昧華言正定)。
【一胖脹想】(胖普降切脹知亮切)謂修行之人心想死屍見其胖脹如韋囊盛風異於本相是為胖脹想(韋囊者皮囊也囊本空虛盛風則滿以譬死屍胖脹之狀也)。
【二青瘀想】(瘀依據切)謂修行之人觀胖脹已復觀死屍風吹日曝皮肉黃赤瘀黑青黯(依檻切)是為青瘀想。

【三壞想】謂修行之人觀青瘀已復觀死屍風日所變皮肉裂壞六分破碎五臟腐敗臭穢流溢是為壞想(六分者頭身手足也五臟者脾肺肝心腎也)。
【四血塗漫想】謂修行之人既觀壞已復觀死屍從頭至足遍身膿血流溢污穢塗漫是為血塗漫想。
【五膿爛想】謂修行之人觀塗漫已復觀死屍身上九孔虫膿流出皮肉壞爛狼籍在地臭氣轉增是為膿爛想(九孔者兩眼兩耳兩鼻孔口大便小便也)。
【六虫噉想】謂修行之人觀膿爛已復觀死屍虫蛆(子余切)啀(色甲切)食鳥獸咀(在呂切)嚼(疾雀切)殘缺剝落是為虫噉想。
【七散想】謂修行之人觀虫噉已復觀死屍為禽獸所食分裂破散筋斷骨離頭足交橫是為散想。
【八骨想】謂修行之人既觀散已復觀死屍形骸暴露皮肉已盡但見白骨狼籍如貝如珂是為骨想(貝海中甲虫也珂螺之類也)。
【九燒想】謂修行之人既觀骨已復觀死屍為火所燒爆裂煙臭白骨俱然薪盡火滅同於灰土是為燒想。
九種食(出增壹阿含經)
食有長養資益之義言九種者世間之食有四以其能資養生死色身也出世間之食有五以其能資益法身慧命也經云佛告諸比丘當共專念捨除世間四種之食求辦出世間之食蓋令眾生但以世間之食資養色身不當貪着須求出世間之法食增長菩提慧命也(梵語比丘華言乞士梵語菩提華言道慧命者以智慧為命也)。
【一段食】段即形段食有資益之義謂以香味觸三塵為體入腹變壞資益諸根故名段食佛地論云任持名食謂能任持色身令不斷壞故也古譯經律皆云摶食。
【二觸食】觸即觸對謂六識所對色等諸塵柔軟細滑冷煖等觸而生喜樂俱能資益諸根故名觸食又第六識觸對可愛之境而生喜樂長養諸根亦名觸食(六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也按翻譯名義註釋云見色愛着名食豈非觸食義耶設觸非食何以觀戲劇等終日不食而不飢也)。
【三思食】思即意思謂第六識思於可愛之境生希望意而能潤益諸根如人飢渴至飲食處望得飲食而身不死故名思食(諸根者即眼耳鼻舌身也)。
【四識食】識以執持為相即第八識也由前三食勢分所資能令此識增勝執持諸根故名識食(已上四種名世間食第八識即藏識也按翻譯名義注釋云識食地獄眾生及無色界中無邊識處天等皆用識持以為其食)。
【五禪悅食】謂修行之人以禪法資其心神而得禪定之樂即能增長善根資益慧命猶世間之食能養諸根支持其命故名禪悅食。
【六法喜食】謂修行之人聞法歡喜即得增長善根資益慧命猶世間之食能養諸根支持其命故名法喜食。

【七願食】願即誓願謂修行之人發弘誓願度脫眾生欲斷煩惱而證菩提以願持身常修萬行即得增長善根資益慧命猶世間之食能養諸根支持其命故名願食。
【八念食】念即護念亦憶念也謂修行之人常當憶持所得出世善法存心定意護念不忘即得增長善根資益慧命猶世間之食能養諸根支持其命故名念食。
【九解脫食】解脫即自在之義謂修行之人因修出世聖道斷除煩惱惑業之縛不受生死逼迫之苦即得增長善根資益慧命猶世間之食能養諸根支持其命故名解脫食(已上五種即出世間食也)。
九淨肉(出涅槃經)
九淨肉者律中但開不見不聞不疑三種楞嚴要解加自死鳥殘為五種而此經復加不為已等是為九淨肉也然如來護生戒殺而聽比丘食此淨肉者蓋因地多砂石草菜不生之處聽以活命此亦權巧方便耳若大慈利物皆所應斷故此經復制諸比丘悉不得食也。
【一不見殺】謂眼自不曾見其殺也。
【二不聞殺】謂耳自不曾聞其殺亦不從無信人前聞其語為我故殺也。
【三不疑為已殺】僧祇律云比丘於檀越家見羊後再徃彼見其頭腳在地即生疑而問言前所見羊為在何處若言為阿闍黎殺則不應食若言我為祠天故殺是名不疑為已殺也(梵語比丘華言乞士梵語檀華言施言檀越者華梵兼舉謂行施者能超越貧窮之海也梵語阿闍黎華言軌範)。
【四不為己殺】謂因於他事或為他人而殺不專為我而殺也。
【五自死】謂非因人故殺亦非為他物之所傷害乃其命盡報終而死也。
【六鳥殘】謂於山林間而為鷹鸇等之所傷害者也。
【七生乾】謂不由湯火而熟亦非鷹鸇之所傷殘乃因死已日久自乾也。
【八不期遇】謂不因期約偶然相遇而食也。
【九前已殺】謂非今時因我而殺乃是前時先已殺者也。
如來十身(出華嚴教門指掌)
【一菩提身】梵語菩提華言道謂如來於菩提樹下降伏外魔朗然大悟成等正覺是名菩提身。
【二願身】謂如來本願徧周法界誓度一切眾生故從兜率降生人間說法利生酬宿因願是名願身(梵語兜率華言知足)。
【三化身】謂如來隨類化現普應群機若月臨眾水是名化身。
【四力持身】謂如來神力任持全身碎身永久不壞作眾生福田是名力持身(全身即如來真身也碎身即如來化身滅後舍利也)。

【五相好莊嚴身】謂如來證得微塵數相好莊嚴實報之身是名相好莊嚴身。
【六威勢身】謂如來處於眾會道場威德廣大一切天魔外道無不歸伏如月光明掩暎眾星是名威勢身。
【七意生身】謂如來隨自他意處處受生度諸有情意有所往身即隨到是名意生身。
【八福德身】謂如來福德具足猶如大海無不涵容是名福德身。
【九法身】謂如來法性真常湛然清淨周徧法界經云佛以法為身清淨如虛空是名法身。
【十智身】謂如來妙智圓明決了諸法通達無礙是名智身。
十號(出佛說十號經)
此十號義若總略釋之則無虛妄名如來良福田名應供知法界名正徧知具三明名明行足不還來名善逝知眾生國土名世間解無與等名無上士調他心名調御丈夫為眾生眼名天人師知三聚名佛具茲十德名世間尊祖師所述經教皆依此義而釋今此經中合世間解無上士以為一號雖開合不同其義則一故兩存之(三明者天眼明宿命明漏盡明也三聚者正定聚邪定聚不定聚也)。
【一如來】如來之義有三謂法身報身應身也金剛經云無所從來亦無所去此法身如來也轉法輪論云第一義諦名如正覺名來此報身如來也成實論云乘如實道來成正覺此應身如來也。
【二應供】謂萬行圓成福慧具足應受天上人間供養饒益有情故號應供。
【三正徧知】(亦名正等覺)謂具一切智於一切法無不了知故號正徧知以一切法平等開覺一切眾生成無上覺故號正等覺。
【四明行足】明即三明也行足者謂身口意業正真清淨於自願力一切之行善修滿足故號明行足。
【五善逝】善逝者即妙往之義也謂以無量智慧能斷諸惑妙出世間能趣佛果故號善逝。
【六世間解無上士】世間解者謂世間出世間因果諸法無不解了也無上士者謂業惑淨盡更無所斷於三界天人凡聖之中第一最上無等故號世間解無上士。
【七調御丈夫】謂具大丈夫力用而說種種諸法調伏制御一切眾生令離垢染得大涅槃故號調御丈夫(梵語涅槃華言滅度)。
【八天人師】謂非獨與四眾為師所有天上人間魔王外道釋梵天龍悉皆歸命依教奉行俱作弟子故號天人師(四眾者比丘比丘尼優婆塞優婆夷也)。
【九佛】佛梵語具云佛陁華言覺謂智慧具足三覺圓滿故號為佛(三覺者自覺覺他覺行圓滿也)。

【十世尊】謂以智慧等法破彼貪瞋癡等不善之法滅生死苦得無上覺天人凡聖世間出世間咸皆尊重故號世尊。

如來十力(出圓覺略鈔并大智度論)

如來證得實相之智了達一切無能壞無能勝故名力也。

【一知是處非處智力】謂如來於一切因緣果報審實能知如作善業即知定得樂報名知是處若作惡業得受樂報無有是處名知非處如是種種皆悉徧知故名知是處非處智力。

【二知過現未來業報智力】謂如來於一切眾生過去未來現在三世業緣果報生處皆悉徧知故名知過現未來業報智力。

【三知諸禪解脫三昧智力】梵語三昧華言正定謂如來於諸禪定自在無礙其淺深次第如實徧知故名諸禪解脫三昧智力。

【四知諸根勝劣智力】謂如來於諸眾生根性勝劣得果大小皆實徧知故名知諸根勝劣智力。

【五知種種解智力】謂如來於諸眾生種種欲樂善惡不同如實徧知故名知種種解智力。

【六知種種界智力】謂如來於世間眾生種種界分不同如實徧知故名知種種界智力。

【七知一切至處道智力】謂如來於六道有漏行所至處涅槃無漏行所至處如實徧知故名知一切至處道智力(六道者天道人道修羅道餓鬼道畜生道地獄道也有漏行者謂六道眾生由身口意所作業行而漏落生死也梵語涅槃華言滅度無漏行者謂一乘修戒定慧道品之行而不漏落生死也)。

【八知天眼無礙智力】謂如來證知天眼清淨見諸眾生死時生時端正醜陋善惡業緣皆悉無礙故名知天眼無礙智力。

【九知宿命無漏智力】謂如來於種種宿命一世乃至百千萬世一劫乃至百千萬劫死此生彼死彼生此姓名飲食苦樂壽命如實徧知故名知宿命無漏智力(劫梵語具云劫波華言分別時節)。

【十知永斷習氣智力】謂如來於一切惑餘習氣分永斷不生如實徧知故名知永斷習氣智力。

佛十無礙(出華嚴經隨疏演義鈔)

謂盧舍那佛說華嚴經現法界無盡身雲真應相融一多無礙雖常在此處而不離他處雖遠在他方而恒住此方身雖不異而亦非一同時異處而是一身蓋佛之體用與法界同故混萬化而即真會精麤而一致圓融無礙隨機教異耳(梵語盧舍那華言淨滿亦云光明遍照真應者即真身應身也)。

【一用周無礙】謂佛於剎塵等處現法界身雲起無邊業用故經云一一微塵中能證一切法如是無所礙周行十方國又云佛演一妙音周聞十方國眾音悉具足法雨皆充滿如是等用無量無邊法界微塵無不周徧是為用周無礙。

【二相徧無礙】謂佛於十方一切世界無量佛剎種種神變皆有如來示現受生之相隨現一相眾相皆具萬德斯圓是為相徧無礙。
【三寂用無礙】謂佛常住三昧為寂無妨利物為用即定即用無礙自在經云如來境界不可量寂而能演遍十方是為寂用無礙(梵語三昧華言正定)。
【四依起無礙】謂佛雖寂用無心而能依海印三昧之力即起無礙之用經云眾生形相各不同行業音聲亦無量如是一切皆能現海印三昧威神力是為依起無礙(海印三昧謂香海澄渟湛然不動一切形像皆於中現如印印文以喻如來智海無心一切眾生皆在其中頓現也)。
【五真應無礙】真即遮那真身也應即釋迦應身也真身是體應身是用全體起用用即是體故釋迦遮那圓融自在本無二體經云如來真身本無二應物分形滿世間是為真應無礙(遮那梵語具云毘盧遮那華言徧一切處梵語釋迦華言能仁)。
【六分圓無礙】分即支分圓即全身謂支分不礙全身全身不礙支分故遮那一一身分手足眼耳乃至一毛皆有舍那全身經云佛身一切相悉現無量佛是為分圓無礙。
【七因果無礙】謂佛往昔本生行菩薩行修習波羅蜜因而證遮那佛果故所受報身及所成事業亦現十方一切菩薩身雲自在無礙經云佛以本願現神通一切十方無不照如佛往昔修治行光明網中皆演說是為因果無礙(梵語波羅蜜華言到彼岸)。
【八依正無礙】依謂依報即佛所依之國土正謂正報即佛能依之色身依正相入二皆無礙經云或作日月遊虛空或作河池泉井水是為依正無礙。
【九潛入無礙】謂佛智潛入眾生心內即名如來藏雖作眾生不失自性如大海水因風成波而不失濕性佛亦如是隨眾生所感萬類殊形而不失自性經云汝應觀佛一毛孔一切眾生悉在中是為潛入無礙。
【十圓通無礙】謂佛融大法界而為其身理無不具事無不攝故一多依正人法因果此彼無礙經云一身為無量無量復為一了知諸世間現形遍一切是為圓通無礙。
佛十種化不失時(出華嚴經)
【一成等正覺化不失時】謂如來出現世間成佛道已隨機應感適彼時緣而起化導是為成等正覺化不失時。
【二成熟有緣化不失時】謂如來了知眾生善根成熟隨時化度咸令解脫是為成熟有緣化不失時。
【三授菩薩記化不失時】謂如來能知菩薩久修梵行功業成就者即與授菩提之記是為授菩薩記化不失時(梵語菩提華言道)。
【四示現神力化不失時】謂如來隨其眾生所宜示現威神之力令生信樂而得開解是為示現神力化不失時。

【五示現佛身化不失時】謂如來隨順眾生所宜而現相好之身令其咸獲利益是為示現佛身化不失時。
【六住於大捨化不失時】謂如來修無着行具大捨心隨順時緣化利一切眾生而不見有能化所化之相是為住於大捨化不失時。
【七入諸聚落化不失時】謂如來以大悲心隨順時緣攝化一切眾生遍入城邑聚落普作饒益是入諸聚落化不失時。
【八攝諸淨信化不失時】謂如來具無礙智能知眾生清淨信心隨順時緣而攝化之是為攝諸淨信化不失時。
【九調惡眾生化不失時】謂如來以夫威神之力調伏暴惡眾生令其捨惡遷善不失時宜是為調惡眾生化不失時。
【十現佛神通化不失時】謂如來以不思議力示現神通於一念中饒益一切眾生不失時宜是為現佛神通化不失時。
說徧十處(出華嚴經隨疏演義鈔)
謂毘盧遮那如來現法界無盡身雲徧周微塵剎海常說華嚴大經令諸眾生咸歸性海也(梵語毘盧遮那華言遍一切處)。
【一說遍閻浮提】梵語閻浮提華言勝金洲謂如來於閻浮提七處九會為諸大眾演說此法而遍滿十方法界閻浮提亦同一時而說故云說徧閻浮提(七處者一菩提塲二普光明殿三忉利天四夜摩天五兜率天六他化天七逝多林也九會者一會菩提塲二會普光明殿三會忉利天四會夜摩天五會兜率天六會他化天七會八會皆在普光明殿九會逝多林也)。
【二說遍百億同類一界】同類一界者以百億世界與一世界同類也謂如來於一百億世界說法時而一一世界之中各有百億閻浮提乃至百億色究竟天於此之時悉見如來坐蓮花藏獅子之座為十佛剎微塵數諸菩薩眾之所圍繞而演說法故云說遍百億同類一界(色究竟天即色界第十八天也十佛剎即十方佛土也)。
【三說遍異類樹形等剎】謂樹形世界江河形世界迴轉形世界等一切異類形相不同而如來遍於其中轉斯法輪故云說遍異類樹形等剎。
【四說遍剎種】剎梵語具云剎摩華言土田謂最中無邊妙華光香水海中有世界名普照十方熾然寶光明而為世界之種攝二十重佛剎微塵數世界乃至不可說佛剎微塵數世界而如來遍於其中常演說法故云說遍剎種(世界種者種猶本也謂含攝無盡剎海也二十重佛剎者一最勝光徧照二種種香蓮華妙莊嚴三一切寶莊嚴普照光四種種光明華莊嚴五普放妙華光六淨妙光明七眾華焰莊嚴八出生威力地九出妙音聲十金剛幢十一恒出現帝青寶光明十二光明照耀十三娑婆十四寂靜離塵光華十五眾妙光明燈十六清淨光遍照十七寶莊嚴藏十八離塵十九清淨光普照二十妙寶焰也)。
【五說遍華藏】華藏者謂香水海蓮華上含藏諸世界也謂一華藏世界有十不可說佛剎微塵數世界種每一種中含攝二十重佛剎微塵數世界

乃至各有不可說佛剎微塵數世界布列安住此諸世界如來往昔因中修行嚴淨故於其中恒說斯經故云說徧華藏。
【六說遍餘剎海】謂華藏世界之外十方各有無盡法界剎海而一一剎海如來徧於其中常說斯經故云說徧餘剎海。
【七說遍前六類剎塵】謂上六種各是一類彼諸剎土皆以塵成一一塵中皆有佛剎是故如來遍彼塵內剎中常演斯法經云華藏世界所有塵一一塵中見法界故云說遍前六類剎塵。
【八說遍盡虛空界】謂於此不論成剎之塵唯取盡虛空界但可容一毛端之處各有無邊剎海如來於中常轉法輪經云一毛端處所有剎其數無量不可說盡虛空量諸毛端一一處剎悉如是故云說遍盡虛空界。
【九說遍猶帝網】謂如來演說此法遍諸剎塵猶如帝網無盡也蓋前諸類一一微塵各攝無邊剎海此之剎海所有微塵彼諸塵內復有剎海是則塵塵不盡剎剎無窮猶如帝釋殿上珠網交光重重無盡而如來遍於其中常演說法亦復如是故云說遍猶帝網(梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵雙舉也)。
【十餘佛同】謂如來遍前九類微塵剎海常演斯法調伏眾生令歸性海一佛既爾餘十方佛亦復如是徧諸剎海恒演斯法故云餘佛同。
如來十恩(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一發心普被恩】謂如來最初發菩提心修習勝行成就功德皆為普被法界群生咸令利益安樂是為發心普被恩(梵語菩提華言道)。
【二難行苦行恩】謂如來往昔因中捨頭目髓腦國城妻子剜身千燈投形飼虎雪嶺亡軀如是難行苦事積劫行之皆為利樂眾生是為難行苦行恩(剜身千燈者菩薩本行經云佛昔以刀剜身肉千處注以酥油然作千燈求聞一偈時婆羅門為說偈曰常者皆盡高者皆墮合會有離生者有死是也投形飼虎者謂佛昔為薩埵太子遊山見虎飢餓投身虎前以濟之也雪嶺亡軀者謂佛昔為婆羅門於雪山修行有羅剎唱云諸行無常是生滅法聞已欲求全偈羅剎飢渴必得肉血食之乃肯為說因得後半偈云生滅滅已寂滅為樂遂遍書樹石乃以身施之也劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【三一向為他恩】謂如來積劫修諸功德不顧自身但為度脫一切眾生未曾一念自為於己是為一向為他恩。
【四垂形六道恩】謂如來垂化身形於天人修羅地獄畜生餓鬼六道之中救齊眾苦令得安樂是為垂形六道恩。
【五隨逐眾生恩】謂如來見諸眾生無有出離生死之心長劫不捨故運平等大慈隨逐救濟令其離苦得樂是為隨逐眾生恩。
【六大悲深重恩】謂如來見眾生造惡如割支體心生痛切不能自安復覩眾生墮三惡道受種種苦心大憂惱即起大悲而救護之若見作善生大歡喜是為大悲深重恩(三惡道者餓鬼道畜生道地獄道也)。
【七隱勝彰劣恩】謂如來為大乘小乘之機而起勝應劣應之用如說華嚴則為普賢等諸大菩薩示現實報勝應之身有十蓮華藏世界海微塵數

微妙相好無盡勝德若說三乘之教則隱勝妙之相但彰三十二相劣應之身二乘及小教菩薩方蒙利益也法華經云脫珍御服着弊垢衣執除糞器往到子所是為隱勝彰劣恩(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也三十二相者足下安平相千輻輪相手指纖長相手足柔軟相手足縵網相足跟滿足相足趺高好相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如師子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相四牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色如金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也小教菩薩者即小始終頓圓五教中小教之菩薩也)。

【八隱實施權恩】謂如來觀諸眾生根器狹劣隱蔽大乘實教乃以人天三乘權法誘引眾生而令成熟然後以大乘而度脫之是為隱實施權恩。

【九示滅令慕恩】謂如來若久住於世薄德之人不種善根不生難遭之想是故示現滅度令諸眾生知佛出世難可值遇心懷戀慕便種善根是為示滅令慕恩(滅度者謂大患永滅超度三界也)。

【十悲念無盡恩】謂如來悲念一切眾生故留餘福教以救濟之如示同人壽住世百年而八十即入滅者則留二十年餘福以蔭末法弟子復留三藏教法廣令眾生依之修行皆成勝果悲愍愛念利益無窮是為悲念無盡恩(三藏者經藏律藏論藏也)。

佛十宿緣(出佛說興起行經)

謂佛在摩竭提國竹園中阿耨大泉與大比丘眾俱時舍利弗問佛孫陀利等十事宿緣佛答皆從往劫造眾惡因無數千歲受無量苦報餘殘未盡於成道後復償宿對復告舍利弗汝觀如來眾惡皆盡萬善普備猶不免此宿緣者蓋欲示人凡造惡業果報難逃故說是宿緣也(梵語摩竭提華言善勝阿耨梵語具云阿耨達華言無熱惱池名也梵語舍利弗華言身子劫梵語具云劫波華言分別時節)。

【一孫陀利謗佛緣】佛言往昔波羅柰城有博戲人名淨眼時有[婬-壬+(工/山)]女名鹿相淨眼誘此女人共車出城至樹園中共相娛樂時彼園中有辟支佛修行道法待其入城乞食淨眼遂殺鹿相埋其廬中後累辟支佛將至死地淨眼見已即起悲心我所造作自當受之故自說罪因彼國王殺時彼淨眼者則我身是彼鹿相者孫陀利是以是罪緣無數千歲受無量苦今雖得佛由此餘殃故獲孫陀利女之謗也(梵語波羅柰華言鹿苑辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺)。

【二奢彌跋謗佛緣】佛言過去遠劫有婆羅門名延如達常教五百童子復有一梵天婆羅門婦名淨音為延如達作檀越飲食衣服皆悉供養後有辟支佛入城乞食淨音見已即請供養自是以後日具美食而供養之延如達自覺薄己厚彼便興嫉妬復令童子謗此道士無有淨行與淨音通後辟支佛現神變入滅眾人乃知延如達虛妄時延如達者則我身是淨音者奢彌跋是五百童子者五百羅漢是我時起嫉妬心受諸苦報今雖得佛由此

餘殃故受奢彌跋之謗也(梵語婆羅門華言淨行梵語檀華言施言檀越者華梵兼稱謂行施者能超越貧窮之海也)。

【三佛患頭痛緣】佛言過去遠世羅閱祇城穀貴人飢掘百草根以續微命時彼城東有吱(九支切)越村人民眾多村東有多魚池故彼村人各將妻子詣止池邊捕魚食之時捕魚人取魚在岸而跳我為小兒以杖打彼魚頭時池中有兩種魚一名舋(音夫)魚一名多舌自相語曰我等不犯人橫見若我等後世當報時吱越村人則今釋種是小兒者則我身是舋魚者流離王是多舌魚者婆羅門惡舌是爾時魚跳我以小杖打彼魚頭以是因緣受諸苦報今雖得佛由此殘緣流離王伐釋種時我即頭痛也(羅越祇梵語具云羅閱祇伽羅華言王舍城)。

【四佛患骨節煩疼緣】佛言往昔羅閱祇城有長者子得病甚困即呼城中大醫子曰為我治愈大與卿財醫即治之病既差已不報其功於後復病又治之差至三不報後復得病續呼治之醫子曰前已三治三差而不見報見欺如此今我治彼當令斷命即與非藥病遂增劇而死時醫子者則我身是病子者今提婆達兜是我時與非藥致死以是因緣受諸苦報今雖得佛由此殘緣故有骨節煩疼也(梵語提婆達兜即調達華言天熱)。

【五佛患背痛緣】佛言徃昔羅閱祇國節日聚會有兩力士一剎帝利種一婆羅門種時共相撲婆羅門語剎帝利曰卿莫撲我當與卿財剎帝利便不盡力二人得稱皆受王賞後婆羅門不報所許到後節會復聚相撲亦求如前得賞如上復不相報如是至三剎帝利力士念曰此人數欺我今當使其死便右手捺頭左手捉腰蹙之挫折其脊撲地即死王大歡喜賜金錢十萬時剎帝利者則我身是婆羅門者提婆達兜是我時貪財瞋恚撲殺力士以是罪緣受諸苦報今雖得佛由此殘緣故有背痛也(梵語剎帝利華言田主)。

【六佛被木槍刺脚緣】佛於羅閱祇竹園精舍入城乞食忽有木槍迸在佛前心自念言此是宿緣我當受之眾見驚愕佛復心念現償宿緣使眾人見不敢造惡便踊身虛空去地一仞木槍逐佛乃至七由延槍亦隨之佛於空中化一青石厚[澗-日+活]十二由延佛立石上槍即穿石出在佛前復化水火風各厚[澗-日+活]十二由延佛立其上槍亦穿過佛復上四天王宮次第乃至梵天槍亦次第而上至於佛前所過諸天與說宿緣佛復從梵天下至羅閱祇城槍亦尋下國人隨從看此因緣佛恐眾人見償此緣皆當悶死故語眾人各自還歸亦勑諸比丘眾各還己房佛便心念當償宿緣遂疊大衣敷座而坐即展右足木槍便從足趺徹過舍利弗等皆至佛所禮拜慰問為說宿緣徃昔有兩部主賈客入海取寶後遇水漲爭船第二部主與第一部主格戰第二部主以鑱(七亂切)矛鑱第一部主脚徹過即便命終佛告舍利弗爾時第二部主者則我身是第一部主者今提婆達兜是我時鑱彼脚以是因緣受諸苦報今雖得佛由此殘緣故受木槍刺脚也(梵語由延

亦名由旬華言限量四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也梵天即色界初禪天也梵語舍利弗華言身子)。

【七佛被擲石出血緣】佛言徃昔羅閱祇城有須檀長者子名須摩提父命終後有異母弟名修耶舍時須摩提設計不與修耶舍分其家財乃語修耶舍曰共詣耆闍崛山上有所論說弟曰可爾即執弟手上山至高崖上推置崖底以石堆(都回切落也)之即便命終時須摩提則我身是修耶舍者今提婆達兜是我時貪財害彼以是因緣受諸苦報今雖得佛不免殘對故我於耆闍崛山經行為提婆達兜舉崖石以擲我頭山神以手接石石邊小片迸隋擊我脚指血出受此報也(梵語耆闍崛華言鷲頭)。

【八佛被旃沙繫盂謗緣】佛言徃昔有佛名盡勝如來會中有兩種比丘一名無勝一名常歡時波羅柰城有大愛長者婦名善幻兩種比丘徃來其家以為檀越無勝比丘為斷漏故供養無乏常歡比丘結未盡故供養微薄常歡比丘興妬嫉心誹謗無勝與善幻通不以道法供養乃恩愛耳時常歡者則我身是善幻婦者今旃沙是我時謗無勝故受諸苦報今雖得佛由此餘殃故為外道比丘王臣說法之時却被多舌童女繫盂起腹來至我前謗曰沙門何以不說家事乃說他事汝今自樂不知我苦汝先共我通使我有身今當臨月事須酥油養於小兒盡當給我爾時眾會皆低頭默然時釋提桓因化作一鼠入其衣裏嚙盂繫斷忽然落地眾等見已皆大歡喜(梵語比丘華言乞士斷漏者斷除生死之漏也結未盡者謂結業未盡也梵語旃沙華言嚴幟即多舌童女也)。

【九佛食馬麥緣】佛言過去世時有比婆葉如來在槃頭摩跋城中與大比丘眾俱有槃頭王與諸臣民請佛供養及比丘僧爾時城中有婆羅門教五百童子王設會先請佛默然許之王還具饌已畢即執香爐啟曰惟願屈尊來受我供佛勑大眾徃詣王宮食畢各還時為病比丘請食而歸過婆羅門所時婆羅門見食香美便起妬意此髡頭沙門正應食馬麥不應食甘饌亦教童子言此等師主皆食馬麥時婆羅門者則我身是五百童子者五百羅漢是我時言他食馬麥故受諸苦報今雖得佛由此殘緣我及眾等於毘蘭邑食馬麥九十日以償殘報也。

【十佛經苦行緣】佛言徃昔波羅柰城邊有婆羅門子名火鬘復有瓦師子名護喜二子少小心相敬念護喜語火鬘曰共見迦葉如來火鬘答曰何用見此髡道人如是至三後日護喜復曰可共暫見答曰何用見此髡頭道人髡頭道人何有佛道於是護喜捉火鬘頭曰為汝共見如來火鬘驚怖心念此非小緣必有好事耳火鬘即曰今放我頭我共汝去禮迦葉足護喜白佛火鬘不識三寶願佛開化火鬘覩佛相好心生歡喜出家學道時火鬘者則我身是護喜者我為太子時踰城出家作瓶天子道我者是我時以惡言道迦葉佛故受諸苦報由此餘殃今臨成佛時復受六年苦行以償餘業也(三寶者佛寶法寶僧寶也作瓶天子即色界淨居天也)。

十種見佛(出華嚴經疏)

謂菩薩修殊勝行離諸障礙稱佛所行得見十佛了了分明如是見者乃名真見故云十種見佛也。

【一安住世間成正覺佛無着見】謂如來乘如實道示成正覺安住世間而不着涅槃不着生死菩薩稱佛無着而見是名安住世間成正覺佛無着見(梵語涅槃華言滅度)。

【二願佛出生見】謂如來乘願出生無處不現菩薩稱佛出生而見是名願佛出生見。

【三業報佛深信見】謂如來修萬行善業之因感相好莊嚴之報蓋此淨業果報皆由因中深信而起菩薩稱佛深信而見是名業報佛深信見。

【四住持佛隨順見】謂如來隨順眾生以身舍利住持世間永久不壞菩薩稱佛隨順而見是名住持佛隨順見(梵語舍利華言骨身)。

【五涅槃佛深入見】梵語涅槃華言滅度謂如來化身示現滅度皆由深入涅槃生死境界故能示現菩薩稱佛深入而見是名涅槃佛深入見(滅度者謂大滅超度三界)。

【六法界佛普至見】謂如來之身充滿清淨法界無所不至菩薩稱佛普至而見是名法界佛普至見。

【七心佛安住見】謂如來之心湛然不動安住真性菩薩稱佛安住而見是名心佛安住見。

【八三昧佛無量無依見】(梵語三昧華言正定)謂如來清淨無量三昧寂然常照無念無依恒現在前菩薩稱佛無量無依而見是名三昧佛無量無依見。

【九本性佛明了見】謂如來本覺真性清淨湛然洞徹明了菩薩稱佛明了而見是名本性佛明了見。

【十隨樂佛普授見】謂如來隨自他意之樂欲普授一切之身菩薩稱佛普授而見是名隨樂佛普授見。

融三世間十身(出華嚴經疏)

融者通也會也三世間者一有情世間二器世間三智正覺世間也謂菩薩知諸眾生心隨其所樂融會三種世間以為十身後以十身及自身遞互相作融通無礙是名融三世間十身也(隔別名世間差名間有情世間即眾生世間器世間即國土世間謂世界如器故也智正覺世間即佛世間以其一一隔別間差故通稱為湛然也遞互相作者謂菩薩如以眾生身作自身亦作國土身乃至虛空身之類此之十身與菩薩自身一一遞互相作融通無礙也)。

【一眾生身】眾生身者謂五蘊眾共和合而生其身即有情世間諸眾生身也菩薩知諸眾生心之所樂即以眾生身作自身亦作國土身乃至虛空身也(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。

【二國土身】國土身者謂山河大地諸器世間剎土身也菩薩知諸眾生心之所樂即以國土身作自身亦作眾生身乃至虛空身也。

【三業報身】業報身者謂煩惱為因所感業報身也菩薩知諸眾生心之所樂即以業報身作自身亦作眾生身乃至虛空身也。
【四聲聞身】聲聞身者謂聞佛聲教悟真諦理所證聲聞身也菩薩知諸眾生心之所樂即以聲聞身作自身亦作眾生身乃至虛空身也。
【五獨覺身】獨覺身者謂出無佛之世獨宿孤峰觀物變化無師自悟所證獨覺身也菩薩知諸眾生心之所樂即以獨覺身作自身亦作眾生身乃至虛空身也。
【六菩薩身】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂菩薩於有情眾生之中既自覺悟亦能覺他有情所證菩薩身也菩薩隨彼心之所樂即以自身現眾生身乃至虛空身也。
【七如來身】如來身者謂乘如實道來成正覺為如來身也菩薩隨諸眾生心之所樂即以如來身作自身亦作眾生身乃至虛空身也。
【八智身】智身者謂智慧圓明一切諸法皆能決了為智慧身也菩薩隨諸眾生心之所樂即以智身作自身亦作眾生身乃至虛空身也。
【九法身】法身者謂所證無漏法界之體而為法身也菩薩知諸眾生心之所樂即以法界身作自身亦作眾生身乃至虛空身也(無漏者謂惑業淨盡不漏落三界生死也)。
【十虛空身】虛空身者謂非眾生國土諸有量身乃是無名無相之虛空身也菩薩隨彼心之所樂即以虛空身作自身亦作眾生身乃至法身也。
大明三藏法數卷第二十七

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

十種佛(出華嚴經)
佛梵語具云佛陁華言覺謂自覺覺他覺行圓滿也。
【一成正覺佛】謂佛於菩提樹下降伏諸魔朗然大悟證無上果是名成正覺佛(梵語菩提華言道謂之菩提樹者以佛於此樹下成道而得名也)。
【二願佛】謂佛從兜率下生人間說法度生酬宿因願是名願佛(梵語兜率華言知足)。
【三業報佛】謂佛修萬行清淨業因感相好莊嚴果報是名業報佛。
【四住持佛】謂佛真身及於舍利住持世間永久不壞是名住持佛(梵語舍利華言骨身)。
【五涅槃佛】梵語涅槃華言滅度謂佛應身化事既終示現滅度是名涅槃佛(滅度者謂大患永滅超度三界也)。
【六法界佛】謂佛證一真法界無漏之體有大智慧放大光明徧照一切是名法界佛(無漏者謂惑業淨盡不漏落三界生死也)。
【七心佛】謂佛心體離念虛徹靈通本來真覺寂然獨照是名心佛。
【八三昧佛】梵語三昧華言正定謂佛常住大定如如不動了知一切是名三昧佛。
【九本性佛】謂佛具大智慧照了自性本來是佛具足恒沙性妙功德是名本性佛。
【十隨樂佛】謂佛隨機樂欲如意速疾即為現身說法令其行業成就是名隨樂佛。
華嚴十類經(出華嚴經疏)
謂毘盧遮那如來以本願力現法界無盡身雲遍一切處常轉無上法輪令諸眾生入華藏海無有窮盡故知此經難可限量然自狹至寬略明十類故現相品云毘盧遮那佛願力周法界一切國土中恒轉無上輪是也(梵語毘盧遮那華言遍一切處)。
【一略本經】謂此經一部三十九品八十卷文現傳世間乃是下本十萬偈中之四萬五千偈未得具足故名略本經。
【二下本經】謂此經盖文殊與阿難結集已龍神[(冰-水+丨)*攵]入龍宮後因龍樹菩薩入龍宮見此大不思議經具有上中下三本下本十萬偈四十八品龍樹遂記出流傳于世故名下本經(文殊梵語具云文殊師利華言妙德梵語阿難華言慶喜龍樹者本傳云其母樹下生之又因龍接入宮以成其道遂以為號大智度論云大不思議經即華嚴經也)。
【三中本經】謂此經龍樹於龍宮所見有四十九萬八千八百偈一千二百品故名中本經。

【四上本經】謂此經龍樹於龍宮所見有十箇三千大千世界微塵數偈一四天下微塵數品故名上本經(四天下者即東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼北欝單越之四洲也)。
【五普眼經】謂此經中普眼法門於一法之中能見無量之法即海雲比丘所持以大海為墨須彌聚筆書此法門一品中一門一門中一法一法中一義一義中一句不得少分何況能盡故名普眼經(海雲比丘者即善財童子第三所叅之善知識以此普眼法門開導善財者也)。
【六同說經】謂佛約百億同類世界遍於虛空皆有主伴同說無盡法輪不思議品云如一佛身轉如是無盡法輪如是盡虛空界一一毛端分量之處一一化身皆如是說音聲文字句義一一充遍法界故名同說經。
【七異說經】謂佛約樹形等異類世界其中眾生報類亦別於彼現身說法化導羣生施設不同故名異說經(樹形者謂世界之形如樹也)。
【八主伴經】謂毘盧遮那與十方佛互為主伴重重無盡而說此經如此方遮那為主說此法時十方諸佛為伴彼方為主此方為伴如此方說十住時十方來證皆言我等國土皆說此法則知十方國土一切諸佛互為主伴皆說此經故名主伴經(十住即經中十住品也)。
【九眷屬經】謂佛隨順機宜之教是此經之眷屬盖下劣之機不能聞圓頓一乘大法故佛隨宜說三乘教作勝方便引入此門經云普眼修多羅以佛剎微塵數修多羅以為眷屬故名眷屬經(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也梵語修多羅華言契經)。
【十圓滿經】謂此經名圓滿因輪融上九經為一無盡修多羅海隨一會一品一文一句皆攝無盡法海圓滿具足經云顯現自在力為說圓滿經無量諸眾生悉授菩提記故名圓滿經(因輪即根本法輪也根本法輪若轉一切法輪皆轉也)。
十種教體(出華嚴經疏)
教者謂如來所說一大藏教也體即體性教之本也然如來所說之教詮顯權實義趣淺深不同故分十體[(冰-水+丨)*攵]攝一切教法罄無不盡也(權者三乘權教謂聲聞緣覺菩薩也實者一乘實教也)。
【一音聲語言體】謂言音語業為教體也故佛唱號言辭評量論說是為教體楞嚴經云此方真教體清淨在音聞是也。
【二名句文身體】名者依事立名句者眾語合成文者聯合眾義皆言身者身即聚集之義謂此三者長短高下次第行布而能詮顯教法之體也。
【三通取四法體】謂通取聲名句文四法而為能詮教體也淨名經云通用四法為佛教體是也。
【四通攝所詮體】謂經文通攝所詮義理為教體也盖文是所依義是能依文是能詮義是所詮此明文義相成也經云文隨於義義隨文是也。
【五諸法顯義體】謂世間一切諸法能顯義理皆為教體也淨名經云或有佛土以佛光明而作佛事香積世界餐香飯而三昧顯極樂佛國水鳥樹

林皆宣妙法華嚴性海雲臺寶網同演法音毛孔光明皆作佛事是也(香積佛國土名也香飯者即維摩詰遣化人詣彼國所取之香飯也梵語三昧華言正定)。
【六攝境唯心體】謂以前五種一切諸法唯心所現故攝為教體也起信論云所言法者謂眾生心是心則攝一切世間出世間法是也。
【七會緣入實體】謂會前六門緣起差別教法同入真如一實之體也蓋諸聖教皆從真如流出故因緣事相本空全是真如體性也。
【八理事無礙體】謂真如是理教法是事此二無礙為教體也蓋一切教法雖全體即真如而不礙事相宛然雖真如全體為一切教法而不礙理性明現二互交徹無礙融通也。
【九事事無礙體】謂一切法文義圓融以無障礙法界為教體也蓋所起教稱性融通事事無礙遂令一言一音一文一義一因一果一毛一塵含攝法界圓融無礙遞互交叅重重無盡經云佛以一妙音周聞十方國眾音悉具足法雨皆充遍是也。
【十海印炳現體】謂海印三昧為教體也然海印是喻三昧是定如來說華嚴經時入是三昧一切諸法炳然齊現大寂定中猶如香海澄渟湛然不動四天下中一切眾生色身形像皆於其中歷歷頓現如印印文其差別無盡教法及所化機雖大小不同亦同緣起炳現定中經云或現童男童女形天龍及以阿修羅乃至摩睺羅伽等隨其所樂悉令見眾生形相各不同行業音聲亦無量如是一切皆能現海印三昧威神力是也(四天下者即東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼北欝單越之四洲也梵語阿修羅華言無端正梵語摩睺羅伽華言大腹行地龍也)。
教起十因(出華嚴經疏)
謂如來出現說華嚴經必有因緣故出現品云非以一緣非以一事如來出現以無量因緣而得成就令斯教興故以因緣二字各開十義以顯無盡先彰十因後顯十緣故云教起因緣也。
【一法應爾】法應爾者理本當然也謂如來出現法應說此華嚴經故所以諸佛皆於無盡世界常轉無盡法輪令諸眾生返本還源佛佛道同法皆如此也。
【二酬宿因】酬宿因者謂如來說法為酬宿世願因也蓋如來於因中精修道行願度眾生今既成佛當酬宿願是以悲智雙運行願齊周說廣大法度諸眾生也。
【三順機感】謂如來說教必由機緣所感若無當機之眾雖說無益所以說者必隨順機宜也。
【四為教本】謂如來先說此一乘圓頓之法為諸教之本然後漸施末教調停小機根器既熟使其悟入如來智慧也(末教者即聲聞緣覺小教也)。
【五顯果德】謂如來顯揚妙果勝德令人信樂若不知佛果德安能渴仰懇求故佛舉揚華藏世界微妙十身依正果德蓋為此也(依正果德有二種一

依果即華藏世界也二正果即如來十身也十身者菩提身願身化身力持身相好莊嚴身威勢身意生身福德身法身智身也）。
【六彰地位】謂此經彰顯菩薩修行地位從因至果有階差也然有二種一行布位即排布行列次第升進也二圓融位即一位攝一切位也如初地等一地之中具攝一切諸地功德是也（初地者即十地中初歡喜地也）。
【七說勝行】謂如來宣說殊勝妙行令人信向也盖欲登妙位非行不階故說無量勝行使一切菩薩及諸眾生依教立行造修證入也。
【八示真法】謂如來出世宣示真實大法令人開解也盖欲修諸勝行决須解了法理不達法理行亦非真經云不了真實法諸佛故興世是也。
【九開因性】謂如來開示一切眾生本有性德也盖以如上真法勝行因果皆眾生性中本有但相變體殊情生智隔不能覺了故談斯經令其開悟也（相變體殊者謂生佛之相既變理性之體亦殊也）。
【十利今後】謂如來說法利益今世後世一切眾生也經云我等諸佛護持此法令未來世一切菩薩皆悉得聞獲大利益是也。
教起十緣（出華嚴經疏）
【一依時】時即說經時分也謂如來心冥至道則混一古今一念與多刼圓融本無時分可限今以無時之時略顯十時恒演此經經云諸佛得菩提實不計於日是也（刼梵語具云刼波華言分別時節十時者一念時盡七日時徧三際時攝同類刼時[(冰-水+丨)*攵]異類刼時以念攝刼時刼念重[(冰-水+丨)*攵]時異類界時彼此相入時以本[(冰-水+丨)*攵]末時也）。
【二依處】處即說經處所也謂諸佛菩薩於十方盡虛空徧法界微塵剎海乃至容一一毛端之處皆有七處九會頓演此經猶如帝網重重無盡故云依處也（七處者一菩提塲二普光明殿三忉利天四夜摩天五兜率天六他化天七逝多林九會者六處各說一會惟普光明殿三會說也）。
【三依主】主即說經教主也謂毘盧遮那佛現法界無盡身雲周徧十方微塵剎海常說華嚴經云如於此處見佛坐一切塵中亦復然故云依主也（梵語毘盧遮那華言遍一切處）。
【四依三昧】梵語三昧華言正定謂佛說經必先入三昧定靜鑒法理權實分明然後從定而起應機而說故云依三昧也（權實分明者謂說小乘法為權大乘法為實也）。
【五依現相】現相即說經之初現瑞相也謂或放光動地華雨香雲皆為說法之瑞故於諸會將欲說法必先放光警動物機故云依現相也。
【六依說人】說人即說法之人也謂法無廢興弘之由人經云佛法無人說雖慧莫能了故云依說人也。
【七依聽人】聽人即聽法之人也謂佛說法若無聽者終無有說故云依聽人也。
【八依德本】德本謂談經必以智慧行願為本也若內無德本外豈能談故佛告金剛幢菩薩言由汝智慧清淨故告普賢菩薩言亦以汝修諸菩薩

行願故令汝入於三昧而演說法故云依德本也。
【九依請人】請人即諮請法要之人也謂說法之人慈悲深厚雖無人請問而或自談若敬法重人要須誠請而後為說故云依請人也。
【十依能加】能加謂如來以神力加被菩薩而說經也然加有二種一者顯加即佛以三業神力顯然加被二者冥加即佛密與智慧令他說法故云依能加也(三業者身業口業意業也)。
教被十機(出華嚴經疏)
教者謂華嚴一乘圓頓之法也盖毘盧遮那如來演說此經化被羣機通有十類故云教被十機也(梵語毘盧遮那華言徧一切處)。
【一被無信機】謂邪見眾生無有善根不能信受或時聞已反生誹謗墮諸惡道雖墮惡道由聞名故熏成其種是名被無信機。
【二被違真機】謂人違圓教真法而依傍此經以求名利不淨說法集邪善因雖違真教佛作饒益曾無厭捨是名被違真機。
【三被乖實機】謂人執着文言即乖違實之理而圓妙義門不入其心雖乖實理由熏聞成種是名被乖實機。
【四被狹劣機】謂二乘之人根器狹小故雖在法會如聾如啞不聞此經根雖狹劣宿種蒙熏是名被狹劣機(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【五被守權機】權即權巧方便機即所化之機謂權教之人執守三乘之法次第證修不信圓融具德之教雖執權小之教然蒙佛饒益終能醒悟是名被守權機(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
【六被正為機】謂佛正為一乘圓機說此具德之教使其聞而信解修行悟入即運不思議之妙乘遊入蓮華藏海是名被正為機(遊入華藏海者以喻所證法界之理無不周遍而含攝也)。
【七被兼為機】謂人聞此經雖未悟入而能信受成堅固種經云如人食少金剛終竟不消此約未證悟者稱之為兼是名被兼為機。
【八被引為機】謂前權教菩薩不信圓融具德之法故於十地之中以六相圓融之義借其三乘行布之名寄位增勝誘引演說令彼信受即入圓融是名被引為機(十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也六相者總相別相同相異相成相壞相也)。
【九被權為機】謂二乘聾瞽不聞者乃是諸大菩薩權示聲聞之行在於法會假言不聞及至逝多林中却頓悟法界示小乘根亦可得入是名被權為機(梵語逝多華言勝林)。
【十被遠為機】謂久遠之機令其成熟也盖凡夫外道無性闡提及未來世一切眾生悉有佛性咸是所被今雖不信後必當入遠熏成種是名被遠為機(闡提梵語具云一闡提華言信不具)。
十宗收教(出華嚴經疏)
唐賢首法藏國師為宗計不同乃開十宗判五教收釋一代聖教理無不盡故前六宗收小乘教第七宗收始教第八宗收頓教第九宗收終教第十宗

[(冰-水+丨)*攵]圓教故云十宗[(冰-水+丨)*攵]教也。
【一我法俱有宗】謂此宗執着有我及計有無等法悉皆是有是為我法俱有宗。
【二法有我無宗】謂此宗計諸法是有不離色心而於我相了不可得是為法有我無宗。
【三法無去來宗】謂此宗計一切現在法是有計過去未來之法俱無是為法無去來宗。
【四現通假實宗】謂此宗計現在法通假通實也通實者計五蘊法以為實有通假者計十二處十八界以為虛假是為現通假實宗(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也十二處者眼處耳處鼻處舌處身處意處色處聲處香處味處觸處法處也十八界者眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也)。
【五俗妄真實宗】謂此宗計世俗之法皆是虛妄出世之法皆是真實是為俗妄真實宗。
【六諸法但名宗】謂此宗計一切諸法唯有假名無實體性是為諸法但名宗。
【七三性空有宗】謂此宗但說徧計一種性是空依他圓成二種性是有是為三性空有宗(徧計性者謂眾生迷惑不了諸法本空妄於我身及一切法周徧計度也依他性者謂所有諸法皆依眾緣相應而起都無自性也圓成性者謂真如之性不遷不變圓滿成就也)。
【八真空絕相宗】謂此宗說真空實相之中絕一切虛妄假名之相故般若心經云是故空中無色無受想行識等是為真空絕相宗。
【九空有無礙宗】謂此宗說空是即有之空故不礙有談有是即空之有故不礙空二互交徹圓融無礙是為空有無礙宗。
【十圓融具德宗】謂此宗說一切諸法稱性圓融具足眾德周徧含融事事無礙主伴無盡是為圓融具德宗(主即佛也伴即菩薩也)。
玄門無礙十因(出華嚴經疏)
玄門者即十玄門也以此十法性德為因起大業用令彼玄門諸法混融無礙重重無盡故云玄門無礙十因也(玄者妙也)。
【一唯心所現】謂世間出世間一切諸法唯是真心所現然法唯心現全法是心心既圓融法亦無礙經云知一切法即心自性是也。
【二法無定性】謂一切諸法既唯心現從緣而起無定性也所謂小非定小於一微塵能含太虛大非定大輪圍無數入毛端中經云金剛圍山數無量悉能安置一毛端是也(輪圍者金剛輪圍山也)。
【三緣起相由】謂緣起之法遞相由藉然法界緣起義門無量略舉十義緣起方成故云緣起相由也(十義者諸緣各異義互徧相資義俱存無礙義異體相入義異體相即義體用雙融義同體相入義同體相即義俱融無礙義同異圓滿義也)。

【四法性融通】謂法界之性圓融通達無礙然一切事法依性建立不異真性性既融通事亦如之故一一微塵各含法界經云華藏世界所有塵一一塵中見法界是也。
【五如幻夢】幻者猶如幻師能以一物為種種物幻種種物而為一物夢者如一夢中所見廣大事業自謂歷時久遠經云如人睡夢中造作種種事雖經億千歲一夜未終盡是也。
【六如影像】謂一切法從心所現而能含明了性猶如明鏡各各互現諸法影像也經云遠物近物雖皆影現影不隨物而有遠近是也。
【七因無限】謂往昔因中稱法界性修無量殊勝之因故今得果妙用無邊經云徃修勝行無有邊今獲神通亦無量是也。
【八佛證窮】佛證窮者謂佛證果窮極也故三覺圓明六通自在稱法界性說圓滿經經云佛住甚深真法性所流圓滿修多羅是也(三覺者自覺覺他覺行圓滿也六通者天眼通天耳通他心通宿命通身如意通漏盡通也梵語修多羅華言契經)。
【九深定用】深定用者謂入甚深大定而起妙用也盖以海印等諸三昧力令一切法炳然齊現無礙圓融經云入微塵數諸三昧一一出生塵等定是也(海印三昧者梵語三昧華言正定海印是喻三昧是定一切諸法炳然齊現大寂定中猶如香海湛然不動一切色相歷歷顯現如印印文也)。
【十神通解脫】解脫即自在之義謂佛以神通不思議解脫之力令一切法於一法中建立顯現圓融自在經云於一塵中建立三世一切佛法是也(三世者過去現在未來也)。
十玄門(出華嚴經隨疏演義鈔)
玄者妙也門即能通之義謂玄妙之門能通蓮花藏海故也盖此十門乃晉雲華尊者依華嚴大經一乘圓頓妙義而立也。
【一同時具足相應門】謂舉一法時頓具一切諸法一法既具法法亦然交互同時皆得相應具足圓滿經云一切法門無盡海同會一法道場中是也。
【二廣狹自在無礙門】謂大而無外名廣小而無內名狹然大非定大置毛端而不窄小非定小含太虛而有餘所謂事得理融自在無礙經云能以小世界作大世界大世界作小世界等是也。
【三一多相容不同門】謂一佛土與十方一切佛土互相容納而不壞一多之相名為不同經云以一佛土滿十方十方入一亦無餘是也。
【四諸法相即自在門】謂一切諸法互融互即不相妨礙如一法捨己同他則舉體全是於彼若一法攝他同己則令彼一切即是己體經云一即是多多即一是也。
【五祕密隱顯俱成門】謂一切諸法互攝無礙如一法攝多法則一法顯而多法隱如多法攝一法則多法顯而一法隱顯中有隱隱中有顯名為俱成由此隱顯體無前後不相妨礙名為祕密疏云如初八夜月半隱半顯隱

顯同時不同晦月唯隱無顯望月唯顯無隱然其半隱半顯之月非但明與暗俱而明下有暗暗下有明也。
【六微細相容安立門】謂一能含多名曰相容一多不雜乃稱安立然所含微細如琉璃瓶盛多芥子炳然齊現不相妨礙經云於一塵中一切國土曠然安住是也。
【七因陁羅網境界門】梵語因陁羅華言天珠天即帝釋天也珠即珠網盖帝釋殿珠網覆上於一明珠內萬像俱現眾珠盡然互相現影影復現影遞互交光重重無盡今此法門亦復如是一一法中一一位中一一世界互相交參重重無盡經云諸佛知一切世界如因陁羅網世界是也。
【八託事顯法生解門】謂寄託一事即顯無盡法門令人深生信解疏云自在即稱為王潤益即名法雲金色世界即是本性彌勒樓閣即是法門勝熱婆羅門火聚刀山即是般若是也(梵語彌勒華言慈氏勝熱婆羅門者即善財五十三參中第九參之善知識也)。
【九十世隔法異成門】謂三世各三為別一念為總故名十世三世區分不相雜亂故云隔法三世互在遞相成立乃稱異成經云菩薩有十種說三世過去說過去過去說現在過去說未來現在說過去現在說平等現在說未來未來說過去未來說現在未來說無盡又云無量無數刼解之即一念是也(平等者謂現在中現在望前後過去未來得平等故也無盡者謂未來中未來於未來際無有盡故也)。
【十主伴圓明具德門】謂如來說圓教之法理無孤起必眷屬隨生故十方諸佛菩薩互為主伴重重交參同時頓唱圓教法門如淨空明月列星圍繞淨器百川近遠炳現名主伴圓明一一法會所說法門稱性極談具足眾德名為具德經云法界修多羅以佛剎微塵數修多羅以為眷屬是也(梵語修多羅華言契經)。
緣起十義(出華嚴經疏)
緣起者謂諸法所起因緣遞相攝持涉入無礙分為十種以釋前十玄門之義也。
【一諸緣各異義】諸緣各異者謂諸法緣起各不同也盖諸法遞互相望要須體用各別不相雜亂方成緣起經云多中無一性一亦無有多是也。
【二互徧相資義】互徧相資者謂諸法所起更互周徧相應資助方成緣起也如一緣徧應多緣此一則具多一若不多一則應不徧不成緣起當知此法界中一緣具多法法皆爾無不互徧相資經云知以一故眾知以眾故一是也。
【三俱存無礙義】俱存無礙者謂凡是一緣要具前之二義方成緣起無礙也然必由各異方得待緣必由徧應方自具德是故自一多一自在無礙經云諸法無所依但從和合起是也(自一多一者謂如十數中以一為自一以自一應餘九為多一也)。

【四異體相入義】異體相入者謂諸法異體遞相涉入也盖諸法力用遞相依持方成緣起如一持多則多入一內如多持一則一入多內也。
【五異體相即義】異體相即者謂諸法異體更互相望全體形奪也然具有體無體方成緣起若一緣有體能起諸緣即是一緣若一緣無體所起之緣即是諸緣一緣有體無體既爾諸緣有體無體亦然經云一即是多多即一是也(全體形奪者謂有無之體更互形比與奪也一緣者即一法之因緣也)。
【六體用雙融義】體用雙融者謂會前異體相入相即二種皆融通也盖諸法體用交涉無礙方成緣起以體無不用故舉體全是用以用無不體故舉用全是體互不相礙交徹圓融也。
【七同體相入義】同體相入者謂一緣多緣無別體故名為同體若一緣有力則能持多一若多一無刀則依彼一緣是故一能攝多多便入一多能攝一一便入多也。
【八同體相即義】同體相即者謂本一多一同是一體故相即也盖本一有體能作多一多一無體由本一成多一即本一也故本一有體則多一無體多一有體則本一無體也(本一者謂多數中隨其所用之一即為本也)。
【九俱融無礙義】俱融無礙者謂融前同體相入相即二種皆無礙也盖體無不用則有同體相入而無相即之義用無不體則有同體相即而無相入之義今既全體全用則亦入亦即也。
【十同異圓滿義】同異圓滿者謂前九義有同有異總合為一成大緣起令多義門同時具足皆悉圓滿也。
十妙(出法華玄義)
不可思議名妙即實相之理也實相之理精微玄妙清淨寂絕經云是法不可示言辭相寂滅是也總論因果自他故具明十妙妙體無殊也。
【一境妙】境即理境也謂十如是等境心佛眾生三無差別不可思議經云唯佛與佛乃能究盡諸法實相所謂諸法如是相等是也(十如是者如是相如是性如是體如是力如是作如是因如是緣如是果如是報如是本末究竟等也)。
【二智妙】智即全境所發之智也以境妙故智亦隨妙函盖相應不可思議經云我所得智慧微妙最第一是也(函盖相應者函喻境盖喻智應當也)。
【三行妙】行即所修之行也以智妙故智導於行行亦隨妙不可思議經云行此諸道已道場得成果是也。
【四位妙】位即修行所歷之位次也謂十住十行十回向十地等諸位以行妙故所證之位亦妙不可思議經云乘是寶乘遊於四方是也(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也十行者歡喜行饒益行無瞋恨行無盡行離癡亂行善現行無着行尊重行善法行真實行也十回向者救一切眾生離眾生相回向不壞回向等一切佛回向至一切處回向無盡功德藏回向隨順平等善根回向隨順等觀一切眾生回向真如相回向無縛解脫回向法界無量回向也十地者歡喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也四方即東西南北表前四十位也)。

【五三法妙】三法即真性觀照資成之三法也真性是理觀照是慧資成是定此之三法是佛所證不可思議經云佛自住大乘如其所得法定慧力莊嚴是也(資成者謂定力能資助成就智慧也)。
【六感應妙】感即眾生應即佛也謂眾生能以圓機感佛佛即以妙應應之如水不上升月不下降而一月普現眾水不可思議經云一切眾生皆是吾子是也。
【七神通妙】天心名神慧性名通天然慧性徹照無礙名為神通謂如來無謀之應善權方便稱適機宜變現自在不可思議經云今佛世尊入于三昧是不可思議現希有事是也(梵語三昧華言正定)。
【八說法妙】謂說大小乘偏圓之法咸令眾生悟入佛之知見一音宣演不可思議經云如來能種種分別巧說諸法言辭柔軟悅可眾心是也(偏圓者謂小乘之法所談之理非中名偏大乘之法所談之理具足圓滿名圓也)。
【九眷屬妙】謂佛出世十方諸大菩薩皆來贊輔或以神通而來生者或以宿願而來生者或以應現而來生者皆名眷屬俱不可思議經云但教化菩薩無聲聞弟子是也。
【十利益妙】謂佛說法一切眾生咸得開悟本性入佛知見猶如時雨普洽大地蒙益不可思議經云現在未來若聞一句一偈我皆與授阿耨多羅三藐三菩提記是也(梵語阿耨多羅三藐三菩提華言無上正等正覺)。
十不二門(出法華玄義釋籤)
十門何為而設也蓋荊溪大師因釋法華玄義其中廣明十妙之旨法相該博學者難入故於迹本二門之間對前十妙立此十門復於門門之下結歸一念為今修學之人於一念心開妙鮮立妙行故云不可不了十妙大綱故撮十妙為觀法大體然此十門皆以不二命名者蓋法華以前四時三教所談色心等十一一隔異名之為二至于法華開顯四時三教所談偏權之法皆即圓實實理既彰色心等法圓融自在互攝無外咸名不二十門既對十妙而立妙即不二不二即妙故此十門不二為目門即能通之義蓋欲以十門之易而通十妙之難也(四時者華嚴時鹿苑時方等時般若時也三教者藏教通教別教也偏權圓實者謂藏通別三教為偏為權圓教為圓為實也)。
【一色心不二門】有形質礙之法而無知覺之用既異於心故稱為色雖有知覺之用而無質礙可見以能緣慮名之為心諸文有云名色者心不可見但有其名名即心也故智度論云一切諸法中但有名與色更無有一法出於名色者然以情見言之色心二法有異以理而論一切諸法唯心本具即是妙色妙心心即是色色即是心心外無色色外無心互具互攝故名不二此之不二不出一念故心法妙所以為門也。
【二內外不二門】此就內外二境論內外二觀也謂眾生諸佛及以依報名為外境自己心法名為內境於此內外二境皆以三觀觀之即名內外二觀也然若論修觀次第必先觀內心若論機入不同故須內外並列復為顯其妙義必須內外互融隨觀一境皆能偏攝故名不二此之不二不出一念

故心法妙所以為門也(依報者即身所依之國土也三觀者空觀假觀中觀也離性離相謂之空無法不備謂之假非空非假謂之中也)。

【三修性不二門】修謂修治造作即隨緣變造之事也性謂本有不改即真如不變之理也性德不出色心修德莫非三觀今示全性起修則諸行無作全修在性則一念圓成是則修外無性性外無修互泯互融故稱不二此之不二不出一念故心法妙所以為門也(泯絕也亡也論性則修全在於性性外無修修泯亡也論修則性全在於修修外無性性泯亡也融即圓融性不礙修修不礙性性即是修修即是性也)。

【四因果不二門】因即從迷而言果乃就悟而說始從人天終至等覺菩薩皆名為因唯妙覺佛獨稱為果良以九界眾生無明惑覆實相之理未顯名因唯妙覺佛無明淨盡實相之理究竟顯發隨機應現設化無方乃名果也十界迷悟雖殊實相始終理一故名不二此之不二不出一念故心法妙所以為門也(等覺者去後妙覺佛猶有一等勝前諸位得稱覺也妙覺者謂自覺覺他覺行圓滿不可思議也九界者菩薩界緣覺界聲聞界天界人界修羅界餓鬼界畜生界地獄界兼佛即名十界也)。

【五染淨不二門】無明之用為染法性之用為淨無明法性體本不二用乃有殊迷則全法性而為無明全起無明之用以在纏心變造諸法念念住着名之為染悟則全無明而為法性全起法性之用以離障心應赴眾緣念念捨離名之為淨然在纏染心本具妙理與淨不殊故名不二此之不二不出一念故心法妙所以為門也(在纏心者纏即纏縛謂眾生心識為惑業之所纏縛也離障心者障即障礙謂佛心想惑業淨盡離乎障礙也)。

【六依正不二門】依者依止之處即所依之土也正者正受其報即能依之身也如佛果後示現下三國土名為依報示現前三教主及九界身名為正報法華開顯三土即是寂光九界無非圓佛寂光即所依之土圓佛乃能依之身以寂光圓佛理本無二故能依中現正正中現依果既依正不二因亦復然由理同故即知諸佛眾生體用不二此之不二不出一念故心法妙所以為門也(下三國土者同居土方便土實報土以對常寂光土在土故名下也前三教主者即藏通別三教果佛也九界身者即菩薩等九界之身也寂光者即常寂光土也)。

【七自他不二門】自即自己他謂他機此就三法論也佛法眾生法皆名為他唯己心法名之為自以由十界互具則心佛眾生各有生佛若己生佛顯則與他佛生佛同俱為能化唯他眾生生佛而為所化故云他生他佛尚與心同況己心生佛寧乖一念既同一念自他豈殊故名不二此之不二不出一念故心法妙所以為門也。

【八三業不二門】三業者如來果後垂化清淨身口意業也謂身輪現通口輪說法意輪鑑機當知身尚無身說亦非說身口平等等彼意輪心色一如故名不二此之不二不出一念故心法妙所以為門也(身口意輪者輪有摧碾之用喻佛鑑機現通說法皆能摧碾眾生惑業故名輪也心色一如者心即意色即身口謂身口意三業皆同一性無有別也)。

【九權實不二門】權謂權謀即九界七方便之法也實謂真實即佛界圓乘之法也蓋法華已前四時未會權實不融至法華開顯九界七方便之權即是佛界圓乘之實實即是權權即是實實外無權權外無實皆稱秘妙故云不二此之不二不出一念故心法妙所以為門也(七方便者方即方法便即便宜謂藏通兩教二乘為四及藏通別三教菩薩共為七以其同修方便之道故也)。

【十受潤不二門】受潤者從喻而立名也受即領納以三草二木喻七方便眾生為能受也潤即沾潤謂如來說前四時三教之法如雲注雨為能潤也法華開前四時三教之法皆即圓法七方便眾生咸蒙授記作佛譬如三草二木皆一地所生一雨所潤無復差降故名不二此之不二不出一念故心法妙所以為門也(三草二木喻七方便者下草喻人天中草喻聲聞緣覺上草喻藏教菩薩小樹喻通教菩薩大樹喻別教菩薩也此七方便因對下草故列人天而合藏通兩教二乘但為二也上之七方便因對論權實之法故不及人天也)。

十乘(出摩訶止觀)

十乘者十乘觀法也此十通名乘者乘即運載之義如世車乘堪能運載也蓋言修行之人依此十法修之則能運出生死之苦到於涅槃彼岸也數至十者由修觀之人上中下根不等上根者唯觀初不思議境即得破惑顯理其次者於初種觀法修之不入須用第二發心乃至第八對治助開方能破惑顯理又其次者於前七種觀之不入須用第八知位次乃至第十離法愛方能破惑顯理故止觀大意云上根唯一法中根二或七下根方具十又為知妙境為九乘之本稱本修九方堪入於初住是故備論此十乘也(梵語涅槃華言滅度初住者即十住中初發心住也)。

【一觀不思議境】觀即能觀境即所觀所觀者何不出色心色從心造全體是心故經云三界無別法唯是一心作即眾生日用現前以根對塵所起一念之妄心也此心既全真成妄今達妄即真即此妄心具足諸法無有缺減即心是一切法一切法是心非一非異不前不後玄妙寂絕非識所識非言所言故指此心為不思議境也於此一心念念以即空即假即中三觀觀之若觀一法即一切法假觀也觀一切法即一法空觀也非一非一切而一而一切中觀也空觀破見思惑證般若德假觀破塵沙惑證解脫德中觀破無明惑證法身德三觀既即一而三三惑豈前後而破三德非次第而證說之次第理非次第由證三德即入初住所謂上根之人唯用一法即指此初觀也(三界者欲界色界無色界也以根對塵者謂以眼耳鼻舌身意之六根對色聲香味觸法之六塵也不前不後者一心不在前諸法不在後也空假中者離性離相謂之空無法不備謂之假非空非假謂之中也非一非一切者中觀雙遮空假也而一而一切者中觀雙照空假也見思惑者謂意根對法塵而起分別曰見惑眼等五根對色等五塵起諸貪染曰思惑塵沙惑者謂眾生之惑種類數多如塵若沙也無明惑者謂於中道之理無所明了也三德者法身德般若德解脫德也)。

【二發真正菩提心】梵語菩提華言道初起大志造趣所期名之為發不依偏權之教而依圓實中道妙境名曰真正菩提即所期之果妙境即所行

之路心即能行能趣之心也盖由中根之人觀上妙境不悟須再加發心於靜心中思惟彼我痛憫自他無量刼來沉淪生死縱發小志迷菩提心我今雖知行猶未備故依前妙境發四弘誓謂眾生無邊誓願度煩惱無數誓願斷此二誓下化眾生也法門無盡誓願知佛道無上誓願成此二誓上求佛道也發此誓願如理思惟豁然悟理入凡聖位是為發真正菩提心也(偏權圓實者謂藏通別三教為偏為權圓教為圓為實也弘誓者弘廣也誓制也謂發願廣制其心也凡聖位者凡即五品十信之位聖即十住等位也)。

【三善巧安心】善巧安心者善以法性自安其心也以法性為所安以寂照為能安寂即是止照即是觀若信此心但是法性則起是法性起滅是法性滅了其實不起滅妄謂起滅如是體達功成法界俱寂是名為止若觀察此心體是無明無明癡惑即是法性無明法性本來皆空空亦不可得法界洞朗名之為觀若離法性無安心處若離止觀無安心法由上發心不悟故用此方便善巧令心得安也。

【四破法徧】破法徧者謂以三觀能破之法徧破諸惑也藏通二教但用空觀破見思惑不得言徧別教先以空觀破見思惑次以假觀破塵沙惑後以中觀破無明惑無明未盡亦不得言徧今圓頓教三觀秖在一心心空故一空一切空即諸法皆空空則三惑俱破也心假故一假一切假即諸法皆假假則三諦皆立也心中故一中一切中即諸法皆中中則無惑不破無理不顯故名徧也若上善巧安心惑破理顯不俟更破由未安故故須此破法徧也(三諦皆立者謂真諦俗諦中諦之法皆建立也)。

【五識通塞】通即通達謂菩提涅槃六度等法其性虛通而能顯發實相之理皆名為通塞即蔽塞謂生死煩惱六蔽等法其性昏暗以能蔽塞實相之理不能顯發皆名為塞若一槩言之如前破法徧中所破諸惑為塞能破之法為通若別途言之於能破觀法復起愛著亦名為塞所謂於通起塞此塞須破於塞得通此通須護但破塞存通如除膜養珠破賊護將由上破法徧中修之未悟復恐於通起塞於塞無通所以立此通塞一門撿彼破法徧令於塞得通於通無塞故名識通塞也(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也煩惱者謂昏煩之法惱亂心神也六蔽者一慳貪二破戒三嗔恚四懈怠五散亂六愚癡也除膜養珠者膜謂眼中所翳之膜珠即眼中之睛也)。

【六道品調適】道即能通之義品類不同故名道品謂三十七道品而能通至涅槃也調適者調謂調停亦調試也適當也宜也從別言之故有三十七品若從總而言此三十七品不出戒定慧即是以戒定慧而調適也若修四念處能生正勤正勤發如意足如意足生五根五根生五力五力生七覺七覺入八正道是為調停適當也若隨人根性於諸道品何者相應可以入理是為調試適宜也當知道品即四諦之道諦也今依圓教無作四諦三十七品成於一心三觀也於上破法徧及識通塞若不以道品調適何能疾與真法相應故大論云三十七品是行道法修道之人若欲破惑入理必須此道品調適也(三十七道品者觀身不淨觀受是苦觀心無常觀法無我是四念處已生惡

令永斷未生惡令不生已生善令增長未生善令得生是四正勤欲如意足念如意足精進如意足思惟如意足是四如意足信根精進根念根定根慧根是為五根信力精進力念力定力慧力是為五力念覺分擇覺分精進覺分喜覺分除覺分定覺分捨覺分是七覺分正見正思惟正語正業正命正精進正念正定是八正道以上諸法總為三十七品也)。

【七對治助開】對即對待治即攻治謂行人正修觀時忽或邪倒心起障於正行不能前進隨所着心須以相應之法而對破之著心既息則正行可進實理可顯如世醫治病之術藥必對病而用其患冷病者必以熱藥治之患熱病者必以冷藥治之患不冷不熱者必以溫和之藥治之藥力若效其病即愈病既愈已身即安康今論對治之法亦猶是也而言助開者蓋由邪倒之心障蔽正行而使解脫之門不開今修此對治助道之法助於正觀之行開彼解脫之門故名對治助開試就六蔽六度言之若人修上道品調適解脫不開而慳貪忽起激動觀心於身命財守護保著當用捨施之法而對治之若破戒心起乖違淨禁當確持戒律而對治之若瞋恚暴怒常生忿恨當用忍辱而對治之若放逸懈怠恣縱閑蕩當用精進而對治之若浮掉馳騁散亂不定當用禪定而對治之若沉昏暗塞愚癡迷惑當用智慧而對治之前之六種觀法皆名正行六度等法名為助道涅槃經云眾生煩惱非一種佛說無量對治門是也。

【八知位次】位即行行所歷之地位次即次第謂所歷之位高下淺深不相混雜也若修行者不知位次下根障重非惟正助不明却生上慢謂已均佛未得謂得未證謂證故小乘經中四禪比丘謂得四果大乘經中魔為菩薩授記若知位次則無如是之失故須知位次也(正助者正即所修止觀之行助即六度等道之行以助助於正也四禪者即色界第四禪也梵語比丘華言乞士四果者即聲聞所證須陀洹果斯陁含果阿那含果阿羅漢果也授記者聖言說與曰授果與心期曰記也)。

【九安忍】安即不動忍即忍耐謂修觀之人初觀不思議境至第八知位次或入五品障轉慧開神智爽利本不聽學能解經論欲釋一義辯不可盡或說一兩句法或說一兩則禪初對一人傳誦漸廣則外招名利內動宿障宿障縱少名利彌至為眾圍繞廢損自行非惟正行不進障道還興惟當自勉於名利心安然不動復須忍耐內外榮辱策勵其心故名安忍(五品者隨喜讀誦說法兼行六度正行六度也障轉者謂惑業之障轉成解脫也慧開者謂觀理之智開明也一兩則猶一兩段也宿障者謂宿世過去之業也內外榮辱者謂內心外身之榮辱也)。

【十離法愛】離法愛者謂於中道之法遠離愛著之心也蓋言修行之人修前九種觀法已過內外二障應入初住而不入者由住六根清淨之位愛著中道相似之法所以不能進入也此相似位無內外障唯有法愛法愛若斷即得發真中道入於初住故名離法愛也第八第九第十三種皆為下根之人修前七種觀法不能入理故須明之所謂下根方具十也(內外障者內即

惑業外即名利等皆能障蔽正行故也六根清淨者謂眼耳鼻舌身意已離惑業染污之法而獲清淨功德也相似法者謂於中道之理未能真證而發相似之解也)。

十境(出摩訶止觀)

十境一一皆前十乘觀法所觀之境若論十境生起由觀陰入發下九境能所相扶次第出生故成於十若論下之九境互發不定則無復次第當知陰境常自現前若發不發恒得為觀下之九境發則皆用十乘觀法觀之不發不觀也(陰入者謂五陰十二入也能所相扶者如初陰境能生煩惱陰為能生煩惱為所生餘境展轉相生亦然互發者更互發起也如正觀病境或發煩惱或發餘境餘境互發亦然)。

【一陰境】陰覆盖之義即色受想行識五陰也亦名五蘊蘊即積聚之義若言覆盖一切善法此就因得名若言積聚無量生死此就果得名十境以陰居初者有二義一現前二依經現前者謂人受一期果報之身即是五陰五陰重檐常自現前是故初觀依經者大品般若云聲聞依四念處行道五陰即四念處所觀之境又經中凡列法門無不以五陰為首是故初觀此且就五陰通總而言若專論所觀之境必須於五陰中除却前四的取第五識陰為所觀之境也(一期者謂人從生至死也重檐者生死重沓名重人所荷負名檐四念處者觀身不淨觀受是苦觀心無常觀法無我故云五陰即四念處所觀之境除却前四者謂除色受想行也)。

【二煩惱境】昏煩之法惱亂心神又貪瞋等法與心作煩令心得惱故云煩惱謂無始以來積集重惑今因用觀觀察陰境煩惱即發譬如流水尋常不覺其急若槩之以木流即奔迸莫能止遏是時應捨陰境而觀煩惱境也。

【三病患境】病起之因雖多不出四大增損致有患生又由觀陰惑激動四大致有患生身若染病廢修聖道若能觀察彌益用心復須識其病之原由宜以何法治之或內觀力或術或醫其病若愈聖道可修為是須觀病患境也(四大者地大水大火大風大也謂人攬外四大而成內身四大皮肉筋骨等屬地涕唾涎沫等屬水煙氣屬火轉動及出入息屬風言增損者水增則火損火增則水損風增則地損地增則風損四大不調病即生也陰惑者陰即陰境惑即煩惱境也)。

【四業相境】業即身口所作之業謂修行之人無量刼來所作善惡諸業或已受報不復更發或未受報於靜心中忽然俱發盖善業將受報故發惡業來責報故發於此善惡業相現時勿喜勿怖彌須用觀令業謝行成一心取道為是須觀業相境也(刦梵語具云刦波華言分別時節)。

【五魔事境】魔梵語具云魔羅華言殺者謂能奪人智慧之命故也言魔事者大論云魔以破人善法為事又天魔正以順生死貪五欲退菩提為事故名魔事此由觀前諸境惑雖未破天魔猶恐出其境界而復化度於他失我民屬空我宮殿又慮夫得大神通得大智慧必當調伏控制於我我今應預破之壞彼善根故有魔事發也治魔之法有三初觀察訶棄如守門人遮惡不進二當從頭至足一一諦觀身心了不可得魔從何來欲惱何等如惡

人入舍處處照撿不令得住三觀之不去即當強心抵捍以死為期一心用觀合道行成就為是須觀魔事境也(天魔者即欲界第六他化自在天也五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也梵語菩提華言道)。

【六禪定境】禪梵語具云禪那華言靜慮謂魔事已過而且真明未顯以修觀故發過去習諸禪紛現當置魔事用觀觀之良以禪樂美妙喜生躭味雖免魔害更為定縛如避火墮水無益正行為是須觀禪定境也(過去習即宿習也諸禪者即色界中初禪二禪三禪四禪等禪也)。

【七諸見境】非一曰諸邪解曰見謂推理不當而偏見分明作決定解名為見也此之諸見或因禪發或因聞發因禪發者謂初因心靜後觀轉明見解通徹有如妙悟因聞發者謂聽本不多廣能曉悟見解分明問答聰辯雖因禪因聞而發既推理不當皆屬邪見實非辯悟此等見發即須用觀視之令達正道不為所障為是須用觀諸見境也。

【八慢境】自恃輕他之心名慢謂既伏諸見妄執之心則息無智者謂為涅槃濫叨高位起大輕慢慢心既發廢於正行為是須觀慢境也(梵語涅槃華言滅度)。

【九二乘境】謂聲聞緣覺以四諦之法而脩則能運出生死之苦名之為乘謂見慢之心既因修觀而息則先世所習小志因靜而生蓋小志溺於空寂不能至于大乘究竟之地所謂寧起疥癩野干心勿學聲聞緣覺行故二乘境界若發亦須用觀觀察毋令生著為是須觀二乘境也(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也野干似狐而小形色青黃如狗群行夜鳴如狼)。

【十菩薩境】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情天台大師解云用諸佛道成就眾生謂由上見慢之心既息或發先世所習若憶本願則不墮二乘之境而發三教菩薩境界之心今修觀者既依大乘圓頓妙教開解立行故藏等三教菩薩境界若發亦須觀察毋令生著為是須觀菩薩境也(三教者藏教通教別教也)。

十如是(出法華經玄義)

不異名如無非曰是謂十法界始自地獄終至佛界各具十如是因果之法天台大師依義讀文凡有三轉一云是相如是性如乃至是報如如名不異即空之義也二云如是相如是性乃至如是報名字施設各各不同即假之義也三云相如是性如是乃至報如是如於中道實相之是即中之義也(十法界者地獄界畜生界餓鬼界脩羅界人界天界聲聞界緣覺界菩薩界佛界也空假中者離性離相謂之空無法不具謂假非空非假謂之中也)。

【一如是相】相即相貌相以據外覽而可別謂始自地獄終至佛界各各相貌不同是名如是相(相據外者謂相在外而可依據也)。

【二如是性】性即性分性以據內自分不改謂始自地獄終至佛界其性各各不同是名如是性。

【三如是體】體即體質謂始自地獄終至佛界俱以色身而為體質是名如是體。

【四如是力】力即力用謂始自地獄終至佛界皆有力用功能是名如是力。
【五如是作】作即造作謂始自地獄終至佛界皆能運為造作是名如是作。
【六如是因】因即習因謂始自地獄終至佛界善惡業因皆由自種而生習續不斷是名如是因。
【七如是緣】緣即緣助謂始自地獄終至佛界各有緣起之法助成習因是名如是緣。
【八如是果】果即習果謂始自地獄終至佛界皆由習因習續於前習果剋獲於後是名如是果。
【九如是報】報即報果謂始自地獄終至佛界皆由習因習果而感其報是名如是報。
【十如是本末究竟等】謂初相為本後報為末此之本末皆同實相一理平等無二是名如是本末究竟等。
大明三藏法數卷第二十八

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

十普門(出觀音玄義)

普徧也門即能通之義謂菩薩以圓融中道妙觀通入常住實際理地故立此十門也。

【一慈悲普】慈能與樂悲能拔苦盖菩薩即於一念之中遍觀十界善惡苦樂而起慈悲與拔之想普令眾生離一切苦得一切樂故名慈悲普(十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也)。

【二弘誓普】弘者廣也誓者制也廣求勝法制御其心也謂菩薩依四諦境發弘誓願若見苦諦逼迫楚毒之相緣此起誓故言未度者令度若見集諦迷惑繫縛甚可哀傷約此起誓故言未解者令解若見清淨之道能出生死至安樂地欲示眾生行此道故乃言未安者令安若見滅煩惱處名為涅槃約此起誓故言未得涅槃者令得涅槃故名弘誓普(梵語涅槃華言滅度)。

【三明脩行普】行有五種不同一者聖行謂戒定慧二者梵行謂慈悲喜捨三者天行謂證第一義天由理成行故四者嬰兒行謂示同三乘七方便人所脩之行五者病行謂示為六道之身現有三障之相此之次第五行雖菩薩所脩而未名為普如涅槃經云復有一行名如來行所謂大乘大般涅槃大乘是圓因涅槃是圓果菩薩能脩此之一行故名脩行普(慈悲喜捨即四無量心也第一義天者天即天然自然之義謂中道之理無二無別自然而然非造作也一乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也七方便者五停心別相念處揔相念處此三位名外凡煖位頂位忍位世第一位此四位名內凡是七方便位也六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也三障者業障報障煩惱障也)。

【四斷惑普】謂圓教菩薩即觀中道正破無明無明既破一切見思塵沙之惑自然先斷故名斷惑普(見思惑者謂意根對法塵而起分別曰見眼等五根對色等五塵而起貪愛曰思塵沙惑者謂眾生見思之惑種類眾多如塵若沙也)。

【五入法門普】謂二乘之人若入一法門則不能入二此即歷別之行證有階差今菩薩圓脩三諦則無量法門悉入其中故名入法門普(二乘者聲聞乘緣覺乘也三諦者真諦俗諦中諦也)。

【六神通普】神名天心通名慧性天然之性徹照無礙名為神通謂羅漢天眼見大千世界辟支佛見百佛國土小教菩薩見河沙佛土皆是限量之神通圓教菩薩遍見法界而無限極所發六通自在變現無有限量故名神通普(羅漢梵語具云阿羅漢華言無學又云無生辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺小教菩薩者即藏通二教菩薩也六通者天眼通天耳通他心通宿命通身如意通漏盡通也)。

【七方便普】方即方法便即便宜脩方便道普化眾生也謂二乘及小教菩薩方便化他則止齊其所得未名為普圓教菩薩以真俗二諦為方便照真則以真身益物照俗則以應身赴機資發中道利十界機故名方便普。

【八說法普】謂二乘及小教菩薩不能一時徧荅眾問未得名普今圓教菩薩一音演法殊方異類皆悉得解故名說法普。
【九供養諸佛普】謂菩薩之所供養非止一佛一國土微塵諸佛能以身命財及一切供具周至十方供養諸佛乃至不可說不可說佛無不供養故名供養諸佛普。
【十成就眾生普】謂圓教菩薩饒潤成熟一切眾生而無限量譬如大雨四方俱下一切卉木叢林徧令生長華果悉皆成就故名成就眾生普。
雙貼釋觀音普門(出觀音玄義)
天台智者大師通釋妙法蓮華經一部之外復以觀世音菩薩普門品世多持誦故別立玄疏詳釋此品品題之中乃約人法等十雙一一貼釋以觀音普門具有此十雙之義該括自行化他始因終果之法故歷陳之助顯其義可謂無餘蘊矣(玄即玄義通釋品題玄謂幽微難見義則別有所以也疏即義疏別解品內之文疏通也决也謂令經文所詮義理通决而無壅礙也)。
【一人法】人即觀世音法即普門觀世音者謂此菩薩以中道妙智觀於世間眾生受苦求救之聲一時皆令解脫也普門者普徧也門即能通之義謂實相妙理互通徧攝無所障礙也此品具兩問荅依前問荅論觀世音人故經云以是因緣名觀世音依後問荅論普門示現種種說法故經云方便之力其事云何以人能秉法故言人法也(前後問荅者無盡意初問以何因緣名觀世音佛荅云若有無量百千萬億眾等是也次問云何遊此娑婆世界等荅云若有國皆眾生應以佛身等是也)。
【二慈悲】慈即愛念謂以愛樂歡喜起大慈心能與他樂也悲即愍傷謂以惻愴憐愍起大悲心能拔他苦也今依前問荅論觀世音大悲拔苦百千苦惱皆得解脫也依後問荅論普門示現大慈與樂即應以得度而為說法也良由觀音之人觀於普門之法達於實相之理愍諸眾生理具情迷枉受眾苦失於本性之樂是以即起慈悲誓拔其苦而與其樂故以慈悲次人法而明之也。
【三福慧】福即福德謂布施持戒精進忍辱禪定五度也慧即智慧謂般若一度也五資於慧慧導於五猶目與足不可互闕今觀世音智慧莊嚴也普門福德莊嚴也以智慧莊嚴則大悲誓滿拔苦義成以福德莊嚴則大慈誓滿與樂義成故以福慧次慈悲而明之也。
【四真應】真即真實謂真身也應即應現謂應身也真身是體應身是用今觀世音中道妙智契於實相之境即是真身普門說法隨所應現即是應身若福資於慧顯出真身慧導於福顯出應用故真應次福慧而明之也。
【五藥珠】藥即藥樹珠即如意珠藥能愈病喻觀世音真身益物以真身冥理理顯則三惑皆消珠能雨寶喻普門應身益物以應身對機機感則眾善普會故藥珠次真應而明之也(如意珠者天上勝寶狀如芥粟能出眾寶隨心降雨也冥理者契合於理也三惑者見思惑塵沙惑無明惑也)。

【六冥顯】冥即冥密顯即顯現謂觀世音真身被物冥作利益以眾生不見不知稱之為冥普門應身對機說法顯作利益以眾生有見有知稱之為顯故以冥顯次藥珠而明之也。
【七權實】權即權巧權智也實即真實實智也今觀世音隨自意以實智照之眾生即得冥益普門隨他意以權智照之眾生即得顯益如是冥顯獲益不同者盖由二智之力權巧無方赴機允當不失其宜故以權實次冥顯而明之也(權實二智者權即一切智道種智實即一切種智也)。
【八本迹】本猶根本迹猶足跡譬人所居之處則有行徃之迹今觀世音不動本際而能實智益物普門曲垂迹化而能權智益物觀音既是過去正法明佛其本已高所作權實之迹則妙故以本迹次權實而明之也。
【九緣了】緣謂緣助了謂曉了即性德本具緣了二因也前之八雙從人法至真應是自行次第藥珠至本迹是化他次第此乃順論生起也今挹流尋源逆而推之則真身智慧悲誓及觀音之人皆是性德了因種子而顯發也應身福德慈誓及普門之法皆是性德緣因種子而顯發也自行次第既尔化他次第亦然謂本證實智冥益藥樹屬乎了種迹化權智顯益珠王功歸緣種故緣了次八雙之後而明之也(緣助者以緣資了也本具緣了二因者謂緣了二因一切眾生本性元具也若順性而脩了因顯至果則成智德緣因顯至果則成斷德緣了二因皆名種子者種有發生之義謂果上智斷二德之顯皆從因中緣了二因而發生也)。
【十智斷】智能照理斷能斷惑即果上所顯智斷二德也智德即般若斷德即解脫亦涅槃也前明緣了是却討因源此明智斷是順論究竟所謂始則起自了因終至菩提大智始則起自緣因終至涅槃斷德若入涅槃眾行梵息故居第十也(梵語涅槃華言滅度却討者却退也謂從果德之中却退推討因德之源也梵語菩提華言道)。
順流十心(出摩訶止觀)
順即隨順流即流轉謂諸眾生因此十心則隨順煩惱流轉生死故也。
【一無明昏闇】謂諸眾生從無始來闇識昏迷無所明了煩惱所醉於一切法妄計人我起諸愛見想計顛倒起貪瞋癡廣造諸業是以流轉生死也。
【二外加惡友】謂諸眾生內具煩惱外值惡友扇動邪法勸惑於我倍加隆盛無由開悟進脩善業是以流轉生死也。
【三善不隨喜】謂諸眾生內外惡緣既具即內滅善心外滅善事又於他人所作善事不生隨喜之心是以流轉生死也。
【四三業造罪】謂諸眾生恣縱身口意三業起殺盜淫妄貪瞋等過無惡不為是以流轉生死也。
【五惡心偏布】謂諸眾生雖所造惡事不廣而為惡之心偏布一切處所欲以惱害於人是以流轉生死也。

【六惡心相續】謂諸眾生唯起惡心增長惡事晝夜相續無有間斷是以流轉生死也。
【七覆諱過失】謂諸眾生所作惡行諱忌人知不自發露無悔改心是以流轉生死也。
【八不畏惡道】謂諸眾生心性險狠不知戒律於殺盜淫妄種種惡事無不為之而於惡道恬然不畏是以流轉生死也。
【九無慚無愧】謂諸眾生愚癡所蔽造諸惡業上不慚天下不愧人雖自隱覆是以流轉生死也。
【十撥無因果】謂諸眾生不具正信之心但生邪惡之見而於一切善惡因緣果報悉皆撥以為無是以流轉生死也。
逆流十心(出摩訶止觀)
謂脩行之人由前順流十心昏倒造惡積集重累生死浩然而無際畔今欲懺悔應當逆此罪流用十種心翻除惡法也。
【一深信因果】謂脩行之人先須正信因果業種雖久終不敗亡豈有自作他人受果是以深信善惡果報不生疑惑以此翻破撥無因果之心也。
【二生重慚愧】謂脩行之人剋責往昔無羞無恥棄捨淨業習諸惡行天見我之隱罪是故慚天人知我之顯過是故愧人以此翻破無慚無愧之心也。
【三生大怖畏】謂脩行之人自念人命無常一息不存千載長徃幽途緜邈無有資糧苦海悠深那得不怖因是苦切懺悔不惜身命以此翻破不畏惡道之心也。
【四發露懺悔】謂脩行之人所有過失不可隱覆即當發露懺悔以此翻破覆諱過失之心也。
【五斷相續心】謂脩行之人所作惡行既懺悔已即須决斷不可更作以此翻破惡念相續之心也。
【六發菩提心】梵語菩提華言道謂脩行之人徃昔專起惡念徧惱一切今則廣發兼濟之心徧虛空界利益於他以此翻破徧布之惡心也。
【七斷惡脩善】謂脩行之人昔因恣縱身口意業造作諸惡不計晝夜今則策勵不休斷諸惡行脩功補過無善不為以此翻破三業造罪之心也。
【八守護正法】謂脩行之人昔自滅善見他行善而生嫉妬無隨喜心今則守護正法方便增廣以此翻破善不隨喜之心也。
【九念十方佛】謂脩行之人昔親狎惡友信受其言起諸邪見今則念十方佛有大福慧能救扶我以此翻破隨順惡友之心也。
【十觀罪性空】謂脩行之人從無始來不知諸法本性空寂廣造諸惡今則了知貪瞋癡等一切惡行起於妄念妄念起於顛倒顛倒起於人我之見今既了達我心本空罪性無依以此翻破無明昏闇之心也。
理事無礙十門(出華嚴經疏)

理者一真法界之性也事者一切世間之相也盖真如不守自性隨緣成一切法故一切法全理而不礙眾相之發揮真理全事而不礙一性之明現十回向品云於有為界示無為法而不滅壞有為之相於無為界示有為法而不分別無為之性理事相望融通無礙互有不同開為十門也。

【一理徧於事門】理徧於事門者謂一真法界之理徧在一切事法也然理無分限事有分限事既即理亦無分限故一一微塵具足真理經云法性徧在一切處一切眾生及國土三世悉在無有餘亦無形相而可得是也(三世者過去現在未來也)。

【二事徧於理門】事徧於理門者謂理既徧於事而事亦徧於理以有分限之事而具無分限之理故一微塵即徧法界也。

【三依理成事門】依理成事門者謂依於真如之理而成世間之事事無別體全攬理成如波依水全水成波也(水喻理也波喻事也)。

【四事能顯理門】事能顯理門者謂理無形相即事而明事既依理而成理乃藉事而顯如波相盡水體全現也。

【五以理奪事門】以理奪事門者謂事相既虛全體是理故一切事法了不可得般若心經云是故空中無色無受想行識是也(色受想行識即五陰也)。

【六事能隱理門】事能隱理門者謂真理既隨緣而成事相遂令事顯而理不現如水成波動顯靜隱經云法身流轉五道名曰眾生是也(五道者天道人道餓鬼道畜生道地獄道也)。

【七真理即事門】真理即事門者謂真如理性即是事法非理之外而別有事如水即是波非波之外而別有水般若心經云空即是色是也。

【八事法即理門】事法即理門者謂世間一切事法本無自性皆由因緣會集而有舉體即是真性而不出乎事法之外般若心經云色即是空是也。

【九真理非事門】真理非事門者謂事即真理而非是事盖理絕諸相真妄有異即妄之真異於妄故如水濕性則非波之動相也(即妄之真猶云即事之理異於妄故者謂理異於事也)。

【十事法非理門】事法非理門者謂全理之事而非是理盖以事有差別性相異故是以舉體全理而事相宛然如波之動相非是水之濕性也。

十門釋經(出華嚴經疏)

唐清凉國師將欲解釋華嚴大經故先揔啟十種義門列於經前懸談一經大意使知教法興起有所自來然聖人言不虛發說必有由非大因緣莫宣斯典故第一論教起因緣因緣既興有所起教不出三藏十二分教故第二論藏教所攝然藏教皆通權實今揀權取實唯圓教[(冰-水+丨)*夕]故第三論義理分齊既知圓義包含廣博未審被何根嚣故第四論教所被機雖知正被圓機未知能詮何為教體故第五論教體淺深已知教體該羅未知所宗尊崇何義故第六論宗趣通局既知旨趣冲深未委能詮文言廣狹

故第七論部類品會既知部類廣則無盡畧乃百千而亦未知何年傳譯有何感應使宗承有緒故第八論傳譯感通大旨既陳隨文解釋先明總目故第九論總釋經題總意雖知在文難曉故第十論別解文義故云十門釋經也(三藏者經藏律藏論藏也百千者十萬也此經有十萬偈故攝論謂此經名百千經也)。

【一教起因緣】教起因緣者明此經教法興起之因緣也謂如來出現最初欲說甚深大法即從眉間白毫相中放大光明以清淨智眼普觀法界一切眾生具有如來智慧德相但以妄想執著不知不見於是稱法界性而說此經令諸眾生修習聖道永離妄想執著自於身中得見如來廣大智慧與佛無異此則開示眾生等有佛智因緣而令斯教興也。

【二藏教所攝】藏即含藏之義謂經律論之三藏各能包含無量義理也教即契經重頌授記諷頌自說因緣譬喻本事本生方廣希有論議十二分教也所攝者謂此經與彼三藏十二分教互相攝也若彼攝此於三藏中屬經藏攝十二分中屬契經方廣二分所攝若此攝彼則三藏十二分教皆屬此經攝也蓋此經一法能含無[書-曰+皿]法門而況法法圓融重重無盡經云一切法門無盡海同會一法道場中是也(契經者謂長行散說之文也重頌者謂再頌長行之文也授記者謂佛授菩薩作佛之記也諷頌者謂不頌長行而直說偈也自說者謂佛不待他問而自說也因緣者謂有人問故為說是事也譬喻者謂假譬而說也本事者謂說弟子前世之事也本生者謂說菩薩所修行之事也方廣者謂說正理之廣大也希有者謂佛現神力種種等事也論議者謂決擇辯論一切法義也)。

【三義理分齊】義即圓教所詮玄妙之義理即法界所顯圓融之理謂此經所詮義理正屬圓教說一法則諸法皆攝談一位則諸位咸[(冰-水+丨)*夕]是故塵含法界念攝僧祇一切法門同歸華嚴性海也分齊者以圓教所明事事無礙法界及一切塵毛稱性圓融所顯之理正是此經分齊也(僧祇梵語具云阿僧祇華言無數)。

【四教所被機】教所被機者謂此圓融具德之教正被一乘圓頓之機諸大菩薩及無信等從類[(冰-水+丨)*夕]攝畧有十機令其信解悟入同遊華嚴性海經云我等諸佛護持此法令未來一切菩薩未曾聞者皆悉得聞乃至深入如來境界是也(十機者無信機違真機大實機狹劣機守權機正為機兼為機引為機權為機遠為機也)。

【五教體淺深】教體淺深者謂如來說教必有其體若演華嚴之教則以海印三昧及事事無礙為體今通論一大藏教從淺至深畧而明之有十體也(梵語三昧華言正定海印三昧者謂大海澄渟萬像皆現如印印物如來智海清淨湛然一切眾生心念根欲在如來三昧智中猶海現像也十體者音聲語言體名句文身體通取四法體通攝所詮體諸法顯義體攝境唯心體會緣入實體理事無礙體事事無礙體海印炳現體也)。

【六宗趣通局】語之所尚曰宗宗之所歸曰趣通者總論一代時教從狹至寬以為十宗局者別局一經也此經摠以因果緣起理實法界不思議為宗故所談所尚之語不出乎此蓋令人尋宗歸趣稱性起修證入法界成佛

果德若餘諸經則說法各異歸趣不同也(十宗者我法俱有宗法有我無宗法無去來宗現通假實宗俗妄真實宗諸法但名宗三性空有宗真空絕相宗空有無礙宗圓融具德宗也)。

【七部類品會】部即諸部類即流類謂從此經部內流出別行之經也盖此經教海難思無窮無盡從狹至廣畧顯十類一畧本經即今所傳之經一部三十九品八十卷文九會所談四萬五千偈其餘九類部品會數廣畧各不同也(十類經者畧本經下本經中本經上本經普眼經同說經異說經主伴經眷屬經圓滿經也九會者一會菩提塲二會普光明殿三會忉利天宮四會夜摩天宮五會兜率天宮六會他化天宮七會八會皆在普光明殿九會逝多林也)。

【八傳譯感通】傳譯者謂西天傳至東土譯彼梵語成此華言也盖此經前後凡二譯一晉義熙十四年北天竺僧佛度跋陀羅於揚州謝司空寺譯梵本為三萬六千偈成六十卷一唐證聖元年于闐國僧實义難陀於東都佛授記寺再譯蔓文兼補諸闕增益九千偈共前四萬五千偈成八十卷即今流傳者是也感通者佛度跋陀羅譯經之時感龍王遣一青衣童子每日從池而出以給瓶硯之水實义難陀譯經之時感天降甘露徵應良多備載傳記也(梵語佛度跋陀羅華言覺賢梵語實义難陀華言喜學也)。

【九總釋經題】揔釋經題者謂揔以妙義解釋大方廣佛華嚴經之題目也盖大方廣者所證法也佛華嚴者能證人也又云大以體性包含方廣乃業用周徧佛謂果圓覺滿華喻萬行披敷嚴乃飾法成人經謂貫穿常法故一經體用[書-曰+皿]大方廣五周因果皆佛華嚴斯乃人法雙標法喻齊舉具體具用有果有因理盡義圓統攝無外為一部之宏綱也(業用者謂佛不思議功德之業稱體之力用也五周因果者所信因果差別因果平等因果成行因果證入因果也)。

【十別解文義】別解文義者謂既總釋經題則當別解經文使妙義之不壅也此經文富義博一文一句包含法界科釋難盡畧而言之大科三分盖聖人設教必有其漸將說微言先顯因由故此經從世主妙嚴品為序分因緣既彰當機受法故此經從如來現相品至入法界品為正宗分正宗既陳務於流通復令末葉傳芳法燈永耀故此經從入法界品內尔時文殊師利從善住樓閣出已下為流通分故祖師作疏述鈔嘗釋其義焉(梵語文殊師利華言妙德)。

十波羅蜜(出華嚴經)

梵語波羅蜜華言到彼岸謂菩薩脩此十法化度眾生超生死海到涅槃岸也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語涅槃華言滅度)。

【一檀那波羅蜜】梵語檀那華言布施運心普周曰布輟己惠人名施經云菩薩為令眾生心滿足故內外悉捨而無所着是名檀那波羅蜜(內即內身謂頭目身命等外即外財謂金銀財物等也)。

【二尸羅波羅蜜】梵語尸羅華言清凉謂離熱惱得清凉故亦云防止謂調練三業止過防非好行善道不自放逸也又戒經云菩薩具持眾戒而無

所着是名尸羅波羅蜜(三業者身業口業意業也)。
【三羼提波羅蜜】梵語羼提華言忍辱他人加惱為辱於辱安受曰忍謂內心能安忍外所辱也經云菩薩悉能忍受一切諸惡於諸眾生其心平等無有搖動是名羼提波羅蜜。
【四毘梨耶波羅蜜】梵語毘梨耶華言精進練心於法曰精精心務達名進謂勤脩善法心無懈怠也經云菩薩普發眾業常修靡懈諸有所作恒不退轉是名毘梨耶波羅蜜。
【五禪那波羅蜜】梵語禪那華言靜慮謂念慮皆忘安心理境又名智生謂依定生智也經云菩薩於五欲境無所貪著諸次第定悉能成就是名禪那波羅蜜(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也諸次第定者謂於初禪定二禪定三禪定四禪定等次第而入也)。
【六般若波羅蜜】梵語般若華言智慧決定審理名智造心分別名慧謂照了一切諸法皆不可得故能通達無礙也經云菩薩於諸佛所善觀諸法得實相印普入一切智門是名般若波羅蜜(實相即一實相也無相之相名為實相印即印定一切法皆無相故)。
【七方便波羅蜜】方即方法便即便宜謂善巧方便隨機利物稱適緣宜也經云菩薩教化眾生而不厭倦隨其心樂而為現身說法是名方便波羅蜜。
【八願波羅蜜】願即誓願志求滿足也謂上求佛道下化眾生盡未來際成就行願也經云菩薩成就一切眾生供養一切諸佛盡未來刼證得如來智慧是名願波羅蜜(刼梵語具云刼波華言分別時節)。
【九力波羅蜜】力即力用謂行滿功成萬境無動能善辦眾事也經云菩薩具深心力無有雜染乃至具加持力令信解領受是名力波羅蜜。
【十智波羅蜜】智即智慧謂決斷無惑證法怡神善入佛慧明了無礙也經云菩薩知一切法真實知一切如來力普覺悟法界門是名智波羅蜜。
十種智(出華嚴經)
十種智者即三世諸佛一切種智也如來為令一切菩薩應當脩學而自得開解也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【一三世智】謂於過去現在未來三世之法皆悉通達圓明顯了是名三世智。
【二佛法智】佛梵語具云佛陀華言覺謂覺法自性善出世間現諸威儀說法度生是名佛法智。
【三法界無礙智】謂知一切眾生本具法界之體事理融通性分交徹互不相礙是名法界無礙智(性即理也分謂分限即事也)。
【四法界無邊智】謂知眾生色心諸法即是法界充徧一切世間無有邊際是名法界無邊智。
【五充滿一切世界智】謂如來從定而起廣大妙用徧滿世間無不照了是名充滿一切世間智。

【六普照一切世間智】謂如來有大智慧光明普能照了無量世界是名普照一切世間智。
【七住持一切世界智】謂如來有大神力住持世界知諸眾生機器大小而攝化之是名住持一切世界智。
【八知一切眾生智】謂如來知所化一切眾生善惡因緣皆悉明了是名知一切眾生智。
【九知一切法智】謂如來既知所化眾生亦復了知能化者法是名知一切法智。
【十知無邊諸佛智】謂如來知無邊諸佛出現世間說法教化一切眾生之事悉能明了是名知無邊諸佛智。

十種智明(出華嚴經)

智明者智慧明了也謂以十種善巧之智明了通達一切眾生境界教化調伏令出生死苦海而成正覺也。
【一知眾生業報智明】謂菩薩以善巧智明了達一切眾生造諸惡業而受苦報是名知眾生業報智明(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二知一切境界寂滅智明】謂菩薩以善巧智明了達世間一切境界清淨寂滅無諸雜染是名知一切境界寂滅智明。
【三知一切所緣唯是一相智明】謂菩薩以善巧智明了知一切眾生所緣諸法唯是一實相理皆如金剛不可破壞是名知一切所緣唯是一相智明。
【四能以妙音普聞十方智明】謂菩薩以善巧智明了知眾生雖空而能以無量妙音演一切法徧十方界無不聞知是名能以妙音普聞十方智明。
【五普壞染著心智明】謂菩薩以善巧智明普能滅壞一切眾生愛欲染著之心是名普壞染著心智明。
【六能以方便受生智明】謂菩薩以善巧智明能於十方世界種種方便示現受生化導有情是名能以方便受生智明。
【七捨離想受境界智明】謂菩薩以善巧智明於一切想念受用境界悉能捨離是名捨離想受境界智明。
【八知一切法無相無性智明】謂菩薩以善巧智明了知世間一切諸法皆悉非相非無相一性無性離諸分別是名知一切法無相無性智明(非相者謂一切法本空也非無相者謂一切法即有也一性無性者謂理不決定雖云一性而無定一之性也)。
【九知眾生緣起本無有生智明】謂菩薩以善巧智明了達一切眾生受生因緣所起之法悉皆空寂本來無生是名知眾生緣起本無有生智明。
【十以無着心濟度眾生智明】謂菩薩以善巧智明了知一切眾生雖皆空寂而恒起無着之心說法教化令其度生死苦海成無上正覺是名以無着心濟度眾生智明。

十種通(出華嚴經疏)
通即神通也妙用難測曰神自在無壅曰通。
【一他心通】謂世出世間所有諸法若種若類與夫他人所起心念皆悉能知是名他心通。
【二天眼自在清淨通】謂天眼離諸垢障清淨無礙於所見境而得自在無邊世界差別之相若淨若染一一種類悉能明見是名天眼自在清淨通。
【三宿住智通】宿即過去住即現在謂過去已往之事明了記憶皆隨念知如見現在等無有異是名宿住智通。
【四知刼通】刼梵語具云刼波華言分別時節謂無量世界無央數刼非有際限若現在因緣若當來果報稱實皆知是名知刼通(央者盡也)。
【五天耳智通】謂十方三世語言音聲一時領覽悉徹其源明了知聞皆無障礙是名天耳智通。
【六無體性智通】謂以無體性無作功用同理平等悉能普徧故隨念即形現有作用不動本處而隨所詣廣利群生是名無體性智通。
【七善分別言音通】謂一切言辭若美不美若近若遠悉能明了是名善分別言音通。
【八色身智通】謂知色即空故能現眾色空即色故無色現色了無留礙是名色身智通。
【九一切法智通】法即理事等法謂即事常理故無得物之功即理常事故無緣起之性寂用無礙體絕去來無法不知是名一切法智通。
【十滅定智通】滅即寂滅也謂若事滅不能即定起用今證理滅故得定散無礙由即事而理故不礙滅即理而事故不礙用起念入念悉無障礙不起寂定現諸威儀是名滅定智通。
十徧處定(出法界次第)
智度論云八背捨為初門八勝處為中行徧一切處為成就謂三種觀具足禪體始得成就此定謂之徧一切處者從所觀境徧滿得名也(八背捨者一內有色相外觀色二內無色相外觀色三淨背捨身作證四虛空處背捨五識處背捨六無所有處背捨七非有想非無想處背捨八滅受想背捨也八勝處者一內有色中內觀色少二內有色相外觀色多三內無色相外觀色少四內無色相外觀色多五青勝處六黃勝處七赤勝處八白勝處也)。
【一青徧一切處定】謂於定中還取八背捨八勝處中所見青色使徧一切處皆青故名青徧一切處定。
【二黃徧一切處定】謂於定中還取八背捨八勝處中所見黃色使徧一切處皆黃故名黃徧一切處定。
【三赤徧一切處定】謂於定中還取八背捨八勝處中所見赤色使徧一切處皆赤故名赤徧一切處定。

【四白徧一切處定】謂於定中還取八背捨八勝處中所見白色使徧一切處皆白故名白徧一切處定。
【五地徧一切處定】謂於定中還取八背捨八勝處中所見地色使一切處無不周徧故名地徧一切處定。
【六水徧一切處定】謂於定中還取八背捨八勝處中所見水色使一切處無不周徧故名水徧一切處定。
【七火徧一切處定】謂於定中還取八背捨八勝處中所見欠色使一切處無不周徧故名火徧一切處定。
【八風徧一切處定】謂於定中還取八背捨八勝處中所見風色使一切處無不周徧故名風徧一切處定。
【九空徧一切處定】謂於定中還取八背捨八勝處中所見空色使一切處無不周徧故名空徧一切處定。
【十識徧一切處定】謂於定中還取八背捨八勝處中所見識色使一切處無不周徧故名識徧一切處定。
十種修三昧法(出大集賢護經)
【一摧折我慢】我即我見慢即憍慢謂修行之人當先摧滅我慢之心而於佛法僧三寶及一切眾生之前皆起恭敬也。
【二知恩念報】謂修行之人當知天地盖載國王水土父母養育師長訓誨皆有恩德於一切時念念不忘以報其恩也。
【三心無嫉妬】謂修行之人攝化有情心無偏倚於他所有名譽財寶如同己有不生嫉惡妬忌之心也。
【四斷除疑惑】謂修行之人當以諸佛正知正見斷除疑惑而於善惡諸境皆無障礙也。
【五深信不壞】謂修行之人須發深信之心於佛正法繫念思惟堅固持守如金剛不壞也。
【六精勤無倦】謂修行之人當精進勤敏無有倦怠使得成就道果也。
【七常行乞食】謂修行之人當行乞食折我慢心益彼福德設有請者則依時赴之不可更赴別請也。
【八少欲知足】謂修行之人當離塵寡欲不可多求財利而起貪染常自知足調伏諸根以增長善法也。
【九樂無生法忍】無生法即不生不滅之理忍即安忍修行之人於不生滅之法起希樂心安忍不退以期必證乎此也。
【十常念三昧】謂修行之人應當事彼能證三昧法者即作佛想念念於此三昧精勤修習無有退失也。
十種行觀一切法(出華嚴經)
謂華嚴經十住品內第三修行住中令此位菩薩以十種行觀一切法也(十住者發心住治地住修行住生貴住方便具足住正心住不退住童真住法王子住灌頂住也菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【一觀一切法無常】謂此菩薩但觀一切諸法念念不停剎那生滅而未會得法身真常之理是名觀一切法無常(梵語剎那華言一念)。
【二觀一切法苦】謂此菩薩觀五蘊諸法有生有滅皆能逼迫於人而未證得涅槃之樂是名觀一切法苦(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也梵語涅槃華言滅度)。
【三觀一切法空】謂此菩薩觀一切諸法皆悉空寂而未能得真善之法是名觀一切法空(真善法者即出世之善法而非世間人天之善也)。
【四觀一切法無我】謂此菩薩觀一切諸法皆空即能趣入無我之境而未證得八自在之真我是名觀一切法無我(八自在者一示一身以為多身二示一塵身滿大千界三大身輕舉遠到四現無量類常居一土五諸根互用六得一切法如無法想七說一偈義經無量刼八身徧諸處猶如虛空也)。
【五觀一切法無作】謂此菩薩觀一切諸法既念念無常於是了知諸法無有造作之相是名觀一切法無作。
【六觀一切法無味】謂此菩薩觀一切諸法既皆是苦即無快樂之味息諸貪愛之念是名觀一切法無味。
【七觀一切法不如名】謂此菩薩觀一切諸法無有實體但有假名是名觀一切法不如名。
【八觀一切法無處所】謂此菩薩觀五蘊法中一一推求我相了不可得故彼五蘊之法亦無處所是名觀一切法無處所。
【九觀一切法離分別】謂此菩薩觀一切諸法了知即空離諸虛妄分別取著之相是名觀一切法離分別。
【十觀一切法無堅實】謂此菩薩觀一切諸法既離分別則知此之諸法悉皆虛妄而不堅實是名觀一切法無堅實。
十種忍(出華嚴指掌)
忍即安忍亦忍可也謂菩薩既斷無明之惑證無生理了達諸法本來寂滅是故見色聞聲如幻如化不起妄念而分別也然此忍體雖一而隨事立名則有十種也。
【一音聲忍】音聲忍者謂聞佛深教即能曉了忍可而不驚怖也。
【二順忍】順忍者謂於理於事悉能隨順諦審忍可而無違逆也。
【三無生忍】無生忍者謂了達諸法本來無生亦無有滅諦審忍可而妄念不起也。
【四如幻忍】如幻忍者謂了達諸法皆從因緣和合而生猶如幻化性本空寂諦審忍可而無執著也。
【五如焰忍】如焰忍者謂了知一切境界悉如陽燄無有真實諦審忍可而不執著也。
【六如夢忍】如夢忍者謂了諸妄心皆如夢境無有真實諦審忍可而不執著也。

【七如響忍】如響忍者謂世間一切語言音聲皆由因緣和合而成猶如谷響無有真實諦審忍可而不執著也。
【八如影忍】如影忍者謂了達色身由五蘊積聚而成本無實體諦審忍可而不執著也(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【九如化忍】如化忍者謂世間諸法無而忽有有即還無體非真實諦審忍可而不執著也。
【十如空忍】如空忍者謂了達世間出世間種種諸法悉如虛空無有色相諦審忍可而不執著也。
十種不思議法(出菩薩藏正法經)
思即心思議即口議謂十種法皆不可心思口議也。
【一最勝身相不思議】謂如來身相最勝清淨積集無量福智嚴具一切勝妙功德如大圓鏡現眾色像如虛空界普攝一切令諸眾生超越分別離諸疑悔信解清淨發希有想故名最勝身相不思議。
【二妙好音聲不思議】謂如來於眾會之中所出音聲隨宜說法皆為調伏一切眾生作諸善利令其各得解了咸生愛樂心意適悅如獅子吼具足最勝故名妙好音聲不思議。
【三最上大智不思議】謂如來以最上大智無礙知見說一切法令彼眾生信解清淨發希有想故名最上大智不思議。
【四微妙光明不思議】謂如來所有光明廣大微妙徧照十方世界超出諸天光曜令一切世界眾生見光明者信解清淨超越分別離諸疑悔身心喜悅發希有想故名微妙光明不思議(十方者四方四維上下也)。
【五圓滿戒定不思議】謂如來身口意業悉皆清淨大寂滅定常自安住圓成滿足令諸眾生發希有想亦能清淨三業修諸禪定即得最上波羅蜜多故名圓滿戒定不思議(三業即身業口業意業也梵語波羅蜜多華言到彼岸)。
【六廣大神足不思議】謂如來神通具足於諸眾中最為第一若目連若聲聞若菩薩所有神力皆無與如來等者故名廣大神足不思議(目連梵語具云目犍連華言采菽氏佛弟子中之最神通者也)。
【七如來智力不思議】謂如來具足最勝智慧之力於天人世間作獅子吼轉妙法輪所有一切天人魔梵悉不能與如來等者令一切眾生如實了知超越分別離諸疑惑故名如來智力不思議(魔梵者魔即魔王梵即梵天也)。
【八無所畏不思議】謂如來成無上正覺具無上勝智於諸眾中作獅子吼轉妙法輪得大自在故名無畏不思議。
【九大悲心不思議】謂如來不捨一切眾生心常悲愍無有限量而諸眾生於無住法中不能了知如來即運大悲之心令其悉得覺了信解清淨生希有想故名大悲心不思議。
【十不共法不思議】謂如來具足一切功德智慧於大眾中作獅子吼轉妙法輪諸沙門婆羅門天人魔梵悉不能轉令諸眾生超越分別離諸疑惑

信解清淨發希有想故名不共法不思議(梵語沙門華言勤息梵語婆羅門華言淨行)。

十無盡句(出華嚴經疏)

華嚴經十地品中說初歡喜地菩薩發廣大如法界之願以十無盡而得成就若此十句乃有盡者我願有盡以此十句而無盡故我之大願亦無有盡是名十無盡句也。

【一眾生界無盡】謂諸眾生皆依世界而住其中眾生無有盡故是名眾生界無盡。

【二世界無盡】謂一切世界皆依虛空而住其中世界無有盡故是名世界無盡。

【三虛空界無盡】謂十方一切虛空徧至一切色非色處皆有是空無有窮盡是名虛空界無盡。

【四法界無盡】謂一真法界體性無盡稱此體故說無量法化諸有情安置涅槃亦無有盡是名法界無盡(一真法界即一真實之理也)。

【五涅槃界無盡】梵語涅槃華言滅度謂如來度生既畢入涅槃界入而復出出而復入無窮無盡是名涅槃界無盡。

【六佛出現界無盡】謂如來出現度生說法巧妙方便神通智慧無有盡故是名佛出現界無盡。

【七如來智界無盡】謂如來智慧能知自心所緣法界無有盡故是名如來智界無盡。

【八心所緣無盡】謂如來心之所緣即是智慧所照之境無有盡故是名心所緣無盡。

【九佛智所入境界無盡】謂佛之智即是真性了了常知能入無盡境界是名佛智所入境界無盡。

【十世間轉法轉智轉無盡】世間轉者謂展轉攝前眾生界世界虛空界也法轉者謂展轉攝前法界涅槃界佛出現界也智轉者謂展轉攝前如來智界心所緣佛智所入境界也盖此三轉皆言無盡者以世法智之三種展轉含攝無有窮盡是名世間轉法轉智轉無盡。

十種因(出瑜伽師地論)

【一隨說因】謂於欲界色界無色界一切惑業繫縛之法及不繫縛之法隨所見聞覺知起諸言說是名隨說因(不繫縛法者即出世之道法也)。

【二觀待因】待即對待之義謂諸有情欲求三界有繫縛之樂及出世間不繫縛之樂於彼諸緣或為求得或為受用觀彼對此是名觀待因。

【三牽引因】謂由淨不淨業熏習三界善惡諸行於可愛不可愛趣中牽引可愛不可愛之自體是名牽引因(趣即六趣言可愛不可愛者謂於六趣之中天人二趣可愛修羅餓鬼畜生地獄四趣不可愛也自體即行業之自體也)。

【四生起因】謂三界可愛不可愛一切惑業繫縛之法各從自種而生愛即能潤種即所潤由此所潤先所牽引可愛不可愛之自體遂得生起是名

生起因。
【五攝受因】謂三界惑業繫縛之法及不繫縛之法悉依真實之見之所攝受是名攝受因。
【六引發因】謂欲界繫縛善法能引欲界繫縛諸勝善法也又能引色界無色界繫縛及不繫縛善法乃至無色界繫縛善法能引無色界諸勝善法及不繫縛善法等是名引發因。
【七定異因】謂三界繫縛諸法及不繫縛法自性功能有差別故是名定異因。
【八同事因】謂由自性功能和合而生三界繫縛之法及不繫縛法亦得成辦和合是名同事因。
【九相違因】謂三界繫縛之法及不繫縛法將得生時若障礙現前便不得生是名相違因。
【十不相違因】謂三界繫縛之法及不繫縛法將得生時若無障礙現前即便得生是名不相違因。
十想(出大智度論)
【一無常想】想即觀想謂觀諸眾生及諸世界一切有為之法遷流代謝皆悉無常作是想者智慧相應得斷生滅是名無常想。
【二苦想】謂觀五陰之身一切有為之法常為諸苦之所逼迫作是想者智慧相應得滅眾苦是名苦想(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【三無我想】謂觀一切諸法畢竟空寂皆無有我作是想者智慧相應得滅我想是名無我想。
【四食不淨想】謂觀諸飲食皆從不淨因緣而生如肉從精血水道所生實為膿蟲住處又如酥乳及酪血所變成與爛膿無異厨人汗垢種種不潔作是想者智慧相應斷不淨食是名食不淨想。
【五世間不可樂想】謂觀世間一切色欲滋味車乘服飾宮室園苑皆是惡事心生厭離不可樂著作是想者智慧相應得斷貪樂是名世間不可樂想。
【六死想】謂觀此身念念無常剎那生滅遷謝不停作是想者智慧相應得滅死相是名死想(梵語剎那華言一念)。
【七不淨想】謂觀此身從煩惱業種為因父母不淨為緣和合成就內有三十六物外則九竅常流皆悉不淨作是想者智慧相應遠塵離垢是名不淨想(三十六物者謂髮毛[瓜-丶]齒眵淚涎唾屎尿垢汗皮膚血肉筋脉骨髓肪膏腦膜肝膽腸胃脾腎心肺生藏熟藏赤痰白痰也九竅者兩眼兩耳鼻口大便小便也)。
【八斷想】謂觀有餘涅槃之相斷諸結使得無漏道作是想者智慧相應得斷三毒是名斷想(梵語涅槃華言滅度有餘涅槃者謂二乘之人雖斷見思之惑尚餘色身未滅也結即結縛使即驅使謂煩惱之縛驅使眾生入生死海也無漏者謂不漏落生死也三毒者貪毒瞋毒癡毒也)。

【九離想】謂觀涅槃之相遠離煩惱離結使縛作是想者智慧相應得離愛欲是名離想。
【十盡想】謂觀無餘涅槃之相滅一切苦盡諸結使一切煩惱不復更生作是想者智慧相應得盡諸漏是名盡想(無餘涅槃者謂二乘人煩惱斷盡色身亦滅而無餘也)。
大明三藏法數卷第二十九
發心施財信安鎮善人韓玥造經一函。
以此功德伏願。
十方盡歸命　滅罪增淨信
願遊華藏海　同生淨土中

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

十門敘密呪功德深廣(出顯密圓通成佛心要集)

【一護持國王安樂人民門】寶星陀羅尼經云一切國土中所有陀羅尼流行之地令其人王常得擁護勢力自在亦能擁護王之政教一切不祥之事皆悉斷滅復令財穀豐饒人民安樂也(梵語陀羅尼華言呪呪即願也亦云捻特即真言也)。

【二能滅罪障遠離鬼神門】菩提場莊嚴陀羅尼等經云若書寫陀羅尼置佛像中塔中杵中或書在幢上紙素竹帛等上有眾生得覩視者或身手觸者或頂戴之者乃至書于鍾鼓鈴鐸之上有聞聲者縱有五無間罪悉皆滅[書-曰+皿]鬼神天魔悉皆馳散無能侵害也(五無間者一趣果無間二受苦無間三時無間四命無間五形無間也)。

【三除身心病增長福慧門】聖六字陀羅尼等經云行人持誦陀羅尼能除種種身心病苦及一切貪嗔癡心自然消滅凡所出言人皆信受一切經論并世間典籍自然通曉縱其自身不作福業十方如來所有功德悉與此人增長一切福慧也。

【四凡所求事皆不思議門】觀自在儀軌等經皆說行人欲求所願成就時用四種物一者弓箭及數珠袈裟等二者雌黃等種種藥物三者河岸上土作獅子孔雀等禽獸之形四者或塑畫雕刻佛菩薩明王等像置千壇中如法誦呪若得火焰出時或手執或塗身等即得飛騰虛空遊諸世界供養諸佛隨心所樂悉皆成就不可思議也。

【五利樂有情救脫幽靈門】大寶樓閣等經皆說若有眾生得見持呪人身者或聞語音者或影中過者[書-曰+皿]滅十惡五逆之罪來世生諸佛國又無垢淨光等經皆說若人廣造惡業死墮三塗得持呪人稱亡人名字專心誦尊勝隨求等呪亡者即離惡趣生於天上也(十惡者一殺生二偷盜三邪[婬-壬+(工/山)]四妄語五兩舌六惡口七綺語八貪欲九嗔恚十邪見也五逆者弒父弒母弒阿羅漢破和合僧出佛身血也三塗者刀塗血塗火塗也)。

【六是諸佛母教行本源門】樓閣經云真言是諸佛之母成佛種子若無真言終不能成無上正覺又三藏教[書-曰+皿]從陀羅尼所出又儀軌經云唵字即是無相法界無相法界全是真言是知真言捻含萬行即三藏之本源也(三藏教者即經藏律藏論藏也)。

【七四眾易修金剛守護門】謂一切四眾行住坐臥四威儀中易於誦習不假備通教典所以曼荼羅疏云念如來之神呪心心暗契如來心諷菩薩之密言願願冥符菩薩願何生死之不逃何涅槃而不得又大悲心陀羅尼經云誦持陀羅尼者是無畏藏善神龍王金剛密跡常隨衛護不離其側也(四眾者比丘比丘尼優婆塞優婆夷也)。

【八令凡同佛如來歸命門】大悲心陀羅尼經云誦持陀羅尼者口中所出言音若善若惡一切天龍聞者皆是清淨法音又偈云譬如靈[舟-(白-日)]藥點鐵成金寶誦持陀羅尼變凡作賢聖又佛頂偈云十方世界諸如來護念歸念受持者是也。
【九具自他力現成菩提門】十住論云一自力門謂修六度萬行等如人陸地步行千里其到則遲二他力門謂念佛等如人水路舡行千里其到則疾今真言中密具自他二力又諸經中說真言行者現世能成無上菩提故樓閣經云我於無量百千劫雖行苦行猶不得菩提由纔聞陀羅尼故加行相應便成正覺是也(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【十諸佛如來尚乃求學門】大乘莊嚴寶王經云諸佛亦求神呪何況凡夫而不持誦耶。
十無盡藏(出華嚴經)
藏者含攝也此之十藏乃功德林菩薩於華嚴會上為諸菩薩演說欲令其普入一切佛法之門成就無上菩提饒益一切眾生以其各能含攝無盡法海故皆名為無盡藏也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語菩提華言道)。
【一信藏】謂菩薩淨信堅固解諸法空心不退轉生如來家增長信解聞持一切佛法為眾生說皆令信解是名信藏。
【二戒藏】謂菩薩奉持三世諸佛無盡淨戒具足圓滿無所毀犯念諸眾生顛倒破戒我成菩提說真實法令離顛倒同得此戒是名戒藏(三世者過去現在未來也)。
【三慙藏】謂菩薩憶念過去不知慙天於諸眷屬備造眾惡令為諸佛所知而生於慙是故發露懺悔修行梵行證得菩提為諸眾生說真實法令修於慙是名慙藏。
【四愧藏】謂菩薩自愧往昔及諸眾生於五欲境具行惡法感垢穢身今為諸佛所知而生於愧是故發露懺悔修行梵行速成菩提為諸眾生說真實法令修於愧是名愧藏(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【五聞藏】謂菩薩聞世間出世間一切諸法故於諸佛菩薩緣覺聲聞出現入滅皆悉能知念諸眾生無有多聞不能了知此一切法我當持多聞藏證得菩提為眾生說是名聞藏(世間法即三界中之法出世間法即諸佛聖賢之法也)。
【六施藏】謂菩薩稟性仁慈常行十施無有一念悔恨之心亦不求於果報但為利益法界眾生是名施藏(十施者分減施竭盡施內施外施內外施一切施過去施未來施現在施究竟施也)。
【七慧藏】謂菩薩智慧具足了知世間出世間一切諸法皆從業報諸行因緣所造悉是虛假無有堅固欲令眾生知其實性廣為宣說是名慧藏。
【八念藏】謂菩薩捨離癡惑得具足念能憶知一生乃至無量百千生成住壞空一劫乃至無數劫一切諸佛出世各說諸佛名號授記脩多羅等十二分經及眾會根性等[書-曰+皿]能記憶是名念藏(成住壞空者即四中劫

之名合此四中劫為一大劫劫梵語具云劫波華言分別時節梵語願多羅華言契經十二分經者一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議十自說十一方廣十二授記也)。

【九持藏】謂菩薩具大威力於諸佛所說脩多羅法文句義理一生受持乃至無數生受持及諸佛名號劫數授記脩多羅等無量無[書-曰+皿]皆能受持無有忘失是名持藏。

【十辯藏】謂菩薩具大辯才廣為眾生演說諸法或說一品法乃至無數品法或一日說乃至無數劫說劫數可[書-曰+皿]一文一句義理難[書-曰+皿]隨眾生根皆令滿足是名辯藏。

大乘十喻(出法界次第)

【一如幻喻】謂如幻師幻作種種諸物及男女等相體雖無實然有幻色可見一切諸法亦復如是無明幻作迷心不了妄執為實脩空觀者於諸幻法心無所著皆悉空寂故說如幻(空觀者謂觀一切法皆空也)。

【二如焰喻】謂無智之人初見陽焰妄以為水諸煩惱法亦復如是無智不了於結使中妄計我相智者了知虛誑不實皆是妄想故說如焰(結使者即煩惱也謂因煩惱纏縛驅使眾生入於生死也)。

【三如水中月喻】謂月在虛空影現於水諸愚小兒見水中月歡喜欲取智人見之則笑以喻無智之人於五陰中妄起我我所見執為實有於苦法中而生歡喜然得道智人愍之而笑故說如水中月(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也我者謂於五陰中強立主宰妄執為我也我所者即五陰之身等也)。

【四如虛空喻】謂虛空但有其名而無實體愚人不了執之為實一切諸法亦復如是空無所有若無智之人於虛妄中計為實有起彼我執脩空觀者了一切法皆無所有故說如虛空。

【五如響喻】謂深山幽谷及空舍中若語聲若擊物聲隨聲相應而有響生愚人不了以為實有一切音聲語言亦復如是若有智之人了知語音無實心不生著故說如響。

【六如乾城喻】乾城即乾闥婆城梵語乾闥婆華言香陰謂日初出時見城門樓櫓宮殿行人出入日高漸滅但可眼見而無實有一切諸法亦復如是若智者則能了知諸法悉皆虛假不生執著故說如乾城。

【七如夢喻】謂人夢中本無實事妄執為實覺還自笑一切諸法亦復如是一切結使煩惱皆是虛妄而人不了執之為實若得道覺悟乃知虛妄亦復自笑故說如夢。

【八如影喻】謂影但可見而不可捉一切諸法亦復如是如眼耳等諸根雖有見聞覺知求其實體即不可得故說如影。

【九如鏡中像喻】謂鏡中之像非鏡作非面作非鏡面和合而作亦非無因緣作雖非實有然亦可見故無智不了執之為實而生分別一切諸法亦復如是從因緣生無有實體但有名字而起分別誑惑凡夫生諸煩惱若有智之人雖復見聞了知無實而不執著故說如鏡中像。

【十如化喻】謂若諸天僊得神通者變化諸物雖有男女等相而無生老病死苦樂之實一切諸法亦復如是無有生滅如化而成亦無有實如人之生但從先世之因而有今世之身悉皆虛假何實之有故說如化。

性虛空十義(出宗鏡錄)

謂真如性體廣博無量猶若虛空有斯十義也。

【一無障礙義】無障礙者謂真如性體於一切諸法圓融通達悉無障礙也。

【二周徧義】周徧者謂真如性體於一切處無不周徧也。

【三平等義】平等者謂真如性體於一切法等無有異也。

【四廣大義】廣大者謂真如性體廣而無邊大而無外也。

【五無相義】無相者謂真如性體圓明寂絕離諸色相也。

【六清淨義】清淨者謂真如性體湛然瑩徹無所染汙也。

【七不動義】不動者謂真如性體圓常凝靜不遷不變也。

【八有空義】有空者謂真如性體本來空寂能滅一切有為之法也。

【九空空義】空空者謂真如性體本來空寂於諸空相亦不可得也。

【十無得義】無得者謂真如性體諸佛眾生本來具足雖有能證之智而所證之理體元寂絕亦不可得也。

水喻真心有十義(出宗鏡錄)

【一水體澄清】謂眾生真如之心自性清淨圓湛明徹本來無染猶水之澄清也。

【二得泥成濁】謂眾生真如之心性雖清淨而為無明之所染汙覺成不覺猶水本清淨得泥成濁也(無明者無所明了也)。

【三雖濁不失淨性】謂眾生真如之心雖為無明所染而清淨本然之性初不變異猶水雖濁而其淨性則不失也。

【四泥澄淨現】謂眾生真如之心為無明所覆其體昏昧若能除去無明之惑則本然清淨之性自然澄現猶水之濁澄去其泥則淨體現矣。

【五遇冷成冰而有硬用】謂眾生真如之心與無明合則能隨諸染緣變造九界之法而成本識之用猶水之遇冷成冰而有堅硬用也(九界者菩薩界緣覺界聲聞界天界人界脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也本識即第八識也)。

【六雖成硬用不失濡性】謂眾生真如之心雖隨無明之緣起諸染用然即事恒真其不變之性未始不存猶水雖成堅硬之用而其濡性未嘗有失也。

【七煖融成濡】謂眾生真如之心雖隨無明之緣而起染用然無明若[書-曰+皿]則本識還淨猶水之成冰遇煖而融濡性自成也。

【八隨風波動不改靜性】謂眾生真如之心隨無明風而波浪起滅然其不生不滅之性則自然不變猶水之隨風波動而靜性不改也。

【九高下流注不動自性】謂眾生真如之心隨緣流注而性常湛然不動猶水隨地高下排引流注而不動自性也。

【十隨器方圓不失自性】謂眾生真如之心普徧諸有為法而自性不失猶水之隨器方圓而不失自性也。

海印三昧有十義(出宗鏡錄)

海印是喻梵語三昧華言正定從喻立稱故名海印三昧謂大海澄渟湛然不動萬象皆現如印印物如來智海清淨湛然一切眾生心念根欲悉在如來三昧智中猶海現像也。

【一無心能現】謂如來三昧法性平等離諸名相不加功用而能顯現一切諸相是名無心能現。

【二現無所現】謂如來三昧隨眾生心現種種相如光如影了不可得是名現無所現。

【三能現所現非一】謂如來三昧能現之智與所現之境一念圓融十方普應是名能現所現非一。

【四能現所現非異】謂如來三昧能現之智所現之境雖十方普應不同莫不本乎一念是名能現所現非異。

【五無去來】謂如來三昧萬法現於自心彼亦不來身相徧於法界我亦不去是名無去來。

【六廣大】謂如來三昧普徧包容無法不備眾生世界不離一心是名廣大。

【七普現】謂如來三昧一切世界於一心中不簡巨細皆悉能現是名普現。

【八頓現】謂如來三昧一切世界當念即現無前無後色相宛然是名頓現。

【九常現】謂如來三昧於諸法相無有不現之時非如明鏡像對則現不對則不能現是名常現。

【十非現現】謂如來三昧寂然不動為眾生故於非應中隨感而應猶如明鏡無心現物而像對即現是名非現現。

十法界(出佛祖統紀)

法界者諸佛眾生之本體也然四聖六凡感報界分不同故有十法界焉(四聖者佛菩薩緣覺聲聞也六凡者天人阿修羅餓鬼畜生地獄也)。

【一佛法界】佛梵語具云佛陀華言覺覺具三義一者自覺謂悟性真常了惑虛妄二者覺他謂運無緣慈度有情眾三者覺行圓滿謂萬行具足為三界師是名佛法界(三界者欲界色界無色界也)。

【二菩薩法界】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂自行成就而能覺悟一切眾生是名菩薩法界。

【三緣覺法界】緣覺者謂稟佛教法觀十二因緣覺悟真空之理是名緣覺法界(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。

【四聲聞法界】聲聞者謂聞佛聲教依四諦法而脩證真空是名聲聞法界(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【五天法界】天者天然自然樂勝身勝清淨光明世間無比三界共有二十八天因脩上品十善兼脩禪定感報而生是名天法界(二十八天者欲界有六天四天王天忉利天夜摩天兜率天化樂天他化自在天也色界有十八天初禪有三天梵眾天梵輔天大梵天二禪有三天少光天無量光天光音天三禪有三天少淨天無量淨天遍淨天四禪有九天無雲天福生天廣果天無想天無煩天無熱天善見天善現天色究竟天也無色界有四天空處天識處天無所有處天非非想處天也十善者不殺不盜不邪婬不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪不瞋不邪見也謂之上品者以作善時於欲作正作作已三時之中心俱不悔也)。
【六人法界】人者忍也於世違順之境皆能安忍也謂人生於四洲之中能行仁義禮智信之五常能持不殺不盜不邪婬不妄語不飲酒之五戒具修中品十善感報而生是名人法界(四洲者東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼北欝單越也中品者謂於作善已後起少悔之心也)。
【七阿脩羅法界】梵語阿脩羅華言非天淨名疏云此神果報最勝隣次諸天而非天也在因之時懷猜忌心雖行五常欲勝他故作下品十善感報而生是名阿修羅法界(下品者謂於作善之時即生悔心也)。
【八鬼法界】謂此鬼類徧於諸趣有福德者作山林[塚-豕+豕]廟神無福德者居不淨處不得飲食受苦無量在因之時諂誑心意作下品五逆十惡感報而生是名鬼法界(下品者謂作惡之時即能悔也五逆者弒父弒母弒阿羅漢破和合僧出佛身血也十惡者一殺生二偷盜三邪婬四妄語五兩舌六惡口七綺語八貪九瞋十邪見也)。
【九畜生法界】畜生者亦云旁生此類徧在諸處披毛戴角鱗甲羽毛四足多足有足無足水陸空行互相吞噉受苦無窮宿由愚痴貪欲作中品五逆十惡感報而生是名畜生法界(旁生者謂其身形橫生也中品者謂作惡已後起少悔心也)。
【十地獄法界】地獄者在地之下也謂八寒八熱等獄其中眾生受苦無窮經劫無量因作上品五逆十惡重罪感報而生是名地獄法界(八寒者頞浮陀獄泥賴浮陀獄阿吒吒獄阿波波獄嘔喉獄欝波羅獄波頭摩獄芬陀利獄也八熱者想獄黑繩獄堆壓獄叫喚獄大叫喚獄燒炙獄大燒炙獄無間獄也劫梵語具云劫波華言分別時節上品者謂人作惡於欲作正作作已三時之中俱不能悔也)。
菩薩脩十法見涅槃(出涅槃經)
梵語涅槃華言滅度經云師子吼間佛言菩薩成就幾法能見如是無相涅槃至無所有佛言成就十法則明見涅槃無相至無所有處(滅度者謂大患永滅超度三界也無相涅槃者謂涅槃之法離一切色相也)。
【一信心具足】謂脩菩薩行須發起圓常正信之心信一切法皆是佛法一切眾生皆有佛性如經所云深信十方諸佛方便示現一切眾生及一闡

提悉有佛性亦信如來永無生老病死乃至信於如來畢竟不入涅槃之類是名信心具足(闡提梵語具云一闡提華言信不具)。
【二淨戒具足】謂脩菩薩行當須身心清淨受持禁戒專為成就佛果菩提如經所說清淨持戒而不為戒不為利養乃至不為聲聞辟支佛唯為最上第一義故護持禁戒是名淨戒具足(梵語菩提華言道辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺)。
【三親近善知識】謂脩菩薩行當遠離諸惡邪見親近善友知識如經所云若有能說信戒多聞布施智慧令人受行即須親近恭敬供養是名親近善知識。
【四樂於寂靜】謂脩菩薩行即當離諸喧鬧澄神息慮以求佛道如經所說身心寂靜觀察諸法甚深境界是名樂於寂靜。
【五精進】謂修菩薩行即當一心勇猛安住止觀毋令退失如經所說繫心觀於真諦設使頭上火然終不放捨是名精進(止觀者謂止息散乱觀照昏沉也真諦者謂諦審諸法皆即真空也)。
【六念具足】謂修菩薩行即當存心三寶思惟實理不忘戒施如經所說念佛念法念僧念戒念天念捨是名念具足。
【七輭語】謂修菩薩行當清淨口業發言誠諦調柔和美離諸諂誑如經所說實語妙語先意問訊時語真語等是名輭語。
【八護法】謂修菩薩行即當弘持正法宣說妙義展轉流布不斷佛種如經所說愛樂正法常樂演說讀誦書寫思惟其義廣宣敷揚令其流布之類是名護法。
【九供給同行】謂修菩薩行凡同事者有所不足即當推己之有以濟其無使得安心成辦道業而無馳求之患如經所說若見同學同戒有所乏少轉從他乞所謂薰鉢染衣瞻病所須衣服飲食臥具房舍而供給之是名供給同行。
【十具足智慧】謂修菩薩行常以妙觀之智觀察一切諸法悉皆明了通達無礙如經所說觀於如來常樂我淨一切眾生悉有佛性乃至觀法二相所謂空不空常無常樂無樂我無我淨不淨之類是名具足智慧(常樂我淨者謂不遷不變名常離生死苦名樂八大自在名我離諸惑染名淨即佛之四德也)。
修十種善法如師子王(出寶雨經)
菩薩因修善法得無上正真之道為天人師令一切邪魔外道見者無不調伏如師子王有大威力而能懾伏諸獸所向無不自在故以為喻也。
【一得不驚怖】謂菩薩以勇猛精進得最上乘於諸法中無與等者故能遊戲生死不驚不怖得大自在如師子王於百獸中莫能與等遊行之處無所驚怖也。
【二得無怯懼】謂菩薩具大智辯才於一切諍論之時無少怯懼亦不矜勝如師子王聞彼野干諸惡獸聲終無怯懼也(野干似狐而小形色青黃胖行夜鳴如狼聲)。

【三心無退屈】謂菩薩具大智辯才勇猛精進之心如金剛山不可遷動設於眾中有所諍論其心勇猛終無退屈如師子王雖令近人終無退避也。
【四如師子吼】謂菩薩為諸有情說大乘法能令一切外道天魔驚怖解散如師子王哮吼之時能令惡獸野干之屬悉皆驚駭馳走而去也。
【五得無所畏】謂菩薩具平等智得大自在於諸有情界中威儀寂靜得無所畏如師子王遊行諸處獨行絕侶心無所畏也。
【六遊行園林】謂菩薩自性寂靜智慧融通常能遊戲無礙善法之林如師子王自性無畏能現威勢遊諸園林也。
【七依止巖窟】謂菩薩以禪定智慧而為巖窟行住坐臥依止其中如師子王常於高巖邃窟之中而為依止也。
【八得無所取】謂菩薩以勇猛精進之心捨棄一切煩惱永無所取如師子王棄捨所有藏積悉無所取也。
【九能破諸魔】謂菩薩成等正覺坐於菩提道場獨一無二而能摧破諸魔軍眾如師子王勇猛勢力而能懾伏諸惡獸也。
【十守護法苗】謂菩薩於諸示現之處一切有情所種善法之苗悉為守護不令邪魔外道之所損壞如師子王所遊行處一切惡獸無能親近於彼而壞人之禾苗也。
菩薩修十種得地三昧(出寶雨經)
梵語三昧華言正定盖地之為德博厚平靜物無不載生育滋長不自為功包含攝受周徧無量於淨於穢了無憎愛菩薩修行得其三昧有似於地故名得地三昧。
【一廣大無邊】謂菩薩功德智慧不可思議莊嚴願行無量無邊譬如大地周徧十方無有界限也。
【二存濟眾生】謂菩薩以廣大慈悲之心徧行六度於法界一切有情悉能存濟得所依止凡有所需若法若財悉如其意隨時隨處無有限礙如地廣大了無邊際一切眾生皆能容受隨其種性各得依止而能生長也(六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也)。
【三恩不望報】謂菩薩以慈悲愍愛之心利益一切有情未了悟者令得了悟未解脫者令得解脫恩德普被而心不希報譬如大地生育萬物而亦無所望報也。
【四普能容受】謂菩薩於諸佛所說之法雖無量無邊不可思議悉能一心受持無有遺失譬如大地天降洪雨無量無邊悉能容受也。
【五眾生依止】謂菩薩能為一切有情作歸依處凡所修習一切善法乃至得入涅槃皆以菩薩為之依止譬如大地能為一切萬物之所依止也(梵語涅槃華言滅度)。
【六能生善種】謂菩薩以方便力能令一切有情所有善根種子皆因法雨而生譬如大地世間所有一切種子皆依於地而得生也。

【七如大寶器】謂菩薩以方便力能令一切有情修習一切功德善法之寶隨其根器皆因菩薩而得成就譬如大地能為眾寶之器也。
【八能出眾藥】謂菩薩善巧說法能除一切有情煩惱等病譬如大地出生一切眾妙之藥可以療治一切病也。
【九不可傾動】謂菩薩以禪定之力安忍逆順二境不生瞋愛而於一切內外諸緣莫能擾動譬如大地萬古寧靜不因他緣傾覆搖動也。
【十不驚不畏】謂菩薩以定慧之力心恒寂靜安住正理或遇邪魔外道用彼種種妖邪之術故相侵撓乃至欲行傷害菩薩晏然無少驚畏譬如大地雖遇烈風雷電崖傾海沸而地自若也。
菩薩修十種念處(出除盖障菩薩所門經)
念即能念之智身即所念之處智即能觀之觀處即所觀之境菩薩於十種法常自觀察是為十種念處也。
【一身念處】身以積聚為義謂積聚諸根而成身也菩薩觀察所有身中從我所起諸不善法皆悉遠離又當從頂至踵徧觀其身而悉無我是身不淨臭穢可惡作是觀時身中所起貪愛諸欲及計我想等執悉不可得則能成就一切善法遠離一切惡法也。
【二受念處】受以領納為義謂六根受六塵也菩薩思惟所有諸受皆悉是苦愚人顛倒計以為樂貪愛染著不肯暫捨菩薩自既勤行斷苦受已復教他人亦如是觀知受是苦不生貪染也(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【三心念處】心亦以積聚為義又慮知也謂能積聚一切善惡之法於一切法復能思慮而覺知也菩薩思惟心實無常計執為常無我謂我不淨謂淨是心動搖如風如火不得暫停一切法中心為先導心若調伏即一切法悉得調伏也。
【四法念處】法即意根所起之法菩薩於貪瞋癡等諸不善法如實了知過患勤斷除已即能於諸善法心生愛樂住正念處而於彼法求所成辦自能行已復教他人亦如是而修也。
【五境界念處】謂菩薩於諸可意及不可意色聲香味觸諸境界中觀察思惟皆是虛假不生貪恚又作是念我今不應於此空法之中而起貪恚作是觀時不為境壞不著所得自能行已復教他人亦如是而修也。
【六阿蘭若念處】梵語阿蘭若或云阿練若華言閑靜處謂不作眾事名閑無憒鬧處名靜或翻無諍謂不與世諍也菩薩修無諍行及寂靜行即名為阿蘭若處應當遠離不如理作意於如理法中心生愛樂增廣修習自能行已復教他人亦如是而修也。
【七都邑聚落念處】謂菩薩若入都邑聚落常加精專行菩薩行於諸博奕酒肆歡宴歌舞及餘一切非應行處即當遠離是故菩薩不為聲色所惑塵勞所染也。

【八名聞利養念處】謂菩薩道德既隆名聞流布故人多歸向當念所受利養等事但為施主作福田故而乃受之不可貪著執為己有隨其所得即與眾共不使有一毫矜恪之心也。
【九如來學門念處】謂菩薩思惟過去現在未來三世諸佛皆如是學得成正覺轉大法輪入般涅槃我當起淨信心尊敬勤修亦復成就與佛無異(梵語般涅槃華言滅度)。
【十斷諸煩惱念處】謂菩薩以正念故而能了知一切煩惱雜染等法皆由六根為因六塵為緣之所生起以了知故而悉遠離故得六根清淨而無所染著也。
十受生藏(出華嚴經)
受生即生如來家也藏即含藏之義含藏所修所證之理也謂善財童子於華嚴會上第三十九參妙德夜神問言云何修菩薩行生如來家荅言善男子菩薩有十種受生藏若能修習圓滿即入毘盧遮那如來無量受生藏海願一切菩薩示現受生我皆親近是名受生藏也(菩薩梵語具云菩提薩埵華嚴覺有情梵語毘盧遮那華言徧一切處藏海者謂其含藏之廣也)。
【一供養諸佛受生藏】謂菩薩願常恭敬供養一切諸佛深信愛樂修諸功德無有厭足即得生如來家是名供養諸佛受生藏。
【二發菩提心受生藏】梵語菩提華言道謂菩薩發無量菩提心恒起大悲救護眾生攝化成就即得生如來家是名發菩提心受生藏。
【三觀諸法門修行受生藏】謂菩薩觀察一切法門修學普賢諸行願海教化調伏一切眾生即得生如來家是名觀諸法門修行受生藏(普賢菩薩名也)。
【四深心普照三界受生藏】謂菩薩具清淨增上深心得如來菩提光明普能照耀過現未來三世諸障礙山即得生如來家是名深心普照三界受生藏(障礙山者以喻眾生惑業高厚如山不易動扳也)。
【五平等光明受生藏】謂菩薩成就諸佛法忍光明平等照耀一切世間見者歡喜咸蒙利益即得生如來家是名平等光明受生藏(諸佛法忍者謂於諸佛之法忍可而印證也)。
【六生如來家受生藏】謂菩薩生如來家隨諸佛住得甚深法門具廣大行願同佛善根共一體性是名生如來家受生藏。
【七佛力光明受生藏】謂菩薩生如來家入佛智力得大光明遊諸剎海供養承事一切諸佛是名佛力光明受生藏(剎梵語具云剎摩華言土田)。
【八觀普智門受生藏】謂菩薩生如來家住童真位普能觀察一一智慧法門盡無量劫演菩薩行是名觀普智門受生藏(童真位者即十位中之第八位也劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【九普現莊嚴受生藏】謂菩薩生如來家能以種種莊嚴無量佛剎化一切身周流法界成熟眾生是名普現莊嚴受生藏。

【十入如來地受生藏】謂菩薩生如來家入如來所受灌頂法預在佛數能知一切行及知一切眾生隨順調伏是名入如來地受生藏(灌頂法者即十住中第十位菩薩之法也)。

十金剛心(出華嚴經)

金剛是喻金剛心者謂菩薩之心堅固不動猶如金剛也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【一覺了諸法】謂菩薩發大願心誓欲了知無量無邊不可窮盡一切微妙法門無有遺餘故云覺了諸法。

【二化度眾生】謂菩薩以無上涅槃之道度脫十方無量無邊一切眾生悉得出離諸趣故云化度眾生(梵語涅槃華言滅度)。

【三莊嚴世界】菩薩謂十方世界無量無邊不可窮盡我當以諸佛國土最上莊嚴之具而莊嚴之故云莊嚴世界。

【四善根迴向】謂菩薩以種種修行善根皆悉迴向無上佛果菩提普及法界眾生故云善根迴向(梵語菩提華言道)。

【五奉事大師】大師即佛也謂菩薩以所修善根功德承事供養無量無邊一切諸佛悉令周徧無所闕少故云奉事大師。

【六實證諸法】謂菩薩於諸法實相之理非實非虛非有非無悉皆真實證知故云實證諸法。

【七廣行忍辱】謂菩薩或被眾生訶罵或被楚撻或截手足或割耳鼻或挑其目或級其頭如是一切皆能忍受無有瞋恨故云廣行忍辱。

【八長時修行】菩薩謂未來世劫無量無邊不可窮盡我當盡彼之劫行菩薩道教化眾生永無疲倦故云長時修行(劫梵語具云劫波華言分別時節)。

【九自行滿足】謂菩薩建立妙行以心為本心體清淨則能圓滿一切功德善根具足無上大菩提道故云自行滿足。

【十令他願滿】謂菩薩自行既滿慈悲之心轉更增上故為求解脫者說於涅槃之道為求佛法者說於大乘之法悉皆令其願心滿足故云令他願滿。

十種自在(出華嚴經)

自在者神通無礙也謂菩薩修行得此十種法故於諸世間教化調伏一切眾生圓滿諸佛廣大菩提示現神通自在也(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語菩提華言道)。

【一命自在】謂菩薩得長壽慧命經無量阿僧祇劫住持世間無有障礙是名命自在(梵語阿僧祇劫華言無數時)。

【二心自在】謂菩薩智慧方便調伏自心能入無量諸大三昧遊戲神通無有障礙是名心自在(梵語三昧華言正定)。

【三資具自在】資具即資生之具謂菩薩能以無量珍寶種種資具嚴飾一切世界清淨無礙是名資具自在。

【四業自在】謂菩薩能隨諸業應時示現受諸果報無障無礙是名業自在。
【五受生自在】謂菩薩隨其心念能於諸世界中示現受生無障無礙是名受生自在。
【六解自在】謂菩薩勝解成就能現種種色身演說妙法無障無礙是名解自在。
【七願自在】謂菩薩隨所願欲於諸利中應時出現成等正覺無障無礙是名願自在(剎梵語具云剎摩華言土田)。
【八神力自在】謂菩薩神通廣大威力難量於世界中示現變化無障無礙是名神力自在。
【九法自在】謂菩薩得大辯才於諸法中廣能演說無邊法門無障無礙是名法自在。
【十智自在】謂菩薩具足智慧於一念中能現如來十力無畏成等正覺無障無礙是名智自在(十力者知是處非處智力知過現未來業報智力知諸禪解脫三昧智力知諸根勝劣智力知種種解智力知種種界智力知一切至處道智力知天眼無礙智力知宿命無漏智力知永斷習氣智力也)。
日喻菩薩十種善法(出寶雨經)
菩薩出世能以智慧方便令諸有情改惡遷善捨迷就悟如日出現世間照臨萬物一切幽暗之處悉皆明朗故取為喻(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【一破無明暗】菩薩出現於世以智慧之光破除一切有情無明黑暗如日行空威光燀(昌善切)赫能令世間一切幽暗之處悉得明朗也。
【二能覺悟有情】菩薩出現於世以智慧方便開導有情咸使覺悟如日行空融和明麗能令一切池沼蓮華悉得開敷也。
【三光耀十方】菩薩出現於世以智慧光明普照十方世界一切有情咸獲利益如日行空光耀十方一切萬物無不蒙照也。
【四出現善法】菩薩出現於世以智慧力開示善法化導有情咸登正覺如日行空以大光明普照一切飛潛蠢動咸遂其生也。
【五諸漏滅盡】漏即漏落謂漏落生死也菩薩以智慧力所有一切煩惱悉皆滅盡則能永斷生死諸漏如日沒時光明隱滅則群動皆息也。
【六能作光明】菩薩出現於世放智慧光明說種種法破除一切有情愚癡暗障如日行空放大光明破除幽暗照臨萬象也。
【七映蔽外道】映明相照也蔽障也蓋也菩薩出現於世凡所說法莫不為令有情捨邪歸正則能映蔽外道諸邪異論如日行空赫然照臨螢爝之光自然不現也。
【八能示高下】菩薩出現於世於諸有情若善若惡無不攝受令其瞻覲示以正法如日行空照臨萬物若高若下悉能顯示也。

【九發起善業】菩薩出現於世方便開示能令一切有情發起善心修行善業如日出時能令世人各營生業也。
【十善人愛樂】菩薩出現於世一切聰慧之人知有利益心生愛樂念念皈依其無智愚人及諸邪魔外道未免憎嫉如日行空內外明朗凡諸善人無不忻愛至若盜賊等輩為惡之人未免憎嫉也。
月喻菩薩十種善法(出除盖障菩薩所問經)
菩薩塵緣淨盡體性圓明慧光普照有情歸仰咸令發菩提心成就種智如月天子離諸翳染圓明朗徹光照一切功德無邊故取以為喻焉(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語菩提華言道)。
【一皆生歡喜】菩薩初出世時令諸有情悉得遠離煩惱而生喜樂如月初出見者皆得清涼心生悅樂也。
【二眾所樂見】菩薩初出世時諸根清淨種子潔白於諸威儀無不具足令諸有情目睹心樂如月初出皎潔圓明見者無不愛樂也。
【三善法增長】菩薩從初發心於一切善法精進勤修漸漸增長乃至坐於道場一切勝相皆悉圓滿即智德成就也如白分月其光明增至十五日盛滿圓具矣(從初一日至十五日名白分月)。
【四惡法損減】菩薩具出世智時一切惡法日減日損乃至坐於道場淨盡一切無復遺餘即斷德成就也如黑分月其光明日減日損至於晦日一切不現也(從十六日至三十日名黑分月)。
【五咸皆稱讚】菩薩初出世時一切天人阿修羅等咸悉稱讚如月初出時世間一切大小人民咸悉瞻仰無不讚美也(梵語阿修羅華言無端正又云非天)。
【六體相清淨】菩薩修遠離行體相無染清淨化生非假父母遺體不淨所生如月天子勝業感果體相清淨潔白無染也。
【七乘最上乘】最上即無上乘猶車乘有運載之義是大乘菩薩所乘名最上也菩薩得最上乘廣為一切有情轉大法輪使其開悟超出三界如月天子乘清淨輪照四天下令諸見者離暗得明也(三界者欲界色界無色界也四天下即四洲東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼北欝單越也)。
【八常自莊嚴】菩薩所修勝妙功德常自莊嚴不假外飾如月天子本相清淨常自莊嚴不待澡沐而光潔也。
【九遊戲法樂】法樂者以法而自喜樂也菩薩常所遊戲勝妙法樂不染世間諸欲境界如月天子常受天樂而離夫翳染也。
【十具大神通】菩薩神通自在威德無量普令有情離諸垢暗如月天子清淨圓明具大神通有大威德徧四天下物無不照也。
海導師喻菩薩十種善法(出除盖障菩薩所問經)
大海浩瀚無邊須憑人導引乃能順濟然諸商眾自非一心敬信其言隨所指示則何以獲安隱而致利益菩薩於生死大海作大導師令諸有情皆得遠離險難惡趣證入真空涅槃故以海導師為喻(梵語涅槃華言滅度)。

【一得他信許】菩薩於一切善法悉能了悟精進勤修為諸佛緣覺聲聞及諸弟子信順許可如海導師乃得國王宰輔及一切人民悉皆信許。
【二為他所敬】菩薩以道行具足乃得一切聲聞緣覺及諸天人龍鬼夜叉乾闥婆等恭敬供養如海導師得國王宰輔一切人民恭敬供養(梵語夜叉華言勇健梵語乾闥婆華言香陰)。
【三善作指引】菩薩能於生死險難之中為諸有情方便指示引導令出一切煩惱惡道悉獲安隱如海導師能於險難之中為作指引令其安隱。
【四為他依止】菩薩善巧方便能為天人及諸外道而作依止令其得出生死大海險難惡道如海導師為諸商眾孤露困苦之人而作依止令於險難之中有所恃賴也。
【五能為濟命】菩薩能為耽著生死諸有情類設以方便令其發起菩提之心續延智慧之命如海導師能為世間人眾凡有所須皆悉供給以濟其命也(梵語菩提華言道)。
【六善備資糧】菩薩善備福智諸行資糧欲攝受廣多有情發菩提心積集善行出離生死惡道悉到一切智城如海導師善備資糧令諸商眾出離險惡道路到彼城邑得安隱也。
【七富有財寶】菩薩欲止一切智城故廣集諸佛無上最勝法寶之行令諸有情隨願咸獲得大饒富如海導師隨所止處富有財寶資生緣具等物凡所匱乏悉能周贍也。
【八希取無足】菩薩於聖法財廣能積集希求進取心不自足如海導師於一切財寶常生希取之心而未嘗自滿足也。
【九為作先導】菩薩於一切功德之法善自增益而能以誠實語導引一切有情出離生死苦海而登涅槃彼岸如海導師諳通水陸之路能以輭愛之語攝受諸商人眾復能為之先導凡所指示之處無不獲其利也。
【十善到一切智城】菩薩於一切法無所不知名到一切智城智能破惑顯理城能防惡禦敵故菩薩積集無量功德具足殊勝力能故得到一切智城如海導師具足力能故得到彼城邑也。
水喻菩薩十種善法(出除蓋障菩薩所問經)
夫水之為德本體清淨澄湛凝寂尤能滋長萬物滌除眾垢炎熱遇之而清涼枯渴飲之而沃潤今取以為喻者菩薩業惑清淨身心寂靜能以法水普濟群生令其善芽增長罪垢蕩除離生死之熱惱息貪愛之枯渴成就菩提超登覺岸也。
【一流潤赴下】菩薩常行平等之慈柔和善順能以清淨法水調熟眾生溥得沾溉令其一切善根悉皆增長譬如大水徧行地中流潤於下一切萌蘖無不滋長也。
【二植善法種】植種也菩薩廣植一切菩提種子常以定水灌溉令得增長而成妙果譬如大地種植一切藥樹穀果由水滋溉增長然後繁茂而結實也。

【三信樂歡喜】菩薩自性信順三寶樂求出世間法心清淨故即生歡喜復能令他一切有情亦皆信樂而生歡喜譬如大水自性流潤復能潤物也(三寶者佛寶法寶僧寶也)。
【四壞煩惱根】菩薩以禪定之水浸漬一切有情煩惱根種悉令敗壞無復續生譬如大水浸漬大地而草木諸根悉皆壞爛也。
【五自體無雜清淨】菩薩為離貪瞋癡等雜染之法守護諸根悉令清淨譬如大水其源不雜而本清淨也。
【六息煩惱熱】菩薩以清涼法水悉除一切有情煩惱炎熱逼迫之苦譬如夏月地極炎蒸人亦煩熱得水除解悉皆清涼也。
【七止欲渴愛】欲即五欲渴愛者於諸塵境而生愛著如渴而思飲漿水也菩薩因一切有情渴愛所逼即為開示令於欲塵之境不生愛著譬猶清涼之水能除一切焦渴之苦也(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【八深廣無涯】菩薩由修一切善法勝智積集深廣無涯諸魔外道不能測其邊際譬如大水眾流合會既深且廣孰能知其涯涘哉。
【九高下充滿】菩薩以大悲心於一切有情隨其根器高下方便開示悉使獲益充益滿足而無損惱譬如大水流注一切地方隨其高下悉能充足而無所損害也。
【十息諸塵坌】(房吻切又步寸切)坌塵塕也(塕鳥孔切塵起貌)菩薩以定慧之水普潤一切有情令其去麤惡之習而發柔輭之心永息煩惱之塵同入清淨之境譬如大水流潤一切塵坌麤惡地方悉使潤澤而復清淨也。
大明三藏法數卷第三十

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

蓮華喻菩薩十種善法(出除盖障菩薩所問經)

【一離諸染汙】菩薩修行能以智慧觀察諸境於一切法不生貪愛雖處五濁生死流中而不為生死過失所染譬如蓮華出於水中而不為淤泥所染也(五濁者刼濁眾生濁煩惱濁見濁命濁也)。

【二不與惡俱】菩薩修行唯欲滅一切惡生一切善於身口意守護清淨不與纖毫之惡共俱譬如蓮華雖微滴之水而不停留也。

【三戒香充滿】菩薩修行於諸戒律堅持無犯以戒能滅身口之惡猶香能除糞穢之氣故經云戒香芬馥廣布充滿譬如蓮華開敷妙香廣布遐邇皆聞也。

【四本體清淨】菩薩因持戒故身心清淨雖處五濁之中而能無染無著譬如蓮華生時雖處淤泥濁水之中自然潔淨而無所染也。

【五面相熙怡】熙和樂貌怡喜悅也菩薩心常禪悅則面無顰蹙諸相圓滿見者悉皆歡喜譬如蓮華開時令諸見者心意快然而生喜悅也。

【六柔輭不澀】柔輭則隨順不澀則無滯謂菩薩修慈善之行復於諸法無所滯礙充於內則形於外故體常清淨柔輭細妙而不麤澀譬如蓮華體性柔輭而復潤澤也。

【七見者皆吉】菩薩善行成就形相美妙凡所見者咸獲吉祥譬如蓮華芬馥美妙人或眼見及夢見者皆吉祥也。

【八開敷具足】菩薩修行功成智慧福德莊嚴具足譬如蓮華開敷而其華果具足也。

【九成熟清淨】菩薩修因既圓妙果成熟而慧光發現能使一切有情見聞之者咸得六根清淨譬如蓮華成熟若眼睹其色鼻聞其香則諸根亦得清淨也(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也)。

【十生已有想】菩薩初生之時諸天人等咸樂護持以其必能修習善行證菩提果譬如蓮華初生之時雖未見花凡諸人眾咸生已有蓮華之想也(梵語菩提華言道)。

火喻菩薩十種善法(出除盖障菩薩所問經)

煅煉陶鎔必假其力起滅變化莫測其由至若盡群有而歸一空破諸暗而昭萬象是皆火之德也菩薩修行以智慧火了妄即真煅凡成聖破有著而歸空照昏迷而為朗故以火喻焉。

【一燒煩惱薪】智慧如火煩惱如薪菩薩以智慧觀察滅除貪瞋癡等煩惱淨盡無餘譬如大火能燒大地草木諸類淨盡無餘也。

【二成熟佛法】菩薩修行以智慧觀察成熟一切佛法既已成熟歷劫不壞譬如火性之熱能使依地所生一切種子及諸藥等悉能成熟也(劫梵語

具云劫波華言分別時節)。
【三乾煩惱淤泥】若心著煩惱性則昏昧而不明猶身染淤泥體則汙穢而不潔故名煩惱淤泥菩薩修行能以智慧觀察斷除煩惱之垢復本明淨之性譬如大火能乾一切濕物及淤泥也。
【四如大火聚】謂諸有情為煩惱所苦有若寒病所逼菩薩以智慧力種種開示令其離苦得樂如大火聚人若向之即得脫於寒逼之苦而獲溫煖之樂也。
【五作光明照】菩薩修行以智慧光明普照令一切有情於其昏暗未覺悟者咸使覺悟譬如有人於雪山頂然大火聚光明徧照則無幽而不燭也。
【六能使驚怖】菩薩有大智威德光明烜赫能令天魔外道悉生驚怖離彼地方退伏遠去譬如大火所有一切惡獸皆生驚怖離已窟穴四散馳去也。
【七能作安慰】謂諸有情昏迷不覺沉淪諸趣受苦無窮菩薩乃能說法種種安慰令離煩惱之稠林趣菩提之正路譬猶遠道之人夜行曠野迷失方所心生恐怖若見火聚即詣其所心得安慰也(梵語菩提華言道)。
【八利與眾共】菩薩隨得利養受用資具悉能與眾共之若貴若賤等無有異譬如大火光明普照一切無分彼此也。
【九人所供養】菩薩慈悲無量化導亦廣一切世門天人阿修羅等皆悉奉事供養如諸佛想譬如世間之火諸婆羅門剎帝利民庶等皆悉奉事也(梵語婆羅門華言淨行梵語剎帝利華言田主)。
【十人不輕慢】謂菩薩於大乘中雖初發心能令世間天人阿修羅等不敢輕慢盖天人等知彼菩薩不久當得無上佛果譬如小火人不敢輕所謂星火雖微亦能燎原其可忽哉。
十信(出楞嚴經)
十信者乃三賢之首萬行之先也然欲從凡入聖必以信為先導始自信心終至願心總為十信以作菩薩真修之方便也(三賢即十住十行十迴向諸位菩薩也)。
【一信心】謂心與理冥决了無疑妙信純真恒住中道經云妙信常住一切妄想滅盡無餘中道純真名曰信心。
【二念心】謂真信明了過去未來劫中出生入死憶念無忘經云無數劫中捨身受身皆能憶念得無遺忘名曰念心(刼梵語具云刼波華言分別時節)。
【三精進心】不雜曰精無間名進謂唯以念心精明進趣真淨之地經云唯以精明進趣真淨名精進心。
【四慧心】善入佛法造心分別為慧謂精進之心既已現前則純真之慧自然發顯經云心精現前純以智慧名曰慧心。
【五定心】謂念慮皆忘寂用無心則慧性明徹湛然不動經云周徧寂湛寂妙常凝名曰定心。

【六不退心】謂定光顯發慧心明徹知道不遠進修無懈經云定光發明明性深入唯進無退名不退心。
【七護法心】謂心進無退則能保護任持一切佛法而佛之氣分與己相接經云心進安然保持不失十方如來氣分交接名護法心。
【八迴向心】迴即迴轉向即趣向謂以護法心微妙之力感佛之光來照又復回光以向於佛猶如雙鏡交照光輝互現也經云覺明保持能以妙力回佛慈光向佛安住名迴向心。
【九戒心】謂心迴向佛則於淨戒安住不失經云心光密迴獲佛常凝無上妙淨安住無為得無遺失名曰戒心。
【十願心】謂由心住淨戒而得自在故能徧遊十方世界化導眾生隨其所願悉皆滿足經云住戒自在能遊十方所去隨願名曰願心。
十住(出楞嚴經)
謂菩薩約位進修以妙覺為本此覺由信而入入則能住故自發心住至灌頂住通為十種也。
【一發心住】謂由前十信相躡進修作真方便顯發十住之心此心真精發本明耀令彼十信之用於明耀中徧互涉入圓成一心之德經云以真方便發此十心心精發輝十用涉入圓成一心名發心住(十用即十信之用也)。
【二治地住】謂由前所發之心淨如瑠璃所證之理顯若精金因此妙心契於理地經云心中發明如淨瑠璃內現精金以前妙心履以成地名治地住(梵語瑠璃華言青色寶履即治也亦造入之義)。
【三脩行住】脩行者起行造心也謂前發心治地二住之智俱已明了由明了故徧修諸行皆無留礙經云心地涉知俱得明了遊履十方得無留礙名修行住(十方者四方四維上下也)。
【四生貴住】謂由前妙行冥契妙理將生佛家為法王子故曰生貴經云行與佛同受佛氣分如中陰身自求父母陰信冥通入如來種名生貴住(中陰者謂現身已謝後身未生於此之中識未託胎之時也)。
【五方便具足住】謂由前妙行既與佛同則自行利他善巧方便具足不缺經云既遊道胎親奉覺胤如胎已成人相不缺名方便具足住(道胎者謂道果之胎以喻菩薩之入聖道也覺胤者覺即是佛謂佛之胤嗣也)。
【六正心住】謂前行相雖與佛同心相有異未名正心至此則心相不異方名為正經云容貌如佛心相亦同名正心住。
【七不退住】謂前心行二相既與佛同則佛身佛心二種合成日以滋益漸漸增長唯進無退經云身心合成日益增長名不退住。
【八童真住】體微曰童謂其體雖微已具佛十身靈妙之真相矣經云十身靈相一時具足名童真住(十身者菩提身願身化身力持身相好莊嚴身威勢身意生身福德身法身智身也)。
【九法王子住】謂自發心至生貴名入聖胎自方便具足至童真名長養聖胎至此長養功成名出聖胎既出胎已則為佛之真子而繼紹佛種也經

云形成出胎親為佛子名法王子住。
【十灌頂住】謂表菩薩既成佛子堪行佛事佛以智水而灌其頂猶如剎利轉輪王之子受職而父王以大海水灌其頂也經云表以成人如國大王以諸國事分委太子彼剎利王世子長成陳列灌頂名灌頂住(剎利梵語具云剎帝利華言田主)。
妙高十義喻十住菩薩行(出華嚴經疏)
妙高即須彌山也以其四寶所成出七金山之上故名妙高如來說華嚴經時以自在神力升此山頂加被法慧菩薩說十住菩薩之法行有此十喻焉(梵語須彌華言妙高四寶者金銀瑠璃水精也七金山者一雙持二持軸三檐木四善見五馬耳六障礙七持地皆言金者有金色光明故也)。
【一體妙】謂此山以四寶所成其體勝妙以喻菩薩由聞思修解四法而為妙體也(聞謂聞受佛法思謂思惟佛法修謂修習佛法解謂解了佛法)。
【二相妙】謂此山有八方四級其相勝妙以喻菩薩具足四德八聖之妙相也(八方者即東西南北四維也四級猶四層也四德即常樂我淨也八聖即八正道謂正見正思惟正語正業正命正精進正念正定也)。
【三色妙】謂山之北金色東銀色南瑠璃色西水精色一切草木鳥獸等物隨所至處則同其色自常不變以喻菩薩四辯為色令物所解皆同而自智不變也(四辯者義辯法辯辭辯說辯也)。
【四德妙】謂此山八方猛風所吹不能令動以喻菩薩八法不能動也(八法者一利二衰三毀四譽五稱六譏七苦八樂也)。
【五眷屬妙】謂七金山七重圍繞及七香水海海印旋流猶如眷屬以喻菩薩七支奉戒如金山圍繞七識流轉如海印旋流也(海印者大集經云閻浮提一切眾生身及與外色大海中皆有印像故名海印七支戒者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不綺語不惡口不兩舌七識即意識謂意識流動不息也)。
【六依持妙】謂此山唯諸天及得神通者之所依止居住以喻菩薩第一義天依持而住可以神會非有情能升也(第一義天即第一義諦之理也)。
【七作業妙】謂此山不離本處而鎮四洲映蔽日月而成晝夜以喻菩薩不離本處徧應十方映蔽佛日及菩薩月而成涅槃生死晝夜也(四洲東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼北欝單越也日月於山腰旋轉而成晝夜故云映蔽日月也梵語涅槃華嚴滅度晝夜者涅槃為晝生死為夜也)。
【八生果妙】謂此山有波利質多羅樹能利益天眾而生妙果以喻菩薩生教行果而猶妙樹也(波利質多羅華言圓生謂枝葉四布香氣周徧五十由旬在山頂三十三天善法堂之東北諸天於樹下遊樂故云利益天眾)。
【九為首妙】謂此山於世界成時四洲之中最為先成是名為首妙以喻菩薩世界初成之時先出於世為諸眾生現種種資具也。
【十堅固妙】謂此山於世界壞時鐵圍等山悉皆滅壞而此山壞最在後名為堅固以喻菩薩若世界將壞最後滅度為諸眾生而說上定令免三災也(上定無色界定也三災風灾水灾火灾也)。

十行(出楞嚴經)
十行者謂由前十住進修功滿已成佛子自得己利而利他之行未成是故廣行饒益隨順眾生令其歡喜然行有淺深故始自歡喜終至真實而成十種也。
【一歡喜行】謂由前十住進修功滿已成佛子具佛妙德能於十方剎土隨順饒益眾生自他俱喜經云成佛子已具足無量如來妙德十方隨順名歡喜行(剎梵語具云剎摩華言土田)。
【二饒益行】謂善推妙德饒益眾生使得法利不生厭想經云善能利益一切眾生名饒益行。
【三無瞋恨行】謂瞋恨生於違拒既能自覺又能覺他自他之利兼成則瞋恨自無也經云自覺覺他得無違拒名無瞋恨行。
【四無盡行】謂隨眾生之類化現其身轉化無窮而益物無盡竪徧三際橫周十方通達無礙經云種類出生窮未來際三世平等十方通達名無盡行(三際者即過去現在未來三世也)。
【五離癡亂行】謂妙智了達一切法門雖各不同悉皆歸於一理而無差誤經云一切合同種種法門得無差誤名離癡亂行。
【六善現行】謂由無癡亂行故能於同類中顯現異相於異相中不見有異同異圓融互現自在經云則於同中顯現羣異一一異相各各見同名善現行。
【七無著行】無著即無礙之義也謂由善現之行充擴圓融以滿空微塵一一塵中現十方界而塵相不壞塵界交現小大無礙經云現塵現界不相留礙名無著行。
【八尊重行】謂前無著行中現塵現界皆是般若觀照之力然般若於六度中稱為第一可謂至尊至重矣經云種種現前咸是第一波羅蜜多名尊重行(梵語般若華言智慧六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也梵語波羅蜜多華言到彼岸)。
【九善法行】謂於妙觀慧中種種明現以顯圓融之德十方諸佛莫不依此圓融而為法則經云如是圓融能成十方諸佛軌則名善法行。
【十真實行】謂前圓融德相一一皆是無為真實之性然依性起修則所修之行無非真實矣經云一一皆是清淨無漏一真無為性本然故名真實行。
十廻向(出楞嚴經)
廻即廻轉向即趣向謂起大悲之心救度眾生回轉十行之善向於三處一真如實際是所證二無上菩提是所求三一切眾生是所度以能廻之心及所廻善行向彼萬類圓滿梵行等入法界也(梵語菩提華言道)。
【一救一切眾生離眾生相廻向】謂由前修十行神通滿足成就諸佛所行事已又當修此廻向之行然廻向之行以悲願之心為最化度眾生而無

能度之相廻此無為之心趣向寂滅之地經云當度眾生滅除度相廻無為心向涅槃路名救一切眾生離眾生相廻向(梵語涅槃華言滅度)。
【二不壞廻向】謂前離眾生相則是可壞今復壞前可壞離於能離則是不壞壞即空不壞即假空假不二正顯中道而歸趣於本覺矣經云壞其可壞遠離諸離名不壞廻向(一念無相謂之空無法不具謂之假不一不異謂之中本覺者謂一切眾生所具真如之性本來是覺也)。
【三等一切佛廻向】謂所向本覺之性湛然常住而能覺之智齊於佛覺經云本覺湛然覺齊佛覺名等一切佛廻向。
【四至一切處廻向】謂前能覺之智無處不徧既齊佛覺則所證真如之理地如佛不異經云精真發明地如佛地名至一切處廻向。
【五無盡功德藏廻向】謂前至一切處是世界等一切佛是如來然如來則一切世界之如來世界即一切如來之世界世界如來涉入無礙功德無盡經云世界如來互相涉入得無罣礙名無盡功德藏廻向。
【六隨順平等善根廻向】謂於諸佛理地起萬行真因顯證一乘寂滅之道行從理起故曰隨順平等能生道果故曰善根經云於同佛地地中各各生清淨因依因發輝取涅槃道名隨順平等善根廻向。
【七隨順等觀一切眾生廻向】謂既修真因善根成就則知十方眾生皆我本性性既平等故能成就一切眾生善根無有遺失亦無高下經云真根既成十方眾生皆我本性性圓成就不失眾生名隨順等觀一切眾生廻向。
【八真如相廻向】離妄曰真不異曰如謂一切法性本真如不即不離二俱無著則真如相現經云即一切法離一切相惟即與離二無所著名真如相廻向。
【九無縛解脫廻向】謂真如之相現前則智慧明了十界依正等法互攝圓融自在無礙經云真得所如十方無礙名無縛解脫廻向(十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界脩羅界餓鬼界畜生界地獄界也依正者依即所依之國土正即十界能依之色身也)。
【十法界無量廻向】謂所證性德真如之理圓滿成就含攝徧周其量無外十界差別之相了不可得經云性德圓成法界量滅名法界無量廻向。
十地(出楞嚴經)
十地者謂菩薩所證之地位一切佛法依此發生也然地位有淺深故始自歡喜終於法雲分為十也。
【一歡喜地】謂菩薩智同佛智理齊佛理徹見大道盡佛境界而得法喜登於初地經云於大菩提善得通達覺通如來盡佛境界名歡喜地(得法喜者謂於證得之法而生喜樂也梵語菩提華言道)。
【二離垢地】謂由盡佛境界明了諸法異性而入於同若見有同即非離垢同性亦滅斯為離垢經云異性入同同性亦滅名離垢地。

【三發光地】謂同異情見之垢既淨則本覺之慧光明開發經云淨極明生名發光地(情見者謂依情分別之見也)。
【四焰慧地】謂慧明既極則佛覺圓滿覺滿則慧光發焰如大火聚爍破一切情見經云明極覺滿名焰慧地。
【五難勝地】謂由前焰慧爍破一切情見其同異之相皆不可得即是諸佛境界無有能勝經云一切同異所不能至名難勝地。
【六現前地】謂由前同異之相既不可得則真如淨性明顯現前經云無為真如性淨明露名現前地。
【七遠行地】謂真如之境廣無邊際雖真如現前分證則局若盡其際方為極到經云盡真如際名遠行地(分證者謂菩薩於真如之理分分次第而證也)。
【八不動地】謂真如之理既盡其際全得其體則真常凝靜無能動搖經云一真如心名不動地。
【九善慧地】謂既得真如之體即發妙用凡所照了悉是真如經云發真如用名善慧地。
【十法雲地】謂菩薩至此第十地修行功滿唯務化利眾生大慈如雲普能陰覆雖施作利潤而本寂不動經云慈陰妙雲覆涅槃海名法雲地(梵語涅槃華言滅度謂之海者以其深廣無法而不容也)。
十地斷障證真(出華嚴吞海集并華嚴經疏)
【一歡喜地斷障證真】謂菩薩見諸眾生心墮邪見皆成障礙故發起大願慈心而修捨行於內身外財無所悋惜由因感果而登初地心生歡喜即斷異生性障而證徧行真如是名歡喜地斷障證真(異生性障者性即凡夫之性障即執著我法障於初地功德也徧行真如者謂此真如由人法二空所顯無有一法而不在也)。
【二離垢地斷障證真】謂菩薩見諸眾生造十惡業心墮邪行故發慈心修十善業遠離欲垢捨念清淨即斷邪行之障證最勝真如是名離垢地斷障證真(十惡者一殺生二偷盜三邪淫四妄言五綺語六惡口七兩舌八貪九瞋十邪見也十善者不殺不盜不邪淫不妄言不綺語不惡口不兩舌不貪不瞋不邪見也邪行障者謂身口意誤犯禁戒也最勝真如者謂此真如具無邊德於一切法最為勝也)。
【三發光地斷障證真】謂菩薩見諸眾生迷惑昏暗障諸善法皆無明了故加功用行發起深廣之心如法修行智慧光發即斷暗鈍之障證勝流真如是名發光地斷障證真(暗鈍障者謂忘失聞思修三慧照法不能顯現也勝流真如者謂此真如流出教法於餘教法極為勝也)。
【四焰慧地斷障證真】謂菩薩見諸眾生墮於煩惱故發大慈具修三十七品道法發起慧焰即斷微細煩惱現行障證無攝受真如是名焰慧地斷障證真(三十七品道法者觀身不淨觀受是苦觀心無常觀法無我是四念處已生惡令永斷未生惡令不生已生善令增長未生善令得生是四正勤欲如意足念如意足精進如意足思惟如意足是四如意足信根精進根念根定根慧根是為五根信力精進力念力定力慧力是為五力念覺分擇法覺分精進覺分喜覺分除覺分定覺分捨覺分是七覺分正見正思惟

正語正業正命正精進正念正定是八正道以上諸法總為三十七品也微細煩惱現行者謂無明微細之惑現起也無攝受真如者謂證此真如無所繫屬也)。

【五難勝地斷障證真】謂菩薩見下乘人滯有餘涅槃樂獨善寂故發慈心脩習平等加行悟真俗二諦無差別智無有能勝即斷下乘涅槃障證類無別真如是名難勝地斷障證真(下乘者即聲聞乘緣覺乘也梵語涅槃華言滅度言有餘涅槃者謂見思二惑斷盡尚餘色身未滅也真諦者謂於一切法諦審真空無法可得也俗諦者謂於一切法諦審法法宛然也無差別智即平等之智也類無差別真如者謂生死涅槃其類平等無有差別也)。

【六現前地斷障證真】謂菩薩見諸眾生墮於生死發大悲心加修平等利生之行智慧現前即斷麤相現行障證無染淨真如是名現前地斷障證真(麤相者謂於四諦中執苦集為染執道滅為淨也無染淨真如者謂此真如本性無染亦不可言後方淨也)。

【七遠行地斷障證真】謂菩薩誓願度生發慈悲心加修一切菩提分法悟空無相無願三昧即斷細相現行障證法無別真如是名遠行地斷障證真(梵語菩提華言道言菩提分法者即三十七品之分也空者謂一切法皆空也無相者謂不見世間男女一異等相也無願者謂於三界無所願求也梵語三昧華言正定細相現行者謂於一切法執有緣生及執無相也法無別真如者謂了種種教法同一真如無別相也)。

【八不動地斷障證真】謂菩薩不捨度生加修清淨道行離心意識得無生法忍一切煩惱所不能動即斷無相中作加行障證不增減真如是名不動地斷障證真(心意識者入楞伽經云心能積聚業意能廣積集了別故名識秖是一心有三差別無生法忍者謂一切諸法性本不生而於此法忍可印證也無相中作加行者無相即指上第七地謂於無相中加功用行也不增減真如者謂此真如不隨淨染有增減也)。

【九善慧地斷障證真】謂菩薩以無量智觀察眾生境界皆如實知得無礙智慧徧說諸法普令獲益即斷利他門中不欲行障證智自在真如是名善慧地斷障證真(不欲行者謂第九地於無相中捨離功用也智自在真如者謂得此真如已於四無礙智得自在也)。

【十法雲地斷障證真】謂菩薩以無量智慧觀察覺了三昧現前得大法故以法身為雲普周一切眾生具足自在即斷諸法中不得自在障證業自在真如是名法雲地斷障證真(業自在真如者謂一切業或悉得解脫而與真如之理相應也)。

十地寄乘(出華嚴經疏)

十地寄乘者謂十地菩薩寄於人天等諸乘進脩而為因行以顯真實智證之果分也所以歡喜離垢發光三地寄於世間人天乘焰慧難勝現前遠行四地寄於出世間三乘惟不動善慧法雲三地超於世間出世間即是寄顯一乘法也(人天乘者人乘天乘也三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。

【一歡喜地寄人乘】謂初地菩薩明修布施之行而復示現生於世間以作人王故云歡喜地寄人乘。

【二離垢地寄欲界天乘】謂二地菩薩明脩十善之行而復示現生於欲界天上以作天王故云離垢地寄欲界天乘(十善者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄言不綺語不惡口不兩舌不貪不瞋不邪見也)。
【三發光地寄色界無色界天乘】謂三地菩薩明修八禪定行同於色界四禪無色界四空處故云發光地寄色無色界天乘(八禪定者色界無色界各四禪定也四禪者初禪二禪三禪四禪也四空者即空處識處無所有處非非想處也)。
【四焰慧地寄須陀洹乘】梵語須陀洹華言預流謂四地菩薩初斷俱生身見觀於道品同於初果須陀洹故云焰慧地寄須陀洹乘(俱生身見者謂見惑與形俱生即初託胎之時也道品即三十七道品也)。
【五難勝地寄阿羅漢乘】梵語阿羅漢華言無學亦云無生謂五地菩薩觀於四諦之行既終同於四果阿羅漢故云難勝地寄阿羅漢乘(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【六現前地寄緣覺乘】緣覺者由觀因緣而覺悟真空也謂六地菩薩觀於十二因緣生滅之行同於緣覺故云現前地寄緣覺乘(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。
【七遠行地寄菩薩乘】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂七地菩薩明修菩提分法之行方便涉有不捨度生同於菩薩故云遠行地寄菩薩乘(梵語菩提華言道言菩提分者即三十七道品之分也涉有者有即因果不亡之義謂菩薩涉入三界化諸眾生也)。
【八不動地寄顯一乘】一乘者即佛乘也謂八地菩薩具證阿含德及不住道而捨所修之行契合實理離相離言超於世出世間是一乘法故云不動地寄顯一乘(華語阿含梵言無比)。
【九善慧地寄顯一乘】謂九地菩薩以無量智觀察無邊境界說法教化眾生超於世出世間是一乘法故云善慧地寄顯一乘。
【十法雲地寄顯一乘】謂十地菩薩以法身為雲普覆眾生觀察覺了受勝職位意業自在超於世出世間是一乘法故云法雲地寄顯一乘(勝職位即佛之位也)。
十地寄報(出華嚴經)
十地寄報者謂十地菩薩寄生諸天王等報也昔金剛藏菩薩為眾說十地菩薩修行法門自行化他成大功德感報多作諸天王等威力自在化導眾生令修善法也。
【一閻浮提王】梵語閻浮提華言勝金洲謂歡喜地菩薩修行初地法門成大功德多作閻浮提王掌護正法諸所作業念佛法僧能大惠施周給孤露以法化世一切眾生令修善行統領閻浮故云閻浮提王。
【二轉輪聖王】謂離垢地菩薩修行二地法門成就功德多作轉輪聖王為大法主王四天下有自在力能除眾生破戒之垢以善方便令其安住十善道中為大施主周徧給濟諸所作業念佛法僧在大眾中為首為勝受金輪寶統領四洲故云轉輪聖王(四天下者東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼北欝單越即

四洲也十善者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪不瞋不邪見也)。
【三忉利天王】梵語忉利華言三十三即帝釋天主居須彌山頂謂發光地菩薩修行三地法門成大功德多作三十三天之主以大方便化諸眾生及諸天眾捨離貪欲住於善道故云忉利天王(帝釋梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵雙舉也梵語須彌華言妙高)。
【四夜摩天王】梵語夜摩華言時分以其時時唱快樂故也謂焰慧地菩薩修行四地法門具大功德多作夜摩天王以善方便除眾生惑令住正見諸所作業念佛法僧統領天眾隨所應度不失於時故云夜摩天王。
【五兜率陀天王】梵語兜率陀華言知足以其於五欲塵境能知足故也謂難勝地菩薩修行五地法門集諸功德多作兜率陀天王能伏一切外道邪見令諸眾生住實諦中諸所作業念佛法僧統領天眾常令自他恒念知足故云兜率陀天王。
【六善化天王】謂現前地菩薩修行六地法門成就功德多作善化天王所作自在一切聲聞難問無能退屈統領天眾善能教化令他除滅我慢之心故云善化天王。
【七自在天王】謂遠行地菩薩修行七地法門具足菩提功德大願多作自在天王善為眾生說所證法令其得入無有退轉統領天眾善行教化皆得自在故云自在天王。
【八大梵天王】梵梵語具云梵迦夷華言淨身謂不動地菩薩修行八地法門成大功德多作第二禪大梵天王主千世界能為聲聞辟支佛等善說諸義普運慈心放大光明照千世界令諸眾生得大自在故云大梵天王(辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺)。
【九大梵天王】謂善慧地菩薩修行九地法門獲大神通多作第三禪大梵天王主二千世界能為聲聞緣覺及菩薩眾分別演說波羅蜜行所有難問無能屈者身出光明照二千界除諸昏暗饒益眾生故云大梵天王(梵語波羅蜜華言到彼岸)。
【十摩醯首羅天王】梵語摩醯首羅華言大自在謂法雲地菩薩修行十地法門具足眾德多作第四禪摩醯首羅天王主三千世界於法自在能授聲聞獨覺一切菩薩波羅蜜道所有問難無能屈者以自光明能令眾生身心清涼皆得安隱故云摩醯首羅天王。
十山王(出華嚴經疏)
十山皆稱王者謂依海而住高出一切諸餘小山以喻十地菩薩修行同入如來智海高出一切二乘諸行也(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【一雪山王】謂此山中具諸藥草能療眾病取不可盡以喻歡喜地菩薩聖智法藥用之無竭以破無明超前行位如雪山王也。
【二香山王】謂此山中一切諸香皆悉充滿以喻離垢地菩薩戒行威儀功德妙香徧熏一切如香山王也。

【三鞞陀梨山王】梵語鞞陀梨華言種種持謂此山純寶所成持種種寶以喻發光地菩薩禪定神通解脫三昧諸法可貴可寶如鞞陀梨山王也(梵語三昧華言正定)。
【四神仙山王】謂此山中多神仙所居以喻焰慧地菩薩超出世間得大自在如神仙山王也。
【五由乾陀山王】梵語由乾陀華言持雙謂此山純寶所成諸夜叉王咸住其中以喻難勝地菩薩如意神通善巧自在如由乾陀山王也(梵語夜叉華言勇健)。
【六馬耳山王】謂此山純寶所成一切諸果咸產其中以喻現前地菩薩從於理體起諸妙用化導眾生以證聲聞之果如馬耳山王也。
【七尼民陀羅山王】梵語尼民陀羅華言持邊謂此山純寶所成大力龍神咸在其中以喻遠行地菩薩方便智慧化諸有情證緣覺果如尼民陀羅山王也。
【八斫迦羅山王】梵語斫迦羅華言輪圍謂此山金剛輪圍純寶所成諸自在仙咸在其中以喻不動地菩薩無功用道得心自在化菩薩眾如斫迦羅山王也(無功用道即無功用行也謂菩薩順性而修雖加功用行而能離於行相也)。
【九計都末底山王】梵語計都末底華言幢慧謂此山純寶所成大威德阿修羅王咸在其中以喻善慧地菩薩善巧攝生大力智行如計都末底山王也(梵語阿修羅華言無端正)。
【十須彌盧山王】梵語須彌盧華言妙高謂此山純寶所成大威德天咸在其中以喻法雲地菩薩具如來力成就無畏以不共法為眾宣說問荅無盡如須彌盧山王也(不共法者謂如來法而與三乘之法迥別也)。
大海十相(出華嚴經疏)
海以深廣為名以喻如來智海深廣無涯故經中以大海十相喻十地菩薩修行而得入於佛之智海也。
【一次第漸深】此喻歡喜地菩薩修行入於智海漸次而進而能成就大願也。
【二不受死屍】此喻離垢地菩薩修行入佛智海獲功德清淨離諸垢染也。
【三餘水入失本名】此喻發光地菩薩修行入佛智海獲平等功德捨離世間一切假名也。
【四普同一味】此喻焰慧地菩薩修行入佛智海獲無差別功德與佛如來同一体相也。
【五無量珎寶】此喻難勝地菩薩修行入佛智海獲廣大無量方便利益眾生也。
【六無能至底】此喻現前地菩薩修行入佛智海獲甚深功德利益眾生無窮盡也。

【七廣大無量】此喻遠行地菩薩修行入佛智海獲無量功德以廣大覺慧觀察諸法無有窮盡也。
【八大身所居】大身即鯤鯨之類此喻不動地菩薩修無功用行入佛智海獲住一切功德以無量身現廣大莊嚴也(無功用行者謂雖加功用行以順性而修而無功用之相也)。
【九潮不過限】此喻善慧地菩薩修行入佛智海獲護世功德利於世間隨機授法不差根器也(護世者謂救護世間也)。
【十普受大雨】此喻法雲地菩薩修行入佛智海獲護世功德能受如來大法雲雨而無厭足也。
通教十地(出天台四教儀)
通教即四教中之一也通前藏教通後別圓故云通也(四教者藏教通教別教圓教也)。
【一乾慧地】謂三乘之人初居外凡位時未得真空理水所潤故名乾慧地(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也外凡者謂心居理外也)。
【二性地】謂三乘之人居內凡位時於無漏真空法性之理頗有解心故名性地(內凡位者謂心居理內而未證得也無漏者謂斷見思之惑而不漏落三界生死也)。
【三八人地】謂三乘之人體達三界見惑本空在無間三昧中八忍具足止觀云人者忍也故名八人地(三界者欲界色界無色界也見惑者謂意根對法塵而起分別也梵語三昧華言正定八忍者苦法忍苦類忍集法忍集類忍滅法忍滅類忍道法忍道類忍也)。
【四見地】謂三乘之人同見第一義無生四諦之理故名見地(第一義者即真俗不二也無生者謂了一切法皆無生也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。
【五薄地】謂三乘之人斷欲界六品思惑欲惑稍輕得真諦理故名薄地(六品者謂欲界思惑分為九品此即前之六品也思惑者謂眼等五根對色等五塵而起貪愛也)。
【六離欲地】謂三乘之人斷欲界下三品思惑盡即離欲界生死故名離欲地(下三品者即九品中後之三品也)。
【七已辦地】謂三乘之人斷色界無色界思惑盡發真無漏智斷功畢故名已辦地(無漏謂不漏落三界生死也言真無漏者謂第四阿羅漢果之所證也若前初果須陀洹等雖證而生死猶未能盡未得名真也智斷功畢者智即破惑之智慧斷即所斷之惑業因此之智而畢斷惑之功也)。
【八辟支佛地】辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺謂緣覺之人發真無漏功德力大福慧深利以能侵除見思習氣故名辟支佛地(侵除者謂侵入習氣之內而除斷之也見思習氣者謂見思惑餘習之氣分也)。
【九菩薩地】菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情謂菩薩從空入假深觀真俗二諦進斷見思習氣與塵沙惑得法眼淨成道種智故名菩薩地(從空入假者謂菩薩從涅槃空出生死假而化眾生示同生死故名假也真諦者亡泯一切法也

俗諦者建立一切法也塵沙惑者謂眾生見思之惑種類數多如塵若沙也法眼淨者謂菩薩之眼觀一切法而無染礙也道種智者謂菩薩化他以一切道起眾生一切善種也)。

【十佛地】佛梵語具云佛陀華言覺謂佛有大功德力資利智慧而與一念相應觀真諦究竟習氣亦究竟覺果圓滿故名佛地(究竟即畢[書-曰+皿]之義也)。

十大弟子(出翻譯名義)

【一摩訶迦葉上行第一】梵語摩訶迦葉華言大龜氏其先代學道靈龜負偃圖而應從德命族故名大龜氏能行頭陀上行故稱上行第一(梵語頭陀華言抖擻)。

【二阿難陀多聞第一】梵語阿難陀華言慶喜佛成道時斛飯王遣使來白淨飯王言貴弟生男王聞歡喜語來使曰是男當安名慶喜後投佛出家能持三藏之教故稱多聞第一(三藏者經藏律藏論藏也)。

【三舍利弗智慧第一】梵語舍利弗華言鶖子其母眼如鶖鷺從母立字故名舍利弗善解諸法故稱智慧第一。

【四須菩提解空第一】梵語須菩提華言善吉亦云空生其生之日家室寶藏俱空父母驚異請相師占云此是吉相因名善吉又名空生稟性慈善不與物諍及其出家悟空得道故稱解空第一。

【五富樓那說法第一】梵語富樓那華言滿願父於滿江禱梵天求子正值江滿又夢七寶罌滿中盛寶入於母懷以遂父願故名滿願佛弟子中善解說法故稱說法第一(七寶者金銀瑠璃玻璃硨磲碼碯赤真珠也)。

【六目犍連神通第一】梵語目犍連華言胡豆上古僊人好食此物仍以為姓目犍連即姓也因姓立名故號目犍連佛弟子中得大神通故稱神通第一。

【七迦旃延論議第一】梵語迦旃延華言不空羅什師云南天竺婆羅門姓也善解論議故稱論議第一(梵語婆羅門華言淨行)。

【八阿那律天眼第一】梵語阿那律華言無滅昔因施食得生人天中受樂至今不滅名無滅是佛從第獲天眼通故稱天眼第一。

【九優波離持戒第一】梵語優波離華言上首或云近執佛為太子時曾為親近執事之臣出家持律為眾紀綱故稱持戒第一。

【十羅睺羅密行第一】梵語羅睺羅華言宮生是佛親子佛出家時以手指其妃腹因而有娠佛已出家在宮而生因名宮生佛弟子中能行密行故稱密行第一(密行者微密之行人所不能知者也)。

法師十德(出華嚴經疏)

華嚴經十地品中第九善慧地菩薩修行一切功德行願作大法師善能守護如來法藏以無量善巧智慧辯才能與大眾而演說法令諸眾生得大安樂具茲十德名為法師(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。

【一善知法義】善知法義者謂菩薩無礙之智善知一切諸法句義差別也。

【二能廣宣說】能廣宣說者謂菩薩能以智慧廣為眾生宣揚如來微妙之法也。
【三處眾無畏】處眾無畏者謂菩薩處大眾會善說法要隨他問難悉能酬荅而無所畏也。
【四無斷辯才】無斷辯才者謂菩薩辯才無礙說一切法經無量劫相續不斷也(劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【五巧方便說】巧方便說者謂菩薩善巧方便隨順機宜說大說小一切法門令他通解也。
【六法隨法行】法隨法行者謂菩薩說法令一切眾生如說而行隨順無違修諸勝行也。
【七威儀具足】威儀具足者謂菩薩於行住坐臥四威儀中有威可畏有儀可則無有缺犯也。
【八勇猛精進】勇猛精進者謂菩薩發勇猛心精進修習一切善法化導眾生無有退轉也。
【九身心無倦】身心無倦者謂菩薩整肅身心修諸勝行常起慈心攝化眾生無有懈倦也。
【十成就忍力】成就忍力者謂菩薩修習一切諸忍辱行成就無生法忍之力也(無生法忍者謂一切諸法本來不生於此法中忍可印證也)。
十科(出續高僧傳)
【一翻譯】翻譯者謂翻梵語而為華言也又譯之為言易也以華夏之言易彼梵語俾大法以流通如摩騰初至於漢譯四十二章經之類是也。
【二解義】解義者謂善解如來所說諸經甚深法義也蓋依解以立行修行以契理則可以弘大教可以證菩提如佛弟子迦旃延善解契經是也(梵語菩提華言道梵語迦旃延華言不空)。
【三習禪】禪梵語具云禪那華言靜慮謂人從無始以來逐妄迷真起惑造業展轉沉溺若能息心靜慮修習禪定一旦慧光發生則了妄顯真返本還源也。
【四明律】明律者謂明曉如來所制律法防非止過調練身口意之三業也蓋修行之人須深明戒律持犯之相堅固守護無毀無缺則能止惡遷善出離苦趣而生善道也。
【五感通】感通者謂神妙不測感之斯應也蓋修行之人既證道果內性明了則無感而不通故智論云通有四義一身能飛行二移遠能近三彼沒此出四一念即至如唐之萬回與元珪禪師者是也(萬回兄戍安西久無消息母憂之回即朝徃際晚而歸持兄書至報云平善徃復萬里故稱萬回元珪禪師居嵩山時嘗為嶽神授五戒感嶽神乞効神力報謝為移北岫樹木植之東嶺為屏障也)。
【六遺身】遺身者謂重法亡軀發勇猛心奮精進力務求佛道故棄身若弗有如世尊宿捨全身而求半偈神光叅達磨斷臂以求安心是也(涅槃經云佛昔作婆羅門時於雪山修行釋提桓因化作羅剎唱過去佛所說偈云諸行無常是生滅

法時婆羅門聞偈心喜即曰汝說偈未備請為說竟羅剎曰我飢不能說若得汝臙肉熱血食之乃可為舉全偈時婆羅門許以身施羅剎即說後半偈云生滅滅已寂滅為樂婆羅門以所聞偈徧書于石樹上訖於高木投身而下以施羅剎也傳燈錄云達磨大師在少林時神光晨夕叅求其法師曰諸佛妙道曠劫精勤豈小智輕心欲冀真乘光即取刀斷臂師前師許之為易名惠可可曰我心未寧乞師為安師曰將心來與汝安可曰覓心了不可得師曰為汝安心竟)。

【七讀誦】看文曰讀背文曰誦謂一大藏教佛祖至言若讀誦受持者可以滅罪生福或因言悟旨而得心地開明顯發智慧也。

【八護法】護法者謂諸佛所說教法弘護在人故如來於靈山會上付囑國王大臣為法護衛然出家奉佛者尤當勉力精進作世舟航渡諸淪溺以護佛法而令久住也。

【九興福】興福者謂興造福利事非一端如來歷刼苦行福慧兼修稱兩足尊此之十科自第八以前多言修慧至此第九乃言修福故修行之人能從事於八福田及寫經造像凡有利於物者不憚艱辛勉而行之則福之所由興也(八福田者謂廣路義井建造橋梁治平險隘孝養父母恭敬三寶給事病人救濟貧窮設無遮會也)。

【十雜科】雜者不一也謂前九科各專一事至此一科則兼前九科進修之事傍及世間經書治世語言禮樂文章制度典故無不兼通也。

十種補特伽羅(出地藏十輪經)

梵語補特伽羅華言有情又云人佛為有情之類罪業深重輪回生死難得人身故說此十種差別也。

【一不種善根】謂諸有情於宿世中及現在世不種菩提善根惟作惡行所以輪迴諸趣也(梵語菩提華言道)。

【二未修福業】謂諸有情於宿世中及現在世未曾修習布施持戒等福德之業多諸惡行所以輪迴諸趣也。

【三雜染相續】謂諸有情於宿世中及現在世為貪瞋癡等雜亂染污相續不絕由此惡行所以輪迴諸趣也。

【四隨惡友行】謂諸有情於宿世中及現在世隨順惡友習諸不善惡行所以輪迴諸趣也。

【五不畏後世苦果】謂諸有情於現在世但造惡業不畏未來生死苦報由此惡行所以輪迴諸趣也。

【六猛利貪欲】謂諸有情不知世間諸欲是眾苦之本但勇猛貪求無有厭足由此惡行所以輪迴諸趣也。

【七猛利瞋恚】謂諸有情於世間一切違逆之境不能安心忍受而但忿怒嗔恚不知止息由此惡行所以輪迴諸趣也。

【八猛利愚癡】謂諸有情於一切境迷惑不了起諸邪見蔑裂正法由此惡行所以輪迴諸趣也。

【九其心迷亂】謂諸有情心無所主迷惑狂亂縱身口意作不善業由此惡行所以輪迴諸趣也。
【十守惡邪見】謂諸有情不信如來正教堅執外道邪見由此惡行所以輪迴諸趣也。
大明三藏法數卷第三十一

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

長者十德(出翻譯名義)
【一貴姓】貴姓者謂勳戚尊貴世稱閥(房越切)閱(欲雪切)之族也(明其等曰閥積其功曰閱)。
【二位高】位高者謂居卿相台輔為百辟之長也。
【三大富】大富者謂寶貨豐饒所須具足也。
【四威猛】威猛者謂威嚴厚重人所敬畏也。
【五智深】智深者謂智慮深遠越格超群所謀皆當也。
【六年耆】年耆者謂齒高望重為物儀表人所尊仰也。
【七行淨】行淨者謂持心律己廉公潔白所行如言皆無玷也。
【八禮備】禮備者謂威儀庠序世所式瞻也。
【九上歎】上歎者謂才德兼備言行可則為在上者所歎服也。
【十下歸】下歸者謂謙以處己寬以御眾為在下者所歸向也。
菩薩十施(出華嚴經)
【一分減施】謂菩薩仁慈好行惠施若得美妙飲食分與眾生然後乃食復念身中八萬戶蟲依我身住願令普得充滿於凡所受之物悉亦如是是名分減施(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【二竭盡施】謂菩薩得上妙飲食香華衣服資生之具或有人言汝今所有悉當與我菩薩自念應為饒益諸眾生故隨所有物一切盡施乃至身命亦無所恪是名竭盡施。
【三內施】謂菩薩年方少盛端正美好始受轉輪王位七寶具足王四天下或有人言我今衰老煢獨羸頓若得王身手足血肉頭目骨髓我命存活菩薩念言我後必死今當施之以濟眾生心無所悔是名內施(七寶者金輪寶白象寶紺馬寶神珠寶玉女寶典財寶主兵寶也四天下者東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼北鬱單越也)。
【四外施】謂菩薩年盛色美眾相圓滿始受轉輪王位七寶具足或有人言我今貧窶惟願仁慈以施於我菩薩念言榮盛必衰我今宜應隨彼之意即便施之而無所悔是名外施。
【五內外施】謂菩薩形相端正處輪王位或有人言此輪王位願捨與我并及王身為我臣僕菩薩念言我身王位悉是無常即便施之乃至以身恭勤作役心無所悔是名內外施。
【六一切施】謂菩薩身盛美妙處輪王位或有無量貧窮人言大王垂慈各隨所求或乞國土或乞妻子或乞手足血肉肝腦菩薩心念一切恩愛會當別離即以一切悉皆施與心無悔恨是名一切施。

【七過去施】謂菩薩聞過去諸佛菩薩所有功德不貪不著見法如夢但為教化取著眾生成熟佛法即為說之觀過去法都不可得畢竟皆捨是名過去施。
【八未來施】謂菩薩聞未來諸佛所修之行了達非有不以己之善根回向於彼亦不於彼而退己之善根常勤修行攝化眾生觀未來法皆不可得畢竟皆捨是名未來施。
【九現在施】謂菩薩聞四天王眾天三十三天乃至色究竟天王眾天及聲聞緣覺具諸功德聞已不迷但觀諸行如夢不實不生貪著但令眾生捨離惡趣修行於道成就佛法是名現在施(四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也三十三天者即欲界忉利天也色究竟天者即色界第十八天也)。
【十究竟施】謂菩薩見無量眾生無眼耳鼻舌身手足來至我所告言我身薄祐諸根殘缺惟願仁慈捨己所有菩薩聞知即便施與假使經阿僧祇劫不生悔惜但念此身危脆不堅應以施彼願我成就清淨智身是名究竟施(梵語阿僧祇劫華言無類時)。
布施十種利益(出月燈三昧經)
布施乃破慳貪之前陣入正道之初門菩薩能行此者則獲十種利益也。
【一降伏慳恪】謂修菩薩行者若能布施則慳鄙恪惜之心自然降伏不復萌動矣。
【二捨心相續】謂修菩薩行者行於布施財雖匱乏而喜捨之心無有間斷也。
【三同其資產】謂修菩薩行者施心無量觀諸眾生與己無異所有財產平等受用無有彼此也。
【四生豪富家】謂修菩薩行者於一切財物常行惠施心無恪惜則當來果報必生豪富之家財寶具足受用無窮矣。
【五生處施心現前】謂修菩薩行者此生既能行於布施則感後世隨其所生之處而他人施與之者皆無慳恪之心矣。
【六四眾愛樂】謂修菩薩行者既能常懷惠施無所慳嫉則四眾之心常生愛樂而無嫌恨也(四眾者比丘比丘尼優婆塞優婆夷也)。
【七入眾不怯】謂修菩薩行者既能布施而為四眾之所愛樂故入大眾之中自無畏怯之心也。
【八勝名流布】謂修菩薩行者能無所求而行布施則人多稱讚勝妙名聞流布遐邇也。
【九手足柔輭】謂修菩薩行者好行布施濟人缺乏能感手足柔輭相好圓滿之報也。
【十不離知識】謂修菩薩行者自初發心行施以來常得親近諸佛菩薩善知識等獲聞法要未嘗遠離也。
菩薩十戒(出華嚴經)

謂菩薩奉持三世諸佛十種淨戒具足清白無有缺犯念諸眾生顛倒破戒我成正覺為說真法令離顛倒得淨戒法是名菩薩十戒(三世者過去現在未來也)。

【一普饒益戒】謂菩薩受持淨戒廣為利益一切眾生也。

【二不受戒】謂菩薩不受外道諸戒但自精進奉持諸佛平等淨戒也。

【三不住戒】謂菩薩受持戒時不求於彼欲界色界無色界受生而住也。

【四無悔恨戒】謂菩薩不作重罪不行諂詐不破淨行安住正戒心不悔恨也。

【五無違諍戒】謂菩薩於佛所制禁戒心常持護無所違犯亦不鬪諍觸惱一切眾生但願常生歡喜奉持於戒也。

【六不惱害戒】謂菩薩不學邪幻呪術及造作方藥惱害眾生但為救護一切而持於戒也。

【七不雜戒】謂菩薩不著邊見不惑外道所計但觀諸法緣起不實一心專持出離生死之戒也(邊見者謂外道於斷常二見中隨執一見也外道所計者謂計此身從梵天生從微塵生之類也諸法緣起者謂一切法皆由眼等六根為因色等六塵為緣而生也)。

【八不貪求戒】謂菩薩不現異相彰己有德起貪求心但為滿足出離生死法故而持於戒也。

【九無過失戒】謂菩薩不自貢高言我持戒見破戒人亦不輕毀令他愧恥但一其心而持於戒也。

【十無毀犯戒】謂菩薩受持淨戒無所毀犯永斷十惡具足十善恒念眾生皆由顛倒毀犯於戒我當為說真實妙法令離顛倒成就菩提也(十惡者一殺生二偷盜三邪婬四妄言五綺語六惡口七兩舌八貪九嗔十邪見也十善者不殺不盜不邪婬不妄言不綺語不惡口不兩舌不貪不瞋不邪見也梵語菩提華言道)。

菩薩十戒(出梵網經)

【一不殺戒】不殺戒者謂慈心憐愍不斷一切命也經云一切有命者不得故殺應起常住慈悲心孝順心方便救護一切眾生而反自恣心快意殺生者是波羅夷罪(梵語波羅夷華言極惡)。

【二不盜戒】不盜戒者謂不攘竊他人一切財物也經云一針一草不得故盜應生佛性孝順心慈悲心常助一切人生福生樂而反更盜人財物是波羅夷罪。

【三不[婬-壬+(工/山)]戒】不[婬-壬+(工/山)]戒者謂守禮自防不應行欲事也經云應生孝順心救度一切眾生淨法與人而反更起一切人[婬-壬+(工/山)]不擇親屬是波羅夷罪。

【四不妄語戒】不妄語戒者謂言當誠實不應虛妄誑他也經云應生正語正見亦生一切眾生正語正見而反更起一切眾生邪語邪見邪業是波羅夷罪。

【五不酤酒戒】不酤酒戒者謂酒能昏神亂性故不應酤也經云一切酒不得酤是酒起罪因緣菩薩應生一切眾生明達之慧而反更生一切眾生顛倒之心是波羅夷罪。
【六不說過罪戒】不說過罪戒者謂不應說他人好惡長短也經云聞外道惡人說佛法中非法非律常生慈心教化是輩令生善信若反更自說他人罪過是波羅夷罪。
【七不自讚毀他戒】不自讚毀他戒者謂不自矜伐不謗他人也經云若自揚己德隱他人好事令他人受毀者是波羅夷罪。
【八不慳戒】不慳戒者謂心無鄙悋悉捨所有也經云見一切貧窮人來乞者隨人所須一切給與而以惡心嗔心乃至不施一錢一針一草有求法者不為說一句一偈一微塵許法而反更罵辱者是波羅夷罪。
【九不嗔戒】不嗔戒者謂不應生忿怒之心也經云應生一切眾生善根無諍之事常生悲心孝順心而反更於一切眾生中以惡口罵辱加以手打及以刀杖意猶不息前人求悔善言懺謝猶嗔不解者是波羅夷罪(前人即被打之人也)。
【十不謗三寶戒】不謗三寶戒者謂於佛法僧所常當恭敬尊重不應謗毀也經云見外道及以惡人一言謗佛音聲如三百矛刺心況口自謗不生信心孝順心而反更助惡人邪見人謗是波羅夷罪。
大論十種戒(出大智度論)
【一不缺戒】謂修行之人毀犯淨戒如器已缺無所堪用若能恒自守護如愛明珠則能攝一切戒是名不缺戒。
【二不破戒】謂修行之人毀犯戒法如器破裂不堪為用若能持護不犯無有破損是名不破戒。
【三不穿戒】謂修行之人毀犯戒法如器穿漏不堪受物若能持護無毀是名不穿戒。
【四不雜戒】謂修行之人或毀定共戒念破戒事名之曰雜若能護持不毀欲念不起是名不雜戒(定共戒者即禪定與戒法相應也)。
【五隨道戒】謂聲聞初果須陀洹人隨順諦理能破見惑無所分別是名隨道戒(梵語須陀洹華言預流見惑者謂意根對法塵而起分別也)。
【六無著戒】謂二乘之人見真諦理能成聖道於諸思惑無所染著是名無著戒(二乘者聲聞乘緣覺乘也思惑者謂眼等五根對色等五塵而起貪愛也)。
【七自在戒】謂菩薩化他妙用於諸世間而得自在無礙是名自在戒。
【八智所讚戒】謂菩薩於諸世界化導眾生為智者之所讚嘆是名智所讚戒(智者即諸佛也)。
【九隨定戒】謂菩薩隨首楞嚴定現諸威儀導利眾生雖威儀變現而任運常靜是名隨定戒(梵語首楞嚴華言健相分別)。
【十具足戒】謂菩薩持中道第一義諦戒用中道慧徧入諸法無戒不備是名具足戒(第一義諦者謂中道實相之理無二無別諦審不虛也)。

沙彌十戒(出翻譯名義并沙彌十戒法)
梵語沙彌華言息慈初受十戒名為沙彌後受具足戒名為比丘也(具足戒者即一百五十戒也梵語比丘華言乞士)。
【一不殺戒】謂常念有情皆惜身命應當憐愍慎勿傷害是名不殺戒。
【二不盜戒】謂物各有主雖一針一草亦不當攘竊是名不盜戒。
【三不[婬-壬+(工/山)]戒】謂清淨自守不犯色欲是名不[婬-壬+(工/山)]戒。
【四不妄語戒】謂言說誠實不以虛言誑他是名不妄語戒。
【五不飲酒戒】謂酒能昏神亂性增長愚癡應當絕飲是名不飲酒戒。
【六離高廣大床戒】謂所坐之床高不過尺六廣不過四尺若過此量者名高廣大床則不當坐是名離高廣大床戒。
【七離花鬘等戒】謂不著花鬘瓔珞不用香油塗身是名離花鬘等戒。
【八離歌舞等戒】謂不自歌舞亦不輒徃觀聽歌舞是名離歌舞等戒。
【九離金寶物戒】謂金銀錢寶不當蓄積亦不許手執是名離金寶物戒。
【十離非時食戒】謂佛制午時為食時若過午則不當食是名離非時食戒。
持戒十種利益(出月燈三昧經)
持戒是菩提之根本入道之要門菩薩能堅守護持則獲此十種利益也(梵語菩提華言道菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【一滿足智願】謂修菩薩行者能持禁戒則身心清淨慧性明了一切智行一切誓願無不滿足也。
【二如佛所學】謂佛初修道時以戒為本而得證果菩薩修行若能堅持淨戒是亦如佛之所學也。
【三智者不毀】謂修菩薩行者戒行清淨身口無過凡有智之人喜樂讚歎而不毀訾也。
【四不退誓願】謂修菩薩行者堅持淨戒求證菩提誓願弘深勇猛精進而不退轉也。
【五安住正行】謂修菩薩行者堅持戒律則身口意業悉皆清淨而於正行安住而不捨也。
【六棄捨生死】謂修菩薩行者受持淨戒則無殺盜[婬-壬+(工/山)]妄等業而能出離生死永脫輪迴之苦也。
【七慕樂涅槃】梵語涅槃華言滅度謂修菩薩行者堅持戒律絕諸妄想故能厭惡生死之苦而欣慕涅槃之樂也。
【八得無纏心】謂修菩薩行者戒德圓明心體光潔一切煩惱業緣悉皆解脫而無纏縛之患也。
【九得勝三昧】梵語三昧華言正定謂修菩薩行者持戒清淨心不散亂則得三昧成就定性現前而超諸有漏也。

【十不乏信財】謂修菩薩行者持守戒律於諸佛法具正信心則能出生一切功德法財而不匱乏也。

十善(出法界次第)

善即順理之義謂行此十法皆順理故然有二種一者止二者行止則止息已惡不惱於他行則修行勝德利安一切也。

【一不殺生】不殺生者謂不害一切物命即是止殺之善既不殺已當行放生之善也。

【二不偷盜】不偷盜者謂不竊取他人財物即是止盜之善既不盜已當行布施之善也。

【三不邪[婬-壬+(工/山)]】不邪[婬-壬+(工/山)]者謂不行邪[婬-壬+(工/山)]欲事即是止[婬-壬+(工/山)]之善既不邪[婬-壬+(工/山)]當行清淨梵行之善也。

【四不妄語】不妄語者謂不起虛言誑惑他人即是止妄語之善既不妄語當行實語之善也。

【五不兩舌】不兩舌者謂不向兩邊說是談非令他鬪諍即是止兩舌之善既不兩舌當行和合利益之善也。

【六不惡口】不惡口者謂不發麤獷惡言罵辱他人即是止惡口之善既不惡口當行柔和軟語之善也。

【七不綺語】不綺語者謂不莊飾華麗之言令人樂聞即是止綺語之善既不綺語當行質直正言之善也。

【八不貪欲】不貪欲者謂不貪著情欲塵境即是止貪之善既不貪欲當行清淨梵行之善也。

【九不瞋恚】不瞋恚者謂不生忿怒之心瞋恨於人即是止瞋之善既不瞋恚當行慈忍之善也。

【十不邪見】不邪見者謂不偏邪異見執非為是即是止邪見之善既不邪見當行正信正見之善也。

每月十齋日(出法苑珠林)

【初一日】此日四天王太子下降按行人間比校善惡若念定光佛名號則滅一切罪增一切福(四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也)。

【初八日】此日摩醯首羅天王下降按臨人間觀察善惡若念藥師瑠璃光佛名號則滅一切罪增一切福(梵語摩醯首羅華言大自在)。

【十四日】此日摩醯首羅天王下降按臨人間觀察善惡若念賢劫千佛名號則滅一切惡生一切善(劫梵語具云劫波華言分別時節賢者劫名謂此劫中多賢人也)。

【十五日】此日四天王太子下降按臨人間觀察善惡若念阿彌陀佛名號則滅生死罪得寂滅樂(梵語阿彌陀華言無量壽)。

【十八日】此日四天王太子使者下降觀察人間比校善惡若念地藏菩薩名號則滅除罪業增延福壽。
【二十三日】此日摩醯首羅天王下降按察人間比校善惡若念大勢至菩薩名號則增長福利滅除罪惡。
【二十四日】此日四天王太子下降按行人間觀察善惡若念觀世音菩薩名號則滅除眾苦長養諸善。
【二十八日】此日四天王使者下降觀察人間比校善惡若念盧舍那佛名號則滅煩惱罪得智慧樂(梵語盧舍那華言淨滿)。
【二十九日】此日摩醯首羅天王下降親臨人間比校善惡若念藥王菩薩名號則滅一切惡生一切善。
【三十日】此日四天王使者下降按行人間觀察善惡若念釋迦牟尼佛名號則增長福利成就菩提(梵語菩提華言道)。
十忍(出仁王護國般若經疏)
忍即忍可亦安忍也謂通教菩薩觀五陰三界因果二諦等法成就十忍也(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也三界者欲界色界無色界也二諦者真諦俗諦也)。
【一戒忍】謂由觀色陰而不犯禁制即得戒忍以作無作戒體皆是色攝故也(作無作戒者謂初受戒時有所作為執守堅持名為作也持守既久雖不作意而任運無所毀犯名無作也)。
【二知見忍】謂由觀識陰了知一切諸法邪正之見皆從識心而生即得知見忍以了別識與此知見相類故也(了別識即意識以識有分別之義故也)。
【三定忍】謂由觀想陰不起亂思即得定忍以從顛倒妄想能入於定故也。
【四慧忍】謂由觀受陰無苦樂相即得智慧忍以分別諸法皆悉空寂智慧即生故也。
【五解脫忍】謂由觀行陰無造作相即得解脫忍以行皆悉無常無有結縛也。
【六空忍】謂由觀三界苦果無有實體即得空忍也以生死苦諦性本空寂故也。
【七無願忍】謂由觀三界苦因皆悉空故即得無願忍以煩惱集諦性本清淨故也。
【八無相忍】謂由觀三界因果之法皆空即得無相忍以因果之相本空無有故也。
【九無常忍】謂由觀俗諦之境一切有為之法悉皆虛幻即得無常忍以一切諸法遷滅不停故也(俗諦者謂建立一切法也)。
【十無生忍】謂由觀真諦之境是無為法諸念不生即得無生忍以真空之理本無生滅故也(真諦者謂泯絕一切法也)。
慈忍十種利益(出月燈三昧經)

慈即愛念忍即安忍謂修菩薩行者於一切違順等境皆能慈忍故獲此十種利益也。
【一火不能燒】謂修菩薩行者但為利益眾生常懷慈忍之心於一切違逆之境了知身心自性本空悉無所惱是以瞋恚之火所不能燒也。
【二刀不能割】謂修菩薩行者但為利益眾生常懷慈忍之心於一切橫逆之境了知自身体性空寂悉無所畏是以瞋恚利刀所不能割也。
【三毒不能中】謂修菩薩行者但為利益眾生常懷慈忍之心人或有所加害了知身心本空不以為意是以貪瞋毒藥所不能中也。
【四水不能漂】謂修菩薩行者但為利益眾生常懷慈忍之心於一切順情之境了知諸法本空悉無所染是以貪愛之水所不能漂也。
【五為非人護】非人即鬼神之類謂修菩薩行者但為利益眾生常懷慈忍之心於一切時處鬼神之類悉皆護衛也。
【六身相莊嚴】謂修菩薩行者但為利益眾生常懷慈忍之心愛念於人是以能感色身相好莊嚴之報也。
【七閉諸惡道】謂修菩薩行者但為利益眾生常懷慈忍之心成就善法是以惡道之門自然閉而不開也。
【八隨樂梵天】梵天即色界初禪天也謂修菩薩行者慈忍具足梵行無虧故報盡命終隨其意樂而得生於梵天也。
【九晝夜常安】謂修菩薩行者常行慈忍之心利益有情而不惱害故得身心寂靜晝夜常安也。
【十不離喜樂】謂修菩薩行者常懷慈忍之心利益眾生令其各獲安隱是以自之身心亦不離於喜樂也。
精進十種利益(出月燈三昧經)
謂修菩薩行者於諸梵行念念進修精勤無怠故有十種利益也(梵行即淨行也)。
【一他不折伏】謂菩薩慧解精勤行業成就則不為一切邪論妄計之所折伏也。
【二得佛所攝】謂菩薩於諸梵行精進無怠則為諸佛之所攝受而不捨也。
【三為非人護】非人即鬼神之類謂菩薩於諸梵行精進無怠於一切時處鬼神之類悉加衛護也。
【四聞法不忘】謂菩薩於諸梵行精進無怠則於所聞之法常能憶持而不忘失也。
【五未聞能聞】謂菩薩於諸梵行勇猛精進樂法之心無有厭足則昔所未聞今皆得聞也。
【六增長辯才】謂菩薩於諸梵行精進無怠則法義皆通辯才增長隨問隨答皆無疑礙也。

【七得三昧性】梵語三昧華言正定謂菩薩於諸梵行精進無怠則身心寂靜定性現前不為世相之所變遷也。
【八少病少惱】謂菩薩於諸梵行精進無怠雖晝夜不息而善能調適身心是以常得輕安少病少惱也。
【九得食能消】謂菩薩於諸梵行精進無怠而於飲食不節不恣是以食已即消而無停滯之患也。
【十如優鉢羅華】梵語優鉢羅華言青蓮花以其出於淤泥而無染污世人見之即生希有之想謂菩薩於諸梵行精進無怠雖處生死不為煩惱之所染著猶如此花見者亦生希有之心也。
禪定十種利益(出月燈三昧經)
謂修菩薩行者善能修習禪定則萬緣俱息定性現前故獲此十種利益也。
【一安住儀式】謂菩薩習諸禪定必須整肅威儀一遵法式行之既久則諸根寂靜正定現前自然安住無所勉強是為安住儀式。
【二行慈境界】謂菩薩習諸禪定常存慈愛之心而無傷殺之念於諸眾生悉令安隱是為行慈境界。
【三無煩惱】謂菩薩習諸禪定諸根寂靜則貪瞋癡等一切煩惱自然不生是為無煩惱。
【四守護諸根】謂菩薩習諸禪定常當防衛眼等諸根不為色等諸塵所動是為守護諸根。
【五無食喜樂】謂菩薩習諸禪定既得禪悅之味以資道體雖無飲食之奉而自然欣豫是為無食喜樂。
【六遠離愛欲】謂菩薩修習禪定寂默一心不令散亂則一切愛欲之境悉無染著是為遠離愛欲。
【七修禪不空】謂菩薩習諸禪定而獲諸禪功德雖證真空之理而不隨於斷滅之空是為修禪不空。
【八解脫魔羂】謂菩薩習諸禪定則能遠離生死一切魔網悉皆不能纏縛是為解脫魔羂。
【九安住佛境】謂菩薩習諸禪定開發無量智慧通達甚深法義於佛知見自然明了心心寂滅住持不動是為安住佛境。
【十解脫成熟】謂菩薩習諸禪定一切業惑不能撓亂行之既久則無礙解脫自然圓就是為解脫成熟。
坐禪人十種行(出解脫道論)
【一令觀處明淨】謂修行之人欲修禪定先須調適飲食不飢不飽次須隨順時節不先不後又當整肅威儀無有[仁-二+解]怠修此三行用觀分明則諸緣屏息心常寂靜安於禪定是為觀處明淨。
【二徧起觀諸根】謂坐禪之人欲修禪定當周徧觀察信等五根不令消減與定相應心無懈怠即得遠離疑蓋等過三昧現前是為徧起觀諸根(五

根者信根進根念根定根慧根也梵語三昧華言正定)。
【三曉了於相】謂坐禪之人欲修禪定必當曉了意識想念之相令其不急不寬調適得中則妄想不生禪定易入是為曉了於相。
【四制令心調】謂坐禪之人欲修禪定當起精進制伏其心調停適中勿使過度增長亂意則得定相現前三昧成就是為制令心調。
【五折伏懈怠】謂坐禪之人若以不得勝定令心無味故成懈怠而欲睡眠於是之時必當諦觀諸禪功德策勵精進則定相現前三昧可得是為折伏懈怠。
【六心無味著】謂坐禪之人欲修禪定以慧根遲鈍及少方便不得寂靜故於勝定無所樂著是為心無味著。
【七心歡喜】謂坐禪之人於諸勝定心若無味當觀生老病死及諸惡趣令生恐怖然後念佛法僧等諸功德策進身心令欣得禪定是為心歡喜。
【八心定成捨】謂坐禪之人欲修禪定當調伏諸根如理思惟安住寂靜而捨一切非正之行是為心定成捨。
【九近學定人】謂坐禪之人欲修禪定應當遠離不修威儀及不習寂靜之人而常親近安住寂靜威儀整肅心源泯淨者依其教誡成就正定道業是為近學定人。
【十樂著安定】謂坐禪之人欲修禪定於彼得定善解緣起入寂靜處者即當愛樂恭敬求其開導以起定心是為樂著安定。
般若十種利益(出月燈三昧經)
梵語般若華言智慧謂菩薩由此智慧通達無礙故獲十種利益也。
【一一切捨不取施想】謂菩薩修行般若照了萬法俱寂是故雖行布施而無能施之想不著所施之物不見受施之人是為一切捨不取施想。
【二持戒不缺而不依戒】謂菩薩修行般若雖堅持淨戒無所毀缺然以空慧照之則不見有能持能犯之相是為持戒不缺而不依戒。
【三住於忍力而不住眾生想】謂菩薩修行般若安住忍力度諸眾生然以空慧照之而終不起眾生得度之想是為住於忍力而不住眾生想。
【四行於精進而離身心】謂菩薩修行般若於諸梵行雖勇猛精進然以空慧照之而不見有身心精進之相是為行於精進而離身心。
【五修禪而無所住】謂菩薩修行般若雖在禪定然以空慧照之而於一切諸禪功德不生味著是為修禪而無所住。
【六魔不能擾】謂菩薩修行般若能以空慧照了諸法本性空寂復知魔佛體元不異魔雖發現即無所怖是為魔不能擾。
【七於他言論其心不動】謂菩薩修行般若於世間出世間一切諸法無不通達明了故於他人言論悉能辯其邪正是非不為所惑是為於他言論其心不動。
【八達生死海底】謂菩薩修行般若照了諸法洞徹生死淵源不為輪轉所溺是為達生死海底。

【九起增上悲】謂菩薩修行般若雖觀一切性空常以廣大悲愍之心誓拔一切眾生之苦令得解脫是為起增上悲。
【十不樂二乘道】謂菩薩修行般若而能了知聲聞緣覺小乘之法沉滯空寂未為究竟而不欣樂唯求大乘無上之道而得解脫是為不樂二乘道。
聞經十益(出華嚴經疏)
謂毘盧遮那如來現法界無盡身雲徧一切處與十方佛互為主伴稱性圓融而說此經令諸菩薩一切大眾及未來世法界眾生皆悉得聞信解悟入生如來家乃至深入毘盧性海若人聞是經得無量無邊利益今束為十故云聞經十益也(梵語毘盧遮那華言徧一切處)。
【一見聞益】見聞益者謂見聞如來常說徧說此之大經佛佛道同法應如是令諸眾生入佛境界成見聞益(常說者過去現在窮未來際恒說此法也徧說者十方無盡世界皆說此法也)。
【二發心益】謂聞如來說本因中大願大行誓度眾生是以遂發信心學佛行願成發心益。
【三造修益】謂聞如來說此大經發起當機智慧善業令諸眾生如法進修成造修益。
【四頓得益】謂聞如來初成正覺即說此經為根本法輪義理玄妙具含眾德令諸眾生即能開悟成頓得益。
【五滅障益】謂聞如來說此大經廣明依正二果勝德莊嚴是以信樂修行滅煩惱障成滅障益(依正二果者一依果謂華藏莊嚴世界二正果謂如來十身也)。
【六攝位益】謂聞此經顯說圓融地位即一位之中具攝諸位功德期心證入成攝位益。
【七起行益】謂聞此經廣說圓融妙行即一行頓成諸行是以起深信解發意修行成起行益。
【八稱性益】謂聞說此經稱性極談真實之法決須解了依性起修成稱性益。
【九轉利益】謂聞此經說一切眾生皆具如來智慧乃展轉與人演說皆得饒益成轉利益。
【十速證益】謂總具前諸法門故廣修眾德則能速出生死頓證菩提成速證益(梵語菩提華言道)。
多聞十種利益(出月燈三昧經)
謂修菩薩行者於世間出世間一切邪正之法無不聞知故獲此十種利益也。
【一知煩惱助】謂修菩薩行者以多聞故則知自身及諸眾生所有一切煩惱之惑皆能資助業因而受當來果報故求出離而不為所惑也。

【二知清淨助】謂修菩薩行者以多聞故悉知一切清淨梵行皆能資助菩提之道是以精勤修習以證無上佛果也。
【三遠離疑惑】謂修菩薩行者以多聞故則於世間出世間一切諸法及外道邪魔等論悉皆明了通達而無所疑惑也。
【四作正直見】謂修菩薩行者以多聞故則於一切邪正之法無不明了若有眾生邪見邪論者為作正直知見而格其非心也。
【五遠離非道】謂修菩薩行者以多聞故則於善惡果報諸法同緣無不明了故殺盜等一切非法之道皆能遠離而不為也。
【六安住正路】謂修菩薩行者以多聞故則於一切邪正諸法無不明了故不為非道所惑而於如來正法常得安住而不退也。
【七開甘露門】謂修菩薩行者以多聞故則能深入如來之藏了知無上法味而復以此普潤眾生令其善根增長是為開甘露門也。
【八近佛菩提】梵語菩提華言道謂修菩薩行者以多聞故常勤修習則知戒定慧行能趣聖果是以心常在道精勤無怠而於佛果菩提為不遠也。
【九為作光明】謂修菩薩行者以多聞故知諸眾生皆為無明所覆常受長夜之苦而能以智慧之燈作諸光明令其出離幽暗而獲清升之樂也(無明者無所明了也)。
【十不畏惡道】謂修菩薩行者以多聞故曉了萬法體本空寂無苦無樂是以發廣大心隨類化度一切眾生而於險難惡道悉無所畏也。
十法行(出辯中邊論)
【一書寫】謂於佛所說經律論文書寫流通使不斷絕也。
【二供養】謂於佛經典所在之處如佛塔廟皆應恭敬尊重供養也。
【三施他】謂所聞之法為他演說或施與經卷不專自用但欲利他也。
【四諦聽】謂聞他人讀誦解說一切經法深生愛樂而專心審聽也。
【五披讀】謂於諸佛所說之經時常披閱看讀不釋手也。
【六受持】謂於諸佛所說教法從師稟受持而弗失也。
【七開演】謂於如來所說正法時常開示演說令人信解也。
【八諷誦】謂於如來所說一切道法諷誦宣揚梵音清徹令人樂聞也。
【九思惟】謂於如來所說一切法義思惟籌量憶念不忘也。
【十修習】謂依如來所說之法精修數習以成道果也。
十種行願(出華嚴經行願品)
普賢菩薩於華嚴會上逝多林中稱歎如來勝功德已告諸菩薩及善財言如來功德十方諸佛經剎塵劫說不能[書-曰+皿]若欲成就此功德門應修十種廣大行願也(普賢者德周法界曰普調柔善順曰賢菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語逝多華言勝林劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【一禮敬諸佛】謂一心運想十方諸佛如對目前恭敬慇懃五體投地故云禮敬諸佛(五體者頭及兩手兩足也)。

【二稱讚如來】謂愛樂佛之功德以微妙舌根出無[書-曰+皿]音聲稱揚讚嘆故云稱讚如來。
【三廣修供養】謂諸佛如來為最上福田當起正信悉以上妙財法等所謂最勝花鬘塗香貨財眾具及以勤修善根菩提妙法皆悉無量以用供養故云廣修供養(梵語菩提華言道)。
【四懺除業障】懺梵語具云懺摩華言悔過今言懺悔華梵兼舉也謂之懺者陳露先罪悔者改徃修來若欲懺除業障即當自念無量刼中由貪嗔癡作諸惡業障蔽真性今當清淨三業於諸佛菩薩眾前誠心懺悔不敢覆藏故云懺悔業障(三業者身業口業意業也)。
【五隨喜功德】謂佛從初發心不惜身命捨頭目髓腦修諸苦行以至成道滅度所有功德乃至六趣四生聲聞辟支佛一切菩薩等種種所有諸善功德我皆隨順歡喜故云隨喜功德(六趣者天趣人趣修羅趣餓鬼趣畜生趣地獄趣也四生者胎生卵生濕生化生也辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【六請轉法輪】謂十方剎土諸佛成等正覺我以身口意業慇懃勸請轉妙法輪普雨法雨自他霑洽故云請轉法輪(剎梵語具云剎摩華言土田)。
【七請佛住世】謂諸佛菩薩聲聞緣覺諸善知識將欲入滅我悉勸請久住於世利樂眾生故云請佛住世。
【八常隨佛學】謂佛從初發心精進不退不惜身命剝皮為紙析骨為筆刺血為墨書寫經典積如須弥乃至成道說法度生所有法行悉願隨順修學故云常隨佛學(梵語須弥華言妙高)。
【九恒順眾生】謂常於一切眾生承事供養如奉師長如敬父母凡有病苦為作良醫乃至貧窮令得饒富如是平等隨順利樂故云恒順眾生。
【十普皆迴向】謂發廣大心從初禮敬諸佛乃至恒順眾生所有一切廣大功德普皆迴向法界眾生願令常得安樂乃至究竟成就菩提故云普皆迴向。
十度各三行(出成唯識論)
度者超度也謂此十度各有三種殊勝行門菩薩修行此法則能自利利他度諸眾生離生死此岸越煩惱中流到涅槃彼岸同證無上菩提(梵語涅槃華言滅度梵語菩提華言道)。
【一施度三行】此施度有三種一財施謂以己所有財物施與他人令其安樂二法施謂以佛法為諸眾生演說令其開悟三無畏施謂於諸眾生無殺害心令其無所怖懼是為施度三行。
【二尸度三行】尸梵語具云尸羅華言清涼又翻為戒此戒度有三種一攝律儀戒謂持佛戒律具眾威儀二攝善法戒謂身口意所作善法皆悉攝持三饒益有情戒謂以慈悲喜捨之心與眾生樂拔眾生苦平等利益是為尸度三行。

【三忍度三行】此忍度有三種一耐怨害忍謂若遇怨憎毒害安然忍耐無返報心二安受苦忍謂若遇水火刀杖眾苦所逼恬然忍受三諦察法忍謂諦審諸法體性虛幻而本無生滅安然忍可是為忍度三行。
【四進度三行】此進度有三種一被甲精進謂起大誓願心修諸勝行二攝善精進謂修方便行進趣無上菩提三利樂精進謂勤化眾生咸修於道是為進度三行。
【五禪度三行】禪梵語具云禪那華言靜慮此禪度有三種一安住靜慮謂亂想不起深入禪定二引發靜慮謂智慧現前生諸功德三辦事靜慮謂功行圓成利益眾生是為禪度三行。
【六慧度三行】此慧度有三種一生空無分別慧謂平等照了俗諦之法無生滅相二法空無分別慧謂平等照了真諦之法悟性本空三俱空無分別慧謂全照中道超前二空悉皆平等是為慧度三行(俗諦者謂建立一切法也真諦者謂泯絕一切法也)。
【七方便度三行】此方便度有三種一進趣果向方便謂修諸功德迴向佛果二巧會有無方便謂能善巧融會真俗二諦之理三不捨不受方便謂扳濟眾生了達能所皆空而不捨離是為方便度三行。
【八願度三行】此願度有三種一求菩提願謂自求佛果二利樂他願謂救度一切眾生三外化願謂外化有情亦起自利利他之願是為願度三行。
【九力度三行】力即力用謂此力度有三種一思擇力謂思惟揀擇一切善法而得其力二修習力謂修行數習殊勝妙行證得其力三變化力謂神通力用化度眾生是為力度三行。
【十智度三行】此智度有三種一無相智謂觀達一切諸法性本自空二受用法樂智謂修行證得一切種智恒自受用得大自在三成熟有情智謂教化饒益一切眾生成就道果是為智度三行(一切種智謂知一切道知一切種即佛智也)。
十種有依行輪(出地藏十輪經)
有依行者有可憑依之行業也輪以摧碾為義佛謂眾生依此行業而修菩提則能摧破一切煩惱惑業故曰輪也(梵語菩提華言道)。
【一具足淨信】謂眾生具足清淨信心則於一切善惡業緣受報因果皆無所疑此為有依行也。
【二具足慚愧】謂眾生具足慚愧之心凡有所作身口過非而能內自羞恥發露向人悉不覆藏此為有依行也。
【三安住律儀】謂眾生若能攝身口意業安住淨戒則於殺盜[婬-壬+(工/山)]妄等諸律儀悉無毀犯此為有依行也。
【四安住慈心】謂眾生若能安住平等慈愛之心則於一切有情悉與其樂不加惱害此為有依行也。

【五安住悲心】謂眾生若能安住平等悲憫之心則於一切有情見其受苦普為救拔令其安隱此為有依行也。
【六安住喜心】謂眾生若能安住歡喜之心見諸有情離苦得樂了無憎嫉之意此為有依行也。
【七安住捨心】謂眾生若能安住捨離之心則於一切有情冤親平等無憎無愛此為有依行也。
【八具正歸依】謂眾生發心修行之初必須歸向依止佛法僧寶則所修所證有所憑據而不惑於外道邪魔之見此為有依行也。
【九具足精進】謂眾生於如來一切善法若能隨順修學勇猛精勤始終不懈此為有依行也。
【十常樂寂靜】謂眾生修習禪定當遠離憒鬧寂默一心如理思惟絕諸妄想此為有依行也。
十種發心(出華嚴經隨疏演義鈔)
十種發心者謂諸眾生迷妄失真念念起心貪著諸境業報不同苦樂有異皆因發心不純也。
【一發地獄心】謂眾生念念起貪瞋之心日增月甚造上品十惡行火塗道是名發地獄心(上品者謂人作惡於欲作正作作已三時之中俱不能悔也十惡者一殺生二偷盜三邪[婬-壬+(工/山)]四妄語五兩舌六惡口七綺語八貪欲九瞋恚十邪見也火塗道者即地獄道也謂地獄中受火床炉炭等苦也)。
【二發畜生心】謂眾生念念起心欲多眷屬如海吞流愚痴貪著起中品十惡行血塗道是名發畜生心(中品者謂作惡已後起少悔心也血塗道者即畜生道也謂畜生常被互相吞啖之苦也)。
【三發餓鬼心】謂眾生念念欲得名聞四遠八方稱揚內無實德虛比聖賢唯行諂誑起下品十惡行刀塗道是名發餓鬼心(下品者謂作惡之時即能悔也刀塗道者即餓鬼道也謂餓鬼中常受刀杖逼迫之苦也)。
【四發下品十善心】下品者於作善之時即生悔心也十善者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不兩舌不惡口不綺語不貪欲不瞋恚不邪見也謂眾生念念欲勝於人輕他重己而外揚仁義行脩羅道是名發下品十善心(梵語阿脩羅華言非天謂行非天也)。
【五發中品十善心】中品者於作善已後起少悔心也謂眾生念念忻樂世間修行五戒行人之道是名發中品十善心(五戒者不殺生不偷盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也)。
【六發上品十善心】上品者於十善欲作正作作已三時之中心俱不悔也謂眾生念念知三惡道苦及知人間苦樂相間唯天上純受諸樂而求生彼故閉攝內根不著外塵修行天道是名發上品十善心(三惡道者餓鬼道畜生道地獄道也內根者即意根也)。
【七發欲界主心】欲界主者即欲界他化自在天主也謂眾生若念念張大威勢奪他所化以自娛樂而行魔羅道是名發欲界主心(梵語魔羅華言能

奪命謂能奪人智慧之命稱天魔者即此天也)。
【八發世智心】謂眾生念念欲得利智辯聰高才明哲鑒達古今不信出世教法而行尼犍道是名發世智心(梵語尼犍華言離繫即外道也)。
【九發梵心】謂眾生念念厭下欲界塵境忻上梵天勝妙之樂而行色無色之道是名發梵心(色無色者謂色界無色界也)。
【十發無漏心】無漏者不漏落生死也謂眾生念念厭離世間生死之苦斷除貪瞋癡之妄惑常修無漏之因而行二乘之道是名發無漏心(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
十念(出諸經要集)
謂於佛等十境起修十念攝伏亂心勿使妄動則正念現前佛道可期矣。
【一念佛】謂於如來相好功德時常專心繫想念念不忘是名念佛。
【二念法】謂諸佛教法為修行之軌則能除愛欲塵勞諸結使縛時常專心繫想念念不忘是名念法(結使者謂一切惑業纏結而能驅使眾生受生死之苦也)。
【三念僧】謂菩薩羅漢聖僧咸具種種功德為世福田時常專心繫想念念不忘是名念僧(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情羅漢梵語具云阿羅漢華言無學)。
【四念戒】謂佛所制之戒能息諸惡成就道品猶如瓔珞可以嚴身時常專心繫想念念不忘是名念戒。
【五念施】謂布施能破慳貪生長福果及所施之後無有悔心亦不求報但起慈心利益一切時常專心繫想念念不忘是名念施。
【六念天】謂諸天善業成就感報勝身眾福具足而我亦當修如是善業感如是身時常專心繫想念念不忘是名念天。
【七念休息】謂於寂靜之處閑居獨處屏息一切緣務則可脩習聖道時常專心繫想念念不忘是名念休息。
【八念安般】安般梵語具云安那般那華言遣來遣去即出入息也謂攝心靜慮數出入息覺知長短則能除諸妄想時常專心繫想念念不忘是名念安般。
【九念身】謂此身頭目手足皮肉骨髓何者是身從何處來為誰所造於此終後當生何處了知因緣假合畢竟不實即須晝夜精進修習淨行時常專心繫想念念不忘是名念身。
【十念死】謂人之生猶如夢幻諸根不久終當散壞即須晝夜精修以求出離時常專心繫想念念不忘是名念死。
大明三藏法數卷第三十二

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

念佛十種心(出大寶積經)
彌勒菩薩白佛言如佛所說阿彌陀佛極樂世界功德利益若有眾生發十種心隨一一心專念彼佛是人命終當得往生也(梵語彌勒華言慈氏梵語阿彌陀華言無量壽)。
【一無損害心】念佛之人於諸眾生常起大慈之心不加損害令得快樂是名無損害心。
【二無逼惱心】念佛之人身心安靜於諸眾生常起大悲之心深加愍傷令得脫苦是名無逼惱心。
【三樂守護心】念佛之人於佛所說正法當須不惜身命守護愛惜是名樂守護心。
【四無執著心】念佛之人常以智慧觀察於一切法不生執著是名無執著心。
【五起淨意心】念佛之人能離世間雜染之法復於利養等事常生知足之心是名起淨意心。
【六無忘失心】念佛之人求生淨土成佛種智於一切時念念不捨是名無忘失心。
【七無下劣心】念佛之人常行平等之心於諸眾生尊重恭敬不生輕慢是名無下劣心。
【八生决定心】念佛之人不著世間言論於無上菩提之道深生正信畢竟不惑是名生决定心(梵語菩提華言道)。
【九無雜染心】念佛之人修習功行種諸善根心常遠離一切煩惱雜染是名無雜染心。
【十起隨念心】念佛之人雖觀如來相好而不生愛著之心於無念中常念彼佛是名起隨念心。
十種方便(出晉譯華嚴經)
【一布施方便】謂修菩薩行者心無慳吝於身命財悉皆喜捨但欲利益眾生不求人之恩報是為布施方便也。
【二持戒方便】謂修菩薩行者堅持禁戒行頭陀行威儀具足不輕他人於諸塵境心無染著是為持戒方便也(梵語頭陀華言抖擻)。
【三忍辱方便】謂修菩薩行者遠離顛倒瞋恚而無彼我之想於諸眾生設有橫逆侵加於己悉能忍受心無所動是為忍辱方便也。
【四精進方便】謂修菩薩行者於諸梵行即當捍勞忍苦勇猛無怠其所得法念念思惟不令忘失是為精進方便也(梵行即淨行也)。

【五禪定方便】謂修菩薩行者遠離一切五欲及諸煩惱而於禪定解脫等法銳意修習求證佛果是為禪定方便也(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【六智慧方便】謂修菩薩行者遠離愚癡煩惱長養一切功德歡喜愛樂心無厭足開發慧解成就菩提是為智慧方便也(梵語菩提華言道)。
【七大慈方便】謂修菩薩行者運平等大慈之心利樂一切眾生雖歷塵劫而不疲厭是為大慈方便也(刼梵語具云刼波華言分別時節)。
【八大悲方便】謂修菩薩行者雖了知諸法元無自性而能以平等大悲之心代一切眾生受諸苦惱雖歷塵刼而不疲厭是為大悲方便也。
【九覺悟方便】謂修菩薩行者以無礙智慧開示一切眾生令其了悟本有覺性無所疑惑是為覺悟方便也。
【十轉不退法輪方便】謂修菩薩行者轉無上法輪化導一切眾生令其依教修學增長菩提行位不退是為轉不退法輪方便也。
十行偃(出楞嚴經)
【一地行偃】謂其服食藥餌能駐一期之壽而不能輕舉故名地行偃(一期者從生至死也)。
【二飛行偃】謂其飡食黃精松栢之類久而身輕故名飛行偃(黃精藥名松栢者謂松栢之葉也)。
【三遊行偃】謂其久服還[舟-(白-日)]化形易骨遊戲人間故名遊行偃(還[舟-(白-日)]者謂神仙九還之[舟-(白-日)]也)。
【四空行偃】謂其乘陰陽動靜調氣固精騰身履空故名空行偃。
【五天行偃】謂其能皷天池嚥津液不交世欲故名天行偃(天池即口也)。
【六通行偃】謂其吞吸日月精華作意存變以延身命歲久功成遂有異見通世物情故名通行偃。
【七道行偃】謂其能以呪術持身術力成就故名道行偃。
【八照行偃】謂其能繫念一境澄凝精思積久功成照用顯發故名照行仙。
【九精行偃】謂其內以坎男离女為四配外即扶陰助陽攝衛精氣故名精行偃。
【十絕行偃】謂其存想世間有為功用運想化理超絕世間故名絕行偃。
十魔(出華嚴經隨疏演義鈔)
魔梵語具云魔羅華言能奪命謂能奪眾生智慧之命又翻作障能於修道之人而作障難故也。
【一蘊魔】謂色受想行識五蘊為魔也盖貪著五蘊之法起惑造業障礙正道遂失智慧之命是名蘊魔。

【二煩惱魔】謂一切煩惱之惑為魔也盖貪著五塵之境起諸煩惱障礙正道遂失智慧之命是名煩惱魔(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【三業魔】謂一切惡業為魔也盖殺盜淫妄諸罪惡業障礙正道遂失智慧之命是名業魔。
【四心魔】謂一切我慢之心為魔也盖心懷貢高常生憍慢障蔽正道遂失智慧之命是名心魔。
【五死魔】謂人壽[書-曰+皿]命終為魔也盖業報已畢捨離現生之處障蔽修道遂失智慧之命是名死魔。
【六天魔】謂欲界第六他化自在天為魔也盖此天為欲界之主見人修道以為失我眷屬空我宮殿即興魔事惱亂行者令人障蔽正道遂失智慧之命是名天魔。
【七善根魔】謂著所修一切善法為魔也盖修行之人或得一善即生取著之心更不加修由是障蔽正道遂失智慧之命是名善根磨。
【八三昧魔】梵語三昧華言正定謂著於所得禪定為魔也盖修禪之人得一三昧久味躭著不求昇進障蔽正道遂失智慧之命是名三昧魔。
【九善知識魔】謂慳吝於法而為魔也盖於一切諸法起執著心不能開導於他障蔽正道令人遂失智慧之命是名善知識魔。
【十菩提法智魔】梵語菩提華言道謂著一切法而為魔也盖修行之人於菩提之法起智執著堅守不捨障蔽正道遂失智慧之命是名菩提法智魔。
十種鬼(出楞嚴經)
【一恡鬼】謂此鬼宿因多貪於物非理而取故受此報還託於物即金銀草木等精恡也。
【二魆鬼】謂此鬼宿因多[婬-壬+(工/山)]為色動亂身心如風鼓物故受此報還託於風而成魆鬼也(魆即旱魃)。
【三魅鬼】謂此鬼宿因多詐唯憑許偽惑亂於人故受此報託附畜類以成其質即狐狸等精能魅惑人者也。
【四蠱毒鬼】謂此鬼宿因多怨結怨在心懷惡不捨故受此報假託毒類以成其質即蛇虺等毒蟲能蠱於人者也。
【五癘鬼】謂此鬼宿因多瞋心常忿恚故受此報遇人年灾命衰者便入其身興諸苦惱如癘疫傳屍骨蒸之類也。
【六餓鬼】謂此鬼宿因多慢內無實德空腹高心陵人傲物故受此報寓氣為質不逢飲食常困飢虛是名餓鬼。
【七魘鬼】謂此鬼宿因多誑常懷異謀詐現有德欺罔於人故受此報憑虛託暗迷惑昏睡之人是名魘鬼。
【八魍魎鬼】謂此鬼宿因邪見妄生執著自謂明悟故受此報寓山川以託其形為木石之恡是名魍魎鬼。

【九役使鬼】謂此鬼宿因多枉勞心役思常行不正撓害無辜故受此報寓明顯境託以成形而為擔沙負石走使之類是名役使鬼。
【十傳送鬼】謂此鬼宿因爭訟藏覆己罪為人所訟故受此報託附於人傳送吉凶福禍之言是名傳送鬼。
十纏(出翻譯名義)
纏者縛也謂一切眾生被此十法纏縛不能出離生死之苦證得涅槃之樂也(梵語涅槃華言滅度)。
【一無慚】慚即慚天謂人於屏處作諸過惡不自慚恥也。
【二無愧】愧即愧人謂於人所見處為諸過非不知羞愧也。
【三嫉】嫉者妬也謂見他人榮富心生妬忌也。
【四慳】慳者吝也謂人於世間貲財及出世間法財不肯惠施也。
【五悔】悔者恨也謂所作之過蒂(音蔡)芥胸臆不能自安也(蒂芥者謂刺粳也)。
【六睡眠】睡眠者謂人昏懵不惺常樂睡眠無所省察也。
【七掉舉】掉舉者搖動也謂心念動搖不能攝伏於諸禪觀無由成就也。
【八昏沉】昏沉者昏鈍沉墜也謂神識昏鈍懵然無知不加精進之功遂致沉墜苦海也。
【九嗔忿】嗔忿者恚怒也謂人於違情之境不順己意便發恚怒而忘失正念也。
【十覆】覆者藏也謂隱藏所作過惡惟恐人知不能悔過而遷善也。
十使(出法界次第)
使即驅役之義謂此貪等十使皆能驅役行者心神流轉三界生死也(三界者欲界色界無色界也)。
【一貪使】引取之心名為貪謂於一切物及順情之境引取無厭是為貪使。
【二嗔使】忿怒之心名為嗔謂於一切違情之境即起忿怒是為嗔使。
【三癡使】迷惑之心名為癡謂於一切事理無所明了妄生邪見起諸邪行是為癡使。
【四慢使】自恃輕他之心名為慢謂由恃己種姓富貴才能輕蔑於他是為慢使。
【五疑使】迷心乖理名為疑謂若修戒定等法不別真偽暗鈍無明猶豫無決是為疑使。
【六身見使】謂於名色陰入界中妄計有身強立主宰恒起我見是為身見使(陰即色受想行識之五陰也入即眼耳鼻舌身意六根色聲香味觸法六塵根塵相入故名十二入也界即六根六塵六識之十八界也)。
【七邊見使】謂於斷常中執斷非常執常非斷但執一邊是為邊見使(斷常者謂外道妄計此身死已不生故名斷見復計此身死已後當再生故名常見)。

【八邪見使】謂邪心取理不信因果斷諸善根作一闡提行是為邪見使(梵語一闡提華言信不具)。
【九見取使】謂於非真勝法中謬計涅槃心生取著及行道之時雖入種種觀門而真明米發謬計所得為真為勝心生取著是為見取使(真勝法者謂佛之正法為真為勝也梵語涅槃華言滅度真明未發者謂本性之明未顯發也)。
【十戒取使】謂於非戒中謬以為戒取以進行如外道妄持鷄狗等邪戒執為正戒是為戒取使(鷄狗戒者謂外道妄計前世從鷄狗中來即獨立噉穢而行苦行也)。
十惡(出法界次第)
惡即乖理之行謂眾生觸境顛倒縱此惑情於身口意動與理垂成此十惡也。
【一殺生】殺生者謂自殺亦教人殺斷害一切眾生之物命也。
【二偷盜】偷盜者謂竊取他人一切財物也。
【三邪[婬-壬+(工/山)]】邪[婬-壬+(工/山)]者謂非己妻妾而行欲事也。
【四妄語】妄語者謂好造虛言誑惑他人也。
【五兩舌】兩舌者謂向此說是向彼說非或向彼說此向此說彼而使彼此乖諍也。
【六惡口】惡口者謂言語麤獷毀辱他人令其受惱也。
【七綺語】綺語者謂乖背真實巧飾言辭令人好樂也。
【八貪欲】貪欲者謂於順情之境貪著樂欲心無厭足也。
【九瞋恚】瞋恚者謂於違情之境不順己意心生忿怒也。
【十邪見】邪見者謂撥無因果行邪見道心無正信也(撥者絕也)。
十習因(出楞嚴經)
【一[婬-壬+(工/山)]習因】習即數習之義[婬-壬+(工/山)]習因者謂[婬-壬+(工/山)]習交接研磨不休故有火光於中發動二習交然故有鐵床銅柱八熱地獄之報也(八熱者想獄黑繩獄堆壓獄叫喚獄大叫喚獄燒炙獄大燒炙獄無間獄也)。
【二貪習因】貪習因者謂貪習之心往來計筭發於相吸吸攬不止則感於水積風為寒結水為冰故有寒冰地獄之報也(吸入息也)。
【三慢習因】慢習因者謂慢習交陵發於相恃憍縱馳騁流逸不止積致惡毒故有血河毒海灌吞之報也。
【四嗔習因】嗔習因者謂嗔習交衝發於相忤故心熱發火鑄氣為金此業所感故有宮割斬斫等報也(鑄氣為金者謂熱惱不息氣忿成堅也宮即五刑中之宮刑也)。
【五詐習因】詐習因者謂詐習交誘發於相調詐偽之心引起不住此業所感故有杻械鞭杖等報也(調者戲也弄也)。

【六誑習因】誑習因者謂誑習交欺發於相罔誣罔不止其心飛揚如風鼓塵使人無見故有騰擲飛墜漂淪等報也。
【七冤習因】冤習因者謂冤習交嫌發於銜恨如陰毒人心懷毒惡此業所感故有投擲擊射等報也。
【八見習因】見習因者謂見習交明邪悟諸業各執己見互相是非其事發於違拒故有勘問權詐拷訊推鞫(音菊)等報也。
【九枉習因】枉習因者謂枉習交加發於誣謗如讒賊人逼枉良善此業發現故感拘押按[揆-天+示]迫蹙其體瀝漉其血等報也。
【十訟習因】訟習因者謂諍訟交喧其事發於隱覆如鑑照燭不能隱藏故有業鏡火珠披露宿業對驗等報也。
十種見(出瑜伽師地論)
【一薩迦耶見】梵語薩迦耶華言身見謂於五蘊法上妄生執取計我我所是名薩迦耶見(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也我者謂五蘊法中強立主宰妄計為我也我所者即五蘊色身等也)。
【二邊執見】謂外道之人於五蘊身見之中執斷執常隨執一邊我見增長是名邊執見(執斷執常者謂外道自計我身死已不生名為斷見又計我身死已再生名常見也)。
【三邪見】謂外道之人不了四諦因果之法邪心推度謂無此理因斷滅出世善根是名邪見(四諦因果者苦諦集諦世間因果也滅諦道諦出世間因果也)。
【四見取】謂外道之人於六十二見一一別計為最為上為勝為妙堅固取執隨起言說唯此諦實餘皆虛妄自謂由此見故能得清淨解脫而得出離是名見取(六十二見謂外道人於色受想行識五陰中每一陰各起四種見則成二十見約過去現在未來三世通而論之則成六十見以斷常也見而為根本捻成六十二見也)。
【五戒禁取】謂外道之人於所受持若戒若禁妄計為最為上為勝為妙隨起言說唯此諦實餘皆虛妄自謂由此戒禁能得出離是名戒禁取。
【六貪見】謂於欲界色界無色界一切順情之境躭染取著而起諸見是名貪見。
【七恚見】謂於一切違情之境以忿怒心損他有情及於他所愛起不饒益於他所不愛而作饒益是名恚見。
【八慢見】謂心生憍慢計己為勝視他為劣是名慢見。
【九無明見】謂於真實理地無所明了執著邪見是名無明見。
【十疑見】謂於諸諦之理心懷猶豫無決定見是名疑見(諸諦理者謂苦集滅道四諦之理也)。
十惡果報(出華嚴經)
謂眾生前世造十惡業感餓鬼畜生地獄三惡道報受是苦盡若生人中餘業未盡每一惡中復受二種果報故名十惡果報也。

【一殺生果報】謂殺生之罪能令眾生墮三惡道若生人中得二種果報一者短命二者多病是名殺生果報。
【二偷盜果報】謂偷盜之罪亦令眾生墮三惡道若生人中得二種果報一者貧窮二者共財不得自在是名偷盜果報。
【三邪[婬-壬+(工/山)]果報】謂邪[婬-壬+(工/山)]之罪亦令眾生墮三惡道若生人中得二種果報一者妻不貞良二者不得隨意眷屬是名邪[婬-壬+(工/山)]果報。
【四妄語果報】謂妄語之罪亦令眾生墮三惡道若生人中得二種果報一者多被誹謗二者為他所誑是名妄語果報。
【五兩舌果報】謂兩舌之罪亦令眾生墮三惡道若生人中得二種果報一者眷屬乖離二者親族弊惡是名兩舌果報。
【六惡口果報】謂惡口之罪亦令眾生墮三惡道若生人中得二種果報一者常聞惡聲二者言多諍訟是名惡口果報。
【七綺語果報】謂綺語之罪亦令眾生墮三惡道若生人中得二種果報一者言無人信二者語不明了是名綺語果報。
【八貪欲果報】謂貪欲之罪亦令眾生墮三惡道若生人中得二種果報一者心不知足二者多欲無厭是名貪欲果報。
【九嗔恚果報】謂嗔恚之罪亦令眾生墮三惡道若生人中得二種果報一者常被他人求其長短二者常被於他之所惱害是名嗔恚果報。
【十邪見果報】謂邪見之罪亦令眾生墮三惡道若生人中得二種果報一者生邪見家二者其心諂曲是名邪見果報。
十不增長業(出瑜伽師地論)
【一夢所作業】夢所作者謂夢中所為非意思所起亦非身口所作是為不增長業也。
【二無知所作業】無知所作者謂無所知覺之人所作之業皆非意思所起是為不增長業也。
【三無故思所作業】無故思所作者謂身口所作之業非故意所思而起是為不增長業也。
【四不利不數所作業】不利不數所作者謂不以利養而作亦不數數而作是為不增長業也。
【五狂亂所作業】狂亂所作者謂癡狂昏乱之人於身口所作本非故意亦非知覺是為不增長業也。
【六失念所作業】失念所作者謂人既失正念即同迷癡凡所作業不由意地而起是為不增長業也。
【七非樂欲所作業】非樂欲所作者謂凡所作業必從樂欲心起若其所作既非樂欲是為不增長業也。
【八自性無記業】自性無記者謂無記性所作非善因緣亦非不善因緣是為不增長業也(無記性者謂不善不惡之性也)。

【九悔所損業】悔所損者謂先所作業既生慚愧悔過遷善其業即損是為不增長業也。
【十對治所損業】對治所損者謂所作業方便對治如嗔心起時即以慈悲治之其業損減是為不增長業也。
十種說三世(出華嚴經)
十種說三世者謂三世各三乃分九別會別歸攝攝在一念故以一融九雖九而常一雖一而常九一九無礙十世圓融經云無量無數刼解之即一念知念亦無念如是見世間是名十種說三世也(刼梵語具云刼波華言分別時節)。
【一過去世說過去世】謂過去世中說過去世之事也。
【二過去世說未來世】謂過去世中說未來世之事也。
【三過去世說現在世】謂過去世中說現在世之事也。
【四未來世說過去世】謂未來世中說過去世之事也。
【五未來世說現在世】謂未來世中說現在世之事也。
【六未來世說無盡】謂未來世中說未來世未來之後復有未來無窮[書-曰+皿]之事也。
【七現在世說過去世】謂現在世中說過去世之事也。
【八現在世說未來世】謂現在世中說未來世之事也。
【九現在世說平等】謂現在世中說現在世之事也以現在為平等者例過去未來之現在前後均齊也。
【十現在世說三世即一念】謂世由積念而成故三世各三而成九世攝九世歸三世攝三世即一念故合論云十世古今始終不離於當念也。
粥有十利(出摩訶僧祇律)
律云佛住舍衛城時難陀毋作食先飯比丘然後自食復作釜飯逼上飯汁自飲即覺身內風除宿食頓消由是多水少米合煎復用胡椒蓽茇調和以奉世尊由是佛聽比丘從今日後許食粥有十種利時世尊即說偈曰持戒清淨人所奉恭敬隨時以粥施十利饒益於行者色力壽樂辭清辯宿食風除飢渴消是名為藥佛所說欲生人天常受樂應當以粥施眾僧(梵語難陀華言善歡喜)。
【一資色】謂資益身軀顏容豐盛故云資色。
【二增力】謂補益厊羸增長氣力故云增力。
【三益壽】謂補養元氣壽筭增益故云益壽。
【四安樂】謂清淨柔輭食則安樂故云安樂。
【五辯說】謂滋潤喉吻論議無礙故云辯說。
【六除風】謂調和通利風氣消除故云風除。
【七消宿食】謂溫煖脾胃宿食消化故云消宿食。
【八辭清】謂氣無凝滯辭辯清揚故云辭清。
【九除飢】謂適充口腹飢餒頓除故云除飢。

【十消渴】謂喉吻霑潤渴想隨消故云消渴。
飲酒十過(出四分律藏)
【一顏色惡】謂飲酒之人顏貌容色因此變常無有善相也。
【二下劣】謂飲酒之人威儀不整動止輕薄人所賤惡也。
【三眼視不明】謂恣飲狂癡瞻視昏瞽而色境莫辨也(瞽音務目不明也)。
【四現嗔恚相】謂醉酒之人行不善法不[(厂@已)*頁]親屬賢善恣肆忿怒也。
【五壞田業資生】謂恣飲放逸破費產業資財散失也。
【六致疾病】謂飲酒過度身体失調以致疾病也。
【七益鬪訟】謂醉酒發狠與人爭競不惜身命而鬪訟益增也。
【八惡名流布】謂躭飲縱恣棄捨善法而醜名惡聲遠近流布也。
【九智慧減少】謂飲酒昏迷狂駭(語駭切)愚癡而智慧減少也。
【十命終墮惡道】謂朋狎飲酒善行不修惡業日增命終之後而墮惡道也。
食肉十過(出法苑珠林)
【一眾生是己親】謂一切眾生輪迴五道互相生育遞為眷屬以是因緣今所食肉無非親者故云眾生是己親(五道者天道人道餓鬼道畜生道地獄道也)。
【二見生驚怖】謂一切眾生護身惜命與人無別若見食肉之人驚怖遠離故云見生驚怖。
【三壞他信心】謂世間行善之人見沙門食肉者即生毀謗而言佛法中無有真實沙門修梵行者故云壞他信心(梵語沙門華言勤息梵行即淨行也)。
【四行人不應食】謂菩薩為求出離生死當修慈悲之行少欲知足若其食肉則不能出離故云行人不應食。
【五羅剎習氣】梵語羅剎華言速疾鬼習氣者先世餘習氣分也謂沙門宿世曾作羅剎眷屬今雖出家在佛法中由昔餘習見食肉者歡喜親近故云羅剎習氣。
【六學術不成】謂學道之人若好食肉則污染梵行於如來無上聖道出世解脫不得成就故云學術不成。
【七生命同己】謂學道之人應起慈心諦觀一切眾生惜命畏死與己無別須當護惜故云生命同己。
【八天聖遠離】謂食肉之人諸天聖人悉皆厭惡遠離而不親近故云天聖遠離。
【九不淨所出】謂一切畜生宿因不淨之業以成不淨之身其所食噉又多不淨學道之人欲修梵行而食彼肉則亦不淨故云不淨所出。
【十死墮惡道】謂食肉之人必多害物命惡業日積是以命終之後應生惡道故云死墮惡道(惡道即餓鬼畜生地獄三惡道也)。

十大數(出華嚴經)
十大數者華嚴經阿僧祇品心王菩薩問佛云何阿僧祇乃至不可說不可說佛即為說筭數無[書-曰+皿]之法積成十種大數也然數法有三等一下等數法十十變之即一變十十變百百變千千變萬等也二中等數法百百變之即一百洛义為一俱胝等也三上等數法倍倍變之即俱胝俱胝為一阿庾多等也此之數法唯佛能了故佛自說筭數之法無窮無盡以筭諸佛清淨功德及菩薩所入諸行願海乃至世間一切無盡法也(梵語洛叉華言十萬梵語俱胝華言百億梵語阿庾多亦云那由他華言萬億)。
【一阿僧祇】梵語阿僧祇華言無數謂從一百洛义為一俱胝乃至至至為一阿僧祇也(至至者數也)。
【二無量】謂從阿僧祇阿僧祇為一阿僧祇轉阿僧祇轉阿僧祇轉為一無量也。
【三無邊】謂從無量無量為一無量轉無量轉無量轉為一無邊也。
【四無等】謂從無邊無邊為一無邊轉無邊轉無邊轉為一無等也。
【五不可數】謂從無等無等為一無等轉無等轉無等轉為一不可數也。
【六不可稱】謂從不可數不可數為一不可數轉不可數轉不可數轉為一不可稱也。
【七不可思】謂從不可稱不可稱為一不可稱轉不可稱轉不可稱轉為一不可思也。
【八不可量】謂從不可思不可思為一不可思轉不可思轉不可思轉為一不可量也。
【九不可說】謂從不可量不可量為一不可量轉不可量轉不可量轉為一不可說也。
【十不可說不可說】謂從不可說不可說為一不可說轉不可說轉不可說轉為一不可說不可說也。
佛十一持(出華嚴經并華嚴經疏)
【一佛持】謂如來色相之身住持世間能令眾生佛種不斷是名佛持。
【二法持】謂如來法性之法住持世間能令眾生法種不斷是名法持。
【三僧持】謂如來應化菩薩聖僧住持世間能令眾生僧種不斷是名僧持(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【四業持】謂如來見諸眾生造作惡業故現威猛勢力逼令修善如無厭足王假現惡業之行化諸眾生是名業持(無厭足王者即華嚴經五十三叅中第十七善知識也善財見王現威猛勢將諸罪人或斷手足或以湯煑火焚作諸惡業調伏眾生是也)。
【五煩惱持】謂如來見諸眾生行於邪行貪著煩惱故隨彼類示行貪欲如婆須蜜多女假行欲事令他入於三昧而斷煩惱是名煩惱持(婆須蜜多女即華嚴經五十三叅中第二十五善知識也梵語三昧華言正定)。

【六時持】謂如來最初發心之時菩提大願而為其體時時潤澤無有間斷是名時持(梵語菩提華言道)。
【七願持】謂如來徃昔因中發大誓願修諸功德持令不失是名願持。
【八供養持】謂如來徃昔修行之時以諸供具持奉十方如來而為供養是名供養持。
【九行持】謂如來徃昔勤修一切殊勝妙行無量無邊恒不厭足是名行持。
【十刼持】刼梵語具云刼波華言分別時節謂如來於無量刼中具修梵行功德而證道果住持經刼化諸眾生是名刼持。
【十一智持】謂如來行滿功圓證得一切種智復以智慧辯才說種種法調伏眾生不令退失是名智持(一切種智者謂知一切道知一切種即佛智也)。
月有十一事喻如來(出大涅槃經)
【一能破暗】謂月盛滿之時清光普照能使一切大地悉皆明朗猶如來種種說法能破一切眾生無明大闇也。
【二令見道非道】謂月盛滿之時普照大地凡是路非路令諸眾生悉皆明見猶如來說法開示正道邪道人悉分別而知其可行不可行也。
【三令見道邪正】謂月盛滿之時普照大地凡路之邪正險夷令諸眾生皆悉明見猶如來開示生死邪險之途令趨涅槃平正之道也(梵語涅槃華言滅度)。
【四除鬱蒸得清凉】謂月盛滿之時雖遇炎暑鬱結蒸熱其或對之自覺清凉之氣襲人猶如來說法令人悉能遠離貪欲瞋恚愚癡生死之苦而獲涅槃清凉之樂也。
【五破壞螢火高心】謂月盛滿之時一切山河大地無不普照而螢火之光悉皆不現猶如來出世正法昭著一切外道邪見光明悉皆破壞也。
【六息盜賊想】謂月盛滿之時一切幽暗無不朗耀盜賊竊取之想自然屏息猶如來說法令諸眾生破無明暗一切煩惱皆不復生也。
【七除畏惡獸心】謂月盛滿之時一切幽暗無不照燭令諸曠野夜行之人惡獸出沒悉能明見而無怖畏之心猶如來說法開示眾生正見煩惱盖障悉皆除滅也。
【八開敷優鉢羅華】梵語優鉢羅華言青蓮謂月盛滿之時其光照故華乃開敷猶如來說法開示明了一切眾生所有心花悉皆敷榮也。
【九合蓮華】謂月盛滿之時其光照故蓮華開而復合猶如來說法開示明了眾生五欲覆盖之心不令發起也(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【十發行人進路心】謂月盛滿之時一切道路邪正夷險悉皆明白行者之心歡喜前進猶如來說法開示明了令諸眾生勇猛進修趣向大涅槃之道也。
【十一令眾生受樂】謂月盛滿之時令人賞翫生娛樂心猶如來說法開示明了令諸眾生修習禪定破諸煩惱而得解脫之樂也。

師子吼喻十一事(出涅槃經)
如來說法每以師子吼為喻者盖表如來於大眾中無畏而說有此十一事也。
【一破壞詐師子】謂如來無畏宣說正法則彼邪魔外道之說自然摧破猶真師子王震吼則彼詐作師子者自失聲矣。
【二試自身力】謂如來無畏說法以示如實智用通達一切了了分明無有能壞亦無能勝猶師子震吼亦欲試其自身之力也。
【三令住淨處】謂如來無畏說法專為開示一切眾生令知諸佛所行清淨境界猶師子震吼而自振其尾令所住之處除去塵垢而得清淨也。
【四令諸子知處所】謂如來無畏說法專為開示一切邪見眾生反邪向正有所歸依猶師子震吼亦令諸子知其所住之處也。
【五令群輩無怖】謂如來無畏說法為令一切眾生出離生死而無怖畏猶師子震吼亦令群輩無怖心也。
【六眠者得覺悟】謂如來無畏說法為令一切眾生為無明迷惑之所覆障者悉皆開曉猶師子震吼令群輩睡眠皆得覺悟也。
【七令諸獸不放逸】謂如來無畏說法為令一切眾生守護身語心不放逸若有行惡法者悉知慚愧而生悔心猶師子震吼令一切諸獸皆不放逸也。
【八令諸獸依附】謂如來以無畏力宣說正法為欲開示一切邪見眾生悉令正信不為外道所惑猶師子震吼能令諸獸離彼窟穴悉來依附也。
【九調大香象】謂如來無畏說法亦為破壞富蘭那等憍慢之心令其調伏而生正信猶師子震吼調伏大香象也(梵語富蘭那無翻外道名)。
【十教告子息】謂如來無畏說法為令聲聞緣覺自恥小乘之證而向墓大乘之道猶師子震吼教告子息令其跳躍增進勇猛也。
【十一莊嚴眷屬】謂如來無畏說法教諸菩薩發廣大心圓滿十力亦令四部離諸邪見不生怖畏猶師子震吼而自莊嚴其眷屬也(十力者一是處非處智力二過現未來業報智力三諸禪解脫三昧智力四諸根勝劣智力五種種解智力六種種界智力七一切至處道智力八天眼無礙智力九宿命無礙智力十永斷習氣智力也四部者比丘比丘尼優婆塞優婆夷也)。
十一智(出大般若經)
【一世俗智】謂世間有漏之智不能出離生死故名世俗智亦云名字智謂但有其名而無其理也(有漏者謂漏落三界生死也)。
【二法智】謂欲界苦集滅道四諦下苦法等無漏之智能斷欲界見惑煩惱故名法智(無漏者謂不漏落三界生死也見惑者謂意根對法塵起諸分別也)。
【三類智】謂色界無色界四諦以欲界四諦比類而觀從是斷上二界見惑發苦類等無漏之智故名類智。
【四苦智】苦即逼迫之義謂觀五陰等法以無常苦空無我得無漏智故名苦智(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也無常者謂五陰之身終歸壞滅也苦謂此身受

生死逼迫等苦也空者謂此身由四大假合而成畢竟不有也無我者謂四大分離何者是我也）。

【五集智】集招集之義謂觀見思煩惱之因而能招集生死之果得無漏智故名集智（見思者見即見惑也思謂眼等五根對色等五塵起諸貪愛也）。

【六滅智】滅即斷滅之義謂斷滅見思煩惱得無漏智故名滅智。

【七道智】道即能通之義謂戒定慧之道能通至涅槃依此而修得無漏智故名道智（梵語涅槃華言滅度）。

【八他心智】謂知欲界色界現在心心所法及知無漏心心所法故名他心智（心心所法者心即心王心所即受想行等也）。

【九盡智】謂我見苦已斷集已證滅已修道已如是念時得無漏智故名盡智。

【十無生智】謂我見苦已不復更見我斷集已不復更斷我證滅已不復更證我修道已不復更修如是念時得無漏智故名無生智。

【十一如實智】謂於一切法如實正知無有罣礙是佛之智故名如實智。

十一善（出成唯識論）

【一信】信者謂於一切善法忍可樂欲而不疑也有三種一信實有謂於諸法實事理中深信忍故二信有德謂於三寶真淨德中深信樂故三信有能謂於世間出世間一切善法深信力故能得能成起希望故是名為信（三寶者佛寶法寶僧寶也）。

【二慚】慚即慚天謂心常知慚崇重賢善恥昔過惡則能對治無慚息諸惡行也。

【三愧】愧即愧人謂心常知愧不為暴惡悔昔過非則能對治無愧息諸惡業也。

【四無貪】謂於五欲順情等境心生厭離無所染著也（五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也）。

【五無瞋】謂於五欲違情等境心常忍辱不起忿怒也。

【六無癡】謂於一切理事等法明解决了無所迷惑也。

【七勤】謂於一切善法精進修習不生懈怠圓滿善業也。

【八安】安即輕安謂遠離麤重惱乱及除障定之法調暢身心轉安適也（麤重惱乱即貪瞋痴等是也障定法即散乱是也）。

【九不放逸】謂精進三業於所斷之惑所修之善加功勇猛速令成滿世間出世間一切善法而無放逸也（三業者身業口業意業也世間出世間善法者天人所修五戒十善名為世間聲聞等所修戒定慧之法名出世間也）。

【十行捨】謂精進三業令心平等寂靜而住一切掉舉昏沉等障悉皆捨離也（掉者動也）。

【十一不害】謂於一切有情眾生無所損惱不加瞋恚常運慈悲之心拔其危苦與其安樂也。

合九十五種外道為十一宗(出華嚴經隨疏演義鈔)
宗即[泳-永+(瓜-丶)]也謂外道教文傳習西域不出十一宗而九十五種外道無不[書-曰+皿]攝也。
【一數論師計冥諦生】從數起論名為數論又論能生數名為數論其造數論及學數論者皆名數論師計冥諦生者百論云從冥生覺乃至神我共成二十五諦以前二十四諦從神我而生依神我為主謂神我常覺明了常住不壞攝受諸法是故執神我是常是一是萬物因是涅槃因也(二十五諦者冥初自性諦即冥諦也智大諦即覺也我心諦五唯諦即色聲香味觸也五大諦即地水火風空也五知根諦即眼耳鼻舌身也五作業根諦即口手足大便小便也心平等根諦神我諦神我即識神也)。
【二衛世師計六句生】梵語衛世華言無勝其人在佛前八百年出世時人以其晝避聲色匿跡山藪夜絕視聽方行乞食有似鵂鶹鳥故名鵂鶹仙人及獲五通遂說論十萬偈謂證菩提便欣入滅六句生者一者實謂諸法體實為德業所依二者德即道德也三者業即作用也四者大有謂實德業同一有也五者同異謂如地望地是同望水即異水火風等亦然六者和合謂諸法和合如鳥飛空忽至樹枝住而不去法亦如是由和合故令有住也(五通者足不履地知人心命回眼千里呼名即至石壁無礙也)。
【三塗灰計自在天生萬物】塗灰即外道名謂此外道計欲界第六自在天能生萬物。
【四圍陀論師計那羅延天生四姓】梵語圍陀華言智論梵語那羅延華言勾鎖力士謂其骨節鉤鎖而有力也那羅延天能生四姓謂口生婆羅門兩臂生剎利兩脞生毘舍兩脚生首陀(梵語婆羅門華言淨行剎利梵語具云剎帝利華言曰主即王種也梵語毘舍華言商賈梵語首陀華言農人)。
【五安荼論師計本際生】梵語安荼(無翻)本際者即過去世之初際也謂此外道計世間竪初有大水時有大安荼出生形如鷄卵後為兩段上為天下為地中生一梵天復能出生一切有命無命之物故計梵天是生萬物之主也。
【六時散外道計物從時生】謂此外道自見草木等物有時生花有時生果時有作用或舒或卷令彼枝條隨時榮枯時雖微細不可見以此花實等則知有時也。
【七方論師計方生人人生天地】方即四方謂此外道計四方能生人人能生天地滅後還入於方也。
【八路伽耶計色心法皆極微作】梵語路伽耶華言順世謂此外道計色心等法皆從四大極微能生麤色雖是極微其體實有以世間麤物無常極微之因不壞也(四大者地大水大火大風大也)。
【九口力論師計虛空為萬物因】謂此外道計從空生風從風生火從火生煖煖生水水生凍堅作地地生五穀五穀生命命沒還歸虛空也(五穀者禾麻黍菽麥也)。

【十宿作論師計苦樂隨業】謂此外道計一切眾生受苦樂報皆隨宿世本業所作若有持戒精進受身心苦能壞本業本業既盡眾苦亦滅眾苦滅故即得涅槃是故計宿世所作為一切因也(梵語涅槃華言滅度)。
【十一無因論師計自然生】謂此外道計一切萬物無因無緣皆自然生皆自然滅也。
十一色(出大乘廣五蘊論)
色以質礙為義謂眼耳鼻舌身無表六種即內色也色聲香味觸五種即外色也凡有十一種之別焉。
【一眼】謂眼根有形質可見故名色也。
【二耳】謂耳根有形質可見故名色也。
【三鼻】謂鼻根有形質可見故名色也。
【四舌】謂舌根有形質可見故名色也。
【五身】謂身根有形質可見故名色也。
【六色】謂眼根所見青黃赤白等色也。
【七聲】謂絲竹環珮等聲以其實可聽聞故名色也。
【八香】謂栴檀沉水及飲食等香以其實可嗅聞故名色也。
【九味】謂甘淡鹹苦等味以其實可嘗知故名色也。
【十觸】謂妙衣上服柔輭細滑等觸以其實有觸對故名色也。
【十一無表】無表者謂不可顯示之色也如四禪天定中色眼中一分淨色皆不可見不可顯示又如意識緣想過去種種境界雖無表對想境實見故名無表色也(四禪天者即色界初禪二禪三禪四禪也一分淨色即眼識也)。
十一聲(出華嚴經隨疏演義鈔)
【一執受大種聲】執即執持受即領受謂人於內四大種而有所執受也而言聲者如手相擊及語言等聲皆由內四大種而出故名執受大種聲(四大種者謂人身中地水火風也)。
【二不執受大種聲】謂人於外四大種無所執受而言聲者如風林駛水等聲皆由外四大而出故名不執受大種聲(外四大種者謂世間地水火風也)。
【三執受不執受大種聲】謂如以手擊皷等聲手屬執受大種鼓屬不執受大種故名執受不執受大種聲。
【四世所共成聲】謂世俗之人或因談說或因問荅而成於聲故名世所共成聲。
【五成所引聲】謂諸聖人所說法音皆為引導眾生出離生死而成於聲故名成所引聲。
【六可意聲】謂歡樂之聲可適其意故名可意聲。
【七不可意聲】謂愁苦之聲違逆情意故名不可意聲。
【八俱相違聲】謂不苦不樂之聲亦不適意亦不違情與前可意不可意聲相反故名俱相違聲。

【九徧計所執聲】謂外道於一切法徧計有無及常無常等執著所說而成於聲故名徧計所執聲。
【十聖言聲】聖即正也謂見即言見不見言不見聞即言聞不聞言不聞等此因正直而成於聲故言聖言聲。
【十一非聖言聲】謂見言不見不見言見聞言不聞不聞言聞等此因非正直而成於聲故名非聖言聲。
藥師如來十二大願(出藥師如來本願功德經)
文殊師利菩薩白佛言惟願演說諸佛名號及本昔所發殊勝大願佛言東方過此十恒沙等佛土之外有世界名淨瑠璃彼土有佛名藥師瑠璃光如來本行菩薩行時發十二大願(梵語文殊師利華言妙德菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情梵語瑠璃華言青色寶)。
【一願】願我來世於佛菩提得正覺時自身光明熾然照曜無量無數無邊世界三十二相八十種好以為莊嚴我身既尒令一切眾生如我無異(梵語菩提華言道三十二相者足安平相千輻輪相手指纖長相手足柔軟相手足縵網相足跟滿足相足趺高好相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如師子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相四牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色如金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也八十種好者一指爪狹長二手足指圓三手足各等無差四手足圓滿五筋脉盤結六兩踝深隱七行步正直八行步威容齊整九行步安平十行步有儀十一回身[(厂@巳)*頁]視十二支節殊勝十三骨節交結十四膝輪圓滿十五隱處妙好十六身支潤滑十七身吞敦肅十八身支堅固十九身支安定二十身相端嚴二十一身有圓光二十二腹形方正二十三臍深右旋二十四臍厚妙相二十五肌膚匀淨二十六手掌充滿二十七手文深長二十八唇色紅潤二十九面門圓滿三十舌相長廣三十一發聲威震三十二音韻美妙三十三鼻高脩直三十四諸齒方整三十五諸牙明潔三十六目廣清淨三十七眼相脩廣三十八眼睫齊整三十九雙眉脩長四十雙眉綺廉四十一雙眉高朗四十二耳厚脩長四十三兩耳相好四十四容儀端麗四十五額廣圓滿四十六身分殊勝四十七首髮脩長四十八背髮香潔四十九首髮齊整五十首髮堅固五十一首髮光滑五十二身分堅實五十三身體莊嚴五十四諸竅清淨五十五身力充美五十六身相嚴好五十七面輪脩廣五十八顏貌舒泰五十九面顏光澤六十身支嚴淨六十一毛孔出香六十二面門出香六十三首相妙好六十四身毛纖柔六十五法音圓辯六十六頂相高妙六十七指網分明六十八行不履地六十九神力自持七十威德遠震七十一音聲和雅七十二觀機說法七十三一音演說七十四次第說法七十五等觀有情七十六先觀後作七十七相好具足七十八頂骨堅實七十九顏容奇妙八十胷臆妙好)。
【二願】願我來世得菩提時身如瑠璃內外清淨無復瑕垢光明廣大威德熾然身善安住燄網莊嚴過於日月若有眾生昏闇及夜莫知方所以我光故隨意所趣作諸事業。
【三願】願我來世得菩提時以無邊無限智慧方便令無量眾生受用無盡莫令一人有所乏少。

【四願】願我來世得菩提時諸有眾生行異道者一切安立菩提道中行聲聞辟支佛道者皆以大乘而安立之(辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺)。
【五願】願我來世得菩提時若有眾生於我法中修行梵行此諸眾生無量無邊一切皆得不缺減戒具三聚戒無有破戒起惡道者(三聚戒者攝律儀戒攝善法戒饒益有情戒也)。
【六願】願我來世得菩提時若有眾生其身下劣諸根不具醜陋頑愚聾盲跛躄身攣背傴白癩癲狂若復有餘種種身病聞我名已一切皆得諸根具足身分成滿。
【七願】願我來世得菩提時若有眾生諸患逼切無護無依無有住處遠離一切資生醫藥又無親屬貧窮可愍此人若得聞我名號眾患悉除無諸痛惱乃至究竟無上菩提。
【八願】願我來世得菩提時若有女人為諸惡之所逼惱猒離女身願捨女形聞我名已轉女人身成丈夫相乃至究竟無上菩提。
【九願】願我來世得菩提時令一切眾生解脫魔網若墮種種異見稠林悉當安立置於正見次第示以菩薩行門。
【十願】願我來世得菩提時若有眾生種種王法繫縛鞭撻牢獄應死無量灾難悲憂煎迫身心受苦此等眾生以我福力皆得解脫一切苦惱。
【十一願】願我來世得菩提時若有眾生飢火燒身為求食故作諸惡業我於彼所先以甘妙色香味食飽足其身後以法味畢竟安樂。
【十二願】願我來世得菩提時若有眾生貧無衣服寒熱蚊虻日夜逼惱我當施彼隨用衣服種種雜色如其所好亦以一切寶莊嚴具華鬘塗香皷樂眾妓隨諸眾生所須之具皆令滿足。
大明三藏法數卷第三十三

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

十二分經(亦名十二部經出大智度論)
【一修多羅】梵語修多羅華言契經契者上契諸佛之理下契眾生之機經者法也常也十界同遵曰法三世不易曰常此聖教之總名也又修多羅即是長行直說法相隨其義理長短不以字數為拘也(十界者佛界菩薩界緣覺界聲聞界天界人界修羅界餓鬼界畜生界地獄界也)。
【二祇夜】梵語祇夜華言應頌又云重頌謂應前長行之文重宣其義或六句四句三句二句皆名頌也。
【三伽陀】梵語伽陀華言諷頌謂不頌長行直說偈句如金光明經中空品等是也。
【四尼陀羅】梵語尼陀羅華言因緣如經中有人閒故為說是事如律中有人犯是事故制是戒如來所說一切根本緣起之事皆名因緣如法華經中化城喻品說宿世因緣等是也。
【五伊帝目多】梵語伊帝目多華言本事謂說諸菩薩弟子因地所行之事如法華經中本事品云藥王菩薩於日月淨明德佛所得法歡喜即然身臂以為供養修諸苦行求菩提道等是也(梵語菩提華言道)。
【六闍多伽】梵語闍多伽華言本生謂說佛菩薩本地受生之事如涅槃經云比丘當知我於過去作鹿麤麞兔龍及作金翅鳥粟散王轉輪聖王之類是也(梵語比丘華言乞士)。
【七阿浮達磨】梵語阿浮達磨華言未曾有亦云希有謂如佛初生時即行七步足迹之處皆有蓮花放大光明徧照十方世界而發是言我是度一切眾生生老病死者地大震動天雨眾花樹出音聲作天妓樂如是等無量希有之事是也。
【八婆陀】梵語婆陀具云阿波陀那華言譬喻謂如來說法為鈍根者假譬喻以曉示之令其開解如法華經中火宅藥草等喻是也。
【九優婆提舍】梵語優婆提舍華言論議謂諸經中問荅辨論諸法之事如法華經提婆達多品中智積菩薩與文殊師利論說妙法等是也(梵語提婆達多華言天熱梵語文殊師利華言妙德)。
【十優陀那】梵語優陀那華言自說謂無有人問如來以他心智觀眾生機而自宣說如楞嚴會上說五十種魔事不待阿難請問又如彌陀經無有緣起自告舍利弗等是也(五十種魔者謂色受想行識五陰各有十種也梵語阿難華言慶喜梵語舍利弗華言鶖子)。
【十一毘佛畧】梵語毘佛畧華言方廣方者法也廣者大也又正理曰方包富曰廣謂大乘方等經典其義廣大猶如虛空也。

【十二和伽羅】梵語和伽羅華言授記謂如來為諸菩薩辟支聲聞授作佛記如法華經云汝阿逸多於當來世而成佛道號曰彌勒等是也(辟支梵語具云辟支迦羅華言緣覺梵語彌勒華言慈氏阿逸多即彌勒字也)。

十二因緣(出天台四教儀)

謂無明等展轉感果名因互相由藉為緣三世相續無間斷也(三世相續無間斷者謂由過去世無明行為因感現在世識乃至受五者為果由現在果起愛取有三者為現在因由現在因感未來世生老死之果如是循環無間斷也)。

【一無明】謂過去世煩惱之惑覆於本性無所明了故曰無明。

【二行】謂過去世身口造作一切善不善業是名為行。

【三識】謂由過去惑業相牽致令此識投托母胎一剎那間染愛為種納想成胎是名為識(梵語剎那華言一念)。

【四名色】名即是心謂心但有名而無形質也色即色質即是身也謂從託胎已後至第五箇七日名形位生諸根形四支差別是名為色(四支者即兩手兩足也)。

【五六入】謂從名色已後至第六箇七日名髮毛爪齒位第七七日名具根位六根開張有入六塵之用是名六入(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。

【六觸】謂出胎已後至三四歲時六根雖觸對六塵未能了知生苦樂想是名為觸。

【七受】謂從五六歲至十二三歲時因六塵觸對六根即能納受前境好惡等事雖能了別然未能起淫貪之心是名為受。

【八愛】謂從十四五歲至十八九歲時貪於種種勝妙資具及[婬-壬+(工/山)]欲等境然猶未能廣徧追求是名為愛。

【九取】謂從二十歲後貪欲轉盛於五塵境四方馳求是名為取(五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。

【十有】謂因馳求諸境起善惡業積集牽引當生三有之果是名為有(因果不亡為有二有者欲有色有無色有即三界也)。

【十一生】謂從現世善惡之業後世還於六道四生中受生是名為生(六道者天道人道修羅道餓鬼道畜生道地獄道也四生者胎生卵生濕生化生也)。

【十二老死】謂從來世受生已後五陰之身熟已還壞是名老死(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。

十二入(出法界次第)

入即涉入之義謂六根六塵互相涉入故名十二入也(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。

【一眼入】謂眼根對色即能見色是名眼入。

【二耳入】謂耳根對聲即能聞聲是名耳入。

【三鼻入】謂鼻根對香即能嗅香是名鼻入。

【四舌入】謂舌根對味即能嘗味是名舌入。

【五身入】謂身根對觸即能覺觸是名身入。
【六意入】謂意根對法即能分別於法是名意入。
【七色入】謂一切可見之色而對於眼是名色入。
【八聲入】謂一切可聞之聲而對於耳是名聲入。
【九香入】謂一切可嗅之香而對於鼻是名香入。
【十味入】謂一切可嘗之味而對於舌是名味入。
【十一觸入】謂一切可覺之觸而對於身是名觸入。
【十二法入】謂一切可分別之法而對於意是名法入。

十二頭陀行(出十二頭陀經)

梵語頭陀華言抖擻謂能抖擻煩惱之塵垢也盖比丘當離憒閙不樂飾好心絕貪求無諸憍慢清淨自活以求無上正真之道故有十二種之行焉(梵語比丘華言乞士)。

【一住阿蘭若處】梵語阿蘭若華言寂靜處謂比丘當住於空閑寂靜之處身離憒閙心離欲塵永絕攀緣求無上道是為頭陀行也。

【二常行乞食】謂比丘離諸貪求不受他請常行乞食以資色身助成道業若得食時或好或惡不起分別增減之念若不得食亦無嫌恨得與不得心常平等是為頭陀行也。

【三次第乞食】謂比丘乞食之時不著於味不輕眾生不擇貧富常平等一心次第而乞是為頭陀行也。

【四一食】謂比丘修道應作是念我求一食尚多有所妨何況小食後食若不自損則失半日之功不能一心行道是故斷數數食受一食法是為頭陀行也(小食者晨時食也後食者過中食也)。

【五節量食】謂比丘所乞之食當作三分若見渴乏者以一分施之又減一摶食至空靜處置淨石上施諸禽獸若不見困乏者但食三分之二亦留一分不得盡食如此則身輕安隱易消無患不廢行道若貪心極噉則腹脹氣塞妨損道業是故節食為頭陀行也。

【六過中不飲漿】漿即果漿蜜漿之類謂比丘修道於種種漿日若過中悉不得飲若飲者則心樂著貪求無厭不能一心修習善法是故過中不飲漿為頭陀行也。

【七著弊衲衣】謂比丘不貪服飾不求好衣但於聚落中拾陳舊廢棄之物浣濯令淨作為衲衣覆除寒露而已若貪新好則多追求以損道行又能招致賊盜是故著弊衲衣為頭陀行也。

【八但三衣】三衣者九條七條五條袈裟之衣也謂比丘少欲知足衣取盖形不多不少如白衣之人畜種種衣及外道苦行裸形無耻皆不合中道是故佛弟子捨此二邊但受三衣為頭陀行也(梵語袈裟華言不正色言九條七條五條者此袈裟上中下之等第也)。

【九[塚-豕+豕]間坐】謂無常苦空之觀是佛法之初門能令厭離三界比丘住於塚間常見死屍臭爛狼籍火燒鳥啄則無常不淨之想易得成就

是故塚間坐為頭陀行也(無常者謂五陰之身終歸壞滅也苦者謂由此身而受生死逼迫等苦也空者謂此身由四大假合而成畢竟不有也)。
【十樹下坐】謂比丘於塚間不得道者當至樹下思惟求道如佛生時成道轉法輪般涅槃皆在樹下有如是因緣是故比丘如佛所行當樹下坐為頭陀行也(梵語涅槃華言滅度)。
【十一露地坐】謂比丘在樹下坐如住半舍蔭覆凉樂故生愛著又慮雨漏濕冷鳥屎汙身毒虫所擾於是思惟露地而坐隨意快樂月光遍照令心明利易入空定是故露地坐為頭陀行也。
【十二但坐不臥】謂比丘四威儀中坐為第一食易消化氣息調和可以入道若懈怠睡眠諸煩惱賊常伺其便若行若立心動難攝是故比丘常當安坐脇不至席為頭陀行也(四威儀即行住坐臥之威儀也)。
十二惡律儀(出雜阿毘曇心論)
惡律儀者謂法所不應作之律儀。
【一屠羊】屠者殺也謂人或以自食而常宰殺或因取利販賣而常宰殺是為惡律儀。
【二養鷄】謂因嗜其肉味以充口體常自畜養意圖烹殺是為惡律儀。
【三養猪】謂或因自欲充於口腹或因販賣求利以資其生而畜養之者是為惡律儀。
【四捕鳥】謂以殺心故網捕禽鳥或食或賣傷害生命是為惡律儀。
【五捕魚】謂以殺心故而用網罟取捕諸魚或食或賣傷害物命是為惡律儀。
【六獵師】謂以殺心故獵捕一切禽獸或食或賣傷害物命是為惡律儀。
【七作賊】謂見一切物常懷刼盜之心不思物各有主妄行攘竊賊害於人是為惡律儀。
【八魁膾】魁膾者為官操刃行刑之人謂人本同類彼雖犯法理固當死然習為操刃之業以害其生實為惡行是為惡律儀。
【九守獄】謂為獄吏守其牢獄以杻械枷鎖非理陵虛罪因無慈善心是為惡律儀。
【十呪龍】謂習諸邪法呪術呪於龍蛇以為戲樂是為惡律儀。
【十一屠犬】謂殺犬以資利養是為惡律儀。
【十二伺獵】謂作獵主伺捕禽獸以利其生而自積罪業是為惡律儀。
十二妄想(出楞伽經)
經云當說妄想自性分別隨境有異一切愚夫計著有無故有十二種也。
【一言說妄想】謂計著種種妙音歌詠之聲以為有性是名言說妄想。
【二所說事妄想】謂凡所說事窮其自性惟聖智所知凡愚不了但依彼事而生言說是名所說事妄想。

【三相妄想】謂隨事起見猶如渴鹿奔逐陽焰作於水想如於地水火風執有堅濕煖動之性然不知性本融通於一切法相虛妄計著是名相妄想。
【四利妄想】謂樂著世間種種金銀珍寶等財利而不知此物本是虛幻凡夫不了而起貪著是名利妄想。
【五自性妄想】謂執持諸法起自性見以自為是餘皆為非是名自性妄想。
【六因妄想】謂於因緣所生之法起有無等見妄想分別成生死因是名因妄想。
【七見妄想】謂於五陰等法妄計有無一異起諸邪見執著分別是名見妄想(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也有無者計有即常見計無即斷見一異者計五陰之法為一為異也)。
【八成妄想】謂於假名實法上計我我所而起言說成決定論是名成妄想(假名者謂名字虛假也實法者謂五陰之法是實有也我我所者我即假名我所即五陰色身等也)。
【九生妄想】謂計一切法若有若無皆從緣起而生分別是名生妄想。
【十不生妄想】謂一切法皆先有體不假因緣而生是名不生妄想。
【十一相續妄想】謂於一切諸法執此與彼遞相繫屬計著分別無有斷絕是名相續妄想。
【十二縛不縛妄想】謂於一切法以情生著故則成繫縛若離妄想則無繫縛凡夫不了於此無縛解中而生計著是名縛不縛妄想。
十二隨眠(出眾事分阿毘曇論)
謂欲等煩惱長時隨遂眠伏藏識之中故名隨眠(藏即含藏之義藏識即第八識也)。
【一欲貪】謂於可意之境愛染念著而生悅樂也。
【二嗔恚】謂於不可意之境無所愛樂而自生嗔忿也。
【三色貪】謂於色界愛樂淨法貪著禪味也。
【四無色貪】謂於無色界識處等定愛樂可意心生味著也。
【五無明】謂於事理等法無所明了障覆真性也。
【六身見】謂於五陰等法中強立主宰妄計為身也(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也)。
【七邊見】謂於身見上計我或斷或常隨執一邊也(計斷常者謂外道自計此身死已不生名斷見又計此身死已更生名常見也)。
【八邪見】謂由計斷常不信因果以為無作無得起見誹謗也。
【九見取】謂因此見而能通至非非想天信此非餘執劣為勝(非非想天即無色界天也信此非餘者謂自信己之所行而於餘人所行悉以為非也)。
【十戒取】謂執邪為道非因計因如持鷄狗等戒以為可得清淨解脫是也(鷄狗等戒者外道妄計自譯前世從鷄狗中來即便獨足而立及噉糞穢以為苦行也)。

【十一慢】謂貢高自舉輕慢他人也。
【十二疑】謂於諦理不能解了心生猶豫是非不決也(諦理者即苦集滅道四諦之理也)。
十二類生(出楞嚴經)
謂諸有情由顛倒妄想起惑造業隨業感報各各不同故有十二類也。
【一卵生】卵生者從殼而出生也謂此類有情因虛妄顛倒之惑起飛沉亂想之業惑業和合故感此生之報即魚鳥龜蛇之類是也(飛沉者若想念浮舉則為飛禽若情念沉重報為魚蛇之類也)。
【二胎生】胎生者從胞胎而出生也謂此類有情因愛欲雜染之惑起橫豎亂想之業惑業相滋故感此生之報即人畜龍仙之類是也(橫豎者人身豎而畜生橫也因行正道得為人類故身豎因行邪道惑生畜類故身橫也)。
【三濕生】濕生者從濕處而受生也謂此類有情因顛倒執著之惑起翻覆亂想之業惑業和合故感此生之報即含蠢蠕動之類是也(翻覆即飛伏也因違義背信翻覆任情遂感蠢蠕飛伏之類也)。
【四化生】化生者無而忽有也又離此舊形易彼新質為化生也謂此類有情因顛倒變易之惑起捨故取新亂想之業惑業和合故感此生之報即轉蛻飛行之類是也(轉蛻飛行者如蠶蛻形為蛾如雀化蛤之類)。
【五有色】有色者有形礙明顯之色也謂此類有情因顛倒障礙之惑起精耀亂想之業惑業顯著故感此生之報即休咎精明之類是也(休咎精明者如星辰吉者為休凶者為咎爝火蚌珠皆精明之類爝火即螢火也)。
【六無色】無色者無有形色也謂此類有情因顛倒銷散之惑起陰隱亂想之業惑業暗昧故感此生之報即空散銷沉之類是也(空散銷沉者色[書-曰+皿]心亡厭空絕想沉冥幽隱即無色界外道之類是也)。
【七有想】有想者從憶想所生也謂此類有情因顛倒罔象之惑起潛結亂想之業惑業和合故感此生之報即神鬼精靈之類是也(罔象者似有似無也潛結者潛即隱伏結即凝滯也)。
【八無想】無想者想心昏迷無所覺了也謂此類有情因頑鈍愚癡之惑起枯槁亂想之業惑業和合故感此生之報即精神化為土木金石之類是也(精神化為土木金石者如華表生精如黃頭外道化為石是也)。
【九非有色】非有色者謂雖有形色而假他所成也謂此類有情因虛偽相待之惑起因依亂想之業惑業相染故感非有色相成色之報即水母以蝦為目之類是也(非有色相成色者如水母本無自類之色相故曰非有色相以水沫為身以蝦為目故曰成色也)。
【十非無色】非無色者因聲呼召而能成形也謂此類有情因相引妄性顛倒之惑起呼召亂想之業惑業相附故感非無色相無色之報即呪詛厭生之類是也(非無色相無色者如蝦蟇等從自類生不假他成故曰非無色相籍聲得生故曰無色呪詛厭生者呪詛亦呼召耳厭即禱也如蝦蟇以聲附卵然後生長非聲則壞又孔雀雌者聞雄者鳴即有娠生難此等物類若由厭禱而生也)。

【十一非有想】非有想者謂借他之身以成自類也謂此類有情因誣罔顛倒之惑起回互乱想之業惑業和合故感非有想相成想之報即蒲盧等異質相成之類是也(誣罔即誑惑也回互猶轉換也蒲盧蜾蠃也取青虫以為己子乃誣罔回互之義也非有想相成想者如青虫非蒲盧之類故曰非有想相而能成己之子故曰成想也)。
【十二非無想】非無想者謂雖親而成怨害也謂此類有情因怨恨顛倒之惑起殺害妄想之業惑業和合故感非無想相無想之報即土梟等附塊為兒及破鏡鳥以毒樹果抱為其子子成父母皆遭其食之類是也(非無想相無想者父母有愛故曰非無想相後時成大父母遭食故曰無想也土梟食母鳥也破鏡食父獸也形如貙而虎眼今云鳥者恐譯誤耳)。
十三事法
【一住正戒】謂出家之人入於聚落乞食當[(冰-水+丨)*夕]攝身心安住正戒勿令毀犯也。
【二住正威儀】謂出家之人乞食之時當須正其容貌端其威儀令一切人生敬信心也。
【三住正命】謂出家之人當依佛制乞食自活資身進道離於五種邪命之食也(五邪命者詐現異相自說功能占相吉凶高聲現威說所得利以動人心也)。
【四住正覺】謂出家之人當須覺了身為苦本甚可厭惡為正道故而行乞食隨得支身以除飢渴勿令多貪妨進道業也(已上乞食四事)。
【五依法】謂出家之人或於道場中經行或於聚落內乞食當須行步徐緩遵其法則也。
【六依時】謂出家之人當念無常迅速晝夜深自警悟不可眠臥妨損道業遺教經云晝則勤心修習善法無令失時初夜後夜亦勿有廢是也。
【七依處】謂出家之人欲求寂靜無為之樂當離憒(古對切)鬧之處獨處閑居思滅苦本也。
【八依次】謂出家之人於大眾中當依戒臘資次而坐勿令攙越梵網經云先受戒者在前坐後受戒者在後坐是也(已上威儀四事)。
【九離貪】謂出家之人已住正戒當制五根勿令放逸五欲之害甚於毒蛇不應貪著也(五根者眼根耳根鼻根舌根身根也五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【十離瞋】謂出家之人當以慈悲為本忍受惡罵之毒如飲甘露無令瞋恨瞋之為害甚於猛火常當防護勿令得入也。
【十一離取著】謂出家之人常以智慧觀察己身及以外物皆悉虛幻不應妄取執著遺教經云持淨戒者不得販賣貿易安置田宅及諸財寶皆當遠離是也。
【十二離麤獷】謂出家之人當須柔軟和順以成清雅之德不應麤暴猛獷有失和敬之儀也(和敬者謂外同他善內自謙卑也)。

【十三離憍慢】謂出家之人當須謙敬卑下折己慢幢精進修道不應自恃有德憍傲侮慢貢高於人也(已上離煩惱五事)。

日冷十三緣(出長阿含經)

【一緣】謂須弥山佉陀羅山二山中間有水廣八萬四千由旬其水生優鉢羅等雜華互相照觸日光為之生冷(梵語須弥華言妙高梵語由旬華言限量梵語優鉢羅華言青蓮)。

【二緣】謂佉陀羅山伊沙陀羅山二山中間有水縱廣四萬二千由旬其水生諸雜華互相照觸日光為之生冷(梵語伊沙陀羅華言持軸)。

【三緣】謂伊沙陀羅山樹提陀羅山二山中間有水廣二萬由旬其水生諸雜花互相照觸日光為之生冷。

【四緣】謂善見山樹提山二山中間有水廣一萬二千由旬其水生諸雜花互相照觸日光為之生冷。

【五緣】謂善見山馬祀山二山中間有水廣六千由旬其水生諸雜花互相照觸日光為之生冷。

【六緣】謂馬祀山尼弥陀羅山二山中間有水廣一千二百由旬其水生諸雜花互相照觸日光為之生冷(梵語尼彌陀羅華言抱持)。

【七緣】謂尼彌陀羅山調伏山二山中間有水廣六百由旬其水生諸雜花互相照觸日光為之生冷。

【八緣】謂調伏山金剛輪山二山中間有水廣三百由旬其水生諸雜花互相照觸日光為之生冷。

【九緣】謂金剛輪山閻浮提地二處中間有水映於日光而日生冷(梵語閻浮提華言勝金洲)。

【十緣】謂南閻浮提河少西拘耶尼水多其水映於日光而日生冷(梵語拘耶尼華言牛貨)。

【十一緣】謂西拘耶尼河少東弗于逮水多其水映於日光而日生冷(梵語弗于逮華言勝)。

【十二緣】謂東弗于逮河少北欝單越河多其水映於日光而日生冷(梵語欝單越華言勝處)。

【十三緣】謂日宮殿光照大海水水映日光而日生冷。

十四無畏(出楞嚴經)

謂觀世音菩薩以金剛三昧無作妙力與諸十方三世六道一切眾生同一悲仰令諸眾生獲得十四種無畏功德也(梵語三昧華言正定無作妙力者謂不作意之力用也十方者四方四維上下也三世者過去現在未來也六道者天道人道脩羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。

【一不自觀音以觀觀者】不自觀音者謂不隨聲塵所起知見也以觀觀者謂返照自性也不起知見則無所妄返照自性則一切真寂無復苦惱故令受苦眾生蒙此真觀即得解脫是為無畏經云觀其音聲即得解脫是也。

【二知見旋復】在心曰知在眼曰見知見性熱則屬於火謂菩薩能旋轉知見以復真空能令眾生設入火難自不能燒是為無畏經云設入大火火不能燒是也。
【三觀聽旋復】觀聽性動則屬於水謂菩薩能旋轉觀聽以復真空能令眾生設為大水所漂自不能溺是為無畏經云大水所漂水不能溺是也。
【四斷滅妄想心無殺害】妄想作業以殺為首謂菩薩證悟實性斷滅妄想大慈心發無殺害念能令眾生入彼羅剎鬼國鬼自滅惡是為無畏經云入諸鬼國鬼不能害是也(梵語羅剎華言速疾鬼)。
【五熏聞成聞六根銷復同於聲聽】謂熏聞屬思思其所聞無性可得則成真聞六根害人兵刃無異菩薩六根既皆銷滅以復真空一切塵境同於聲聽能令眾生當被害者刀刃所加段段折壞是為無畏經云臨當被害刀段段壞是也(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也)。
【六聞熏精明明徧法界】謂菩薩從聞熏習所成慧性既得精明明照十方周徧法界幽暗即消能令眾生雖被藥叉諸幽暗者來近其側目受明奪自不能視是為無畏經云藥叉羅剎鳩槃茶鬼雖近其傍目不能視是也(梵語藥叉亦云夜叉華言勇健梵語鳩槃茶華言甕形)。
【七音性圓消觀聽返入】謂受虛妄聲塵繫縛不異禁繫枷鎖菩薩以動靜之性俱滅則其觀聽返妄入真聲塵解脫能令眾生禁繫等事不能著身是為無畏經云禁繫枷鎖所不能著是也。
【八滅音圓聞徧生慈力】謂菩薩消滅音聲圓成聞慧則徧生慈力能以大利令彼得樂是以眾生經於險路如行坦途或遇惡寇自不能劫是為無畏經云經過險路賊不能劫是也。
【九熏聞離塵色不能劫】謂菩薩以思慧熏聞成性離諸塵妄不被色塵所劫能令一切性多淫人貪欲不生是為無畏經云能令一切多[婬-壬+(工/山)]眾生遠離貪欲是也。
【十純音無塵根境圓融】謂菩薩音性純淨離諸妄塵根境相入圓融無礙能令懷忿恨人瞋恚不生是為無畏經云能令一切忿恨眾生離諸瞋恚是也。
【十一銷塵旋明】謂菩薩除暗銷塵旋復性明能令一切昏鈍無善心人癡暗遠離是為無畏經云能令一切昏鈍性障諸阿顛迦永離癡暗是也(梵語阿顛迦華言無善心)。
【十二融形復聞】謂融形則礙滅復聞則性真故涉入世間而不壞世間之相能遍十方供養微塵數佛稟承其法各為法子以此無畏施諸無子眾生欲求男者令得生男經云能令無子眾生欲求男者誕生福德智慧之男是也。
【十三六根圓通明照無二】謂菩薩六根圓融通達無礙含攝法界如大圓鏡明照無二由此故能承順法門受領無失以此無畏施諸無子眾生欲

求女者即得生女經云能令法界無子眾生欲求女者誕生福德柔順眾人愛敬有相之女是也。
【十四我一名與六十二恒河沙名等無有異】謂菩薩得真圓通能令求福眾生但持我之名號與彼俱持無數菩薩名號之人較量所得福德等無有異是為無畏經云能令眾生持我名號與彼共持六十二恒河沙諸法王子二人福慧正等無異是也。
念誦忌十五地(出一字佛頂輪王經)
念誦即想念持誦神呪也忌者猶不宜也經云如來告金剛密迹主菩薩若諸有情為欲調他怨惡之心廻伏者欲消除一切灾障者或求滿足如意者當擇空寂幽閑勝處結界建壇淨身語意供養聖像誦持佛頂輪王呪加持作法若得成就則所願滿足不可於神龍所護及藥叉羅剎等地結界作法若在此等不善之處則鬼神得便而來擾乱使所作行法不得成就是故當忌十五地也(梵語藥叉亦云夜叉華言勇健梵語羅剎華言速疾鬼)。
【一神龍所護地】謂有神龍護持之處忌於結界建壇誦呪作法恐其侵惱令所作行法不得成就也。
【二藥叉羅剎住地】謂有藥叉等鬼神所住之處忌於結界建壇誦呪作法恐其伺於方便擾乱行法令不成就也。
【三尸陀林地】梵語尸陀華言寒林謂有死屍積聚之處忌於結界建壇誦呪作法以其臭穢不淨妨於淨行作法難成也。
【四無佛法地】謂如來正教所不到處忌於結界建壇誦呪作法以無正教之法善神不來守護行法難成也。
【五虎狼住地】謂有虎狼猛獸之處忌於結界建壇誦呪作法以其威猛毒害非吉祥空閑之地難以安住作法也。
【六多蚊虫地】謂有蚊蚋聚集之處忌於結界建壇誦呪作法以其能喧鬧又能咂人不得寂靜作法難成也。
【七無雨地】謂多旱無雨之處忌於結界建壇誦呪作法以其泉源枯竭人多渴乏絕於助緣行法難成也。
【八饒風地】謂風常起之處忌於結界建壇誦呪作法以其飄蕩多寒妨於道行作法難成也。
【九賊住地】謂有盜賊所住之處忌於結界建壇誦呪作法以其多損害心妨於道行難以安住作法也。
【十屠殺住地】謂屠兒殺者所住之處忌於結界建壇誦呪作法以其無慈悲心非吉祥空閑之地行法難成也。
【十一酤酒住地】謂賣酒之處忌於結界建壇誦呪作法以酒是起罪因緣能令眾生心生顛倒妨於道行作法難成也。
【十二賣經像地】謂販賣經卷佛像之處忌於結界建壇誦呪作法以其不信因果無有善心非吉祥空閑之地難以安住作法也。

【十三賣凶具地】謂販賣刀杖弓箭殺生器具之處忌於結界建壇誦呪作法以其多殺害心非吉祥空閑之地難以安住作法也。
【十四賣女地】謂衒賣女色之處忌於結界建壇誦呪作法以其穢污不潔妨於道行作法難成也。
【十五眾難地】謂水火刀兵險難之處忌於結界建壇誦呪作法以兇險多難非吉祥空閑之地難以安住作法也。
十五種無明(出鞞婆沙論)
【一根本無明】謂從無始之際一念不覺長夜昏迷不了真理能生一切諸惑煩惱是為根本無明。
【二枝末無明】謂心心所法相應而起即有貪瞋慢疑見等煩惱是為枝末無明(心心所法者心即心王心所即受想行也)。
【三共無明】謂一切結使共相造作一切諸業是為共無明(結使者謂一切煩惱能纏縛驅使於人入於生死也)。
【四不共無明】謂第七識無別體相妄起染心障蔽無漏聖法恒不間斷是為不共無明(第七識即意識也無漏者謂不漏落生死也)。
【五相應無明】謂第七識恒與貪痴見慢四惑相應而起是為相應無明。
【六不相應無明】謂第七識不與餘識外緣麤顯之境相應是為不相應無明(麤顯之境者謂色等五塵之境也)。
【七迷理無明】謂根本無明障於中道之理不能顯發是為迷理無明。
【八迷事無明】謂見思煩惱障蔽生死之事不能出離是為迷事無明。
【九獨頭無明】謂妄覺之心不緣外境孤然生起生已增廣是為獨頭無明。
【十俱行無明】謂心心所法常相隨逐曾不捨離是為俱行無明。
【十一覆業無明】謂一切結使覆蔽諸業不令人知恐失名譽利養恭敬等是為覆業無明。
【十二發業無明】謂貪痴我見慢等悉能發生一切惡業是為發業無明。
【十三種子子時無明】種子者謂第八藏識含藏一切染淨種子也子時者子為十二時之首以喻藏識為諸識之首也盖染習種子蘊在藏識之中未發顯時是為種子子時無明。
【十四行業果無明】謂於十二因緣中無明行愛取有五者煩惱是業因識等七者是苦果是為行業果無明(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。
【十五惑無明】謂俱生分別及根本隨煩惱等惑是為惑無明(俱生分別者謂最初托胎一念之識與形俱生即有分別也根本隨煩惱者即前根本無明也)。
十六觀門(出觀無量壽佛經)

韋提希夫人願生西方極樂世界兼為未來世眾生欲徃生者請佛世尊說其修行之法故佛令其觀彼依正之境托境顯性了境唯心即得徃生此十六觀門所以說也(梵語韋提希華言思惟依正者依即阿彌陀佛所依之土正即阿彌陀佛相好之身也)。

【一日觀】謂正坐西向諦觀落日令心堅住專想不移見日欲沒狀如懸鼓既見日已閉目開目皆令明了是名日觀。

【二水觀】謂作水想想水成已當作氷想既見氷已作瑠璃想此想成已見瑠璃地內外映徹是名水觀(梵語瑠璃華言青色寶)。

【三地觀】謂前想成時開目閉目不令散失如此想者即名粗見極樂國地見已分明是名地觀。

【四寶樹觀】謂作七重行樹想一一樹高八千由旬七寶映飾珠網覆上行行相當葉葉相次生諸妙花成七寶果其葉千色有大光明照映三千世界十方國土悉於中現是名樹觀(梵語由旬華言限量有八十六十四十里三等之不同七寶者金銀瑠璃玻瓈硨磲碼磁赤真珠也三千者大千中千小千也十方者四方四維上下也)。

【五八功德水觀】八功德水者一澄淨二清冷三甘美四輕軟五潤澤六安和七除患八增益也謂想極樂國土有八池水一一池水從如意珠王生分為十四支一一支作七寶妙色黃金為渠雜色金剛以為底沙一一水中有六十億七寶蓮華一一華團圓正等十二由旬其摩尼水流注華間演說苦空無常無我諸波羅蜜微妙法音其八池水皆具八種功德是名八功德水觀(梵語摩尼華言如意苦者謂由五陰之身而受生死逼迫等苦也空者謂此身由四大假合而成畢竟不有也無常者謂此身等終歸壞滅也無我者謂四大各離何者是我也梵語波羅蜜華言到彼岸)。

【六總觀】謂眾寶國土一一各有五百億寶樓樓中有無量諸天作眾妓樂又有樂器懸處虛空如天寶幢不鼓自鳴此眾音中皆悉念佛念法念僧此想成已名見極樂世界寶樹寶地寶池是為總觀。

【七華座觀】謂當作七寶蓮華想一一華葉作百寶色縱廣二百五十由旬一一華葉有百億摩尼珠王以為映飾放千光明毘楞伽寶以為其臺臺上有四寶幢幢上寶慢如夜摩天宮是名華座觀(毘楞伽梵語具云釋迦毘楞伽華言能勝梵語夜摩華言善時分)。

【八像觀】像即佛像謂欲想彼佛先當想像如閻浮檀金色坐彼華上見像坐已心眼得開明見極樂國土七寶莊嚴寶地寶池寶樹行列復想一大蓮華在佛左邊一大蓮華在佛右邊觀世音大勢至二菩薩坐左右華上皆放光明一一樹下亦有三蓮華各有一佛二菩薩像徧滿彼國此想成已是名像觀(梵語閻浮華言勝金樹名其樹林中有河河底有金沙名曰閻浮檀金也)。

【九佛真身觀】謂觀無量壽佛身相光明身如百千萬億夜摩天閻浮檀金色佛身高六十萬億那由他由旬眉間白毫右旋宛轉如五須彌山佛眼如四大海水青白分明身諸毛孔流出光明如須彌山彼佛圓光如百億三

千大千世界於圓光中有百萬億那由他恒河沙化佛有眾多化菩薩以為侍者無量壽佛有八萬四千相一一相有八萬四千隨形好一一好復有八萬四千光明一一光明徧照十方世界欲觀無量壽佛者從一相好入但觀眉間白毫極令明了見眉間白毫者八萬四千相好自然當現見無量壽佛者即見十方無量諸佛是名佛真身觀(梵語那由他亦云阿廋多華言萬億梵語須彌華言妙高)。

【十觀世音觀】謂想觀世音菩薩身長八十萬億那由他由旬身紫金色頂有肉髻項有圓光其圓光中有五百化佛一一化佛有五百化菩薩無量諸天以為侍者舉身光中五道眾生一切色相皆於中現毘楞伽寶以為天冠冠中有一立化佛高二十五由旬菩薩面如閻浮檀金色眉間毫相流出八萬四千種光光有無量化佛一一化佛有無數化菩薩以為侍者臂如紅蓮華色手掌作五百億雜蓮華色一一指端有八萬四千畫猶如印文以此寶手接引眾生足下有千輻輪相其餘身相眾好具足如佛無異唯頂上肉髻及無見頂相不及世尊是名觀世音觀(五道者天道人道餓鬼道畜生道地獄道也)。

【十一大勢至觀】謂想大勢至菩薩身量大小亦如觀世音菩薩圓光面各百二十五由旬舉身光明照十方國作紫金色有緣眾生皆悉得見但見此菩薩一毫孔光即見十方無量諸佛淨妙光明是故號為無邊光以智慧光普照一切令離三塗得無上力是故號為大勢至菩薩天冠有五百寶華一一寶華有五百寶臺十方佛國廣長之相皆於中現於肉髻上有一寶瓶盛諸光明普現佛事餘諸身相如觀世音等無有異是名大勢至觀(三途者刀途血途火途也)。

【十二普想觀】謂前想成已當起自心生於西方極樂世界於蓮華中結跏趺坐作蓮華合想作蓮華開想蓮華開時有五百色光來照身想作眼目開想見佛菩薩滿虛空中水鳥樹林及與諸佛所出音聲皆演妙法見此事已名見無量壽佛極樂世界是為普想觀。

【十三雜想觀】謂若欲至心生西方者先觀丈六佛像在池水上阿彌陀佛神通如意於十方國變現自在或現大身滿虛空中或現小身丈六八尺所現之形皆真金色圓光化佛及寶蓮華如上所說觀世音及大勢至於一切處身同眾生但觀首相知是觀世音知是大勢至是名雜想觀(梵語阿彌陀華言無量壽)。

【十四上輩生觀】(此觀於上品中又分上中下三品)上輩上品上生者謂欲生彼國當發三心一者至誠心二者深心三者迴向發願心具三心者必生彼國復有三種眾生當得往生一者慈心不殺具諸戒行二者讀誦大乘方等經典三者修行六念迴向發願願生彼國此人精進勇猛故阿彌陀佛與觀世音大勢至無數化佛百千比丘執金剛臺至行者前阿彌陀佛放大光明照行者身與諸菩薩授手迎接行者自見其身乘金剛臺隨從佛後如彈指頃往生彼國生彼國已見佛聞法即得悟無生法忍也上輩上品中生者謂

能於第一義心不驚動深信因果不謗大乘以此功德求生極樂國土命欲終時阿彌陀佛與觀世音大勢至無量大眾持紫金臺至行者前授手迎接行者自見坐紫金臺合掌讚佛如一念頃即生彼國七寶池中佛及菩薩俱時放光照行者身經於七日得無生忍也上輩上品下生者謂亦信因果不謗大乘但發無上道心以此功德求生樂國命欲終時阿弥陀佛及觀世音大勢至與諸菩薩持金蓮華來迎行者坐已華合即生七寶池中七日乃得見佛三七日後於諸佛前聞甚深法經三小劫住歡喜地也(六念者謂念佛念法念僧念天念施念戒也梵語比丘華言乞士無生法忍者謂一切法本來不生於此法中而能忍可印證也劫梵語具云劫波華言分別時節小劫者謂人壽八萬四千歲時百年減一歲如是減至十歲又增至八萬四千歲此一增一減為一小劫也)。

【十五中輩生觀】(此觀於中品中亦分上中下三品)中輩中品上生者謂受持五戒及八戒齋不造五逆無眾過患以此善根求生極樂世界命欲終時佛與比丘放金色光至其人所演說苦空無常無我讚歎出家得離眾苦行者歡喜自見己身坐蓮華臺合掌為佛作禮即得往生極樂世界蓮華尋開聞眾音聲讚歎四諦即得阿羅漢道也中輩中品中生者謂若一日一夜持八戒齋或持沙彌戒或持具足戒威儀無缺以此功德求生極樂世界命欲終時見阿彌陀佛放金色光持七寶蓮華至行者前授手迎接行者自見坐蓮華上蓮華即合生寶池中七日華敷合掌歎佛聞法歡喜得須陀洹經半劫已成阿羅漢也中輩中品下生者謂或有眾生孝養父母行世仁慈此人命欲終時遇善知識為其廣說佛國樂事亦說四十八願聞已命終即生西方極樂世界經七日已遇觀世音大勢至聞法歡喜得須陀洹過一小劫成阿羅漢也(五戒者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒也八戒齋者不殺不盜不邪[婬-壬+(工/山)]不妄語不飲酒不坐臥高廣大床不著花鬘衣不觀聽歌舞戲樂并過中不食也五逆者弒父弒母弒阿羅漢出佛身血破和合僧也四諦者苦諦集諦滅諦道諦也梵語阿羅漢華言無學沙彌戒即十戒也具足戒即二百五十戒也梵語須陀洹華言預流四十八願者一願我剎中無地獄餓鬼畜生二願我剎中無有女人三願我剎中人欲食時百味具足四願我剎中人所欲衣服隨念即至五願我剎中自地至虛空皆有百寶宮殿六願我剎中人心相愛敬無有憎嫉七願我剎中人無有淫泆愚癡八願我剎中人同一善心無有他念九願我剎中人皆不聞不善之名十願我剎中人知身如幻無貪著心十一願我剎中天人形容一類金色十二願十方世界蜎飛蠕動皆得為人十三願十方諸天人民皆作緣覺聲聞十四願我剎中人壽命無量十五願我剎中人所受快樂皆如漏盡比丘十六願我剎中人住正信位離顛倒想十七願我剎中人說經行道十倍於佛十八願我剎中人蓋通宿命十九願我剎中人盡得天眼二十願我剎中人盡得天耳二十一願我剎中人得他心智二十二願我剎中人盡得神足通二十三願十方眾生聞我名號皆生我剎二十四願我頂中光明勝如日月百千萬倍二十五願一切幽暗眾生皆覩光明來生我國二十六願十方眾生蒙我光明觸其身者過諸天人二十七願十方眾生願生我國者命終時迎歸我國二十八願十方眾生繫念於我一晝夜者必生我剎二十九願十方眾生十聲念我名號必生我剎除五逆謗法者三十願十方眾生前世作惡聞我名號壽終徑生我國三十一願十方眾生禮我名號感諸天人莫

不致敬三十二願十方女人聞我名號壽終之後不復為女三十三願十方眾生生我剎者即補佛處欲往他方說他我以威力助往三十四願我剎中人欲往他方者如其所願三十五願剎中菩薩欲往他方供養諸佛一食之頃即可遍至三十六願剎中菩薩欲往十方供養諸佛既遍是日未午即還我剎三十七願剎中菩薩誦經說法必得辯才智慧三十八願剎中菩薩能演說法其智慧辯才不可限量三十九願剎中菩薩其身紫磨金色與佛無異四十願剎中菩薩欲於寶樹中見十方佛剎即時應現四十一願剎中菩薩雖少功德亦能見我道場樹高四千由旬四十二願剎中一切天人悉皆形色殊特得天眼者不辨名數四十三願我剎中人所欲聞法自然得聞四十四願剎中菩薩頂中皆有光明無異於佛四十五願他方菩薩聞我名號皆得解脫三昧四十六願他方菩薩聞我名號皆得成佛常見一切諸佛四十七願他方菩薩聞我名號即得不退轉地四十八願他方菩薩聞我名號即得無生忍於諸佛法永不退轉也)。

【十六下輩生觀】(此觀於下品中亦分上中下三品)下輩下品上生者謂或有眾生作諸惡業雖不謗經多造惡法無有慚愧命欲終時遇善知識為說大乘十二部經首題名字除却千刼極重惡業復教合掌稱南無阿彌陀佛稱佛名故除五十億刼生死之罪爾時彼佛即遣化佛及化菩薩至行者前授手迎接行者即見化佛光明徧照其室即便命終乘寶蓮華生寶池中經七七日蓮華乃敷二大菩薩放大光明為說甚深十二部經聞已信解發無上道心經十小刼得入初地也下輩下品中生者謂或有眾生毀犯五戒八戒及具足戒不淨說法無有慚愧以惡業故應墮地獄命欲終時地獄眾火一時俱至遇善知識以大慈悲即為讚說阿彌陀佛十力威德廣讚彼佛光明神力此人間已除八十億刼生死之罪地獄猛火化為清涼之風吹諸天華華上皆有化佛菩薩迎接此人如一念頃即得往生七寶池中蓮華之內經於六刼蓮華乃敷二大菩薩以梵音聲為說大乘甚深經典應時即發無上道心也下輩下品下生者謂或有眾生作不善業五逆十惡具諸不善應墮惡道受苦無窮臨命終時遇善知識為說妙法教令念佛彼人苦逼不遑念佛善友告言汝若不能念彼佛者應稱無量壽佛如是至心令聲不絕具足十念於念念中除八十億刼生死之罪見金蓮華猶如日輪住其人前如一念頃即生極樂世界滿十二大刼蓮華乃開二大菩薩以大悲音聲為其廣說諸法實相除滅罪法即發菩提之心也(十二部經者一契經二重頌三諷頌四因緣五本事六本生七希有八譬喻九論議十無問自說十一方廣十二授記也梵語南無華言皈命初地者謂十地中初歡喜地也十力者知是處非處智力知過現未來業報智力知諸禪解脫三昧智力知諸根勝劣智力知種種解智力知種種界智力知一切至處道智力知天眼無礙智力知宿命無礙智力知永斷習氣智力也十惡者一殺生二偷盜三邪[婬-壬+(工/山)]四妄語五兩舌六惡口七綺語八貪欲九嗔恚十邪見也十念者以十稱佛號為一念十念即百稱佛號也大劫總成住壞空四中刼為一大刼也)。

十六特勝(出法界次第)

十六特勝者勝於四念處等諸禪觀也始從調心終至悲想地地皆有觀照能發無漏善業而無厭惡自害之失故受特勝之名也(四念處者一觀身不淨

二觀受是苦三觀心無常四觀法無我也無漏者不漏落三界生死也)。
【一知息入特勝】息即鼻中氣息謂數息調心之法若闇心而數則觀慧不明今既覺知息入則照息分明故解慧易發是為特勝。
【二知息出特勝】謂數息調心之法若闇心而數則觀慧不明今既覺知息出則照息分明故解慧易發是為特勝。
【三知息長短特勝】謂調心既靜而照了漸明即便覺息入出長短之相是為特勝。
【四知息徧身特勝】謂從欲界定證未到地定時即覺身及定法悉皆虛假息之入出徧身微微如有如無是為特勝(未到地定者謂於欲界脩色界定身雖未到於彼而心已先證彼定也)。
【五除諸身行特勝】謂從未到地若發初禪覺觀之法則身心豁然開朗所證境界悉皆虛假空無我人既無我人誰作諸事誰受禪定是則顛倒所起身業皆悉壞滅是為特勝(覺觀者謂初心在緣曰覺細心分別禪味曰觀)。
【六受喜特勝】謂既與觀慧相應若證初禪喜支即能照了而此喜支則無過失是為特勝(支分也)。
【七受樂特勝】謂既與觀慧相應若證初禪得樂支時即能覺了便於樂支不起見著以無所受而受樂觸是為特勝。
【八受諸心行特勝】謂既與觀慧相扶若證初禪一心支時即能照了一心不起顛倒於一心中獲得正受是為特勝。
【九心作喜特勝】謂離初禪入二禪時常自照了若發二禪內淨之喜則此心真喜從觀慧而生是為特勝。
【十心作攝特勝】謂既因觀慧得二禪一心支即照了一心攝諸亂想顛倒不起是為特勝。
【十一心作解脫特勝】謂離二禪入三禪時常有觀慧即能照了雖得妙樂心不躭著無累自在是為特勝。
【十二觀無常特勝】謂離三禪入四禪時常修觀慧發不動定了達定中心識虛誑念念生滅是為特勝。
【十三觀出散特勝】謂從四禪入虛空處時加脩觀慧內外照了而證空定能離色界緣空之識自在消散即能了達空定虛誑不實心不愛著是為特勝。
【十四觀離欲特勝】謂離虛空處定入識處時常以觀慧內自推撿離虛空處離欲之心於是發識處定即能了達識定虛誑不實心不愛著是為特勝。
【十五觀滅特勝】謂離識處入無所有處時常以觀慧照了所脩之境能脩之心於是發無所有處定即能了達無所有處虛誑不實心不愛著是為特勝。
【十六觀棄捨特勝】謂離無所有處脩非有想非無想定時常以觀慧觀察所修之法能脩之心於是發非想處定即能了達非想處猶有細想虛誑

不實非是涅槃安樂之法心不愛著是為特勝(梵語涅槃華言滅度)。
十六大力(出三昧弘道廣顯定意經)
佛赴阿耨達龍王請為說無欲法令諸菩薩修於清淨之行當得此十六大力調攝身心而化眾生也(梵語阿耨達華言無熱惱菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【一志力】謂菩薩心志善能摠持諸佛一切所說之法化導眾生是名志力。
【二意力】謂菩薩心意同佛所行於諸眾生未得度者悉願度脫是名意力。
【三行力】行即進趣之義謂菩薩能以精進之行通達一切所說甚深法義是名行力。
【四慚力】謂菩薩以能慚愧故遠離一切罪行興起種種善法是名慚力。
【五強力】謂菩薩於一切障難之中而能堅忍不為非行是名強力。
【六持力】謂菩薩於所受持之法悉能宣演開導而無遺忘是名持力。
【七慧力】謂菩薩有大智慧照了諸法皆空雖億千魔兵而不能惱是名慧力。
【八德力】謂菩薩脩無欲行具諸功德離諸染著是名德力。
【九辯力】謂菩薩有大辯才於百千刼隨解諸法所說無礙是名辯力(刼梵語具云刼波華言分別時節)。
【十色力】謂菩薩色相端正若帝釋梵王及四天王詣菩薩所一見之頃黯然無色是名色力(梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵雙舉也梵王即大梵天王也四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也)。
【十一身力】謂菩薩之身堅固清淨猶如金剛火不能燒刀不能斷於外道中最勝獨尊是為身力。
【十二財力】謂菩薩於眾珍寶隨所念願應時即至是名財力。
【十三心力】謂菩薩知諸眾生性欲能一其心而順化之是名心力。
【十四神足力】謂菩薩化導眾生能以神通具足之力即現神變而度脫之是名神足力。
【十五弘法力】謂菩薩於諸佛法能廣為一切眾生宣說使其聞之而不斷絕信受奉行等除眾苦是名弘法力。
【十六降魔力】謂菩薩修習禪定承順佛旨能伏眾魔是名降魔力。
大明三藏法數卷第三十四

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

十六知見(出大智度論)
謂未見正道之人於五陰等法中強立主宰妄計有我我所計我之心歷於諸緣即有十六知見之別也(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也我者謂於五陰中妄計有我也我所即五陰身等也)。
【一我】謂於五陰等法中無明不了妄計有我我所之實故名為我。
【二眾生】謂於五陰等法和合中妄計眾共而生故名眾生。
【三壽者】謂於五陰等法中妄計有我受一期果報命有長短故名壽者(一期者謂人從生至死也)。
【四命者】謂於五陰等法中妄計有我命根成就連持不斷故名命者。
【五生者】謂於五陰等法中妄計我能生起眾事及計我來人中受生故名生者。
【六養育】謂於五陰等法中妄計我能養育他人及計我從生已來為父母養育故名養育。
【七眾數】謂於五陰等法中妄計我有五陰十二入十八界等眾法有數故名眾數(十二入者眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入法入也十八界者眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也)。
【八人】謂於五陰等法中妄計我是能脩行人異於不能之人及計我生人道異於餘道故名為人。
【九作者】謂於五陰等法中妄計我有身力手足能有所作故名作者。
【十使作者】謂於五陰等法中妄計我能役使於他故名使作者。
【十一起者】謂於五陰等法中妄計我能起造後世罪福之業故名起者。
【十二使起者】謂於五陰等法中妄計我能令他起後世罪福之業故名使起者。
【十三受者】謂於五陰等法中妄計我之後身當受罪福果報故名受者。
【十四使受者】謂於五陰等法中妄計我當令他受諸苦樂果報故名使受者。
【十五知者】謂於五陰等法中妄計我有五根能知五塵故名知者(五根者眼根耳根鼻根舌根身根也五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【十六見者】謂於五陰等法中妄計我有眼根能見一切色相又計我能起諸邪見正見故名見者。
十六大阿羅漢(出法住記)

梵語阿羅漢華言無學謂其生死已盡無法可學又云無生謂其斷見思惑盡無復三界受生又云應供謂其應受人天供養又云殺賊謂其能殺煩惱之賊以其皆具三明六通無量功德故稱為大此阿羅漢承佛勅故以神通力延自壽量住於世間守護正法至今猶未入滅若遇世間設大施無遮會時即同諸眷屬蔽隱聖儀同於凡流密受供養令施者得勝果報饒益有情是為十六大阿羅漢也(三明者天眼明宿命明漏盡明也六通者天耳通天眼通宿命通他心通神足通漏盡通也)。

【一賓度羅跋囉惰闍尊者】梵語賓度羅華言不動字也梵語跋囉惰闍華言捷疾姓也此尊者與千阿羅漢多分住在西瞿耶尼洲(梵語瞿耶尼華言牛貨)。

【二迦諾迦伐蹉尊者】梵語迦諾迦伐蹉(無翻)此尊者與五百阿羅漢多分住在北方迦濕彌羅國。

【三迦諾迦跋釐惰闍尊者】梵語迦諾迦跋釐惰闍(無翻)此尊者與六百阿羅漢多分住在東勝身洲。

【四蘇頻陀尊者】梵語蘇頻陀(無翻)此尊者與七百阿羅漢多分住在北俱盧洲。

【五諾詎羅尊者】梵語諾詎羅華言鼠狼山此尊者與八百阿羅漢多分住在南贍部洲(梵語贍部亦云閻浮提華言勝金洲)。

【六跋陀羅尊者】梵語跋陀羅華言好賢此尊者與九百阿羅漢多分住在躭沒羅洲。

【七迦哩迦尊者】梵語迦哩迦(無翻)此尊者與千阿羅漢多分住在僧伽茶洲。

【八伐闍羅弗多羅尊者】梵語伐闍羅弗多羅(無翻)此尊者與一千一百阿羅漢多分住在鉢剌拏洲。

【九戍博迦尊者】梵語戍博迦(無翻)此尊者與九百阿羅漢多分住在香醉山中。

【十半托迦尊者】梵語半托迦(無翻)此尊者與一千三百阿羅漢多分住在三十三天(三十三天即忉利天也)。

【十一囉怙羅尊者】梵語囉怙羅華言執日此尊者與一千一百阿羅漢多分住在畢利颺瞿洲。

【十二那伽犀那尊者】梵語那伽犀那(無翻)此尊者與一千二百阿羅漢多分住在半度波山。

【十三因揭陀尊者】梵語因揭陀(無翻)此尊者與一千三百阿羅漢多分住在廣脇山中。

【十四伐那婆斯尊者】梵語伐那婆斯(無翻)此尊者與一千四百阿羅漢多分住在可住山中。

【十五阿氏多尊者】梵語阿氏多(無翻)此尊者與一千五百阿羅漢多分住在鷲峰山中。

【十六注荼半托迦尊者】梵語注荼半托迦(無翻)此尊者與一千六百阿羅漢多分住在持軸山中。

十六遊增地獄(出經律異相并諸經要集)

謂八寒八熱大獄每獄有四門門各有四獄受苦眾生於此諸獄次第遊歷其苦轉增故名十六遊增地獄也。

【一黑沙地獄】謂熱風吹熱黑沙沙著於身皮骨燋爛久受苦已方出此獄復到沸屎地獄。

【二沸屎地獄】謂沸屎鐵丸自然滿前驅逼罪人使抱鐵丸燒其身手復使撮著口中從咽至腹通徹下過無不燋爛有鐵觜虫唼肉達髓苦毒無量久受苦已方出此獄復到鐵釘地獄。

【三鐵釘地獄】謂獄卒捉罪人偃熱鐵上舒展其身以釘釘其手足周徧身體[書-曰+皿]五百釘苦毒無量久受苦已方出此獄復到飢餓地獄。

【四飢餓地獄】謂獄卒捉罪人撲熱鐵上鎔銅灌口從咽至腹通徹下過無不燋爛久受苦已方出此獄復到渴地獄。

【五渴地獄】謂獄卒將熱鐵丸著罪人口中燒其唇舌通徹下過無不燋爛久受苦已方出此獄復到一銅鑊地獄。

【六一銅鑊地獄】謂獄卒捉罪人倒投鑊中隨湯涌沸上下迴旋身已壞爛久受苦已方出此獄復到多銅鑊地獄。

【七多銅鑊地獄】謂獄卒捉罪人倒投鑊中舉身爛壞以鐵鉤取置餘鑊中苦毒無量久受苦已方出此獄復到石磨地獄。

【八石磨地獄】謂獄卒捉彼罪人撲熱石上舒展手足以大熱石壓其身上迴轉揩磨骨肉糜碎苦毒無量久受苦已方出此獄復到膿血地獄。

【九膿血地獄】謂膿血沸涌罪人於中東西馳走湯其身體頭面爛壞又取膿血食之通徹下過苦毒難忍久受苦已方出此獄復到量火地獄。

【十量火地獄】謂有大火聚其火燄然獄卒驅逼罪人手執鐵升以量火聚徧燒身體苦毒熱痛呻吟號哭久受苦已方出此獄復到灰河地獄。

【十一灰河地獄】謂縱廣各五百由旬灰河沸涌惡氣蓬焞洄波相搏聲響可畏從底至上鐵刺縱橫岸有劒林枝葉華實皆是刀劒罪人入河隨波上下洄澓沉沒鐵刺刺身內外通徹苦痛萬端乃出灰河至彼岸上利劒割刺身體傷壞復有豺狼來嚙罪人生食其肉走一劒樹劒刃下向下劒樹時劒刃上向手攀手絕足踏足斷皮肉墮落筋脉相連有鐵觜鳥啄頭食腦罪人復入灰河隨波沉沒鐵刺刺身皮肉爛壞膿血流出惟有白骨漂浮於外冷風來吹尋便起立宿對所牽不覺忽至鐵丸地獄。

【十二鐵丸地獄】謂有熱鐵丸獄卒驅其罪人撮之手足爛壞舉身火然久受苦已方出此獄復到斫斧地獄。

【十三斫斧地獄】(斫音斤削斷也)謂獄卒捉彼罪人撲熱鐵上以熱鐵斫斧斫斫其手足及耳鼻身體苦毒無量久受罪已方出此獄復到豺狼地獄。

【十四豺狼地獄】謂豺狼競來齧(音劑)嚙罪人肉墮骨傷膿血流水苦痛萬端久受苦已乃出此獄復到劒樹地獄。
【十五劒樹地獄】謂諸罪人入彼劒林有暴風起吹劒樹葉墮其身上頭面身體無不傷壞有鐵觜鳥啄其兩目苦痛無量久受苦已乃出此獄復到寒冰地獄。
【十六寒冰地獄】謂有大寒風吹罪人身舉體凍傷皮肉墮落苦毒叫喚然後命終皆因眾生造極惡業故墮此等諸地獄也。
大乘脩多羅有十七種名(出妙法蓮華經論)
大乘即佛乘也梵語脩多羅華言契經法華文句云論列十七種者皆法華之異名所以顯示此經甚深微妙之理不可思議也。
【一無量義經】謂佛欲說法華一實相理故先說此無量義處盖將以無量之義會歸於一實相之理實相之中妙義無窮故名無量義經。
【二最勝脩多羅】謂法華經唯談一乘實相之理於三藏中最勝極妙更無有比故名最勝脩多羅(三藏者經藏律藏論藏也)。
【三大方廣】無外曰大正理曰方包富曰廣謂法華經唯談一乘實相之理具此三義故名大方廣。
【四教菩薩法】謂法華經唯談一乘實相之理如來以此教化一切善根成熟菩薩隨順法器令其得證佛果故名教菩薩法(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
【五佛所護念】謂法華經唯談一乘實相之理是佛自所證得雖欲開示但為眾生根鈍久默斯要不務速說故名佛所護念。
【六諸佛秘密法】謂法華經唯談一乘實相之理此法甚深唯佛能知故名諸佛秘密法。
【七一切佛藏】謂法華經唯談一乘實相之理一切如來功德三昧無不含攝故名一切佛藏(梵語三昧華言正定)。
【八諸佛秘密處】謂法華經唯談一乘實相之理佛以善根未熟眾生非是受法之器不即為其演說故名諸佛秘密處。
【九能生一切諸佛經】謂法華經唯談一乘實相之理三世諸佛莫不由此而得成就大菩提果故名能生一切諸佛經(三世者過去現在未來也梵語菩提華言道)。
【十一切諸佛之道場】謂法華經唯談一乘實相之理聞此法者則能成就佛果菩提故名一切諸佛之道場。
【十一諸佛所轉法輪】謂法華經唯談一乘實相之理諸佛出世無不以此法門摧破一切眾生煩惱障礙令得解脫故名諸佛所轉法輪。
【十二諸佛堅固舍利經】謂法華經唯談一乘實相之理乃是諸佛真如法身舍利亘古亘今不遷不變無有敗壞故名諸佛堅固舍利經(梵語舍利華言骨身謂生身舍利此云舍利乃法身舍利也)。

【十三諸佛大巧方便經】謂法華經唯談一乘實相之理諸佛由此法門既成大菩提果已復以廣大善巧方便為諸眾生演說天人聲聞緣覺諸菩薩法令其悟入佛之境界故名諸佛大巧方便經。
【十四說一乘經】謂法華經唯談一乘實相之理顯示諸佛菩提究竟之體非彼聲聞緣覺之所能證故名說一乘經。
【十五第一義住】謂法華經唯談一乘實相之理即是如來法身究竟所住之處故名第一義住。
【十六妙法蓮華】謂法華經唯談一乘實相之理此之妙法而以蓮華為喻者蓋妙法則權實一體蓮華乃華果同時故名妙法蓮華(權實者聲聞緣覺菩薩三乘為權一佛乘即實也華果同時者世間之花先花後果唯蓮華華果同時果即蓮實也)。
【十七最上法門】謂法華經唯談一乘實相之理一切無量名句所詮法義無不含攝於諸經中最勝最上故名最上法門。
十八不共法(出法界次第)
不共法者謂諸佛之智內充無畏之德外顯一切功德智慧超過物表不與凡夫二乘及諸菩薩共有也(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
【一身無失】謂佛從無量劫來常用戒定智慧慈悲以脩其身此諸功德滿足故一切煩惱俱[書-曰+皿]是名身無失(劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【二口無失】謂佛具無量智慧辯才所說之法隨眾機宜皆得證悟是名口無失。
【三念無失】謂佛脩諸甚深禪定心不散亂於諸法中心無所著得第一安隱處故名念無失。
【四無異想】謂佛於一切眾生平等普度心無揀擇是名無異想。
【五無不定心】謂佛行住坐臥常不離甚深勝定是名無不定心。
【六無不知已捨】謂佛於一切法悉皆照知方捨無有一法不了知而捨之者是名無不知已捨。
【七欲無減】謂佛具眾善常欲度諸眾生心無厭足是名欲無減。
【八精進無減】謂佛身心精進滿足常度一切眾生無有休息是名精進無減。
【九念無減】謂佛於三世諸佛之法一切智慧相應滿足無有退轉是名念無減(三世者過去現在未來也)。
【十慧無減】謂佛具一切智慧無邊無際不可[書-曰+皿]故隨慧而說亦無有[書-曰+皿]是名慧無減。
【十一解脫無減】謂佛遠離一切執著具二種解脫一者有為解脫謂無漏智慧相應解脫二者無為解脫謂一切煩惱淨[書-曰+皿]無餘是名解脫無減(無漏者謂不漏落生死也無為者謂稱性而修無所作為也)。

【十二解脫知見無減】謂佛於一切解脫中知見明了分別無礙是名解脫知見無減。
【十三一切身業隨智慧行】謂佛現諸勝相調伏眾生稱智演說一切諸法令其各得解悟證入是名身業隨智慧行。
【十四一切口業隨智慧行】謂佛以微妙清淨之語隨智而轉化導利益一切眾生是名一切口業隨智慧行。
【十五一切意業隨智慧行】謂佛以清淨意業隨智而轉入眾生心而為說法除滅無明癡暗之膜是名意業隨智慧行。
【十六智慧知過去世無礙】謂佛以智慧照知過去世所有一切若眾生法若非眾生法悉能遍知無礙是名智慧知過去世無礙。
【十七智慧知未來世無礙】謂佛以智慧照知未來世所有一切若眾生法若非眾生法悉能徧知無礙是名智慧知未來世無礙。
【十八智慧知現在世無礙】謂佛以智慧照知現在世所有一切若眾生法若非眾生法悉能徧知無礙是名智慧知現在世無礙。
十八空(出大智度論)
【一內空】內即內身謂三十六種不淨充滿九孔常流淨相不可得故是名內空(三十六種者毛髮爪齒眵淚涎唾屎尿垢汗皮膚血肉筋脉骨髓肪膏腦膜肝膽腸胃脾腎心肺生臟熟臟赤痰白痰也九孔者兩眼兩耳兩鼻口大便小便也)。
【二外空】外即外色謂愚夫為欲染故觀所著色妄以為淨求其淨相亦如我身淨相不可得故是名外空。
【三內外空】謂我身不淨外亦如是外身不淨我亦如是一等無異淨相不可得故是名內外空。
【四空空】謂內身外身內外身俱空而猶執空成病復以空法而破三空是名空空。
【五大空】謂十方世界是四大造色假名日出處為東方日沒處為西方如是方相以世俗故有若第一義中則一法不可得是名大空(十方者四方四維上下也四大者地大水大火大風大也)。
【六第一義空】謂諸法中最第一法名為涅槃涅槃之法空無有相是名第一義空(梵語涅槃華言滅度)。
【七有為空】謂五陰等法中無我我所及以常相皆不可得是名有為空(五陰者色陰受陰想陰行陰識陰也我我所者我即眾生所執之假名我所即五陰色身等也)。
【八無為空】謂無所作為則非有相今對有為故說無為若有為法既不可得則無為之法何所可著是名無為空。
【九畢竟空】謂以前八空破一切法令無遺餘既無諸法亦無空之可著是名畢竟空。
【十無始空】謂世間眾生無有始相如今生從前世因緣有前世復從前世有如是展轉無始亦不可得是名無始空。

【十一散空】謂五陰和合故有人相若以智慧分別破散五陰與人則空無所有如輻輞轅轂眾合為車若離散各在一處則失車名是名散空。
【十二性空】謂一切諸法自性本空皆從因緣和合而生若不和合則無是法如是諸法性不可得是名性空。
【十三自相空】謂一切法有二種相一者捴相生滅不住本無今有已有還無皆是無常二者別相如地有堅相水有濕相火有熱相風有動相如是二相皆空是名自相空。
【十四諸法空】謂五陰十二入十八界等法無有實相一切皆空無取無捨能離一切諸見是名諸法空(十二入者眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入法入也十八界者眼界色界眼識界耳界聲界耳識界鼻界香界鼻識界舌界味界舌識界身界觸界身識界意界法界意識界也)。
【十五不可得空】謂一切諸法及因緣畢竟皆空不可得故是名不可得空(因緣者謂以眼等六根為因色等六塵為緣也)。
【十六無法空】謂諸法已滅是滅亦無名無法空又謂過去未來法名為無法如是無法亦空是名無法空。
【十七有法空】謂諸法從因緣和合故有法生是法體本不實名有法空又謂現在一切法及無為法名為有法如是有法皆空亦名有法空。
【十八無法有法空】謂無法有法相不可得名無法有法空又謂過去未來現在一切諸法皆不可得亦名無法有法空。
十八界(出法界次第)
界即界分謂眾生心色俱迷故開色為十界開心為八界令其觀此色心二法皆從虛妄因緣而生起惑造業輪轉生死若達此妄源無有實體絕名離相則不為惑染所迷也(開色為十界者謂眼耳鼻舌身五根色聲香味觸五塵皆屬於色故開之為十也開心為八界者謂眼識耳識鼻識舌識身識意識及意根法塵皆屬於心故開之為八也)。
【一眼界】謂能見之根名為眼界。
【二耳界】謂能聞之根名為耳界。
【三鼻界】謂能嗅之根名為鼻界。
【四舌界】謂能嘗味之根名為舌界。
【五身界】謂能覺觸之根名為身界。
【六意界】謂能覺知之根名為意界。
【七色界】謂眼所見一切色境名為色界。
【八聲界】謂耳所聞一切音聲名為聲界。
【九香界】謂鼻所嗅一切香氣名為香界。
【十味界】謂舌所嘗一切諸味名為味界。
【十一觸界】觸即觸著謂身所覺冷煖細滑等觸名為觸界。
【十二法界】謂意所知一切諸法名為法界。
【十三眼識界】謂識依眼根而能見色名眼識界。

【十四耳識界】謂識依耳根能聞諸聲名耳識界。
【十五鼻識界】謂識依鼻根能嗅諸香名鼻識界。
【十六舌識界】謂識依舌根能嘗諸味名舌識界。
【十七身識界】謂識依身根能覺諸觸名身識界。
【十八意識界】謂識依意根而能分別一切法相名意識界。

十八學人(出天台四教儀集註)

【一初果向】初果即須陀洹所證之果也謂此人脩學將入初果雖未至本位而已向於此果也(梵語須陀洹華言預流)。
【二初果】初果者謂此人斷三界見惑盡預入聖道法流即證此果也(三界者欲界色界無色界也見惑者謂意根對法塵而起分別也)。
【三二果向】二果即斯陀含所證之果也謂此人脩學將入二果雖未至本位而已向於此果也(梵語斯陀含華言一來)。
【四二果】二果者謂此人於欲界九品思惑中斷前六品盡即證此果也(思惑者謂眼等五根對色等五塵而起貪愛也)。
【五三果向】三果即阿那含所證之果也謂此人脩學將入三果雖未至本位而已向於此果也(梵語阿那含華言不來)。
【六三果】三果者謂此人於欲界九品思惑悉皆斷盡即證此果也。
【七四果向】四果即阿羅漢所證之果也謂此人脩學將入四果雖未至本位而已向於此果也(梵語阿羅漢華言無學)。
【八隨信行】隨信行者謂此人根鈍憑他所說起信脩行進趣於道也。
【九隨法行】隨法行者謂此人根利自以智力隨法修行進趣於道也。
【十信解】信解者謂此人根鈍而有信心起發真解也。
【十一見得】見得者謂此人根利若見於法即能得理也。
【十二家家】家家者受生處不一也謂此人於欲界九品思惑中若斷三四品或於天中三二家受生或於人中三二家受生方得證第二斯陀含果也。
【十三無間】無間者謂此人斷欲界思惑八品但有一品未斷而命終者尚有一生間隔若不命終遂斷一品餘惑則無生死間隔而證第三阿那含果也。
【十四中般】中即中陰般即般涅槃也謂此人於欲界死已未到色界即於中間陰身顯發聖道而般涅槃也(梵語般涅槃華言滅度)。
【十五生般】生般者謂此人從欲界命終生於色界便般涅槃也。
【十六有行般】有行般者謂此人生色界已更能加功用行斷欲界思惑俱盡而般涅槃也。
【十七無行般】無行般者謂此人生色界已不加功用行自然斷除欲界煩惱餘之思惑而般涅槃也。
【十八上流般】流即流行之義謂此人次第上行色界諸天受生而斷欲界餘之思惑而般涅槃也。

十八支(出法界次第)
支即支分也如樹根莖是一枝條有異禪中支義亦爾謂色界初禪有五支二禪四支三禪五支四禪四支共為十八支也。
初禪天定五支。
【一覺支】初心在緣名覺謂行者在欲界依未到地發初禪色界諸淨色法觸欲界身根心大驚悟即生身識覺此色觸也(未到地者謂在欲界修色界定故以色界為未到地也)。
【二觀支】細心分別名觀謂行者既證初禪功德即以細心分別此禪定中色法諸妙功德境界分明是欲界之所未有也。
【三喜支】欣慶之心名喜謂行者初發禪時乃有喜生所捨欲界之樂甚少今得初禪利益甚多如是思惟歡喜無量也。
【四樂支】怡悅之心名樂謂行者發初禪時喜踊之心既息則恬然靜慮而受怡悅之樂也。
【五一心支】心與定一名一心謂行者初證禪時心依覺觀喜樂之法故有細微之散若喜樂心息自然心與定一也。
二禪天定四支。
【一內淨支】心無覺觀之渾濁名內淨謂行者欲離初禪種種呵責覺觀覺觀既滅則心內淨也。
【二喜支】欣慶之心名喜謂行者初得內淨時得免覺觀之患而獲勝定內證之喜無量也。
【三樂支】怡悅之心名樂謂行者喜踊之情既息則怡然靜慮而受怡悅之樂也。
【四一心支】心與定一名一心謂行者喜樂心息則心與定一澄渟不動也。
三禪天定五支。
【一捨支】離喜不悔名捨謂行者欲離第二禪時種種呵責二禪之喜喜既滅謝則發第三禪之樂若證三禪之樂則捨二禪之喜不生悔心也。
【二念支】念即愛念謂行者既發第三禪之樂則樂從內起應須愛念將息則樂得增長也。
【三慧支】解知之心名慧謂行者既發第三禪之樂此樂微妙難得增長若非善巧解慧則不能方便長養也。
【四樂支】怡悅之心名樂謂行者發第三禪樂已若能善用捨念慧之三支將護此樂樂則徧身若離三禪則餘地更無徧身之樂也。
【五一心支】心與定一名一心謂行者受樂心息則心自與定法為一澄渟不動也。
四禪天定四支。
【一不苦不樂支】不苦不樂中庸之心也謂行者欲離第三禪時種種呵責於樂樂既謝滅則不動之定與捨俱發故內心湛然無苦無樂也。

【二捨支】離樂不悔名捨謂行者既得第四禪不動真定則捨第三禪難捨之樂不生悔心也。
【三念清淨支】念即愛念謂行者既得第四禪真定當念下地之過復念自己功德方便將養令其不退進入勝品也(下地者即三禪也)。
【四一心支】心與定一名一心謂行者既得第四禪之定用前捨念二支將護則心無所依泯然寂靜一心在定猶如明鏡不動淨水無波湛然而照萬象皆現也。
二十重華藏莊嚴世界海(出華嚴經)
謂此世界住在香水海中蓮花之上種種妙寶莊嚴含藏一切世界深廣無窮也此世界海有須彌山微塵數風輪所持此微塵數風輪最在上者名殊勝威光藏能持普光摩尼莊嚴香水海此香水海出大蓮華名種種光明蘂香幢此世界海住在其中四方均平清淨堅固金剛輪山周帀圍繞地海眾樹各有區別金剛輪山內所有大地一切皆以金剛所成諸摩尼寶以為間錯普現如來所有境界如天帝網於中布列此大地中有十不可說佛剎微塵數香水海一一妙寶充滿其中一一香水海各有四天下微塵數香水河右旋圍繞一一河各有世界海微塵數莊嚴此十不可說佛剎微塵數香水海中有不可說佛剎微塵數世界種安住一一世界種復有不可說佛剎微塵數世界各各依住各各形狀各各莊嚴等一一世界種或作須彌山形或作江河形或作諸莊嚴等形悉在此世界海中分布而住其最中央香水海名無邊妙華光以現一切菩薩形摩尼王幢為底出大蓮華名一切香摩尼王莊嚴有世界種名普照十方熾然寶光明其二十重莊嚴世界皆從此出其最下重世界名最勝光遍照此上過佛剎微塵數世界有世界名種種香蓮華妙莊嚴如是乃至最上第二十重世界名妙寶焰此第二十重世界自下而上各有佛剎微塵數世界周帀圍繞各有佛出現教化眾生娑婆世界正當第十三重即是毗盧遮那如來所出現之處此二十重世界皆在無邊妙華光香水海中此世界海乃是毗盧遮那如來往昔於世界微塵數劫修菩薩行時親近微塵數佛之所嚴淨故稱所修實因感報此莊嚴重重無盡世界也(梵語須彌華言妙高梵語摩尼華言如意天帝網者謂帝釋殿有千珠寶網交光相暎也剎梵語具云剎摩華言土田四天下者東弗于逮南閻浮提西瞿耶尼北欝單越也梵語娑婆華言能忍梵語毘盧遮那華言徧一切處劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【一最勝光徧照華藏世界】此第一重世界依眾寶摩尼華而住其狀猶如摩尼寶形一佛剎微塵數世界圍繞佛號離垢燈(如摩尼寶形者謂摩尼狀有八楞似方不方似圓不圓世界如彼故也離垢燈者謂離煩惱所知二障智眼清淨照世如燈故也)。
【二種種香蓮華妙莊嚴華藏世界】此第二重世界依寶蓮華網而住其狀猶如師子之座二佛剎微塵數世界圍繞佛號師子光勝照。
【三一切寶莊嚴普照光華藏世界】此第三重世界依種種寶瓔珞住其形八隅三佛剎微塵數世界圍繞佛號淨光智勝幢。

【四種種光明華莊嚴華藏世界】此第四重世界依眾色金剛尸羅幢海住其狀猶如摩尼蓮華四佛剎微塵數世界圍繞佛號金剛光明無量精進力善出現。
【五普放妙華光華藏世界】此第五重世界依一切樹莊嚴寶輪網海住其形普方而多有隅角五佛剎微塵數世界圍繞佛號香光喜力海。
【六淨妙光明華藏世界】此第六重世界依金剛宮殿海住其形四方六佛剎微塵數世界圍繞佛號普光自在幢。
【七眾華焰莊嚴華藏世界】此第七重世界依一切寶色焰海住七佛剎微塵數世界圍繞佛號歡喜海功德名稱自在光。
【八出生威力地華藏世界】此第八重世界依種種寶色蓮華座虛空海住其狀猶如因陀羅網八佛剎微塵數世界圍繞佛號廣大名稱智海幢(因陀羅網即天帝網也)。
【九出妙音聲華藏世界】此第九重世界依恒出一切妙音聲莊嚴雲摩尼王海住其狀猶如梵天身形九佛剎微塵數世界圍繞佛號清淨月光相無能摧伏。
【十金剛幢華藏世界】此第十重世界依一切莊嚴寶師子座摩尼海住其狀周圓十佛剎微塵數世界圍繞佛號一切法海最勝王。
【十一恒出現帝青寶光明華藏世界】此第十一重世界依種種殊異華海住其狀猶如半月之形十一佛剎微塵數世界圍繞佛號無量功德海。
【十二光明照耀華藏世界】此第十二重世界依華旋香水海住狀如華旋十二佛剎微塵數世界圍繞佛號超釋梵。
【十三娑婆華藏世界】此第十三重世界依種種色風輪所持蓮華網而住其狀猶如虛空十三佛剎微塵數世界圍繞其佛即毘盧遮那如來世尊也。
【十四寂靜離塵光華藏世界】此第十四重世界依種種寶衣海住其狀猶如執金剛形十四佛剎微塵數世界圍繞佛號徧法界勝音。
【十五眾妙光明燈華藏世界】此第十五重世界依淨華網海住其狀猶如卍字之形十五佛剎微塵數世界圍繞佛號不可摧伏力普照幢。
【十六清淨光徧照華藏世界】此第十六重世界依種種香焰蓮華海住其狀猶如龜甲之形十六佛剎微塵數世界圍繞佛號清淨日功德眼。
【十七寶莊嚴藏華藏世界】此第十七重世界依光明藏摩尼藏海住其形八隅十七佛剎微塵數世界圍繞佛號無礙智光明徧照十方。
【十八離塵華藏世界】此第十八重世界依眾妙花師子座海住狀如珠瓔十八佛剎微塵數世界圍繞佛號無量方便最勝幢。
【十九清淨光普照華藏世界】此第十九重世界依無量色香焰須彌山海住其狀猶如寶華旋布十九佛剎微塵數世界圍繞佛號普照法界虛空光。

【二十妙寶焰華藏世界】此第二十重世界依一切諸天形摩尼王海住其狀猶如寶莊嚴具二十佛剎微塵數世界圍繞佛號福德相光明。

二十諸天(出天傳)

自古列十六天像各有所主以其有呵護之功也後增日月及娑竭龍王閻摩羅王者謂日則破暗月則照夜龍則祕藏法寶閻摩則掌於幽冥故加此四天通為二十天也。

【一梵天王】梵梵語具云梵嚕摩華言離欲又云清淨謂此天王身心妙圓威儀不缺清淨禁戒加以明悟統領梵眾即法華經稱娑婆世界主尸棄大梵主大千世界者是也(梵語娑婆華言能忍梵語尸棄華言頂髻又云火由修火定而悟道故也)。

【二帝釋天主】帝即天帝釋梵語具云釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵兼稱也此天居須彌山頂即忉利天主也謂此天徃昔因中迦葉佛滅時有一女人發心修塔復有三十二人助修由是功德女為忉利天主其助脩者皆作輔臣合稱為三十三天也(梵語須彌華言妙高梵語忉利華言三十三梵語迦葉華言飲光)。

【三毘沙門天王】梵語毘沙門華言多聞謂此天福德之名聞於四方即北方天王居須彌山半第四層之北水精埵統領無量百千藥叉守護北方也(梵語藥叉亦云夜叉華言勇健)。

【四提頭賴吒】梵語提頭賴吒華言持國謂此天能護持國土即東方天王居須彌山半第四層之東黃金埵領乾闥婆富單那等守護東方也(梵語乾闥婆華言香陰即帝釋之樂神也梵語富單那華言主熱病鬼)。

【五毘留勒义天王】梵語毘留勒义華言增長謂此天能令自他威德善根悉皆增長即南方天王居須彌山半第四層之南瑠璃埵領鳩槃茶等無量百千鬼神守護南方也(梵語瑠璃華言青色寶梵語鳩槃茶華言甕形即魘魅鬼也)。

【六毘留博义天王】梵語毘留博叉華言雜語謂此天能作種種語言故又云廣目以其目廣大故即西方天王居須彌山半第四層之西白銀埵領毘舍闍鬼等無量百千諸龍守護西方也(梵語毘舍闍華言啖人精氣)。

【七金剛密迹天】謂此天手執金剛寶杵識達如來一切秘密事迹也徃昔有王生一千有二子千兄同詣佛所發心修道而二弟不知一弟發願若千兄成道我則為魔惱害之一弟發願我為力士護千兄法即金剛也領五百藥义神皆是大菩薩等居妙高峰於賢刼千佛中俱護其法也(刼梵語具云刼波華言分別時節賢刼名以此刼中多賢人故也)。

【八摩醯首羅天】梵語摩醯首羅華言大自在又翻威靈或云三目故為三界尊極之主輔行記云色界天三目八臂騎白牛執白拂有大威力居菩薩住處能知大千世界雨滴之數統攝大千世界於色界中此天獨尊也(三界者欲界色界無色界也)。

【九散脂大將】散脂梵語具云散脂修摩華言密陀羅尼集云鬼子母有三男長名唯奢文次名散脂大將次小名摩尼跋陀能於十方世界覆護一切眾生為除衰惱等患常地居或空居各有五百眷屬領二十八部鬼神隨是經典所流布處與諸鬼神往至彼所隨遂擁護說法者消滅諸惡令得安隱仍以身口意三密而加被之謂眾味精氣從毛孔入此身密加被也莊嚴言辭辯不斷絕此口密加被也心進勇銳等此意密加被也至令聞者受人天樂疾得菩提其於賞善罰惡功亦大矣。

【十大辯天】謂得大智慧功德成就大辯才也此天或居山巖深險處或在坎窟大樹藂林在處常翹一足八臂莊嚴常持弓箭刀矟(色角切)長杵鐵輪帝釋諸天常加供養讚嘆具無礙辯於一切時常自護世濟物利生流通佛法無所怠倦以慧資福故光明會上列之在功德天之前也。

【十一功德天】此天涅槃經及陀羅尼集名功德天金光明經散脂品名第一威德成就眾事大功德天於過去金山照明如來所種諸善根故感福報相貌殊勝能令眾生福德成就常居寘勝園名曰金幢若說法者隨其所須供給無乏以福資慧成出世因則果滿二嚴依正殊勝也(二嚴即福慧二種莊嚴也依報即國土正報即色身也)。

【十二韋天將軍】韋梵語具云韋馱華言智論靈威要略曰天神姓韋諱琨即南方天王八將之一臣也四王合三十二將此為其首生知聰慧早離塵欲清淨梵行修童真業不受天欲面受佛囑外護佛法統護三洲利物弘化大濟群生故凡建伽藍皆設像崇敬以彰護法之功也(三洲者南贍部洲東弗于逮西瞿耶尼也伽藍梵語具云僧伽藍華言眾園即佛寺也)。

【十三堅固地神】堅固者理體不可壞如金剛王無能破也地者謂其利世之功如大地持載萬物出生草木百穀珍寶等也此天隨是經典流布之處常作衛護隱形法座頂戴說法者之足令聞法者如服甘露增益身力地藏經佛告地神云閻浮土地悉蒙汝護凡地所生皆悉豐足利益一切護佛教法於世出世其功大矣(閻浮梵語具云閻浮提華言勝金洲)。

【十四菩提樹神】梵語菩提華言道謂由此神嘗守護如來成道處菩提之樹因以立名宿世因中自云我常念佛樂見世尊常作誓願不離佛日是知大權示迹微妙難思覆蔭群生現身利益故諸經讚護功德不可量也。

【十五鬼子母天】此天所生千子最小名愛奴極所憐惜常食人子佛為化彼將愛奴戢之鉢下其母於天上人間覓之不得既歸伏已佛遂揭鉢還之其千子皆為鬼王統數萬鬼眾五百在天上常嬈亂諸天五百在世間常嬈國界人民佛為授五戒歸依正法得須陀洹住佛精舍凡人家無子息者求之得子有疾病者禱之則安故為鬼王母由受佛戒亦呼千子同依佛所不惱天人也(五戒者不殺不盜不邪淫不妄語不飲酒也梵語須陀洹華言入流即初果也)。

【十六摩利支天】梵語摩利支華言陽焰以其形相不可見不可執如彼陽焰也此天常行日月之前護國護民救兵戈等難大摩利支天經中有最

上心真言曰唵摩利支娑縛賀若人持此真言無不感應其不思議神力誠可依憑也。

【十七日宮天子】謂此天宿因布施持戒修善奉佛得生其中其宮殿城郭皆百寶所成五風運持不令停住環繞須彌山半照四大洲所謂南閻浮提日正中東弗于逮日始沒西瞿耶尼日初出北欝單越當夜半是為一日照四天下除冥破暗成熟萬物其功實大法華經中名寶光天子即此天也(五風者持風住風隨順轉風波羅訶迦風將行風也梵語弗于逮華言勝梵語瞿耶尼華言牛貨梵語欝單越華言勝處)。

【十八月宮天子】謂此天宿因所修所證與日宮天子同故生其中其宮殿百寶所成五風運持不令停住環繞須彌山半照四大洲其圓缺者白月初日在前黑月初日在後因日影覆射故有圓缺所謂近日自影覆故見月輪缺然月光陰滋萬物夜發光明功次於日法華經云明月天子是也(白月初者上半月初也黑月初者下半月初也)。

【十九娑竭羅】梵語娑竭羅華言鹹海又翻龍王即鹹海中一百七十七龍王中第七龍王也今獨列此龍王者謂是大權菩薩位居十地之中示現龍身處於鹹海若降雨時先布密雲端坐舉念其雨普洽常隨佛會護法護民其利甚博所居宮殿七寶嚴飾與天無異(十地者懽喜地離垢地發光地焰慧地難勝地現前地遠行地不動地善慧地法雲地也七寶者金銀瑠璃玻瓈硨磲碼磁赤真珠也)。

【二十閻摩羅王】梵語閻摩羅華言雙王又云隻王謂由此王與妹皆作獄主故云雙兄治男事妹治女事故云隻又云息諍謂止罪人諍故或云是菩薩為利益眾生故變化所作正法念經載閻羅王為人說偈云汝得人身不修道如入寶山空手歸汝今自作還自受叫喚苦者欲何為又十王經云閻王於未來世作佛號普王如來謂菩薩變化者良有以也。

二十空(出般若經)

【一內空】謂內之眼耳鼻舌身意六根皆無自性故名內空。

【二外空】謂外之色聲香味觸法六塵皆無自相故名外空。

【三內外空】謂六根六塵六識都無自性故名內外空(六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也)。

【四空空】謂一切法皆空此空亦空故名空空。

【五大空】謂小乘四諦十二因緣諸法皆空無有故名大空(四諦者苦諦集諦滅諦道諦也十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也)。

【六小空】(亦名無性自性空)謂須陀洹斯陀含阿那含阿羅漢四果之相皆空無有故名小空(梵語須陀洹華言入流梵語斯陀含華言一來梵語阿那含華言不來梵語阿羅漢華言無學)。

【七勝義空】謂第一義之理假立名言悉同真性本來空寂故名勝義空。

【八有為空】謂欲界色界無色界煩惱惑業本無有為之相故名有為空。
【九無為空】謂生住滅三相皆空無為寂靜不墮諸數故名無為空(生住滅者謂一切萬物皆有生長住於世間終歸壞滅也)。
【十畢竟空】謂有為無為諸法一切之相悉皆空寂而不可得故名畢竟空。
【十一無際空】謂一切諸法滅無有終起無有始起滅之際無從可得故名無際空。
【十二散空】謂一切諸法因緣假合而成皆無和合之相故名散空。
【十三無變異空】謂一切法非常非滅不變不異法性如如了不可得故名無變異空。
【十四本性空】謂一切諸法非常非滅本性清淨離性離相故名本性空。
【十五自相空】謂五蘊之法虛幻不實了無自相故名自相空(五蘊者色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊也)。
【十六共相空】謂一切諸法彼此之相非常非滅本來空寂故名共相空。
【十七一切法空】謂一切諸法本性皆空非常非滅了不可得故名一切法空。
【十八不可得空】謂過去現在未來三世一切諸法皆無所有了無可求之相故名不可得空。
【十九無性空】謂一切諸法悉皆虛假皆無實性故名無性空。
【二十自性空】謂一切諸法非常非滅性本自空故名自性空。
二十種小乘外道涅槃(出提婆菩薩釋楞伽經中外道小乘涅槃論)
【一小乘外道論師】此外道師說諸受陰重如燈火滅種壞風止名為涅槃(陰即身也梵語涅槃華言滅度)。
【二外道方論師】此外道師說最初生諸方從諸方生世間人從人生天地天地滅沒還入彼處名為涅槃(諸方即四方也)。
【三外道風仙論師】此外道師說風能生長命物能殺命物風造萬物能壞萬物名風為涅槃(命物者謂有命之物也)。
【四外道韋陀論師】此外道師說從那羅延天臍中生大蓮華從蓮華生梵天祖公一切有命無命物從梵天口中生一切大地即是脩福德戒場於中一切華草及猪羊驢馬等殺害供養梵天得生彼處名為涅槃(梵語那羅延華言鉤鎖力士)。
【五外道伊賒那論師】此外道師眷屬說伊賒那論師尊者形相不可見徧一切處以無形相而能生諸有命無命一切萬物名為涅槃。
【六倮形外道論師】此外道師說分別見諸種種異相名為涅槃。

【七外道毘世師論師】此外道師說地水火風虛空微塵等物和合而生一切世間知無知物無和合者即是離散遂計離散名為涅槃(知無知物者謂有知覺無知覺之物也)。
【八外道苦行論師】此外道師說身盡福德盡名為涅槃。
【九外道女人眷屬論師】此外道師說摩醯首羅作女人生諸天人龍鳥及一切穀子蛇蝎蚊蝱等如是知者名為涅槃(梵語摩醯首羅華言大自在)。
【十外道行苦行論師】此外道師說罪福盡德亦盡名為涅槃。
【十一外道淨眼論師】此外道師說煩惱盡故依智名為涅槃。
【十二外道摩陀羅論師】此外道師說那羅延論師言我造一切物我於一切眾生中最勝我生一切世間有命無命物從我作生還沒彼處名為涅槃。
【十三外道尼犍子論師】此外道師說初生一男一女彼二和合能生一切有命無命等物後時離散還沒彼處名為涅槃。
【十四外道僧佉論師】此外道師說二十五諦自性因生諸眾生名為涅槃(二十五諦者一冥初自性二智大三我心四色五聲六香七味八觸九地十水十一火十二風十三空十四眼知根十五耳知根十六鼻知根十七舌知根十八身知根十九口作業根二十手作業根二十一足作業根二十二小便作業根二十三大便作業根二十四心平等根二十五神我也自性是常能生諸法故為涅槃因也)。
【十五外道摩醯首羅論師】此外道師說果是那羅延所作梵天是因所謂梵天那羅延乃至自在天是生滅因一切從自在天生從自在天滅名為涅槃。
【十六外道無因論師】此外道師說無因無緣生一切物無染因無淨因乃至棘刺之針孔雀之色皆無人作自然而有不從因生名為涅槃。
【十七外道時論師】此外道師說時熟一切大時作一切物時散一切物是故我論中說如被百箭射時不到不死時到則小草觸即死一切物時生一切物時熟一切物時滅名為涅槃。
【十八外道服水論師】此外道師說水是萬物根本水能生天地生有命無命一切物乃至水能生物能壞物名為涅槃。
【十九外道口力論師】此外道師說虛空是萬物因最初生虛空從虛空生風從風生火從火生暖暖生水水即凍凌堅作地從地生種種藥草乃至從五穀生命食後時還沒虛空名為涅槃(五穀者禾麻黍菽麥也)。
【二十外道本生安荼論師】此外道師說本無日月星辰虛空及地唯有大水時大安荼生如鷄子周市金色時熟破為二段一段在上作天一段在下作地彼二中間生梵天名一切眾生祖公作一切有命無命物等散沒彼處名為涅槃。
二十種煩惱隨眠(出瑜伽師地論并顯揚聖教論)
煩惱者謂見思無明昏煩之法惱亂心神也由此煩惱隨逐眾生眠伏藏識之中故名隨眠(藏識者藏有含藏之義即第八識也)。

【一不定地隨眠】不定地即欲界也謂欲界散亂不脩禪定以散亂故眼等諸根煩惱隨逐不捨故名不定地隨眠。
【二定地隨眠】定地即色界無色界也謂此二界能修禪定雖修禪定離欲界苦而於定地貪癡愛慢諸見煩惱隨伏不捨故名定地隨眠。
【三隨逐自境隨眠】謂於三界中各各自分境上所攝諸見煩惱隨根起滅潛伏不捨故名隨逐自境隨眠。
【四隨逐他境隨眠】謂或在色界而起欲界煩惱或在無色界而起色界煩惱或在欲界而欣樂上二界禪定而生味著不知出離故名隨逐他境隨眠。
【五被損隨眠】謂眾生常被欲界煩惱之所損害而此煩惱隨伏不捨故名被損隨眠。
【六不被損隨眠】謂已生色界不被欲界煩惱之所損害或未離欲界雖不被煩惱所損而煩惱隨伏不捨故名不被損隨眠。
【七隨增隨眠】謂三界眾生各於自住之境而起煩惱隨時增長潛伏不捨故名隨增隨眠。
【八不隨增隨眠】謂住於色界無色界禪定之中不隨他境增長煩惱而其煩惱因未斷故潛伏不捨故名不隨增隨眠。
【九具分隨眠】謂諸眾生於一切境起貪嗔癡等諸煩惱惑無有缺減故名具分隨眠。
【十不具分隨眠】謂聲聞初果等雖斷三界見惑而於思惑未能全斷故名不具分隨眠(初果即須陀洹果也見思惑者謂意根對法塵而起分別曰見惑眼等五根對色等五塵而起貪愛曰思惑也)。
【十一可害隨眠】謂聲聞之人知苦集之法是可損害乃修道品斷見思煩惱而證涅槃雖斷見思而習氣無明隨伏不捨故名可害隨眠(苦集即苦諦集諦也道品即三十七道品也梵語涅槃華言滅度習氣者見思惑之餘習氣分也)。
【十二不可害隨眠】謂凡夫眾生不能修習道品而於煩惱之惑無可損斷是以隨伏不捨故名不可害隨眠。
【十三增上隨眠】謂貪嗔癡等諸煩惱惑漸漸增勝隨伏不捨故名增上隨眠。
【十四平等隨眠】謂貪嗔癡煩惱之惑平等共起隨伏不捨故名平等隨眠。
【十五下劣隨眠】謂修行求離欲界之人於諸色等塵念微薄故名下劣隨眠。
【十六覺悟隨眠】謂能覺知一切煩惱與業果俱時流轉雖能覺悟而未能斷故名覺悟隨眠。
【十七不覺悟隨眠】謂一切煩惱纏縛隨逐根識不相捨離而無所知覺故名不覺悟隨眠。

【十八能生多苦隨眠】謂欲界貪嗔等煩惱能生種種諸苦故名能生多苦隨眠。
【十九能生少苦隨眠】謂色界無色界禪定之中雖無欲界眾苦而有欣上厭下之心亦名煩惱故名能生少苦隨眠(欣上厭下者謂欣喜上二界禪定之樂厭惡欲界生死之苦也)。
【二十不能生苦隨眠】謂諸菩薩雖離諸惑不生眾苦然常存自行利他之心亦為煩惱故名不能生苦隨眠(菩薩梵語具云菩提薩埵華言覺有情)。
二十種煩惱現行(出瑜伽師地論)
【一隨所欲纏現行】謂在家之人未離諸欲而於所欲之境起種種纏縛之業相續不捨故名隨所欲纏現行。
【二不隨所欲纏現行】謂出家之人不隨世間欲樂之境而生厭離之心相續不捨故名不隨所欲纏現行。
【三無所了知現行】謂住惡說法之人於善惡法不生分別於一切境界無所了知由此癡惑之心相續不捨故名無所了知現行。
【四有所了知現行】謂住善說法之人於一切法而生分別於善法令向於惡法令捨由此了知之心相續不捨故名有所了知現行。
【五麤煩惱現行】謂貪嗔癡諸煩惱各有增上麤重或於順境貪惑麤重或於逆境嗔惑麤重各起不同故名麤煩惱現行。
【六等煩惱現行】謂貪嗔癡等諸煩惱惑等分而起無有輕重故名等煩惱現行(等分者謂貪嗔癡三心一齊而起也)。
【七微煩惱現行】謂修行求離欲界之人雖未證果而於三界煩惱微細輕薄故名微煩惱現行(三界者欲界色界無色界也)。
【八內門煩惱現行】謂修行求離欲界之人雖不著於色等外塵之境而內心所起習氣相續不捨故名內門煩惱現行(習氣者煩惱餘習氣分也)。
【九外門煩惱現行】謂未離欲界之人隨緣色等外塵諸欲境界而起種種煩惱相續不捨故名外門煩惱現行。
【十失念煩惱現行】謂見聖道得果之人忽遇餘緣聞不正法習氣發現而失正念故名失念煩惱現行。
【十一猛利煩惱現行】謂未得道果之人勤加精進起不正作意發勇猛心相續不捨故名猛利煩惱現行。
【十二分別所起煩惱現行】謂人不信正法於諸邪見而起分別妄生種種執著相續不捨故名分別所起煩惱現行。
【十三任運所起煩惱現行】謂人起懈怠心不求正行而於五欲之境自然而起諸惑相續不捨故名任運所起煩惱現行(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)。
【十四尋思煩惱現行】謂人於禪定觀法常自思念覺察妄起分別相續不捨故名尋思煩惱現行。

【十五不自在煩惱現行】謂人睡眠夢境散乱意識所緣相續不捨故名不自在煩惱現行。
【十六自在煩惱現行】謂人醒寤所起惡慧之覺徧緣諸境相續不捨故名自在煩惱現行。
【十七非所依位煩惱現行】謂如幼少之人於一切境不知好惡起諸放逸相續不捨故名非所依位煩惱現行。
【十八所依位煩惱現行】謂修行根熟之人依於正行之位斷諸煩惱而能斷之心相續不捨故名所依位煩惱現行。
【十九可救療煩惱現行】謂人勤修道行斷生死惑業如救療眾病但知生死之病而可救療不知樂著涅槃之心相續不捨故名可救療煩惱現行(梵語涅槃華言滅度)。
【二十不可救療煩惱現行】謂人於生死惑業眾病不能修諸正行以為救療而諸煩惱相續不捨故名不可救療煩惱現行。
二十種隨煩惱(出華嚴經隨疏演義鈔)
謂諸昏煩惱乱心神之法隨逐眾生造無量業故名隨煩惱也。
【一忿隨煩惱】暴怒之心名忿謂對現前一切違情之境即發暴怒惱乱其心是名忿隨煩惱。
【二恨隨煩惱】恨即怨恨謂由忿怒不捨結諸怨恨惱乱其心是名恨隨煩惱。
【三覆隨煩惱】覆即隱覆謂自作罪惡不能懺悔故意隱覆惟恐人知惱乱其心是名覆隨煩惱。
【四惱隨煩惱】惱即熱惱謂外遇違情之境熱惱於心不自安隱是名惱隨煩惱。
【五嫉隨煩惱】嫉即嫉妬謂持心不平常懷嫉妬惱乱於心是名嫉隨煩惱。
【六慳隨煩惱】恪惜曰慳謂於一切財法貪求積蓄不能惠施恒恐散失惱乱於心是名慳隨煩惱。
【七誑隨煩惱】詭詐不實曰誑謂與世交接語言虛誑巧慮多謀心不自安而生惱乱是名誑隨煩惱。
【八諂隨煩惱】謂諂佞阿諛媚悅人意心恒愧赧而不自安是名諂隨煩惱。
【九害隨煩惱】謂銜恨蓄怨常欲損害於人求快己意恒恐不遂惱乱其心是名害隨煩惱。
【十憍隨煩惱】矜己傲他曰憍謂心不謙下常欲勝人傲彼有德惱乱其心是名憍隨煩惱。
【十一無慚隨煩惱】謂屏處為非不知慚天以自悔改惱乱其心是名無慚隨煩惱。

【十二無愧隨煩惱】謂陰為不善不知愧人以自悔改惱乱其心是名無愧隨煩惱。
【十三掉舉隨煩惱】謂外境紛擾身心動搖不能攝伏因而惱乱是名掉舉隨煩惱。
【十四昏沉隨煩惱】謂心神昏暗沉迷而於諸法無所明了惱乱其心是名昏沉隨煩惱。
【十五不信隨煩惱】謂邪見多疑於諸正法不生信心因而惱乱是名不信隨煩惱。
【十六懈怠隨煩惱】謂身心懶惰於諸道業不能精進修習因而惱乱是名懈怠隨煩惱。
【十七放逸隨煩惱】謂縱恣自逸躭著欲境不能檢束因而惱乱是名放逸隨煩惱。
【十八失念隨煩惱】謂心逐邪妄正念遺失遂致淪墜惱乱其心是名失念隨煩惱。
【十九散亂隨煩惱】心常放逸名曰散乱謂着諸緣境令心流逸恒不寂靜因而惱乱是名散亂隨煩惱。
【二十不正知隨煩惱】謂於法邪解遠離正知背覺合塵以妄為真惱乱其心是名不正知隨煩惱。
二十難(出四十二章經)
【一貧窮布施難】謂人自厄於貧乏而能隨力輟己濟人是為難也。
【二豪貴學道難】謂人處於豪貴而能厭於欲樂折節求道是為難也。
【三判命必死難】謂人能尚義輕生决志判命或為法捨身濟彼飢苦或為忠臣以死徇節是為難也。
【四得覩佛經難】謂人或生邊地不知出世之法欲得見聞受持如來正教是為難也。
【五生值佛世難】謂人不結勝因不脩眾善而欲值佛出世是為難也。
【六忍色離欲難】謂人多為情欲所惑而能制伏妄念捨離欲心是為難也。
【七見好不求難】謂人見彼富貴榮名及可意等物而不樂求是為難也。
【八有勢不臨難】謂豪勢之人居威福之地而能好禮忘勢不凌侮人是為難也。
【九被辱不瞋難】謂人被他凌辱而能安忍不生忿恨是為難也。
【十觸事無心難】謂心本清靜觸境而興若觸事遇緣而心不染著是為難也。
【十一廣學博究難】謂人根性遲鈍而欲廣其學問窮究義理以博見聞是為難也。

【十二不輕未學難】謂人多有好上之心若自有學問而於未學之人不生輕慢是為難也。
【十三除滅我慢難】謂人常懷我慢或素來種姓富貴而能不生驕傲輕他之心是為難也。
【十四會善知識難】謂人修行多為惡友所惑若學道之時得遇善知識勸獎誘掖令其開解是為難也。
【十五見性學道難】謂人迷於妄情昧於愛欲而能返妄歸真見性學道是為難也。
【十六對境不動難】謂前塵妄境迷惑真性而能持心寂靜不為外物所轉是為難也。
【十七善解方便難】謂人能常懷大慈愛念眾生以種種方便而作饒益是為難也。
【十八隨化度人難】謂眾生根性利鈍不同而能隨機化導而度脫之是為難也。
【十九心行平等難】謂癡冥之人多執彼我之見若能冤親平等心無分別是為難也。
【二十不說是非難】謂兩舌妄語佛所禁戒若能愛護口業不說他人好惡長短是為難也。
大明三藏法數卷第三十五

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

二十五圓通(出楞嚴經)

性體周徧曰圓妙用無礙曰通乃一切眾生本有之心源諸佛菩薩所證之聖境也而有二十五種者謂諸菩薩及大羅漢於六塵六根六識七大各各悟入不同故也此由阿難於楞嚴會上雖聞根塵同源縛脫無二之旨而未達圓通本根請佛開示如來於是問諸弟子最初發心方便令其各各自陳證悟之由使阿難曉了圓通法門所入之處也然論圓通本無優劣如來令文殊選擇而唯取觀音耳根者蓋為此方之人耳根聰利聞法易解當以音聞而為教體故特取觀音耳根為入道之門也然不取陳那音聲者以聲本屬塵根有聞性故揀陳那居初觀音極後以見取捨之明亦根塵首尾相貫之意也(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也六識者眼識耳識鼻識舌識身識意識也七大者地大火大水大風大空大見大識大也梵語阿難華言慶喜文殊梵語具云文殊師利華言妙德)。

【一音聲】音聲即聲塵也謂憍陳那等在鹿苑中聞佛說四諦之法密悟圓理了達一切聲塵本然清淨無動無靜皆是常住圓妙之音於是得入圓通故云如我所證音聲為上(梵語憍陳那華言已知四諦者苦諦集諦滅諦道諦也)。

【二色因】色因即色塵也謂優波尼沙陀因多貪欲佛令作不淨觀於是觀色身不淨之相生大厭離悟諸色性歸於虛空空色兩忘本然清淨於是得入圓通故云如我所證色因為上(梵語優波尼沙陀華言塵性)。

【三香因】香因即香塵也謂香嚴童子聞如來教於清淨室修習禪定見諸比丘燒沉水香遂觀此香氣非木非空非烟非火即是本然清淨妙香於是開悟得入圓通故云如我所證香因為上(梵語比丘華言乞士)。

【四味因】味因即味塵也謂藥王藥上二法王子等於無始刼為世良醫一切草木金石之味悉能徧知承事如來了知味性非空非有非即身心非離身心皆是本然清淨妙味從是開悟得入圓通故云如我所證味因為上(刼梵語具云刼波華言分別時節)。

【五觸因】觸因即觸塵也謂跋陀婆羅先於威音王佛所聞法出家於浴僧時隨例入室忽悟水因既不洗塵亦不洗體中間安然得無所有妙觸清淨本來無染於是得入圓通故云如我所證觸因為上(梵語跋陀婆羅華言賢守)。

【六法因】法因即法塵也謂摩訶迦葉等因觀世間六塵變壞悟法性空遂修滅盡定以滅意根受想不起妙法開明消滅諸漏得無生滅遂入圓通故云如我所證法因為上(梵語摩訶迦葉華言大飲光滅盡定者謂受想心滅出入息

盡而證此定也諸漏者謂由一切煩惱漏落生死也從憍陳那至迦葉是於六塵悟入圓通）。

【七見元】見元即眼根也謂阿那律陀初出家時常樂睡眠被如來訶責因是七日不眠失其雙目世尊示以金剛三昧遂得清淨天眼是故不因眼根能觀三千世界猶如掌果於是悟入圓通故云如我所證旋見循元斯為第一（梵語阿那律華言無貧梵語三昧華言正受亦云正定三千者大千中千小千也旋見循元者旋大千之見循真性之元也）。

【八息空】息空即鼻根也謂周利槃特迦於過去世為大法師祕吝佛法不肯教人後感愚鈍亦以宿有善因遇佛出家以根鈍故憶持如來一句伽陀經一百日終不能誦佛令安居數息攝心因是觀息出入剎那生滅之相豁然無礙得入圓通故云如我所證反息循空斯為第一（梵語周利槃特迦華言繼道梵語伽陀華言諷頌數息者息即鼻中氣息謂從一至十漸漸而數也梵語剎那華言一念反息循空者反背妄根循依真空也）。

【九味知】味知即舌根也謂憍梵鉢提於過去世輕弄沙門有牛呵（音詩）病佛為遮謗賜之數珠令常念佛清淨心地又觀舌根知味之性非體非物應念得超世間諸漏悟入圓通故云還味旋知斯為第一（梵語憍梵鉢提華言牛呵以其宿世曾作牛王餘習未除故食後常虛噍也梵語沙門華言勤息還味旋知者謂不著塵味不隨妄知也）。

【十身覺】身覺即身根也謂畢陵伽婆蹉聞佛說諸世間不可樂事因行乞食被刺傷足舉身疼痛即反觀覺痛之心無有痛覺本自清淨如是思惟攝念未久身心忽空諸漏虛盡得入圓通故云如我所證純覺遺身斯為第一（梵語畢陵伽婆蹉華言餘習純覺遺身者謂覺心純淨而遺失妄身也）。

【十一法空】法空即意根也謂須菩提於曠劫來心得無礙蒙佛開示性覺真空於是頓入如來寶明空海圓通境界故云如我所證諸相入非非所非盡旋法歸無斯為第一（梵語須菩提華言空生寶明空海者即如來所證明妙之理無礙深廣也非所非盡旋法歸無者謂能非之心所非之相悉盡無餘而轉諸法塵皆歸寂滅也從阿那律至須菩提是於五根悟入圓通）。

【十二心見】心見即眼識也謂舍利弗於曠劫來心見清淨後於路中逢迦葉波宣說因緣從佛出家於一切法照了無礙悟入圓通故云如我所證心見發光光極知見斯為第一（梵語舍利弗華言身子心見發光光極知見者由心見發明而圓照萬法也）。

【十三心聞】心聞即耳識也謂菩薩已曾與恒沙如來為法王子常用心聞分別眾生所有知見若有眾生修普賢行分身百千皆至其處摩頂擁護令其成就心聞圓通普賢境界故云我說本因心聞發明分別自在斯為第一。

【十四鼻息】鼻息即鼻識也謂孫陀羅難陀從佛出家雖具戒律心多散動世尊教其觀鼻端白遂觀鼻中之氣出入如烟身心內明圓洞虛淨烟相漸消鼻息成白心開漏盡諸出入息化為光明照十方界即得圓通故云我

以消息息久發明明圓滅漏斯為第一(梵語孫陀羅難陀華言好愛歡喜漏盡者生死之漏斷滅也明圓滅漏者真性明了圓融滅諸有漏也)。
【十五法音】法音即舌識也謂富樓那弥多羅尼子從曠劫來辯才無礙世尊知其有大辯才以音聲輪教其發揚於是助佛轉輪成師子吼悟入圓通故云我以法音降伏魔怨消滅諸漏斯為第一(梵語富樓那弥多羅尼華言滿慈是其父母名因以稱之)。
【十六身戒】身戒即身識也謂優波離最初隨佛踰城出家親觀如來六年勤苦承佛教戒乃至三千威儀八萬微細行業悉皆清淨身心寂滅悟入圓通故云我以執身身得自在次第執心心得通達然後身心一切通利斯為第一(梵語優波離華言上首)。
【十七心達】心達即意識也謂目乾連聞迦葉波宣說如來因緣深義即頓發心得大通達如來惠其袈裟著身鬚髮自落游於十方無所罣礙由是神通自在圓明清淨故云我以旋湛心光發宣如澄濁流久成清瑩斯為第一(梵語目乾連華言綵菽氏旋湛謂旋復澄湛之性也從人利弗至目乾連是於六識悟入圓通)。
【十八火性】火性即火大也謂烏芻瑟摩久遠刼前性多貪欲有佛出世名曰空王說多[婬-壬+(工/山)]人成猛火聚教其徧觀百骸四支諸冷煖氣由是諦觀神光內凝化多[婬-壬+(工/山)]心成智慧火因此火光三昧力故得入圓通故云我以諦觀身心煖觸無礙流通諸漏既消生火寶焰證無上覺斯為第一(梵語烏芻瑟摩華言火頭)。
【十九地性】地性即地大也謂持地菩薩於徃昔時普光如來出現於世曾為比丘平填道路造作橋梁行諸苦行後世復值毘舍浮佛出現國王延佛設齋爾時平地待佛毘舍如來摩頂告言當平心地則世界地一切皆平因是即得心開見身微塵及與世界一切微塵等無差別即得悟入圓通故云我以諦觀身界二塵等無差別本如來藏虛妄發塵塵銷智圓成無上道斯為第一(梵語毘舍浮華言遍一切自在如來藏者即一切眾生本具真如之理藏也)。
【二十水性】水性即水大也謂月光童子徃昔刼中於水天佛所修習水觀觀於身中涕唾津液大小便利與世界外諸香水海水性一同是時初成此觀但見其水未得無身經無量佛方得無身與諸香水海性合真空無二無別悟入圓通故云我以水性一味流通得無生忍圓滿菩提斯為第一(無生忍者謂一切諸法本來不生於此法中能忍可印證也梵語菩提華言道)。
【二十一風性】風性即風大也謂瑠璃光法王子徃昔刼中於無量聲佛所蒙佛開示妙明心體及說世界眾生皆是妄緣風力所轉即於爾時觀此世界及與身心各有所動遂即覺了此群動性來無所從去無所至身心發光洞徹無礙而入圓通故云我以觀察風力無依悟菩提心入三摩地斯為第一(梵語三摩地華言等持)。
【二十二空性】空性即空大也謂虛空藏菩薩於定光佛所得無邊身爾時手執四大寶珠照明十方微塵佛剎化成虛空身同(虛空)不相妨礙能

善入微塵國土廣行佛事由是諦觀四大無依虛空佛國同一虛妄於同發明得入圓通故云我以觀察虛空無邊入三摩地斯為第一。

【二十三識性】識性即識大也謂彌勒菩薩徃昔刼中於日月燈明佛所而得出家修習唯心識定至然燈佛出世方乃得成無上妙圓識心三昧了一切如來國土淨穢有無皆是我心變化所現而悟入圓通故云我以諦觀十方唯識識心圓明得無生忍斯為第一(梵語彌勒華言慈氏)。

【二十四淨念】淨念即根大也謂大勢至菩薩等徃昔刼中於超日月光佛所修念佛三昧收攝六根定心念佛由是不假方便自得心開悟入圓通故云我無選擇都攝六根淨念相繼得三摩地斯為第一(從烏芻瑟摩至勢至是於七大悟入圓通)。

【二十五耳根】耳根者謂觀世音菩薩徃昔刼中於觀世音佛所發菩提心彼佛教其從聞思修入三摩提於是菩薩即於聞中入流亡所所入既寂動靜二相了然不生一念頓空聞性而入圓通矣經中所謂生滅既滅寂滅現前者即圓通之體也上合諸佛妙心下同眾生悲仰而現乎三十二應施以十四無畏等者乃圓通之用也故云我從耳門圓照三昧緣心自在成就菩提斯為第一(聞思修即三慧也梵語三摩提即三摩地也入流亡所者不隨聲塵頓入法流而亡其所入也三十二應者佛應獨覺應緣覺應聲聞應梵王應帝釋應自在天應大自在天應天大將軍應天王應四天王太子應人王應長者應居士應宰官應婆羅門應比丘應比丘尼應優婆塞應優婆夷應女主應童男應童女應諸天應龍應藥叉應乾闥婆應阿修羅應緊那羅應摩呼羅伽應人應非人應也十四無畏者一不自觀音以觀觀者二知見施復三觀聽旋復四斷滅妄想心無殺害五熏聞成聞六根消復同於聲聽六聞熏精明明徧法界七音性圓消觀聽返入八滅音圓聞徧生慈力九熏聞離塵色不能刼十純音無塵根境圓融十一消塵旋明十二融形復聞十三六根圓通明照無二十四我一名與六十二恒河沙名等無有異也)。

二十五護戒神(出法苑珠林)

護戒神者謂五戒之中各有五神為作衛護也灌頂經云若持五戒者有二十五善神衛護其身在人左右守於宮宅門戶之上使萬事吉祥也。

【一護不殺戒五神】一茶蓼毘愈陀尼護持戒人身辟除邪鬼二輸多利輸陀尼護持戒人六情悉令完具三毘樓遮那世波護持戒人腹內使五藏平調四阿陀龍摩坻護持戒人血脉悉令通暢五婆羅桓尼和婆護持戒人爪指無所毀傷(六情即眼耳鼻舌身意六根也五藏者心肝脾肺腎也)。

【二護不盜戒五神】一坻摩阿毘婆馱護持戒人出入徃來使得安寧二阿修輸婆羅陀護持戒人所噉飲食悉使甘香三婆羅摩亶雄雌護持戒人睡夢平安覺寤歡悅四婆羅門地鞞哆護持戒人不為蠱毒所中五邪摩呼哆耶舍護持戒人不為霧露之毒所害。

【三護不邪淫戒五神】一佛馱仙陀樓哆護持戒人口舌鬪諍不行二鞞闍耶藪多婆護持戒人不為瘟瘧鬼所持三涅坭醯馱多耶護持戒人不為

縣官所得四阿邏多賴都耶護持戒人舍宅四方驅逐凶殃五波羅那佛曇護持戒人平定舍宅。
【四護不妄語戒五神】一阿提梵者珊耶護持戒人不為塚墓鬼所嬈二因臺羅因臺羅護持戒人門戶辟除邪惡三阿伽風施婆多護持戒人不為外氣鬼神所害四佛曇彌摩多哆護持戒人不為灾火所延五多賴叉三密陀護持戒人不為偷盜所侵。
【五護不飲酒戒五神】一阿摩羅斯兜嘻護持戒人若入山林不為虛狼所害二那羅門闍兜帝護持戒人不為傷亡所嬈三鞞尼乾那波護持戒人除惡鳥鳴狐鳴四茶鞞闘毘舍羅護持戒人除犬鼠變恆五伽摩毘那闍尼佉護持戒人不為凶注所牽(凶注者謂陰司注寫凶惡之事也)。
二十五有(出天台四教儀)
二十五有不出六道有生有死因果不亡之謂也然梵王天無想天及五那含天總在四禪天中而別出其名者以外道計梵王天為生萬物之主計無想天以無心為涅槃計五那含天為真解脫所以經教特立此三天為三有以對破外道之計也(六道者即天道人道修羅道餓鬼道畜生道地獄道也)。
【一四洲為四有】謂東弗于逮西瞿耶尼南閻浮提北欝單越也(梵語弗于逮華言勝梵語瞿耶尼華言牛貨梵語閻浮提華言勝金洲梵語欝單越華言勝處)。
【二四惡趣為四有】謂六道中修羅餓鬼畜生地獄四者皆由愚癡貪欲造諸惡業故感斯趣也。
【三六欲天為六有】謂欲界六天也一四天王天二忉利天三夜摩天四兜率天五化樂天六他化自在天(梵語忉利華言三十三梵語夜摩亦云須燄摩華言善時分梵語兜率華言知足)。
【四梵天為一有】謂初禪中大梵王天乃三千世界之主也(三千者小千中千大千也)。
【五無想天為一有】謂四禪中之無想天此天以無心想為果故也。
【六五那含天為一有】那含梵語具云阿那含華言不還謂四禪中無煩天無熱天善見天善現天色究竟天亦名五淨居天此之五天名位雖別皆第三果聖人所居故通為一有也(第三果即聲聞阿那含果也)。
【七四禪天為四有】謂色界初禪天二禪天三禪天四禪天也。
【八四空處天為四有】謂無色界空處天識處天無所有處天非想非非想處天也。
二十五三昧破二十五有(出法華玄義)
梵語三昧華言正定二十五三昧破前二十五有者約理對治隨義以立名也蓋欲色無色三界雖苦樂不同然實有生死執著故以此無垢等三昧之法一一破之令諸眾生出於諸有也。
【一無垢三昧破地獄有】謂菩薩由淨諸業惑證於無垢三昧愍彼眾生受於地獄之苦故以此三昧令其修行出離重垢所報之處也(重垢即惡業報處即地獄也)。

【二不退三昧破畜生有】謂菩薩修於持戒禪定破諸惡業自獲不退證於不退三昧愍彼眾生受畜生苦故以此三昧令其遠捨諸惡永不退失善道也。
【三心樂三昧破餓鬼有】謂菩薩修戒定慧破諸惡業證於心樂三昧愍彼眾生受餓鬼苦故以此三昧令其遠離諸惡而生喜樂也。
【四歡喜三昧破阿脩羅有】梵語阿脩羅華言無端正謂菩薩脩戒定慧破於惡業等怖證於歡喜三昧愍彼眾生受阿修羅苦故以此三昧令其離諸猜疑怖畏也。
【五日光三昧破弗婆提有】梵語弗婆提華言勝即東洲也謂菩薩修戒定慧獲一切智光破諸惡業無明等闇證於日光三昧愍彼東洲眾生受諸生死故以此三昧令其破諸惡業等闇而得出離也。
【六月光三昧破瞿耶尼有】梵語瞿耶尼華言牛貨即西洲也謂菩薩修戒定慧獲一切智光破諸惡業無明等闇證於月光三昧愍彼西洲眾生受諸生死故以此三昧令其破諸惡業等闇也。
【七熱焰三昧破鬱單越有】梵語鬱單越華言勝處即北洲也謂菩薩修戒定慧破諸我執證於熱焰三昧愍彼北洲眾生計著於我氷執難化故以此三昧令其遠離妄我計執不生而得出離也。
【八如幻三昧破閻浮提有】梵語閻浮提華言勝金洲即南洲也謂菩薩修戒定慧破諸虛幻惑業證於如幻三昧愍此南洲眾生果報雜雜壽命不定猶如幻化故以此三昧令其破於諸幻而得出離也。
【九不動三昧破四天王有】四天王者東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也謂菩薩修戒定慧破諸煩惱散乱證於不動三昧以此天游行世間則有果報惑業等動故以此三昧令其悉破諸動惑業亦得證此也。
【十難伏三昧破三十三天有】三十三天即忉利天也謂菩薩修戒定慧破一切惑業證於難伏三昧以此天是地居之頂果報惑業難以折伏故以此三昧令其破諸難伏亦得證此也(梵語忉利華言三十三)。
【十一悅意三昧破焰摩天有】焰摩梵語具云須焰摩華言善時分謂菩薩修戒定慧破諸煩惱證於悅意三昧以此天處空為悅而未有上界不動等悅故以此三昧令其捨離空處之悅而證不動等悅也。
【十二青色三昧破兜率陀天有】梵語兜率陀華言知足謂菩薩修戒定慧破諸煩惱證於青色三昧以此天果報宮殿服玩一切皆青故以此三昧令其捨離一切煩惱亦得證此也。
【十三黃色三昧破化樂天有】謂菩薩修戒定慧破諸煩惱證於黃色三昧以此天果報宮殿服玩一切皆黃故以此三昧令其捨離一切煩惱亦得證此也。
【十四赤色三昧破他化自在天有】謂菩薩修戒定慧破諸煩惱證於赤色三昧以此天果報宮殿服玩一切皆赤故以此三昧令其捨離一切煩惱

亦得證此也。
【十五白色三昧破初禪有】初禪即色界天也謂菩薩修戒定慧證於白色三昧以此天果報一切皆白故以此三昧令其捨離一切煩惱亦得證此也。
【十六種種三昧破梵王有】梵王亦色界初禪天也謂菩薩修戒定慧證於種種三昧以此天主領大千世界種類既多果報不等故以此三昧令其捨離種種果報亦得證此也。
【十七雙三昧破二禪有】二禪亦色界天也謂菩薩修戒定慧證雙三昧以此天獨有內淨支喜支二種定相即果報雙而未見雙空雙假雙中之理故以此三昧令其捨離淨喜而證雙空等也(雙空者謂見思二惑俱空也雙假者謂見假思假即見思惑以此惑體虛假不實故也雙中者謂破見思惑同入中道也)。
【十八雷音三昧破三禪有】三禪亦色界天也謂菩薩修戒定慧證於雷音三昧以此天禪樂最深如冰魚蟄虫著於果報之樂故以此三昧而驚駭之令其捨離諸樂亦證於此也。
【十九注雨三昧破四禪有】四禪亦色界天也謂菩薩修戒定慧證於注雨三昧以此天如大地具諸種子若不得雨善芽不生故以此三昧之雨令其發生三諦之種亦得證此也(三諦者真諦俗諦中諦也)。
【二十如虛空三昧破無想天有】無想亦色界天也謂菩薩修戒定慧證於如虛空三昧以此天一期心想不行妄計果報非空而為涅槃故以此三昧破彼非空令其起修空淨之行亦得證此也(梵語涅槃華言滅度一期者從生至死也)。
【二十一照鏡三昧破阿那含天有】梵語阿那含華言不還即第三果生於色界之天也謂菩薩修戒定慧證於照鏡三昧以此天雖得無漏淨色但是果報之淨未獲究盡色空故以此三昧令其破彼報淨之色究竟真空之理亦得證此也。
【二十二無礙三昧破空處有】空處即無色界天也謂菩薩修戒定慧證於無礙三昧以此天得出色籠果報無礙未是空假中無礙故以此三昧令其捨離果報亦得證此也(色籠者謂色界色質籠罩也空假中即三觀也離性離相之謂空無法不備之謂假非空非假之謂中也)。
【二十三常三昧破識處有】識處亦無色界天也謂菩薩修戒定慧證常三昧以此天以識相續不斷為常此乃定報即非無為等常故以此三昧令其捨離定報之常亦得證此也。
【二十四樂三昧破不用處有】不用處又名無所有處亦無界天也謂菩薩修戒定慧證樂三昧以此天厭識處無邊入無所有處以此處如癡癡故是苦故以此三昧令其捨離於癡亦得證此也。
【二十五我三昧破非想非非想處有】非想非非想處亦無色界天也謂菩薩修戒定慧證我三昧以此天居無色界頂謂是涅槃果報猶有細煩惱等惑而不自在故以此三昧令其捨離煩惱亦得證此也。

二十五種外道冥諦(出華嚴經隨疏演義鈔)
二十五種冥諦者乃是迦毘羅外道之所計也盖此外道亦修禪定有神通力知八萬刼中事八萬刼前冥然不知謂之冥諦從冥初自性生智大乃至神我開成二十五諦合為九位也(梵語迦毘羅華言黃色刼梵語具云刼波華言分別時節)。
【一冥初自性】謂此外道以八萬刼前之事冥然不知之處昧為自性故云冥初自性。
【二智大】智大亦名覺大即增長之義謂冥初之際覺知增長故云從冥初生智大。
【三我心】我心亦名我慢即我執也謂由覺知生我慢心故云從智大生我心。
【四五唯】唯即微也五唯亦名五微即色聲香味觸也以色等五種由我執之心方現故云從我心生五唯。
【五五大】五大即地水火風空也此五種性徧一切處故名為大由極微而生故云從五唯生五大。
【六五知根】五根即眼耳鼻舌身謂之知者以此五種皆有知覺故也因五大而成故云從五大生五知根。
【七五作業根】五根即口與手足小便大便謂之作業者以此五種能作業用故也亦因五大而成故云從五大生五作業根。
【八心平等根】心乃肉團心即意根也謂之平等者以此根能徧一切根境而生分別也此亦五大所成故云從五大生平等根并前五知五作業共為十一根也。
【九神我】神我即第八識也外道執神我能生諸法常住不壞計為涅槃是二一一諦之主也(第八識即藏識也梵語涅槃華言滅度)。
二十八天(出天台四教儀)
【一欲界六天】一四天王天東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王二忉利天梵語忉利華言三十三徃世三十三人同修勝業同生此天三須夜摩天梵語須夜摩華言善時分謂此天時時唱快樂故又云受五欲境知時分故四兜率陀天梵語兜率陀華言知足謂此天於五欲境知止足故五化樂天謂此天自化五塵而娛樂故六他化自在天謂此天假他所化樂事以成己樂即欲界天主(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也五塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵也)。
【二色界十八天】初禪三天一梵眾天梵淨也以無染欲故眾猶民也謂此天是初禪天主之民眾也二梵輔天輔佐也謂此天是初禪天主之輔佐臣僚也三大梵天謂此天是初禪天之主也名尸棄刼初先生刼盡後滅主領三千大千世界也(梵語尸棄華言火三千者大千中千小千也言三千大千者摠別雙舉也)二禪三天一少光天謂此天光明少故二無量光天謂此天光明增勝無限量故三光音天謂此天以光明為語音故三禪三天一少淨天謂此天

意識樂受清淨故二無量淨天謂此天淨勝於前不可量故三遍淨天謂此天樂受最勝淨周遍故四禪九天一無雲天以前諸天空居依雲而住此天在雲之上居無雲之首故號無雲二福生天謂此天修勝福力而生其中從因得名故三廣果天謂此天果報廣大無能勝故四無想天謂此天一期果報心想不行故(一期者謂從生至死也)五無煩天謂此天離欲界苦及色界樂苦樂兩滅無煩惱故六無熱天謂此天研究心境無依無處清凉自在無熱惱故七善見天謂此天妙見十方世界圓澄無塵垢故八善現天謂此天空無障礙精見現前故九色究竟天謂此天於諸塵幾微之處研窮究竟故。

【三無色界四天】一空處天謂此天厭於色身繫縛不得自在心緣虛空與無色相應住空處定故二識處天謂此天厭虛空無邊於是即捨虛空轉心緣識以識為處故三無所有處天謂此天厭於識處無邊於是捨識入無所有處亦名不用處謂不用前空處識處故四非想非非想處天謂此天居無色界之極頂非無所有處之無想非識處之有想故。

二十八宿(出法苑珠林)

大集經云佛告娑婆世界主大梵天王等言過去天仙云何布置諸宿曜辰攝護國土養育眾生大梵天王等白佛言過去天仙分布安置諸宿曜辰於四方中各有所主如云角宿主於眾鳥亢宿主於出家求聖道等爾時佛告梵王等言我亦使諸曜星辰攝護國土養育眾生汝等宣告令彼得知如我所分國土眾生各各隨分攝護養育故說二十八宿所屬不同各有威靈護衛也(梵語娑婆華言能忍)。

【一東方七宿】角宿主於眾鳥亢宿主出家求聖道者氐宿主水主眾生房宿主行車求利心宿主於女人尾宿主洲渚眾箕宿主於陶師。

【二南方七宿】井宿主於金師鬼宿主一切國王大臣柳宿主雪山龍星宿主巨富者張宿主於盜賊翼宿主於貴人軫宿主須羅吒國。

【三西方七宿】奎宿主行船人婁宿主於商人胃宿主婆樓迦國昴宿主於水牛畢宿主一切眾生觜宿主鞞提訶國參宿主於剎利(剎利梵語具云剎帝利華言田主即王種也)。

【四北方七宿】斗宿主澆部沙國牛宿主於剎利及安多鉢竭那國女宿主鴦伽摩伽陀國虛宿主那遮羅國危宿主著華冠室宿主乾陀羅國輸盧那國及諸龍蛇蝮行之類壁宿主乾闥婆善樂(梵語乾闥婆華言香陰即帝釋樂神也)。

三十一色(出翻譯名義)

三十一色者謂青黃赤白光影明暗烟雲塵霧空此十三種名為顯色以其顯現為色故也長短方圓麤細高下正與不正此十種名為形色以其形量為色故也取捨屈伸行住坐臥此八種名為表色以其表彰為色故也。

如來三十二相(出法界次第)

謂如來應化之身具此三十二相以表法身眾德圓極人天中尊眾聖之王也。

【一足安平相】謂足下安立皆悉平滿猶如奩底也(奩力塩切奩底者即盒底也)。
【二千輻輪相】輻即車輪中之輻謂足下轂網輪紋眾相圓滿有如千輻輪也。
【三手指纖長相】謂手指纖細圓長端直傭好指節參差光潤可愛勝餘人也。
【四手足柔軟相】謂手足極妙柔軟勝餘身分也。
【五手足縵網相】謂手指中間縵網交合文同綺畫猶如鵝王之足也。
【六足跟滿足相】跟足踵也謂足之踵圓滿具足也。
【七足趺高好相】謂足之趺高起如真金之色趺上之毛青瑠璃色種種莊飾妙好圓滿也(梵語瑠璃華言青色寶)。
【八腨如鹿王相】(腨時兗切)腨股肉也腨如鹿王相者謂足腨漸次纖圓如彼鹿王之腨纖好第一也。
【九手過膝相】謂雙臂修直不俯不仰平立過膝也。
【十馬陰藏相】謂陰相藏密猶如馬陰不可見也。
【十一身縱廣相】謂身儀端正竪縱橫廣無不相稱也。
【十二毛孔生青色相】謂身諸毛孔一孔一毛生相不亂右旋上向青色柔軟也。
【十三身毛上靡相】謂身諸毫毛皆右旋向上而偃伏也。
【十四身金色相】謂身皆金色光明晃曜如紫金聚眾相莊嚴微妙第一也。
【十五身光面各一丈相】謂身放光明四面各一丈也。
【十六皮膚細滑相】謂皮膚細膩滑澤不受塵水不停蚊蚋。
【十七七處平滿相】謂兩足下兩手兩肩項中七處皆平滿端正也。
【十八兩腋滿相】謂左右兩腋平滿而不窞也(窞烏[瓜-丶]切不滿皃)。
【十九身如師子相】謂身體平正威儀嚴肅如師子王也。
【二十身端直相】謂身形端正平直不傴曲也(傴委羽切不伸也)。
【二十一肩圓滿相】謂兩肩圓滿而豐腴也。
【二十二四十齒相】謂常人但有三十六齒唯佛具足四十齒也。
【二十三齒白齊密相】謂四十齒皆白淨齊密根復深固也。
【二十四四牙白淨相】謂四牙最白而大瑩潔鮮淨也。
【二十五頰車如師子相】謂兩頰車隆滿如師子王也。
【二十六咽中津液得上味相】謂咽喉中常有津液上妙美味如甘露流注也。
【二十七廣長舌相】謂舌廣而長柔軟紅薄能覆面而至于髮際也。
【二十八梵音深遠相】謂音聲和雅近遠皆到無處不聞也。
【二十九眼色如金精相】謂眼目清淨明瑩如金色精也。
【三十眼睫如牛王相】睫目旁毛也謂眼睫殊勝如牛王也。

【三十一眉間白毫相】謂兩眉之間有白玉毫清淨柔軟如兜羅綿右旋宛轉常放光明也(梵語兜羅綿華言細香)。
【三十二頂肉髻成相】謂頂上有肉高起如髻亦名無見頂相謂一切人天二乘菩薩皆不能見故也(二乘者聲聞乘緣覺乘也)。
三十二應(出楞嚴經)
謂觀世音菩薩於徃昔無數恒河沙刼有佛名觀世音蒙彼如來授以如幻聞熏聞修金剛三昧同佛慈悲抜苦與樂身成三十二應入諸國土化一切眾生也(刼梵語具云刼波華言分別時節聲教熏習故曰聞熏聞而復修故曰聞修金剛有堅利之能以喻三昧之力也梵語三昧華言正定)。
【一佛身應】佛梵語具云佛陀華言覺謂若諸菩薩入三摩地進修無漏勝解現圓觀世音菩薩即應現佛身而為說法令其解脫也(梵語三摩地華言等持進修無漏勝解現圓謂修無為之法即趣入三摩地得無漏勝解究竟圓成也)。
【二獨覺應】出無佛世無師自悟故名獨覺謂若諸有學寂靜妙明勝妙現圓菩薩即於彼前應現獨覺身而為說法令其解脫也(有學者有所學也謂第三阿那含果已前俱屬有學勝妙現圓者能妙萬物以明自性究竟圓成也)。
【三緣覺應】因觀十二因緣覺真諦理故名緣覺謂若諸有學斷十二因緣緣斷勝性勝妙現圓菩薩即於彼前應現緣覺身而為說法令其解脫也(十二因緣者一無明二行三識四名色五六入六觸七受八愛九取十有十一生十二老死也緣斷勝性者謂觀因緣得斷煩惱而證勝妙之性也)。
【四聲聞應】聞佛聲教故曰聲聞謂若諸有學得四諦空修道入滅勝性現圓菩薩即於彼前應現聲聞身而為說法令其解脫也(得四諦空者謂觀苦集滅道四諦證真空理也修道入滅勝性現圓者謂從三果入滅將登第四無學果位勝妙之性現前圓成也)。
【五梵王應】梵王者即色界初禪天主也謂若諸眾生欲心明悟不犯欲塵欲身清淨菩薩即於彼前應現梵王身而為說法令其解脫也。
【六帝釋應】帝釋即忉利天主梵語釋提桓因華言能天主言帝釋者華梵雙舉也謂若諸眾生欲為天主統領諸天菩薩即於彼前應現帝釋身而為說法令其成就也(梵語忉利華言三十三)。
【七自在天應】自在天者即欲界第五天也謂若諸眾生欲身自在遊行十方菩薩即於彼前應現自在天身而為說法令其成就也。
【八大自在天應】大自在天者即欲界第六天主也謂若諸眾生欲身自在飛行虛空菩薩即於彼前應現大自在天身而為說法令其成就也。
【九天大將軍應】天大將軍即帝釋天主之大將軍也謂若諸眾生愛統鬼神救護國土菩薩即於彼前現大將軍身而為說法令其成就也。
【十四天王應】四天王東方持國天王南方增長天王西方廣目天王北方多聞天王也謂若諸眾生愛統世界保護眾生菩薩即於彼前應現四天王身而為說法令其成就也。

【十一四天王太子應】謂若諸眾生愛生天宮驅使鬼神菩薩即於彼前應現四天王太子身而說法令其成就也。
【十二人王應】謂若諸眾生樂為人王菩薩即於彼前應現人王身而為說法令其成就也。
【十三長者應】謂若諸眾生愛主族姓世間推讓菩薩即於彼前應現長者身而為說法令其成就也。
【十四居士應】謂若諸眾生愛談名言清淨自居菩薩即於彼前應現居士身而為說法令其成就也(名言者名教典雅之言也)。
【十五宰官應】謂若諸眾生愛治國土剖斷邦邑菩薩即於彼前應現宰官身而為說法令其成就也。
【十六婆羅門應】梵語婆羅門華言淨行謂若諸眾生愛諸數術攝衛自居菩薩即於彼前應現婆羅門身而為說法令其成就也(數術者呪禁筭藝調養方法之類是也攝衛者收攝其心衛護身口也)。
【十七比丘應】梵語比丘華言乞士謂若有男子好學出家持諸戒律菩薩即於彼前應現比丘身而為說法令其成就也。
【十八比丘尼應】梵語尼華言女謂若有女人好學出家持諸禁戒菩薩即於彼前應現比丘尼身而為說法令其成就也。
【十九優婆塞應】梵語優婆塞華言清淨士謂若有男子樂持五戒菩薩即於彼前應現優婆塞身而為說法令其成就也(五戒不殺不盜不邪淫不妄語不飲酒也)。
【二十優婆夷應】梵語優婆夷華言清淨女謂若有女子五戒自居菩薩即於彼前應現優婆夷身而為說法令其成就也。
【二十一女主應】女主天子之后也謂若有女人內政立身以修家國菩薩即於彼前應現女主身及國夫人命婦大家而為說法令其成就也。
【二十二童男應】謂若有眾生不壞男根菩薩即於彼前應現童男身而為說法令其成就也。
【二十三童女應】謂若有處女愛樂處身不求侵暴菩薩即於彼前應現童女身而為說法令其成就也。
【二十四天應】謂若有諸天樂出天倫菩薩即應現天身而為說法令其成就也(倫類也)。
【二十五龍應】謂若有諸龍樂出龍倫菩薩即應現龍身而為說法令其成就也。
【二十六藥叉應】梵語藥叉亦云夜叉華言勇健謂若有藥叉樂度本倫菩薩即於彼前應現藥叉身而為說法令其成就也。
【二十七乾闥婆應】梵語乾闥婆華言香陰即帝釋樂神也謂若乾闥婆樂脫其倫菩薩即於彼前應現乾闥婆身而為說法令其成就也。
【二十八阿修羅應】梵語阿修羅華言無端正以形貌醜陋故也謂若阿修羅樂脫其倫菩薩即於彼前應現阿修羅身而為說法令其成就也。

【二十九緊那羅應】梵語緊那羅華言疑神又云人非人以頭上有角似人而非人也謂若緊那羅樂脫其倫菩薩即於彼前應現緊那羅身而為說法令其成就也。
【三十摩呼羅伽應】梵語摩呼羅伽華言大蝮行即大蟒蛇也謂若摩呼羅伽樂脫其倫菩薩即於彼前應現摩呼羅伽身而為說法令其成就也。
【三十一人應】謂若諸眾生樂人修人菩薩即於彼前應現人身而為說法令其成就也(樂人修人者謂愛樂人身而修人之行也)。
【三十二非人應】非人即鬼畜之類也謂若諸非人有形無形有想無想樂度其倫菩薩即於彼前皆現其身而為說法令其成就也。
三十四心斷結(出天台四教儀集註)
謂三藏教菩薩扶惑潤生歷劫具修六度梵行饒益有情最後至於菩提樹下一念相應慧發真無漏之時以八忍八智十六心九無礙九解脫十八心頓斷見思習氣而成正覺故云三十四心斷結也(三藏教者即經律論三藏也扶惑潤生者謂此教菩薩雖已離見思之惑為欲化度眾生故伏惑不斷而示同三思生死也六度者一布施二持戒三忍辱四精進五禪定六智慧也梵語菩提華言道菩提樹者以佛於樹下成道故也見思者謂意根對法塵起諸分別曰見眼等五根對色等五塵起諸貪愛曰忍習氣者謂見思惑之餘習氣分也)。
【一八忍】忍即忍可印證之義一苦法忍謂觀欲界苦諦之法而能忍可也二苦類忍謂以色界無色界苦諦之法比類欲界苦諦觀之而能忍可也三集法忍謂觀欲界集諦煩惱之法而能忍可也四集類忍謂以色界無色界集諦煩惱之法比類欲界集諦觀之而能忍可也五滅法忍謂觀欲界滅諦之法而能忍可也六滅類忍謂以色界無色界滅諦之法比類欲界滅諦觀之而能忍可也七道法忍謂觀欲界道諦之法而能忍可也八道類忍謂以色界無色界道諦之法比類欲界道諦觀之而能忍可也。
【二八智】智即明了之義一苦法智謂因觀欲界苦諦而斷見惑之智明發也二苦類智謂以色界無色界苦諦比類欲界苦諦觀之而斷上二界見惑之智明發也三集法智謂因觀欲界集諦而斷見惑之智明發也四集類智謂以色界無色界集諦比類欲界集諦觀之而斷上二界見惑之智明發也五滅法智謂因觀欲界滅諦而斷見惑之智明發也六滅類智謂以色界無色界滅諦比類欲界滅諦觀之而斷上二界見惑之智明發也七道法智謂因觀欲界道諦而其斷惑之智明發也八道類智謂以色界無色界道諦比類欲界道諦觀之而斷上二界見惑之智明發也。
【三九無礙道】無礙者謂念念修觀斷惑不為惑所礙也蓋欲界為一地色界初禪二禪三禪四禪為四地無色界空處識處無所有處非想非非想處為四地則三界共為九地每地各有九品思惑於一一地修此無礙道以斷之也(思惑言九品者謂因此惑難斷遂分上中下之三品於三品中又各分三品共九品也)。

【四九解脫道】解脫即自在之義謂惑業斷離無所繫縛而得自在盖欲界一地色界四地無色界四地共為九地每地各有九品思惑此惑既斷即證解脫道也。

三十六物(出華嚴經隨疏演義鈔)

【一外相十二】謂髮毛[瓜-丶]齒眵(尺支切)淚涎唾屎尿垢汗也。

【二身器十二】謂皮膚血肉筋脉骨髓肪(音方)膏腦膜也。

【三內含十二】含即含藏謂肝膽腸胃脾腎心肺生藏熟藏赤痰白痰也。

大明三藏法數卷第三十六

三十七道品(出法界次第)
道即能通之義品猶類也合四念處等法門為三十七皆是入道淺深之氣類故云道品也。
【一四念處】念即想念處即身受心法也一身念處謂觀此色身皆是不淨也二受念處謂觀領受好惡等事悉皆是苦也三心念處謂觀此識心生滅無常也四法念處謂觀諸法從因緣生皆無有我也。
【二四正勤】正謂不邪勤謂不怠一已生惡令永斷謂一切惡法若已生者當精勤一心决剔令其永斷除也二未生惡令不生謂一切惡法若未生時當精勤一心遮止令其不復萌生也三未生善令生謂諸善法若未生時當精勤一心勇猛令其發生也四已生善令增長謂諸善法若已生者當精勤一心修習令其增長也。
【三四如意足】謂所修之法如願滿足也一欲如意足謂希慕所修之法如願滿足也二精進如意足謂於所修之法專注一心無有間雜如願滿足也三念如意足謂於所修之法記憶不忘如願滿足也四思惟如意足謂心思所修之法不令忘失如願滿足也。
【四五根】根即能生之義謂此五根能生一切善法也一信根謂信於正道也二精進根謂修正法無間無雜也三念根謂於正法記憶不忘也四定根謂攝心不散也五慧根謂於諸法觀照明了也。
【五五力】力即力用謂能破惡成善也一信力謂信根增長能破諸疑惑也二精進力謂精進根增長能破身心懈怠成辦出世之事也三念力謂念根增長能破諸邪念成就出世正念功德也四念力謂定根增長能破諸亂想發諸禪定也五慧力謂慧根增長能遮止三界見思之惑發真無漏也(三界者欲界色界無色界也見思惑者分別曰見惑貪愛曰思惑也真無漏者謂阿羅漢斷見思惑盡不漏落三界生死異於初果等故名真也)。
【六七覺分】覺即覺了分即支分謂此七法各有支[泳-永+(瓜-丶)]分齊也一擇覺分謂揀擇諸法之真偽也二精進覺分謂修諸道法無有間雜也三喜覺分謂契悟真法得懽喜也四除覺分謂斷除諸見煩惱也五捨覺分謂捨離所見念著之境也六定覺分謂覺了所發之禪定也七念覺分謂思惟所修之道法也。
【七八正道】不邪曰正能通曰道一正見謂能見真理也二正思惟謂心無邪念也三正語謂言無虛妄也四正業謂白淨善業也五正命謂依法乞食活命也六正精進謂修諸道行無間雜也七正念謂專心憶念善法也八正定謂一心住於真空之理也。
四十二字門(出華嚴經)
眾聖所由名之為門智論云四十二字是一切字之根本因字有語因語有名因名有義從此字門則能入於無相之智般若經云一字皆入四十二字四十二字亦入一字故華嚴經中善知眾藝童子告善財言我恒唱持此之

字母入般若波羅蜜門所以眾聖皆由此而入於實相之慧也(梵語般若波羅蜜華言智慧到彼岸謂到涅槃彼岸也)。

【一阿字門】阿梵語具云阿提阿耨波陀華言不生謂一切法本來不生也經云唱阿字時入般若波羅蜜門名菩薩威力入無差別境界疏云阿者入無生義無生之理統該萬法菩薩得此無生之旨則能達諸法空斷一切障也。

【二多字門】多大品般若經作羅梵語具云羅闍華言垢謂一切法本來清淨離諸染污也經云唱多字時入般若波羅蜜門名無邊差別疏云是清淨無染離塵垢義。

【三波字門】波梵語具云波羅末陀華言第一義謂聖智自覺所得非言說妄想境界故也經云唱波字時入般若波羅蜜門名普照法界疏云諸法皆等即普照法界。

【四者字門】者大品般若經作遮梵語具云遮黎夜華言行謂知一切法皆不可得亦知一切諸行皆非行故也經云唱者字時入般若波羅蜜門名普輪斷差別疏云諸法無有諸行既空徧摧差別(普輪者普即普徧之義輪有摧碾之用言此字門能摧碾一切差別之法也)。

【五那字門】梵語那華言不謂知一切法離名離相不得不失不來不去故也經云唱那字時入般若波羅蜜門名得無依疏云諸法無有言說文字性相雙亡故無所依。

【六邏字門】邏梵語具云邏求華言輕謂知一切法離輕重相故經云唱邏字時入般若波羅蜜門名離依止無垢疏云悟一切法離世間惑染故。

【七柁字門】梵語柁又云陀摩華言善謂知一切法善相善心生故經云唱柁(輕呼)字時入般若波羅蜜門名不退轉方便疏云悟一切法調伏寂靜真如平等無分別故。

【八婆字門】(婆蒲我切)婆梵語具云婆陀華言縛謂知一切法無縛無解故經云唱婆字時入般若波羅蜜門名金剛場疏云悟一切法離縛解故方入金剛場(金剛場即金剛心等覺菩薩位也)。

【九茶字門】(茶徒觧切)茶梵語具云茶闍他華言不熱謂知一切法無熱惱相故經云唱茶字時入般若波羅蜜門名曰普輪疏云悟一切法離熱惱穢得清涼故是普摧義謂輪能摧碾一切煩惱也。

【十沙字門】(沙失我切)梵語沙華言六謂知人身六根之相皆自在故經云唱沙字時入般若波羅蜜門名為海藏疏云悟一切法無罣礙故如海含容萬像(六根者眼根耳根鼻根舌根身根意根也皆自在者如眼根任運觀色自在無礙五根隨用亦復如是也)。

【十一嚩字門】嚩大品般若經作和梵語具云和波陀華言語言謂知一切法離語言相故經云唱嚩字時入般若波羅蜜門名普生安住疏云悟一切法言語道斷能徧安住。

【十二哆字門】(哆丁可切)哆大品般若經作多梵語具云多他華言如謂入諸法真如之相不動故經云唱哆字時入般若波羅蜜門名圓滿光疏云悟一切法真如不動圓滿顯現。
【十三也字門】(也以可切)也梵語具云夜他跋華言實謂知色心等一切諸法入實相中不生不滅故經云唱也字時入般若波羅蜜門名差別積聚疏云悟如實不生故則諸乘積聚皆不可得。
【十四瑟吒字門】瑟吒大品般若經作吒梵語具云吒婆華言障礙謂知一切法無障礙故經云唱瑟吒字時入般若波羅蜜門名普光明息煩惱故。
【十五迦字門】迦梵語具云迦邏華言作者謂知諸法之中無有作者經云唱迦字時入般若波羅蜜門名無差別雲疏云作業如雲皆無差別。
【十六娑字門】(娑蘇我切)娑梵語具云娑娑華言一切謂入一切法時皆不可得故經云唱娑字時入般若波羅蜜門名降霪大雨疏云即平等性。
【十七麼字門】麼梵語具云磨磨迦邏華言我所謂知一切法離我所故肇法師曰我為萬物主萬物為我所經云唱麼字時入般若波羅蜜門名大流湍激眾峯齊峙疏云即我所執性若眾峯齊峙長流湍激。
【十八伽字門】伽梵語具云伽陀華言底謂知一切諸法根底不可得故經云唱伽字時入般若波羅蜜門名普安立疏云即一切法行取性。
【十九他字門】(他他可切)他梵語具云多他阿伽陀華言如去謂入諸法處不可得故經云唱他字時入般若波羅蜜門名真如平等藏。
【二十社字門】社大品般若經作闍梵語具云闍提闍羅華言生謂知諸法之生不可得故經云唱社字時入般若波羅蜜門名入世間海清淨。
【二十一鎖字門】梵語鎖大品般若經作簸(無翻)謂知一切法不可得故經云唱鎖字時入般若波羅蜜門名念一切佛莊嚴疏云即安隱性。
【二十二馱字門】馱梵語具云馱摩華言法性謂知一切法中法性不可得故經云唱馱字時入般若波羅蜜門名觀察揀擇一切法聚。
【二十三奢字門】(奢尸荷切)奢大品般若經作賒梵語具云賒多華言寂滅謂知諸法皆寂滅相不可得故經云唱奢字時入般若波羅蜜門名隨順一切佛教輪光明疏云即寂靜性。
【二十四佉字門】梵語佉華言虛空謂知諸法猶如虛空不可得故經云唱佉字時入般若波羅蜜門名修因地智慧藏疏云即如虛空性。
【二十五义字門】义梵語具云义耶華言盡謂入諸法盡性不可得故經云唱义字時入般若波羅蜜門名息諸業海藏疏云猶言盡空業海。
【二十六娑多字門】娑多大品般若經作哆梵語具云迦哆度求那華言是事邊得何利謂知諸法邊得何所利故經云唱娑多字時入般若波羅蜜門名蠲諸惑障開淨光明(蠲除也)。
【二十七壤字門】壤大品般若經作若梵語具云若那華言智謂知一切法中無智相故經云唱壤字時入般若波羅蜜門名作世間智慧門。

【二十八曷攞多字門】梵語曷攞多又云阿施大品般若經作施華言義謂知一切法義不可得故經云唱曷攞多字時入般若波羅蜜門名生死境界智慧輪。
【二十九婆字門】(婆蒲餓切)婆梵語具云婆伽華言破謂知一切法不可得破壞相故經云唱婆字時入般若波羅蜜門名一切智宮殿圓滿莊嚴。
【三十車字門】車梵語具云伽車提華言去謂知一切法無所去故經云唱車字時入般若波羅蜜門名修行方便藏各別圓滿。
【三十一娑麼字門】(娑蘇統切)娑麼大品般若經作魔梵語具云阿濕麼華言石謂知諸法堅牢如金剛石不可壞故經云唱娑麼字時入般若波羅蜜門名隨十方現見諸佛。
【三十二訶婆字門】訶婆大品般若經作火梵語具云火夜華言喚來謂雖知一切法無音聲相亦可呼召無緣令其有緣經云唱訶婆字時入般若波羅蜜門名觀察一切無緣眾生方便攝受令出生無礙力。
【三十三縒字門】(縒七可切)縒大品般若經作嗟梵語具云末嗟羅華言慳謂知一切法無慳無施相故經云唱縒字時入般若波羅蜜門名修行趣入一切功德海。
【三十四伽字門】伽梵語具云伽那華言厚謂知諸法不厚不薄故經云唱伽字時入般若波羅蜜門名持一切法雲堅固海藏疏云即平等性猶言厚薄平等如雲普覆。
【三十五吒字門】吒大品般若經作他梵語具云他那華言處謂知諸法無住處故經云唱吒字時入般若波羅蜜門名隨願普見十方諸佛。
【三十六拏字門】(拏妳可切)梵語拏華言不謂入諸法不來不去故經云唱拏字時入般若波羅蜜門名觀察字輪疏云即離諸諠諍無往無來行住坐臥常觀字輪。
【三十七娑頗字門】(娑蘇紇切)梵語娑頗又云頗羅大品般若經作頗華言果謂知一切法因果性空故經云唱娑頗字時入般若波羅蜜門名化眾生究竟處疏云即遍滿果報。
【三十八娑迦字門】梵語娑迦又云歌大大品般若經作歌華言眾謂知五眾等法不可得故經云唱娑迦字時入般若波羅蜜門名廣大藏無礙辯光明輪徧照(五眾者即色受想行識謂此五法眾共相生而成身也亦名五陰又名五蘊)。
【三十九也娑字門】(也夷可切娑蘇可切)梵語也娑大品般若經作醝(無翻)經云唱也娑字時入般若波羅蜜門名宣說一切佛法境界。
【四十室者字門】室者大品般若經作遮梵語具云遮羅地華言動謂知一切法不動相故經云唱室者字時入般若波羅蜜門名於一切眾生界法雷徧吼。
【四十一侘字門】(侘恥可切)侘大品般若經作咤梵語具云多羅華言岸謂知一切法此岸彼岸不可得故經云唱侘字時入般若波羅蜜門名以無

我法開曉眾生。
【四十二陀字門】陀大品般若經作茶梵語具云彼茶華言必謂知一切法必不可得故過此茶字後無字可說也經云唱陀字時入般若波羅蜜門名一切法輪差別藏疏云即究竟含藏一切法輪。
四十八願(出大彌陀經)
謂阿彌陀佛最初因中名法藏比丘彼時於世自在王佛前白佛言我發無上菩提之心願作佛時身相光明剎土殊勝寧可得否彼佛知其智識高明心願廣大乃以二千一百萬佛剎善惡麤妙之相隨其心願悉令顯現法藏即一其心遂得天眼莫不徹見復白佛言我已攝取如上佛剎所以莊嚴國土清淨之行願有敷陳惟佛聽察遂發此四十八願也(梵語阿彌陀華言無量壽)。
【第一願】願我剎中無地獄餓鬼禽畜以至蜎飛蠕動之類不得是願終不作佛。
【第二願】願我剎中無女人無數世界諸天人民以至蜎飛蠕動之類來生我國者皆於七寶水池蓮華中化生不得是願終不作佛(七寶者金銀瑠琉玻璃硨磲碼瑙赤真珠也)。
【第三願】願我剎土中人欲食時七寶鉢中百味飲食化現在前食已器用自然化去不得是願終不作佛。
【第四願】願我剎土中人所欲衣服隨念即至不假裁縫擣染浣濯不得是願終不作佛。
【第五願】願我剎土中自地以上至於虛空皆有宅宇宮殿樓閣池流花樹悉以無量雜寶百千種香而共合成嚴飾奇妙殊勝超絕其香普熏十方世界眾生聞是香者皆修佛行不得是願終不作佛。
【第六願】願我剎土中人皆心相愛敬無相憎嫉不得是願終不作佛。
【第七願】願我剎土中人盡無淫泆嗔怒愚癡之心不得是願終不作佛。
【第八願】願我剎土中人皆同一善心無惑他念其所欲言皆預相如意不得是願終不作佛。
【第九願】願我剎土中人皆不聞不善之名況有其實不得是願終不作佛。
【第十願】願我剎土中人知身如幻無貪著心不得是願終不作佛。
【第十一願】願我剎土中雖有諸天與世之人異而其形容皆一類金色面目端正淨好無復醜異不得是願終不作佛。
【第十二願】願假令十方無數世界諸天人民以至蜎飛蠕動之類皆得為人皆作緣覺聲聞皆坐禪一心共欲計數我年壽幾千億萬劫無有能知者不得是願終不作佛(劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【第十三願】願假令十方各千億世界有諸天人民以至蜎飛蠕動之類皆得為人皆作聲聞緣覺皆坐禪一心共欲計數我剎土中人數有幾千億

萬無有能知者不得是願終不作佛。
【第十四願】願我剎土中人壽命皆無數劫無有能計知其數者不得是願終不作佛。
【第十五願】願我剎土中人所受快樂一如漏盡比丘不得是願終不作佛(漏盡謂生死之漏盡也)。
【第十六願】願我剎土中人住正信位離顛倒想諸根寂靜盡般泥洹不得是願終不作佛(梵語般泥洹即般涅槃華言滅度)。
【第十七願】願我說經行道十倍諸佛不得是願終不作佛。
【第十八願】願我剎土中人盡通宿命知百千億那由他刼事不得是願終不作佛(梵語那由他華言萬億)。
【第十九願】願我剎土中人[書-曰+皿]得天眼見百千億那由他世界不得是願終不作佛。
【第二十願】願我剎土中人[書-曰+皿]得天耳聞百千億那由他諸佛說法悉能受持不得是願終不作佛。
【第二十一願】願我剎土中人得他心智知百千億那由他世界眾生心念不得是願終不作佛。
【第二十二願】願我剎土中人盡得神足於一念頃能超過百千億那由他世界不得是願終不作佛。
【第二十三願】願我名號聞於十方無數世界諸佛各於大眾稱我功德及國土之勝諸天人民以至蜎飛蠕動之類聞我名號慈心喜悅者皆令來生我國不得是願終不作佛。
【第二十四願】願我頂中光明妙勝如日月之明百千億萬倍不得是願終不作佛。
【第二十五願】願我光明照諸無數天下幽冥之處皆當大明諸天人民以至蜎飛蠕動之類見我光明莫不慈心作善皆令來生我國不得是願終不作佛。
【第二十六願】願十方無數世界諸天人民以至蜎飛蠕動之類蒙我光明觸其身者身心慈和過諸天人不得是願終不作佛。
【第二十七願】願十方無數世界諸天人民有發菩提心奉持齋戒行六波羅蜜修諸功德至心發願欲生我國臨壽終時我與大眾現其人前引至來生作不退轉地菩薩不得是願終不作佛(梵語波羅蜜華言到彼岸六波羅蜜即布施持戒忍辱精進禪定智慧不退轉地者謂行與位皆不退也)。
【第二十八願】願十方無數世界諸天人民聞我名號燒香散花然燈懸繒飲食沙門起立塔寺齋戒清淨益作諸善一心繫念於我雖止一晝夜亦必得生我國不得是願終不作佛。
【第二十九願】願十方無數世界諸天人民至心信樂欲生我國十聲念我名號必遂來生惟除五逆誹謗正法不得是願終不作佛(五逆者殺父殺母殺阿羅漢出佛身血破和合僧也)。

【第三十願】願十方無數世界諸天人民以至蜎飛蠕動之類前世作惡聞我名號即懺悔為善奉持經戒願生我國壽終不經惡道徑遂來生一切所欲無不如意不得是願終不作佛。
【第三十一願】願十方無數世界諸天人民聞我名號五體投地稽首作禮喜悅信樂修菩薩行諸天世人莫不致敬不得是願終不作佛(五体者頭及兩手兩足也)。
【第三十二願】願十方無數世界有女人聞我名號喜悅信樂發菩提心厭惡女身壽終之後不復為女不得是願終不作佛。
【第三十三願】願凡生我國者一生遂補佛處惟除本願欲往他方設化眾生修菩薩行供養諸佛者即自在往生我以威神之力令彼教化一切眾生皆發信心修一切善行不得是願終不作佛。
【第三十四願】願我剎土之人欲生他方者如其所願不復墜於惡道不得是願終不作佛。
【第三十五願】願我剎土中菩薩以香華幡盖真珠瓔珞種種供具欲往無量世界供養諸佛者一食之頃即可遍至不得是願終不作佛。
【第三十六願】願我剎土中菩薩欲以萬種之物供養十方無數諸佛即在其前供養既遍是日未午即還我剎不得是願終不作佛。
【第三十七願】願我剎土中菩薩受持經法諷誦宣說必得辯才智慧不得是願終不作佛。
【第三十八願】願我剎土中菩薩能演說一切法其智慧辯才不可限量不得是願終不作佛。
【第三十九願】願我剎土中菩薩得金剛那羅延力其身皆紫磨金色具諸相好說經行道無異於佛不得是願終不作佛(梵語那羅延華言金剛)。
【第四十願】願我剎土清淨照見十方無量世界菩薩欲於寶樹中見十方一切嚴淨佛剎即時應現猶如明鏡覩其面相不得是願終不作佛。
【第四十一願】願我剎土中菩薩雖少功德者亦能見我道場樹高四千由旬不得是願終不作佛(梵語由旬華言限量或四十里或六十里或八十里)。
【第四十二願】願我剎土中諸天世人及一切萬物悉皆嚴淨光麗形色殊特窮微極妙無能稱量者眾生雖得天眼不能辯其名數不得是願終不作佛。
【第四十三願】願我剎土中人隨其志願所欲聞法皆自然得聞不得是願終不作佛。
【第四十四願】願我剎土中菩薩聲聞皆智慧威神頂中皆有光明語音鴻暢說經行道無異於佛不得是願終不作佛。
【第四十五願】願他方世界諸菩薩聞我名號皈依精進皆逮得清淨解脫三昧住是三昧一發意頃供養不可思議諸佛而不失定意不得是願終不作佛(梵語三昧華言正定)。

【第四十六願】願他方世界諸菩薩聞我名號皈依精進皆逮得普等三昧至于成佛常見無量不可思議一切諸佛不得是願終不作佛(普等者謂於一切法皆平等也)。
【第四十七願】願他方世界諸菩薩聞我名號皈依精進即得至不退轉地不得是願終不作佛。
【第四十八願】願他方世界諸菩薩聞我名號皈依精進即得至第一忍第二忍第三忍於諸佛法永不退轉不得是願終不作佛(三忍即忍位中上忍中忍下忍也)。
善財五十三叅(出華嚴經)
經云善財童子初入胎時於其宅內自然而出七寶樓閣其樓閣下有七伏藏地自開裂生七寶牙童子處胎十月然後誕生形體支分端正具足一切眾寶自然出現一切庫藏悉皆充滿以此事故父母親屬及善相師共呼此兒名曰善財後因文殊師利菩薩至福城東住莊嚴幢娑羅林中為眾說法善財與五百童子詣文殊所頂禮其足白言惟願聖者廣為我說菩薩應云何學菩薩道乃至應云何令普賢行速得圓滿文殊告言善男子汝已發阿耨多羅三藐三菩提心若欲成就一切智智應決定求真善知識勿生疲懈見善知識勿生厭足於善知識所有教誨皆應隨順於善知識善巧方便勿見過失文殊遂令善財往於南方先叅德雲比丘次第展轉指示終叅普賢菩薩即得一切佛剎微塵數三昧門善財如是歷一百十城叅五十三善知識是為五十三叅也(七寶者金銀瑠璃玻黎硨磲碼瑙赤真珠也梵語文殊師利華言妙德梵語娑羅華言堅固梵語阿耨多羅三藐三菩提華言無上正等正覺梵語比丘華言乞士梵語三昧華言正定)。
【一叅】善財最初受文殊教往勝樂國妙峯山叅德雲比丘至彼求覓經于七日見彼比丘在別山上徐步經行於是善財往詣頂禮白言我已先發菩提心而未知菩薩云何學菩薩行乃至應云何於普賢行疾得圓滿時德雲比丘為說憶念一切諸佛境界智慧光明普見法門已乃云如諸菩薩無邊智慧清淨行門而我云何能知能說復令叅海雲比丘(梵語菩提華言道)。
【二叅】善財承教向海門國叅海雲比丘為說諸佛菩薩行光明普眼法門已乃云如諸菩薩深入一切菩薩行海等而我云何能知能說復令叅善住比丘。
【三叅】善財承教至楞伽道邊海岸聚落叅善住比丘見此比丘於虛空中來往經行為說普速疾供養諸佛成就眾生無礙解脫門已乃云如諸菩薩持大悲戒乃至離垢戒等如是功德而我云何能知能說復令叅彌伽大士(梵語楞伽華言不可往)。
【四叅】善財承教至達里鼻茶國自在城叅彌伽大士為說妙音陀羅尼光明法門已乃云如諸菩薩普入一切眾生種種想海等功德我今云何能知能說復令叅解脫長者(梵語達里鼻茶華言消融梵語陀羅尼華言總持)。

【五叅】善財承教漸次遊行十有二年至住林城叅解脫長者為說如來無礙莊嚴解脫門已乃云如諸菩薩得無礙智乃至而於己身及諸世界不生二想如是妙行而我云何能知能說復令叅海幢比丘。
【六叅】善財承教至閻浮提畔利伽羅國叅海幢比丘為說般若波羅蜜三昧光明已乃云如諸菩薩入智慧海淨法界境等而我何能知其妙行辯其功德復令叅休捨優婆夷(梵語閻浮提華言勝金洲梵語般若華言智慧梵語波羅蜜華言到彼岸梵語優婆夷華言清淨女)。
【七叅】善財承教至海潮處普莊嚴國叅休捨優婆夷為說離憂安隱幢解脫門已乃云如諸菩薩其心如海悉能容受一切佛法等而我云何能知能說復令叅毘目瞿沙仙人(毘目瞿沙梵語具云毘多羅涅瞿沙華言最上無恐怖聲)。
【八叅】善財承教向那羅素國叅毘目瞿沙仙人為說菩薩無勝幢解脫已乃云如諸菩薩成就一切殊勝三昧等法而我云何能知能說復令叅勝熱婆羅門(梵語那羅素華言不懶惰梵語婆羅門華言淨行)。
【九叅】善財承教至伊沙那聚落叅勝熱婆羅門見彼勝熱修諸苦行求一切智四面火聚猶如大山中有刀山高峻無極登彼山上投身入火語善財言汝今若能上此刀山投身火聚諸菩薩行悉得清淨爾時善財即登刀山自投火聚未至中間即得菩薩善住三昧纔觸火燄又得菩薩寂靜樂神通三昧時勝熱婆羅門告善財言我唯得此菩薩無[書-曰+皿]輪解脫如諸菩薩大功德燄等法而我云何能知能說復令叅慈行童女(梵語伊沙那華言長直)。
【十叅】善財承教至師子奮迅城叅慈行童女為說般若波羅蜜普莊嚴門已乃云如諸菩薩其心廣大等虛空界入於法界福德成滿等法而我云何能知能說復令叅善見比丘。
【十一叅】善財承教至三眼國叅善見比丘為說菩薩隨順燈解脫門已乃云如諸菩薩於如來家真正受生等法而我云何能知能說復令叅自在主童子。
【十二叅】善財承教至名聞國河渚中叅自在主童子為說一切工巧大神通智光明法門已乃云如諸菩薩能知一切眾生數及能知一切諸法差別等而我何能說其功德示其所行復令叅具足優婆夷。
【十三叅】善財承教至海住大城叅具足優婆夷為說菩薩無[書-曰+皿]福德藏解脫門已乃云如諸菩薩一切功德猶如大海甚深無[書-曰+皿]等而我云何能知能說復令叅明智居士。
【十四叅】善財承教至大興城叅明智居士為說隨意出生福德藏解脫門已乃云如諸菩薩成就寶手徧覆一切十方國土以自在力普雨一切資生之具而我云何能知能說復令叅法寶髻長者。
【十五叅】善財承教至師子大城叅法寶髻長者為說菩薩無量福德寶藏解脫門已乃云如諸菩薩得不思議功德寶藏等法而我云何能知能說

復令叅普眼長者。
【十六叅】善財承教至藤根國普門城叅普眼長者為說令一切眾生普見諸佛歡喜法門已乃云如諸菩薩如大藥王若見若聞乃至安住平等寂滅之樂而我云何能知能說復令叅無厭足王。
【十七叅】善財承教至多羅幢城叅無厭足王至彼城已問無厭足王所在之處諸人荅言此王今者在於正殿坐師子座宣布法化調御眾生可治者治可攝者攝罰其罪惡決其諍訟撫其孤弱皆令永斷殺盜邪淫時善財依眾人語尋即往詣乃見其王將諸罪人或斷手足乃至或以湯煮或以火焚善財念言我為利益一切眾生求菩薩行今者此王滅諸善法作諸惡業云何於此而欲求法救護眾生作是念時空中有天告言善男子汝莫厭離善財即禮其足王令入於宮中徧觀所住宮殿廣大無比皆以妙寶之所合成王復告言我若實作如是惡業云何而得如是果報如是色身如是眷屬如是富贍如是自在遂為善財說菩薩如幻解脫已乃云如諸菩薩得無生忍乃至普入一切平等三昧而我云何能知能說復令叅大光王(無生忍者謂一切法本來不生於此法中而能忍可即證也)。
【十八叅】善財承教至妙光城叅大光王為說菩薩大慈為首隨順世間三昧門已乃云如諸菩薩慈心普蔭諸眾生等法而我云何能知其行能說其德復令叅不動優婆夷。
【十九叅】善財承教至安住國叅不動優婆夷為說求一切法無厭足三昧光明已乃云如諸菩薩如金翅鳥遊行虛空無所障礙能入一切眾生大海見有善根已成熟者即便執取置菩提岸等法而我云何能知能說復令叅徧行外道。
【二十叅】善財承教至都薩羅城叅徧行外道為說至一切處菩薩行已乃云如諸菩薩身與一切眾生數等乃至以無我智周遍照耀而我云何能知能說復令參鬻香長者。
【二十一參】善財承教至廣大國參鬻(音育賣也)香長者名優鉢羅華為說調和一切香法已乃云如諸菩薩遠離一切諸惡習氣不染世欲斷煩惱等而我何能知其妙行說其功德復令叅婆施羅船師(梵語優鉢羅華言青蓮華梵語婆施羅華言自在)。
【二十二叅】善財承教至樓閣大城叅婆施羅船師為說大悲幢行已乃云如諸菩薩善能遊涉生死大海乃至能以神通度眾生海而我云何能知能說復令叅無上勝長者。
【二十三叅】善財承教至可樂城叅無上勝長者為說至一切處修菩薩行清淨法門已乃云如諸菩薩具足一切自在神通悉能徧往一切佛剎等而我云何能知能說復令叅師子頻申比丘尼(剎梵語具云剎摩華言土田)。
【二十四叅】善財承教至輸那國迦陵迦林城叅師子頻申比丘尼為說成就一切智解脫已乃云如諸菩薩心無分別普知諸法等而我云何能知能說復令叅婆須蜜多女(梵語輸那華言勇猛梵語迦陵迦華言相鬪戰)。

【二十五叅】善財承教至險難國寶莊嚴城叅婆須蜜多女為說菩薩離貪際解脫已乃云如諸菩薩成就無邊巧方便智而我云何能知能說復令叅鞞瑟胝羅居士(梵語鞞瑟胝羅華言纏裹)。
【二十六叅】善財承教至善度城叅鞞瑟胝羅居士為說菩薩所得不般涅槃際解脫已乃云如諸菩薩以一念智普知三世一念遍入一切三昧等而我云何能知能說復令叅觀自在菩薩(梵語涅槃華言滅度三世者過去現在未來也)。
【二十七叅】善財承教至補怛洛迦山叅觀自在菩薩既至彼山處處求覓見其西面嵓谷之中泉流瑩映樹林蓊鬱香草柔軟右旋布地時觀自在菩薩於金剛寶石上結加趺坐無量菩薩恭敬圍繞為說大悲行門已乃云如諸菩薩已淨普賢一切願已住普賢一切行等而我云何能知能說復令叅正趣菩薩(梵語補怛洛迦華言海島又云小白花)。
【二十八叅】善財承教已爾時東方有一菩薩名曰正趣從空中來放身光明映蔽一切日月星電觀自在菩薩遂令善財叅禮時正趣菩薩為說菩薩普疾行解脫已乃云如諸菩薩普於十方無所不至智慧境界等無差別而我云何能知能說復令叅大天神。
【二十九叅】善財承教至墮羅鉢底城叅大天神為說菩薩雲網解脫已乃云如諸菩薩猶如帝釋已能摧伏一切煩惱阿修羅軍等而我云何能知能說復令叅安住地神(梵語墮羅鉢底華言有門梵語釋提桓因華言能入主言帝釋者華梵雙舉也梵語阿修羅華言無端正)。
【三十叅】善財承教至摩竭提國菩提場中叅安住地神為說不可壞智慧藏法門已乃云如諸菩薩常隨諸佛能持一切諸佛所說等而我云何能知能說復令叅婆珊婆演底主夜神(梵語摩竭提華言善勝梵語婆珊婆演底華言春主)。
【三十一叅】善財承教至摩竭提國迦毘羅城叅婆珊婆演底主夜神為說菩薩破一切眾生暗法光明觧脫門已乃云如諸菩薩成就普賢無邊行願等而我何能知其妙行說其功德復令叅普德淨光主夜神(梵語迦毘羅華言黃色)。
【三十二叅】善財承教至摩竭提國菩提場內叅普德淨光主夜神為說菩薩寂靜禪定樂普遊步解脫門已乃云如諸菩薩具足菩薩所有行願了達一切無邊法界等而我云何能知能說復令叅喜目觀察眾生主夜神。
【三十三叅】善財承教即於菩提場右邊叅喜目觀察眾生主夜神為說大勢力普喜幢解脫門已乃云如諸菩薩於念念中普詣一切諸如來所疾能趣入一切智海等而我云何能知能說復令叅普救眾生妙德夜神。
【三十四叅】善財承教即於會中叅普救眾生妙德夜神為說普現一切世間調伏眾生解脫門已乃云如諸菩薩集無邊行生種種解等而我云何能知能說復令叅寂靜音海主夜神。

【三十五叅】善財承教叅寂靜音海主夜神為說念念出生廣大喜莊嚴解脫門已乃云如諸菩薩深入一切法界海等而我云何能知能說復令叅守護一切眾生主夜神。
【三十六叅】善財承教即於菩提場如來會中叅守護一切眾生主夜神為說甚深自在妙音解脫門已乃云如諸菩薩能知能說一切語言自性於念念中自在開悟一切眾生等而我云何能知能說復令叅開敷一切樹花主夜神。
【三十七叅】善財承教即於此佛會中叅開敷一切樹花主夜神為說出生廣大光明解脫門已乃云如諸菩薩親近供養一切諸佛入一切智大願海等而我云何能知能說復令叅大願精進力救護一切眾生夜神。
【三十八叅】善財承教即於會中叅大願精進力救護眾生夜神為說教化眾生令生善根解脫門已乃云如諸菩薩超諸世間現諸趣身等我今云何能知能說復令叅妙德圓滿神(諸趣身即六道等趣之身也)。
【三十九叅】善財承教至嵐毘尼園叅妙德圓滿神為說菩薩於無量刼遍一切處示現受生自在解脫門已乃云如諸菩薩能以一念為諸刼藏等而我云何能知能說復令叅釋迦瞿波女(梵語嵐毘尼華言樂勝圓光刼梵語具云刼波華言分別時節梵語釋迦華言能仁梵語瞿波華言女)。
【四十叅】善財承教至迦毘羅城叅釋迦瞿波女為說觀察菩薩三昧海解脫門已乃云如諸菩薩究竟無量諸方便海等而我云何能知能說復令叅摩耶夫人(摩耶梵語具云摩訶摩耶華言大術)。
【四十一叅】善財承教一心欲詣摩耶夫人所作如是念此善知識遠離世間住無所住如是之人我今云何而得親近時有寶眼神及蓮花法德等神住虛空中種種讚嘆摩耶夫人復有羅剎鬼王語善財言汝應普禮十方求善知識時善財受行其教即時現見大寶蓮花從地湧出摩耶夫人在於座上於一切眾生前現淨色身遂為善財說菩薩大願智幻解脫門已乃云如諸菩薩具大悲藏教化眾生等我今云何能知能說復令叅王女天主光(梵語羅剎華言速疾鬼)。
【四十二叅】善財承教遂往天宮叅王女天主光為說無礙念清淨莊嚴解脫已乃云如諸菩薩出生死夜朗然明徹等而我云何能知能說復令叅徧友童子師。
【四十三叅】善財承教從天宮下至迦毘羅城叅徧友童子師別無指示但言可問善知眾藝童子當為汝說。
【四十四叅】善財承教即於會中叅善知眾藝童子為說四十二字母法門已乃云如諸菩薩能於一切世出世間善巧之法以智通達到於彼岸等而我云何能知能說復令叅賢勝優婆夷(四十二字母者一阿字二多字三波字四者字五那字六邏字七柁字八婆字九茶字十沙字十一嚩字十二哆字十三也字十四瑟吒字十五迦字十六娑字十七麼字十八伽字十九他字二十社字二十一鎖字二十二馱字二十三奢字二十四佉字二十五义字二十六婆多字二十七壤字二十八曷攞多字二十九婆

字三十車字三十一娑麼字三十二訶婆字三十三縒字三十四伽字三十五吒字三十六拏字三十七娑頗字三十八娑迦字三十九也娑字四十室者字四十一佗字四十二陀字也）。

【四十五叅】善財承教至摩竭提國婆怛那城叅賢勝優婆夷為說無依處道場解脫門已乃云如諸菩薩一切無著功德行而我云何盡能知說復令叅堅固解脫長者。

【四十六叅】善財承教至沃田城叅堅固解脫長者為說無著念清淨莊嚴解脫已乃云如諸菩薩獲無畏大師子吼安住廣大福智之聚而我云何能知能說復令叅妙月長者。

【四十七叅】善財承教即於本城叅妙月長者為說淨智光明解脫門已乃云如諸菩薩證得無量解脫法門而我云何能知能說復令叅無勝軍長者。

【四十八叅】善財承教至出生城叅無勝軍長者為說菩薩無[書-曰+皿]相解脫已乃云如諸菩薩得無限智無礙辯才而我云何能知能說復令叅最寂靜婆羅門。

【四十九叅】善財承教至城南法聚落叅最寂靜婆羅門為說菩薩誠願語解脫已乃云如諸菩薩與誠願語行止無違等而我云何能知能說復令叅德生童子及有德童女。

【五十叅】善財承教至妙意華門城叅德生童子及有德童女二人為說菩薩幻住解脫已乃云如諸菩薩善入無邊諸事幻網彼功德行我等云何能知能說復令叅彌勒菩薩（梵語彌勒華言慈氏）。

【五十一叅】善財承教至海岸國大莊嚴園其中有一廣大樓閣名毘盧遮那莊嚴藏善財於樓閣前恭敬頂禮讚歎稱揚一心願見彌勒菩薩時彌勒菩薩從別處來為說種種法要善財白言唯願大聖開樓閣門令我得入彌勒彈指出聲其門即開命善財入見其樓閣廣博無量同於虛空聞不可思議微妙法音善財即得無量諸捻持門住菩薩不可思議自在解脫復令叅文殊師利菩薩（梵語毘盧遮那華言徧一切處）。

【五十二叅】善財承教到普門國蘇摩那城思惟觀察希欲奉覲文殊師利是時文殊師利遙伸右手過一百一十由旬按善財頂為說妙法令得成就阿僧祇法門具足無量大光明乃至令入普賢行道場及置善財自所住處文殊師利還攝不現於是善財渴仰欲見普賢菩薩（梵語蘇摩那華言悅意梵語由旬華言限量梵語阿僧祇華言無數）。

【五十三叅】善財於文殊師利所得三昧已普攝諸根一心求見普賢菩薩起大精進心無退轉即見普賢菩薩在如來前眾會之中坐寶蓮花師子之座身諸毛孔出光明雲令諸眾生生大歡喜善財見已踊躍無量普賢菩薩即伸右手摩觸其頂為說諸法善財即得一切佛剎微塵數三昧門。

六十二見（出大涅槃經）

謂外道之人於色受想行識五陰法中每一陰起四種見則成二十見約過去現在未來三世論之成六十見此六十見以斷常二見而為根本則總成六十二見也(四種見者謂於五陰中如計色大我小我在色中為一見我即神我謂識神也又計我大色小色在我中為二見又計離色是我為三見又計即色是我為四見也色陰既爾受想行識亦然)。

佛六十四種梵音(出不思議秘密大乘經)

佛告寂慧菩薩言如來非於唇齒舌喉及其面門出諸音聲當知如來音聲從虛空出具有六十四種殊妙之相。

【一流澤聲】謂如來音聲流演潤澤也。

【二柔軟聲】謂如來音聲溫柔和軟也。

【三悅意聲】謂如來音聲歡悅一切眾生意也。

【四可樂聲】謂如來音聲巧妙而可愛樂也。

【五清淨聲】謂如來音聲清淨而不雜染也。

【六離垢聲】謂如來音聲純妙遠離諸垢染也。

【七明亮聲】謂如來音聲明顯流亮也。

【八甘美聲】謂如來說法音聲甘和美妙能使聽者得法喜之味也。

【九樂聞聲】謂如來說法音聲稱機淺深令眾生樂聞而不捨也。

【十無劣聲】謂如來音聲希有殊勝而不陋劣也。

【十一圓具聲】謂如來說法於一音中而具足一切音也。

【十二調順聲】謂如來音聲隨機說法調伏眾生使其信順也。

【十三無澁聲】謂如來音聲融通和暢而無澁滯也。

【十四無惡聲】謂如來說法音聲嘉美而不麤獷也。

【十五善柔聲】謂如來說法音聲柔和善順而不卒暴也。

【十六悅耳聲】謂如來說法音聲悅可人意而愛聽無厭也。

【十七適身聲】謂如來說法音聲能令聞者支體調適而得輕安也。

【十八心生勇銳聲】謂如來說法音聲令人發起勇猛之心而進修也。

【十九心喜聲】謂如來法音美妙能令聞者心生欣喜也。

【二十悅樂聲】謂如來說法之音能使聞者歡喜而快樂也。

【二十一無熱惱聲】謂如來法音使諸聞者消除熱惱而得清凉也。

【二十二如教令聲】謂如來演說如法教誡命令而能啟發蒙昧也。

【二十三善了知聲】謂如來法音善解決了遍知一切諸法也。

【二十四分明聲】謂如來法音於諸事法如理分析無不明了也。

【二十五善愛聲】謂如來以善法音開化一切眾生令其愛樂也。

【二十六令生歡喜聲】謂如來說法之音令人生歡喜之心也。

【二十七使他如教令聲】謂如來法音能使聞者展轉啟發於人皆如教令也。

【二十八令他善了知聲】謂如來法音能使聞者善解一切諸法也。

【二十九如理聲】謂如來所發音聲皆契真如之理也。

【三十利益聲】謂如來說法之音能利益一切有情也。
【三十一離重復過失聲】謂如來所出音聲契合理趣從始至終皆無重復過失也。
【三十二如師子音聲】謂如來音聲一切聞者自然信伏如師子一吼百獸畏伏也。
【三十三如龍音聲】謂如來法音清徹幽遠如龍之吟也。
【三十四如雲雷吼聲】謂如來說法唯以一音遠近普及如雷之吼也。
【三十五如龍王聲】謂如來說法音韻清遠如龍王所發之聲也。
【三十六如緊那羅妙歌聲】梵語緊那羅華言歌神謂如來所出梵音如彼歌音美妙適悅一切也。
【三十七如迦陵頻伽聲】梵語迦陵頻伽華言妙聲鳥謂如來法音美妙如彼禽之聲也。
【三十八如梵王聲】謂如來所說法音如梵王之清淨聲音也。
【三十九如共命鳥聲】共命鳥者一身二頭之鳥也謂如來所說法音吉祥如彼禽之聲也。
【四十如帝釋美妙聲】謂如來說法之音如天帝釋之美妙音聲也(帝釋梵語釋提桓因華言能人主言帝釋者華梵雙舉也)。
【四十一如振鼓聲】謂如來音聲震響如鼓遠近皆聞也。
【四十二不高聲】謂如來演說圓音聲不高大得中道也。
【四十三不下聲】謂如來演說圓音聲不卑下亦得中道也。
【四十四隨入一切音聲】謂如來說法之音普入群機融通眾音也。
【四十五無缺減聲】謂如來法音圓滿具足也。
【四十六無破壞聲】謂如來凡所演說真實不虛無能破壞也。
【四十七無染汙聲】謂如來所說法音純圓獨妙離諸煩惱無染著也。
【四十八無希取聲】謂如來說法利樂一切眾生無所希望離取著也。
【四十九具足聲】謂如來所演法音稱性而說妙理具足也。
【五十莊嚴聲】謂如來所演聲教如實之談端莊而嚴肅也。
【五十一顯示聲】謂如來演妙法音顯現妙理開示眾生無有隱晦也。
【五十二圓滿一切音聲】謂如來說法音聲圓滿具足一切音也。
【五十三諸根適悅聲】謂如來所演妙法音聲眾生一聞諸根適悅也。
【五十四無譏毀聲】謂如來法音不譏毀一切眾生凡有言說皆信順也。
【五十五無輕轉聲】謂如來圓音普攝一切不輕浮遷轉也。
【五十六無動搖聲】謂如來所說法音得無所畏而諸外魔不能動搖也(外魔者外道天魔也)。
【五十七隨入一切眾會聲】謂如來法音普入眾會隨機得聞也。
【五十八諸相具足聲】謂如來說法之音具足一切諸相也。

【五十九令眾生心意懽喜聲】謂如來所出語言普令十方一切世界眾生心意歡喜皆謂所說從如來口門而出亦無互相重復而諸眾會各隨音聲曉了諸法然實非如來口門中出也。
【六十說眾生心行聲】謂一切眾生其數無量行亦無量如來所說眾生心行畧有八萬四千種類但為根性下劣眾生令其易得解入故也。
【六十一入眾生心意聲】謂如來具秘密智所出語言隨入一切眾生心意然不從如來口門中出正所謂從虛空而出者也。
【六十二隨眾生信解聲】謂如來所出語言隨諸眾生種種信解心意成熟普使隨應而得了知也。
【六十三聞者無分量聲】謂如來音聲無有分量世間一切天人魔梵沙門婆羅門等雖能聞之亦不能知其邊際分量也(魔即魔王梵即梵天梵語沙門華言勤息梵語婆羅門華言淨行)。
【六十四眾生不能思惟稱量聲】謂如來音聲妙輪出種種聲宣說法時假使徧滿三千大千世界一切眾生皆居緣學之地亦不能思惟稱量也(三千者小千中千大千也言三千大千者總別兼舉也)。
大明三藏法數卷第三十七卷

上天竺前住持沙門一如等奉　勅集註

小乘七十五法(出圓覺經疏鈔)
小乘七十五法攝為五類謂色法十有一心法一心所有法四十有六不相應行法十有四無為法三也。
【色法十一】色即質礙之義謂眼耳鼻舌身五根色聲香味觸五境及法處所攝一分此十一種皆有色相可見可對故總名為色法(法處即意識所取之境具有四分一心所法二不相應法三無為四無表色今言法處所攝一分者正是無表色也無表色者謂意識緣於過去所見之境雖分別明了而無所表對故也)。
【心法一】心法者謂心雖無形質而有覺知之用以能緣慮分別名之為心即意識也(此專言意識者蓋小乘之人唯知心王是第六意識而不知有第七第八二種之識也)。
【心所有法四十六】心所有法者以對意識心王而言之也此四十六合為六位徧大地有十一受(領納前境也)二想(於境取像也)三思(起心造作諸業也)四觸(對境也)五欲(希望樂境也)六慧(揀擇善惡法也)七念(記憶不忘也)八作意(能警覺者為性心來起能警令起心已起能引趣境也)九勝解(於理明了無礙也)十三摩地(梵語三摩地華言等持離沉掉曰等令心專注不散曰持)此之十法通善通惡遍一切心故云遍大地也大善地有十一信(於善法深樂不疑也)二勤(於諸善法精進修習也)三捨(遠離掉舉也)四慚(恥己無德也)五愧(羞為惡行也)六無貪(於五欲境心生厭離也)七無嗔(於違情之境不起忿怒也)八不害(於諸有情不加損惱也)九輕安(遠離昏亂也)十不放逸(於不善法心不染著也)此之十法不通於惡唯是善業能通至無漏聖道故云大善地也(無漏者不漏落三界生死也)大煩惱有六一癡(於事理迷惑不了也)二放逸(縱恣欲境也)三懈怠(身心不勤也)四不信(邪見多疑也)五昏沉(心神迷惑也)六掉舉(內心搖動也)此之六法依五識第六識第七識而起不通於善唯是惡法故云大煩惱也大不善有二一無慚(不知羞恥也)二無愧(陰為不善也)此之二法謂人無慚愧則無惡不造故云大不善也小煩惱有十一忿(暴怒也)二覆(不令人知己過也)三慳(於一切財不能惠施也)四嫉(心懷妬忌也)五惱(外境違情不自安忍也)六害(損惱有情也)七恨(怨恨也)八諂(媚悅人意也)九誑(詭詐不實也)十憍(矜己傲他也)此之十法但依第六識而起故云小煩惱也不定法有八一悔(或作惡事或不作善事心皆追悔也)二睡眠(謂人睡眠神識昏昧夢中見境或善或惡或不善不惡也)三尋(尋即尋思即心中所起之念或善或惡或不善不惡也)四伺(伺即伺察亦心中所起之念也心麤而浮曰尋心細而沉曰伺二者皆是心念但分麤細耳亦通善惡不善不惡也)五貪(引取無厭也)六嗔(忿怒不息也)七慢(自恃陵他也)八疑(猶豫不決也)此之八法通於善惡無記三性故云不定法也(無記者謂不善不惡無所記錄故也)。

【不相應行法十四】一得(於一切決造作成就也)二非得(於一切法不能成就也)三眾同分(如人之類其形相似也)四無想異熟(此即無想報外道修無想定命終生無想天以其果報異世成熟故曰異熟)五無想定(外道所修之定想心俱滅故也)六滅盡定(得此定者受想之心滅盡諸識不起也)七命根(第八藏識種子并出入息煖氣三者連持不斷也)八生(諸法生起也)九住(諸法未遷也)十異(諸法漸衰也)十一滅(諸法消盡也)十二名身(依事立名眾名聯合故曰名身)十三句身(積言成句眾句聯合故曰句身)十四文身(文即文字眾字聯合故曰文身)此之十四法有名無體不與色法心法及心所有法相應故云不相應行法也。

【無為法三】一擇滅無為(擇即揀擇滅即斷滅以智滅惑所顯真理理無作為也)二非擇滅無為(不假智力斷滅諸惑性本清淨無所作為也)三虛空無為(真空之理離諸障礙猶如虛空無所作為也)蓋前色法心法及心所有法不相應行皆是世間有為之法此之三法是出世間之法故名無為然七十五法不出乎色心而色則由心造也若攝末歸本唯心一法耳。

八十隨形好(出華嚴經隨疏演義鈔)

指爪狹長薄潤光潔手足指圓纖長柔軟節骨不現手足各等無差指間充密手足圓滿軟淨光澤筋脉盤結深隱不現兩踝深隱骨不顯露(踝胡瓦切)行步正直端莊嚴肅行步威容齊整如師子王行步安平穩如象王行步有儀進止詳緩回身顧視必皆右旋支節漸次安布殊勝骨節交結宛如龍盤膝輪圓滿妙善安布隱處妙好圓滿清淨身支潤滑柔軟鮮潔身容敦肅自在無畏身支堅固稠密相屬身支安定厚重不動身相端嚴光明離垢身有圓光隨處照耀腹形方正柔軟不現臍深右旋圓妙光澤臍厚妙好不窊不凸(窊烏[瓜-丶]切)肌膚勻淨鮮明離垢手掌充滿柔軟方平手文深長明直潤澤唇色紅潤如頻婆果(梵語頻婆華言相思)面門圓滿妙好端嚴舌相長廣彌覆難量發聲威震如雷普聞音韻美妙和暢清遠鼻高脩直兩竅不現諸齒方整堅密鮮白諸牙明潔漸次鋒利目廣清淨洞徹分明眼相脩廣如青蓮華眼睫上下齊整稠密雙眉脩長黑澤細軟雙眉綺靡紺琉璃色雙眉高朗猶如半月耳厚脩長輪埵成就兩耳相好綺麗齊平容儀端麗見者無厭額廣圓滿平正殊特身分殊勝上下勻等首髮脩長紺青稠密首髮香潔柔潤光澤首髮齊整不亂不雜首髮堅固永無斷落首髮光滑塵垢不著身分堅實逾那羅延(梵語那羅延華言金剛謂堅固也)身體莊嚴長大端直諸竅清淨塵垢不染身力充美無與等者身相嚴好眾所樂觀面輪脩廣淨如滿月顏貌舒泰光顯含笑面顏光澤遠離塵垢身支嚴淨恒無垢穢諸毛孔中常出妙香面門常出微妙之香首相妙好周圓平等身毛纖柔紺青光澤法音圓辯隨機普應頂相高妙無能見者手足指網分明嚴整行不履地去地四指而地現印文神力自持不待他衛威德遠震善類悅聞魔外慴伏(慴質涉切)音聲和雅悅可眾心觀機淺深隨類說法一音演說隨類得解次第說法各隨機緣等觀有情冤親平等所為先觀後作各赴機宜相好具足瞻視無盡頂骨堅實窮劫不壞顏容奇妙常若少年手足胸臆吉祥德相妙好具足。

八十一品思惑(出天台四教儀集註)
思惑者謂眼等五根對色等五塵而起貪瞋痴慢四惑也言八十一品者以欲界為一地色界初禪二禪三禪四禪為四地無色界空處識處無所有處非想非非想處為四地共為九地欲界一地具九品貪嗔癡慢四惑所謂上上上中上下中上中中中下下上下中下下也色界四地無色界四地亦各有九品貪癡慢三惑但除瞋恚以上二界不行嗔故是則九地各有九品思惑共成八十一品也(三界思惑分九品者以此惑難斷故細分之令二果斷陁含三果阿那含四果阿羅漢次第斷除也)。
八十八使(出天台四教儀集註)
使即驅役之義謂此見惑能驅役一切眾生流轉三界生死故也言見惑者以意根對法塵起諸分別也凡有十種一身見謂於色受想行識五陰之中妄計為身也二邊見謂於身見計斷計常隨執一邊也三見取謂於非真勝法中謬見涅槃生心而取也四戒取謂於非戒中謬以為戒取以進行也五邪見謂無明不了邪心取理也六貪謂於諸欲境引取無厭也七瞋謂於逆情之境而起忿怒也八癡謂於事理之中迷惑不了也九慢謂自恃才德富貴輕蔑於他也十疑謂迷心乖理猶豫不決也此之十使歷三界四諦下增減不同共成八十八使蓋欲界苦諦下十使具足集滅二諦下各有七使除身見邊見戒取三使道諦下有八使除身見邊見二使則四諦合為三十二使也色界無色界四諦下皆如欲界只於每諦下又除瞋使故一界有二十八使二界合為五十六使并前欲界三十二使總成八十八也(集滅二諦各除身見邊見戒取者謂此三使皆依苦諦而起而此二諦則無也道諦除身見邊見者謂此二使亦苦諦所起而此則無也然不除戒取者謂外道執取邪戒妄為正道故於此不除也上二界除瞋使者以上二界無瞋故也)。
九十八使(出天台四教儀集註)
謂欲界有貪瞋癡慢四種思惑色界無色界各有貪癡慢三種思惑三界思惑共為十使并前見惑八十八使合之而為九十八使也。
大乘百法(出大乘百法明門論)
百法束為五門謂色法十有一心法八心所有法五十有一不相應行法二十有四無為法六共成一百也。
【色法十一】色即質礙之義謂眼耳鼻舌身五根色聲香味觸五境及法處所攝一分此十一種法皆有色相可見可對故總名為色法(法處即意識所取之境具有四分一心所法二不相應行三無為四無表色今言法處所攝一分者正是無表色也無表色者謂意識緣於過去所見之境雖分別明了而無所表對故也)。
【心法八】心即識心謂眼識耳識鼻識舌識身識意識末那識阿賴耶識此八種識皆有分別之義俱屬於心故名心法(梵語末那華言意梵語阿賴耶華言藏識)。
【心所有法五十一】心所有法者以對八識心王而言之也此五十一合為六位徧行法有五一作意(能警覺者為性心未起能警令起心已起能引趣境也)

二觸(對境也)三受(領納前境也)四想(於境取像也)五思(起心造諸業也)此五種法起則同起故云徧行也別境法有五一欲(希望樂境也)二勝解(於理明了無礙也)三念(於曾習境記憶不忘也)四等持(離昏沉掉舉曰等令心專注不散曰持也)五慧(揀擇善惡法也)此五種法起時各起故云別境也善法有十一一信(於諸善法深樂不疑也)二慚(恥己無德也)三愧(羞為惡行也)四無貪(於五欲境心生厭離也)五無瞋(於違情之境不起怒心也)六無癡(於事理明解决了也)七精進(於諸善法精勤修習也)八輕安(遠離昏亂也)九不放逸(於不善法心不染著也)十捨(遠離掉舉也)十一不害(於有情不加損惱也)此十一種法皆是善法故總云善也煩惱法有六一貪(引取無厭也)二瞋(忿怒不息也)三慢(自恃陵他也)四無明(於事理無所明了也)五見(即邪見也)六疑(猶豫不決也)此六種法能惱亂眾生故總云煩惱也隨煩惱法有二十一忿(暴怒也)二恨(怨恨也)三覆(不令人知己過也)四惱(外境違情不自安隱)五嫉(心懷妬忌也)六慳(於一切財不能惠施也)七誑(詭詐不實也)八諂(媚悅人意也)九害(損惱有情也)十憍(矜己傲人也)十一無慚(不知羞恥也)十二無愧(陰為不善也)十三掉舉(內心搖動也)十四昏沉(心神迷惑也)十五不信(邪見多疑也)十六懈怠(身心不勤也)十七放逸(縱恣欲境也)十八失念(遺失正念也)十九散亂(心常放逸也)二十不正知(以妄為真也)此二十法隨逐前六種煩惱而生故云隨煩惱也不定法有四一惡作(或已作惡事因循或不作善事心皆追悔也)二睡眠(謂人睡眠識神昏昧夢中見境或善或惡或不善不惡也)三尋(尋即尋思心中所起之念或善或惡或不善不惡也)四伺(伺即伺察心中所起之念也尋思之心麤而浮伺察之心沉而細二者皆是心念但分麤細耳亦通善惡與不善不惡也)此四種法於善惡無記三性不定而起故云不定也如是諸法從阿賴耶藏識種子所生依心所起與心俱轉相應故皆名心所有法(無記者謂不善不惡無所記錄故也)。

【不相應行法二十四】一得(於一切法造作成就也)二命根(第八識種子并出入息煖氣三者連持不斷也)三眾同分(如人之類其形相似也)四異生性(眾生之妄性不同也)五無想定(心想俱滅外道所修之定也)六滅盡定(受想之心滅盡諸識不起也)七無想報(外道修無想定命終生無想天壽命五百劫想心不行如冰夾魚也)八名身(依事立名眾名聯合曰名身)九句身(積言成句眾句聯合曰句身)十文身(文即是字眾字聯合曰文身)十一生(諸法生起也)十二住(諸法未遷也)十三老(諸法漸衰也)十四無常(今有後無也)十五流轉(因果相續流轉不斷也)十六定異(善惡因果決定不同也)十七相應(因果和合不相違背也)十八勢速(諸法遷流不暫停住也)十九次第(編列有序也)二十時(即時節也)二十一方(即方所也)二十二數(即數目也)二十三和合(不相乖違也)二十四不和合(互相乖違也)此二十四法有名無體不與色法心法及心所法相應故云不相應行法。

【無為法有六】一虛空無為(真空之理離諸障礙猶如虛空無所作為也)二擇滅無為(擇即揀擇滅即斷滅以智滅惑所顯真理理無作為也)三非擇滅無為(不假智力斷滅諸惑性本清淨無所作為也)四不動無為(即第四禪天得不動地所修出世之理無所作為也)五受想滅無為(受想心滅所顯真理無所作為也)六真如無為(不

妄曰真不異曰如真如之理無所作為也)蓋前色法心法及心所有法不相應行皆是世間有為之法此之六法是出世間之法故名無為然百法不出乎色心而色則由心造也若攝末歸本唯心一法耳。

百八三昧(出大智度論)

【首楞嚴三昧】梵語首楞嚴華言健相分別梵語三昧華言正受亦云正定謂菩薩住是三昧則於諸三昧行相多少淺深悉能分別了知而一切魔惱不能破壞是名首楞嚴三昧。

【寶印三昧】謂菩薩住是三昧於一切三昧悉能印證然諸寶中法寶為最今世後世乃至涅槃能為利益是名寶印三昧(梵語涅槃華言滅度)。

【師子戲三昧】謂菩薩住是三昧於一切三昧中出入遲速皆得自在於諸外道強者破之信者度之譬猶師子戲時而能制伏諸羣獸也是名師子戲三昧。

【妙月三昧】謂菩薩入是三昧能除無明暗蔽諸法邪見譬猶滿月清淨無諸障翳而能除破黑暗是名妙月三昧。

【月幢相三昧】謂菩薩入是三昧一切諸法通達無礙皆悉順從譬猶大將以寶幢作月之像人見此相悉皆隨從是名月幢相三昧。

【出諸法三昧】謂菩薩住是三昧能令一切三昧出生增長譬猶時雨之降而草木皆生是名出諸法三昧。

【觀頂三昧】謂菩薩入是三昧能徧見一切三昧如住山頂悉見眾物是名觀頂三昧。

【畢法性三昧】謂諸法體性無量無二難可執持菩薩入是三昧則能決定知諸法性而得定相譬猶虛空無能住者得神足力則能處之是名畢法性三昧。

【畢幢相三昧】謂菩薩住是三昧則能決定持諸三昧法幢於諸三昧最為尊勝譬猶大將得幢表其尊大之相是名畢幢相三昧。

【金剛三昧】謂菩薩住是三昧則智慧堅固能破諸三昧譬猶金剛堅固不壞而能碎諸萬物是名金剛三昧。

【入法印三昧】謂如人入國有印得入無印則不得入菩薩住是三昧即能入於諸法實相是名入法印三昧。

【三昧王安立三昧】謂菩薩住是三昧則於一切諸三昧中而得安住譬猶大王安住正殿召諸羣臣皆悉從命是名三昧王安立三昧。

【放光三昧】謂菩薩住是三昧則能放種種光明照諸三昧悉皆明了是名放光三昧。

【力進三昧】謂菩薩住是三昧於諸三昧得自在力常能神通變化度諸眾生是名力進三昧。

【高出三昧】謂菩薩住是三昧所有福德智慧皆悉增長諸三昧性從心而出是名高出三昧。

【必入辯才三昧】謂菩薩住是三昧則能辯說一切三昧悉知眾生語言次第及經書名字等悉能分別無礙是名必入辯才三昧。
【釋名字三昧】謂菩薩住是三昧則能釋諸三昧名字及諸法義令人得解是名釋名字三昧。
【觀方三昧】謂菩薩住是三昧於諸三昧出入自在無礙故能以慈悲憐愍平等之心觀於十方眾生皆得度脫是名觀方三昧。
【陀羅尼印三昧】梵語陀羅尼華言總持謂菩薩住是三昧則能持諸三昧印分別諸三昧皆有陀羅尼是名陀羅尼印三昧。
【無誑三昧】謂菩薩住是三昧不生愛恚無明邪見於諸三昧都無迷悶之事是名無誑三昧。
【攝諸法海三昧】謂菩薩住是三昧則三乘法皆攝入是三昧中如一切眾流皆歸於海是名攝諸法海三昧(三乘者聲聞乘緣覺乘菩薩乘也)。
【遍覆虛空三昧】謂菩薩住是三昧以三昧力能遍覆無量無邊虛空或放光明或以音聲充滿其中是名遍覆虛空三昧。
【金剛輪三昧】謂菩薩住是三昧則能持諸三昧於一切法中所至無礙譬猶金剛輪所徃無有障礙是名金剛輪三昧。
【寶斷三昧】謂菩薩住是三昧則能斷除一切三昧煩惱諸垢如有真寶能治諸寶令得潔淨是名寶斷三昧。
【能照三昧】謂菩薩住是三昧則能以智慧照了諸法譬猶日出普照世間事皆顯了是名能照三昧。
【不求三昧】謂菩薩住是三昧則能照了諸法皆如幻化三界愛欲悉斷都無所求是名不求三昧(三界者欲界色界無色界也)。
【無住三昧】謂菩薩住是三昧則能照了諸法念念無常無有住相是名無住三昧。
【無心三昧】謂菩薩住是三昧則心心數法悉皆不行是名無心三昧(心即心王心數法即受想行法也不行者謂皆諸法皆不起也)。
【淨燈三昧】謂菩薩住是三昧則能離諸煩惱之垢而智慧之燈清淨明發是名淨燈三昧。
【無邊明三昧】謂菩薩住是三昧則能以智慧光明普照十方無邊世界眾生及無量諸法皆悉明了是名無邊明三昧。
【能作明三昧】謂菩薩住是三昧則能照明諸法譬猶暗中燃炬無不明了是名能作明三昧。
【普照明三昧】謂菩薩住是三昧即能普照諸法種種三昧門譬如輪王寶珠光照四邊是名普照明三昧。
【堅淨諸三昧】謂菩薩住是三昧則能令諸三昧清淨堅牢不為一切垢法之所染壞是名堅淨諸三昧。
【無垢明三昧】謂菩薩住是三昧能離一切諸三昧垢破除一切無明愛欲煩惱亦能照了一切三昧是名無垢明三昧。

【歡喜三昧】謂菩薩住是三昧能生無量無邊法歡喜樂是名歡喜三昧。
【電光三昧】謂菩薩住是三昧於無始世來所失之道還復能得如電光暫現行者得路是名電光三昧。
【無盡三昧】謂菩薩住是三昧滅諸法無常等相即入不生不滅真實之理是名無盡三昧。
【威德三昧】謂菩薩住是三昧則得無量威德自在莊嚴是名威德三昧。
【離盡三昧】謂菩薩住是三昧則能見諸三昧無有窮盡而於無量阿僧祇劫善本功德果報不失離於一切斷滅之見是名離盡三昧(梵語阿僧祇劫華言無數時)。
【不動三昧】謂菩薩住是三昧能知諸法實相畢竟空寂智慧與三昧相應於一切三昧及一切法都不戲論是名不動三昧。
【不退三昧】謂菩薩住是三昧常不退轉即是阿鞞跋致是名不退三昧(梵語阿鞞跋致華言不退轉)。
【日燈三昧】謂菩薩住是三昧則能照了種種法門及諸三昧譬猶日出能照一切世界又如燈明能破暗室是名日燈三昧。
【月淨三昧】謂菩薩住是三昧則智慧清淨利益眾生又能破諸三昧無明如月圓明破諸黑暗是名月淨三昧。
【淨明三昧】謂菩薩住是三昧則能明了諸法無有障礙是名淨明三昧。
【能作明三昧】謂菩薩住是三昧則與般若之智相應能於諸三昧門而作光明是名能作明三昧(梵語般若華言智慧)。
【作行三昧】謂菩薩住是三昧則能發起先所得諸三昧故是名作行三昧。
【知相三昧】謂菩薩住是三昧則見一切諸三昧中有實智慧之相是名知相三昧。
【如金剛三昧】謂菩薩住是三昧則能破一切煩惱結使無有遺餘譬猶金剛能破諸物滅盡無餘是名如金剛三昧(結使者謂一切眾生為惑業纏縛驅役入於生死也)。
【心住三昧】謂心相輕疾難制難持菩薩住是三昧則能攝諸散亂心不動轉是名心住三昧。
【普明三昧】謂菩薩住是三昧於一切法見光明相無諸黑暗以神通力普照世間了了無礙是名普明三昧。
【安立三昧】謂菩薩住是三昧於一切諸功德善法中安立堅固如須彌山安立不動是名安立三昧(梵語須彌華言妙高)。
【寶聚三昧】謂菩薩住是三昧則能轉一切所有國土皆成七寶是名寶聚三昧(七寶者金銀琉璃玻瓈硨磲碼碯赤真珠也)。

【妙法印三昧】謂菩薩住是三昧得諸佛菩薩深妙功德智慧之法印諸三昧是名妙法印三昧。
【法等三昧】謂菩薩住是三昧則照了眾生及一切法悉皆平等是名法等三昧。
【斷喜三昧】謂菩薩住是三昧能觀苦空無常無我不淨等相於一切世間心生厭離不起樂著之想是名斷喜三昧(苦者謂觀五陰之身實有生死逼迫等苦也空者謂身及諸法本來皆空也無常者謂身及諸法終歸壞滅也無我者謂四大各離何者是我也不淨者謂觀身相皆不淨也)。
【到法頂三昧】謂菩薩住是三昧則能以般若方便之力而到於法山之頂是名到法頂三昧(法山之頂以喻此三昧在諸三昧之上也)。
【能散三昧】謂菩薩住是三昧即與空慧相應而能破散諸法是名能散三昧。
【分別諸法句三昧】謂菩薩住是三昧則能分別一切諸法語言文句為眾生演說詞無滯礙是名分別諸法句三昧。
【字等相三昧】謂菩薩住是三昧觀諸字諸語悉皆平等呵罵讚歎無有憎愛是名字等相三昧。
【離字三昧】謂菩薩住是三昧不見字在義中亦不見字在字中是名離字三昧。
【斷緣三昧】謂菩薩住是三昧則能於樂中不生喜苦中不生瞋不苦不樂中不生不知捨心於此三受遠離不著則心滅緣斷是名斷緣三昧。
【不壞三昧】謂菩薩住是三昧則能了法性畢竟空寂戲論不能破無常不能轉是名不壞三昧。
【無種相三昧】謂菩薩住是三昧了法無相而不見諸法種種之相是名無種相三昧。
【無處行三昧】謂菩薩住是三昧則能知三毒火然三界故心不依止涅槃畢竟空故亦不依止是名無處行三昧(三毒者貪瞋癡也)。
【離朦昧三昧】謂菩薩住是三昧則能於諸三昧中微翳無明等悉皆除盡是名離朦昧三昧。
【無去三昧】謂菩薩住是三昧則不見一切諸法去來之相是名無去三昧。
【不變異三昧】謂菩薩住是三昧能觀一切諸三昧法皆不見有變異之相是名不變異三昧。
【度緣三昧】謂菩薩住是三昧於六塵中諸煩惱緣悉皆盡滅能度六塵大海亦能超過一切三昧緣生智慧是名度緣三昧(六塵者色塵聲塵香塵味塵觸塵法塵也)。
【集諸功德三昧】謂菩薩住是三昧修集一切善根功德初夜後夜無有休息譬猶日月運轉不停是名集諸功德三昧。

【住無心三昧】謂菩薩住是三昧但隨智慧不隨於心而住於諸法實相之中是名住無心三昧。
【淨妙華三昧】謂菩薩住是三昧則能於諸三昧中開諸功德華以自在莊嚴如樹華開敷樹自嚴飾是名淨妙華三昧。
【覺意三昧】謂菩薩住是三昧令諸三昧變成無漏與七覺相應是名覺意三昧(無漏者謂惑業已斷不漏落生死也七覺者念覺擇法覺精進覺喜覺輕安覺定覺捨覺也)。
【無量辯三昧】謂菩薩住是三昧得無量辯才樂說一句經無量劫而不窮盡是名無量辯三昧(劫梵語具云劫波華言分別時節)。
【無等等三昧】謂菩薩住是三昧觀一切眾生皆如於佛觀一切法皆同佛法與無等等般若波羅蜜相應是名無等等三昧(無等等者謂諸佛般若世無與等而一切眾生平等共有故曰無等等梵語般若波羅蜜華言智慧到彼岸)。
【度諸法三昧】謂菩薩住是三昧則能入三解脫門超出三界度三乘眾生是名度諸法三昧(三解脫門者空解脫門無相解脫門無作解脫門也)。
【分別諸法三昧】謂菩薩住是三昧則能分別諸法善不善有漏無漏有為無為等相是名分別諸法三昧(有漏者謂因煩惱惑業漏落三界生死也有為者世間法也無為者出世間法也)。
【散疑三昧】謂菩薩住是三昧則能於一切法中疑網悉斷得一切諸法實相是名散疑三昧。
【無住處三昧】謂菩薩住是三昧則不見諸法定有住處是名無住處三昧。
【一莊嚴三昧】謂菩薩住是三昧則能觀見諸法皆一或一切法有相故一或一切法無相故一或一切法空故一皆以一相智慧莊嚴如是三昧是名一莊嚴三昧。
【生行三昧】謂菩薩住是三昧能觀種種行相入相住相出相如是諸相皆空亦不可見是名生行三昧。
【一行三昧】謂菩薩住是三昧與畢竟空相應更無餘行次第是名一行三昧。
【不一行三昧】謂菩薩住是三昧不見諸三昧一相以此三昧而能兼行諸餘觀行是名不一行三昧。
【妙行三昧】謂菩薩住是三昧不見諸三昧二相即是畢竟空相應三昧一切戲論皆不能破是名妙行三昧。
【達一切有底散三昧】謂菩薩住是三昧能以無漏智慧通達三有乃至非有想非無想之底一切諸有皆悉令其散壞是名達一切有底散三昧(三有者欲有色有無色有即三界也底者即非有想非無想天以其難到故名底也)。
【入名語三昧】謂菩薩住是三昧則能識一切眾生一切物一切法名字一切語言無不解了是名入名語三昧。

【離音聲字語三昧】謂菩薩住是三昧觀一切諸法皆無音聲語言常寂滅相是名離音聲字語三昧。
【然炬三昧】謂菩薩住是三昧則能以智慧炬照明一切諸法無錯無著如然炬夜行不墮險處是名然炬三昧。
【淨相三昧】謂菩薩住是三昧則能清淨具足莊嚴三十二相又能如法觀於諸法總別之相亦能觀諸法無相清淨是名淨相三昧(三十二相者足安平相千輻輪相手指纖長相手足柔軟相手足縵網相足跟滿足相足趺高好相腨如鹿王相手過膝相馬陰藏相身縱廣相毛孔生青色相身毛上靡相身金色相身光面各一丈相皮膚細滑相七處平滿相兩腋滿相身如師子相身端直相肩圓滿相四十齒相齒白齊密相四牙白淨相頰車如師子相咽中津液得上味相廣長舌相梵音深遠相眼色如金精相眼睫如牛王相眉間白毫相頂肉髻成相也總相者諸法和合為一相也別相者諸法種種差別也)。
【破相三昧】謂菩薩住是三昧則不見一切法相何況於諸三昧之相是名破相三昧。
【一切種妙足三昧】謂菩薩住是三昧則能以諸功德種種莊嚴禪定智慧悉皆具足清淨是名一切種妙足三昧。
【不喜苦樂三昧】謂菩薩住是三昧能觀世間之樂多過多患虛妄顛倒非可愛樂觀世間之苦如病如箭入身心不喜樂以一切法虛誑故樂尚不喜何況於苦是名不喜苦樂三昧。
【無盡相三昧】謂菩薩住是三昧則能觀一切法不斷不常無壞無盡是名無盡相三昧。
【陀羅尼三昧】謂菩薩住是三昧則能持諸三昧而聞持等諸陀羅尼皆自然而得是名陀羅尼三昧(聞持者陀羅尼名也謂得此陀羅尼者一切語言諸法耳所聞者皆不忘失也)。
【攝諸邪正相三昧】謂菩薩住是三昧於正定聚邪定聚不定聚一切眾生都無所棄一心攝取而不見有邪正等相是名攝諸邪正相三昧。
【滅憎愛三昧】謂菩薩住是三昧則能滅諸憎愛於可喜法中而不生愛可惡法中而不生嗔是名滅憎愛三昧。
【逆順三昧】謂菩薩住是三昧則能於諸法中逆順自在能破一切邪逆眾生能順一切可化眾生而又不著逆順之相是名逆順三昧。
【淨光三昧】謂菩薩住是三昧於諸三昧光明清淨諸煩惱垢皆不可得是名淨光三昧。
【堅固三昧】謂菩薩住是三昧而於諸法實相智慧相應皆悉堅固猶如虛空不可破壞是名堅固三昧。
【滿月淨光三昧】謂菩薩住是三昧則淨智光明具足滅愛恚等火清涼功德利益眾生譬猶秋月圓滿破諸黑暗清涼可樂是名滿月淨光三昧。
【大莊嚴三昧】謂菩薩住是三昧則大莊嚴成就見十方如恒河沙等世界以七寶華香莊嚴佛處如是等莊嚴功德而心無所著是名大莊嚴三昧。

【能照一切世間三昧】謂菩薩住是三昧則能照眾生世間住處世間五眾世間一切諸法是名能照一切世間三昧(五眾者即色受想行識五陰也)。
【三昧等三昧】謂菩薩住是三昧則能觀諸三昧不見有深淺之相觀一切有為之法皆從因緣而生與三昧相悉皆平等無有定亂是名三昧等三昧。
【攝一切有諍無諍三昧】謂菩薩住是三昧則能於一切法中通達無礙不見是法如是相不見是法不如是相於眾生中亦無好醜諍論但隨其心行而攝受度脫之是名攝一切有諍無諍三昧。
【不樂一切住處三昧】謂菩薩住是三昧則不樂住世間以世間無常故不樂住非世間不著於空故是名不樂一切住處三昧(非世間者出世間之法也)。
【如住定三昧】如即有無不二之義又即空也謂菩薩住是三昧則知一切法如實相不見有法過此如者是名如住定三昧。
【壞身衰三昧】身衰者謂血肉筋骨等和合為身是身多患常為饑寒疾病所逼以致身衰菩薩住是三昧故以智慧力分分破壞身諸衰相乃至不見不可得相是名壞身衰三昧。
【壞語如虛空三昧】謂菩薩住是三昧不見諸三昧語業依聲而有如虛空如幻化不生憎愛是名壞語如虛空三昧。
【離著虛空不染三昧】謂菩薩修行般若波羅蜜觀諸法畢竟空不生不滅猶如虛空雖得是三昧而於此虛空三昧之相亦不染着是名離著虛空不染三昧。
一百八法明門(出佛本行集經)
法明門者為令眾生破除昏暗通達一切智慧也故護明菩薩在兜率天宮欲下人間託生即於師子座上宣說此一百八門留與諸天以作憶念然後下生也(護明菩薩即釋迦牟尼佛在天宮之號也梵語兜率華言知足)正信法明門謂不破堅牢心故淨心法明門謂無穢濁故歡喜法明門謂安隱心故愛樂法明門謂令心清淨故身行正行法明門謂三業清淨故(三業清淨者謂身不殺不盜不[婬-壬+(工/山)]也)口行淨行法明門謂斷四惡故(四惡者妄言綺語兩舌惡口也)意行淨行法明門謂斷三毒故(三毒者貪嗔癡也)念佛法明門謂觀佛清淨故念法法明門謂觀法清淨故念僧法明門謂得道堅牢故念施法明門謂不望果報故念戒法明門謂一切願具足故念天法明門謂修廣大心故慈法明門謂隨所生處善根攝勝故悲法明門謂不殺害眾生故喜法明門謂捨一切不喜事故捨法明門謂厭離五欲故(五欲者色欲聲欲香欲味欲觸欲也)無常觀法明門謂觀三界慾故(三界者欲界色界無色界也)苦觀法明門謂斷一切願故無我觀法明門謂不染著我故寂定觀法明門謂不擾亂心意故慙愧法明門謂內心寂定故羞恥法明門謂外惡滅故實法明門謂不誑天人故真法明門謂不誑自身故法行法明門謂隨順法行故三歸法明門謂淨三惡道故(三歸者歸依佛歸依法歸依僧也三惡道者餓鬼道畜生道地獄道

也)知恩法明門謂不捨善根故報恩法明門謂不欺負他故不自欺法明門謂不自譽故為眾生法明門謂不毀呰他故(呰與訾同)為法法明門謂如法而行故知時法明門謂不輕言說故攝我慢法明門謂智慧滿足故不生惡心法明門謂自護護他故無障礙法明門謂心無疑惑故信解法明門謂決了第一義故(第一義者謂中道之理無二無別也)不淨觀法明門謂捨慾染心故不諍鬪法明門謂斷嗔訟故不癡法明門謂斷殺生故樂法義法明門謂求法義故愛法明法明門謂得法明相故求多聞法明門謂正觀法相故正方便法明門謂真正行故知名色法明門謂除諸障礙故(名即心色即身也)除因見法明門謂得解脫故無怨親心法明門謂於怨親中生平等故除方便法明門謂知諸苦故諸大平等法明門謂斷於一切和合法故(諸大者即地大水大火大風大空大根大識大也)諸入法明門謂修正道故(諸入者即眼入耳入鼻入舌入身入意入色入聲入香入味入觸入法入也)無生忍法明門謂證滅諦故(無生忍者謂一切法本來不生於此法中而能忍可即證也)身念處法明門謂諸法寂靜故(身念處者身即五陰中色陰念即能觀之觀處即色陰所觀之境也)受念處法明門謂斷一切諸受故(受即領納之義謂眼等識領納色等諸境也)心念處法明門謂觀心如幻化故(心即五陰中識陰也)法念處法明門謂智慧無翳故(法即五陰中想行二陰也)四正勤法明門謂斷一切惡成諸善故(四正勤者一已生惡令斷二未生惡令不生三已生善念增長四未生善令生也)四如意足法明門謂身心輕故(四如意足者欲如意足念如意足精進如意足慧如意足也)信根法明門謂不隨他語故(信者謂信正觀及助道法則能生諸善法也根即能生之義)精進根法明門謂善得諸智故(精進者謂修行正助之法勤求不息也)念根法明門謂善作諸業故(念者謂專念正助之法而無他念也)定根法明門謂心清淨故(定者謂攝心在正助之法相應不散也)慧根法明門謂現見諸法故(慧者謂以智慧觀察苦集滅道四諦之法也)信力法明門謂過諸魔力故(信力者力即力用謂信根增長則能遮斷一切疑惑也)精進力法明門謂不退轉故(精進力者謂精進根增長則能破諸身心懈怠也)念力法明門謂不共他故(念力者謂念根增長則能破諸邪念也)定力法明門謂斷一切念故(定力者謂定根增長則能破諸亂想也)慧力法明門謂離二邊故(慧力者謂慧根增長則能遮止三界見思之惑也二邊者空有二邊也)念覺分法明門謂如諸法智故(念覺分者念即想念覺即覺了分即支分謂修出世道時善能覺了常使定慧之法均調也若心沉時當念用擇法精進喜三支屬慧故也若心浮時當念用除捨定三支屬定故也)擇法覺分法明門謂照明一切諸法故(擇法覺分者謂觀諸法善能揀別真偽也)精進覺分法明門謂善知覺故(精進覺分者謂修諸道法時善能覺了勤心在於真法之中也)喜覺分法明門謂得諸定故(喜覺分者謂若心得法喜善能覺了住真法喜也)除覺分法明門謂所作已辦故(除覺分者謂斷除諸見煩惱之時善能覺了不損真正善根也)定覺分法明門謂知一切法平等故(定覺分者謂若發禪定時善能覺了不生妄想也)捨覺分法明門謂厭離一切法故(捨覺分者謂若捨念著之境善能覺了虛偽永不追憶也)正見法明門謂得漏盡聖道故(正見者謂修無漏行見四諦分明也漏盡者謂三界煩惱惑業斷盡不漏落生死也)正分別法明門謂斷一切

分別無分別故(正分別即正思惟謂見四諦時思惟籌量為令增長入涅槃故也)正語法明門謂斷一切名字音聲語言知如響故(正語者謂攝口業住於正語也)正業法明門謂無業無報故(正業者謂除身一切邪業住於清淨正業也)正命法明門謂除滅一切惡道故(正命者謂除邪命利養住於清淨正命也)正行法明門謂至彼岸故(正行即正精進謂身心專精勤求涅槃也)正念法明門謂不思念一切法故(正念者謂念念在於正助之法也)正定法明門謂得無散亂三昧故(正定者謂攝心正助之法入於正定也梵語三昧華言正定)菩提心法明門謂不斷三寶故(梵語菩提華言道三寶者佛寶法寶僧寶也)依倚法明門謂不樂小乘故正信法明門謂得敢勝佛法故增進法明門謂成就一切諸善根法故檀度法明門謂念念成就相好莊嚴佛土教化慳貪諸眾生故(檀梵語具云檀那華言布施)戒度法明門謂遠離惡道諸難教化破戒諸眾生故忍度法明門謂捨一切瞋恚我慢諂曲調戲教化如是諸惡眾生故精進度法明門謂悉得一切諸善法教化懈怠諸眾生故禪度法明門謂成就一切禪定及諸神通教化散亂諸眾生故(禪梵語具云禪那華言靜慮)智度法明門謂斷無明黑暗教化愚癡諸眾生故方便法明門謂隨眾生所見威儀而示現教化成就一切諸佛法故四攝法法明門謂攝受一切眾生得菩提已施一切眾生法故(四攝法者一布施攝二愛語攝三利行攝四同事攝也)教化眾生法明門謂自不受樂不疲倦故攝受正法法明門謂斷一切眾生諸煩惱故福聚法明門謂利益一切諸眾生故修禪法明門謂滿足十力故(十力者知是處非處智力知過現未來業報智力知諸禪三昧智力知諸根勝劣智力知種種解智力知種種界智力知一切至處道智力知天眼無礙智力知宿命無漏智力知永斷習氣智力也)寂定法明門謂成就如來三昧具足故慧見法明門謂智慧成就滿足故入無礙辯法明門謂得法眼成就故(法眼者謂知一切眾生各各方便所化之法門也)入一切行法明門謂得佛眼成就故(佛眼者謂覆障雖密無不見知也)成就陀羅尼法明門謂聞一切諸佛法能受持故(梵語陀羅尼華言總持)得無礙辯法明門謂令一切眾生皆歡喜故順忍法明門謂順一切諸佛法故得無生法忍法明門謂得受記故(受記者謂菩薩受作佛之記也)不退轉地法明門謂具足往昔諸佛法故從一地至一地智法明門謂灌頂成就一切智乃至得成阿耨多羅三藐三菩提故(從一地至一地智者謂從等覺菩薩之智至妙覺果佛之智也灌頂者謂等覺菩薩將入妙覺之位如轉輪王太子受王位時以四海水灌其頂也梵語阿耨多羅三藐三菩提華言無上正等正覺)。

百八煩惱(出天台四教儀集註)

昏煩之法惱亂心神故名煩惱謂眼耳鼻舌身意六根對色聲香味觸法六塵各有好惡平三種不同則成十八煩惱又六根對六塵好惡平三種起苦受樂受不苦不樂受復成十八煩惱共成三十六種更約過去未來現在三世各有三十六種總成一百八煩惱也(好惡平三種不同者如色塵有好色有惡色其不好不惡之色名為平也聲香味觸法五塵亦然受即領納之義苦受對惡塵而起樂受對好塵而起不苦不樂受對平塵而起)。

千二百五十人(出因果經)
謂耶舍長者子朋黨五十人優樓頻螺迦葉師徒五百人那提迦葉師徒二百五十人伽耶迦葉師徒二百五十人舍利弗師徒一百人大目犍連師徒一百人此千二百五十人並先事外道勤苦累刼而無所證承佛化導即得證果於是感佛之恩一一法會常隨不捨故諸經首列眾皆云千二百五十人俱者以此也(梵語優樓頻螺迦葉華言木[瓜-丶]林梵語那提迦葉華言河梵語伽耶迦葉華言城梵語舍利弗華言身子梵語大目犍連華言采菽氏)。
八萬四千塵勞(出華嚴孔目)
八萬四千塵勞者塵即染污之義謂種種邪見煩惱能染污真性也勞即勞役也謂眾生被邪見煩惱勞役不息輪轉生死無有盡時論其塵勞根本不出十使於十使中隨以一使為頭則九使為助遂成一百約三世各有一百共成三百而現在世一百時促不論相助於過去未來二世二百又各各以一使為頭九使為助共成二千合前現在世一百共成二千一百又約多貪多嗔多癡等分四種眾生各有二千一百共成八千四百又約四大六衰各有八千四百總成八萬四千塵勞也(十使者使即驅役之義一貪二嗔三癡四慢五疑六身見七邊見八邪見九見取十戒取也多貪者謂於五欲可意之境而多貪愛也多嗔者謂於逆情之境而多忿怒也多癡者謂無所覺了而於貪嗔之境溺而不已也等分者謂貪嗔癡三心一齊而起也四大者地大水大火大風大也六衰者謂色聲香味觸法六塵能衰損善法故也)。
八萬四千法門(出賢刼經)
八萬四千法門者昔佛告喜王菩薩修習行法自第一光耀乃至分舍利凡三百五十度無極法門一一法門各有布施持戒忍辱精進禪定智慧之六度共成二千一百度無極於諸貪[婬-壬+(工/山)]瞋恚愚癡等分四種眾生各以此二千一百度無極教化而開覺之合成八千四百度無極一變為十總成八萬四千度無極法門此之法門為三界無上良藥為百千種人除八萬四千塵勞也(度無塵者謂事理行滿度生死流登涅槃岸無有窮極也三百五十度無極者光耀度無極世度無極為眾生故行度無極住度無極生死度無極所著度無極益他人度無極處所度無極道度無極慧度無極已修立行度無極逮得度無極念度無極離世度無極造有所作業度無極休息道度無極不置速度無極應順度無極造作度無極無作度無極意度無極勤修度無極正真度無極行捷疾度無極深奧度無極雜度無極清淨度無極無際度無極信道度無極為眾生厄故行度無極法故度無極寂樂度無極樂觀寂度無極一切所入度無極說處度無極無害度無極無敗度無極貧度無極不迴還度無極迴轉度無極嚴淨度無極堅強度無極興盛度無極充滿度無極為世度無極度世度無極無上度無極不亂度無極無怨度無極怨敵度無極攝持度無極無所攝持度無極報應度無極無報度無極自然度無極無所有度無極廣普度無極華度無極無量度無極慕求度無極所厭度無極妙樂度無極無樂度無極樂聞持度無極生死長度無極無斷度無極樂純淑度無極禪度無極神通度無極世巧便度無極慈愍護度無極行哀度無極歡喜度無極勸護度無極勸邪見度無極勸正見度無極勸住見度無極勸無住度無極勸無侍度無極勸意度無極勸忍度無極

造業度無極無所造業度無極有餘度無極無餘度無極佛興盛度無極明度無極持住明度無極佛興成就度無極意不忽度無極佛興立在家度無極出家來度無極愍哀博聞來度無極出家不斷戒度無極住神通度無極神通意不斷度無極入欲度無極立度無極應進度無極眾報度無極無報度無極無樂度無極時進度無極光明度無極無量光度無極報安光度無極不廻還度無極娛樂度無極鮮潔度無極成世法度無極淨世度無極成種度無極來成眷屬度無極不壞眷屬度無極除塵來淨度無極觀土度無極宣誓度無極無放逸度無極周旋度無極滅度度無極豪貴度無極理眷屬度無極無所忘失度無極三十二相度無極順時度無極知時度無極分別度無極順世度無極邊際度無極蠲除度無極金剛度無極造救度無極自然度無極伏魔度無極無退度無極一時度無極無所著度無極三昧度無極訓誨度無極佛道度無極一切智度無極無餘度無極有餘度無極可止度無極諸佛度無極方便度無極愁慼度無極開化真陀度無極異度無極四意斷度無極四神足度無極四禪度無極四意止度無極四諦度無極信根精進根意根智慧根定根度無極信力精進力意力定力智慧力度無極七覺意度無極八品道行度無極寂然度無極所觀度無極樂明度無極來解脫度無極比丘聖眾度無極八部會度無極歸解度無極分別度無極別度度無極繫解法度無極分別順理度無極辯才度無極無厭度無極六度度無極眼耳鼻舌身心度無極愍他勸助度無極愍己度無極法度無極宜度無極剖判度無極勸樂度無極三脫門度無極異行度無極解他度無極勤用意度無極十種力度無極四無所畏度無極大哀度無極肉眼天眼慧眼法眼佛眼度無極自在度無極娛樂度無極難得自歸度無極十八不共諸佛之法度無極曉了方便度無極純淑度無極見自然度無極三界行度無極觀清白行度無極法種度無極八等度無極道跡徃來不還無著度無極緣覺度無極菩薩度無極盡慧度無極無所生慧度無極建立慧度無極致天眼天耳心智自在見過世事知他心念神足漏盡六通度無極威儀度無極愍傷度無極行空度無極捐拾度無極滅度度無極變化度無極流布法教度無極分舍利度無極然其中名有重出者乃經中所載之舊文也）。

大明三藏法數卷第三十八

聯絡我們

財團法人
佛教電子佛典基金會（CBETA 基金會）
CBETA Comprehensive Buddhist Electronic Text Archive Foundation

service@cbeta.org
(02)2383-2182 轉分機 12
官網 https://cbeta.org/
CBETA Online https://cbetaonline.dila.edu.tw/
立即贊助 https://cbeta.org/quick-donate/

贊助資訊

CBETA 長年來陸續將歷代重要佛典數位化為「CBETA 電子佛典集成」，不僅收錄了大量的珍貴文獻，更致力於校勘考證用字及增添新式標點，提升佛典的文獻品質及易讀性。「CBETA 電子佛典集成」是大眾廣為運用的公共資源，此成果也獲得國際學界的重視及肯定。

對於一個從事佛法志業的非營利團隊來說，能夠長期埋首理想、踏實耕耘，實屬不易。為了提供更優質的服務，CBETA 基金會擬增聘專業人力，擴大組織規模，懇請大家慷慨解囊、熱情贊助，讓未來有更多更好的電子佛典。

贊助捐款

「水滴雖微，漸盈大器，凡福充滿，從纖纖積。」
—— CBETA 2024.R2, T04, no. 210, p. 565a5-6